

講義内容2009

経営学部

講 義 内 容

『講 義 内 容 の 見 方』(2)

参 考(4)

目次案内

経営学科・経営学科フレックスA・市場戦略学科

I 全 学 共 通 科 目

1. 宗 教 教 育 科 目(14)

2. 教 養 教 育 科 目(15)

3. 外 国 語 科 目(20)

4. 保 健 体 育 科 目(28)

II 専 門 教 育 科 目(33)

III 他 学 部 履 修 科 目(38)

IV 「日本語」・「日本事情」科目(40)

V 随 意 科 目(41)

経営学科フレックスB

I 全 学 共 通 科 目

1. 宗 教 教 育 科 目(42)

2. 教 養 教 育 科 目(43)

3. 外 国 語 科 目(44)

4. 保 健 体 育 科 目(45)

II 専 門 教 育 科 目(46)

III 他 学 部 履 修 科 目(49)

IV 随 意 科 目(50)

全 学 共 通 科 目	経営学科・経営学科フレックスA・市場戦略学科	宗教教育 教養教育 外国語 保健体育
		専門教育
		他学部 履修科目
		「日本語」 「日本事情」 随意科目
全 学 共 通 科 目	経営学科フレックスB	宗教教育 教養教育 外国語 保健体育
		専門教育
		他学部 履修科目
		随意科目

『講義内容』の見方

- 1、『講義内容』は、『履修要項』（別冊）、『授業時間表』（別冊）と合わせて利用してください。
- 2、『講義内容』は、経営学部で開講されている全ての科目が掲載されています。その中で、履修できる科目は、所属する学科で開講されている科目のみです。
（この冊子に掲載されている科目全てが履修できる科目ではありませんので、注意してください。）
- 3、履修できる科目は、所属学科の『授業時間表』（別冊）に掲載されている科目です。
『授業時間表』で履修コード（※）を確認し、『講義内容』を閲覧してください。
- 4、外国語科目の再履修クラスを履修する場合は、教務部①番窓口で『外国語再履修科目授業時間表』を受け取り、履修コードを確認し、『講義内容』を閲覧してください。
- 5、他学部履修科目を履修する場合は、教務部①番窓口で『他学部履修科目授業時間表』を受け取り、履修コードを確認し、『講義内容』を閲覧してください。
- 6、教職課程・資格講座に登録している場合は、教務部で『講義内容（教職課程・資格講座）』と『課程各講座授業時間表』を受け取ってください。

※ 履修コードとは

履修コードとは、各授業に割り振られている6桁の番号です。4月の履修科目登録時にも使用します。同名科目・同担当者の科目が2つ以上ある場合、履修コードで判別することになります。履修コードの見間違いがないよう、十分注意してください。

～『講義内容』の利用手順～

①『履修要項』（別冊）を参照し、「授業科目の区分」や「履修できる科目」を調べる。

②『授業時間表』（別冊）を参照し、履修したい科目の履修コードを確認する。

（『授業時間表』の記載例）

曜日時限	科目名	担当者名	コード	備考	区分	教場名
月 1	仏教と人間	駒澤 太郎	111111	営1必		玉-111

↑
※履修コード

③『講義内容』の目次ページから、同様の履修コードを探し、ページを開く。

（『講義内容』目次ページの記載例）

科目名	担当者名	履修コード	ページ
仏教と人間	駒澤 太郎	111111	1

↑
※

④目次ページの履修コードと科目枠の履修コードが同じであることを確認して、授業内容を閲覧する。

（『講義内容』科目枠の記載例）

履修コード	111111 ←※
科目名	仏教と人間
担当者名	<small>こまざわ たらう</small> 駒澤 太郎

～平成 19 年度以前入学生へ～

◎「経営学科フレックスA」に所属の学生

フレックスB時間帯（月～金 6・7 時限、土 3～7 時限）に開講されている科目を履修したい学生は、授業内容が『講義内容』の経営学科フレックスBのページ（冊子の後半）に掲載されていますので、そちらを確認してください。

◎「経営学科フレックスB」に所属の学生

フレックスA時間帯（月～金 1～5 時限、土 1～4 時限）に開講されている科目を履修したい学生は、授業内容が『講義内容』の経営学科フレックスAのページ（冊子の前半）に掲載されていますので、そちらを確認してください。

参 考

外 国 語 科 目

英 語 I A

〈英語 I A の授業内容と履修上の留意点〉

英語による意思伝達 (Writing and/or Speaking) : 入学時の英語を基礎として、英語の運用能力をのびます。

演習科目なので、全授業日数の3分の2以上の出席が必要です。レポート、小テスト、プレゼンテーションなどの課題を重視します。

英 語 I B

〈英語 I B の授業内容と履修上の留意点〉

Reading and Listening Comprehension (Reading and Listening) : 入学時の英語を基礎として、より高度な構文の理解と speed reading の基礎を身に付けます。

演習科目なので、全授業日数の3分の2以上の出席が必要です。レポート、小テスト、プレゼンテーションなどの課題を重視します。

英語 I C (会話)

〈英語 I C の授業内容と履修上の留意点〉

英語を母語とする外国人教師が担当します。ネイティブスピーカーの英語が聞きとれて、基本的な日常表現ができることを目指した大学初級レベルの英会話の授業です。達成目標の目安は英検2級合格、TOEFL® のスコア450点、TOEIC® のスコア500点程度。

英 語 II A

〈英語 II A の授業内容と履修上の留意点〉

英語による意思伝達 (Writing and/or Speaking) : I A を基礎として、より高度な英語の運用能力を身に付けます。

演習科目なので、全授業日数の3分の2以上の出席が必要です。レポート、小テスト、プレゼンテーションなどの課題を重視します。

英 語 II B

〈英語 II B の授業内容と履修上の留意点〉

Speed Reading and Intensive Reading : I B を基礎として、できるだけ多くの量を読めるように、大意の把握に心掛け、読む速度を上げます。また、より高度な英文を正確に理解するための構文も学びます。

演習科目なので、全授業日数の3分の2以上の出席が必要です。レポート、小テスト、プレゼンテーションなどの課題を重視します。

英語ⅡC（会話）

〈英語ⅡCの授業内容と履修上の留意点〉

I Cのレベルを修得またはそれに相当する力を持っていることを前提とした英会話の授業です。達成目標の目安は英検準1級合格、TOEFL® のスコア500点、TOEIC® のスコア700点程度。

英 語 Ⅲ A

〈英語ⅢAの授業内容と履修上の留意点〉

ⅡAを基礎として高度な英語の運用能力を身につける。（例：時事社会科学系のテキストを使用する。）

英 会 話 Ⅰ

〈英会話Ⅰの授業内容と履修上の留意点〉

基本的な日常表現ができることを目指した大学初級レベルの英語会話の授業です。達成目標の目安は英検2級合格、TOEFL® のスコア450点、TOEIC® のスコア500点程度。各担当者の講義内容（syllabus）をよく読み、時間表で曜日・時限を確認してクラスを選んでください。

英 会 話 Ⅱ

〈英会話Ⅱの授業内容と履修上の留意点〉

英語を母語とする外国人教師が担当します。英会話Ⅰのレベルを修得しているか、またはそれに相当する力を持っていることを前提とします。関心のあるトピックを話したり、議論できることを目指した大学中級レベルの英語会話の授業です。達成目標の目安は英検準1級合格、TOEFL® のスコア480点、TOEIC® のスコア700点程度。各担当者の講義内容（syllabus）をよく読み、時間表で曜日・時限を確認してクラスを選んでください。

英 会 話 Ⅲ

〈英会話Ⅲの授業内容と履修上の留意点〉

英語を母語とする外国人教師が担当します。英会話Ⅱのレベルを修得しているか、またはそれに相当する力を持っていることを前提とします。自分の専門分野のトピックを発表し、論じられる表現力を目指した大学上級レベルの英語会話の授業です。達成目標は英検1級合格、TOEFL® のスコア500点以上、TOEIC® のスコア900点程度。各担当者の講義内容（syllabus）をよく読み、時間表で曜日・時限を確認してクラスを選んでください。

英 語 L L I

〈英語LLIの授業内容と履修上の留意点〉

情報メディア機器（1号館3・4階PC教場）を使用し、発音、アクセント、イントネーションなどの口頭練習とデジタル化されたテープ教材またはビデオ教材を用いて、日常会話などのヒアリングとスピーキングを訓練します。英検2級合格、TOEFL® のスコア450点、TOEIC® のスコア500点程度を達成目標とする初級レベルです。各担当者の講義内容（syllabus）をよく読み、時間表で曜日・時限を確認してクラスを選んでください。

英 語 L L II

〈英語LLIIの授業内容と履修上の留意点〉

中級：LLI程度の基礎訓練を修得していることを前提とします。テープ教材またはビデオ教材を用いて、ニュース等の時事問題、やや専門的なテーマの英語スピーチ等の聴解力を集中的に訓練します。また、英語で要約・説明できる表現力を修得します。英検準1級合格、TOEFL® のスコア480点、TOEIC® のスコア700点程度をめざします。各担当者の講義内容（syllabus）をよく読み、時間表で曜日・時限を確認してクラスを選んでください。

英 語 L L III

〈英語LLLIIIの授業内容と履修上の留意点〉

上級：LLIIを修得、またはそれと同等以上のレベルであることを前提とします。英語圏の大学の教養／専門科目等の授業が開き取れ、演習で議論できる程度の英語の表現力を養成します。英検1級、TOEFL® のスコア500点以上、TOEIC® のスコア900点程度を目指した訓練コースです。各担当者の講義内容（syllabus）をよく読み、時間表で曜日・時限を確認してクラスを選んでください。

中 国 語

中国語ⅠA・ⅠB

中国語の入門クラス。発音と文字（簡体字）そして文法の基礎を学ぶ。授業では、まず「ピンイン」というローマ字表記を使って発音を学び、次いでその表記法によりつつ基本的な文法・文型等を学んでゆく。「ピンイン」表記を最初にしっかり覚えないと、その後の学習がほとんど不可能になる（漢字で書かれているので他の外国語より易しいというのは、誤った俗説である）。

ⅠA－ⅠBという週2コマの授業を通して1冊の教科書を使用する。ⅠA－ⅠBの組み合わせは固定されており、それを一人の教員が担当する場合と、二人の教員が共同で担当する場合とがある。いずれにしても必ずその2コマを1セットで履修しなければならない。

中国語の学習には自分の口と耳を使った教室での実地練習がきわめて重要である。休まず出席し、教員の指導のもと、積極的に練習を行ってほしい。出席は成績評価においても重要な判断材料となる。そのほか年間を通じての各種小テスト、授業内試験・期末試験、課題提出、および授業中に見られる実際の習熟度等々に基づいて最終的な成績評価がなされる。日頃の努力の積み重ねが不可欠であり、試験のときだけ一夜漬けで乗り切るということは絶対に不可能である。

中国語ⅡA

ⅠA－ⅠBの学習を基礎としつつ、ピンイン付の文章を学び、中級程度の読解力・文法的理解力を養う。正確な読解は、読み書きだけでなく、話したり聞いたりするための基礎ともなるものである。

いずれの場合も、発音と基礎文法の復習・定着、やや複雑な中級程度の語彙・文法・文型の学習、といったことが目標となるであろう。また、それと同時に、教材を通して、表面的な知識や情報にとどまらない、内面的な中国理解の眼を養ってもらいたいと思う。

中国語ⅡB

ⅠA－ⅠBの学習を基礎としつつ、簡単な内容の文を言ったり書いたりすることのできるような、初歩的な表現力の獲得を目指す。教材は短文の会話体を主とするもので、内容理解だけならさほど難しくはないであろう。ここで目標とされているのは新たな知識の拡張よりも、むしろ既習の知識を血肉化させ、それを「使える」ようにすることなのである。つまり、「発信型」の語学力の土台を築こうというわけである。そのため毎回の授業に休まず出席するのももちろんのこと、教室で行われる練習に積極的に参加し、なるべく多くの反復練習をこなすよう努めてほしい。成績評価の原則は、上記ⅠA－ⅠBに準ずる。

【辞書について】

1年次の授業は辞書の購入を前提とせずに進められる。最初から中国語の勉強は1年限りと決めてしまえば、辞書なしで済ませることはできる。しかしそういう人にとっても、1年間の学習をより実りのあるものとするために、次の辞書は役に立つことだろう。

相原茂『はじめての中国語学習辞典』（2002年 朝日出版社）2,800円

2年次以降も中国語学習を続ける場合、辞書の購入は必須である。近年は中国語の辞書の出版が相次いだが、特に以下の2点が薦められる。

商務印書館・小学館『中日辞典〔第2版〕』（2003年 小学館）語法解説や図版豊富。6,300円

相原茂『講談社中日辞典〔第二版〕』（2002年 講談社）全例文にピンイン付き。6,500円

より手軽なサイズと価格では次の2点も推薦できる。しかし、学習の伴侶として息長くおつきあいすることを考えれば、思いきって奮発したほうが結局は「得」である。

松岡榮志『クラウン中日辞典』（2001年 三省堂）4,000円／『小型版』（2004年）2,800円

武信彰『プログレッシブ中国語辞典』(1998年 小学館) 3,500円／『コンパクト版』(2004年) 2,600円
また、これらよりさらに小型のものや、中日・日中を1冊で間に合わせる類の辞書は薦められない。

なお、下の3点も、初心者向けではないが、中級から上級以降の学習や研究に十分耐え得る内容をもつ優れた辞書である。

伊地智善継『白水社中国語辞典』(2002年 白水社) 7,800円

松岡榮志他『超級クラウン中日辞典』(2008年 三省堂) 6,000円

愛知大学中日大辞典編纂処『中日大辞典〔増訂第二版〕』(1987年 大修館書店) 8,600円

日中辞典は授業では必須としないが、次のものが手元があれば重宝するであろう。

対外経貿大学・商務印書店・小学館『日中辞典〔第2版〕』(2002年 小学館) 7,000円

相原茂『講談社日中辞典』(2006年 講談社) 7,000円

ロ シ ア 語

よく一国を理解するにはその国の言葉を学べば、一番よくわかると人々の口に伝えられているように、現代ロシアの秘められた部分を理解するには、ロシア語を学ぶことが一番手っとり早い方法です。一口にロシア語と言ってもそれはモスクワを中心とした東スラヴ語をさします。ロシア語と兄弟の関係のように近い、よく似た言葉には、ポーランド語、ブルガリア語、ウクライナ語、チェコ語、スロヴァキア語、セルビア語、マケドニア語、多くの言葉があります。これらの中東欧語を理解するうえでも、ロシア語は、もっとも基本的な言葉となります。またこれらのスラヴ諸国を理解するうえでもロシア語が最も中心的な位置を占めていると言っても過言ではありません。しかもロシア語人口はヨーロッパの全人口に匹敵し得る程の数にのぼっているのです。これからの国際化時代にはどうしても見すごすことのできない言葉と言えます。21世紀においては、単にロシア語を学ぶことのみならず、その背後にある文化と広大な精神風土についても学ぶことは多に価値があることです。駒澤大学でのロシア語はこの国際化時代に向けて、実際に使えるロシア語の学習をめざします。ロシア語もどんどん変化しつつある昨今ですが、そのような流れにも常に敏感でありたいと願っています。

なお、一週間に学ぶロシア語の時間は現状では圧倒的に不足していますが、与えられた時間を最大限に有効に使うために次のような目標をたて、年間スケジュールで授業はすすめられます。

I A・I B：発音や聞きとり、発話を中心に学び、やさしい基本文法を一年間で修了させます。細目は以下の授業内容を参考にしてください。なお、一部のクラスはパソコンによるロシアサイトをリアルタイムでみたり、聞いたりする時間ももちます。

II A・II B：一年のI A・I Bのロシア語を基礎にさらに会話や聞きとり、読解力をつけます。また一年でやりのこした文法の能動・被動、副動詞などの事項や、より複雑な文章を理解する練習をします。

ロシア語学習上役に立つサイトを次に紹介します。

まず、学習の成果を確認するには検定試験をうけることをおすすめ。

東京ロシア語学院のサイト www.tokyorus.ac.jp をクリックすると、応募のしかた、場所がわかります。また、同じサイトでロシア語の OS の基本的使い方、ウインドウズ日本語版でロシア語のうち方などの情報を得ることができます。ロシア語のキーボードが打てるようになったら、知りたい情報をロシア語で次のアドレスに打てば、様々な情報を詳しく得ることができます。www.gogo.ru

なお、最後に参考として辞典の紹介を若干しておきます。

『露和辞典』（研究社）東郷 正延他著

『露和辞典』（岩波書店）和 久利他編

『博友社ロシア語辞典』（博友社）木村 彰一他編

『和露辞典』（研究社）藤沼 貴著

『和露辞典』（講談社）佐藤 勇著

保健体育科目

保健体育科目の目標

本学の『保健体育科目』は、総合的人間性の形成を目指し以下の点に留意して開設されています。

人間がひととして生きていくうえで、自己の身体について知り、理解を深めていくことは重要なことであり、健康の増進や、体力の向上のための基本的な知識や習慣を、生涯を通じて知的・身体的遺産として獲得することは、あらゆる人間活動を支える基盤であります。スポーツは、単に楽しみとしてではなく、健康や体力づくりの手段として、また、身体を認識する手段としても重要であると考えられます。本学の『保健体育科目』は、様々なスポーツ種目を通して展開し、その種目の特性に沿った活動や経験を通して、生涯を通じて健康の増進や体力の向上を図ると共に、スポーツを享受する能力を高め、ゆとりある人間社会の形成を実現する能力を学生自らが考え獲得することを目標としています。

さらに、人間疎外条件の多い現代社会において、運動実践の過程で習得される公正、協調、克己、決断、集中などのスポーツの本質的要素であるパーソナリティを共通の体験を通して得ることで、学生時代でなければ得られない人間関係を構築し、社会性を養い、人間愛豊かな人間を形成することを目指しています。

「健康・スポーツ実習」開講種目一覧

(於：玉川校舎)

	1時限（経営）		2時限（経営）		3時限（市略）	
木曜日	※秋田	卓球	※江口	テニス	※山口	室内球技
	竹田	体操・トランポリン	光永	トレーニング	光永	トレーニング
	山口	室内球技	秋田	卓球	鈴木	ソフトボール
	鈴木	屋外球技	山口	室内球技	竹田	体操・トランポリン
	高橋	空手道	岩本	サッカー	江口	テニス
	岩本	サッカー	竹田	体操・トランポリン	高橋	空手道
				岩本	サッカー	

※は、科目の主担当者

「健康・スポーツ実習(集中授業)」開講科目一覧

集中開講科目は、前期・後期の両方を受講する必要があります。

また、前期と後期で受講する科目が変わります。種目の選択を第1回目の授業で行いますので、必ず参加してください。

《日程》前期：7月18日（土）～22日（水） 後期：1月4日（月）～8日（金）

《時間》10:00～12:00・13:00～15:30

(於：玉川校舎)

前期		後期	
※山口	室内球技	鈴木	卓球
末次	ダブルダッチ	高橋	ソフトボール
大石	太極拳	岩本	屋外球技
牧野	バドミントン	村松	室内球技

※は、科目の主担当者

「生涯スポーツ実習Ⅰ～Ⅳ」開講種目一覧

(於：本校体育館)

	月 曜 日	火 曜 日	水 曜 日	木 曜 日	金 曜 日					
1時限										
2時限	渡 辺	前期・基礎	大 石	前期・応用	下 谷 内	前期・基礎	村 松	前期・応用	牧 野	前期・応用
		室内球技		ミニサッカー		室内球技		卓球		バスケットボール
		後期・基礎		後期・応用		後期・基礎		後期・応用		後期・応用
		室内球技		ミニサッカー		室内球技		卓球		バスケットボール
3時限	渡 辺	前期・応用	大 石	前期・基礎	下 谷 内	前期・基礎	末 次	前期・基礎	牧 野	前期・基礎
		室内球技		簡化太極拳		室内球技		ダブルダッチ		バスケットボール
		後期・応用		後期・基礎		後期・基礎		後期・基礎		後期・基礎
		室内球技		簡化太極拳		室内球技		ダブルダッチ		バスケットボール
4時限	渡 辺	前期・応用				末 次	前期・応用			前期・応用
		室内球技					室内球技			
		後期・応用					後期・応用			
		室内球技					室内球技			

外国語科目

英語 I A

〈英語 I A の授業内容と履修上の留意点〉

英語による意思伝達 (Writing and/or Speaking) : 入学時の英語を基礎として、英語の運用能力をのびます。文章表現の場合、文から段落へ、会話表現の場合、日常基礎表現から、多様な会話表現の理解と運用能力を目指します。

英語 I B

〈英語 I B の授業内容と履修上の留意点〉

Reading and Listening Comprehension (Reading and Listening) : 入学時の英語を基礎として、より高度な構文の理解と speed reading の基礎を身に付けます。読解力の場合、精読に加えて段落、章などの大意が把握できること、聴解力の場合、大意が把握できることを目指します。

英語 II A

〈英語 II A の授業内容と履修上の留意点〉

英語による意思伝達 (Writing and/or Speaking) : I A を基礎として、より高度な英語の運用能力を身に付けます。文章表現の場合、段落から自由作文へ、会話表現の場合、ダイアログからディスカッションを目指します。

英語 II B

〈英語 II B の授業内容と履修上の留意点〉

Speed Reading and Intensive Reading : I B を基礎として、できるだけ多くの量を読めるように、大意の把握に心掛け、読む速度を上げます。また、より高度な英文を正確に理解するための構文も学びます。

英会話 I・II

初級の会話クラスです。基本的な日常表現ができることを目指します。達成目標の目安は英検 2 級合格、TOEFL® のスコア 450 点、TOEIC® のスコア 500 点程度です。

英語 L L I・II

情報メディア機器 (1 号館 3・4 階の PC 教場) を使用し、英語の発音、アクセント、イントネーションなどの口頭練習、日常会話などのヒアリングとスピーキングを訓練します。I、II とも TOEFL® で 450 点、TOEIC® 500 点、英検 2 級合格程度を達成目標とする初級レベルのクラスです。

保健体育科目

保健体育科目の目標

本学の『保健体育科目』は、総合的人間性の形成を目指し以下の点に留意して開設されています。

人間がひととして生きていくうえで、自己の身体について知り、理解を深めていくことは重要なことであり、健康の増進や、体力の向上のための基本的な知識や習慣を、生涯を通じて知的・身体的遺産として獲得することは、あらゆる人間活動を支える基盤であります。スポーツは、単に楽しみとしてではなく、健康や体力づくりの手段として、また、身体を認識する手段としても重要であると考えられます。本学の『保健体育科目』は、様々なスポーツ種目を通して展開し、その種目の特性に沿った活動や経験を通して、生涯を通じて健康の増進や体力の向上を図ると共に、スポーツを享受する能力を高め、ゆとりある人間社会の形成を実現する能力を学生自らが考え獲得することを目標としています。

さらに、人間疎外条件の多い現代社会において、運動実践の過程で習得される公正、協調、克己、決断、集中などのスポーツの本質的要素であるパーソナリティを共通の体験を通して得ることで、学生時代でなければ得られない人間関係を構築し、社会性を養い、人間愛豊かな人間を形成することを目指しています。

保健体育科目時間表

(於：本校体育館)

	月 曜 日		火 曜 日		水 曜 日		木 曜 日	
6 時 限	大 石	ミニサッカー					村 松	健康・スポーツ論*
7 時 限	大 石	ミニサッカー	三 幣	健康・スポーツ論*	村 松	バドミントン		

*時間表で教場を確認のこと。

I 全学共通科目

1. 宗教教育科目

科目名	担当者名	履修コード	ページ
仏教と人間	村松 哲文	204801	7
仏教と人間	吉村 誠	204901	7
仏教と人間	池上 光洋	205001	7
仏教と人間	池上 光洋	205121	7
仏教と人間	新井 一光	205101	8
仏教と人間	伊藤 隆壽	205111	8
仏教と人間〔再クラス〕	吉津 宜英	205701	9
仏教と人間〔再クラス〕	角田 泰隆	205801	9
仏教と人間〔再クラス〕	大谷 哲夫	205901	9
仏教と人間〔再クラス〕	晴山 俊英	206001	10
自然と宗教	小川 順敬	206101	10
社会と宗教	矢野 秀武	206201	11
文化と宗教	長谷部 八朗	206301	11
坐禅	佐藤 秀孝 ・池上 光洋	206401	11
坐禅	佐藤 秀孝 ・池上 光洋	206501	11

2. 教養教育科目

・平成19年度以前入学生で『授業時間表』の区分「B」の科目を履修する場合は、フレックスBの教養教育科目のページを参照してください。

(1) 人文分野

科目名	担当者名	履修コード	ページ
文学〔日本文学「古典」〕	塩崎 真理子	206601	15
文学〔日本文学「古典」〕	坂口 博規	206901	15
文学〔日本文学「日本のことば」〕	相澤 貴之	206701	16
文学〔日本文学「近代」〕	石割 透	207001	16
文学〔日本のことば〕	萩原 義雄	207201	17
文学〔外国文学「アメリカ文学」〕	田中 保	207301	18
文学〔外国文学「ロシア文学」〕	杉山 秀子	207401	18
歴史学〔日本中世史〕	今野 慶信	207801	18
歴史学〔東アジア考古学〕	千葉 基次	207901	19
歴史学〔古代オリエント史〕	大城 道則	208001	19
歴史学〔西洋近代史〕	土方 史織	208101	20
歴史学〔日本近世史〕	出口 宏幸	208201	20
歴史学〔日本近代史〕	立川 章次	208301	20
芸術学〔日本美術〕	北野 良枝	208401	21
芸術学〔西洋美術〕	矢野 陽子	208501	21
芸術学〔音楽〕	浦本 裕子	208601	22
哲学〔西洋思想の源流〕	滝口 清栄	208701	22
哲学〔西洋思想の源流〕	佐藤 暁	208801	23
哲学〔西洋思想の源流〕	佐藤 暁	208901	23
哲学〔近代の人間観と世界観〕	古田 知章	209001	23
哲学〔近代の人間観と世界観〕	佐藤 暁	209101	24
哲学〔近代の人間観と世界観〕	小島 優子	209201	24
哲学〔現代文明と人間〕	黒崎 剛	209301	25
哲学〔現代文明と人間〕	滝沢 正之	209401	25
哲学〔現代文明と人間〕	麻生 享志	209501	26
論理学〔科学方法論と現代論理学〕	鈴木 聡	209601	26
論理学〔科学方法論と現代論理学〕	鈴木 聡	209801	26
論理学〔科学方法論と現代論理学〕	鈴木 聡	210101	26
論理学〔科学方法論と現代論理学〕	山口 祐弘	209701	27
論理学〔科学方法論と現代論理学〕	滝口 清栄	209901	27
論理学〔知の技法〕	伊古田 理	210001	28
論理学〔知の技法〕	小島 優子	210201	28
科学史〔科学と技術〕	高橋 秀裕	210401	29
科学史〔近代科学の成立と展開〕	高橋 秀裕	210501	29
倫理学〔人間観〕	古田 知章	210601	30
倫理学〔応用倫理学〕	黒崎 剛	210701	30
倫理学〔応用倫理学〕	黒崎 剛	211111	30
倫理学〔応用倫理学〕	滝沢 正之	210901	31
倫理学〔価値観〕	久保 陽一	210801	31
倫理学〔制度とモラル〕	滝口 清栄	211001	32
倫理学〔東洋倫理〕	末木 恭彦	211101	32
宗教学〔比較宗教文化〕	池上 良正	211201	33
宗教学〔聖と俗〕	田中 かの子	211301	33

経営学科・経営学科フレックスA・市場戦略学科

科目名	担当者名	履修コード	ページ
宗教学〔世界観と儀礼〕	小川 順敬	211401	34
宗教学〔日本人の宗教〕	矢野 秀武	211501	34
宗教学〔生活と宗教〕	菅原 壽清	211511	35
宗教学〔民俗宗教の諸相〕	星野 靖二	211521	35
人文地理学〔風土と文化〕	山口 太郎	211601	36
人文地理学〔風土と文化〕	櫻井 明久	211701	36
人文地理学〔空間と行動〕	伊藤 慎悟	211801	37
人文地理学〔空間と行動〕	伊藤 修一	211901	37
フレッシュマンセミナー	湯浅 陽子	357001	38
フレッシュマンセミナー	萩原 義雄	357101	39
フレッシュマンセミナー	佐原 作美	357201	40
フレッシュマンセミナー	鈴木 裕子	357301	40
フレッシュマンセミナー	坂口 博規	357401	40
フレッシュマンセミナー	藺部 幹生	357501	41
フレッシュマンセミナー	石割 透	357601	41
フレッシュマンセミナー	小林 治	357701	42
フレッシュマンセミナー	松田 直行	357801	42
フレッシュマンセミナー	湯浅 陽子	357811	43
日本文化基礎	佐原 作美	357901	43
日本文化基礎	鈴木 裕子	358001	44
日本文化基礎	湯浅 陽子	358101	44
日本文化基礎	藺部 幹生	358201	45
日本文化基礎	石割 透	358301	45
日本文化基礎	小林 治	358401	46
日本文化基礎	松田 直行	358501	46
日本言語文化基礎	萩原 義雄	358901	47
日本言語文化基礎	湯浅 陽子	358911	48
日本文化研究IA	佐原 作美	169701	48
日本文化研究IA	坂口 博規	171101	49
日本文化研究IA	鈴木 裕子	171201	49
日本文化研究IA	藺部 幹生	172001	49
日本文化研究IB	石割 透	170201	50
日本文化研究IB	小林 治	175501	50
日本文化研究IB	松田 直行	215711	51
日本文化研究IIA	佐原 作美	359001	51
日本文化研究IIA	鈴木 裕子	359101	52
日本文化研究IIA	坂口 博規	359201	52
日本文化研究IIA	藺部 幹生	359301	53
日本文化研究IIB	石割 透	359701	53
日本文化研究IIB	小林 治	359801	54
日本文化研究IIB	松田 直行	359901	54
日本言語文化研究I	萩原 義雄	170901	55
日本言語文化研究I	湯浅 陽子	215721	56
日本言語文化研究II	萩原 義雄	360601	57
日本言語文化研究II	湯浅 陽子	360701	58
実務表現	萩原 義雄	360901	59
実務表現	湯浅 陽子	361001	60
日本文化テーマ研究A	佐原 作美	168901	61
日本文化テーマ研究A	佐原 作美	168911	61
日本文化テーマ研究B	佐原 作美	169001	62
日本文化テーマ研究B	鈴木 裕子	169011	62

科目名	担当者名	履修コード	ページ
日本文化テーマ研究C	坂口 博規	169101	63
日本文化テーマ研究C	菌部 幹生	169111	63
日本文化テーマ研究D	坂口 博規	169201	63
日本文化テーマ研究D	菌部 幹生	169211	64
日本文化テーマ研究E	石割 透	169301	64
日本文化テーマ研究E	小林 治	169311	65
日本文化テーマ研究F	石割 透	169401	65
日本文化テーマ研究F	小林 治	169411	66
日本文化テーマ研究G (夏季集中)	松田 直行	169501	66
日本文化テーマ研究H	松田 直行	169601	67

(2) 社会分野

科目名	担当者名	履修コード	ページ
社会学〔現代社会を考える〕	南後 由和	215801	68
社会学〔現代社会を考える〕	呉 炳三	215901	68
社会学〔現代文化を考える〕	呉 炳三	216001	69
社会学〔現代文化を考える〕	牛島 千尋	216101	70
社会学〔社会生活を考える〕	小畑 和	216201	71
社会学〔社会生活を考える〕	呉 炳三	216301	71
統計学〔社会現象の統計的分析〕	田中 正光	216401	72
統計学〔社会現象の統計的決定〕	新行内 康慈	216501	72
文化人類学〔文化と人間〕	森 雅文	216701	73
文化人類学〔文化と人間〕	加藤 之晴	216801	73
文化人類学〔諸民族とコスモロジー〕	杉井 純一	216901	74
文化人類学〔諸民族とコスモロジー〕	森 雅文	217001	75
文化人類学〔諸民族とコスモロジー〕	鈴木 一馨	217101	75
文化人類学〔社会変化と価値観〕	小川 順敬	217201	76
文化人類学〔社会変化と価値観〕	内山 明子	217301	76
文化人類学〔社会変化と価値観〕	内山 明子	217401	76
法学・憲法〔法と社会生活〕	長谷川 日出世	217501	76
法学・憲法〔法と社会生活〕	和知 恵一	217601	77
法学・憲法〔法と社会生活〕	沼田 雅之	217701	78
法学・憲法〔法と社会生活〕	鷄徳 啓登	217801	79
法学・憲法〔法と国家〕	新田 浩司	218101	79
法学・憲法〔法と国家〕	新田 浩司	218201	79
法学・憲法〔法と国家〕	織田 晃子	218401	80
法学・憲法〔法と権利〕	沼田 雅之	217901	80
法学・憲法〔法と権利〕	茂野 隆晴	218501	81
法学・憲法〔法と権利〕(夏季集中)	池田 実	218601	81
政治学〔社会生活とデモクラシー〕	白鳥 浩	218701	82
政治学〔政治システムと政治参加〕	富崎 隆	218801	82
政治学〔国際社会と日本〕	山崎 望	218901	83
社会科学論〔社会認識の思想〕	大石 雄爾	219401	83
教育学〔デス・エデュケーション〕	柳堀 素雅子	219501	84
教育心理〔大学生の心理〕	石橋 達也	219601	84

(3) 自然分野

科目名	担当者名	履修コード	ページ
生物学〔生態と進化〕	清水 善和	220201	85
生物学〔生態と進化〕	清水 善和	220301	85
生物学〔生物と環境〕	中村 敏枝	220401	85

経営学科・経営学科フレックスA・市場戦略学科

科目名	担当者名	履修コード	ページ
地球科学〔地球の素顔と地球環境問題〕	加藤 潔	220501	86
地球科学〔地球の変遷・生命の進化〕	山縣 毅	220601	86
地球科学〔地球の変遷・生命の進化〕	山縣 毅	220801	86
地球科学〔地球システムと人間圏〕	澤口 隆	220701	87
地球科学〔自然景観の成り立ち〕	市川 清士	220901	87
地球科学〔自然景観の成り立ち〕	市川 清士	221001	87
自然環境論〔生命と環境〕	山縣 毅	221101	88
自然環境論〔生命と環境〕	山縣 毅	221201	88
自然環境論〔生命と環境〕	持丸 真里	221301	88
自然環境論〔生命と環境〕	持丸 真里	221401	88
自然環境論〔生命と環境〕	持丸 真里	221601	88
自然環境論〔生命と環境〕	中村 敏枝	221701	89
自然環境論〔地球・太陽系環境〕	坂野井 和代	221501	89
自然環境論〔生物の集団と環境〕	坂巻 義章	221801	90
自然環境論〔生物の集団と環境〕	坂巻 義章	221901	90
自然環境論〔生物の集団と環境〕	坂巻 義章	222001	90
自然誌〔現代の自然像〕	清水 善和 ・篠原 正雄 ・持丸 真里 ・山縣 毅	222201	90
自然誌〔現代の自然像〕	清水 善和 ・篠原 正雄 ・持丸 真里 ・山縣 毅	222301	90
数学〔微積分学入門〕	古宇田 悠哉	222401	91
数学〔線型代数学入門〕	古宇田 悠哉	222501	91
数学〔現代数学入門〕	福田 賢一	222601	92
情報数学〔情報と論理〕	坂野井 和代	222701	92
物理学〔光と物質〕	篠原 正雄	222801	93
物理学〔光と物質〕	篠原 正雄	222901	93
化学〔衣食住の化学〕	持丸 真里	223001	93
化学〔衣食住の化学〕	持丸 真里	223101	93
宇宙科学〔星と銀河〕	篠原 正雄	223201	93
宇宙科学〔星と銀河〕	篠原 正雄	223301	93
人類学〔人類の進化〕	馬場 悠男	226001	94
人類学〔人類の進化〕	馬場 悠男	226101	94
心理学〔ヒューマン・ウォッチング〕	高橋 良博	226201	94
心理学〔ヒューマン・ウォッチング〕	本間 美智子	226301	94
心理学〔ヒューマン・ウォッチング〕	加藤 博己	226401	95
心理学〔ヒューマン・ウォッチング〕	杉山 雅美	226501	95
心理学〔人間関係を考える〕	高橋 良博	226601	96
心理学〔人間関係を考える〕	鈴木 順一	226701	97
心理学〔人間関係を考える〕	鈴木 順一	226901	97
心理学〔人間関係を考える〕	加藤 博己	226801	98
心理学〔心を科学する〕	高橋 良博	227001	98
心理学〔心を科学する〕	堀内 正彦	227101	99
心理学〔心を科学する〕	中丸 茂	227201	100
心理学〔心を科学する〕(夏季集中)	深堀 友寛	227301	101

(4) 総合分野

科目名	担当者名	履修コード	ページ
総合I〔仏教と社会〕	熊本 英人	228201	102
総合I〔仏教と芸術〕	村松 哲文	228301	102
総合II〔自然観察入門富浦をめぐる人と自然〕	清水 善和 ・漆原 和子 ・坂野井 和代 ・篠原 正雄 ・須山 聡 ・出口 宏幸 ・持丸 真里 ・柳澤 紀夫 ・山縣 毅	228501	103
総合III〔TOEFL(R)の問題で学ぶ知的教養〕	白鳥 義博	228801	103
総合III〔小説と映画で読み解く現代中国〕	塩旗 伸一郎	228901	104
総合IV〔現代アメリカ事情〕	林 明人	229001	104
総合IV〔新市民社会論〕	西村 祐子	229101	105
総合IV〔ポスト・モダンの世界〕	丸小 哲雄	229201	106
総合V〔イギリスの歴史と文化〕	石原 孝哉	229301	106
総合VI〔民族とは何か〕	大野 祐二	229601	107
総合VI〔イスラム〕	吉田 京子	229701	107
総合VI〔フェミニズム・ジェンダー〕	早川 紀代	229801	108
総合VII〔トラブルと法的解決〕	中濱 義章 ・井上 健一 ・北野 かほる ・佐藤 多美夫 ・中田 英幸 ・向田 正巳	229901	109
総合VII〔都市論〕	早川 純貴 ・饗庭 伸 ・浦田 早苗 ・堀内 康史 ・村上 暁信	230001	110
総合VIII	休講	—	

3. 外国語科目

《必修科目・選択必修科目》

科目名	担当者名	履修コード	ページ
英語IA	川崎 浩太郎	239301	113
英語IA	熊沢 和明	239401	113
英語IA	真砂 久晃	239501	113
英語IA	水崎 野里子	239601	114
英語IA	三輪 久恵	239701	114
英語IA	相馬 美明	239801	114
英語IA	大庭 直樹	239901	115
英語IA	佐藤 孝一	240011	115
英語IA	大淵 利春	240021	115
英語IA	山口 晃	240031	116
英語IA	三芳 康義	240041	116
英語IA〔基礎英語特別クラス〕	落合 和昭	240211	117
英語IB	落合 真裕	246001	118
英語IB	伊勢村 定雄	246101	118
英語IB	塚本 利男	246201	118
英語IB	矢島 直子	246301	119
英語IB	落合 真裕	246401	119
英語IB	塚本 利男	246501	119
英語IB	伊勢村 定雄	246601	120
英語IB	落合 真裕	246711	120
英語IB	塚本 利男	246721	120
英語IB	手島 敬子	246731	121
英語IB	伊勢村 定雄	246741	121
英語IB〔基礎英語特別クラス〕	矢島 直子	246941	121
英語IC(会話) 英語IC(会話)〔再クラス〕	ロンゴ、 T.	247101	122
英語IC(会話) 英語IC(会話)〔再クラス〕	ミックエリゴット、 J. P.	247701	122
英語IIA	佐藤 江里子	253701	122
英語IIA	吉沢 栄治郎	253801	123
英語IIA	高橋 明子	254001	123
英語IIA	川崎 笑佳	254101	123
英語IIA	佐藤 江里子	254201	124
英語IIA	岩原 康夫	254301	124
英語IIA	久保 ひさ子	254401	124
英語IIA	鈴木 美貴子	254451	124
英語IIA	三幣 友行	254461	125
英語IIA	狩野 晃一	254471	125
英語IIA	落合 真裕	254481	126
英語IIB	井出 功一	259301	126
英語IIB	山口 晃	259401	126
英語IIB	尾形 重政	259501	127
英語IIB	加藤 佐和子	259701	127
英語IIB	落合 真裕	259801	127
英語IIB	濱口 真木	259811	127

科目名	担当者名	履修コード	ページ
英語II B	照山 雄彦	259901	128
英語II B	高野 秀夫 (後期) ・川崎 笑佳 (前期)	259951	128
英語II B	堀 千和子	259961	129
英語II B	松堂 啓子	259971	130
英語II B	勅使河原 三保子	259981	130
英語II C (会話) 英語II C (会話) [再クラス]	セイジ、 K	260001	131
英語III A 英語III A [再クラス]	伊藤 美代子	262301	131
英語III A 英語III A [再クラス]	岩井 洋美	262401	131
英語III A 英語III A [再クラス]	小布施 圭佐三	262501	132
英語III A 英語III A [再クラス]	松堂 啓子	262601	132
英語III A 英語III A [再クラス]	佐藤 孝一	262701	133
英語III A 英語III A [再クラス]	町田 成男	262801	133
英語III A 英語III A [再クラス]	鈴木 美貴子	262901	133
英語III A 英語III A [再クラス]	竹村 恵都子	263001	133
英語III A 英語III A [再クラス]	吉江 正雄	263101	134
ドイツ語IA	松岡 晋	266201	134
ドイツ語IA	武田 利勝	266301	135
ドイツ語IA	杉本 正俊	266401	135
ドイツ語IB	南 はるつ	267101	135
ドイツ語IB	武田 利勝	267201	136
ドイツ語IB	岡本 時子	267301	136
ドイツ語IC (会話) ドイツ語IC (会話) [再クラス]	清水 修	268001	136
ドイツ語II A	松岡 晋	268101	137
ドイツ語II A	飯塚 公夫	268111	137
ドイツ語II B	藪下 紘一	268501	137
ドイツ語II B	森 公成	268511	138
ドイツ語II C (会話) ドイツ語II C (会話) [再クラス]	井村 行子	268601	138
ドイツ語III A ドイツ語III A [再クラス]	野島 利彰	268801	138
フランス語IA	佐藤 久美子	269101	138
フランス語IA	東 辰之介	269201	139
フランス語IA	遠山 博雄	269301	139
フランス語IB	桑田 禮彰	270101	139
フランス語IB	浜崎 設夫	270201	140
フランス語IB	谷川 かおる	270301	140
フランス語IC (会話) フランス語IC (会話) [再クラス]	東 辰之介	271101	140
フランス語II A	東 辰之介	271201	141
フランス語II A	遠山 博雄	271211	141
フランス語II B	畑中 千晶	271601	141
フランス語II B	遠山 博雄	271611	141
フランス語II C (会話) フランス語II C (会話) [再クラス]	大野 英士	271701	142
フランス語III A フランス語III A [再クラス]	大野 英士	271901	142
中国語IA	根岸 政子	272201	142
中国語IB	下出 宣子	274601	142
中国語IA	小栗山 恵	272301	143
中国語IB	徳間 佳信	274701	143
中国語IA	橋本 幸枝	272401	143
中国語IB	張 渭涛	274801	143

科目名	担当者名	履修コード	ページ
中国語IA	本間 由香利	272501	143
中国語IB	曹 泰和	274901	143
中国語IA	吉田 建一郎	272601	143
中国語IB	布施 直子	275001	143
中国語IA	小川 隆	272701	144
中国語IB	小川 隆	275101	144
中国語IIA	吉田 建一郎	277201	144
中国語IIA	梅田 雅子	277301	144
中国語IIA	児島 弘一郎	277401	145
中国語IIA	弘兼 加奈子	277501	145
中国語IIB	児島 弘一郎	278301	145
中国語IIB	秋元 翼	278401	145
中国語IIB	李 雲	278501	146
中国語IIB	本間 由香利	278511	146
中国語IIC (会話) 中国語IIC (会話) [再クラス]	宮本 厚子	278601	146
中国語IIIA 中国語IIIA [再クラス]	王 聡	279101	147
中国語IIIA 中国語IIIA [再クラス]	宮本 厚子	279111	147
スペイン語IA	佐藤 佐知	279401	147
スペイン語IA	ルイズティノコ、 C.	279501	147
スペイン語IA	中島 聡子	279601	148
スペイン語IA	上野 勝広	279611	148
スペイン語IB	佐藤 麻里乃	280701	148
スペイン語IB	米田 博美	280801	149
スペイン語IB	栗林 ゆき絵	280901	149
スペイン語IB	荻野 恵	280911	150
スペイン語IC (会話) スペイン語IC (会話) [再クラス]	ルイズティノコ、 C.	282001	150
スペイン語IIA	真下 祐一	282101	150
スペイン語IIA	石井 登	282111	151
スペイン語IIA	大岩 功	282121	151
スペイン語IIB	大岩 功	282601	151
スペイン語IIB	上野 勝広	282611	152
スペイン語IIB	齊藤 明美	282621	152
スペイン語IIC (会話) スペイン語IIC (会話) [再クラス]	真下 祐一	282701	153
スペイン語IIIA スペイン語IIIA [再クラス]	真下 祐一	283001	153
ロシア語IA	杉山 秀子	283301	153
ロシア語IB	廣田 英靖	283701	154
ロシア語IC (会話) ロシア語IC (会話) [再クラス]	佐野 朝子	284101	154
ロシア語IIA	木村 英明	284201	154
ロシア語IIB	佐野 朝子	284501	155
ロシア語IIC (会話) ロシア語IIC (会話) [再クラス]	クロチコフ、Y.	284601	155
ロシア語IIIA ロシア語IIIA [再クラス]	クロチコフ、Y.	284801	155

《再履修クラス》

科目名	担当者名	履修コード	ページ
英語IA [再クラス]	大淵 利春	291501	156
英語IA [再クラス]	山口 晃	291601	156
英語IA [再クラス]	伊藤 美代子	291701	156
英語IA [再クラス]	岩井 洋美	291801	156
英語IA [再クラス]	飯沼 好永	291901	157

科目名	担当者名	履修コード	ページ
英語IA〔再クラス〕	町田 成男	292001	157
英語IA〔再クラス〕	外池 一子	292301	157
英語IA〔再クラス〕	太田 由紀子	292601	158
英語IA〔再クラス〕	手島 敬子	292701	158
英語IB〔再クラス〕	三芳 康義	293201	158
英語IB〔再クラス〕	安齋 薫	293401	159
英語IB〔再クラス〕	濱口 真木	293601	159
英語IB〔再クラス〕	白鳥 義博	293901	159
英語IB〔再クラス〕	川崎 笑佳	294001	159
英語IB〔再クラス〕	岩原 康夫	294101	160
英語IB〔再クラス〕	近藤 真彫	294201	160
英語IB〔再クラス〕	江田 幸子	294211	160
英語IC(会話) 英語IC(会話)〔再クラス〕	ロンゴ、T.	247101	161
英語IC(会話) 英語IC(会話)〔再クラス〕	ミックエリゴッ ト、J. P.	247701	161
英語IIA〔再クラス〕	太田 美智子	294601	161
英語IIA〔再クラス〕	埴 美智子	295001	162
英語IIA〔再クラス〕	小泉 和弘	295101	162
英語IIA〔再クラス〕	川崎 浩太郎	295301	162
英語IIA〔再クラス〕	佐藤 江里子	295401	162
英語IIA〔再クラス〕	梅原 敏弘	295501	163
英語IIA〔再クラス〕	笹倉 貞夫	295601	163
英語IIB〔再クラス〕	濱口 真木	295801	163
英語IIB〔再クラス〕	行廣 泰三	295901	164
英語IIB〔再クラス〕	高野 秀夫 (後期) ・甲斐 捷子 (前期)	296201	164
英語IIB〔再クラス〕	佐藤 江里子	296301	165
英語IIB〔再クラス〕	丸小 哲雄	296501	165
英語IIB〔再クラス〕	本間 俊一	296901	166
英語IIC(会話) 英語IIC(会話)〔再クラス〕	セイジ、K	260001	166
英語IIIA 英語IIIA〔再クラス〕	伊藤 美代子	262301	166
英語IIIA 英語IIIA〔再クラス〕	岩井 洋美	262401	167
英語IIIA 英語IIIA〔再クラス〕	小布施 圭佐三	262501	167
英語IIIA 英語IIIA〔再クラス〕	松堂 啓子	262601	168
英語IIIA 英語IIIA〔再クラス〕	佐藤 孝一	262701	168
英語IIIA 英語IIIA〔再クラス〕	町田 成男	262801	169
英語IIIA 英語IIIA〔再クラス〕	鈴木 美貴子	262901	169
英語IIIA 英語IIIA〔再クラス〕	竹村 恵都子	263001	169
英語IIIA 英語IIIA〔再クラス〕	吉江 正雄	263101	170
ドイツ語IA〔再クラス〕	本橋 右京	297101	170
ドイツ語IA〔再クラス〕	志真 斗美恵	297201	170
ドイツ語IA〔再クラス〕	武田 利勝	297401	171
ドイツ語IA〔再クラス〕	野島 利彰	297411	171
ドイツ語IB〔再クラス〕	飯塚 公夫	297501	171
ドイツ語IB〔再クラス〕	杉本 正俊	297601	171
ドイツ語IB〔再クラス〕	藪下 紘一	297801	172
ドイツ語IB〔再クラス〕	南 はるつ	297901	172
ドイツ語IC(会話) ドイツ語IC(会話)〔再クラス〕	清水 修	268001	172
ドイツ語IIA〔再クラス〕	森 公成	298001	172

経営学科・経営学科フレックスA・市場戦略学科

科目名	担当者名	履修コード	ページ
ドイツ語II B〔再クラス〕	森 公成	298002	172
ドイツ語II A〔再クラス〕	本橋 右京	298101	173
ドイツ語II B〔再クラス〕	本橋 右京	298102	173
ドイツ語II A〔再クラス〕	薮下 紘一	298201	173
ドイツ語II B〔再クラス〕	薮下 紘一	298202	173
ドイツ語II C (会話) ドイツ語II C (会話)〔再クラス〕	井村 行子	268601	173
ドイツ語III A ドイツ語III A〔再クラス〕	野島 利彰	268801	173
フランス語IA〔再クラス〕	芦原 眷	298801	173
フランス語IA〔再クラス〕	大野 英士	298901	174
フランス語IA〔再クラス〕	菅原 猛	299001	174
フランス語IA〔再クラス〕	谷川 かおる	299011	174
フランス語IB〔再クラス〕	菅谷 暁	299101	174
フランス語IB〔再クラス〕	今関 アン	299201	175
フランス語IB〔再クラス〕	伊藤 なお	299301	175
フランス語IB〔再クラス〕	谷川 かおる	299501	175
フランス語IC (会話) フランス語IC (会話)〔再クラス〕	東 辰之介	271101	175
フランス語II A〔再クラス〕	畑中 千晶	299601	176
フランス語II B〔再クラス〕	畑中 千晶	299602	176
フランス語II A〔再クラス〕	今関 アン	299701	176
フランス語II B〔再クラス〕	今関 アン	299702	176
フランス語II A〔再クラス〕	桑田 禮彰	299801	176
フランス語II B〔再クラス〕	桑田 禮彰	299802	176
フランス語II C (会話) フランス語II C (会話)〔再クラス〕	大野 英士	271701	177
フランス語III A フランス語III A〔再クラス〕	大野 英士	271901	177
中国語IA〔再クラス〕	秋元 翼	300601	177
中国語IB〔再クラス〕	秋元 翼	300602	177
中国語IC (会話)〔再クラス〕	秋元 翼	300603	177
中国語IA〔再クラス〕	天野 節	301201	178
中国語IB〔再クラス〕	天野 節	301202	178
中国語IC (会話)〔再クラス〕	天野 節	301203	178
中国語IA〔再クラス〕	小川 隆	301301	178
中国語IB〔再クラス〕	小川 隆	301302	178
中国語IC (会話)〔再クラス〕	小川 隆	301303	178
中国語IA〔再クラス〕	布施 直子	301401	178
中国語IB〔再クラス〕	布施 直子	301402	178
中国語IC (会話)〔再クラス〕	布施 直子	301403	178
中国語IA〔再クラス〕	弘兼 加奈子	301501	178
中国語IB〔再クラス〕	弘兼 加奈子	301502	178
中国語IC (会話)〔再クラス〕	弘兼 加奈子	301503	178
中国語IA〔再クラス〕	曹 泰和	301511	179
中国語IB〔再クラス〕	曹 泰和	301512	179
中国語IC (会話)〔再クラス〕	曹 泰和	301513	179
中国語II A〔再クラス〕	本間 由香利	301801	179
中国語II B〔再クラス〕	本間 由香利	301802	179
中国語II A〔再クラス〕	大久保 明男	301901	179
中国語II B〔再クラス〕	大久保 明男	301902	179
中国語II A〔再クラス〕	李 雲	302001	179
中国語II B〔再クラス〕	李 雲	302002	179
中国語II C (会話) 中国語II C (会話)〔再クラス〕	宮本 厚子	278601	180
中国語III A 中国語III A〔再クラス〕	王 聡	279101	180
中国語III A 中国語III A〔再クラス〕	宮本 厚子	279111	180

科目名	担当者名	履修コード	ページ
スペイン語IA〔再クラス〕	大岩 功	302601	181
スペイン語IB〔再クラス〕	大岩 功	302602	181
スペイン語IA〔再クラス〕	齊藤 明美	302701	181
スペイン語IB〔再クラス〕	齊藤 明美	302702	181
スペイン語IA〔再クラス〕	石井 登	302801	181
スペイン語IB〔再クラス〕	石井 登	302802	181
スペイン語IA〔再クラス〕	荻野 恵	303001	182
スペイン語IB〔再クラス〕	荻野 恵	303002	182
スペイン語IA〔再クラス〕	佐藤 麻里乃	303011	182
スペイン語IB〔再クラス〕	佐藤 麻里乃	303012	182
スペイン語IC(会話) スペイン語IC(会話)〔再クラス〕	ルイズティノコ、 C.	282001	182
スペイン語IIA〔再クラス〕	齊藤 明美	303101	183
スペイン語IIB〔再クラス〕	齊藤 明美	303102	183
スペイン語IIA〔再クラス〕	大岩 功	303201	183
スペイン語IIB〔再クラス〕	大岩 功	303202	183
スペイン語IIA〔再クラス〕	石井 登	303301	184
スペイン語IIB〔再クラス〕	石井 登	303302	184
スペイン語IIC(会話) スペイン語IIC(会話)〔再クラス〕	真下 祐一	282701	184
スペイン語IIIA スペイン語IIIA〔再クラス〕	真下 祐一	283001	184
ロシア語IA〔再クラス〕	廣田 英靖	303501	185
ロシア語IB〔再クラス〕	廣田 英靖	303502	185
ロシア語IA〔再クラス〕	佐野 朝子	303601	185
ロシア語IB〔再クラス〕	佐野 朝子	303602	185
ロシア語IA〔再クラス〕	木村 英明	303701	186
ロシア語IB〔再クラス〕	木村 英明	303702	186
ロシア語IA〔再クラス〕	安徳 ニーナ	303801	186
ロシア語IB〔再クラス〕	安徳 ニーナ	303802	186
ロシア語IC(会話) ロシア語IC(会話)〔再クラス〕	佐野 朝子	284101	186
ロシア語IIA〔再クラス〕	クロチコフ、Y.	303901	187
ロシア語IIB〔再クラス〕	クロチコフ、Y.	303902	187
ロシア語IIA〔再クラス〕	大須賀 史和	304001	187
ロシア語IIB〔再クラス〕	大須賀 史和	304002	187
ロシア語IIA〔再クラス〕	安徳 ニーナ	304101	187
ロシア語IIB〔再クラス〕	安徳 ニーナ	304102	187
ロシア語IIC(会話) ロシア語IIC(会話)〔再クラス〕	クロチコフ、Y.	284601	187
ロシア語IIIA ロシア語IIIA〔再クラス〕	クロチコフ、Y.	284801	188

《選択科目》

科目名	担当者名	履修コード	ページ
英文講読	林 明人	284901	189
英文講読	矢島 直子	285001	189
英文講読	前田 脩	285101	189
時事英語研究	岡本 誠	285701	190
時事英語研究	梅原 敏弘	285801	190
時事英語研究	白鳥 義博	285811	190
時事英語研究	落合 和昭	285901	191
時事英語研究	矢島 直子	285911	192
マルチ・メディア	落合 和昭	286501	193
マルチ・メディア	大庭 直樹	286601	194
マルチ・メディア	梅原 敏弘	286701	194

科目名	担当者名	履修コード	ページ
マルチ・メディア	大庭 直樹	286801	195
英会話I	セイジ、K	264201	195
英会話I	セイジ、K	264301	195
英会話I	セイジ、K	264601	195
英会話I	ウェルズ、J.K.	264401	196
英会話I	ウェルズ、J.K.	264501	196
英会話I	ウェルズ、J.K.	264801	196
英会話I	ウェルズ、J.K.	265321	196
英会話I	ミックエリゴット、J.P.	264701	197
英会話I	ミックエリゴット、J.P.	265001	197
英会話I	ミックエリゴット、J.P.	265311	197
英会話I	レーン、C.M.	264901	197
英会話I	レイン、R.V.	265201	198
英会話I	ロンゴ、T.	265101	199
英会話I	ロンゴ、T.	265301	199
英会話II	セイジ、K	287401	200
英会話II	ロンゴ、T.	287501	201
英会話II	レイン、R.V.	287601	202
英会話III	ウェルズ、J.K.	287701	202
英会話III	レーン、C.M.	287801	203
英語LLI	西村 祐子	265401	204
英語LLI	岸本 茂和	265501	204
英語LLI	井伊 順彦	265601	205
英語LLI	川崎 浩太郎	265701	205
英語LLI	外池 一子	265801	205
英語LLI	外池 一子	265901	205
英語LLI	甲斐 捷子	266001	206
英語LLI	久保 ひさ子	266101	206
英語LLII	セイジ、K	288501	206
英語LLII	高橋 明子	288601	207
英語LLII	加藤 佐和子	288701	207
英語LLIII	勅使河原 三保子	289301	207
英語LLIII	西村 祐子	289401	208
英語LLIII	久保 ひさ子	289501	208
現代を読むドイツ語	野島 利彰	286001	209
ドイツ語スキルアップ	堀内 美江	286901	209
ドイツ語コミュニケーションI	小林 ゲアリンデ	288001	209
ドイツ語コミュニケーションII	小林 ゲアリンデ	288801	210
ドイツ語IA (選)	武田 利勝	289601	210
ドイツ語IB (選)	井村 行子	290201	210
ドイツ語II (選)	井村 行子	290801	210
現代を読むフランス語	桑田 禮彰	286101	211
フランス語スキルアップ	遠山 博雄	287001	211
フランス語コミュニケーションI	ラリア・三倉、M.	288101	211
フランス語コミュニケーションII	ラリア・三倉、M.	288901	211
フランス語IA (選)	東 辰之介	289701	212
フランス語IA (選)	出口 雅敏	289711	212

科目名	担当者名	履修コード	ページ
フランス語IB (選)	菅原 猛	290301	212
フランス語II (選)	桑田 禮彰	290901	212
現代を読む中国語	岩崎 皇	286201	213
中国語スキルアップ	児島 弘一郎	287101	213
中国語コミュニケーションI	陳 洲拳	288201	213
中国語コミュニケーションII	小川 隆	289001	213
中国語IA (選)	吉田 建一郎	289801	214
中国語IA (選)	岩崎 皇	289811	214
中国語IB (選)	大久保 明男	290401	214
中国語II (選)	三田村 圭子	291001	214
現代を読むスペイン語	齊藤 明美	286301	215
スペイン語スキルアップ	上野 勝広	287201	215
スペイン語コミュニケーションI	モラーレス、 ムニョス、S.	288301	215
スペイン語コミュニケーションII	モラーレス、 ムニョス、S.	289101	216
スペイン語IA (選)	中島 聡子	289901	216
スペイン語IB (選)	齊藤 明美	290501	217
スペイン語II (選)	佐藤 麻里乃	291101	217
現代を読むロシア語	木村 英明	286401	217
ロシア語スキルアップ	クロチコフ、Y.	287301	218
ロシア語コミュニケーションI	安德 ニーナ	288401	218
ロシア語コミュニケーションII	安德 ニーナ	289201	218
ロシア語IA (選)	クロチコフ、Y.	290001	219
ロシア語IB (選)	木村 英明	290601	219
ロシア語II (選)	クロチコフ、Y.	291201	219
朝鮮語IA (選)	宋 美玲	290101	220
朝鮮語IB (選)	宋 美玲	290701	220
朝鮮語II (選)	宋 美玲	291211	220

4. 保健体育科目

科目名	担当者名	履修コード	ページ
健康・スポーツ実習（テニス）	江口 淳一	195401	223
健康・スポーツ実習（サッカー）	岩本 哲也	195401	224
健康・スポーツ実習（トレーニング）	光永 吉輝	195401	225
健康・スポーツ実習（体操・トランポリン）	竹田 幸夫	195401	226
健康・スポーツ実習（卓球）	秋田 浩一	195401	227
健康・スポーツ実習（室内球技）	山口 良博	195401	227
健康・スポーツ実習（卓球）	秋田 浩一	195501	228
健康・スポーツ実習（サッカー）	岩本 哲也	195501	228
健康・スポーツ実習（屋外球技）	鈴木 淳平	195501	229
健康・スポーツ実習（室内球技）	山口 良博	195501	229
健康・スポーツ実習（体操・トランポリン）	竹田 幸夫	195501	230
健康・スポーツ実習（空手道）	高橋 俊介	195501	230
健康・スポーツ実習（室内球技）	山口 良博	195511	231
健康・スポーツ実習（サッカー）	岩本 哲也	195511	231
健康・スポーツ実習（空手道）	高橋 俊介	195511	232
健康・スポーツ実習（体操・トランポリン）	竹田 幸夫	195511	232
健康・スポーツ実習（トレーニング）	光永 吉輝	195511	233
健康・スポーツ実習（テニス）	江口 淳一	195511	234
健康・スポーツ実習（ソフトボール）	鈴木 淳平	195511	234
健康・スポーツ実習〔再クラス〕（室内球技）	三幣 晴三	195901	235
健康・スポーツ実習〔再クラス〕（室内球技）	三幣 晴三	196001	235
健康・スポーツ実習〔再クラス〕（室内球技）	三幣 晴三	196101	235
健康・スポーツ実習〔再クラス〕（室内球技）	三幣 晴三	196201	235
健康・スポーツ実習〔再クラス〕（室内球技）	三幣 晴三	196301	235
健康・スポーツ実習（集中授業）〔再クラス〕（室内球技）	山口 良博 （前期）	196401	235
健康・スポーツ実習（集中授業）〔再クラス〕（ダブルダッチ）	末次 美樹 （前期）	196401	236
健康・スポーツ実習（集中授業）〔再クラス〕（太極拳）	大石 武士 （前期）	196401	237
健康・スポーツ実習（集中授業）〔再クラス〕（バドミントン）	牧野 茂（前期）	196401	238
健康・スポーツ実習（集中授業）〔再クラス〕（卓球）	鈴木 淳平 （後期）	196401	239
健康・スポーツ実習（集中授業）〔再クラス〕（ソフトボール）	高橋 俊介 （後期）	196401	240
健康・スポーツ実習（集中授業）〔再クラス〕（屋外球技）	岩本 哲也 （後期）	196401	241
健康・スポーツ実習（集中授業）〔再クラス〕（室内球技）	村松 誠（後期）	196401	242
健康・スポーツ実習（集中授業）（室内球技）	山口 良博 （前期）	196402	235
健康・スポーツ実習（集中授業）（ダブルダッチ）	末次 美樹 （前期）	196402	236
健康・スポーツ実習（集中授業）（太極拳）	大石 武士 （前期）	196402	237
健康・スポーツ実習（集中授業）（バドミントン）	牧野 茂（前期）	196402	238

科目名	担当者名	履修コード	ページ
健康・スポーツ実習（集中授業）（卓球）	鈴木 淳平 （後期）	196402	239
健康・スポーツ実習（集中授業）（ソフトボール）	高橋 俊介 （後期）	196402	240
健康・スポーツ実習（集中授業）（屋外球技）	岩本 哲也 （後期）	196402	241
健康・スポーツ実習（集中授業）（室内球技）	村松 誠（後期）	196402	242
生涯スポーツ実習I（前期・基礎）（室内球技）	渡辺 一郎	196501	242
生涯スポーツ実習II（前期・基礎）（室内球技）	渡辺 一郎	196502	242
生涯スポーツ実習III（前期・基礎）（室内球技）	渡辺 一郎	196503	242
生涯スポーツ実習IV（前期・基礎）（室内球技）	渡辺 一郎	196504	242
生涯スポーツ実習I（後期・基礎）（室内球技）	渡辺 一郎	196601	243
生涯スポーツ実習II（後期・基礎）（室内球技）	渡辺 一郎	196602	243
生涯スポーツ実習III（後期・基礎）（室内球技）	渡辺 一郎	196603	243
生涯スポーツ実習IV（後期・基礎）（室内球技）	渡辺 一郎	196604	243
生涯スポーツ実習I（前期・応用）（室内球技）	渡辺 一郎	196701	243
生涯スポーツ実習II（前期・応用）（室内球技）	渡辺 一郎	196702	243
生涯スポーツ実習III（前期・応用）（室内球技）	渡辺 一郎	196703	243
生涯スポーツ実習IV（前期・応用）（室内球技）	渡辺 一郎	196704	243
生涯スポーツ実習I（後期・応用）（室内球技）	渡辺 一郎	196801	244
生涯スポーツ実習II（後期・応用）（室内球技）	渡辺 一郎	196802	244
生涯スポーツ実習III（後期・応用）（室内球技）	渡辺 一郎	196803	244
生涯スポーツ実習IV（後期・応用）（室内球技）	渡辺 一郎	196804	244
生涯スポーツ実習I（前期・応用）（室内球技）	渡辺 一郎	196901	244
生涯スポーツ実習II（前期・応用）（室内球技）	渡辺 一郎	196902	244
生涯スポーツ実習III（前期・応用）（室内球技）	渡辺 一郎	196903	244
生涯スポーツ実習IV（前期・応用）（室内球技）	渡辺 一郎	196904	244
生涯スポーツ実習I（後期・応用）（室内球技）	渡辺 一郎	197001	245
生涯スポーツ実習II（後期・応用）（室内球技）	渡辺 一郎	197002	245
生涯スポーツ実習III（後期・応用）（室内球技）	渡辺 一郎	197003	245
生涯スポーツ実習IV（後期・応用）（室内球技）	渡辺 一郎	197004	245
生涯スポーツ実習I（前期・応用）（ミニサッカー）	大石 武士	197101	245
生涯スポーツ実習II（前期・応用）（ミニサッカー）	大石 武士	197102	245
生涯スポーツ実習III（前期・応用）（ミニサッカー）	大石 武士	197103	245
生涯スポーツ実習IV（前期・応用）（ミニサッカー）	大石 武士	197104	245
生涯スポーツ実習I（後期・応用）（ミニサッカー）	大石 武士	197201	246
生涯スポーツ実習II（後期・応用）（ミニサッカー）	大石 武士	197202	246
生涯スポーツ実習III（後期・応用）（ミニサッカー）	大石 武士	197203	246
生涯スポーツ実習IV（後期・応用）（ミニサッカー）	大石 武士	197204	246
生涯スポーツ実習I（前期・基礎）（簡化太極拳）	大石 武士	197301	246
生涯スポーツ実習II（前期・基礎）（簡化太極拳）	大石 武士	197302	246
生涯スポーツ実習III（前期・基礎）（簡化太極拳）	大石 武士	197303	246
生涯スポーツ実習IV（前期・基礎）（簡化太極拳）	大石 武士	197304	246
生涯スポーツ実習I（後期・基礎）（簡化太極拳）	大石 武士	197401	247
生涯スポーツ実習II（後期・基礎）（簡化太極拳）	大石 武士	197402	247
生涯スポーツ実習III（後期・基礎）（簡化太極拳）	大石 武士	197403	247
生涯スポーツ実習IV（後期・基礎）（簡化太極拳）	大石 武士	197404	247
生涯スポーツ実習I（前期・基礎）（室内球技）	下谷内 勝利	197501	247
生涯スポーツ実習II（前期・基礎）（室内球技）	下谷内 勝利	197502	247
生涯スポーツ実習III（前期・基礎）（室内球技）	下谷内 勝利	197503	247
生涯スポーツ実習IV（前期・基礎）（室内球技）	下谷内 勝利	197504	247

経営学科・経営学科フレックスA・市場戦略学科

科目名	担当者名	履修コード	ページ
生涯スポーツ実習I(後期・基礎)(室内球技)	下谷内 勝利	197601	248
生涯スポーツ実習II(後期・基礎)(室内球技)	下谷内 勝利	197602	248
生涯スポーツ実習III(後期・基礎)(室内球技)	下谷内 勝利	197603	248
生涯スポーツ実習IV(後期・基礎)(室内球技)	下谷内 勝利	197604	248
生涯スポーツ実習I(前期・基礎)(室内球技)	下谷内 勝利	197701	249
生涯スポーツ実習II(前期・基礎)(室内球技)	下谷内 勝利	197702	249
生涯スポーツ実習III(前期・基礎)(室内球技)	下谷内 勝利	197703	249
生涯スポーツ実習IV(前期・基礎)(室内球技)	下谷内 勝利	197704	249
生涯スポーツ実習I(後期・基礎)(室内球技)	下谷内 勝利	197801	250
生涯スポーツ実習II(後期・基礎)(室内球技)	下谷内 勝利	197802	250
生涯スポーツ実習III(後期・基礎)(室内球技)	下谷内 勝利	197803	250
生涯スポーツ実習IV(後期・基礎)(室内球技)	下谷内 勝利	197804	250
生涯スポーツ実習I(前期・応用)(卓球)	村松 誠	197901	250
生涯スポーツ実習II(前期・応用)(卓球)	村松 誠	197902	250
生涯スポーツ実習III(前期・応用)(卓球)	村松 誠	197903	250
生涯スポーツ実習IV(前期・応用)(卓球)	村松 誠	197904	250
生涯スポーツ実習I(後期・応用)(卓球)	村松 誠	198001	251
生涯スポーツ実習II(後期・応用)(卓球)	村松 誠	198002	251
生涯スポーツ実習III(後期・応用)(卓球)	村松 誠	198003	251
生涯スポーツ実習IV(後期・応用)(卓球)	村松 誠	198004	251
生涯スポーツ実習I(前期・基礎)(ダブルダッチ)	末次 美樹	198101	251
生涯スポーツ実習II(前期・基礎)(ダブルダッチ)	末次 美樹	198102	251
生涯スポーツ実習III(前期・基礎)(ダブルダッチ)	末次 美樹	198103	251
生涯スポーツ実習IV(前期・基礎)(ダブルダッチ)	末次 美樹	198104	251
生涯スポーツ実習I(後期・基礎)(ダブルダッチ)	末次 美樹	198201	252
生涯スポーツ実習II(後期・基礎)(ダブルダッチ)	末次 美樹	198202	252
生涯スポーツ実習III(後期・基礎)(ダブルダッチ)	末次 美樹	198203	252
生涯スポーツ実習IV(後期・基礎)(ダブルダッチ)	末次 美樹	198204	252
生涯スポーツ実習I(前期・応用)(室内球技)	末次 美樹	198301	252
生涯スポーツ実習II(前期・応用)(室内球技)	末次 美樹	198302	252
生涯スポーツ実習III(前期・応用)(室内球技)	末次 美樹	198303	252
生涯スポーツ実習IV(前期・応用)(室内球技)	末次 美樹	198304	252
生涯スポーツ実習I(後期・応用)(室内球技)	末次 美樹	198401	253
生涯スポーツ実習II(後期・応用)(室内球技)	末次 美樹	198402	253
生涯スポーツ実習III(後期・応用)(室内球技)	末次 美樹	198403	253
生涯スポーツ実習IV(後期・応用)(室内球技)	末次 美樹	198404	253
生涯スポーツ実習I(前期・応用)(バスケットボール)	牧野 茂	198701	253
生涯スポーツ実習II(前期・応用)(バスケットボール)	牧野 茂	198702	253
生涯スポーツ実習III(前期・応用)(バスケットボール)	牧野 茂	198703	253
生涯スポーツ実習IV(前期・応用)(バスケットボール)	牧野 茂	198704	253
生涯スポーツ実習I(後期・応用)(バスケットボール)	牧野 茂	198801	254
生涯スポーツ実習II(後期・応用)(バスケットボール)	牧野 茂	198802	254
生涯スポーツ実習III(後期・応用)(バスケットボール)	牧野 茂	198803	254
生涯スポーツ実習IV(後期・応用)(バスケットボール)	牧野 茂	198804	254
生涯スポーツ実習I(前期・基礎)(バスケットボール)	牧野 茂	198901	254
生涯スポーツ実習II(前期・基礎)(バスケットボール)	牧野 茂	198902	254
生涯スポーツ実習III(前期・基礎)(バスケットボール)	牧野 茂	198903	254
生涯スポーツ実習IV(前期・基礎)(バスケットボール)	牧野 茂	198904	254
生涯スポーツ実習I(後期・基礎)(バスケットボール)	牧野 茂	199001	255
生涯スポーツ実習II(後期・基礎)(バスケットボール)	牧野 茂	199002	255
生涯スポーツ実習III(後期・基礎)(バスケットボール)	牧野 茂	199003	255

科目名	担当者名	履修コード	ページ
生涯スポーツ実習IV（後期・基礎）（バスケットボール）	牧野 茂	199004	255
生涯スポーツ演習I（シーズン基礎）（ゴルフ）	三幣 晴三 佐藤 政之 下谷内 勝利 末次 美樹 鈴木 淳平 竹田 幸夫 館岡 儀秋 牧野 茂 光永 吉輝	199301	256
生涯スポーツ演習I（シーズン応用）（ゴルフ）	三幣 晴三 佐藤 政之 下谷内 勝利 末次 美樹 鈴木 淳平 竹田 幸夫 館岡 儀秋 牧野 茂 光永 吉輝	199302	256
生涯スポーツ演習II（シーズン基礎）（スキー・スノーボード）	鈴木 淳平 秋田 浩一 岩本 哲也 江口 淳一 佐藤 政之 下谷内 勝利 末次 美樹 竹田 幸夫 山口 良博	199401	257
生涯スポーツ演習II（シーズン応用）（スキー・スノーボード）	鈴木 淳平 秋田 浩一 岩本 哲也 江口 淳一 佐藤 政之 下谷内 勝利 末次 美樹 竹田 幸夫 山口 良博	199402	257
生涯スポーツ実習（集中前期・基礎）（テニス）	江口 淳一	199501	258
生涯スポーツ実習（集中前期・応用）（テニス）	江口 淳一	199502	258
生涯スポーツ実習（集中後期・基礎）（ゴルフ）	三幣 晴三	199701	259
生涯スポーツ実習（集中後期・応用）（ゴルフ）	三幣 晴三	199702	259
健康・スポーツ論 1	江口 淳一	200801	260
健康・スポーツ論 1	光永 吉輝	200901	261
健康・スポーツ論 2	大石 武士	201201	262
健康・スポーツ論 2	下谷内 勝利	201401	262
健康・スポーツ論 2	村松 誠	201601	263
健康・スポーツ論 2	牧野 茂	201801	263
余暇学	竹田 幸夫	202001	264

科目名	担当者名	履修コード	ページ
余暇学	三幣 晴三	202201	264

Ⅱ 専門教育科目

・平成19年度以前入学生で、『授業時間表』の区分「B」の科目を履修する場合は、フレックスBの専門教育科目のページを参照してください。

科目名	担当者名	履修コード	ページ
経営学	鹿嶋 秀晃	135901	267
経営学	鹿嶋 秀晃	136001	267
経営学	高井 徹雄	136011	268
経済学概説	新井 泰弘	135001	269
経済学概説	滝田 公一	134901	270
経済学概説	滝田 公一	135011	270
簿記学	大野 満奈	135301	270
簿記学	小田 幹雄	135101	271
簿記学	小田 幹雄	135701	271
簿記学	猿山 義広	135811	271
簿記学	高田 光明	135201	272
簿記学	水野 恵子	135401	272
簿記学	水野 恵子	135601	272
簿記学	水野 恵子	135801	272
簿記学	矢島 正	135501	273
会計学	岸田 隆行	136101	273
会計学	岸田 隆行	136211	273
会計学	岩渕 昭子	136201	274
市場戦略概説	青木 茂樹	136251	274
経営管理論	渡辺 伊津子	139701	275
経営組織論	日野 健太	140201	275
経済原論	明石 博行	136301	276
近代経済学	滝田 公一	136402	276
産業組織論	滝田 公一	136401	276
財務会計論	山田 純平	142201	277
外書講読(英書I)	枝松 正行	144101	277
外書講読(英書I)	中野 香織	144201	278
現代企業論	中川 功一	139411	278
現代企業論	中川 功一	139421	278
経営学史	中川 淳平	139501	279
アメリカ経営学	宮城 徹	141201	280
ドイツ経営学	高橋 成夫	142701	281
経営労務論	休講	140001	
経営心理学	下村 英雄	140051	281
生産管理論	藤原 篤志	142601	282
マーケティング論	兼村 栄哲	143201	282
流通システム論	青木 茂樹	143211	283
経営財務論	高田 光明	139901	283
国際経営論	臼井 哲也	142401	284
経営戦略論	中村 公一	143301	284
バンチャー企業論	許 伸江	143401	285
経営史	前田 和利	139601	285
環境経営論	川村 雅彦	143501	286
日本経営史	大島 久幸	142101	286

経営学科・経営学科フレックスA・市場戦略学科

科目名	担当者名	履修コード	ページ
商業史	山田 勝	142301	287
リスクマネジメント論	石名坂 邦昭	142351	287
保険経営論	岡田 太	140401	287
銀行経営論	服部 昌久	141501	288
商業経営論	石川 和男	140301	289
サービス経営論	休講	140351	
e-ビジネス	安岡 寛道	140851	290
製品開発論	宮下 雄治	143221	290
消費者行動論	菅野 佐織	143231	291
マーケティング・コミュニケーション論	中野 香織	143241	291
マーケティング・チャネル論	青木 茂樹	143251	292
グローバル・マーケティング論	臼井 哲也	143271	292
マーケティング史	石川 和男	143281	293
公益企業論	枝松 正行	140801	294
経済政策	三好 向洋	119111	294
財政学	速水 昇	141601	295
金融論	渡部 訓	140601	295
国際経済論	永田 智則	141701	296
日本経済論	羽鳥 茂	141401	296
証券市場論	勝田 佳裕	142001	297
計量経済学	呉 逸良	143701	297
イノベーション論	羽田 尚子	143601	298
ファイナンス理論	江頭 隆治	143711	298
ゲーム理論A	新井 泰弘	143721	299
ゲーム理論B	新井 泰弘	143731	299
日本経済史	渡辺 新	139301	300
上級簿記	矢島 正	140901	300
管理会計論	猿山 義広	140101	301
原価計算論	岸田 隆行	139801	302
会計監査論	阿部 一人	141801	303
税務会計論	高木 克己	141901	304
経営分析論	片桐 伸夫	141301	304
国際会計論	大倉 学	142801	305
経営数学A	飯田 哲夫	136611	305
経営数学B	飯田 哲夫	136621	305
確率・統計入門A	小沢 利久	136631	306
確率・統計入門B	小沢 利久	136641	306
情報処理基礎A	岩淵 護	137501	306
情報処理基礎A	小沢 利久	137601	307
情報処理基礎A	加藤 武信	137001	307
情報処理基礎A	河内谷 幸子	136701	308
情報処理基礎A	河内谷 幸子	137101	308
情報処理基礎A	地引 昌弘	136801	308
情報処理基礎A	地引 昌弘	136901	308
情報処理基礎A	長 国強	137611	308
情報処理基礎A	中野 秀洋	137631	309
情報処理基礎A	村上 友佳子	137201	310
情報処理基礎A	桃塚 薫	137401	311
情報処理基礎A	依田 聖	137301	311
情報処理基礎A	若山 大樹	137621	312
情報処理基礎B	岩淵 護	137801	312

科目名	担当者名	履修コード	ページ
情報処理基礎B	小沢 利久	138601	312
情報処理基礎B	加藤 武信	138301	313
情報処理基礎B	河内谷 幸子	137901	313
情報処理基礎B	河内谷 幸子	138001	313
情報処理基礎B	地引 昌弘	138101	314
情報処理基礎B	地引 昌弘	138201	314
情報処理基礎B	長 国強	138611	314
情報処理基礎B	中野 秀洋	138631	315
情報処理基礎B	村上 友佳子	138401	315
情報処理基礎B	桃塚 薫	137701	316
情報処理基礎B	依田 聖	138501	316
情報処理基礎B	若山 大樹	138621	317
情報処理応用A	宇谷 明秀	138901	317
情報処理応用B	宇谷 明秀	139101	318
情報処理応用A	若山 大樹	138801	318
情報処理応用B	若山 大樹	139001	319
マーケティング・リサーチA	菅野 佐織	141131	319
マーケティング・リサーチB	菅野 佐織	141141	320
マーケティング・サイエンスA	若山 大樹	141151	320
マーケティング・サイエンスB	若山 大樹	141161	321
サプライチェーン・マネジメントA	休講	141181	
サプライチェーン・マネジメントB	休講	141191	
経営科学概論	西村 和夫	136501	321
経営科学概論	飯田 哲夫	136511	322
マネジメント・サイエンスA	小沢 利久	141111	322
マネジメント・サイエンスB	小沢 利久	141121	323
経営情報システムA	高井 徹雄	141011	323
経営情報システムB	高井 徹雄	140121	324
情報セキュリティA	西村 和夫	142511	324
情報セキュリティB	西村 和夫	142521	324
システム論	宇谷 明秀	143001	325
統計原論	山内 慎二	139201	325
経営統計A	長 国強	140711	326
経営統計B	長 国強	140721	326
民法I (総則・物権法)	須賀 昭徳	127802	326
商法I (総則・会社法)	重田 麻紀子	138701	327
経済法	若林 亜理砂	119701	327
労働法	藤本 茂	098801	328
税法	奥村 正郎	143101	329
民法II (債権法)	上井 長久	143801	330
商法II (商行為、手形・小切手法)	中濱 義章	145001	330
外書講読 (英書II)	前田 和利	144211	331
外書講読 (独書)	藪下 紘一	144301	331
外書講読 (仏書)	桑田 禮彰	144401	331
外書講読 (中国書)	塩旗 伸一郎	144501	332
外書講読 (スペイン書)	上野 勝広	144601	332
外書講読 (ロシア書)	杉山 秀子	144701	332
ビジネス英語	秋葉 滋	144901	333
特殊講義I [現代のビジネスモデル]	猿山 義広	144801	333
特殊講義II [現代の資本主義と証券市場]	王 志安	101203	334
演習I	青木 茂樹	146811	335

科目名	担当者名	履修コード	ページ
演習I	阿部 一人	146901	335
演習I	飯田 哲夫	146201	336
演習I	石名坂 邦昭	146821	336
演習I	鹿嶋 秀晃	147001	336
演習I	片桐 伸夫	146301	337
演習I	兼村 栄哲	146701	338
演習I	菅野 佐織	146831	339
演習I	岸田 隆行	145801	339
演習I	高井 徹雄	146501	340
演習I	高木 克己	145101	340
演習I	滝田 公一	145401	341
演習I	中川 功一	146841	341
演習I	中川 淳平	147151	341
演習I	長 国強	146871	342
演習I	中野 香織	146851	342
演習I	中村 公一	147101	343
演習I	西村 和夫	146801	343
演習I	羽鳥 茂	145501	344
演習I	羽田 尚子	147121	344
演習I	日野 健太	147111	344
演習I	藤原 篤志	146601	345
演習I	山田 純平	146101	345
演習I	山田 勝	147131	345
演習I	若山 大樹	146861	346
演習I	渡辺 伊津子	147141	346
演習II	青木 茂樹	149911	347
演習II	明石 博行	149201	347
演習II	阿部 一人	147201	348
演習II	飯田 哲夫	148901	348
演習II	石名坂 邦昭	147901	348
演習II	小沢 利久	147301	349
演習II	鹿嶋 秀晃	147401	349
演習II	片桐 伸夫	148601	350
演習II	兼村 栄哲	149901	351
演習II	菅野 佐織	149931	352
演習II	岸田 隆行	150011	352
演習II	猿山 義広	149601	353
演習II	高井 徹雄	149921	353
演習II	高木 克己	148801	354
演習II	高田 光明	148301	354
演習II	滝田 公一	148501	355
演習II	中川 功一	149941	355
演習II	長 国強	149401	355
演習II	永田 智則	148001	356
演習II	中野 香織	149951	356
演習II	中村 公一	150001	357
演習II	中川 淳平	149501	357
演習II	西村 和夫	149101	358
演習II	羽鳥 茂	148701	358
演習II	羽田 尚子	149301	358
演習II	日野 健太	147701	359

科目名	担当者名	履修コード	ページ
演習II	藤原 篤志	149801	359
演習II	前田 和利	148101	359
演習II	宮城 徹	148401	360
演習II	山田 純平	147501	360
演習II	山田 勝	148201	360
演習II	若山 大樹	149961	361
演習II	渡辺 伊津子	148351	361
演習III	青木 茂樹	152411	362
演習III	明石 博行	150801	362
演習III	阿部 一人	152501	362
演習III	飯田 哲夫	151201	363
演習III	石名坂 邦昭	151801	363
演習III	小沢 利久	150901	363
演習III	鹿嶋 秀晃	152301	364
演習III	片桐 伸夫	151001	364
演習III	兼村 栄哲	150301	365
演習III	菅野 佐織	152421	365
演習III	岸田 隆行	150601	366
演習III	猿山 義広	152601	366
演習III	高井 徹雄	152611	367
演習III	高木 克己	152101	367
演習III	高田 光明	150101	368
演習III	滝田 公一	152001	368
演習III	中川 功一	152431	368
演習III	中川 淳平	150201	369
演習III	長 国強	152401	369
演習III	永田 智則	151301	369
演習III	中野 香織	152441	370
演習III	中村 公一	151401	370
演習III	西村 和夫	152201	371
演習III	羽鳥 茂	151901	371
演習III	羽田 尚子	150501	371
演習III	日野 健太	151601	371
演習III	藤原 篤志	150401	372
演習III	前田 和利	150701	372
演習III	宮城 徹	151701	372
演習III	山田 純平	151101	373
演習III	山田 勝	151501	373
演習III	若山 大樹	152451	373

Ⅲ 他学部履修科目

・授業時間表の区分「B」の科目を履修する場合は、フレックスBの他学部履修科目のページを参照してください。

科目名	担当者名	履修コード	ページ
インド仏教文化史	金沢 篤	003801	377
中国仏教文化史	永井 政之	003901	377
日本仏教文化史	袴谷 憲昭	004001	378
外国語仏書講読	石井 清純	004101	378
インド哲学史	金沢 篤	004401	378
原始仏教	片山 一良	005301	379
外国語仏書講読	木村 誠司	007001	379
中国哲学史	前川 亨	007401	379
日本哲学史	久保 陽一	007411	380
仏教文献学	野沢 佳美	008901	380
上代文学研究I	中嶋 真也	014101	381
中古文学研究I	松井 健児	014301	381
中世文学研究I	櫻井 陽子	014501	382
近世文学研究I	川元 ひとみ	014701	382
近代文学研究I	榎本 正樹	014901	383
演劇概論	森井 直子	016601	383
西洋思想史	滝沢 正之	016701	383
比較文学	内藤 まりこ	017001	384
日本民俗学	谷口 貢	017101	384
イギリス文学特講I	石原 孝哉	025601	384
イギリス文学特講III	濱口 真木	025801	384
イギリス文学特講IV	川崎 明子	025901	385
イギリス文学特講V	モート、セーラ	026001	386
イギリス文学特講VI	丸小 哲雄	026101	386
演劇特講（イギリス・アメリカ）	落合 和昭	026201	387
アメリカ文学特講I	東 雄一郎	026401	388
時事英語	唐澤 一友	027901	388
文化地理学	小田 匡保	033101	389
人口地理学	平井 誠	035101	389
現代地理学特論	平井 幸弘	041001	390
日本仏教史	松本 信道	046601	390
西洋文化史	西浦 麻美子	046911	390
日本史特講VII〔近代〕	熊本 史雄	048401	391
東洋史特講III〔近世史〕	杉山 清彦	049711	392
考古学特講III	休講	052911	
哲学史	山口 祐弘	053201	392
社会心理学A	坪井 健	058331	393
社会心理学B	休講	058341	
産業と変動の社会学	山田 信行	058371	393
雇用と労働の社会学	山田 信行	058381	394
マス・コミュニケーション論A	川本 勝	058411	394
マス・コミュニケーション論B	川本 勝	058421	395
社会福祉発達史	堀 千鶴子	063901	395
農業政策	溝手 芳計	093501	396
中国経済論	小杉 修二	094701	397
アメリカ経済論	瀬戸岡 紘	094801	398

科目名	担当者名	履修コード	ページ
EU統合論	藤田 憲	095001	399
現代西欧経済論	工藤 芽衣	095101	399
ロシア・東欧経済論	山縣 弘志	095201	400
貿易論	古沢 紘造	097601	401
経済法	若林 亜理砂	119701	401
国際政治学	小堀 訓男	126601	402
ヨーロッパ政治史	浦田 早苗	126701	402
地方自治法	富井 幸雄	127501	403
比較政治学	三竹 直哉	128201	404
現代国家論	大塚 桂	133801	405
経営学史	中川 淳平	139501	405
経営史	前田 和利	139601	406
経営労務論	休講	140001	
アメリカ経営学	宮城 徹	141201	407
経営分析論	片桐 伸夫	141301	408
国際経済論	永田 智則	141701	408
税務会計論	高木 克己	141901	409
リスクマネジメント論	石名坂 邦昭	142351	409
消費者行動論	菅野 佐織	143231	410
マーケティング・コミュニケーション論	中野 香織	143241	410
マーケティング・チャネル論	青木 茂樹	143251	411
医療宗教学	吉津 宜英	164601	412
医療経済学	松元 和敏	164701	412
メディア・コミュニケーション概論	西岡 洋子	427501	413
情報メディア産業論I	福家 秀紀	432001	413
ネットワークコミュニケーション論	菅谷 実	432201	414
比較メディア制度論	西岡 洋子	432401	415
グローバルアート政策論	川崎 賢一	432601	415
情報保護と社会	苗村 憲司	434301	416
映像コンテンツ論	テヅカ ヨシハル	435001	416
メディアと知識論	齋藤 信男	437101	417

IV 「日本語」・「日本事情」科目

(対象：外国人留学生・帰国生)

科目名	担当者名	履修コード	ページ
日本語入門I a	鈴木 美希	230511	421
日本語入門I b	鈴木 美希	230521	421
日本語入門II a	鈴木 美希	230531	421
日本語入門II b	鈴木 美希	230541	422
日本語I a	佐野 典子	230611	422
日本語I b	佐野 典子	230621	422
日本語I a	多田羅 哲子	230631	422
日本語I b	多田羅 哲子	230641	423
日本語II a	佐野 典子	230711	423
日本語II a	多田羅 哲子	230721	423
日本語II b	佐野 典子	230811	423
日本語II b	多田羅 哲子	230821	423
日本語III a	多田羅 哲子	230911	424
日本語III a	湯村 礼子	230921	424
日本語III b	多田羅 哲子	231011	424
日本語III b	湯村 礼子	231021	424
日本語IV a	鈴木 美希	231111	425
日本語IV a	湯村 礼子	231121	425
日本語IV b	鈴木 美希	231211	425
日本語IV b	湯村 礼子	231221	426
日本語V a	石川 守	231311	426
日本語V a	多田羅 哲子	231321	426
日本語V b	石川 守	231411	426
日本語V b	多田羅 哲子	231421	427
日本語VI a	石川 守	231511	427
日本語VI a	多田羅 哲子	231521	427
日本語VI b	石川 守	231611	427
日本語VI b	多田羅 哲子	231621	428
日本事情I〔地理〕	高橋 健太郎	231701	428
日本事情II〔自然〕	清水 善和	231801	428
日本事情III〔歴史〕	井上 桂子	231901	429
日本事情IV〔思想〕	佐藤 美奈子	232001	429
日本事情V〔社会〕	坪井 健	232101	430
日本事情VI〔政治・法律〕	三竹 直哉	232201	430
日本事情VII〔文学〕	坂口 博規	232301	431
日本事情VIII〔文化・芸術〕	佐藤 美奈子	232401	431
日本事情IX〔経済〕	福原 好喜	232501	432
日本事情X〔経営〕	中野 香織	232601	432

V 随 意 科 目

科 目 名	担当者名	履修コード	ページ
英語（海外演習）	—	—	435
フランス語（海外演習）	—	—	435
中国語（海外演習）	—	—	435

I 全学共通科目

1. 宗教教育科目

科目名	担当者名	履修コード	ページ
仏教と人間〔再クラス〕	駒ヶ嶺 法子	341601	443
仏教と人間〔再クラス〕	松本 史朗	341801	443
仏教と人間〔再クラス〕	四津谷 孝道	341901	444

2. 教養教育科目

・平成19年度以前入学生で『授業時間表』の区分「A」の科目を履修する場合は、フレックスAの教養教育科目のページを参照してください。

(1) 人文分野

科目名	担当者名	履修コード	ページ
宗教学〔比較宗教文化〕	田中 かの子	342401	447
文学〔日本文学「古典」〕	池田 大輔	342501	447
文学〔日本文学「古典」〕	伊藤 達氏	342701	448
文学〔日本文学「近代」〕	中西 亮太	342601	448
歴史学〔日本近代史〕	林 彰	342801	449
歴史学〔中国史概観〕	小林 惣八	342901	449
歴史学〔アジア史概観〕	山口 洋	343001	449
哲学〔西洋思想の源流〕	滝沢 正之	343101	450
哲学〔近代の人間観と世界観〕	佐藤 暁	343201	450
哲学〔現代文明と人間〕	鈴木 聡	343301	450
論理学〔科学方法論と現代論理学〕	伊古田 理	343401	451
論理学〔科学方法論と現代論理学〕	麻生 享志	343501	451
倫理学〔現代と倫理〕	古田 知章	343601	452
倫理学〔人生と倫理〕	末木 恭彦	343701	452

(2) 社会分野

科目名	担当者名	履修コード	ページ
社会学〔現代社会を考える〕	南後 由和	344201	453
社会学〔現代文化を考える〕	橋爪 敏	344301	453
文化人類学〔文化と人間〕	川上 新二	344401	453
文化人類学〔諸民族とコスモロジー〕	杉井 純一	344501	454
法学・憲法〔法と権利〕	鷄徳 啓登	344601	454
法学・憲法〔法と社会生活〕	長谷川 日出世	344701	455
政治学〔政治システムと政治参加〕	真下 英二	344801	455
政治学〔国際社会と日本〕	山村 恒雄	344901	456
社会科学論〔社会認識の思想〕	枝松 正行	345101	456
統計学〔社会現象の統計的決定〕	新行内 康慈	345201	457

(3) 自然分野

科目名	担当者名	履修コード	ページ
心理学〔ヒューマン・ウォッチング〕	鈴木 順一	345301	458
心理学〔人間関係を考える〕	鈴木 順一	345401	459
生物学〔生態と進化〕	清水 善和	345501	459
生物学〔生物と環境〕	中村 敏枝	345601	460
地球科学〔地球の素顔と地球環境問題〕	加藤 潔	346101	460
地球科学〔地球の素顔と地球環境問題〕	加藤 潔	346201	460
自然環境論〔宇宙から見た地球環境〕	篠原 正雄	346301	460
自然環境論〔生命と環境〕	山縣 毅	346401	461
情報数学〔情報と論理〕	鳥居 竜三	346501	461

3. 外国語科目

《必修科目・選択必修科目》

科目名	担当者名	履修コード	ページ
英語IA〔再クラス〕	前田 脩	354601	465
英語IB〔再クラス〕	前田 脩	354602	465
英語IA〔再クラス〕	近藤 真彰	354701	465
英語IB〔再クラス〕	近藤 真彰	354702	465
英語IA〔再クラス〕	増田 恵子	354901	465
英語IB〔再クラス〕	増田 恵子	354902	465
英語IIA〔再クラス〕	照山 雄彦	355201	465
英語IIB〔再クラス〕	照山 雄彦	355202	465
英語IIA〔再クラス〕	岸本 茂和	355301	466
英語IIB〔再クラス〕	岸本 茂和	355302	466
英語IIA〔再クラス〕	本間 俊一	355401	466
英語IIB〔再クラス〕	本間 俊一	355402	466
ドイツ語IA〔再クラス〕	野島 利彰	355601	466
ドイツ語IB〔再クラス〕	野島 利彰	355602	466
ドイツ語IIA〔再クラス〕	本橋 右京	355701	466
ドイツ語IIB〔再クラス〕	本橋 右京	355702	466
フランス語IA〔再クラス〕	長谷川 光明	355801	467
フランス語IB〔再クラス〕	長谷川 光明	355802	467
フランス語IIA〔再クラス〕	長谷川 光明	355901	467
フランス語IIB〔再クラス〕	長谷川 光明	355902	467
中国語IA〔再クラス〕	大久保 明男	356001	467
中国語IB〔再クラス〕	大久保 明男	356002	467
中国語IIA〔再クラス〕	弘兼 加奈子	356201	467
中国語IIB〔再クラス〕	弘兼 加奈子	356202	467
スペイン語IA〔再クラス〕	栗林 ゆき絵	356401	468
スペイン語IB〔再クラス〕	栗林 ゆき絵	356402	468
スペイン語IIA〔再クラス〕	栗林 ゆき絵	356501	468
スペイン語IIB〔再クラス〕	栗林 ゆき絵	356502	468
ロシア語IA〔再クラス〕	杉山 秀子	356601	468
ロシア語IB〔再クラス〕	杉山 秀子	356602	468
ロシア語IIA〔再クラス〕	杉山 秀子	356701	469
ロシア語IIB〔再クラス〕	杉山 秀子	356702	469

《選択科目》

科目名	担当者名	履修コード	ページ
英会話I	ロビン、G. F.	351201	470
英語L I	西村 祐子	351301	471
英会話II	ロビン、G. F.	354301	472
英語L II	林 明人	354401	473

4. 保健体育科目

科目名	担当者名	履修コード	ページ
健康・スポーツ論	村松 誠	341201	477
健康・スポーツ論	三幣 晴三	341301	477
健康・スポーツ実習（ミニサッカー）〔再クラス〕	大石 武士	340201	478
健康・スポーツ実習（ミニサッカー）〔再クラス〕	大石 武士	340301	478
健康・スポーツ実習（バドミントン）〔再クラス〕	村松 誠	340501	478
生涯スポーツ実習（集中後期・応用）	休講	—	
生涯スポーツ実習（集中後期・基礎）	休講	—	
生涯スポーツ実習（集中前期・基礎）	休講	—	
生涯スポーツ実習（集中前期・応用）	休講	—	
生涯スポーツ演習I（シーズン基礎）（ゴルフ）	三幣 晴三 佐藤 政之 下谷内 勝利 末次 美樹 鈴木 淳平 竹田 幸夫 館岡 儀秋 牧野 茂 光永 吉輝	199301	479
生涯スポーツ演習I（シーズン応用）（ゴルフ）	三幣 晴三 佐藤 政之 下谷内 勝利 末次 美樹 鈴木 淳平 竹田 幸夫 館岡 儀秋 牧野 茂 光永 吉輝	199302	479
生涯スポーツ演習II（シーズン基礎）（スキー・スノーボード）	鈴木 淳平 秋田 浩一 岩本 哲也 江口 淳一 佐藤 政之 下谷内 勝利 末次 美樹 竹田 幸夫 山口 良博	199401	480
生涯スポーツ演習II（シーズン応用）（スキー・スノーボード）	鈴木 淳平 秋田 浩一 岩本 哲也 江口 淳一 佐藤 政之 下谷内 勝利 末次 美樹 竹田 幸夫 山口 良博	199402	480

Ⅱ 専門教育科目

- ・平成19年度以前入学生で『授業時間表』の区分「A」の科目を履修する場合は、フレックスAの専門教育科目のページを参照してください。
- ・科目名の前に※印が付いている科目はフレックスB生の科目ですが、フレックスA時間帯に開講しています。フレックスAの専門教育科目のページを参照してください。

科目名	担当者名	履修コード	ページ
経営学	渡辺 伊津子	328001	483
簿記学	大野 満奈	328301	483
経済学概説	三好 向洋	328501	483
会計学	岩渕 昭子	328601	484
経営数学A	休講	328711	/
経営数学B	休講	328721	/
情報処理基礎 A	桃塚 薫	328801	484
情報処理基礎 A	依田 聖	328901	485
情報処理基礎 A	加藤 武信	329001	485
情報処理基礎 B	桃塚 薫	329101	486
情報処理基礎 B	加藤 武信	329201	486
情報処理基礎 B	依田 聖	329301	487
経営学史	中川 淳平	330301	487
アメリカ経営学	宮城 徹	332701	488
ドイツ経営学	高橋 成夫	333901	489
経営管理論	渡辺 伊津子	330101	489
経営組織論	日野 健太	331301	490
経営労務論	鹿嶋 秀晃	331001	490
経営心理学	休講	331851	/
生産管理論	藤原 篤志	333801	491
マーケティング論	兼村 栄哲	334401	491
経営財務論	高田 光明	331101	492
国際経営論	休講	333401	/
経営戦略論	中村 公一	330001	492
現代企業論	休講	330211	/
ベンチャー企業論	崔 銀順	329601	493
公益企業論	休講	331401	/
環境経営論	白鳥 和彦	329701	493
経営史	前田 和利	330601	494
日本経営史	大島 久幸	333001	494
商業史	山田 勝	331501	495
保険経営論	岡田 太	332601	495
銀行経営論	服部 昌久	331901	496
商業経営論	石川 和男	331601	497
上級簿記	矢島 正	333201	497
財務会計論	山田 純平	332201	498
管理会計論	猿山 義広	331201	498
会計監査論	休講	331801	/
原価計算論	休講	330701	/
税務会計論	高木 克己	332301	499
経営分析論	片桐 伸夫	332801	499
国際会計論	休講	334001	/
経済原論	明石 博行	330501	500

科目名	担当者名	履修コード	ページ
近代経済学	休講	330901	
経済政策	休講	334811	
財政学	速水 昇	333301	500
金融論	渡部 訓	333101	501
国際経済論	永田 智則	332101	501
日本経済論	羽鳥 茂	332901	502
証券市場論	勝田 佳裕	332401	502
計量経済学	呉 逸良	329901	503
イノベーション論	羽田 尚子	329801	503
ファイナンス理論	江頭 隆治	331011	504
日本経済史	渡辺 新	330801	504
経営科学概論	休講	330401	
マネジメント・サイエンスA	休講	334411	
マネジメント・サイエンスB	休講	334421	
情報処理応用A	休講	329401	
情報処理応用B	休講	329501	
情報セキュリティA	西村 和夫	333611	505
情報セキュリティB	西村 和夫	333621	505
経営情報システムA	高井 徹雄	332511	505
経営情報システムB	高井 徹雄	332521	506
システム論	休講	334201	
統計原論	山内 慎二	333701	506
経営統計A	長 国強	332011	507
経営統計B	長 国強	332021	507
※ 流通システム論	青木 茂樹	143211	283
※ ゲーム理論A	新井 泰弘	143721	299
※ ゲーム理論B	新井 泰弘	143731	299
※ e-ビジネス	安岡 寛道	140851	290
※ グローバル・マーケティング論	臼井 哲也	143271	292
※ 消費者行動論	菅野 佐織	143231	291
※ 製品開発論	宮下 雄治	143221	290
※ マーケティング・コミュニケーション論	中野 香織	143241	291
※ マーケティング・サイエンスA	若山 大樹	141151	320
※ マーケティング・サイエンスB	若山 大樹	141161	321
※ マーケティング・チャンネル論	青木 茂樹	143251	292
※ マーケティング・リサーチA	菅野 佐織	141131	319
※ マーケティング・リサーチB	菅野 佐織	141141	320
※ マーケティング史	石川 和男	143281	293
リスクマネジメント論	石名坂 邦昭	331551	507
民法	織田 晃子	307802	508
商法	井上 健一	308802	508
労働法	藤本 茂	325101	509
税法	奥村 正郎	334301	510
外書講読(英書)	枝松 正行	334701	510
外書講読(英書)	速水 昇	334801	511
※ 外書講読(独書)	藪下 紘一	144301	331
※ 外書講読(仏書)	桑田 禮彰	144401	331
※ 外書講読(中国書)	塩旗 伸一郎	144501	332
※ 外書講読(スペイン書)	上野 勝広	144601	332
※ 外書講読(ロシア書)	杉山 秀子	144701	332
ビジネス英語	秋葉 滋	334501	511

経営学科フレックスB

科目名	担当者名	履修コード	ページ
※ 特殊講義I〔現代のビジネスモデル〕	猿山 義広	144801	333
※ 特殊講義II〔現代の資本主義と証券市場〕	王 志安	101203	334
演習I	明石 博行	334901	511
演習I	飯田 哲夫	335201	512
演習I	大野 満奈	335501	512
演習I	小田 幹雄	335601	512
演習I	片桐 伸夫	335001	513
演習I	加藤 武信	336721	513
演習I	園田 哲男	335101	514
演習I	藤原 篤志	335301	514
演習I	渡辺 新	335401	515
演習II	阿部 一人	335901	515
演習II	岩渕 昭子	336401	515
演習II	大島 久幸	336601	516
演習II	奥村 正郎	335721	516
演習II	小沢 利久	336001	516
演習II	兼村 栄哲	336101	517
演習II	中川 淳平	336201	517
演習II	服部 昌久	336301	518
演習II	依田 聖	336501	518

Ⅲ 他学部履修科目

・授業時間表の区分「A」の科目を履修する場合は、フレックスAの他学部履修科目のページを参照してください。

科目名	担当者名	履修コード	ページ
商学総論	大吹 勝男	307501	521
商業政策	休講	309301	
アジア経済論	休講	310001	
中小企業論	吉田 敬一	311311	521
中小企業政策論	吉田 敬一	311401	522
人口論	森岡 仁	311701	522
社会政策	光岡 博美	311801	523
社会思想史 a	阿部 弘	312611	523
社会思想史 b	阿部 弘	312621	524
日本法制史	休講	324001	
西洋法制史	北野 かほる	324101	525
法思想史	高橋 洋城	324201	526
経済法	荒井 登志夫	325201	527
国際関係論	三船 恵美	325401	528
地方自治法	富井 幸雄	326001	529
倒産処理法	鈴木 貴博	326801	529
会計監査論	休講	331801	
日本経済論	羽鳥 茂	332901	530
国際会計論	休講	334001	

IV 随 意 科 目

科 目 名	担当者名	履修コード	ページ
英語（海外演習）	—	—	533
フランス語（海外演習）	—	—	533
中国語（海外演習）	—	—	533

経 営 学 科

経営学科フレックスA

市 場 戦 略 学 科

I 全 学 共 通 科 目

1. 宗教教育科目

履修コード	204801
科目名	仏教と人間
担当者名	村松 哲文

講義のねらい 東洋世界で生きている我々にとって、仏教は身近な宗教のはずである。ところが案外と知らないことが多いのではないだろうか。いうまでもなく駒沢大学は、仏教精神により建てられた大学である。本学に在籍していることも何かの縁であり、これを機会に仏教を知り、深遠な仏教世界を理解してもらいたい。本講義では、釈尊の生涯、仏教の伝播などについて考察し、宗教の存在意義や宗教と人間との関わりについて考えを深めてゆきたい。

講義の内容・授業スケジュール 釈尊の生涯（1～3）、釈尊の教え（4～8）、経典の内容（9～12）、仏教的世界観（13～14）、大乘仏教と小乗仏教（15・16）中国の仏教受容（17）、中国仏教の展開（18）、日本の仏教受容（19）、日本仏教の展開（20）、仏教と仏画で見る仏教（21～30）

履修上の留意点 仏教が日常の社会・生活に如何に関わっているのか考えながら講義に臨むこと。

成績評価の方法 定期試験、レポート、授業態度、出席率などを総合的に評価する。

教科書 適宜プリントを配布する。

参考書等 講義中に紹介する。

履修コード	204901
科目名	仏教と人間
担当者名	吉村 誠

講義のねらい 駒沢大学の建学の理念である「仏教」について理解を深めてもらうための講義です。仏教が現代に生きる私たちにとっていかなる意味を持ち、いかなる役割を果たすのかということを学問的見地から考察してゆきます。

講義の内容・授業スケジュール （前期）（1）仏教とは何か （2～7）ブッダとその教え （8～13）仏教の多様な展開

（後期）（1）東アジアの仏教 （2～7）インドから中国へ （8～13）中国から周辺諸国へ

履修上の留意点 授業は講義形式なので、ノートの準備が必要です。また、講義内容は仏教の理解が次第に深まるように構成してありますので、欠席しないようにしてください。

成績評価の方法 出席状況と試験結果を総合して評価します。

教科書 最初の授業で指示します。

履修コード	205001・205121
科目名	仏教と人間
担当者名	池上 光洋

講義のねらい 現在の日本社会には「宗教」を毛嫌いする傾向が見られるが、安易な宗教批判や宗教否定は、実はそれ自身が「宗教的」であることが多い。

皆さんの学舎である本学は、曹洞宗系の私学であり、「建学の理念」も仏教思想を背景としたものである。講義を通して建学の精神を理解するとともに、仏教を学ぶことによって「正しくものを見る」ことを身につけていただきたい。

講義の内容・授業スケジュール 前期は、仏教を開いた釈尊の教えと、その後の仏教史（中国・唐代まで）を学んでいきたい。

後期は、中国禅の歴史と思想を学んだ後、日本曹洞宗の祖・道元禅師の教えを学習していく。

履修上の留意点 専用のノートを用意すること。

成績評価の方法 出席点（不定期に出席を取る）、小作文（不定期に数回）、前期レポート、後期試験を総合して評価する。

教科書 プリントを配布。

参考書等 講義中に随時紹介する。

その他 私語・携帯電話・メール等厳禁、ひどい場合は退室を要請する。講義開始後30分以降は、特別の事情が無い限り入室禁止。

履修コード	205101
科目名	仏教と人間
担当者名	新井 一光

講義のねらい インド仏教の歴史と基本思想を概観し、仏典及び古典インド文献の読解を通して、古代インド社会と仏教の関係を考察する。

講義の内容・授業スケジュール 仏教以前のインド及びインド仏教の歴史と基本思想を概観する。(a) イントロダクション—仏教学について、(b) 仏教以前のインド(ヴェーダ、ウパニシャッド)、(c) 釈尊の伝記、(d) 原始仏教の思想(縁起説、無我説等)、(e) 部派仏教と大乘仏教、(f) 大乘仏教の展開。

履修上の留意点 授業は講義形式で進めるが、参加者に資料、テキストを読んでもらい質問を当てるので、積極的な取り組みが要求される。

成績評価の方法 年度末の試験及びレポート、しばしば行う小テストによって総合的に評価する予定である。

教科書 資料を配布する。

履修コード	205111
科目名	仏教と人間
担当者名	伊藤 隆壽

講義のねらい 本講座は、建学の理念に基づき、「仏教」や「禅」についての正しい知識を身につけることを目標とする。

講義の内容・授業スケジュール

1. 仏になる教え(1～3)
2. 中道(4～7)
3. 八正道(8～12)
4. 菩薩の道(13～17)
5. 成仏への道(18～20)
6. 念仏(21～22)
7. 唱題(23～24)
8. 禅(25～28)
9. 信仰と社会(29～30)

履修上の留意点 教科書は早めに購入し、前期中に各自通読すること。

成績評価の方法 評価は年度末の試験によるが、授業への出席状況も考慮するので欠席しないこと。

教科書 松本史朗著『仏教への道』(東京書籍)1,400円

参考書 等 主要参考書は、袴谷憲昭『仏教入門』(大蔵出版)

履修コード	205701
科目名	仏教と人間〔再クラス〕
担当者名	吉津 宜英

講義のねらい まず最初にこの科目名は「仏教と人間」となっていますが、私は「宗教と人間」というぐらいに広く考えてゆきたいと思います。仏教を含めた宗教に対して皆さんはどんなイメージを抱き、どんな意見を持っているのでしょうか。すでに特定の宗教を信じている人もありましょう。これまで宗教に無関心な人や、宗教批判者もありましょう。私は宗教に対して肯定的な人にも、否定的な方にもまず宗教や仏教への正しい知識を持ってもらいたいと思います。宗教は政治、経済、科学技術、教育、芸術などと並んで人間の文化の一翼を担っています。太古から様々な宗教が存在しています。ある宗教は一神を信仰しますが、また多くの神々を信仰したり、仏教のように仏を重んじるものもあります。なぜ人間は宗教を求めるのでしょうか。この講義ではまず宗教の多様性の確認から始めます。そして宗教は社会の中でどのような機能を果たしているのかを考えます。また宗教をめぐる様々な問題点を取り上げます。宗教は人々の幸福を成就する目的を持っているのに、民族紛争などと絡んで宗教戦争が起き、多くの不幸な人々が出てしまう問題もあります。宗教は個人が何かを信じていれば他に迷惑をかけないですむと思うのですが、宗教集団が成立すると公共の福祉に反する社会的問題も引き起こします。講義全体としては仏教を含めた宗教の功罪両面を考察してゆくことをねらいとします。

講義の内容・授業スケジュール 前期には宗教の様々な形態について概説します。世界の諸宗教の中で仏教の特色を明らかにします。後期は仏教を含めた宗教と人間社会や世界の様々な問題を取り上げます。新靈性運動（new spirituality movement）という新しい宗教運動にも注目します。また靖国神社問題を始めとする政教分離の課題、宗教原理主義の問題、人権と宗教の関連性、脳死の是非、クローン人間の問題、遺伝子工学と宗教倫理などのテーマを順次取り上げていきます。毎回、あるタイトルを掲げて講義を行います。

履修上の留意点 この科目専用のノートを用意して下さい。講義を筆記すると同時に自分の意見や疑問を書き留め、年間を通して受講と思索の軌跡が残るようにしてもらいたいものです。

成績評価の方法 毎回出席を取ります。年間2、3回課題の提出を依頼します。最後に期末試験を行います。それらを総合して成績評価を行います。

教科書 特に使用しません。できるだけ参考資料としてプリントを配布します

参考書等 講義の中で随時参考図書を紹介いたします。

その他 私が講義中であっても挙手して質問や意見を述べて下さい。私語は厳禁です。あまり目立つ時は退場を要請します。講義開始時間から30分過ぎていたら教場に入らないで下さい。

履修コード	205801
科目名	仏教と人間〔再クラス〕
担当者名	角田 泰隆

講義のねらい 宗教とは何か、そして仏教とは何かについて、その基本的事柄について、できるだけわかりやすく講義したい。特に、葬式仏教と批判され誤解されている仏教を、正しく認識してもらいたいと思う。

講義の内容・授業スケジュール 前期は、まず宗教とは何か(1～3)について概説し、その後、仏教の歴史(4～5)及びその基本思想(6～15)について解説する。後期は、仏教と人間(16～18)・社会(19～20)・生活(21～22)・環境(23～24)・人権(25～26)・教育等(27～30)さまざまな問題を取り上げて講義する。

履修上の留意点 教科書は用いないので、筆記用具を整え、講義の内容をしっかりと記録して頂きたい。(定期試験には自筆ノートも持ち込みを許可する)

成績評価の方法 定期試験の成績によって評価する。

教科書 なし

参考書等 授業において紹介する。

履修コード	205901
科目名	仏教と人間〔再クラス〕
担当者名	大谷 哲夫

講義の内容・授業スケジュール 釈尊の生涯とその教え。インド・中国・日本における仏教とくに禅仏教の流れ。特に本学の建学の理念の母胎を形作った禅の考え方を曹洞禅を中心にして講義を進める。

履修上の留意点 日本文化の基礎の一面を担った仏教を理解し、現代における日本人としての自分自身の存在を常に意識してもらいたい。

成績評価の方法 出席状況とレポートを加味して評価する。

教科書 特になし。必要な資料は随時配布する。

参考書等 必要に応じて適宜指示する。

履修コード	206001
科目名	仏教と人間〔再クラス〕
担当者名	晴山 俊英

講義のねらい 仏教と一口に言っても、場所により宗派により様々な相違があり、場合によっては同じ仏教でも180度違う主張をする。これは人間が人間として生きることの多様性を示していることに他なるまい。仏教を信じる信じない、そして何が「正しい仏教」なのかは、最終的には個人の信念に依るが、一社会人としてその予備知識を養っておきたい。その意味も込めて、本講義のねらいは各国・各宗派の特徴とその背景を、大きな仏教史の中で概観して貰うことにある。

講義の内容・授業スケジュール 釈尊の生涯とその教えに始まり、インド・中国・日本と仏教の発展の歴史をキーとなる人物を示しながら概観する。

- 第1回～第3回：授業と評価の概要を説明・釈尊の生涯
- 第4回～第6回：釈尊の教えとその基礎解釈 - 四諦八正道から六波羅蜜まで -
- 第7回～第12回：アビダルマ仏教 - 五位七十五法の仏教用語・仏教的宇宙観 -
- 第13回～第16回：大乘仏教の成立 - 大乘仏教の特質と思想、大乘経典 -
- 第17回～第24回：中国仏教 - 伝来と発展・訳経僧と中国僧・宗派の成立 -
- 第25回～最終回：日本仏教 - 伝来と発展・南都仏教・最澄と空海・鎌倉時代 -

履修上の留意点 上記、回数はあくまで目安なので、その時の進み具合で多少の変動があることを理解して下さい。仏教が何らかの展開する際には、必ず人間の何らかの要請が介在していると思われる。本講義を通じて、そういった人間の要請というものを考察されたい。

成績評価の方法 期末試験に出席の状況（不定期に出欠をとります）を加味して評価する。
教科書 特になし。板書が中心となる。
参考書等 授業において必要があれば適宜指示する。
その他 試験は自筆ノートのみ持ち込み可で、試験範囲を限定することはしない。従って欠席した分については自己責任で対処すること。

履修コード	206101
科目名	自然と宗教
担当者名	小川 順敬

講義のねらい 人間は古来から、自然のいとなみの背後に説明のつかない大きな力を感じ、自然の事物や、自然現象を崇拜の対象としてきたと言われます。それでは、人間は自然の背後にどのような“説明のつかない力”をみたのでしょうか。あるいは、自然を人間とのつながりでどのようにとらえ、考えてきたのでしょうか。

この講義では、宗教と自然との関わりという角度から、これらの問題を考えてゆくことにしたいと思います。

講義の内容・授業スケジュール まず最初に、宗教現象を考えていくための宗教学、宗教人類学のいくつかの基本的な概念を概説、紹介します。その後、山と宗教、海と宗教、森と宗教、また仏教と自然、キリスト教と自然などのテーマを立て、具体的事例をあげながら人間と自然との宗教的な関わりを諸相を紹介していくことにしたいと考えています。また、環境問題に対する仏教やキリスト教、新宗教、あるいは伝統宗教からの発言や取り組みを紹介し、その考え方や今日の評価・議論を概観、紹介する予定です。

成績評価の方法 評価は原則として、年数回の「小試験」（出席点として処理します）および夏期レポート（前期試験に相当します）、年度末の筆記試験により行います。成績評価の具体的な方法、レポートの課題、年度末試験の方針、出席点評価等は最初の授業で詳しく説明します。

教科書 原則として教科書は用いません。
参考書等 講義の内容に関連する参考書は適宜紹介します。

履修コード	206201
科目名	社会と宗教
担当者名	矢野 秀武

講義のねらい 宗教の信仰心や宗教活動は、特定の時代や地域、あるいは性差による違いなど、社会的・文化的な影響を帯びているものでもある。さらに、宗教は社会一般の制度と関わる公的側面を持っており、宗教思想や宗教活動が、社会に何らかの影響を及ぼすこともある。本講義では、このような宗教と社会との様々な関わりについて学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール 前期は、宗教集団の形成や変容など宗教社会学と宗教学に関する基礎知識（1～5）、カルト問題（6～10）、観光・メディア・企業など経済面と宗教の関係（11～15）を取り上げる。後期は、宗教と政治運動（16～20）、日本や欧米を事例に、宗教と政治や法律との関係（20～25）、宗教と教育や福祉との関係（26～30）などをとりあげる。

履修上の留意点 レポートや試験形式、その他授業の基本的な約束事は、初回の授業でプリントを配布し、解説する。

成績評価の方法 前期レポート（夏休み前に課題を提示・後期初回に提出）と後期の定期試験期間における筆記試験を総合して評価を行なう。

教科書 なし
参考書等 授業時に随時紹介する。

履修コード	206301
科目名	文化と宗教
担当者名	長谷部 八朗

講義のねらい 文化と宗教の関連をどのように理解したらよいかを検討し、それを踏まえて、我が国の近代以降、宗教が社会といかにかわり、近・現代の精神文化の形成に影響を与えてきたかを、仏教とキリスト教を中心に学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール おおむね下記のテーマに沿って進める予定である。「文化」概念の捉え方、文化としての宗教、文化史研究における宗教の扱い、日本の近代化と仏教、日本の近代化とキリスト教、文化接触としてみた仏教とキリスト教の交渉。

成績評価の方法 出席状況、授業時に書いてもらう数回の小論文、学年末の試験を総合して評価する。

教科書 使用しない。
参考書等 授業の中で適宜紹介する。

履修コード	206401・206501
科目名	坐禅
担当者名	佐藤 秀孝・池上 光洋

講義のねらい 駒澤大学では建学の理念に基づき宗教教育科目が設けられ、その中に「坐禅」の授業があります。本授業は、仏教学部だけではなく広く一般学生に門戸を開き「坐禅」の世界を知ってもらうことを、その目的としています。他大学では経験できない、駒澤ならではの授業が「坐禅」といえるでしょう。坐禅に触れることによって、本学の良さを味わい、学生生活の貴重な体験としてもらいたいと思ひ、この授業を進めるものです。

今、私たちの周りでは、さまざまな宗教が声高に叫んでいます。反面、多くの人は何を拠り所にしてよいか不安感が募っています。基本的な人生観を学生時代にこそ考えたいものです。

坐禅は、決して特殊な精神状態を作るものではありません。姿勢を整え、静けさの中で自己を見つめるのです。初めはぎこちないかもしれませんが、何回か経験するうちに静けさに落ちつきを感じることでしょう。

この授業では、初心者にも無理なく坐禅に親しめることに指導のポイントを置き、経験を積む中で、坐禅の静寂な時間に落ちつきと安らぎが感ぜられるよう実習を進めたいと思っています。併せて、坐禅の世界をより深く体得できるように、禅の歴史とその思想にも触れる時間を設けます。

半期単位ですので、全体で13回ほどの開講数が予定されます。その流れを以下のように進めます。

1～3 「坐禅の作法指導」（坐禅堂に即して基本的知識と、坐るに至るまでの作法を修得）

4～13 「坐禅実習」（1回の坐禅実習の時間は、初心者にも無理のない程度です）

（道元禅師の書かれた坐禅の指導書ともいえる『正法眼蔵－坐禅儀』を通して坐禅の本来の姿を学びます）

履修上の留意点 実習をその主なる内容としますので出席を重視します。特に、最初の3回は作法の説明がありますので必ず出席してください。また、まじめに授業を受けられることを要望します。抽選登録ですので、他の受講希望者の迷惑となりますから、カラ登録や受講途中放棄はやめてください。

成績評価の方法 出席数、出席態度、レポートを総合して成績評価とします。

教科書 適宜、プリントにて配布します。
参考書等 『坐禅－講本－』（更生社）2,226円

2. 教 養 教 育 科 目

履修コード	206601
科目名	文学〔日本文学「古典」〕
担当者名	塩崎 真理子 <small>しおざき まりこ</small>

講義のねらい	『大和物語』を周辺文学と比較しながら読む。『大和物語』は和歌説話集の性質をもつため、話型が散見する。話型をテーマとして『伊勢物語』や『今昔物語集』、『源氏物語』や他の文学作品と比較しながら講義を進めていく。また、本作品で見られた話型が現代の様々な作品にどのように影響を与えているかも、あわせて考えてもらいたい。
講義の内容・授業スケジュール	1) ガイダンス 2) 『大和物語』とは 3) 生田川伝説 4) 蘆刈伝説 5) 采女入水譚 6) 龍田山伝説 7) 安積山伝説 8) 姨捨山説話 9) 三輪山伝説 10) 二人妻説話・二人夫説話 11) 『大和物語』と『源氏物語』
履修上の留意点	古典文学の知識は必要ないが、各話型が現代の様々な作品にどのように影響しているのか問題意識をもって授業にのぞんでほしい。
成績評価の方法 教科書 参考書等	出席状況と授業時の小レポート、課題レポートによって評価する。 授業時に、プリントを配布する。 適宜、教場で指示する。

履修コード	206901
科目名	文学〔日本文学「古典」〕
担当者名	坂口 博規 <small>さかぐち ひろき</small>

講義のねらい	日本文学（古典文学）に見る「旅・旅人」の文学を取り上げる。特に「漂泊・漂泊者」の文学性を考察する。「旅」を通して、そこに現れる当時の人々の意識の深層を考察してほしい。
講義の内容・授業スケジュール	はじめに「旅・漂泊」の内実を歴史的に概説し（1・2）、漂泊者としてのヤマトタケル像（3～6）、ついで在原業平の東下り（7・8）、貴種流離譚としての光源氏の須磨退去（9・10）、西行の旅（11～15）、源義経の平泉逃亡（16・17）、阿仏尼の鎌倉下向（18・19）、後深草院二条の旅（20～23）、芭蕉の旅（24～）等々を考察してもらおう。
履修上の留意点	授業は適宜配布するプリント教材によって講義形式で行う。プリントはレポート作成の資料となるものであるから、出席に努めてほしい。
成績評価の方法	授業の最終日にレポートを提出してもらい、その成績に出席状況や授業への取り組み（授業内の小レポート提出等）への評価を含めて評価する。
教科書 参考書等	授業時に配布するプリントを教材とする。 授業時に適宜紹介する。

履修コード	206701
科目名	文学〔日本文学「日本のことば」〕
担当者名	<small>あいざわ たかゆき</small> 相澤 貴之

講義のねらい	本講義は、日本のことばについて、ときに深く、ときに広く、考え、学ぶものである。講義は現代語の国語辞典をテーマとして進めていく。国語辞典に関する基本事項の確認から始め、それをふまえて、国語辞典を起点として社会や文化の諸相を捉えることで、現代日本語に対する感覚、及び日本文化に対する感覚を磨く。
講義の内容・ 授業スケジュール	現代語の国語辞典の基本的な使い方の確認、辞典の比較研究などを通して現代の日本語を考える。更には、現代日本語文法、方言、外国語などとの関連事項を盛り込み、講義を進めていく。講義の流れは次の通りである。 前期1～5) 辞典の基本、6～10) 辞典の比較、11～15) 現代日本語文法との関わり、後期1～5) 外国語との関連、6～10) 方言との関連、11～15) 辞典の研究
履修上の留意点	講義の中では、紙媒体の辞典を中心にさまざまな国語辞典を利用していき、新たに辞典を購入する必要はない。各自既に持っている辞典を利用すれば良い。電子辞書も可。ただし、常に辞典を引くという習慣を持って講義に臨むことを強く求める。
成績評価の方法	成績は、①前期3回、後期3回(通年で合計6回)課すレポート、②出席状況、③授業態度、の3項目により総合的に評価する。
教科書 参考書等	授業時にプリントを配布する。 授業中に指示する。

履修コード	207001
科目名	文学〔日本文学「近代」〕
担当者名	<small>いしわり とおる</small> 石割 透

講義のねらい	日本近代文学史のうえで、重要な位置を占め、多くの読者に愛され続けている夏目漱石「坊ちゃん」、島崎藤村「家」、そして芥川龍之介の作品を中心にその内容を細かく検討する。特に、作品の表現について触れ、他の芸術表現ジャンルに対しての文学テキストの特色、テキストにうかがえる文化的諸相を明らかにし、そこに潜む課題について考えていきたい。
講義の内容・ 授業スケジュール	1、夏目漱石「坊ちゃん」(6) 2、島崎藤村「家」(8) 3、芥川龍之介「鼻」(3)、4 芥川龍之介「地獄変」(3) 5 芥川龍之介「奉教人の死」(3) 6、芥川龍之介「舞踏会」(3) など。
履修上の留意点	前もって、その授業で扱う作品をできるだけ読んで授業にのぞむこと。図書館などに積極的に足を運ぶように。特に夏目漱石、島崎藤村や田山花袋、芥川龍之介や菊池寛などの作品をできるだけ多く読んで授業に臨むこと。
成績評価の方法	年2、3回のレポート提出。出席状況を重視する。
教科書	特に指示しないが、授業で扱う作品は、文庫本で読める。「夏目漱石 坊ちゃん」「島崎藤村「家」(以上「新潮文庫」など)、「芥川龍之介全集1～6」(ちくま文庫)など。
参考書等 その他	授業時に指示する。 講義形式で進める。プリントなどは必要な際に、その都度準備する。

履修コード	207201
科目名	文学〔日本のことば〕
担当者名	萩原 義雄

講義のねらい 広く日本語の特徴についてを学ぶことで、学習者自身が修得してきた国語全般に渉る教養を再度この講義を通して確認していくことにより、自分が気づいていたこと、気づかないでいたことを含めて、自身の有する教養をより高めていくことを目標に授業を進めていく。

講義の内容・授業スケジュール

- 01の講義内容 ※最初に情報センターの使用手続について担当責任者説明
国語・国文学作品に於ける研究とその展開
- 02の講義内容 和語と漢語
- 03の講義内容 漢字教育にみる日本語(「常用漢字表」の行方)
- 04の講義内容 国語辞書(近代国語辞書、大槻文彦編『大言海』)
- 05の講義内容 漢和辞書(近代漢和辞書、諸橋徹次編『大漢和辞典』)
- 07の講義内容 地名辞書(近代地名辞書、吉田東吾編『大日本地名辞書』)
- 08の講義内容 植物辞書(近代植物辞書、牧野富太郎編『日本植物大辞典』)
- 09の講義内容 和英辞書(近代英和辞書、ヘボン『和英語林集成』)
- 10の講義内容 明治近代語の研究、雑誌『太陽』を読む
- 11の講義内容 大正近代語の研究、芥川龍之介著作集を読む
- 12の講義内容 昭和現代語の研究、井上靖著作集を読む
- 13の講義内容 平成現代語の研究、村上春樹著作集を読む
- 14の講義内容 「パロディ」化の作品とは
- 15の講義内容 絵本と言語
- 16の講義内容 漫画・アニメにみることばの言語表現
- 17の講義内容 書道と言語(唐顔眞卿と明朝体文字)
- 18の講義内容 文字遊び(回文・逆さことば・しりとり等)
- 19の講義内容 文字の不思議さ(漢字=正字・通俗字、増画と省画、欠字=『干禄字書』、かな(誕生と広がり)、ローマ字)
- 20の講義内容 豊富な語彙を学ぼう(『分類語彙表』)
- 21の講義内容 文法はグラグラと揺れている
- 22の講義内容 文章体の特徴を知ろう
- 23の講義内容 音韻の響きと弾み
- 24の講義内容 共通語と方言語はどう変容していくのか
- 25の講義内容 日本語の系統
- 26の講義内容 言語生活からみた新聞記事・雑誌
- 27の講義内容 愈々、独り立ち

履修上の留意点

※出席は、教場IT管理に依拠します。授業開始時に当日の出席書込欄にまずチェックをしましょう！また、IDチェックを忘れたりした場合などは、下記掲示板へ書込みをすることで確認が可能となります。

※講義内容及び連絡事項については、HP(情報言語学研究室)上に凡て逐次掲載しますので常時間閲覧します。質疑応答の問い合わせも直接研究室対応の他、IT機器を用いても対応可能とします。

成績評価の方法

成績評価方法

月毎に上記項目を常にふまえた上で、報告書を提出し内容を発表してもらいます。個人が年間分析する上記報告書における私からの質問を受けて、各自それぞれ提出してもらいます。

提出の際には、提出の年月日の記入。学籍番号。氏名を必ずファイル名と内容資料に必ず添えてください。

ご自分が調査した関連語句(書名・人名・用語など)の記入とそれに関わるネットリンク、添付画像処理についても著作権・肖像権問題に充分留意をお願いします。

また、総合教育研究学部(日本文化部門)掲示板のご利用を期待します。皆様方の声と管理担当者である萩原の考えや日程をここに反映させ、学習支援及び学習意欲の向上をめざすことが本来の目的です。ここに記載された内容は、すべてこちらで管理運営しています。今後、この授業内・外を問わず、この書き込みを通じて授業評価にも大きく反映させて行きますのでご承知願います。

教科書その他

URL <http://www.komazawa-u.ac.jp/~hagi> を使用する。
『紀田順一郎著作集』第6巻―知の職人たち／生涯を賭けた一冊―〔三一書房1997刊〕
情報機器及び文書編集ソフトを利用します。講義資料はHP(情報言語学研究室)上に凡て掲載します。授業内における講義プリントやレジュメPDF資料配布の紙面出しは必要最低限で保証します。情報機器を利用します。講義資料はHP(情報言語学研究室)上に凡て掲載します。授業内における講義プリントやレジュメPDF資料配布の紙面出しは必要最低限で保証します。

履修コード	207301
科目名	文学〔外国文学「アメリカ文学」〕
担当者名	田中 保 <small>たなか たもつ</small>
講義のねらい	アメリカ文学の大潮を辿りながら、主要な作家の代表作品を取り上げて、それらの作品を通して、アメリカの文化・歴史・社会を多角的に考察していく。
講義の内容・授業スケジュール	[1]アメリカ文学の大潮(1~15) [2]主要な作家の作品研究(1~15)
履修上の留意点	前期は講義形式で、足早にアメリカ文学を概観します。後期は主な作家の作品一覧表から興味ある作品を数編選び、グループ編成による発表を行なう。
成績評価の方法	レポート提出、発表、出席状況等で総合的に評価する。
教科書	特に教科書は使用しません。必要に応じてプリントを使用します。
参考書	参考書は授業の際に、適宜紹介します。

履修コード	207401
科目名	文学〔外国文学「ロシア文学」〕
担当者名	杉山 秀子 <small>すぎやま ひでこ</small>
講義のねらい	ロシア文学は長い伝統をもつ傑出した文学として日本ではよく知られているが、その詳細について知る人は少ない。日本とは全く異なる土壌でつくられた文学を学ぶことはその国のものの考え方、行動様式を理解するうえできわめて重要であり、意義深いことである。
講義の内容・授業スケジュール	(1)ロシアとはどういう国なのか。その風土、国民的気質、宗教、歴史、政治体制、経済についてのあらまし(2-3)ロシア人は自国の言葉をどのように守ってきたか、ロシア語の特性と文学(4-6)女帝の支配するロシア、古典主義文学の隆盛、フォンヴィーゲン、カラムジンの輩出、ロモノソフの文字改革。(7-9)18世紀から19世紀にかけて活躍する文豪達。プーキン、ゴーゴリ、ツルゲーネフ、レールモントフ、チェルヌイシェフスキイ、ゲルツェンの輩出(10-12)20世紀初頭のチェホフの文学 1917年革命後に活躍したゴーリキイを中心とするズナーニェ派の作家。これに対抗したのは、ペールイ、ギッピウス、ソロヴィヨフ、ソログープ、ブリュソフ、プロークラの象徴派の詩人。リアリズム派と、モダニズム派との熾烈な文学闘争。(13-14)スターリンの台頭による文学のしめつけ。スターリン死後、作家同盟を中心とする雪どけ。エレンブルグらが活躍、ソルジェニツインの国外退去。(15)1991年のソヴェート政権崩壊後の文学。
履修上の留意点	特にないが、自分の意見を書いてもらうことがある。その場合インターネット、ウイキペディアの丸写しは評価しない。
成績評価の方法	文章表現力をつけるため、数回授業中に文章を書いてもらい提出してもらう。授業内試験と提出物を基本に評価する。出席状況も考慮。
教科書	特になし。
参考書等	授業内で指示する。

履修コード	207801
科目名	歴史学〔日本中世史〕
担当者名	今野 慶信 <small>こんの よしのぶ</small>
講義のねらい	歴史学は「史料」に基づいた科学である。なかでも日本中世史は、明治時代、日本と西欧封建制との比較研究から生まれてきた学問分野であり、日本中世封建制度の研究は長く学界を規定してきた。しかし今日、その発展形である唯物史観に基づいた「戦後歴史学」の見直しが叫ばれ、一方では網野善彦氏の研究などに代表される社会史が学界に旋風を巻き起こしてきた。近年の日本中世史研究は、こうした流れを受け、さまざまな資料、例えば系図や絵画などを駆使して、豊かな中世史像を生み出すことに成功している。本講義では、そうした日本中世史の最新の研究動向を紹介しつつ、受講生には歴史・文化や地域に知的好奇心を持ち、過去へのまなざしと現代社会への視点を養ってもらいたいと考えている。
講義の内容・授業スケジュール	講義で扱う時代範囲は、平安時代末期から江戸時代初期までであるが、時代の流れを追いつつも、各回毎にテーマを設定しつつ、今ホットなトピックも努めて紹介していくことにしたい。とりわけ、近年状況を呈している地域史研究の分野において、現在我々が暮らしている関東・東京地域史研究の成果を随時紹介していくことにしたい。
履修上の留意点	授業で配布する資料を貼り込むなど、ノート作りには工夫してもらいたい。
成績評価の方法	定期試験の結果、提出レポート、出席状況などによる。
教科書	なし。随時コピーを配布する。
参考書	随時紹介する。

履修コード	207901
科目名	歴史学〔東アジア考古学〕
担当者名	千葉 基次

講義のねらい 長城地帯から極東アジア地域で民族・特定文物・組織その他から、一つのキーワードを選び出し、授業の主題とする。

講義の内容・授業スケジュール 授業題目の研究史から始め、個々の研究内容を解説し、最後に今後の課題を示す。

履修上の留意点 板書事項もあり、薄くて充分なので専用のノートを用意することが望ましい。

成績評価の方法 毎時出席を確認し、平常授業を評価の基とする。レポートについては出欠状況を見て決める。

参考書等 授業の中で紹介する。

履修コード	208001
科目名	歴史学〔古代オリエント史〕
担当者名	大城 道則

講義のねらい 古代オリエント世界と古代地中海世界との交流関係について具体例を挙げつつ紹介し、当時の歴史背景や研究上の問題点などを解説・指摘する。

講義の内容・授業スケジュール ヨーロッパ世界の起源である古代地中海世界は、様々な文明と多様な文化が接触・交錯し、相互に影響を与え合い、共存する場であった。我々は、ヨーロッパ世界を理解するために、その根源である古代地中海世界について考える必要がある。そのため本講義では、古代エジプト文明の成立から、古代ギリシアを通して、古代ローマ帝国の地方都市である埋没都市ポンペイや隊商都市パルミラの歴史までを取り扱う。

前期

- (1) 地中海世界の中のエジプト
- (2) 古代エジプト形成期（統一王朝の出現）
- (3) 古王国時代のエジプト（ピラミッドの発展過程）
- (4) 古王国時代のエジプト
- (5) 新王国時代のエジプト
- (6) メソポタミアの古代都市
- (7) 鉄の王国ヒッタイト

後期

- (8) 古代エーゲ文明の成立
- (9) 東方化の時代と大植民時代
- (10) エトルリア文明
- (11) 古代ローマ皇帝伝
- (12) 火山で埋もれた都市ポンペイ
- (13) 古代ローマ人の食生活
- (14) 砂漠の隊商都市パルミラの歴史

履修上の留意点 お互いの信頼関係のため講義中の携帯電話および遅刻・退室は禁じる。配布したプリントはファイルし、毎回講義に持参すること。

成績評価の方法 学年末試験、出席率、受講態度により総合的に評価する。

参考書等 講義の際には講義内容に則したプリントを配布する。

その他 大城道則『ピラミッド以前の古代エジプト文明』（創元社）画像を多用するためパワーポイントを使用する。

履修コード	208101
科目名	歴史学〔西洋近代史〕
担当者名	土方 ^{ひじかた} 史織 ^{しおり}
講義のねらい	西洋近代史の概観をつかみ、現代社会の「かたち」を形成した「近代」という時代がどのようなものであったのか理解することを目的とします。
講義の内容・授業スケジュール	以下の内容を講義形式で進めます。 前期：18世紀～19世紀 国民国家建設(フランス革命～アメリカ独立～産業革命) 後期：19世紀～20世紀 帝国主義形成(植民地主義～第一次大戦)
履修上の留意点	適宜プリントを配布し、プロジェクトなども使用して理解が深められるようにします。 予備知識としてルネサンス期以降のヨーロッパ史を理解しておく必要があります。地図帳や資料集などが手許にあると理解の助けになります。なお遅刻、私語は厳禁。守れない人は履修しないで下さい。
成績評価の方法	期末試験と夏期課題、時々とる出席で総合的に判断します。
参考書等	大下尚一他編『西洋の歴史[近現代編]増補版』ミネルヴァ書房1998年。 近藤和彦編『西洋世界の歴史』山川出版社1999年。 井野瀬久美恵著『大英帝国という経験』(興亡の世界史 第16巻)講談社2007年。 『ヨーロッパ史入門』(全10冊) 岩波書店
その他	授業初回到詳細なガイダンスをおこなうので履修予定者は必ず出席して下さい。

履修コード	208201
科目名	歴史学〔日本近世史〕
担当者名	出口 ^{でぐち} 宏幸 ^{ひろゆき}
講義のねらい	戦国の世が閉じられ、近世社会へ移行することで、どのような社会的変化がおこったのか。都市と村落という視点を基本に話を進めます。受講生にとって、この授業が、歴史と向き合う貴重な「時間」になることを期待します。
講義の内容・授業スケジュール	(講義の内容) 全国的に成立した都市は、領主支配の拠点、また商業活動の舞台であり、村は生産の場でした。両空間の成立がもたらした、あらたな展開(身分・家格、社会的分業、文書社会化など)を通して、近代の直前に位置した近世社会について考えます。 (授業スケジュール) (1～4) 戦国から近世へ、近世社会の概要〔幕府改革〕・〔流通網の形成〕・〔都市文化の隆盛〕 (5～9) 領主支配〔検地、年貢・諸役、五人組〕、〔檀家制度、村請制度〕、都市、村落〔村役人〕、家格(10～14) 山村と漁村、商人の台頭、奉公人組織、商品生産の展開、貨幣制度(15～17) 村を支えた集団、村方騒動と一揆、村の荒廃、(18) 近世の終焉
成績評価の方法	試験80%、平常点20%
教科書	各回にプリント(資料含む)を配布します。

履修コード	208301
科目名	歴史学〔日本近代史〕
担当者名	立川 ^{たちかわ} 章次 ^{しょうじ}
講義のねらい	日本史の流れを概観し、幕末から維新时期にかけての過程を考察する。 幕末のわが国は、国内的には商品経済の流通により、封建制が内部矛盾を露呈し、崩壊への兆が、その一方、対外的には欧米列強の外圧に遭遇し、国家存亡の危機に直面したのである。幕末から明治初期にかけての人々は、この恐るべき外圧を契機として、みごと新国家の創造に成功し、近代日本の今日への基礎を築いたのである。このことに留意して新しく維新史を学びたい。
講義の内容・授業スケジュール	前期 維新変革の機運・尊攘運動の展開・王政復古・明治新政・新国家の統一といった幕末から維新时期にかけての過程を考察する。 後期は外交の転機となった幕府最初の遣米使節の人々や、咸臨丸の勝海舟、福澤諭吉、中浜万次郎といった人々の啓蒙思想の原点を考察する。
成績評価の方法	定期試験と出席日数により総合的に評価する。
教科書	尾佐竹 猛『幕末遣外使節物語』(講談社学術文庫) 960円

履修コード	208401
科目名	芸術学〔日本美術〕
担当者名	北野 ^{きたの} 良枝 ^{よしえ}

講義のねらい	室町時代から江戸時代に至る日本絵画の流れを、中国およびヨーロッパとの関係に留意しつつ概説する。美術の歴史を理解するにあたって、常に作品を参照する必要があるため、授業では毎回、作品の画像を映写する。
講義の内容・授業スケジュール	前期 室町から桃山時代の絵画 (1) ガイダンス (2) 絵画に関する基礎知識 (3)～(7) 室町時代の水墨画 (8) 阿弥派 (9) 関東水墨画 (10) 土佐派 (11)～(12) 狩野正信・元信 (13)～(15) 狩野永徳と桃山画壇 後期 江戸時代の絵画 (16) 江戸時代の狩野派 (17)～(20) 琳派 (21)～(22) 浮世絵 (23) 南蘋派 (24) 文人画 (25)～(26) 秋田蘭画と司馬江漢 (27) 円山四条派 (28) 伊藤若冲と曾我蕭白 (29)～(30) 江戸から明治へ
履修上の留意点	授業中の私語は厳禁。
成績評価の方法	学年末に筆記試験を実施し、その得点によって評価する。

履修コード	208501
科目名	芸術学〔西洋美術〕
担当者名	矢野 ^{やの} 陽子 ^{ようこ}

講義のねらい	ひとつの美術作品が制作されるにあたっては、芸術家の個性や技術のみならず、その時代と地域の宗教・文化・政治状況などさまざまな要因も関係しています。この講義では私たちは異なる文化から生まれた西洋美術のうち、およそ16世紀から18世紀まで、つまりルネサンス期から革命期頃までのフランス美術を、絵画を中心に取り上げます。まず美術の主要な流れを把握し、作品に表現された内容とその表現様式の特徴を考えます。さらに芸術家と注文主や鑑賞者との関係、美術が社会のなかで占めていた位置についても考察していきます。
講義の内容・授業スケジュール	(1)ガイダンス (2～4)16世紀の美術 (5)17世紀初頭の美術 (6～7) 写実的傾向の画家たち (8～11) アカデミーと古典主義の美術 (12)静物画 (13～16)ヴェルサイユの美術 (17～18)18世紀初頭のフランス美術 (19～22) ロココ美術 (23～25) 肖像画、風俗画、風景画 (26～30) 新古典主義美術
履修上の留意点	作品の画像をスクリーンに映してそれを見ながら講義を進めるので、授業にはなるべく遅刻欠席をせず続けて出席するようにしてください。
成績評価の方法	夏休み後に提出するレポートと学年末の筆記試験に出席状況を加えて評価します。レポートの課題や試験の形式などは授業中に説明します。
参考書等	高階秀爾『フランス絵画史』講談社学術文庫 大野芳材『フランス近世の美術』財務省印刷局 その他、授業中に適宜紹介します。
その他	授業内容と関連するものに限らず、開催される様々な美術展覧会を随時紹介する予定ですので、積極的に見に行ってください。

履修コード	208601
科目名	芸術学〔音楽〕
担当者名	浦本 裕子

講義のねらい	<p>音楽は私たちの回りに溢れている。さまざまなメディアから音楽が流れ、カラオケも今や世界共通語にまでなった。社会のグローバル化が進み、音楽も世界のものが聴けるようになり、ジャンルもボーダーレスになってきた。日本では、演歌など一部のものを除けば、流れている音楽のほとんどがヨーロッパとアフリカの音楽に基づいたものである。音楽理論はヨーロッパで生まれたクラシック音楽に由来し、ポップスにはアフリカ的な要素も多く入り込んでいる。</p> <p>そもそもどのように音楽が生まれてきたのだろうか、そしてどのように享受されてきたのであろうか。</p> <p>本来は、音楽は生活の中での祈りや子守歌など「必要なもの」として生まれてきた。そして世界各地で、環境や生活形態が異なる中で、楽器や発声法などそれぞれ独自の音楽文化を長い時間をかけて形成してきたのである。</p> <p>この授業では、そのような多様な諸民族の音楽やヨーロッパのクラシック音楽を学ぶことにより、多様な文化の一つとして音楽を理解することを目指したい。</p>
講義の内容・授業スケジュール	<p>前期：諸民族の音楽・1-3概論 4-7ヨーロッパ 8-15アジア</p> <p>後期：西洋音楽史・1-2楽器 3-4中世・ルネサンス 5-7バロック 8-10古典派 11-13ロマン派 14-15近世</p>
履修上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> 音資料や映像資料を鑑賞するので、できるだけ出席するように。 授業中に簡単なレポートを書いてもらうことがあるかも知れません。
成績評価の方法	<p>前期：試験またはレポート</p> <p>後期：試験</p>
教科書参考書等	<p>柘植元一・塚田健一編『はじめての世界音楽』（音楽之友社）</p> <p>藤井知昭 他 編『民族音楽概論』（東京書籍）</p> <p>久保田慶一 他 『はじめての音楽史』（音楽之友社）</p> <p>岡田暁生 『西洋音楽史』</p>

履修コード	208701
科目名	哲学〔西洋思想の源流〕
担当者名	滝口 清栄

講義のねらい	<p>西洋思想は古代ギリシアで哲学的思索が始まってからすでに二千数百年の歴史をもっている。とかく現代では、目新しさを求める風潮が強くなる。そしてさまざまな流行が私たちが囲んでおり、思想の世界もこの風潮を免れていない。しかし、この二千数百年の歴史は、けっして遺物の山なのではない。そうではなく、この歴史のなかでさまざまなテーマが多くの思想家たちによって提出されて、さまざまな応答がなされてきた。それらは、今日のさまざまな思想的論点の底流を形作っていると言っても、言い過ぎではないだろう。</p>
講義の内容・授業スケジュール	<p>西洋思想の源流として、古代ギリシア・ローマの諸思想、そして中世の思想を取り上げる。講義にあたっては、それぞれの思想の検討だけでなく、その思想の背景にある歴史的な事情や当時の文化のあり方にも目配りをおこなう。講義スケジュールは次のようにする。</p> <p>前期 ① 万物のはじめをもとめて（ソクラテス以前の哲学者たちの思索を検討する）、② ポリスの思想家たち（ソクラテス、プラトン、アリストテレスなど）</p> <p>後期 ① ヘレニズム時代のコスモポリートたち（エピクロス、初期ストア派の思想家たち）、② 中世の思想（アウグスティヌス、トマス・アクイナスなど）、③ 近代の幕開け</p>
履修上の留意点	<p>講義は平明を心がける。ノートをよくとってほしい。ときどき質問用紙を配るので、不明な点について質問を出してほしい。</p>
成績評価の方法	<p>中間テスト（前期の最終授業時）と学年末試験により成績を評価する。追試験は実施する。</p>
教科書	<p>久保陽一・河谷淳編『原典による哲学の歴史』、公論社、3200円</p>

履修コード	208801・208901
科目名	哲学〔西洋思想の源流〕
担当者名	佐藤 暁

講義のねらい 哲学という営みが世界史上初めて行われた古代ギリシャ及びその強い影響下にあった中世ヨーロッパで活躍した哲学者たちの議論に、なるべく具体的かつ多く触れることによって、哲学的な問題とはどのようなものであり、哲学的に何かを論じるとは一般にどのようなことであるか、の理解を得ることを目的とします。また、一見現代の我々のものと異なって見えることもあるそれらの問題設定を知ることによって、我々が何かを考える際に自明と見なしている枠組みの相対性と普遍性を、結果的に吟味することにもなります。

講義の内容・授業スケジュール (1) 概論：哲学とはどのような学問か (2～4) ソクラテス以前の哲学 (5)～(10) ソクラテス・プラトン (11)～(17) アリストテレス (18)～(20) ヘレニズム期の哲学 (21) (22) 教父思想とアラビア哲学 (23) (24) カロリング・ルネサンスと前期スコラ学 (25)～(27) 盛期スコラ学 (28)～(30) 後期スコラ学

成績評価の方法 学期末にレポートを提出してもらいます。

教科書 久保陽一・河谷淳編著『原典による哲学の歴史』公論社3200円 ISBN978-4-7714-2002-1

履修コード	209001
科目名	哲学〔近代の人間観と世界観〕
担当者名	古田 知章

講義のねらい 現代において我々は、様々な場面で西洋的なものに直面し、また、我々自身、知らず知らずのうちに西洋的な人間観・世界観に基づいて判断あるいは行動していることも多い。この我々の日常にも深く係わる西洋的なものは、古代ギリシア以来の伝統のもと多岐にわたる曲折を経て、近代ヨーロッパにおいて現れた人間観・世界観に強く影響を受けている。したがって、西洋的なものの理解のためにも、また、現代に生きる我々の自己理解のためにも、近代ヨーロッパの人間観・世界観がどのような伝統と時代意識のもとに形成され、いかなる形で現代社会へと流れ込んでいるのかを学ぶことは有意義であると考えられる。

講義の内容・授業スケジュール 教科書を利用し、以下の内容を取り上げる。

[前期] 近代の人間観・世界観の源流

(1) ガイダンス

(2～4) 哲学における基礎的な問題の整理 人間と世界について問うこと

(5～7) 古代ギリシアの思想 (1) ー哲学的探求の始まりー

(8～10) 古代ギリシアの思想 (2) ー哲学の基盤の成立ー

(11～13) キリスト教思想と中世の哲学 ー思索の新たな展開ー

(14～15) 中世から近世への連続と変動 ー様々なルネサンスについてー

[後期] 近世・近代の人間観・世界観

(1) 前期のまとめ

(2～4) ルネサンスから近世の思想 ー人間観・世界観の変革ー

(5～7) 科学の発展と世界観の変化との関係 ー法則的世界と人間ー

(8～11) 《コギト》としての人間存在 ー思考の働きの能動性ー

(12～15) 現代の存在論 ー見えるものを支える見えない枠組みー

成績評価の方法 二回の定期試験(中間試験、年度末試験)と平常点(出席状況、夏期レポート等)で評価する。

教科書 『原典による哲学の歴史』(公論社)

参考書等 講義の際にその都度紹介する。

履修コード	209101
科目名	哲学〔近代の人間観と世界観〕
担当者名	佐藤 暁 <small>さとう あきら</small>

講義のねらい 科学が世界の基礎的な真相を記述している、という現代においても支配的な信念が初めて一般に共有されるようになった近代という時代の哲学は、それゆえ、現代の我々が普段何をしていることになるのか、あるいはどのような世界に住んでいるのか、といった哲学的な問いを考えるうえで必要となる道具立てのうち、最も基本的なものを作り上げた哲学と言えます。この授業では、近代の哲学者たちの議論に具体的に触れることによって、我々自身が哲学的に考えるうえで必要な思考方法にどのようなものがあるかを実際に知り、できればそれらのある程度使いこなせるようになることを目標とします。

講義の内容・授業スケジュール 以下の哲学者を中心に、各項目ごとの解説を行います。(1)概論：人間と人間観、世界と世界観(2)～(13)イギリス経験論(ロック・バークリ・ヒューム)(14)～(22)大陸合理論(デカルト、スピノザ、ライブニッツ)(23)～(30)カントとドイツ観念論(カント・ヘーゲル)

成績評価の方法 学期末にレポートを提出してもらいます。
教科書 久保陽一・河谷淳編著『原典による哲学の歴史』公論社 3200円 ISBN978-4-7714-2002-1

履修コード	209201
科目名	哲学〔近代の人間観と世界観〕
担当者名	小島 優子 <small>こじま ゆうこ</small>

講義のねらい 近代における「人間中心主義」をテーマとする。現代における環境問題を考えるとき、われわれはすぐに人間中心主義の思想のもとに自然破壊が行われてきたことに思い至る。近代における科学技術の発展はわれわれの生活をたいへん便利なものとしてきた。しかし、人間中心主義がわれわれにもたらしたものはいったい何であろうか。このことを考察するために、まず自然と人間との関係は古代ギリシア以来、どのように考えられてきたか、そして近代人の特色とは何であるについて押さえる。

近代において人間中心主義が標榜されるようになったのは、中世のように神が人々にとって中心の問題ではなくなったことに由来する。そもそもなぜ古来人間は神を信じてきたのか、さらに近代人にとって神とはどのような存在であるのかについて考えたい。近代においてはむしろ人間とは何であるかということが、歴史的状況、社会的状況のなかで問われるようになった。そして人間はいかに生きるべきか、人間とは何かということが問題とされる。講義を通して、人間とは何か、また人間が生きるこの意味について学生諸君に考えてもらいたい。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 哲学とは何か
- 2 近代以前の哲学
 - ① 古代ギリシア哲学の世界観－人間と自然・人間と国家との関係－
 - ② 中世哲学とキリスト教神学
- 3 近代哲学の特徴
 - ① キリスト教神学からの解放－近代人にとって神とは何か－
 - ② 自然科学の哲学への影響
 - ③ 人間中心主義の世界観

成績評価の方法 1回の定期試験(中間試験)と、1回の学期末試験と平常点(出席状況)で評価する。定期試験と学期末試験、平常点とで必要とされる点を満たさない場合には、追試験を認める。

教科書 久保陽一・河谷淳編著『原典による哲学の歴史』公論社
参考書 小島優子著『最新哲学がよ～くわかる本』秀和システム

履修コード	209301
科目名	哲学〔現代文明と人間〕
担当者名	黒崎 剛 <small>(くろさき つよし)</small>

講義のねらい	近代社会（近代とは現代も含む）のなかで人間のあり方と、社会構造（近代市民社会＝資本主義社会）について、近現代哲学を総括した上で、テーマ別に人間論と社会論について入門的な講義を行う。個々の哲学者の学説史ではないので、哲学史の知識を求める人には向かない。
講義の内容・授業スケジュール	以下のテーマを取り上げる予定 1. はじめに：われわれはどんな社会に生きているか 2. 「知識」は何のためにあるのか 3. 近代的自我：「自分である」とはどういうことか 4. 近代的自由の類型：自己決定と自律 5. 人間と自然：人はなぜ自然に生きることができないのか 6. 近代資本主義社会の構造：われわれはなぜモノとカネに支配されるか 7. 歴史哲学
履修上の留意点	近代哲学の主要テーマ別にかなり抽象的な形で取り上げるので、単位獲得のためだと割切っている人は退屈するはず。自分で考える姿勢を持つことを要求したい。
成績評価の方法	学年末試験を中心とし、受講態度および出席を加えて総合評価する。
教科書	教科書の代わりにプリントを配布。参考書は教場で紹介する。

履修コード	209401
科目名	哲学〔現代文明と人間〕
担当者名	滝沢 正之 <small>(たきざわ まさゆき)</small>

講義のねらい	現代哲学における重要な哲学者たちのうちから何人かをとりあげ、本人が書いたテキストの一部を（翻訳ではあるが）実際に読みつつ、その思想を紹介していく。 我々が生きている現代がさまざまな問題を抱えていることは誰でも知っている。哲学者たちの思考をたどることで、それらの問題を根本にまで立ち戻って考え直すことを試みたい。
講義の内容・授業スケジュール	下に指定した教科書『原典による哲学の歴史』の原典引用部分を丁寧に読み、解説していく。現代哲学の流れを紹介した後にアンケートを採り、受講者の問題関心に応じて扱う哲学者を選択する。とくに要望がない場合は、こちらで重要と思われる哲学者をピックアップする。適宜プリントで内容の補足を行う。 ちなみに昨年度は、現代思想の概観を確認したのち、フランクフルト学派、ショーペンハウアーを前期に、ニーチェ、キルケゴール、サルトルを後期に扱った。
履修上の留意点	教科書を必ず入手しておくこと。
成績評価の方法	中間試験および期末試験により評価する。中間試験はレポートにする予定。期末試験は筆記。受講者の人数が少ない場合は出席をとり、それも評価に加味したい。
教科書	久保陽一、河谷淳編著『原典による哲学の歴史』、公論社、2002年、3,200円。また、授業中に適宜プリントを配布する予定。
参考書等	講義中に適宜指示する。

履修コード	209501
科目名	哲学〔現代文明と人間〕
担当者名	麻生 享志 <small>あさお たくし</small>

講義のねらい	人間の生き方と密着する、また、学問としての「本当の哲学、本物の哲学」に近付くための案内をする。 自己の人生の問題を考えるきっかけを得る。そして、その追い求め方のヒントもさがす。 哲学や、人生を考える上で有益な書物を読む、読み方を説明する、など。
講義の内容・授業スケジュール	(1)哲学とは何か(2-6)古代ギリシャ・20分で分かる哲学全歴史・ゼノンのパラドックス・時間論とタイムマシン・原子論(7-12)論理的説得とは・初心者の犯す四誤謬・実験と科学・帰納的推論・山のパラドックス考・自然法則の意味(13-20)経験論の教えるもの・美と感覚・主客二元論・真理論としての対応説・色は実在せず・第一性質と第二性質・プラグマティズムの真理観・哲学史再考(21-30)論理学開始のアポリア・ニーチェ道徳理論の借用・1命題1真偽値説の功罪・可能性を数えつくすこと・カラスのパラドックスやグルー問題その他・「囚人のジレンマ」と哲学・保守思想と19世紀英国の思想家達・建築の哲学・神の存在論的証明の現代的意義・教育哲学における10原理
履修上の留意点	最低限の常識的なルールを守ってもらい、あとは、興味に応じて講義を聞く事を“楽しんで”もらいたいと思っています。
成績評価の方法	成績は、出席等による平常点(約3分の1)、前・後期試験および夏休み明け提出のレポート(約3分の2)によって評価します。特に、2度の試験とレポート提出の3条件を満たさない場合、単位は出ません。
教科書 参考書等	久保・河谷編、麻生ほか著『原典による哲学の歴史』(公論社刊)3200円 麻生著『ジョン・デューイにおけるプラグマティズムの真理観の研究』(コンテンツ・ワークス社「ブック・パーク」によるインターネットのオン・デマンド出版)は、講義の内容に直接に関係するものとしてご紹介します。その他講義に直接必要なものは、原則としてコピーを配布します。他に読むべきものは、講義中において詳細に紹介するので、自己の興味に合わせて読み進められたい、と思います。(下欄「その他」の説明も参照)
その他	大学という学問の場においては、講義内容を聞いて理解し、内容を記憶するだけでは、十分ではありません。自分で検討し、疑い、考えることが絶対に必要であると考えます。そのために、自分で本を読んだり、調べたりという作業が加わるでしょう。意欲ある取り組みと、徹底的に自分の頭で考える姿勢を求めます。 初日はガイダンスとし、定時に開始し、5分間程度、資料を配布して質問を受け付けます。(その後は、雑談的内容にあてる予定で、退出自由。)この時配布する資料は、履修に必要ですので、何らかの方法で必ず入手するようにして下さい。このガイダンス資料配布および質問受付は、支障の生じない限り、初回授業終了時5分程度にも行う予定です。

履修コード	209601・209801・210101
科目名	論理学〔科学方法論と現代論理学〕
担当者名	鈴木 聡 <small>すずき さとる</small>

講義のねらい	論理学の初歩の講義を、できるだけ丁寧にわかりやすく行う。論理学とは、妥当な論証と非妥当な論証との差異についての研究である。妥当な論証とは、前提から結論が帰結する論証である。前提から結論が帰結することを意味論的ならびに統語論的に表現することが論理学の主要課題である。妥当な論証を行う能力を身につけることは、いかなる分野を専攻する学生にとっても重要なことからである。
講義の内容・授業スケジュール	(1)プロローグ・(2)文論理における文の記号化・(3)文論理の言語・(4~7)文論理の意味論・(8~14)文論理の統語論・(15)中間試験・(16-17)第一階量化論理の基本概念・(18-19)第一階量化論理の言語など・(20-21)多重量化・(22-23)第一階量化論理の意味論・(24)第一階量化論理のメタ論理・(25~29)第一階量化論理の統語論・(30)期末試験
履修上の留意点	講義を理解するためには、「数学」のセンスが必須である。 欠席・遅刻は一切認めない。
成績評価の方法	成績は、中間試験・期末試験・小テスト・出席点で評価する。
教科書 参考書等	配布プリント 本講義は、講義→小テスト(チュートリアル)→前回の講義の復習→小テストの解説→・・・という形式で行う。

履修コード	209701
科目名	論理学〔科学方法論と現代論理学〕
担当者名	<small>やまぐち</small> 山口 <small>まさひろ</small> 祐弘

講義のねらい 論理学の基本思想を学ぶことによって、正しく思考し語る態度を身につける。
 講義の内容・ 前期
 授業スケジュール

- ①論理学の課題と目標
- ②思考の基本原則、同一律・矛盾律・排中律・理由律
- ③伝統的論理学と弁証法
- ④論理的思考の要素、概念・判断・推理
- ⑤推理の方法、直接推理
- ⑥推理の方法、間接推理
- ⑦蓋然的推理、帰納と類推
- ⑧誤謬論
- ⑨パラドックス
- ⑩論理と科学

後期

- ①記号論理学の起源
- ②命題論理学
- ③命題関数と真理表
- ④標準形
- ⑤命題論理の公理体系
- ⑥体系の無矛盾性と完全性
- ⑦命題の内部構造
- ⑧述語論理学の基本概念
- ⑨定理の演繹
- ⑩伝統的論理学の記号化

履修上の留意点 日常の思考と言語表現における論理性に注意をむけること。
 成績評価の方法 中間および期末試験による。
 教科書 山下太郎「新しい認識への論理」(公論社)

履修コード	209901
科目名	論理学〔科学方法論と現代論理学〕
担当者名	<small>たきぐち</small> 滝口 <small>きよさき</small> 清栄

講義のねらい 私たちはさまざまな情報のうずのなかで生活している。これら多岐に及ぶ情報の伝達と表現は言葉によって行なわれている。また送り手も受け手も思考を通して情報に関わっている。この渦の中で私たちは納得したり、あるいは納得しなかったりする。こう見るならば、私たちは言葉と思考のあり方に敏感になるのではなからうか。ひとたびこの点に注意を払うようになると、日常生活をしてさまざまな学問的な営みの基礎として、論理学が大切なものと思えるであろう。本講義では、思考の基礎をしっかりとしたものとし、思考の諸法則が身につくよう心がける。

講義の内容・ 教科書はおもにそれぞれのテーマの理解を得るために使い、練習問題をそのつど配布する。形式
 授業スケジュール 論理学に重点をおいて授業を進めていく。

前期では、実際に文章を論理的に解説する練習をおこない、そのあと、論理的虚偽について、概念、定義と分類、命題、演繹推理(定言三段論法、仮言三段論法など)、帰納推理、記号論理初歩を扱う。

履修上の留意点 理解を深めるために練習問題をできるだけ多く解いて、論理的な思考回路が身につくように工夫する。出席を重視する。

成績評価の方法 年間5回の小テストをおこなって、成績を出す。したがって、追試験はおこなわない。
 教科書 山下太郎他著『新しい認識の論理』(公論社) 3,200円

履修コード	210001
科目名	論理学〔知の技法〕
担当者名	伊古田 理 <small>いごた まさる</small>
講義のねらい	本講義は、文科系の文章技術について解説し、かつトレーニングを試みる。すなわち、あるテーマについて、文献を集め、読み、考え、そのうえで自分の考えを文章としてまとめるといった一連のプロセスについての実際的なノウハウの習得を目標とする。
講義の内容・授業スケジュール	(1)(2)「論理的」とはどういうことか (3)主張文の基本構成 (4)～(6)問題設定のしかた (7)～(9)根拠づけの考えかた (10)～(13)結論のつけかた (14)～(16)論証の基本原則 (17)(18)文献を使って文章を書く(1)－その意義 (19)～(22)文献を使って文章を書く(2)－文献を読む (23)～(28)文献を使って文章を書く(3)－文章を書く (29)(30)文章作成の倫理
履修上の留意点	以下の「成績評価の方法」でも触れているが、この授業は基本的に講義スタイルですすめてゆくが、それと平行して、数回のレポート課題を出す。そして、この提出したレポートを材料に授業を進めるケースも少なくない。したがって、レポート課題がこなせないという意識をもつ諸君には受講をすすめたくない。
成績評価の方法	最終的に本講義で扱ったテーマに対する諸君の考えをまとめた原稿用紙20枚程度のレポート試験(1月定期試験時提出)によって判定。このほか、随時課する小レポート(内容要約、など：期日厳守)をプラス材料として考慮する。定期試験はいっさい実施しない。
教科書	本年度は、テーマとして「道徳の理由(なぜ道徳なんてものに従って行動しなければならないのか)」をとりあげる。 教科書：大庭他著『なぜ悪いことをしてはいけないのか』(ナカニシヤ出版) 副読本：野矢茂樹『論理トレーニング』(産業図書)
参考書等その他	そのつど指示する。 上記教科書のテーマに対する関心を予めそなえていることは、必ずしも前提しない。しかし無関心でいつづけることはできない。自分で興味をみつけてゆくつもりで授業に臨んでほしい。

履修コード	210201
科目名	論理学〔知の技法〕
担当者名	小島 優子 <small>こじま ゆうこ</small>
講義のねらい	論理力は、自分の考えていることを他人に納得のゆくように筋道立てて説明するさいに、必要となる。そして論理的に文章を書くためには、論理学の構造を学ぶだけではなく、論理学の問題練習を行うことが必要である。そのために講義では毎回、問題演習を行う。いわゆる悪文と良文とはどこが異なるのか。わかりやすい文章、論理的につじつまの合う文章を書くために必要な事柄は何であるのか。講義では毎回、参考となる文章を取り上げて、論理的な文章を書き、論理的な構造を把握し身につけるためのトレーニングを行う。最終的には、論理的な力を身につけ、レポートや、論文を書くための力を身につけることを目標とする。
講義の内容・授業スケジュール	1 ガイダンス 論理学とは何か 2 さまざまな接続関係 3 接続の構造 4 議論の組み立て 5 論証の構造と評価 6 演繹と推測 7 価値評価 8 否定 9 条件構造 10 推論の技術 11 批判への視点 12 論文を書く
履修上の留意点	論理力を身につけるためには、論理力トレーニングが必要となるので、講義に出席することが大事である。このために出席を重視する。
成績評価の方法	一回の定期試験(中間試験)と、一回の学期末試験、および平常点(授業時に適宜与える課題)で評価する。定期試験と学期末試験、平常点とで必要とされる点を満たさない場合には、追試験を認める。
教科書	野矢茂樹『論理トレーニング』(産業図書)
参考書等	そのつど指示する。

履修コード	210401
科目名	科学史〔科学と技術〕
担当者名	たかはし しゅうゆう 高橋 秀裕

講義のねらい	今日、我々は高度に発達した科学とその科学に基づいた技術の受益者になりうるだけではなく、その反対に被害者にもなる可能性がある。近代自然科学をどのように捉え、それに如何に対処するかという問題が近年しきりに議論されている所以でもある。本講義では、古代から現代に至る科学の歴史的展開を、「方法」や「思想」そして「宗教との関係」にも眼を向けつつ総合的に学び、科学がいかに広範な文化的背景をもって発展してゆく知的営為であるかを理解するとともに、科学と技術に関して今後思索する際の信頼できる知的道具の習得を目標とする。
講義の内容・授業スケジュール	前期は、近代日本の科学技術の性格を歴史的に考察することから出発し、近代日本が導入を図った西欧近代科学の長い歴史をたどる中から、その成立の由来を探ることを通して、近代科学に裏付けられた技術の強力さの秘密とそれが抱える問題点について講義する。後期は、科学の三つの典型として、数学、自然科学、医学を議論の俎上にのせ、科学がいかなる構造と射程をもつ知的営為であるのか、そして高度な科学・技術が制度化された現代社会の抱えている諸問題について、具体的事例をとりあげながら、科学と技術の歴史的展望をも含めて講義する。
履修上の留意点	いわゆる自然科学に関する素養はとくに要求しないが、講義の中に出てくる諸概念を必要に応じて自ら調べ理解する積極的な態度は受講の最低要件である。また、毎回講義内にコメントカード(兼出席票)を配布するので、講義内容に関する感想や不明な点などを書いてほしい。
成績評価の方法	出席・随時レポートによる平常点(40%)および定期試験(60%)の総合成績で評価を行う。なお、試験については、手書きノートの参照は可とする。
教科書 参考書等 その他	特に指定しない。 講義の際に適宜紹介する。 講義形式、随時プリント配布。

履修コード	210501
科目名	科学史〔近代科学の成立と展開〕
担当者名	たかはし しゅうゆう 高橋 秀裕

講義のねらい	17世紀科学革命における経験主義の起源の一つとして、魔術的伝統が挙げられる。しかし魔術のような非合理的な伝統が合理主義の追求である近代科学に影響を及ぼしたとは考えられないと言った科学史家もいる。果たしてそう言えるのだろうか？この授業では、ルネサンス期において興隆をみた魔術的伝統とはどのようなものであったか、それが多様かつ複雑なものであったことを理解し、その中で、脱神秘化していく魔術と理論化される技術に焦点をあて、とくに「遠隔力」概念の形成において、科学が魔術と占星術から大いなる刺激を受けた、その事情を探る。
講義の内容・授業スケジュール	磁力の発見をめぐる話題から出発し、魔術と科学のはざまに焦点を当てながら、近代科学の形成過程に「魔術」が果たした役割を探る。とくに磁力と重力の発見過程を歴史的に追跡し、17世紀機械論哲学と力概念の発展について講義する。
履修上の留意点	いわゆる自然科学に関する素養はとくに要求しないが、講義の中に出てくる諸概念を必要に応じて自ら調べ理解する積極的な態度は受講の最低要件である。また、毎回講義内にコメントカード(兼出席票)を配布するので、講義内容に関する感想や不明な点などを書いてほしい。
成績評価の方法	出席・随時レポートによる平常点(40%)および定期試験(60%)の総合成績で評価を行う。なお、試験については、手書きノートの参照は可とする。
教科書 参考書等 その他	特に指定しない。 講義の際に適宜紹介する。 講義形式、随時プリント配布

履修コード	210601
科目名	倫理学〔人間観〕
担当者名	古田 知章

講義のねらい われわれは、社会の中で、一人の人間として、さまざまなものを「よい」あるいは「悪い」と判断しながら生活している。逆に言うと、この判断なしにわれわれは生きていくことができない。では、このような倫理的生活を送っているわれわれ人間とは何者であろうか。日常、われわれは「人間」という言葉、あるいは、「自分が人間である」という事態を自明なものとして扱っている。しかし「人間とは何か」と問われたとき、さまざまな問題が浮かび上がり、簡単には解答に到達できない。西洋の思想的領域では、この問いに対して、その時代の社会的状況や思想的背景との関連のもとで、さまざまな解答、そして、われわれ自身の生きる目標としての人間観が提示されてきた。現代に生きるわれわれが、自らが人間であることの意味を問い直すとき、これらの諸説を一度、検討することは有意義であると考えられる。

講義の内容・授業スケジュール 教科書を利用し、以下の内容を取り上げる。
 〔前期〕 人間観の形成の歴史とその伝統
 (1) ガイダンス
 (2~4) 人間と倫理 一人間であるために―
 (5~8) 古代ギリシア思想における人間観の諸相
 (9~11) 中世キリスト教思想における人間観
 (12~15) 人間観の転換 ―ルネサンス・宗教改革―
 〔後期〕 新しい時代の人間観
 (1) 前期のまとめ
 (2~5) 出発点としてのデカルト《思惟する私》とパスカル「考える葦」
 (6~9) 自己の内面性と他者の問題
 (10~12) 人格 ―ロックを手がかりに―
 (13~15) 人間存在と自由
成績評価の方法 二回の定期試験（中間試験、年度末試験）と平常点（出席状況、夏期レポート等）で評価する。
教科書 『原典による哲学の歴史』（公論社）
参考書 講義の際にその都度紹介する。

履修コード	210701・211111
科目名	倫理学〔応用倫理学〕
担当者名	黒崎 剛

講義のねらい 「倫理」というのは、人間が世界の中で、世界に対して振る舞う上にさいして基準とする「規範」―「価値」や「義務」、「習慣」といった―の正当性を問うものである。だから「倫理学」というのは、自分が行動するに際して自覚的・無自覚的にとっている規範が半端なものではないか、みずから検証するという課題を持っている。ところで、科学技術、そして最近の生命科学の驚異的な発展によって、私たちがこれまでまったく自明のものとなっていた多くの「価値」「規範」がその地位を失おうとしている。そこで、この授業では、生命科学と医療の分野でここ二、三十年の間に起った変動ともなって提起されてきた問題を取り上げる。すなわち「生命倫理」をテーマとする。

講義の内容・授業スケジュール 「生命倫理」の諸問題のうち、以下のテーマを取り上げる予定
 1. 生命の倫理―講義の課題概説
 2. 「インフォームド・コンセント」：自己決定の思想
 3. 人工妊娠中絶
 4. 安楽死と尊厳死
 5. 脳死と臓器移植
 6. 「生殖革命」―人工生殖の現状と問題点
 7. 遺伝子操作論
履修上の留意点 課題はすべて現在進行形のものばかりなので、受講生にも起りつつある問題に絶えず嗅覚を働かせる態度を望む。
成績評価の方法 レポートおよび学年末試験を中心に、受講態度、出席を加えを総合評価。
教科書 教科書はプリントを使用。参考書は教場で紹介する。

履修コード	210901
科目名	倫理学〔応用倫理学〕
担当者名	たきざわ まさゆき 滝沢 正之

講義のねらい	倫理学の一部門、応用倫理学について、その基本構成、重要な成果、さらには限界を探っていく。我々の人間的な生にとって、なにが善いことでなにが悪いことなのか、といった道徳的な価値判断は本質的な契機をなしている。しかし、社会が複雑化し科学技術が極度に発展した現代においては、そのような価値判断のよりどころが判明でないような場面が多々出現するようになっている。物事の根本に立ち戻って哲学的に思考することによって、そのような場面に一定の見通しを与えることを試みる。
講義の内容・授業スケジュール	[1回～5回] 倫理学とはなにか（倫理学の基本概念を紹介する。） [6回～10回] 応用倫理学とはなにか（応用倫理学の哲学史的な位置づけなど。） [11回～15回] 生命倫理学の諸問題（中絶の問題、安楽死の問題、臓器移植の問題など。） [16回～20回] 環境倫理学の諸問題（地球温暖化の問題、希少動物保護の問題など。） [21回～25回] その他の諸問題（技術と倫理との関係など。） （＊残りは予備日。また、あくまで目安である。）
履修上の留意点	講義が中心になるので、きちんと出席してノートをとらないと理解が深まらない。適宜プリント等で復習を行うが、この点について注意されたい。
成績評価の方法	学年末試験を行う。その他に、講義中に提出してもらった課題を評価の対象とする。具体的には中間レポート等を考えている。出席については受講者数をみてとるかどうかが決める。
教科書 参考書等	講義中に適宜指定する。 久保陽一、河谷淳編著『原典による哲学の歴史』、公論社、2002年、3,200円。その他のものについては講義中に適宜指定する。

履修コード	210801
科目名	倫理学〔価値観〕
担当者名	くぼ よういち 久保 陽一

講義のねらい	何が善で何が正しいか、何に「価値」があるかという問題は、近代以前においては、何が真理であり、何が存在するかという世界観や認識の問題と切り離すことはできなかったが、近代以後峻別されるようになった。だが、現代では再びその点に対する反省が出てきて、世界認識と価値判断の関連が問われている。そこで本講義ではまず近代以前の東西の倫理思想における価値観をとりあげ、次に近代の価値判断をめぐる思想を取り上げ、そして現代における人間の生き方を問うことにしたい。
講義の内容・授業スケジュール	1 仏教、儒教、老荘思想、古代ギリシア哲学、キリスト教における世界観と価値判断 2 近代倫理学（カント、経験論・功利主義、ヘーゲルなど）における価値をめぐる思想 3 現代における価値の問題
履修上の留意点	私語をつつし、よくノートを取る。途中退席は厳禁。講義内容の疑問点は率直に問うこと（随時、質問表を配る）。
成績評価の方法	中間と期末の試験、出席の割合など
教科書 参考書等	久保・河谷編『原典による哲学の歴史』（公論社） 授業中に紹介する。

履修コード	211001
科目名	倫理学〔制度とモラル〕
担当者名	<small>たぐぐち きらひ</small> 滝口 清栄

講義のねらい 人間は古くから共同体を作り、さまざまな社会的・政治的制度を生みだしてきた。そこには時代により、地域により違いが見られる。そこにはまた人間のよりよいあり方とよりよい社会的・政治的制度のあり方をめぐり、絶えることのない思想的な営みがあった。どのような時代でも人間はこの営みをやめることはなかった。私たちの社会は今どのような方向に進んでいくのか。いろいろと考えざるをえない。以上の思想的営みを歴史的視野の中で振り返る。それは、今日の問題を考えていく上でも大切な土台となるであろう。

講義の内容・授業スケジュール 本講義では、西洋倫理思想史のなかで古代、近代、現代から主要な思想をピックアップし、人間観の特徴と、人間のよりよき生活を可能にするよりよき制度をめぐる思索のあとを検討する。制度はもちろんそれを担う人間を必要とする。ここにモラルの問題が関わる。時代的な違いを背景において以上の問題を検討していく。

履修上の留意点 こまかなスケジュールについては開講時にスケジュール表を配布するが、おおまかに、前期には、古代ギリシア、中世、近代初頭までの諸思想を、後期には、近世、近代のイギリス、フランス、ドイツの諸思想を検討する。

成績評価の方法 講義は平明を心がける。ノートをよくとってほしい。ときどき質問用紙を配るので、不明な点について質問を出してほしい。

教科書 中間テスト（前期の最終授業時）と学年末試験により成績を評価する。追試験は実施する。
久保陽一・河谷淳編『原典による哲学の歴史』（公論社）3,200円

履修コード	211101
科目名	倫理学〔東洋倫理〕
担当者名	<small>すえぎ やすひこ</small> 末木 恭彦

講義のねらい 倫理学は、人の行為の規範を考える学問である。主として西洋の哲学の一部門として発達した。それに相当する思索は東洋の伝統的思想の中に生まれていた。近代に至って、西洋の学問の影響下、東洋の伝統を生かそうとする試みが行れた。そのような東西のはざままで苦心して考えられた、東洋の倫理思想を紹介し、我々自身の倫理思想を獲得する一助としたい。

講義の内容・授業スケジュール 今年は、近代日本の哲学者・倫理学者である和辻哲郎の倫理学を紹介する。和辻倫理学の中でも『人間の学としての倫理学』を取り挙げて、一年かけてじっくりと読みたい。
（1）ガイダンス（2）和辻哲郎について（3～8）第一章一節～四節について（9）第一章五節（10～17）第一章六節～十一節について（18～28）第二章について（29～30）まとめと質疑応答

履修上の留意点 ノートをしっかり取る。

成績評価の方法 各学期末の試験と夏期休暇のレポートによって成績をつける。追試あり。

教科書 和辻哲郎『人間の学としての倫理学』（岩波文庫）（岩波全書版でも可）
和辻哲郎『倫理学』（一）～（四）（岩波文庫）
湯浅泰雄『和辻哲郎――近代日本哲学の運命』（ちくま学芸文庫）
坂部恵『和辻哲郎――異文化共生の形』（岩波現代文庫）
荻部直『光の領国 和辻哲郎』（創文社）

履修コード	211201
科目名	宗教学〔比較宗教文化〕
担当者名	いけがみ よしまさ 池上 良正

講義のねらい 宗教学という学問は、そもそもの出発点から比較宗教学という性格をもっていた。そこでは「ひとつの宗教しか知らない者は、いかなる宗教をも知らない」（マックス・ミュラー）という信念が前提になっていた。「国際化」が進む今日の世界において、異なる社会に育った人々の生活の基盤を形づくってきた宗教文化の相互理解は、ますます重要な課題となっている。

本講義では、宗教学の基本的な視点を紹介しながら、いくつかの具体的な研究成果を学ぶことにする。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、近代宗教学の成果をふまえて、私たちの日常の身近な出来事に引き寄せながら、「宗教」を理解する広い視点を提示してみたい。後期は、多くの日本人には馴染みが薄いものの、現代世界を理解するうえでは欠くことのできない、「一神教」という特異な宗教が成立した過程を考察し、その特性に迫ってみたい。(1～5) 近代における「宗教」の発見。(6～10) 聖なる時間と空間。神話の力。(11～15) グローバル化のなかの「宗教」。(16～20) 一神教の誕生。ユダヤ教。(21～25) キリスト教。(26～30) イスラーム。

**履修上の留意点
成績評価の方法
教科書
参考書等**

積極的に「学ぶ」意欲をもって授業に臨むこと。
年度末に筆記試験を行なう。

特に指定しない。

『岩波講座・宗教』（全10巻）（岩波書店）。『エリアーデ著作集』（せりか書房）。脇本平也『宗教学入門』（講談社学術文庫）。加藤隆『新約聖書の誕生』（講談社）。市川裕他『ユダヤ人と国民国家』（岩波書店）。板垣雄三『イスラーム誤認』（岩波書店）。

履修コード	211301
科目名	宗教学〔聖と俗〕
担当者名	たなか かのこ 田中 かの子

講義のねらい ありのままの世界には「聖」も「俗」もなく、あるがままに続けられてゆくその営みがみられるばかりである。そこにあえて「聖と俗」といった対立概念をみるのは、変化し続ける多様な現象の動きを把握しきれない人間の焦燥感が、二分法という遠心分離機を欲するから、ともいえる。人類の精神史において展開してきた各宗教の分立を観るにつけても、深く知れば知るほど、「～教」と「～教」を隔てる壁の存在に疑問を抱かずにはいられなくなる。一見、相違するようにみえる諸宗教の教義・儀礼・生活共同体の掟にも、歴史的な相関性があり、言語や民族の絆は、信仰の違いを超えて、多様な文化圏を形成している。さらに「いのち」の尊厳を守るための真摯な祈りはどれも、学問的に定義された「宗教」概念では捉えきれない、普遍的で深遠な思想を内に秘めている。ゆえに本講では、従来の宗教学が呪縛されてきた既存の宗教分類（例：「一神教と多神教」「世界宗教と民族宗教」）から出発せずに、最も根源的で身近な「いのち」をめぐる人間の畏れ・感謝・願いをテーマにしなが、「宗教」を考える。

講義の内容・授業スケジュール

前期（1～15）は、ほかならぬ自らの「いのち」に気づき、その表現・解釈・ゆくえ・価値観などについて考えることに重点を置き、後期（16～30）は、ソロアスター教、ユダヤ教、キリスト教、イスラーム、シーク教、ヒンドゥー教、ジャイナ教、仏教、儒教、道教、神道の歴史・思想・文化における「いのち」について、教科書を縦横に駆使しながら探究する。

**履修上の留意点
成績評価の方法
教科書
その他**

既存の知識で示せる情報の範囲をはるかに凌駕した、真実の豊かさに眼を開いてほしい。

独創性と応用力を発揮できる、論述式のレポートと学年末試験（追試なし）。

拙著『比較宗教学―「いのち」の探究―』（北樹出版）2008年、改版（第4刷発行）

講義担当者の現地調査によるスライドや録音テープを活用する。

履修コード	211401
科目名	宗教学〔世界観と儀礼〕
担当者名	小川 順敬 <small>おがわ としゆき</small>

講義のねらい	人間の“宗教行動”を理解することはなかなか困難な作業です。目に見えぬものに語りかけたり、その声に耳をそばだてたり、時としてその声を代弁したりすることを一体どのように分かれれば良いと言うのでしょうか。祈りやお告げといった“宗教行動”は、信仰を持たぬものにとっては全く理解不可能な事なのでしょうか。宗教学は、そういった行動を信仰者の立場からではなく、“人間の行動”として、その背後の考え方を探ることによって理解しようと努めてきました。 この講義では、宗教学の立場から儀礼（宗教行動）とその世界観について考えていこうと思います。一見、不可解な行動に見えても、その背後の世界観を知ることによって、宗教行動の意味をいささかでも理解する端緒が開かれるはずです。
講義の内容・授業スケジュール	まず最初に、宗教学の基本的な考え方や方法論、いくつかの基本概念などを具体事例にそって概説、紹介します。この際、儀礼に関する議論や理論を、宗教学や宗教人類学、あるいはもう少し広く社会科学や人文学の中から紹介する予定です。ついで、様々な儀礼の諸相を具体例をあげて紹介し、その事例の検討を通して、思想や世界観、神話との関係について考えてゆくことにしたいと思います。
成績評価の方法	評価は原則として、年数回の「小試験」（出席点として処理します）および夏期レポート（前期試験に相当します）、年度末の筆記試験により行います。成績評価の具体的な方法、レポートの課題、年度末試験の方針、出席点評価等は最初の授業で詳しく説明します。
教科書 参考書等	原則として教科書は用いません。 講義の内容に関連する参考書は適宜紹介します。

履修コード	211501
科目名	宗教学〔日本人の宗教〕
担当者名	矢野 秀武 <small>やの ひでたけ</small>

講義のねらい	宗教というものを語り理解するには様々な方法がある。宗教学はその1つである。また宗教学の中にも宗教に対しての異なる見方がある。本講義では、宗教学における多様な見方を理解するとともに、特に宗教人類学や宗教社会学、宗教思想研究といった見方を通じて日本の宗教についての基礎的な知識を学んでもらいたい。
講義の内容・授業スケジュール	前半はおもに、宗教学の基礎（1～5）、神道と仏教（6～10）、民俗宗教（11～15）など日本の諸宗教の歴史を中心に概説する。後期では、宗教の思想的な側面にも触れながら、ひきつづき日本の諸宗教の概説を行なう。具体的には、日本のキリスト教や新宗教などの概説（16～20）とともに、近代日本の宗教者の思想（21～25）を紹介する。その他日本の宗教建築や現代日本人の信仰心の特質（26～30）などもとりあげる。
履修上の留意点	レポートや試験形式、その他授業の基本的な約束事は、初回の授業でプリントを配布し、解説する。
成績評価の方法	前期レポート（夏休み前に課題を提示・後期初回に提出）と後期の定期試験期間における筆記試験を総合して評価を行なう。
教科書 参考書等	なし 授業時に随時紹介する。

履修コード	211511
科目名	宗教学〔生活と宗教〕
担当者名	菅原 壽清 <small>すがわら としきよ</small>

講義のねらい	人間の精神世界の根源にあって人びとの生活を支える宗教文化の理解は、現代社会においても不可欠な問題であると思われます。そこで、本講義では宗教学人類学の視点から、「生活と宗教」というテーマで、人びとの宗教的営みについてとらえてみたいと思います。
講義の内容・授業スケジュール	授業は講義形式とし、はじめに宗教学・宗教学人類学についての基礎的な概説を行います。次に、日本を含めたアジアの多様な姿について、人々の宗教的な営みを中心に、その分布や特徴について述べます。さらに、日本と東南アジア、および中国の西南地域の人々の暮らしなどから、その宗教形態に注目して、仏教と民俗宗教との関係や、その展開過程について、それぞれの地域の具体的な事例を取り上げながら、展開したいと思います。
履修上の留意点	1. 宗教学・宗教学人類学とは 2. 日本とアジア、その多様な姿 3. アジアの人々の生活と宗教 4. 日本の人々の生活と宗教 (隔年で、後期の授業内容を変えています。昨年度は、農耕儀礼と人生儀礼から、私たちに身近な生活と宗教を見てきました。今年度は、呪術と宗教、シャーマニズム、妖術などから、私たちの身近にある暮らしの中の宗教を捉えてみたいと思っています。勿論、宗教学の理論も押さえながら。)
成績評価の方法	講義では、調査で写した写真をプロジェクターなどを用いて映します。また、関連の写真をホームページでも公開しています。インターネットなどができれば、なお可です。さらに、DVDを用いて、授業に関連した映像も写します。広く、アジアの人々の暮らしに関心のある方は是非どうぞ。
教科書参考書等	試験 + α + β (詳細は、講義の時説明) α = 座席点 (ABCで、積極的な授業参加を評価します) β = レポート点 (課題や参考書に基づいて提出したレポートなど、積極的な授業参加を評価します) 特に、指定しません。
その他	『宗教学ハンドブック』(世界書院) 講義において、そのつど参考書や文献を紹介します。 講義ノートをプリントして配布します。また、学内LANでも公開の予定です。
	授業の方法—講義、ビデオ・DVD、プロジェクターによるスライドの映写など、ビジュアルな授業を展開したいと思っています。調査 Field Work に関心のある方 (社会・文化人類学、宗教学人類学) 是非どうぞ。

履修コード	211521
科目名	宗教学〔民俗宗教の諸相〕
担当者名	星野 靖二 <small>ほしの やすじ</small>

講義のねらい	本講義では、現代社会およびそこに生きる個人を、「宗教」という観点からとらえ、考える力を養うことをねらいとします。それは現代に生きている私たちの生活にどのような形で「宗教」が関わっているのかということについて自分の問題として考えることでもあり、またそれを可能にする方法と材料を提供していきたいと思います。
講義の内容・授業スケジュール	[01] はじめに。[02~03] 現代社会における宗教：導入として、現代社会においてどのような形で宗教が問題になっているのかについて概観します。[04~07] 宗教学について：宗教学の基本的な考え方について概説します。[08~11] 宗教の世界地図：世界の様々な宗教とその実践についての基本的な知識を確認します。[12~16] 近代日本の宗教：近代以降の日本の宗教とその実践についての歴史を概観します。[17~24] 生活と宗教：生活と宗教の関わりについて、毎回一つのトピックを取り上げて考察します。[25~29] 現代日本と宗教：現代日本における宗教のあり方について考察を加えます。[30] おわりに。
履修上の留意点	講義内容についてのコメントカードを適宜提出してもらいます。
成績評価の方法	夏期休暇中に小レポート (30点)、学期末に期末レポート (50点) を課します。これにコメントカード・平常点 (20点) を合わせ、総合的に評価します。
教科書参考書等	特に使用しません。 棚次正和・山中弘編『宗教学入門』ミネルヴァ書房、2005 関一敏・大塚和夫編『宗教学人類学入門』弘文堂、2004 島蘭進・福嶋信吉・葛西賢太・藤原聖子編『宗教学キーワード』有斐閣、2006 末木文美士『日本宗教史』岩波書店、2006
その他	詳細については、初回講義時に説明します。

履修コード	211601
科目名	人文地理学〔風土と文化〕
担当者名	山口 太郎

講義のねらい	本講義では、都市、とりわけ東京を通じて地理的想像力を磨くこと、そして都市を批判的にみつめる力を養うことを目的とする。教室で学習した知識と、地理的想像力や批判精神といった感覚を、日常生活の場(所)や空間で活かすことができれば理想的である。
講義の内容・授業スケジュール	次の項目を予定している。(1)イントロダクション、(2)東京に関する近年の人文地理学における研究成果概観、(3)～(5)東京の自然史、(6)～(9)東京の歴史地理、(10)～(13)都市の観察法、(14)(15)都市計画、(16)～(19)東京の文化地理(渋谷、秋葉原、代官山、下北沢、大久保、新宿など)、(20)～(22)東京郊外の文化・社会地理(世田谷区内各所、田園調布、「多摩田園都市」、多摩ニュータウン、港北ニュータウンなど)、(23)～(26)都市の社会地理(都市空間と権力、時間地理学、都市空間とジェンダー、都市空間と故郷)
履修上の留意点	出席はとらないが、理解度や要望等を把握するため、不定期に小レポートを課すことがある。また、高校などで利用した地図帳があると便利である。
成績評価の方法	夏休み明けに提出していただくまち歩きレポートと、後期末に行なう試験を基本とし、授業内に行なう小レポートを若干加味する。なお、期限内に夏休みのレポートが提出されないと単位の認定はできない。
教科書 参考書等 その他	特に定めない。プリントを配布する。 授業の中で紹介していく。 講義形式を基本とするが、皆さんに質問を投げかけることもあるので、主体的に参加してほしい。また、町をぶらぶらしたり、いろいろな場所へ出かけたりすることを積極的に行なってほしい。

履修コード	211701
科目名	人文地理学〔風土と文化〕
担当者名	櫻井 明久

講義のねらい	この授業では、主に作業を通じて人文地理学の考え方や方法を紹介したい。取り扱う作業・方法は、地形図読図、地図帳の利活用、テレビなどのルポルタージュ番組の視聴活用などであり、日本の農村地域やヨーロッパを対象として、風土と文化に関する人文地理学の見方や考え方を考える。取り扱う地域については、伊豆の沿岸集落、ドイツ農村、パリ大都市圏など櫻井が経験・調査した地域の事例を丁寧に検討したい。
講義の内容・授業スケジュール	櫻井は今年度初めてこの授業を担当する。そのため、詳細な計画は示しにくいですが、まず前期には、個人と地域との関係を考えながら、日常生活スケールの人文地理学をまず考えたい(1、2、3)。ついで、町探検プラン作成や2、5万分の1地形図や5万分の1地形図の利用について作業をしながら学び、日常生活スケールにおける地域を考えたい(4～12)。夏休みには、前期で学んだ方法を活用してレポートを作成してもらおう。後期は、より大きなスケールで、国、超国家スケールでの人文地理学を考えることにする。すなわち、まず、地図帳を使ってヨーロッパ旅行計画を考えたりしながら、地図帳の利用方法について学び、それらを使って世界各地を説明する試みを行う。(13～15)。ついで、地図帳を使いながら、ヨーロッパの概略を知るとともに、ヨーロッパの「食」と「農業」を通じて、ヨーロッパの生活文化、風土と環境について考えたい(16～23)。また、後期の後半には、夏休みのレポートを簡単にしてもらおう予定である。
履修上の留意点	毎授業、その授業時間内で作成した略地図、着色作業などの成果、ミニレポートを提出してもらい、次時にはその成果やミニレポートを反省して、学生の皆さんの疑問や質問を取り上げ、活かしていきたい。こうした作業活動型の授業を行うつもりであるので、出席が不可欠であり、積極的に参加するよう望みたい。なお、教科書は使用しないが、高校時代に利用した地図帳やそれに相当するような地図帳を利用するので指示する時間には持参すること。また着色作業のために、6色程度の色鉛筆を使うことがあるので指示する時間には持参すること。こうした準備がないと授業に参加できないので注意すること。
成績評価の方法	毎時のミニレポートないしは作品提出・出席：50点、夏休みレポート：30点、試験：20点といったバランスで評価したい。
教科書 参考書等	なし。 適宜紹介する。

履修コード	211801
科目名	人文地理学〔空間と行動〕
担当者名	伊藤 慎悟

講義のねらい	本講義は、身近な社会問題を取りあげ、地域的な差異の存在と、その要因について議論し、人文地理学の基礎的知識および社会問題への関心を深めることを目的とする。今年度は、分布図や地理学に関係のある統計資料の分析、考察を行う。
講義の内容・授業スケジュール	前期は、まず地理学の研究目的、意義について概説する。つぎに、文化や習慣、産業に関する地域的な差異について取り上げる予定である。 後期は、都市問題や人口問題に関する資料の分析を行い、地域差の発生要因について説明を加える。
履修上の留意点	地理学の専門知識は必ずしも必要としないが、昨今の社会問題については普段から情報収集しておくことが望ましい。板書形式の授業なので、ノートを必ず持参すること。
成績評価の方法 教科書 参考書等	前後期の試験(追試あり)と、ほぼ毎回出される課題の提出状況によって評価する。とくに使用しない。高校などで使用した地図帳があると便利である。とくになし。

履修コード	211901
科目名	人文地理学〔空間と行動〕
担当者名	伊藤 修一

講義のねらい	我々は日常生活の中の多くの場面で、環境に影響を受けつつ、個々の意思の基に行動する。ところが、その行動には規則性や一般性が認められることが少なくない。特に都市では多くの人々が集まるがゆえに、その規則性や一般性を捉えやすく、一方で都市がもつ特徴のような例外も観察される。それでは、その規則性や一般性はどのようなもので、例外はどのように表れているのか？この講義では理論と事例を通して、都市や空間・距離がもつ意味をより深く理解することを目的とする。
講義の内容・授業スケジュール	前期には、都市が今日のように分布・形成することとなったかについて、地理学ではどのように説明しているかを概説する。後期には、都市の形成や変化に大きな影響を与える人口動態と移動の傾向を把握した上で、個人の行動と都市をめぐる理論との結びつきを、事例を通して説明する。なお、講義で扱う予定の主なテーマは以下のI～VIIIである。詳しくは第1回の講義の際に述べる。 I地図(2～4)、II都市の分布と立地(5～8)、III都市や地域の結びつき(9～12)、IV都市の内部構造(13～16)、V人口変動と分布・人口移動(17～19)、VI都市の居住構造の形成過程とその変化(20～24)、VII都市と余暇活動(25～27)、VIII都市空間における知覚と認知(28～30)
履修上の留意点	講義では簡単な数式を用いることがある。一次方程式や対数といった数学の基礎知識に不安がないことが望ましい。
成績評価の方法 教科書 参考書等	原則として学年末の試験結果から評価する。なお、追試験は実施しない。 高校などで利用した地図帳を準備することが望ましい。 北川建次編、『現代都市地理学』、古今書院、2,730円、ISBN4-7722-3044-0 富田和暁・藤井 正編、『図説 大都市圏』、古今書院、2,730円、ISBN 4-7722-4027-6 ノックス、P. ・ピンチ、S. 著、川口太郎・神谷浩夫・高野誠二訳、『新版 都市社会地理学』、古今書院、6,090円、ISBN4-7722-5103-0
その他	講義ではプリントを随時配布する。

履修コード	357001
科目名	フレッシュマンセミナー
担当者名	湯浅 陽子 <small>ゆあさ しょうこ</small>

講義のねらい 大学で「学ぶ」ためには、聴く・読む・書く・調べる・整理する・まとめる・表現する・伝える・考える、という9つの力が必要です。これらの力を半期で段階的に身につけ、ワープロソフトで作成したレポートが提出できるようになることを、この授業のゴールとします。

講義の内容・授業スケジュール
 第1回オリエンテーション
 第2回「生徒」から「学生」へ・「何をどう学ぶのか」
 第3回ノート・テイキング
 第4回リーディングの基本スキル
 第5回より深いリーディングのために
 第6回大学図書館における情報収集
 第7回インターネットによる情報収集
 第8回情報の整理
 第9回アカデミック・ライティングの基本スキル
 第10回効果的なアカデミック・ライティングのために
 第11回パソコンによるライティング・スキル
 第12回プレゼンテーションの基本スキル
 第13回わかりやすいプレゼンテーションのために
 第14回プレゼンテーションの実際
 第15回プレゼンテーションの実際

履修上の留意点 第1回目の授業時に、履修登録許可者を決定します。たとえ Web 履修登録を授業前に行っていても、第1回目の授業で履修を許可された学生でなければ、履修登録エラー訂正期間に教務部へ申し出てリストから名前の削除手続きが必要になります。
 なお、履修登録を許可された学生が第2回目の授業を事前の連絡も無しに欠席した場合は、受講できる権利を放棄したと受けとめ、他の希望者に受講権利を譲ります。
 (連絡先: yuasa@komazawa-u.ac.jp)

また、湯浅のフレッシュマン・セミナーは2つありますので、一方で選に漏れた場合は、もう一方のフレッシュマン・セミナーにチャレンジするか、他の担当者のものを受講してください。
成績評価の方法 成績評価は出席点(30%)、合計5回計測するキータッチ2000テスト結果の最高点(30%)、および提出された課題点(40%)により行います。

教科書等 『繰り返して慣れる!◆スピードマスター◆Office 2007 & 情報モラル』 noa 出版 ¥1,030
 学習技術研究会編 『知へのステップ(改訂版)』 くろしお出版 ¥1,890
 ISBN:978-4-87424-355-8 C1081

その他 パソコンで文字入力に困らぬよう、タッチタイピング(手元を見ないで入力する方法)をマスターするための自助努力を課します。総合情報センター自習室のPCには優れたタイピング練習ソフト(Type Quick)が入っています。第1回目の授業時にこのソフトの使い方を説明しますが、タッチタイピング技能は、他の授業でも大変役に立つ上に、この授業では、そのレベルの高さが評価に直結しますので、時間を見つけて練習に励んでください。

なお、希望者が30名以上集まった場合は、大学のPCでも共有できるタイピング練習ソフト(Type Quick) USBメモリ版またはCD-ROM版を購入することが可能です。

履修コード	357101
科目名	フレッシュマンセミナー
担当者名	萩原 義雄

講義のねらい

嘗て「国語学基礎」という科目が存在した。逆に「基礎国語学」と呼称してもいた。今横文字化して「フレッシュマンセミナー」だそうだ。日本人である私にとってこのカタカナ文字は刺りにもなじまない。故に何を教え、何を学ぶのかその教育展望が今少しく見えていないことを前置きする。いわば、何をどう教え何を見出すか試行錯誤の授業と云うことである。この一教員である私と複数の学生との共同（嚮導）授業になろう。私なりにその堂塔の心柱ともいえる骨格を意味する科目と構えて日本国の大学人にふさわしい「東アジア圏日本語文化交流」に大切な教養を育む時間とも云えよう。

そこで、高等教育で何を学んだのか、まずは教える側と学ぶ側相互に確かめねば成るまい。今の大学教育の第一歩として本学の入学試験に国語・英語・社会（専門科目に細分類）といった三科目が指定され、この試験科目の評価点で合否が決定され、大学人としての門をくぐる。その査定の実態分析は、総合的に委員会を通じて実施されているが、この分析結果がどういふものか組織的に教員に伝達されてこの科目成立に結びついていると信じたい。

講義の内容・授業スケジュール

- 01の講義内容 ※最初に情報センターの使用手続き担当責任者説明
- 02の講義内容 日本語文献一般基礎資料の蒐集方法とその取り扱い
- 03の講義内容 日本語字書・辞書、そして参考とすべき専門書の利用とその実際
- 04の講義内容 「東アジア漢文文化圏」における現在の学術研究レベルと成果
その研究領域の一般活用と手続き
- 05の講義内容 日本語表現の多様さ、美しさを生かすその1（手書きそして縦書き）
- 06の講義内容 日本語表現の多様さ、美しさを生かすその2（入力そして横書き）
- 07の講義内容 日本語表現の多様さ、美しさを生かすその3（四種類の文字と融合）
- 08の講義内容 日本語表現の多様さ、美しさを生かすその4（漢語と和語）
- 09の講義内容 日本語表現の多様さ、美しさを生かすその5（洋語と日本語）
- 10の講義内容 日本語表現の多様さ、美しさを生かすその6（東アジア漢文文化圏のことば）
- 11の講義内容 日本語表現文章と国際政治社会における文章
- 12の講義内容 文章作成能力開発その1
- 13の講義内容 文章作成能力開発その2
- 14の講義内容 文章作成能力開発その3
- 15の講義内容 期末課題レポートの提出

履修上の留意点

※情報機器利用の為、許容の人数制限を実施します。出席も、教場IT管理に依拠しています。授業開始時に当日の出席書込欄にまずチェックをしましょう！また、IDチェックを忘れてしまった場合などは、下記掲示板へ書込みをすることで確認が可能となります。特に、4週連続して理由なき欠席された受講者については、履修名簿から自動的に抹消します。

※講義内容及び連絡事項については、HP（情報言語学研究室）上に凡て逐次掲載しますので常時閲覧願います。質疑応答の問い合わせも直接研究室対応の他、IT機器を用いても対応可能とします。

成績評価の方法

レポート課題を用意します。これを紙出し&FD（ネットへの添付資料）にして、最終締め切り日に提出します。

提出の際には、提出の年月日の記入。学籍番号。氏名を必ずファイル名と内容資料に必ず添えてください。

ご自分が調査した関連語句（書名・人名・用語など）の記入とそれに関わるネットリンク、添付画像処理についても著作権・肖像権問題に充分留意をお願いします。

また、総合教育研究学部（日本文化部門）&短期大学国文学・英文学掲示板のご利用を期待します。皆様方の声と管理担当者である萩原の考えや日程をここに反映させ、学習支援及び学習意欲の向上をめざすことが本来の目的です。ここに記載された内容は、すべてこちらで管理運営していきます。今後、この授業内・外を問わず、この書き込みを通じて授業評価にも大きく反映させていきますのでご承知願います。

教科書
参考書
その他

随時、講義の前後に報知します。

随時、講義の前後に報知します。

情報機器及び文書編集ソフトを利用します。講義資料はHP（情報言語学研究室）上に凡て掲載します。授業内における講義プリントやレジュメPDF資料配布の紙面出しは必要最低限で保証します。

履修コード	357201
科目名	フレッシュマンセミナー
担当者名	佐原 作美

講義のねらい 広く文章を読んで理解し、感性と思考力を養い、それを自分の言葉で適格に表現できる力を高めることは若者のみならず大切なことである。そこで、それを目的としテーマとして進めていきたい。

講義の内容・授業スケジュール 授業では、初めに日本の文字の成り立ちや慣用表現（2～3回）とそれにまつわる事柄（1～2回）を学ぶ。次に文章として『古事記』の中から「国生み神話」などよく知られた神話伝説（3～4回）、『万葉集』からは挽歌や生活苦を詠んだもの（3～4回）や『風土記』（1回）、あるいは幼児期からなじみの深い『竹取物語』（1～2回）等々、情感に訴えるものを選んで読みその目的のための一助としたい。

履修上の留意点 よく読み、よく考え、よく書くことに心掛けてほしい。

成績評価の方法 折り折りの提出物や定期試験（筆記またはレポート）を基本とし、出席状況を考慮して評価する。

教科書 プリントの配布をもって行う。

参考書等 必要に応じて授業の中で紹介する。

履修コード	357301
科目名	フレッシュマンセミナー
担当者名	鈴木 裕子

講義のねらい ー自己表現のためのレッスンー
自分の考えをわかりやすく発言する力が不足している人、言葉で表現する力を磨いて今の自分を少しでも変えたいと思っている人、そういう人たちのための講座。大学での学びに必要な文章力、表現力を養う手助けをする。

講義の内容・授業スケジュール いろいろな種類の文章を読み、理解する力、自分の意見を筋道立てて説明する力、限られた時間にまとまりある文章を書く力を、実際の作業を通して養う。教材は、新聞記事、評論、手紙、歌詞、特に、今日的な問題を提起しているものを用意するが、受講生のニーズに柔軟に応じたい。
プログラム：(1) ガイダンス、(2～3) アイス・ブレイク、プレゼンテーションその1、(4～6) 身近な材料を読む・要約する・書く、(7～8) ディスカッションの方法と実践、(9～11) 調べて書く、プレゼンテーションその2、(12～14) 実用的な文章を書く、(15) 総括。

履修上の留意点 受講生は、文章を次々と読み、課題を書き、報告することを要求されるので、履修の際にその点を留意すること。また、この授業の性格上少人数が望ましいので、人数制限をする場合もある。第1回目の授業時に履修許可証を渡すので、受講希望者は必ず最初から出席すること。なお、履修許可をもらわなかった場合は、WEB登録をしても、授業を受けられないので注意すること。

成績評価の方法 毎回書いてもらう短いコメント、出席状況（遅刻・早退をしないことは大前提）、課題で60%、最後に提出してもらうレポートで40%。三分の一以上の欠席は不可。授業中の私語や途中退室等をする者には厳しく対処する。

教科書 プリント教材。

参考書等 参考書は、授業中に必要に応じて指示する。

履修コード	357401
科目名	フレッシュマンセミナー
担当者名	坂口 博規

講義のねらい 殆どの学生諸君は最終学校たる本学において、将来の人生設計の途に立ちます。その貴重な4年間を、自覚的・能動的に過ごしてほしいと考えています。それぞれの専門分野の学問の理解は、実は日本語の理解能力の与かるところ大です。また自己をより正確に且つ効果的に他人に認定されるように、言葉の伝達（日本語表現）の大切さを自覚してほしいものです。

講義の内容・授業スケジュール 上記の目的に立って、テーマを設定して講義し、その講義内容に対する感想や、テーマに即した自分の考えを作文してもらいます（1～3）。特にコミュニケーション論の一端として、言語断絶の疎外状況を物語る「変身譚」について、自己表現の大切さを学んでほしい（4～10）。また日本語表現の特質なども考えてみたい（11～15）。

履修上の留意点 「日本語表現」の知的理解をしてほしい。また言葉による伝達の意義を正しく自覚してほしい。

成績評価の方法 授業の最終日に提出のレポートの成績評価。また授業の折々に課題を出して小レポートも提出してもらいます。出席状況も参考にして、評価します。

教科書 授業の折々にプリントを配布します。

参考書等 授業において紹介します。

履修コード	357501
科目名	フレッシュマンセミナー
担当者名	齒部 幹生

講義のねらい	大学のおかれた状況は年々変化し、大学生に対する社会的要請も重みを増したものが増えてきている。大学生活は高等学校までとは異なる点が多いので、充実した学生生活を送るために、また、将来社会に巣立って行くために、心得ておくべきことを体験的・実習的に修得することを目的とする。
講義の内容・授業スケジュール	1 ガイダンス。2～4 大学と大学生活。5～8 キャリアデザインとライフスタイル。9～13 表現法とレポートの書き方。14 レポート提出。15 まとめ。 ただし、受講生の数や志向によって内容やスケジュールを変更することもある。その際は授業時間内に連絡する。
履修上の留意点	受講希望者が100名を超えた場合は抽選によって履修制限をするので、必ず初回の授業で担当教員の履修許可を受けること。履修許可を受けずに web 登録しても単位を修得することはできないので注意すること。 なお、本講座は、出席や授業内提出物で60点分を評価するので、毎時間出席することが大原則である。課題の連絡も含めて、授業時間を大切にすることを求める。また、毎時限新聞記事のコピーをとってくることを求めるので、そのことを承知のうえで履修すること。
成績評価の方法	出席点30点、授業時間内提出物30点、レポート40点の割合で評価する。定期試験期間中の試験は行わない。前期最後の授業時間内に追・再試験に相当するレポートに関する伝達を行うので必ず出席すること。
教科書 参考書等	必要に応じてプリントを配布する。 必要があればそのつど紹介する。

履修コード	357601
科目名	フレッシュマンセミナー
担当者名	いしわり とおる 石割 透

講義のねらい	日本でのジャズ受容、I (戦前篇) アメリカで誕生したジャズが日本に上陸するのは、ダンスホールが開設された大正後期。以後、演奏では楽器の使用、シンコペーションの多用、強烈なリズム、ハーモニーなどに多くの影響を与え、昭和に入れば、ジャズのスタンダードナンバーの歌が日本語で歌われ、独特の和製ジャズソングを生み出し、戦争に向かう時局を諷刺する歌まで登場するが、やがて1943年にジャズの演奏、レコード販売は中止されるに至る。この時間では、異文化に対する受容の形態を探る一つの試みとして、ジャズの移入が与えた影響を考えようとするものです。
講義の内容・授業スケジュール	1 アメリカにおけるジャズ誕生の歴史・発展の簡単な説明 (2)、2 大正10年に始まる「ダンスホール」の開設 (1)、3 「私の青空」を中心とするジャズのヒット曲の誕生 (2)、4 和製ジャズソングの誕生と日本の文学テキストに現れるジャズ (2)、5 「マダムと女房」などトーキー映画の誕生とジャズ (2)、6 日系二世の女性の歌うジャズソング、和製ボーカルグループの誕生など (1)、7 服部良一のブルース (1)、8 日本の歌唱曲のジャズ化、ハワイアン音楽、南洋音楽などの導入 (2)、9 和製ジャズに見られる諷刺、ユーモアの精神、10 和製ミュージカルのスタイルなど (2)
履修上の留意点	ジャズの20世紀における展開は、目くるめくほどに急激に変貌し、それはジャズを誕生させたアメリカにおけるアフリカ系アメリカ人のアメリカでの地位とも連動します。そして現在では、ジャズはあらゆる現代音楽に影響を与え、いろいろな音楽に流れ込み、ジャズというジャンルも消滅しつつあります。この時間では、所謂1930年代のスイングジャズ誕生、流行まで、それらが日本では如何に受け止められたかを検討します。それには、アメリカのジャズの展開を予め簡単に学習し、明治大正期の日本の歌謡の展開の歴史についての基本的な知識が必要とされます。授業の中でも説明しますが、それらについてできるだけ深い関心を持って授業に臨んでください。
成績評価の方法	出席状態を加味し、ジャズ受容や歌詞、映画の感想などについての、レポートを提出、それによって評価する。
教科書 参考書等 その他	授業時に指示する。 授業時に指示する。 講義形式で授業を進め、CD、レコードを聴くことを多用し、幾つかの映画も見て、必要に応じてプリントなどを準備する。

履修コード	357701
科目名	フレッシュマンセミナー
担当者名	小林 治

講義のねらい	山田洋次が『男はつらいよ』シリーズ（第一作は1969年公開）とは別に、しかし並行して1970年から1980年にかけて松竹で撮った5本の映画がある。三部作シリーズとしての『家族』『故郷』『同胞』ならびに『幸福の黄色いハンカチ』、『遙かなる山の呼び声』である。それらの作品は、戦後30年を経て高度経済成長の真ただ中であって、喪われつつある日本人および日本の風土の特質を、例えばタイトルの如く、家族、故郷、同胞などの視点から凝視しつつ、その新たな現代における再生の可能性を探っている。これらの営為を眺める中で、戦後の日本が歩んだ道を決定的に方向づけた高度経済成長によって喪ったものを計り、その廢墟からの再生と復活を願う希望について考えてみたい。
講義の内容・授業スケジュール	上記の映画作品を随時、見ながら、また資料等によって時代背景を考察しながら、上記のテーマに迫ってみたい。
履修上の留意点	(1~2) 山田洋次にまで連なるところの時代と人間を凝視する松竹出身映画監督の系譜 (3~5) 戦後高度経済成長の概要・その光と影 (6~7) 家族の分析 (8~9) 『故郷』の分析 (10~11) 『同胞』の分析 (12~13) 『幸福の黄色いハンカチ』の分析 (14~15) 『遙かなる山の呼び声』の分析
成績評価の方法	開講時に、あらかじめ上記した映画作品以外に取り上げる文学作品や映画作品を指示するので、できるだけ事前に読み、かつ見て授業に出席のこと。なお、他の学生の迷惑になるので講義途中の退室は厳禁する。
教科書 参考書等	毎回出席を取る。課したレポートの内容に、出席回数を加えて成績評価をおこなう。 適宜プリントを配布する。 授業時に指示する。

履修コード	357801
科目名	フレッシュマンセミナー
担当者名	松田 直行

講義のねらい	大学の授業から最大限のものを得たいと真剣に考えている新入生を対象に、大学での学びの基本を身につけていただくことを目標とする。レポートの書き方など実務的な事項を確認しながら、<読む／書く>、<話す／聞く>の日本語によるコミュニケーション能力の向上を目指す。また数名ずつのグループを編成して作業を行い、「共に学ぶ」ためのコミュニケーション（ワークショップ）を体験する。
講義の内容・授業スケジュール	(1) 変わる大学 (2) 教養とは何か (3) 論理的な思考と表現 (4) コミュニケーションとは何か (5) 図書館とパソコンの活用法 (6) レポートの書き方 (7) ワークショップで共に学ぶ
履修上の留意点	大学生活を始めるにあたって、授業にしっかり出席する習慣を身につけていただくためにも、毎回休まずに出席することを当然の前提とする。また理由の如何を問わず、遅刻は認めない（途中入室を許可しない）。
成績評価の方法	前期定期試験期間中に論述式の筆記試験を行う。その点数が6割、出席状況と授業中の提出物等による平常点が4割として評価する。出席が2/3に満たない場合は単位を取得できない。
教科書 その他	指定しない。 初回の授業でガイダンスを行うので、必ず出席すること。この授業は抽選科目ではないが、少人数制の指導を基本としているので、受講希望者が多い場合は初回の授業で「受講許可証」を発行して履修人数の制限を行う。この「受講許可証」を所持していない場合は、履修登録をしても単位を取得することはできない。 なお、同じ時間帯の後期科目「日本文化基礎（松田）」はこの授業とは別の科目であり、両方を履修する必要はない（してもよい）。

履修コード	357811
科目名	フレッシュマンセミナー
担当者名	湯浅 陽子 <small>ゆあさ ようこ</small>

講義のねらい 大学で「学ぶ」ためには、聴く・読む・書く・調べる・整理する・まとめる・表現する・伝える・考える、という9つの力が必要です。これらの力を半期で段階的に身につけ、ワープロソフトで作成したレポートが提出できるようになることを、この授業のゴールとします。

講義の内容・授業スケジュール
 第1回オリエンテーション
 第2回「生徒」から「学生」へ・「何をどう学ぶのか」
 第3回ノート・テイキング
 第4回リーディングの基本スキル
 第5回より深いリーディングのために
 第6回大学図書館における情報収集
 第7回インターネットによる情報収集
 第8回情報の整理
 第9回アカデミック・ライティングの基本スキル
 第10回効果的なアカデミック・ライティングのために
 第11回パソコンによるライティング・スキル
 第12回プレゼンテーションの基本スキル
 第13回わかりやすいプレゼンテーションのために
 第14回プレゼンテーションの実際
 第15回プレゼンテーションの実際

履修上の留意点 第1回目の授業時に、履修登録許可者を決定します。たとえ Web 履修登録を授業前に行っていても、第1回目の授業で履修を許可された学生でなければ、履修登録エラー訂正期間に教務部へ申し出てリストから名前前の削除手続きが必要になります。

なお、履修登録を許可された学生が第2回目の授業を事前の連絡も無しに欠席した場合は、受講できる権利を放棄したと受けとめ、他の希望者に受講権利を譲ります。
 (連絡先: yuasa@komazawa-u.ac.jp)

また、湯浅のフレッシュマン・セミナーは2つありますので、一方で選に漏れた場合は、もう一方のフレッシュマン・セミナーにチャレンジするか、他の担当者のもを受講してください。

成績評価の方法 成績評価は出席点(30%)、合計5回計測するキータッチ2000テスト結果の最高点(30%)、および提出された課題点(40%)により行います。

教科書参考書等 『繰り返して慣れる!◆スピードマスター◆ Office 2007 & 情報モラル』 noa 出版 ¥1,030
 学習技術研究会編 『知へのステップ(改訂版)』 くろしお出版 ¥1,890
 ISBN:978-4-87424-355-8 C1081

その他 パソコンで文字入力に困らぬよう、タッチタイピング(手元を見ないで入力する方法)をマスターするための自助努力を課します。総合情報センター自習室のPCには優れたタイピング練習ソフト(Type Quick)が入っています。第1回目の授業時にこのソフトの使い方を説明しますが、タッチタイピング技能は、他の授業でも大変役に立つ上に、この授業では、そのレベルの高さが評価に直結しますので、時間を見つけて練習に励んでください。

なお、希望者が30名以上集まった場合は、大学のPCでも共有できるタイピング練習ソフト(Type Quick) USBメモリ版またはCD-ROM版を購入することが可能です。

履修コード	357901
科目名	日本文化基礎
担当者名	佐原 作美 <small>さばら さくみ</small>

講義のねらい 奈良平安朝の文学をもとに、古代日本人の思想や精神生活のありようを探ることをテーマとした。

講義の内容・授業スケジュール 授業ではその方法として、『古事記』や『万葉集』や『風土記』さらに『竹取物語』や説話集などを対象に、前半は「物」に対する考え方(5~6回)を見る。また、後半では「言葉」(5~6回)の問題を考えていく。つまり、前者を「呪物(的)信仰」、後者を「言霊信仰」としてとらえ、その視点から見たい。

履修上の留意点 古代文学や古代人の心性に迫るにはまず先入観を捨て、単純素朴な気持をもって接するよう心掛けてほしい。

成績評価の方法 折り折りの提出物や定期試験(筆記またはレポート)を基本とし、出席状況を考慮して評価する。

教科書参考書等 プrintの配布をもって行う。
 必要に応じ授業の中で紹介する。

履修コード	358001
科目名	日本文化基礎
担当者名	^{すずき ひろこ} 鈴木 裕子

講義のねらい テーマ：古典文学に見る〈家族〉
 古代の文学作品を中心に取り上げ、それらに描かれた古代の人々の生活を見ていきたい。例えば、良妻／悪妻とはどのような妻か、あるいは悪母／慈母とは何か、男女の関係や親子関係はどのように変わったか、その背景にはどのようなことがあるのかなど、実際に古典作品の一節を読みながら考える（現代語訳を用意する）。

講義の内容・授業スケジュール 説話や日記文学、物語などに描かれている家族像を読みながら現代につながる人間の問題を探る。あわせて古典文学のおもしろさが味わえるとうい。

プログラム：（1）ガイダンス、（2～4）古代前期の家族・『古事記』、『万葉集』を中心に、（5～7）平安時代の貴族の家族・『落窪物語』、『蜻蛉日記』を中心に、（8～11）説話の世界に見る家族像の変遷・『日本霊異記』、『沙石集』を中心に、（12～14）家族の問題を考える・『源氏物語』から現代文学へ、（15）総括。

履修上の留意点 授業は主として講義形式であるが、毎回コメントの提出を課する。
成績評価の方法 期末に行うレポート試験（日時・論題等は授業時に提示）40％、授業態度（出席状況と毎回のコメントの内容）60％。なお、三分の一以上欠席すると受験資格を失う。授業中の私語や途中退室等をする者には厳しく対処する。

教科書 プリント教材。
参考書等 服藤早苗『平安朝の母と子 貴族と庶民の家族生活史』中公新書、その他、参考書は、授業中に必要に応じて指示する。

履修コード	358101
科目名	日本文化基礎
担当者名	^{ゆあさ ようこ} 湯浅 陽子

講義のねらい どんな人でも文化でも、自己を知ることが他者を知ることよりずっと困難です。私たちは日頃日本人であることを意識することはありませんが、海外へ行ったときとか、あるいは日本国内で非日本人と接触したときに、初めて自分が日本人であることを意識させられます。そのようなとき、改めて自己の文化について何事かを語ろうとして、自分がいかに無知であるかを思い知らされるのです。

一体日本とは何なのか？日本文化とは何なのか？…これは、「自分とは何か」と自分に問うのに似て、日本人にとって永遠に問い続けなければならない種類の疑問であり、それゆえ答えは一定ではありません。

この授業が、これから始まる、永遠に問い続ける問いの、最初の答えのきっかけとなれば幸いです。

講義の内容・授業スケジュール 第1回 授業の進め方、「トピックス」の提示、KT2000テスト、Power Point の使い方の実習
 第2回～第6回 Power Point の使い方の実習、この間にKT2000テスト2回実施
 第7回～第11回 「トピックス」で選んだテーマに従い取材し、得た情報を Power Point でスライドにまとめる。この間にKT2000テスト2回実施
 第12回～第15回 発表会

履修上の留意点 「日本の文化」に関して、自宅の伝統行事、新聞・雑誌・書籍・インターネット・TV特集番組など、身近にある情報源に常にアンテナを張り巡らし、必要な情報を集めるように心がけましょう。

文字入力に困らぬよう、タッチタイピング（手元を見ないで入力する方法）をマスターするための自助努力を課します。総合情報センター自習室のPCに入っているタイピング練習ソフト（Type Quick）を使って自分でタイピングレベルを上げてください。タッチタイピング技能は、他の授業でも大変役に立つ上に、この授業では、そのレベルの高さも評価対象にしますので、努力が報われるはずですよ。

成績評価の方法 出席点（30％）、Power Point 実習課題点（20％）、プレゼンテーションの学生間の相互評価点（30％）およびKT2000テスト最高点（20％）の総合点で評価します。

教科書 適宜指示します。
参考書等 新聞・雑誌・書籍・インターネット・TV特集番組・各家庭の伝統行事など
 杉浦洋一、John K.Gillespie（共著）『日本文化を英語で紹介する事典』ナツメ社 ¥1,980 ISBN4-8163-3735-0 C0582

その他 希望者が30名以上集まった場合は、大学のPCでも共有できるタイピング練習ソフト（Type Quick）USBメモリ版またはCD-ROM版を購入することが可能です。

履修コード	358201
科目名	日本文化基礎
担当者名	菌部 <small>そのべ</small> 幹生 <small>みきお</small>

講義のねらい	真の国際人とは自国の文化をしっかりと認識している人物である。これからの国際社会を生き抜いていくためには、自国についての認識と意見を持ち、それを表現できる必要がある。本講座は、そうした文化の認識に関する導入的講座である。したがって、単に知識を得るのではなく、文化的事象をどのように自分の中で体系化して認識し、そこから何を考えるかを問題にしたい。
講義の内容・授業スケジュール	1 ガイダンス。2 婚姻史。3 婉曲表現の文化。4～5 自己認識の文化。6～9 衣食住の文化。10～11 宗教文化・スポーツ文化・原宿文化・テレビゲームの可能性と文化的展望。12～13 文化史としての日本文学と伝承文芸。14 教場試験。15 まとめ。
履修上の留意点	毎時間の最後に、その日の講義内容に関する意見文の提出を求めるので、必ず原稿用紙を持参すること。
成績評価の方法	出席点20点、意見文30点、教場試験50点の割合で評価する（試験は、ノート・参考書等の持込可）。また、12月の最後の授業時間中に、追・再試験に相当するレポートに関する伝達（該当者・テーマ・提出期限等）を行うので必ず出席すること。なお、定期試験期間中の試験は行わない。
教科書 参考書等	必要に応じてプリントを配布する。 必要があればそのつど紹介する。

履修コード	358301
科目名	日本文化基礎
担当者名	石割 <small>いしわり</small> 透 <small>とわる</small>

講義のねらい	ジャズ音楽の日本での受容について。ジャズは、大正時代にレコードの浸透、カフェ、ダンスホールの流行と共に移入され、特に戦後、猛烈なアメリカ文化の日本への進入と共に、日本で確固たる芸術として、アフリカ系アメリカ人の生んだ文化として、その発生の歴史が認識され、文学者などにも影響を与えてきた。この時間は、そうしたジャズの、敗戦から安保条約、新安保条約下での日本でのジャズ受容の展開を検討し、戦後の文化の一端を考察しようとするものです。
講義の内容・授業スケジュール	1 敗戦と駐留軍クラブにおけるジャズ（1）、2 東京ブギウギの流行など笠置シズ子の活躍を中心に（2）、3 サンフランシスコ講和条約後の、ジャズと呼ばれた日本のポピュラー音楽（2）、4 ジャズショウとミュージカル映画（2）、5 ジャズ喫茶文化について（2）、6 日活アクション映画、「嵐を呼ぶ男」を中心に（2）、7 シネ・ジャズについて（2）、8 大江健三郎「飼育」松本清張「黒地の絵」などをめぐって（2）、9 ビートゼネレーションの文学の移入（2）、10 「真夏の夜のジャズ」など（2）、11 61年正月のアートブレイキーの来日公演（1）、12 朗読詩（1）できれば、以後の倉橋、中上、村上などの文学に与えた影響も考えていきたい。
履修上の留意点	アメリカのジャズの歴史的な展開を大体把握して、授業に臨んでいただきたいと思う。
成績評価の方法	出席を重視する。ジャズの受容についてのレポートを提出。それらを加味して評価する。
教科書 参考書等	特に指定しない。その都度、必要な教材を、こちらで準備する。 マイク・モラスキ「戦後日本のジャズ文化」（青土社）、倉田善弘「日本レコード文化史」（岩波書店）など。授業時に指示する。
その他	映画などは、ビデオなどで見ることを考えています。

履修コード	358401
科目名	日本文化基礎
担当者名	こばやし おさむ 小林 治

講義のねらい	宮澤賢治の童話を精読する。賢治作品はこれまで、そこに溢れるイメージの絢爛さが、言葉だけの世界におけるデザインの卓抜さということに囲い込まれ、消費されるという不幸にしばしばみまわられてきた経緯があり、それゆえに賢治を遊民と錯視する見解も生まれてきた。しかし、その詩においても童話においても、注意深くそれらを読むならば、賢治の比類無き想像力の飛翔によって夢見られたイメージや虚構は、その飛翔に相当した深い喪失感と内省を生み出していることに気づくはずである。そこに表現者としての賢治の修羅があるのであり、ムードに流された生半可な鑑賞などはねつけてくるのである。
講義の内容・授業スケジュール	上記の賢治作品の実相を、生前発表作品である『シグナルとシグナレス』、『氷河鼠の毛皮』およびその生前に唯一出版された童話集『注文の多い料理店』所収の作品などにみていく予定。 (1~3) 宮澤賢治の軌跡 (4~6) 『シグナルとシグナレス』の分析と読解 (7~9) 『氷河鼠の毛皮』の分析と読解 (10~12) 『どんぐりと山猫』の分析と読解 (13~15) 『水仙月の四日』の分析と読解
履修上の留意点	開講時に、あらかじめ重点的に取り上げる作品を指示するので、文庫や全集などで、事前に作品を読んで授業に出席のこと。なお、他の学生の迷惑になるので講義途中の退室は厳禁する。
成績評価の方法	毎回出席を取る。課したレポートの内容に、出席回数を加えて成績評価をおこなう。
教科書	宮澤賢治『宮澤賢治全集第8巻』(ちくま文庫)1,000円
参考書等	その他、適宜プリントも配布する。 授業時に指示する。

履修コード	358501
科目名	日本文化基礎
担当者名	まつだ なおゆき 松田 直行

講義のねらい	講義タイトルは「流行歌の近代史～J-POPへの道程」。明治維新から現代までの流行歌を通して、①世相風俗とメディア史を中心とした日本近現代史、②伝統音楽・西洋音楽・ジャズの3要素の交錯と融合による近現代音楽史、③西洋音楽に日本語をのせる歌詞の問題、の3つを並行して考える。
講義の内容・授業スケジュール	(1) 音の科学 (2) 基本の楽理 (3) 明治における西洋音楽の移入 (4) 浅草オペラとモダンズム (5) 流行歌の誕生 (6) 戦後の歌謡曲 (7) ビートルズとロックの時代 (8) 歌謡曲からJ-POPへ
履修上の留意点	前期にフレッシュマンセミナーを受講した新入生が後期にはこの科目を履修することを想定しているため、各自の興味・関心をもとに真剣に授業に取り組む学習姿勢を身につけること自体も目的としている。そのため基本的に毎回出席する姿勢が求められ、遅刻しての入室は禁じる。2/3以上の出席がなければ単位を取得できない。
成績評価の方法	音楽に関して、中学校の音楽の授業で学ぶ程度の基礎知識と楽譜の理解力を必要とする。定期試験期間中に筆記試験を行う。定期試験の点数を6割、出席状況と授業での提出物による評価を4割として採点する。
教科書	指定しない。授業でプリントを配布し、配布したプリントは定期試験に持ち込み可とする。
参考書等	佐藤良明『J-pop 進化論』平凡社新書、¥725。

履修コード	358901
科目名	日本語文化基礎
担当者名	萩原 義雄

講義のねらい 「東アジア漢文文化圏」の東端海上に位置する日本国は、独特な言語文化を生み出してきました。その素養を知る手がかりをこの講義を通じて理を深めていただき、海外の国際文化交流のうえで基礎となる素養を多くの方が育み、この日本文化の手触り・肌触りを実感できる講座となればと考えています。日本の書記文字文化は西欧の音楽文化に通じています。逆に西欧の文字文化は、日本の邦楽文化（仏教聲明・平曲・謡曲）と連動しているといった図式がよく取り沙汰される所以をこの時間で具現できればと思います。

講義の内容・授業スケジュール

01の講義内容 ※最初に情報センターの使用手続について担当責任者説明
 02の講義内容 日本語文化を学ぶ一般基礎資料の蒐集方法とその取り扱い
 03の講義内容 日本語文化を学ぶ字書・辞書・参考専門書の利用とその実際
 04の講義内容 「東アジア漢文文化圏」における現在の学術研究レベルと成果その研究領域の一般活用と手続き（中国・韓国・北朝鮮・モンゴル・ベトナム・タイ・インドネシアなど）
 05の講義内容 言語文化「東アジア漢文文化圏」その1（中国と日本）
 06の講義内容 言語文化「東アジア漢文文化圏」その2（朝鮮半島と日本）
 07の講義内容 言語文化「東アジア漢文文化圏」その3（モンゴルと日本）
 08の講義内容 言語文化「東アジア漢文文化圏」その4（ベトナムと日本）
 09の講義内容 言語文化「東アジア漢文文化圏」その5（タイと日本）
 10の講義内容 言語文化「東アジア漢文文化圏」その6（インドネシアと日本）
 11の講義内容 「西欧言語文化圏」と日本語文化（ギリシャ・トルコ・イタリアを中心に）
 12の講義内容 言語文化「西欧言語文化圏」その1（ギリシャ&トルコと日本）
 13の講義内容 言語文化「西欧言語文化圏」その2（イタリアと日本）
 14の講義内容 言語文化「西欧言語文化圏」その3（英国・米国・豪国と日本）
 15の講義内容 期末課題リポートの提出

履修上の留意点 ※情報機器利用の為、許容の人数制限を実施します。出席も、教場IT管理に依拠しています。授業開始時に当日の出席書込欄にまずチェックをしましょう！また、IDチェックを忘れてしまった場合などは、下記掲示板へ書込みをすることで確認が可能となります。特に、4週連続して理由なき欠席された受講者については、履修名簿から自動的に抹消します。

※講義内容及び連絡事項については、HP（情報言語学研究室）上に凡て逐次掲載しますので常時閲覧願います。質疑応答の問い合わせも直接研究室対応の他、IT機器を用いても対応可能とします。

成績評価の方法 リポート課題を留意します。これを紙出し&データ記録（ネットへの添付資料）にして、最終締め切り日迄に提出します。

提出の際には、提出の年月日の記入。学籍番号。氏名を必ずファイル名と内容資料に必ず添えてください。

ご自分が調査した関連語句（書名・人名・用語など）の記入とそれに関わるネットリンク、添付画像処理についても著作権・肖像権問題に充分留意をお願いします。

また、総合教育研究学部（日本文化部門）&短期大学国文学・英文学掲示板のご利用を期待します。皆様方の声と管理担当者である萩原の考えや日程をここに反映させ、学習支援及び学習意欲の向上をめざすことが本来の目的です。ここに記載された内容は、すべてこちらで管理運営しています。今後、この授業内・外を問わず、この書き込みを通じて授業評価にも大きく反映させて行きますのでご承知願います。

教科書 随時、講義の前後にて報知します。

参考書 随時、講義の前後にて報知します。

その他 情報機器及び文書編集ソフトを利用します。講義資料はHP（情報言語学研究室）上に凡て掲載します。授業内における講義プリントやレジュメPDF資料配布の紙面出しは必要最低限で保証します。

履修コード	358911
科目名	日本語文化基礎
担当者名	湯浅 陽子 <small>ゆあさ ようこ</small>

講義のねらい 現代の情報化社会において、情報を十分に活用する能力（情報利活用力）は、社会人としての必須能力です。本講座では、情報のインプットからアウトプットまでの流れ—「情報収集」「情報管理」「情報分析」「情報創造」「情報表現」—の5つの分野のうち、解決策を効果的に示す「情報表現」における様々な基礎的能力、すなわち、伝えたいことが伝わる国語力・文章力・図解力を身につけ、さらに情報を送受信する際に必要なモラルや知識を身につけることを目指します。
また、課題の入手から提出まで、全てパソコンで処理する中で、自然とPC操作能力が高まることも、ねらいとしています。

講義の内容・授業スケジュール 第1回 授業の進め方：「YeStudy」コース登録方法と課題提出の仕方、KT2000、Type Quick について
第2回 情報表現力とは 【e-learning】《確認小テスト》
第3回 文章表現力1-1（前半）【e-learning】《課題1-1、確認小テスト》
第4回 文章表現力1-2（後半）【対面授業】《課題1-2、確認小テスト》KT2000
第5回 Drill-1 【e-learning】
第6回 文章表現力2【対面授業】《課題2-1&2-2、確認小テスト》KT2000
第7回 文章表現力3【e-learning】《課題3、4-1&4-2、確認小テスト》
第8回 ビジネス文書【対面授業】《課題5-1&5-2、確認小テスト》KT2000
第9回 その他の文書【e-learning】《課題5-3&5-4、6、7、確認小テスト》
第10回 Drill-2 【e-learning】
第11回 ビジュアル表現力1【対面授業】《課題8-1&8-2、9-1&9-2、確認小テスト》KT2000
第12回 ビジュアル表現力2【対面授業】《課題10-1&10-2、11、確認小テスト》
第13回 Drill-3 【e-learning】
第14回～15回 まとめ【対面授業】KT2000

履修上の留意点 後期第1回目の授業で授業の進め方の説明を受け、その後は、常に「YeStudy」に入って指示を見ながら、ある程度自己管理の下に課題をこなして、採点に直結するポイントを貯めていく授業形態です。

成績評価の方法 課題、確認小テスト、Drill の総合得点により評価します。各提出物には、それぞれに締切日時があり、期限を過ぎるとアップロードできなくなります。いかなる理由があろうとも、提出されなかったものは評価対象になりません。提出期限厳守です。

教科書参考書等 noa 出版 『伝える力がつければ変わる！情報表現力』 株式会社ワークアカデミー ￥1,766
課題を作成するには、パソコンに Word、Excel および PowerPoint が入っていることが必要です。ソフトの使い方が分からない場合は、毎週必要とする人に開講している「対面授業」に出席して質問するか、書店に並んでいる操作説明書を参考にしてください。

その他 この授業は E-education「YeStudy」を使用して行います。後期最初の授業（説明会）に出席しないと受講の仕方が分からず、単位が取れなくなりますのでご注意ください。
スポーツも芸ごとでも「基本が大切」とは、よく言われることですが、PC操作も実はスポーツと似ていて基本が大事です。PC操作の基本とは、手元を見ないで打つ「タッチタイピング」です。文書作成も電子メールもキーボードによる文字入力为中心で、基本が出来ているか否かで、仕事の処理能力にかなりの差がつくものです。空き時間を利用して、総合情報センター自習室のコンピュータに入っているタッチタイピングソフト「Type Quick」で入力スキルアップを図ってください。
なお、希望者が30名以上集まった場合は、大学のPCでも共有できるタイピング練習ソフト（Type Quick）USBメモリ版またはCD-ROM版を購入することが可能です。

履修コード	169701
科目名	日本文化研究IA
担当者名	佐原 作美 <small>さいはら さくみ</small>

講義のねらい 約4500首もの和歌を収めるわが国最古の歌集である『万葉集』の中から、特に異色の作風で知られる山上憶良の作品を読みながら、その人間像や思想を探究するとことを目的としたい。一人の人物に焦点を当てながら、同時に柿本人麻呂など他の歌人との比較を試みつつ、憶良という古代の巨人の生きざまを見ていきたい。

講義の内容・授業スケジュール 憶良を理解するにはその全作品を精読することが第一。それにあわせ、時代や社会などのその背景も視野に入れる必要がある。授業では、全77首の和歌のほか、漢詩や散文なども含めて、創作年代順に読んでいくと共に、和歌文学史上における憶良の位置なども考えていきたい。

履修上の留意点 古典文学は何度も繰り返し読むことが肝心。味読することに心掛けてほしい。

成績評価の方法 折り折りの提出物や定期試験（筆記またはレポート）を基本に、出席状況を考慮して評価する。

教科書参考書等 土橋 寛編「作者別万葉集」（おうふう刊） 価1,800円。

必要に応じて授業の中で紹介する。

履修コード	171101
科目名	日本文化研究IA
担当者名	坂口 博規 <small>さかぐち ひろ規</small>

講義のねらい 平安末期から鎌倉時代にかけて生きた一女性の和歌集をもとに、当時の女性の人生観とされる「契り」という宿世の認識を考察してもらおう。平家全盛の時代、平清盛の娘建礼門院徳子に仕えた「右京大夫」と呼ばれた女房の個人歌集を通して、作品中に語られた二人の男性との恋愛交渉を中心に、作品を講読する。作者の人生を考察してほしい。

講義の内容・授業スケジュール 最初に女性の手になる自照文学の流れを概観し、特に日記文学に見る女性の自己観照のあり方を考えてもらい(1~4)、前期は作者の宮廷生活や、特に平資盛との出会いを中心に作品を読み(5~15)、後期は似絵(肖像画)の名手で歌人の藤原隆信との稔らぬ恋に苦悩する姿を考え(16~18)、やがて資盛との愛が再燃して後、資盛が平家一門と共に都落ちや西海流浪の果て壇の浦で死ぬという悲運に翻弄される姿を、作品を通して考えてもらおう(19~)

履修上の留意点 平安時代の一夫多妻の不安定な女性の生き方を通して、「契り(前世からの約束事)」という宿命観を受けとめてほしい。こうした女性の生き方を通して、作者が資盛の菩提を弔う生涯を選択していく姿を考察してもらおう。

成績評価の方法 授業の最終日にレポートを提出してもらい、その成績に出席状況等を加味して評価する。
教科書 本位田重美編『校注建礼門院右京大夫集』(武蔵野書院) 735円
参考書等 授業時に適宜紹介する。

履修コード	171201
科目名	日本文化研究IA
担当者名	鈴木 裕子 <small>すずき ひろこ</small>

講義のねらい テーマ：歌物語を楽しむ

『伊勢物語』を中心に『大和物語』をも取り上げつつ、歌物語の本質について考える。あわせて『伊勢物語絵巻』など視覚的享受についても論じる。原文を読むが、現代語訳も用意する。

講義の内容・授業スケジュール プログラム：(1) ガイダンス、(2~3)「一代記」の始まり・伊勢初段、(4~6)大和161段と伊勢3、76段、(7~11)伊勢5段、123段と大和157、158段、伊勢23段と大和149段(12~14)伊勢6・12段と大和155段、(15)前期総括、(16~19)伊勢24段と大和148段、伊勢60、62段、(20~21)伊勢63段と大和156段、(22~24)伊勢40段と大和64段、(25~27)伊勢65段、69段と源氏物語、(28~29)業平の終焉・伊勢124、125段と大和165段、(30)総括。

履修上の留意点 授業は主として講義形式であるが、毎回コメントの提出を課する。
成績評価の方法 期末毎に行うレポート試験(日時・論題等は授業時に提示)40%、授業態度(出席状況と毎回のコメントの内容)60%。なお、三分の一以上欠席すると受験資格を失う。授業中の私語や途中退室等をする者には厳しく対処する。

教科書 徳原茂実・青木賜鶴子編『王朝歌物語選』(和泉書院)、その他プリント教材。
参考書等 参考書は、授業中に必要に応じて指示する。

履修コード	172001
科目名	日本文化研究IA
担当者名	藪部 幹生 <small>そのべ みきお</small>

講義のねらい 日本文化のなかで、伝承文芸は上代から近世まで、あらゆるジャンルの文芸と関わって、大きな意味を持っていた。その伝承文芸を代表する説話文学のなかから、特に有名な作品の一つである『宇治拾遺物語』をとりあげる。『宇治拾遺物語』は長く編者未詳の作品として扱われてきたが、その謎を解き明かしてみたい。説話集は、伝承された話を編纂したものであるから、同じ話や類似した話が、他のさまざまな作品にも載せられている。したがって、『今昔物語集』のような他の説話集はもちろん、その他さまざまなジャンルの作品も合わせ読むことになる。そうしたことを通して、説話の本質を考え、また、『宇治拾遺物語』の秘められた特質も浮き彫りにしてみたい。

講義の内容・授業スケジュール 1 ガイダンス。2 説話とは。3・4 説話文学史。5 序文講読。6~12 宇治拾遺物語の特徴と問題。13~23 編者論。24~28 作品論。29 教場試験。30 まとめ。

履修上の留意点 毎時間の最後に、その時間の講義内容に対する意見文を書いて提出するので、必ず原稿用紙を持参すること。

成績評価の方法 毎時間提出する意見文で50点分を評価し、12月の授業時間内に50点満点の筆記試験を行なう(試験には、ノート・テキスト・辞書・参考書など、何でも持ち込み参照可)。また、最後の授業時間内に、追・再試験に相当するレポートについての連絡を行なうので、必ず出席すること。なお、定期試験期間中の試験は行わない。

教科書 中島悦次校注『宇治拾遺物語』角川文庫
参考書等 『駒澤国文』26号。その他は必要に応じてそのつど紹介する。

履修コード	170201
科目名	日本文化研究ⅡB
担当者名	いしわり 石割 透

講義のねらい	1910年から20年代にかけての日本の、主に短篇小说を読む。 主に大正時代の作家——芥川龍之介・志賀直哉・谷崎潤一郎・江戸川乱歩——の作品を読み、それぞれの作家の特質、作家の生きた時代の社会的、文化的状況を検討する。
講義の内容・授業スケジュール	1 志賀直哉「清兵衛と瓢箪」「小僧の神様」(3) 2、芥川龍之介「芋粥」(4) 3、谷崎潤一郎「小さな王国」(3) 4、江戸川乱歩「人間椅子」(4) 5、志賀直哉「焚火」(3)、6、谷崎潤一郎「春琴抄」(4) 7、芥川龍之介「秋」(3) 8、江戸川乱歩「屋根裏の散歩者」「D坂の殺人事件」など(3)
履修上の留意点	授業に際して、各々の作品を前もって充分に読んでおくことが望ましい。各作品に絡めて言及する作品についても、すぐに図書館などで読んでほしい。いずれも短篇小说だから、すぐに読める筈である。
成績評価の方法	年度2、3回のレポート提出。更に出席状況を重視する。
教科書	特に指示しないが、扱う作品は、主要な文庫本などで比較的容易に読むことが可能である。例えば谷崎潤一郎「美食倶楽部」(ちくま文庫)、江戸川乱歩「江戸川乱歩傑作選」(新潮文庫)、芥川龍之介「芥川龍之介全集I～VI」(ちくま文庫)、志賀直哉「小僧の神様」(新潮文庫)など。
参考書等	年表の会編『近代文学年表(双文社出版)、他は授業時に指示する。
その他	講義を中心に進行する。授業に必要なコピーなどをその都度準備、配布する。

履修コード	175501
科目名	日本文化研究ⅡB
担当者名	こばやし 小林 治

講義のねらい	現代文学の作家と映画の関わりは、その作家及び作品の方向性を決定してしまうほど深いケースが多くなっていると言えるだろう。その関わり方は、大きく分けて二種類あると思われる。一つは、作家が親た映画に触発された、あるいは影響を受けた場合であり、もう一つは作家が実際に監督として映画を作った、もしくは脚本などを担当して映画作りに参加した場合である。これまで、映画と文学というテーマが掲げられると、前者の関わりから語られることが多かったが、ここでは具体的に後者の場合を安部公房について取り上げ、どのように関わっているか考えてみたい。また、前者についても、ネオリアリズム、シュールレアリズムなどの視点から取り上げる。
講義の内容・授業スケジュール	代表作『砂の女』など昭和30年代から40年代にかけて先駆的に自作の映画化に数多く関わった安部公房について順次みていく予定である。 (1～3) 安部公房・作家活動の軌跡 (4～6) 安部公房の映画製作について (7～9) ネオリアリズムとの関わり (10～12) シュールレアリズムとの関わり (13～15) 映画『おとし穴』について (16～18) 映画『砂の女』について (19～21) 映画『他人の顔』について (22～24) SF的方法と小説『第四間氷期』について (25～26) SFの歴史 (27～30) SF文学と映画の比較
履修上の留意点	授業で触れる作品は、できるだけ多くを授業と並行して読むことが望まれる。また、特に詳しく触れる作品はあらかじめ指示するので、必ず事前に読んでおくこと。なお、他の学生の迷惑になるので講義途中の退室は厳禁する。
成績評価の方法	毎回出席を取る。課したレポートの内容に、出欠状況を加えて成績評価をおこなう。
教科書	安部公房『砂の女』(新潮文庫) 476円 安部公房『他人の顔』(新潮文庫) 476円
参考書等	その他、適宜プリントを配布する。 授業時に指示する。

履修コード	215711
科目名	日本文化研究IB
担当者名	松田 直行 <small>まつだ なおゆき</small>

講義のねらい	始原から現代に至るまでの日本の芸能史を概観し、ジャンルの枠を超えた発想から日本におけるライブ・パフォーマンスの全体像を見つめる。
講義の内容・授業スケジュール	(1) 芸能とは何か (2) 大道芸と見世物 (3) 異界との交流 (4) 芸能の始原を考える：相撲の歴史とともに (5) 能と歌舞伎 (6) 浅草オペラと宝塚 (7) 落語と漫才 (8) 現代演劇を見る
履修上の留意点	基本的に毎回きちんと出席することを前提として講義を進める。2/3以上の出席がなければ単位は取得できない。遅刻の場合は出席とみなさないので注意すること。 できる限り視聴覚資料を使って授業を進めるが、それらはあくまで画像・映像に過ぎず、対象とするライブ・パフォーマンスとは本質的に異なる。自ら積極的に芸能の場に足を運んで体験してきてほしい。
成績評価の方法	前期・後期それぞれの定期試験期間中に筆記試験を行う。前期試験の点数が3割、後期試験の点数が4割、出席点(授業での提出物の評価を含む)が3割の配分で評価する。
教科書その他	指定しない。 この授業で扱う内容の専門性を深め、少人数によるワークショップ形式を取り入れた「日本文化研究IIB(松田)」も開講している。希望者はまずIBを先に履修してから、翌年度以降にさらに興味があればIIBを履修していただきたい。

履修コード	359001
科目名	日本文化研究IIA
担当者名	佐原 作美 <small>さばら さくみ</small>

講義のねらい	日本の古典文学を読むとよく「夢」が出て来る。そこでそれぞれの作品の中で、それがどのような役割を担い、どう位置づけられているかを中心に、「夢と古典文学」をテーマに考察していききたい。
講義の内容・授業スケジュール	授業では、前期に『古事記』(3～4回)『日本書紀』(4～5回)『万葉集』(3～4回)『風土記』(2回)など主に古代前期の作品を対象に。後期は、『古今集』などの和歌集や、『今昔物語集』などの説話、さらに平安期の『更級日記』などの女流文学、等々(各3～4回)平安期の諸作品を中心に見ていきたい。
履修上の留意点	素材が夢であるだけにその内容は人により作品により種々様々であると同時に類型的な一面もみられる。それだけに、よく味読することが肝要であり、かつ望まれる。
成績評価の方法	折り折りの提出物や定期試験(筆記またはレポート)を基本に、出席状況を考慮して評価する。
教科書等	プリントの配布をもって行う。 必要に応じ授業の中で紹介する。

履修コード	359101
科目名	日本文化研究IIA
担当者名	^{すずき ひろこ} 鈴木 裕子

講義のねらい	<p>テーマ：和歌で読む『源氏物語』</p> <p>古典の物語では和歌は重要な役割を果たしている。この授業では、『源氏物語』の中から名場面を取り上げて原文を読みながら、特に和歌に着目して鑑賞する（現代語訳を用意する）。物語世界を切り拓いてゆく和歌の重要な機能について理解を深めつつ、古代の物語を読むおもしろさを味わいたい。あわせて、現代の私たちが古典を読み継いでゆくことの意味を確認したい。</p>
講義の内容・授業スケジュール	<p>プログラム：(1) ガイダンス、(2～8) 光源氏の青春の物語、(9～14) 和歌で読む紫の上の人生史、(15) 前期の総括、(16～18) 『源氏物語』第二部から第三部の世界へ、(19～22) 薫と大君の物語、(23～27) 浮舟の歌を読む、(28～29) 『源氏物語』の和歌が後世に与えた影響、(30) 総括。</p> <p>※受講生の興味・要望や進捗状況により多少変更するかもしれない。</p>
履修上の留意点	<p>授業はテキストやプリント教材を用いての講義形式が基本となるが、頻繁に小作文などの課題を出題する。</p>
成績評価の方法	<p>期末毎に行うレポート試験（日時・論題等は授業時に提示）40%、授業態度（出席状況と毎回のコメントの内容）60%。なお、三分の一以上欠席すると受験資格を失う。授業中の私語や途中退室等をする者には厳しく対処する。</p>
教科書 参考書等	<p>プリント教材。</p> <p>参考書は、依万智『愛する源氏物語』（文藝春秋社）、鈴木裕子『『源氏物語』を〈母と子〉から読み解く』（角川叢書・角川書店）、『源氏物語入門』（角川選書・角川書店）その他、授業中に指示する。</p>

履修コード	359201
科目名	日本文化研究IIA
担当者名	^{さかぐち ひろみ} 坂口 博規

講義のねらい	<p>古代の『古事記』『日本書紀』『風土記』等の歌謡を考える。古代の「ウタ」の発生の問題や、「ウタ」の役割（＝古代的意義）を考えるとともに、作品中に登場する歌謡が、その物語の中でどのような役割（＝文学性）を担っているか等を考えたい。</p>
講義の内容・授業スケジュール	<p>はじめ「ウタ」の発生について考察し（1～3）、次いで古代歌謡の種類（4～6）や形態（7・8）や表現様式・歌体（9～13）などを、『古事記』や『日本書紀』『風土記』の物語を含めて解説する。後期に入り、歌謡が物語にいかなる役割を以って採用されているかを理解してもらうために、ヤマトタケル物語を『古事記』と『日本書紀』の両方で読む。この二つのヤマトタケル物語は内容を大きく変えており、その違いは『古事記』と『日本書紀』の政治的主張の差などに由来することから、まず『古事記』と『日本書紀』の成立について考察（14～17）、その上でヤマトタケル物語を読み解きたい（18～30）。</p>
履修上の留意点	<p>古代の文学・歴史書たる『古事記』『日本書紀』『風土記』は、その表現や内容上難解な点が多いので、是非注釈書などに目を通してほしい。本文読解を中心に行うことはしないので作品の理解は現代語訳でもよい。</p>
成績評価の方法	<p>定期試験時におけるレポートの評価による。出席状況も参考にする。</p>
教科書 参考書等	<p>授業時に適宜プリントを配布する。</p> <p>授業時に適宜紹介する。</p>

履修コード	359301
科目名	日本文化研究II A
担当者名	菌部 幹生

講義のねらい

『宇治拾遺物語』の編者が文章博士・藤原経範であるという前提に立てば、『宇治拾遺物語』をどのように読むことができるか、という点を最大のテーマとする。恣意的な読み方によらずに、どのように読むべきかという作品研究の立場に立った方法を実践したい。

講義の内容・
授業スケジュール
履修上の留意点

1 ガイダンス。2 説話文学の盛衰。3～4 編者論。5～14 作中人物論。15～28 作品論。29 教場試験。30 まとめ。

日本文化研究IAを履修済みであることが望ましい。できれば同一担当（菌部幹生）者の日本文化研究IAを単位修得してから履修することが望ましいが、そうでない場合は、必ず最初の授業時にその旨を相談すること。

また、毎時間の最後に、その時間の講義内容に対する意見文を書いて提出するので、必ず原稿用紙を持参すること。

成績評価の方法

毎時間提出する意見文で50点分を評価し、12月の授業時間内に50点満点の筆記試験を行なう（試験には、ノート・テキスト・辞書・参考書など、何でも持ち込み参照可）。また、最後の授業時間内に、追・再試験に相当するレポートについての連絡を行なうので、必ず出席すること。なお、定期試験期間中の試験は行わない。

教科書
参考書等

中島悦次校注『宇治拾遺物語』角川文庫
『駒澤日本文化』2号。その他は必要に応じてそのつど紹介する。

履修コード	359701
科目名	日本文化研究II B
担当者名	石割 透

講義のねらい

日本近代文学とく京都>—そうだ、京都。学ぼう。

京都は平安時代から、政治、文化の中心としてあり、近代においても首都東京と対照的な、東京を批評する性格をもつ都市として文学の世界でも表象されてきた。現在でも多くの人たちが訪づれる国際的な都市でもある。日本の文化の本質とも深く関わる、こうした<京都>という場所は、どのような空間に位置し、いかなる歴史、文化とかがわってきたか。この授業では、京都という都市の性格を概観し、それが特に日本近代文学でいかに表象されてきたかを検討しようとする授業です。

講義の内容・
授業スケジュール

1 京都の歴史(2)、2 地理的条件(2)、3 生活習慣、行事、祭礼など(2)、4 京都言葉の特徴(3)、5 家屋構造、路地など(2)、6 近代の京都、疎水工事、市内電車など(1)、7 川端康成「古都」の検討(3)、8 与謝野晶子「みだれ髪」、夏目漱石「虞美人草」(3)、9 東京下町趣味、長崎、祇園、吉井勇、長田幹彦、高浜虚子など(3)、10 近松秋江「黒髪」(3)、11 京都と映画、牧野省三、溝口健二など(1)、12 映画「古都」「祇園囃子」を見る(2)、13 大仏次郎「帰郷」など(1)

履修上の留意点
成績評価の方法

各授業に先だち、各テキストを読んでおくことが望ましい。
年間に2、3回のレポートの提出。出席を重視して、成績評価に加味する。

教科書
参考書等
その他

特に指示しない。授業時にコピー、印刷物を配布する。
授業時に指示する。京都を表象したテキストに注目しておくように。
講義を中心として進行する。

履修コード	359801
科目名	日本文化研究II B
担当者名	小林 治 <small>こばやし じ</small>

講義のねらい	戦後における文学の第一声ともされる同人誌『近代文学』に依る本多秋五や荒正人の評論から始めて、野間宏、椎名麟三などの第一次戦後派から、第二次戦後派の安部公房、島尾敏雄を経て、小島信夫、庄野潤三などの第三の新人に至るまでの戦後日本文学の軌跡を、それぞれの作家の作品を読むという形で辿ってみたい。そうすることで、敗戦までの日本近代文学の陥穽に対峙することから、その表現の独自性を確立しようとした戦後日本文学の可能性と限界を探りたい。
講義の内容・授業スケジュール	同時に受講生において、個々に自分にとって文学を読むこと、もしくは文学として作品を読むという行為がどのような意義を持つのかということをあらためて対象化して考える出発点としていきたい。 第二次大戦直後の戦後文学の出発期から昭和三十年代に至るまでの戦後派文学の軌跡がいかなるものであったのか、その概論を講義形式でおこなうと同時に、個々の作家の重要な作品については、逐次たちどまって具体的にテキストを用意してじっくりと講読する。なお、今年度は主に同人誌『近代文学』掲載の評論ならびに安部公房と島尾敏雄の短編小説を取り上げる予定。 (1~3) 戦後文学の特色について (4~7) 同人誌『近代文学』の役割 (8~9) 安部公房の軌跡 (10~11) 『飢えた皮膚』の分析と読解 (12~13) 『闖入者』の分析と読解 (14~15) 『R62号の発明』の分析と読解 (16~17) 『死んだ娘が歌った』の分析と読解 (18~19) 『棒』の分析と読解 (20~21) 『鏡と呼子』の分析と読解 (22~23) 島尾敏雄の軌跡 (24~25) 『島の果て』の分析と読解 (26~28) 『出発は遂に訪れず』の分析と読解
履修上の留意点	開講時に、あらかじめ重点的に取り上げる作品を指示するので、文庫や全集などで、事前に作品を読んで授業に出席のこと。なお、他の学生の迷惑になるので講義途中の退室は厳禁する。
成績評価の方法	毎回出席を取る。課したレポートの内容に、出席回数を加えて成績評価をおこなう。
教科書	安部公房『水中都市、デンドロカカリヤ』(新潮文庫) 514円 安部公房『R62号の発明、鉛の卵』(新潮文庫) 552円 島尾敏雄『出発は遂に訪れず』(新潮文庫) 590円 その他、適宜プリントを配布する。
参考書等	授業時に指示する。

履修コード	359901
科目名	日本文化研究II B
担当者名	松田 直行 <small>まつだ なおゆき</small>

講義のねらい	昨年度の「日本文化研究IB (松田)」で概説した演劇・芸能の中から受講者の興味関心に応じたテーマを選び、映像を見ながら参加者全員が同じ立場で意見を出しあう少人数のワークショップ形式で授業を進め、昨年度の講義内容をより深く掘り下げた理解を目指す。
講義の内容・授業スケジュール	前期は「演劇における真と美の東西比較」をテーマとして、社会の底辺に生きる人々や泥棒を登場人物とした3つの舞台(1)ゴークリー作「どん底」、(2)歌舞伎「三人吉三」、(3)ミュージカル「ベガーズ・オペラ」を比較検討する。後期はイギリスで上演された鴻上尚史作「天使は瞳を閉じて」を予定しているが、ほかにも受講者の希望があれば、できる限り応じたい。
履修上の留意点	基本的には昨年度の「日本文化研究IB (松田)」の受講者を対象としているので、それを受講していない場合はまずIBから履修していただきたい。初回の授業でガイダンスを行うので、必ず出席すること。
成績評価の方法	授業の中で適宜レポートの提出を求め、筆記試験は行わない。レポートによる評価が5割、出席状況や授業への参加姿勢による評価が5割として判定する。
教科書	指定しない。

履修コード	170901
科目名	日本語文化研究I
担当者名	萩原 義雄

講義のねらい 音韻・文字・文法・語彙・敬語・文体・言語生活といった分野を常に据えた形態で、古代から現代までの“ことばの歴史”を現代人の鳥瞰・虫瞰の眼で、しかと見据えていくことを目的としています。そのなかで、現存する日本語資料の実態についてその保管現況を把握します。この資料をどう時代区分するのかを精確に知りましょう。将来、日本語文化を研究する際、どのような重要性を有し、どのように研究発展させていくのかを各が認識していきます。

講義の内容・授業スケジュール

- 01の講義内容 日本文化の未来と古代をつなぐ
- 02の講義内容 五十音圖のはなしと音訓について
文字資料(漢字・ひらがな・カタカナ・ローマ字)から日本語学資料へ
- 03の講義内容 「いろはうた」と「あめつちのうた」そして「たるにのうた」
- 04の講義内容 『伊勢物語』第九段 「東下り」を読む
- 05の講義内容 『野馬臺詩』をめぐる説話譚 — 『吉備大臣入唐絵巻』— PDF版
- 06の講義内容 「落書」PDF版
- 07の講義内容 「手紙」失われた文字 PDF版
- 08の講義内容 文字の修得と習学 PDF版 「かな」について 貴族階級とことば教育 佛教界とことば教育
- 09の講義内容 文字の運びと流れ PDF版 カタカナ文献資料について— 『古今和歌集』(旧伏見宮家藏)一二〇六年寫—
- 10の講義内容 漢字・カタカナの混淆文を読む その1 PDF版 — 『今昔物語集』(京都大学附属図書館蔵国宝、鈴鹿本)—
- 11の講義内容 漢字・カタカナの混淆文を読む その2 PDF版 — 鈴鹿本『今昔物語集』から古辞書利用へ—
- 12の講義内容 連綿連続にみる日本語の抑揚階調表現 PDF版 — 徳川本・五島本『源氏物語繪巻』のかな書き「ひ」文字—
夏季課題提出(後期講義に向けてその方向性と準備を説明)
- 13の講義内容 『作庭記』について PDF版
- 14の講義内容 梅沢本『古本説話集』にみる量字踊り字「／＼」 PDF版
- 15の講義内容 延慶本『平家物語』について PDF版
- 16の講義内容 鴨長明自筆『方丈記』について PDF版
- 17の講義内容 細川三斎忠興筆『徒然草』について PDF版
- 18の講義内容 『蒙古襲来絵詞』について PDF版
- 19の講義内容 『太平記』について PDF版
- 20の講義内容 中世藝術論〔謡曲・能・狂言〕の言語文化についてPDF版
- 21の講義内容 天草版(キリシタン)資料 PDF版
- 22の講義内容 往来物『庭訓往来』について PDF版
- 23の講義内容 松尾芭蕉『奥の細道』PDF版
- 24の講義内容 『仮名手本忠臣蔵』PDF版
- 25の講義内容 町人文化とことば…十返舎一九編『東海道中膝栗毛』PDF版
- 26の講義内容 樋口一葉『たけくらべ』—雑誌「文學界」と「文藝俱樂部」所載直筆原稿—
冬季課題の提出

履修上の留意点

※出席は、教場IT管理に依拠します。授業開始時に当日の出席書込欄にまずチェックをしましょう！また、IDチェックを忘れていたりした場合などは、下記掲示板へ書込みをすることで確認が可能です。特に、4週連続して理由なき欠席された受講者については、履修名簿から自動的抹消します。

成績評価の方法

※講義内容及び連絡事項については、HP(情報言語学研究室)上に凡て逐次掲載しますので常時閲覧願います。質疑応答の問い合わせも直接研究室対応の他、IT機器を用いても対応可能とします。

前期と後期それぞれにレポート課題を用意します。これを紙出し&FD(ネットへの添付資料)にして、最終締め切り日に提出します。

提出の際には、提出の年月日の記入。学籍番号。氏名を必ずファイル名と内容資料に必ず添えてください。

ご自分が調査した関連語句(書名・人名・用語など)の記入とそれに関わるネットリンク、添付画像処理についても著作権・肖像権問題に充分留意をお願いします。

また、総合教育研究学部(日本文化部門)掲示板のご利用を期待します。皆様方の声と管理担当者である萩原の考えや日程をここに反映させ、学習支援及び学習意欲の向上をめざすことが本来の目的です。ここに記載された内容は、すべてこちらで管理運営しています。今後、この授業内・外を問わず、この書き込みを通じて授業評価にも大きく反映させていただきますのでご承知願います。

教科書

紀田順一郎著『日本の書物』3000円(税別)
インターネット公開型テキスト「国語史」[URL <http://www.komazawa-u.ac.jp/~hagi>]

- 参考書等 今野真二『日本語の歴史』文献から読み解く【鳥瞰虫瞰】(笠間書院) 3,800円(税別) ISBN4-305-70307-6
- その他 情報機器及び文書編集ソフトを利用します。講義資料はHP(情報言語学研究室)上に凡て掲載します。授業内における講義プリントやレジュメPDF資料配布の紙面出しは必要最低限で保証します。情報機器を利用します。講義資料はHP(情報言語学研究室)上に凡て掲載します。授業内における講義プリントやレジュメPDF資料配布の紙面出しは必要最低限で保証します。

履修コード	215721
科目名	日本語文化研究I
担当者名	湯浅 陽子 <small>ゆあさ ひろこ</small>

講義のねらい プレゼンテーションとは、そのための立案・企画を含めた発表・説明行為です。情報を相手に正確に伝え、納得させること、宣伝(PR)活動を意味することもあり、プレゼンという略称もよく耳にするようになりました。

本講義では、視覚情報(ビジュアル)プレゼンテーションに的を絞って、効果的な作成技法を学びます。

- 講義の内容・授業スケジュール
- 1~2) タッチタイピングの重要性、プレゼンテーションの基本
 - 3~4) プレゼンテーションの作成
 - 5~6) 訴求力のあるスライド作成の基本
 - 7~8) 訴求力のあるスライドの作成
 - 9~10) 紙面デザインの基本
 - 11~12) ポスター・ちらしの作成
 - 13~14) カタログ冊子の作成
 - 15) 予備日
 - 16~17) オートデモの作成
 - 18~19) Web ページの作成
 - 20~21) フォトアルバムの作成
 - 22~23) PDFファイルの作成
 - 24~30) 総合問題

履修上の留意点 第1回目の授業時に、履修登録許可者を決定します。たとえ Web 履修登録を授業前に行っても、第1回目の授業で履修を許可された学生でなければ、履修登録エラー訂正期間に教務部へ申し出てリストから名前の削除手続きが必要になります。

なお、履修登録を許可された学生が第2回目の授業を事前の連絡も無しに欠席した場合は、受講できる権利を放棄したと受けとめ、他の希望者に受講権利を譲ります。

(連絡先: yuasa@komazawa-u.ac.jp)

成績評価の方法 出席点(20%)、授業内で何回か計測するキータッチ2000テスト結果の最高点(30%)、および提出された課題点(50%)により行います。

教科書 富士通エフ・オー・エム株式会社 『よくわかる Power Point 2007 ビジネス活用編』 FOM出版 ¥2,415 ISBN978-4-89311-716-8

その他 タッチタイピング(手元を見ないで入力する方法)をマスターするため、課題作成に際しては無理なく作業できるよう、自習室のPCにインストールされている入力練習ソフト(Type Quick)でタッチタイピングのレベルアップに励んでください。希望者が30名以上集まった場合は、大学のPCでも共有できるUSBメモリ又はCD-ROM版を購入することが可能です。

タッチタイピング技能は、他の授業でも大変役に立つ上に、この授業では、そのレベルの高さが評価に直結しますので、時間を見つけて練習に励んでください。

履修コード	360601
科目名	日本語文化研究II
担当者名	萩原 義雄 <small>はぎはら よしお</small>

講義のねらい

日本語文化研究Iの日本語歴史で取り扱ってきた作品資料には、多くの注釈書類が編纂されてきている。これらの注釈書類に焦点を当ててみることで、作品の有する特徴並びに享受者側の学習教養の度合いを検証していくこととする。例えば、『古今和歌集』には『古今集註』、『伊勢物語』には『和語知頭集』、『神風知願正義集』、『伊勢物語惟清抄』など、『源氏物語』には『源氏物語抄』、『河海抄』など、『枕草子』には『春曙抄』、『徒然草』には『徒然草寿命院抄』といった具合に枚挙なき注釈書が存在している。これらの注釈書類を以て、日本語文化研究における国語資料としての位置づけについて探求することをめざすものである。

講義の内容・授業スケジュール

- 01の講義内容 ※最初に情報センターの使用手続について担当責任者説明
古典作品に於ける「古注釈」研究の領域とは
- 02の講義内容 『万葉集』の注釈書『万葉集略解』『万葉代匠記』
- 03の講義内容 『古事記』の注釈書『古事記伝』
- 04の講義内容 『日本書紀』の注釈書『日本書紀抄』
- 05の講義内容 文献資料の蒐集方法とその取り扱い
- 07の講義内容 字書・辞書、そして参考とすべき専門書の利用とその方法
- 08の講義内容 『伊勢物語』の注釈書『和語知頭集』『神風知願正義集』『伊勢物語惟清抄』
- 09の講義内容 『古今和歌集』の注釈書『古今集註』
- 10の講義内容 『枕草子』には『春曙抄』
- 11の講義内容 『源氏物語』の注釈書『源氏物語抄』『河海抄』
- 12の講義内容 文献素材の入手及びデータ入力作業
- 13の講義内容 『和漢朗詠集』の注釈書『和漢朗詠集註』『和漢朗詠集聞書』
- 14の講義内容 『平家物語』の注釈書『平家物語繪抄』
- 15の講義内容 『徒然草』の注釈書『徒然草寿命院抄』
- 16の講義内容 『太平記』の注釈書『太平記賢愚抄』『太平記音義』
- 17の講義内容 『庭訓往来』の注釈書『庭訓往来註』『庭訓往来抄』
- 18の講義内容 難字・異体字の処理及び修飾文字の利用(「今昔文字鏡」等)
- 19の講義内容 図画・図表の処理(データ加工)→機器スキャナーに依る取り込み
- 20の講義内容 注釈書類の引用文献その1 漢詩・漢籍資料
- 21の講義内容 注釈書類の引用文献その2 和歌資料
- 22の講義内容 注釈書類の引用文献その3 和文資料
- 23の講義内容 注釈書類の引用文献その4 記録類資料
- 24の講義内容 注釈書類の引用文献その5 字書・辞書類資料
- 25の講義内容 解読資料の整理記述(PPTの作成)
- 26の講義内容 資料公開とその注釈語の分析結果報告(PPTによる発表)

履修上の留意点

※出席は、教場IT管理に依拠します。授業開始時に当日の出席書込欄にまずチェックをしましょう！また、IDチェックを忘れたりした場合などは、下記掲示板へ書込みをすることで確認が可能となります。

※講義内容及び連絡事項については、HP(情報言語学研究室)上に凡て逐次掲載しますので常時閲覧願います。質疑応答の問い合わせも直接研究室対応の他、IT機器を用いても対応可とします。

成績評価の方法

月毎に注釈書取載のことは群から説明語彙を選択し、上記項目を常にふまえた上で、報告書を提出し発表してもらいます。個人が年間分析する上記報告書における私からの質問を受けて、各自それぞれ提出してもらいます。解答の数を最低20としてこの一問一答ずつの提出物を高く評価していきます。

提出の際には、提出の年月日の記入。学籍番号。氏名を必ずファイル名と内容資料に必ず添えてください。

ご自分が調査した関連語句(書名・人名・用語など)の記入とそれに関わるネットリンク、添付画像処理についても著作権・肖像権問題に充分留意をお願いします。

また、総合教育研究学部(日本文化部門)掲示板のご利用を期待します。皆様方の声と管理担当者である萩原の考えや日程をここに反映させ、学習支援及び学習意欲の向上をめざすことが本来の目的です。ここに記載された内容は、すべてこちらで管理運営しています。今後、この授業内・外を問わず、この書き込みを通じて授業評価にも大きく反映させて行きますのでご承知願います。

教科書その他

URL <http://www.komazawa-u.ac.jp/hagi> を使用する。
情報機器及び文書編集ソフトを利用します。講義資料はHP(情報言語学研究室)上に凡て掲載します。授業内における講義プリントやレジュメPDF資料配布の紙面出しは必要最低限で保証します。
情報機器を利用します。講義資料はHP(情報言語学研究室)上に凡て掲載します。授業内における講義プリントやレジュメPDF資料配布の紙面出しは必要最低限で保証します。

履修コード	360701
科目名	日本語文化研究II
担当者名	湯浅 陽子 <small>ゆあさ ようこ</small>

講義のねらい 情報検索、情報共有、文書作成、企画提案、プレゼンテーション、数値分析、デザイン、スケジュール管理…等々、実社会では、「情報を活かし、コミュニケーションする能力 (ICT能力) = 情報活用力」が日々、求められています。パソコンなど情報機器の普及とともに、多くの仕事で情報を取り扱う機会が増え、「情報活用力の優れた人材=仕事のできる人」という図式ができあがりつつあります。

この動きに対応できるように、情報基礎教育や Office アプリケーション操作をひとつおり学習した学生にとっての「実社会で活躍する」スキル涵養のための授業です。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 オリエンテーション、履修登録許可者決定テスト (KT2000)
- 2 「履修登録許可書」発行、ファイル・データ管理
- 3~4 インターネットコミュニケーションI&II (メール・Web ページ)
- 5~6 文書表現、KT2000
- 7 ビジュアル表現
- 8~9 プレゼンテーションI&II (プレゼンの基本と資料作成)
- 10~11 情報検索
- 12 情報運用、KT2000
- 13~15 プレゼンテーションIII (プレゼン実習)
- 16~17 数値分析I-1 (データの種類・データの加工・セル参照)、KT2000
- 18~20 数値分析I-2 (関数の利用)
- 21~24 数値分析II (データ分析、グラフ化)
- 25~30 データベース、KT2000

履修上の留意点

第1回目の授業時に、履修登録許可者を決定します。たとえ Web 履修登録を授業前に行っていても、第1回目の授業で履修を許可された学生でなければ、履修登録エラー訂正期間に教務部へ申し出てリストから名前の削除手続きが必要になります。

履修登録を許可された学生が第2回目の授業を事前の連絡も無しに欠席した場合は、受講できる権利を放棄したと受けとめ、他の希望者に受講権利を譲ります。

(連絡先: yuasa@komazawa-u.ac.jp)

なお、昨年の「実務表現」を受講し単位を取得した学生は、内容が同じなので、この授業の履修を認めません。他の科目担当者の「日本(言語)文化研究II」を履修してください。

成績評価の方法

出席点 (20%)、年間を通して5回計測するキータッチ2000テスト結果の最高点 (30%)、および提出された課題点 (50%) により行います。

教科書

本田直也監修 『考える、伝える、分かちあう、情報活用力』 noa 出版 (株式会社ワークアカデミー) ¥2,500 ISBN978-4-9902420-4-6

その他

課題作成に際しては無理なく作業できるよう、自習室のPCにインストールされている入力練習ソフト (Type Quick) でタッチタイピングのレベルアップに励んでください。希望者が30名以上集まった場合は、大学のPCでも共有できるUSBメモリ又はCD-ROM版を購入することが可能です。

履修コード	360901
科目名	実務表現
担当者名	萩原 義雄

講義のねらい	<p>広く日本語の特徴についてを学ぶことで、学習者自身が修得してきた国語全般に渉る教養を再度この講義を通して確認していくことにより、自分が気づいていたこと、気づかないでいたことを含めて、自身の有する教養をより高めていくことを目標に進めていく。</p>
講義の内容・授業スケジュール	<p>01の講義内容 ※最初に情報センターの使用手続について担当責任者説明 書く技術 原稿用紙縦書きの意味 02の講義内容 出版社はなぜ400字詰めの原稿用紙を用いないのか？ 03の講義内容 800字の文章は、こうして書く。 04の講義内容 原稿用紙7枚半(3000字)の文章の書き方 05の講義内容 漢和辞典を繙く 07の講義内容 国語辞典を繙く 08の講義内容 類語辞典を活用してみよう 09の講義内容 話題のエピソードを導入部で使う 10の講義内容 人物はどのように描けるか 11の講義内容 自然景物をどう活写するか 12の講義内容 時代小説家は何に留意して作品を構築しているのか 13の講義内容 推理小説は、種明かしの部分をどこにしているか 14の講義内容 「パロディ」な文章を書いてみよう 15の講義内容 絵本を書いてみよう 16の講義内容 漫画・アニメにみる「ことば表現」を使えるか 17の講義内容 手書き文字はどうすれば巧く書けるようになるのか？そのコツ！ 18の講義内容 詩や短歌を用いてことば遊び(回文・逆さことば・しりとり等)を学ぼう 19の講義内容 かな文字だけの文章 20の講義内容 ローマ字だけの文章 21の講義内容 文法は、グラグラだ！どうすりゃいいの？ 22の講義内容 文章の修辞法を知ろう 23の講義内容 音の響きと弾みから学ぶ「オノマトペ」の活用法 24の講義内容 生活に根ざした「方言」で書く文章 25の講義内容 「句読点」はどう用いてきたか 26の講義内容 言語生活からみた「新聞論評・コラム」 27の講義内容 愈々、独り立ち！個性ある書き手をめざそう。(PPTの作成)</p>
履修上の留意点	<p>※出席は、教場IT管理に依拠します。授業開始時に当日の出席書込欄にまずチェックをしましょう！また、IDチェックを忘れたりした場合などは、下記掲示板へ書込みをすることで確認が可能となります。</p> <p>※講義内容及び連絡事項については、HP(情報言語学研究室)上に凡て逐次掲載しますので常時間閲覧願います。質疑応答の問い合わせも直接研究室対応の他、IT機器を用いても対応可能とします。</p>
成績評価の方法	<p>週毎に上記項目を常にふまえた上で、提出作文を書いてもらいます。個人が年間提出する上記作文は添削を受けながら再度提出を求めていきます。その仕上がりが度合いを許に評価を五段階にして提示します。</p> <p>提出の際には、提出の年月日の記入。学籍番号。氏名を必ずファイル名と内容資料に必ず添えてください。</p> <p>ご自分が調査した関連語句(書名・人名・用語など)の記入とそれに関わるネットリンク、添付画像処理についても著作権・肖像権問題に充分留意をお願いします。</p> <p>また、総合教育研究学部(日本文化部門)掲示板のご利用を期待します。皆様方の声と管理担当者である萩原の考えや日程をここに反映させ、学習支援及び学習意欲の向上をめざすことが本来の目的です。ここに記載された内容は、すべてこちらで管理運営しています。今後、この授業内・外を問わず、この書き込みを通じて授業評価にも大きく反映させて行きますのでご承知願います。</p>
教科書その他	<p>URL http://www.komazawa-u.ac.jp/~hagi を使用する。</p> <p>情報機器及び文書編集ソフト「一太郎2009」を利用します。講義資料はHP(情報言語学研究室)上に凡て掲載します。授業内における講義プリントやレジュメPDF資料配布の紙面出しは必要最低限で保証します。</p> <p>情報機器を利用します。講義資料はHP(情報言語学研究室)上に凡て掲載します。授業内における講義プリントやレジュメPDF資料配布の紙面出しは必要最低限で保証します。</p>

履修コード	361001
科目名	実務表現
担当者名	湯浅 陽子 <small>ゆあさ ようこ</small>

講義のねらい プレゼンテーションとは、語源である「贈呈する」の視点から言えば、提示する、つまり「見せる」技術です。話すことにおいても、書くことにおいても、「見せる」という意識がとても大切です。

本講義をとおして、話す技術、書く技術を「見せる」プレゼンテーションに高める方策として「パワーマップ」と「アウトライン」を活用しながら、確かな話す技術、骨子が見えるビジネス文書を書く技術を身につけます。

講義の内容・授業スケジュール

- 1) オリエンテーション、履修登録許可者選抜テスト (KT2000、PPT、Word)
- 2～3) 話す技術、書く技術両方に共通した考え方「パワー・ライティング」
- 4) プレゼンテーションの技法チェック
- 5～6) 話す技術 (抗議)
- 7～8) 話す技術 (反駁)
- 9～10) 話す技術 (交渉)
- 11～12) 話す技術 (企画・提案)
- 13～15) 話す技術 (報告)
- 16～17) KT2000、ビジネス文書作成の基本確認
- 18～19) 書く技術 (抗議状)
- 20～21) 書く技術 (反駁状)
- 22～23) 書く技術 (交渉状)
- 24～25) 書く技術 (企画・提案)
- 26～27) 書く技術 (報告書)
- 28) KT2000
- 29～30) まとめ

履修上の留意点

第1回目の授業時に、履修登録許可者を決定します。たとえ Web 履修登録を授業前に行っていても、第1回目の授業で履修を許可された学生でなければ、履修登録エラー訂正期間に教務部へ申し出てリストから名前の削除手続きが必要になります。

履修登録を許可された学生が第2回目の授業を事前の連絡無しに欠席した場合は、受講できる権利を放棄したものとみなします。(連絡先: yuasa@komazawa-u.ac.jp)

成績評価の方法

出席点 (40%)、合計3回計測するキータッチ2000テスト結果の最高点 (20%)、および「話す」「書く」の提出課題点 (40%) の合計点により評価します。

**教科書
参考書等**

- 適宜指示します。
- 日経BPソフトプレス 『Microsoft Office Word 2007 ビジネス問題集』 日経BPソフトプレス
¥1,050 ISBN978-4-89100-896-3
- 入部明子 『サバイバル・プレゼンテーション』 メディア・テック出版
¥2,604 ISBN4-89627-296-X

その他

課題作成に際しては無理なく作業できるよう、自習室のPCにインストールされている入力練習ソフト (Type Quick) でタッチタイピングのレベルアップに励んでください。希望者が30名以上集まった場合は、大学のPCでも共有できるUSBメモリ又はCD-ROM版を購入することが可能です。

履修コード	168901
科目名	日本文化テーマ研究A
担当者名	佐原 作美

講義のねらい	『古事記』や『日本書紀』などに見られる神話や古伝承などをもとに、古代の日本人の心性や精神生活などのありようをテーマに考察していきたい。あわせ現代人とのつながりについても見ていきたい。
講義の内容・授業スケジュール	授業では昔からよく知られた『古事記』（4～5回）の中から「国生み神話」をはじめとする神話伝説。『万葉集』（4～5回）からは行路病死者を詠んだ挽歌や伝承歌。あるいは『竹取物語』などに見られる「羽衣伝承」（3～4回）などを中心に読んでいきたい。
履修上の留意点	各自の感性を大切しながらよく味読することに心掛けてほしい。
成績評価の方法	折り折りの提出物や定期試験（筆記またはレポート）を基本に、出席状況を考慮して評価する。
教科書	プリントの配布をもって行う。
参考書等	必要に応じ授業時に紹介する。

履修コード	168911
科目名	日本文化テーマ研究A
担当者名	佐原 作美

講義のねらい	人間の住む世界に対し、妖怪など異類の住む世界を異界というが、人間とこの異類との交流をモチーフとするものが古典文学の中によく見られる。そこでそれらを対象にそれに見られる意義や背景などを考察していきたい。
講義の内容・授業スケジュール	授業では、その代表的な『竹取物語』（6～7回）をはじめ、『風土記』（2回）や『万葉集』（1～2回）や『今昔物語集』（2回）などに見られる関連説話（1～2回）を読みながら、その文化史的社会的意味合いを考察していきたい。
履修上の留意点	何度もくり返し読んで味読するよう心掛けてほしい。
成績評価の方法	折り折りの提出物や期末試験（筆記またはレポート）を基本に、出席状況を考慮して評価する。
教科書	プリントの配布をもって行う。
参考書等	必要に応じ授業の中で紹介する。

履修コード	169001
科目名	日本文化テーマ研究B
担当者名	佐原 作美

講義のねらい	奈良平安時代の社会の底辺に生きた一般庶民は、日常の生活の中で何を願い、何を信じ、何を恐れ、何を考えていたか等々、その感情や思想の一端について考察していきたい。
講義の内容・授業スケジュール	授業では、それらがよく描出されている説話文学、特に『日本霊異記』や『今昔物語集』などをもとに見ていく。特に、前半では、観音・地藏・阿弥陀仏など現代人にもなじみの深い諸仏信仰に関するもの（各2～3回）を読む。後半は、芸道や霊鬼や古伝承・笑い話など（各2～3回）巾広く取り上げて見ていきたい。
履修上の留意点	説話は短く内容も単純であるだけに、その発するメッセージを見逃さぬよう注意深く読むことが大切。味読むことを心掛けたい。
成績評価の方法	折り折りの提出物や期末試験（筆記またはレポート）を基本に、出席状況を考慮して評価する。
教科書	プリントの配布をもって行う。
参考書等	必要に応じ授業の中で紹介する。

履修コード	169011
科目名	日本文化テーマ研究B
担当者名	鈴木 裕子

講義のねらい	テーマ：古典文学で考える〈男〉の生き方・〈女〉の生き方 『堤中納言物語』、『とりかへばや物語』など、『源氏物語』以後に作られた物語を取り上げて、原文の一節を読みながら、古典文学の中に描かれる〈男〉らしさ、〈女〉らしさの表現や、社会と文化によって作られる〈ジェンダー〉、さらに、〈暴力〉などの人間関係の問題について考える。
講義の内容・授業スケジュール	プログラム：（1・2）ガイダンス・『源氏物語』と後期物語について、（3～4）『堤中納言物語』『花桜折の中將』を読む、（5～7）『堤中納言物語』『虫めづる姫君』を読む、（8～14）『とりかへばや物語』（抄出）を読む、（15）総括 ※受講生の興味・要望や進捗状況により多少変更するかもしれない。
履修上の留意点	授業は主として講義形式であるが、毎回コメントの提出を課する。
成績評価の方法	期末に行うレポート試験（日時・論題等は授業時に提示）40%、授業態度（出席状況と毎回のコメントの内容）60%。なお、三分の一以上欠席すると受験資格を失う。授業中の私語や途中退室等をする者には厳しく対処する。
教科書	プリント教材。
参考書等	参考書は、授業中に必要に応じて指示する。

履修コード	169101
科目名	日本文化テーマ研究C
担当者名	坂口 博規

講義のねらい	日本文化の一つとして、昔話・民譚と称される伝承がある。本年度はその伝承の中でも「異類怪婚譚」の諸相について考える。異類とは人間と類を異にする鳥獣・魚虫・植物のことで、この異類が人間の男や女に変身して人間と結婚するという伝承であり、特に異類房譚を考察する。
講義の内容・授業スケジュール	異類女房譚は、その異類の郷土を基礎として大きく三つの系統があり、A「空」を郷土とする羽衣伝説の例、B「海」を郷土とする浦島伝説の例、C「陸地（森林・山野）」を郷土とする狐女房伝説の例などである。半期科目なので羽衣伝説を中心に考察する。まず異類怪婚譚について解説（1）、次いで日本の古代の伝承から講じてゆく（2～6）。平安時代成立の『竹取物語』も羽衣伝説の系譜に立つ物語であり、また「鶴の恩返し」で有名な鶴女房の話もA系統に属する伝承であり、これらについても考察する（7～13）。更にB・Cの系統についても言及したい（14・15）。
履修上の留意点	異類怪婚譚は室町時代物語草子（御伽草子）の中に多く登場し、その考察は「日本文化テーマ研究D」で行うので、併せて履修して下さい。なお本時の内容は、平成18年度「日本文化基礎」で行ったものであり、18年度「日本文化基礎」を履修した受講生も「日本文化テーマ研究D」を履修していただくようお願いする。
成績評価の方法	授業の最終日に提出してもらうレポートの成績に、出席状況を加味して評価する。
教科書	授業において適宜プリント教材を配布する。
参考書等	授業において適宜紹介する。

履修コード	169111
科目名	日本文化テーマ研究C
担当者名	園部 幹生

講義のねらい	日本文化における事項のうちから、「失われた文化」をテーマとする。日本文学の中で現存しない作品は多いが、そのうち、説話文学史上に多大の影響を与えた（散佚）『宇治大納言物語』をとりあげる。諸書に紹介される記事や引用されて残る佚文を読み、その実態を探る試みを通して、失われた文化の持っていた意味や役割を考えてみたい。
講義の内容・授業スケジュール	1 ガイドダンス。2 作品の文学史的意義。3～6 他の文献における記事。7～10 他の文献における受容。11～13 実態と散佚に関する推定。14 教場試験。15 まとめ。
履修上の留意点	毎時間の最後に、その日の講義内容に関する意見文の提出を求めるので、必ず原稿用紙を持参すること。
成績評価の方法	出席点20点、毎時間の意見文30点、教場試験50点の割合で評価する（試験は、テキスト・ノート・辞書・参考書等の持込可）。また、最後の授業時間中に、追・再試験に相当するレポートに関する伝達（該当者・テーマ・提出期限等）を行うので必ず出席すること。なお、定期試験期間中の試験は行わない。
教科書	プリントを配布する。
参考書等	必要があればそのつど紹介する。

履修コード	169201
科目名	日本文化テーマ研究D
担当者名	坂口 博規

講義のねらい	室町時代物語草子（御伽草子）群には「異類怪婚物語（人間と人間以外の鳥獣・魚虫・植物等の変身した者との不思議な結婚の物語）」が多く存在する。それらの作品を取り上げ考察すると共に、受講生にはそうした作品から希望する作品を各自選んでもらい、研究レポートを作成してもらう。
講義の内容・授業スケジュール	室町時代物語草子のうち、江戸時代に23篇の作品が「御伽草子」と題して出版された。その中から異類怪婚物語を取り上げて解説する。まず古典文学における物語史を講じて室町時代物語草子の文学的意義を考察（1・2）、更に23篇の中より異類怪婚物語として『浦島太郎』（3～6）・『本幡狐』（7・8）・『蛤の草子』（9・10）を取り上げて読解する。最後に「御伽草子」23篇以外の『雁の草子』を例に作品研究の実際を学んでもらう（11～15）。
履修上の留意点	「異類怪婚物語」については、「羽衣伝説」を中心に「日本文化テーマ研究C」で講義し、室町時代物語草子の作品例として『鶴の草子』を解説するので、後期開講のこちらも受講して下さい。
成績評価の方法	授業の最終日に提出してもらうレポートは原稿用紙10～20枚程度（400字詰）を考えている。その成績に、出席状況を加味して評価する。
教科書	授業時にプリント教材を配布する。
参考書等	授業時に、レポート作成のための文献等の紹介をする。

履修コード	169211
科目名	日本文化テーマ研究D
担当者名	蘭部 <small>そのべ みきお</small> 幹生

講義のねらい	日本文化における事項のうちから、「歌徳説話」をテーマとする。「徳」は「得」を意味し、「歌徳説話」とは歌を詠むことによって得をした話であるが、そのような話がどのようにして形成されていったのか、精神的背景にどのようなことがあるのかを顕かにしたい。
講義の内容・授業スケジュール 履修上の留意点	1 歌徳説話の意味。2～5 典型的な歌徳説話について。6～7 歌徳説話の形成。8～9 歌徳説話の精神的背景。10～13 亜流の歌徳説話。14 教場試験。15 まとめ。 毎時間の最後に、その日の講義内容に関する意見文の提出を求めるので、必ず原稿用紙を持参すること。
成績評価の方法	出席点20点、毎時間の意見文30点、教場試験50点の割合で評価する（試験は、テキスト・ノート・辞書・参考書等の持込可）。また、最後の授業時間中に、追・再試験に相当するレポートに関する伝達（該当者・テーマ・提出期限等）を行うので必ず出席すること。なお、定期試験期間中の試験は行わない。
教科書 参考書等	プリントを配布する。 必要があればそのつど紹介する。

履修コード	169301
科目名	日本文化テーマ研究E
担当者名	石割 <small>いしわり とおる</small> 透

講義のねらい	文学と映画（I 明治篇）。文学と映画、それぞれのテキストは、大正時代から、密接な関係を保ちながら展開してきたが、この時間では、明治期から大正期にかけて発表された、文学史に残る重要な文学テキストと、それが映画化され、映画史の上でも記憶されるべき作品として評価されている映画を通して、文学と映画という、それぞれの表現メディアの特色、それぞれが生まれた時代の文化的な本質、などを検討し、日本の近代文化史の一端を検討したい。
講義の内容・授業スケジュール 履修上の留意点	1、伊藤左千夫「野菊の墓」と木下恵介監督「野菊の如き君なりき（4）」2、島崎藤村「破戒」と市川監督「破戒」（5）、3 夏目漱石「それから」と森田芳光監督「それから」など。 扱う文学テキストは、何れも文庫本で入手できるテキストばかりであり、映画はその都度、授業中にも見るが、それ以後にも機会があれば、文学テキストと照らし合わせて、幾度も見る機会を持ってほしい。そして文学と映画の相違に留意して考えてほしい。扱う作品以外にも、映画、映画史に言及することも多いので、常に映画を出来るだけ見ておくなど、映画に関心を強く持って受講してほしい。特に、扱う作品の作家、映画の場合は監督の他の作品にも注目してみる機会を持ってほしい。
成績評価の方法	文学と映画を比較検討した課題のレポートを提出すること。出席状況を重視して、成績評価に加味する。
教科書 参考書等 その他	特に指定しない。 授業時に指示する。 講義形式で授業を進行させる。映画はビデオなどで授業時に見る予定。

履修コード	169311
科目名	日本文化テーマ研究 E
担当者名	小林 治 <small>こばやし おさむ</small>

講義のねらい 宮澤賢治の生前未発表童話を読む。賢治が書いた散文作品は、童話としては難解すぎ、またその法華経文学としての宗教性からも、児童文学としては適当ではないのではないかなど様々な議論がこれまでであった。しかし賢治童話は、たとえ難解ではあったとしても、「純真な心意の所有者たち」（『注文の多い料理店』広告文）へ与えられるべき「すきとほつたほんたうのたべもの」（『注文の多い料理店』序）であることを願って書かれていることに異を唱える者はないだろう。「卑怯な成人たちに畢竟不可解な」（『注文の多い料理店』広告文）「純真な心意」とは何かを賢治作品の読解を通じて考え、そのような物語を求める賢治の精神のありようについて考えてみたい。

講義の内容・授業スケジュール 具体的には上記のテーマ等の考察を、『なめとこ山の熊』、『セロ弾きのゴーシュ』などの短編や、『ポラーノの広場』、『風の又三郎』など比較的長い生前未発表作品の初期形から最終形までの生成の過程の中みっていく予定。

履修上の留意点 (1～3) 宮澤賢治の軌跡 (4～6) 『なめとこ山の熊』の分析と読解 (7～9) 『セロ弾きのゴーシュ』の分析と読解 (10～12) 『ポラーノの広場』の分析と読解 (13～15) 『風の又三郎』の分析と読解
開講時に、あらかじめ重点的に取り上げる作品を指示するので、文庫や全集などで、事前に作品を読んで授業に出席のこと。他の学生の大きいなる迷惑になるので講義途中の退室は厳禁する。

成績評価の方法 毎回出席を取る。課したレポートの内容に、出席回数を加えて成績評価をおこなう。

教科書 宮澤賢治『宮澤賢治全集第7巻』（ちくま文庫）1,000円

参考書等 その他、適宜プリントも配布する。

授業時に指示する。

履修コード	169401
科目名	日本文化テーマ研究 F
担当者名	石割 透 <small>いしわり とおる</small>

講義のねらい 文学と映画（大正・昭和篇） 大正期以後に発表された文学史のうえでも重要な文学テキストと、それが映画化された映画を対照比較しながら検討し、文学と映画の表現メディアのそれぞれの特質、それぞれが発表された時代の文化的諸相を検討する。

講義の内容・授業スケジュール 1 森鷗外「山椒大夫」と溝口健二監督「山椒大夫」 2、(4) 芥川龍之介「藪の中」と黒澤明監督「羅生門」(5)、3 豊田正子「綴方教室」と山本嘉次郎監督「綴方教室」(4)、4 宮本輝「泥の川」と小栗康平監督「泥の川」(3) など。

履修上の留意点 受講する前に、主に扱うテキストを十分に読んで授業に臨んでほしい。映画を見終わった後も、できる限り、DVDなどで、その映画を見て、映画と文学の表現の相違を考えてほしい。他の映画作品にもできる限り多く接し、映画独特の表現の特質を検討してほしい。

成績評価の方法 1、文学と映画に関する課題の、7枚程度のレポート提出による。更に出席状況を重視する。

教科書 特に定めない。

参考書等 授業時に指示する。

その他 講義形式で進める。プリントを必要に応じて配布する。また、授業時に扱う映画を何らかの形で見ることを考えている。

履修コード	169411
科目名	日本文化テーマ研究F
担当者名	小林 治 <small>こばやし おさむ</small>

講義のねらい 異貌の作家・深沢七郎の小説を精読する。深沢は、昭和三十一年（1956年）、四十二歳で総合誌「中央公論」に創設されたばかりの「中央公論新人賞」に応募し、第一回の入賞者となって作家デビューを果たしている。それ以前は、戦前からギターのリサイタルを継続的に開いたり、旅まわりのバンドにいたり、日劇ミュージックホールにスカウトされて出演したりなど一風変わった風来坊的な生活を送っていた。このような書齋で思考する知識人作家的なタイプとは無縁の、文学同人やサークルからも孤立したその来歴からもうかがえるように、その作品においては、およそ日本の近代文学の正統からはずれて、ヒューマニズムの規範による人間中心主義的な価値観を徹底して排除したすぶる実存的な土着の庶民的世界が展開している。既成の価値観をあざ笑うかの如きその突出したアンチヒューマニズムぶりをその作品世界において、検証してみたい。

講義の内容・授業スケジュール 具体的には上記の深沢の作家としての特徴を、『榎山節考』、『笛吹川』『甲州子守歌』等の代表的作品の読解などによって明らかにしていきたい。

履修上の留意点 (1～3) 深沢七郎の軌跡 (4～7) 小説『榎山節考』の分析と読解 (8～11) 『榎山節考』原作と映画(二度の映画化)の比較考察 (12～15) 小説『笛吹川』、『甲州子守歌』の分析と読解

成績評価の方法 開講時に、あらかじめ重点的に取り上げる作品を指示するので、文庫や全集などで、事前に作品を読んで授業に出席のこと。なお、他の学生の迷惑になるので講義途中の退室は厳禁する。

教科書 毎回出席を取る。課したレポートの内容に、出席回数を加えて成績評価をおこなう。

参考書等 深沢七郎『榎山節考』(新潮文庫)
その他、適宜プリントも配布する。
授業時に指示する。

履修コード	169501
科目名	日本文化テーマ研究G (夏季集中)
担当者名	松田 直行 <small>まつだ なおゆき</small>

講義のねらい 「演劇ワークショップ」の実技体験を行う夏季集中授業。これは即興演技の訓練法から生まれたもので、コミュニケーションに関する様々な要素(表情と体の動き、話し方、感情表現、グループの人間関係など)を体験的に学ぶとともに、状況に応じて即座に、臨機応変に対処する「インプロ」の技術を身につけることを目的とする。台本を使って演技をする演劇の訓練とは異なり、誰にでも簡単にできる「シアターゲーム」と呼ばれる体を動かすゲームをグループごとに繰り返しながら、最終的には台本のない即興でストーリーを生み出すことを目指す。コミュニケーション技術を学ぶとともに、本番で実力を発揮できる能力を身につけるものとして、企業の社員研修などでも取り入れられているものである。

講義の内容・授業スケジュール (1) 基本講義：ワークショップとは何か? (2) 講義：心と体はつながっている (3) 実技：シアターゲーム (4) 実技：インプロの練習 (5) 実技：インプロのグループ発表 (6) まとめとレポート試験

履修上の留意点 集中授業なので4日間すべてに出席しなければ単位を取得できない。軽い運動をすることができる服装(靴はスニーカーなど)で出席すること。演劇の実習ではないので、演技の経験はまったく必要としない。むしろ人前で自分を表現することが苦手な方にこそ受講していただきたい。ただしグループでの練習に積極的に参加する協力的な姿勢は必要となる。

成績評価の方法 授業への参加状況による評価が6割、「インプロ」のグループ発表の結果が2割、最終日に教場で書いていただくレポート試験の結果が2割として算出する。

教科書 指定しない。

参考書等 絹川友梨『インプロゲーム-身体表現の即興ワークショップ』、晩成書房、3,150円。池上奈生美・秋山桃里『インプロであなたも「本番に強い人」になれる』、フォレスト出版、1,365円。

その他 授業日程：8月3日の3～5限、8月4日～8月6日のそれぞれ2～5限、合計4日間の15時間授業。予備日は8月7日の2～5限。台風による休講等で予備日に発表・レポート試験を行うことになる可能性もあるので注意すること。

履修コード	169601
科目名	日本文化テーマ研究H
担当者名	<small>まつだ なおゆき</small> 松田 直行

講義のねらい 講義タイトルは「映画の近代史」。19世紀末の発明である映画は、20世紀を「映像の世紀」と言わしめるほど近代という時代と深くかかわってきた。映画というメディアが近代において果たした役割を歴史的に振り返り、映画とはどのような表現なのかをあらためて考えながら、同時に映像作品によって語られた近代とはどのような時代なのかを考える。

講義の内容・授業スケジュール (1) 映画とは何か (2) 映画の技術と歴史 (3) 映画の文法 (4) 映画の記号論 (5) 日本のモダニズム映画 (6) シナリオの構造

履修上の留意点 実際に映像作品を授業で見させていただくことになるので、欠席すると内容がわからなくなる。上映予定の作品は、マック・セネットの無声映画、「戦艦ポチョムキン」、「市民ケーン」、「カルメン故郷に帰る」、「東京物語」など。現代のいわゆる娯楽映画作品とは異なるので、その点は承知しておくように。

成績評価の方法 出席状況と授業で適宜提出を求める小レポートによる評価が5割、定期試験期間中に行う筆記試験が5割として算出する。

教科書 ジェイムズ・モナコ『映画の教科書—どのように映画を読むか』、フィルムアート社、3,675円。各自あらかじめ購入して、初回の授業に持ってくること。定期試験は教科書持込可とするので、教科書は必ず必要となる。

履修コード	215801
科目名	社会学〔現代社会を考える〕
担当者名	南後 由和 <small>みなご ましかず</small>

講義のねらい 本講義では、普段何気なく目にしてはいる光景や当たり前とされている事柄を批判的に疑い、多角的に検討する姿勢を身につけることを狙いとしています。そのことにより、現代社会の背後で起きている事象を広く見通す〈まなざし〉を養い、〈社会学する〉実践感覚をつかむことを目指します。

講義の内容・授業スケジュール (1) イントロダクション、新しい社会学のために(2~4) 親密性と公共性、相互行為と自己(5~7) 社会秩序と権力、組織とネットワーク(8~11) メディアとコミュニケーション(12~16) 歴史と記憶、空間と場所(17~19) 環境と技術、医療・福祉と自己決定、国家とグローバリゼーション(20~21) 家族とライフコース、ジェンダーとセクシュアリティ(22~23) エスニシティと境界、格差と階層化(24~27) 文化と再生産、社会運動と社会構想(28) 総括
授業の順序および配分は、多少変更の可能性がります。

履修上の留意点 教科書をベースに、具体的なトピックや映像作品を紹介しながら講義を進めます。講義中に挙手・発言をするなど、受講者の積極的な〈参加〉を求めます。

成績評価の方法 平常点、授業中の課題、前・後期のレポートにより総合的に評価します。

教科書 長谷川公一・浜日出夫・藤村正之・町村敬志『社会学』2007年刊(有斐閣)3,500円

参考書等 授業中に随時紹介します。

履修コード	215901
科目名	社会学〔現代社会を考える〕
担当者名	呉 炳三 <small>お びんさん</small>

講義のねらい 社会学の主要な対象は人間である。その人間が社会生活のなかで引き起こす諸問題を分析する学問でもある。その分野は、「家族」「恋愛」「結婚」「教育」「文化」「政治」「法律」「犯罪」「経済」など多岐にわたっている。このような分野において特徴的であるといえる諸問題は何かを整理、理解し、それを解決する視点として、社会学の基礎的な知識を身につけることによって、よりよい社会生活に臨んでもらうことが本講義のねらいである。

講義の内容・授業スケジュール (前期)社会学の基礎概念：
(1)はじめに、(2)社会学とは、行為論として、(3~4)社会学における行為、(5)行為者としての個人、(6)社会化と人間形成、(7)国民性についてグループ討議、(8)日本の行為論、集団論として、(9)集団の概念、(10)官僚制理論、(11)小集団論、(12)集団の種類、(13)日本の集団論、(14)おわりに、(15)前期テスト
(後期)現代社会の特徴的な諸相：
(1)家族、(2)家族の機能、(3)恋愛、(4)結婚、(5)自殺についてグループでディベート、(6)少年犯罪、(7)少子・高齢、(8)アダルトチルドレン・摂食障害、(9)若者・IT文化、(10)フリーター、ニート・引きこもり、(11)格差社会についてグループでディベート、(12)性同一性障害、(13)就職・転職・リストラ、(14)ジェンダー、(15)後期テスト
以上、講義を予定としているが、受講生の要望も取り入れながら講義を進めているため講義内容を変更することもある。

履修上の留意点 本講義は、教員の一方的な講義ではなく、受講生とともに調べ、その結果を考えた上、答えを導く方向で講義を進めていくために、授業への積極的な取り組みが望まれる。なお、授業は指定の教科書と辞書を使用するため必ず毎回持参することと、宿題もあるので、きちんと宿題が出来る学生の受講を勧める。

成績評価の方法 出席状況(遅刻厳禁)と前・後末に行う筆記試験の結果から総合的に評価する。但し、授業中の私語、携帯電話の使用、寝るなど授業態度のよくない学生については出席停止とし単位を与えないことがある。

教科書 開講時に説明する。

参考書等 講義中に、その都度紹介する。

履修コード	216001
科目名	社会学〔現代文化を考える〕
担当者名	お びんさん 呉 炳三

講義のねらい	<p>社会学の主要な対象は人間である。その人間が社会生活のなかで引き起こす諸問題を分析する学問でもある。その分野は、「家族」「恋愛」「結婚」「教育」「文化」「政治」「法律」「犯罪」「経済」など多岐にわたっている。このような分野において特徴的であるといえる諸問題は何かを整理、理解し、それを解決する視点として、社会学の基礎的な知識を身につけることによって、よりよい社会生活に臨んでもらうことが本講義のねらいである。</p>
講義の内容・授業スケジュール	<p>(前期)社会学の基礎概念： (1)はじめに、(2)社会学とは、行為論として、(3～4)社会学における行為、(5)行為者としての個人、(6)社会化と人間形成、(7)国民性についてグループ討議、(8)日本の行為論、集団論として、(9)集団の概念、(10)官僚制理論、(11)小集団論、(12)集団の類型、(13)日本的集団論、(14)おわりに、(15)前期テスト (後期)現代社会の特徴的な諸相： (1)家族、(2)家族の機能、(3)恋愛、(4)結婚、(5)自殺についてグループでディベート、(6)少年犯罪、(7)少子・高齢、(8)アダルトチルドレン・摂食障害、(9)若者・IT文化、(10)フリーター、ニート・引きこもり、(11)格差社会についてグループでディベート、(12)性同一性障害、(13)就職・転職・リストラ、(14)ジェンダー、(15)後期テスト 以上、講義を予定しているが、受講生の要望も取り入れながら講義を進めているため講義内容を変更することもある。</p>
履修上の留意点	<p>本講義は、教員の一方的な講義ではなく、受講生とともに調べ、その結果を考えた上、答えを導く方向で講義を進めていくために、授業への積極的な取り組みが望まれる。なお、授業は指定の教科書と辞書を使用するため必ず毎回持参することと、宿題もあるので、きちんと宿題が出来る学生の受講を勧める。</p>
成績評価の方法	<p>出席状況(遅刻厳禁)と前・後末に行う筆記試験の結果から総合的に評価する。但し、授業中の私語、携帯電話の使用、寝るなど授業態度のよくない学生については出席停止とし単位を与えないことがある。</p>
教科書 参考書等	<p>開講時に説明する。 講義中に、その都度紹介する。</p>

履修コード	216101
科目名	社会学〔現代文化を考える〕
担当者名	牛島 千尋 <small>うしじま ちひろ</small>

講義のねらい 社会は人間、集団、そしてこれらの相互的な関係から成立している。本講義の前期では、まず、社会はどのような仕組みで成立しているのか、社会と個人、個人と個人はどのような関係にあるのかを学んでいく。後期は、前期の内容をもとに、社会階級・階層、ジェンダー、エスニシティ、世代、地域からみた社会・文化に関する諸問題を国内外の事例を通して考察していく。

講義の内容・授業スケジュール

1. オリエンテーション
2. 社会の発見と社会学
3. 社会学の誕生と展開(1)- 予見するために観察する
4. 社会学の誕生と展開(2)- 社会の発展的類型化
5. 社会学の誕生と展開(3)- 集会的表象としての社会
6. 社会学の誕生と展開(4)- 社会的連帯と社会類型
7. 社会の変動と動向(1)- 近代化・産業化・都市化
8. 社会の変動と動向(2)- 産業社会と社会階級
9. 社会の変動と動向(3)- 支配の諸類型と近代官僚制
10. 大衆社会と中間集団
11. 大衆社会と社会的性格(1)- 伝統指向型・内部指向型・他人指向型
12. 大衆社会と社会的性格(2)- オーガニゼーション・マン
13. 農村と都市- 産業社会と都市
14. 都市化と生活様式(1)
15. 都市化と生活様式(2)
16. 社会階層・階級、ジェンダー、エスニシティ
17. 社会階層・階級と文化(1)
18. 社会階層・階級と文化(2)
19. 社会階層・階級と文化(3)
20. エスニックグループとエスニシティ(1)
21. エスニックグループとエスニシティ(2)
22. エスニックグループとエスニシティ(2)
23. ジェンダーと現代社会(1)
24. ジェンダーと現代社会(2)
25. ジェンダーと現代社会(3)
26. 現代社会と文化(1)
27. 現代社会と文化(2)
28. 現代社会と文化(3)
29. まとめ
30. 後期試験

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書
参考書等

特になし。
 出席状況、授業中のレポート、試験(持込不可)によって評価します。
 内容は多岐にわたるので、特に指定しません。
 内容は多岐にわたるので、その都度紹介します。

履修コード	216201
科目名	社会学〔社会生活を考える〕
担当者名	小畑 和 <small>おひた かず</small>

講義のねらい	社会学はつかみどころのない学問と言われますが、その理由は、社会学が「社会人の形式として社会関係や社会集団を研究するだけでなく、家族、人口、経済、法律、政治、企業、教育…等々の領域を一切適切に包み込んだ社会全体を研究する学問だからです。それ故に幅広く、内容も多種多様で、明確な統一的立場を見出だし難い性格を持っています。
講義の内容・授業スケジュール	講義では、生産力と消費力の2つのキー概念を用いて現代社会の構造を捉え、人々の社会生活が生産と消費の社会的環境の中でどのように影響されているかを明らかにしたい。また講義を通して「巨視的 (Macroscopic) なものの見方」を身に付けて貰いたい。 この講義では「ゆたかさは人間を幸せにしたか」を主テーマに、人々の社会生活を誕生から老後に至る過程を追いながら次の7つの要因について講義する。 (1) マクロ的的要因 (現代の生産の意味、生産力と消費力の関係が個人の社会生活にどのような影響を与えるかを中心に現代社会 (少子社会) を総合的に講義する。) (2) 誕生に関する要因 (出生・墮胎・殺児…) (3) 幼児・子供の成長に関する要因 (育児・保育・遊び・いじめ・体罰・塾・進学…) (4) 家庭生活に関する要因 (核家族化、晩婚晩産化、生涯独身、パート、共働き、残業、余暇、離婚の増大…) (5) 消費生活に関する要因 (広告・宣伝・ローン、消費者教育、自己破産、ホームレス問題、ゴミ問題等の消費者問題…) (6) 会社生活に関する要因 (入社、転職、失業、終身雇用制の崩壊…) (7) 老後の生活に関する要因 (年金、介護、生きがい、死の問題…)などを講義する。 この7つの要因を通して、全体として現代社会の社会生活を考えて見たいと思います。
履修上の留意点	初回の講義で説明する。
成績評価の方法	五段階2乗方式によるが、そのやり方は初回の講義で説明する。
教科書	初回の講義で説明する。
参考書等	初回の講義で説明する。
その他	上記授業のスケジュールは進度によって多少の変更がある。

履修コード	216301
科目名	社会学〔社会生活を考える〕
担当者名	呉 炳三 <small>おびよんさん</small>

講義のねらい	社会学の主要な対象は人間である。その人間が社会生活のなかで引き起こす諸問題を分析する学問でもある。その分野は、「家族」「恋愛」「結婚」「教育」「文化」「政治」「法律」「犯罪」「経済」など多岐にわたっている。このような分野において特徴的であるといえる諸問題は何かを整理、理解し、それを解決する視点として、社会学の基礎的な知識を身につけることによって、よりよい社会生活に臨んでもらうことが本講義のねらいである。
講義の内容・授業スケジュール	(前期) 社会学の基礎概念： (1) はじめに、(2) 社会学とは、行為論として、(3～4) 社会学における行為、(5) 行為者としての個人、(6) 社会化と人間形成、(7) 国民性についてグループ討議、(8) 日本的行為論、集団論として、(9) 集団の概念、(10) 官僚制理論、(11) 小集団論、(12) 集団の類型、(13) 日本的集団論、(14) おわりに、(15) 前期テスト (後期) 現代社会の特徴的な諸相： (1) 家族、(2) 家族の機能、(3) 恋愛、(4) 結婚、(5) 自殺についてグループでディベート、(6) 少年犯罪、(7) 少子・高齢、(8) アダルトチルドレン・摂食障害 (9) 若者・IT文化、(10) フリーター、ニート・引きこもり、(11) 格差社会についてグループでディベート、(12) 性同一性障害、(13) 就職・転職・リストラ、(14) ジェンダー、(15) 後期テスト 以上、講義を予定しているが、受講生の要望も取り入れながら講義を進めているため講義内容を変更することもある。
履修上の留意点	本講義は、教員の一方的な講義ではなく、受講生とともに調べ、その結果を考えた上、答えを導く方向で講義を進めていくために、授業への積極的な取り組みが望まれる。なお、授業は指定の教科書と辞書を使用するため必ず毎回持参することと、宿題もあるので、きちんと宿題が出来る学生の受講を勧める。
成績評価の方法	出席状況 (遅刻厳禁) と前・後末に行う筆記試験の結果から総合的に評価する。但し、授業中の私語、携帯電話の使用、寝るなど授業態度のよくない学生については出席停止とし単位を与えないことがある。
教科書	開講時に説明する。
参考書等	講義中に、その都度紹介する。

履修コード	216401
科目名	統計学〔社会現象の統計的分析〕
担当者名	田中 正光 <small>たなか まさみつ</small>
講義のねらい	現代社会では、官庁統計、企業の経営上のデータ、アンケート調査結果など社会の諸相を反映した様々な数値が身近に氾濫している。これらのデータから各自が自分の必要とする情報を的確に選出・分析するためにはある程度の統計的知識とパソコン操作が必要である。こうした数値データの整理・分析の作業は実社会に出たときに様々の場面で必要とされるものである。また、新聞や専門誌上に頻出するグラフや統計表などの理解にも基礎的な統計の素養を必要とすることが多い。講義では、統計学の初歩の習得を主軸とし、同時に統計計算のためのパソコン操作に慣れることも目指す。
講義の内容・授業スケジュール	(1～4) 総和記号の使い方、代表値の計算 (5～6) データの散布度の計算 (7～9) 度数分布 (10～11) 相関係数 (12～13) 回帰分析 (14～16) 確率 (17) 確率変数 (18～24) 離散型確率分布、連続型確率分布 (25～26) 標本と標本分布 (27～28) 統計的推定 (29～30) 統計的仮説検定
履修上の留意点	通常の講義では電卓(関数電卓が望ましい)を持参のこと。自分自身で計算すれば理解が倍増する。また、パソコン操作ではエクセルを使うのでソフトの計算にある程度通じていることを前提にして講義を進める。
成績評価の方法	前期末と後期末に中間試験を行い、この点数に日頃の出席状況を加味して成績を評価する。
教科書	指定なし。
参考書等	稲葉三男・稲葉敏夫・稲葉和夫『経済・経営・統計入門』(共立出版)2004年 室淳子・石村貞夫『Excel でやさしく学ぶ統計解析』(東京図書)2004年 鳥居泰彦『はじめての統計学』(日本経済新聞社)2003年 東京大学教養学部統計学教室編『統計学入門』(東京大学出版会)1997年 岸野洋久『社会現象の統計学』(朝倉書店)1992年 森田優三『統計概論』(日本評論社)1966年
その他	授業においては原則的にプリントを配布する。この中に関連問題を収め、これら問題に取り組むことで理解度を高める。

履修コード	216501
科目名	統計学〔社会現象の統計的決定〕
担当者名	新行内 康慈 <small>しんぎょうち こうじ</small>
講義のねらい	統計学は、観測値からその源泉の特徴や傾向を明らかにして結論を引き出す方法であり、経営、経済をはじめとする社会現象の解析や意思決定など幅広い分野で活用されています。本講義は、統計学の入門としてその基本的な考え方と諸手法を現実の問題を引用しながら平易に解説することをねらいとしています。
講義の内容・授業スケジュール	前期 1統計学の概要 2-4度数分布表・ヒストグラム・基本統計量 5-7確率 8演習I 9-10確率変数と確率分布 11平均・分散と期待値 12標準化 13正規分布表 14演習II 15まとめ・補足 後期 16母集団と標本 17統計量と標本分布 18-19点推定と区間推定 20-21仮説検定 22-24その他の推定・検定 25演習III 26散布図と相関係数 27-28回帰分析 29期末試験 30まとめ・補足
履修上の留意点	統計学は積み重ねが要求される分野です。継続して講義に出席し、一步一步確実に理解していくことが大切です。
成績評価の方法	以下のふたつの評価値のうち、高得点の方を最終評価とします。 ①演習I～III：45% (各15%) + 期末試験55% ②期末試験：100%
教科書	テキストは使用しません。必要に応じて適時資料を配布します。
参考書等	石村貞夫『すぐわかる統計解析』東京図書 2,000円 ISBN4-489-00407-9 前野昌弘・三國彰『図解でわかる統計解析』日本実業出版 1,800円 ISBN4-534-03036-3 永田靖『入門 統計解析法』日科技連出版 2,900円 ISBN4-8171-0266-7 東京大学教養学部統計学教室『統計学入門』東京大学出版 2,800円 ISBN4-13-042065-8
その他	配布資料に基づいて例題を交えて講義し、さらに課題演習を実施して理解を深めます。配布資料・説明資料等は YeStudy に公開します。

履修コード	216701
科目名	文化人類学〔文化と人間〕
担当者名	もり まさゆみ 森 雅文

講義のねらい	異文化を理解するには、どのような方法や態度が求められるのでしょうか。文化人類学は、諸社会の比較を通して、人々に担われ創造される文化の姿を多面的に考察します。その醍醐味は、珍奇な風習や驚異についての見聞を拓げるのではなく、人々の日常的な実践に顕れる多様な人間性の表現についての妥当な理解を探り、そのまなざしを自己を含めた諸事象にも向けてゆく知的実践にあります。この講義では、文化の多様性を前提とした他者理解の枠組みについて、代表的なテーマや民族誌的事例とともに解説します。
講義の内容・授業スケジュール	また、近年では異文化を発見して解釈して記すという営為に批判も向けられています。異文化および他者とは何か、この現在的な問題意識も踏まえながら、文化への洞察力、自己や他者に向き合うという実践の基礎力の養成を目指します。 以下の内容は、受講者の関心により変更する場合があります。 「文化」概念の基礎と歴史（人類と文化の概念、通時的視座と共時的視座） 人間の社会化と新旧の理論（家族、婚姻、親族、人の一生と通過儀礼、ジェンダー） 環境への適応と文化様式（生業と社会、採集狩猟・牧畜・農耕、開発と社会の変貌） 共同性の構築と構造主義の文化理論（贈与と交換、境界と穢れ） 観念的世界と現実世界の接合（妖術と邪術、呪術、シャーマニズム、儀礼と神話） 人間と社会の存在様式（個人と身体、近代国家と民族、エスニシティ） 文化の現在的理解（土着・混雑・越境、グローバリズム、異文化の理解と翻訳）
履修上の留意点 成績評価の方法	初回講義時に伝達する履修上の注意事項を確認してください。 前期と後期に実施する筆記試験の合計を100%、授業時の質疑応答やコメントペーパーの内容を平常点として換算し、10%までの加算点とします。
教科書 参考書等	特定の教科書は指定しません。 一般的な入門書・概説書は初回に紹介します。 各回の講義内容に関する専門書は授業時に配布するプリントで紹介します。
その他	ビデオ等の視聴覚資料も使用します。

履修コード	216801
科目名	文化人類学〔文化と人間〕
担当者名	かとう ゆきほろ 加藤 之晴

講義のねらい	文化人類学は、人びとが集い、生活をしていくなかで生まれる様々な生活慣習・思考・言語などに注目する。そして「フィールドワーク」と呼ばれる経験的な調査法から得られたデータに基づいて「人びとはどうしてこのような行動をとるのか、考え方をするのか?」といった問いを立て、その答えを探し求めていくなかで、人間存在についての理解を深めることを目指す。 本講義では、はじめに文化人類学の基本的な立場・目的・方法・歴史について概略的に解説をおこなう。つぎに言語・身体・宗教・病い・食などのキ・ワードを挙げ、文化人類学の世界ではそれらをどのように捉えるのか、それによって何が見えてくるのか、世界各地の具体的な事例をもとに学んでゆく。
講義の内容・授業スケジュール	I. 文化人類学の「文化」とは? II. 文化人類学とフィールドワーク III. 食と文化 IV. 人間と境界 V. 人間と「病い」 VI. 信仰と世界観
履修上の留意点	授業中・授業後の質問は大歓迎です。積極的な授業態度で臨んでくれると、こちらも張り合いが出ます。
成績評価の方法	基本的には年度末の筆記試験で評価しますが、出席点や課題レポートなどを評価の際の補足材料とするかもしれません。
教科書 参考書等	特定の教科書は用いません。毎回講義のトピックを記したプリント（レジュメ）を配布します。これに基づいて授業を進めてゆきます。 授業時に必要に応じて紹介します。

履修コード	216901
科目名	文化人類学〔諸民族とコスモロジー〕
担当者名	杉井 純一

講義のねらい

さまざまな民族が絶えず各地を移動する現代世界では、私たちは「異質な他者」との出会いを日常的に経験します。こうした多民族社会に生きる私たちは以前にもましてコミュニケーションの困難に直面します。お互いが先入観や偏見にとらわれず、十分な意志疎通を図るためには、相互の民族的、文化的背景への理解が前提となります。

文化人類学は民族や文化の多様性を比較することで、それぞれの文化的相違についての認識を深める学問です。具体的に言えば、人々の生活様式や儀礼、習慣などを通して「人間を取りまく世界、宇宙の成りたちやしくみ」についての多様な観念体系を理解していきます。

本講義では、前期に文化人類学の基礎、後期に民族とコスモロジーを学びます。まず、「異文化を理解することの面白さ、そして、難しさを味わいながら、「異質なものとの共存」「他者との共生」の可能性について考えていくことが本講義の目的です。

講義の内容・授業スケジュール

- I 文化人類学の基礎
 - 1. 文化人類学とは何か
 - 2. 文化人類学の歩み(1)
 - 3. 文化人類学の歩み(2)
 - 4. 文化とコミュニケーション
 - 5. 環境と人間(1) 狩猟採集民
 - 6. 環境と人間(2) 牧畜民
 - 7. 環境と人間(3) 農耕民
 - 8. ジェンダー
 - 9. セクシュアリティ
 - 10. 婚姻の形態
 - 11. 家族の多様性
 - 12. 親族と社会
- II 民族とコスモロジー
 - 1. 呪術と宗教
 - 2. アニミズム
 - 3. シャーマニズム
 - 4. シンクレティズム
 - 5. 儀礼の構造
 - 6. コスモロジー
 - 7. 神話
 - 8. 政治組織
 - 9. 民族とエスニシティ
 - 10. 民族紛争と戦争
 - 11. 開発と文化
 - 12. 移動の民族誌

履修上の留意点

ビデオを見た感想を問うことがあります。
夏期レポート(20%)、期末試験(60%)、平常点(20%)で評価します。

成績評価の方法

特に指定しません。適宜、プリントを配布します。

教科書

参考書等

祖父江孝男『文化人類学入門』(中公新書) 800円
山下晋司ほか『文化人類学キーワード』(有斐閣) 1,700円
佐々木宏幹・村武精一編『宗教人類学』(新曜社) 2,200円
できるだけ、ビデオを利用します(年に4~5回程度)。

その他

履修コード	217001
科目名	文化人類学〔諸民族とコスモロジー〕
担当者名	森 雅文

講義のねらい 異文化を理解するには、どのような方法や態度が求められるのでしょうか。文化人類学は、諸社会を比較を通じて、人々に担われ創造される文化の姿を多面的に考察します。その醍醐味は、珍奇な風習や驚異についての見聞を拓げることでなく、人々の日常的な実践に顕れる多様な人間性の表現についての妥当的な理解を探り、そのまなざしを自己を含めた諸事象にも向けてゆく知的実践にあります。この講義では、観念的世界観と現実世界の接合を果たす文化実践に焦点をあてながら、多様性を前提とした他者理解の枠組みを解説します。

また、近年では異文化を発見して解釈して記すという営為に批判も向けられています。異文化および他者とは何か、この現代的な問題意識も踏まえながら、文化への洞察力、自己や他者に向き合う実践の基礎力の養成を目指します。

講義の内容・授業スケジュール 以下の予定は、受講者の関心により内容を変更する場合があります。
 「文化」概念の歴史（人類と文化の概念、通時的視座と共時的視座）
 文化と儀礼の基礎理解（人の一生、通過儀礼、境界と穢れ、贈与と交換）
 社会の結合とコスモロジー（妖術と邪術、呪術、神話と儀礼、聖地巡礼）
 人間の存在様式（シャーマニズム、個人と身体、伝統医療と近代医療）
 文化の現在の理解へ（テクノロジーと世界観、エスニシティ、文化の融合と衝突、異文化の理解と翻訳）

履修上の留意点 初回講義時に伝達する履修上の注意事項を確認してください。

成績評価の方法 前期と後期に実施する筆記試験の合計を100%、授業時の質疑応答やコメントペーパーの内容を平常点として換算し、10%までの加算点とします。

教科書 特定の教科書は指定しません。

参考書等 一般的な入門書・概説書は初回に紹介します。

その他 各回の講義内容に関する専門書は授業時に配布するプリントで紹介いたします。ビデオ等の視聴覚資料も使用します。

履修コード	217101
科目名	文化人類学〔諸民族とコスモロジー〕
担当者名	鈴木 一馨

講義のねらい 文化人類学は、人類の特徴的な活動とその表現である「文化」を通して「人類とはなにか」を問う学問である。これを学ぶことは、多様な文化を理解する術を得るばかりではなく、自己の存在意義を問うことにもつながる。

この講義では、前期に「文化」と「文化人類学」、また文化の共通性に基づく「民族」、そして「コスモロジー」について基礎的な知識を学ぶ。後期はコスモロジーの具体例として「風水」を探り上げ、関連するさまざまなコスモロジーと、現実空間の認識、また風水が人間社会にとって持つ意味を学ぶ。そして、これらを通して、人類が文化を持つことの意味や、ひいては人類の中の一存在である自己の存在意義を考えてもらう。

講義の内容・授業スケジュール 前期：
 第1部. 文化人類学と民族
 I. 「文化」と「文化人類学」（1～3）、II. 「民族」とはなにか（4～6）
 第2部. 民族とコスモロジー
 I. 「コスモロジー」とはなにか（7～8）、II. 天とひとつのコスモロジー（9～10）、III. 世界の断絶と連続（11～15）
 後期：
 第3部. 風水のコスモロジー
 I. 風水を構成する宇宙論（16～24）、II. 風水による現実空間の意味付け（25～26）、III. 風水と人間社会（27～30）

履修上の留意点 講義に対する積極的な姿勢と、社会人予備軍としての常識性を重視する。なお、復習をしないとついていけない。

また、成績処理用に「受講者カード」を準備するので、初回の出席時に必ず記入すること。同カードの記入や提出がない場合には単位の認定をしない。

成績評価の方法 出欠状況、期末試験、小テスト、質問への返答、受講態度など、評価につながるものは全て考慮する。

教科書 プリントを使用する。

参考書等 祖父江孝男『文化人類学入門（増補改訂版）』（中公新書560、1990年）840円、ISBN：4121905601
 渡邊欣雄『風水思想と東アジア』（人文書院、1990年）1,995円、ISBN：4409410482
 鈴木一馨『陰陽道一呪術と鬼神の世界』（講談社選書メチエ244、2002年）1,575円、ISBN：4062582449
 国立歴史民俗博物館編『異界談義』（光文社知恵の森文庫、2008年）724円、ISBN：9784334785116

履修コード	217201
科目名	文化人類学〔社会変化と価値観〕
担当者名	小川 順敬 <small>おがわ としゆき</small>

- 講義のねらい** 文化人類学（以下、人類学）とは様々な民族の社会や文化を対象とし、人間のもっている「文化」をトータルに考察しようとする学問です。人類に多様な文化を対象とする人類学の方法の特徴は比較研究にあります。単に文化の違いを明らかにしようとするだけでなく、比較を通してその差異と共通性について考え、文化とは何か、人間とは何かを考えようとしています。
- 人類学の研究対象領域は広範で、研究方法も多岐にわたります。この講義では「社会変化と価値観」というテーマにそって文化人類学の基本的な考え方、研究方法等を解説にすることにしたいと思います。
- 講義の内容・授業スケジュール** 人類学の調査対象である「異文化社会」とは多くの場合、非西欧世界の伝統社会を意味しています。それらの社会は15、6世紀の大航海時代以降「発見」され、以降はげしい近代化、社会変化・文化変化の波に洗われてきました。人類学は「西欧文化」との接触によって変容しつつある社会を調査し続けてきたのです。伝統的政治組織の変容や解体、近代の科学技術や、新たな経済システムの導入、新しい宗教、新たな価値観が伝統社会にもたらした変化はどのようなものだったのでしょうか。この講義では、人類学が取り上げてきた様々なテーマを、社会変化、文化変容という角度から紹介していきたいと思います。
- 成績評価の方法** 評価は原則として、年数回の「小試験」（出席点として処理します）および夏期レポート（前期試験に相当します）、年度末の筆記試験により行います。成績評価の具体的な方法、レポートの課題、年度末試験の方針、出席点評価等は最初の授業で詳しく説明します。
- 教科書** 祖父江孝男『文化人類学入門』（中公新書560番 中央公論社）
- 参考書等** 講義の内容に関連する参考文献は適宜紹介します。

履修コード	217301・217401
科目名	文化人類学〔社会変化と価値観〕
担当者名	内山 明子 <small>うちやま あきこ</small>

- 講義のねらい** グローバル化により、近年、日本でも様々な文化をもつ人々との日常生活空間の共有化が進展する一方、排外的なナショナリズムの動きも拡大している。このような時代に自分たちと異なる人々との関係を築いていくのかを考え実践していくうえで、文化人類学は一つの指針になりうる。本講義では、これからますます加速化する多文化状況を様々な局面から柔軟に捉えていくための一助として文化人類学の基礎知識を提供していきたい。
- 講義の内容・授業スケジュール** (1)文化人類学とは(2～5)異文化理解のむずかしさ：文化相対主義、ろう文化、文化多元主義と多文化主義(6～9)民族と人種：様々な民族概念、原初主義と道具主義、人種と優生学(10～14)文化人類学の基本的枠組み：「未開」と「文明」、主要学説、フィールドワークと民族誌、オリエンタリズム、近代世界システム(15～18)家族と親族：出自理論、縁組理論、民俗生殖理論、生殖医療の発展と親族・家族研究(19～22)交換と経済：クラとポトラッチ、交換論、資本主義との接合(23～26)儀礼と分類：分類と分類からはずれるもの、通過儀礼、コミュニタス(27～30)宗教：呪術と宗教、大伝統と小伝統、国家と宗教
- 成績評価の方法** 終講後に行う期末試験(筆記試験)を基本に、夏休みの課題レポートを加味して評価します。出席は取りませんが、授業内を行うビデオ鑑賞の感想文提出などを参考にします。
- 教科書** 指定しません。参考文献は授業内で随時紹介します。

履修コード	217501
科目名	法学・憲法〔法と社会生活〕
担当者名	長谷川 日出世 <small>はせがわ ひでよ</small>

- 講義のねらい** 日常生活において生ずる様々な法律問題を解決するための法の基礎知識の習得と、我々の社会生活の基本となる日本国憲法の理解を目的とします。
- 講義の内容・授業スケジュール** ①講義に関する全段的説明、②社会秩序と法、③～⑥法概念の本質、⑦～⑩法の成り立ちとその分類、⑪～⑬法の解釈、⑭～⑮日本の裁判制度、⑯憲法とは何か、⑰近代憲法の構成原理、⑱日本の憲法史、⑲～㉑日本国憲法の基本原理、㉒～㉔基本的人権の保障、㉕国会、㉖内閣、㉗司法権、㉘一年間のまとめ
- 履修上の留意点** 日頃から、新聞、テレビニュースで報道される法律問題に関心を持つこと。講義の前に、教科書を必ず読んでおくこと。
- 成績評価の方法** 学期末の試験の成績と講義への出席の度合で評価します。
- 教科書** 長谷川日出世、『法の基礎概念と憲法』、成文堂、2500+税、ISBN 4-7923-0399-0

履修コード	217601
科目名	法学・憲法〔法と社会生活〕
担当者名	和知 恵一

講義のねらい 現代社会は、高密度に人が集合し、高度に発展した複雑な社会を構成している。その構成員である我々は、社会にとって必要不可欠である多くの法によって、取り囲まれている。たとえば、電車やバスに乗ること、コンビニで文具を買うこと、アパートを借りることなど、すべて、法的な側面を持っている。自分は法と無縁であると思っている人は、そのことを知らずにいるだけなのである。講座名は、「法学・憲法」であるが、サブタイトルに（法と社会生活）とあるように、本講義においては、「良き社会人として生活していくために、社会にある『法』とは何であるかの理解をすること、またその『法』を社会生活の上で活かしていく能力を身につけること」を主眼とする。六法を使いこなせるようになることも目的の一つとする。

講義の内容・授業スケジュール 講義形式で進める。が、講義はどうしても一方通行になりがちなので、授業中に多数の質問を行い、挙手により解答してもらおう。つまり、全員が参加する授業を目指す。授業では、数多くの事例を挙げ、具体的に話を進める。たとえば「今朝の新聞に、官僚が『収賄罪』で逮捕された記事が掲載されていたが、どんな罪であるのか、また逮捕に際し憲法上の問題があるとあったが、どんな点で、なにが問題なのか」など、より up to date な話題を提供したい。また毎回理解確認のための小テストを行う。

講義は、おおよそ以下のスケジュールで、各項目に2～3時間を割り振ることで進めていく。憲法については、特別にテーマを定めることをせず、関連するテーマが出てきたときに、随時、該当条文に当たり、年間を通して多くの条文に触れられるよう配慮する。

(1) 法学

1. 法学を学ぶにあたって
2. 法とは何か
3. 法の体系と分類
4. 法の目的
5. 法と裁判
6. 裁判の基準（法源）
7. 法の解釈
8. 法と道徳をめぐる問題

(2) 社会生活と法（以下の項目より受講生の関心の高いものをいくつかやりたいと思う。適宜報道などと関連させたい。したがってやらない項目もある。）

9. 犯罪と刑罰
10. 財産生活と法（人・物・契約など）
11. 家族生活と法（婚姻・親子・相続など）
12. アクシデントと法（交通事故・医療事故・欠陥商品など）
13. 企業と法（就職と労働契約・会社・手形小切手など）

履修上の留意点 楽しい授業・わかる授業・全員参加型の授業を行う必要からも私語はいっさい認めない。また出席は重視する（全回出席をとります）。原則的に、欠席・早退を認めない。理由があるときは、その旨届けてくれれば出席扱いとすることがある。授業開始時間は若干余裕を持たせるので遅刻しないように。また教科書・特に六法は毎回準備すること。できるだけ授業内容は板書したいと思うが、その単なる写し作業で終わらないでほしい。つまり、授業の中で十分考察し、理解することを要求する。したがって単に教場にいるだけでは出席とは認めない。真剣に授業を受けようという意識のある者だけに履修してほしい。板書を記録しやすいようになるべく前から着席すること。万一遅刻したときは、最前列に着席すること。

成績評価の方法 出席を重視し、きちんと出席したものに、期末試験の受験資格を与える。理由なく欠席した者は、受験資格を失う。その試験の得点に、小テストなどの平常点を加味して評価する。

教科書 ○小林弘人・松村格編著『法学・憲法（新版）』（八千代出版）
○六法（例として、『ポケット六法（平成21年版）』（有斐閣）や『デイリー六法』（三省堂）など）
※すでに持っている六法があれば、それで構わない。

参考書等 ●茂野隆晴編『プライマリー法学～日本法のシステム～』（声書房）
●大久保治男監修『トピックスくらしの法』（声書房）

その他 その他授業の中で、随時紹介する。
最初の講義日（2週目になることがある）に受講票を提出してもらおう。特別の事情のない限り、最初の講義の回から出席のこと。

履修コード	217701
科目名	法学・憲法〔法と社会生活〕
担当者名	沼田 ^{ぬまた} 雅之 ^{まさゆき}

講義のねらい 法学は難しいものです。なぜなら、社会の複雑な問題に対して「法」という強制力をもって解決を図ろうとすれば、論理的で慎重な判断が求められるからです。よって、法学を学ぶためには、論理を駆使できるだけの自分自身のブラッシュアップが必要となります。しかし、そのブラッシュアップをはかる過程で、教養を高めることができ、論理的思考力を高めることができます。そして、一定の納得できる結論に達したとき、法学としての学問的快楽があるはずで、少なくとも、私はそう確信しています。ですから、この講義では問題を理解するための知識（教養）、価値判断の方法や限界、そして自分なりに「答え」を出す「面白さ」を味わっていただくことに重点をおきます。

例えば、「民法」という法律の第3条1項に次のような条文があります。

「私権の享有は、出生に始まる。」

この一文は日本語ですから、読むこと自体は可能だと思います。しかし、読みこなすことはできないでしょう。ところが、この短いセンテンスの中には、深遠な世界が広がっています。この一文だけで、人類の歴史から最近話題のクローン技術の問題まで語ることができるからです。しかし、みなさんはそれを語るできません。一つ一つのタームを理解することはできても、「法」というものを体系的に理解していないために、その世界を語ることはできないのです。

この講義は、その法の「体系的理解」の扉を少しだけ開けてみようというのが目的です。

講義の内容・授業スケジュール 法学に関する下記の各テーマに沿って、判例（判決）を中心に講義形式で解説をおこないます。
ガイダンス（1）、法学の基礎（2～3）、三菱樹脂事件（4～5）、日産自動車事件（6）、マクリーン事件（7）、北方ジャーナル事件（8～9）、宇奈月温泉事件（10）、契約の自由と規制（11～12）、駿々堂製パン事件（13）、消費者の保護（14～15）、不法行為（16～17）、会社法を取り巻く問題（18）、朝日訴訟（19～20）、高知放送事件（21）、萬世工業事件（22～23）、電気窃盗事件（24）、徳島県公安条例事件（25）、映画「12人の怒れる男」の上映（26）、東海大学安楽死事件（27）、代理母出産児出生届受理申立事件（28）、予備日（29～30）

履修上の留意点 ・スケジュールは執筆時点で上記のようなものを考えていますが、適宜変更がありうるので注意してください。

成績評価の方法 ・テキスト、成績評価方法を含めて、初回の講義で詳しく説明いたします。
・試験成績（70%）＋平常点（30%）＝100点。
・90点以上・・・S、80点以上・・・A、70点～80点未満・・・B、60点～70点未満・・・C、60点未満・・・D。
・試験成績は、執筆時点で後期試験のみを考えています。
・平常点は、出席点（50%）と課題点（50%）で構成されます。よって、出席をとります（毎回ではありません）。出席をとる際は開始後30分後におこないます。それ以降の出席票の交付はいたしません。交通機関の乱れによる遅刻の場合は、必ず遅延証明書を持参してください。

教科書 教科書は指定いたしません。担当教員が作成したプリント教材を用います。開講当初は印刷したプリントを配布いたしますが、その後はホームページから各自でダウンロードしてもらいます（データはPDF形式で配布予定です）。

参考書等 詳細は、第1回講義時に説明いたしますので、不明な点はその際に質問してください。
・森泉 章編著『法学（第4版）』（2006年有斐閣）2,500円（ISBN 4-641-18332-5）
・西村健一郎・西井正弘・初宿正典ほか著『判例法学（第4版）』（2005年有斐閣）2,200円（ISBN 4-641-18316-3）
・伊藤真『法律学への誘い（第2版）』（2006年有斐閣）2,500円（ISBN 4-641-12510-4）

その他 また、講義に連動して、ホームページを運用します。プリントのダウンロードサービスなどを実施する予定です。URL等は、第1回目の講義時にお知らせします。

第1回講義時に、大学配布のものとは異なるシラバスを配布します（取り上げるテーマなどが、ここで記載されたものと異なる場合があります）。それを熟読の上、履修を決定してください。

履修コード	217801
科目名	法学・憲法〔法と社会生活〕
担当者名	鷗徳 啓登

講義のねらい よく「社会あるところ法あり」といわれる。その社会にある法とは何かを研究するのが法学であり、根本的理念、法の目的などを研究する。また、憲法は国家の基本法として他の法令の根幹をなすものであり非常に重要な法である。そして、憲法制定後60年経過した現代に至って国内的、国内的に、社会情勢の変化に伴う新しい問題が生じてきている。本講義は、これら諸問題を法的に把握し、結論を出し得るようになることをねらいとする。

講義の内容・授業スケジュール 法学の講義は次の内容を中心として行う。
 (1) 社会生活と法 (2) 法の意義・効力 (3) 法規範と他の社会規範との差異
 (4) 法の分類と解釈の方法 (5) 市民法の概論 (6) 刑事法の概論
 (7) 法と裁判
 憲法の講義は、次の内容を中心として行う。
 (1) 憲法の意義 (2) 憲法の種類 (3) 明治憲法の原則と特質
 (4) 現憲法の原則 基本的人権の主体 (5) 基本的人権の分類
 (6) 各種基本的人権の内容
 (7) 国会の仕組みとその作用 行政機関の仕組みとその作用
 (8) 裁判所の仕組みとその作用 (9) 地方自治

成績評価の方法 出席状況と試験による。
 教科書 小林弘人・松村格編著『法学・憲法』(八千代出版) 3,500円
 参考書等 『小六法』または『ポケット型小六法』(出版社・定価各種) 及び参考書は教場にて説明致します。

履修コード	218101・218201
科目名	法学・憲法〔法と国家〕
担当者名	新田 浩司

講義のねらい 法は社会のルールであり、憲法は政府と我々国民の関係という国家生活の基本的ルールを決めたものといえる。我々の生活にとって法や憲法を無視することは不可能である。法や憲法を良く知ることは、我々日本国民がより幸福に生きるために不可欠な作業である。
 この講義では、法学及び国家の根本法である憲法について、現実に発生する様々な問題にも言及しながら理解を深め、我々が国民として住民として生活する上で必要な法的思考(リーガル・マインド)を養うことを目的としている。

講義の内容・授業スケジュール

第1回目	ガイダンス	第14回目	国家の安全保障
第2回目	法学の基礎知識①	第15回目	精神的自由権①
第3回目	法学の基礎知識②	第16回目	精神的自由権②
第4回目	法学の基礎知識③	第17回目	経済的自由権
第5回目	法学の基礎知識④	第18回目	社会権
第6回目	法学の基礎知識⑤	第19回目	参政権
第7回目	法学の基礎知識⑥	第20回目	国務請求権
第8回目	憲法の基礎知識①	第21回目	統治機構①
第9回目	憲法の基礎知識②	第22回目	統治機構②
第10回目	日本国憲法の制定過程	第23回目	統治機構③
第11回目	日本国憲法の基本原理①	第24回目	統治機構④
第12回目	日本国憲法の基本原理②	第25回目	まとめ
第13回目	象徴天皇		

履修上の留意点 社会で起こる様々な問題は、憲法をはじめとする法律問題も多く、この講義を履修して法的思考を養い、それらの問題を考える知識を身につけてもらいたい。

成績評価の方法 夏期レポート及び学年末試験の成績により評価する。
 なお、適宜、小テスト及び授業の出席確認を予定している。

教科書 開講時に指示する。
 参考書等 小六法(何でも可)があれば持参することが望ましい。

履修コード	218401
科目名	法学・憲法〔法と国家〕
担当者名	織田 晃子

講義のねらい 法とは何かに始まり、日本国憲法と人権について講義する。
 講義の内容・授業スケジュール (1) 法とは何か・法の目的(2~10)立法と司法・法の適用と解釈(11~20)日本国憲法と人権(21~30)法と社会生活・契約と損害賠償、不法行為と損害賠償、安全配慮義務等々
 履修上の留意点 六法は必ず持参すること
 成績評価の方法 期末試験の成績による
 教科書 『判例法学』4版(有斐閣ブックス)、ポケット六法(有斐閣)
 その他 プリント配布

履修コード	217901
科目名	法学・憲法〔法と権利〕
担当者名	沼田 雅之

講義のねらい 法学は難しいものです。なぜなら、社会の複雑な問題に対して「法」という強制力をもって解決を図ろうとすれば、論理的で慎重な判断が求められるからです。よって、法学を学ぶためには、論理を駆使できるだけの自分自身のブラッシュアップが必要となります。しかし、そのブラッシュアップをはかる過程で、教養を高めることができ、論理的思考力を高めることができます。そして、一定の納得できる結論に達したとき、法学としての学問的快楽があるはずで、少なくとも、私はそう確信しています。ですから、この講義では問題を理解するための知識(教養)、価値判断の方法や限界、そして自分なりに「答え」を出す「面白さ」を味わっていただくことに重点をおきます。
 例えば、「民法」という法律の第3条1項に次のような条文があります。

「私権の享有は、出生に始まる。」

この一文は日本語ですから、読むこと自体は可能だと思います。しかし、読みこなすことではできないでしょう。ところが、この短いセンテンスの中には、深遠な世界が広がっています。この一文だけで、人類の歴史から最近話題のクローン技術の問題まで語ることができるからです。しかし、みなさんはそれを語るできません。一つ一つのタームを理解することはできても、「法」というものを体系的に理解していないために、その世界を語ることはできないのです。

この講義は、その法の「体系的理解」の扉を少しだけ開けてみようというのが目的です。

基本的に教科書に沿って解説します。また、適宜教科書以外の題材を取り上げます。

講義の内容・授業スケジュール

ガイダンス(1)、「紛争解決と法」(2~4)、「基本的人権と法」(5~8)、「家族関係と法」(9~11)、「財産関係と法」(12~15)、「労働関係と法」(16~17)、「犯罪と法」(18~22)、「国家と法」(23~24)、「国際関係と法」(25~27)、「現代社会の課題と法」(28~30)

履修上の留意点

・スケジュールは執筆時点で上記のようなものを考えていますが、適宜変更がありうるので注意してください。

成績評価の方法

・テキスト、成績評価方法を含めて、初回の講義で詳しく説明いたします。
 ・試験成績(70%) + 平常点(30%) = 100点。
 ・90点以上...S、80点以上...A、70点~80点未満...B、60点~70点未満...C、60点未満...D。
 ・試験成績は、執筆時点で後期試験のみを考えています。
 ・平常点は、出席点(50%)と課題点(50%)で構成されます。よって、出席をとります(毎回ではありません)。出席をとる際は開始後30分後におこないます。それ以降の出席票の交付はいたしません。交通機関の乱れによる遅刻の場合は、必ず遅延証明書を持参してください。

教科書

西村健一郎・西井正弘・初宿正典ほか著『判例法学(第4版)』(2005年有斐閣)2,200円(ISBN 4-641-18316-3)。

その他適宜プリントを配布する場合があります。その場合、開講当初は印刷したプリントを配布いたしますが、その後はホームページから各自でダウンロードしてもらいます(データはPDF形式で配布予定です)。

参考書等

詳細は、第1回講義時に説明いたしますので、不明な点はその際に質問してください。

・森泉 章編著『法学(第4版)』(2006年有斐閣)2,500円(ISBN 4-641-18332-5)

・伊藤眞『法律学への誘い(第2版)』(2006年有斐閣)2,500円(ISBN 4-641-12510-4)

その他

また、講義に連動して、ホームページを運用します。プリントのダウンロードサービスなどを実施する予定です。URL等は、第1回目の講義時にお知らせします。

第1回講義時に大学配布のものとは異なるシラバスを配布します(取り上げるテーマなどがここで記載されたものと異なる場合があります)。それを熟読の上、履修を決定してください。

履修コード	218501
科目名	法学・憲法〔法と権利〕
担当者名	茂野 隆晴 <small>しげの たかはる</small>

講義のねらい 法を学ぶに当たって、最も肝要なことは、「法」というものがいかようなものであり、また、いかなる特徴をもつものであるか、その本質をつかむことにある。

諸君は、いずれ社会の第一線に立って活躍する人達であるから、自分の立場をよく認識して、「在るべき法」の実現のためにも留意し進んでほしい。自己の使命を自覚され、年間の「法学」の内容の理解に取組んでほしい。

講義の内容・授業スケジュール

1. 法を学ぶに当たって
2. 法と社会生活
3. 法と他の社会規範
4. 法の種類
5. 6. 7. 法の生成I・II・III
8. 法の目的
9. 法の効力
10. 法と裁判
11. 法の解釈
12. 国家
13. 14. 憲法とその原理I・II
15. 16. 17. 基本的人権の保障I・II・III
18. 統治機構I(権力分立制)
19. 20. 21. 統治機構II・III・IV(国会)
22. 23. 統治機構V・VI(内閣)
24. 25. 統治機構VII・VIII(裁判所)
26. 各論I(民法・商法)
27. 各論II(刑法・社会法)
28. 各論III(行政法)
29. まとめ

**成績評価の方法
教科書
参考書等**

学期末試験に加えて平常点としての出席状況を勘案して総合的に評価します。
茂野隆晴編著『プライマリー法学—日本法のシステム—』2008年刊(芦書房)2300円+税
茂野隆晴・新田浩司・和知恵一ほか代表編集『法学資料集』2008年刊(八千代出版)2000円(予定)

履修コード	218601
科目名	法学・憲法〔法と権利〕(夏季集中)
担当者名	池田 実 <small>いけだみのる</small>

講義のねらい 家庭生活、社会生活、政治参加、経済活動など、私たちの日常が「法」とどのようにかわり、規制されているかを考察し、それが最終的に日本国憲法に定めるとどのような原理・精神に結びついているかを明らかにします。

講義の内容・授業スケジュール

- (1) 授業案内・導入 (2) 法とは何か(その1) (3) 法とは何か(その2) (4) 法とは何か(その3) (5) 法とは何か(その4) (6) 憲法の基本概念 (7) 日本国憲法の沿革 (8) 国会(その1) (9) 国会(その2) (10) 選挙・政党 (11) 内閣(その1) (12) 内閣(その2) (13) 天皇 (14) 地方自治 (15) 財政 (16) 戦争の放棄(その1) (17) 戦争の放棄(その2) (18) 人権総論(その1) (19) 人権総論(その2) (20) 精神的自由権(その1) (21) 精神的自由権(その2) (22) 経済的自由権 (23) 身体的自由権 (24) 受益権 (25) 社会権(その1) (26) 社会権(その2) (27) 包括的人権 (28) 裁判所(その1) (29) 裁判所(その2) (30) 憲法改正

**成績評価の方法
教科書**

出席状況その他の平常点による評価を行います。
野畑健太郎・池田実編著『テキストブック日本国憲法(第2版)』(嵯峨野書院)2,700円+税
ISBN978-4-7823-0424-2

**参考書等
その他**

*教科書は年度のはじめに必ず入手しておくこと。
授業時に適宜指示します。
授業日程：7月31日(金)・8月3日(月)～8月7日(金)
(土・日曜日除く)の1～5時限。

履修コード	218701
科目名	政治学〔社会生活とデモクラシー〕
担当者名	白鳥 浩 <small>しろとり ひろし</small>

講義のねらい 「政治」とは何でしょうか。この講義においては、「政治」とは、「未来の選択である」とする視座に立ち、政治学の全体像を学んでもらいます。これは、しばしば「可能性のアート」とあるといわれるゆえんでもあります。そうした「未来の選択」、「可能性のアート」を扱う学問である「政治学」とは何か、どのように発展してきたのかを、皆さんと一緒に考えていきたいと思います。

講義の内容・授業スケジュール

- 以下の内容を初めてのひとにもわかるように講義します。
- I、序論 政治学の基礎概念（1～4）
 - II、古代の政治理論（5～8）
 - III、中世の政治理論（9～11）
 - IV、近代政治理論の形成（12～15）
 - V、近代批判の政治理論（16～18）
 - VI、現代の政治理論（19～22）
 - VII、国際政治の理論（23）
 - VIII、現代の政治過程理論（24～26）
 - IX、ワールド・ポリティカル・サイエンスの形成（27）
 - X、現代日本の政治分析（28～30）

**履修上の留意点
成績評価の方法
教科書
参考書等**

関心を持って、講義に出席してください。
試験を中心とするが、総合的に判断する。
白鳥『都市対地方の政治学：日本政治の構造変動』（芦書房）2004年
眞柄・井戸『比較政治学』（放送大学教育振興会）2004年
藤原『西洋政治理論史』（早瀬田大学出版部）1985年
授業内で適宜、指示します。

履修コード	218801
科目名	政治学〔政治システムと政治参加〕
担当者名	富崎 隆 <small>とみさき たかし</small>

講義のねらい 「2001年9月11日、世界が変わった」と表現されることがあります。そして、米同時多発テロの境に、「ポスト冷戦」が終了し、「新しい時代」に入ったと議論されています。しかし、世界政治の方向性がはっきりとした訳ではありません。一方、世界の急速なグローバル化と情報化を背景に、膨大な情報が、テレビ、ラジオ、新聞、コンピュータ・ネットワークを通じ流通するようになってきました。しかし、これらの情報を単に漫然と受け取っているだけでは、毎日起る事件の本当の意味は理解できません。事件や出来事を整理する「体系的視点」がどうしても必要となります。政治学を学ぶ基本的な意義もここにあります。

講義の内容・授業スケジュール

本講義では、政治学が蓄積してきた視点を、最新の成果を含めた形で、かなり網羅的に、かつ現実政治との連関を失わないように検討し、受講生が日々の政治的事件に対し自分の見解をもつための土台を提供したいと思います。講義全体としては、現代における「国家」と「民主主義」の意義と役割、その動態について明らかにし、考えてもらうことを中心テーマとします。さらに、今日の対テロ問題とグローバル化・情報化の意味についても検討します。

- （1～2）講義のねらいと政治を学ぶ意義
- （3～15）マクロ政治学—国家と自由民主主義体制の枠組み；政治・権力・国家の意味、望ましい国家のあり方（国家の仕事の範囲・国家の運営方法）、自由民主主義体制の意味、国家の展開・民主化と体制変動、自由民主主義体制の比較枠組み
- （16～24）ミクロ政治学—自由民主主義体制の作動メカニズム；政権形態、政党と政党制、有権者の投票行動と選挙、官僚制と議会、利益集団とマスメディア、日本の民主政治
- （25～30）国際政治学；国際政治の意味、国際政治の主要理論潮流、日本の外交政策、冷戦後の世界政治をみる視点

**成績評価の方法
教科書
参考書等**

テスト及びレポート・出席など総合的に評価
堀江湛編『政治学・行政学の基礎知識編』一藝社 2625円 ISBN-10：4901253913
講義時、適時指示

履修コード	218901
科目名	政治学〔国際社会と日本〕
担当者名	山崎 望 <small>のぞむ</small>

講義のねらい 本講義の副題は「国際社会と日本」です。国内政治と国際政治の相違、そしてグローバル化に伴う世界秩序の再編について、基礎的な理論や考えを学ぶことが本講義の狙い입니다。

講義の内容・授業スケジュール 前期は近代の国際政治の仕組みの形成と、国内政治について論じます。具体的には(1・2)近代社会の形成と変容(3・4)政治、権力(5～8)ウェストファリア秩序、世界大戦1・2、植民地主義(9～11)政治体制論、民主主義論、政党論、(12～15)政治と経済、福祉国家論、格差社会論、グローバル経済論、世界金融恐慌について扱います。後期はグローバル化時代の民族・宗教問題、世界秩序の再編を中心に扱います。具体的には(16～20)フェミニズム、ナショナリズム、移民、多文化主義、ネオ・ナショナリズム(21～24)「9・11」対米同時多発テロ、アメリカの変容、「イスラーム原理主義」、グローバル・テロリズム、(25～30)フェミニズム、市民社会論、新しい民主主義論1～3を扱います。

履修上の留意点 新聞や本を読み、インターネットなどで情報を集め、問題意識をもって出席してください。

成績評価の方法 年度末の試験。

教科書 加茂利男・大西仁・石田徹・伊藤恭彦1998『現代政治学』有斐閣アルマ ISBN 4-641-12168

参考書等その他 講義中に適宜指摘します。
講義形式。講義時に簡易なレジュメを配布する予定です。
講義の後半10分にカードを配るので、質問や感想を書いてください。
翌週の講義の冒頭に簡易な応答を行います。

履修コード	219401
科目名	社会科学論〔社会認識の思想〕
担当者名	大石 雄爾 <small>おおいし ゆうじ</small>

講義のねらい 私たちをとりまく社会はめまぐるしく変化しています。アメリカに端を発した経済危機のなかで、経済格差と貧困の問題は深刻化しています。世界中の国々が協力して地球環境破壊を防止しようとしているとき、他方、中東などの地域では戦鬨の火だねが拡大しています。こうした問題を私たちはどのように捉えればよいのでしょうか。

人々は、人種や信条のちがいを問わず、より豊かに、より自由に、より安全に生活できることを願っています。社会科学は、社会の仕組みと法則性を明らかにすることを通して、こうした人類の願いに応える道を探ることを課題としています。この講義では、資本主義の経済とそこにおける法や国家の仕組みに焦点を当て、社会的諸関係を把握する方法について講義します。特に、社会科学の発展にとって重要な意味をもった社会学者・思想家の社会観および理論をとり上げ、現代的な意味について考えます。

1 社会科学を始めるにあたって
2～3 思考する楽しみ
4～5 社会科学とは何か
6～12 社会の歴史的発展と社会思想
13～14 社会科学の生誕：ホブズとロック
15～17 資本主義経済の把握：スミスとリスト
18～20 資本主義の経済と国家：マルクスとウェーバー
21～24 現代資本主義の捉え方：レーニン・ケインズ・ガルブレイス
25 現代社会の思想的諸潮流

履修上の留意点 なお、現代社会の時事的諸問題については、折に触れてとり上げ解説するつもりです。
【履修制限について】受講希望者が多い場合は履修制限をすることがあります。選抜方法については教務部掲示板でお知らせします。1年間講義に出席し理解しようと努めることによって、皆さんの思考力、書写能力は高まります。

成績評価の方法 授業中に小レポートを作成していただくことがあります。成績は、小レポートと後期に行われる定期試験で評価します。

教科書 特に指定しない。

参考書等 高嶋善哉『社会科学入門』(岩波新書)
平野喜一郎『社会科学の生誕』(大月書店)
大石雄爾『ヘーゲル論理学の真相』(白桃書房)

履修コード	219501
科目名	教育学〔デス・エデュケーション〕
担当者名	柳堀 素雅子 <small>やなぎほり すがこ</small>

講義のねらい	バイオエシックスの諸問題を哲学的、心理学的、宗教的視点から分析していく。1960年代にアメリカで始まったバイオエシックスは、「患者の権利」を主張して出発したわけであるが、時を経るにつれてバイオエシックスという学問の全体構造を疑問視する見解も出てきた。それは何が原因なのかを、さまざまな視点から検証していくことが、この講義のねらいである。バイオエシックスは欧米では学問の一分野として認められているが、日本ではその存在すら知られていない場合も多い。単に知識の吸収だけでなく、バイオエシックスの成立の意味を考えながら授業に取り組んでいきたい。
講義の内容・授業スケジュール	1～4回 バイオエシックスの意味とその展開を説明する 5～10回 現代の先端医療の個別的な問題 11～15回 討論 16～17回 バイオエシックスの将来と日本における取り組み 18～21回 討論 22～25回 討論によって浮き彫りになった問題を徹底的に分析していく 26～30回 まとめ結論
履修上の留意点	後半は討論中心の授業になっていくと思うので、自分の見解をまとめて他者に理解してもらえる能力を身につけておくこと。そのために講義の内容をじっくりと理解しておくための準備が必要である。
成績評価の方法	欠席は6回まで認める。それ以上欠席した場合は不可になる。授業中にレポート課題を与えるので、必ず提出すること。提出したレポートの内容には必ず点数をつけるので、合格点に達するように努力すること。
教科書 参考書等	使用しない。 星野一正『医療の倫理』(岩波書店) 780円+税 ISBN4-00-430201-3 木村利人『自分のいのちは自分で決める』(集英社) 1500円+税 ISBN4-08-781195-6

履修コード	219601
科目名	教育心理〔大学生の心理〕
担当者名	石橋 達也 <small>いしばし たつや</small>

講義のねらい	本授業では今日の社会的状況における、大学生を主な対象とした青年期の心の在り方の特徴や問題点および課題について、教育心理学や教育臨床の立場を中心に探っていきます。前期の授業では、主に生涯発達の見点から青年期の位置づけやその発達課題などについて学び、現代社会における青年期の延長やアイデンティティ確立の問題などを概観します。続いて後期の授業では、青年期の様々な心の問題点について具体的に取り上げ、今日の社会における青年期の問題の特徴および社会的な背景要因などについて検討していきます。
講義の内容・授業スケジュール	主として、以下に示すテーマに沿って進めていく予定です。 ・生涯発達における青年期とその発達課題 ・アイデンティティの確立、アイデンティティの地位 ・現代社会と青年期の延長 ・青年期の家族や友人関係の問題 ・青年期のジェンダーや恋愛に関わる問題 ・大学生の学業と就職に関わる問題 ・青年期の文化や社会に関わる問題など
履修上の留意点	履修学生には、授業に毎回まじめに出席して意欲的に取り組むことを期待します。
成績評価の方法	成績の評価は前期末と後期末試験の得点を中心に、毎回の授業への出席状況や受講態度などの平常点を加味して行ないます。
教科書 参考書等 その他	中里至正・松井洋・中村真「自己理解のための青年心理学」(八千代出版) 2,100円。 授業中に必要に応じて、参考文献・関連資料・ビデオ映像などを紹介していきます。 受講学生には、「学ぶ意欲」をしっかりと持ち積極的に取り組むことを期待します。

履修コード	220201・220301
科目名	生物学〔生態と進化〕
担当者名	清水 善和 <small>しみず よしかず</small>

講義のねらい 地球上には170万種以上の生物種が存在する（生物多様性）。それらはすべて、約40億年前に誕生した始原生物に端を発し、その後連続した進化の産物である（進化）。また、あらゆる生命活動は遺伝子とその産物によって実現される（遺伝子）。本講義では「生物多様性」、「進化」、「遺伝子」の3つをキーワードに、生物の進化や生態を体系的に捉えるとともに、それらを理解するための様々な仕組みや理論について解説する。

講義の内容・授業スケジュール 1章：遺伝子と進化(1-3回)、2章：40億年の生物進化（4-6回）、3章：系統と分類（7,8回）、4章：行動と進化（9,10回）、5章：動物の人口論（11,12回）、6章：共生と競争（13,14回）、7章：人類の進化（15-17回）、8章：進化論（18,19回）、9章：生態系（20,21回）、10章：物質の循環（22-24回）、11章：植生遷移（25,26回）、12章：生物多様性（27,28回）、13章：人為と生物（29,30回）

成績評価の方法 前期のレポート、後期の試験、通年の出席回数を勘案して評価する。

教科書 講義内容を文章化した「web 版テキスト」（清水執筆）を紹介する。受講者は指定のHPより自由にダウンロードして予習・復習に利用できる。

参考書等その他 上記「web 版テキスト」で章ごとに参考書を紹介する。講義に必要な図表等は章ごとに1枚のプリントにして教場で配布する。

履修コード	220401
科目名	生物学〔生物と環境〕
担当者名	中村 敏枝 <small>なかむら としえ</small>

講義のねらい 地球上の生き物はすべて40億年の歴史を背負っている。その中でヒトだけが自然のおきてに逆らい、自分の歴史をつくろうとした。しかし、「ヒトも生物である」という現実から逃れることはできない。「生物とは何か」を考え、「自然との共生」について考えてみよう。

講義の内容・授業スケジュール

（前期）生物の生活

- (1) 地球の歴史と生命の起源
 - ・最初の生命・地球の歴史・極限環境生物
- (2) 生命誕生
 - ・いまここにいる奇跡・受精と発生
- (3) 生命の維持
 - ・なぜ食べるか・消化と吸収・排泄物のゆくえ・植物の光合成
- (4) 生態系の物質循環とエネルギーの流れ
 - ・陸と海をめぐるいのちの輪

（後期）化学物質の功罪

- (1) ゴミ処理とダイオキシン汚染
 - ・ゴミ焼却とダイオキシン・ゴミの減量 Reduce Reuse Recycle
 - ・ゼロエミッションという考え方
- (2) 人工化学物質の功罪
 - ・内分泌かく乱化学物質 - 環境ホルモン
- (3) 人工放射性核種
 - ・原発は温暖化を防ぐ救世主か・JCO 臨界事故
- (4) まとめ 自然とともに生きる

履修上の留意点 義務教育までの数学、理科をはじめ各教科の知識を、本講義の前提とする。意見発表の機会をつくりたいので積極的に取り組む学生の参加を期待します。

成績評価の方法 学期終了時に講義内容についての試験またはレポートを課します。成績は上記と出席状況、授業時間内の小レポートなどを考慮して、総合的に評価します。

教科書 赤堀他著『生物学—地球に生きるいのちを考える』（宣協社）2,700円

参考書等その他 授業時間内に随時紹介します。授業スケジュールを変更して時事問題を扱うことがあるかもしれません。

履修コード	220501
科目名	地球科学〔地球の素顔と地球環境問題〕
担当者名	加藤 潔 <small>かとう きよし</small>

講義のねらい 最近、地球史にロマンを感じて博物館へ足を運ぶ人や化石や鉱物に興味を持つ人が増えています。自然災害や環境問題に関心を持つ人も増えています。家族を守るためにはある程度の知識が必要です。今後の生活をより豊かにかつ安全に過ごすために、地球科学を学ぶのも一法ではないでしょうか。

講義の内容・授業スケジュール

本講義の目標は、受講者が地球科学の基礎的な概念を再確認しつつ、新聞やTVによる災害などの報道に対して所見を持てるようにすることです。また、グローバルな視点から諸現象を捉えることができるように教養を養ってもらうことにあります。これまで地学を学ぶ機会があまり無かった受講者にも理解できるように心がけます。いつでも質問して下さい。

成績評価の方法

前半は、地球の誕生、内部構造、プレートテクトニクス、ブルームテクトニクス、火山、地震、自然災害、予知について触れます。後半は、地殻の物質、造山運動、アジア大陸や日本列島の形成環境、生命の歴史、環境問題（地球温暖化など）について触れます。

教科書
参考書等
その他

主に期末試験で評価されます。また、前・後期に3回ぐらいつづ、ビデオ鑑賞時の簡単な感想文や実習レポートを授業中に提出してもらいます（各5点程度）。

特に定めなし。適宜プリントを配布。
『ニューステージ地学図表 新訂』（浜島書店）
プロジェクター、ビデオ等を使用します。

履修コード	220601・220801
科目名	地球科学〔地球の変遷・生命の進化〕
担当者名	山縣 毅 <small>やまがた たけし</small>

講義のねらい 地球科学は、地球の成り立ちやメカニズム、あるいは環境変遷を、地球自体から様々な方法で読み取ったデータを基に理解しようとする学問分野です。特に近年は、地球温暖化などの地球規模の環境問題の原因を明らかにする上で、過去の地球の環境変化やその要因の理解が重要になってきました。本講義では、地球の歴史を誕生した46億年前から現在まで辿りながら、地球環境を決定してきた要因や、環境変化による生物への影響を考えていきます。

講義の内容・授業スケジュール

- 〔地球の現在の姿〕
1. 地球の大きさ・形（1、2回）
 2. 地球の内部構造とプレームテクトニクス（3～5回）
 3. 大陸移動とプレートテクトニクス（6～8回）
 4. 火山活動とそのメカニズム（9、10回）
 5. 地震とそのメカニズム（11、12回）
 6. 気圏・水圏の構造と地球規模の熱循環（13～15回）

- 〔地球環境の変遷〕
1. 地球環境の変動要因（16、17回）
 2. 地球の形成過程（18、19回）
 3. 環境変化と生物進化（20～24回）
 4. 生物の大量絶滅（25、26回）
 5. 人類の誕生と進化（27～29回）

- 〔未来の地球の姿〕
1. 未来の地球環境の変遷（30回）
- 講義は、板書と併せ、OHPやビデオを使って行っていきます。
成績は、定期試験とレポートにて評価します。

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書
参考書等
その他

特になし。
講義中に紹介します。
講義にて、資料プリントを配布します。

履修コード	220701
科目名	地球科学〔地球システムと人間圏〕
担当者名	澤口 隆 <small>さわぐち たかし</small>

講義のねらい 宇宙形成から137億年。地球の誕生から46億年。人類が地球上に生まれてから400万年…地球システムと人間圏の形成。果たして人間圏は地球上にあつて何年存在しうるのであろうか？46億年におよぶ地球システムの分化の歴史を学び、そのサブシステムとしての人間圏が安定に存在し続けるための条件とは何かを考えることが、本講義の目的である。

講義の内容・授業スケジュール まず、地球をシステムとしてとらえるために必要な空間と時間のスケールを学び、それぞれのサブシステム内の諸現象の理解を深めたあと、サブシステム間の物質やエネルギーの交換という観点から、地球温暖化や資源エネルギー問題など、現代人間社会にとっての重要課題について学習する。

1. イントロダクション、2. 空間と時間のスケール、3. NHKスペシャル地球大進化、4. 太陽系形成の標準モデル1、5. 太陽系形成の標準モデル2、6. 火星と地球、7. 宇宙開発の歴史、8. 地球と月の始まり、9. 地球の歴史と全球凍結、10. 地球上の生命の誕生、11. 元素の誕生、12. 地球システム、13. 地球温暖化、14. オゾン層の破壊、15. エルニーニョ、16. 火山、17. 地震、18. 地震予知、19. 南極大陸、20. 地球資源問題と環境破壊、21. 原子力発電、22. 放射性廃棄物の地層処分、23. 地熱発電、24. 複雑系、25. 総まとめ

履修上の留意点 毎回独立したトピックについての講義を行う。
それに関連した内容の課題レポートが半期に3-5回程度課される。

成績評価の方法 提出された課題レポートを評価し、その総合点と出席率で成績評価を行う。(代筆・代返などの不正行為が見つかった場合はその場で不合格とする。)

教科書 使用しない。適宜プリントを配布。
参考書等 『岩波講座・地球惑星科学』(全14巻)
その他 毎回出席を取ります。遅刻・途中退席は認めません。

履修コード	220901・221001
科目名	地球科学〔自然景観の成り立ち〕
担当者名	市川 清士 <small>いちかわ きよし</small>

講義のねらい 地球が誕生して46億年といわれています。この間、地球はたえず表情を変化させつづけてきました。では、私たちの生活している周辺の自然景観、たとえば山や川、平野や海洋などはいつどのようになつてきたのでしょうか？本講義では、この問いに答えるために地形、気候、水文などの地球表面の現象を対象として、その成り立ちについて探っていきます。

講義の内容・授業スケジュール (1) 地球科学とはどんな学問か？ (2~5) 地球の成り立ちと構造について (6~10) 大陸の成り立ちや造山運動【プレートテクトニクス】 (11~15) 地震および活断層について (16~19) 氷期と間氷期【気候変動】(20~24) 地球温暖化と我々の生活 (25~30) 南関東を中心とした「身近な自然景観」の成り立ちについて

履修上の留意点 日頃から新聞・雑誌・TVなどで地球環境について目を光らせていてください。また、高校で使用した地図帳を用意すること(できれば最新のものが望ましい)。

成績評価の方法 授業への積極性・レポート・学年末の試験を総合して評価を行います。
教科書 『地球学入門 ―惑星地球と大気・海洋のシステム―』(東海大学出版会) 2,940円
参考書等 参考書はその都度紹介します。
その他 一般的な講義を主とし、スライド・OHP・ビデオ・DVDによる説明を入れて皆さんが興味を持てるような講義を行おうと考えています。

履修コード	221101・221201
科目名	自然環境論〔生命と環境〕
担当者名	山縣 毅 <small>やまがた たけし</small>

講義のねらい 18世紀後半から始まった産業革命以降、産業文明の発展により、地球規模の環境変化が自然の復元能力を超えて急激に進んでいます。その変化は、人類の生存自体にも深刻な影響を及ぼすようになってきました。本講義では、地球科学的立場から、地球環境の諸問題を解説し、人間活動が地球環境に与える影響、自然と人間の関わりについて考えていくことを目標としています。

- 講義の内容・授業スケジュール
- 〔地球表層の環境〕
1. 大気構造とオゾン層 (1, 2回)
 2. 気候の決定要因 (3~7回)
 3. 生物生存条件としての地球磁場 (8回)
- 〔人間活動による環境変化〕
1. 公害問題の変遷 (9回)
 2. 地球温暖化とその要因 (10~16回)
 3. 大気汚染 (17回)
 4. 酸性雨 (18回)
 5. 光化学スモッグ (19回)
 6. オゾン層の破壊 (20回)
 7. 海洋汚染 (21, 22回)
 8. 廃棄物問題 (23, 24回)
 9. 資源とエネルギー (25~27回)
- 〔自然災害〕
1. 気候変動 (28回)
 2. 地震とその災害 (29回)
 3. 火山とその災害 (30回)

成績評価の方法 成績は、定期試験とレポートにて評価します。

教科書 特になし。

参考書等 講義中に紹介します。

その他 講義にて、資料プリントを配布します。

履修コード	221301・221401・221601
科目名	自然環境論〔生命と環境〕
担当者名	持丸 真里 <small>もちまる まり</small>

講義のねらい 生物を中心とした自然環境の仕組みを理解した上で、現代の人間活動が生態系へもたらしている諸問題について考えることを目的とする。講義では、基礎知識として、生物の基本構造と多様性、物質及びエネルギー代謝、生態系の成り立ちなどについて解説した上で、生化学・生態学的な視点を要求される現代の諸問題について各論的に取り上げていく。また、これらの事例を通して、生態系の保全や持続可能な人間社会のためにどのような姿勢が要求されるか考察する。

- 講義の内容・授業スケジュール
- (1) 生化学・生態学の導入 (2~3) 生態系の成り立ち (4) 生物とは何か (5~6) 生物の進化と地球環境 (7~10) 地球温暖化 (11~12) 生態系内の物質循環 (13~14) 生産者の働きと生態系 (15) 中間試験 (16~17) 森林破壊 (18) 生物多様性 (19~20) 生態系の浄化作用 (21~22) 化学物質による生態系汚染 (23~24) ダイオキシン問題 (25~26) 環境ホルモン (27~28) オゾン層破壊 (29~30) 近代農業の問題

履修上の留意点 上記のようなスケジュールを基本とするが、学生の理解度に合わせて進度を調整したり、途中でニューストピックスを取り上げるなど、柔軟に進めてゆく。

成績評価の方法 筆記試験(年二回)を基本に評価するが、出席状況も考慮する。

教科書 なし

参考書等 講義内で随時紹介する。

履修コード	221701
科目名	自然環境論〔生命と環境〕
担当者名	中村 敏枝 <small>なかむら としえ</small>

講義のねらい	私たちは今後ますます環境に配慮した行動をとることを要求されるだろう。そのためには、生態系におけるヒトの位置と、生物としての限界を正しく認識して、生活活動、経済活動、経済利益と効率などを長期的な視野で考えることが肝要である。これを本講義のねらいとする。
講義の内容・授業スケジュール	(前期)自然環境の改変 (1-6) 自然のしくみ (7-12) 自然の改変 (後期)人間の活動と地球環境―食をめぐる問題 (13-18) 農業―有機農業・灌漑・遺伝子組み替え作物 (19-22) 畜産業―肉食とは何か・BSE・クローン動物 (23-25) 漁業―海外依存度・環境ホルモン汚染
履修上の留意点	義務教育までの数学、理科をはじめ各教科の知識を、本講義の前提とする。意見発表の機会をつくりたいので積極的に取り組む学生の参加を期待します。
成績評価の方法	学期終了時に講義内容についての試験またはレポートを課します。成績は上記と出席状況、授業時間内の小レポートなどを考慮して、総合的に評価します。
教科書 参考書等	使用しません。 赤堀他著『生物学―地球に生きるいのちを考える』(宣協社) 2,700円 その他については授業時間内に随時紹介します。
その他	授業スケジュールを変更して時事問題を扱うことがあるかもしれません。

履修コード	221501
科目名	自然環境論〔地球・太陽系環境〕
担当者名	坂野井 和代 <small>さかのい かずよ</small>

講義のねらい	人間が普段活動している地球環境(陸地、大気、海洋)の基礎的な構造やしくみを学ぶと共に、現在話題になっている地球温暖化等の環境問題について知る。また、近年人類が活動するようになった地球近傍の宇宙環境(地球磁気圏、太陽系の惑星など)についても触れ、地球環境システムを総合的に理解する。
講義の内容・授業スケジュール	主に地球温暖化についての諸問題と地球・太陽系環境の基礎について触れる。 1. ガイダンス(1回) 2. 地球温暖化について 基礎編(5回) 3. 地球環境システムの構造と原理(個体地球、大気・海洋、地球磁気圏)(9回) 4. 前期の確認・復習(1回) 5. 地球と太陽系惑星との比較(太陽、太陽系)(4回) 6. 地球大気の観測・オーロラについて(2回) 7. 地球温暖化について 応用編(5回) 8. トピックス(3回)
履修上の留意点	なるべく1つ、1つ説明しますが、中学・高校の基礎的な数学・理科を理解する程度の知識や能力は必要です。講義の進度や話題は、受講人数やその時期の状況に応じて適宜調節します。人数によっては発表形式の講義も検討します。発表形式の場合、詳細は講義で説明します。内容は決して簡単ではありませんので、興味およびやる気のある学生を求めます。
成績評価の方法	評価は授業時間中に出題するテストまたはレポート(口頭発表の場合も有り)によって行う。
教科書 参考書等	使用しない。適宜資料を配付する。 ・ 赤祖父俊一、「正しく知る地球温暖化―誤った地球温暖化論に惑わされないために」、誠文堂新光社、¥1470、ISBN 978-4416208182 ・ 丸山茂徳、「地球温暖化論に騙されるな!」、講談社、¥1470、ISBN 978-4062147217 ・ 住明正、「さらに進む地球温暖化」、ウェッジ、¥1470、ISBN 978-4863100015 ・ 江守正多、「地球温暖化の予測は正しいか?」、化学同人、¥1700、ISBN 978-4759813203
その他	特に地球温暖化について考える講義をしています。 講義情報を、独自に下記のウェブサイトで公開しています。 http://www.komazawa-u.ac.jp/~ksakanoi/lecture.html

履修コード	221801・221901・222001
科目名	自然環境論〔生物の集団と環境〕
担当者名	坂巻 義章

講義のねらい	地球環境の変化は現代の重要な問題の1つである。これは、個人の専門や興味に関係なく我々に降りかかってくる。この状況の中で人間を含めた自然、それを取り巻く環境について正しい理解をもつことは必要不可欠である。この講義では生物の生活と環境の関係を理解する事を基本とし、生態系の成り立ちやその中で起こる調節、人間による攪乱などについて取り上げる。これらの知識を基礎にこれからの環境変化についてどう対処するかを考えたい。
講義の内容・授業スケジュール	前期 (1) ガイダンス (2) 地球 (3) 気圏と水圏 (4) 環境とは何か (5) 生物とは何か (6) 生物界の構造 (7) 地球生物の歴史と環境① (8) 地球生物の歴史と環境② (9) 地球生物の歴史と環境③ (10) 生物の進化 (11) 進化説 (12) 環境への適応① (13) 環境への適応② (14) 生物の分布 (15) 前期のまとめと試験 後期 (16) 食物連鎖 (17) エネルギー流 (18) 生態ピラミッド (19) 個体群 (20) 出生と死亡 (21) 競争と住み分け (22) 捕食 (23) 共生と寄生 (24) 土壌と分解者 (25) 物質循環 (26) 里山の生態系 (27) 人口問題と環境問題① (28) 環境問題② (29) 環境問題③ (30) まとめと試験 スケジュールは基本である。開始後に理解度によって進度を調整したり、新たな内容についても触れるなどの変更はありうる。大学生として授業に参加する基本的なマナーは守って欲しい。
履修上の留意点	出席点と筆記試験(前、後期の最終回を予定)で行う。途中で課題を出すこともあるので、その場合はこれも加える。
成績評価の方法	指定しない。
教科書	指定しない。必要な場合にプリントを配布する。
参考書等	講義形式の授業とする。
その他	

履修コード	222201・222301
科目名	自然誌〔現代の自然像〕
担当者名	清水 善和・篠原 正雄・持丸 真里・山縣 毅

講義のねらい	本講義では自然科学部門の4人の教員(天文学、地質学、生物学、化学)がそれぞれの専門分野の知識を持ち寄って、宇宙の始まりから地球の形成、生命の起源、進化を経て人類の時代に至るまでの自然の歴史をたどり、私達にとっての自然環境がどのようにして今日の姿をとるようになったかを学ぶ。また、現在私たちが直面している地球環境問題等についても紹介する。以上の講義を通じて総合的、統一的、現代的な自然像を養う。
講義の内容・授業スケジュール	オリエンテーション(1回)；第1講 宇宙の進化と地球の起源(篠原正雄)(1)宇宙の構造と起源(2-3回)、(2)宇宙の進化と物質の進化(4-6回)、(3)太陽系の起源と進化(7-8回)；第2講 地球の進化(山縣毅)(1)大陸と海洋の形成(9-10回)、(2)大陸の漂流(11-12回)、(3)変動する地球(13-14回)、(4)地球と生命の共進化(15-16回)；第3講 生命の起源と進化(清水善和)(1)生命の起源(17-18回)、(2)生物の進化と進化論(19-20回)、(3)人類の進化(21-22回)、(4)生物多様性(23回)；第4講 産業の発達と環境の変化(持丸真里)(1)人口増加とエネルギー消費の歴史(24回)、(2)エネルギー消費と「豊かさ」(25回)、(3)化石燃料の化学(26-27回)、(4)大気環境の変化(古典的大気汚染からグローバルな環境問題へ)(28-29回)、(5)未来のエネルギー(30回)
履修上の留意点	本科目は1年間の講義を通して統一的・総合的な自然像を養うことを目的とするので、毎回の出席が困難な学生は履修を控えてほしい。教員ごとに計4回の評価(テストやレポート等)を受けねばならないことの自覚をもって履修してほしい。
成績評価の方法	担当者毎に小テストやレポート等の方法で評価し、最終的に4人の採点を合算して成績評価とする。追試験は行わないので、各教員の指示に従って必ずそのつど評価を受けること。
教科書	特になし。必要に応じて各教員がプリント等を配布する。
参考書等	各教員がそれぞれの講義の中で適宜紹介する。
その他	

履修コード	222401
科目名	数学〔微積分学入門〕
担当者名	古宇田 悠哉

講義のねらい	微分積分学の入門的事項を学びます。授業で紹介する一つ一つの例題を理解し、自分の力で練習問題を解けるようにします。その過程で、この微分積分が、世の中に現れるさまざまな現象の変化の仕方をとらえる上で不可欠な学問であることを実感でき、同時に、与えられた情報を論理的に素早く理解する能力、問題を解決するための論理的な思考を身につけることを目的とします。
講義の内容・授業スケジュール	(1～4) 1変数関数、今までに学んだ1変数関数、三角関数、逆三角関数、指数関数、対数関数 (5～9) 微分、微分公式、初等関数の導関数、n次導関数 (10～15) 平均値の定理と不定形の極限、マクローリン展開、関数の増減とグラフの凹凸 (16～18) 不定積分、初等関数の不定積分 (19～21) 置換積分 (22～24) 部分積分 (25～27) 有理関数の積分 (28～30) 定積分、面積と回転体の体積
履修上の留意点	毎回授業に出席して下さい。
成績評価の方法	前期と後期の試験の結果を基本に評価します。授業への出席状況も考慮します。
教科書	石村 園子著『やさしく学べる微分積分』(共立出版) 2,100円(税込) ISBN4-320-01633-5
参考書等	適宜紹介します。
その他	講義が理解出来なかった場合は、遠慮なく質問してください。

履修コード	222501
科目名	数学〔線型代数学入門〕
担当者名	古宇田 悠哉

講義のねらい	線形代数学の入門的事項を学びます。授業で紹介する一つ一つの例題を理解し、自分の力で練習問題を解けるようにします。その過程で、世の中には「線形的な現象」が溢れていることを実感でき、同時に、与えられた情報を論理的に素早く理解する能力、問題を解決するための論理的な思考を身につけることを目的とします。
講義の内容・授業スケジュール	(1～4) 行列の定義、行列の演算、正方行列と逆行列 (5～9) 連立1次方程式、行基本変形、行列の階数、連立1次方程式の解、逆行列の求め方 (10～15) 行列式の定義、行列式の性質、逆行列の存在条件、クラメル公式 (16～19) 空間ベクトル、ベクトル、内積 (20～25) 線形空間の定義、n項列ベクトル空間、線形独立と線形従属、部分空間、基底と次元、線形写像 (26～30) 内積空間、正規直交基底、固有値と固有ベクトル、行列の対角化、2次曲線の標準形
履修上の留意点	毎回授業に出席して下さい。
成績評価の方法	前期と後期の試験の結果を基本に評価します。授業への出席状況も考慮します。
教科書	石村 園子著『やさしく学べる線形代数』(共立出版) 2,100円(税込) ISBN4-320-01660-2
参考書等	適宜紹介します。
その他	講義が理解出来なかった場合は、遠慮なく質問してください。

履修コード	222601
科目名	数学〔現代数学入門〕
担当者名	福田 賢一

講義のねらい	現代数学の基礎概念を、諸科学への応用例を通して学ぶ。特に社会・経済現象に応用例を求め、具体的かつ基礎的な事例から無理のない数理的抽象化を計り、実践的な応用力の養成を目指す。特に、情報環境、情報機器への理解を深めるため、その数理側面を充実させる。時間に余裕があれば、経済・金融等に必要とされる数理的基礎にも触れる。
講義の内容・授業スケジュール	前期：4回 論理の基礎と言語、情報理論の数理と論理、 3回 論理設計・論理回路、 2回 情報、通信機器の理解と数理 2回 ベクトル、行列 2回 線型代数とその応用 2回 まとめと演習 後期：3回 線型計画法、 3回 確率現象と社会現象、保険の数理 2回 微積分とその応用、交通・運輸の数理基礎 3回 多変量の処理と応用 2回 社会・経済現象の数理トピックス 2回 問題演習、討論
履修上の留意点	予備知識は特に必要としない。高校数学の基礎的な知識があれば十分理解できる。しかし、系統性の強い学術分野であるから、基本的な定義、性質を明確にするとともに、基本的な事項の確実な理解・運用能力が必要とされる。また、社会・経済現象に対し興味を持ち、基礎的な認識を深める必要もある。
成績評価の方法	前後期試験結果を80%、レポート・問題演習20%とし、全出席で1.1倍、9割以上出席で1.0倍。8割出席で0.8倍。8割を下回る場合には0.6倍する。出席不足は0倍。
教科書	教科書は使用しない。教材、資料等を数時限に一回の割合で配布する。
参考書等その他	参考文献等は配布する教材、資料等に明示する。 印刷教材、資料等は数時限に一回の割合で配布する。印刷教材は再配布ができない事があるので注意。講義に対する要望、質問等は積極的にを行うこと。疑問点、理解不十分なところを放置しないように努める事。 可能な限り演習を行い理解の徹底を図る。

履修コード	222701
科目名	情報数学〔情報と論理〕
担当者名	坂野井 和代

講義のねらい	情報処理・情報科学等で使用する基礎的な数学について学ぶ。
講義の内容・授業スケジュール	前期は、記数法など基礎的な数学知識について学んだ後、情報処理において必要となる概念である集合と論理について学ぶ。後期は主に確率と統計について勉強してゆく。講義時間中に例題を解くなど、実際に手を動かして数学に慣れてもらう講義をめざしている。 1. ガイダンス（1回） 2. 記数法とコンピュータにおける情報の表現（5回） 3. 集合と論理（7回） 4. 順列・組み合わせ（2回） 5. 確率・統計（13回） 6. 数学のトピックス（2回）
履修上の留意点	予備知識・教科書は特に必要とせず、その都度、資料配付や説明を行う。数学は積み重ねが大切な分野であるので講義は必ず毎回出席し、ノートを取り、出題された例題や課題を解くこと。レポートは講義に出席して、例題や課題を解いていないと解答することは難しい。
成績評価の方法	評価は原則として年に3回程度のレポートによって評価する。また、講義時間中の発言も評価に含める。
教科書	使用しない。適宜資料を配付する。
参考書等	・ 結城浩、「プログラマの数学」、ソフトバンク、¥2200、ISBN 4-797329734 ・ 鈴山 徹、「ソフトウェアのための基礎数学」、工学図書、¥2300、ISBN 4-7692-0430-2 ・ 石原光／小堆光喜、「入門 情報処理数学」、実教出版、¥2200、ISBN 4-407-02347-3 ・ 小島寛之、「完全独習 統計学入門」、ダイヤモンド社、¥1800、ISBN 4-478-82009-0
その他	コンピュータ応用の講義と連携して受講することをお勧めします。 講義情報を、独自に下記のウェブサイトで公開しています。 http://www.komazawa-u.ac.jp/~ksakanoi/lecture.html

履修コード	222801・222901
科目名	物理学〔光と物質〕
担当者名	篠原 正雄 <small>しのはら まさお</small>

講義のねらい 「光とはどのようなものか、光と物質の関係は？」という問いをめぐるさまざまな事柄を取り上げる。「光学」に限定せず、力学、電磁気学、熱力学、量子力学、宇宙物理等に及ぶ。

講義の内容・授業スケジュール (1-8)「光は波である 1」(光線 影 鏡 屈折 透明人間 スペクトル 虹の七色と三原色) (9-15)「光は波である 2」(波動 光波 音波・地震波・水の波 シャボン玉の色) (16-25)「光は電磁波である」(電気と磁気 電場と磁場 電磁波 きまぎまな電磁波) (26-30)「現代物理学と光」(原子構造と光 電磁波は粒子・電子は波 光速不変 ブラックホール 膨張する宇宙 光は宇宙を駆け巡る)

履修上の留意点 十分に出席する自信のない者は、履修しないようお勧めする。数学・物理の予備知識はいらない。

成績評価の方法 期末試験を受けた人だけが成績評価の対象となる。期末試験を含む数回のテストの合計で8割、ほぼ毎回の問題による平常点が2割となる基準点により評価する。S、Aについては教務部のガイドラインを参考にするので、この点と成績とは一致しない。

教科書 藤城敏幸著『生活の中の物理』(東京教学社) 1,800円+税

参考書等 講義の中で適宜紹介する。

その他 理解を深めるためにはほぼ毎回問題を考えてもらう。

履修コード	223001・223101
科目名	化学〔衣食住の化学〕
担当者名	持丸 真里 <small>もちまる まり</small>

講義のねらい 現代の日常生活にあふれる化学物質について広く取り上げ、その利便性と問題点を理解するための基礎知識を解説してゆく。各受講生が、化学物質・技術の社会での適用について、正確な知識に基づいた意見を持てるようになることを目的とする。前期には、生体への化学物質の作用を理解するために必要な有機化学・生化学の基礎について説明する。その後、衣食住の化学として、各論の説明を行う予定である。

講義の内容・授業スケジュール (1)有機化学・生化学の導入 (2~4)物質の成り立ちー原子・分子・イオン・化学式・周期表などの解説 (5)水の性質 (6~8)有機化学の基礎 (9~10)繊維 (11)染料 (12~13)洗剤と洗濯のしくみ (14)合成洗剤と水質汚濁 (15)中間試験 (16~17)タンパク質ー酵素・免疫を中心に (18~19)遺伝子 (20~21)遺伝子情報の社会への影響 (22)遺伝子組み換え実験とは何か (23~25)遺伝子組み換え食品 (26~27)食品の安全性 (28)化学物質の安全性評価 (29~30)住環境の化学物質汚染

履修上の留意点 「化学」の中には様々な分野があるが、本講義は生化学を中心とする(=生命科学との接点が多い)。上記のようなスケジュールを基本とするが、学生の理解度に合わせて進度を調整したり、途中でニューストピックスを取り上げるなど、柔軟に進めてゆく。講義は、化学の基礎的内容から順次、発展的・先端的事項へと進むので、欠席すると理解が困難になることを留意して履修すること。

成績評価の方法 筆記試験(年二回)を基本に評価するが、出席状況も考慮する。

教科書 なし。

参考書等 講義内で随時紹介する。

履修コード	223201・223301
科目名	宇宙科学〔星と銀河〕
担当者名	篠原 正雄 <small>しのはら まさお</small>

講義のねらい 現代の天文学が描く宇宙の姿を研究の手法と併せて紹介する。宇宙が不生不滅の静かな広がりではなく、むしろ荒々しく進化していく世界であること、我々人類もまたそうした宇宙史の所産であることを知っていただきたい。

講義の内容・授業スケジュール 前期は恒星を取り上げる。(1)イントロダクション (2~4)観測:望遠鏡 スペクトル (5~7)太陽:構造, エネルギー源 (6~15)恒星:年周視差と距離, 分類, 連星と星の質量, 変光星, 星の進化
後期は銀河をとりあげる。(16~17)銀河系の発見 (18~23)銀河系:星団 星雲 銀河系の渦巻き構造と星生成領域 銀河回転と暗黒物質 (24~26)銀河: 銀河の分類 距離 銀河団 宇宙の大規模構造 (27~30)宇宙:宇宙膨張, 暗黒エネルギー, ビッグ・バン

成績評価の方法 中間試験および学年末に行う筆記試験の平均点により評価する。S、Aについては教務部のガイドラインを考慮するので、この平均点と成績とは一致しない。平常点は10点までの範囲で考慮する。

教科書 岡村定矩他編『人類の住む宇宙(シリーズ現代の天文学第1巻)』(日本評論社) 2,520円

参考書等 講義の中で適宜紹介する。

その他 講義を中心とするが、天体の映像などを多用する。

履修コード	226001・226101
科目名	人類学〔人類の進化〕
担当者名	馬場 ^{はば} 悠男 ^{ひさお}
講義のねらい	チンパンジーと似ていたはずのヒトの祖先が、いつ、なぜ、どこで、どのような要因で現在の私たちになったかを知り、人間自身の本性を理解し、人類の将来を考える一助とする。楽しく考え、ためになる授業を目指す。
講義の内容・授業スケジュール	1-5回：ヒトはどこまで動物か、ヒトはなぜゾウに似ているかなど。6-10回：立ち上がった猿人たち、豊かな森林から厳しい草原へなど。11-15回：道具を作った原人と旧人、フロレス島のホビットなど。16-20回：サピエンスの世界戦略、5万年前の革命はあったかなど。21-25回：日本人はどこから来たか、縄文VS弥生など。26-30回：病いの起源、給食を正課にせよなど。
履修上の留意点	人間や動物の形態・機能・行動・心理を観察し考える習慣を付ける。上野の動物園と国立科学博物館に行こう。
成績評価の方法	学期末の試験とともに授業中の小テストさらに出席点も加味して総合的に判断する。授業中、良い質問をすると、プラスアルファ。
教科書 参考書等	馬場悠男監修『学研まんが ヒトの進化の秘密』学習研究社880円 ISBN978-4-05-202931-8 馬場悠男編著訳『人間性の進化 700万年の軌跡をたどる』日経サイエンス社1,900円 ISBN4-532-51151-8；馬場悠男解説訳『ホモ・フロレシエンシス上下』NHKブックス・日本放送出版協会 上下各970円 ISBN978-4-14-091112-9C1345；馬場悠男・道方しのお訳『人類進化大全』悠書館 12,000円 ISBN978-4-903487-18-2

履修コード	226201
科目名	心理学〔ヒューマン・ウォッチング〕
担当者名	高橋 ^{たかはし} 良博 ^{よしひろ}
講義のねらい	心理学の基礎を学ぶ人を対象にして、その研究方法についての知識を深め、人間の心理学的理解に興味を持ってもらうことを目的に、講義を進めてゆく予定。 特に本講義では、心理学の概論的な講義の中に、人間行動の対人行動やストレス・適応などのトピックスを織り込み、そのような視点を持った研究に焦点を合わせながら、講義をすすめる。 また、講義の中に、適宜、供覧実験や人格テストなども織り込み、心理学研究の雰囲気も伝えてゆきたい。
講義の内容・授業スケジュール	講義の予定としては、前期では、感覚・知覚・学習などの問題について学び、心理学の立場で人間をどう考え、どの様に捉えようとしているかを、中心に進める予定。後期は、前期の基礎的知識をふまえて、心理学の各研究領域に焦点をあててゆく。 各回ごとの講義予定は以下の通りである。 1 オリエンテーション（講義のねらい・成績の基準・評価履修上の注意など）、2 心理学の定義・心理学の領域・心理学の成り立ち、3 心理学研究法、4 感覚（1）、5 感覚（2）、6 感覚（3）、7 感覚（4）、8 感覚（5）、9 知覚（1）、10 知覚（2）、11 知覚（3）、12 知覚（4）、13 学習（1）、14 学習（2）、15 学習（3）、16 学習（4）、17 記憶（1）、18 記憶（2）、19 記憶（3）、20 動機づけ（1）、21 動機づけ（2）、22 感情と情動（1）、23 感情と情動（2）、24 ストレス・適応（1）、25 ストレス・適応（2）、26 ストレス・適応（3）、24 パーソナリティ（1）、25 パーソナリティ（2）、26 パーソナリティ（3）、27 パーソナリティ（4）、28 パーソナリティ（5）、29 まとめ、30 試験
履修上の留意点	履修者は、講義中は私語をつつし静粛に講義を受講すること。
成績評価の方法	筆記試験の得点、レポートなどの提出物、その他、平常点（講義への出席状況や、参加度）などを得点化して総合的に評価を行う。
教科書 参考書等	鈴木清編『人間理解の科学〔第2版〕—心理学への招待』（ナカニシヤ出版）2,000円税別 講義の中で指示する。

履修コード	226301
科目名	心理学〔ヒューマン・ウォッチング〕
担当者名	本間 ^{ほんま} 美智子 ^{みちこ}
講義のねらい	この授業では、実験心理学・教育心理学・社会心理学・発達心理学・臨床心理学にわたる心理学全般の基礎的知見を概観し、心理学がどのような学問であるかについての理解を深める 心理学の目的と方法、心理学の各分野について概説する
講義の内容・授業スケジュール	
成績評価の方法	通常授業の出席ならびに試験により評価する。
教科書 参考書等	プリントを使用 「ヒルガードの心理学」内田一成（監訳）ブレン出版、2005

履修コード	226401
科目名	心理学〔ヒューマン・ウォッチング〕
担当者名	加藤 博己

講義のねらい	この講義では、人間観察に重点を置きつつ、哲学から独立し、130年の歴史を有する心理学の基礎分野、並びに、心理学論（語源、定義、分野、研究法、歴史）を概観し、心理学の基礎知識を習得することを旨とする。
講義の内容・授業スケジュール	<p>前期：オリエンテーション（講義の目標、内容、進め方、評価方法、注意事項等の確認）</p> <p>【記憶】1.記憶の過程、2.記憶の分類、3.記憶の仕方、4.記憶の変容、5.忘却の仕方と理由</p> <p>【感覚・知覚・認知】1.感覚（感覚のモダリティ、閾値）2.知覚（図と地、群化、恒常性）、3.認知（心的回転）、対人認知（ハロー効果、ピグマリオン効果）</p> <p>【学習・思考】1.レスポナント条件づけ、2.オペラント条件づけ、3.その他の学習理論（試行錯誤学習、洞察学習、模倣学習、観察学習）4.初期学習</p> <p>【動機づけ】1.動機づけの分類、2.葛藤、3.コンプレックス</p> <p>【情動】1.感情の生起、2.感情の測定</p> <p>後期</p> <p>【発達】1.発達段階、2.発達要因（遺伝と環境）、3.愛着、4.知覚の発達、5.発達の研究法</p> <p>【パーソナリティ】1.パーソナリティの分類（類型論・特性論・力動論）、2.パーソナリティの測定（信頼性、妥当性、標準化）、3.パーソナリティ検査（質問紙法、投影法、作業検査法）、4.知能</p> <p>【社会】1.他者や社会が個人の態度に及ぼす影響（印象形成、同調実験、態度変容、バランス理論、援助の傍観者効果、認知的不協和理論）、2.相互作用、集団内の行動やリーダーシップ論</p> <p>【心理学論】1.「心理学」の語源、2.定義、3.心理学の基礎分野、4.心理学の研究法、5.心理学の歴史</p>
履修上の留意点	履修希望者は、初回授業の「オリエンテーション」に必ず出席し、講義の目標、内容、進め方、評価方法、注意事項等をよく理解した上で受講すること。
成績評価の方法	前期授業の最終日より1回前の授業（7月）に授業内前期試験を、定期試験期間内に定期試験を行う。詳細は、初回のオリエンテーションで述べる。
教科書	鹿取廣人・杉本敏夫・鳥居修晃(編) 2008年 『心理学 第3版』 東京大学出版会 2,520円（本体2,400円+税）ISBN4-13-012041-0
参考書等その他	教科書や配付資料の引用文献を参照のこと。その他、必要に応じて紹介する。 主に板書を用い、必要に応じて教科書を用い、数回の簡単な実験や心理検査を実施する予定である。本授業は講義形式であるが、一方通行の講義とならないよう、前回の授業内容の理解度を確認するためのワークを実施し、授業中に個々に指名して授業内容の理解度を確認する。

履修コード	226501
科目名	心理学〔ヒューマン・ウォッチング〕
担当者名	杉山 雅美

講義のねらい	<p>「心理学」は、その対象が「心」という、人間にとってもっとも身近なものであり、みなさんも日常のヒューマンウォッチングをもとに、各人各様の「心理学」を構築し、応用しているのではないのでしょうか。また、書籍や雑誌、テレビ番組等からの情報を通じて、とりわけ心理テストやカウンセリングなどの側面から、すでに「心理学」に対する何らかのイメージや興味、知識をもっている人も多いことでしょう。</p> <p>一方、高校までの履修科目には「心理学」がないこともあってか、みなさんのイメージするその内容と、学問としての「心理学」との間には、少なからず違いがあり、それらのなかには科学的裏付けの希薄なものも散見されます。</p> <p>本講義では、学問としての「心理学」の概論的内容について、身近な具体例を通して紹介していきます。それにより、自分や周囲の他者、ひいては人間の心・行動にまつわる諸現象に対する、科学的視点からの理解を目的とします。</p>
講義の内容・授業スケジュール	<p>年間スケジュールや実際の進捗状況による変更もありますが、概ね以下のように進める予定です。</p> <p>(1) ガイダンス・心理学とは何か (1~3回)、(2) 感覚・知覚 (4~6回)、(3) 学習 (7~9回)、(4) 記憶 (10~12回)、(5) 思考・言語 (13~15回)、(6) 情動・動機づけ (16~18回)、(7) パーソナリティ (19~21回)、(8) 発達 (22~24回)、(9) 臨床 (25~27回)、(10) 社会 (28~30回)</p>
履修上の留意点	履修するうえでとくに予習は求めませんが、そのぶん履修者は講義中集中し、私語を慎んで臨むよう心がけて下さい。
成績評価の方法	年度末に行われる筆記試験の成績と出席状況により、総合的に評価します。
教科書	とくに指定しません。適宜プリントを配布します。
参考書等	講義の中で適宜紹介していきます。

履修コード	226601
科目名	心理学〔人間関係を考える〕
担当者名	^{たかばし} 高橋 ^{よしひろ} 良博

講義のねらい 心理学の基礎を学ぶ人を対象にして、その研究方法についての知識を深め、人間の心理学的理解に興味を持ってもらうことを目的に、講義を進めてゆく予定。

特に本講義では、心理学の概論的な講義の中に、人間関係にかかわるトピックスを織り込み、そのような視点を持った研究に焦点を合わせながら、講義をすすめる。

また、講義の中に、適宜、供覧実験や人格テストなどもとり上げ、心理学研究の雰囲気も伝えてゆきたい。

講義の内容・授業スケジュール

講義の予定としては、前期では、心理学の立場で人間をどう考え、どの様に捉えようとしているかを、中心に進める予定。後期は、前期の基礎的知識をふまえて、心理学立場からの人間関係に関わる各研究領域に焦点をあててゆく。講義スケジュールは以下の通りである。

1 講義についてのオリエンテーション 2 心理学の定義・心理学の領域・心理学の成り立ち 3 心理学研究法 4 感覚(1) 5 感覚(2) 6 感覚(3) 7 感覚(4) 8 知覚(1) 9 知覚(2) 10 知覚(3) 11 知覚(4) 12 学習(1) 13 学習(2) 14 学習(3) 15 学習(4) 16 記憶(1) 17 記憶(2) 18 記憶(3) 19 動機づけ(1) 20 動機づけ(2) 21 感情と情動(1) 22 感情と情動(2) 23 ストレス・適応(1) 24 ストレス・適応(2) 25 ストレス・適応(3) 26 パーソナリティ(1) 27 パーソナリティ(2) 28 パーソナリティ(3) 29 パーソナリティ(4) 30 試験

(上記の講義スケジュールは、履修学生の理解度などを確認しながら、若干の時間調整を行う可能性もある。)

履修上の留意点

履修者は、講義中は私語をつつしむ静粛を保って受講すること。私語その他の迷惑行為が目立つ場合、教場外への退出をもとめる事もある。

成績評価の方法

筆記試験・レポートなどの提出物、その他、平常点(講義への出席状況や、参加度)などを得点化して総合的に評価を行う。

**教科書等
参考書等**

鈴木清編『人間理解の科学〔第2版〕—心理学への招待』(ナカニシヤ出版) 2,000円税別
講義中に指示する。

履修コード	226701・226901
科目名	心理学〔人間関係を考える〕
担当者名	すずき じゆんいら 鈴木 順一

講義のねらい 講義形式だけの授業形態は、学習者を受け身のバケツ的学び方にしてしまう。学問とは、問い学ぶと書くように、講師が一方的に降り注ぐ知識を、頭に詰め込むことに強いて勉める（勉強する）ことではない。科学は、不思議な現象に対して、疑問を持ち、仮説を立て、仮説の基にサーチライトをあて、検証（反証）し、新たな仮説構成や発見をしていくプロセスである。

学習というとは、教科書に書かれた知識を理解していくことだと考えられがちだが、行動主義的学習理論によると、「学習とは、経験を通じて行動変容していくプロセスである」と定義している。言語という道具を操る能力を獲得した人間は、概念学習ができるようになり、遺伝子の他に「遺言子」とでも呼べる知識を残し、それを世代間で、伝達・組み換え・改良していくことで文明を築き、他の生物とは異なる進化の道を歩み出すようになった。

しかし、経験から学ぶプロセスから遊離してしまった知識だけの学習は、生きるための知恵として効果的に機能できない。頭だけが参加する聴講学習は、体験学習に伴う自発性や能動性、発見しようとするモチベーションが得られない。この授業では、講義だけではなく、グループによる体験学習を取り入れて、学生相互と自己内のコミュニケーションを深め、自己理解と他者理解を促進します。心理学の人間理解の仮説の基に、自分自身や他者を見つめなおし、よりよい人間関係を築くために役立つ道具（理論と技法）を体験的に学んでいきます。

番号は進行順であり、それぞれ1回から3回程度時間が配当されます。学習計画は、進行状況により変更することがあります。

【前期】 [1]学習とは？ 授業方針 [2]エンカウンター（出会いと人間関係づくり） [3]グループ形成と集団規範 [4]コミュニケーションの促進 [5]心とは何か [6]性格検査による自己理解 [7]パーソナリティ理論 [8]無意識の心の働き（精神分析的人格理論） [9]環境を知る働き（感覚・知覚・認知）

【後期】 [10]カウンセリングの理論と技法 [11]心理療法による自己理解と他者理解 [12]自己肯定の人間関係 [13]学習理論と行動療法 [14]relaxation による心身の健康回復

講義の内容・授業スケジュール

履修上の留意点

最初の数回の授業で、6人のグループを編成しますので必ず出席してください。授業は、グループごとに決められた場所に着席していただき、毎回グループごとに自筆で出席をとり本人を確認します。

単独・聴講学習ではなく、グループによる協学習習・相互学習・体験学習・発見学習ですので、集団規範を守ることと、全回出席することが求められます。ルールを守れない人と欠席しがちな人は、履修しないでください。

成績評価の方法

出席状況と平常の小試験、小レポート、個人発表とグループ発表などで、個人とグループを、それぞれ50点満点で評価し合計します。平常点で評価しますので、学年末定期試験及び追・再試験はありません。

教科書

使用しません。授業内で紹介する参考図書や下記参考書の指摘する部分などを読み概念学習を進めていただきます。

参考書等その他

蓮見将敏・小山望編著『人間関係の心理学―体験をとおして学ぶ心理学―』（福村出版）
すべての「心理学」の授業で、心理学科卒業年次生の卒業論文のための調査に協力していただく時間があります。

履修コード	226801
科目名	心理学〔人間関係を考える〕
担当者名	加藤 博己

講義のねらい この講義では、人間関係に重点を置きつつ、哲学から独立し、130年の歴史を有する心理学の基礎分野、並びに、心理学論（語源、定義、分野、研究法、歴史）を概観し、心理学の基礎知識を習得することを旨とする。

講義の内容・授業スケジュール 前期：オリエンテーション（講義の目標、内容、進め方、評価方法、注意事項等の確認）
【記憶】 1.記憶の過程、2.記憶の分類、3.記憶の仕方、4.記憶の変容、5.忘却の仕方と理由
【感覚・知覚・認知】 1.感覚（感覚のモダリティ、閾値）2.知覚（図と地、群化、恒常性）、3.認知（心的回転）、対人認知（ハロー効果、ビッグマリオン効果）
【学習・思考】 1.レスポネント条件づけ、2.オペラント条件づけ、3.その他の学習理論（試行錯誤学習、洞察学習、模倣学習、観察学習）4.初期学習
【動機づけ】 1.動機づけの分類、2.葛藤、3.コンプレックス
【情動】 1.感情の生起、2.感情の測定
 後期
【発達】 1.発達段階、2.発達要因（遺伝と環境）、3.愛着、4.知覚の発達、5.発達の研究法
【パーソナリティ】 1.パーソナリティの分類（類型論・特性論・力動論）、2.パーソナリティの測定（信頼性、妥当性、標準化）、3.パーソナリティ検査（質問紙法、投影法、作業検査法）、4.知能
【社会】 1.他者や社会が個人の態度に及ぼす影響（印象形成、同調実験、態度変容、バランス理論、援助の傍観者効果、認知的不協和理論）、2.相互作用、集団内の行動やリーダーシップ論
【心理学論】 1.「心理学」の語源、2.定義、3.心理学の基礎分野、4.心理学の研究法、5.心理学の歴史

履修上の留意点 履修希望者は、初回授業の「オリエンテーション」に必ず出席し、講義の目標、内容、進め方、評価方法、注意事項等をよく理解した上で受講すること。

成績評価の方法 前期授業の最終日より1回前の授業（7月）に授業内前期試験を、定期試験期間内に定期試験を行う。詳細は、初回のオリエンテーションで述べる。

教科書 鹿取廣人・杉本敏夫・鳥居修晃(編) 2008年 『心理学 第3版』 東京大学出版会 2,520円（本体2,400円＋税）ISBN4-13-012041-0

参考書等その他 教科書や配付資料の引用文献を参照のこと。その他、必要に応じて紹介する。主に板書を用い、必要に応じて教科書を用い、数回の簡単な実験や心理検査を実施する予定である。本授業は講義形式であるが、一方通行の講義とならないよう、前回の授業内容の理解度を確認するためのワークを実施し、授業中に個々に指名して授業内容の理解度を確認する。

履修コード	227001
科目名	心理学〔心を科学する〕
担当者名	高橋 良博

講義のねらい 心理学の基礎を学ぶ人を対象にして、その研究方法についての知識を深め、人間の心理学的理解に興味を持ってもらうことを目的に、講義を進めてゆく予定。
 特に本講義では、心理学の概念的な講義の中に、人間関係にかかわるトピックスを織り込み、そのような視点を持った研究に焦点を合わせながら、講義をすすめる。
 また、講義の中に、適宜、供覧実験や人格テストなどもとり上げ、心理学研究の雰囲気も伝えてゆきたい。

講義の内容・授業スケジュール 講義の予定としては、前期では、心理学の立場で人間をどう考え、どの様に捉えようとしているかを、中心に進める予定。後期は、前期の基礎的知識をふまえて、心理学立場からの人間関係に関わる各研究領域に焦点をあててゆく。講義予定は以下の通りに進めてゆく予定。
 1講義についてのオリエンテーション 2心理学の定義・心理学も領域・心理学の成り立ち 3心理学研究法 4感覚(1) 5感覚(2) 6感覚(3) 7感覚(4) 8感覚(5) 9知覚(1) 10知覚(2) 11知覚(3) 12知覚(4) 13学習(1) 14学習(2) 15学習(3) 16学習(4) 17記憶(1) 18記憶(2) 19記憶(3) 20動機づけ(1) 21動機づけ(2) 22感情と情動(1) 23感情と情動(2) 24ストレス・適応(1) 25ストレス・適応(2) 26パーソナリティ(1) 27パーソナリティ(2) 28パーソナリティ(3) 29パーソナリティ(4) 30試験
 (上記の予定は、履修学生の理解度などを考慮し、時間配分に若干の修正が加わる場合もある。)
履修上の留意点 履修者は、受講中は私語をつつしみ静粛を保つこと。
成績評価の方法 筆記試験・レポートなどの提出物、その他、平常点（講義への出席状況や、参加度）など総合に得点化して、最終的な評価を行う。

教科書 鈴木清編『人間理解の科学〔第2版〕—心理学への招待』（ナカニシヤ出版）2,000円税別

参考書等 講義中に指示する。

履修コード	227101
科目名	心理学〔心を科学する〕
担当者名	堀内 ^{ほりうち} ^{まさひこ} 正彦

講義のねらい 人間を理解するための1つの視点として心理学を学ぶことを本講義のねらいとする。ここでいう人間理解とは一個人の性格や人格の理解も含むが、それ以外にも、人間が一般的にもつ特性を知ることを含む。例えば、物事の捉え方や判断の仕方など、様々な場面で何気なく行なっている活動全般について理解するということである。

講義の内容・授業スケジュール 心理学の様々な分野を概観できるように、下記の内容、スケジュールで講義を進行する予定である。

- 第1回 オリエンテーション
- 第2～3回 心理学の視点
- 第4～6回 発達 －環境と遺伝－
- 第7～9回 学習
- 第10～11回 記憶
- 第12回 前期末試験
- 第13～15回 感覚・知覚
- 第16～18回 思考・言語
- 第19～21回 動機づけ・情動
- 第22～24回 個人差
- 第25～27回 社会行動
- 第28～30回 行動の基本様式

履修上の留意点 この講義に限らず何かを学ぶということの根底には、普段の生活の中での「当たり前」のこととして捉えているようなことに対して、素朴な疑問とでもいうべき問題意識を抱くことが大切であると考えている。このような問題意識をもって授業に臨むことを希望する。

成績評価の方法 試験の結果（前期の講義内と定期試験の計2回）による。

教科書その他 鹿取廣人・杉本敏夫（編）『心理学 第2版』（東京大学出版会）

私語については、厳格に対応します。授業の初回に行うオリエンテーションで詳細を説明しますので、必ず出席して下さい。

履修コード	227201
科目名	心理学〔心を科学する〕
担当者名	<small>なかまる しげる</small> 中丸 茂

講義のねらい 心理学は、人間の心（行動・言語を含む）を客観的に研究する学問である。心理学は、心の科学、および、心の工学と定義され、心の理解・説明・予測・制御を目的とする。本講義では、科学的観点より、日常場面での人間の行動を分析し、得られたデータの解釈の仕方といった科学的方法を身につけることを目的として行われる。

講義の内容・授業スケジュール 前期は、科学論を中心に、心理学における中心的なパラダイムを紹介し、後期は、それらの日常生活への応用についての話を行う。また、講義は、下記のスケジュールにしたがって進めていく予定である。授業は、ビデオなどを使用し、簡単な実験を体験してもらいながら行っていく。

1. オリエンテーション 心理学って何？
2. 血液型と性格 本当に関係あるの？
3. 科学としての心理学 科学って何？
4. 行動分析学I ラムちゃんの電撃
5. 行動分析学II バナナとリンゴ
6. 行動分析学III 月に向かって吠える
7. 認知心理学I マジカルナンバー
8. 認知心理学II カクテルパーティ
9. 認知心理学III 悩めるオマタかおる
10. 心霊現象の心理学 幽霊は乗り物が好き？
11. 社会心理学I 他人を好きになる時
12. 社会心理学II 恋、愛、そして、意志決定 その他（リクエスト可）
13. 無意識の心理学 UFOは存在するか？
14. 人格心理学 社交的な人は朝に弱い
15. 占いの心理学 ラッキーカラーは、赤!!
16. 呪いの心理学 呪殺は可能か？
17. 所信の心理学I 知識は人類を駄目にする!!
18. 所信の心理学II マインド・コントロール
19. 宗教の心理学 神社の石段
20. スポーツ心理学 イメージトレーニング
21. プロファイリングモラル・ハラスメント
22. テクノ・コミュニケーション 顔文字は使ったほうがいいのか

履修上の留意点 講義は、プリント中心に行い、毎回、参考文献や図書の紹介を行う。したがって、一冊の本を読めば本講義の内容を把握できるというものではなく、毎回の知識の積み重ねが必要である。（教科書理解度UP++）

成績評価の方法 筆記試験の絶対評価として処理される。また、心理学の実験や調査に参加することも、心理学を学ぶために重要であり、得点として加算される。

教科書 中丸茂『心理学者のための科学入門』1999年（北大路書房）
中丸茂『トワイライト・サイコロジー』2000年（北大路書房）
参考書等 講義オリジナル資料 毎回配布（2～3枚） 年間 40～50枚
講義用の配布資料で紹介。

履修コード	227301
科目名	心理学〔心を科学する〕(夏季集中)
担当者名	ふかほり ともなり 深堀 友寛

<p>講義のねらい</p>	<p>身体的な異質性も然ることながら、人間には固有の性格、価値観、知能、行動パターンといった精神的(心理的)な異質性が認められる。それらを包括し、人間は個性を獲得する。しかし、人間とは決して一人では生きていけない。これはこの世に生を授かり生を全うするまで続くのである。人生とは、いわば異なる個性との共存である。個性が異なれば、そこから衝突や誤解が生じ、人間関係に支障を及ぼすこともしばしばである。</p> <p>本講義では個と、個の集合体である「社会」を心理学的側面から理解していくことを目的とする。本講義を通じ、少しでも心理学の世界に興味を持って頂ければ幸いである。</p>
<p>講義の内容・ 授業スケジュール 履修上の留意点</p>	<p>パーソナリティ、学習心理学、集団・社会心理学、臨床心理学、生涯発達心理学等を講義する予定である。</p> <p>短期間で集中的に行われる講義なので、主体的に講義に参加できる姿勢が望まれる。受動的にしかならない学生には、本講義の性質は不向きであろう。</p>
<p>成績評価の方法 教科書 参考書等 その他</p>	<p>講義最終日に行われる筆記試験と、出席率(3分の2以上)による総合評価。 特に指定しない。授業内にプリントを配布する。</p> <p>重野純『キーワードコレクション 心理学』(新曜社)1994年 中村昭二『心理学概説』(八千代出版)1982年 授業日程: 7月31日・8月3日~7日、1~5時限(土、日は除く)</p>

履修コード	228201
科目名	総合I〔仏教と社会〕
担当者名	熊本 英人

講義のねらい 日本の社会の諸問題を、仏教とのかかわりから考える。
 社会とは、人間の言語、慣習、規範、制度などによって規定された世界であり、人間は、その社会のあり方を思索し、理想的な社会の実現に努力している。
 仏教は、社会とどのようにかかわり、影響を与え、あるいは運動を起こしてきたか。仏教の立場、仏教の功罪、仏教への期待などをみていくことで、現代社会への問題提起を行いたい。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 はじめに
- 2～5 仏教と戦争
- 6～13 仏教と差別
- 14～17 仏教と女性
- 18～21 仏教と家族
- 22～29 仏教と生命倫理
- 30 おわりに

履修上の留意点 出席を重視する。

成績評価の方法 適宜レポートを課す。年度末の筆記試験またはレポートと合わせて評価する。

教科書 適宜プリントで配布する。

参考書等 末木文美土編『現代と仏教』（佼成出版社、2006年）2,625円
 その他、講義の中で随時紹介する。

履修コード	228301
科目名	総合I〔仏教と芸術〕
担当者名	村松 哲文

講義のねらい 本講義では、仏教美術の誕生から伝播について、インド・西域・中国・朝鮮半島の仏像・仏画をスライドを写して概観する。同じモチーフが時代や地域によって変化してゆく過程を、歴史的な背景と照らし合わせながら考察してゆく。講義を通して、信仰が生み出した深遠なる美の表現を眼と心で会得してもらいたい。

講義の内容・授業スケジュール

〔前期〕

仏教美術の世界（1～2）
 インドの仏教美術（3～5）
 西域の仏教美術（6～8）
 初期の敦煌石窟（9～11）
 後期の敦煌石窟（12～15）

〔後期〕

炳靈寺石窟（16～17）
 麦積山石窟（18～20）
 雲岡石窟（21～23）
 龍門石窟（24～27）
 朝鮮三国の仏教美術（28～30）

履修上の留意点 以上は予定で、講義の合間に特定の意匠（仏像の胸飾・宝冠・袈裟など）についても考察する。

成績評価の方法 博物館・美術館で開催される仏教美術関係の展覧会には、積極的に足を運ぶこと。

教科書 出席率・レポート・授業態度・定期試験などを総合的に評価する。

参考書等 プリントを配布する。
 講義中に適宜参考書を紹介する。

履修コード	228501
科目名	総合II〔自然観察入門富浦をめぐる人と自然〕
担当者名	清水 善和・漆原 和子・坂野井 和代・篠原 正雄・須山 聡・出口 宏幸・持丸 真里・柳澤 紀夫・山縣 毅

講義のねらい	自然を理解するためには、自然を観察し、データをとり、解析し、結果を出すという科学的な研究方法の一部を実体験することが重要である。本科目では、まず、前期半期で植物、鳥類、地形・地質、天体、環境などの観察やデータ処理の方法等を学ぶ。次いで、夏休み（7月下旬）に駒澤大学富浦セミナーハウスにて、4泊5日の泊り込みの集中講義と野外実習を行い、富浦周辺の人と自然をトータルに理解することを試みる。これらの講義や実習を通して、自然の見方、接し方、自然科学的な考え方の基本を学ぶ。
講義の内容・授業スケジュール	前期（半期）：本校での講義（一部実習を含む） （1）ガイダンス（1回）、（2）自然観察の方法（2回）、（3）植物の観察（3,4回）、（4）バードウォッチング（5,6回）、（5）地球科学的な見方（7-9回）、（6）地球環境の見方（10-12回）、（7）天体観測の方法（13,14回）、（8）富浦実習に向けて（15回） 富浦での講義と実習：7月19日（日）午後～23日（木）午前（4泊5日） 午前の講義、午後の実習（植物、地形・地質、地理・歴史）、夜の天体観測など。
履修上の留意点	前期の講義に毎回欠かさず出席し、夏休みの実習に参加できる人のみ履修すること。また、本科目を9月卒業のための単位に加えることはできないので注意すること。 富浦への旅費とセミナーハウスの宿泊費（1泊4000円×4日）は学生の自己負担とする。 実習を伴う科目の性格上、履修人数の上限を30名とする。
成績評価の方法	各教員が適宜、レポート、小テストなどを課して評価を行う。また、富浦の実習については、現地での実習をふまえた総合的なレポートを課す。以上の評価点と出席点とを合算して最終的な成績の判定を行う。
教科書 参考書等	特になし。各教員が必要に応じてプリント等を配布する。 各教員が必要に応じて紹介する。

履修コード	228801
科目名	総合III〔TOEFL(R)の問題で学ぶ知的教養〕
担当者名	白鳥 義博

講義のねらい	TOEFLは講義や討論などアカデミックな場面での英語運用能力を試すテストであり、出題される英語は、さまざまな学問領域の基礎的な知識を土台としています。この知的で幅広い内容を逆手にとって、学生あるいは社会人として必要な知的教養をTOEFLの問題から学んでみようというのが、本授業のコンセプトです。テキストにはリスニングとリーディングに特化したTOEFL対策用教材を使用します。授業では、知のプラットフォームを固める上で必須なトピックをこの教材からいくつか選び出し、必要に応じてプリントなども使いながら、学習を進めます。（本年度扱う予定のトピックは次のとおり：PTSD（心の傷）、ビジネスの新しい倫理性（sustainability）、動物園と動物の権利の問題、燃料電池とエネルギーの基礎概念、など）
講義の内容・授業スケジュール	前期（1）ガイダンス、（2）～（13）4～5回の授業でひとつのレッスンをカバーして進めてゆく。 （14）まとめ（15）期末テスト 後期 前期と同じ
履修上の留意点	語学と教養とキャリア教育をミックスさせた授業であり、知的好奇心の旺盛で意欲的な学生の履修を望みます（発表やレポート、小テストなどを頻繁に課す予定）。TOEFLテストを受けたことのない学生、受験予定のない学生の履修も大歓迎です。逆に、TOEFLの直前対策や解法テクニックの演習を専門的に行う授業ではないので、注意してください。
成績評価の方法	出席、受講態度、課題へのとりくみ、テストの成績などから総合的に評価する。
教科書 参考書等	『戦略的トータル®テスト対策演習』（南雲堂、2008年） 授業中に随時指示する。

履修コード	228901
科目名	総合III〔小説と映画で読み解く現代中国〕
担当者名	<small>しおはた しんいちろう</small> 塩旗 伸一郎

講義のねらい 今日、日本人の生活と生存に欠かせない存在でありながら、理解を超えた縁遠い国でもある中国。そのミステリアスな隣人を理解できる日本人が多くなるのが、結局は日本と世界の平和と繁栄の礎となる。本講で採りあげる短編小説と映画は、必ずしもミステリー作品というわけではなく、中国というミステリーを読み解くための素材である。その意味で本講は文学論、映画論である前に、中国論である。

講義の内容・授業スケジュール 解題(1～2)、「暗香」と韓少功(3～5)、映画(6～8)、「太白山記」と賈平凹(9～11)、映画(12～14)、遲子建「霧の月」(15～16)、映画(17～19)、韓東「部屋と風景」(20～21)、映画(22～24)、魏微「鄭さんの女」(25～26)、映画(27～28)

映画の表題は、映像を確保できる保証がないため、未定。

中国語学習歴がなくても履修できる。

履修上の留意点 平常点(作品ごとに感想文を提出、レポートに代える)

成績評価の方法 釜屋修 監修『同時代の中国文学—ミステリー・イン・チャイナ』(東方書店)1600円+税

教科書

履修コード	229001
科目名	総合IV〔現代アメリカ事情〕
担当者名	<small>はやし あきと</small> 林 明人

講義のねらい 現代のアメリカが抱えているさまざまな問題を、具体的なキーワード(abortion, affirmative action, euthanasia, Brady Bill 等)を説明しながら紹介します。なぜその問題が起こったのか、そしてそれがどのように発展し、現在どうなっているのかを見てゆきます。知っているようで知らないアメリカの諸相が見えてきます。

講義の内容・

授業スケジュール

- | | | | |
|----|------------------------|----|--------------------------|
| 1 | 世界史の中のアメリカ(1) | 16 | Brady bill (1) |
| 2 | 世界史の中のアメリカ(2) | 17 | Brady bill (2) |
| 3 | 世界史の中のアメリカ(3) | 18 | Brady bill (3) |
| 4 | 世界史の中のアメリカ(4) | 19 | official English law (1) |
| 5 | 世界史の中のアメリカ(5) | 20 | official English law (2) |
| 6 | 世界史の中のアメリカ(6) | 21 | official English law (3) |
| 7 | 世界史の中のアメリカ小テスト | 22 | euthanasia (1) |
| 8 | abortion (1) | 23 | euthanasia (2) |
| 9 | abortion (2) | 24 | euthanasia (3) |
| 10 | abortion (3) | 25 | hate crime (1) |
| 11 | affirmative action (1) | 26 | hate crime (2) |
| 12 | affirmative action (2) | 27 | hate crime (3) |
| 13 | affirmative action (3) | 28 | multiculturalism (1) |
| 14 | political correctness | 29 | multiculturalism (2) |
| 15 | 前期試験 | 30 | 後期試験 |

履修上の留意点 遅刻(交通機関の遅延を除く)及び授業中の出入りは認めません。

成績評価の方法 ①試験(40%)②レポート(30%)③出席(30%)で総合評価するが、①～②のそれぞれの評価が一つでも3割に満たない場合、あわせて③の出席が全授業回数の3分の2以下の場合には評価の対象にしない。

教科書

プリントを配布します。

履修コード	229101
科目名	総合Ⅳ〔新市民社会論〕
担当者名	西村 祐子 <small>にしむら ゆうこ</small>

講義のねらい 前期はJICA(国際協力機構)と協力して市民社会と国際協力に関して考える。後期は本学で現在JICA草の根協力プロジェクトとして進行しているバイオトイレプロジェクトを中心に、環境、マイノリティ、被差別問題などを考える。

講義の内容・授業スケジュール

前期:

1. 市民社会とNGO、NPO
2. グローバル化現象と国際協力
3. 日本の国際協力と市民社会：JICAスタッフ講義
4. 国際協力の現状と日本：まとめ (1)
5. JICAスタッフ講義：海外協力隊の一員として
6. 草の根協力と開発途上国：まとめ (2)
7. JICAスタッフ講義：グローバル化と国際協力の実情
8. 草の根協力と開発途上国：まとめ (3)
9. 途上国社会と市民セクター：NGOの役割 (1) インド
10. 途上国社会と市民セクター：NGOの役割 (2) インド
11. 途上国社会とマイノリティ (1) インドの場合
12. 途上国社会とマイノリティ (2) インドの場合
13. 前期まとめと国際協力とその課題：草の根支援のレベルから

後期:

1. インド社会の基礎知識
2. クラスとカースト：政治と宗教
3. ジェンダー、宗教、マイノリティ集団
4. インドの市民社会とNGO
5. インド地縁組織とコミュニティ開発
6. 被差別カーストとコミュニティ開発
7. 行政とNPO,NGO：公衆衛生の実情
8. 公衆衛生とバイオトイレ：グローバルな環境問題の観点から
9. 公衆衛生と途上国：グローバルな観点から
10. バイオトイレとリーダーシップトレーニングプロジェクト (1)
11. 同上 (2)
12. マイノリティ・被差別・コミュニティ開発を考える
13. まとめと課題

履修上の留意点 インターネットによる資料調査をおこなうので学内で使用するコンピュータ用IDを必ず取得しておくこと。

成績評価の方法 出席 (25%)、毎回の小レポート内容 (30%)、前期、後期それぞれのレポート (45%)。試験はない。

教科書 教場で指定する。

参考書等 JICAに関しては <http://www.jica.go.jp/>

南インドにおけるバイオトイレ事業、

エコサントイレについては以下をみておく。 <http://www.blb2.org/EcoSan/index.htm>,

<http://jp.youtube.com/watch?v=gPummZRR2Cg>、 [http://jp.youtube.com/watch?v=6x-](http://jp.youtube.com/watch?v=6x-PqyF9CVRE)

<http://www.indiawaterportal.org/blog/category/ecosan/>

その他 希望者は現在南インドで実施中の海外協力プロジェクトにボランティアとして参加できる。(例年2月下旬実施)

履修コード	229201
科目名	総合Ⅳ〔ポスト・モダンの世界〕
担当者名	丸小 哲雄 <small>まるこ てつお</small>

講義のねらい 急速な科学の発達による携帯電話とインターネットによる個別化への誘導、学問の細分化による「断絶の経験」が起り、現在さまざまに個別化された経験が<つなぎ>の必要とする必然性を見出せるかどうかが問われています。

建築、視覚芸術、映画、文学、文学理論、精神分析、歴史、哲学、宗教、経済、政治などさまざまな分野が、それぞれが別途に関連なく居座って、個別化され、核化され、特化されて、さまざまな意味を込めて解釈されてきています。核家族、コミュニティからの断絶、オタク族の跋扈、いじめや孤立化の経験、被害者と加害者の両義性、しかも過剰な人権が叫ばれ、現代人は「断絶の経験」の悲劇性を、意識的にしろそうでないにしろ、味わっています。このようなコンテクストで現代のグローバリズムが吹聴されていった経緯があります。

そこで本講義の狙いは、1914年から1995年までの歴史的過渡期の思想的表現としての近現代史を思想化（帝国主義と植民地化に対する批判）し、近代化（モダンイゼーション）における合理性に対する啓蒙思想批判と、その近代化批判に対する主体的な批判能力（主体性の確立）を育むことで現代文明の本質を捉え直すことを目指します。

講義の内容・授業スケジュール

- 1) 総合Ⅳの性格と意義：総合教育と専門との連動性（1～2）
- 2) 現代という時代状況の捉え方（3）
- 3) 「プレモダン」・「モダン」と「ポストモダン」という言葉の定義と時代認識の問題及び言語の恣意性（ソシュールの言語観など）（4～5）
- 4) ルネッサンス以後の人間観・宇宙観・社会観の思想的な変遷（6～9）
- 5) モダンとポストモダンにおけるヴィジュアル系の変化：建築・映画・広告・世界万博の変遷・エロスの変遷・ファッション・モードなどのジャンルに見られる思想の変遷（10～15）
- 6) 理性批判の整理：思想史の観点（ポストモダン）からモダン批判（後期）
 - ① プレモダン・モダンという近代史（16～18）
 - ② モダン思想的批判の源泉（19～21）
 - ③ 合理性と非合理性理の問題（22～23）
 - ④ 外部の力と内部の力（24～25）
- 7) ポストモダンを乗り越えるための主体性の問題（26～29）
- 8) レビュー：アメリカン・イデオロギーとグローバリズムに対する批判（30）

**履修上の留意点
成績評価の方法**

授業以外に文庫本・新書版を読み込んでいく読書課題があります。
授業での質疑応答による発表と出席率、前期と後期の読書課題、学年末に提出するターム・ペーパー（レポート課題）

教科書

- ・プリント使用：読書課題のリスト配布（レポート作成方法・提出日・提出場所も指示）
- ・多くのプリントを配布しますので、ファイル用具を用意すること

履修コード	229301
科目名	総合Ⅴ〔イギリスの歴史と文化〕
担当者名	石原 孝哉 <small>いしはら こうさい</small>

講義のねらい イギリス史の流れのなかで、イギリス文化がいかに形成されてきたかを考察します。
講義の内容・授業スケジュール 日本と同じ島国でありながら、イギリスは異民族支配と異文化の同化を繰り返しながら独自の文化を形成してきました。プリント教材を中心に、映像、動画、ホームページなどを利用しながら、独自の文化の源泉をたどります。

履修上の留意点

毎回プリントを配布するので欠席しないように。ホームページなどを参考にするのでコンピューターが使えると便利です。

成績評価の方法

レポート、期末試験により評価します。

履修コード	229601
科目名	総合VI〔民族とは何か〕
担当者名	大野 祐二 <small>おのの ゆうじ</small>

講義のねらい	この講義は、文化人類学的な視点から「民族」にまつわる様々な現象を、我々の日常生活において理解することを、主たるねらいとしています。世界各地で噴出する民族問題の百科事典的な紹介ではなく、問題を理解する際に必要なアプローチなり、方法や認識について考察することを通して、我々の日常との関連について、つまり「あちら／他者」の問題としてではなく、「あちらとこちら／自己と他者」との関係のあり方から検討することを目指します。
講義の内容・授業スケジュール	具体的なスケジュールについては最初の講義の際に伝えますが、前期においては文化人類学的方法論（文化の概念、異文化の記述・異文化へのまなざし、文化相対主義、他者表象など）についてが中心になります。 後期は、ビデオ教材も使いながら、日本・朝鮮半島・北米などにおける事例を検討しながら、「民族」現象について国家・ナショナリズム・植民地主義・歴史・伝統文化などとの関連から考察を進める予定です。
履修上の留意点	講義形式ですすめますが、一方的にならないため質問時間も可能な限りとりまします。大幅に遅刻する人はご遠慮ください。
成績評価の方法 教科書 参考書等	前後期の定期試験（またはレポート）、および小テストで評価します。 詳細については授業中にプリントで伝える予定です。 原尻英樹著『コリアンタウンの民族誌』（筑摩書房） 吉野耕作者『文化ナショナリズムの社会学』（名古屋大学出版会） 李孝徳著『表象空間の近代』（新曜社）

履修コード	229701
科目名	総合VI〔イスラム〕
担当者名	吉田 京子 <small>よしだ きょうこ</small>

講義のねらい	本講義は、イスラームの基本的理念、信仰上の儀礼、日常の規定、宗教思想などについて、ユダヤ教、キリスト教との関係性を確認しつつ概論的講義を行い、イスラームの知識を通じセム系一神教の世界観理解を促すことを目的とする。
講義の内容・授業スケジュール	①セム系一神教 ②預言者ムハンマド ③神のことは ④イスラームの世界観 ④イスラームの実践 ⑤イスラームの分派 ⑥イスラーム神秘主義 これらの項目を各2～3回ずつ行う予定。
履修上の留意点 成績評価の方法	授業中の疑問点やコメントを毎回提出。 毎回提出のコメント用紙を出席確認に使用。出席率（3分の2以上）と試験による総合評価。

履修コード	229801
科目名	総合VI〔フェミニズム・ジェンダー〕
担当者名	<small>はやかわ のりよ</small> 早川 紀代

講義のねらい 男性と女性、あるいは女性と男性との関係は、個人的にも、また社会的にも、この二〇年のあいだに大きく変化してきている。ちょうど学生の皆さんが誕生し、成長してきた時期である。どのように変わり、これからどのように変わっていくのか、また変化しないものはなにかをとりあげて、一人ひとりの人間の在りかたを考える場にする。

講義の内容・授業スケジュール

前期 a ジェンダーってなんだ？
私たちが当たり前と思っていること、たとえば女はやさしい、男はたくましいといった考えは本当なのか、どうかということにメスをいれたのが1990年代に日本にはいつてきたジェンダーという見方です。このジェンダーという理論がどのようにして誕生したかをとりあげ、女性学と男性学と人間学の間接関係を考える。

b 労働とジェンダー

男女格差がもっとも明確にあらわれている被雇用者の労働をとりあげる。戦後の労務管理の歴史、経営者の労働政策、女性労働者の運動、雇用機会均等法の変遷、育児・介護休業法などをとりあげ、どのようにしたら誰でも、働きかつ家族生活を楽しむ、人間としてバランスのとれた生活を送ることができるか考える。

後期 c 家族とジェンダー

私たちが無意識にすごしている家族は形も親子や夫婦の人間関係も家族ひとりひとりの生き方も大きく変化している。恋愛時代の男女、結婚後の夫と妻の関係はジェンダーが深く影響している。またいろいろな人間関係でつくられている家族のかたちもあらわれている。現代の日本社会では家族をめぐる現象は暗いことが多い。家族を共同生活ととらえて将来の家族のあり方を模索する。

d セクシュアリティ

この20年間の変化のなかでもっとも深くて大きなものが、人間の性にかんする考え方です。買春、心と身体の性が同じでない人びと、同性愛、レイプ、親しい人びとの間の暴力などをとりあげて、性にかんする固定観念から脱出する道を考える。

履修上の留意点
成績評価の方法

教員と学生、学生間のコミュニケーションを深めたいので、遅刻、お喋り、内職は厳禁
前期試験にかわる夏休みの課題レポート 30%、後期試験 40%、講義内容やビデオ内容に関する意見、感想・出席 30%

教科書

使用しない。参考資料を配布する。

履修コード	229901
科目名	総合VII〔トラブルと法的解決〕
担当者名	中濱 義章・井上 健一・北野 かほる・佐藤 多美夫・中田 英幸・向田 正巳

講義のねらい	<p>日常生活は、常に順調と言うわけにはいかない。社会生活につきまとうトラブルを法的に解決することを考える。</p> <p>法的トラブルにはどのようなパターンがあるか。それをどう解決すればよいのか、あるいは、トラブルを未然に防ぐにはどうすればよいのか。これらの点について、市民として知っておくべき基礎的知識を、各法領域の教員が交替で講義する。</p>
講義の内容・授業スケジュール	<p>第1回目の講義で、履修上の注意点と各法領域での講義内容の概要を説明する。受講希望者は必ず、出席すること。</p> <p>担当教員の順番や講義内容は、KOMSY内の「詳細情報画面」を参照すること。各領域3回から4回を予定している。ここでは、各担当教員のテーマを上げるに止める。</p> <p>中濱 義章 消費生活と法 井上 健一 現代社会と商法 北野 かほる トラブルが法の問題になるとき 佐藤 多美夫 犯罪とは何か 中田 英幸 金融取引と法 向田 正巳 契約と不法行為</p>
履修上の留意点	<p>各担当教員の実質講義回数が少ないため、講義には必ず出席すること。</p> <p>私語は慎むこと。携帯電話のスイッチはOFFにすること。</p>
成績評価の方法	<p>各担当教員がそれぞれの担当回数の中で実施する試験（担当教員により、担当枠の最後に試験を実施する場合や毎回小テストを実施する場合がある）の成績を総合して評価する。講義に出席することはもとより、各担当教員の実施する試験は必ず受け、レポートが出されれば必ず、その担当期間内に提出すること。</p> <p>担当教員が実施する試験を2回以上欠席（不受験）した場合には、全体の評価が0点となり、その時点で単位取得が不可能になるので注意して欲しい。</p> <p>追試験は、講義の形態上、行わない。</p>
教科書 参考書等	<p>特に指定しない。</p> <p>各担当教員が講義に際し、必要に応じて、その都度開示する。</p> <p>六法は毎回忘れずに、持参すること。</p>

履修コード	230001
科目名	総合VII〔都市論〕
担当者名	早川 純貴・饗庭 伸・浦田 早苗・堀内 康史・村上 暁信

講義のねらい 大都市は多様な問題が集積する場である。過密化と空洞化、犯罪、失業、ゴミ問題、再開発、国際化など。しかしこれらは、独自のダイナミズムを持ち、拡大と変容を繰り返すと都市社会が示す多様な表象にほかならない。都市の現状を政治学あるいは社会学や都市計画学の観点から概観し、その将来を考える。

講義の内容・授業スケジュール 5名の講師により、各々3回又は6回の講義を担当する。その順序、時期と講義内容については以下の通り。

■早川純貴『都市論』ガイダンス（1回：4月）

■早川純貴「まちづくりと住民参加」（3回：4月・5月）

いわゆる迷惑施設や道路建設をめぐる住民と行政の対立、地域による防災への取組み、老人・障害者支援など身近にあるまちづくり、そして古い家並みや建造物の保存運動などを通じ、住みやすく愛着のある「まちのかたち」を住民参加の観点で考える。

■浦田早苗「イギリスの都市はおいしい」（3回：5月）

イギリス一般市民の都市生活を、食事、娯楽、居住などの面から観察し、日英の都市文化の比較を試みる。

■堀内康史「都市とコミュニティ」（6回：6月・7月）

都市を社会学的な視点からとらえ、都市における人間関係（あるいはコミュニティ）を中心にみていく。都市化とコミュニティの変化、社会階層とコミュニティの関係、グローバリゼーションとコミュニティの変化、などのテーマを考察していく。

■村上暁信「都市のランドスケープ」（6回：9月・10月）

都市のランドスケープを読み解く基本的な視座について、概念・歴史・関連する諸制度などの観点から概説する。また、ヒートアイランド現象をはじめとする都市の環境問題解決に向けた都市ランドスケープ保全のあり方について考察する。

■饗庭伸「市街地整備とアーバンデザイン」（6回：11月・12月）

都市のフィジカルな空間を改善するために市街地整備やアーバンデザインが行われる。首都圏を対象に、近年の都市空間の課題を概観したうえで、それぞれの課題に対する取り組み、方法を論じる。

履修上の留意点 日本や海外の都市問題に強い関心を持つ学生の受講を歓迎する。

成績評価の方法 成績は各講師がレポートないし小テスト等により判断し、それらを早川が総合して評価する。

3. 外国語科目

履修コード	239301
科目名	英語IA
担当者名	川崎 浩太郎

講義のねらい 入学時の英語力を基礎として、英語運用能力の向上を目的とします。単発の発話、作文ではなく、ある程度まとまった長さを持つ文章の中で、より効果的に自分の考えを表現できるようになることをめざします。

E-mail や日常会話などで使われる口語的な表現を学び、日常生活で遭遇する様々な場面に対応できるような表現力を身につけていってもらいます。また、教科書の Unit ごとに適切な課題を出すので、それにしたがって E-mail を書いてもらいます。TOEICのリスニングなどもおこなう予定です。

**講義の内容・
授業スケジュール
履修上の留意点
成績評価の方法**

(1)オリエンテーション (2~15) Unit1~11 (15~30) Unit12~22

毎時間必ず辞書を持ってくること。

出席、発表50%、レポート50%の割合で評価する。全授業日数のうち3分の1以上欠席したものは不可とする。

教科書

黒川 裕一 『Subject:E-Mail-- 大学生のEメール英作文』 南雲堂 ¥1900(税別)
ISBN4-523-17396-6

履修コード	239401
科目名	英語IA
担当者名	熊沢 和明

講義のねらい 英語の基礎的な口語運用能力を確認し、コミュニケーション能力を引き伸ばすことをねらいとします。

**講義の内容・
授業スケジュール
履修上の留意点
成績評価の方法**

平易なコミュニケーション能力開発用教科書を使い、読み、書き、聞く、話す能力をバランスよく伸ばすように、ペアワークなどの実習形式を取り入れた授業とします。

英語が苦手でも積極的に授業参加する姿勢を評価します。

出席、授業態度などの平常点を重視します。年間12回の単語テストを実施します。評価は総合評価とします。

**教科書
その他**

PCおよび携帯メールを利用した補習を行います。

New Activator 金星堂

可能な限りPCゲームなどを取り入れた授業にしたいと思います。

履修コード	239501
科目名	英語IA
担当者名	真砂 久晃

講義のねらい 入学時の英語を基礎として、英語の運用能力向上を目指す。

**講義の内容・
授業スケジュール**

(1) 初回の授業でオリエンテーションをする。必ず出席すること。(2)~(14) Unit 1 から順番に授業を行う。授業の進度は限定しない。(15) 前期試験 (16)~(29) 前期に引き続き、授業を行う。(30) 後期試験

履修上の留意点

出席が3分の2未満の学生は単位を取得できない。但し、正当な理由のある欠席に関しては考慮する。

成績評価の方法

成績 = (前期の成績 + 後期の成績) ÷ 2

前期、後期共、成績は(100点満点) = 出席点(20~30%) + テスト(70~80%)となる。

教科書

吉原令子、他『Writing Gear』金星堂 1,800円(税別) ISBN978-7647-3879-9 C1082

履修コード	239601
科目名	英語IA
担当者名	水崎 野里子

講義のねらい 実際の英会話に役立つ英語を学ぶ。簡単な口語英作文を学びつつ、それを実際に使えるようになって欲しい。基本的な文法事項の復習も兼ねる。

講義の内容・授業スケジュール 通年課題である。テキストは一授業につき1課を予定している。場合によっては副教材を用いるかもしれない。

履修上の留意点 出席率には留意すること。また、積極的な授業参加を期待する。

成績評価の方法 前期後期の二度のテストに平常点を加味する。すなわち、出席率、授業への積極的な参加、などである。

教科書 日本語に惑わされない英語表現 (南雲堂)

参考書等 副読本は未定である。

その他 積極的に質問して欲しい。授業の終わりでも授業中でも構わない。

履修コード	239701
科目名	英語IA
担当者名	三輪 久恵

講義のねらい シチュエーションや英語表現を正しく受けとめる語学能力と共に、文化的背景の違いからくる受けとめ方の違い(異文化の視点)を分析する能力、多角的な観点に立つ柔軟なものの見方を、あわせて養うことをめざします。

講義の内容・授業スケジュール テキストを読み進めると同時にハンドアウトも使用します。さまざまなシチュエーションに接し、また、さまざまな作者の英文を読みたいと思います。

履修上の留意点 予習をしていただくことが重要です。辞書は中辞典程度のものを必携です。電子辞書はあまり感心しないですけれどね。

成績評価の方法 日常の予習・発表等の積極的な授業参加を重視。15～20分程度の小テスト等の提出物が年間8回程度あります。定期試験は行わない予定です。普段出席しない学生は必然的に単位も記録されない事となりますのでご注意ください。

教科書 Culture Riddles — America : Shaules 他著(南雲堂)1,400円+ tax.[前期]
The Spirit of New England : MIWA編著(旺史社)1,500円+ tax.[後期]

履修コード	239801
科目名	英語IA
担当者名	相馬 美明

講義のねらい 入学時の英語を基礎として、様々な英語の運用能力(発話・読解・聴解)を身につける。プリントを用いた文法問題、及び教科書による読解問題を通じ、精読・多読の両面から英語の基本的な運用能力を身につける。また、様々な検定対策にも対応すべく、TOEFLのリスニング・セクションの問題などにも触れ、聴解力を高めてゆく。

講義の内容・授業スケジュール 前期一・教科書 Lesson1～6
・リスニング Exercise1～11
後期一・教科書 Lesson7～9,13・14
・リスニング Exercise12～20
・プリント文法問題 P.1～8

成績評価の方法 出席については、基本的に全出席を期待し、前期・後期に行う定期試験、および授業で課すレポート、また授業態度などを総合的に評価する。

教科書 ・ Hiroko Nishida, William Gudykunst 『American Communication Patterns』金星堂
・ Masahiro Oikawa, Elizabeth Johnson, Peter Gobel 『10-Minute TOEFL Listening Exercises』桐原書店

履修コード	239901
科目名	英語IA
担当者名	大庭 <small>なおば</small> 直樹

講義のねらい	英語を効率的にマスターするための最善の方法は、文法をきちんと身につけることである。このクラスの主眼は、英文法の要点を押さえながら、短い日本語を英語で表現する訓練をすることである。英語は、口頭であるいは文書で表現してもらう。
講義の内容・授業スケジュール	授業は発表形式で進めていきます。そのため、毎回のクラスでは全員が2、3回は発表することになる。年4回ほど、英文のレポートを書いて提出してもらいます。
履修上の留意点	必ず、予習をしてからクラスに出席すること。各クラスでは、受講生がすでに調べてきていることを前提に、練習問題を発表してもらう。また、受講生からの積極的な質問・ディスカッションを期待する。
成績評価の方法	成績については、まず、クラスに出席すること、3分の2以上の出席が成績評価を受ける前提である。定期試験を前期と後期にそれぞれ一回行なう。成績評価は、定期試験の成績、授業中の発表、レポートの成績に基づき、総合的に判断します。
教科書	教科書については、クラスの最初に指示をする。
参考書等	必ず、辞書を持参すること。英語の運用力を均等にのばすためには、英文法の要点をマスターするとともに、語彙力を強化しなければならない。
その他	受講についての心構え(例えば、ノートの作り方、辞書使用方法、予習で調べることなど)、開講時にお話します。

履修コード	240011
科目名	英語IA
担当者名	佐藤 <small>さとう こういち</small> 孝一

講義のねらい	基礎力強化と運用力の向上。 高校までに学習した英語力を再学習しながら、基礎力の定着と同時に英語の運用能力を目指していく。自然な英語の文章を読みながら、英文法の再学習としていく。英語の基礎となる英文法の知識を再確認することが英語運用の自信につながる。
講義の内容・授業スケジュール	テキストの構成上、24章あるので一時間毎に一章を消化していく。各章の項目説明後、練習問題を通して必須文法事項の学習と定着および運用力育成の為の練習をしていく。携帯やPCから各章に語彙や文法項目や学習や練習問題もできるので授業時間以外でもテキストの再確認や練習問題も自由にできる。
履修上の留意点	毎時間に学習する章の予習をしっかりとやってくる。
成績評価の方法	基本的に前期・後期の学期末試験と発表点、レポート等で総合的に評価します。出席は七割以上でること。それ以下の場合は評価の対象にならない場合もある。欠席や遅刻は減点の対象になります。公的な休みの場合は事前に報告すること。
教科書	「Access to Simple English」成美堂

履修コード	240021
科目名	英語IA
担当者名	大淵 <small>おおふち としはる</small> 利春

講義のねらい	英作文能力の向上を目指す。
講義の内容・授業スケジュール	毎回テキストの英作文を解いていく。具体的スケジュールは以下の通り。イントロダクション(1)、Unit 1(2～3)、Unit 2(4～5)、Unit 3(6～7)、Unit 4(8～9)、Unit 5(10～11)、Unit 6(12～13)、レビュー(14～15)、Unit 7(16～17)、Unit 8(18～19)、Unit 9(20～21)、Unit 10(22～23)、Unit 11(24～25)、Unit 12(26～27)、Unit 13(28～29)、レビュー(30)。
履修上の留意点	予習をしてこること。辞書をもってこること。
成績評価の方法	前後期試験50%、平常点(出席率、授業参加度等)50%で評価する。
教科書	山口俊治『コミュニケーションのための口語英作文』成美堂1600円 ISBN4-7919-5026-7

外国語

履修コード	240031
科目名	英語IA
担当者名	やまくし あきひろ 山口 晃

講義のねらい	英語を使って自分の考えを表現するための基本的な練習をめざす。
講義の内容・授業スケジュール	毎回の授業では、正確な発音と英作文の練習を行なう。毎回、十名前後の学生はかならずこの練習・発表を行なうことになる。
履修上の留意点	辞書は毎回かならず持ってくる。 遅刻は成績評価に関係してくるので注意すること。
成績評価の方法	出席、発表、レポートの三つで成績評価を行なう。遅刻すると発表の機会が失われるので注意すること。
教科書	授業中の発表を非常に重視するので、毎回の授業に何よりも集中することが評価につながる。 毎回プリントを配布。

履修コード	240041
科目名	英語IA
担当者名	みよし やすよし 三芳 康義

講義のねらい	TOEICのような学外の英語検定試験に出題される文法事項を確認しながら、実用英語の総合的な運用能力の向上を目指します。また、日常会話に用いられる慣用句を適宜練習します。
講義の内容・授業スケジュール	前期は基本的な文法・語法の解説をしながら、そこに出てくる文法や語法を確認し、設問を解いてゆく。後期はさらにペースを上げながら、英語の読みも意識しながら、作文の運用能力の向上をはかる。
履修上の留意点	授業は予習を前提とし、毎回口頭による発表形式をとるので、積極的な授業参加を求めます。
成績評価の方法	授業中の口頭発表、出席率、小テスト（4回から6回）などを総合して評価します。ただし、平常授業の出席率が3分の2に満たない場合は「不合格」とします。
教科書	島本たい子著他 Essential Grammer for the TOEIC Test 1800円 ISBN9784777361632 マクミランランゲージハウス

履修コード	240211
科目名	英語IA〔基礎英語特別クラス〕
担当者名	おちあい かずあき 落合 和昭

講義のねらい このクラスのレベルは英語の基礎から中級（英検三級、準二級、二級）程度とし、英語圏の日常生活で、頻繁に、使用される現代口語英語表現を、リスニングを通して、学びながら、英語の運用能力を高めることを目標とする。また、各種の実用検定試験（英検、TOEIC、TOEFL、国連英語等）の受験準備にも役立つようにする。

講義の内容・授業スケジュール 講義は、主として、四段階からなる。第一段階として、リスニングを通して、英語の自然なスピードに慣れる。第二段階は書き取りをする。第三段階はリスニングのなかで使用されている慣用表現の意味を、テキストを通して、確認する。第四段階は学生に登場人物になってもらって、その会話を再現する（一人の場合と、二人以上の対話形式の場合もある）。

年間の授業計画は次の通りである。

- 第一回 オリエンテーション
- 第二回 『基本文型』 Lesson 1
- 第三回 『口語表現』 Chapter 1
- 第四回 『基本文型』 Lesson 2
- 第五回 『口語表現』 Chapter 2
- 第六回 『基本文型』 Lesson 3
- 第七回 『口語表現』 Chapter 3
- 第八回 『基本文型』 Lesson 4
- 第九回 『口語表現』 Chapter 4
- 第十回 『基本文型』 Lesson 5
- 第十一回 『口語表現』 Chapter 5
- 第十二回 『基本文型』 Lesson 6
- 第十三回 『口語表現』 Chapter 6
- 第十四回 『基本文型』 Lesson 7
- 第十五回 前期試験
- 第十六回 『口語表現』 Chapter 7
- 第十七回 『基本文型』 Lesson 8
- 第十八回 『口語表現』 Chapter 8
- 第十九回 『基本文型』 Lesson 9
- 第二十回 『口語表現』 Chapter 9
- 第二十一回 『基本文型』 Lesson 10
- 第二十二回 『口語表現』 Chapter 10
- 第二十三回 『基本文型』 Lesson 11
- 第二十四回 『口語表現』 Chapter 11
- 第二十五回 『基本文型』 Lesson 12
- 第二十六回 『口語表現』 Chapter 12
- 第二十七回 『口語表現』 Chapter 13
- 第二十八回 『口語表現』 Chapter 14
- 第二十九回 『口語表現』 Chapter 15
- 第三十回 後期試験

※上記の『基本文型』は『基本文型からコミュニケーションへ』、『口語表現』は『口語英語の基本的総合演習（改訂版）』。

なお、リスニング及び発音練習は毎回行う。

**履修上の留意点
成績評価の方法**

授業は、学生の予習を前提にして、徹底した演習形式を取るのので、学生の積極的な参加を求める。「前期試験」、20%、「後期試験」、20%、「授業中の評価（課題・授業中の発表・小テスト等を含む）」、60%。出席率は、前・後期試験を除く、平常授業の3分の2を越えなければ、成績は「不合格」とする。

教科書

- 1) 『基本文型からコミュニケーションへ』 朝日出版社 1,400円
ISBN978-4-255-15442-8 C1082
- 2) 『口語英語の基本的総合演習（改訂版）』 鶴見書店 1,400円
- 3) プリント

履修コード	246001
科目名	英語ⅠB
担当者名	<small>おちみい まゆ</small> 落合 真裕

講義のねらい 既に習得した文法や語法の復習をしながら、基礎英語力の向上をはかると共に、短時間で的確に英文の内容を把握できる力を養うことを目指します。また、ビデオ教材を使いリスニングの練習も取り入れ時事的な事柄についても聞いて理解できる力を身につけていきます。

講義の内容・授業スケジュール テキストに則って授業を進めていきます。まず、各課で取り上げられている話題に関する英文を読み、文法事項、構文、表現などを学び理解した後、ビデオを見てリスニングの練習を行います。

(1) オリエンテーション
(2～15) Unit 1 : The Beatles and Popular Music ~ Unit 6 : Beer and Microbreweries
(16～30) Unit 7 : Overseas Job ~ Unit12 : Winter Olympics

履修上の留意点 毎回必ず予習をし、辞書を持参してください。(電子辞書可)

成績評価の方法 前期・後期試験、授業時の発表、提出物、出席状況などにに基づき総合的に評価します。

教科書 Video Magazine, Vol.1 (朝日出版社) 1,800+税 ISBN978-4-255-15433-6

履修コード	246101
科目名	英語ⅠB
担当者名	<small>いせむら さだお</small> 伊勢村 定雄

講義のねらい E-mail の Reading を通して、高校の英語の点検をしつつ、一段上の大学レベルの英語読解を目指す。

講義の内容・授業スケジュール 詳しくは初回の導入で説明するので、必ず出席のこと。授業の進度は以下の通り。ほぼ教科書の順序で進む。
音読→訳読→設問) の形態で各 Unit を進む。なお進度は以下の通り：
4月 導入+1課
5月 2～3課
6月 4～5課
7月 期末考査+他
10月 6～7課
11月 8～9課
12月 10課+期末考査

履修上の留意点 予習不可欠。全員が当たります。辞書持参のこと！

成績評価の方法 考査(7割)+出席率(1.5割)+授業態度(1.5割)=100

教科書 A Practical Approach to E-mails, Sadao Isemura 著、英光社、1800円。

参考書等 なし

その他 なし

履修コード	246201
科目名	英語ⅠB
担当者名	<small>つみもと としお</small> 塚本 利男

講義のねらい 絶えず構文、文法、語彙などの知識の増強を図りながら、できるだけ多くの英文を速く、正確に読む基礎を習得することを目指す。

講義の内容・授業スケジュール 現代社会で話題になっていることがらなどを読みます。1. 若者文化 2. 健康 3. 社会(2～8)、4. 生物学 5. ミステリー 6. 食べ物(9～14)、7. 経済 8. 科学技術 9. スポーツ(16～22) 10. 伝記 11. 文化 12. 心理学(23～29)の24課から構成される英文です。1回目に授業の説明、15回目に前期試験、30回目に後期試験を実施します。毎回、授業の総仕上げとしてテキストの問題を提出してもらいます。

履修上の留意点 授業の予習をすること。辞書を持ってくること。

成績評価の方法 授業における発表、テキストの練習問題の成績、前・後期の試験に基づく。

教科書 宋戸真 kai Nordyke 『リーディング エキスパート 基礎編』(株)成美堂 1,800円+税 ISBN978-4-7919-1084-7

履修コード	246301
科目名	英語IB
担当者名	矢島 直子

講義のねらい 辞書を引いて英文を読めるようになり、英語の聞き取りにも慣れてもらうこと。

講義の内容・授業スケジュール 講義内容は、英語の長文を聞き、読んで意味を取って、問題に答えてもらうもの。
授業スケジュール 1回目－授業の説明。2～4回目－1章。5～14回目（計10回）－2～6章。15回目－前期末試験。16回目－前期末試験の解説。17～19回目－7章。20～29回（計10回）－8～12章。

履修上の留意点 どんどん当てて本文の意味を取ってもらい、問題に答えてもらいますから、必ず予習すること。1回目の授業から出席して下さい。

成績評価の方法 平常点と前期末・後期末試験の結果を総合的に評価します。

教科書 石谷由美子、他『構造で読む英文エッセイ』、南雲堂、1,700円、ISBN 978-4-523-17603-90

履修コード	246401
科目名	英語IB
担当者名	落合 真裕

講義のねらい 既に習得した文法や語法の復習をしながら、基礎英語力の向上をはかると共に、短時間での確に英文の内容を把握できる力を養うことを目指します。また、ビデオ教材を使いリスニングの練習も取り入れ時事的な事柄についても聞いて理解できる力を身につけていきます。

講義の内容・授業スケジュール テキストに則って授業を進めていきます。まず、各課で取り上げられている話題に関する英文を読み、文法事項、構文、表現などを学び理解した後、ビデオを見てリスニングの練習を行います。
(1) オリエンテーション
(2～15) Unit 1 : The Beatles and Popular Music ~ Unit 6 : Beer and Microbreweries
(16～30) Unit 7 : Overseas Job ~ Unit12 : Winter Olympics

履修上の留意点 毎回必ず予習をし、辞書を持参してください。(電子辞書可)

成績評価の方法 前期・後期試験、授業時の発表、提出物、出席状況などにに基づき総合的に評価します。

教科書 Video Magazine, Vol.1 (朝日出版社) 1,800+税 ISBN978-4-255-15433-6

履修コード	246501
科目名	英語IB
担当者名	塚本 利男

講義のねらい 絶えず構文、文法、語彙などの知識の増強を図りながら、できるだけ多くの英文を速く、正確に読む基礎を習得することを目指す。

講義の内容・授業スケジュール 現代社会で話題になっていることがらなどを読みます。1. 若者文化 2. 健康 3. 社会 (2～8)、4. 生物学 5. ミステリー 6. 食べ物 (9～14)、7. 経済 8. 科学技術 9. スポーツ (16～22) 10. 伝記 11. 文化 12. 心理学 (23～29) の24課から構成される英文です。1回目に授業の説明、15回目に前期試験、30回目に後期試験を実施します。毎回、授業の総仕上げとしてテキストの問題を提出してもらいます。

履修上の留意点 授業の予習をすること。辞書を持ってくること。

成績評価の方法 授業における発表、テキストの練習問題の成績、前・後期の試験に基づく。

教科書 宍戸真 Kai Nordyke 『リーディング エキスパート 基礎編』(株)成美堂 1,800円+税 ISBN978-4-7919-1084-7

履修コード	246601
科目名	英語IB
担当者名	伊勢村 定雄 <small>いせむら ちかお</small>

講義のねらい 現代アメリカ文化と社会を見直しつ、英語読解力の点検を行ないつつ一段上の大学英語を目指す。

講義の内容・授業スケジュール 各授業は主に、
 {音読→訳読→設問} という手順で進めるが、詳細は初回の導入で説明する。
 なお、日程は以下の通り。
 4月 導入
 5月 1～2課
 6月 3～4課
 7月 5課+期末考査
 10月 5～6課
 11月 7～8課
 12月 9課+期末考査

履修上の留意点 履修上の留意点
 成績評価の方法 予習不可欠！辞書持参のこと！
 教科書 考査結果（7割）+出席率（1.5割）+授業態度（1.5割）=100
 『アメリカの現在と未来』、Joseph Laurer & Eiji Tsuji, 南雲堂、1800円
 参考書等 なし
 その他 なし

履修コード	246711
科目名	英語IB
担当者名	落合 真裕 <small>おちあい まゆ</small>

講義のねらい 既に習得した文法や語法の復習をしながら、基礎英語力の向上をはかると共に、短時間での確に英文の内容を把握できる力を養うことを目指します。また、ビデオ教材を使いリスニングの練習も取り入れ時事的な事柄についても聞いて理解できる力を身につけていきます。

講義の内容・授業スケジュール テキストに則って授業を進めていきます。まず、各課で取り上げられている話題に関する英文を読み、文法事項、構文、表現などを学び理解した後、ビデオを見てリスニングの練習を行います。
 (1) オリエンテーション
 (2～15) Unit 1 : The Beatles and Popular Music ~ Unit 6 : Beer and Microbreweries
 (16～30) Unit 7 : Overseas Job ~ Unit12 : Winter Olympics

履修上の留意点 履修上の留意点
 成績評価の方法 毎回必ず予習をし、辞書を持参してください。(電子辞書可)
 教科書 前期・後期試験、授業時の発表、提出物、出席状況などに基づき総合的に評価します。
 Video Magazine, Vol.1 (朝日出版社) 1,800+税 ISBN978-4-255-15433-6

履修コード	246721
科目名	英語IB
担当者名	塚本 利男 <small>つかもと としお</small>

講義のねらい 絶えず構文、文法、語彙などの知識の増強を図りながら、できるだけ多くの英文を速く、正確に読む基礎を習得することを目指す。

講義の内容・授業スケジュール 基本的な語彙1500語レベルの記事を読み、その内容を把握したかどうか確認するために練習問題を解きます。毎回、授業の総仕上げとしてテキストの問題を提出してもらいます。
 1部として健康に関して1章精神(2～4)、2章身体(5～7)、3章治療法(8～10)、新しい解決法(11～14)、2部として環境に関して5章自然現象(16～19)、6章自然の恵み(20～24)、7章新しい科学技術(25～29)を読む。授業の概要を説明(1)する。前期・後期のテストを実施する(15と30)。

履修上の留意点 履修上の留意点
 成績評価の方法 授業の予習をすること。辞書を持ってくること。
 教科書 授業における発表、テキストの練習問題の成績、前・後期の試験に基づく。
 Shawn M.Clankie・小林敏彦 『かけがえない健康と環境』 (株)成美堂 1,900円+税
 ISBN978-4-7919-4624-2

履修コード	246731
科目名	英語IB
担当者名	手島 敬子

講義のねらい 本授業では、英語読解力を含め、真の英語力を身に付けるために「基礎からのやり直し」をテーマに基礎の確認、強化を図ります。

講義の内容・授業スケジュール 「読む、書く、聞く、話す」の全ての面で英語力の向上のために土台となるものは文法です。基本的な英文法の理解なしに、真の英語力を身に付けることはできません。本授業では、読解力向上のために不可欠となる中学、高校までに学習した基礎的英文法の確認、強化を重点的に行います。併せて、英語で書かれた文章を正確に読み取る練習を実践的に行っていきます。授業は予習、復習が前提となります。教室以外でも積極的に学習に取り組まなければなりません。前期、後期の授業最終日に期末試験を行う予定です。

履修上の留意点 また、必要に応じ、小テストを行います。最低2/3以上の授業出席が必要となります。課題は必ず期限を守って提出して下さい。授業時には必ず辞書を持参して下さい。

成績評価の方法 前期試験、後期試験、小テスト、課題、出席状況、授業への参加度等に基づき、総合的に評価します。

教科書その他 開講時に指示します。授業、成績等に関する質問、相談は遠慮なく早めにしましょう。

履修コード	246741
科目名	英語IB
担当者名	伊勢村 定雄

講義のねらい 英語力の点検に加えて、より高度な大学の英語習得を旨とする。方法としては最初に説明するが、英語から英語を読む読解を旨とする。

講義の内容・授業スケジュール 各授業のやり方はほぼ以下の方法で進めるものとする。教科書にそって、{音読→訳読→設問}の順序ですすむが、音読は全員で行なうので、積極的に参加して欲しい。

また、各月の進度は以下の通り：
 4月 導入+1課
 5月 2～3課
 6月 4～5課
 7月 6課+期末考査
 10月 7～8課
 11月 9～10課
 12月 11課+期末考査

履修上の留意点 当初にはどのような予習をすればいいか不明なものも徐々に、出来るだけ早く、何を教師が求めているかを察知し、授業の体制を整えてほしい。準備こそが天才なのだから！
 予習不可欠。
 辞書持参のこと。

成績評価の方法 成績は主に以下の方法でつける。
 考査結果(7割) + 出席率(1.5割) + s 授業態度(1.5割) = 100

教科書参考書その他 What Happened in US History, John Wison ; H.Furukawa 著、英光社.1600円
 なし
 なし

履修コード	246941
科目名	英語IB〔基礎英語特別クラス〕
担当者名	矢島 直子

講義のねらい 英語を読み、書いて、英語に慣れてもらいたいです。

講義の内容・授業スケジュール 教科書の文法を解説したあと、問題をとってもらいます。毎回小テストをします。
 1回目－授業の説明。2～14回目－各1回毎に1章ずつ進みます。15回目－前期末試験。16回目－前期末試験の解説。17～29回目－各1回毎に1章ずつ進みます。30回目－後期末試験。

履修上の留意点 どんどん当てて問題に答えてもらいますから、必ず予習すること。1回目の授業から出席して下さい。

成績評価の方法 小テストと前期末・後期末試験の結果を総合的に評価します。

教科書 田本健一、『基本英語表現法』、成美堂、1,600円、ISBN 4-7919-4907-2。

履修コード	247101
科目名	英語IC (会話) 英語IC (会話) [再クラス]
担当者名	ロンゴ, T.

講義のねらい The students will work on improving their communicative and listening skills.
 履修上の留意点 4 absences in one semester is poor attendance.
 Come to every class and your English will improve!
 成績評価の方法 Regular attendance and participation is expected of each student.
 教科書 The textbook will be assigned at the first class meeting.

履修コード	247701
科目名	英語IC (会話) 英語IC (会話) [再クラス]
担当者名	ミックエリゴット J. P.

講義のねらい This course will cultivate in students a higher level of natural oral and written English expression.
 Through this course students should be able to listen and understand longer English texts, carry on an extended conversation and write in English at some length.
 講義の内容・授業スケジュール Students will enter into a weekly journal at the beginning of each class. The journals will be read aloud and/or exchanged with classmates. Following the class textbook themes, students will read and write about topics of daily interest. The teacher will help empower students with the skill of proficient writers, to be able to use English accurately and creatively to perform a variety of writing tasks.
 This is a highly interactive class. Students will be placed in small groups and pairs. Students will ask each other questions and offer opinions according to the theme of each chapter of the text.
 履修上の留意点 Student grades will be based on attendance, completion of class assignments, class participation and oral presentation.
 成績評価の方法 GPA方式
 教科書 Dale Fuller & Clyde Grimm 著 "New Airwaves Developing Better Listening Skills"
 Macmillan Language House \2,100
 参考書等 Bilingual dictionary

履修コード	253701
科目名	英語IIA
担当者名	佐藤 江里子

講義のねらい IIAを基礎とし、より高度な英語 (Writing/Speaking) の運用能力を身につける。テキスト中心に、演習形式で授業を進めていく。その他に補足プリントを配布し、TOEIC等の各種検定にも対応できる英語力の習得をめざす。
 講義の内容・授業スケジュール (1)小テスト、(2~6)Unit1-5、(7)確認テスト①、(8~12)Unit6-10、(13)確認テスト②、(14~18)Unit11-15、(19)確認テスト③、(20~24)Unit16-20、(25)確認テスト④、(26~30)Unit21-24/ 文法のまとめと語彙力の強化。
 履修上の留意点 必ず予習をし、辞書を用意して授業に出席すること。授業中に、私語をしたり、寝ている場合は出席とみなさないので注意すること。
 出席日数が全授業日数の3分の2以上に達していない場合は、定期試験を受ける資格を失い、評価の対象から外れるので十分に注意すること。
 成績評価の方法 年2回の定期試験 (50%) と小テスト、提出物、発表などの平常点 (50%) から総合的に評価する。特に、出席状況や授業態度を重視する。
 教科書 『NHK WORLD NEWS: Global Perspectives』 (南雲堂) 2,100円

履修コード	253801
科目名	英語IIA
担当者名	吉沢 栄治郎 <small>よしざわ えいじろう</small>

講義のねらい 短い日本語を英訳してゆきます。日常的な日本語ですので分かりやすいとおもいますが、それをいかに効果的な英文に直すかがポイントです。数多くの短文をつぎつぎと英訳してゆきます。

講義の内容・授業スケジュール 一回の授業についておよそ10題位の和文を英語に直すだけですけれど、事はそうカンタンにはまいません。直訳でいくか、意識でいくら、相当に考えていただかねばなりません。シンプルなほど実はむずかしいからなのです。辞書を再三再四、使っていただいて、さらに熟考しつつのぞまないと（成果）は得られません。というのは若干いいすぎかもしれませんが、そのくらいの準備は常日頃から、心がけていただくことになります。

履修上の留意点 和英辞典をよくつかって下さい。

成績評価の方法 ペーパーテストと出席状況、及び提出物の総合評価とします。

履修コード	254001
科目名	英語IIA
担当者名	高橋 明子 <small>たかはし あきこ</small>

講義のねらい BBCドキュメンタリーの映像を観ながら、英語表現に不可欠な語彙力やリスニング力を習得し、英文作成や会話の練習もします。

講義の内容・授業スケジュール テキストの各 Chapter を二回の授業を目安にして進めます。毎回の授業で、テキストのほかにプリント教材によるリスニング練習を取り入れます。

成績評価の方法 平常点（出席状況や発表など）と前期・後期の試験結果とを総合して評価します。

教科書 『Welcome to BBC on DVD』(成美堂) 2,300円+税
ISBN978-4-7919-1085-4

履修コード	254101
科目名	英語IIA
担当者名	川崎 笑佳 <small>かわさき えみか</small>

講義のねらい 1年次の writing 能力を基盤として、更に高度な意思伝達能力を身につけるための練習を行う。まずは単文による英作文からステップアップしていき効果的な表現を伴った自由作文を書けるようになることを最終目的とする。また、TOEIC、TOEFLなども毎回の授業に取り入れる予定。

講義の内容・授業スケジュール (1) プリント使用の授業 (2) ~ (3) Conclusions/Reasons (4) ~ (5) Analysis (6) ~ (7) Theory/Proof (8) ~ (9) Controversy (10) ~ (11) Comparison/Contrast (12) ~ (13) Classification (14) ~ (15) プリント使用の授業 (16) ~ (17) Instructions (18) ~ (19) Chronological order(History) (20) ~ (21) Cause & Effect (22) ~ (23) Process (24) ~ (25) Explanation(New Product) (26) ~ (27) Definition (28) ~ (29) Explanation(Statistics) (30) プリント使用の授業

履修上の留意点 学生全員が予習をしていることを前提に授業を進める。また、学生には毎回授業中に英作文を書いてもらうので、和英辞書は必須である。(電子辞書も可。)

成績評価の方法 3分の2以上の出席および毎回の提出物、発表内容、授業態度をもとに総合的に評価する。

教科書 石谷由美子 Emma Andrews 『Skills for Better Writing 構造で書く英文エッセイ』(南雲堂) 1995円

履修コード	254201
科目名	英語IIA
担当者名	佐藤 江里子

講義のねらい IAを基礎とし、より高度な英語（Writing/Speaking）の運用能力を身につける。テキストを中心に、演習形式で授業を進めていく。その他に補足プリントを配布し、TOEIC等の各種検定にも対応できる英語力の習得をめざす。

講義の内容・授業スケジュール (1)小テスト、(2～6)Unit1-5、(7)確認テスト①、(8～12)Unit6-10、(13)確認テスト②、(14～18)Unit11-15、(19)確認テスト③、(20～24)Unit16-20、(25)確認テスト④、(26～30)文法のまとめと自由英作文。

履修上の留意点 必ず予習をし、辞書を用意して授業に出席すること。授業中に、私語をしたり、寝ている場合は出席とみなさないので注意すること。

成績評価の方法 出席日数が全授業日数の3分の2以上に達していない場合は、定期試験を受ける資格を失い、評価の対象から外れるので十分に注意すること。

教科書 年2回の定期試験（50%）と小テスト、提出物、発表などの平常点（50%）から総合的に評価する。特に、出席状況や授業態度を重視する。

『English Checklist』（南雲堂）1,890円

履修コード	254301
科目名	英語IIA
担当者名	岩原 康夫

講義のねらい 比較文化的な問題を考えながら、コミュニケーション能力の向上を目指す。

講義の内容・授業スケジュール パラグラフの構成や英語と日本語の違いを理解し、自ら発信できる英語表現を学習する。前期はテキストの1～3章（2～7）と4～7章（8～15）、後期は8～11章（1～9）と12～15章（10～15）の予定で授業を進める。

履修上の留意点 予習、発表、質問、課題などは平常点として考慮される。

成績評価の方法 前期・後期の試験60パーセント、平常点40パーセントを基準として、成績評価をする。

教科書 Takayuki Ishii, et al., Step up to Better English（朝日出版）1700円
ISBN978-4-255-15469-5 C1082

履修コード	254401
科目名	英語IIA
担当者名	久保 ひさ子

講義のねらい 西洋でも、東洋でも、現代おこなわれている自然治療法を BBC Documentary 映像の英語字幕付の、DVD教材を使用しながら、学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール ①偶発的な外国語を獲得する。②発音・イントネーション・リズムの使い方を学習する。③練習問題を解く。④自然のスピードで読むと同時に、内容を理解し応用できるようにする。

履修上の留意点 DVDを見る時は、テキストやノートは見ないで、DVD映像と音声だけに集中する。

成績評価の方法 前・後期試験と、出欠と授業点の合計点

教科書 Steve Lia etc, BBC Documentary Natural Remedies, Longman Kiri hara ¥2000+ tax

履修コード	254451
科目名	英語IIA
担当者名	鈴木 美貴子

講義のねらい 色々な場面の会話表現を学びながら英作文力をつける。

講義の内容・授業スケジュール テキストに従って学ぶ。随時こちらで用意したリスニング教材でも会話表現を学ぶ。随時エッセイを提出して頂く。

履修上の留意点 前期スケジュール：1回目オリエンテーション、2～4回目 Unit 1～2、5～7回目 Unit 3～4、8～10回目 Unit 5～6、11～13回目 Unit 7～8、14回目エッセイの書き方、15回目試験
後期スケジュール：16回目オリエンテーション、17～19回目 Unit 9～10、20～22回目 Unit 11～12、23～25回目 Unit 13～14、26～28回目 Unit 15～16、29回目エッセイの書き方、30回目試験

必ず辞書（英和・和英）を持参する。

成績評価の方法 出席状況（出欠席・授業への姿勢）、前・後期試験、提出物により総合的に評価する。

教科書 「日常会話の英作文 Lively Writing」（南雲堂、1800円）
ISBN4-523-17388-5 C0082

履修コード	254461
科目名	英語IIA
担当者名	三幣 友行

講義のねらい 英語IAで学んだことを基礎として、英語表現能力のさらなる向上を目指す。
 講義の内容・ 予習を前提として授業をすすめる。
 授業スケジュール

授業スケジュール
 第1回 lesson 1
 第2回 lesson 1 Exercise
 第3回 lesson 2
 第4回 lesson 2 Exercise
 第5回 lesson 3
 第6回 lesson 3 Exercise
 第7回 lesson 4
 第8回 lesson 4 Exercise
 第9回 lesson 5
 第10回 lesson 5 Exercise
 第11回 lesson 6
 第12回 lesson 6 Exercise
 第13回 lesson 7
 第14回 lesson 7 Exercise
 第15回 lesson 8
 第16回 lesson 8 Exercise
 第17回 lesson 9
 第18回 lesson 9 Exercise
 第19回 lesson 10
 第20回 lesson 10 Exercise
 第21回 lesson 11
 第22回 lesson 11 Exercise
 第23回 lesson 12
 第24回 lesson 12 Exercise
 第25回 lesson 13
 第26回 lesson 13 Exercise
 第27回 lesson 14
 第28回 lesson 14 Exercise
 第29回 lesson 15
 第30回 lesson 15 Exercise

履修上の留意点 欠席数が全体の1/3を超えたら単位は認めない。
 成績評価の方法 前期テスト、後期テスト、小テスト、出席点、平常点を総合的に評価する。
 教科書 未定。開講時に指示する。
 その他 授業への積極的な参加を望む。

履修コード	254471
科目名	英語IIA
担当者名	狩野 晃一

講義のねらい 一年次の英語力をもとにリスニング、ライティングの更なるスキルアップを目指す。
 講義の内容・ 簡単なリスニングでウォームアップしてから徐々に聴き取りにくいものへと進む。ライティングも
 授業スケジュール 同様。
 履修上の留意点 辞書を持参すること。電子辞書は可。携帯電話での辞書参照は不可。必ず予習復習のこと。積極的
 な授業への参加を期待する。
 成績評価の方法 3分の2以上の出席が求められる。平常点と各期末に行われる試験で総合的に判断する。
 教科書 教場にて指定する。

履修コード	254481
科目名	英語IIA
担当者名	落合 真裕

講義のねらい 英語IAで培った英語力を基礎とし、ライティングによる内容伝達力の向上を目指します。

講義の内容・授業スケジュール 日本語と英語の語順の違いや英文の作り方を学びながら、身近な話題について、自分の意見が書けるようになることを目指します。

(1) オリエンテーション
(2~15) Unit 1 : Pre-writing Activity ~ Unit 7 : Music and Sports
(16~30) Unit 8 : Japan and the UK ~ Unit 15 : Writing Your Essay

履修上の留意点 毎回必ず予習をし、辞書を持参してください。(電子辞書可)

成績評価の方法 前期・後期試験、授業時の発表、提出物、出席状況などに基づき総合的に評価します。

教科書 Primary Course on Paragraph Writing (成美堂) 1,900+税 ISBN978-4-7919-4629-7

履修コード	259301
科目名	英語IIB
担当者名	井出 功一

講義のねらい テキストは世界各地域の国民、民族、部族が何を、どのように料理し、どのような作法で食べているかを、比較文化の立場から現地調査して書いた食文化論です。

講義の内容・授業スケジュール イギリスのお茶(2回)、中国のお茶(2回)、茶の湯(2回)、コーヒーの道(2回)、ナイフ・フォーク文化圏(2回)、手食の文化圏(2回)、中華料理(2回)、フランス料理(2回)、日本料理(2回)、アメリカ料理(2回)、パン食文化圏(2回)、根栽農耕文化(2回)、世界の麺類(2回)、牛乳の文化(2回)、香辛料(2回)

なお、最近の話題の食料、例えばアンデス山脈からやってきた「ヤーコン」(Yacon)、通称キャプテン・クックのニュージーランドの探検からもたらされた「ソルナ」(New Zealand Spinach)、歴史の古い「蜂蜜酒」(Mead)、シベリヤ南部原産で16世紀にヨーロッパに導入された「ルバーブ」(Rhubarb)、フランス、イタリア原産で、サラダに最適のニュー野菜「トレビス」(Treviso)なども説明します。

成績評価の方法 前後期試験、平常試験、出席、受講態度による総合評価

教科書 『A Global Tour of Dietary Culture』(世界の食文化) 成美堂

その他 全授業日数の3分の2以上の出席、予習、辞書の携帯が必要です。

履修コード	259401
科目名	英語IIB
担当者名	山口 晃

講義のねらい IBの勉強を土台にして、英語の読解力をさらに深める。

講義の内容・授業スケジュール 毎回の授業では、英文を深く理解し、解釈するための練習を行う。毎回十名前後の学生がこの練習・発表を行なう。

履修上の留意点 辞書はかならず毎回持ってくること。遅刻は成績評価に関係してくるので注意すること。

成績評価の方法 出席、発表、レポートの三つで成績評価を行なう。遅刻すると発表の機会が失われるので注意すること。

教科書 授業中の発表を非常に重視するので、毎回の授業に何よりも集中することが評価につながる。毎回、プリントを配布する。

履修コード	259501
科目名	英語II B
担当者名	尾形 重政

講義の内容・授業スケジュール 日本人学生が旅行者としてあるいは留学生として、アメリカで遭遇しうる場面で、適切に行動できるように必要な英語運用能力と、異文化理解の手助けとなるような背景知識等を教科書や他の教材を通して学んでいきます。
1. Right on Time 2. In Your Face 3. Restaurant 4. Money 5. Getting Around Town 6. Hotels 7. Phone calls 8. Cooking 9. Driving a Car 10. Holidays 11. Supermarkets 12. Medical Care 13. Shopping 14. Meeting People 15. Invitation 16. Manners 17. Reservation 18. その他 19. 前期試験及び後期試験

履修上の留意点 予習して授業に臨むこと。英和辞典を持参すること。

成績評価の方法 全授業回数の3分の2以上出席すること。小テストやレポート等課題及び授業への積極的参加を重視します。年2回のテスト。以上を鑑み評価を出します。

教科書 『Culture Watch U.S.A.』(成美堂) ISBN4-7919-0543-1

履修コード	259701
科目名	英語II B
担当者名	加藤 佐和子

講義のねらい 現代社会が抱える様々な問題に関するニュースを読み読解力をつける。ニュースに実際に使われている英語表現を覚え、実生活に役立つ英語のスキルを伸ばしていく。

講義の内容・授業スケジュール テキストに、アメリカのABC放送のテレビニュース番組から録画、編集した「ABC World News」を使用する。一回の授業で1レッスンづつ進む。内容を把握し、その後トピックに関するディスカッションをする。

履修上の留意点 予習を必ずすること。

成績評価の方法 授業参加度 50%
学期末テスト 50%

教科書 ABC World News 11 (金星堂)

履修コード	259801
科目名	英語II B
担当者名	落合 真裕

講義のねらい 英文読解に必要なスキルを習得しながら、様々なジャンルの英文を読む力を養っていきます。また、速読の練習も行うと同時に正確に英文を理解して読んでいく力を身につけていきます。

講義の内容・授業スケジュール 600語程度の英文を通して、英文を正確に読めるようになるためのスキルを身につけ、必要な知識・情報を掴み取る読解力を鍛えていきます。
(1) オリエンテーション
(2~15) Unit 1 : Have I Found Ms. Right? — Scanning
~ Unit 7 : Earth's Mysterious Places — Identifying Main and Supporting Ideas(1)
(16~30) Unit 8 : Is an Only Child a Lonely Child? — Identifying Facts versus Opinion
~ Unit 15 : Changing Roles: Stay-at-Home Dads — Identifying Main Ideas within Paragraphs(2)

履修上の留意点 毎回必ず予習をし、辞書を持参してください。(電子辞書可)

成績評価の方法 前期・後期試験、授業時の発表、提出物、出席状況などに基づき総合的に評価します。

教科書 Advanced Skills for Reading (成美堂) 1,700+税 ISBN4-7919-1034-6

履修コード	259811
科目名	英語II B
担当者名	濱口 真木

講義のねらい 文法・構文を重点的にチェックしつつ、テキストの内容をより速く正確に読みとる能力の向上をはかる。

講義の内容・授業スケジュール 文化、社会、政治、経済、教育等の分野のニュースを取り上げてテキストを読みすすめる。Blogging Granny ~ Cat Lovers, Unite! (1~14)、Practice Makes Perfect! ~ Food Mileage (15~30)。

成績評価の方法 出席や発表などの平常評価 (50%)、前期・後期試験 (50%) の総合評価。

教科書 Insights 2009 (金星堂) 1900円 ISBN978-4-7647-3872-0

履修コード	259901
科目名	英語ⅡB
担当者名	照山 雄彦 <small>てるやま ゆうひこ</small>

講義のねらい 平易な英語表現の整理と確認を行いながら、より高度な英語の運用能力を目指した授業を行う。できるかぎり英文で思考し、発音し、そしてライティングへと向かうことが必要である。そのため多くの英文に触れながら、さまざまな場面や角度から英語の表現方法を習得して行く。

講義の内容・授業スケジュール (1) 講義の内容説明、(2～6) 最も重要と思われる名詞、動詞とその表現、(7～25) 対話、主語、時制、述部、助動詞比較、仮定表現、形容詞、副詞、各節、非定形動詞と実践、(26～30) まとめ、応用表現

履修上の留意点 辞書は必ず持参すること。予習、復習は必ずすること。

成績評価の方法 出席状況を考慮し、学期末試験と授業内に提出を求める課題を評価する。

教科書 授業の第1日めに教場にて紹介する。

参考書等 授業の第1日めに教場にて紹介する。

履修コード	259951
科目名	英語ⅡB
担当者名	高野 秀夫・川崎 笑佳 <small>たかの ひでお かわさき えみか</small>

講義のねらい 一年時の読解能力を基礎として、speed reading の上達および英語長文の正確な内容把握を目標とする。授業は基本的にはテキスト中心に行う予定であるが、学生の希望や必要に応じてTOEIC, TOEFLその他の教材を利用する。

講義の内容・授業スケジュール (1) プリント使用の授業 (2) Chapter 1 (3) Chapter 2 (4) Chapter 3 (5) Chapter 4 (6) Chapter 5 (7) プリント使用の授業 (8) Chapter 6 (9) Chapter 7 (10) Chapter 8 (11) Chapter 9 (12) Chapter 10 (13)～(14) プリント使用の授業 (15) 試験 (16) プリント使用の授業 (17) Chapter 11 (18) Chapter 12 (19) Chapter 13 (20) Chapter 14 (21) Chapter 15 (22) プリント使用の授業 (23) Chapter 16 (24) Chapter 17 (25) Chapter 18 (26) Chapter 19 (27) Chapter 20 (28)～(29) プリント使用の授業 (30) 試験

履修上の留意点 学生全員が予習していることを前提として授業を進める。

成績評価の方法 3分の2以上の出席と授業態度(発表を含む)、前期、後期末試験の結果をもとに総合的に評価する。

教科書 深山晶子 村尾純子 古賀友也 William Figoni 『Insights 2009 世界を読むメディア英語入門 2009』(金星堂) 1995円

履修コード	259961
科目名	英語ⅡB
担当者名	堀 千和子

講義のねらい	<p>自分の意見を英語で的確に書く技術を習得してもらいます。前期では、センテンス・レベルで、自分の伝えたいことを英語で書くことを、また、main idea, topic sentence, controlling idea, supporting sentences によって有機的に構成されるパラグラフを書くことを目標に、英作文の練習をしていきます。後期には、5～6段落からなるエッセイを書くことを目標にして、その技術を学んでいきます。</p>
講義の内容・授業スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> ・文法事項を復習し、それを応用しながら英作文をしてもらいます。ライティングだけでなく、一般的な英語の力をつけてもらうために、リーディング、リスニングの練習問題、シャドーイングなども取り入れていく予定です。 ・前期—5月に1度、教科書の課題を提出。 前期末にレポートを提出。有機的に構成されるパラグラフを書くことが課題となる。 夏休み—パラグラフ・ライティング（夏休み明けに提出） 後期—終わりにレポートを提出。有機的に構成され、自分の言いたいことが明確にわかる5～6段落からなるエッセイを書くことが課題となる。（以上の提出物の題目、形式、提出期限は追って指示する） ・毎時、授業中に勉強したこと の理解度を見るために、簡単な提出物を出してもらいます。（平常点となる） 前期は、いつどのようなことを授業で扱ったかがわかる「出席シート」に記入をし、 後期は、エッセイ・ライティングに備えて、文法の正確さを気にせず制限時間内に多くの英語を書くフリー・ライティングをしてもらいます。
履修上の留意点 成績評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・学期の最終授業時に教場内試験を行う。どちらか一方でも欠席した場合は、単位を取得できない。 ・前期試験(25%)、後期試験(30%)、前期提出物(10%)、夏休みレポート(5%)、後期提出物(20%)、発表や発言などの授業への貢献度、授業へのまじめな取り組み(10%)から総合的に判断します。 ・遅刻は3回で1回の欠席となります（授業開始30分以上たって来た場合は欠席扱いとなる）。 ・欠席は1回につき2点の減点とし、通年の授業回数の3分の1以上の欠席で失格とします。欠席を補う提出物はないので、くれぐれも欠席をしないこと。 ・公的な欠席と認められるのは、忌引き、体育会の試合当日、教育実習などの実習である。
教科書	未定。追って指示します。

外国語

履修コード	259971
科目名	英語II B
担当者名	^{まつどう} 松堂 ^{みほこ} 啓子

講義のねらい パラグラフの大意を把握しながら、文章全体の論理的構成を理解する。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 ガイダンス
- 2 Ford Model T
- 3 Coca-Cola Bottle
- 4 Juicy Salif Lemon Squeezer
- 5 Leica Camera
- 6 Harley-Davidson Motorbike
- 7 Le Corbusier Chairs
- 8 Arco Floor Lamp
- 9 Red/Blue Chair
- 10 Chrysler Building
- 11 Bird Kettle
- 12 Mackintosh Ladderback Chair
- 13 前期試験
- 14 試験解説
- 15 Chanel No.5
- 16 Swatch Watch
- 17 Guggenheim Museum Bilbao
- 18 PH Lamp
- 19 Casa Batllo
- 20 Swiss Army Knife
- 21 La Cornuta Coffee Machine
- 22 McDonald's Fast Food Pack
- 23 Apple iMac
- 24 後期試験

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書

単位取得には、三分の二以上の出席が必要である。
試験の結果（8割）、課題等（2割）。
Design Makes the World Go'Round
トムソン・コーポレーション 1900円
ISBN978-4-902902-77-8

履修コード	259981
科目名	英語II B
担当者名	^{あしがわら} 勅使河原 ^{みほこ} 三保子

講義のねらい IBを基礎として、英文和訳から脱却し、さらにより効果的に英文が読めるようになることを目指します。

講義の内容・
授業スケジュール
成績評価の方法
教科書

前期は段落構造について復習をしながら様々なジャンルの比較的短い読み物を中心に精読を行います。後期は経済や時事問題についての読み物を中心に、長めの読み物を読み進めます。
定期試験、レポート、小テスト、平常点
卯城祐司／中川知佳子／Mari Le Pavoux著、『Reader's Ark 英語リーディングの冒険』 金星堂
1995年、ISBN978-4-7647-3865-2

履修コード	260001
科目名	英語II C (会話) 英語II C (会話) [再クラス]
担当者名	セイジ, K

講義のねらい	Students who take this class will improve their general confidence in English and conversation skills. This course will have a lot of pair activities which use the English of everyday situations.
講義の内容・授業スケジュール	In lessons you will do activities mainly in pairs based on functions that are common in daily English conversation. You will be required to make conversations in pairs and perform them in front of the class. Plus, review activities on YeStudy will be expected.
履修上の留意点	Come to class ready to do activities and try your best to improve your confidence in English and conversaiton skills.
成績評価の方法	1. Class activities 2. Pair preparation and performance 3. YeStudy work and use 4. Attitude and attendance
教科書 参考書等	There is no textbook. You will need to keep printouts and YeStudy will be used. A dictionary, preferably an electronic one.

履修コード	262301
科目名	英語III A 英語III A [再クラス]
担当者名	伊藤 美代子

講義のねらい	IA, IIAからさらに進んで高度な英語の運用能力をめざす。英語を学ぶことから一歩進んで、英語で学ぶことも体験する。実際の経済ニュース記事を学ぶことにより、実社会の経済動向の理解も深めることも目的とする。
講義の内容・授業スケジュール	原則として和訳は行わず、英語による内容の理解を図る。できるだけ、英語を使用するが、構文等の説明や経済活動等の説明は日本語で行う。本文を理解した後、和文英訳により英語力を強化する。また、内容についてのリスニングの訓練も行う。
履修上の留意点	予習が絶対条件である。半期に4回以上欠席したものには、単位を与えない。遅刻2回で欠席1回と数える。
成績評価の方法	各学期毎に中間テストと期末テストを行い、その結果の平均が80%、残りの20%は、平常点、小テスト、提出物等により計算する。
教科書	1. Dave Hara, Yoko Okayama, Hayley Davies 『経済ニュースを読む (国内編)』(南雲堂) ¥1,600 2. 同上: 『経済ニュースを読む (国際編)』(南雲堂) ¥1,500

履修コード	262401
科目名	英語III A 英語III A [再クラス]
担当者名	岩井 洋美

講義のねらい	今後ますますグローバル化する世の中では、旅行のみならずビジネスでも英語を必要とします。社会人として役立つ英語を習得し、実際にやり取りができるようにします。
講義の内容・授業スケジュール	毎週テキストに沿って進めます。前半: 就職活動、社内での英語など、後半: 出張・旅行での英語など
履修上の留意点	欠席遅刻の多い学生と授業参加を好まない学生は単位を取ることができません。就職活動で欠席する学生はその度に報告すること。第1回目の授業に必ず出席してください。
成績評価の方法	出席授業態度 前期・後期試験 クラス内小テスト・課題
教科書	津田晶子 Open Career Doors 桐原書店 1800円

履修コード	262501
科目名	英語ⅢA 英語ⅢA〔再クラス〕
担当者名	小布施 圭佐三

講義のねらい	この授業の目的は、英文和訳や訳読ではなく、読むためのスキルとして、語彙力、内容予測力、大意把握などを養うことで、英語による内容理解力を高めることにあります。
講義の内容・授業スケジュール	(1) ガイダンス (授業を展開する上で) (2～7) [PART I] FAMILY TIES:(Chapter 1.TV no substitute for parenting ~ Chapter 6.Wives stuck caring for both sets of parents) (8) Pretest (9～14) [PART II] EDUCATIONAL PROBLEMS:(Chapter 1.Teach English at the expense of Japanese? ~ Chapter 5. Encourage healthy eating habits) (15) 中間テスト (16～25) [PART III] WORK AND LIFE:(Chapter 1. Companies struggling to train workers ~ Chapter 5. What follows “equal rights”?) (26～29) [PART IV]SOCIAL PROBLEMS:(Chapter 1. High time to act on high tides ~ Chapter 5. Japan must fight giant jellyfish invasion) (30) 期末テスト
履修上の留意点	進度は各課90分で消化。授業は演習方式で行います。受け身の授業ではなく、ペア・ワークを多用し、授業の活性化を図ります。音声指導に当たっては、テープレコーダーを使用します。
成績評価の方法	出席 (30点) / レポーター・レポート・授業の貢献度 (20点) / 小テスト・中・期末テスト (50点)などを加味して総合評価します。
教科書	玉井久之/田代直也/P.M.ケリー:『日本の今を考える』(Contemporary Issues in Japanese Society) (英宝社) 1,800円 ISBN978-4-269-19032-0 C1082

履修コード	262601
科目名	英語ⅢA 英語ⅢA〔再クラス〕
担当者名	松堂 啓子

講義のねらい	パラグラフの大意を把握しながら、文章全体の論理的構成を理解する。演習を通じて、表現力を身につける。
講義の内容・授業スケジュール	1 ガイダンス 2 美の世界制覇をめざして一花王 3 世界制覇をめざしたブランド統一—パナソニック 4 自動車工場と自然環境の調和—トヨタ 5 創業100周年にむけたビジョン構築—三菱電機 6 本業を活かした国際貢献—コマツ 7 試験 8 フリート戦略:アジア No1 の航空会社にむけて—ANA 9 付加価値サービスとスケールメリットの自動車事業—オリックス 10 店舗の多様化による顧客拡大—ローソン 11 フェアで便利なネット銀行—ソニー銀行 12 統合による相乗効果を求めて—J.フロントリテイリング 13 試験 14 地球温暖化への挑戦—東京海上グループ 15 日本の空から世界の空へ—三菱重工業・三菱航空機 16 買収による活動基盤の拡充—京セラ 17 TOPVALU:顧客の声から生まれたブランド—イオン 18 試験 19 先端的研究開発で業界をリードする—参天製薬 20 和風の‘うまみ’を西洋に—キッコーマン 21 人材とともに成長する企業—キーエンス 22 トレンドを見通す独自の視点—博報堂 23 試験 24 補足授業
履修上の留意点	単位取得には、原則三分の二以上の出席が必要である。
成績評価の方法	試験の結果 (9割)、課題等 (1割)。
教科書	『Styling Corporate Messages』(成美堂) 1,900円 ISBN978-4-7919-1082-3

履修コード	262701
科目名	英語ⅢA 英語ⅢA〔再クラス〕
担当者名	佐藤 孝一

講義のねらい	授業では、基本的に英文を正しく読めて、正しく理解できたかをチェックしていきます。授業中に英語を学習していくのは困難であると思います。予習・復習を通して段々に英語力を高めていく意欲や動機付けを自覚し、実行してもらいたいと思います。
講義の内容・授業スケジュール	テキストはアメリカの文化や社会など多種多様な内容を学んでいきます。異文化理解に関してアメリカの文化が学生に身近に感じられると思っています。手紙形式の内容なので、英文も形式張らないし、話題も新鮮ですので理解し易いと思います。内容に応じて、コメントや日本との比較等しながら授業を進めて行きます。全体で24章ありますので、毎時間1章を消化するのをノルマにします。事前に発表者を決め、発表者には予習をしてきて発表してもらいます。発表回数に応じてポイントが付きます。
履修上の留意点	4年生は出席に留意すること。会社説明会や試験の際には必ず事前に報告し、かつ証明書を出すこと。
成績評価の方法	基本的に前期・後期の学期末試験と発表点、レポート、クイズ等で総合的に評価します。欠席と遅刻の場合だけ減点制にします。授業は全体回数の7割以上出ない場合は評価の対象になりません。
教科書	「Letters form America」南雲堂

履修コード	262801
科目名	英語ⅢA 英語ⅢA〔再クラス〕
担当者名	町田 成男

講義のねらい	ⅡAを基礎として、時事・社会科学系の教材を用いて、高度な英語運用能力を身につける。
講義の内容・授業スケジュール	1. 教材と英語の話し 2. Lesson 1 3. Lesson 2 4. Lesson 3 5. Lesson 4 6. Lesson 5 7. Lesson 6 8. Lesson 7 9. Lesson 8 10. Lesson 9 11. Lesson 10 12. Lesson 11 13. Lesson 12 14. Lesson 13 15. 試験 16. Lesson 14 17. Lesson 15 18. Lesson 16 19. Lesson 17 20. Lesson 18 21. Lesson 19 22. Lesson 20 23. Lesson 21 24. Lesson 22 25. Lesson 23 26. Lesson 24 27. Lesson 25 28. Lesson 26 29. Lesson 27 30. 試験
履修上の留意点	辞書を持参すること。
成績評価の方法	出席・発表・試験の総合評価
教科書	未定

履修コード	262901
科目名	英語ⅢA 英語ⅢA〔再クラス〕
担当者名	鈴木 美貴子

講義のねらい	英文読解力を高める。
講義の内容・授業スケジュール	テキストに従って英文を読む。随時こちらで用意したTOEIC練習問題や英字新聞記事を読む。 前期スケジュール：1回目オリエンテーション、2～3回目 Unit 1、4～5回目 Unit 2、同様に進み12～13回目 Unit 6、14回目 Review、15回目試験 後期スケジュール：16回目オリエンテーション、17～18回目 Unit7、19～20回目 Unit 8、同様に進み27～28回目 Unit 12、29回目 Review、30回目試験
履修上の留意点	予習必須。必ず辞書を持参し、授業中もよくひくこと。
成績評価の方法	出席状況（出欠席・授業への姿勢）、前・後期試験、提出物により総合的に評価する。
教科書	「アジアの現在（いま）を学ぶ Understanding Asia」（センゲージラーニング株式会社、2000円）ISBN978-4-86312-101-0

履修コード	263001
科目名	英語ⅢA 英語ⅢA〔再クラス〕
担当者名	竹村 恵都子

講義のねらい	基礎英語を再認識し、主として Speaking や Writing の英語運用能力を高めることを目的とします。
講義の内容・授業スケジュール	テキストを中心に、テープも利用しながら演習形式で授業を進めます。
履修上の留意点	遅刻・欠席をせず、予習を含め、積極的に授業参加をすること。
成績評価の方法	前後期の試験を主とし、授業時の発表及び出席率などを総合的に評価します。
教科書	未定

履修コード	263101
科目名	英語ⅢA 英語ⅢA〔再クラス〕
担当者名	吉江 正雄 <small>よしえ まさお</small>
講義のねらい	英文の美しさを理解し、また広く、世界史や言語の成り立ちを学ぶ。尚、文法事項や構文についても詳しく説明するので、広い知識を身に付ける事ができるようにする。
講義の内容・授業スケジュール	H.G.Wells の“A Short History of the World”というテキストを通読する。まず辞書をひきながら丹念に英文を逐語訳することから始める。その後、それを誰が読んでもしっかりとした日本語として理解出来る文章になるように指導する。
	前期
	1、2、3、4回 1章 The Beginning of Cultivation
	5、6、7、8回 2章 The First American
	9、10、11、12回 3章 Sumeria, Early Egypt, and Writing
	13、14回 4章 Primitive Nomadic Peoples
	15回 試験日
	後期
	16、17、18、19回 5章 The First Seagoing peoples
	20、21、22、23回 6章 Egypt, Babylon, and Assyria
	24、25、26回 7章 The Primitive Aryans
	27、28、29回 8章 The Last Babylonian Empire
	30回 試験日
履修上の留意点	予習を必ずし、問題意義をもって授業に参加し、質問するようにして欲しい。また、評価の対象にもなるので、積極的に自ら発表をするよう努めて頂きたい。
成績評価の方法	前・後期試験の結果に、平常点(授業中での発表)を加味して評価する。出席点はない。すなわち、学生は全時間数の三分の一以上出席して始めて受験資格(単位取得の資格)を得ることになる。
教科書	H.G.Wells 著“A Short History of the World”(ウェールズの簡約世界史)(こびあん書房)教室で販売する。
参考書等	授業中に推薦する。

履修コード	266201
科目名	ドイツ語ⅠA
担当者名	松岡 晋 <small>まつおか すすむ</small>
講義のねらい	ドイツ語の勉強のスタートとして初級文法を一年間で学ぶことが、この授業の目的です。下記の教科書に従って文字と発音の説明から始め、徐々に積み上げてゆきます。
講義の内容・授業スケジュール	(1~2) 独和辞典の紹介、文字と発音の基礎の説明 (3~4) 第1課[人称代名詞(1)と動詞の現在人称変化] (5~6) 第2課[名詞の性と格変化] (7~8) 第3課[語順] (9~10) 第4課[前置詞の格支配] (11~12) 第5課[名詞の複数形・不規則動詞] (13~14) 第6課[冠詞類の格変化] (15~16) 第8課[人称代名詞(2)・再帰代名詞] (17~18) 第9課[分離動詞・zu 不定詞] (19~20) 第10課[話法の助動詞・命令形] (21~24) 第11課[過去形・現在完了形] (25~26) 第12課[受動態] (27~28) 第14課[関係文] (29~30) まとめ
履修上の留意点	語学の学習は何よりも継続性が大事です。従って定期的出席と課題、練習問題の着実な実行が望まれます。ともかく、一年間、ぜひとも授業に出席するように心がけてください。
成績評価の方法	一年間に数度行う記述試験、小テストのほかに、平常点(出席率、授業中の課題の実行の具合など)を重視いたします。記述試験と平常点の割合は6対4と考えてください。
教科書	在間進ほか著『明るく楽しくドイツ語を!』、三修社、2,100円、ISBN4-384-11264-5
参考書等	初回の授業で独和辞典をいくつか紹介いたします。
その他	実際のドイツ語の文章に慣れるために、その都度の文法事項に即した例文を取めたプリントを何度か配布いたします。

履修コード	266301
科目名	ドイツ語IA
担当者名	武田 俊勝

講義のねらい 1年間のドイツ語文法の学習を通じ、ドイツ語検定4級～5級程度の力を身に付けてもらいます。学習内容は初歩的な文法に留まりますが、どの学習事項も、これから自分でドイツ語を話したり読んだりする時の重要な「引き出し」になります。

講義の内容・授業スケジュール (1) オリエンテーション、ドイツ語学習の目標設定 (2～3) 発音の練習 (4～6) 動詞の変化、その1 (7～10) 名詞の格変化のいろいろ (11～15) 数詞、疑問詞、前置詞など (16～20) 動詞の変化、その2 (21～23) 接続詞、受動文、不定詞など (24～26) 形容詞、序数 (27～28) 関係代名詞と関係文 (29～30) 非現実話法、まとめ

履修上の留意点 外国語の学習は継続と積み重ねが命ですから、復習は絶やさないこと。もちろん、出席し続けること！ とはいっても、チームワークを重視した授業になりますので、ただ出席するだけでなく、積極的に参加することが望まれます。楽しく真剣な授業になるように、協力しあいましょう。

成績評価の方法 各学習事項についての小テスト、または学期末テストのスコアに加え、出席状況および課題提出状況も評価の対象とします。

教科書 未定

履修コード	266401
科目名	ドイツ語IA
担当者名	杉本 正俊

講義のねらい 初めてドイツ語を学ぶ人々に、ドイツ語の根底に横たわるドイツ文法を初めから丁寧に教える。あわせて、発音、語彙など多くの側面からドイツ語への案内を行う。基礎的な知識をしっかりと身に付けてもらい、ドイツ語を学ぶ土台を築いて頂きたい。

講義の内容・授業スケジュール 所定の教科書に従って一年間授業を進める。授業中には発音を重視し、練習問題は必ず発音してもらい、また添付CDを聴いてネイティブ・スピーカーの発音を確認する。

履修上の留意点 予習は必ずしも必要ではないが、与えられた課題は、しっかりと行う事。授業を有効に活用して実力を付けて頂きたい。

成績評価の方法 きちんと授業に参加しているかどうかを評価します。秋に行う動詞三基本形テストと、年度末試験も評価の基準になる。

教科書 大谷弘道・ Ursula Otani 著『新・問いかけるドイツ語』(改訂版) 初級表現練習読本 三修社 ¥2600

履修コード	267101
科目名	ドイツ語IB
担当者名	南 はるつ

講義のねらい 比較的容易な問題をたくさん解くことによって初級文法の基礎を身につけます。日常会話に必要な単語も多く学びます。

講義の内容・授業スケジュール 前期: Lektion1～5(発音、動詞の現在人称変化、冠詞類、命令形、前置詞、助動詞)
後期: Lektion6～10(形容詞、命令形、複合動詞、助動詞、過去形、現在完了形、形容詞の比較級、関係代名詞)

履修上の留意点 ドイツ語を習得するためには授業にきちんと出席し、宿題をすることが不可欠です。

成績評価の方法 前期試験、後期試験、平常授業時間中に行う小テスト、平常点、出席状況を総合して評価します。

教科書 小野寿美子・中川明博・西巻丈児著『クロイツング』 朝日出版社 ¥2500+税 ISBN:978-4-255-25320-6 C1084

参考書等 随時紹介する他、授業に必要な練習問題等のプリントを配布します。

外国語

履修コード	267201
科目名	ドイツ語IB
担当者名	武田 利勝

講義のねらい	並行して学習している文法事項を確認しながら、実際にドイツ語で書かれた文章を読み進めます。そうした作業を通じて既習文法事項の理解を深めることを目的とし、前期は特に文法の復習に重点を置きますが、後期は本格的にドイツ語長文読解に取り組んでもらいます。1年間の学習を通じて、初級者向きの文章であれば、辞書を片手に一人で読むことができる、というレベルを目指します。
講義の内容・授業スケジュール	(1) オリエンテーション (2～3) 発音の練習 (4～10) 既習文法事項の確認、復習、実践 (11～15) ドイツ語長文の読解作業 (16～30) 文法学習の進行状況を考慮しながら、引き続きドイツ語長文を読み進めます。
履修上の留意点	本授業では、教員から一方的に教える形態をとりません。訳読は基本的にグループ作業で進め、指定時間以内に訳文を作る、という形をとりま。チームワーク力を磨くよい機会とも思ってください。また、毎回必ず辞書と文法テキスト(初回授業で指定)を持参のこと。
成績評価の方法	各テキスト終了時に提出してもらった訳文、また小テストと学期末テスト、そして出席状況を評価の対象とします。また、グループ作業にどれだけ貢献できたかなど、学期末に自己評価してもらいます。
教科書	プリント配布。

履修コード	267301
科目名	ドイツ語IB
担当者名	岡本 時子

講義のねらい	初めてドイツ語を学ぶ人を対象に、実用的なドイツ語の運用能力を身につけることを目標とするクラスです。ドイツ語そのものに関する知識のみならず、ドイツ語圏の文化や歴史・地理などについても学びながら、言語を理解するとはどんなことなのかも併せて考えていきます。
講義の内容・授業スケジュール	前期は音声から始め、ドイツ語をきちんと発音・音読できるように練習し、簡単な会話ができるようにします。後期は辞書を使いながら、自分で平易な文を読めるようになることを目標に授業を進めていきます。
履修上の留意点	初修語学は、一回ごとに学んだ内容の上に次回の授業を積み重ねていきますので、毎回出席することが肝心です。語学学習には努力も必要ですが、新しいことを学ぶことは楽しいことです。一緒に頑張りましょう!
成績評価の方法	基本的には、前期と後期それぞれ期末試験を行い、その試験の結果と出席で成績は評価しますが、授業に対する意欲や積極性も前向きに考慮します。
教科書 参考書等	在間進著『話すぞドイツ語!V2新版』朝日出版 必要に応じて授業中紹介します。

履修コード	268001
科目名	ドイツ語IC(会話)・ドイツ語IC(会話)[再クラス]
担当者名	清水 修

講義のねらい	初級ドイツ語会話の授業です。ドイツ語の発音規則の説明・練習から始め、基本的パターンの学習を積み重ねて、一年後には自分に関する事柄をドイツ語で述べるができるようになり、日常的によくある状況にもドイツ語で対応できるようになれば、と考えています。
講義の内容・授業スケジュール	授業はDVD付きの教科書を用いて行います。(DVDの再生装置は必須ではありません。)映像と音声で、実際の場面に則してドイツ語でのコミュニケーションの練習をしていきます。
履修上の留意点	会話のクラスですので、毎回出席して口頭練習することが出発点となります。是非とも定期的に出席するようにしてください!
成績評価の方法	成績評価は、学期末その他に行われる口頭試験および平常点(定期的に出席して、口頭練習に積極的に参加しているかどうか等々)によって行います。
教科書	荻野威平、Andrea Raab 著『ドイツってすてき! [DVD付き改訂版]』(朝日出版社) 2,600円

履修コード	268101
科目名	ドイツ語IIA
担当者名	まつおか すずむ 松岡 晋

- 講義のねらい** 一年次に学んだ文法知識を基礎にして、平易なドイツ語の文章を読みます。教科書の各課には文法事項のまとめも記されていますので、文法の復習も行うつもりです。教科書の読章の部分は内容が徐々にレベル・アップしてゆきます。
- 講義の内容・授業スケジュール** (1)発音の復習、数字の読み方 (2)第1課 Hier wohne ich (3~4) 第2課 Ein Sonntag im Park (前置詞など) (5~6) 第3課 Hilfst du mir, so helfe ich dir (副文など) (7~8) 第4課 Über den Wolken (形容詞の格変化など) (9~10) 第5課 Ich habe noch so viel vor (再帰動詞と分離動詞) (11~12) 第6課 Eine tolle Überraschung (過去時制、完了時制) (13~14) 第7課 Urlaub (命令形など) (15~16) 第8課 Meine Lieblingscafe(関係代名詞) (17~19) 第9課 Bevölkerungsexplosion (zu 不定詞など) (20~21) 第10課 Was kann ich tun (受動態) (22~23) 第11課 Immer nur Würstchen mit Sauerkraut?(接続法) (24~25) 第12課 Sonderbare Menschen (分詞について) (26~30) 復習とまとめ
- 履修上の留意点** 語学の学習は何よりも継続性が大事です。従って定期的出席と課題、練習問題の着実な実行が望まれます。ともかく、一年間、独和辞典を持参して、ぜひとも授業に出席するように心がけてください。
- 成績評価の方法** 一年間に数度行う記述試験、小テストのほかに、平常点(出席率、授業中の課題の実行の具合など)を重視いたします。記述試験と平常点の割合は6対4と考えてください。
- 教科書** 諏訪功ほか著『ドイツ語の探検』、朝日出版社、¥1,900 ISBN4-255-25168-1

履修コード	268111
科目名	ドイツ語IIA
担当者名	いづつか きみお 飯塚 公夫

- 講義のねらい** ここ1,2年、1年の文法事項がほとんど頭に入っていないように見受けられるので、前期は復習と練習問題をやっていきます。辞書を早く引き、頭をなるべく早く回転させることが目的です。後期は普通のドイツ語の文章を読む予定です。
- 講義の内容・授業スケジュール** 前期：文法の説明を大雑把にやってから、練習問題を順番に当ててやってもらいます。後期：前期、問題をやりながら、程度を見て考えます。
- 履修上の留意点** 辞書を毎回持ってくること(完全に予習している人は持ってこなくてもよろしい)。辞書を引く気のない人は出ないでください。
- 成績評価の方法** 前期後期各1回の筆記試験及び平常点(=発表点)。
- 教科書** 前期：松本嘉久著『独検3級・4級受験者のためのチャレンジ・ドイツ語』(同学社)2000円。後期：未定。
- その他** 実は、授業で受験勉強みたいなことはやりたくはないのですが、最近、ドイツ語の文章を読んで、内容を把握し、自分の興味を広げていくということが、全くできなくなっているのが、実情です。少なくともこの授業の間は、携帯電話の外の世界で生きてほしいというのが切なる願いです(といっても意味がわからないかもしれませんが)。

履修コード	268501
科目名	ドイツ語IIB
担当者名	やぶした こういち 数下 紘一

- 講義のねらい** 中級ドイツ語を辞書を引きながら訳す。
- 履修上の留意点** 毎時間指名して1文ずつ読み、訳してもらいます。毎回試験をしているようなものです。出席重視。1回3ページ
- 成績評価の方法** 前・後期各1回50点満点の試験を実施。
- 教科書** テキスト、A.Raab, T. 石井著、『ドイツ人の一生』、朝日出版(1900円+税)
- 参考書** 参考書、辞書等については第1講時に話します。

履修コード	268511
科目名	ドイツ語II B
担当者名	森 公成

講義のねらい ドイツ語IAとIBを基礎とした、初級から中級にかけての講読中心の授業です。『白雪姫』の初版を、決定版と比べながら読む予定です。ドイツの歌もいくつか紹介します。

講義の内容・授業スケジュール 履修上の留意点 最初はゆっくりと進めますが、じょじょにスピードアップをはかります。

成績評価の方法 授業への積極的な参加を希望します。遅刻と早退は2回で1回休みとみなします。なお遅刻は30分以内のみ認めます。3分の1以上休んだ場合は原則として定期試験の成績いかんに関わらず、単位の修得ができませんのでくれぐれも注意してください。

教科書 定期試験(年2回)、出席率、夏季休暇中の課題、授業態度等から総合的に判断、評価します。テキスト(プリント)はこちらで用意します。

履修コード	268601
科目名	ドイツ語II C (会話) ドイツ語II C (会話) [再クラス]
担当者名	井村 行子

講義のねらい 1年生で習得したドイツ語をもとに会話力の向上をめざします。

講義の内容・授業スケジュール 教科書に沿って進めます。

成績評価の方法 前期と後期の筆記試験の成績と平常点を総合して評価します。

教科書 現在まだ未定ですが、学期初めまでに書店のほうに連絡しておきます。

履修コード	268801
科目名	ドイツ語III A ドイツ語III A [再クラス]
担当者名	野島 利彰

講義のねらい ドイツ語の読む力を訓練します。

講義の内容・授業スケジュール 毎回配布するプリントをその場で辞書を引いて訳してもらいます。文法的に難しい箇所、熟語、辞書に載っていないような語については事前に解説します。辞書は電子辞書でなく、普通の紙の辞書が望ましいのですが、いずれにしろ授業の中で辞書の引き方を指導します。

履修上の留意点 予習は必要ありませんが、1年次で使用した文法の教科書を持参してください。

成績評価の方法 毎回、提出してもらう訳の成績の合計が成績評価となります。

教科書 プリント

その他 外国語学習には毎日の積み重ねが大切です。テレビやラジオのドイツ語講座も視聴して下さい。

履修コード	269101
科目名	フランス語IA
担当者名	佐藤 久美子

講義のねらい フランス語を初めて学ぶ学生を対象とし、アルファベ(アルファベット)から始めて、1年間で文法の基礎を習得する。

講義の内容・授業スケジュール 発音練習、文法解説、例文の確認、練習問題をおこなう。時々課題提出も求める。

履修上の留意点 出席を重視する。年間授業回数の三分の一以上欠席した場合は評価の対象からはずす。ただし出席さえしていればよいというのではなく、積極的に授業に参加することが肝要。そのために予習(最低限新しい単語を調べておくこと)が不可欠。

成績評価の方法 授業への参加度を含む平常点40%、前・後期の試験の結果30%、課題の提出状況30%を目安として総合的に判断する。

教科書 佐藤久美子・佐藤領時著『アベセデ フランセ』改訂版(白水社)
ISBN978-4-560-06097-1 C3885 2,300円+税

参考書等 仏和辞典(初回の授業で紹介)を授業時に必ず持参すること。電子辞書ではなく、極力、紙の辞書を薦める。

その他 教科書はフランス人の発音を録音したCDつきなので、各自予習復習に大いに活用してほしい。

履修コード	269201
科目名	フランス語IA
担当者名	あづま たつすけ 東 辰之介

講義のねらい フランス語初級文法の習得を目的とします。
 講義の内容・授業スケジュール (1) 受講上の諸注意/ Alphabet (2) ~ (3) 発音の基礎 (4) ~ (15) 文法の基礎 (名詞の性・数/冠詞/主語人称代名詞/動詞の直説法現在/形容詞など) (16) ~ (29) 文法の発展 (縮約/比較/疑問代名詞/補語人称代名詞/動詞の過去・未来時制など) (30) 復習と今後のフランス語学習について (中級への橋渡し)

履修上の留意点 授業にきちんと出席することが何より重要です。やむを得ず遅刻や欠席をしてしまった場合は、その分を次の授業までに自分で勉強しておいてください。調べても分からない時は、質問してください。

成績評価の方法 学期末試験の結果と平常点によって評価します。
 教科書 斎藤昌三著『新版 ル・フランセ』(白水社) 1,750円+税 ISBN978-4-560-06052-0
 参考書等 仏和辞典が必要です。初回授業でガイダンスをします。

履修コード	269301
科目名	フランス語IA
担当者名	とくやま ひろお 遠山 博雄

講義のねらい 文法の初歩と発音の基礎を学ぶこと。
 講義の内容・授業スケジュール (1~8) 授業方針の説明、音の単位の紹介、文法事項(名詞、冠詞、形容詞、最基本動詞の現在形等)、(9~15) 同(規則動詞・不規則動詞の現在形、命令形、所有形容詞、疑問形容詞等)、(16~25) 同(形容詞の比較級・最上級、目的語、動詞の過去形、関係代名詞等)、(26~30) 同(受動態、動詞の過去形のつづき、未来形等)。はじめに詳しい説明をし、後で練習問題をやります。プリントで補足もあります。

履修上の留意点 必ず仏和辞典持参で出席すること。課題をやってくること。声を出すこと。
 成績評価の方法 3回の筆記試験をします。
 教科書 斎藤昌三、『新版ル・フランセ』、白水社、1750円+税、ISBN:4-560-06052-5C3085
 その他 最初の授業で辞書のガイダンスをします。

履修コード	270101
科目名	フランス語IB
担当者名	くわた のりあき 桑田 禮彰

講義のねらい フランス語の基礎の習得。
 講義の内容・授業スケジュール まず発音の基本をしっかりと確認した上で、簡単な会話表現に親しみながら、初級文法を理解し、読解力の基礎を身につけます。
 (1) 受講上の諸注意/ alphabet (2) ~ (4) 発音の基本 (5) ~ (15) 文法の基礎 (名詞の性・数/不定冠詞・定冠詞/形容詞/主語人称代名詞/動詞の直説法現在など) (16) ~ (29) 文法の発展 (部分冠詞/縮約/補語人称代名詞/関係代名詞/動詞の過去・未来時制など) (30) 復習と今後のフランス語について (中級への橋渡し)

履修上の留意点 *毎回、発音練習・練習問題を行ないます。
 発音練習や文法理解のために最も重要なのは、もちろん授業への出席です。一回一回の出席を大切にしてください。

成績評価の方法 ふだんの授業での評価をベースにして、年二回の試験の成績で決定します。
 教科書 林田遼右著『バリ散歩』(朝日出版社) 2,730円 ISBN:4-255-35171-6
 参考書等 そのつど授業で指示します。

履修コード	270201
科目名	フランス語IB
担当者名	浜崎 設夫

講義のねらい ・ 文法・読本の教科書によって、フランス語の基礎を学ぶ。フランスおよびヨーロッパに対する理解を深めるための説明をする。

講義の内容・授業スケジュール ・ (1) 受講上の諸注意 / Alphabet (2)～(4) 発音の基礎 (5)～(15) 文法の基礎 (名詞の性・数 / 不定冠詞・定冠詞 / 形容詞 / 主語人称代名詞 / 動詞の直説法現在など) (16)～(29) 文法の発展 (部分冠詞 / 縮約 / 補語人称代名詞 / 関係代名詞 / 動詞の過去・未来時制など) (30) 復習と今後のフランス語学習について (中級への橋渡し)
* 毎回、読み方の練習・練習問題を行なう。

履修上の留意点 ほぼ毎回練習問題を宿題として出すので、専用のノートを用意する。毎回辞書を持って来る。

成績評価の方法 ・ 前・後期の試験と平常点 (出席・宿題) を総合して評価する。

教科書 藤田裕二他『新東京一パリ、初旅行』駿河台出版社 2,310円

履修コード	270301
科目名	フランス語IB
担当者名	谷川 かおる

講義のねらい フランス語の音やフランス文化に親しみながら、フランス語の基礎を学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール (1) フランス語の歴史 (2-3) 発音 (4-8) 冠詞・名詞・形容詞・動詞の基礎 (9-15) 疑問文・否定文など (16-20) 疑問代名詞・命令文など (21-26) 補語人称代名詞・比較級など (27-30) 複合過去など。

履修上の留意点 毎回小テストを行う。辞書は必ず持参すること。

成績評価の方法 前期・後期試験を基本とし、小テストの点を加算し、60点以上を合格点とする。

教科書 藤田裕二著『新・彼女は食いしん坊! 1』朝日出版社、2500円
ISBN978-4-255-35181-0 C1085

参考書等 授業中に指示する。

その他 出席重視。

履修コード	271101
科目名	フランス語IC (会話) フランス語IC (会話) [再クラス]
担当者名	東 辰之介

講義のねらい 会話モデルによって文の組み立てを理解し、たくさんの日常語彙を使って、フランス語で自己表現する力を養います。

講義の内容・授業スケジュール (1) 受講上の諸注意 (2)～(15) 基本的表現 (～はフランス語で何と言いますか / ～を知っていますか / ～は好きですか、といった問いとそれらに対する答え方) (16)～(30) 発展的表現 (～には何をしますか / ～には何をしましたか / ～はどうでしたか、といった問いとそれらに対する答え方)

履修上の留意点 授業にきちんと出席することが何より重要です。やむを得ず遅刻や欠席をしてしまった場合は、その分を次の授業までに自分で勉強しておいてください。調べても分からない時は、質問してください。

成績評価の方法 学期末試験の結果と平常点によって評価します。

教科書 大木充、ジャンリュック・アズラ、他著『Conversation et Grammaire』(アルマ出版) 2,500円+税 ISBN978-4-9901072-9-2

参考書等 仏和辞典が必要です。初回授業でガイダンスをします。

履修コード	271201
科目名	フランス語IIA
担当者名	東 辰之介

講義のねらい 短い対話文や説明的文章の読解等によって、フランス語能力のレベルアップを図ります。発音も重視します。

講義の内容・授業スケジュール (1)～(10) 初級文法の復習と未習事項の説明(複合過去、半過去、単純未来、条件法、接続法など) (11)～(20) 対話文の読解(自己紹介、意見を言う、昨日したことを話す、予定、理由、意見を尋ねるなど) (21)～(30) 説明的文章の読解(パリ、カフェ、学生生活、プロヴァンス、政治など)

履修上の留意点 授業にきちんと出席することが何より重要です。やむを得ず遅刻や欠席をしてしまった場合は、その分を次の授業までに自分で勉強しておいてください。調べても分からない時は、質問してください。

成績評価の方法 学期末試験の結果と平常点によって評価します。

教科書 澤田直之他著『アミカルマン』(駿河台出版社) 2,500円+税 ISBN978-4-411-01093-3

履修コード	271211
科目名	フランス語IIA
担当者名	遠山 博雄

講義のねらい 1年次の文法事項を復習し、さらに学習を続けながらややまとまった文章やスケッチを読み、発音すること。簡単な会話表現を覚えること。フランスの「今」にふれること。(ビデオ使用)

講義の内容・授業スケジュール (1～5) 1年次の復習、(6～15) 復習から発展へ(動詞の直説法の過去形、未来形、受動態等)、(16～24) 発展学習(動詞の条件法、接続法、現在分詞等)。はじめに文法説明をします。その後各自で取り組むこと。(25～30) 教科書を終了し、プリントで応用読解。

履修上の留意点 必ず仏和辞典持参で出席すること。課題をやってくること。声を出すこと。

成績評価の方法 2回の筆記試験をします。

教科書 中山真彦・杉山利恵子『改訂版ミニ・ボンジュール・パリ』白水社、1900円+税、ISBN978-4-560-06081-0 C3085

履修コード	271601
科目名	フランス語IIB
担当者名	畑中 千晶

講義のねらい 繰り返しCDを聞くことで、語彙や表現を増やし、聞き取り能力を次第に上げていくことを目指します。

講義の内容・授業スケジュール (1) ガイダンス/詩の暗唱 (2)～(8) 1-1～3-2 (9) 復習、ビデオ視聴 (10)～(12) 4-1/4-2 (13) 会話 (14) 復習 (15) 期末試験 (16) 課題提出 (17)～(21) 5-1～7-2 (22) 復習 (23)～(27) 8-1～9-2 (28) 復習/発展項目 (29) 発展項目 (30) 期末試験

履修上の留意点 毎回課題を出すので、必ず取り組んでください。課題は提出した分がすべて得点になります(内容を点数化することはしません。参加することに意義がある、というものです)。締切厳守(欠席した場合のみ、次回提出可)。

成績評価の方法 前期末30%、学年末30%、宿題など平常点20%、夏休みの課題10%、出席10%

教科書 中井珠子『コミュニケーションのためのフランス語リスニング入門』1998年刊(白水社) 1,800円+税

履修コード	271611
科目名	フランス語IIB
担当者名	遠山 博雄

講義のねらい 1年次の文法事項を復習しながら学習を継続し、やさしいスケッチや文章を読み、発音すること。簡単な会話表現を覚えること。フランスの「今」にふれること。

講義の内容・授業スケジュール (1～8) 文法事項と応用(目的語、代名動詞、動詞の直説法の未来形、過去形、関係代名詞、現在分詞等)、(9～15) 同(受動態、動詞の条件法等)、(16～22) 同(動詞の接続法、直接・間接話法等)、はじめに文法説明をします。その後各自で取り組むこと。(23～30)教科書を終了し、プリントで応用読解。

履修上の留意点 必ず仏和辞典持参で出席すること。課題をやってくること。声を出すこと。

成績評価の方法 2回の筆記試験を予定しています。人数が少なければ口頭試験もありえます。

教科書 中村敦子・加藤行男著『<改定版> クリケ!クリケ! 2年目のフランス語』第三書房、2,300円+税、ISBN: 978-4-8086-2065-3

履修コード	271701
科目名	フランス語II C (会話) フランス語II C (会話) [再クラス]
担当者名	大野 英士 <small>おのの ひでし</small>

講義のねらい 少なくとも1年間、フランス文法・会話等フランス語の基礎を学んだ学生を対象に、日常的な会話を中心に、文法・表現やコミュニケーション能力を養成するクラスです。仏検4級に合格できる実力を養成することを目指します。

講義の内容・授業スケジュール (1)～(2)受講上の諸注意/綴り字と発音の復習 (3)～(4) 郵便・手紙 (5)～(6) ホテル (7)～(8) ヴァカンス (9)～(10) 失業問題 (11)～(12) 環境問題 (13)中間テスト (14)～(15) 礼儀作法 (18)～(19)ジャーナリズム (20)～(21)教育制度 (22)～(23)フランスから見た日本 (24)～(25)フランス語圏 (26)～(27)文学・思想 (28)総復習

履修上の留意点 語学の授業は、教える側の技術や熱意ばかりでなく、授業の参加者がどの位熱心に授業に取り組むかで大きく効果が違ってきます。教科書にはCDが付属していますので、予習段階から積極的に活用し、スケッチや問題を暗記する位聞きこんで下さい。

成績評価の方法 出席点、前期末中間テスト、定期試験で総合的に評価します。
藤田裕二著『新訂版・えすかるご2』(朝日出版社)

教科書等 授業開始時に教室で指示します。

その他 最近、携帯のオンライン辞書を教室内で使用する学生を見かけますが、厳に禁止します。必ず辞書(書籍・電子辞書の別は問いません)を用意し、予習段階から活用すること。

履修コード	271901
科目名	フランス語III A フランス語III A [再クラス]
担当者名	大野 英士 <small>おのの ひでし</small>

講義のねらい ある程度フランス語文法の基礎を学んだ学生を対象に、さまざまなジャンル・話題のフランス語のテキストを通して、文法力、読解力、表現力を磨いてもらうクラスです。到達目標は実用フランス語技能検定試験(仏検)3級レベルに対応しています。

講義の内容・授業スケジュール (1)綴り字と発音の復習 (2)～(3) 豪華帆船と海賊 (4)～(5) サン＝テジュベリ、謎の結末 (6)～(7) クリスマン・ディオール (8)～(9) 「パリ海岸」(10)～(11) 名所めぐりパリマラソン (12)～(13) 肌揚げ大会 (14) 中間テスト (15)～(16) 「沈黙の詩人」マルソー (17)～(18) クロード・フランソワの神話 (19)～(20) シュティの国へようこそ (21)～(22) 1968年5月 (23)～(24) 蚤の市、掘り出し物探しの楽園 (25)～(26) 笑顔を作って!撮られています! (27)～(28) フランス風キス (29) 良家の子弟向けの豪華な学校 (30)文法のまとめと総復習 (31)定期試験

履修上の留意点 なるべく丁寧に解説し、予習・復習の負担は極力軽くするつもりですが、全く予習・復習をしないで語学の上達はありえません。学生の積極的な参加を期待します。

成績評価の方法 出席点、前・後期の試験で総合的に評価します。特に出席点を重視します。
クリスマン・ボームルーほか著『ヴァリエテ・フランセーズ 2009』(朝日出版社)

教科書等 初回に教室で紹介します。

その他 最近、携帯のウェブ辞書を教室で参照する学生を見かけますが、厳に禁止します。必ず辞書(書籍・電子辞書の別は問いません)を用意し、予習段階から活用すること。

履修コード	272201・274601
科目名	中国語IA 中国語IB
担当者名	根岸 政子・下出 宣子 <small>ねがし まさこ しらいで のぶこ</small>

講義のねらい 中国語の発音と基本文法を学びます。

講義の内容・授業スケジュール 「声調」および「ピンイン」を学んで発音を習得したのち、基本文法を学習しながら、日常会話の表現を身につけていきます。
最初の1ヶ月は発音の習得をめざします。週2回で1課の予定で進み、前期は第7課まで、後期は第8課から最後の第16課まで学習し、基本文法をマスターする予定です。各学期で中間試験・期末試験を行います。

履修上の留意点 同一の教科書を使って、2人の教員が連携して授業を進めます。
発音ができれば中国語がおもしろくなりますから、大きな声で読む習慣をつけましょう。

成績評価の方法 出席状況、小テストや中間・期末試験の成績、授業への積極性を総合して評価します。
本間史・孟広学『中国語ポイント55』(白水社)2,300円+税

教科書

履修コード	272301・274701
科目名	中国語IA 中国語IB
担当者名	小栗山 恵・徳間 佳信
講義のねらい	発音・文法・語法等に即して、中国語がどのような言語であるかという入門的な理解を得る。とくに読めるが聞きとれないという弊に陥らないよう発音を重視する。
講義の内容・授業スケジュール	内容 IAでは課文の音読・日訳・文法の説明を主に行い、IBではその定着のために問題演習を行う。スケジュール 発音(1, 2)、第一課から第八課「是」構文、助動詞(3から12)、第九課から第十八課副詞、存現文(13～)
履修上の留意点	休まず出席し、大きな声で発音して下さい。
成績評価の方法	試験の成績、出席状況、授業中の取りくみ、提出物等により総合的に評価する。
教科書	余慕 小栗山恵『中文学習基礎編』南雲堂フェニックス 2500円

履修コード	272401・274801
科目名	中国語IA 中国語IB
担当者名	橋本 幸枝・張 渭涛
講義のねらい	まず中国語の発音と発音表記であるピンインをしっかりと学びます。そして教科書に添って基本的な文法を学習してゆき、平易な文章を読んだり日常の簡単な会話ができるようになることを目指します。
講義の内容・授業スケジュール	始めの1ヶ月は発音とピンインの学習に重点を置きます。その後、前期は教科書の第1課から第7課まで、後期は第8課から15課までを学ぶ予定です。
履修上の留意点	二人の教師が連携して授業を進めます。わかり易く指導致しますので、休まず出席して、基本をしっかり身につけて下さい。
成績評価の方法	試験の成績、出席状況、授業中の態度等により総合的に評価します。
教科書	趙秀敏・冨田昇『中国語初級テキスト 飛天』(白帝社) 2,700円+税

履修コード	272501・274901
科目名	中国語IA 中国語IB
担当者名	本間 由香利・曹 泰和
講義のねらい	中国語に興味と関心を持ってもらうこと。
講義の内容・授業スケジュール	単語の発音と意味の確認、文法の説明及び例文の発音と意味をIAで行い、文法の復習と会話文の発音と意味及び会話練習をIBで行う。
履修上の留意点	練習問題は自宅で解答しておくこと。必ず出席して声を出して発音練習すること。
成績評価の方法	出席を重視し、平常点(授業態度)、小テスト、学期末テストを総合的に評価します。評価はA、Bでそれぞれ行います。
教科書	本間史・孟広学『中国語ポイント55』(白水社) 2,415円
参考書	授業の中で紹介する。

履修コード	272601・275001
科目名	中国語IA 中国語IB
担当者名	吉田 建一郎・布施 直子
講義のねらい	中国語の基礎力を身につける
講義の内容・授業スケジュール	(1～6週) 四声とピンイン (7～14週) 人称代名詞、動詞述語文、指示詞、疑問詞疑問文、「在」と「有」、形容詞述語文、反復疑問文など (15週～) 前置詞、「了」の使い方、経験の表現、比較の表現、助動詞、補語、存現文、兼語文、受身文など
履修上の留意点	欠席せず、大きな声を出して積極的に練習に参加すること。
成績評価の方法	出席状況、小テスト、期末試験の結果をもとに総合的に評価する。
教科書	楊凱榮・張麗群『中国語へのアプローチ』朝日出版社、2300円(税別)、ISBN4-255-45126-5

履修コード	272701・275101
科目名	中国語ⅠA 中国語ⅠB
担当者名	小川 ^{おがわ たかし} 隆
講義の内容・授業スケジュール	火曜と土曜で内容を分けず、1冊の教科書を頭から通して学んでゆく。教科書は発音篇と本文16課。最初の3週を発音にあて、その後、1週2回で平均1課をすすめ、間に適宜、復習と小テストをはさむ。
成績評価の方法	火・土あわせて年間10回の小テスト(2課に1回)、出席点(最低、4分の3以上の出席が必要)、平常点(発音の習熟度、会話の積極度など)を総合して成績評価を行う。授業進行のためのルールとマナーを守れない人、欠席が授業回数4分の1を超えた人などは、その時点でただちに受講をやめてもらう。
教科書	楊凱栄・張麗群『新・中国語への船出』(朝日出版社) ¥2200+税 ISBN 978-4-255-45155-8

履修コード	277201
科目名	中国語ⅡA
担当者名	吉田 ^{よしだ てるひろ} 建一郎
講義のねらい	一年次で行った会話練習を継続しつつ、日常のアナウンス、説明文などの簡単な文章を読む練習を行います。教科書の内容は、本学が上海で実施している夏期中国語セミナーの状況とも一致しています。ぜひ実際に使ってほしいと思います。
講義の内容・授業スケジュール	会話・補充短文・語法・練習問題などから成るテキストを随時指名しながら読み進め、発音矯正、単語・文法・構文の解説、ペアによる対話実践などを行ないます。全16課のテキストを、およそ2回で1課ずつ進めていきます。
履修上の留意点	4分の3以上の出席を求めます。
成績評価の方法	前期・後期の試験、小テスト、授業への取り組み、出席状況によって総合的に評価します。
教科書	石慧敏、金子真也『上海びより』(好文出版) 2000円+税
その他	教場は練習の場ですから間違っても構いません。毎回の授業に積極的に参加してください。

履修コード	277301
科目名	中国語ⅡA
担当者名	梅田 ^{うめだ まさこ} 雅子
講義のねらい	・中国語の漢字を読んで意味がわかるようになる。 ・ピンインをきれいに発音できるようになる。 ・文法項目を使って、自分でオリジナルの文章を作れるようになる。
講義の内容・授業スケジュール	授業の流れ 1: 新出単語小テスト(中国語→日本語、日本語→中国語) 2: 文法項目(語法)解説 3: 文法項目(語法)例文の確認 4: オリジナル文章発表 5: 会話確認(日本語の意味) 6: 補充短文、意味確認 7: 補充短文、発音 8: 補充短文、穴埋め(リスニング) 9: 補充短文に関するQ&A問題(未定) 10: 教科書練習問題 ※情景会話は進度によって決める。
履修上の留意点	間違いやすいピンインに注意! 子音: q, x, c 母音: ian (yan), si の i など
成績評価の方法	前期・後期期末試験70パーセント 平常点(出席、小テスト)30パーセント
教科書	『上海びより』
参考書等	日中中日辞典(好文出版) 2,000円+税 日本漢字音から引ける機能が付いたものがよい。
その他	授業進度等で質問がある場合は梅田までメールにて連絡すること。 hanyu555@gmail.com

履修コード	277401
科目名	中国語II A
担当者名	児島 弘一郎

講義のねらい 一年次で行った会話練習を継続しつつ、日常のアナウンス、説明文などの簡単な文章を読む練習を行います。教科書の内容は、本学が上海で実施している夏期中国語セミナーの状況とも一致しています。ぜひ実際に使ってほしいと思います。

講義の内容・授業スケジュール 会話・補充短文・語法・練習問題などから成るテキストを随時指名しながら読み進め、発音矯正、単語・文法・構文の解説、ペアによる対話実践などを行ないます。全16課のテキストを、およそ2回で1課ずつ進めていきます。

履修上の留意点 4分の3以上の出席を求めます。

成績評価の方法 前期・後期の試験、小テスト、授業への取り組み、出席状況によって総合的に評価します。

教科書 石慧敏、金子真也『上海びより』(好文出版) 2000円+税

その他 教場は練習の場ですから間違っても構いません。毎回の授業に積極的に参加してください。

履修コード	277501
科目名	中国語II A
担当者名	弘兼 加奈子

講義のねらい 一年次で行った会話練習を継続しつつ、日常のアナウンス、説明文などの簡単な文章を読む練習を行います。教科書の内容は、本学が上海で実施している夏期中国語セミナーの状況とも一致しています。ぜひ実際に使ってほしいと思います。

講義の内容・授業スケジュール 全16課の内、4課ごとにテストを行います。年間30回の授業では、テストも含めて授業7、8回で4課ずつ進むことになります。

履修上の留意点 授業にはすべて出席することが前提です。やむを得ぬ理由により欠席する場合でも、7回を越えた場合は単位取得が不可能となります。具体的には、欠席を1点、遅刻早退を0.5点として合計し、7点以内の者を成績評価の対象とします。

成績評価の方法 4分の3以上の出席を前提に、テストによって評価します。テストは年間4回行う予定です。

教科書 石慧敏、金子真也『上海びより』(好文出版) 2000円+税

履修コード	278301
科目名	中国語II B
担当者名	児島 弘一郎

講義のねらい 1年次に学習した発音・単語・文法事項を復習しつつ、ヒアリング・会話を中心としたコミュニケーション能力の向上を図ります。中国語の音声面に重点を置いた授業です。

講義の内容・授業スケジュール 会話文例・文法ポイント・反復練習・ヒアリングから成るテキストを随時指名して進め、発音の矯正・単語の解説・文法事項の整理・聴き取り・ペアによる対話の実践などを行ないます。全12課のテキストを、およそ2回で1課ずつ進めていきます。

履修上の留意点 4分の3以上の出席を求めます。

成績評価の方法 前期・後期の試験、小テスト、授業への取り組み、出席状況によって総合的に評価します。

教科書 塚本慶一監修・劉穎著『2年生のコミュニケーション中国語』(白水社、2200円、CD付)。

参考書等 辞書や役立つ音声教材などは、教場で紹介します。

その他 教場は練習の場ですから間違っても構いません。毎回の授業に積極的に参加してください。

履修コード	278401
科目名	中国語II B
担当者名	秋元 翼

講義の内容・授業スケジュール Iで学んだ内容を復習しながら、実践的に応用ができるよう、ヒアリングと発音を繰り返し練習する。前期は1課から6課まで、後期は7課から12課まで、2回で1課の割合で進む。

履修上の留意点 4分の3以上の出席を要する。授業中、積極的に声を出して発音練習をすること。

成績評価の方法 平常の出席状況・学習態度・理解度および中間・期末テストの成績で総合的に評価する。

教科書 塚本慶一・劉穎『2年生のコミュニケーション中国語』白水社、2200円+税

履修コード	278501
科目名	中国語II B
担当者名	李 雲 <small>リ ユン</small>

講義のねらい 基本文型と表現が織り込まれた会話を中心に授業を進める。日常生活に必要な会話力、文章力をさらに高めることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール 基本文型、会話文、練習問題の順で練習し、各課ごとに、書き取りの練習もする。

履修上の留意点 平常の練習が大切なので必ず出席すること。

成績評価の方法 筆記試験、書き取り・会話のでき具合と出席率などによって総合的に評価する。

教科書 内田慶市等「中国語への道」金星堂2380円

その他 内容的に結構量があるので、きちんと予習、復習のできる学生に受講してもらいたい。

履修コード	278511
科目名	中国語II B
担当者名	本間 由香利 <small>ほんま ゆかり</small>

講義のねらい 比較的簡単なテキストを使用します。
朗読目標：単語単位ではなく、文章を中国語らしく読めるようにすること。
文法目標：必要最小限の文法、つまり語順を学び、シンプルな文を自分で組み立てられるようになります。

講義の内容・授業スケジュール まずは発音訓練と矯正、1年次既習の単語、フレーズの聞き取り練習をします。次に中国語の基本構文の復習と理解を通じて自分で簡単な会話ができるようにします。

履修上の留意点 必ず出席し、大きな声で発音し、積極的に授業に参加すること。

成績評価の方法 授業出席を前提とし、授業態度、小テスト、期末テストにより評価します。

教科書 『たのしい中国語』首都大学東京 中国文学研究室編 金星堂 ¥2,600

参考書等 授業内で指示する。

履修コード	278601
科目名	中国語II C (会話) 中国語II C (会話) [再クラス]
担当者名	宮本 厚子 <small>みやもと あつこ</small>

講義のねらい これまでに学んだ中国語を口に出せるよう定着させるとともに、新たな構文を学び、表現する力を養成する。

講義の内容・授業スケジュール 教科書に沿って、実際に役に立つフレーズ、単語を増やしていく。

履修上の留意点 書き取りか暗誦のどちらかを毎回課すので、必ず準備してから授業に臨むこと。また、予習も必要である。

成績評価の方法 年4回のテストと平常点で行う。テストは期末は筆記試験とし、中間に口頭での試験を行う。

教科書 相原茂他著『大事なことはみんなやさしい中国語で言える』朝日出版社 2200円(税抜き)

履修コード	279101
科目名	中国語ⅢA 中国語ⅢA〔再クラス〕
担当者名	王 聡 <small>おう そう</small>

講義のねらい	中国文化を学びながら、中国語の読解力の向上を目的とする。
講義の内容・授業スケジュール	<p>前期</p> <p>第1回 ガイダンス・復習</p> <p>第2回～第13回 話題：「あいさつの話」・「中国茶の話」・「接客の話」・「十二支の話」・「外国語学習の話」・「外来語の話」・「方言の話」</p> <p>文法：「要是」・前置詞の「給」・「一～就～」・兼語文・受身文・比較文・結果補語・可能補語など。</p> <p>第14回～第15回 復習と前期テスト</p> <p>後期</p> <p>第1回 復習・練習問題</p> <p>第2回～第13回 話題：「漫画の話」・「趣味の話」・「色の話」・「お土産の話」・「天気の話」・「環境の話」・「映画の話」・「休日の話」</p> <p>文法：「会」・「能」・「把」構文・動詞の重ね型・動作の進行・使役文など</p> <p>第14回～第15回 復習と後期テスト</p>
履修上の留意点	辞書を用意し、予習と復習をちゃんとすること。
成績評価の方法	前期テスト40%、後期テスト40%、平常点（出欠席状況、授業態度など）20%
教科書	相原茂他著『ドリル式中国語テキストⅡー日本と中国』、くろしお出版、1,800円＋税、ISBN4-87424-098-4 C3087
参考書等	特に指定がありません。

履修コード	279111
科目名	中国語ⅢA 中国語ⅢA〔再クラス〕
担当者名	宮本 厚子 <small>みやもと かつこ</small>

講義のねらい	1、2年生で学習した内容を踏まえ、読解力と作文の力を養成する。
講義の内容・授業スケジュール	教科書に沿って、少し長めの文章を読む。適宜やさしい日文中訳の練習も課す。
履修上の留意点	必ず、辞書をひいて教科書の文を日本語に訳してから、授業に臨むこと。
成績評価の方法	出席点と年4度のテストの総合点で評価する。
教科書	孟広学・本間史『変化する中国』 白水社 2100円

履修コード	279401
科目名	スペイン語IA
担当者名	佐藤 佐知 <small>さとう さち</small>

講義のねらい	スペイン語の初級文法を学ぶ。テキストに沿って文法を習得し、口頭練習や作文練習を通してスペイン語の運用能力を養う。
講義の内容・授業スケジュール	(1～2)表記法・発音・アクセント(3～8)SER/ESTAR、一般規則動詞の現在形の活用と用法(4～15)一般不規則動詞の活用と用法、表現練習(16～23)目的格代名詞、比較表現、点過去形の活用と用法(24～30)線過去形の活用と用法、過去時制の使い分け
履修上の留意点	授業中に文意の解釈や作文など作業をするので、必ず辞書を持ってくること(初回の授業で辞書の紹介をします)。語学の習得を目標とするため、授業には積極的に参加すること。
成績評価の方法	期末試験と平常点(出席状況・提出物・小テスト)を総合的に判断して評価する。
教科書	福嶋教隆『動く!スペイン語』("Español Dinámico") 2008(朝日出版)2600円

履修コード	279501
科目名	スペイン語IA
担当者名	ルイズティノコ, C.

講義のねらい	この授業ではスペイン語の文章を読んで、練習をしながら文法の基本的な構造と会話能力を身につけることを目指す。
講義の内容・授業スケジュール	前期は発音、簡単なあいさつ、規則動詞から不規則動詞まで学ぶ予定である。後期は不規則動詞、間接目的格、直接目的格、再帰動詞、現在完了、点過去、線過去、未来形などを学ぶ予定である。ビデオを見ることもある。
履修上の留意点	毎回の練習は重要なので積極的に参加して下さい。出席を重視する。
成績評価の方法	前期と後期の成績と授業参加の状態で評価する。
教科書	『やさしくくわしいスペイン語の基礎』 西川喬 第三書房

履修コード	279601
科目名	スペイン語IA
担当者名	中島 聡子 <small>なかじま さとこ</small>

講義のねらい スペイン語の基礎（発音・文法・語彙）を身につけ、その背景文化への理解と関心を深めてゆきます。

講義の内容・授業スケジュール 下記のテキストを用いて、前期は1課～5課まで、後期は6課～10課を解説します。同時に口頭および筆記の練習も行ないます。
前期（1）導入、アルファベット（2～5）文字と発音、主語の人称代名詞、動詞 ser、名詞の性数、冠詞、形容詞、動詞 hay、位置を表す表現、など（6～10）動詞 estar、31までの数字、時間等の表現、規則動詞の活用、など（11～15）疑問詞の使い方、動詞 ir、yo の活用が不規則な動詞、目的語の人称代名詞、天候の表現、など
後期（16～20）語根母音も変化する動詞、querer, poder の使い方、その他の不規則動詞、動詞 gustar の使い方、gustar 型の諸動詞、など（21～25）比較の表現、関係代名詞 que、100までの数字、再帰動詞とその使い方、不定主語文など（26～30）100を超える数字、命令形、婉曲・丁寧な表現、現在完了、感嘆文、など

履修上の留意点 外国語は繰り返し練習することによって習得できます。わからない単語はあらかじめ辞書をひいておく、新しい動詞の活用を確認するなどの予習、文法などの説明を聞き、実際にスペイン語を使ってみる場である授業、そしてそれらの復習、どれも欠かせません。繰り返し練習することが外国語習得への一番の近道です。

成績評価の方法 テスト結果（80％）に平常点（20％）を合わせて評価します。
教科書 上野勝広『改訂版・新世紀のスペイン語』（同学社）2,500円
参考書等 初回の授業で紹介しします。

履修コード	279611
科目名	スペイン語IA
担当者名	上野 勝広 <small>うえの かつひろ</small>

講義のねらい スペイン語の基礎（発音・文法・語彙）を身につけ、その背景文化への理解と関心を深めてゆきます。

講義の内容・授業スケジュール 下記のテキストを用いて、前期は1課～5課まで、後期は6課～10課を解説します。同時に口頭および筆記の練習も行います。
前期（1）導入、アルファベット（2～5）文字と発音、主語の人称代名詞、動詞 ser、名詞の性数、冠詞、形容詞、動詞 hay、位置を表す表現、など（6～10）動詞 estar、31までの数字、時間等の表現、規則動詞の活用、など（11～15）疑問詞の使い方、動詞 ir、yo の活用が不規則な動詞、目的語の人称代名詞、天候の表現、など
後期（16～20）語根母音も変化する動詞、querer, poder の使い方、その他の不規則動詞、動詞 gustar の使い方、gustar 型の諸動詞、など（21～25）比較の表現、関係代名詞 que、100までの数字、再帰動詞とその使い方、不定主語文など（26～30）100を超える数字、命令形、婉曲・丁寧な表現、現在完了、感嘆文、など

履修上の留意点 少しでもスペイン語を身につけるには、ただ授業に出席するだけでは達成できません。集中して教師や録音CDのスペイン語を聴き、疲れるくらい口や手を動かしてレッスンに励みましょう。また最低限の復習も欠かせません。

成績評価の方法 年間4回のテスト結果（70％）に平常点（30％）を合わせて評価します。
教科書 上野勝広『改訂版・新世紀のスペイン語』（同学社）2,500円
参考書等 初回の授業で紹介しします。

履修コード	280701
科目名	スペイン語IB
担当者名	佐藤 麻里乃 <small>さとう まりの</small>

講義のねらい 文法の初歩を習得し、スペイン語の基本的な構造を理解する。

講義の内容・授業スケジュール 教科書にそって解説と練習を行う。性数変化、動詞の変化、再帰動詞、人称代名詞、分詞などを主に扱う。

履修上の留意点 教科書と辞書を毎回必ず持参すること。授業中は先生の話をよく聞き、きちんとノートをとること。

成績評価の方法 主として前期・後期各1回の試験による。

教科書 青砥他『プラサ・マヨールIソフト版』朝日出版社
参考書等 辞書については初回授業で指示する。

履修コード	280801
科目名	スペイン語ⅠB
担当者名	米田 <small>よろだ ひろみ</small> 博美

- 講義のねらい** 移り変わりの激しいグローバル化の中で、我々は不確実性の時代に生きている。その中で、中長期的な視野や展望でものを考えることが必要である。二国間、多国間、地域間の相互依存関係が深まる中、スペイン語の重要性、スペイン語圏世界の重要性は益々高まっている。政治、経済はもとより、地球的規模の環境問題でも、スペイン語圏各国は日米欧、アジア諸国とも深く関わり、天然資源、食糧資源の重要な供給源として、又、自動車、電子・機械製品の生産拠点として大きな役割を果たしている。背後にある文化・芸術遺産、自然遺産は更に興味深いものである。20カ国のスペイン語圏諸国、米国だけでも数千万の人々が話すスペイン語の重要性は明らかである。スペイン語を学び、その背後にある世界を知ることは、各自の専門にも役立ち、ものの見方を広めることが出来ると信じます。
- 講義の内容・授業スケジュール** 年間スケジュールとして、下記テキストの1～6課までを前期に、7～10課の範囲を後期に学習します。(必要に応じて、先の課を説明することもあります)
- 履修上の留意点** スペイン語は、発音しやすく聞きとりやすいと言われますが、語学の学習は、基礎の積み重ねが特に大切であり、出席を重視します。
- 成績評価の方法** 成績は、出席、授業への積極的な参加の態度、小テスト、期末テストなどにより総合的に判断します。
- 教科書** 教科書：「英語からスペイン語へ」(細川幸男他著、弘学社)
- 参考書等** 辞書は、各自自由に選択して下さい。参考までに、「現代スペイン語辞典」(白水社)を初めとして、「和西中辞典」(小学館)、「新スペイン語辞典」(研究社)「クラウン西和辞典」などを推薦しておきます。
- その他** 文法的事項の説明は一方的なものとならないよう、インターアクティブな授業形態をとり、発音も重視します。また、スペイン語圏の文化や歴史、又は音楽に関するCDまたはDVDを鑑賞する機会もつくる予定です。

履修コード	280901
科目名	スペイン語ⅠB
担当者名	栗林 <small>くりはやし ゆきえ</small> ゆき絵

- 講義のねらい** 基本的な単語や挨拶のほか、基本的な文法事項を整理してスペイン語のことばのしくみを学習し、日常の簡単な会話に応用できることを目標とする。
- 講義の内容・授業スケジュール** 授業は、文法事項の説明と、それを応用した練習問題、という構成で進める。前期(1-15回)は名詞句と現在形の文法、後期は過去形(1-8回)および再帰動詞(9-15回)の文法を中心に学習する。学期の中間に小テスト(活用・単語・作文)を実施。
- 履修上の留意点** 前後期各1回程度中間テストを行うので、少しずつ文法や語彙を身につけていってほしい。
- 成績評価の方法** 中間テスト20% (日程は授業中に指示)、前後期の期末試験80%。半期で5回以上欠席した者は試験の受験を認めない。
- 教科書** プリント教材を配布します。
- 参考書等** <辞書>『プログレッシブ スペイン語辞典』(小学館)ISBN4-09-515522-1
ポケット版『ポケットプログレッシブ 西和・和西辞典』でも可(小学館 2,800円)
ISBN4-09-506131-6

履修コード	280911
科目名	スペイン語IB
担当者名	荻野 恵 <small>おぎの めぐみ</small>

講義のねらい スペイン語の基礎文法、初級講読、リスニングをバランスよく身につけていきます。

講義の内容・
授業スケジュール

前期
1 文字と発音
2～4 主語人称代名詞・定冠詞・動詞活用
5～7 不定冠詞・複数形の作り方
8～10 目的格人称代名詞・形容詞
11～13 gustar 型動詞・所有詞
14～15 まとめと試験

後期

1～2 点過去形・過去を表わす副詞
3～4 再帰動詞・時間表現・比較表現
5～6 線過去形・現在完了形
7～8 未来形・現在分詞・天候の表現
9～10 命令形・感嘆文
11～12 命令形・知覚動詞
13～14 接続法現在形・過去未来形
15 試験

履修上の留意点

辞書については授業中に紹介します。辞書と親しみながら予復習を心がけ、積極的な姿勢で授業に臨んでください。

成績評価の方法
教科書

各学期最終授業日に実施する試験と授業中の課題、出席状況を総合して評価します。
小池和良・上野勝広『太郎と学ぶスペイン語—マドリッド編』（朝日出版社）

履修コード	282001
科目名	スペイン語IC（会話） スペイン語IC（会話）〔再クラス〕
担当者名	ルイズティノコ, C.

講義のねらい この授業では基本的文法を学びながら様々な表現や言い方を練習して覚えられるようにしたいと思う。

講義の内容・
授業スケジュール

表現力や会話能力を高めることを目標とする。
前期はあいさつ、規則動詞、不規則動詞、時刻の表現、天候の表現、などを学ぶ予定である。後期は不規則動詞、gustar 動詞、再帰動詞、現在分詞、比較表現、受身文などを学ぶ予定である。

履修上の留意点

毎回の練習は重要なので積極的に参加して下さい。出席を重視する。

成績評価の方法

前期と後期の成績と授業参加の状態で評価する。

教科書

「スペイン語のリズムで」 Eugenio del Prado, Hanako Saito, Shinji Nakamichi 同学社

履修コード	282101
科目名	スペイン語IIA
担当者名	真下 祐一 <small>ましも ゆういち</small>

講義のねらい 一年次で学んだスペイン語の基礎を完成し、以降の学習につなげていくための授業です。復習にも力を入れましょう。読み、書き、聞き、話す四つの能力の総合的なトレーニングです。

講義の内容・
授業スケジュール

(1～3) 一年次の復習 (4～9) 線過去、点過去 (10～12) 完了形、関係詞 (13・14) 前期の復習 (15) 前期試験 (16～19) 未来形、分詞、比較、再帰動詞 (20～22) 過去未来形 (23・24) 接続法現在 (25・26) 命令 (27～29) 接続法過去 (30) 後期試験

履修上の留意点

予習・復習は欠かせません。また常にスペイン語圏のニュースに注意していること。

成績評価の方法

100点満点中、40点は出席、課題の提出など授業参加、残り60点は2回の期末試験と小テストなどの結果で評価します。

教科書

東京大学教養学部スペイン語部会『ディメロース페인語初級一』（朝日出版社）

履修コード	282111
科目名	スペイン語IIA
担当者名	石井 登

講義のねらい 講義の内容・ 授業スケジュール	すでに学んできたスペイン語文法の復習と平易な文章の読解を通じて、スペイン語力を高めます。教科書は全15課からなっており、前期は1～10課、後期は11～15課を学びます。 前期は(1)オリエンテーション、(2～5)名詞、冠詞、形容詞などといった品詞と、ser, estar, hay の用法、比較級など、(6～10)直説法現在の動詞の規則変化、目的語、gustar 動詞など、(10～15)直説法現在の不規則動詞、再帰動詞、重要な動詞の用法などを学びます。 後期は(16～20)不定詞、過去分詞、現在分詞、点過去の規則変化、点過去の不規則変化など、(21～25)線過去、現在完了、過去完了、未来形、過去未来形、(26～27)接続法現在、名詞節、形容詞節、副詞節、(28～30)命令文、接続法の用法条件文などを学びます。
履修上の留意点 成績評価の方法 教科書	授業に加えて、予習や復習といった自学自習が重要になります。 前期と後期の試験(50%)と出席や課題提出などの平常点(50%)で評価します。 二村久則、水戸博之、西村秀人 『エクセレンテ!』 朝日出版社 2300円 978-4-255-55031-2

履修コード	282121
科目名	スペイン語IIA
担当者名	大岩 功

講義のねらい 講義の内容・ 授業スケジュール	スペイン語Iで学習した内容を発展させ、長文読解能力を身に着けながら、スペイン語圏の生活や文化への理解を深めることをねらいとします。 前期15回 1つの長文を2回～3回の授業で読み進めます。スペイン語Iで学習した文法項目の復習が文法学習の中心となります。 後期15回 文章を読み進める速度は徐々に速くなります。文法は点過去時制、線過去時制、未来時制、完了時制などを学習して行きます。前期、後期ともに最後の授業で各1回の試験を実施します。
履修上の留意点 成績評価の方法 教科書 参考書等	必ず予習してくることを前提に授業を進めます。何も準備していないことが明らかな場合は平常点の減点対象となります。 前期末、後期末の試験(計2回)の得点=70%、小テスト(5～6回程度)の得点=20%、出席率、授業参加への積極性等の平常点=10% の割合で評価し、最終的な成績を算出します。 『やさしいスペイン語文法』大岩功著 三修社 他に長文読解用のプリント教材を教室で配布します。 推奨辞書 宮城昇編『現代スペイン語辞典』(白水社)

履修コード	282601
科目名	スペイン語IIB
担当者名	大岩 功

講義のねらい 講義の内容・ 授業スケジュール	スペイン語Iで学習したことを基に、さらに高度な文法知識を身に付け、長文読解能力を養うことをねらいとします。 前期15回 再帰動詞の用法と応用、点過去時制の規則活用および不規則活用、線過去時制等を学習。 後期15回 過去分詞と完了時制、現在分詞の用法、未来時制、過去未来時制、命令法等を学習。 前期、後期ともに最後の授業で各1回の試験を実施します。 (上記スケジュールは場合により変動することがある)
履修上の留意点 成績評価の方法 教科書 参考書等	必ず予習してくることを前提に授業を進めます。何も準備していないことが明らかな場合は平常点の減点対象となります。 前期末、後期末の試験(計2回)の得点=70、小テスト(5～6回程度)の得点=20、出席率、授業参加への積極性等の平常点=10 の割合で評価し、最終的な成績を算出します。 大岩功著『やさしいスペイン語文法』(三修社) 長文読解用の教材については、プリントを適宜用意します。 推奨辞書宮城昇編『現代スペイン語辞典』(白水社)

履修コード	282611
科目名	スペイン語II B
担当者名	^{うえの} 上野 ^{かつひろ} 勝広

講義のねらい	スペイン語Iで学習した基礎(発音・文法・語彙)を確認しながら発展させるクラスです。前期は既習事項の復習にも重点を置きます。
講義の内容・授業スケジュール	下記のテキストを用いて、前期は1課〜7課まで、後期は8課〜14課を学習します。随時プリントも配布し、口頭および筆記の練習を追加します。 またテキスト後半の対話文を随時取り上げ、読解力と表現力の向上を図ります。
履修上の留意点	前期(1)オリエンテーション(2〜5)動詞 ser, estar, hay の用法、直説法現在、など(6〜10)重要な不規則動詞の用法、冠詞の使い方、など(11〜15)再帰動詞の用法、直説法現在完了・点過去の用法、など 後期(16〜20)線過去の用法、関係代名詞、接続法の活用、など(21〜25)接続法の用法、使役および受動構文、など(26〜30)直説法未来完了の用法、条件文、など 休まず遅れずきちんと授業に参加することが肝要です。授業には必ず辞書を持参すること。スペイン語本文の音読や練習問題は、指名して読んだり答えてもらいます。原則的に毎回課題があり、翌週の授業でチェックします。
成績評価の方法	年間4回のテストの結果(70%)に平常点(30%)を合わせて評価します。
教科書	西川 喬/ Ceferino Puebla 『バモス』(同学社) 2,600円

履修コード	282621
科目名	スペイン語II B
担当者名	^{さいとう} 齋藤 ^{あけみ} 明美

講義のねらい	一年次で学習した直説法現在などの基礎文法や単語を復習しながら、本年度は過去形(点過去・線過去)、現在完了形、再帰動詞などの初級文法や日常よく使われる口語表現などをDVD付きの教材やさまざまなプリントを用いて具体的なシチュエーションを通して学びます。また語学学習を通して日本とスペイン語圏の生活・風習に関する相違点を考察し多文化共生に対する理解を深めます。随時スペイン・ラテン音楽なども紹介していきます。
講義の内容・授業スケジュール	前期が終わるころにはスペイン語圏の友人に自分の思い出話を語ったり、簡単なEメールを書いたりすることができるようになります。後期が終わるころには短期語学留学に無理なく参加できる力がついていることでしょう。 前期 (1)オリエンテーション・自己紹介(一年次の復習)(1) (2)第7課、過去のことを語る1(点過去の活用と用法、疑問詞、住まいについて)(2-5) (3)第8課、過去のことを語る2・買い物(線過去の活用と用法、haber、文の連結、大きな数字(101〜一億)、美術館)(6-9) (4)第9課、電子メールの使い方(現在分詞、hacer、季節、月、曜日、不定語、否定語など、居酒屋とタパス)(10-14) (5)中間試験(15) 後期 (6)第10課 パーティー(過去分詞、受動文、現在完了形、再帰動詞、誕生日と聖人)(16-19) (7)第11課 ミニ観光(再帰動詞2、受動文2、命令法、関係詞、不定詞、コウノトリ)(20-23) (8)第12課 テスト(接続法現在、命令文、動詞のまとめ、序数詞など、祭りと闘牛)(24-27) (9)一年間のまとめ(28、29) (10)定期試験(30)
履修上の留意点	スペイン語で初歩的な「読む」「聞く」「書く」「話す」技能を身につけるためには毎回の予習・復習が大切です。最初は文法や単語を覚えるのが大変ですが、きっと次第にスペイン語を使うことが楽しくなるでしょう。
成績評価の方法	毎回の出席、授業参加(態度、発言等)や各期末の定期試験(年2回)を総合的に評価します。
教科書	福嶋(ふくしま)『Español Dinámico 動く!スペイン語』朝日出版社、2600円
参考書等	講義中に推薦する辞典の中から一番自分に合うものを探し、活用しましょう。
その他	学生の理解度にあわせながら授業を進めますのでスケジュールが前後する場合があります。

履修コード	282701
科目名	スペイン語II C (会話) スペイン語II C (会話) [再クラス]
担当者名	眞下 祐一

講義のねらい 旅先で、また日々の暮らしの中で、あなたがスペイン語に接する機会はますます増えていくでしょう。実際の場面で簡単でも適切な表現が自然と口をついて出てくるくらいスペイン語に親しんでください。

講義の内容・授業スケジュール (1)復習 (2~4)存在文、位置の表現 (5~7)SERとESTAR、時間 (8~10)許可を求める、依頼する、GUSTAR (11~13)不定詞をとる動詞表現、命令 (14)復習 (15)前期試験 (16~18)再帰動詞、自己紹介 (19~22)完了、接続法現在 (23~25)点過去、線過去 (26~28)比較、関係詞、未来 (29)復習 (30)後期試験

履修上の留意点 予習・復習を忘れずに。大きな声でしっかり練習しましょう。また自分の言いたいことだけを言うのではなく、相手の言うことがよく理解できるよう、聴解力を養う努力もしましょう。

成績評価の方法 100点満点中、40点は出席、課題の提出など授業参加、残りの60点は二回の期末試験と聞き取りなどの小テストの結果で評価します。

教科書 坂東省次ほか『《三訂版》コミュニケーションのためのスペイン語』(第三書房) 本体2300円

履修コード	283001
科目名	スペイン語III A スペイン語III A [再クラス]
担当者名	眞下 祐一

講義のねらい 三年目のスペイン語です。これまでに学んだスペイン語の基礎を確かなものとしながら、以降各人が勉強を続けていくために必要な土台の完成に努めます。

講義の内容・授業スケジュール (1)復習 (2~4)点過去、線過去、完了 (5~7)未来、過去未来 (8~10)再帰動詞、関係詞 (11~13)受身、無人称文 (14)復習 (15)前期試験 (16~18)接続法現在① (19~21)接続法現在② (22~24)接続法現在③ (25~27)接続法過去 (28・29)条件文 (30)後期試験

履修上の留意点 新聞記事などスペイン語の短い読み物も随時配布する予定です。これで最後というより、さあこれからといった姿勢で勉強に取り組みましょう。

成績評価の方法 100点満点中、40点は出席、課題の提出など授業参加、残り60点は二回の期末試験と小テストの結果で評価します。

教科書 パロマ・トレナド他 『プラサ・マヨール II ソフト版』 朝日出版社

履修コード	283301
科目名	ロシア語IA
担当者名	杉山 秀子

講義のねらい 1) 母音、子音の基本的発音、アクセント記号(力点)の法則、イントネーションの5つの型をみっちりやります。
2) かんたんな挨拶の表現、日常つかわれるロシア語の独特な表現(ボデー・ラングウエジを含む)を身につけます。
3) 平易な内容をききとりによって理解できるようにします。
4) 基礎的な初等文法を学びます。
5) アルファベットを活字体で書けるようにします。はじめに絵やビデオをみながら、ロシア語のやさしい単語や短文を何回も繰り返して練習します。教員が質問した事を何回もくりかえしてもらい、うけ答えをします。少し音に馴れてきたらCDを使い更に理解度を深め、語尾変化に抵抗感のなくなるように何回もゆっくり、くりかえしながら発話してもらおうようにします。授業では各人が何回も発話をさせられますが、全く恐れる必要はありません。全教員が優しく指導してくれますので恥かしがらないことが大切。

講義の内容・授業スケジュール 4、5、6、7月はイントネーションや発音に力点を置き、9、10、11、12月はやさしい短文のききとり、初級文法を学びます。

成績評価の方法 何よりも授業の出席を重視。平常の受け答えの得点、ミニテストなどを総合的にプラスして評価点を出します。

教科書 『21世紀のロシア語』(大学書林) 1,800円
参考書等 『露和辞典』

履修コード	283701
科目名	ロシア語IB
担当者名	廣田 英靖 <small>ひろた ひでやす</small>

講義のねらい 1) 母音、子音の基本的発音、アクセント記号(力点)の法則、イントネーションの5つの型をみっちりやります。
 2) かんたんな挨拶の表現、日常つかわれるロシア語の独特な表現(ボデー・ラングウエジを含む)を身につけます。
 3) 平易な内容をききとりによって理解できるようにします。
 4) 基礎的な初等文法を学びます。
 5) アルファベットを活字体、筆記体で書けるようにします。
 はじめに絵やビデオをみながら、ロシア語のやさしい単語や短文を何回も繰り返して練習します。教員が質問した事を何回もくりかえしてもらい、うけ答えをします。少し音に馴れてきたらCDを使い更に理解度を深め、語尾変化に抵抗感のなくなるように何回もゆっくり、くりかえしながら発話してもらいます。授業では各人が何回も発話をさせられますが、全く恐れる必要はありません。全教員が優しく指導してくれますので恥かしがらないことが大切です。
 4-7月は発音、イントネーションに重点をおき、9-12月はやさしい短文の読みや初級文法のエッセンスを学びます。

講義の内容・授業スケジュール
 履修上の留意点 PC教場にて、インターネットを介しロシアの各メディアを利用して学習に役立てます。積極的に生きたロシア語を学びながら、変化の激しい時代に対応しましょう。

成績評価の方法 何よりも授業の出席を重視。平常の受け答えの得点、ミニテストなどを総合的にプラスして評価点を出します。

教科書 杉山秀子他著『21世紀のロシア語』(大学書林) 1,800円
 参考書等 『露和辞典』

履修コード	284101
科目名	ロシア語IC(会話) ロシア語IC(会話)[再クラス]
担当者名	佐野 朝子 <small>しの あさこ</small>

講義のねらい このクラスはロシア語をはじめて学ぶ学生を対象とします。文法を学び、辞書を使ってテキストを読んでいくクラスよりロシア語をより身近に感じるよう、500ぐらいの単語だけを使って、発音、イントネーション、会話を学び、同時にやさしいテキストを読んでいます。
 会話クラスにありがちな簡単な日常会話以外のことはいっさいわからない、という結果にならぬよう努力するつもりです。
 4月-7月は発音、イントネーション、基礎文法。9月-12月はやさしいよみもの中心。

講義の内容・授業スケジュール
 履修上の留意点 予習はまずいらないと思いますが、ロシア語の発音、イントネーションを少しでも多く耳にするよう、できるだけ授業には出席して下さい。

成績評価の方法 平常点を重視します。

教科書 絵や図がたくさん入っているロシアで出版された教科書を使って授業をすすめますが、手に入りにくい教科書ですので、コピーを用意します。

履修コード	284201
科目名	ロシア語IIA
担当者名	木村 英明 <small>きむら ひであき</small>

講義のねらい 1年次の文法事項の練習と、声を出してロシア語がスラスラ読めるように練習します。
 ロシア語のかんたんな会話と、速読による文意の把握をめざします。

講義の内容・授業スケジュール

- アクセント記号のついた文章をすらすらと読めるようにします。
- 日常つかわれる会話のより複雑なヴァリエーションを学びます。
- やさしい文章を速読で大意がつかめる練習をします。
- かんたんな文を正しく聴きとる練習をします。
- 中等文法のエッセンスを勉強をします。
- 4-7月 基礎文法の復習。9-12月 中等文法の学習、講読力を高める。

成績評価の方法 出席と平常点を重視します。

教科書 『やさしいロシア語読本』(大学書林)。1年次に使用した教科書と文法表。
 その他 プリント配布。教場にて指示します。

履修コード	284501
科目名	ロシア語ⅡB
担当者名	佐野 ^{さの あさこ} 朝子

講義のねらい 正しい文法理解と速読によってロシア語の文意を適確に把握してもらうようにする。さらにやさしいヒアリングの練習と応用により、更にロシア語力を深めます。

講義の内容・授業スケジュール

- アクセント記号のついた文章をすらすらと読めるようにします。
- 日常つかわれる会話のより複雑なヴァリエーションを学びます。
- やさしい文章を速読で大意がつかめる練習をします。
- かんたんな文を正しく聴きとる練習をします。
- 中等文法のエッセンスを勉強をします。
- 4-7月 基礎文法の復習。9-12月 中等文法の学習、読解力を高める。

成績評価の方法 平常点で評価する。

教科書 『やさしいロシア語読本』(大学書林)を使用します。

その他 プリント配布。

履修コード	284601
科目名	ロシア語ⅡC(会話) ロシア語ⅡC(会話)[再クラス]
担当者名	クロチコフ, Y.

講義のねらい 以前に学習した発音、文法、会話の復習。講師が作成した練習テキストを用い、文法の基礎を学習しながら、同時に、会話、作文を練習します。

講義の内容・授業スケジュール

- 4-7月 発音、イントネーション
- 9-12月 文法と会話に力を入れる

成績評価の方法 平常点で評価します。授業中に、時々、簡単なテストを行います。

教科書 杉山秀子他著『やさしいロシア語読本』(大学書林)、その他。

その他 プリント配布。
ビデオ、オーディオ等を使用します。

履修コード	284801
科目名	ロシア語ⅢA ロシア語ⅢA [再クラス]
担当者名	クロチコフ, Y.

講義のねらい 以前に学習した発音、文法、会話の復習。講師が作成した練習用テキストを用い、文法の基礎を学習しながら、同時に、会話、作文を練習します。

講義の内容・授業スケジュール

- ロシア語を通して世界を広げていきましょう。
- 以前に学習した発音、文法、会話の復習。講師が作成した練習用テキストを用い、文法の基礎を学習しながら、同時に、会話、作文を練習する。
- 4-7月 会話とイントネーションに力を入れる。
- 9-12月 応用会話を展開する。

履修上の留意点 出席を重視します。

成績評価の方法 平常点で評価します。授業中に、時々、簡単なテストを行います。

教科書 学生の学力に応じて教科書を選びます。

その他 プリント配布。
ビデオ、オーディオ等を使用します。

履修コード	291501
科目名	英語IA〔再クラス〕
担当者名	大淵 利春 <small>おほふち としはる</small>

講義のねらい 英作文能力の向上を目指す。
 講義の内容・授業スケジュール 具体的には、以下のペースでテキストを読み進めていく。Unit1 (1～3)、Unit2 (4～5)、Unit3 (6～7)、Unit4 (8～9)、Unit5 (10～11)、Unit6 (12～13)、Unit7 (14～15)、Unit8 (16～17)、Unit9 (18～19)、Unit10 (20～21)、Unit11 (22～23)、Unit12 (24～25)、Unit13 (26～27)、Unit14 (28～30)
 履修上の留意点 予習をしてくること。辞書をもってくること。
 成績評価の方法 前後期試験50%、日常点(出席率、授業参加度等)50%で評価する。
 教科書 Keiichiro Fukui『基礎からはじめる英作文』成美堂 1900円 ISBN978-4-7919-1087-8

履修コード	291601
科目名	英語IA〔再クラス〕
担当者名	山口 晃 <small>やまぐち あきら</small>

講義のねらい 英語を使って自分の考えを表現するための基本的な練習をめざす。
 講義の内容・授業スケジュール 毎回の授業では、正確な発音と英作文の練習を行なう。毎回十名前後の学生がこの練習を行なう。
 履修上の留意点 辞書は毎回かならず持ってくること。
 遅刻は成績評価に関係してくるので注意すること。
 成績評価の方法 出席、発表、レポートの三つで成績評価を行う。遅刻すると発表の機会が失われるので注意すること。
 教科書 授業中の発表を非常に重視するので、毎回の授業に何よりも集中することが評価につながる。毎回、プリントを配布する。

履修コード	291701
科目名	英語IA〔再クラス〕
担当者名	伊藤 美代子 <small>いとう みよこ</small>

講義のねらい 文法を中心に、学生の Reading, Writing, Listening, Speaking の四つのスキルを総合的に延ばすことを目的とする。できるだけすべての学生が毎回英語を口にし、エクササイズに参加するよう留意する。
 講義の内容・授業スケジュール 原則として和訳は行わず、英語による内容の理解を図る。できるだけ、英語を使用するが、構文等の説明は日本語で行う。
 履修上の留意点 予習が絶対条件である。半期に、4回以上欠席したのものには、単位を与えない。また、遅刻2回で欠席1回と数える。
 成績評価の方法 各学期毎に中間テストと期末テストを行い、その結果の平均が80%、残りの20%は、平常点、小テスト、提出物等により計算する。
 教科書 「コミュニケーションのためのパーシック・グラマー」山本厚子他(成美堂、¥1,900)

履修コード	291801
科目名	英語IA〔再クラス〕
担当者名	岩井 洋美 <small>いらい ひろみ</small>

講義のねらい 自分のことや身近なことを話したり書いたりできるようにする。
 講義の内容・授業スケジュール テキストに沿って毎週1課ずつ進めていきます。あいさつから旅行、会社内の会話など日常やビジネスで用いる語句表現を学びながら最低限必要な文法を確認していきます。
 履修上の留意点 欠席遅刻の多い学生や授業参加を好まない学生は単位を得ることができません。就職活動で欠席する学生もその度に必ず連絡のこと。
 成績評価の方法 出席授業態度 前期・後期試験 クラス内小テスト スピーキングテスト
 教科書 津村修志他 GOOD JOB 金星堂 1950円+税

履修コード	291901
科目名	英語IA〔再クラス〕
担当者名	飯沼 好永 <small>いひぬま よしなが</small>

講義のねらい 日本語と英語の文章構造の違いを重視しながら、日常生活の様々な事柄を一つの短文から次第に複数の短文で表現できるようにしていきます。

講義の内容・授業スケジュール 基本的な英語の文法を踏まえ、日本語と英語の基本的な仕組みの違いを理解しながら、英作文の練習を行っていきます。テキストの各 Unit とプリントを2週単位で進みます。

履修上の留意点 予習を忘れずに、積極的に取り組んでください。

成績評価の方法 成績は、出席状況、授業への取り組み方、課題、定期試験等を考慮して行います。

教科書 登美博之／Gordon Bateson 編著 English Writing Using Everyday Expressions
朝日出版社 1785円 ISBN 978-4-255-15456-5

履修コード	292001
科目名	英語IA〔再クラス〕
担当者名	町田 成男 <small>まちだ しげお</small>

講義のねらい 英語による意思伝達：入学時の英語を基礎として、英語の運用能力をめざす。

講義の内容・授業スケジュール 1. テキストと英語の話し、2. Lesson1、3. Lesson2、4. Lesson3、5. Lesson4、6. Lesson5、7. Lesson6、8. Lesson7、9. Lesson8、10. Lesson9、11. Lesson10、12. Lesson11、13. Lesson12、14. Lesson13、15. 試験 16. Lesson14、17. Lesson15、18. Lesson16、19. Lesson17、20. Lesson18、21. Lesson19、22. Lesson20、23. Lesson21、24. Lesson22、25. Lesson23、26. Lesson24、27. Lesson25、28. Lesson26、29. Lesson27、30. 試験

履修上の留意点 辞書を持参すること。

成績評価の方法 出席・発表・試験の総合評価

教科書 未定

履修コード	292301
科目名	英語IA〔再クラス〕
担当者名	外池 一子 <small>そのいけ かずこ</small>

講義のねらい 高校までに学習した英語の知識を復習しながら、現在の世界が直面する問題などに関する英文をたくさん読み、構文を理解する力や語彙力をつけていきます。

講義の内容・授業スケジュール テキストに従って、毎週1課を終わるようにします。

履修上の留意点 また、関連する英字新聞の記事なども、適宜取り上げていきます。

成績評価の方法 必ず予習をして出席すること。予習をしていない場合は出席とは認めません。

教科書 CALL教室を使用する場合がありますから、最初の授業でユーザーIDとパスワードを使えるようにしておくこと。

その他 平常点30%、春・秋学期の期末試験70%。(授業内に小テストを行う場合は、期末試験の成績に加味します。)なお、出席日数が3分の2以上の履修者のみが評価の対象となります。

開講時に指示します。

日頃から新聞を読んだり、ニュースを聞いたりして、日本そして世界が直面するさまざまな問題に目を向け、考える習慣を身につけて下さい。

履修コード	292601
科目名	英語IA〔再クラス〕
担当者名	太田 ^{おおた} 由紀子 ^{ゆきこ}

講義のねらい	語彙や構文に対する理解を深め、自らの英語表現力を高めてゆく。言語を通し、英国から米国へ移民した男の自伝を通し、映画を通して、英語圏の文化に親しんで貰いたい。
講義の内容・授業スケジュール	アメリカの喜劇王チャールズ・チャップリンの映画を鑑賞しつつ、その粗筋や関連する自伝（音声テープ付）の一部を読む。聴く、読むの作業を通して、自らこれを再現する能力を身につけたい。前期は『偽牧師』、『黄金狂時代』など、後期は『独裁者』、『殺人狂時代』、『ライムライト』などを鑑賞する。
履修上の留意点	毎回の授業に参加し、作業をすることが実力向上につながる。そう心得てほしい。
成績評価の方法	授業時の応答および小テスト、そして前期・後期の最終授業日に実施する試験結果を総合する。
教科書	未定
参考書等	安井稔『英文法総覧』（開拓社）江川泰一郎『英文法解説』（金子書房） Charles Chaplin 著 My Autobiography (Penguin Modern Classics Non-Fiction) チャールズ・チャップリン『チャップリン自伝』中野好夫訳（新潮文庫 上・下巻に分冊。下巻は絶版）

履修コード	292701
科目名	英語IA〔再クラス〕
担当者名	手島 ^{てしま} 敬子 ^{けいこ}

講義のねらい	本授業は、正しい英語力を身につける上で不可欠な基本的な英文法の確認を行いながら、実際の生活の中で活用できる自然で正確な「ライティング」力の習得を図ります。
講義の内容・授業スケジュール	前期 第1回 ガイダンス 第2回以降 Unit1～Unit10 まで毎回1課ずつ進めて行く予定です。 前期授業最終日 前期試験 後期 第1回 前期試験答案返却 第2回以降 Unit11～Unit20 まで毎回1課ずつ進めて行く予定です。 後期授業最終日 後期試験
履修上の留意点	原則として2/3以上授業に出席すること。 遅刻しないこと。(原則として30分以上の遅刻は欠席扱い) 課題は必ず期限を守って提出すること。 辞書は必ず持参すること。
成績評価の方法	前期試験、後期試験、課題、出席状況、授業への参加度等に基づき総合的に評価します。
教科書	村田和代 太谷麻美『基本文法からはじめる発音型英作文 改訂新版』 マクミラン ランゲージハウス ¥1,890
その他	授業、成績等に関する質問、相談は遠慮なく早めに。 まずは授業に出席しましょう！

履修コード	293201
科目名	英語IB〔再クラス〕
担当者名	三芳 ^{みよし} 康義 ^{やすよし}

講義のねらい	TOEICのような学外の英語検定試験に出題される文法事項を確認しながら、実用英語の総合的な運用能力の向上を目指します。また、日常会話に用いられる慣用句を適宜練習します。
講義の内容・授業スケジュール	前期は基本的な英文をじっくり読みながら、そこに出てくる文法や語法を確認する。後期はさらにペースを上げながら、英語の速読・多読と共に、多種多様な英文の講読に重点を置いて授業を進める。
履修上の留意点	授業は予習を前提とし、毎回口頭による発表形式をとるので、積極的な授業参加を求めます。英語の辞書は必ず持参のこと。
成績評価の方法	授業中の口頭発表、出席率、小テスト（4回から6回）などを総合して評価します。ただし、平常授業の出席率が3分の2に満たない場合は「不合格」とします。
教科書	Mary Lee Wholey著、Eden Brough編著、New Reading Matters 2、出版社センゲージ ラーニング ISBN9784863120488、定価1890円

履修コード	293401
科目名	英語IB〔再クラス〕
担当者名	あんざい かおる 安齋 薫

講義のねらい Reading, Listening 能力向上とともに、バランスよく英語運用能力を習得する。
 講義の内容・授業スケジュール 第1回 Introduction
 その後は2回で1章ずつ進めていく。
 履修上の留意点 予習をしていくこと。
 成績評価の方法 出席状況(2/3以上の出席が原則)前後期試験、レポートで評価
 教科書 English with Hit Songs (成美堂) ¥1700+税 ISBN4-7919-4581-6

履修コード	293601
科目名	英語IB〔再クラス〕
担当者名	はまぐち まよき 濱口 真木

講義のねらい 英語の読解力と表現力の一層の向上を目指す。
 講義の内容・授業スケジュール 文化、社会、政治、経済、教育等の分野のニュースを取り上げてテキストを読みすすめる。Blog-
 ging Granny ~ Cat lovers, Unite! (1~14)、Practice Makes Perfect! ~ Food Mileage (15~30)。
 成績評価の方法 出席や発表などの平常評価(50%)、前期・後期試験(50%)の総合評価。
 教科書 Insights 2009 (金星堂) 1900円 ISBN978-4-7647-3872-0

履修コード	293901
科目名	英語IB〔再クラス〕
担当者名	しらとり よしひろ 白鳥 義博

講義のねらい せっかくの再履修なので、将来なにか実践的に役立つ勉強をして見ませんか?この講座では、TO
 EICテスト対策用の問題集を使って、高校までに学習した英語力(読解、文法、聴き取り)を高め
 るさまざまな練習を行います。TOEICは現代社会のさまざまな分野で求められる英語力をテストす
 るハードな試験ですが、明確な目的意識をもち、発想の転換の転換を図れば、決して恐れるには値
 しません。
 講義の内容・授業スケジュール 前期:(1)ガイダンス(2~14)ひとつのUnitに2・3回かけてテキストを進める(15)前期末
 試験、後期:(15~28)テキストを進める(29)総復習(30)後期末試験 *その他、必要に応じて
 履修上の留意点 テキストの問題をスピーディーに進めますので、慣れない最初のうちは大変かもしれません。しか
 し、そこをなんとか乗り越えてほしいです。実戦的な授業内容になりますので、やる気のない学生
 に対しては厳しい態度でのぞみます。ご注意ください。
 成績評価の方法 平常点と出席状況、および授業内の試験の結果などから総合的に評価する。受講態度(課題へのと
 りくみの熱意)と出席状況を特に重く見るつもり。
 教科書 『ステップ式TOEICテスト総合演習』(南雲堂、2009年) ¥1,900+税

履修コード	294001
科目名	英語IB〔再クラス〕
担当者名	かわさき えみか 川崎 笑佳

講義のねらい 入学時の読解能力を基礎として、listening と speed reading の上達および英語長文の正確
 な内容把握を目標とする。授業は基本的にテキスト中心に行う予定であるが、学生の希望や必要に
 応じて他の教材を使用することも考慮に入れている。
 講義の内容・授業スケジュール (1)プリント使用の授業(2)~(3)Arts & Amusement(4)~(5)Lunch & parties
 (6)~(7)Medicine & Health(8)~(9)Traffic & Travel(10)~(11)Ordering &
 Shipping(12)~(13)Factories & Production(14)プリント使用の授業(15)試験(16)プリン
 ト使用の授業(17)~(18)Research & Development(19)~(20)Computers & Technology
 (21)~(22)Employment & Promotions(23)~(24)Advertisements & Personnel(25)~
 (26)Telephone & Messages(27)~(28)Banking & Finance(29)プリント使用の授業(30)
 試験
 履修上の留意点 学生全員が予習していることを前提として授業を進める。
 成績評価の方法 3分の2以上の出席と授業態度(発表を含む)、前期、後期末の試験結果をもとに総合的に評価す
 る。
 教科書 大須賀直子 塚野壽一 山本厚子 Robert VanBenthuyzen 『Essential Approach for the TOE-
 IC Test TOEIC テストへのニューアプローチ』(成美堂) 2100円

履修コード	294101
科目名	英語IB〔再クラス〕
担当者名	岩原 ^{いわはら} 康夫 ^{やすお}

講義のねらい 読解を通して英語特有の論理的な思考と表現を学ぶ。
 講義の内容・授業スケジュール パラグラフを構成する論理性や表現を学び、文脈の中での読解力を養う。前期はテキストの1～3章(2～7)と4～7章(8～15)、後期は8～11章(1～9)と12～15章(10～15)の予定で授業を進める。
 履修上の留意点 予習、発表、質問、課題などは平常点として考慮される。なおこのクラスは再履修であるので、必要な場合には個々の学生に対応した指導を行う。
 成績評価の方法 前期・後期の試験60パーセント、平常点40パーセントを基準として、成績評価をする。
 教科書 Edward Hoffman, Words of Wisdom for a Successful Life (朝日出版) 1700円 ISBN978-4-255-15467-1 C1082

履修コード	294201
科目名	英語IB〔再クラス〕
担当者名	近藤 ^{こんどう} 真彰 ^{まはり}

講義のねらい 英文ニュース記事を読みながら、時事英語の読解力、語彙力をつけ、その内容について英語で意見が述べられるようになることを目指します。
 講義の内容・授業スケジュール 【前期】第1週：ガイダンス 第2,3週 英文記事の読み方 第4～13週：ジャンル別に記事を読みながら、センテンスで意見を述べる練習を行ないます。第14,15週：復習
 【後期】第1週：前期試験の解答 第2～13週：その時々話題になっている記事を読み、それについての自分の意見をパラグラフで述べる練習を行ないます。第14,15週：復習
 履修上の留意点 授業には必ず辞書を持参してください。
 成績評価の方法 前期と後期の定期試験の成績(50%)と平常点(50%)を総合して評価します。
 教科書 ハンドアウトを配布します。

履修コード	294211
科目名	英語IB〔再クラス〕
担当者名	江田 ^{えだ} 幸子 ^{さちこ}

講義のねらい I (B)の再履修であるこのクラスは、高校終了時までの基礎がしっかりと修得されていないことが考えられます。英文を読解するための基礎を再度確認・学習して、読解の基礎力をつけることがこのクラスの目標です。
 講義の内容・授業スケジュール より高度な英文を読むためには、基礎がしっかりと修得されていることが必須条件です。このクラスでは、まず、平易な名文で書かれた比較的短い英文を、余裕を持って楽しく読み、英語の基礎的な文法や表現方法を再学習します。易な英語で書かれていれば、基礎的な構文も理解・修得し易いはず。易しい英語を繰り返すことで英語表現に馴染むようにします。
 授業の進め方は次のプロセスに従って行います。：(1)語彙の確認(2)読解：音読と内容理解(3)必要な文法事項の再学習(4)聴解：読解した本文を、音声から理解する。このクラスでは、音読をしっかりと行います。声にだして発音することで、構文の理解がより効率的に促され、言葉も記憶に残りやすくなります。
 履修上の留意点 学習する態勢を整えて(テキストや辞書、ノートなどを持参)授業に臨んで下さい。英語は繰り返し学習することで修得される学科ですので、基礎を固めるためには、休まず授業を受けることが大切です。出席を重要視するクラスになりますが、出席は学習することが前提なので、出席さえすればいい、と言う考えは捨てて下さい。
 成績評価の方法 前期・後期に定期的に行う筆記試験、クラス内で適宜行う小テストなどの素点評価で平均点60点以上が及第点。平常点を筆記試験と同じ比率で評価します。平常点とは、授業中の発表、努力する姿勢、熱心度など。特に、このクラスは出席率を重要視しますが、出席率を点数としては出しません。出席率が学習意欲と結びついている場合のみ、素点評価とは無関係に平常評価の対象になります。
 教科書 未定

履修コード	247101
科目名	英語IC (会話) 英語IC (会話) [再クラス]
担当者名	ロンゴ, T.

講義のねらい The students will work on improving their communicative and listening skills.
 履修上の留意点 4 absences in one semester is poor attendance.
 Come to every class and your English will improve!
 成績評価の方法 Regular attendance and participation is expected of each student.
 教科書 The textbook will be assigned at the first class meeting.

履修コード	247701
科目名	英語IC (会話) 英語IC (会話) [再クラス]
担当者名	ミックエリゴット, J. P.

講義のねらい This course will cultivate in students a higher level of natural oral and written English expression.
 Through this course students should be able to listen and understand longer English texts, carry on an extended conversation and write in English at some length.
 講義の内容・授業スケジュール Students will enter into a weekly journal at the beginning of each class. The journals will be read aloud and/or exchanged with classmates. Following the class textbook themes, students will read and write about topics of daily interest. The teacher will help empower students with the skill of proficient writers, to be able to use English accurately and creatively to perform a variety of writing tasks.
 This is a highly interactive class. Students will be placed in small groups and pairs. Students will ask each other questions and offer opinions according to the theme of each chapter of the text.
 履修上の留意点 Student grades will be based on attendance, completion of class assignments, class participation and oral presentation.
 成績評価の方法 GPA方式
 教科書 Dale Fuller & Clyde Grimm 著 "New Airwaves Developing Better Listening Skills"
 Macmillan Language House \2,100
 参考書等 Bilingual dictionary

履修コード	294601
科目名	英語IIA [再クラス]
担当者名	太田 ^{おおた} 美智子 ^{みちこ}

講義のねらい コミュニケーションの手段として英語の運用能力を高めることを目的とします。
 講義の内容・授業スケジュール 英語の歌を素材として、様々な表現を幅広く学ぶ。広範な基本フレーズを覚えることにより、状況に合わせて応用できる基礎力を培うべく、多くの表現方法を身につける。
 履修上の留意点 1章につき2回で進めてゆく予定であるが、それには予習が欠かせない。
 必ず予習し、真摯な態度で授業に臨むこと。単位の修得ではなく、各自の実力の向上が目的であることを決して忘れないこと。そして何事にも知的好奇心を持つ。積極的な授業参加を高く評価する。欠席は年間授業回数の3分の1まで。
 成績評価の方法 平常時の授業態度、予習の有無、場合によってはレポートの内容、また試験を行った際はその素点、等々の総合評価。
 教科書 角山照彦著 Power of Love センゲージラーニング 2100円 ISBN978-4-86312-034-1

履修コード	295001
科目名	英語IIA〔再クラス〕
担当者名	埴 美智子

講義のねらい より高度な英語の運用能力を身につける。自分の考えを表現するために必要な英語力を読みを通して文章表現、会話表現へとステップアップする。

講義の内容・授業スケジュール テキストを中心に英語力を高めることを目標に様々な話題や出来事について関心を抱き、それらに対する意見を英語で表現する術を学んでいく。

履修上の留意点 出席は大切なので重視します。日ごろの学習が欠かせないのでホームワークも大切になります。

成績評価の方法 出席重視。レポート提出、小テスト、授業態度、定期試験の総合点で評価します。

教科書 'What Should We Think About?' — Reading & Writing
「表現力を磨くためのリーディング&英作文」

参考書等 その都度、黒板に板書します。

その他 欠席はなるべく避けましょう。

履修コード	295101
科目名	英語IIA〔再クラス〕
担当者名	小泉 和弘

講義の内容・授業スケジュール (1) ガイダンス (2-3) Chapter 1 (4-5) Chapter 2 (6-7) Chapter 3 (8-9) Chapter 4 (10-11) Chapter 5 (12-13) Chapter 6 (14) ビデオ (15) 試験 (16-17) Chapter 7 (18-19) Chapter 8 (20-21) Chapter 9 (22-23) Chapter 10 (24-25) Chapter 11 (26-27) Chapter 12 (28-29) ビデオ (30) 試験

成績評価の方法 試験50% 出席率および授業態度50%

教科書 Life and Health ー生活と健康ー (鳳書房)

履修コード	295301
科目名	英語IIA〔再クラス〕
担当者名	川崎 浩太郎

講義のねらい IAを基礎としてさらに高度な英語運用能力の向上を目的とする。最終的には数パラグラフからなるエッセイで自分の意見を具体的かつ論理的に表現できるようになることをめざします。

講義の内容・授業スケジュール (1)オリエンテーション (2~15) Unit1~6 (15~30) Unit7~13

履修上の留意点 毎時間必ず辞書を持ってくること。

成績評価の方法 出席点、発表点50%、授業中のレポート50%。全授業日数のうち3分の1以上欠席したものは不可とする。

教科書 石谷由美子/エマ・アンドルース『Skills for Better Writing (Revised Edition) ー構造で書く英文エッセイ(改訂版)』 南雲堂 ¥1995 ISBN978-4-523-17604-6

履修コード	295401
科目名	英語IIA〔再クラス〕
担当者名	佐藤 江里子

講義のねらい IAを基礎とし、より高度な英語 (Writing/Speaking) の運用能力を身につける。テキスト中心に、演習形式で授業を進めていく。その他に補足プリントを配布し、TOEIC等の各種検定にも対応できる英語力の習得をめざす。

講義の内容・授業スケジュール (1)小テスト、(2~6)Unit1-5、(7)確認テスト①、(8~12)Unit6-10、(13)確認テスト②、(14~18)Unit11-15、(19)確認テスト③、(20~24)Unit16-20、(25)確認テスト④、(26~30)文法のまとめと自由英作文。

履修上の留意点 必ず予習をし、辞書を用意して授業に出席すること。授業中に、私語をしたり、寝ている場合は出席とみなさないで注意すること。

成績評価の方法 出席日数が全授業日数の3分の2以上に達していない場合は、定期試験を受ける資格を失い、評価の対象から外れるので十分に注意すること。

教科書 年2回の定期試験 (50%) と小テスト、提出物、発表などの平常点 (50%) から総合的に評価する。特に、出席状況や授業態度を重視する。

『スヌーピーと覚える日常表現』(朝日出版社) 1,700円+税

履修コード	295501
科目名	英語IIA〔再クラス〕
担当者名	梅原 敏弘

講義のねらい 講義の内容・ 授業スケジュール	英語を読み・書き・話すために必要な実践的な英文法の知識の習得を目指します。教科書に基づいて、英語の理解・運用に不可欠な文法項目を勉強します。教科書は練習問題が豊富で、一年間の授業でその全てをこなすことは難しいので、重要と思われる文法項目を取捨選択して取り上げ、学習していくことにします。この教科書は日本人英語学習者を特に念頭において書かれたものではありませんので、日本人学習者が苦手とする文法項目や犯しやすい過ちには特に留意しながら、授業を進めていく予定です。取り上げる文法項目は開講時に指示します。
履修上の留意点 成績評価の方法	練習問題はアットランダムにあてますので、全員しっかり予習してきてください。成績評価は、前期・後期の学期末に行う授業内試験と、出席、予習のしぐあいを総合的に勘案して行います。
教科書 参考書等	Raymond Murphy, <i>Grammar in Use(Intermediate), second edition</i> , (Cambridge) 江川泰一郎「英文法解説」(金子書房) 正保富三「英語の冠詞がわかる本」(研究社出版)

履修コード	295601
科目名	英語IIA〔再クラス〕
担当者名	笹倉 貞夫

講義のねらい	近年ますます国際化していく現代社会に即応しうる国際感覚の育成とともに英語の実践的な運用能力の伸長をめざす。
講義の内容・ 授業スケジュール	(1~5) AMAZING ANIMALS, (6~10) YOUR AMAZING BODY, (11~14) OUR AMAZING UNIVERSE, (15) テスト, (16~20) AMAZING FIRSTS, (21~25) AMAZING ACCOMPLISHMENTS, (26~29) AMAZING ODDS & ENDS, (30) テスト
履修上の留意点 成績評価の方法	予習・復習重視、辞書持参。 前・後期末テストの他、場合によっては、レポートを提出していただき、出席状況も勘案しながら総合的に最終評価を出す。
教科書	M.Vogel『珍しい事実・記録のビッグブック』(太陽社) ¥1,400

履修コード	295801
科目名	英語IIB〔再クラス〕
担当者名	濱口 真木

講義のねらい	文法・構文を重点的にチェックしつつ、テキストの内容をより速く正確に読みとる能力の向上をはかる。
講義の内容・ 授業スケジュール	環境問題や文化、教養、ビジネス等をテーマとしてテキストを読みすすめる。Hibari Misora ~ Rice (1 ~ 10)、Ecocircle ~ Anti-cancer Diet (11 ~ 14)、Postal System Privatization ~ Bioethanol (15~24)、TV Viewer Ratings ~ Pachinko (25~30)。
成績評価の方法 教科書	出席や発表などの平常評価 (50%)、前期・後期試験 (50%) の総合評価。 ECO-INNOVATION AND PROSPERITY (南雲堂) 1900円 ISBN978-4-523-17598-8

履修コード	295901
科目名	英語II B〔再クラス〕
担当者名	行廣 泰三

講義のねらい この授業では、総合的な観点から英語の基本的な技能が習得できることを目指します。

講義の内容・
授業スケジュール

第一回目では、フリテスト
第二・三回目では、The Polar Bear
第四・五回目では、The Hippotamaus
第六回目では、小テスト
第七・八回目では、How can a plant kill?
第九・十回目では、How do many Hearing-Inipaired people talk?
第十一回目では、小テスト
第十二・十三回目では、The Date Palm
第十四回目では、Oranges
第十五回目では、前期のまとめとテスト
第十六回目では、前期の復習
第十七・十八回目では、Blues and Jazz
第十九・二十回目では、Latin music and Salasa
第二十一回目では、小テスト
第二十二・二十三回目では、Work Clothes
第二十四・二十五回目では、The Ainu of Japan
第二十六回目では、小テスト
第二十七・二十八回目では、The Yanomami of the Amazon
第二十九回目では、The Hopi of Arizona
第三十回目では、後期のまとめとテスト

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書

復習と予習をしっかりとして下さい。
小テスト55% 期末30% 出席15%
編著者 柳浦 恭『納得する英文解釈再入門』セングージラニング(株) ¥1700+税 ISBN978-4-86312-109-6C3082

履修コード	296201
科目名	英語II B〔再クラス〕
担当者名	高野 秀夫・甲斐 捷子

講義のねらい

ニューヨークで収録されたABC放送の定評あるニュース番組をビデオで学び、英語の運用能力を高めることがこの授業の目的です。言葉の面白さはもちろん、人とのコミュニケーションのあり方、また、アメリカ文化についても学べるでしょう。

講義の内容・
授業スケジュール

再履修者のためのやさしい教材を、あえて使わないことで、力をつけていただこうと思っています。全15章の内、7章を前期に、残りの後半8章を後期に学びます。授業のスピードも早いので、履修したら最後、頑張るしかありません。

履修上の留意点
成績評価の方法

小テストがありますから、まず、授業を休まないことです。一応の目安として、平常評価としての出席10%、小テスト30%、中間・定期試験各30%の総合評価とします。

教科書

ABC World News 11 Shigeru Yamane/kathleen Yamane 著 金星堂 ¥2,300 ISBN: 978-4-7647-3869-0

参考書等
その他

特になし。
特になし。

履修コード	296301
科目名	英語II B〔再クラス〕
担当者名	佐藤 江里子

講義のねらい	IB (Reading/Listening Comprehension) を基礎として、多読・速読をめざす。テキスト中心に、演習形式で授業を進めていく。その他に、補足プリントを配布し、基礎からTOEIC等の各種検定にも対応できる英語力の習得をめざす。
講義の内容・授業スケジュール	(1)小テスト、(2～4)Unit1,2、(5～7)Unit3,4、(8～10)Unit5,6、(11～13)Unit7,8、(14～16)Unit9,10、(17～19)Unit11,12、(20～22)Unit13,14、(23～25)Unit15,16、(26～28)Unit17,18、(29～30)Unit19,20
履修上の留意点	必ず予習をし、辞書を用意して授業に出席すること。授業中に、私語をしたり、寝ている場合は出席とみなさないので注意すること。 出席日数が全授業日数の3分の2以上に達していない場合は、定期試験を受ける資格を失い、評価の対象から外れるので十分に注意すること。
成績評価の方法	年2回の定期試験(50%)と小テスト、提出物、発表などの平常点(50%)から総合的に評価する。特に、出席状況や授業態度を重視する。
教科書	『エコイノベーションと繁栄』(南雲堂)1,900円+税

履修コード	296501
科目名	英語II B〔再クラス〕
担当者名	丸小 哲雄

講義のねらい	題材は日本文化論。読みと表現の総合英語。速読ができるようにパラグラフの構成のあり方とそのコメント力を涵養しながら、語彙を増やし英語のヴァリエーションに留意し、速読の要領も捉えるように目指します。
講義の内容・授業スケジュール	ウォーミングアップとしてリスニング・タイム(授業の始めに毎回10分間程度)とし、文構造の作成の仕方に留意し、コメント力を養成していきます。 ・授業スケジュール 第1回 Introduction 第2回～第5回 Smaller Is Better:Four Examples 第6回～第8回 The Fan—Fold It, Hold It, Bring It Closer 第9回～第12回 The Anesama Doll—Take away and pare down 第13回～第15回 The Well-Stuffed Box Lunch—Pack It In 第16回～第18回 Reductionism Today 第19回～第21回 Transistors Reflecting the Japanese Spirit 第22回～第23回 Reductionism and Management 第24回～第25回 The Robot and Pachinko 第26回～第27回 Expansionism and the Japan of Today:The Samurai Merchant 第28回～第29回 A Fear of Open Spaces 第30回 The Handtruck and the Raft
履修上の留意点	質問や発表は評価の対象となりますので、予習・復習がこのクラスの前提条件です。
成績評価の方法	出席率、平常テスト、レポート作成課題(開講時に指示)、前期・後期の試験などの総合評価。クラスでの発表者には別途評価します。
教科書	・ Listening Time:TOEIC Test Fundamentals 南雲堂 ISBN978-4-523-17533-9 ・ Reading Time:The Compact Culture 英宝社 ISBN978-4-523-17533-9
参考書等	参考資料等を随時指示し、日常英語のプリントや時事英語ニュースのコピーも配布します。

履修コード	296901
科目名	英語II B〔再クラス〕
担当者名	本間 俊一

講義の内容・ 授業スケジュール	教科書の英文の訳読とその構文理解を中心として学びながら、話題は英米文化圏の日常生活、そして彼らの思考、さらに日本との比較に及ぶ。通常の授業は、前もって学習する予定を発表し、学習を前提に授業を進める。さらに年間を通じていくつか課題の提出を要求するつもりである。学習においては、もちろん細部にこだわるつもりであるが、あまり細部にこだわり過ぎて全体観を失うことは愚かなことであるから、時には相手に大きな誤解を与えない程度に大胆に要約する能力を養えるようにする。
履修上の留意点	毎回、作品の全体を視野にいれながら、細部に注目し、各自が一部を責任もって発表する予定。パソコン・ネットワークを利用した、英語自習、研究の発展、相互のコミュニケーションに及ぶつもりである。
成績評価の方法	前期と後期の2回の試験はもちろんのこととして、普段の授業での発表、さらに年間を通じての課題の提出で評価を決定する。授業の出席は3分の2以上、遅刻3回で1回の欠席と計算する。なお、課題の提出の仕方については授業で細かく説明するつもりであるが、休暇中にパソコン・ネットワークでも可能であるから興味のある学生はそれに習熟されたい。
教科書	Checknote For Business Trends (金星堂) 1,100円 ISBN4-7647-3717-5

履修コード	260001
科目名	英語II C (会話) 英語II C (会話)〔再クラス〕
担当者名	セイジ, K

講義のねらい	Students who take this class will improve their general confidence in English and conversation skills. This course will have a lot of pair activities which use the English of everyday situations.
講義の内容・ 授業スケジュール	In lessons you will do activities mainly in pairs based on functions that are common in daily English conversation. You will be required to make conversations in pairs and perform them in front of the class. Plus, review activities on YeStudy will be expected.
履修上の留意点	Come to class ready to do activities and try your best to improve your confidence in English and conversaiton skills.
成績評価の方法	1. Class activities 2. Pair preparation and performance 3. YeStudy work and use 4. Attitude and attendance
教科書	There is no textbook. You will need to keep printouts and YeStudy will be used.
参考書等	A dictionary, preferably an electronic one.

履修コード	262301
科目名	英語III A 英語III A〔再クラス〕
担当者名	伊藤 美代子

講義のねらい	IA、IIAからさらに進んで高度な英語の運用能力をめざす。英語を学ぶことから一歩進んで、英語で学ぶことも体験する。実際の経済ニュース記事を学ぶことにより、実社会の経済動向の理解も深めることも目的とする。
講義の内容・ 授業スケジュール	原則として和訳は行わず、英語による内容の理解を図る。できるだけ、英語を使用するが、構文等の説明や経済活動等の説明は日本語で行う。本文を理解した後、和文英訳により英語力を強化する。また、内容についてのリスニングの訓練も行う。
履修上の留意点	予習が絶対条件である。半期に4回以上欠席したものには、単位を与えない。遅刻2回で欠席1回と数える。
成績評価の方法	各学期毎に中間テストと期末テストを行い、その結果の平均が80%、残りの20%は、平常点、小テスト、提出物等により計算する。
教科書	1. Dave Hara, Yoko Okayama, Hayley Davies『経済ニュースを読む(国内編)』(南雲堂) ¥1,600 2. 同上:『経済ニュースを読む(国際編)』(南雲堂) ¥1,500

履修コード	262401
科目名	英語ⅢA 英語ⅢA〔再クラス〕
担当者名	岩井 洋美

講義のねらい 今後ますますグローバル化する世の中では、旅行のみならずビジネスでも英語を必要とします。社会人として役立つ英語を習得し、実際にやり取りができるようにします。

講義の内容・授業スケジュール 毎週テキストに沿って進めます。前半：就職活動、社内での英語など、後半：出張・旅行での英語など

履修上の留意点 欠席遅刻の多い学生と授業参加を好まない学生は単位を取ることができません。就職活動で欠席する学生はその度に報告すること。第1回目の授業に必ず出席してください。

成績評価の方法 出席授業態度 前期・後期試験 クラス内小テスト・課題

教科書 津田晶子 Open Career Doors 桐原書店 1800円

履修コード	262501
科目名	英語ⅢA 英語ⅢA〔再クラス〕
担当者名	小布施 圭佐三

講義のねらい この授業の目的は、英文和訳や訳読ではなく、読むためのスキルとして、語彙力、内容予測力、大意把握などを養うことで、英語による内容理解力を高めることにあります。

講義の内容・授業スケジュール (1) ガイダンス (授業を展開する上で) (2～7) [PART I] FAMILY TIES:(Chapter 1.TV no substitute for parenting ~ Chapter 6.Wives stuck caring for both sets of parents) (8) Pretest (9～14) [PART II] EDUCATIONAL PROBLEMS:(Chapter 1.Teach English at the expense of Japanese? ~ Chapter 5. Encourage healthy eating habits) (15) 中間テスト (16～25) [PART III] WORK AND LIFE:(Chapter 1. Companies struggling to train workers ~ Chapter 5. What follows “equal rights”?) (26～29) [PART IV]SOCIAL PROBLEMS:(Chapter 1. High time to act on high tides ~ Chapter 5. Japan must fight giant jellyfish invasion) (30) 期末テスト

履修上の留意点 進度は各課90分で消化。授業は演習方式で行います。受け身の授業ではなく、ペア・ワークを多用し、授業の活性化を図ります。音声指導に当たっては、テープレコーダーを使用します。

成績評価の方法 出席 (30点) / レポーター・レポート・授業の貢献度 (20点) / 小テスト・中・期末テスト (50点) などを加味して総合評価します。

教科書 玉井久之／田代直也／P.M.ケリー：『日本の今を考える』(Contemporary Issues in Japanese Society) (英宝社) 1,800円 ISBN978-4-269-19032-0 C1082

履修コード	262601
科目名	英語III A 英語III A〔再クラス〕
担当者名	松堂 啓子

講義のねらい パラグラフの大意を把握しながら、文章全体の論理的構成を理解する。演習を通じて、表現力を身につける。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 ガイダンス
- 2 美の世界制覇をめざして—花王
- 3 世界制覇をめざしたブランド統一—パナソニック
- 4 自動車工場と自然環境の調和—トヨタ
- 5 創業100周年にむけたビジョン構築—三菱電機
- 6 本業を活かした国際貢献—コマツ
- 7 試験
- 8 フリート戦略：アジア No1 の航空会社にむけて—ANA
- 9 付加価値サービスとスケールメリットの自動車事業—オリス
- 10 店舗の多様化による顧客拡大—ローソン
- 11 フェアで便利なネット銀行—ソニー銀行
- 12 統合による相乗効果を求めて—J.フロントリテイリング
- 13 試験
- 14 地球温暖化への挑戦—東京海上グループ
- 15 日本の空から世界の空へ—三菱重工業・三菱航空機
- 16 買収による活動基盤の拡充—京セラ
- 17 TOPVALU：顧客の声から生まれたブランド—イオン
- 18 試験
- 19 先端的研究開発で業界をリードする—参天製薬
- 20 和風の‘うまみ’を西洋に—キッコーマン
- 21 人材とともに成長する企業—キーエンス
- 22 トrendを見通す独自の視点—博報堂
- 23 試験
- 24 補足授業

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書

単位修得には、原則三分の二以上の出席が必要である。
試験の結果（9割）、課題等（1割）。
『Styling Corporate Messages』（成美堂）1,900円 ISBN978-4-7919-1082-3

履修コード	262701
科目名	英語III A 英語III A〔再クラス〕
担当者名	佐藤 孝一

講義のねらい 授業では、基本的に英文を正しく読めて、正しく理解できたかをチェックしていきます。授業中に英語を学習していくのは困難であると思います。予習・復習を通して段々に英語力を高めていく意欲や動機付けを自覚し、実行してもらいたいと思います。

講義の内容・授業スケジュール

テキストはアメリカの文化や社会など多種多様な内容を学んでいきます。異文化理解に関してアメリカの文化が学生に身近に感じられると思っています。手紙形式の内容なので、英文も形式張らないし、話題も新鮮ですので理解し易いと思います。内容に応じて、コメントや日本との比較等しながら授業を進めて行きます。全体で24章ありますので、毎時間1章を消化するのをノルマにします。事前に発表者を決め、発表者には予習をしてきて発表してもらいます。発表回数に応じてポイントが付きます。

履修上の留意点

4年生は出席に留意すること。会社説明会や試験の際には必ず事前に報告し、かつ証明書を出すこと。

成績評価の方法

基本的に前期・後期の学期末試験と発表点、レポート、クイズ等で総合的に評価します。欠席と遅刻の場合だけ減点制にします。授業は全体回数の7割以上出ない場合は評価の対象になりません。

教科書

『Letters from America』 南雲堂

履修コード	262801
科目名	英語III A 英語III A〔再クラス〕
担当者名	町田 ^{まちだ} 成男 ^{しげお}

講義のねらい	II Aを基礎として、時事・社会科学系の教材を用いて、高度な英語運用能力を身につける。
講義の内容・授業スケジュール	1. 教材と英語の話し、2. Lesson 1、3. Lesson 2、4. Lesson 3、5. Lesson 4、6. Lesson 5、7. Lesson 6、8. Lesson 7、9. Lesson 8、10. Lesson 9、11. Lesson 10、12. Lesson 11、13. Lesson 12、14. Lesson 13、15. 試験、16. Lesson 14、17. Lesson 15、18. Lesson 16、19. Lesson 17、20. Lesson 18、21. Lesson 19、22. Lesson 20、23. Lesson 21、24. Lesson 22、25. Lesson 23、26. Lesson 24、27. Lesson 25、28. Lesson 26、29. Lesson 27、30. 試験
履修上の留意点	辞書を持参すること。
成績評価の方法	出席・発表・試験の総合評価
教科書	未定

履修コード	262901
科目名	英語III A 英語III A〔再クラス〕
担当者名	鈴木 ^{すずき} 美貴子 ^{みきこ}

講義のねらい	英文読解力を高める。
講義の内容・授業スケジュール	テキストに従って英文を読む。随時こちらで用意したTOEIC練習問題や英字新聞記事を読む。 前期スケジュール：1回目オリエンテーション、2～3回目 Unit 1、4～5回目 Unit 2、同様に進み12～13回目 Unit 6、14回目 Review、15回目試験 後期スケジュール：16回目オリエンテーション、17～18回目 Unit7、19～20回目 Unit 8、同様に進み27～28回目 Unit 12、29回目 Review、30回目試験
履修上の留意点	予習必須。必ず辞書を持参し、授業中もよくひくこと。
成績評価の方法	出席状況（出欠席・授業への姿勢）、前・後期試験、提出物により総合的に評価する。
教科書	「アジアの現在（いま）を学ぶ Understanding Asia」（センゲージラーニング株式会社、2000円） ISBN978-4-86312-101-0

履修コード	263001
科目名	英語III A 英語III A〔再クラス〕
担当者名	竹村 ^{たけむら} 恵都子 ^{えつこ}

講義のねらい	基礎英語を再認識し、主として Speaking や Writing の英語運用能力を高めることを目的とします。
講義の内容・授業スケジュール	テキストを中心に、テープも利用しながら演習形式で授業を進めます。
履修上の留意点	遅刻・欠席をせず、予習を含め、積極的に授業参加をすること。
成績評価の方法	前後期の試験を主とし、授業時の発表及び出席率などを総合的に評価します。
教科書	未定

履修コード	263101
科目名	英語ⅢA 英語ⅢA〔再クラス〕
担当者名	吉江 ^{よしえ} 正雄 ^{まさお}

講義のねらい	英文の美しさを理解し、また広く、世界史や言語の成り立ちを学ぶ。尚、文法事項や構文についても詳しく説明するので、広い知識を身に付ける事ができるようにする。
講義の内容・授業スケジュール	H.G.Wells の“A Short History of the World”というテキストを通読する。まず辞書をひきながら丹念に英文を逐語訳することから始める。その後、それを誰が読んでもしっかりとした日本語として理解出来る文章になるように指導する。
	前期 1、2、3、4回 1章 The Beginning of Cultivation 5、6、7、8回 2章 The First American 9、10、11、12回 3章 Sumeria, Early Egypt, and Writing 13、14回 4章 Primitive Nomadic Peoples 15回 試験日
	後期 16、17、18、19回 5章 The First Seagoing peoples 20、21、22、23回 6章 Egypt, Babylon, and Assyria 24、25、26回 7章 The Primitive Aryans 27、28、29回 8章 The Last Babylonian Empire 30回 試験日
履修上の留意点	予習を必ずし、問題意義をもって授業に参加し、質問するようにして欲しい。また、評価の対象にもなるので、積極的に自ら発表をするよう努めて頂きたい。
成績評価の方法	前・後期試験の結果に、平常点（授業中での発表）を加味して評価する。出席点はない。すなわち、学生は全時間数の三分の一以上出席して始めて受験資格（単位取得の資格）を得ることになる。
教科書	H.G.Wells 著“A Short History of the World”（ウェールズの簡約世界史）（こびあん書房）教室で販売する。
参考書等	授業中に推薦する。

履修コード	297101
科目名	ドイツ語ⅠA〔再クラス〕
担当者名	本橋 ^{もとはし} 右京 ^{うきょう}

講義のねらい	伝統的な配列にしたがってドイツ語初級文法を学びます。やさしい例文にできるだけ多くあたり、ドイツ語の基本的な語彙や構造を習得します。
講義の内容・授業スケジュール	文法をアルファベット、発音から復習します。ドイツ語の仕組みを把握し、それをテキストで確認します。そこに出てきた基本表現を覚え、さらに毎時間配布する練習問題で理解を確実なものとしします。
履修上の留意点	予習・復習や授業中の発表など、みなさんの積極的な取り組みに期待します。
成績評価の方法	前期・後期の試験60%、出席率と授業参加度40%。
教科書	諏訪田 清著『新訂・ドイツ文法18歩』（同学社）2004年刊 2300円＋税 ISBN8102-0839-7

履修コード	297201
科目名	ドイツ語ⅠA〔再クラス〕
担当者名	志真 ^{しま} 斗美恵 ^{とみえ}

講義のねらい	さまざまな理由でもう一度ドイツ語1Aを再履修することになった方たちのクラスですが、編入等ではじめてドイツ語に触れる方もおいでです。全員が、気持ちを新たにドイツ語に取り組んでいきましょう。新しい言葉を学び、未知の文化に触れていくことは楽しいことです。無理なく、一步一步進めるよう、やさしいテキストをつかい、ドイツ語の知識を確実なものにしていきます。
講義の内容・授業スケジュール	ABCからはじめて、ドイツ語の初級文法を学習します。文法だけでなく、CDを使い、聞き取りや簡単な会話の練習もしながら、初級ドイツ語を習得していきます。前期は、7課分離動詞まで、後期で、14課接続法まで終えます。
履修上の留意点	ドイツ語は決して難しくはありません。きちんと法則にしたがって構成されています。積み重ねが大事です。欠席をするとわからなくなるのは当然ですので、必ず出席してください。
成績評価の方法	前期・後期試験および平常点(毎回その日の授業内容の復習練習をし点検します)で総合的に評価します。
教科書	春日正男・松澤淳著、『怖くはないぞドイツ文法』、朝日出版社、2400円＋税、ISBN978-4-255-25323-7C1084

履修コード	297401
科目名	ドイツ語IA〔再クラス〕
担当者名	武田 利勝

講義のねらい 1年間のドイツ語文法の学習を通じ、ドイツ語検定4級～5級程度の力を身に付けてもらいます。学習内容は初歩的な文法に留まりますが、どの学習事項も、これから自分でドイツ語を話したり読んだりする時の重要な「引き出し」になります。

講義の内容・授業スケジュール (1) オリエンテーション、ドイツ語学習の目標設定 (2～3) 発音の練習 (4～6) 動詞の変化、その1 (7～10) 名詞の格変化のいろいろ (11～15) 数詞、疑問詞、前置詞など (16～20) 動詞の変化、その2 (20～23) 接続詞、受動文、否定詞など (24～26) 形容詞、序数 (27～28) 関係代名詞と関係文 (29～30) 非現実話法、まとめ

履修上の留意点 外国語の学習は継続と積み重ねが命ですから、復習は絶やさないこと。もちろん、出席し続けること！ とはいっても、チームワークを重視した授業になりますので、ただ出席するだけでなく、積極的に参加することが望まれます。楽しく真剣な授業になるように、協力しあいましょう。

成績評価の方法 各学習事項についての小テスト、また学期末テストのスコアに加え、出席状況および課題提出状況も評価の対象とします。

教科書 未定

履修コード	297411
科目名	ドイツ語IA〔再クラス〕
担当者名	野島 利彰

講義のねらい ドイツ語は英語と比べると覚える文法事項が多いのですが、それを避けている限り、ドイツ語は理解できません。少し努力すれば後が楽です。

講義の内容・授業スケジュール 練習問題を中心に授業を進めます。

履修上の留意点 外国語学習には予習復習が重要です。授業の前には必ず予習しておいて下さい。

成績評価の方法 出席回数、小テスト、七月と一月の試験の成績、および授業中、練習問題や質問にどれだけ答えたかが成績評価の基準になります。

教科書 大岩信太郎著『快速ドイツ文法』、朝日出版社、2100円。

その他 慣れるためにテレビやラジオのドイツ語講座も利用して下さい。

履修コード	297501
科目名	ドイツ語IB〔再クラス〕
担当者名	飯塚 公夫

講義のねらい 正規の授業と同じで、ドイツ語の基本をやっていきます。発音・文法の理解・内容の読み取りが中心となります。

講義の内容・授業スケジュール 教科書通り、文法説明・発音練習・練習問題・文章の読解という手順でやっていきますが、練習問題に重点が置かれます。

履修上の留意点 語学の勉強は大変日常的な事柄と密着していますが、未知の外国語である以上、自己の日常べったりでは、理解に至りません。辞書の引き方からして、ただ持っていればことばがわかると思っている人が多いようですが、引き方を知らなければ目的の単語に到達しませんし、また到達しても、考えなければ、意味のわかることばにはなりません。大変な作業です。「暗記物」ではありませんので、心してください。辞書必携。

成績評価の方法 前期後期各一回の筆記試験と平常点(=発表点)。

教科書 荻野蔵平他著『ドイツ文法 型から型へ』(朝日出版社) 2,300円

履修コード	297601
科目名	ドイツ語IB〔再クラス〕
担当者名	杉本 正俊

講義のねらい ドイツ語に再チャレンジする人々にも、初めて学ぶ人々にも、ドイツ語を学ぶ楽しさを知って頂きたい。基礎的な知識を初めから丁寧に学びつつ、ドイツ語を学ぶ土台を築いて頂きたいと思う。

講義の内容・授業スケジュール 所定の教科書に従って一年間の授業を進める。発音を重視し、教科書の文や練習問題は必ず発音してもらい、また添付CDを聴いてネイティブ・スピーカーの発音を確認する。

履修上の留意点 予習は必ずしも必要ではないが、与えられた課題はしっかりと行い、授業を有効に活用して実力を付けて頂きたい。

成績評価の方法 きちんと授業に参加しているかどうかを評価します。年度末試験も評価の基準になる。

教科書 関口一郎著『ハロー・ミュンヘン・ノイ』 白水社¥2200

履修コード	297801
科目名	ドイツ語IB〔再クラス〕
担当者名	数下 絢一 <small>やぶした こういち</small>

講義のねらい 困難に思えるドイツ語を、何とか理解してもらいたい。

講義の内容・授業スケジュール 1 講目第 1 課～30 講目第 10 課まで、各課に授業 3 回をかけて、とにかくわかるまで教える。

履修上の留意点 今年こそ単位をとるぞと頑張ってもらいたい、出席重視。

成績評価の方法 成績は、前・後期各 1 回の試験 (50 点満点) を実施。教わったとおりに答えて下さい。平常点も加味する。

教科書 佐藤ほか著『新ドイツへ行ってみませんか』郁文堂 (2500 円 + 税)

参考書等 辞書だけは持って来る事。

履修コード	297901
科目名	ドイツ語IB〔再クラス〕
担当者名	南 はるつ <small>みなみ</small>

講義のねらい 会話表現、文法事項に関する比較的容易な問題を解くことによって初級文法の基礎を身につけるとともに、ドイツ文化についても学びます。

講義の内容・授業スケジュール 前期：発音、冠詞類、動詞の現在人称変化、前置詞、命令形
後期：助動詞、複合動詞、接続詞、過去形・現在完了形、形容詞

履修上の留意点 出席を重視します。

成績評価の方法 夏休み後に行う中間試験、後期試験、平常授業時間中に行う小テスト、平常点、出席状況を総合して評価します。

教科書 小野寿美子・中川明博・西巻丈児著『ドイツ語 プラヴォー! プラスアルファ』朝日出版社
¥2400 + 税 ISBN:978-4-255-25310-7 C1084

参考書等 随時紹介する他、授業に必要な練習問題等のプリントを配布します。

履修コード	268001
科目名	ドイツ語IC (会話) ドイツ語IC (会話)〔再クラス〕
担当者名	清水 修 <small>しみず おさむ</small>

講義のねらい 初級ドイツ語会話の授業です。ドイツ語の発音規則の説明・練習から始め、基本的パターンの学習を積み重ねて、一年後には自分に関する事柄をドイツ語で述べるできるようになり、日常的によくある状況にもドイツ語で対応できるようになれば、と考えています。

講義の内容・授業スケジュール 授業はDVD付きの教科書を用いて行います。(DVDの再生装置は必須ではありません。)映像と音声で、実際の場面に則してドイツ語でのコミュニケーションの練習をしていきます。

履修上の留意点 会話のクラスですので、毎回出席して口頭練習することが出発点となります。是非とも定期的に出席するようにしてください!

成績評価の方法 成績評価は、学期末その他に行われる口頭試験および平常点 (定期的に出席して、口頭練習に積極的に参加しているかどうか等々) によって行います。

教科書 荻野蔵平、Andrea Raab 著『ドイツってすてき! [DVD付き改訂版]』(朝日出版社)
2,600円

履修コード	298001・298002
科目名	ドイツ語IIA〔再クラス〕 ドイツ語IIB〔再クラス〕
担当者名	森 公成 <small>もり こうせい</small>

講義のねらい 文法を最初から学びなおし、ある程度の読解力を身につける。

講義の内容・授業スケジュール 一年をかけて、下記の教科書を終わらせませす。最初はゆっくりと進めますが、じょじょにスピードアップをはかります。

履修上の留意点 授業への積極的な参加を希望します。遅刻と早退は 2 回で 1 回休みとみなします。なお遅刻は 30 分以内のみ認めます。3 分の 1 以上休んだ場合は原則として定期試験の成績いかに関わらず、単位の修得ができませんのでくれぐれも注意してください。

成績評価の方法 定期試験 (年 2 回)、出席率、夏期休暇中の課題、授業態度等から総合的に判断、評価します。

教科書 小塩節著『ドイツ こころの旅』(朝日出版社) 2,200円

履修コード	298101・298102
科目名	ドイツ語IIA〔再クラス〕 ドイツ語IIB〔再クラス〕
担当者名	もとほし うきよう 本橋 右京

講義のねらい 平易な読章を読みながら、ドイツ語の基本的な語彙や構造を習得して行きます。
 講義の内容・授業スケジュール 初級文法に準拠して、文法項目を確認しながら学んで行きます。基本表現はできるだけ覚えましょう。
 履修上の留意点 テキストは丁寧に無理なく、また興味深く作られています。しっかり予習・復習して授業に臨んでください。授業中の発表や表現練習など、みなさんの積極的な取り組みに期待します。
 成績評価の方法 前期・後期の試験60%、出席率と授業参加度40%。
 教科書 佐藤和弘・他 『新 ドイツに行ってみませんか』(郁文堂) 2009年刊 2500円+税, ISBN978-4-261-01232-3

履修コード	298201・298202
科目名	ドイツ語IIA〔再クラス〕 ドイツ語IIB〔再クラス〕
担当者名	やぶした こういち 薮下 紘一

講義のねらい 辞書をひいて、文を読み訳すのは毎回1人1文ずつ、中級ドイツ文が読めるようにする。
 履修上の留意点 1回3ページが目標。ぜひ単語だけでも家で辞書を引いて下さい。出席重視。
 成績評価の方法 前・後期各1回50点満点の試験をする。毎時間の読・訳も考慮に入っている。
 教科書 テキスト、A.Raab, 石井著:『こんにちはドイツです』; 朝日出版(1900円+税)
 参考書等 参考書・辞書等については第1講目に口頭で。

履修コード	268601
科目名	ドイツ語IIC(会話) ドイツ語IIC(会話)〔再クラス〕
担当者名	いむら ゆきこ 井村 行子

講義のねらい 1年生で習得したドイツ語をもとに会話力の向上をめざします。
 講義の内容・授業スケジュール 教科書に沿って進めます。
 成績評価の方法 前期と後期の筆記試験の成績と平常点を総合して評価します。
 教科書 現在まだ未定ですが、学期初めまでに書店のほうに連絡しておきます。

履修コード	268801
科目名	ドイツ語IIIA ドイツ語IIIA〔再クラス〕
担当者名	のじま としひさ 野島 利彰

講義のねらい ドイツ語の読む力を訓練します。
 講義の内容・授業スケジュール 毎回配布するプリントをその場で辞書を引いて訳してもらいます。文法的に難しい箇所、熟語、辞書に載っていないような語については事前に解説します。辞書は電子辞書でなく、普通の紙の辞書が望ましいのですが、いずれにしろ授業の中で辞書の引き方を指導します。
 履修上の留意点 予習は必要ありませんが、1年次で使用した文法の教科書を持参してください。
 成績評価の方法 毎回、提出してもらった訳の成績の合計が成績評価となります。
 教科書 プリント
 その他 外国語学習には毎日の積み重ねが大切です。テレビやラジオのドイツ語講座も視聴して下さい。

履修コード	298801
科目名	フランス語IA〔再クラス〕
担当者名	あしはら けん 芦原 眷

講義のねらい 1年かけて、仏語のやさしい文章(おもに会話の多い文章)が読めて(発音)、その内容が理解(読解力)できるようにします。読解力をつけるためには、文法の知識を身につけることがどうしても必要です。文法は読解力に非常に役立つ道具です。
 講義の内容・授業スケジュール 前期は、文法を土台にして、仏語の読み方、辞書の上手な引き方を覚えます。後期は、前期の作業を発展させて、できるだけ多くの仏文を読めるようにします。
 履修上の留意点 教科書と同時に辞書を持参して下さい。
 成績評価の方法 毎回小テストか辞書を使う和訳のテストをします。それに、期末の総合テスト。ときどきレポート。
 教科書 中山真彦『ミニ・ボンジュール・パリ』(白水社)

履修コード	298901
科目名	フランス語IA〔再クラス〕
担当者名	大野 英士 <small>おのの ひでし</small>

講義のねらい	フランス語を全く知らない初心者を対象に、フランス語の基礎的な文法知識を学習しつつ、特に、話す、聞く、読む、書く能力を無理なく、バランスよくつけてもらうことを目標として授業を行います。仏検5級合格の実力を錬成することを目指します。
講義の内容・授業スケジュール	(1)～(2)受講上の諸注意/綴り字と発音 (3)～(4) 自己紹介する (5)～(6) 家族・年齢を言う (7)～(8) 好き嫌いを言う (9)～(10) 所有を言う、指し示す (11)～(12) 人を描写する (13) 中間テスト (14)～(15) 尋ねる (16)～(17) 近い未来・近い過去 (18)～(19) 数量を表す (20)～(21) 時間や天候を言う (22)～(23) 比較する (24)～(25) 比較する (26)～(27) 過去の話をする (28) 定期試験
履修上の留意点	授業中は、恥ずかしがらないで、大きな声で積極的に授業に参加してください。その上で、教科書に出てくる会話は暗記するぐらい声を出して、何度も読んでください。「練習」はできれば予習の段階で、あらかじめ準備してきてください。
成績評価の方法	出席点、授業中の小テスト、1学期末の中間テスト、定期試験の三つの総合点で評価します。
教科書	藤田裕二著 『新訂版・えすかるご1』(朝日出版社)
参考書等	森本 英夫、三野 博司著、『プチット・リュミエール フランス語参考書』(駿河台出版社)
その他	辞書等は、授業の開始時に簡単なガイダンスを行います。

履修コード	299001
科目名	フランス語IA〔再クラス〕
担当者名	菅原 猛 <small>すがはら たけし</small>

講義の内容・授業スケジュール	かつて習ったフランス語の初歩をもう一度基礎から学習しなおすクラス。かぎられた授業時間内で毎時間先へ先へと進んでゆきます。
履修上の留意点	再履修クラスですから出席状況が重視されます。
成績評価の方法	年2回の定期試験の成績を中心に、毎時間行なう練習問題の結果も評価の対象にします。
教科書	石上亜紀子他『アトリエ・フランセー見開きフランス語文法』2007年刊(朝日出版社)2100円+税

履修コード	299011
科目名	フランス語IA〔再クラス〕
担当者名	谷川 かおる <small>たにがわ かおる</small>

講義のねらい	フランス語に親しみながら、基本文法を学び直す。
講義の内容・授業スケジュール	自己紹介-カフェでの注文-簡単な日常会話などを学ぶ。毎週、簡単なフレーズをいくつか暗記する。
履修上の留意点	出席重視。なるべく積極的に授業に参加すること。
成績評価の方法	前期・後期の暗唱テスト、筆記テストの点を基準とし、小テストの点を加算し、全体として60点以上を合格とする。
教科書	伊勢晃、谷口千賀子著、『サヴァ?』、早美出版、2400円。
参考書等	授業中に指示する。

履修コード	299101
科目名	フランス語IB〔再クラス〕
担当者名	菅谷 暁 <small>すがや けい</small>

講義のねらい	初歩のフランス語を、コミュニケーション能力の学習に力点を置いて勉強します。
講義の内容・授業スケジュール	教科書は1課ごと、会話、文法、演習、読解、文化の5つのパートからなっています。全部で12課あるので、1課を2回の授業で終わらせる予定です。
履修上の留意点	休まずに出席すること、継続的な努力を望みます。
成績評価の方法	前期末と後期末の試験、および小テストによります。
教科書	藤田著『新・彼女は食いしん坊!1』(朝日出版社)2,625円

履修コード	299201
科目名	フランス語IB〔再クラス〕
担当者名	今関 ^{いませき} アン

講義のねらい 1年次に習得できなかった初級フランス語の理解を確実にする。
 講義の内容・授業スケジュール 前期：(1) ガイダンス、アルファベ (2～7) 発音、数字、名詞、動詞、avoir、être、自己紹介 (10～14) -er 動詞、住所、好きなもの (15) 定期試験
 後期：(1～7) 否定文、数字、所有・指示形容詞、時間表現、非人称構文 (8～11) aller、交通手段、疑問詞、prendre、目的の代名詞 (12～14) 代名動詞、複合過去 (15) 定期試験
 履修上の留意点 2課毎に小テストを実施するので、欠席・遅刻しないこと。
 成績評価の方法 小テスト40%+定期テスト(60%)
 教科書 『これだけでフランス語!』駿河台出版社

履修コード	299301
科目名	フランス語IB〔再クラス〕
担当者名	伊藤 ^{いとう} なお

講義のねらい フランス語の基礎を学習しなおし、実用に適した知識を身につけます。
 講義の内容・授業スケジュール 1)～3) 受講上の諸注意 /Alphabet と発音の基礎 4)～15) 文法の基礎(名詞/冠詞/形容詞/前置詞と定冠詞の縮約/人称代名詞強勢形/動詞現在形/近接未来・近接過去/命令形など)と会話練習(自分と家族の紹介、何をやる?など)および読解 16)～29) 文法の発展(補語人称代名詞/比較級/疑問代名詞/動詞過去形・未来形など)と会話練習および読解の発展 30) 復習と今後のフランス語学習について(中級に向けて)
 履修上の留意点 積極的に授業に参加し、ためらわずに発話練習、練習問題に取り組むことが必須です。必ず初回から出席し、毎回与えられる課題をしてから授業に臨んで下さい。辞書は必ず持参して下さい。
 成績評価の方法 平常点、小テスト、前・後期試験によって判定します。
 教科書 藤田祐二著 『パスカル・オ・ジャポン』(白水社) 本体2,000円

履修コード	299501
科目名	フランス語IB〔再クラス〕
担当者名	谷川 ^{たにかわ} かおる

講義のねらい フランス文化に親しみながら、フランス語の基礎をゆっくりと学び直す。
 講義の内容・授業スケジュール (1) フランス語の歴史 (2-3) 発音 (4-8) あいさつ、自己紹介 (9-30) 旅行に便利な表現など。
 履修上の留意点 毎回暗記小テストを行う。
 成績評価の方法 前期・後期の期末テストを基本とし、小テストを加算し、60点以上を合格点とする。
 教科書 フランク・デルバル他著『パス・パルトゥ』駿河台出版社、2,625円
 参考書等 参考書は授業中に指示する
 その他 出席重視。

履修コード	271101
科目名	フランス語IC(会話) フランス語IC(会話)〔再クラス〕
担当者名	東 ^{あづま} 辰之介 ^{たつすけ}

講義のねらい 会話モデルによって文の組み立てを理解し、たくさんの日常語彙を使って、フランス語で自己表現する力を養います。
 講義の内容・授業スケジュール (1)受講上の諸注意 (2)一(15)基本的表現(～はフランス語で何と言いますか/～を知っていますか/～は好きですか、といった問いとそれらに対する答え方) (16)一(30)発展的表現(～には何をしますか/～には何をしましたか/～はどうでしたか、といった問いとそれらに対する答え方)
 履修上の留意点 授業にきちんと出席することが何より重要です。やむを得ず遅刻や欠席をしてしまった場合は、その分を次の授業までに自分で勉強しておいてください。調べても分からない時は、質問してください。
 成績評価の方法 学期末試験の結果と平常点によって評価します。
 教科書 大木充、ジャンリュック・アズラ、他著『Conversation et Grammaire』(アルマ出版) 2,500円+税 ISBN978-4-9901072-9-2
 参考書等 仏和辞典が必要です。初回授業でガイダンスをします。

履修コード	299601・299602
科目名	フランス語IIA〔再クラス〕 フランス語IIB〔再クラス〕
担当者名	<small>はたなか ちよき</small> 畑中 千晶

講義のねらい やさしいフランス語で書かれたお話を読みます。日本語に訳す必要はありません。フランス語の問いにフランス語で答えることで、語彙・文法・コミュニケーション力などを総合的に伸ばしていきます。

講義の内容・授業スケジュール (1) ガイダンス/L1 (2)～(6) L2-4 (7) 復習 (8)～(13) L5-7 (14) 復習 (15) 期末試験 (16) 課題提出/L8 (17)～(21) L9-11 (22) 復習 (23)～(27) L12-14 (28) 復習/発展項目 (29) 発展項目 (30) 期末試験

履修上の留意点 ①毎回、辞書を持参してください。②基本的に予習は不要。その代わりに宿題を出します(平常点としてカウント)。

成績評価の方法 前期末30%、学年末30%、宿題など平常点20%、夏休みの課題10%、出席10%

教科書 リリアンヌ・ラタンジオ/村松定史『続・小さなコントー読解からコミュニケーションへー (CD付)』2004年刊(駿河台出版社)2,500円+税

履修コード	299701・299702
科目名	フランス語IIA〔再クラス〕 フランス語IIB〔再クラス〕
担当者名	<small>いまざき</small> 今関 アン

講義のねらい 1年次に習得できなかった初級フランス語の理解を確実にする。

講義の内容・授業スケジュール 前期:(1) ガイダンス (2～7) 代名動詞、半過去 (8～14) 関係代名詞、単純未来 (15) 定期試験
後期:(1～7) 比較級、最上級、中性代名詞 (8～14) 条件法、接続法、目的の代名詞 (15) 定期試験

履修上の留意点 課毎に小テストを実施するので、欠席・遅刻しないこと。

成績評価の方法 小テスト40%+定期テスト(60%)

教科書 『新・彼女は食いしん坊!2』朝日出版社

履修コード	299801・299802
科目名	フランス語IIA〔再クラス〕 フランス語IIB〔再クラス〕
担当者名	<small>くわだ のりあき</small> 桑田 禮彰

講義のねらい フランス語中級

講義の内容・授業スケジュール まず発音の基本をしっかりと復習した上で、初級文法を再確認しながら簡単なフランス語の文章をゆっくり読んでいきます。できるかぎり分かりやすい解説を心がけます。
(1) 受講上の諸注意 (2) 発音の基本の復習 (3)～(15) 初級文法復習を中心としたテキスト読解 (16)～(29) 中級文法解説を中心としたテキスト読解 (30) 復習と今後のフランス語学習について

履修上の留意点 発音練習や文法理解のために最も重要なのは、もちろん授業への出席です。一回一回の出席を大切にしてください。

成績評価の方法 ふだんの授業での評価をベースにして、年二回の試験の成績で決定します。

教科書 授業開始時に受講者と相談の上決定。

参考書等 そのつど授業で指示します。

履修コード	271701
科目名	フランス語II C (会話) フランス語II C (会話) [再クラス]
担当者名	<small>おおの ひでし</small> 大野 英士

講義のねらい 少なくとも1年間、フランス文法・会話等フランス語の基礎を学んだ学生を対象に、日常的な会話を中心に、文法・表現やコミュニケーション能力を養成するクラスです。仏検4級に合格できる実力を養成することを目指します。

講義の内容・授業スケジュール (1)～(2)受講上の諸注意/綴り字と発音の復習 (3)～(4) 郵便・手紙 (5)～(6) ホテル (7)～(8) ヴァカンス (9)～(10) 失業問題 (11)～(12) 環境問題 (13)中間テスト (14)～(16) 礼儀作法 (17)～(19)ジャーナリズム (20)～(21)教育制度 (22)～(23)フランスから見た日本 (24)～(25)フランス語圏 (26)～(27)文学・思想 (28)総復習

履修上の留意点 語学の授業は、教える側の技術や熱意ばかりでなく、授業の参加者がどの位熱心に授業に取り組むかで大きく効果が違ってきます。教科書にはCDが付属していますので、予習段階から積極的に活用し、スケッチや問題を暗記する位聞きこんで下さい。

成績評価の方法 出席点、前期末中間テスト、定期試験で総合的に評価します。

教科書 藤田裕二著『新訂版・えすかるご2』(朝日出版社)

参考書等 授業開始時に教室で指示します。

その他 最近、携帯のオンライン辞書を教室内で使用する学生を見かけますが、厳に禁止します。必ず辞書(書籍・電子辞書の別は問いません)を用意し、予習段階から活用すること。

履修コード	271901
科目名	フランス語III A フランス語III A [再クラス]
担当者名	<small>おおの ひでし</small> 大野 英士

講義のねらい ある程度フランス語文法の基礎を学んだ学生を対象に、さまざまなジャンル・話題のフランス語のテキストを通して、文法力、読解力、表現力を磨いてもらうクラスです。到達目標は実用フランス語技能検定試験(仏検)3級レベルに対応しています。

講義の内容・授業スケジュール (1)綴り字と発音の復習 (2)～(3) 豪華帆船と海賊 (4)～(5) サン＝テクジュペリ、謎の結末 (6)～(7) クリスチャン・ディオール (8)～(9) 「パリ海岸」(10)～(11) 名所めぐりパリマラソン (12)～(13) 風揚げ大会 (14) 中間テスト (15)～(16) 「沈黙の詩人」マルソー (17)～(18) クロード・フランソワの神話 (19)～(20) シュティの国へようこそ (21)～(22) 1968年5月 (23)～(24) 蚤の市、掘り出し物探しの楽園 (25)～(26) 笑顔を作って!撮られてます! (27)～(28) フランス風キス (29) 良家の子弟向けの豪華な学校 (30)文法のまとめと総復習 (31)定期試験

履修上の留意点 なるべく丁寧に解説し、予習・復習の負担は極力軽くするつもりですが、全く予習・復習をしないで語学の上達はありえません。学生の積極的な参加を期待します。

成績評価の方法 出席点、前・後期の試験で総合的に評価します。特に出席点を重視します。

教科書 クリスチャン・ボームルーほか著『ヴァリエテ・フランセーズ 2009』(朝日出版社)

参考書等 初回到教室で紹介します。

その他 最近、携帯のウェブ辞書を教室で参照する学生を見かけますが、厳に禁止します。必ず辞書(書籍・電子辞書の別は問いません)を用意し、予習段階から活用すること。

履修コード	300601・300602・300603
科目名	中国語IA [再クラス] 中国語IB [再クラス] 中国語IC (会話) [再クラス]
担当者名	<small>あきと たく</small> 秋元 翼

講義の内容・授業スケジュール 発音の基礎からやり直し、初級文法・表現を学ぶ。全12課を1回1課ずつ進み、一年で教科書一冊を学び終える。

履修上の留意点 今年度は絶対に単位を落とさないという気持ちで授業に臨んで欲しい。4分の3以上の出席を要する。授業中は積極的に声を出して発音練習すること。

成績評価の方法 平常の出席状況・学習態度・理解度および中間・期末テストの成績で総合的に評価する。

教科書 本間史・孟広学『中国語ポイント42』白水社、2100円+税

履修コード	301201・301202・301203
科目名	中国語IA〔再クラス〕 中国語IB〔再クラス〕 中国語IC（会話）〔再クラス〕
担当者名	^{あまの せつ} 天野 節

講義のねらい 中国語の発音、初級文法修得。
 講義の内容・授業スケジュール (1)発音(1~4) (2)人称代詞、指代詞(5~7) (3)数詞、時間詞、動詞(8~10) (4)形容詞等(11~13) (5)動態助詞、前置詞(14~17) (6)比較(18~21) (7)助動詞(22~25) (8)動態助詞、補語(25~30)
 履修上の留意点 遅刻早退欠席せず、予習をすること。
 成績評価の方法 テスト+課題+授業態度+出席
 教科書 榎本英雄『おもしろスキット初級中国語』(同学社) 2500円

履修コード	301301・301302・301303
科目名	中国語IA〔再クラス〕 中国語IB〔再クラス〕 中国語IC（会話）〔再クラス〕
担当者名	^{おがわ たかし} 小川 隆

講義の内容・授業スケジュール 発音と文法をゼロからていねいに勉強してゆく。
 成績評価の方法 年間4~5回のテスト、出席点、その他の平常点を総合して成績評価を行う。授業進行のためのルールとマナーを守れない人、欠席が全授業回数の4分の1を超えた人などは、その時点で受講をやめてもらう。卒業年次生も特別扱いではないので要注意! 必ず初回から出席すること。
 教科書 古川裕・盧華岩『話し放題中国語』スリム版(金星堂) ¥2300+税 ISBN 978-4-7647-0679-8

履修コード	301401・301402・301403
科目名	中国語IA〔再クラス〕 中国語IB〔再クラス〕 中国語IC（会話）〔再クラス〕
担当者名	^{ふせ なおこ} 布施 直子

講義のねらい 入門初級段階をていねいにゆっくり学習。
 講義の内容・授業スケジュール 授業開始から4週は発音。5週から前期終了まで、人称代詞、「是、不是」と基本的動詞。後期に入り、経験、完了、助動詞を用いる表現、前置詞、受身、比較の表現を学習。
 履修上の留意点 欠席をしないこと。積極的に取り組むこと。
 成績評価の方法 出席状況、テスト、授業への積極性を評価。
 教科書 鄧秀・湯海鵬著『ゆうゆう中国語』郁文堂。価格2500円+税。ISBN978-4-261-01821-9

履修コード	301501・301502・301503
科目名	中国語IA〔再クラス〕 中国語IB〔再クラス〕 中国語IC（会話）〔再クラス〕
担当者名	^{ひろかね かなこ} 弘兼 加奈子

講義のねらい 当初は、発音や基本的な文法の確認を行う。テキストは分かり易い文法説明と練習問題、簡単な会話文から成っている。一年を通じ、バランスの取れた学力向上を目指す。
 講義の内容・授業スケジュール 第1回 発音・声調確認 他
 第2回~第14回 本文・練習問題等 (うち1回は中間テスト)
 第15回 期末テストの予定
 第16回~第29回 本文・練習問題等 (うち1回は中間テスト)
 第30回 学年末テスト
 成績評価の方法 成績は年間約4回のテストと教場での平常評価によって総合的に判断する。
 教科書 八木章好・廣麗媚『はじめての中国語おうとんほあ』朝日出版社 2200円 ISBN 4-255-45086-2C 1087

履修コード	301511・301512・301513
科目名	中国語ⅠA〔再クラス〕 中国語ⅠB〔再クラス〕 中国語ⅠC（会話）〔再クラス〕
担当者名	曹 泰和

講義のねらい 中国語に興味と関心を持ってもらうこと。
 講義の内容・授業スケジュール 基本的な文法が充実したテキストで、基礎的な発音、基本文法をゼロから学ぶ。また、授業を通じて、言葉と中国文化のことなどについて学ぶ。
 履修上の留意点 元気よく、積極的に授業に参加すること。
 成績評価の方法 テスト、宿題、出席、学習態度で総合評価する。
 教科書 南雲智・趙暉『始めよう！中国語』（白水社）2100円+税
 参考書等 開講時に説明する。

履修コード	301801・301802
科目名	中国語ⅡA〔再クラス〕 中国語ⅡB〔再クラス〕
担当者名	本間 由香利

講義のねらい 中国語の基本である発音の訓練と語順を覚えることを重視し、各自が運用できるようにする。
 講義の内容・授業スケジュール 前期は発音訓練、発音矯正を重視します。さらに単語単位ではなく、文章を中国語らしく読めるようにします。次に難しい文章を読んだり書いたりするのではなく、必要最小限の文法、つまり語順を学び、シンプルな文を自分で組み立てられるようにします。
 履修上の留意点 必ず出席をし、大きな声で発音し、積極的に授業に参加すること。
 成績評価の方法 授業に出席していることを前提とし、授業態度、小テスト、期末テストにより評価します。
 教科書 『スタンダードチャイニーズ②上海旅行編』朝日出版社
 参考書等 授業内で指示します。

履修コード	301901・301902
科目名	中国語ⅡA〔再クラス〕 中国語ⅡB〔再クラス〕
担当者名	大久保 明男

講義のねらい 中国語の「聴く」「話す」「読む」「書く」、各方面のバランスのとれた表現力を身につけることを目指します。
 講義の内容・授業スケジュール 基本的に教科書に沿って授業を進めていくが、折に触れて中国の社会や文化に関するを紹介したり、ビデオを見たりする予定です。
 履修上の留意点 積極的に授業に参加すること。
 毎回予習、復習すること。
 成績評価の方法 出席率、試験の成績、平常点の三項目で総合評価します。
 教科書 石慧敏・金子真也『上海びより』（好文出版）2000円

履修コード	302001・302002
科目名	中国語ⅡA〔再クラス〕 中国語ⅡB〔再クラス〕
担当者名	李 雲

講義のねらい 基本文型と表現が織り込まれた会話を中心に授業を進める。日常生活に必要な会話力、文章力をさらに高めることを目的とする。
 講義の内容・授業スケジュール 基本文型、会話文、練習問題の順で練習し、各課ごとに、書き取りの練習もする。
 履修上の留意点 平常の練習が大切なので必ず出席すること。
 成績評価の方法 筆記試験、書き取り・会話のでき具合と出席率などによって総合的に評価する。
 教科書 相原茂等『えんぴつで覚える中国語』朝日出版社 2300円
 その他 内容的に結構量があるので、きちんと予習、復習のできる学生に受講してもらいたい。

履修コード	278601
科目名	中国語II C (会話) 中国語II C (会話) [再クラス]
担当者名	<small>みやもと あつこ</small> 宮本 厚子

講義のねらい これまでに学んだ中国語を口に出せるよう定着させるとともに、新たな構文を学び、表現する力を養成する。

講義の内容・授業スケジュール 教科書に沿って、実際に役に立つフレーズ、単語を増やしていく。

履修上の留意点 書き取りか暗誦のどちらかを毎回課すので、必ず準備してから授業に臨むこと。また、予習も必要である。

成績評価の方法 年4回のテストと平常点で行う。テストは期末は筆記試験とし、中間に口頭での試験を行う。

教科書 相原茂他著『大事なことはみんなやさしい中国語で言える』朝日出版社 2200円(税抜き)

履修コード	279101
科目名	中国語III A 中国語III A [再クラス]
担当者名	<small>おうち そう</small> 主 聡

講義のねらい 中国文化を学びながら、中国語の読解力の向上を目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

前期
 第1回 ガイダンス・復習
 第2回～第13回 話題：「あいさつの話」・「中国茶の話」・「接客の話」・「十二支の話」・「外国語学習の話」・「外来語の話」・「方言の話」
 文法：「要是」・前置詞の「給」・「一～就～」・兼語文・受身文・比較文・結果補語・可能補語など。
 第14回～第15回 復習と前期テスト

後期
 第1回 復習・練習問題
 第2回～第13回 話題：「漫画の話」・「趣味の話」・「色の話」・「お土産の話」・「天気の話」・「環境の話」・「映画の話」・「休日の話」
 文法：「会」・「能」・「把」構文・動詞の重ね型・動作の進行・使役文など
 第14回～第15回 復習と後期テスト

履修上の留意点 辞書を用意し、予習と復習をちゃんどすること。

成績評価の方法 前期テスト40%、後期テスト40%、平常点(出席状況、授業態度など)20%

教科書 相原茂他著『ドリル式中国語テキストⅡー日本と中国』、くろしお出版、1,800円+税、ISBN4-87424-098-4 C3087

参考書等 特に指定がありません。

履修コード	279111
科目名	中国語III A 中国語III A [再クラス]
担当者名	<small>みやもと あつこ</small> 宮本 厚子

講義のねらい 1、2年生で学習した内容を踏まえ、読解力と作文の力を養成する。

講義の内容・授業スケジュール 教科書に沿って、少し長めの文章を読む。適宜やさしい日文中訳の練習も課す。

履修上の留意点 必ず、辞書をひいて教科書の文を日本語に訳してから、授業に臨むこと。

成績評価の方法 出席点と年4度のテストの総合点で評価する。

教科書 孟広学・本間史『変化する中国』白水社 2100円

履修コード	302601・302602
科目名	スペイン語IA〔再クラス〕 スペイン語IB〔再クラス〕
担当者名	大岩 功

講義のねらい 初級文法の基礎を概観し、スペイン語とその世界に対する理解を深めることをねらいとします。

講義の内容・授業スケジュール 前期15回で名詞と形容詞の性・数、規則活用の動詞等を学習。後期15回で目的語代名詞、不規則活用の動詞、再帰動詞等を学習。前期、後期ともに最後の授業で各1回の試験を実施します。(上記スケジュールは場合により変動することがある)

履修上の留意点 必ず予習してくることを前提に授業を進めます。何も準備していないことが明らかな場合は平常点の減点対象となります。

成績評価の方法 前期末、後期末の試験(計2回)の得点=70、小テスト(5~6回程度)の得点=20、出席率、授業参加への積極性等の平常点=10の割合で評価し、最終的な成績を算出します。

教科書 『Aventura』立岩礼子他著 同学社

参考書等 推奨辞書宮城昇編『現代スペイン語辞典』(白水社)
参考書 大岩功著『やさしいスペイン文法』(三修社)

履修コード	302701・302702
科目名	スペイン語IA〔再クラス〕 スペイン語IB〔再クラス〕
担当者名	齋藤 明美

講義のねらい 直説法現在などの初歩文法を復習しながら、日常よく使われる口語表現などを具体的なシチュエーションを通して学びます。一人でスペイン語圏を旅行できるスペイン語運用能力習得を目指します。また語学学習を通して日本とスペイン語圏の生活・風習に関する相違点を考察し多文化共生に対する理解を深めます。随時スペイン・ラテン音楽なども紹介していきます。前期が終わるころには簡単な自己紹介や道を尋ねるなどの基本的な質問が、後期が終わるころにはスペイン料理店などで注文ができたり簡単な会話が交わせるようになります。

講義の内容・授業スケジュール (1)オリエンテーション(文字、数字、簡単な挨拶など) (1)
(2)1課:こんにちは、私はマリアです(名詞の性・数、冠詞、ser 動詞)、2課:私の母です(estar 動詞の用法)、3課:このあたりに銀行ありますか(存在文、前置詞)(2-9)
(3)4課:君は学生ですか(直説法現在、疑問文、否定文)(10-13)
(4)5課:私のめがねを探しています(所有形容詞、指示形容詞)6課:一緒に出かける?(直説法現在2、天候の表現)(14-19)
(5)7課:何にしますか(語根母音変化動詞、関係詞)、8課:ああ残念!(直説法現在3)(20-26)
(6)9課:病院で(目的格人称代名詞、gustar 型動詞)(27-30)

履修上の留意点 遅刻・早退をせず自ら興味をもって学習に打ち込む姿勢がスペイン語習得の鍵です。

成績評価の方法 出席状況、授業参加、各期末の定期試験によります。

教科書 内田/尾尻/稲森『Mucho gusto 初めてのスペイン語』同学社 2500円

参考書等 講義時に推薦する辞書の中から一番使いやすいと思うものを選び、活用しましょう。

その他 学生の理解度にあわせながら授業を進めますのでスケジュールが前後する場合があります。

履修コード	302801・302802
科目名	スペイン語IA〔再クラス〕 スペイン語IB〔再クラス〕
担当者名	石井 登

講義のねらい スペイン語の基本的な文法を修得することを目的とします。

講義の内容・授業スケジュール 教科書は全12課からなっており、前期は1~6課、後期は7~12課を学びます。前期は(1)オリエンテーション(2~5)名詞、冠詞、ser、estar 動詞、形容詞など、(6~10)直説法現在の規則動詞・不規則動詞など、(11~15)目的語の人称代名詞、gustar 動詞、所有詞、指示詞、比較級・最上級など。後期は(16~20)点過去、線過去、現在分詞など、(21~25)過去分詞、再帰動詞など、(26~30)関係詞、接続法など。

履修上の留意点 授業に加えて、予習や復習といった自学自習が重要になります。

成績評価の方法 前期と後期の試験(50%)と出席や課題提出などの平常点(50%)で評価します。

教科書 福嶋教隆『動く!スペイン語』朝日出版社 2600円 978-4-255-55023-7

外国語

履修コード	303001・303002
科目名	スペイン語IA〔再クラス〕 スペイン語IB〔再クラス〕
担当者名	^{おさの めぐみ} 荻野 恵

講義のねらい スペイン語文法の基礎を固めると同時に、イベリア半島の文化に関する平易な文章を通じて講読力を培う。

講義の内容・授業スケジュール テキストにそって、文法の説明と練習を進める。
前期：名詞形容詞の性数変化、規則動詞の活用など。
後期：不規則動詞、再帰動詞など。

成績評価の方法 成績は出席、課題、年2回のテストを総合して評価する。

教科書 荻野・浜岡『イベリア文化への誘い』（大学書林）

履修コード	303011・303012
科目名	スペイン語IA〔再クラス〕 スペイン語IB〔再クラス〕
担当者名	^{さとう まりの} 佐藤 麻里乃

講義のねらい 文法の初歩を習得し、スペイン語の基本的な構造を理解する。

講義の内容・授業スケジュール テキストにそって教員が解説を行い、その後受講者は関連する練習問題を解いて提出する。性数変化、動詞の変化、再帰動詞、人称代名詞、分詞などを主に扱う。

履修上の留意点 テキストと辞書を毎回必ず持参すること。授業時の提出物の出来具合により評価するので、欠席をしないこと。

成績評価の方法 試験は行わず、毎回の授業内で提出する課題の点数により評価する。やむをえない事情で欠席した場合は、（それを証明できる文書等を提出した場合に限り）後日課題を提出すればその点数の80%をもって評価する。

教科書 未定（プリント配布の場合もあり）

履修コード	282001
科目名	スペイン語IC（会話） スペイン語IC（会話）〔再クラス〕
担当者名	ルイズティノコ, C.

講義のねらい この授業では基本的文法を学びながら様々な表現や言い方を練習して覚えられるようにしたいと思う。

講義の内容・授業スケジュール 表現力や会話能力を高めることを目標とする。
前期はあいさつ、規則動詞、不規則動詞、時刻の表現、天候の表現、などを学ぶ予定である。後期は不規則動詞、gustar 動詞、再帰動詞、現在分詞、比較表現、受身文などを学ぶ予定である。

履修上の留意点 毎回の練習は重要なので積極的に参加して下さい。出席を重視する。

成績評価の方法 前期と後期の成績と授業参加の状態で評価する。

教科書 『スペイン語のリズムで』 Eugenio del Prado, Hanako Saito, Shinji Nakamichi 同学社

履修コード	303101・303102
科目名	スペイン語IIA〔再クラス〕 スペイン語IIB〔再クラス〕
担当者名	齊藤 明美

講義のねらい スペイン語1などで学習した基礎文法を復習しながら、現在完了、再帰動詞、過去形などの初級文法、および日常よく使われる口語表現などを教科書やプリントなどで具体的なシチュエーションを通して学びます。一人でスペイン語圏を旅行できるスペイン語運用能力習得を目指します。また語学学習を通して日本とスペイン語圏の生活・風習に関する相違点を考察し多文化共生に対する理解を深めます。映像資料なども積極的に取り入れます。前期が終わるところにはスペイン語圏の友陣と簡単な雑談ができるようになります。後期が終わるところにはスペイン語圏に無理なく短期留学ができる力がつきます。

講義の内容・授業スケジュール

- 前期
 (1) オリエンテーション・自己紹介(基礎の復習)(1)
 (2) 9課 病院で(人称代名詞、gustar)、10課 映画スターのインタビュー(再帰動詞、時間の表現、人称代名詞2)(2-7)
 (3) 11課 観光ツアーを探す(不定語、否定語、疑問詞) 12課 トルティージャを食べたことがありますか(過去分詞、現在完了、現在分詞、現在進行形)(7-13)
 (4) これまでのおさらい(14)
 (5) 中間試験(15)
- 後期
 (6) 13課 ショッピング(形容詞、副詞の比較) 14課 世界の偉人たち(点過去1)(16-21)
 (7) 15課 言い訳はなし!(点過去2、時の経過を表す hacer)、16課 君の青春時代はどうだった?(線過去、点過去と線過去の違いなど)(22-28)
 (8) まとめ(29)
 (9) 定期試験(30)

**履修上の留意点
成績評価の方法
教科書
参考書等
その他**

遅刻・早退をせず自ら興味をもって学習に打ち込む姿勢がスペイン語習得の鍵です。
 毎回の出席、授業参加と各期末の定期試験(年二回)を総合的に判断します。
 内田他『Mucho gusto 初めてのスペイン語』(テキスト+CD) 同学生、2500円
 授業時に推薦する辞書の中から自分に合うものを探し、活用しましょう。
 学生の理解度にあわせながら授業を進めますのでスケジュールが前後する場合があります。

履修コード	303201・303202
科目名	スペイン語IIA〔再クラス〕 スペイン語IIB〔再クラス〕
担当者名	大岩 功

講義のねらい スペイン語Iで学習した内容を発展させ、文法知識と読解力とを深化させることをねらいとします。

講義の内容・授業スケジュール

- 前期15回 不規則動詞と目的語代名詞の形と用法を復習した後、点過去時制の規則活用、不規則活用を学習。
 後期15回 点過去時制の復習の後、線過去時制、完了時制、未来時制、過去未来時制等を学習。
 前期、後期ともに最後の授業で各1回の試験を実施します。
 (上記スケジュールは場合により変動することがある)

履修上の留意点

必ず予習してくることを前提に授業を進めます。何も準備していないことが明らかな場合は平常点の減点対象となります。

成績評価の方法

前期末、後期末の試験(計2回)の得点=70、小テスト(5~6回程度)の得点=20、出席率、授業参加への積極性等の平常点=10 の割合で評価し、最終的な成績を算出します。

教科書

『やさしいスペイン語文法』大岩功著(三修社)

参考書等

他に長文読解用のプリント教材を使用します。
 推奨辞書 宮城昇編『現代スペイン語辞典』(白水社)

外国語

履修コード	303301・303302
科目名	スペイン語IIA〔再クラス〕 スペイン語IIB〔再クラス〕
担当者名	<small>いしい のぼる</small> 石井 登

講義のねらい スペイン語文法の基礎を復習し、修得することを目的とします。

講義の内容・授業スケジュール 教科書は全20課からなっており、前期は1～10課、後期は11～20課を学びます。
前期は(1)オリエンテーション(2～5)名詞、冠詞、ser, estarなどの動詞、直説法現在の規則動詞など、(6～10)直説法現在の不規則動詞、所有詞、指示詞、比較級、最上級など、(11～15)点過去、線過去など。
後期は(16～20)現在分詞、過去分詞、現在完了、再帰動詞など、(21～26)未来形、過去未来形、命令法、関係詞など、(27～30)接続法など。

履修上の留意点 授業に加えて、予習や復習といった自学自習が重要になります。

成績評価の方法 前期と後期の試験(50%)と出席や課題提出などの平常点(50%)で評価します。

教科書 福嶋教隆『生き活きスペイン語』朝日出版社 2000円 978-4-255-55013-8

履修コード	282701
科目名	スペイン語IIC(会話) スペイン語IIC(会話)〔再クラス〕
担当者名	<small>ましも ゆういち</small> 真下 祐一

講義のねらい 旅先で、また日々の暮らしの中で、あなたがスペイン語に接する機会はますます増えていくでしょう。実際の場面で簡単でも適切な表現が自然と口をついて出てくるくらいスペイン語に親しんでください。

講義の内容・授業スケジュール (1)復習(2～4)存在文、位置の表現(5～7)SERとESTAR、時間(8～10)許可を求める、依頼する、GUSTAR(11～13)不定詞をとる動詞表現、命令(14)復習(15)前期試験(16～18)再帰動詞、自己紹介(19～22)完了、接続法現在(23～25)点過去、線過去(26～28)比較、関係詞、未来(29)復習(30)後期試験

履修上の留意点 予習・復習を忘れずに。大きな声でしっかり練習しましょう。また自分の言いたいことだけを言うのではなく、相手の言うことがよく理解できるよう、聴解力を養う努力もしましょう。

成績評価の方法 100点満点中、40点は出席、課題の提出など授業参加、残りの60点は二回の期末試験と聞き取りなどの小テストの結果で評価します。

教科書 坂東省次ほか『《三訂版》コミュニケーションのためのスペイン語》(第三書房)本体2300円

履修コード	283001
科目名	スペイン語IIIA スペイン語IIIA〔再クラス〕
担当者名	<small>ましも ゆういち</small> 真下 祐一

講義のねらい 三年目のスペイン語です。これまでに学んだスペイン語の基礎を確かなものとしながら、以降各人が勉強を続けていくために必要な土台の完成に努めます。

講義の内容・授業スケジュール (1)復習(2～4)点過去、線過去、完了(5～7)未来、過去未来(8～10)再帰動詞、関係詞(11～13)受身、無人称文(14)復習(15)前期試験(16～18)接続法現在①(19～21)接続法現在②(22～24)接続法現在③(25～27)接続法過去(28・29)条件文(30)後期試験

履修上の留意点 新聞記事などスペイン語の短い読み物も随時配布する予定です。これで最後というより、さあこれからといった姿勢で勉強に取り組みましょう。

成績評価の方法 100点満点中、40点は出席、課題の提出など授業参加、残り60点は二回の期末試験と小テストの結果で評価します。

教科書 パロマ・トレナド他『プラサ・マヨール II ソフト版』朝日出版社

履修コード	303501・303502
科目名	ロシア語ⅠA〔再クラス〕 ロシア語ⅠB〔再クラス〕
担当者名	^{ひろた ひでやす} 廣田 英靖

講義のねらい	<p>1) 母音、子音の基本的発音、アクセント記号(力点)の法則、イントネーションの5つの型をみっちりやります。</p> <p>2) かんたんな挨拶の表現、日常つかわれるロシア語の独特な表現(ボデー・ラングウエジを含む)を身につけます。</p> <p>3) 平易な内容をききとりによって理解できるようにします。</p> <p>4) 基礎的な初等文法を学びます。</p> <p>5) アルファベットを活字体、筆記体で書けるようにします。</p> <p>はじめに絵やビデオをみながら、ロシア語のやさしい単語や短文を何回も繰り返して練習します。教員が質問した事を何回もくりかえしてもらい、うけ答えをします。少し音に馴れてきたらテープを使い更に理解度を深め、語尾変化に抵抗感のなくなるように何回もゆっくり、くりかえしながら発話してもらおうようにします。授業では各人が何回も発話をさせられますが、全く恐れる必要はありません。全教員が優しく指導してくれますので恥かしがらないことが大切です。</p> <p>4-7月はイントネーションや発音に力点を置き、9-12月はやさしい短文のききとり、初級文法を学びます。</p> <p>PC教場にて、インターネットを介しロシアの各メディアを利用して学習に役立てます。積極的に生きたロシア語を学びながら、変化の激しい時代に対応しましょう。</p>
講義の内容・授業スケジュール	
履修上の留意点	試験は行わず、平常点で評価します。
成績評価の方法	杉山秀子他著『21世紀のロシア語』(大学書林)1,800円
教科書	『露和辞典』
参考書等	

履修コード	303601・303602
科目名	ロシア語ⅠA〔再クラス〕 ロシア語ⅠB〔再クラス〕
担当者名	^{さの あさこ} 佐野 朝子

講義のねらい	<p>発音、イントネーション、会話を学び、同時にやさしいテキストを読んでいます。</p> <p>会話クラスにありがちな簡単な日常会話以外のことはいっさいわからない、という結果にならぬよう努力するつもりです。</p> <p>4-7月は、イントネーション、発音に力を入れる。</p> <p>9-12月は、やさしい短文のききとり、初級文法を学ぶ</p>
講義の内容・授業スケジュール	
履修上の留意点	予習はまずいらぬと思いますが、ロシア語の発音、イントネーションを少しでも多く耳にするよう、できるだけ授業には出席して下さい。
成績評価の方法	平常点を重視します。
教科書	絵や図がたくさん入っているロシアで出版された教科書を使って授業をすすめますが、手に入りにくい教科書ですので、コピーを用意します。

履修コード	303701・303702
科目名	ロシア語IA〔再クラス〕 ロシア語IB〔再クラス〕
担当者名	木村 英明 <small>きむら ひであき</small>

講義のねらい 1) 母音、子音の基本的発音、アクセント記号(力点)の法則、イントネーションの5つの型をみっちりやります。
 2) かんたんな挨拶の表現、日常つかわれるロシア語の独特な表現(ボデー・ラングウエジを含む)を身につけます。
 3) 平易な内容をききとりによって理解できるようにします。
 4) 基礎的な初等文法を学びます。
 5) アルファベットを活字体、筆記体で書けるようにします。
 はじめに絵やビデオをみながら、ロシア語のやさしい単語や短文を何回も繰り返して練習します。教員が質問した事を何回もくりかえしてもらい、うけ答えをします。少し音に馴れてきたらCDを使い更に理解度を深め、語尾変化に抵抗感のなくなるように何回もゆっくり、くりかえしながら発話してもらいます。授業では各人が何回も発話をさせられますが、全く恐れる必要はありません。全教員が優しく指導してくれますので恥かしがらないことが大切です。
 6) 教科書を使用して、コミュニケーションに欠かせない基本的な日常会話を習得していきます。
 2名の教員が、連携しながら、週に2回授業をします。4月～7月は、イントネーションや発音に力点をおき、9～12月はやさしい短文のききとり、初級文法を学びます。
 何よりも授業の出席を重視。平常の受け答えの得点、ミニテストなどを総合的にプラスして評価点を出します。

講義の内容・授業スケジュール
 成績評価の方法

教科書 『21世紀のロシア語』(大学書林) 1,800円+税
 参考書等 『露和辞典』

履修コード	303801・303802
科目名	ロシア語IA〔再クラス〕 ロシア語IB〔再クラス〕
担当者名	安徳 ニーナ <small>あんどく</small>

講義のねらい 基本的な文法、発音、読み、書き、が出来る事を目標とする。
 講義の内容・授業スケジュール 教科書に基づいて講義を進める。
 4～7月 発音、イントネーション。
 9～12月 読み書きを学ぶ。
 履修上の留意点 要点の復習は必ずしてほしい。
 成績評価の方法 講義の中で時々行う練習問題を主として学習態度を参考にする。
 教科書 桑野隆『はじめてのロシア語』(白水社)
 参考書等 必要に応じてその都度資料を配布する。

履修コード	284101
科目名	ロシア語IC(会話) ロシア語IC(会話)〔再クラス〕
担当者名	佐野 朝子 <small>さの あさこ</small>

講義のねらい このクラスはロシア語をはじめて学ぶ学生を対象とします。文法を学び、辞書を使ってテキストを読んでいくクラスよりロシア語をより身近に感じるよう、500ぐらいの単語だけを使って、発音、イントネーション、会話を学び、同時にやさしいテキストを読んでいきます。
 会話クラスにありがちな簡単な日常会話以外のことはいっさいわからない、という結果にならぬよう努力するつもりです。
 4月～7月は発音、イントネーション、基礎文法。9月～12月はやさしいよみもの中心。
 予習はまずいらないと思いますが、ロシア語の発音、イントネーションを少しでも多く耳にするよう、できるだけ授業には出席して下さい。
 成績評価の方法 平常点を重視します。
 教科書 絵や図がたくさん入っているロシアで出版された教科書を使って授業をすすめますが、手に入りにくい教科書ですので、コピーを用意します。

履修コード	303901・303902
科目名	ロシア語IIA〔再クラス〕 ロシア語IIB〔再クラス〕
担当者名	クロチコフ, Y.

講義のねらい 以前に学習した発音、文法、会話の復習。
講師が作成した練習用テキストを用いて、文法の基礎を学習しながら、同時に、会話、作文を練習します。
ロシア語を通して世界を広げていきましょう。

講義の内容・授業スケジュール 4-7月 発音、会話を学ぶ。
9-12月 会話力を一層高める。

成績評価の方法 平常点で評価します。授業中に時々、簡単なテストを行います。

教科書 杉山秀子他著『やさしいロシア語読本』(大学書林)

その他 ビデオ、オーディオ等を使用します。

履修コード	304001・304002
科目名	ロシア語IIA〔再クラス〕 ロシア語IIB〔再クラス〕
担当者名	<small>おおすか ふみかづ</small> 大須賀 史和

講義のねらい 以前に学習した発音、文法、会話の復習。
講師が作成した練習用テキストを用いて、文法の基礎を学習しながら、同時に、会話、作文を練習します。
ロシア語を通して世界を広げていきましょう。

講義の内容・授業スケジュール 4-7月 基礎文法の復習。
9-12月 中等文法の学習、講読力を高める。

成績評価の方法 平常点で評価します。授業中に時々、簡単なテストを行います。

教科書 杉山秀子他著『やさしいロシア語読本』(大学書林)

その他 ビデオ、オーディオ等を使用します。

履修コード	304101・304102
科目名	ロシア語IIA〔再クラス〕 ロシア語IIB〔再クラス〕
担当者名	<small>あんどく</small> 安德 ニーナ

講義のねらい 一般的な文法、発音、読み、書き、ができる事を目標とする。

講義の内容・授業スケジュール 教科書に基づいて講義を進める。
4-7月 基礎文法の復習。
9-12月 会話と読解に重点をおく。

履修上の留意点 要点の復習は必ずしてほしい。

成績評価の方法 講義の中で時々行う練習問題を主として学習態度を参考にする。

教科書 桑野隆『はじめてのロシア語』(白水社)

参考書等 必要に応じてその都度資料を配布する。

履修コード	284601
科目名	ロシア語IIC(会話) ロシア語IIC(会話)〔再クラス〕
担当者名	クロチコフ, Y.

講義のねらい 以前に学習した発音、文法、会話の復習。講師が作成した練習テキストを用い、文法の基礎を学習しながら、同時に、会話、作文を練習します。
ロシア語を通して世界を広げていきましょう。

講義の内容・授業スケジュール 4-7月 発音、イントネーション
9-12月 文法と会話に力を入れる

成績評価の方法 平常点で評価します。授業中に、時々、簡単なテストを行います。

教科書 杉山秀子他著『やさしいロシア語読本』(大学書林)、その他。
プリント配布。

その他 ビデオ、オーディオ等を使用します。

履修コード	284801
科目名	ロシア語III A ロシア語III A〔再クラス〕
担当者名	クロチコフ, Y.

外国語

講義のねらい	以前に学習した発音、文法、会話の復習。講師が作成した練習用テキストを用い、文法の基礎を学習しながら、同時に、会話、作文を練習します。 ロシア語を通して世界を広げていきましょう。
講義の内容・授業スケジュール	以前に学習した発音、文法、会話の復習。講師が作成した練習用テキストを用い、文法の基礎を学習しながら、同時に、会話、作文を練習する。 4-7月 会話とイントネーションに力を入れる。 9-12月 応用会話を展開する。
履修上の留意点	出席を重視します。
成績評価の方法	平常点で評価します。授業中に、時々、簡単なテストを行います。
教科書	学生の学力に応じて教科書を選びます。 プリント配布。
その他	ビデオ、オーディオ等を使用します。

履修コード	284901
科目名	英文講読
担当者名	林 明人

講義のねらい	現代アメリカ文学の短編をなるべくたくさん読みます。単に英語を読むことから鑑賞できるようになれば幸いです。			
講義の内容・授業スケジュール	1	pp.1-2	プリント(1)配布	16 pp.1-2 プリント(2)配布
	2	pp.3-4	(試訳提出)	17 pp.3-4 (試訳提出)
	3	pp.5-6		18 pp.5-6
	4	pp.7-8		19 pp.7-8
	5	pp.9-10		20 pp.9-10
	6	pp.11-12	(試訳提出)	21 pp.11-12 (試訳提出)
	7	pp.13-14		22 pp.13-14
	8	pp.15-16		23 pp.15-16
	9	pp.17-18		24 pp.17-18
	10	pp.19-20		25 pp.19-20
	11	pp.21-22	(試訳提出)	26 pp.21-22 (試訳提出)
	12	pp.23-24		27 pp.23-24
	13	pp.25-26		28 pp.25-26
	14	pp.27-28		29 pp.27-28
	15	前期試験		30 後期試験
履修上の留意点	遅刻(交通機関の遅延を除く)及び授業中の出入りは認めない。			
成績評価の方法	①試訳(40%)②試験(30%)③出席(30%)で総合評価するが、①～②のそれぞれの評価が一つでも3割に満たない場合、あわせて③の出席が全授業回数の3分の2以下の場合には評価の対象にしない。			
教科書	教員が作成したものを 사용합니다。			

履修コード	285001
科目名	英文講読
担当者名	矢島 直子

講義のねらい	昨夏ロンドンで観たオーストラリア人劇作家の喜劇作品を読みます。現実に近い英語会話と戯曲の読み方を学びます。
講義の内容・授業スケジュール	戯曲を読んで意味を言ってもらい、こちらで訂正したものを言います。 授業スケジュール 1回目-授業の説明、2～14回目-各回2～4ページずつ進む。15回目-前期末試験。16回目-前期末試験の解説、17～29回目-各回2～4ページずつ進む。慣れれば進度をあげます。30回目-後期末試験。
履修上の留意点	どんだん当てますから、必ず予習をしてください。1回目の授業から出て下さい。
成績評価の方法	平常点と前期末・後期末試験の結果を総合的に評価します。
教科書	Joanna Murray-Smith, <i>The Female of the Species</i> , Nick Hern Books, £ 8-99, ISBN 978-1-85459-522-5.

履修コード	285101
科目名	英文講読
担当者名	前田 脩

講義のねらい	17世紀のフランス式整形庭園から、それに対立するかのようには登場したイギリス式風景庭園までの過程を英文による庭園史の中で見てゆきます。
講義の内容・授業スケジュール	一回にテキスト二章ずつ進みます。テキストが終わったのち、 <i>The Formal Garden</i> の中からプリントを配布します。
履修上の留意点	あくまでも購読の時間ですから予習が重要です。
成績評価の方法	日常評価を60%、前期テストを10%、後期テストを20%の割合で評価します。
教科書	<i>English Garden</i> (イギリス庭園) 南雲堂 ¥1,200 ISBN4-523-18506-9

履修コード	285701
科目名	時事英語研究
担当者名	おかもと 誠 <small>まこと</small>

講義のねらい 「時事英語」なる英語があるわけではない。英語で言えば“Current English”ということになるか。文学作品でお目にかかるような構成や文体のものではない。メディアの英語と考えてよいであろう。

小説やドラマには起承転結というか、順を追ってプロットが展開され、終わりに近くなってクライマックスに達する。メディアの英語では、これとは逆に、最初に話の内容を全部さらけ出し、次に重要な点から説明していく。この最初の部分を lead という。

かくして、内容の構成や文体の点で新聞・雑誌・放送といったメディアで接する英語についてはそれなりの認識が必要となる。本講義でそういった分野の英語、また journalese に親しんでもらう。英字新聞なども気軽に読むようになってほしい。

講義の内容・授業スケジュール 講義の性質上、新鮮な素材を使用する。その素材のソースとするところはイギリスの BBC4、アメリカの npr (national public radio) や VOA (Voice of America)、さらに新聞や雑誌ということ。夏休み前の初夏の頃、秋風が立つ頃、それぞれの時期に一番世界で話題になっているものを追っていく。従って、特定の教科書は使用しない。

履修上の留意点 事前に資料を配布するので、必ず下見をしてくること。世界の政治・経済の動きにも常に注意を払いフォローしてほしい。その意識が効果を上げることになるし、それが社会の事象に対して問題意識を持つことに通ずる。こういう態度はいよいよ社会人になるときにモノをいう。

成績評価の方法 前期・後期の試験、予習の出来具合、出欠・遅刻状況等、総合的に評価する。被りものは脱いでから教場へ入る。ケータイは切っておく。携帯するのは辞書。

教科書 上に記したように特定のものを使用しない。

履修コード	285801
科目名	時事英語研究
担当者名	うめはら 敏弘 <small>としひろ</small>

講義のねらい 新聞英語・放送英語の特徴を身につけることを目標とします。

講義の内容・授業スケジュール できる限り現在話題になっている英文記事を英字新聞、英語雑誌、インターネットなどから選び、講読していきます。放送英語にもなれるため、録音されたニュースも教材として使用します。

履修上の留意点 予習は不可欠です。英文記事を理解するためには英語の知識だけではなく背景知識も欠かせません。普段から時事問題に関心を持つようしてください。

成績評価の方法 成績評価は、前期・後期の学期末に行う授業内試験と、出席、予習のしぐあいを総合的に勘案して行います。

教科書 使用しません。ハンドアウトを配布します。

参考書等 学習者用の英英辞典 (Longman Dictionary of Contemporary English や Oxford Advanced Learner's Dictionary of Current English 等の) を購入し、利用してください。

履修コード	285811
科目名	時事英語研究
担当者名	しろとり 義博 <small>よしのり</small>

講義のねらい 政治を中心とした時事的なトピックの英文を多読し、語彙力と速読力を高める訓練を行う。あわせて、音読の練習を通してリスニング力の向上も図る。英語学習だけではなく、時事的なトピックに対する強い好奇心と意欲をもって受講されたい。

講義の内容・授業スケジュール 前期：(1) ガイダンス (2~14) 毎回ひとつのチャプターを進めてゆく (15) 前期末試験、後期：(15~28) テキストを進める (29) 総復習 (30) 後期末試験 *その他、必要に応じて小テストや中間テストをおこなう予定。

履修上の留意点 選択履修の授業であるので不真面目な態度での受講は決して許されない。注意されたい。

成績評価の方法 授業への参加の熱心さ、課題への取り組み、出席状況、テストの結果などから総合的に判断する。

教科書 『NHKワールド・ニュースで学ぶ「聴く英語、読む英語」』(南雲堂、2009年) ¥2,100

履修コード	285901
科目名	時事英語研究
担当者名	おちあい かずき 落合 和昭

講義のねらい このクラスのレベルは英語の中級から上級（英検二級、準一級、一級）程度とし、新聞、雑誌、インターネット、ラジオ、テレビ等で使用されている英語を読み、聞き取ることが目標とする。

講義の内容・授業スケジュール 講義は、主として、三段階からなる。第一段階として、リスニングを通して、英語の自然なスピードに慣れる。第二段階は、書き取りをする。第三段階は、リスニングで聞いたニュースの意味を、文字を通して、確認する。

年間の授業計画は次の通りである。

- 第一回 オリエンテーション
- 第二回 『ライフスタイル』 Chapter1
- 第三回 『ライフスタイル』 Chapter2
- 第四回 『ライフスタイル』 Chapter3
- 第五回 『ライフスタイル』 Chapter4
- 第六回 『ライフスタイル』 Chapter5
- 第七回 『ライフスタイル』 Chapter6
- 第八回 『ライフスタイル』 Chapter7
- 第九回 『ライフスタイル』 Chapter8
- 第十回 『ライフスタイル』 Chapter9
- 第十一回 『ライフスタイル』 Chapter10
- 第十二回 『ライフスタイル』 Chapter12
- 第十三回 『ライフスタイル』 Chapter13
- 第十四回 『ライフスタイル』 Chapter14
- 第十五回 前期試験
(『ライフスタイル』 Chapter 14,16,17)
- 第十六回 『ライフスタイル』 Chapter18
- 第十七回 『ライフスタイル』 Chapter20
- 第十八回 『ライフスタイル』 Chapter21
- 第十九回 『ライフスタイル』 Chapter22
- 第二十回 『ライフスタイル』 Chapter23
- 第二十一回 『ライフスタイル』 Chapter24
- 第二十二回 『CNN』 UNIT1
- 第二十三回 『CNN』 UNIT2
- 第二十四回 『CNN』 UNIT3
- 第二十五回 『CNN』 UNIT4
- 第二十六回 『CNN』 UNIT5
- 第二十七回 『CNN』 UNIT6
- 第二十八回 『CNN』 UNIT7
- 第二十九回 『CNN』 UNIT8
- 第三十回 後期試験
(『CNN』のUNIT9,10,11,12)

※上記の『ライフスタイル』は『ライフスタイルとニュービジネス』、『CNN』は『CNN：ビデオで見る世界のニュース（10）』

なお、リスニングは毎回行う。

履修上の留意点
成績評価の方法

授業は、学生の事前の予習を前提にし、徹底した演習形式を取り、学生の積極的な参加を求める。前期試験は20%、後期試験20%、課題・授業中の発表・小テスト等は60%。出席率は、前・後期試験を除く、平常授業の3分の2を越えなければ、成績は「不合格」とする。

教科書

- 1) 『ライフスタイルとニュービジネス』 成美堂 1,600円 ISBN4-7919-4049-0 C1082
- 2) 『CNN：ビデオで見る世界のニュース（10）』 朝日出版社 2,000円 ISBN978-4-225-15461-9 C1082
- 3) プリント

履修コード	285911
科目名	時事英語研究
担当者名	やしま なおこ 矢島 直子

外国語

講義のねらい 講義の内容・ 授業スケジュール	辞書を引いて英米のニュースを読めるようになり、聞き取りにも慣れてもらうこと。 講義内容は、英語の記事を聞き、読んで意味を取ってもらうもの。 授業スケジュール 1回目－授業の説明。2～4回目－Unit 1、5～7回目－U7、8～10回目－U8、11～13回目－U9、14回目－見直し、15回目－前期末試験。16回目－前期末試験解説、17～19回目－U15、20～22回目－U19、23～25回目－U20、26～28回目－U22、29回目－見直し、30回目－後期末試験。
履修上の留意点	どんどん当てて意味を取ってもらいますから、必ず予習すること。1回目の授業から出席して下さい。
成績評価の方法 教科書	平常点と前期末・後期末試験の結果を総合的に評価します。 佐藤公雄『オンラインニュースで学ぶ世界情勢』、成美堂、1,800円、ISBN4-7919-1043-5。

履修コード	286501
科目名	マルチ・メディア
担当者名	落合 ^{おちあい} 和昭 ^{かずあき}

講義のねらい このクラスに副タイトルを付けるとすると、「日常会話から映画の英語へ」とでもなるだろう。このクラスのレベルは英語の中級から上級（二級、準一級、一級）程度とする。自然な日常会話文や映画の台詞を通して、英語圏の日常生活で、頻繁に、使用される現代口語英語表現を学びながら、英語の運用能力を高めることを第一目標とする。また、各種の実用検定試験（英検、TOEIC、TOEFL、国連英語等）の受験準備にも役立つようにする。さらに、時間が許す限り、アメリカやカナダの作家、都市、国立公園等に関するビデオを鑑賞し、リスニングの向上、文化や自然の多様性を学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール 一回の講義は、主として、三段階からなる。第一段階として、日常会話文や映画を通して、英語の自然なスピードに慣れ、リスニングを向上させる。第二段階は、会話文や映画の中で、使用されている表現の意味や用法を、文字を通して、確認する。第三段階は、学生に登場人物になってもらって、会話文や台詞（せりふ）を再現しながら、会話練習をする。授業は徹底的した演習形式を取り、学生の予習を前提にして、進める。

年間の授業計画は次の通りである。

- 第一回 オリエンテーション
- 第二回 『ネイティブ』 UNIT1
- 第三回 『ネイティブ』 UNIT2
- 第四回 『ネイティブ』 UNIT3
- 第五回 『ネイティブ』 UNIT4
- 第六回 『ネイティブ』 UNIT5
- 第七回 『ネイティブ』 UNIT6
- 第八回 『ネイティブ』 UNIT7
- 第九回 『ネイティブ』 UNIT8
- 第十回 『ネイティブ』 UNIT9
- 第十一回 『ネイティブ』 UNIT10
- 第十二回 『ネイティブ』 UNIT11
- 第十三回 『ネイティブ』 UNIT12
- 第十四回 『ネイティブ』 UNIT13
- 第十五回 前期試験
(『ネイティブ』 UNIT14,15,16,17)
- 第十六回 『UNIT18,19,20』
- 第十七回 台本の読み方について
- 第十八回 『映画』 UNIT1～4 (単語、熟語)
- 第十九回 『映画』 UNIT5～8 (単語、熟語)
- 第二十回 『映画』 UNIT9～10 (単語、熟語)
- 第二十一回 『映画』 UNIT1
- 第二十二回 『映画』 UNIT2
- 第二十三回 『映画』 UNIT3
- 第二十四回 『映画』 UNIT4
- 第二十五回 『映画』 UNIT5
- 第二十六回 『映画』 UNIT6
- 第二十七回 『映画』 UNIT7
- 第二十八回 『映画』 UNIT8
- 第二十九回 『映画』 UNIT9
- 第三十回 後期試験
(『映画』 UNIT10,11,12)

※『ネイティブ』は『ネイティブ英語の慣用表現(2)』、『映画』は『映画シナリオ：海辺の家』。なお、リスニングは毎回行う。

履修上の留意点 このクラスの受講生はすでに口語英語を一年以上学んでいることが望ましい。初めて口語英語を学ぶ学生には、少々、つらい授業になるかもしれない。課題、小テスト、授業中の発表等で、かなりのことを要求するので、そのつもりで受講するように心がけてもらいたい。また、受講を希望する学生は、最初の授業の時に、必ず、担当者の許可を得なければならない。教場は40数名しか入れないLL教場を使用するので、それ以上の履修希望者がいた場合は、最初の授業の時に、抽選をする。そのため、最初の授業に出席しない学生はこのクラスを受講できない可能性がある。

成績評価の方法 前期試験は20%、後期試験は20%、その他（課題、小テスト、授業中の発表等）は60%とする。出席率は、前・後期試験を除いた、平常授業の3分の2を越えなければ、成績は「不合格」となる。

教科書

- 1) 『ネイティブ英語の慣用表現(2)』 マクミラン 1,800円 ISBN978-4-89585-333-0 C3082
- 2) 『映画シナリオ：海辺の家』 英宝社 1,900円 ISBN978-4-269-09005-7 C1082
- 3) プリント

外国語

履修コード	286601
科目名	マルチ・メディア
担当者名	大庭 <small>なおき</small> 直樹

講義の内容・授業スケジュール このクラスは、マルチメディアを使って英語を学ぶクラスである。
 第一の課題は、インターネットを使って、世界の最新のニュースがどのように報道されているかを比較しながら読んでいくことである。インターネットという広大な情報空間から、必要な情報を探索し、その内容を理解するという訓練を積む。
 第二の課題は、マインドマップを使って、頭の中の概念を図式化する訓練をする。このソフトを使って、英語を読んで理解したこと、聞いて理解したことを図式化して表現する訓練をする。
 第三の課題として、Word と電子辞書を使いながら、英語による論文、公式文書、ビジネス文、手紙等の書き方を訓練する。
 第四の課題は、英語の映画を一本観ながら、英語の表現の意味内容を徹底的に研究していく。

履修上の留意点 受講生は、一年間の課題をこなせば、コンピュータを活用した知的な活動において、相当なレベルに達するはずである。従って、このクラスを受講するには、年間を通じて毎週クラスに出席することが条件である。

成績評価の方法 試験、定期試験なるものは行わない。受講生には、サーバーの自分のフォルダに、一年間に20程度のファイルを提出してもらう。インターネットで各自が検索する情報もすべて、サーバーの自分のフォルダに入れてもらう。成績は、各学生が一年間にフォルダにセーブされたファイルの成果をもって評価する。また、後期のパワーポイントを使ってのプレゼンテーションも成績評価の対象である。

その他 受講者は、教室以外、各自の必要度にあわせて総合情報センターの自習室（朝9時より夜9時まで開館）で補修すること。

履修コード	286701
科目名	マルチ・メディア
担当者名	梅原 <small>としひろ</small> 敏弘

講義のねらい 映画の英語に慣れることを目標とします。

講義の内容・授業スケジュール 1942年に製作されたアメリカ映画 Casa Blanca を教材として使用します。この映画を十分鑑賞するためには、時代背景などの知識が不可欠ですが、まずは各場面で使われている英語がある程度理解できなくてははいけません。授業はリスニング・コンプリヘンションを中心としますが、日常会話で使えるような表現をピックアップし学習することによって、英語での表現力の向上をも目指します。

履修上の留意点 映画の英語の聞き取りは難しいので、途中で give up しないこと。

成績評価の方法 前期・後期の学期末に行う授業内試験を中心に、出席、授業への積極的参加なども考慮したうえで成績評価をします。

教科書 使用しません。

履修コード	286801
科目名	マルチ・メディア
担当者名	おおば <small>なわき</small> 大庭 直樹

講義のねらい	このクラスは、マルチメディアを使って英語を学ぶクラスである。 第一の課題は、インターネットを使って、世界の最新のニュースがどのように報道されているかを比較しながら読んでいくことである。インターネットという広大な情報空間から、必要な情報を探索し、その内容を理解するという訓練を積む。 第二の課題は、マインドマップを使って、頭の中の概念を図式化する訓練をする。このソフトを使って、英語を読んで理解したこと、聞いて理解したことを図式化して表現する訓練をする。 第三の課題として、Word と電子辞書を使いながら、英語による論文、公式文書、ビジネス文、手紙等の書き方を訓練する。 第四の課題は、英語の映画を一本観ながら、英語の表現の意味内容を徹底的に研究していく。 後期からは、パワーポイントを使って、テーマを決めてプレゼンテーションをしてもらう。
講義の内容・授業スケジュール 履修上の留意点	受講生は、一年間の課題をこなせば、コンピュータを活用した知的な活動において、相当なレベルに達するはずである。従って、このクラスを受講するには、年間を通じて毎週クラスに出席することが条件である。
成績評価の方法	試験、定期試験なるものは行わない。受講生には、サーバーの自分のフォルダに、一年間に20程度のファイルを提出してもらう。インターネットで各自が検索する情報もすべて、サーバーの自分のフォルダに入れてもらう。成績は、各学生が一年間にフォルダにセーブされたファイルの成果をもって評価する。また、後期のパワーポイントを使ってのプレゼンテーションも成績評価の対象である。
その他	受講者は、教室以外、各自の必要度にあわせて総合情報センターの自習室（朝9時より夜9時まで開館）で補修すること。

履修コード	264201・264301・264601
科目名	英会話I
担当者名	セイジ, K

講義のねらい	Those students who are interested in English conversation - but a little underconfident - should take this course. The course aims to build your interest and confidence in English conversation for the real world.
講義の内容・授業スケジュール	In lessons there will be mainly pair work and some small group work. Each class we will look at different English functions, then you will practice them The functions will build to reflect a life-like situation of the real world. About 5 situations will be done.
履修上の留意点	Please come to class willing to try to participate at your best.
成績評価の方法	1. Class activities 2. Pair performances × 5 (about) 3. Attendance and attitude 4. YeStudy work and use
教科書 参考書等	There is no textbook. You will need to keep the printouts and YeStudy will be used. A dictionary, preferably an electronic one.

履修コード	264401・264501・264801・265321
科目名	英会話I
担当者名	ウェルズ, J. K.

講義のねらい WELCOME TO ENGLISH CONVERSATION I

外
国
語

講義の内容・
授業スケジュール

Speaking English is not so difficult if you have the interest and belief that you can. I hope to give you this chance to speak without feeling shy!

First Semester: Pairwork practice answering and asking questions in a relaxed environment. The first semester exam will be an interview that I give you based on the questions and answers you practiced with your partner (s).

Second Semester: Role-playing will be emphasized as I feel that speaking English while moving (not just sitting) is important. It will also give you an opportunity to show your acting skills in front of other people, or should I say speaking skills. Your final exam will be a dialogue that you and your partner create/write, and which you will perform in the classroom. Do not worry, it is FUN!

履修上の留意点

There is a maximum of 40 students in my class. If there are more than 40 students the first day of class, I will be forced to choose out of a hat the students who will study with me. So please DO NOT take my class if you are not sincere about learning from me. Thanks for understanding this.

Attendance is MOST important and so I have one very STRICT rule in my classroom. NO student will be allowed to be absent MORE THAN THREE TIMES during the school year. If I did not have this rule, students would come and go as they please. It is important to attend class. You will fail the class if you are absent more than three times.

There are NO exceptions for activities in sports or for job hunting. I am proud of the overall percentage of students who attend my class and I know you can attend regularly also.

成績評価の方法

Please DO NOT be absent from the first class of the year or you may not be able to take the class if there are more than 40 students in the classroom!

Attendance: 50%

Tests: 25% (one test each semester)

Quizzes: 25 % (usually part of assignments or announced quiz)

教科書

There is NO textbook, but you will need one larger than average notebook (A4 size) to keep all the prints I provide you in the class. This notebook will be checked and graded. Loose leaf binders are NOT allowed. I will provide you with B5 sized prints so a notebook larger than B5 should be used. Notebooks will be checked in the second class.

その他

The first class is VERY important, so please do not be absent!

I am now an older American and have been teaching at Komazawa for many many years! It is a great joy to be a part of such a fine university and I hope you will help me enjoy teaching you during the school year. Learning to communicate in English CAN be fun!

SEE YOU IN CLASS SOON!

履修コード	264701・265001・265311
科目名	英会話I
担当者名	ミックエリゴット, J. P.

講義のねらい This course will cultivate in students a higher level of natural oral and written English expression. Through this course students should be able to listen and understand longer English texts, carry on an extended conversation and write in English at some length.

講義の内容・授業スケジュール Students will enter into a weekly journal at the beginning of each class. The journals will be read aloud and/or exchanged with classmates. Following the class textbook themes, students will read and write about topics of daily interest. The teacher will help empower students with the skill of proficient writers, to be able to use English accurately and creatively to perform a variety of writing tasks.

This is a highly interactive class. Students will be placed in small groups and pairs. Students will ask each other questions and offer opinions according to the theme of each chapter of the text.

履修上の留意点 Student grades will be based on attendance, completion of class assignments, class participation and oral presentation.

成績評価の方法 GPA方式

教科書 Dale Fuller & Clyde Grimm 著 "New Airwaves Developing Better Listening Skills"

Macmillan Language House \2,100

参考書等 Bilingual dictionary

履修コード	264901
科目名	英会話I
担当者名	レーン, C.M.

講義のねらい This class concentrates on improving communication and fluency skills in English. Most Japanese university students already have basic vocabulary and grammatical skills in English. However, they are unable to use them when speaking. Therefore, this course aims to help students learn to use the knowledge they already have, and then to build on this knowledge. During the first semester basic conversation skills will be covered, through pair work and group work, which will be followed during the second semester by more in depth conversational discussions, also in pairs, small groups and through whole class activities. By the end of the year students should feel more confident when speaking English, and should have the ability to hold simple conversations in English, as well as being able to give their opinion on various topics.

講義の内容・授業スケジュール During the first semester students will study basic conversation patterns and will gain confidence and fluency skills in making general conversation. At the end of the first semester students will be required to give a three-minute speech talking about general themes. Then, during the second semester more time will be spent on group discussions whereby the students will be invited to give their opinions on a variety of topics chosen by the teacher. At the end of the year students will give a presentation in small groups on a topic of their choice.

履修上の留意点 As this is an oral English class students will not improve unless they attend most of the classes. Students who are absent without a good reason more than twice a semester will find it hard to pass. Moreover, while it is not necessary for students to be able to speak English really well to enter this class, they must try to speak English as much as they can. If a student is too shy then they might find this class difficult.

成績評価の方法 (ア) Attendance 20 %
(イ) Participation during class 50 %
(ウ) Individual presentation 10 %
(エ) Group presentation 20%

As this is a practical class, students must be present and participate actively in order to get a passing grade.

教科書 A good dictionary

A file to keep work sheets together-A4 size

履修コード	265201
科目名	英会話I
担当者名	レイン, R. V.

外国語

講義のねらい	This course enables students to use better conversational English language patterns and idioms with increased confidence as well as to improve students' skills and confidence in giving presentations in front of the class.
講義の内容・授業スケジュール	[1] Class introduction. [2-28] The first half of the class is devoted to textbook speaking activities to provide the student with opportunities to use a variety of language patterns and verb tenses. The second half of the class is devoted student presentations in front of the class on topics selected by the instructor. [29-30] Exams will draw from selected textbook activities.
履修上の留意点	Students are expected to participate actively in class and practice the activities at home. Students should be aware that regular attendance is essential. Absence from 1/3 of classes will result in a failing grade.
成績評価の方法	Students will be tested orally on the textbook activities and will also be graded on their class presentations. The final grade will be determined on the basis of these grades as well as on attendance and class participation.
教科書	Steven Molinsky and Bill Bliss Side by Side, 3rd Edition, BOOK 4 Longman 2003 ISBN 0-13-183937-3

履修コード	265101・265301
科目名	英会話I
担当者名	ロンゴ, T.

講義のねらい English Conversation 1 is for students who really want to improve their listening and speaking skills in English.

講義の内容・授業スケジュール This course will present everyday functional language in various situations. Students will speak in controlled and guided activities with their classmates, which is a great way to make new friends. It should be fun! Later in the course students should be free and able to express their ideas and opinions on a range of interesting topics. Communicative, interactive-style learning will be a feature of the classes, so good attendance will be required.

- 1) Introductions: Getting to know your teacher and classmates.
- 2) Talking about skills and abilities.
- 3) Exchanging personal information politely.
- 4) Time and date.
- 5) Daily routines.
- 6) How often? Adverbs of frequency.
- 7) Who am I? Who are you? Your life story so far ...
- 8) MOVIE #1 viewing and discussion of a movie's content.
- 9) Talking about likes and dislikes.
- 10) Where does it go? Prepositions of location.
- 11) Giving directions.
- 12) Favorite holidays and places.
- 13) Comparative adjectives and superlatives.
- 14) Review and practice exercises
- 15) End of term WRITING TEST.
- 16) Review of the previous term's class topics and test questions.
- 17) Describing people.
- 18) Best friends.
- 19) Talking about family.
- 20) Favorite movies and actors/actresses.
- 21) MOVIE #2 viewing and discussion of a movie's content.
- 22) About tomorrow. Questions and answers about the future.
- 23) About yesterday. Talking about the past.
- 24) Do you remember when ... ? Conversation game.
- 25) In a restaurant. Food ordering role-plays.
- 26) What do you think of ... ? How to give and listen to opinions.
- 27) Looking ahead. Talking about goals and dreams for the future.
- 28) Review and classroom test practice time.
- 29) SPEAKING TESTS.
- 30) SPEAKING TESTS.

履修上の留意点 Please come to class smiling with a positive attitude actually to SPEAK English. Show that you really want to improve your English by not missing many classes. Good attendance will be important in your grade each semester. Bring your textbook, a notebook and an electronic dictionary to each class.

成績評価の方法 Students will be assessed at the end of the course based on attendance, assignments and performance in class. There will be a short (but not too easy) speaking test at the end of the course.

教科書 Fifty-fifty Book 1 (Third Edition) ISBN 962-00-5665-5
Published by Longman
Another text book will be presented in the first classroom, so that students can choose either one.

履修コード	287401
科目名	英会話II
担当者名	セイジ, K

外国語

講義のねらい	If you want to take your English conversation to the next level through dicussions, then you should choose this course. The course aims to further build on your English conversation skills and develop your discussion skills as well. The teacher's role will be a facilitator in this class and students will be expected to contribute topics for discussion in class.
講義の内容・授業スケジュール	In lessons, you will do pair work. Individually you will be expected to contribute your own topics of interest for conversation or discussion. The pair work builds to a challenging scenario that you would find in the real world. You will be assessed on your ability to function in these scenarios.
履修上の留意点	Due to the conversation and discussion focus of this course, you must be prepared to come to every class ready at first to speak and then move on to discussing things in English.
成績評価の方法	<ol style="list-style-type: none"> 1. Class activities 2. Pair performances 3. Individual contributions 4. Attitude and attendance 5. YeStudy work and use
教科書 参考書等	There is no textbook. You will need to keep the printouts and YeStudy will be used. A dictionary, preferably an electronic one.

履修コード	287501
科目名	英会話II
担当者名	ロンゴ, T.

講義のねらい

English Conversation 2 is for intermediate level students who really want to improve their listening and speaking skills in English.

講義の内容・授業スケジュール

This course will present everyday functional language in various situations. Students will speak in controlled and guided activities with their classmates, which is a great way to make new friends. It should be fun! Later in the course students should be free and able to express their ideas and opinions on a range of interesting topics. Communicative, interactive-style learning will be a feature of the classes so good attendance will be required. We will also use a range of audio and video materials to prompt class discussion.

- 1) Introductions: Getting to know your teacher and classmates.
- 2) Talking about likes/dislikes and preferences.
- 3) Family relationships.
- 4) The place where you live.
- 5) Who am I? Who are you? Your life story so far ...
- 6) Daily routines and habits.
- 7) Feelings and emotions.
- 8) Going places: Holiday destinations and travel tips.
- 9) Favorite holidays and places.
- 10) Comparative adjectives and superlatives.
- 11) Talking about the best and the worst.
- 12) Explaining problems and making excuses.
- 13) Borrowing and lending.
- 14) Talking about culture and festivals.
- 15) End of term WRITING TEST.
- 16) Review of last term's class topics and test questions.
- 17) Do you remember when ... ?
- 18) Best friends.
- 19) Favorite movies and actors/actresses.
- 20) MOVIE viewing and discussion of movie's content.
- 21) A special time and a special person.
- 22) Making plans: Offers and requests.
- 23) What should I do? How to give advice.
- 24) Dilemmas discussion game: I need your advice because ...
- 25) Tell me a story. Retelling stories and interesting past events.
- 26) In my opinion.
- 27) Looking ahead: Talking about goals and dreams for the future.
- 28) Review and classroom test practice time.
- 29) SPEAKING TESTS.
- 30) SPEAKING TESTS.

履修上の留意点

Please come to class smiling with a positive attitude actually to SPEAK English. Show that you really want to improve your English by not missing many classes. Good attendance will be important in your grade each semester. Bring your textbook, a notebook and an electronic Japanese-English dictionary to each class.

成績評価の方法

Students will be assessed at the end of the course based on attendance, assignments and performance in class. There will be a conversation test at the end of the course.

教科書

English Firsthand 2 ISBN 962-00-5347-8

Published by Longman

Another text book will be presented in the first classroom, so that students can choose either one.

履修コード	287601
科目名	英会話II
担当者名	レイン, R. V.

講義のねらい	This course will enable students to use better conversational English language patterns and idioms with increased confidence as well as to improve students' skills and confidence in giving presentations in front of the class..
講義の内容・授業スケジュール	[1]Class introduction. [2-28] The first half of the class is devoted to textbook speaking activities to provide the student with opportunities to use a variety of language patterns and verb tenses. The second half of the class is devoted to student presentations in front of the class on topics selected by the instructor. [29-30] Exams will draw from selected textbook activities.
履修上の留意点	Students are expected to participate actively in class and practice the activities at home. Students should be aware that regular attendance is essential. Absence from 1/3 of the scheduled classes will result in a falling grade.
成績評価の方法	Students will be tested orally on the textbook activities and will also be graded on their class presentations. The final grade will be determined on the basis of these grades as well as on attendance and class participation.
教科書	Steven Molinsky and Bill Bliss <i>Side by Side, 3rd Edition, BOOK 4</i> Longman 2003 ISBN 0-13-183937-3

履修コード	287701
科目名	英会話III
担当者名	ウェルズ, J. K.

講義のねらい	English Conversation III Welcome to my class! I hope you will challenge yourself speaking English openly on a variety of subjects and activities. This is NOT a beginner's class and the class is held (in most cases) entirely in English. It is usually a small class, so there should be much opportunity for you to speak freely.
講義の内容・授業スケジュール	First Semester: Emphasis will be put on working with your partners and talking about a variety of subjects I give you. Second Semester: Partner and group activities will enhance your speaking ability. Current events ARE important!
履修上の留意点	Your grade will be determined by your participation in class as well as your attendance. ATTENDANCE is VERY important and so I have one very STRICT rule in my classroom. NO student will be allowed to be absent more than three times during the school year. If I did not have this rule, students would come and go as they please. It is important to attend class. There are NO exceptions for activities in sports or for JOB HUNTING. I am proud of the overall percentage of students who attend my class and know you can attend regularly also. * It is preferred that you not take English Conversation I and English Conversation III at the same time. The first class is very important, so please do not be absent! Auditing my class will be granted based upon the size of the class. Please talk to me about this when we meet.
成績評価の方法	Attendance : 50% Grading: Class participation evaluation and attendance
教科書	There is NO textbook, but you will need one larger than average notebook to keep all the prints I provide you with in the class. This notebook will be checked and graded. Loose leaf binders should NOT be used. I will provide you with B5 sized prints so a notebook larger than B5 (A4 size) should be used. Notebooks will be checked in the second class.
その他	I am an older American and have been teaching at Komazawa for many, many years. I am sure some of you know me and maybe I taught you English Conversation I. If you want to challenge yourself further, please join my class. I will interview you briefly the first class period to see if your English is good enough to join this class. It is NOT a beginner's class. SEE YOU IN CLASS!

履修コード	287801
科目名	英会話III
担当者名	レーン, C. M.

講義のねらい	This course concentrates on improving communication, discussion and fluency skills in English. During the first semester a different topic will be discussed each week through pair work and group work, which will be followed during the second semester by more in depth conversational discussions, also in pairs, small groups and through whole class activities. By the end of the year students should feel confident when speaking in English, as well as being able to give their opinion on various topics.
講義の内容・ 授業スケジュール	During the first semester students will be invited to give their opinion on a variety of different issues. At the end of the first semester students will be required to give a three-minute speech. Then, during the second semester more time will be spent on more in depth group discussions. At the end of the year students will give a presentation in small groups on a controversial topic of their choice.
履修上の留意点	As this is an oral English class students will not improve unless they attend most of the classes. Students who are absent without a good reason more than twice a semester will find it hard to pass. Also, students who are not prepared to give their opinions strongly might find this class difficult.
成績評価の方法	(ア) Attendance 20 % (イ) Participation during class 50 % (ウ) Individual presentation 10 % (エ) Group presentation 20 % As this is a practical class, students must be present and participate actively in order to get a passing grade.
教科書	A good dictionary A file to keep work sheets together-A4 size

履修コード	265401
科目名	英語LLI
担当者名	西村 祐子

講義のねらい 聞き取り、読む力を同時につける。日常的スピードで話される会話をききとり、受け答えできるように聞き取る力を向上させていく。TOEIC形式の模擬試験を前期1回後期1回行う。すくなくともスコアで150から300程度のアップをめざす。

講義の内容・授業スケジュール

前期

1. 小テスト(1)実施(受講希望者が多い場合はこのテストにより振り分けを行う)
2. 聞き取り、書き取り訓練(1)
3. 聞き取り、書き取り訓練(2)
4. 聞き取り、書き取り訓練(3)
5. 聞き取り、書き取り訓練(4)
6. 小テスト(2)
7. 英語での自己紹介(1)
8. 英語での自己紹介(2)
9. 英語での自己紹介(3)
10. 聞き取り、書き取り訓練(5)
11. 聞き取り、書き取り訓練(6)
12. 聞き取り、書き取り訓練(7)
13. 小テスト(3)

後期

1. 小テスト(4)
2. 聞き取り、書き取り訓練(8)
3. 聞き取り、書き取り訓練(9)
4. 聞き取り、書き取り訓練(10)
5. 聞き取り、書き取り訓練(11)
6. 小テスト(5)
7. 英語でおこなうペアワークと書く英語(1)
8. 英語でおこなうペアワークと書く英語(2)
9. 英語でおこなうペアワークと書く英語(3)
10. 英語でおこなうペアワークと書く英語(4)
11. 小テスト(6)
12. 復習とまとめ(1)
13. 復習とまとめ(2)

履修上の留意点

全員コンピュータIDを取得しておくこと。(総合情報センターで取得可能)。例年希望者が多いので振り分けテストをおこなう。

成績評価の方法

出席は4分の3以上であること、平常点としての小テスト、TOEIC形式模擬試験の成績、上昇度などによる。定期試験は実施しない。

**教科書
参考書等
その他**

配布資料、および教場内コンピュータにある教材をつかう。授業中に提示する。

ウェブ上でおこなう宿題は YeStudy などをつかい、電子データでの音の持ち帰りもできる。フラッシュメモリー(USB)、自宅での吹き込み用簡易ヘッドセット(マイクつき)などを用意しておく と便利。

履修コード	265501
科目名	英語LLI
担当者名	岸本 茂和

講義のねらい 聴解能力—会話において相手が何を話しているか聴き取れる力—の涵養につとめる。「習うより馴れる」を標語に1年間やってゆきたい。

講義の内容・授業スケジュール

教場のPCに既設のソフトであるPC@LLを利用しながら必要におうじて映画DVDなどの商用ソフトも使用する。授業時にはいわゆる「双方向性」にのっとりIT機器をととした受講生の自主的参加がもとめられる。

履修上の留意点

出欠はかならずとる。3分の1以上欠席は不可。授業には英和辞書をかならず携行のこと。電子辞書も可。電子辞書をあらたに購入する用意のある受講生は「英和大辞典」が入っているものを選ぶこと。

成績評価の方法

前期・後期試験の結果および平常点ならびに出席状況等をかながみ評価する。試験形式はセンター入試の Listening Tests とおなじような形になるであろう。

**教科書
その他**

開講時に指示する。

このシラバス(授業内容)作成の時点(平成20年12月)から21年4月の開講時までに担当者(岸本)の機器習熟とソフトの研究により一部授業内容が変更することもあることを付記する。

履修コード	265601
科目名	英語 L I I
担当者名	井伊 <small>いゐ のぶたこ</small> 順彦

講義のねらい リスニング、スピーキングの初歩から始まり、最終的には高度なニュースをある程度は聞き取れ、かつ内容のあるスピーチができるまで実用能力を高めること。

講義の内容・授業スケジュール 初心者が少なからず履修する点に留意して発音練習を重視するとともに、書き取りの時間を確保する。ビデオ、DVDも活用するつもり。

履修上の留意点 毎回おそらく一度は指名され、なんらかの問題に解答してもらおうことになる。また各自の練習時間もかなり設ける。積極的な姿勢が大事。

成績評価の方法 数回の小テストの成績、ひんばんな質疑応答の出来、出席数などを柱とするが、詳細は教室で。

教科書 『話すためのリスニング』南雲堂 1900円(税別)

参考書等 おりにふれて教室で指示する。

履修コード	265701
科目名	英語 L I I
担当者名	川崎 <small>かわさき こうたろう</small> 浩太郎

講義のねらい 英語の母音、子音、ストレス、単語と単語のリエゾン等の発音を練習し、ネイティブスピーカーが聞いて分かる明確な発音で話すことが出来るようになることを目標とします。

講義の内容・授業スケジュール 具体的には、日常の様々な場面を再現したスキットをビデオで見ながらリスニング能力の向上をはかりつつ、スキットの中で用いられた単語や、フレーズ、文章等の発音練習を行っていきます。TOEICのリスニングなどもおこなう予定です。

履修上の留意点 (1)オリエンテーション (2~5) Unit1~10 (15~30) Unit11~20

成績評価の方法 恥ずかしがらずに大きな声で明瞭に発音することをこころがけてください。平常点50%、前期末と後期末の試験50%の割合で評価する。全授業日数のうち3分の1以上欠席したものは不可とする。

教科書 村川久子『Sounds Right! Sounds Good!』マクミランランゲージハウス ¥2000(税別) ISBN4-89585-304-7

履修コード	265801・265901
科目名	英語 L I I
担当者名	外池 <small>とこのいけ かずこ</small> 一子

講義のねらい リスニングに欠かせない英語の音声変化と聴き取りのストラテジーを体系的に学習し、その後英語のニュースを中心に、比較的短いモノローグやダイアログなどを正確に聞き取れるようになることを目指します。

講義の内容・授業スケジュール 1. 前期はテキストを中心に、以下の項目を学習します。
 (a) 個音(母音、子音)の識別
 (b) 連結
 (c) リダクション(機能語の弱形・縮約形)
 (d) 脱落・同化
 (e) リズム、イントネーション

2. 後期は実際の聴き取り練習を行いながら、さまざまなリスニングのストラテジーを実践的に身につけていきます。
 (a) ニュース
 (b) ドキュメンタリー
 (c) 映画、ドラマ
 (d) インターネット

履修上の留意点 授業はCALL教室で行います。コンピューターを使用しますから、受講前にユーザーIDとパスワードを取得しておくこと。
 また、初回にテストを行い受講の可否を判定しますから必ず出席してください。初回のテストを受けなかった場合受講できない場合があります。

成績評価の方法 平常点30%、授業の進度にあわせて行う試験70%。出席日数が3分の2以上の履修者のみが評価の対象となります。

教科書 開講時に指示します。

その他 毎週きちんと予習をして出席すること。予習をしていなかった場合は出席とは認めません。

外国語

履修コード	266001
科目名	英語LLI
担当者名	甲斐 捷子

講義のねらい 外国語の習得は、乳幼児の言語習得を観察すればわかるように、音の習得が基本です。この授業では、河合楽器が製作したビデオを使って、アメリカ英語の発音を視覚的に、基礎から学び直し、バランスの取れた英語力を身につけることが目的です。一つ一つの音の習得から始めて、単語、短文を正確に聞き取り、アメリカ人と同じような発音で発話する訓練へと進みます。音の習得ができれば、英語を学ぶ楽しさが倍加するだけでなく、正確なリスニング力、スピーキング力が身につきます。中、高等学校の間に、きちんとした発音の訓練を受けなかった皆さんには、ぜひ履修していただきたい授業です。

講義の内容・授業スケジュール テキスト各章の構成は、課題発音を含むスキット、発音方法、日米比較、単語、短文の練習、初めのスキットとなっています。発音の様子が映像で写し出されますから、それを見ながら、また、自分の発音とビデオの発音とを重ね合わせながら、正しい発音を習得します。前期後半にはビデオ2本を終了し、American Accent Trainingへ進み、アメリカ英語の特色であるリエゾンの訓練を通して、リスニング力、スピーキング力の飛躍的なレベルアップを図ります。このハンドアウトは開講時に配布します。

履修上の留意点 発音の訓練は早いほど良いので、1、2年次での履修が望ましいと思います。

成績評価の方法 一応の目安として、平常評価としての出席10%、前期試験30%、後期試験30%、小テスト30%による総合評価とします。

教科書 Sounds Right! Sounds Good! マクミランランゲージハウス 2,100円 ISBN: 978-4-89585-304-0

参考書等 American Accent Training 2nd ed. Barrons. \$39.95

その他 特になし。

履修コード	266101
科目名	英語LLI
担当者名	久保 ひさ子

講義のねらい 海外旅行で場面別に、一回で通じる短い、英会話文を習得する。

講義の内容・授業スケジュール 旅行英会話の短文を、パソコン使用で、聞きとり、書きとり、反復練習する。コミュニケーションできるようにするため、さらに暗記する。毎週、小テストあり。

履修上の留意点 クラス同時録音のため、遅刻しないように、又、実習授業のため、欠席しないようにお願い致します。

成績評価の方法 前期試験と、授業実習点と、小テストの合計点

教科書 マイケル・ブラウン「旅行でしゃべる英会話」南雲堂 ¥1,200

履修コード	288501
科目名	英語LLII
担当者名	セイジ, K

講義のねらい If you are interested in integrated language skills (reading+speaking+listening+writing - at the same time!) in a multimedia atmosphere, then this course will be a good challenge for you.

講義の内容・授業スケジュール Since this course is in the LL room, we will have access to online authentic sources from websites, including video and audio. In lessons, you will be expected to combine the resources provided by the teacher and/or yourself from the internet, into pairwork activities and real-world scenarios presented to the class. Various activities on YeStudy will also be required.

履修上の留意点 As this course is a little intensive, you must be prepared to have a good attitude and try your best to keep up with the material provided and your YeStudy work.

成績評価の方法 1. Class activities
2. Pair work and scenario presentations
3. YeStudy work and use
4. Attendance and attitude

教科書 There is no textbook. You will need to keep up-to-date with the online material and your YeStudy work.

参考書等 Know of a good online dictionary.

履修コード	288601
科目名	英語 L L II
担当者名	高橋 明子

講義のねらい ニュースや映画などの多量の英語を聴き取って内容を理解し、学習した英語表現を実際に運用できるように練習を重ねていきます。

講義の内容・授業スケジュール テキストを中心に聴き取りの練習を進め、進度に応じて映画などの教材やTOEICのリスニング・セクションの問題も取り入れます。テキストの各 Unit を二回の授業を目安にして進め、前期に Unit6 まで、後期に Unit12 までを学びます。

履修上の留意点 毎回の授業での学習の積み重ねが大事なので、欠席をなるべくしないことを心がけてください。また、受講前にユーザーIDとパスワードを取得してください。

成績評価の方法 平常点（出席状況や小テストなど）と前期・後期の試験結果とを総合して評価します。

教科書 『CNN：ビデオで見る世界のニュース（10）』（朝日出版社）2,000円＋税
ISBN978-4-255-15461-9

履修コード	288701
科目名	英語 L L II
担当者名	加藤 佐和子

講義のねらい TOEICの高得点を目指して、リスニング強化の訓練する。

講義の内容・授業スケジュール テキストに、Tactics for TOEIC を用い、TOEICの攻略法を研究し、練習問題を解きながら実践的力をつける。テキストの Listening Test Part を1ユニットずつ進む。

履修上の留意点 TOEICの Reading Part は、各自自習すること。

成績評価の方法 授業の参加度 50%
毎回の小テスト 50%

教科書 Tactics for TOEIC Listening and Reading Test, Student Book (Oxford University Press)

履修コード	289301
科目名	英語 L L III
担当者名	勅使河原 三保子

講義のねらい 英語圏の大学に留学するためのリスニング・スピーキング力の養成を目指します。英語圏の大学の授業では、読んだ記事や自分のレポートの口頭での要約が求められることもあります。この授業では、英語でプレゼンテーションを行うための準備、スピーチの仕方を学び、スピーキングの訓練をします。留学希望者でなくても、英語によるプレゼンの練習をしたい学生も歓迎します。

講義の内容・授業スケジュール 授業中に2回プレゼンテーションをしてもらいます（前後期各1回）。授業では英語でプレゼンテーションを行うための準備の仕方と講義の聞き方について学び、学んだスキルを練習します。

成績評価の方法 2回のプレゼンテーション、提出物、平常点

履修コード	289401
科目名	英語 L L III
担当者名	西村 祐子

講義のねらい 英字新聞を使い、時事問題をつかってディスカッションやプレゼンテーションをしながら読み書き話す英語力をやしなう。1年間の受講の後、すくなくともスコアが50から100程度は上昇することをめざす。授業はすべて英語でおこなう。

講義の内容・授業スケジュール

前期:

- (1) 自己紹介、The Japan Times の記事にもとづくディスカッション
- (2) Herald Tribune の記事を選び各自プレゼンテーション
- (3) The Japan Times 上の記事を選び、各自プレゼンテーション、ディスカッション
- (4) TOEIC形式模擬テスト(1)
- (5) TOEIC形式模擬テスト(2)
- (6) テーマにそったまとめとディスカッション(1)
- (7) 小テスト
- (8) まとめとディスカッション(2)
- (9) Herald Tribune の記事によるプレゼンテーションとディスカッション
- (10) The Japan Times の記事によるプレゼンテーションとディスカッション
- (11) まとめと英語サマリー提出
- (12) 小テスト
- (13) プレゼンテーションとディスカッション

後期

- (1) 夏休み課題 のまとめ:ディスカッションとプレゼンテーション
- (2) Herald Tribune の記事を選び各自プレゼンテーション
- (3) The New York Times 上の記事を選び、各自プレゼンテーション、ディスカッション
- (4) まとめと小テスト
- (5) Herald Tribune より記事を選びプレゼンテーションとディスカッション
- (6) テーマにそったまとめと英語サマリー提出
- (7) 小テスト
- (8) まとめとディスカッション(2)
- (9) The New York Times の記事によるプレゼンテーションとディスカッション
- (10) 小テストと英語サマリー提出
- (11) 関連トピックをオンラインで検索、英語でサマリーをする。
- (12) TOEIC形式模擬試験 (1)
- (13) TOEIC形式模擬試験 (2)

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書

受講者はTOEICで650点以上のレベルであること。受講制限あり。
平常点(出席点40%)、模擬TOEICテストのスコア40%、小テストスコア(20%)など。
オンラインで入手できる英字新聞 (The Japan Times, Herald Tribune, The New York Times など)および教場にある英語学習ソフト、youtube などのオンラインによるビデオ教材。

参考書等
その他

教場で指示する。
PC教場にある英語学習ソフトも使用するのを持ち帰り用としてUSBメモリースティックや家庭学習用に簡易ヘッドセット(マイクつき)を用意しておくとい。

履修コード	289501
科目名	英語 L L III
担当者名	久保 ひさ子

講義のねらい
講義の内容・授業スケジュール
履修上の留意点
成績評価の方法
教科書

英語講演等をおおよそ、理解でき、さらに、ディベートできる程度をめざしたいと思います。
テキストを再生、聞きとり、書きとり、解答し、反復練習する。授業後半は、ABC or BBC ニュースのビデオ or DVD を使用します。

実習授業のため、欠席しないようお願い致します。

前期試験と授業実習の合計点

World Times of Japan, Michigan Action English Step 6 ￥3,000

履修コード	286001
科目名	現代を読むドイツ語
担当者名	野島 利彰

講義のねらい ドイツ語圏の新聞を読み、それぞれの国が抱えている問題を知り、その対処の仕方を学びます。今年度は環境問題の記事を中心に取り上げます。

講義の内容・授業スケジュール 訳読は原則として希望者に任せますが、少人数クラスなので一回の授業で必ず一度は順番が回って来ることを予定してください。なお記事に関しては難しい文法事項、単語などを前もって解説し、辞書を引きやすいようにします。

履修上の留意点 文を読む上で必要なのは、正確な文法知識です。1年次の文法教科書を復習しておいて下さい。

成績評価の方法 授業に対する貢献度、例えばどれだけ予習し、どれだけ訳を発表したかが評価の重要な基準です。

教科書その他 プリントを配布します。
日本語での知識があればあるほどドイツ語の記事は簡単に読めます。日本の新聞・雑誌あるいは新書などで温暖化の問題や地球環境に関して知識を入れておいて下さい。

履修コード	286901
科目名	ドイツ語スキルアップ
担当者名	堀内 美江

講義のねらい はじめて学んだドイツ語を、せっかくですから少しでもモノにしてみませんか？新たに学びなおし、最後には「けっこうできるな、自分」と思えるようになります！この授業は、あやふやだったドイツ語の語いや知識を整理整頓しつつ、「話す」「聞く」「書く」「読む」という技能をていねいに訓練し、獲得していきます。

講義の内容・授業スケジュール ドイツの文化背景を紹介しつつ、前期は「話す」「聞く」に重点を置き、映像や聴覚資料を用いてそのスキルを鍛えます。後期は「書く」「読む」に重点を置き、インターネットなどを使いながら、さまざまなドイツ語の姿に触れていきます。

履修上の留意点 出席をこころがけるようにしてください。せっかく獲得したスキルも、毎週使わなければ衰えてしまいます。また、ドイツの文化や歴史に関心を引くテーマを見つけ、それに関して使われるドイツ語などから、興味を持ってみるといいでしょう。

成績評価の方法 試験は行いません。平常点で評価します。

教科書等その他 プリント配布予定。
必要に応じて教場で指示します。
楽しく、皆さんがドイツを好きになれるような授業を心がけたいと思います。がんばってドイツに行ったり、ドイツ人とコミュニケーションできるようなドイツ語を、少しでもマスターしてみてください！

履修コード	288001
科目名	ドイツ語コミュニケーションI
担当者名	小林 ゲアリンデ

講義のねらい ドイツ語の基礎的な知識を履修するとともにドイツおよびドイツ語を国語とするオーストリア、スイスの国情について知識を身につけることを目指す。
日常的な状況でのドイツ語を話し、理解することに重点をおく。そのため発音練習やパートナー練習を数多く取り入れる。基本的な文法の習得と並んでドイツ語を読む楽しみにも触れたい。適宜宿題を課す。

講義の内容・授業スケジュール (1~4) LektionI 今日は私の名前は (5~8) LektionII 家族と友だち (9~12) LektionIII 食物と飲食 (13~16) LektionIV 私の家 (17~20) LektionV 私の一日 (21~24) LektionVI くつろぎの時 (25~29) LektionVII 生涯学習 (30) テスト

成績評価の方法 定期試験は行わないが、毎時間、口答対話を行い、それを総合して年度末の成績として評価する。

教科書その他 Kursbuch + Arbeitsbuch "Schritte international I" (Hueber)
ビデオ、カセットを使用する。

外国語

履修コード	288801
科目名	ドイツ語コミュニケーションII
担当者名	<small>こばやし</small> 小林 ゲアリンデ

講義のねらい ドイツ語を1年(LLまたは他のドイツ語科目)で学んだ学生を対象とする。ドイツ語を話し、理解する能力をさらに伸ばし、ドイツ語圏諸国についての知識を広げることが目標とする。

講義の内容・授業スケジュール (1～3) お互いに知り合う (4～6) 電話での会話 (7～9) コーヒーショップで (10～12) ヨーロッパ旅行 (16～19) 買い物 (16～19) 自由時間 (20～23) 家族と親戚 (24～28) 衣服・百貨店 (29) 復習 (30) テスト

成績評価の方法 定期試験は行わないが、毎時間、口答対話を行い、それを総合して年度末の成績として評価する。

教科書 当面はプリントを配布する。開講時に指示する。

その他 ビデオを使用する。

履修コード	289601
科目名	ドイツ語IA (選)
担当者名	<small>たけだ としかつ</small> 武田 利勝

講義のねらい 1年間のドイツ語文法の学習を通じ、ドイツ語検定4級～5級程度の力を身に付けてもらいます。学習内容は初歩的な文法に留まりますが、どの学習事項も、これから自分でドイツ語を話したり読んだりする時の重要な「引き出し」になります。

講義の内容・授業スケジュール (1) オリエンテーション、ドイツ語学習の目標設定 (2～3) 発音の練習 (4～6) 動詞の変化、その1 (7～10) 名詞の格変化のいろいろ (11～15) 数詞、疑問詞、前置詞など (16～20) 動詞の変化、その2 (20～23) 接続詞、受動文、否定詞など (24～26) 形容詞、序数 (27～28) 関係代名詞と関係文 (29～30) 非現実話法、まとめ

履修上の留意点 外国語の学習は継続と積み重ねが命ですから、復習は絶やさないこと。もちろん、出席し続けること! とはいっても、チームワークを重視した授業になりますので、ただ出席するだけでなく、積極的に参加することが望まれます。楽しく真剣な授業になるように、協力しましょう。

成績評価の方法 各学習事項についての小テスト、また学期末テストのスコアに加え、出席状況および課題提出状況も評価の対象とします。

教科書 未定

履修コード	290201
科目名	ドイツ語IB (選)
担当者名	<small>いむら ゆきこ</small> 井村 行子

講義のねらい ドイツ語を実際に使えるようにするとともに、ドイツについての知識の習得に努めます。

講義の内容・授業スケジュール 教科書に沿って進めます。少なくとも4課までは終わらせる予定です。

成績評価の方法 前期と後期の筆記試験の成績によります。

教科書 『シュトラッセ・ノイ』(朝日出版社)

履修コード	290801
科目名	ドイツ語II (選)
担当者名	<small>いむら ゆきこ</small> 井村 行子

講義のねらい ドイツ語のレベルアップとともに、ドイツについての知識を深めます。

講義の内容・授業スケジュール 第5課から第8課まで教科書後半を終わらせる予定です。

成績評価の方法 前期と後期の筆記試験の成績によります。

教科書 『シュトラッセ・ノイ』(朝日出版社)

履修コード	286101
科目名	現代を読むフランス語
担当者名	<small>くわた のりあき</small> 桑田 禮彰

講義のねらい 講義の内容・ 授業スケジュール	フランス語中級。フランス語の基礎を既に習得した者を対象にします。 比較的簡単で興味深い最新の時事フランス語の文章を読んでいきます。発音の基本を確認しつつ、文法事項についても、できるかぎり分かりやすく説明するつもりです。できれば最後に、実際のフランスの新聞記事を読んで見ましょう。フランス語の基礎を終えた人は、ぜひこの授業を取って、もう一步踏み込んだフランス語の魅力、フランスの魅力に触れてください。 (1) 受講上の諸注意 (2)(3) 豪華帆船と海賊 (4)(5) サン＝テグジュペリ、謎の結末 (6)(7) クリスチャン・ディオール (8)(9) 「パリ海岸」(10)～(24) 名所めぐりのパリマラソン、他 (25)～(29) Le Monde 記事 (30) 復習と今後のフランス語学習について
履修上の留意点 成績評価の方法	最も重要なのは、もちろん授業への出席です。一回一回の出席を大切にしてください。
教科書	ふだんの授業での評価をベースにして、年二回の試験の成績で決定します。 クリスチャン・ボームルー他著『ヴァリエテ・フランセーズ2009』(朝日出版社) 1,995円 ISBN978-4-255-35198-8
参考書等	そのつど授業で指示します。

履修コード	287001
科目名	フランス語スキルアップ
担当者名	<small>とおやま ひみお</small> 遠山 博雄

講義のねらい	文法の復習をしながら、きちんとした発音と基礎的な文字表現力を身につけること、仏検3級も視野に入れて。
講義の内容・ 授業スケジュール	(1～5) 名詞、冠詞、形容詞、基本動詞の直説法現在形、疑問文、否定文等)、(6～10) 命令形、動詞現在形のつづき、疑問形容詞、指示形容詞等)(11～15) 形容詞の比較級・最上級、動詞の過去形、代名動詞等)(16～20) 関係代名詞、動詞の条件法、接続法、現在分詞等)、(21～30) 教科書をはなれて様々な実践練習。
履修上の留意点 成績評価の方法	続けて出席すること。 平常点を原則とします。
教科書	松村剛『はじめての仏作文』朝日出版社、2,200円+税 ISBN4-255-35134-1 C1085

履修コード	288101
科目名	フランス語コミュニケーションI
担当者名	<small>みくら</small> ラリア・三倉, M.

講義のねらい	教科書の内容に沿ってフランス語コミュニケーションの聴く、話す、読む実力が自然とついてくる授業にします。
講義の内容・ 授業スケジュール	あくまで全くの初心者からフランス語のコミュニケーション力の基礎を習得させる内容になっています。 (1) Alphabet /興味を持たせるための簡単な会話と表現/フランス語発音練習 (2)～(4) Leçon 1 (5)～(7) L2 (8)～(10) L3 (11)～(13) L4 (14)～(16) L5 (17)～(19) L6 (20)～(22) L7 (23)～(25) L8 (26)～(28) L9 (29)～(30) L10
履修上の留意点 成績評価の方法	授業は実践力をつけるため、フランス語で行います。 成績評価は講義で学生の各々の能力を見極める通常点で評価します。試験はいたしません。
教科書	高橋・ジュンタ共著『ヌーヴォー・ク・ドゥ・クール』第三書房 ISBN 4-8086-2136-3

履修コード	288901
科目名	フランス語コミュニケーションII
担当者名	<small>みくら</small> ラリア・三倉, M.

講義のねらい	フランス語の基礎力が備わった学生向けのフランス人講師による授業です。
講義の内容・ 授業スケジュール	ビデオを使って視聴覚中心の授業をいたします。 (1) 受講上の諸注意 / à l'Aéroport の1回目 (2)～(4) à l'Aéroport (5)～(7) à l'hôtel (8)～(10) Paris, la nuit (11)～(13) Au café (14)～(16) Le train (17)～(19) Le téléphone (20)～(22) invitations (23)～(25) les courses (26)～(28) Au Restaurant (29)～(30) まとめと復習
履修上の留意点 成績評価の方法	授業は実践力をつけるため、フランス語で行います。 試験はいたしません。通常評価で採点します。
教科書	教材は“BIENVENUE EN FRANCE”よりプリントして学生に渡します。

履修コード	289701
科目名	フランス語IA (選)
担当者名	あづま かつのすけ 東 辰之介

講義のねらい フランス語初級文法の習得を目的とします。

講義の内容・授業スケジュール (1)受講上の諸注意/ Alphabet (2)~(3)発音の基礎 (4)~(15)文法の基礎(主語人称代名詞/動詞の直説法現在/形容詞の性・数/名詞/冠詞など) (16)~(29)文法の発展(疑問代名詞/縮約/補語人称代名詞/比較/動詞の過去・未来時制など) (30)復習と今後のフランス語学習について(中級への橋渡し)

履修上の留意点 授業にきちんと出席することが何より重要です。やむを得ず遅刻や欠席をしてしまった場合は、その分を次の授業までに自分で勉強しておいてください。調べても分からない時は、質問してください。

成績評価の方法 学期末試験の結果と平常点によって評価します。

教科書 藤田裕二著『パスカル・オ・ジャポン』(白水社) 2,000円+税 ISBN978-4-560-06083-4

参考書等 仏和辞典が必要です。初回授業でガイダンスをします。

履修コード	289711
科目名	フランス語IA (選)
担当者名	でぐら いさし 出口 雅敏

講義のねらい フランス語をはじめて学ぶ学生のための授業です。初級文法の習得を中心に、読む、書く、聞く、話すための基礎をバランス良く学習することが目的です。

講義の内容・授業スケジュール (1)受講上の諸注意/ Alphabet (2)~(4)発音の基礎 (5)~(15)文法の基礎(名詞の性・数/主語人称代名詞/冠詞、疑問文・否定文・命令文/形容詞/冠詞の縮約/動詞の現在時制など) (16)~(29)文法の発展(目的語人称代名詞/中性代名詞/比較/代名動詞/関係代名詞/動詞の過去・未来時制など) (30)復習と今後のフランス語学習について

履修上の留意点 「仏和辞典」を毎回持参して下さい。*但し、電子辞書やポケット版辞典は不可です。

成績評価の方法 前期・後期の期末試験と通常点(出席状況・小テストなど)によって評価します。

教科書 仏語1A (選)

石野好一・大久保政憲・山崎吉朗 『O es-tu? (どこにいるの?)』2008年刊 朝日出版社 2,500円+税 ISBN978-4-255-35190-2

履修コード	290301
科目名	フランス語IB (選)
担当者名	すけはら たけし 菅原 猛

講義の内容・授業スケジュール 既得の英語力を応用してフランス語の初歩を学びながら外国語で書かれた文章の構造を分析して読解力を高めてゆく。その作業は日本語の文章作法を見直すことにも通じてゆくと思われる。

履修上の留意点 履修した以上、できるだけ最後まで学習する意欲をもちつづけて欲しい。

成績評価の方法 年2回の定期試験の成績を中心に、各課ごとに行なう練習問題の結果も平常試験として評価の対象にします。

教科書 鈴木隆芳・中野茂『フランス語文法の単位』2007年刊(駿河台出版社) 2,625円(税込)

履修コード	290901
科目名	フランス語II (選)
担当者名	くわた のりあき 桑田 禮彰

講義のねらい フランス語中級。フランス語の基礎を既に習得した者を対象にします。

講義の内容・授業スケジュール 比較的簡単で興味深い最新の時事フランス語の文章を読んでいきます。発音の基本を確認しつつ文法事項についても、できかぎり分かりやすく説明するつもりです。フランス語の基礎を終った人は、ぜひこの授業を取って、もう一步踏み込んだフランス語の魅力、フランスの魅力に触れてください。

履修上の留意点 (1)受講上の諸注意 (2)(3)豪華帆船と海賊 (4)(5)サン=テグジュペリ、謎の結末 (6)(7)クリスチャン・ディオール (8)(9)「パリ海岸」(10)~(29)名所めぐりのパリマラソン、他 (30)復習と今後のフランス語学習について

成績評価の方法 最も重要なのは、もちろん授業への出席です。一回一回の出席を大切にしてください。

教科書 ふだんの授業での評価をベースにして、年二回の試験の成績で決定します。

参考書等 クリスチャン・ボームルー他著『ヴァリエテ・フランセーズ2009』(朝日出版社) 1,995円 ISBN978-4-255-35198-8

そのつど授業で指示します。

履修コード	286201
科目名	現代を読む中国語
担当者名	岩崎 皇 <small>いわさき ひろし</small>

講義のねらい 中国の経済改革、対外開放が始まって30年経ちましたが、その間、中国社会は大きく変化しています。授業のねらいは、古いイメージを離れて、ありのままの中国を見てみることです。

講義の内容・授業スケジュール コンピュータ教場を利用して、映像を見ながら授業を進めます。特にテーマはなく、中国社会のさまざまな面を見ていこうと考えています。

履修上の留意点 授業にはすべて出席することが前提です。やむを得ない理由（急病、急用、忌引、部活動等）により欠席する場合でも、6回を越えた場合は単位取得はできません。なお、就職活動を行う学生はそのつど状況を報告してください。場合により上記の制限を多少緩和することがあります。

成績評価の方法 また、これまで中国語を勉強したことのない人は履修できません。履修上の留意点にある条件を満たした上で、毎回の授業への取り組み、課題提出、テスト等で評価します。

教科書 教材はこちらで用意します。

履修コード	287101
科目名	中国語スキルアップ
担当者名	児島 弘一郎 <small>こじま こういちろう</small>

講義のねらい 実用的な中国語表現の習得を目指すと同時に、各種検定試験への対策を行ないます。頻出する基本構文・語彙を反復学習しつつ、聴き取り・翻訳・作文などの訓練をします。

講義の内容・授業スケジュール 中国でのインタビューを中心に編集された音声教材を使用し、自然なスピードで話された中国語に毎回触れてもらいます。前期は全12課のテキストを毎回1～1.5課ずつ進め、前期の終わりから後期には、教員が用意した教材により、検定試験の具体的な対策を行ないます。

履修上の留意点 4分の3以上の出席、失敗を懼れない果敢さを求めます。

成績評価の方法 前期・後期の試験、小テスト、授業への取り組み、出席状況によって総合的に評価します。

教科書 楊達・南勇『リスニング中国I』（朝日出版社、2200円、CD付）。

参考書等 辞書や役立つ音声教材などは、教場で紹介します。

その他 検定試験の受験を予定していない学生も、もちろん歓迎します。

履修コード	288201
科目名	中国語コミュニケーションI
担当者名	陳 洲拳 <small>ちん しゅうきょ</small>

講義のねらい 中国語を用いて意思疎通を円滑に進める能力を養う。日常会話の初歩的な表現を口でスムーズに応答できるように習得する。

講義の内容・授業スケジュール 割とやさしい教科書を使い、学んだ内容を理解し、暗誦できる程度まで繰り返して音読し、そして今まで憶えた単語や句型など活用して、日常的な会話を練習する。5課ごとに1回自由会話を行う。

履修上の留意点 学んだ課の本文の録音をよく聞き、まねをして読み、正確に言えるように練習すること。

成績評価の方法 後期のテストの成績によって評価する。

教科書 陳洲拳他著『中国語耳留学』（隆美出版）2600円（CD2枚付き）

履修コード	289001
科目名	中国語コミュニケーションII
担当者名	小川 隆 <small>おがわ たかし</small>

講義の内容・授業スケジュール 「II」とあるが、レベルは「I」と同じ。大量の口頭練習を行いながら、発音と文法を基礎から復習し、徹底的に身につける。予習は必要ないが、毎回の学習内容を必ず次の週に暗誦してもらう。かつて中国語IA・IBを履修した、でも内容が身につけているわけではない、という現状の受講生を標準とする。短期・長期の留学に興味がある人も、ぜひ参加してほしい。

成績評価の方法 成績は平常点評価。

教科書 董燕・遠藤光暁『ともだち・朋友』トータル版（朝日出版社）¥2500+税 ISBN978-4-255-45167-1

履修コード	289801
科目名	中国語ⅠA (選)
担当者名	吉田 建一郎 <small>よしだ たていちろう</small>
講義のねらい	中国語の基礎力を身につける。
講義の内容・ 授業スケジュール	(1～6) 四声とピンイン (7～14) 代名詞、「是」と「不是」、名前・月日・曜日の言い方、疑問詞疑問文など (15～19) 形容詞述語文、比較文、「在」と「有」、「了」など (20～) 助動詞、補語、存現文、使役文、受身文など
履修上の留意点	積極的に練習に参加し、自主的に努力する意志のある方のみ歓迎。
成績評価の方法	平常点 (出席状況、積極性) と定期試験をもとに総合的に評価。
教科書	内田慶市等『中国語への道—近きより遠きへ—』金星堂、2380円 (税別)、ISBN978-4-7647-0659-0

履修コード	289811
科目名	中国語ⅠA (選)
担当者名	岩崎 皇 <small>いわさき ひろし</small>
講義のねらい	中国語という言語を体験してもらうことが目的です。とりわけ聞き取りと発音が重要ですから、繰り返し練習します。
講義の内容・ 授業スケジュール	テキスト(全12課)に沿って日常会話を練習していきます。5月の連休までに発音の練習をし、その後はほぼ授業2回で1課進む予定です。
履修上の留意点	授業にはすべて出席することが前提です。やむを得ぬ理由により欠席する場合でも、6回を越えた場合は単位取得が不可能となります。具体的には、欠席を1点、遅刻早退を0.5として合計し、6点以内の者を成績評価の対象とします。
成績評価の方法	上記の出席を前提とした上で、年間4回行う試験で判断します。
教科書	劉穎『1年生のコミュニケーション中国語』(白水社) 2,200円 (本体)

履修コード	290401
科目名	中国語ⅠB (選)
担当者名	大久保 明男 <small>おおくぼ あきお</small>
講義のねらい	中国語の基礎知識 (発音、基本的な文法、基本句型、慣用句など) を確実に習得して、会話力や文章読解力を養うとともに、現代中国社会に対する認識や理解を深めていくことを目指します。
講義の内容・ 授業スケジュール	発音編から入り、基礎編 (基本句型など) を経て、ひねくれた女の子燕燕との会話を学んでいきます。ジョークまじりの中国語を通して中国人の笑いのセンスにも触れてみます。また、授業中に折に触れて現代中国の社会情勢や、学生諸君と同年代の中国若者の生活や文化などを紹介していきます。
履修上の留意点	中国語を学ぶ意義を認識し、意欲を持って授業に臨むこと。 毎回予習、復習すること。
成績評価の方法	出席、試験、平常点 (担当時の出来具合や討論への参加、授業に臨む姿勢など) で総合評価します。
教科書	相原茂・郭雲輝『ひねくれ燕燕 ジョークで中国語入門』(朝日出版社、2520円)

履修コード	291001
科目名	中国語Ⅱ (選)
担当者名	三田村 圭子 <small>みたむら けいこ</small>
講義のねらい	基礎中国語を復習し、聞く・話す・書くを反復練習することで、より実践的な中国語を習得する。また1年間の学習終了時には、中国語検定3級程度の力を習得することを目的とする。
講義の内容・ 授業スケジュール	①基礎中国語で学習した重要な文法や発音を復習する。 ②教科書の進度にしたがって、会話を暗記し、また簡単な文章を書けるように練習する。
履修上の留意点	出欠は成績に加味するので、欠席の多い学生は単位取得が難しい。 欠席が3分の1以上の場合、採点評価の対象外とする。
成績評価の方法	前・後期の中間期末試験 (全4回) と平常点で総合評価する。 本文の暗記も点数に加算する。
教科書	董燕・遠藤光暁著『話す中国語北京篇2』(朝日出版社) 2500円
参考書等	辞典や参考書については、授業開始時に説明する。
その他	辞典を持っていることが望ましい。

履修コード	286301
科目名	現代を読むスペイン語
担当者名	齋藤 明美

講義のねらい	初級文法および基本語彙を復習しながら、現代のスペイン語圏の政治・社会、文化、芸術、スポーツ、文化についての簡単なテキストを読んでいきます。スペイン語を使った情報収集能力を高めます。講義が終了するころには辞書をひきながら現地の新聞雑誌やインターネットの簡単な話題を理解できるようになります。
講義の内容・授業スケジュール	(1) スペイン語圏の衣食住 (1-6) (2) スペイン語圏の社会(若者像、職業、大学など) (7-13) (3)文化・余暇(旅行、音楽、映画、スポーツなど) (14-19) (4)今年の重大ニュース (20-26) (5) スペイン語の日本に関するニュース (27-30)
履修上の留意点	初級文法修了者対象。 興味関心があるテーマを一つでも見つけ、辞書をたよりに食欲に語彙や慣用表現を増やす努力をしていきましょう。またインターネット等を積極的に活用して日ごろからスペイン語に慣れましょう。
成績評価の方法	毎回の授業参加や演習課題(夏休み1回)そして後期定期試験によります。
教科書	GIDE語彙研究班『スペイン語語彙練習帳 スペ単ライト!』朝日出版社 1200円 テキストは毎回配布します。
参考書等	推薦辞書:『西和中辞典』(小学館) 『プエルタ新スペイン語辞典』(研究社)
その他	講義内容の順序が前後する場合があります。

履修コード	287201
科目名	スペイン語スキルアップ
担当者名	上野 勝広

講義のねらい	このクラスでは、スペイン語検定試験(3級・4級)に合格することを目標にします。既習の文法事項を随時復習しながら、聴解・会話・読解・作文の各技能を伸ばし、総合的なスペイン語力を身につけられるようレッスンを進めます。
講義の内容・授業スケジュール	作文については年間を通じ下記のテキストを用いて、1回の授業で10ページくらい進めます。読解はインターネットのオンライン教材およびプリント、聴解・会話はビデオ・CD等の視聴覚教材を利用してゆきます。 前期(1)オリエンテーション(2~5)自動詞・再帰動詞・他動詞の構文、など(6~10)連結動詞の構文、など(11~15)関係節、など 後期(16~20)副詞節、など(21~25)受動構文、など(26~30)比較構文、など
履修上の留意点	「継続こそ力なり」です。休まずさばらず目標に向かって頑張れる意欲に満ちた受講者を歓迎します。また授業の学習成果を最大限あげるために、何より集中力が大切です。
成績評価の方法	前期末・学年末試験の結果(60%)と平常点(40%)を総合して評価します。
教科書	小池和良『スペイン語作文の方法・構文編』(第三書房)2,500円

履修コード	288301
科目名	スペイン語コミュニケーションI
担当者名	モラーレス、ムニョス、S.

講義のねらい	スペイン語を用いて平易な日常会話が可能となるよう、必須の語彙を蓄えさせ、基礎文法の習得を促す。同時にスペイン語圏についての知識を深める。
講義の内容・授業スケジュール	(1)世界の中のスペイン語・発音とアルファベット(2)自己紹介をする・動詞SERとESTAR(3)自己紹介における形容詞の用い方・所有形容詞(4)場所と位置関係の表現(5)直説法現在規則活用動詞(6~7)曜日と月・数詞(8~9)再帰動詞(10)直説法現在不規則活用動詞(11) HABERとESTAR(12)動詞GUSTAR(13)食事について(14)天候の表現(15)前期試験(16)命令法(規則活用)(17)依頼の表現(18)現在進行形(19)約束をするときの表現(20)点過去規則活用(21)買い物をする(22)目的語代名詞(23~24)身体各部の名称・病院で・動詞DO LER(25~26)点過去不規則活用(27)線過去(28~29)現在および過去の習慣について(30)後期試験
履修上の留意点	積極的にスペイン語を用いること。スペイン語圏のニュースに注意していること。
成績評価の方法	出席(20%)、短い作文、発話(30%)、2回の口頭試験(50%)。
教科書	Francisca Castro Viúdez, et al. 『Español en marcha 1,A1. (Libro del alumno)』(S.G.E.L.)

外国語

履修コード	289101
科目名	スペイン語コミュニケーションII
担当者名	モラーレス, ムニョス, S.

講義のねらい	スペイン語のやさしい言い回しで心情などが表現できるようにする。過去の出来事の語り方や、未来の計画の立て方を学ぶ。現代のテーマについてスペイン語で意見を述べられるようにする。
講義の内容・授業スケジュール	(1~3) 自分について話す (4から6) 評伝を読む (7から9) 習慣と行事 (10~12) 未来の事柄 (13~14) 過去と現在 (15) 前期試験 (16~18) 比較 (19~21) 広告文・求人・買い物 (22~24) 助言をする (25~27) 自由時間・世界のお祭り (28~29) 未来の計画 (30) 後期試験
履修上の留意点	以前に学んだ文法の復習をしっかりとやっておくこと。積極的にスペイン語を用いること。スペイン語圏のニュースに注意していること。
成績評価の方法 教科書	出席 (20%)、短い作文、発話 (30%)、2回の口頭試験 (50%)。 Francisca Castro Viúdez 『Español en marcha 2,A2. (Libro del alumno)』 (S.G.E.L.)

履修コード	289901
科目名	スペイン語IA (選)
担当者名	中島 聡子

講義のねらい	スペイン語の基礎 (発音・文法・語彙) を身につけ、その背景文化への理解と関心を深めてゆきます。
講義の内容・授業スケジュール	下記のテキストを用いて、前期は1課~5課まで、後期は6課~10課を解説します。同時に口頭および筆記の練習も行ないます。 前期 (1) 導入、アルファベット (2~5) 文字と発音、主語の人称代名詞、動詞 ser、名詞の性数、冠詞、形容詞、動詞 hay、位置を表す表現、など (6~10) 動詞 estar、31までの数字、時間等の表現、規則動詞の活用、など (11~15) 疑問詞の使い方、動詞 ir、yo の活用が不規則な動詞、目的語の人称代名詞、天候の表現、など 後期 (16~20) 語根母音も変化する動詞、querer、poder の使い方、その他の不規則動詞、動詞 gustar の使い方、gustar 型の諸動詞、など (21~25) 比較の表現、関係代名詞 que、100までの数字、再帰動詞とその使い方、不定主語文など (26~30) 100を超える数字、命令形、婉曲・丁寧な表現、現在完了、感嘆文、など
履修上の留意点	外国語は繰り返し練習することによって習得できます。わからない単語はあらかじめ辞書をひいておく、新しい動詞の活用を確認するなどの予習、文法などの説明を聞き、実際にスペイン語を使ってみる場である授業、そしてそれらの復習、どれも欠かせません。繰り返し練習することが外国語習得への一番の近道です。
成績評価の方法 教科書 参考書等	テスト結果 (80%) に平常点 (20%) を合わせて評価します。 上野勝広『改訂版・新世紀のスペイン語』(同学社) 2,500円 初回の授業で紹介します。

履修コード	290501
科目名	スペイン語IB (選)
担当者名	齊藤 明美

講義のねらい 基礎文法を習得しながらスペイン語で「聞く」「読む」「話す」「書く」ことができるバランスの取れた基本的コミュニケーション能力を伸ばします。直接法の習得を目指します。また日常よく使われる口語表現などを具体的なシチュエーションを通して学び、スペイン語圏を安心して旅行できるコミュニケーション能力習得を目指します。

前期が終わるころにはスペイン語で簡単なあいさつや自己紹介、また道を聞いたりすることができるようになります。後期が終わるころにはスペイン料理店で自信を持って注文したり、スペイン語圏の友人と簡単なやりとりができるようになります。

講義の内容・授業スケジュール

- (1) コースの説明、アルファベット、簡単な挨拶(1)
- (2) 1課：あいさつ、カフェで(発音、アクセント、挨拶、数、名詞の性・数、冠詞など)、2課：バス停にて(直説法現在,規則動詞)(2-8)
- (3) 3課：大学で(ser 動詞と estar 動詞(不規則動詞1) 4課：どこ出身？(形容詞の性質と用法)(9-14)
- (4) 中間試験(15)
- (5) 5-7課：バルにて、夏休みの計画、空港にて(直説法現在,不規則動詞など)(16-25)
- (6) 8課：歓迎会にて gustar 型動詞など(26-28)
- (7) まとめ(29)
- (8) 定期試験(30)

履修上の留意点

文法や語彙習得するためには多大な時間と努力が必要です。自ら楽しみながら勉強するコツを見つけましょう。

成績評価の方法
教科書
参考書等
その他

毎回の出席、授業参加や各期末の達成度チェック(年二回)によります。
菊田/丹波『Entre dos mundos 二つの世界で』同学社 2700円
授業で推薦する辞典の中から各自使いやすいものを選び活用しましょう。
学生の理解度にあわせながら授業を進めますのでスケジュールが前後する場合があります。

履修コード	291101
科目名	スペイン語II (選)
担当者名	佐藤 麻里乃

講義のねらい 原語でまとまった量の文章を読むことに慣れ、スペイン語の持つ諸特徴への理解を深める。
講義の内容・授業スケジュール 受講者はあらかじめテキストの文章を予習しておき、授業時に音読と和訳をする。教員は必要に応じてこれに解説を加える。

履修上の留意点

毎回必ず予習してくる。

成績評価の方法

予習の状況と前期末・後期末の試験を総合して評価する。

教科書

未定

履修コード	286401
科目名	現代を読むロシア語
担当者名	木村 英明

講義のねらい 1991年のソ連邦崩壊から20年近くが過ぎたロシアは、2000年代に入ってからは、豊かな天然資源を基盤に著しい経済成長を維持している。また、天然資源のみならず、人的資源にも恵まれたロシアの国際政治に及ぼす影響力や、21世紀の文化創造に向けて秘める潜在力は看過できないものがある。この授業では、そんなロシアの動向にじかにロシア語で触れていきたい。

講義の内容・授業スケジュール

ロシアの政治、経済、文化に関する平易な記事や論文を講読する予定だが、ビデオ等の映像教材も用いることにする。なるべく受講者の要望に応じたテーマを取り上げていきたい。テキストは適宜プリントの形で配布する。

履修上の留意点

4-7月 新聞や雑誌の記事をもとに様々なスタイルのロシア語を読む。

9-12月 メドヴェージェフ大統領、プーチン首相による現在のタンデム体制を読み解く。

成績評価の方法

各自が、授業を通じて自分の問題意識と出会えるよう、アクティブな授業参加を望む。

教科書

試験は行わず、平常点で評価する。

参考書等

プリントを配布する。

辞書：研究社露和辞典、岩波ロシア語辞典、博友社ロシア語辞典

外国語

履修コード	287301
科目名	ロシア語スキルアップ
担当者名	クロチコフ、Y.

講義のねらい 会話練習。
簡単な新聞、雑誌の記事、文学書を辞書を用いて講読します。
講読した内容について自由会話を行う。
ロシア語を通して世界を広げていきましょう。

講義の内容・授業スケジュール 4-7月 初歩の会話を学ぶ。
9-12月 会話力を高めながら同時にロシア語の文章の理解力を深める。

履修上の留意点 出席を重視します。

成績評価の方法 平常点で評価します。

教科書 教場にて指示します。プリント配布。
学生の要望も考慮してテキストを選びます。
ビデオ、オーディオ等を使用します。

履修コード	288401
科目名	ロシア語コミュニケーションI
担当者名	^{あんどく} 安徳 ニーナ

講義のねらい ロシア語I、IIで学んだことを基に、日常会話からロシア文学への入門ができることを目標とします。

講義の内容・授業スケジュール 日常の話題等についても自由に会話ができるようになることを目指します。
教科書にもとづいて会話形式に講義を進めます。

成績評価の方法 講義で行う練習問題を主として学習態度も参考にし平常点で評価します。

教科書 安徳ニーナ他著「RUSSIAN AS SPEAK IT」(ナウカ社)、「21世紀のロシア語」(大学書林)

参考書等 必要に応じてその都度資料を配布します。

履修コード	289201
科目名	ロシア語コミュニケーションII
担当者名	^{あんどく} 安徳 ニーナ

講義のねらい 日常会話からロシア文学への入門、新聞、雑誌を読みこなせることを目標とします。また自由に会話ができるようになることをめざします。

講義の内容・授業スケジュール 資料にもとづいて会話形式に講義を進めます。

成績評価の方法 講義で行う練習問題を主として学習態度も参考にし平常点で評価します。

教科書 新聞、雑誌の記事など必要に応じてその都度資料を配布します。(学生の希望も考慮します。)学生のレベルにあわせて、その他の資料を用います。

その他 講義の状況に応じビデオ等を使用し「現在のロシアとロシア語について」説明と話もします。

履修コード	290001
科目名	ロシア語IA (選)
担当者名	クロチコフ, Y.

講義のねらい 1) 母音、子音の基本的発音、アクセント記号(力点)の法則、イントネーションの5つの型をみっちりやります。
 2) 簡単な挨拶の表現、日常つかわれるロシア語の独特な表現(ボディークラジを含む)を身につけます。
 3) 平易な内容を聞き取りによって理解できるようにします。
 4) 基礎的な初級文法を学びます。
 5) アルファベットを活字体、筆記体で書けるようにします。
 6) 教科書を使用して、コミュニケーションに欠かせない基本的な日常会話を習得していきます。
 はじめに絵やビデオをみながら、ロシア語のやさしい単語や短文を何回も繰り返し練習します。教員が質問した事を何回もくりかえしてもらい、受け答えをします。少し音に慣れてきたらCDを使い更に理解度を深め、語尾変化に抵抗感のなくなるように何回もゆっくり、くりかえしながら発話してもらおうようにします。授業で各人が何回も発話をさせられますが、全く恐れる必要はありません。全教員がやさしく指導してくれますので恥ずかしがらないことが大切です。
 4-7月は発音やアクセントに重点をおき、9-12月は短文の読みや文法をくり返し学びます。

講義の内容・授業スケジュール
成績評価の方法
教科書
参考書等

テストは行わず、平常点で評価。
 『21世紀のロシア語』(大学書林) 1,800円、プリント配布。
 ビデオ、オーディオ等を使用します。
 『露和辞典』

履修コード	290601
科目名	ロシア語IB (選)
担当者名	木村 英明

講義のねらい アジアからヨーロッパにかけて広がるロシアは、100に及ぶ民族を抱え、歴史的、文化的に多様な、世界の縮図のような国家です。ソ連崩壊後の1990年代は社会的に大変混乱しましたが、今世紀に入ってから再び経済や文化の領域で飛躍の道をたどり始めています。ロシアの人々とともにコミュニケーションできる機会、必要性は、隣国である日本でも確実に高まりつつあります。この授業では、言葉を通してロシアの現況、習慣や文化にも触れていきたいと思います。

講義の内容・授業スケジュール この授業では、4-7月では簡単な日常会話表現をもとにして、初歩の文法を速習します。音声面を重視して、できるだけコミュニケーションに役立つロシア語を学習します。9-12月ではビデオ等の映像資料も利用する予定です。

履修上の留意点 外国語の学習は、その外国語を使う国や人々、文化への関心が継続の意欲につながります。受講者各自が、授業を通じて、それぞれの関心と出会うような能動的な参加を望みます。

成績評価の方法 試験は行わず、平常点で評価します。

教科書 黒田龍之介『ニューエクスプレス・ロシア語』(白水社)をもとに、必要に応じて適宜プリントを配布します。

参考書等 学生の関心に応じて、適宜紹介するようにします。
 辞書：白水社パスポート露和辞典、博友社ロシア語辞典

履修コード	291201
科目名	ロシア語II (選)
担当者名	クロチコフ, Y.

講義のねらい 以前に学習した発音、文法、会話の復習。
 講師が作成した練習用テキストを用いて、文法の基礎を学習しながら、同時に、会話、作文を練習します。
 ロシア語を通して世界を広げていきましょう。

講義の内容・授業スケジュール 4-7月 発音・会話を学ぶ。
 9-12月 会話力を一層高める。

成績評価の方法 平常点で評価します。授業中に時々、簡単なテストを行います。

教科書 杉山秀子他著『やさしいロシア語読本』(大学書林)

参考書等 ビデオ、オーディオ等を使用します。

履修コード	290101
科目名	朝鮮語IA (選)
担当者名	宋 美玲 <small>ソン ミリョン</small>

講義のねらい 朝鮮語Iの授業は、同一の教員がそれぞれ違う教科書をもって週2回の授業を行う。IAのクラスは会話中心、IBのクラスは文法中心という方針である。朝鮮語の文字と発音、語彙と文法の基礎を獲得し、朝鮮語を学び朝鮮語に触れることの楽しさを堪能することを目指す。同時に多様な資料をもって韓国を始めとする朝鮮語圏の文化との触れ合いを試みる。

講義の内容・授業スケジュール 文字と発音の基礎を学び、実用的な会話文を中心に基本的な文法および表現を学習する。テキストに沿って進めていくが、初歩的な学習事項はIAとIBクラス同様である。後期からIAのクラスでは、口頭練習を通じた会話能力の養成に力を注いでいく。

履修上の留意点 最初の文字と発音に慣れていくまでがその後の進歩と楽しさを決定するので、4月、5月はとりわけ熱心に取り組んでほしい。

成績評価の方法 出席・授業への参加度および、小テストや期末試験の成績により、総合的に評価する。

教科書 IA：長谷川由紀子著『コミュニケーション韓国語（会話編1）』（白帝社）2,400円＋税

参考書等 野間秀樹著『暮らしの単語集 韓国語』（ナツメ社）1,000円

履修コード	290701
科目名	朝鮮語IB (選)
担当者名	宋 美玲 <small>ソン ミリョン</small>

講義のねらい 朝鮮語Iの授業は、同一の教員がそれぞれ違う教科書をもって週2回の授業を行う。IAのクラスは会話中心、IBのクラスは文法中心という方針である。朝鮮語の文字と発音、語彙と文法の基礎を獲得し、朝鮮語を学び朝鮮語に触れることの楽しさを堪能することを目指す。同時に多様な資料をもって韓国を始めとする朝鮮語圏の文化との触れ合いを試みる。

講義の内容・授業スケジュール 文字と発音の基礎を学び、実用的な会話文を中心に基本的な文法および表現を学習する。テキストに沿って進めていくが、初歩的な学習事項はIAとIBクラス同様である。後期からIBのクラスでは、文法事項による作文や読解に力を注いでいく。

履修上の留意点 最初の文字と発音に慣れていくまでがその後の進歩と楽しさを決定するので、4月、5月はとりわけ熱心に取り組んでほしい。

成績評価の方法 出席・授業への参加度、小テストや期末試験の成績により、総合的に評価する。

教科書 IB：長谷川由紀子著『コミュニケーション韓国語（読んで書こう1）』（白帝社）2,400円＋税

参考書等 野間秀樹著『暮らしの単語集 韓国語』（ナツメ社）1,000円

履修コード	291211
科目名	朝鮮語II (選)
担当者名	宋 美玲 <small>ソン ミリョン</small>

講義のねらい 基本的な文法内容をふまえ、日常生活での基礎会話が話せるよう、表現能力を養成する。なお、多様な映像の資料をもって韓国を始めとする朝鮮語圏の文化との触れ合いを試みる。

講義の内容・授業スケジュール テキストを中心に基本的な文法や語彙を学習し、会話文は完全に暗誦する。また、口頭練習を通して聞き取り及び書き取りの能力を強化し、応用練習を通してより豊かな表現力を強化していく。第1回～第4回は初級の復習を行う。第5回からはテキストを中心に進めていく。

履修上の留意点 韓国語の文字と発音を覚え、初歩的な文法事項を学習した人を対象とするので、まったく初めての人は朝鮮語Iのほうを受講すること。受講生は、テキストの復習・予習など、積極的な授業への参加が望ましい。

成績評価の方法 授業への参加度、学習態度、小テストや期末試験の成績により、総合的に評価する。

教科書 浜之上幸 監修 姜英淑ほか5人共著『楽しく学ぶハングル1』白帝社 2,400円＋税

参考書等 野間秀樹著『暮らしの単語集 韓国語』（ナツメ社）1,000円

4. 保 健 体 育 科 目

履修コード	195401
科目名	健康・スポーツ実習（テニス）
担当者名	江口 淳一

講義のねらい テニスは、華やかなプロスポーツから、ファミリーテニスまで様々な技術レベルによって楽しむことができ、我が国の生涯スポーツとして完全に定着したスポーツの1つである。本実習においては、フォアハンド・バックハンドグラウンドストローク、ボレー、サービス、スマッシュなど基本的なテニスの技術の習得と、ゲームに関するルール、マナーを学ぶことによって生涯を通じて楽しくテニスが行なえる能力と態度を養うことを目標にしている。

また、テニスを教材にスポーツを楽しむという活動や経験を通してスポーツのもつ価値を実感し、自分の能力や技術に合わせた楽しみ方を身に付け、自律的にスポーツを生活化する態度を養うことを目的とする。

さらに、テニスという共通の体験を通して大学時代でなければ得られない人間関係を作り、社会性を養い、総合的な人間形成を目指す。

講義の内容・授業スケジュール

- 1時限目：オリエンテーション、授業の目標の説明
- 2時限目：ラケットティング、ボレー、ミニストローク
- 3時限目：フォアハンドグラウンドストロークの基本技術
- 4時限目：バックハンドグラウンドストロークの基本技術
- 5時限目：フォアハンドボレー、バックハンドボレー
- 6時限目：スマッシュ、サービスの基本技術
- 7時限目：ストロークの応用とミニゲーム
- 8時限目：半面でのシングルスゲーム（ゲームを楽しむ）
- 9時限目：半面でのシングルスゲーム（戦術と応用）
- 10時限目：半面でのシングルスゲーム（戦術と応用）
- 11時限目：ダブルスのルールとポジショニング
- 12時限目：ダブルスゲームを楽しむ
- 13時限目：より高度なダブルスのゲームへ
- 14時限目：トーナメント形式の試合の進め方
- 15時限目：まとめ

履修上の留意点

- (1) 履修者の技術レベルは問わない。
- (2) 服装は一般的な運動服装とする。
- (3) ラケットは貸与する。

成績評価の方法その他

出席状況、授業参加態度から総合的に判断する。
雨天の場合は、テニスの歴史、技術の科学的な解説、ビデオによる戦術の解説および分析などの講義を行なうかまたは、テニスに必要なトレーニングを解説を交えながら行なう予定である。

履修コード	195401
科目名	健康・スポーツ実習（サッカー）
担当者名	岩本 哲也

保健体育

講義のねらい	サッカーにおける、止める（トラップ）、蹴る（キック）、運ぶ（ドリブル）の基本技術を向上すると共に体力の向上、健康の維持・増進を図る。また、団体競技である「サッカー」を通して、コミュニケーション能力の向上と豊かな人間関係づくりを目的とする。
講義の内容・ 授業スケジュール	<p>1時限目：オリエンテーション、授業内容の説明</p> <p>2時限目：リフティング、インサイドキック、ゲーム</p> <p>3時限目：インサイドキック、トラッピング、ゲーム</p> <p>4時限目：浮き球のトラッピング、ゲーム</p> <p>5時限目：インステップキック（浮き球、グラウンダー）、ゲーム</p> <p>6時限目：インフロントキック、ゲーム</p> <p>7時限目：オフサイドルールの理解、ゲーム</p> <p>8時限目：基本技術の応用1、ゲーム</p> <p>9時限目：基本技術の応用2、ゲーム</p> <p>10時限目：基本技術の応用3、ゲーム</p> <p>11時限目：リーグ戦1</p> <p>12時限目：リーグ戦2</p> <p>13時限目：リーグ戦3</p> <p>14時限目：リーグ戦4</p> <p>15時限目：リーグ戦5</p>
履修上の留意点	<p>服装：一般的な運動服装とする。</p> <p>シューズ：必ずアップシューズもしくは、固定式スパイクを用意すること（取替え式スパイクは不可）。</p>
成績評価の方法 その他	<p>評価は、出席点70点、実技点30点とする。</p> <p>雨天時は、室内にて他種目の運動もしくは、ルール説明とビデオ観戦とする。</p>

履修コード	195401
科目名	健康・スポーツ実習（トレーニング）
担当者名	光永 <small>みつなが</small> 吉輝 <small>よしあき</small>

講義のねらい トレーニングとは、運動刺激に対する、人体の適応性を利用して、人体の作業能力をできるだけ発達させる過程であると定義されている。骨、筋肉、靭帯、腱、心臓、肺臓など身体の形態や機能を強化発達させる過程をいい、社会生活をするうえで必要な心身の力を向上させるために行なう練習、訓練である。

講義の内容・授業スケジュール

近年、科学の著しい発展に伴う様々な社会的環境の変化などから、日常の筋肉運動量が少なくなり、かつまた知育偏重の傾向が一段と高まり、進学競争を低年齢化させ、加えて、栄養の過剰によって肥満傾向となるなど、日常生活における身体運動の必要性が盛んに論じられてきている。一般に日常生活以外に運動を行なわないでいると成長発育期では、体格の発達に体力が伴わない、いわゆる体力低下が見られ若年者でありながら成人病に罹り易い。したがって、これらに対する対抗策の一つとしてトレーニングが必要とされるのである。

初めに体力測定を行ない、各自の体力に応じたトレーニングメニューを作成し、毎時間、ストレッチ体操・エアロビクス（有酸素運動）・ウエイトトレーニングなどを行なう。

ウエイトトレーニングは、米航空宇宙局(NASA)で宇宙飛行士のトレーニングマシンとして開発されたカイザーカムⅡという空気抵抗を利用したマシンを用いて行なう。このマシンは、ダイヤル調整だけで負荷の調節が可能であり簡単でかつ安全なトレーニングマシンである。

授業計画

- 1時限目：オリエンテーション、体力測定
- 2時限目：カイザーカムⅡ最大筋力測定
- 3時限目：〃
- 4時限目：トレーニング開始 毎時間、最大筋力の1/3～2/3の負荷を各自で選び5～8種類のマシンを、2～3セット行なう
- 5時限目：トレーニング
- 6時限目：トレーニング
- 7時限目：トレーニング
- 8時限目：負荷を男子は2kg up、女子は1kg up
- 9時限目：トレーニング
- 10時限目：トレーニング
- 11時限目：トレーニング
- 12時限目：負荷を男子は2kg up、女子は1kg up
- 13時限目：トレーニング
- 14時限目：トレーニング
- 15時限目：体力測定、まとめ

**履修上の留意点
成績評価の方法**

服装、トレーニングウェア、体育館シューズ（室内専用）を用意すること。
出席、トレーニング内容（毎時間記録をする）、授業への意欲、態度を総合的に判断して成績評価とする。

そ の 他

ストレッチ体操の各種、器具のいろいろなトレーニング方法（単独法、対人法）などを各時間に詳しく講義する。

履修コード	195401
科目名	健康・スポーツ実習（体操・トランポリン）
担当者名	竹田 幸夫 <small>たけだ ゆきお</small>

保健体育

講義のねらい	「体操」という種目を広義に捉え、健康体操やストレッチ体操、ならびに器械運動を含めた体操の実技を行なう。健康体操については、体のバランスをチェックし矯正するための体操とマッサージ法を紹介する。器械運動では、マットや鉄棒、さらにトランポリンという種目を中心にして、初心者を対象としたやさしい技から難しい技へと段階的に技を修得する。受講者の希望があれば、能力に応じてマット上での後転とび（バック転）まで発展させる。
講義の内容・授業スケジュール	1時限目：オリエンテーション、授業内容の説明 2時限目：健康体操とストレッチ体操 3時限目：# 4時限目：マッサージ法 5時限目：ストレッチ体操・マット・トランポリン 6時限目：ストレッチ体操・マット・トランポリン 7時限目：ストレッチ体操・男子：あん馬／女子：平均台 8時限目：ストレッチ体操・男子：つり輪／女子：トランポリン 9時限目：ストレッチ体操・男子：トランポリン／女子：鉄棒 10時限目：ストレッチ体操・男子：平行棒／女子：トランポリン 11時限目：ストレッチ体操・男女とも鉄棒 12時限目：発展技の練習 13時限目：自主練習 14時限目：自主練習 15時限目：まとめと評価
履修上の留意点	服装は、一般的なスポーツウェアを用意する。底の薄い体操シューズを用意するのが望ましいが、ソックスでも良い。実技は、玉川体育館1階アリーナの体操場で行なう。なお、体操場にセットされている鉄棒やトランポリンなどの器械は、扱い方を誤ると怪我や事故につながるため、授業時間内の指示を守ること。
成績評価の方法	健康体操および器械運動ともに、毎回授業に出席して実践することに大きな意味がある。とくに器械運動は、技を習得していく過程にも魅力を見出すことのできるスポーツ種目である。したがって、成績は出席点70%、実技点30%の割合で評価する。実技点は、男女それぞれに課題の達成度によって評価していく。易しい技から難しい技まで約40～50の課題を設定してあるので、受講生はそこから自分で習得したい技、能力に応じた技を選択する。技の達成度の評価は、受講生同士で行なう。
その他	授業の進行状況に応じて、課題となっている技のビデオ、ならびに体操競技の競技会のビデオを観る。

履修コード	195401
科目名	健康・スポーツ実習（卓球）
担当者名	秋田 浩一

講義のねらい	卓球の基礎技術を習得し、シングルス、さらにはダブルスのゲームを行うことにより、卓球の楽しさを知ってもらいたい。また、スポーツの中で最も簡単だと言われるルールを理解し、生涯スポーツとしての基礎を築くことを目的としたい。
講義の内容・授業スケジュール	<p>1時限目：オリエンテーション、授業内容と服装等の説明</p> <p>2時限目：ラケットिंग、ネットの張り方の学習、フォアハンドの基本形</p> <p>3時限目：フォアハンドドライブ、フォアハンドゲーム</p> <p>4時限目：フォアハンドドライブのショート、ロングの打ち方。シングルスゲーム</p> <p>5時限目：バックハンドショートの打ち方。バックハンドゲーム</p> <p>6時限目：カットの打ち方、返球の方法。カット&カット、シングルスゲーム</p> <p>7時限目：カット&ドライブリターン、シングルスゲーム</p> <p>8時限目：スマッシュ（3球目）、シングルスゲーム</p> <p>9時限目：シングルスゲーム</p> <p>10時限目：ダブルスゲームの行い方。ダブルスゲームの練習</p> <p>11時限目：ダブルスゲーム</p> <p>12時限目：ダブルスゲーム</p> <p>13時限目：ダブルスゲーム</p> <p>14時限目：スキルテスト</p> <p>15時限目：まとめ</p>
履修上の留意点	服装は、一般的な運動服装とするが、必ず体育館シューズを用意すること（土足厳禁）。土足の場合は授業を受けることはできない。
成績評価の方法その他	評価は出席点70点、実技点20点、平常点10点とする。実技点は実技テストにて判定する。グループ毎にリーグ戦を行うことが多いため、30分以上の遅刻は認めないものとする。

履修コード	195401
科目名	健康・スポーツ実習（室内球技）
担当者名	山口 良博

講義のねらい	バスケットボール、バレーボール、バドミントンを教材とし、それぞれの競技を楽しむための基礎技術やルールを学びながら、健康・体力を維持し、自己の身体への認識を深める。さらには、ゲームを通じてこれらの競技を理解すると共に、豊かな人間関係づくりを目的とする。
講義の内容・授業スケジュール	<p>1時限目：オリエンテーション、授業内容の説明（バスケットボール）</p> <p>2時限目：ボールハンドリング、シュート、ゲーム</p> <p>3時限目：ハーフコート2対1、ゲーム</p> <p>4時限目：ハーフコート3対3、ゲーム</p> <p>5時限目：ゲーム（リーグ戦）</p> <p>6時限目：ゲーム（リーグ戦）（バレーボール）</p> <p>7時限目：オーバー・アンダーパス、ゲーム</p> <p>8時限目：レシーブ・スパイクの基本、ゲーム</p> <p>9時限目：サーブ・レシーブ・スパイクの応用、ゲーム</p> <p>10時限目：ゲーム（リーグ戦）</p> <p>11時限目：ゲーム（リーグ戦）（バドミントン）</p> <p>12時限目：ラケットティング、クリアー、スマッシュ、シングルスゲーム</p> <p>13時限目：ドライブ、ヘアピン、シングルスゲーム</p> <p>14時限目：サービス、ストロークの応用、ダブルスゲーム</p> <p>15時限目：ダブルスゲーム</p>
履修上の留意点	スポーツウェア（上下）、体育館シューズの着用を厳守すること（土足厳禁）。
成績評価の方法	授業に出席して、積極的に取り組むことが重要である。したがって、出席点70%、実技点30%の割合で評価する。

履修コード	196401・196402
科目名	健康・スポーツ実習（集中授業）〔再クラス〕（バドミントン） 健康・スポーツ実習（集中授業）（バドミントン）
担当者名	牧野 ^{まさの} 茂 ^{しげる}

講義のねらい ゲームを楽しむための基本的な技術やルールを習得し、仲間づくりを通して社会的態度養うとともに、生涯スポーツとして取り組むことができる基礎的能力を身につけることを目標とする。

講義の内容・授業スケジュール

- 1日目午前：オリエンテーション、ラケットイング、ストロークの基本（回内・回外）
 1日目午後：オーバー・ヘッド・ストローク（1）（スマッシュ、ドロップ）
 コート半面のシングルス・ゲーム
 2日目午前：オーバー・ヘッド・ストローク（2）（スマッシュ、クリアー、ドライブ）
 サービス、コート半面のシングルス・ゲーム
 2日目午後：アンダー・ハンド・ストローク（1）（クリアー、ヘアピン・ショット）
 サービス、シングルス・ゲーム
 3日目午前：アンダー・ハンド・ストローク（2）（ロブ、クロス・ネットショット）
 シングルス・ゲーム
 3日目午後：サイド・ハンド・ストローク（ドライブ、クリアー）
 サービス、シングルス・ゲーム
 4日目午前：オーバー・ヘッド・ストローク（3）（カット、プッシュ）
 総合練習、ダブルス・ゲーム
 4日目午後：総合練習、ダブルス・ゲーム
 5日目午前：総合練習、ダブルス・ゲーム
 5日目午後：総合練習、トーナメント型式のゲーム

履修上の留意点

ラケットは貸与する。
 服装は、一般的な運動服装とする。
 体育館シューズを用意すること。

成績評価の方法

成績は、出席（70点）と服装・授業態度等（30点）で評価し、60点以上を合格とする。出欠は、午前・午後の二回確認する。

その他

再クラス 集中授業コース実施について

- （1）実施期間：（前期）7月18日（土）～7月22日（水）
 （後期）1月4日（月）～1月8日（金）
 7月18日および1月4日は、更衣の上、午前10時に玉川校舎101教場に集合。
 （2）実施時間：10：00～12：00、13：00～15：30
 （3）実施場所：玉川校舎
 （4）申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『抽選登録』は、集中授業コース用に設定された特・4時限で提出すること。
 （5）備 考：再クラスの集中授業は、前期・後期を履修して通年で2単位である。該当する担当者・種目が、前期に開講されるものか後期に開講されるものかを確認すること。
 「健康・スポーツ実習（集中授業）開講科目一覧」参照

履修コード	196401・196402
科目名	健康・スポーツ実習（集中授業）〔再クラス〕（卓球） 健康・スポーツ実習（集中授業）（卓球）
担当者名	鈴木 淳平

- 講義のねらい
- 卓球を教材に用い、身体運動の実践のなかで、その楽しさや重要性を理解する。
技術やルール等を習得し、生涯スポーツとして取り組むことができる基本的技術を身につける。
 - 技術練習やゲームを行う中で、その運営を仲間と協力して行っていく社会性・協調性を養う。
- 講義の内容・授業スケジュール
- 1日目：ラケットの持ち方、スイングとフットワーク、シングルス・ゲーム
 - 2日目：サービスとレシーブ、ラリー、ダブルス・ゲーム
 - 3日目：ドライブ（フォアハンド・バックハンド）、スマッシュ、ゲーム
 - 4日目：総合練習、ゲーム、リーグ戦
 - 5日目：総合練習、ゲーム、リーグ戦
- 履修上の留意点
- スポーツウェア（上下）、室内用のシューズ着用で受講する。
- 成績評価の方法
- 出席を重視し、評点の80%とします。
出席点は、遅刻や欠席の減点法で計算します。
その他、運動参加への意欲、積極性、協調性、受講態度等を加点点評価します。
- その他
- 再クラス 集中授業コース実施について
- 実施期間：（前期）7月18日（土）～7月22日（水）
（後期）1月4日（月）～1月8日（金）
7月18日および1月4日は、更衣の上、午前10時に玉川校舎101教場に集合。
 - 実施時間：10：00～12：00、13：00～15：30
 - 実施場所：玉川校舎
 - 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『抽選登録』は、集中授業コース用に設定された特・4時限で提出すること。
 - 備考：再クラスの集中授業は、前期・後期を履修して通年で2単位である。該当する担当者・種目が、前期に開講されるものか後期に開講されるものかを確認すること。
「健康・スポーツ実習（集中授業）開講科目一覧」参照

履修コード	196401・196402
科目名	健康・スポーツ実習（集中授業）〔再クラス〕（ソフトボール） 健康・スポーツ実習（集中授業）（ソフトボール）
担当者名	高橋 ^{たかはし} 俊介 ^{しゅんすけ}

保健
体育

講義のねらい	補強運動、練習及びゲームなどを積極的に行い、体力や運動能力を高める。技術やルールを習得し、ソフトボールのゲームを行う基本的能力を身につける。また、ソフトボールの楽しさをゲームや技術の習得を通して体験する。さらに、クラスの仲間と協力して練習やゲームを行う中で社会的態度を養う。
講義の内容・授業スケジュール	<p>第1日目 午前：チーム分け、基本練習（キャッチボール、フライ・ゴロの捕球、トスバッティング、走塁練習、その他） 午後：同上</p> <p>第2日目 午前：ゲーム 午後：〃</p> <p>第3日目 午前：〃 午後：審判法・ゲーム</p> <p>第4日目 午前：〃 午後：〃</p> <p>第5日目 午前：〃 午後：〃</p>
履修上の留意点	一般的体育服装を用意すること。野球用ユニフォームでも良い。運動靴は必ず用意すること。スパイクシューズは認めない。用具は貸与する。
成績評価の方法その他	<p>出席を重視し、総合的に評価する。</p> <p>再クラス 集中授業コース実施について</p> <p>(1) 実施期間：（前期）7月18日（土）～7月22日（水） （後期）1月4日（月）～1月8日（金） 7月18日および1月4日は、更衣の上、午前10時に玉川校舎101教場に集合。</p> <p>(2) 実施時間：10：00～12：00、13：00～15：30</p> <p>(3) 実施場所：玉川校舎</p> <p>(4) 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『抽選登録』は、集中授業コース用に設定された特・4時限で提出すること。</p> <p>(5) 備考：再クラスの集中授業は、<u>前期・後期を履修して通年で2単位である</u>。該当する担当者・種目が、<u>前期に開講されるものか後期に開講されるものかを確認すること</u>。 「健康・スポーツ実習（集中授業）開講科目一覧」参照</p>

履修コード	196401・196402
科目名	健康・スポーツ実習（集中授業）〔再クラス〕（屋外球技） 健康・スポーツ実習（集中授業）（屋外球技）
担当者名	岩本 ^{いわもと} 哲也 ^{てつや}

講義のねらい サッカーにおける、止める（トラップ）、蹴る（キック）、運ぶ（ドリブル）の基本技術を向上すると共に体力の向上、健康の維持・増進を図る。また、団体競技である「サッカー」「フットサル」を通して、コミュニケーション能力の向上と豊かな人間関係づくりを目的とする。

講義の内容・
授業スケジュール

- （サッカー）
- 1 時限目：オリエンテーション、授業内容の説明
 - 2 時限目：リフティング、インサイドキック、トラッピング、ゲーム
 - 3 時限目：浮き球のトラッピング、インステップキック（浮き球、グラウンダー）、ゲーム
 - 4 時限目：インフロントキック、オフサイドルールの理解、ゲーム
 - 5 時限目：基本技術の応用、ゲーム
 - 6 時限目：リーグ戦 1
 - 7 時限目：リーグ戦 2
 - 8 時限目：リーグ戦 3
- （フットサル）
- 9 時限目：ボールコントロール、ドリブル、ゲーム
 - 10 時限目：パス、トラップ、シュート
 - 11 時限目：基本技術の応用 1、ゲーム
 - 12 時限目：基本技術の応用 2、ゲーム
 - 13 時限目：リーグ戦 1
 - 14 時限目：リーグ戦 2
 - 15 時限目：リーグ戦 3

履修上の留意点

服装：一般的な運動服装とする。
シューズ：必ずアップシューズもしくは、固定式スパイクを用意すること（取替え式スパイクは不可）。

成績評価の方法

評価は、出席点70点、実技点30点とする。実技点は、授業中に行われるゲーム成果、授業態度を加味して評価する。また、個人の実技テストは行わない。

そ の 他

雨天時は、室内にて他種目の運動もしくは、ルール説明とビデオ観戦とする。30分以上の遅刻は認めない。

再クラス 集中授業コース実施について

- （1）実施期間：（前期）7月18日（土）～7月22日（水）
（後期）1月4日（月）～1月8日（金）
7月18日および1月4日は、更衣の上、午前10時に玉川校舎101教場に集合
- （2）実施時間：10:00～12:00、13:00～15:30
- （3）実施場所：玉川校舎
- （4）申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『抽選登録』は、集中授業用に設定された特・4時限で提出すること。
- （5）備 考：再クラスの集中授業は、前期・後期を履修して通年で2単位である。該当する担当者・種目が、前期に開講されるものが後期に開講されるものかを確認すること。「健康・スポーツ実習（集中授業）開講科目一覧」参照

履修コード	196401・196402
科目名	健康・スポーツ実習（集中授業）〔再クラス〕（室内球技） 健康・スポーツ実習（集中授業）（室内球技）
担当者名	村松 誠

講義のねらい	バスケットボール、バレーボールのゲームを通して、その基礎技術、戦術、ルール等を理解し、他の受講者と協力してゲーム運営ができるようになることを目標とする。
講義の内容・授業スケジュール	1月4日午前：オリエンテーションと班分け 午後：バスケットボールのパス・キャッチとシュート 5日午前：ボールハンドリングとリーグ戦 午後：対人技術とリーグ戦 6日午前：コンビネーションプレートリーグ戦 午後：バレーボールの基礎技術 7日午前：スパイクとリーグ戦 午後：サーブ・レシーブとリーグ戦 8日午前：総合練習とリーグ戦 午後：リーグ戦とまとめ
履修上の留意点	スポーツ服装と室内用スポーツシューズを用意すること。冬期のため、風邪を引かないよう防寒に留意すること。
成績評価の方法その他	出席点を重視する。全体の3分の2以上の出席者に対して評価点をつけることとする。 再クラス集中授業実施について (1) 実施期間：後期；1月4日（月）～1月8日（金） 1月4日は、更衣の上、午前10時に玉川校舎101教場に集合 (2) 実施時間：10：00～12：00、13：00～15：30 (3) 実施場所：玉川校舎 (4) 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『抽選登録』は、集中授業用に設定された特・4時限で提出すること。 (5) 備考： <u>再クラスの集中授業は、前期・後期を履修して通年で2単位である。該当する担当者・種目が、前期のものか後期のものか確認すること。</u> 「健康・スポーツ実習（集中授業）開講科目一覧」参照

履修コード	196501・196502・196503・196504
科目名	生涯スポーツ実習Ⅰ（前期・基礎）（室内球技） 生涯スポーツ実習Ⅱ（前期・基礎）（室内球技） 生涯スポーツ実習Ⅲ（前期・基礎）（室内球技） 生涯スポーツ実習Ⅳ（前期・基礎）（室内球技）
担当者名	渡辺 一郎

講義のねらい	半期間にバレーボール、バスケットボール、フットサル、卓球の4種目を行う。各々の種目を通して個人の基礎体力や運動技能を高めるとともに、集団の中での各個人の役割等を認識することにより社会的態度を養うことを目的とする。
講義の内容・授業スケジュール	1時限目：オリエンテーション 2時限目：卓球の基本スキル（ストローク、ドライブ、カット、サーブ等） 3時限目～4時限目：ゲーム（シングルス、ダブルス） 5時限目：バレーボールの基本スキル（パス、スパイク、サーブ等） 6時限目～8時限目：総合練習、ゲーム 9時限目：バスケットボールの基本スキル（パス、ドリブル、シュート等） 10時限目～12時限目：総合練習、ゲーム 13時限目：フットサルの基本スキル（パス、ドリブル、シュート等） 14時限目～15時限目：総合練習、ゲーム
履修上の留意点	1. 本校第一体育館で行う。 2. 定員は40名とする。 3. 服装は一般的スポーツウエア、体育館シューズを用意すること。
成績評価の方法	出席点70点、実技点20点、態度点10点

履修コード	196601・196602・196603・196604
科目名	生涯スポーツ実習Ⅰ(後期・基礎)(室内球技) 生涯スポーツ実習Ⅱ(後期・基礎)(室内球技) 生涯スポーツ実習Ⅲ(後期・基礎)(室内球技) 生涯スポーツ実習Ⅳ(後期・基礎)(室内球技)
担当者名	<small>わたなべ いちろう</small> 渡辺 一郎

講義のねらい 半期間にバレーボール、バスケットボール、フットサル、卓球の4種目を行う。各々の種目を通して個人の基礎体力や運動技能を高めるとともに、集団の中での各個人の役割等を認識することにより社会的態度を養うことを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

- 1時限目：オリエンテーション
- 2時限目：卓球の基本スキル(ストローク、ドライブ、カット、サーブ等)
- 3時限目～4時限目：ゲーム(シングルス、ダブルス)
- 5時限目：バレーボールの基本スキル(パス、スパイク、サーブ等)
- 6時限目～8時限目：総合練習、ゲーム
- 9時限目：バスケットボールの基本スキル(パス、ドリブル、シュート等)
- 10時限目～12時限目：総合練習、ゲーム
- 13時限目：フットサルの基本スキル(パス、ドリブル、シュート等)
- 14時限目～15時限目：総合練習、ゲーム

履修上の留意点

1. 本校第一体育館で行う。
2. 定員は40名とする。
3. 服装は一般的のスポーツウエア、体育館シューズを用意すること。

成績評価の方法

出席点70点、実技点20点、態度点10点

履修コード	196701・196702・196703・196704
科目名	生涯スポーツ実習Ⅰ(前期・応用)(室内球技) 生涯スポーツ実習Ⅱ(前期・応用)(室内球技) 生涯スポーツ実習Ⅲ(前期・応用)(室内球技) 生涯スポーツ実習Ⅳ(前期・応用)(室内球技)
担当者名	<small>わたなべ いちろう</small> 渡辺 一郎

講義のねらい 半期間にバレーボール、バスケットボール、フットサル、卓球の4種目を行う。各々の種目を通して個人の基礎体力や運動技能を高めるとともに、集団の中での各個人の役割等を認識することにより社会的態度を養うことを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

- 1時限目：オリエンテーション
- 2時限目：卓球の基本スキル(ストローク、ドライブ、カット、サーブ等)
- 3時限目～4時限目：ゲーム(シングルス、ダブルス)
- 5時限目：バレーボールの基本スキル(パス、スパイク、サーブ等)
- 6時限目～8時限目：総合練習、ゲーム
- 9時限目：バスケットボールの基本スキル(パス、ドリブル、シュート等)
- 10時限目～12時限目：総合練習、ゲーム
- 13時限目：フットサルの基本スキル(パス、ドリブル、シュート等)
- 14時限目～15時限目：総合練習、ゲーム

履修上の留意点

1. 本校第一体育館で行う。
2. 定員は40名とする。
3. 服装は一般的のスポーツウエア、体育館シューズを用意すること。

成績評価の方法

出席点70点、実技点20点、態度点10点

履修コード	196801・196802・196803・196804
科目名	生涯スポーツ実習Ⅰ(後期・応用)(室内球技) 生涯スポーツ実習Ⅱ(後期・応用)(室内球技) 生涯スポーツ実習Ⅲ(後期・応用)(室内球技) 生涯スポーツ実習Ⅳ(後期・応用)(室内球技)
担当者名	わたなべ いちろう 渡辺 一郎

- 講義のねらい** 半期間にバレーボール、バスケットボール、フットサル、卓球の4種目を行う。各々の種目を通して個人の基礎体力や運動技能を高めるとともに、集団の中での各個人の役割等を認識することにより社会的態度を養うことを目的とする。
- 講義の内容・授業スケジュール**
- 1時限目：オリエンテーション
 - 2時限目：卓球の基本スキル(ストローク、ドライブ、カット、サーブ等)
 - 3時限目～4時限目：ゲーム(シングルス、ダブルス)
 - 5時限目：バレーボールの基本スキル(パス、スパイク、サーブ等)
 - 6時限目～8時限目：総合練習、ゲーム
 - 9時限目：バスケットボールの基本スキル(パス、ドリブル、シュート等)
 - 10時限目～12時限目：総合練習、ゲーム
 - 13時限目：フットサルの基本スキル(パス、ドリブル、シュート等)
 - 14時限目～15時限目：総合練習、ゲーム
- 履修上の留意点**
1. 本校第一体育館で行う。
 2. 定員は40名とする。
 3. 服装は一般的スポーツウェア、体育館シューズを用意すること。
- 成績評価の方法** 出席点70点、実技点20点、態度点10点

履修コード	196901・196902・196903・196904
科目名	生涯スポーツ実習Ⅰ(前期・応用)(室内球技) 生涯スポーツ実習Ⅱ(前期・応用)(室内球技) 生涯スポーツ実習Ⅲ(前期・応用)(室内球技) 生涯スポーツ実習Ⅳ(前期・応用)(室内球技)
担当者名	わたなべ いちろう 渡辺 一郎

- 講義のねらい** 半期間に卓球、バレーボール、バスケットボール、フットサルの4種目を行う。各々の種目を通して個人の基礎体力や運動技能を高めるとともに、集団の中での各個人の役割等を認識することにより社会的態度を養うことを目的とする。
- 講義の内容・授業スケジュール**
- 1時限目：オリエンテーション
 - 2時限目：卓球の基本スキル(ストローク、ドライブ、カット、サーブ等)
 - 3時限目～4時限目：ゲーム(シングルス、ダブルス)
 - 5時限目：バレーボールの基本スキル(パス、スパイク、サーブ等)
 - 6時限目～8時限目：総合練習、ゲーム
 - 9時限目：バスケットボールの基本スキル(パス、ドリブル、シュート等)
 - 10時限目～12時限目：総合練習、ゲーム
 - 13時限目：フットサルの基本スキル(パス、ドリブル、シュート等)
 - 14時限目～15時限目：総合練習、ゲーム
- 履修上の留意点**
1. 本校第一体育館で行う。
 2. 定員は40名とする。
 3. 服装は一般的スポーツウェア、体育館シューズを用意すること。
- 成績評価の方法** 出席点70点、実技点20点、態度点10点

履修コード	197001・197002・197003・197004
科目名	生涯スポーツ実習Ⅰ(後期・応用)(室内球技) 生涯スポーツ実習Ⅱ(後期・応用)(室内球技) 生涯スポーツ実習Ⅲ(後期・応用)(室内球技) 生涯スポーツ実習Ⅳ(後期・応用)(室内球技)
担当者名	<small>わたなべ いちろう</small> 渡辺 一郎

講義のねらい 半期間に卓球、バレーボール、バスケットボール、フットサルの4種目を行う。各々の種目を通して個人の基礎体力や運動技能を高めるとともに、集団の中での各個人の役割等を認識することにより社会的態度を養うことを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール
 1時限目：オリエンテーション
 2時限目：卓球の基本スキル（ストローク、ドライブ、カット、サーブ等）
 3時限目～4時限目：ゲーム（シングルス、ダブルス）
 5時限目：バレーボールの基本スキル（パス、スパイク、サーブ等）
 6時限目～8時限目：総合練習、ゲーム
 9時限目：バスケットボールの基本スキル（パス、ドリブル、シュート等）
 10時限目～12時限目：総合練習、ゲーム
 13時限目：フットサルの基本スキル（パス、ドリブル、シュート等）
 14時限目～15時限目：総合練習、ゲーム

履修上の留意点
 1. 本校第一体育館で行う。
 2. 定員は40名とする。
 3. 服装は一般的スポーツウエア、体育館シューズを用意すること。

成績評価の方法 出席点70点、実技点20点、態度点10点

履修コード	197101・197102・197103・197104
科目名	生涯スポーツ実習Ⅰ(前期・応用)(ミニサッカー) 生涯スポーツ実習Ⅱ(前期・応用)(ミニサッカー) 生涯スポーツ実習Ⅲ(前期・応用)(ミニサッカー) 生涯スポーツ実習Ⅳ(前期・応用)(ミニサッカー)
担当者名	<small>おおいし たけし</small> 大石 武士

講義のねらい ミニサッカーのゲームは、ボールを蹴ること（キック）、止めること（トラッピング）、運ぶこと（ドリブル）から成り立っている。週一回の授業で全てをマスターすることは難しいが、各々の技術の要領を知ることによって数段ボール扱いがうまくなり、ゲームもまた楽しいものになる。本授業では、毎時間余暇感覚でゲームを行い、よき人間関係づくりを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール
 1時限目：オリエンテーション
 2時限目：ゲームの進め方、練習ゲーム
 3時限目：ゲームの攻め方、守り方、ゲーム
 4時限目～9時限目：基礎技術の応用練習、ゲーム
 10時限目～14時限目：ゲーム
 15時限目：まとめ

履修上の留意点
 (1) 定員：35名
 (2) 服装は、一般的な運動服装が良い。シューズについては、オリエンテーションの時に説明する。

(3) 教場：体育館
成績評価の方法 評価は出席点70%、総合評価30%で行う。

履修コード	197201・197202・197203・197204
科目名	生涯スポーツ実習Ⅰ(後期・応用)(ミニサッカー) 生涯スポーツ実習Ⅱ(後期・応用)(ミニサッカー) 生涯スポーツ実習Ⅲ(後期・応用)(ミニサッカー) 生涯スポーツ実習Ⅳ(後期・応用)(ミニサッカー)
担当者名	大石 武士

講義のねらい ミニサッカーのゲームは、ボールを蹴ること(キック)、止めること(トラッピング)、運ぶこと(ドリブル)から成り立っている。週一回の授業で全てをマスターすることは難しいが、各々の技術の要領を知ることによって数段ボール扱いがうまくなり、ゲームもまた楽しいものになる。本授業では、毎時間余暇感覚でゲームを行い、よき人間関係づくりを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール
 1時限目: オリエンテーション
 2時限目: ゲームの進め方、練習ゲーム
 3時限目: ゲームの攻め方、守り方、ゲーム
 4時限目～9時限目: 基礎技術の応用練習、ゲーム
 10時限目～14時限目: ゲーム
 15時限目: まとめ

履修上の留意点
 (1) 定員: 35名
 (2) 服装は、一般的な運動服装で良い。シューズについては、オリエンテーションの時に説明する。
 (3) 教場: 体育館

成績評価の方法 評価は出席点70%、総合評価30%で行う。

履修コード	197301・197302・197303・197304
科目名	生涯スポーツ実習Ⅰ(前期・基礎)(簡化太極拳) 生涯スポーツ実習Ⅱ(前期・基礎)(簡化太極拳) 生涯スポーツ実習Ⅲ(前期・基礎)(簡化太極拳) 生涯スポーツ実習Ⅳ(前期・基礎)(簡化太極拳)
担当者名	大石 武士

講義のねらい 太極拳は、中国古来の武術であるが、硬拳のように筋骨を鍛錬するものではなく、腰を軸に手足のバランスを取り、呼吸法にのっとり、一定の早さを保ち、ゆっくりとした柔軟な動作が要求される。このしなやかな動作は日本の能の所作に似ており、繰り返し稽古することによって内面の気、優美さ、心の静けさを養い、生涯スポーツの一つとしての基盤をつくる。なお、授業風景をビデオ撮影し、予習・復習のため KOMAnet・インターネットで配信(学内のみ)の予定。

講義の内容・授業スケジュール
 1時限目: オリエンテーション
 2時限目: 重心の移動・腹式呼吸運動
 3時限目: 第一組 起勢・左右野馬分鬚・白鶴亮翅
 4時限目: 第二組 左右膝拗歩・手揮琵琶・左右倒卷肘
 5時限目: 第三組 左攢雀尾・右攢雀尾
 6時限目: 第四組 単鞭・雲手・単鞭
 7時限目: 第五組 高探馬・右ドン脚・双峰貫耳・轉身左ドン脚
 8時限目: 第六組 左下勢独立・右下勢独立
 9時限目: 第七組 左右穿梭・海底針・閃通臂
 10時限目: 第八組 轉身搬ラン捶・如封似閉・十字手・収勢
 11時限目: 総合
 12時限目: 総合
 13時限目: 総合
 14時限目: 総合
 15時限目: テスト

履修上の留意点
 (1) 定員: 45名
 (2) 服装: 一般的運動服装で身軽に動きやすいものがよい。シューズ・その他のものは不用。
 (3) 教場: 体育館

成績評価の方法 出席率70%、総合評価30%で行う。

履修コード	197401・197402・197403・197404
科目名	生涯スポーツ実習Ⅰ(後期・基礎)(簡化太極拳) 生涯スポーツ実習Ⅱ(後期・基礎)(簡化太極拳) 生涯スポーツ実習Ⅲ(後期・基礎)(簡化太極拳) 生涯スポーツ実習Ⅳ(後期・基礎)(簡化太極拳)
担当者名	大石 武士

講義のねらい 太極拳は、中国古来の武術であるが、硬拳のように筋骨を鍛錬するものではなく、腰を軸に手足のバランスを取り、呼吸法にのっとって、一定の早さを保ち、ゆっくりとした柔軟な動作が要求される。このしなやかな動作は日本の能の所作に似ており、繰り返し稽古することによって内面の気、優美さ、心の静けさを養い、生涯スポーツの一つとしての基盤をつくる。なお、授業風景をビデオ撮影し、予習・復習のため KOMAnet・インターネットで配信(学内のみ)の予定。

講義の内容・授業スケジュール

1時限目: オリエンテーション
 2時限目: 重心の移動・腹式呼吸運動
 3時限目: 第一組 起勢・左右野馬分鬚・白鶴亮翅
 4時限目: 第二組 左右膝拗歩・手揮琵琶・左右側卷腿
 5時限目: 第三組 左攪雀尾・右攪雀尾
 6時限目: 第四組 單鞭・雲手・單鞭
 7時限目: 第五組 高探馬・右ドン脚・双峰貫耳・轉身左ドン脚
 8時限目: 第六組 左下勢独立・右下勢独立
 9時限目: 第七組 左右穿梭・海底針・閃通臂
 10時限目: 第八組 轉身搬ラン捶・如封似閉・十字手・取勢
 11時限目: 総合
 12時限目: 総合
 13時限目: 総合
 14時限目: 総合
 15時限目: テスト

履修上の留意点

1) 定員: 45名
 2) 服装: 一般的運動服装で身軽に動きやすいものがよい。シューズ・その他のものは不用。
 3) 教場: 体育館

成績評価の方法 出席率70%、総合評価30%で行う。

履修コード	197501・197502・197503・197504
科目名	生涯スポーツ実習Ⅰ(前期・基礎)(室内球技) 生涯スポーツ実習Ⅱ(前期・基礎)(室内球技) 生涯スポーツ実習Ⅲ(前期・基礎)(室内球技) 生涯スポーツ実習Ⅳ(前期・基礎)(室内球技)
担当者名	下谷内 勝利

講義のねらい この授業は、バスケットボール、バレーボール、バドミントンの3種目のスポーツを教材として展開する。各々のスポーツの基本技術を学習した後、ゲームを通してそれぞれのスポーツへの理解を深めてもらい、生涯スポーツの基礎を築くことを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

1時限目: オリエンテーション
 (バスケットボール)
 2時限目: 基本技術の学習(ボールハンドリング、ドリブル、パス、シュートなど)
 3時限目: ハーフコート2対1、3対2、5対5など
 4時限目: ゲーム
 5時限目: ゲーム
 6時限目: ゲーム
 (バレーボール)
 7時限目: 基本技術の学習(オーバーハンドパス、アンダーハンドパス、サーブなど)
 8時限目: サーブ・レシーブ・スパイクの練習およびゲーム
 9時限目: ゲーム
 10時限目: ゲーム
 11時限目: ゲーム
 (バドミントン)
 12時限目: 基本技術の学習(ラケットティング、ハイクリア、ドライブ、ヘアピンなど)
 13時限目: スマッシュの練習およびシングルのゲーム
 14時限目: サービスの練習およびダブルスのゲーム
 15時限目: ダブルスのゲーム

履修上の留意点 服装は、一般的なスポーツウェアとするが、必ず体育館シューズを用意すること(土足厳禁)。
成績評価の方法 授業に出席して、積極的に実技に取り組む姿勢が重要である。したがって、出席点70%、実技点30%の割合で評価する。60点以上を合格とする。

教科書 特に指定はしないが、バスケットボール、バレーボール、バドミントンのルールは予習してもらいたい。

その他 グループ毎に試合を行うことが多いため、30分以上の遅刻は認めないものとする。

履修コード	197601・197602・197603・197604
科目名	生涯スポーツ実習Ⅰ(後期・基礎)(室内球技) 生涯スポーツ実習Ⅱ(後期・基礎)(室内球技) 生涯スポーツ実習Ⅲ(後期・基礎)(室内球技) 生涯スポーツ実習Ⅳ(後期・基礎)(室内球技)
担当者名	<small>しもやち かづとし</small> 下谷内 勝利

講義のねらい	この授業は、バスケットボール、バレーボール、バドミントンの3種目のスポーツを教材として展開する。各々のスポーツの基本技術を学習した後、ゲームを通してそれぞれのスポーツへの理解を深めてもらい、生涯スポーツの基礎を築くことを目的とする。
講義の内容・ 授業スケジュール	1時限目：オリエンテーション (バスケットボール) 2時限目：基本技術の学習(ボールハンドリング、ドリブル、パス、シュートなど) 3時限目：ハーフコート2対1、3対2、5対5など 4時限目：ゲーム 5時限目：ゲーム 6時限目：ゲーム (バレーボール) 7時限目：基本技術の学習(オーバーハンドパス、アンダーハンドパス、サーブなど) 8時限目：サーブ・レシーブ・スパイクの練習およびゲーム 9時限目：ゲーム 10時限目：ゲーム 11時限目：ゲーム (バドミントン) 12時限目：基本技術の学習(ラケットティング、ハイクリア、ドライブ、ヘアピンなど) 13時限目：スマッシュの練習およびシングルのゲーム 14時限目：サービスの練習およびダブルスのゲーム 15時限目：ダブルスのゲーム
履修上の留意点 成績評価の方法	服装は、一般的なスポーツウェアとするが、必ず体育館シューズを用意すること(土足厳禁)。授業に出席して、積極的に実技に取り組む姿勢が重要である。したがって、出席点70%、実技点30%の割合で評価する。60点以上を合格とする。
教科書	特に指定はしないが、バスケットボール、バレーボール、バドミントンのルールは予習してもらいたい。
その他	グループ毎に試合を行うことが多いため、30分以上の遅刻は認めないものとする。

履修コード	197701・197702・197703・197704
科目名	生涯スポーツ実習Ⅰ（前期・基礎）（室内球技） 生涯スポーツ実習Ⅱ（前期・基礎）（室内球技） 生涯スポーツ実習Ⅲ（前期・基礎）（室内球技） 生涯スポーツ実習Ⅳ（前期・基礎）（室内球技）
担当者名	下谷内 ^{しもやま かつとし} 勝利

講義のねらい この授業は、バスケットボール、バレーボール、バドミントンの3種目のスポーツを教材として展開する。各々のスポーツの基本技術を学習した後、ゲームを通してそれぞれのスポーツへの理解を深めてもらい、生涯スポーツの基礎を築くことを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
（バスケットボール）
- 2 時限目：基本技術の学習（ボールハンドリング、ドリブル、パス、シュートなど）
- 3 時限目：ハーフコート2対1、3対2、5対5など
- 4 時限目：ゲーム
- 5 時限目：ゲーム
- 6 時限目：ゲーム
（バレーボール）
- 7 時限目：基本技術の学習（オーバーハンドパス、アンダーハンドパス、サーブなど）
- 8 時限目：サーブ・レシーブ・スパイクの練習およびゲーム
- 9 時限目：ゲーム
- 10時限目：ゲーム
- 11時限目：ゲーム
（バドミントン）
- 12時限目：基本技術の学習（ラケットティング、ハイクリア、ドライブ、ヘアピンなど）
- 13時限目：スマッシュの練習およびシングルのゲーム
- 14時限目：サービスの練習およびダブルスのゲーム
- 15時限目：ダブルスのゲーム

履修上の留意点
成績評価の方法

服装は、一般的なスポーツウェアとするが、必ず体育館シューズを用意すること（土足厳禁）。授業に出席して、積極的に実技に取り組む姿勢が重要である。したがって、出席点70%、実技点30%の割合で評価する。60点以上を合格とする。

教科書

特に指定はしないが、バスケットボール、バレーボール、バドミントンのルールは予習してもらいたい。

その他

グループ毎に試合を行うことが多いため、30分以上の遅刻は認めないものとする。

履修コード	197801・197802・197803・197804
科目名	生涯スポーツ実習Ⅰ（後期・基礎）（室内球技） 生涯スポーツ実習Ⅱ（後期・基礎）（室内球技） 生涯スポーツ実習Ⅲ（後期・基礎）（室内球技） 生涯スポーツ実習Ⅳ（後期・基礎）（室内球技）
担当者名	下谷内 勝利

講義のねらい	この授業は、バスケットボール、バレーボール、バドミントンの3種目のスポーツを教材として展開する。各々のスポーツの基本技術を学習した後、ゲームを通してそれぞれのスポーツへの理解を深めてもらい、生涯スポーツの基礎を築くことを目的とする。
講義の内容・授業スケジュール	<p>1 時限目：オリエンテーション （バスケットボール）</p> <p>2 時限目：基本技術の学習（ボールハンドリング、ドリブル、パス、シュートなど）</p> <p>3 時限目：ハーフコート2対1、3対2、5対5など</p> <p>4 時限目：ゲーム</p> <p>5 時限目：ゲーム</p> <p>6 時限目：ゲーム （バレーボール）</p> <p>7 時限目：基本技術の学習（オーバーハンドパス、アンダーハンドパス、サーブなど）</p> <p>8 時限目：サーブ・レシーブ・スパイクの練習およびゲーム</p> <p>9 時限目：ゲーム</p> <p>10 時限目：ゲーム</p> <p>11 時限目：ゲーム （バドミントン）</p> <p>12 時限目：基本技術の学習（ラケットティング、ハイクリア、ドライブ、ヘアピンなど）</p> <p>13 時限目：スマッシュの練習およびシングルのゲーム</p> <p>14 時限目：サーブの練習およびダブルスのゲーム</p> <p>15 時限目：ダブルスのゲーム</p>
履修上の留意点 成績評価の方法	服装は、一般的なスポーツウェアとするが、必ず体育館シューズを用意すること（土足厳禁）。授業に出席して、積極的に実技に取り組む姿勢が重要である。したがって、出席点70%、実技点30%の割合で評価する。60点以上を合格とする。
教科書	特に指定はしないが、バスケットボール、バレーボール、バドミントンのルールは予習してもらいたい。
その他	グループ毎に試合を行うことが多いため、30分以上の遅刻は認めないものとする。

履修コード	197901・197902・197903・197904
科目名	生涯スポーツ実習Ⅰ（前期・応用）（卓球） 生涯スポーツ実習Ⅱ（前期・応用）（卓球） 生涯スポーツ実習Ⅲ（前期・応用）（卓球） 生涯スポーツ実習Ⅳ（前期・応用）（卓球）
担当者名	村松 誠

講義のねらい	卓球の基礎技術を習得し、シングルス、さらにはダブルスのゲームを行うことにより、卓球の面白さを知る。また、スポーツの中で最も簡単だと言われるルールを理解し、生涯スポーツとしての基盤をつくる。
講義の内容・授業スケジュール	<p>1 時限目：オリエンテーション、授業内容と服装等の説明</p> <p>2 時限目：ラケットティング、ネットの張り方の学習、フォアハンドの基本形</p> <p>3 時限目：フォアハンドドライブ、フォアハンドゲーム</p> <p>4 時限目：フォアハンドドライブのショート、ロングの打ち方。シングルスゲーム</p> <p>5 時限目：バックハンドショットの打ち方。バックハンドゲーム</p> <p>6 時限目：カットの打ち方、返球の方法。カット&カット、シングルスゲーム</p> <p>7 時限目：カット&ドライブリターン、シングルスゲーム</p> <p>8 時限目：スマッシュ（3球目）、シングルスゲーム</p> <p>9 時限目：シングルスゲーム</p> <p>10 時限目：ダブルスゲームの行い方。ダブルスゲームの練習</p> <p>11 時限目：ダブルスゲーム</p> <p>12 時限目：ダブルスゲーム</p> <p>13 時限目：ダブルスゲーム</p> <p>14 時限目：ダブルスゲーム</p> <p>15 時限目：まとめ</p>
履修上の留意点	服装は、一般的な運動服装とするが、必ず体育館シューズを用意すること（土足厳禁）。土足の場合は授業を受けることはできない。
成績評価の方法	評価は出席点70点、実技点30点とする。実技点は平素のゲームの中で採点し、受講態度を加味して評価する。個人の実技テストは行わない。

履修コード	198001・198002・198003・198004
科目名	生涯スポーツ実習Ⅰ(後期・応用)(卓球) 生涯スポーツ実習Ⅱ(後期・応用)(卓球) 生涯スポーツ実習Ⅲ(後期・応用)(卓球) 生涯スポーツ実習Ⅳ(後期・応用)(卓球)
担当者名	村松 誠 <small>むらまつ まこと</small>

講義のねらい 卓球の基礎技術を習得し、シングルス、さらにはダブルスのゲームを行うことにより、卓球の面白さを知る。また、スポーツの中で最も簡単だと言われるルールを理解し、生涯スポーツとしての基盤をつくる。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション、授業内容と服装等の説明
- 2 時限目：ラケットティング、ネットの張り方の学習、フォアハンドの基本形
- 3 時限目：フォアハンドドライブ、フォアハンドゲーム
- 4 時限目：フォアハンドドライブのショート、ロングの打ち方。シングルスゲーム
- 5 時限目：バックハンドショットの打ち方。バックハンドゲーム
- 6 時限目：カットの打ち方、返球の方法。カット&カット、シングルスゲーム
- 7 時限目：カット&ドライブリターン、シングルスゲーム
- 8 時限目：スマッシュ(3球目)、シングルスゲーム
- 9 時限目：シングルスゲーム
- 10 時限目：ダブルスゲームの行い方。ダブルスゲームの練習
- 11 時限目：ダブルスゲーム
- 12 時限目：ダブルスゲーム
- 13 時限目：ダブルスゲーム
- 14 時限目：ダブルスゲーム
- 15 時限目：まとめ

履修上の留意点 服装は、一般的な運動服装とするが、必ず体育館シューズを用意すること(土足厳禁)。土足の場合は授業を受けることはできない。

成績評価の方法 評価は出席点70点、実技点30点とする。実技点は平素のゲームの中で採点し、受講態度を加味して評価する。個人の実技テストは行なわない。

履修コード	198101・198102・198103・198104
科目名	生涯スポーツ実習Ⅰ(前期・基礎)(ダブルダッチ) 生涯スポーツ実習Ⅱ(前期・基礎)(ダブルダッチ) 生涯スポーツ実習Ⅲ(前期・基礎)(ダブルダッチ) 生涯スポーツ実習Ⅳ(前期・基礎)(ダブルダッチ)
担当者名	末次 美樹 <small>すえつぐ みき</small>

講義のねらい ダブルダッチとは、2本の長縄を使って行う、縄跳び運動である。誰もが手軽にでき、集中力・リズム感・バランス感覚が身につく、また、動きを自分達で工夫する事で想像力やチームワークも身に付く、優れた運動である。ダブルダッチを体得することにより、現在および将来の体力・健康の保持増進を目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：ターナーの練習・ジャンプの練習
- 3 時限目：短縄を使って練習・縄一本での練習
- 4 時限目：ペアでリズム・バランス感覚の確認
- 5 時限目：ターナーの練習、奇数と偶数の違い
- 6 時限目：5回跳び・10回跳び
- 7 時限目：ターナーの回転・スピード
- 8 時限目：ビデオ学習
- 9 時限目：連続跳び
- 10 時限目：応用
- 11 時限目：応用
- 12 時限目：応用
- 13 時限目：応用
- 14 時限目：応用
- 15 時限目：応用

履修上の留意点 服装：上下とも動きやすいものが良い。シューズ(室内専用)を用意する。

成績評価の方法 出席率70%、総合評価(授業への参加意欲、授業態度など)30%で行う。

履修コード	198201・198202・198203・198204
科目名	生涯スポーツ実習Ⅰ(後期・基礎)(ダブルダッチ) 生涯スポーツ実習Ⅱ(後期・基礎)(ダブルダッチ) 生涯スポーツ実習Ⅲ(後期・基礎)(ダブルダッチ) 生涯スポーツ実習Ⅳ(後期・基礎)(ダブルダッチ)
担当者名	末次 美樹

講義のねらい ダブルダッチとは、2本の長縄を使って行う、縄跳び運動である。誰もが手軽にでき、集中力・リズム感・バランス感覚が身につく、また、動きを自分達で工夫する事で想像力やチームワークも身に付く、優れた運動である。ダブルダッチを体得することにより、現在および将来の体力・健康の保持増進を目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：ターナーの練習・ジャンプの練習
- 3 時限目：短縄を使って練習・縄一本での練習
- 4 時限目：ペアでリズム・バランス感覚の確認
- 5 時限目：ターナーの練習、奇数と偶数の違い
- 6 時限目：5回跳び・10回跳び
- 7 時限目：ターナーの回転・スピード
- 8 時限目：ビデオ学習
- 9 時限目：連続跳び
- 10時限目：応用
- 11時限目：応用
- 12時限目：応用
- 13時限目：応用
- 14時限目：応用
- 15時限目：応用

履修上の留意点 服装：上下とも動きやすいものが良い。シューズ(室内専用)を用意する。
成績評価の方法 出席率70%、総合評価(授業への参加意欲、授業態度など)30%で行う。

履修コード	198301・198302・198303・198304
科目名	生涯スポーツ実習Ⅰ(前期・応用)(室内球技) 生涯スポーツ実習Ⅱ(前期・応用)(室内球技) 生涯スポーツ実習Ⅲ(前期・応用)(室内球技) 生涯スポーツ実習Ⅳ(前期・応用)(室内球技)
担当者名	末次 美樹

講義のねらい 室内で行う球技(バスケットボール・バレーボール・バドミントン・ドッジボール等)を教材とし、各種目ともゲームを中心とした授業を展開する。各種目の身体運動を通して、生涯における健康・体力を維持するとともに、ゲームを通して、豊かな人間関係の構築を目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時間目：オリエンテーション
- 2 時間目：＜バスケットボール＞パス、ドリブル等の基本技術・応用
- 3 時間目：ゲーム
- 4 時間目：ゲーム
- 5 時間目：＜バレーボール＞サーブ、レシーブ等の基本技術・応用
- 6 時間目：ゲーム
- 7 時間目：ゲーム
- 8 時間目：＜ドッジボール＞ルールの説明、キャッチボール等の基本技術
- 9 時間目：ボールコントロール、ゲーム
- 10時間目：ゲーム(リーグ戦)
- 11時間目：ゲーム(リーグ戦)
- 12時間目：＜バドミントン＞基本的な説明
- 13時間目：ゲーム
- 14時間目：ゲーム
- 15時間目：まとめと評価

履修上の留意点 実技は本校第1体育館で行う。一般的なスポーツウェア、運動に適した体育館シューズを用意する。人数によっては(出席者人数)、種目を変更する場合もある。

成績評価の方法 出席率70%、総合評価(授業への参加意欲、授業態度など)30%とする。個人の実技テストは行わない。

履修コード	198401・198402・198403・198404
科目名	生涯スポーツ実習Ⅰ(後期・応用)(室内球技) 生涯スポーツ実習Ⅱ(後期・応用)(室内球技) 生涯スポーツ実習Ⅲ(後期・応用)(室内球技) 生涯スポーツ実習Ⅳ(後期・応用)(室内球技)
担当者名	末次 美樹

講義のねらい 室内で行う球技(バスケットボール・バレーボール・バドミントン・ドッジボール等)を教材とし、各種目ともゲームを中心とした授業を展開する。各種目の身体運動を通して、生涯における健康・体力を維持するとともに、ゲームを通して、豊かな人間関係の構築を目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

- 1時間目: オリエンテーション
- 2時間目: <バスケットボール>パス、ドリブル等の基本技術・応用
- 3時間目: ゲーム
- 4時間目: ゲーム
- 5時間目: <バレーボール>サーブ、レシーブ等の基本技術・応用
- 6時間目: ゲーム
- 7時間目: ゲーム
- 8時間目: <ドッジボール>ルールの説明、キャッチボール等の基本技術
- 9時間目: ボールコントロール、ゲーム
- 10時間目: ゲーム(リーグ戦)
- 11時間目: ゲーム(リーグ戦)
- 12時間目: <バドミントン>基本的な説明
- 13時間目: ゲーム
- 14時間目: ゲーム
- 15時間目: まとめと評価

履修上の留意点

実技は本校第1体育館で行う。一般的なスポーツウェア、運動に適した体育館シューズを用意する。人数によっては(出席者人数)、種目を変更する場合もある。

成績評価の方法

出席率70%、総合評価(授業への参加意欲、授業態度など)30%とする。個人の実技テストは行わない。

履修コード	198701・198702・198703・198704
科目名	生涯スポーツ実習Ⅰ(前期・応用)(バスケットボール) 生涯スポーツ実習Ⅱ(前期・応用)(バスケットボール) 生涯スポーツ実習Ⅲ(前期・応用)(バスケットボール) 生涯スポーツ実習Ⅳ(前期・応用)(バスケットボール)
担当者名	牧野 茂

講義のねらい バスケットボールを教材とし、体力や運動能力の向上をはかりながら、基本的な技術を復習し、より高度な技術の習得を目指す。また、審判法やゲームに関する戦術やセオリーを学ぶことによって、生涯を通じてより次元の高いゲームを実施できる能力を養うことを目標とする。

講義の内容・授業スケジュール

- 1時限目: オリエンテーション
- 2時限目: ボール・ハンドリング、レイアップ・シュート、ハーフコート2対1
- 3時限目: 2ボール・ドリブル、シューティング・ドリル、3対3ゲーム
- 4時限目: 2マン・ファースト・ブレイク、フルコート2対1、3対3ゲーム
- 5時限目: 3マン・ファースト・ブレイク、フルコート3対2、ゲーム(リーグ戦)
- 6時限目: 4マン・ファースト・ブレイク、フルコート4対3、ゲーム(リーグ戦)
- 7時限目: マンツーマン・オフフェンス(1)ハーフ・コート2対2、ゲーム(リーグ戦)
- 8時限目: マンツーマン・オフフェンス(2)ハーフ・コート3対3、ゲーム(リーグ戦)
- 9時限目: マンツーマン・オフフェンス(3)ハーフ・コート3対3、ゲーム(リーグ戦)
- 10時限目: モーション・オフフェンス(1)ハーフ・コート2対2、ゲーム(リーグ戦)
- 11時限目: モーション・オフフェンス(2)ハーフ・コート3対3、ゲーム(リーグ戦)
- 12時限目: モーション・オフフェンス(3)ハーフ・コート4対4、ゲーム(リーグ戦)
- 13時限目: 総合練習、ゲーム
- 14時限目: 総合練習、ゲーム
- 15時限目: 実技テスト、ゲーム

履修上の留意点

- (1) 定員は50名とする。
- (2) 駒沢キャンパス第1体育館で実施する。
- (3) 服装は、一般的運動服装とする。体育館シューズを用意すること。

成績評価の方法

出席点70点、実技テスト20点、受講態度10点で評価する。60点以上を合格とする。

履修コード	198801・198802・198803・198804
科目名	生涯スポーツ実習Ⅰ(後期・応用)(バスケットボール) 生涯スポーツ実習Ⅱ(後期・応用)(バスケットボール) 生涯スポーツ実習Ⅲ(後期・応用)(バスケットボール) 生涯スポーツ実習Ⅳ(後期・応用)(バスケットボール)
担当者名	<small>まきの しげる</small> 牧野 茂

講義のねらい バスケットボールを教材とし、体力や運動能力の向上をはかりながら、基本的な技術を復習し、より高度な技術の習得を目指す。また、審判法やゲームに関する戦術やセオリーを学ぶことによって、生涯を通じてより次元の高いゲームを実施できる能力を養うことを目標とする。

講義の内容・授業スケジュール

- 1時限目：オリエンテーション
- 2時限目：ボール・ハンドリング、レイアップ・シュート、ハーフコート2対1
- 3時限目：2ボール・ドリブル、シューティング・ドリル、3対3ゲーム
- 4時限目：2マン・ファースト・ブレイク、フルコート2対1、3対3ゲーム
- 5時限目：3マン・ファースト・ブレイク、フルコート3対2、ゲーム(リーグ戦)
- 6時限目：4マン・ファースト・ブレイク、フルコート4対3、ゲーム(リーグ戦)
- 7時限目：マンツーマン・オフフェンス(1)ハーフ・コート2対2、ゲーム(リーグ戦)
- 8時限目：マンツーマン・オフフェンス(2)ハーフ・コート3対3、ゲーム(リーグ戦)
- 9時限目：マンツーマン・オフフェンス(3)ハーフ・コート3対3、ゲーム(リーグ戦)
- 10時限目：モーション・オフフェンス(1)ハーフ・コート2対2、ゲーム(リーグ戦)
- 11時限目：モーション・オフフェンス(2)ハーフ・コート3対3、ゲーム(リーグ戦)
- 12時限目：モーション・オフフェンス(3)ハーフ・コート4対4、ゲーム(リーグ戦)
- 13時限目：総合練習、ゲーム
- 14時限目：総合練習、ゲーム
- 15時限目：実技テスト、ゲーム

履修上の留意点

- (1) 定員は50名とする。
- (2) 駒沢キャンパス第1体育館で実施する。
- (3) 服装は、一般的運動服装とする。体育館シューズを用意すること。

成績評価の方法

出席点70点、実技テスト20点、受講態度10点で評価する。60点以上を合格とする。

履修コード	198901・198902・198903・198904
科目名	生涯スポーツ実習Ⅰ(前期・基礎)(バスケットボール) 生涯スポーツ実習Ⅱ(前期・基礎)(バスケットボール) 生涯スポーツ実習Ⅲ(前期・基礎)(バスケットボール) 生涯スポーツ実習Ⅳ(前期・基礎)(バスケットボール)
担当者名	<small>まきの しげる</small> 牧野 茂

講義のねらい バスケットボールを教材とし、体力や運動能力の向上をはかりながら、基本的な技術を復習し、より高度な技術の習得を目指す。また、審判法やゲームに関する戦術やセオリーを学ぶことによって、生涯を通じてより次元の高いゲームを実施できる能力を養うことを目標とする。

講義の内容・授業スケジュール

- 1時限目：オリエンテーション
- 2時限目：ボール・ハンドリング、レイアップ・シュート、ハーフコート2対1
- 3時限目：2ボール・ドリブル、シューティング・ドリル、3対3ゲーム
- 4時限目：2マン・ファースト・ブレイク、フルコート2対1、3対3ゲーム
- 5時限目：3マン・ファースト・ブレイク、フルコート3対2、ゲーム(リーグ戦)
- 6時限目：4マン・ファースト・ブレイク、フルコート4対3、ゲーム(リーグ戦)
- 7時限目：マンツーマン・オフフェンス(1)ハーフ・コート2対2、ゲーム(リーグ戦)
- 8時限目：マンツーマン・オフフェンス(2)ハーフ・コート3対3、ゲーム(リーグ戦)
- 9時限目：マンツーマン・オフフェンス(3)ハーフ・コート3対3、ゲーム(リーグ戦)
- 10時限目：モーション・オフフェンス(1)ハーフ・コート2対2、ゲーム(リーグ戦)
- 11時限目：モーション・オフフェンス(2)ハーフ・コート3対3、ゲーム(リーグ戦)
- 12時限目：モーション・オフフェンス(3)ハーフ・コート4対4、ゲーム(リーグ戦)
- 13時限目：総合練習、ゲーム
- 14時限目：総合練習、ゲーム
- 15時限目：実技テスト、ゲーム

履修上の留意点

- (1) 定員は50名とする。
- (2) 駒沢キャンパス本校第1体育館で実施する。
- (3) 服装は、一般的運動服装とする。体育館シューズを用意すること。

成績評価の方法

出席点70点、実技テスト20点、受講態度10点で評価する。60点以上を合格とする。

履修コード	199001・199002・199003・199004
科目名	生涯スポーツ実習Ⅰ(後期・基礎)(バスケットボール) 生涯スポーツ実習Ⅱ(後期・基礎)(バスケットボール) 生涯スポーツ実習Ⅲ(後期・基礎)(バスケットボール) 生涯スポーツ実習Ⅳ(後期・基礎)(バスケットボール)
担当者名	<small>まきの しげる</small> 牧野 茂

講義のねらい バスケットボールを教材とし、体力や運動能力の向上をはかりながら、基本的な技術を復習し、より高度な技術の習得を目指す。また、審判法やゲームに関する戦術やセオリーを学ぶことによって、生涯を通じてより次元の高いゲームを実施できる能力を養うことを目標とする。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1時限目：オリエンテーション
- 2時限目：ボール・ハンドリング、レイアップ・シュート、ハーフコート2対1
- 3時限目：2ボール・ドリブル、シューティング・ドリル、3対3ゲーム
- 4時限目：2マン・ファースト・ブレイク、フルコート2対1、3対3ゲーム
- 5時限目：3マン・ファースト・ブレイク、フルコート3対2、ゲーム(リーグ戦)
- 6時限目：4マン・ファースト・ブレイク、フルコート4対3、ゲーム(リーグ戦)
- 7時限目：マンツーマン・オフENSE(1)ハーフ・コート2対2、ゲーム(リーグ戦)
- 8時限目：マンツーマン・オフENSE(2)ハーフ・コート3対3、ゲーム(リーグ戦)
- 9時限目：マンツーマン・オフENSE(3)ハーフ・コート3対3、ゲーム(リーグ戦)
- 10時限目：モーション・オフENSE(1)ハーフ・コート2対2、ゲーム(リーグ戦)
- 11時限目：モーション・オフENSE(2)ハーフ・コート3対3、ゲーム(リーグ戦)
- 12時限目：モーション・オフENSE(3)ハーフ・コート4対4、ゲーム(リーグ戦)
- 13時限目：総合練習、ゲーム
- 14時限目：総合練習、ゲーム
- 15時限目：実技テスト、ゲーム

履修上の留意点

- (1) 定員は50名とする。
- (2) 駒沢キャンパス本校第1体育館で実施する。
- (3) 服装は、一般的な運動服装とする。体育館シューズを用意すること。

成績評価の方法

出席点70点、実技テスト20点、受講態度10点で評価する。60点以上を合格とする。

保
健
体
育

履修コード	199301・199302
科目名	生涯スポーツ演習Ⅰ（シーズン基礎）（ゴルフ） 生涯スポーツ演習Ⅰ（シーズン応用）（ゴルフ）
担当者名	三幣 晴三 他

保健
体育

講義のねらい

「健康・スポーツ実習」で行われているゴルフ授業を一步進めて、ゴルフコースを使用してゴルフを基本からラウンドプレーまでを体験することをねらいとする。したがって、初めてゴルフを体験しようとする初心者から、経験者までを対象とするカリキュラムが組まれている。

ゴルフの技術的向上を主たるねらいとするが、プレーヤーとしてのマナーやエチケット、更に同伴競技者とのコミュニケーションも本講義の重要なねらいとなる。

生涯スポーツとして、ゴルフの良さを十分に楽しみ、ゴルフを通して良き人間関係を作っていくための基礎を学んでほしい。

講義の内容・
授業スケジュール

1. オリエンテーション:

1回目 4月8日(水) 12:10~12:40 2研-209教場

2回目 4月18日(土) 12:10~12:40 2研-209教場

*本オリエンテーションにて、受講許可書を発行します。

1回目のオリエンテーションで定員に達しない場合、2回目を実施します。

2. 事前授業: 7月21日(火) 13:00~16:10 2研-209教場「ゴルフの基礎知識」

3. 実習内容および現地講義

1日目 9月7日(月)

講義: 9:00~12:10 ゴルフコースとゲーム、スイングの基礎(玉川校舎教場)

実技: 13:00~17:30 打撃練習

*注意: 1日目は、玉川校舎で実施する。

2日目 9月8日(火) 実技・講義: 11:00~18:00 打撃練習・ゴルフの規則1、その他

3日目 9月9日(水) 実技・講義: 8:30~17:00 打撃練習・ラウンド・ゴルフの規則2

4日目 9月10日(木) 実技・講義: 8:30~17:00 打撃練習・ラウンド・ラウンドの総括

5日目 9月11日(金) 実技・講義: 8:30~13:30 打撃練習・ラウンド・閉校式

履修上の留意点

生涯スポーツ演習Ⅰ(シーズン基礎・シーズン応用)を履修する場合は、上記オリエンテーションに出席し、担当者の受講許可を受けなければなりません。

1. 実習日程: 平成21年9月7日(玉川校舎)・9月8日~11日(現地: 3泊4日)

2. 場所:

宿泊: マロードインターナショナルホテル成田

〒286-0121 千葉県成田市駒井野763-1

電話 0476-30-2222 FAX 0476-32-9112

練習コース: ダイナミックゴルフ成田

〒289-2231 千葉県香取郡多古町飯笹1040

電話 0479-75-0793 FAX 0479-75-0785

3. 定員: 40名

4. 集合解散:

(1) 集合 9月7日(月) 午前9時 玉川校舎 305教場

9月8日(火) 午前11時 ダイナミックゴルフ成田

(2) 解散 9月11日(金) 午後12時30分: 予定 ダイナミックゴルフ成田

5. 受講料: 37,600円(左記金額には、交通費は含まれない。)

6. 納入期間: 平成21年5月18日(月)~5月30日(土)

証明書自動発行機(教務部ロビー設置)で受講料を納入後、納入書をスポーツ・健康部門(第2研究館9階資料室)に提出すること。期間内に納入しない場合は、受講することができないので注意してください。

7. 服装・用具

(1) 一般的なゴルフ服装(セーター・ウインドブレーカーも天候によって必要)

(2) ゴルフシューズ(ソフトスパイクに限る)は必ず用意すること。ただし、練習場においては運動靴でも可。

(3) グローブは、必ず各自で用意すること。

(4) ゴルフクラブ・キャディーバックは大学で用意するが、自分の物を持参してもよい。

成績評価の方法
その 他

出席状況、ゴルフの技術的向上、授業態度を総合的に判断して評価する。

都合で参加できなくなった場合は、早急にスポーツ・健康部門(第2研究館9階資料室)に連絡すること。なお、受講料の一部は、返却されないことがあります。

履修コード	199401・199402
科目名	生涯スポーツ演習II（シーズン基礎）（スキー・スノーボード） 生涯スポーツ演習II（シーズン応用）（スキー・スノーボード）
担当者名	鈴木 淳平 他

講義のねらい

現在わが国において、スキーやスノーボードに代表されるスノースポーツは国民に広く普及し「生涯スポーツ」として定着している。これらを楽しむ為に、実習および講義によって基礎技術や練習方法、ならびにゲレンデにおけるマナーなどについて理解を深めていきたい。

実習はそれぞれの技術レベルに応じて班分けして実施する。コースの内容は以下の通りである。

- スキー・スノーボード基礎コース：雪面に慣れることから始まり、基礎的な滑走技術の習得を目指す。
- スキー・スノーボード応用コース：基礎コースを更に発展させ、安全で楽しくゲレンデを滑る技術の習得を目指す。

講義の内容・授業スケジュール

1. オリエンテーション 1回目 4月8日（水）12：10～12：40 2研-209教場
2回目 4月18日（土）12：10～12：40 2研-209教場
※本オリエンテーションにて、種目決定と受講許可書発行を行います。
1回目のオリエンテーションで定員に達しない場合、2回目を実施します。
2. 事前授業 1月8日（金）13：00～16：00 2研-209教場「スノースポーツの基礎知識」
3. 実習内容および現地講義
 - 1日目 1月28日（木）
午前：駒澤大学駒沢校舎から貸し切りバスで移動（集合・出発時刻未定） 正午到着予定
午後：開講式 班別実習および全体講義「スノースポーツの基礎技術解説および安全・マナー」
 - 2日目 1月29日（金）
午前・午後：班別実習および全体講義「スノースポーツの応用技術解説」
 - 3日目 1月30日（土）
午前・午後：班別実習および全体講義「スノースポーツと環境」
 - 4日目 1月31日（日）
午前・午後：班別実習および全体講義「本実習の反省まとめ」
 - 5日目 2月1日（月）
午前：班別実習 閉講式
午後：駒澤大学駒沢校舎へ貸し切りバスで移動（集合・出発時刻未定） 到着後解散予定

履修上の留意点

本講座は、生涯スポーツ演習IIシーズン・基礎/応用ですが、履修する場合は、スキーまたはスノーボードのどちらかの種目とします。また、上記オリエンテーションに出席し、担当者の受講許可書を受けなければなりません。受講要項および本講義内容をよく確認してください。

- 1) 実習日程：平成22年1月28日（木）～2月1日（月）の4泊5日（現地集合解散）
- 2) 実習場所：セントレジャー舞子スノーリゾート
宿泊）セントレジャー舞子ホテル 電話（025）783-3511
〒949-6423 新潟県南魚沼市舞子2056-108
- 3) 定員：スキー20名
スノーボード30名（但し、初心者・初級者に限る）
- 4) 受講料：50,000円（内訳：往復交通費・宿泊費・食費・傷害保険・その他雑費として）
※リフト券、レンタル代は別途料金がかかります。
証明書自動発行機（教務部ロビー設置）で受講料を納入後、納入書をスポーツ・健康部門（第2研究館9階資料室）に提出すること。期間内に納入しない場合は、受講することができないので注意して下さい。
納入期間：平成21年5月18日（月）～5月30日（土）
- 5) 用具：用具は現地レンタル可能（有料）。
- 6) 特記事項：卒業年次生が履修する場合は日程などに注意すること。

成績評価の方法

オリエンテーション・事前授業および実習（5日間）に参加修了し、2単位が認められる。成績評価方法は、事前授業参加状況、各班において実施する実技テストと実習参加態度、並びに技術や理解度も含めて総合的に成績評価がなされる。

履修コード	199501・199502
科目名	生涯スポーツ実習（集中前期・基礎）（テニス） 生涯スポーツ実習（集中前期・応用）（テニス）
担当者名	えぐち じゅんいち 江口 淳一

保健
体育

講義のねらい テニスは、華やかなプロスポーツから、ファミリーテニスまで色んな技術レベルによって楽しむことができ、我が国の生涯スポーツとして完全に定着したスポーツの1つである。

本実習においては、フォアハンド・バックハンドグラウンドストローク、ボレー、サーブ、スマッシュなど基本的なテニスの技術の習得と、ゲームに関するルール、マナーを学ぶことによって、生涯を通じて楽しくテニスが行なえる能力と、態度を養うことを目標としている。

また、テニスを教材にスポーツを楽しむという活動や経験を通して、スポーツのもつ価値を実感し、自分の能力や技術に合わせた楽しみ方を身に付け、スポーツを自立的に生活化する態度を養うことを目指す。

さらに、5日間集中的に行なうことでテニスを通じた人間関係を広げ深めることの楽しさを知る。
（基礎）…初心者を対象とする。「テニスを楽しむ」という観点から段階的に技術を習得し、ゲームを楽しむことを目標とする。

（応用）…エキスパートを対象とし、「ゲームに勝つ」ことや指導法などを学びながら High で Full にテニスと関わる態度を養う。

**講義の内容・
授業スケジュール**

- 1日目午前：ラケットティング、フォアハンド・バックハンドグラウンドストロークの基本技術
- 1日目午後：ミニラリー、ラリーを楽しむ
- 2日目午前：フォア・バックハンドボレー、スマッシュ、サーブ、ストロークの応用
- 2日目午後：ラリーの応用とミニゲーム
- 3日目午前：半面でのシングルスゲーム（ゲームを楽しむ）
- 3日目午後：半面でのシングルスゲーム（戦術と応用）
- 4日目午前：ダブルスのルールとポジショニング
- 4日目午後：ダブルスのゲームを楽しむ
- 5日目午前：トーナメント形式の試合
- 5日目午後：まとめ

履修上の留意点

- (1) 履修者の技術レベルは問わない。
- (2) 服装は一般的な運動服装とする。
- (3) テニスシューズを必ず用意すること。
- (4) ラケットは貸与する。

**成績評価の方法
その他の他**

出席状況（出欠は午前午後の二回確認する。）、授業参加態度から総合的に判断する。

雨天の場合は、テニスの歴史、技術の科学的な解説、ビデオによる戦術の解説および分析などの講義を行なうかまたは、テニスに必要なトレーニングを解説を交えながら行なう予定である。

集中授業コース実施について

- (1) 実施期間：7月18日（土）～22日（水）
7月18日更衣の上、午前10時にテニスコート集合
- (2) 実施時間：午前10：00～12：00
午後13：00～15：30
- (3) 実施場所：玉川グラウンドのテニスコート
- (4) 定員：40名とする。
- (5) 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『抽選登録』は、集中授業コース用に設定された下記の曜日・時限で提出すること。
特・4時限（前期）

履修コード	199701・199702
科目名	生涯スポーツ実習（集中後期・基礎）（ゴルフ） 生涯スポーツ実習（集中後期・応用）（ゴルフ）
担当者名	<small>みゆき はるみ</small> 三幣 晴三

講義のねらい	<p>ゴルフは、今や国民的スポーツになりつつある。初めてゴルフを体験しようとする初心者から、経験者までを対象として実施する。</p> <p>本講義は、ゴルフの技術的な上達を主たるねらいとするが、プレイヤーとしてのマナーやエチケット、さらに受講生同士のコミュニケーションも重要なねらいである。</p> <p>生涯スポーツとして、ゴルフの良さを十分に楽しみ、ゴルフを通して良い人間関係を作っていくための基礎を学んでほしい。</p>
講義の内容・授業スケジュール	<p>1日目実技：打撃練習（グリップ・アドレス・スイングの基本練習） 講義：スイングの基本</p> <p>2日目実技：打撃練習（9I、7I・アプローチ練習） 講義：マナーとエチケット</p> <p>3日目実技：打撃練習（7I、5I、1W・パッティング練習） 講義：ゴルフルール</p> <p>4日目実技：打撃練習（PW、7I・アプローチ練習・パッティング練習） 講義：ゴルフコースとラウンドについて</p> <p>5日目実技：打撃練習（総合的打撃練習）</p>
履修上の留意点	<p>（1）服装：一般的な運動服装（セーター・ウインドブレーカーも天候によっては必要）</p> <p>（2）グローブ（ゴルフ用グローブに限る）は、必ず各自で用意すること。</p>
成績評価の方法その他	<p>出席を主体とし、それに技術、ルール、マナーなどの理解度を加える。</p> <p>（1）実施期間：1月4日（月）～8日（金） 1月4日午前10時に玉川校舎集合</p> <p>（2）実施時間：10：00～12：00 13：00～15：30</p> <p>（3）実施場所：玉川校舎グラウンド</p> <p>（4）費用：受講者の上達度によっては、民間の練習場を利用する予定である。この場合ボール代として、1,000円程度必要である。</p> <p>（5）定員：40名</p> <p>（6）申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『抽選登録』は集中授業コース用に設定された下記の曜日・時限で提出すること。 特・4時限（後期）</p>

履修コード	200801
科目名	健康・スポーツ論 1
担当者名	<small>えぐち じゆんいち</small> 江口 淳一

保健体育

講義のねらい

現代文明は、経済性、利便性、効率性の名の下に人間を身体運動から遠ざけ、結果として運動不足症候群と呼ばれる様々な弊害を生んできた。本講義では、現代社会において、より良く、たくましく生きて行く為に人間生活の基本である健康、体力、身体運動に対する理解を科学的アプローチで深め、さらには身体運動を自律的に生活の中に位置づけていく態度と能力の育成を図ることを目的とする。

また、運動・スポーツの文化的意義について学ぶことで、Quality of life を実践するための基礎を養うことを主眼に講義を進めるつもりである。

人が生きて行くためには、自らの身体について知り、理解を深めていくことは重要なことであり、健康の増進や体力の向上のための基本的な知識や習慣を、生涯を通じて知的・身体的遺産として獲得することは、あらゆる人間活動を支える基盤である。スポーツを単に楽しみとしてではなく、健康や体力づくりの手段として、また身体を認識する手段としてとらえ、更に、スポーツを享受する能力とゆとりある人間社会の形成を実現する能力を学生自らが考え獲得することを本講義の目標とする。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 時限目：講義の目標の説明、学生の学習目標設定
- 2 時限目：ゆとり時代のLIFE STYLE (To have or To be)
- 3 時限目：生涯学習社会と大学保健体育科目の意義
- 4 時限目：現代社会と健康・スポーツ (余暇社会、高齢化社会と健康阻害要因)
- 5 時限目：健康と体力の概念
- 6 時限目：人体 1) 骨格の構造
- 7 時限目： 2) 筋肉の構造
- 8 時限目： 3) 運動と呼吸循環器系
- 9 時限目： 4) 運動と代謝
- 10 時限目： 5) 運動エネルギー供給の仕組み
- 11 時限目：スポーツ・トレーニングの筋、骨格に及ぼす効果
- 12 時限目：スポーツ・トレーニングの呼吸循環器系に及ぼす効果
- 13 時限目：運動処方計画のための基礎 (パワートレーニング、エアロビクストレーニング)
- 14 時限目：スポーツ科学分野におけるトピックス、21世紀に向けての健康づくり
- 15 時限目：まとめ—学生自身による授業評価—

成績評価の方法
参考書等

出席状況および授業最終日に行うアンケートにて評価する。
配布プリントにより授業を進めるため教科書はないが、以下の文献は参考図書となる。
『運動処方』(朝倉書店) 3,500円
『運動生理学20講』(朝倉書店) 2,884円
『「ゆとり」時代のライフスタイル』(日本経済新聞社) 1,300円

履修コード	200901
科目名	健康・スポーツ論 1
担当者名	みつなが よしてる 光永 吉輝

講義のねらい 健康と長寿を願う心は、太古の昔より人類普遍の願望であるが、日常生活においては自分が現在健康である事を意識して行動している人は少ないのではないだろうか、病気やけがをしてはじめて健康の重要性を知るのではなく、常日頃から健康を意識し健康に関心の目を向けることが必要である。

文明先進国における疾病や運動不足に起因するさまざまな健康阻害を、スポーツ医学の面から人体を運動器としてとらえ、骨格、筋肉、靭帯を中心に、頭部、体幹、手、足と各部の身体的特長や、その欠点とスポーツ障害について講義する。

自己や他人の生命そして健康は何物にもまして大切なものである事の理解を深める事を目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：講義の概要説明
- 2 時限目：骨格と障害 1) 頭蓋
- 3 時限目： " 2) 体幹
- 4 時限目： " 3) 体幹
- 5 時限目： " 4) 下肢
- 6 時限目： " 5) 下肢
- 7 時限目： " 6) 上肢
- 8 時限目：身体運動と健康
- 9 時限目：運動不足の害
- 10 時限目：運動の効果・骨と健康
- 11 時限目：トレーニング論 1)
- 12 時限目：トレーニング論 2)
- 13 時限目：運動と栄養
- 14 時限目：健康管理
- 15 時限目：まとめ

成績評価の方法教科書参考書等

出席および筆記試験によって行なう。またレポートなど提出物によって試験に変える場合もある。毎時限資料は配布する。医学面の人体解剖図などその他必要な資料は、こちらで配布する。

履修コード	201201
科目名	健康・スポーツ論 2
担当者名	おおいし たけし 大石 武士

講義のねらい 生涯を通じての健康や体力・身体運動の効果、体育・スポーツの概念やエイズ問題にふれていき、スポーツ・レクリエーション時や日常生活において、我々はいつどこで、どのような急病や傷害に出会うかもしれない。このような時、救急車が来るまでにしなければならぬ処置、とっさの処置が生命の別れ目になる。また、小さい怪我でも最初の手当が悪ければ経過が長引く。救命救急のための知識や技術を身につける事によって、病人や怪我人の生命、病気や怪我の経過に大きな差が生じてくる。このことをよく理解し、主な病気・傷害に対する救急処置法について講義を行う。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 時限目：講義内容の説明
- 2 時限目：体育の概念
- 3 時限目：身体運動と体育運動
- 4 時限目：健康の概念、身体運動の効果
- 5 時限目：人体構造の概略、エイズ問題
- 6 時限目：救急処置の目的、一次救命処置
- 7 時限目：一次救命処置
- 8 時限目：一次救命処置実習
- 9 時限目：出血多量、ショック
- 10 時限目：熱中症、やけど（熱傷）、凍傷
- 11 時限目：R・I・C・E処置、創傷、創傷のない障害
- 12 時限目：挫滅傷、打撲、刺し傷
- 13 時限目：中毒、鼻出血、咬傷、虫や毒魚
- 14 時限目：体力について
- 15 時限目：テスト

履修上の留意点
成績評価の方法
参考書等

日頃から新聞・雑誌等の応急手当に関連する記事に目を通しておくこと。
出席・実習および学期末試験で評価する。

- 1 駒澤大学保健体育部編『保健体育概論』（カツサ出版）1,700円
- 2 『最新図解救命救急一応急手当の手引き』（小学館）700円

そ の 他

救急処置法については、心肺蘇生訓練用マネキンを使った実習や、ビデオを交えながら講義を展開していく。

履修コード	201401
科目名	健康・スポーツ論 2
担当者名	しもやち かつとし 下谷内 勝利

講義のねらい 「健康」あるいは「スポーツ」をテーマに、スポーツ科学が教える基礎知識を理解することを目的としたい。

講義の内容・
授業スケジュール

1. 授業内容の説明
2. 健康とは
3. スポーツとは
4. 健康・スポーツを究明するスポーツ科学とは
5. からだと環境 1 適応について
6. " 2 生活習慣病について
7. " 3 運動の必要性について（日常生活と運動）
8. 骨の構造と機能（骨格、関節の種類、関節の動きなど）
9. 身体構造に規制される動き
10. 筋肉（骨格筋の種類、筋収縮の仕組みなど）
11. 筋収縮エネルギー（ATP-PC機構、乳酸性機構、非乳酸性機構、スポーツ競技との関連など）
12. 有酸素運動
13. 無酸素運動
14. ワークショップ
15. まとめ

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書
参考書等
そ の 他

配布プリントに沿って板書することが多くあることから、ノート整理が重要である。
小テスト数回、期末テストあるいはレポートによって総合的に評価する。
特に指定はしない（授業において、プリントを配布する）
配布プリントに記載されている参考文献参照のこと。
基本的に講義形式で行うが、必要に応じてワークショップを行う。

履修コード	201601
科目名	健康・スポーツ論 2
担当者名	村松 <small>むらまつ まこと</small> 誠

講義のねらい 現代は健康の時代の不健康な時代といわれる。健康に関する情報は、マスコミにあふれている。健康情報が商品になる時代である。また、民間療法による健康法も数多く存在している。このような状況の中で、しっかりとした健康観を持つことは、適切な選択をするために大切なこととなる。そして、学生時代は人生の中で最も健康な時期といわれるが、現代の健康問題とされる生活習慣病は、この年代より始まると言われている。このような認識のもとに、現代における健康問題も話題に取り上げながら、生涯にわたっての健康を考えていく。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：健康観の変遷
- 3 時限目：現代の健康観
- 4 時限目：健康の成立要因
- 5 時限目：健康の成立条件
- 6 時限目：病気の原因
- 7 時限目：疾病構造の変遷と病気の予防
- 8 時限目：現代の感染症
- 9 時限目：喫煙と健康
- 10 時限目：飲酒と健康
- 11 時限目：ストレスと健康
- 12 時限目：食べ物と健康
- 13 時限目：運動と健康
- 14 時限目：環境と健康
- 15 時限目：まとめ

**成績評価の方法
教科書**

数回のレポート、小テストなどを行い、これを加味して評価する。
特に指定はしない。参考図書についてはその都度提示する。

履修コード	201801
科目名	健康・スポーツ論 2
担当者名	牧野 <small>まきの しげる</small> 茂

講義のねらい 現代社会における健康の意義と認識を深めるとともに、ますます高齢化していく社会において、学生生活を含め生涯にわたって健康な生活を送るための基礎的な知識と、自己の健康管理能力を高めることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：目的と課題の把握 アンケートとその解説
- 2 時限目：健康とは何か（1） 語源・定義・性格
- 3 時限目：健康とは何か（2） 身体的健康、精神的健康
- 4 時限目：健康とは何か（3） 社会的健康
- 5 時限目：恒常性と適応 ストレス学説
- 6 時限目：健康の成立条件
- 7 時限目：健康の保持増進（1） 科学的研究、健康教育
- 8 時限目：健康の保持増進（2） 保健衛生サービス、健康の獲得
- 9 時限目：WHOの総合健康指標
- 10 時限目：日常生活と健康（1） 運動・栄養
- 11 時限目：日常生活と健康（2） 休養・睡眠
- 12 時限目：日常生活と健康（3） 嗜好品と健康
- 13 時限目：感染症について（1） インフルエンザ、結核
- 14 時限目：感染症について（2） 性行為感染症
- 15 時限目：筆記試験

**成績評価の方法
教科書**

数回の小テストと学期末の筆記試験で評価する。60点以上を合格とする。
教科書は使用しない。必要に応じてプリントを配布するが、主として黒板を用いるので、出席し、ノートを整理しておくこと。

参考書等

「健康科学-知っておきたい予防医学-」(丸善)
「ライフスタイルと健康の科学」(不昧堂出版)
他は、講義のなかで紹介する。

履修コード	202001
科目名	余暇学
担当者名	竹田 幸夫

講義のねらい 「余暇」に関する基礎的な知識と考え方についての講義を行う。大学生の年代は、将来における自分のライフスタイルの基礎を確立する大切な時期である。この授業における講義を聞いて、自分の「余暇」に関する考え方を確立してほしい。授業の進行状況に応じて、健康体操等の実技も行う。

講義の内容・授業スケジュール

1時限目 オリエンテーション
2時限目 余暇のある生活
3時限目 余暇の意味
4時限目 新しい余暇概念
5時限目 余暇に関する日本と海外の考え方
6時限目 地域社会と余暇のかかわり
7時限目 余暇と健康1
8時限目 余暇と健康2
9時限目 健康体操の実践(実技)
10時限目 余暇とスポーツ1
11時限目 余暇とスポーツ2
12時限目 自分自身の余暇の設計1
13時限目 自分自身の余暇の設計2
14時限目 まとめ
15時限目 筆記試験

履修上の留意点 講義は教場で行い、実技は体育館で行う。実技の場合は、運動着と体育館シューズを用意すること。

成績評価の方法 出席状況、授業中に作成・提出してもらうレポート(自分自身の余暇の設計)の内容、ならびに授業最後に行う筆記試験で評価する。

教科書 特に指定しない。毎回資料を配付する。

履修コード	202201
科目名	余暇学
担当者名	三幣 晴三

講義のねらい 人間にとっての余暇の意義を特にスポーツと健康の両面から説き明かす。特にスポーツについては世界と日本の現状を説明しながらそのときどき話題に触れて考える。健康については、実技を交えて説明し、どうしたら健康な生き方ができるかを考える。教科書はないが授業で配布するプリントを中心に授業を進める。

講義の内容・授業スケジュール

第1時限: オリエンテーション<授業の進め方>
第2時限: スポーツの歴史と現在
第3時限: 人間とスポーツ<ホモ・ルーデンス>
第4時限: "
第5時限: ワールドスポーツの現状<ワールドカップ・オリンピック>
第6時限: "
第7時限: 日本のスポーツの現状
第8時限: "
第9時限: My Exercise のすすめ
第10時限: My Exercise の実践<実技>
第11時限: 体操競技の歴史と現状
第12時限: "
第13時限: 駒澤大学スポーツの歴史と現状
第14時限: 人生と健康
第15時限: 総合テスト

履修上の留意点 毎時限出席は取るが、それだけでは単位認定はできない。ときどき実施する小テストと最後に行う総合テストの成績も重要である。

成績評価の方法 出席は毎時限とるが、出席と小テスト・総合テストを総合的に評価して単位認定を行う。

教科書 特になし
参考書等 特になし

Ⅱ 専門教育科目

経営学科フレックスA

履修コード	135901・136001
科目名	経営学
担当者名	^{かしま ひであき} 鹿嶋 秀晃

講義のねらい	<p>中学・高校の授業において「公民」、「現代社会」、「政治経済」、「商業」等を学習したことがあると思われるが、一つの学問・授業として「経営学」を学ぶ機会ほとんどなかったであろう。経営学科においては2年次以降専門的な科目を履修していくことになる。そこで本講義では、専門的学習に入る前に、経営学の各分野における基本的用語・内容、概念および理論について解説を行う。解説の際には、実例・具体例を用いてなるべく理解しやすい講義にしたいと考えている。経営学の基礎の勉強を通じて、企業や経営に少しでも関心を持ち、今後の専門科目の履修・学習につなげてもらえれば幸いである。</p>
講義の内容・授業スケジュール	<p>以下のテーマ・スケジュールで講義を行なう予定。初回はガイダンス。1) 経営学とは(第2回)、2) 企業形態(第3～5回)、3) 経営財務(第6～7回)、4) 経営組織(第8～10回)、5) 経営戦略(第11～13回)、6) 経営労務(第14～16回) 7) 生産管理(第17～19回)、8) マーケティング(第20～22回)、9) 企業経営の国際化(第23～25回)、10) コーポレートガバナンス(第26回)、11) 企業の社会的責任(第27回)、12) 現代の経営問題とまとめ(第28～30回)</p>
履修上の留意点	<p>(1) 出席点は無し。(2) 私語は真剣に聞いている他の学生に迷惑になるので厳禁。(3) 携帯電話は消音。ひどいときには退室させ、単位認定をしない。板書される内容以外にも重要な事は積極的にノートをとること。</p>
成績評価の方法	<p>レポートと小テスト、期末試験の合計点で評価する。成績評価に関わる重要事項については実施の2週間前までに予告をする。</p>
教科書 参考書等 その他	<p>特に指定しないが、講義において適宜、参考書を紹介する。 特に指定しないが、講義において適宜、参考書を紹介する。 http://www.komazawa-u.ac.jp/~kashima を参照のこと。</p>

履修コード	136011
科目名	経営学
担当者名	高井 徹雄 <small>たかい てつお</small>

講義のねらい

経営学は、「企業(組織体)の経営」を経営管理 (management) の問題と捉えて、科学的・システムの的に探究する学問である。経営学は経済学と混同されがちだが、まず両者の相違について理解する必要がある。例えば、経済学の「企業経済学」(managerial economics) は、隣接する分野として重要だが、企業の経営管理の問題を中心テーマとしない点で経営学とは異なる。

本講義の狙いは、経営学の成立から現代経営学に至る系譜をたどりながら、その問題意識の変遷について理解を深め、経営学を学ぶ者としてのアイデンティティを形成していただくこと。また、各専門科目を学んで行くために必要な、ものの見方、考え方を確立していただくことにある。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 イントロダクション(第1回)： 講義内容とスケジュールについて
 - 2 経営学の基礎(第2回～第3回)：
 - (1) 経営学の目的と基礎概念
 - (2) 企業(組織体)の行動を見る科学的・システムの視点
 - (3) 「経営学」と「経済学」の相違について
 - 3 経営学の系譜： その成立から今日に至る発展の経緯
 - (1) 経営学前史(第4回)
 - (2) 古典的経営管理論(第5回～第7回)： 2人の創設者、テイラーとフェイヨル
 - (2-1) 課業管理：テイラーの科学的管理法
 - (2-2) 管理の過程：フェイヨルの管理原則
 - (2-3) 経営工学への展開
 - (3) 人間関係論(第8回～第9回)： レスリスパーカーの捉え方
 - (3-1) ホーソン実験
 - (3-2) 企業における人的組織の捉え方
 - (4) 組織と経営管理論(第10回～第11回)： パーナード革命
 - (4-1) 協働体系における個人の役割
 - (4-2) 組織の概念
 - (4-3) 管理職能の本質
 - (5) 管理行動の理論(第12回～第13回)： サイモンによる意思決定の組織
 - (5-1) 組織における人間行動と意思決定
 - (5-2) 組織における客観的合理性
 - (6) 組織理論(第14回～第15回)： サイアート＝マーチ＝サイモンの組織理論
 - (6-1) 人間行動の動機的側面と合理的側面
 - (6-2) 組織分析の基礎概念
 - 4 現代経営学の潮流
 - (1) サイモン： システムの科学(第16回～第18回)
 - (2) ドラッカー： 企業経営に関する社会生態学的観点(第19回～第20回)
 - (3) ポーター： マーケティング、競争の戦略(第21回～第22回)
 - (4) 経営戦略の理論(第23回～第24回)
 - (5) 個別の経営論(第25回～第30回)： 生産管理、流通管理、人的管理、技術経営(MOT)
- 毎回出席をとる。小テストやアンケートへの回答を求めることがある。
前期末の授業時間中に中間試験、後期定期試験期間中に期末試験を実施
「テキスト経営学－基礎から最新の理論まで」(第3版) ミネルヴァ書房3360円
補足が必要な場合は適宜プリントを配布する

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書

履修コード	135001
科目名	経済学概説
担当者名	<small>あらい やすひろ</small> 新井 泰弘

講義のねらい

本講義では、経済学の基礎的な概念や考え方を学び、それらを使って現実の経済問題を理解する力を養う事を目的としています。前期はミクロ的な視点から、後期はマクロ的な視点から経済の動きについて学びます。

講義の内容・授業スケジュール

前期のミクロ経済学では、各消費者や生産者の経済行動を分析し、それをもとにして市場の機能を説明するものです。

(前期)

1. 経済学とは何か?, 2~4. 市場機能の働き (1) 需要曲線と供給曲線, (2) 市場の均衡, (3) 価格の変化, 5~7. 消費者の行動理論 (1) 予算制約式と無差別曲線, (2) 効用最大化問題, (3) 需要曲線の導出, 8. 中間試験, 9~11. 生産者の行動理論 (1) 生産関数と費用関数, (2) 利潤最大化問題, (3) 供給曲線の導出, 12~13. 一般均衡と資源配分, 14. 独占の理論, 15. 期末試験

後期のマクロ経済では個々人の行動ではなく、特に市場全体の動きに注目して経済の動向を分析します。

(後期)

1. マクロ経済学とは?, 2~4. GDPの概念, 5~6. GDPの決定: 財市場分析, 7. 中間試験, 8~9. 金融市場分析 (1) 貨幣需要, (2) マネーサプライ, 10~11. GDPの決定: IS-LM分析, 12. 財政・金融政策の効果, 13. 総需用と総供給, 14. インフレーション・デフレーション, 15. 期末試験

履修上の留意点

授業に出席するだけでなく、教科書や参考文献を読んで自分の頭で考える事が重要になります。わからない事柄をそのままにして進まないように気をつけてください。

成績評価の方法

成績は中間試験と期末試験によって評価します。

教科書

スティグリッツ著、藪下史郎他訳『ミクロ経済学』(東洋経済新聞社)

参考書等

伊藤元重著『マクロ経済学』(日本評論社)

授業内で適宜指示します。

履修コード	134901・135011
科目名	経済学概説
担当者名	滝田 公一

講義のねらい	経済学の初歩について講義します。前期はミクロ経済学について、後期はマクロ経済学について述べます。
講義の内容・授業スケジュール	<p>第1回 経済学とは？</p> <p>第2回 完全競争市場</p> <p>第3回 消費者の行動</p> <p>第4回 生産と費用</p> <p>第5回 企業の理論</p> <p>第6回 独占企業</p> <p>第7回 不完全競争</p> <p>第8回 完全競争下の生産要素市場</p> <p>第9回 不完全競争下の生産要素市場</p> <p>第10回 不確実性と危険の選好</p> <p>第11回 情報の経済学</p> <p>第12回 一般均衡と経済厚生</p> <p>第13回 市場の失敗</p> <p>第14回 マクロ経済学のデータ</p> <p>第15回 国民所得</p> <p>第16回 貨幣とインフレーション</p> <p>第17回 IS-LM分析</p> <p>第18回 財政政策</p> <p>第19回 金融政策</p> <p>第20回 総需要と総供給</p> <p>第21回 為替レートと国際市場</p> <p>第22回 短期開放経済</p> <p>第23回 経済成長</p> <p>第24回 景気変動</p> <p>第25回 マクロ経済学のミクロ的基礎</p>
履修上の留意点	特別、予備知識は必要ありません
成績評価の方法	学年度末の定期試験で評価します。
教科書	R.D.ブレアー-L.W.ケニー、『現代ミクロエコノミクス』、多賀出版
参考書等	N.G.マンキュー、『マクロ経済学I,II』東洋経済新報社 倉澤資成、『入門価格理論』、日本評論社 中谷巖、『入門マクロ経済学』、日本評論社

履修コード	135301
科目名	簿記学
担当者名	大野 満奈

講義のねらい	簿記は会計学の基本であり、複式簿記の計算構造は、会計学のどの分野を学ぶにしても前提的に理解されることが必要である。この意味において、簿記の基本原則を理解し、経営学部に進学する者が最低必要とされる簿記知識を修得することを目的とする。
講義の内容・授業スケジュール	<p>前期</p> <p>1. 簿記・会計の意義と目的, 2. 企業の財政状態-貸借対照表, 3. 企業の経営成績-損益計算書, 4. 取引と仕訳, 5. 勘定記入と元帳の締め切り, 6. 帳簿・伝票・証ひょう, 7. 試算表の作成(1), 8. 精算表の作成(2), 9. 現金・預金, 10. 小口現金, 11. 商品売買の処理と仕入帳・売上帳, 12. 総合復習, 13. 総合復習</p> <p>後期</p> <p>1. 商品有高長, 2. 売掛金・買掛金と人名勘定, 3. 有形固定資産の取得と売却, 4. 資本金と引出金, 5. 試算表の作成(2), 6. 売上原価の計算と決算仕訳, 7. 貸し倒れの見積りと減価償却, 8. 精算表の作成(2), 9. 有価証券, 10. 手形取引, 11. 費用・収益の見越しと繰り延べ, 12. 精算表の作成(3), 13. 総合復習</p>
履修上の留意点	簿記は自分で練習問題を解き、照合することによって初めて修得できるものであるから、原則として毎回出席して要点を理解し、自宅では毎回の復習に心掛けること。また、疑問点は、積極的に質問することによって早期に解決しておくこと。
成績評価の方法	試験の点数・出席回数・提出物の三点をもって総合的に評価する。
教科書	『要点整理 日商簿記検定練習問題』3級(一橋出版)

履修コード	135101・135701
科目名	簿記学
担当者名	小田 幹雄 <small>おだ けんゆう</small>

講義のねらい	簿記を初めて学ぶ学生のために設けられた基礎知識を理解してもらうクラスです。簿記は日常の経済活動の状態を数値的に把握し、記録するための大切な手段であるので、本講座では「簿記とはどのようなものか」ということを認識してもらうために、プリントや練習問題により、簿記学習の基礎である資産・負債・資本の概念、収益・費用の意味について理解してもらいたい。また、勘定科目の意味を理解し、簿記一連の流れである仕訳・転記・試算表・決算修正・決算等についての基本的問題について正確に理解してもらいたい。
講義の内容・授業スケジュール	講義の内容は次のようになります。 I 複式簿記の原理：複式簿記の計算構造・簿記一巡の手順 II 期中取引の処理：現金預金、商品売買、売掛金・買掛金、受取手形・支払手形 III 決算に必要な処理：決算修正仕訳・残高試算表の作成など IV 帳簿処理の合理化：伝票制度、(コンピューター簿記)
履修上の留意点	簿記の学習は「自分自身がペンと電卓をもって練習問題を数多く解くこと以外にはない」との私の教育方針から、練習問題を解かせるし、テストや宿題を出すこともある。テスト用紙は必ず提出すること。出欠席のチェックは毎回行う。
成績評価の方法	講義時のテストおよび、宿題の点数を合計し、更に、定期試験の点を加算し、再び平均点を出して評価する。そのため、講義中のテストや宿題の未提出者は当然平均点が下がることになるから注意をすること。
教科書	羽瀧信宏監修『簿記テキスト―商業簿記―初級編』（共栄出版）2,000円程度 中村義彦編著『基本簿記演習』（プレスウェーブ）1,524円＋税

履修コード	135811
科目名	簿記学
担当者名	猿山 義広 <small>さるやま よしひろ</small>

講義のねらい	この講義の目的は、簿記の基本原則と企業簿記の一巡について理解することにある。簿記の知識は、すべての人にとって有用だが、とりわけ経営者にとっては必須の知識と言ってよい。この講義を通じて、企業の財政状態や経営成績をより正確に記録し把握できるようになるだろう。
講義の内容・授業スケジュール	第1回 簿記の基本概念、第2回 簿記一巡の手続、第3回 試算表と精算表、第4回 現金と預金1、第5回 現金と預金2、第6回 商品売買1、第7回 商品売買2、第8回 商品売買3、第9回 債権・債務1、第10回 債権・債務2、第11回 手形1、第12回 手形2、第13回 第1回から第12回までのまとめ、第14回 有価証券、第15回 貸倒損失と貸倒引当金、第16回 固定資産、第17回 費用・収益の見越しと繰延べ、第18回 決算1、第19回 決算2、第20回 純資産と税金、第21回 帳簿と伝票1、第22回 帳簿と伝票2、第23回 株式会社会計1、第24回 株式会社会計2、第25回 本支店会計、第26回 第14回から第25回までのまとめ、第27回 復習テスト1、第28回 復習テスト2、第29回 復習テスト3、第30回 本試験
履修上の留意点	簿記では、会計処理や記帳法の技術を習得することが重要なので、授業においては可能なかぎり計算問題を解くようにしたい。講義の重点は計算問題の解法に置かれるので、かならず電卓を持参すること。
成績評価の方法	年間で6回行う授業中の小テストを20%、本試験を80%のウエイトで評価を行う。本試験は電卓以外の参照は一切不可なので、注意してほしい。
教科書	毎回プリントを配布するので、とくに指定する教科書はないが、計算問題については日商簿記3級商業簿記および2級商業簿記の過去の検定試験において出題された問題を参考にしてほしい。プリントは毎回配布するので、きちんと保存するようにしてほしい。
参考書等	個々の項目の内容については、中央経済社や税務経理協会が発行している日商簿記3級商業簿記および2級商業簿記のテキストが参考になる。また、問題の解法については、専門学校が編集・発行しているテキストに詳しく説明されているので、そちらを参照すること。
その他	少しでも疑問な点があれば、授業中でも授業終了後でもかまわないので、積極的に質問すること。プリントは大切に保存してほしいが、もし紛失してしまったときは遠慮なく申し出ること。最後まであきらめることなく、粘り強く勉強してほしい。

履修コード	135201
科目名	簿記学
担当者名	高田 光明 <small>たかだ みつあき</small>

講義のねらい 企業が元手となる資本を調達したり、調達資本で商品を仕入れて販売するといった営業活動を実施すると、企業資本が増減変化する。こうした資本の動きを把握するために必要とされるのが、複式簿記である。

講義の内容・授業スケジュール 複式簿記を学ぶ簿記学は、大学に於ける会計関係の科目を履修する基礎・出発点としての位置にある。簿記学のこのような性格に配慮し、この授業では、受講者が、会計関係の諸科目をこれから学んでいける発展性のある学力を身に付けられることを目指す。そのためには、複式簿記を理論的に理解できるようにする必要があるため、会計学との関連に留意しながら授業を行う。

この授業では、複式簿記について、その基本構造と、帳簿の開始記入時から決算手続きを経て帳簿の締切り手続きに至る一巡の主要手続きを系統的に理解できるようになることをまず主眼とする。そこで、次の順番で授業を進めていく。

(1) 簿記の学び方、(2) 資本と資産、(3～5) 勘定の記入、(6～8) 取引の分解、(9～10) 収益と費用、(11～12) 仕訳と転記、(13) 試算表、(14～15) 精算票と財務諸表、(16～17) 決算と決算手続、(18～20) 商品売買、(21) 現金・預金、(22～23) 売掛金・買掛金、(24～25) 手形、(26～28) その他の取引、(29～30) 決算整理

履修上の留意点 簿記の学習には、記帳練習が不可欠である。授業中にあるいは宿題の形で課す記帳練習のノルマを果たし、簿記の仕組みを言わば体得するという姿勢も大事である。

成績評価の方法 中間と期末に実施する試験（それぞれ50%ずつ）により評価する。
教科書 沼田嘉穂著『簿記教科書』、同著『簿記教科書・記帳練習帳』（同文館）

専門教育

履修コード	135401・135601・135801
科目名	簿記学
担当者名	水野 恵子 <small>みずの けいこ</small>

講義のねらい 初めて簿記を学ぶ学生を対象に、簿記の基本原則を解説する「簿記入門」の授業です。この講義では、簿記検定3級程度の知識の習得を目的とします。

- 講義の内容・授業スケジュール**
- | | |
|---------------|-----------------|
| 1. 簿記を学ぶにあたって | 1. 現金・預金 |
| 2. 簿記上の取引と勘定 | 2. 仕入・売上 |
| 3. 取引の仕訳 | 3. 手形 |
| 4. 勘定への転記 | 4. 債権・債務 |
| 5. 試算表の作成 | 5. 有価証券 |
| 6. 精算表の作成 | 6. 固定資産 |
| 7. 決算手続 | 7. 資本金 |
| | 8. 貸倒償却費の計算 |
| | 9. 減価償却費の計算 |
| | 10. 収益と費用の見越・繰延 |
| | 11. 8けた精算表の作成 |

履修上の留意点 簿記は、練習問題を多く解くことで力がつきます。そのため、授業の復習は不可欠です。検定合格には、一步一步の努力が重要です。授業中の私語は厳禁。

成績評価の方法 前期と後期の定期試験、講義の際の小テストの点数を基本に評価します。出席状況も考慮します。

教科書 『日商簿記検定テキスト基本問題集三丁版3級』、実教出版 650円 ISBN4-407-04623-6

参考書等 『簿記テキスト』羽淵信宏 岩谷伸一監修 共栄出版 1,845円

その他 必要に応じレジュメを配布します。

履修コード	135501
科目名	簿記学
担当者名	矢島 正

講義のねらい この講義は簿記をはじめて学習する学生を対象とし、通年で日商簿記検定3級程度の知識を身につけることを目的としています。

講義の内容・授業スケジュール 簿記とは日常の経営活動を帳簿に記録、計算、整理して企業の財政状態及び経営成績を的確に把握する技術です。この技術によって、企業の経営管理及び経営計画が可能となります。よって、経営者及び利害関係者にとって、簿記は必要不可欠な技術であると考えられます。問題意識をもって積極的な姿勢で受講することを強く望みます。

履修上の留意点 1. 簿記の基礎概念, 2. 簿記一巡, 3. 現金預金取引, 4. 小口現金, 5. 商品売買取引, 6. その他の債権債務, 7. 手形取引, 8. 有価証券, 9. 固定資産, 10. 資本, 11. 決算
必ず電卓を用意してきてください。

成績評価の方法 出席・宿題(30%)、期末テスト(70%)によって評価します。

教科書 講義初日にお知らせいたします。

参考書等 染谷恭次郎、新井清光、岡本清監修『新検定簿記講義3級 商業簿記』中央経済社

その他 是非、日商簿記検定3級を目指してみてください。

履修コード	136101・136211
科目名	会計学
担当者名	岸田 隆行

講義のねらい 経済活動において、会計は必須の技術である。本講義では、会計の必要性および機能を理解するために、会計の各専門領域について広く浅く講義を行っていく。2年次以降に履修する各会計科目の基礎となる科目であるので、会計の考え方について、本講義でしっかりと理解をしてもらいたい。

講義の内容・授業スケジュール

前期	後期
① 会計とはなにか	① 原価計算(1)
② 会計の基礎	② 原価計算(2)
③ 複式簿記	③ 原価計算(3)
④ 会計基準(1)	④ 管理会計(1)
⑤ 会計基準(2)	⑤ 管理会計(2)
⑥ 財務会計(1) 費用・収益	⑥ 管理会計(3)
⑦ 財務会計(2) 資産	⑦ 経営分析(1)
⑧ 財務会計(3) 負債	⑧ 経営分析(2)
⑨ 財務会計(4) 資本	⑨ 税務会計(1)
⑩ 連結会計	⑩ 税務会計(2)
⑪ 国際会計	⑪ 監査(1)
⑫ 中間試験	⑫ 監査(2)

履修上の留意点 会計を習得するためには理論を理解した上で、実際に自分の手を動かして、計算をしてみることが必要である。講義では理論を説明した後、計算問題を解くことによって、理解を深めていく。したがって、本講義を受講するにあたっては、必ず電卓を持参すること。

成績評価の方法 中間試験30点、定期試験70点によって評価する。また、講義中に課すレポートや小テストの結果を加味する。

教科書 教科書は指定しない。毎回プリントを配布する。

参考書等 適宜紹介する。

履修コード	136201
科目名	会計学
担当者名	岩淵 昭子

講義のねらい 会計の目的は、一般的に複式簿記の手法等によって、組織（主に企業）の経営成績および財政状態を明らかにして、企業を取り巻く利害関係者に会計情報を提供することにあります。簿記学は主に帳簿記入のルールを学習するのに対し、会計学は理論的なフレームワークや会計制度を学習します。会計学は、組織（主に企業）の経営活動を主に貨幣金額で表したデータの意味を理解することに役立ちます。本講義では、会計学を経済社会の動きとも関連して学習します。

- 講義の内容・授業スケジュール**
1. ガイダンス、総論
 2. 会計の仕組み
 3. 企業会計の理論的特徴（会計公準・会計原則）
 4. 企業会計制度
 5. 資産会計
 6. 負債会計
 7. 資本会計
 8. 損益会計
 9. 財務諸表の作成
 10. 連結財務諸表

履修上の留意点 簿記学と平行して受講すると、会計学を理解することが容易になります。
成績評価の方法 中間試験、期末試験、出席、小テスト、受講態度などを総合的に評価します。
教科書 『現代会计学 [第9版]』、新井清光著・川村義則補訂、中央経済社、2,600円＋税

履修コード	136251
科目名	市場戦略概説
担当者名	青木 茂樹

講義のねらい 現在、モノが売れずに不況となっているのは、魅力あるサービスやモノがまだまだ製造・販売されていないことにある。第二次世界大戦後のモノ不足の時代であれば、モノを製造すれば売れるという生産者の論理の時代だったし、人々はモノの豊かさに満足していた。

しかし、今日は需要者・生活者の論理の時代である。ある程度の生活水準が満たされた今日、モノ自体に対するニーズは少なくなっている。しかし、いまだ日本の生活者の満足は満たされているとは言えない。孤立する高齢者や若者、安心安全の崩壊、携帯電話やインターネットの可能性と危険性、狭い住宅事情、美観を損なう景観、etc. …。まだまだ、解決されるべき課題は多く、企業も行政もこうした問題を競争・協調しながら解決していくことで、新しい市場が創造されていくのである。

マーケティングの考え方は、生活者の諸問題をいかに解決・支援していくかという思考方法によって市場を創造し続けて（Market+ing）いくことにあり、生産者の論理と生活者の論理を架橋するという、注目すべき役割がある。

前期においては、従来のマーケティング理論の基礎的な部分を、後期においては、最近の話題のマーケティングの諸理論、諸仮説を提示する。

講義の内容・授業スケジュール 1～2) What's Marketing? 3～5) 基礎用語の整理 6～7) マーケティング・マネジメントの基礎、8～9) ケーススタディ、10～11) 市場細分化戦略とターゲット・マーケティング、12～13) 4Ps 戦略の基礎、14) 前期まとめ

15) 戦略的マーケティングの論理 16) 競争対抗戦略とポートフォリオ分析、17) 国際マーケティング、18) サービス・マーケティング、19) 産業財マーケティング、20) 非営利組織のマーケティング、21-22) ウェブサイト・マーケティング、23) ケーススタディ、24) マーケティングと法規制、25) 顧客満足とマーケティング、26) バリューチェーン分析とブルーオーシャン戦略、27) ケーススタディ、28) まとめ

履修上の留意点 講義形式ではあるが、学生・教員、相互に名札を付けるなどして、学生の主体的な発言と双方向のコミュニケーションを促す。

成績評価の方法 毎回の小テストと、個人レポート（またはテスト）の評価をベースとする。場合によっては、グループレポートおよびその発表を評価に加えることもある。また、講義内の自主的発言1回に対して1点以上のボーナス点が与えられる。

教科書 高嶋克義・桑原秀史（2008）『現代マーケティング論』有斐閣アルマ
 和田充夫、日本マーケティング協会編（2005）『マーケティング用語辞典』日本経済新聞社。
参考書等 原田保・三浦俊彦他（2008）『マーケティング戦略論』芙蓉書房。

履修コード	139701
科目名	経営管理論
担当者名	渡辺 伊津子

講義のねらい 現代社会において財・サービスといった価値の生産は、企業に代表される組織的な活動単位に委ねられています。この組織的な営みに不可欠な「経営管理」に関する基礎概念を理解し、理論的思考を身につけることを目的とします。

講義の内容・授業スケジュール (1) 経営管理の全体像をつかむ (2～6) 管理者の役割(「管理」という問題の出現、経営「管理論」の発展の概説、経営管理論の代表的なパイオニアたち、経営管理論における管理者像の変遷、『マネジャーの仕事』H.ミンツバーグを中心に) (7～12) 企業の仕組みを管理する(経営管理の対象としての組織、経営組織の発展段階、経営組織の発展段階にみる経営管理の課題、創始と実施という問題、組織設計という具体的な問題、事例としての「インテルのマトリックス管理」(13～18) 経営環境と企業との関係を管理する(企業を取り巻く環境、環境と経営組織の適合関係について、企業の方針と経営理念、経営管理からみた企業の活動領域とは、活動領域の決定と変更、事例としての「GE 社の新事業開発」) (19～24) 企業で働く人々を管理する(動機づけとリーダーシップ、職務設計に関する諸理論、作業組織とチーム・マネジメント、経営管理とキャリア設計との関係、経営管理と成果主義との関係、事例としての「キャノンの組織と人事システム」) (25～30) 変革プロセスを管理する(インフォーマル集団の果たす役割について、企業「らしさ」という問題について、企業文化と経営管理との関係、変革プロセスの管理、事例としての「NUMMIの変革プロセス」、(30) 総括

成績評価の方法 学期末試験(70%)と授業中に行う確認テスト(30%)で評価します。
教科書 必要に応じて資料を配布する予定です。
参考書等 山倉健嗣・岸田民樹・田中政光著 『現代経営キーワード』 有斐閣双書
 1,800円+税 ISBN 4-641-05870-9

履修コード	140201
科目名	経営組織論
担当者名	日野 健太

講義のねらい 組織論のフレームワークによって、企業をはじめとする組織を分析できるようになることを目的とする。そのための基本概念と思考方法を学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール 経営組織論の内容は、大きく分けて、組織の環境適応を扱うマクロ組織論と、組織における集団、個人を扱うミクロ組織論に大別される。この講義は、ミクロ組織論、マクロ組織論の順序で講義を進める。学生諸君が具体的なイメージを持てるように、配慮する。また、学年末の数は、組織論の分野の新しい理論やトピックについて扱い、全体的な理解が深まるようにする。

履修上の留意点 講義の対象と回数は以下の通り 1. 組織論における組織観と人間観(4) 2.モチベーション(4) 3. リーダーシップ(4) 4. 組織文化(3) 5. 組織の環境適応(5) 知識創造理論(1) その他まとめや中間テスト(3) 回数は文科省対策として示す。詳細なシラバスは開講時に配布する。

どうすればうまく学べるか、を意識して講義に参加すること。試験前に困っている友達にノートを貸して、講義の内容を教えてあげられるようになれば完璧。大学の e-learning サイト YeStudy で出席をとったり教場で配布した配布物を入手できるようにする予定。教場には、想像力を持参すること。

成績評価の方法 後期の授業開始日に中間試験を行う。このテストのウエイトが40%程度、学年末の定期試験のウエイトが60%程度。大まかには、この二つが成績を決める。中間試験を欠席するのは、即不可ではないが、致命的である。

教科書 金井壽宏『経営組織』(日経文庫)
参考書等 桑田・田尾『組織論』(有斐閣)
 大月・藤田・奥村『組織のイメージと理論』(創成社)
 田尾『モチベーション入門』(日経文庫)
 経営学辞典の類、例えば、二神編著『ビジネス・経営学辞典』(中央経済社)などもなにかと重宝である。

その他 夜間の時間帯に履修を希望する学生は、必ず今年度中に履修すること。このスタイル(成績評価を含め)での夜間での開講は今年度を最後とする。

履修コード	136301
科目名	経済原論
担当者名	あかし ひろゆき 明石 博行

講義のねらい

本講義では、資本制の経済社会（資本制経済）を対象とする経済社会学の基礎理論について、入門的な講義をします。資本制社会は、近代から現代にかけて生まれ、発展し、変化してきた、現代世界における支配的な経済社会です。この講義では、この資本制社会について、そこにはどのような経済的な仕組みと法則があるのか、資本制社会の思想・法律・政策などは経済の仕組みや法則によってどのように影響され制度化されるのか、社会的に埋め込まれた諸制度によって資本制経済はどのような変容を受けるのか、について説明します。資本制経済の仕組みや法則に関する基礎認識および資本制社会に関する概括的な認識を得られるよう援助することが、この講義の基本的な課題です。

講義の内容・授業スケジュール

序論的な解説を行う序章ののち、(1)市場(2)貨幣の資本への発展(3)資本と労働(4)資本の蓄積と再生産(5)資本の流通(6)資本と利潤(7)資本の諸姿態(8)資本制社会における市民・階級・階層、という8つの章からなる本論について、その第1章から4章までに重点をおいて授業をします。講義予定のおおまかなスケジュールは以下のとおりです。

- | | |
|--------------------|------------------------|
| 第1回 講義紹介 | 第2章 貨幣の資本への発展 |
| 序章 経済社会学と経済原論 | 第17回 資本の一般的定式とその矛盾 |
| 第2回 経済社会学と経済学 | 第18回 商品の購買と消費 |
| 第3回 科学的社会主義の学説 | 第3章 資本と労働 |
| 第4回 科学的社会主義の知的遺産 | 第19回 資本による生産と労資型生産様式 |
| 第5回 経済社会把握の基本 | 第20回 剰余価値を増大させる諸方法 |
| 第6回 伝統的な経済観と経済学 | 第21回 賃金制度 |
| 第7回 経済学の拡張と展開 | 第4章 資本の蓄積と再生産 |
| 第8回 資本制の社会と経済 | 第22回 資本の蓄積と再生産 |
| 第1章 市場 | 第23回 雇用と失業 |
| 第9回 商品の二面的性格 | 第24回 身分階層型生産様式と階層分化 |
| 第10回 商品価値 | 補章 資本の流通と資本の諸姿態 |
| 第11回 商品の価値形態と物神的性格 | 第25回 資本の流通 |
| 第12回 交換過程 | 第26回 資本と利潤 |
| 第13回 貨幣の諸機能 | 第27回 商業・信用・地代 |
| 第14回 貨幣制度 | 第28回 資本制社会における市民・階級・階層 |
| 第15回 インフレとデフレの基礎理論 | |
| 第16回 市場型生産様式と市民社会 | |

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書
参考書等

講義に出席し、ノートをとる必要があります。
出席点、レポート、年度末の定期試験の結果を総合的に判断し、評価をします。
教科書は使用しません。講義時に毎回プリントを配布し、講義を理解できるよう援助します。
なお参考書として、大谷禎之介『図解・社会経済学』（桜井書店）3,000円＋税も使用します。

履修コード	136402・136401
科目名	近代経済学 産業組織論
担当者名	なきた こういち 滝田 公一

講義のねらい

産業組織論の入門的講義を行います。産業組織論は、企業や産業についての経済学的分析を取り扱います。

講義の内容・授業スケジュール

第1回 産業組織論とは？、第2回 企業の理論、第3回 産業の分類と集中度、第3回 完全競争と厚生経済学、第5回 独占、第6回 ゲームの理論I、第7回 寡占理論、第8回 ゲームの理論II、第9回 寡占の動学理論、第10回 製品差別化、第11回 垂直的統合と垂直的制約、第12回 水平合併、第13回 産業規制の経済理論、第14回 自然独占

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書
参考書等

経済学概説の知識、特に、ミクロ経済学の知識があると役に立ちます。
学年度末の筆記試験で評価します。
特に、指定しません。

Church and Ware, Industrial Organization, McGraw-Hill, 2000.
Carlton and Perloff, Modern Industrial Organization, HarperCollins, 1994.
ロジャー・クラーク『現代産業組織論』（多賀出版）1989年
新庄浩二ほか『産業組織論』（有斐閣ブックス）1995年

履修コード	142201
科目名	財務会計論
担当者名	やまだ じゆんへい 山田 純平

講義のねらい 本講義では、企業活動がどのようなルールに従って、外部利害関係者に報告されているかについて主に解説します。詳細な会計ルールをおぼえることよりも、会計ルールがどのような考え方に基づいているか、なぜそのような考え方をとるのかといった点について重点的に説明するつもりです。この講義を受講することにより、財務会計に関する新聞記事の内容を検討できるとともに、各企業が公表している有価証券報告書が分析できることを目標とします。

講義の内容・授業スケジュール
 第1～2回：会計の目的と役割
 第3～5回：複式簿記のシステムと資産評価の考え方
 第6～7回：企業の設立と資金調達の会計
 第8～12回：仕入・生産・販売活動の会計
 第13～15回：設備投資と研究開発の会計
 第16～18回：資金運用の会計
 第19～20回：国際活動に関する会計
 第21～22回：税金と配当に関する会計
 第23～25回：財務諸表の作成と公開
 第26～30回：企業集団の財務報告、財務諸表による経営分析

履修上の留意点
成績評価の方法 簿記学と会計学を履修していることが望ましいです。
 期末試験65%、小テスト25%、出席10%。
教科書 川本淳他『はじめて出会う会計学』有斐閣
参考書 授業中に適宜指示します。
その他 私語がひどい学生は退席してもらった場合があります。

専門教育

履修コード	144101
科目名	外書講読（英書I）
担当者名	えだまつ まさゆき 枝松 正行

講義のねらい 講義では、英書経営学の古典のなかから複数の論文を精選して現代経営学の基礎理論を学習する。そのうえで、規制改革と競争政策についての最新の英文プログラムを読み解きながら、グローバルゼーションと日本的経営の変容をリアルタイムで分析する。

講義の内容・授業スケジュール 授業は、事前に配布したプリントを毎回交代に和訳してもらい、最初は専門用語の定訳と基本構文の点検・解説・確認テストを繰り返し、徐々に、本格的な長文へと読み進め、前後期とも学期末には、それぞれ学習範囲の復習テストを行う。

履修上の留意点 内容的には、The Practice of Management と The Pension Fund Revolution などの古典的テキストや The U.S.-Japan Regulatory Reform and Competition Policy Initiative に基づいてアメリカ側から示された公文書の最新版などを抜粋して利用する予定である。

論文読解の鍵は専門用語の理解度にある。授業では、使用頻度の高いテクニカル・タームの定訳を和英2か国語で早めにマスターできるように、なるべく公平にあらかじめ分担を決めて訳語・訳文を報告して貰い、成果を全員で共有しながら進めるので、欠席しないことが肝要。また、いうまでもないが、英和辞典を忘れないこと。

成績評価の方法 関連科目として私が担当する「公益企業論」や「社会科学論」の並行履修も勧める。

出席点（30%）・分担報告点（10%）・確認テスト（10%）・復習テスト（50%）で総合評価する。

教科書 適宜プリント教材を配布する。

履修コード	144201
科目名	外書講読（英書I）
担当者名	<small>なかの かほり</small> 中野 香織

講義のねらい 本講義では、英語で書かれた教科書を読むことを通じて、統合型マーケティング・コミュニケーション（IMC）の視点から広告やセールス・プロモーションを学ぶことを目的とする。単に英語を和訳するのではなく、教科書の内容理解に重点をおく。講義の進め方は一回の授業ごとに、発表者数名を事前に割り当て、内容を発表してもらう。

講義の内容・授業スケジュール 下記の教科書のうち、マーケティング・コミュニケーションの基礎的な理解につながる章を対象とする。

- 1章 An Introduction to Integrated Marketing Communications
- 5章 The Communication Process
- 10章 Media Planning and Strategy
- 16章 Sales Promotion

成績評価の方法 平常点（課題への取り組み、授業への参加など）50%、レポート50%で評価する。

教科書 George E.Belch and Michael A.Belch, Advertising and Promotion : An Integrated Marketing Communications Perspective(7th edition), McGraw - Hill, 2007.

参考書等 なお、講義で利用する部分は印刷して配布するので、購入する必要はない。

必要に応じて、以下の文献を参照してほしい。

亀井昭宏・疋田聰編『新広告論』2005年刊（日本経済新聞社）1,800円、嶋村和恵監修『新しい広告』2006年刊（電通）2,000円、岸志津江・田中洋・嶋村和恵『現代広告論』2000年刊（有斐閣）2,000円、上条典夫監修・内藤敏夫責任編集『実践マーケティング・コミュニケーションズ』2005年刊（電通）2,200円

履修コード	139411・139421
科目名	現代企業論
担当者名	<small>なかがわ こういち</small> 中川 功一

講義のねらい 現代に生きる我々にとって、企業とはあまりに当たり前のものである。多くの人間は、企業に所属して働き、企業から給料をもらって人生を歩む。また、我々が日常的に消費する様々な財やサービスは、企業に対価を支払って入手している。このように、我々はごく当たり前のように企業という仕組みを利用しているが、ひとたび考えてみると、企業とは具体的にどのようなものであり、そしてまた、なぜ社会に企業が存在しているのかは、必ずしも明らかではない。そこで、本講義では、「企業」とは何なのかを、多面的に分析し、その現代社会における役割や実態を理解することを目的とする。

- 講義の内容・授業スケジュール**
- 第1章：企業活動の実態（第2回～第6回）
 - 第2章：株式会社論（第7回～第12回）
 - 第3章：社会・経済・個人にとっての企業の役割（第13回～第18回）
 - 第4章：日本における企業のあり方（第19回～第23回）
 - 第5章：現代企業に関わる諸トピック（第24回～第30回）

成績評価の方法 講義中に実施する小テストやレポート課題を30点分、期末試験70点分で評価を行う。

参考書等 三戸浩・池内秀己・勝部伸夫『企業論』2006年〔新版補訂版〕、有斐閣アルマ、2000円。

必ずしも購入しなくてもよいが、講義の内容をより正確に、かつ深く理解するためには、購入を奨励する。

履修コード	139501
科目名	経営学史
担当者名	<small>なかがわ じゆんぺい</small> 中川 淳平

講義のねらい	この講義では、100年あまりにわたる経営学の歴史上、重要なものと位置づけられる学説を、その問題意識に着目し、現代企業経営の諸問題を解決するための技法として解説を加えていく。
講義の内容・授業スケジュール	<ol style="list-style-type: none"> 1. コーポレートガバナンスのための問題解決技法（制度学派など、1-7） 2. リストラクチャリングへの問題解決技法（経営戦略論など、8-15） 3. イノベーションへの問題解決技法（生産管理論など、16-20） 4. コミュニケーションへの問題解決技法（人間関係論など、21-23） 5. セクショナリズムへの問題解決技法（経営組織論など、24-30）
履修上の留意点 成績評価の方法	<p>講義中の私語は慎んで下さい。</p> <p>定期試験100%。但し講義中などで必要に応じレポートの提出を求めることがあり、内容いかんによってこれを評定に加えることがある。</p>
教科書 参考書等	<p>中川淳平『問題解決のための経営学』泉文堂、2007年。</p> <p>授業毎に配布するプリントに適宜指示する。</p>

履修コード	141201
科目名	アメリカ経営学
担当者名	宮城 徹

専門教育

講義のねらい

世界の経営学をリードしているのは、いうまでもなく、アメリカ経営学とドイツ経営学である。そして、日本の経営学の研究・教育は、第2次大戦前はドイツ経営学から、大戦後はアメリカ経営学から圧倒的な支配的影響を受けて発展してきた。ところが、特に1960年代以降になると、ドイツ経営学にもアメリカ経営学の影響が顕著に見られるようになった。

学生諸君は、必修科目である「経営学」の授業を通じて、無意識のうちに、アメリカとドイツの経営学にかんする基礎知識をある程度身につけていることを前提とした上で、経営学徒のメッカ、アメリカ経営学をその最先端の理論的・経験的研究の基本的成果を踏まえて全般的に講義するが、主として、下記の授業計画の9つの要目について検討する。その際、日本の企業との関連についても検討を加える。

講義の内容・授業スケジュール

マイクと板書。教科書は指定しない。

この授業は1週1回90分で年間30週の時間数（ただし、期末試験日を入れて）から成る。最初の授業時間は、この科目を選択するか否かを判断するために下見に来ている学生諸君に、アメリカ経営学の1年間の授業の概要を説明する。原則として、下記の授業計画の要目をそれぞれカッコ内の授業回数（合計29回）で完結する予定である。

なお、この授業回数は一応の目安であり、授業時間が祝祭日に当る場合は授業の進展状況によって若干変更することがある。

（2009年度『アメリカ経営学』授業計画）

- I 1年間の授業の概要 (1)
- II 経営学の対象と方法 (2)
- III 意思決定と権力(パワー：マハト)(2)
- IV 戦略(特に提携、グループ、ファミリー)(2)
- V 取引コスト理論(6)
- VI プロパティ・ライツ理論(4)
- VII プリンシパル-エージェント理論(5)
- VIII 契約の理論(3)
- IX 企業のモジュラー化(4)

成績評価の方法

期末筆記試験。なお、学生諸君の理解度と教育効果を確かめるために、期末試験以外に、小試験をおこない、その結果を評価の対象に加味することがある。

〈期末試験の出題形式〉

複数の問題から1題選択して論述する。詳細は試験前の授業で説明する。

参考書等

- 1 宮城徹『企業の政治理論序説』(税務経理協会)1983：1999年
 - 2 宮城徹「企業制度とプロパティ・ライツ理論」『商学研究科紀要』(早大、第20号)1985年
 - 3 宮城徹「情報と企業経営の理論的諸問題」日本経営学会編『情報化の進展と企業経営』(千倉書房)1987年
 - 4 宮城徹「経営者論」鈴木英寿編『経営学総論』(第2版)(成文堂)1989：1999年
 - 5 宮城徹「経営学の歴史」藤芳誠一編『新版・新時代の経営学』(学文社)1983：1993年
 - 6 宮城徹「組織の経済理論の基礎構造」日本経営学会編『現代経営学の課題』(千倉書房)1997年
 - 7 宮城徹「企業統治の研究の統合の一試論」『駒大経営研究』第31巻 第1・2号、2000年
 - 8 宮城徹(単独訳書)『情報時代の企業管理の教科書—組織の経済理論の応用—』(税務経理協会)2000：2009年(A.Picot u.a.,Die grenzenlose Unternehmung, Gabler, 1998)
 - 9 宮城徹(共訳書)『新制度派経済学による組織入門』(白桃書房)1999：2007年(A.Picot u.a.,Organisation. Eine ökonomische Perspektive, Schaffer-Poeschel, 1997)
 - 10 宮城徹「企業文化と組織の経済理論」遠山正朗編著『ケースに学ぶ企業の文化』(敬愛大学学術叢書)(白桃書房)2003年
 - 11 宮城徹(訳稿)「民主的な経済政策と社会政策の理論的基礎—O. ウィリアムソンの貢献*—」
*Ingo Pies : Theoretische Grundlagen demokratischer Wirtschafts- und Gesellschaftspolitik—Der Beitrag Oliver Williamsons, in : Ingo Pies und Martin Leschke (Hrsg.) (2001) : Oliver Williamsons Organisationsökonomik, Tübingen : Mohr Siebeck, S. 1-27. 『駒大経営研究』第39巻第3・4号(2008年)
 - 12 宮城徹(訳稿)「取引対相互作用、特異性対拡散効果および結束した行為者のレーゾンデートル—組織の経済学の構想の新しい志向を求めて*—」
*Ingo Pies : Transaktion versus Interaktion, Spezifität versus Brisanz und die raison d'être korporativer Akteure—Zur konzeptionellen Neuausrichtung der Organisationsökonomik, in : Ingo Pies und Martin Leschke (Hrsg.) (2001) : Oliver Williamsons Organisationsökonomik, Tübingen : Mohr Siebeck, S.95-119. 『駒大経営研究』第39巻第3・4号(2008年)
- ここでは紙幅の関係で上記の授業内容に直接関連のある私の著書・論文・訳書だけを参考文献の一部として掲げておいたが、その他の文献については適宜紹介しておく。

履修コード	142701
科目名	ドイツ経営学
担当者名	高橋 ^{たかはし} 成夫 ^{しげと}

講義のねらい	現代のドイツの企業システムの特徴を解明するとともに、ドイツ経営学の性格や内容を、ドイツ経営学の歴史(史的展開)の中で明らかにすることにある。
講義の内容・授業スケジュール	(1~8) I. ドイツの企業システム ドイツの企業形態/所有構造と支配類型/トップ・マネジメント構造/共同決定法/企業統治 (9~11) II. ドイツ経営学の前史 (12~16) III. ドイツ経営学の生成, 科学的私経済学と技術的私経済学 (17~24) IV. ドイツ経営学の展開, <1> 私経済学的企業経済学と規範的・技術的経営経済学, <2> 理論科学的経営経済学と応用科学的経営経済学 (25~30) V. ドイツ経営学の現状(多様な構想), 意思決定志向的/システム志向的/行動理論的/新規範論的経営経済学/労働志向的個別経済学/新制度派経済学に基づく経営経済学
履修上の留意点	講義では主要な内容について出来る限り板書して説明するので、積極的に出席することが望ましい。
成績評価の方法	定期試験と出席状況等を総合して評価する。
教科書	特に指定しない。
参考書等	北野利信編『経営学説入門』(有斐閣新書)

専門教育

履修コード	140051
科目名	経営心理学
担当者名	下村 ^{しもむら} 英雄 ^{ひでゆ}

講義のねらい	産業・組織心理学およびキャリア心理学に関するテキスト、実際の職場における問題等に関する資料を取り上げて企業経営における人間の心理について説明する。また、関連する心理学の基礎的知識、基本的な論点・学説について随時紹介する。
講義の内容・授業スケジュール	毎回、授業で取り上げる一定分量のテキスト・課題を用意するので、テキストを読み、自分の経験や意見を交えて課題を完成させる。その後、授業のテーマに即して解説する。具体的には以下の事ながらを取り上げる予定。/フリーター・ニートの働き方と職業意識/大学生の就職活動/採用と面接/リアリティショックと組織社会化/ワークモチベーション/産業心理学の歴史(科学的管理法、ホーソン研究他)/組織と集団/リーダーシップ/生産性と安全性/個人のキャリア発達とキャリア理論/職務満足感と公平感/組織コミットメントと組織市民行動/職業性ストレス 他
履修上の留意点	産業・組織心理学およびキャリア心理学では、企業における人間の心理を、「個人の側」と「組織の側」の両面から考えることが重要になる。受講者は積極的に授業に参加し、将来、自分が働くということについて、また組織で人を動かすということについて、自分なりの理解を形成してほしい。
成績評価の方法	授業への出席状況(50%)、授業に課す課題に対する取り組み方(20%)、学期末のレポートでの的確な見解または独自の見解を述べている程度(30%)。
教科書	山口裕幸・高橋潔・芳賀繁・竹村和久著『産業・組織心理学』有斐閣1,800円 (ISBN4-641-12278-4)を購入すること。その他、授業中に関連するテキストを随時配布する。

履修コード	142601
科目名	生産管理論
担当者名	藤原 篤志

講義のねらい

生産管理は製造企業における生産活動の管理であり、財の生産に投入する生産諸要素（資材、設備、労働力）を総合的に調整することにより、主としてQ（品質）・C（原価）・D（納期）の側面について企業の生産効率を最大にすることを目的としている。このような生産管理の機能・特徴を体系的に解説したい。

また効率よくモノづくりを行なうシステムである各種生産システム（テイラーシステム、フォードシステム、トヨタ生産システムなど）について、主として自動車産業を中心に解説する。

以上のような企業内の管理機能としての生産管理に留まらず、企業内外での生産に関する諸活動、諸現象、諸問題についても幅広く取り上げたい。また本講義では生産や生産管理と密接に関連していることから労働者による労働も考察の対象としている

講義の内容・
授業スケジュール

以下の順序で講義を行なう。前期は生産管理の機能を体系的に解説する。生産に関する基本的な用語・概念（第2～4回）、生産計画と生産統制（第5～8回）、QCDの側面の管理（第9～11回）、生産要素に関する管理（第12～15回）。後期は歴史上代表的な生産システムについて解説する。テイラー・システム（第16～19回）、フォード・システム（第20～22回）、トヨタ生産システム（第23～28回）、セル生産システム（第29～30回）。

以上の内容の講義と並行して経済専門紙や専門雑誌の記事を紹介しながら、最近の生産上の問題や生産の効率化に関する企業での取り組みについて解説を行いたい。

履修上の留意点

講義中の私語は厳禁である。私語や携帯電話の呼出音等、講義を妨げる者は即座に退室扱いになり、また場合によって減点や単位取得不可になることもあるので注意すること。

成績評価の方法
教科書
参考書等

主として定期試験で行う。またレポートの課題が出ることもあるが、その場合は事前に通知する。指定しない。

山下高之『体系生産管理論』中央経済社、1990年

門田安弘『トヨタプロダクションシステム～その理論と体系～』ダイヤモンド社、2006年

その他、講義の中で指示する。

履修コード	143201
科目名	マーケティング論
担当者名	兼村 栄哲

講義のねらい

社会的な分業体制が成立している今日の経済においては、生産と消費の間に、主体的懸隔、量と組み合わせに関する懸隔、情報的懸隔、空間的懸隔、時間的懸隔といったさまざまな経済的懸隔が発生している。マーケティングとは、こうした経済的懸隔を架橋することによって、円滑な交換（の連鎖）を実現し、ひいては、消費者が、生産者が生産する商品を消費することを可能にする活動をいい、社会経済的な観点に立ったマクロ・マーケティング（「流通」とほぼ同義）と、個別企業のマネジメントの観点に立ったミクロ・マーケティング（いわゆる「マーケティング」）に大別される。マーケティング論は、以上の2つのマーケティングのメカニズムを研究する学問である。

本講義のねらいは、各履修者が、マーケティング論における基本的な概念ないし理論などを正確に理解することにある。

講義の内容・
授業スケジュール

(1～3) マーケティングの二義性 (4) 流通機能の意義 (5) 流通フロー（マーケティング・フロー） (6～14) 流通機能の領域 (15) 流通機構の意義 (16～17) 流通機関の意義と分類 (18～21) 小売業者の分類 (22) マーケティング・コンセプト (23) 企業におけるマーケティングの役割 (24～25) マーケティング管理 (26～27) 製品政策 (28) 価格政策 (29) プロモーション政策 (30) チャネル政策

履修上の留意点

講義中に印刷物を配布することがあるが、この印刷物は当該講義時間内にしか配布しない。やむを得ない事情により、印刷物配布時に欠席した場合には、次回講義までに知人に印刷物をコピーさせてもらうこと。

成績評価の方法

テスト 90点

出席状況 10点

教科書
参考書等

なし

兼村栄哲他4名（著）『現代流通論』（八千代出版）1999年、3,045円、ISBN：4-8429-1093-3。

宮澤永光（監修）『基本流通用語辞典』〔改訂版〕〔白桃書房〕2007年、2,625円、

ISBN：978-4-561-75169-4。

宮澤永光・亀井昭宏（監修）『マーケティング辞典』〔改訂版〕〔同文館〕2003年、2,940円、

ISBN：4-495-63492-5。

履修コード	143211
科目名	流通システム論
担当者名	あおき しげき 青木 茂樹

講義のねらい 私達の生活はあらゆる商品によって支えられており、これは流通システムがあるから成り立っている。講義では、身近な事例より興味を喚起し、その仕組みの理解を促す。今日、情報化、国際化によって、流通システムは新たな変化のうねりを迎えている。変化の時代に重要なことは現象面を追うだけではなく、どのような分析枠組みで理解・予測できるかである。また複眼的・多角的に捉えることにより、個々人の受講生が今後の流通のあり方についてのおのおの意見をもつことを目的とする。

- 講義の内容・授業スケジュール**
- 1) 流通の基礎概念と機能的アプローチ
 - 2) 流通の機関別アプローチ（小売業・卸売業）
 - 3) 流通システムとしての発展Ⅰ
 - ・第一次・第二次流通再編成の諸特徴
 - ・チェーン・オペレーションの登場と進化
 - 4) 流通を巡る法規制とまちづくりの諸問題
 - 5) 流通システムとしての発展Ⅱ
 - ・工業化社会の流通システムから情報化社会の流通システムへ
 - ・コンビニエンス・ストアのイノベーション
 - 6) 流通の情報化の進展
 - ・サプライ・チェーンからダイヤモンド・チェーンへの転換
 - ・インターネットによる流通の革新
 - 7) 流通における関係的取引の理論的認識

履修上の留意点 講義形式ではあるが、一方向とならぬよう、学生・教員相互に名札を付けるなどして、学生の主体的な発言と双方向のコミュニケーションを促し、積極的に楽しんで参加してもらえるような方向を目指したい。

成績評価の方法 毎回の小テストと、個人レポート（またはテスト）の評価をベースとする。場合によっては、グループレポートおよびその発表を評価に加えることもある。また、講義内の自主的発言1回に対して1点以上のボーナス点が与えられる。

教科書参考書等 渡辺達郎他（2008）『流通論をつかむ』有斐閣
日経MJ編（2008）『日経MJトレンド情報 マーケティング・ハンドブック〈2009年版〉』日本経済新聞社。

履修コード	139901
科目名	経営財務論
担当者名	たかだ みつあき 高田 光明

講義のねらい 経営財務論は、企業という組織体の財務活動を研究対象とする学問分野である。今日、企業の財務という場合、企業による資本の調達と運用をいっている。企業は、その活動を営むに際し、原材料・機械などの財貨や労働力といった生産要素を確保しなければならない。そのために元手となる資本を必要とする。資本の調達とは、この元手となる資本を集めることをいう。そして調達した資本で、企業は、原材料などの生産要素を取得して、製品を生産し販売するという活動を遂行する。これが資本の運用である。

資本の源泉は、それぞれ異なる特徴を持っている。したがって、生産要素の取得を賄うために必要とする資本を、どの源泉からどのくらいずつ調達するかは、企業が営業活動を実施して、調達資本をいかに効率的に運用できるかに大きな影響を与える。この授業では、以上の問題意識のもとに、次のスケジュールにしたがって講義を進め、経営財務に関する基礎的知識・基本的考え方を身に付けることを主要目的とする。

- 講義の内容・授業スケジュール**
- (1) 経済財務の領域、(2) 資本と資産、(3～4) 資本の分類、(5～6) 資本の運用形態、(7～8) 資金調達方法の特徴、(9～10) 資金調達の基本原則、(11～12) 流動・固定分類法の重要性、(13～14) 資金概念、(15～16) 企業利益の概念、(17～18) 減価償却費の性格、(19～20) キャッシュ・フロー、(21～22) リスクとリターン、(23～24) レバレッジ、(25～26) 資本のコスト、(27～28) 続・資金調達の基本原則、(29～30) 資金調達の手順

履修上の留意点 企業による財務活動に関する情報は、企業の会計システムから得られる。したがって履修にあたっては、企業会計の初歩的知識があることが望ましい。

成績評価の方法 定期試験による評価を原則とし、出席点を5点を限度に加味する。

履修コード	142401
科目名	国際経営論
担当者名	臼井 哲也

- 講義のねらい** 本講義の目的は、企業の国際化、多国籍化の動因および国際経営上の諸問題を理解するために理論と事柄について学習することにある。多国籍企業における経営戦略上の課題、解決策について検討する。
- 講義の内容・授業スケジュール** (前期) 国際経営と多国籍企業 (2~4) 企業の多国籍化 (5~7) 国際戦略経営論の枠組み (8~11) グローバル経営における組織モデル (12~15) (後期) グローバル研究開発戦略 (16~17) グローバル生産戦略 (18~19) グローバル・ソーシング戦略 (20) グローバル・マーケティング戦略とマス・カスタマイゼーション (21) 本社-子会社のマネジメント (22~23) 子会社のイニシアティブ (24~25) 国際提携の理論と実践 (26~27) グローバルSCM (28~29) 地球環境と国際経営 (30)
- 履修上の留意点** 遅刻、私語厳禁、配布資料なし。自著ノート作成。グローバル・マーケティング論と併せて受講することを推奨する。
- 成績評価の方法** 学期末試験と課題を基本に評価する。
- 参考書等** 臼井哲也『戦略的マス・カスタマイゼーション研究-国際市場戦略の新視角』2006年刊(文眞堂) 2,800円

履修コード	143301
科目名	経営戦略論
担当者名	中村 公一

- 講義のねらい** 経営戦略論は、現実の企業経営と密接に関連している実践的要素の強い科目である。受講生が企業に就職した時に、その企業が属する業界がどのように動いており、それに対応して企業が採っている戦略を理解することは、自分達の仕事の意義を考える上でも有効なことである。さらに、就職活動の時にも、希望する企業の動向を把握することは重要な選択要因の1つとなるだろう。本講義では、さまざまな企業の置かれている環境とそれに対する経営戦略を理解し、実践的な場面でも応用できる知識と考え方を提供することを目標に進めていく。そこで、新聞やビジネス誌などをもとに、実際の経営戦略をケースとしてできるだけ取り上げるようにする。そして、なぜこの企業はこの戦略を採るのか、その戦略によってどのような効果が期待されるのか、ということに関して、古典から最先端の理論を使って解釈することを焦点に講義を行う。
- 講義の内容・授業スケジュール**
- 1, 経営戦略論の基礎概念 (1~5)
 - 2, 成長戦略論：事業領域、多角化戦略など (6~9)
 - 3, 競争戦略論：ポーターモデル、コア・コンピタンス、ビジネスモデルなど (10~14)
 - 4, 前期のまとめ (15)
 - 5, 組織間戦略論：M&A、グループ戦略、グローバル戦略 (16~21)
 - 6, 経営戦略と経営組織：専門組織、ナレッジマネジメントなど (22~25)
 - 7, 最新の戦略課題：研究開発戦略、ライセンス戦略、企業集積の戦略など (26~29)
 - 8, 年間講義のまとめ (30)
- 履修上の留意点** 経営戦略論は、実際の企業活動と密接に関連しているために、日頃から新聞や雑誌などで関連する記事にはできる限り目を通すことが望まれる。注意点としては、講義に対する妨害行為(私語、携帯電話など)には厳しく対処する。1人(数名)の愚かな行為により、他の真面目な学生に迷惑をかけ、講義自体の雰囲気が悪くなるために、教場を友人との話す場として考えている者は出席しないこと。
- 成績評価の方法** 年度末の定期試験を中心に、レポート課題や、授業中に実施する小レポートなども成績評価に含める。
- 教科書** 授業中にレジュメを配布して、それに基づいて講義を進める。1回の講義で1つの重要テーマに関する内容を学習する。基本図書や参考文献などは授業中にその都度指摘する。

履修コード	143401
科目名	ベンチャー企業論
担当者名	許 ^{さよ} 伸江 ^{のぶえ}

講義のねらい 経済の停滞が長引く中、活力あるベンチャー企業への関心が高まっている。本講義は、ベンチャー企業の意義、歴史、特徴等について理解することをねらいとする。

講義の内容・授業スケジュール (1~3)ベンチャー企業、企業家とは何か (4~5)起業活動のフレームワーク(6~8) ベンチャー企業のマネジメント(9~13)ベンチャー企業のビジネスモデル、マーケティング(14~15)ケース・スタディ (学生起業、女性企業、シニア企業、IT企業など) (16~17)ベンチャー企業の戦略(18~20)独立形態、会社法の改正(21~24)ベンチャー・ファイナンス、IPO、株式公開市場(25~27)ベンチャー支援策、クラスター政策 (28~29)ベンチャー企業のリスクと対応(30)ケース・スタディ (失敗例、挫折と復活など)

履修上の留意点 日頃から、新聞、TV、インターネットなどでベンチャー企業関連の情報に触れておくことが望ましい。

成績評価の方法 出席状況、授業内レポート、夏休みのレポート、学期末試験等を総合的に評価する。

教科書 教科書は使用せず、ノート講義形式とする。

履修コード	139601
科目名	経営史
担当者名	前田 ^{まえだ} 和利 ^{かずとし}

講義のねらい 経営史を学ぶことによって企業経営における進化のプロセスを理解することが可能となる。本講義では、方法論を検討したうえで、経営発達史における各段階の典型国をとりあげて講義するが、その際できるだけ産業・企業の歴史や国際比較の視点をふまえて進化モデルを提示し、日本の企業経営の特質を明らかにする。

講義の内容・授業スケジュール

- I. 経営史の学び方 (1回)
- II. 経営史研究の課題と方法 (4回)
 - 伝統的経営史、企業者史、組織総合理論、新動向
- III. 企業経営発達史
 1. 企業経営の生成 (4回)
 - 商人資本の経営、マニファクチュア経営
 2. 企業経営の確立 (3回)
 - 産業革命、工場制度
 3. 確立期企業経営の諸様相 (5回)
 - 企業経営者と行動原理、企業形態と企業金融、労務管理、流通・販売組織
 4. 企業経営の発展 (7回)
 - 市場と技術、大量生産システム、大企業の形成と戦略・組織、巨大企業の成立と管理機構
 5. 企業経営の変容 (3回)
 - 大企業体制の動揺と新動向 (経営戦略と経営組織の変遷)
 6. 日本における企業経営の進化 (3回)
 - 進化の特質、歴史的ケース

履修上の留意点 教科書は使用しないので、配布するレジュメおよび下記の参考書を参照し、必ずノートを整理しておくこと。年に4~5回簡単な問題等を提示して回答してもらう予定である。

成績評価の方法 学年末試験による評価を90%、出席時に提出した回答を10%とする。

教科書 使用しない。

参考書等 榎本悟『アメリカ経営史学の研究』新版(同文館)、大河内暁男『経営史講義』(第2版)(東京大学出版会)、米倉誠一郎『経営革命の構造』(岩波新書)、安部悦生『経営史』(日経文庫)、鈴木良隆ほか『ビジネスの歴史』(有斐閣)、経営史学会編『外国経営史の基礎知識』(有斐閣)、橋川武郎ほか編『進化的経営史』(有斐閣)。その他随時紹介する。

履修コード	143501
科目名	環境経営論
担当者名	川村 雅彦

- 講義のねらい 企業の経営戦略として、環境対策と環境経営の違いを理解する。
- 講義の内容・授業スケジュール
- ①前期の講義内容：環境経営（理論編）
 ・日本における環境経営の変遷、・環境経営の必要十分条件、・市場のグリーン化、・環境リスク、・環境経営指標（環境効率）、・環境経営のバウンダリー問題
- ②後期の講義内容：環境経営（実践論）
 ・環境先進企業（日本企業）、・環境先進企業（欧米企業）、・環境マネジメントシステム、・温暖化ガスの排出権取引、・環境格付とSRI（社会的責任投資）、・環境経営からCSR経営へのシフト
- 履修上の留意点 受講に先立ち、学生各位が考える「環境優良企業」を異なる業種から3社選び、その理由をごく簡単にまとめておくことを希望する。
- 成績評価の方法 出席（20点）、中間レポート（30点）、試験（50点）の合計100点とする。
- 教科書等 授業でレジュメを配布するので、特に既存の図書は指定しない。
- 参考書等 必要に応じ、授業で指示する。
- その他 講義形式とゼミ形式を併用し、授業単位でレジュメを配布する。

専
門
教
育

履修コード	142101
科目名	日本経営史
担当者名	大島 久幸

- 講義のねらい 株主との利害調整、持株会社の機能、経営者の役割など現代企業が直面する様々な問題に対処するうえで、近代以降の企業経営の歴史から多くの示唆を得ることができよう。本講義では、近代日本において経済発展を担う主体として、また日本的な企業類型の主要なルーツとして中心的な地位を占めてきた財閥に着目して、それら財閥が、どのようなプロセスで誕生し、日本の経済発展とともにどのように成長していったのかという点を考察し、そこから日本経済の歴史的な起源や日本の経済発展を考えてみたい。
- 講義の内容・授業スケジュール
- 【前期】1. 財閥の定義 2. 幕末維新の危機 3. 資本生社会論 4. 政商の誕生 5. 政商と華族資本 6. 政商からの脱皮 7. 運輸・通信システムの整備 8. 産業化の光と影 9. 家政改革と家憲 10. コンツェルンと持株会社 11. 専門経営者の登場（1） 12. 専門経営者の登場（2） 13. 前期のまとめ
- 【後期】1. 第一次大戦期における商社ブームと破綻 2. 三井物産の形成 3. 鈴木商店と金融恐慌 4. 都市化の進展と大衆生活の洋風化 5. 三大財閥の覇権 6. 恐慌とドル買い事件 7. 財閥の転向 8. 戦時体制と財閥 9. 財閥解体 10. 企業集団の形成 11. 高度成長期の日本経済 12. 高度成長期の専門経営者 13. 後期のまとめ
- 成績評価の方法 前期試験と定期試験で総合的に評価する。
- 教科書等 武田晴人『財閥の時代』（新曜社）1996年
- 参考書等 宇田川勝・中村青志『マテリアル日本経営史』（有斐閣）1999年。
 老川慶喜・仁木良和・渡邊恵一『日本経済史』（税務経理協会）2002年。

履修コード	142301
科目名	商業史
担当者名	山田 勝 <small>やまだ まさる</small>

講義のねらい	大変革の渦中にある現下の商業経営を、歴史的視点から見つめ直し、変革の方向と意味を考える。
講義の内容・授業スケジュール	<p><A> 生産主導の商業</p> <p>(1) 商業史の意義と講義の目的</p> <p>(2) パラダイムの発展</p> <p>(3) 利益と継続性</p> <p>(4) 商品と市場</p> <p>(5) 大衆消費社会の特徴</p> <p> 需要主導の商業</p> <p>(1) 消費スタイルの変化</p> <p>(2) 充足から満足度重視へ</p> <p>(3) 多様化の要因</p> <p>(4) 「サービス」商品の特徴</p> <p>(5) IT革命と商業経営</p> <p>(6) 生活(文化)の変革と商業</p>
履修上の留意点	教科書の内容を講義で補充していくので、出席はとらないが聴講に努め質問をして欲しい。講義中の私語は他の受講生に迷惑となるので厳禁とする。
成績評価の方法	定期試験による。
教科書	山田勝『商業史概論』(創成社)3,000円(消費税別)

履修コード	142351
科目名	リスクマネジメント論
担当者名	石名坂 邦昭 <small>いしなざか くにあき</small>

講義のねらい	近年、企業を取り巻く環境は多種多様なリスクに囲まれている。企業はそれらのリスクを征服しなければ、安定経営は望めない。企業を取り巻くリスクにはどのようなものがあるかを知り、それらにどのように対処したらよいかを講義の中心とする。
講義の内容・授業スケジュール	<p>リスクマネジメントの生成について学び、リスクマネジメント・プロセスについて講義を行う。その後、PLリスクや環境リスクについて学ぶ。</p> <p>①リスクマネジメントの生成と発達、1～3、②リスクマネジメントの理論、4～10、③企業経営とリスクマネジメント、11～20、④PLとリスクマネジメント、21～25、⑤環境リスクとリスクマネジメント、26～30</p>
履修上の留意点	ノートをしっかりととること
成績評価の方法	定期試験の成績と平常点
教科書	特になし
参考書等	リスクマネジメントの理論 石名坂邦昭著 白桃書房
その他	授業にまじめに出席すること

履修コード	140401
科目名	保険経営論
担当者名	岡田 太 <small>おかだ ひとし</small>

講義のねらい	保険は、個人や企業などをリスクから守る有効な手段です。リスクマネジメント論が主に保険を利用する視点から展開されるのに対して、本講義は保険を提供する保険企業の立場から経営の基本を学びます。リスクマネジメントをビジネスとして営む保険企業の特徴を理解し、経営をめぐる諸問題を考察することを目的とします。
講義の内容・授業スケジュール	(1～3) 保険概論 (4～6) 保険市場 (7～9) 保険産業 (10～11) 保険経営総論 (12～17) 保険マーケティング(各種保険商品の企画・開発、販売、保全、保険流通、CRM) (18～19) 再保険 (20～21) 資産運用 (22～23) 保険金請求処理 (23～24) 保険数理 (25～26) 保険会社のリスク管理とガバナンス (27) 保険会社のCSR (28～29) 国際経営 (30) まとめ
履修上の留意点	リスクマネジメント論とあわせて履修すると学習効果が高まります。新聞・雑誌などで保険の記事に注意してください。授業でも適宜最近の話題を解説します。また、授業で使用するレジュメについて、各自ダウンロードしてください。
成績評価の方法	学期末試験(60%)と授業参加(出席、レポートなど40%)を総合して評価します。詳細は開講時に説明します。
教科書	下和田・米山・金・柳瀬・諏澤・岡田著『はじめて学ぶリスクと保険』(改訂版)有斐閣 ISBN9784641183506、2007年
参考書等	教科書掲載の参考文献のほか、必要に応じて授業中に指示します。

履修コード	141501
科目名	銀行経営論
担当者名	服部 昌久

講義のねらい

金融制度は一国の歴史的発展の産物であり、その国の繁栄を築くための社会的インフラである。社会が今日のように大きな変革期にあるときには、長期的な展望に立って変化を先取りして新たな制度を構築しなければならない。経営環境が大きく変化した中で、銀行は新たな道を求めて模索しているが、本講義においては、戦後のわが国の金融システムの変遷を振り返るとともに、欧米主要銀行の動きにも注目しながら、利用者のニーズに応える銀行のあるべき姿を探りつつ、時事問題も含め、銀行経営にかかわる諸問題を、わかりやすく解説する。

講義の内容・授業スケジュール

講義はおおよそ次のような内容を予定している。
 (1) オリエンテーション「銀行経営論をはじめるにあたって」(2) 日本経済をめぐる環境(3) 戦後経済の変遷(4) わが国の金融制度の沿革と特徴(5) 銀行とは何か(6～8) 銀行の基本的機能—金融仲介機能、決済機能、信用創造機能(9～11) 銀行の業務範囲、銀行の貸出業務、銀行の預金業務(12) 銀行持株会社制度(13～14) わが国の銀行の収益状況、米銀の収益状況(15) 中間整理(16～17) 金利と利鞘、マネーサプライの変化と銀行(18～19) 銀行の国際業務、為替相場と銀行(20) 銀行のマネーローダリング対策(21～24) バブル経済の発生・崩壊と銀行の責任、不良債権問題と銀行破綻、銀行の再編、預金保険制度(25～27) 銀行経営とリスク管理—リスクとは何か、リスクとリターン、自己資本比率規制(28) リレーションシップバンキングの本質(29) 新しい銀行像(30) 期末試験

履修上の留意点

講義は基本的な事柄を取り上げ、わかりやすく解説するよう心がけるが、それでも不明な点があれば、質問を歓迎する。

成績評価の方法

学年末の定期試験(参照物の持込不可)(50%)、レポート(45%)、授業への出席(5%)を総合して評価する。
 レポートの課題は開講時に指示する。

教科書

参考書等

- 指定しない。
- ・鹿野嘉昭『日本の金融制度(第2版)』(東洋経済新報社) 3, 800円 ISBN4-492-65379-1
- ・星岳雄・A.カシャップ『日本金融システム進化論』(日本経済新聞社) 2, 800円 ISBN4-532-13317-3
- ・小野有人『新時代の中小企業金融』(東洋経済新報社) 2, 200円 ISBN978-4-492-65400-2
- ・白川方明『現代の金融政策』(日本経済新聞社) 6, 000円 ISBN978-4-532-13344-3

専門教育

履修コード	140301
科目名	商業経営論
担当者名	石川 和男

講義のねらい	人は日々モノやサービスを購入し生活している。またこれらの活動なしには人々の生活が成立しなくなっている。本講義では主に人々（消費者）にモノやサービス（特にモノ）を販売する主体（事業者）の行動を取り上げる。分野として大きく分けると4つの分野から構成されている。1）商業・流通の概念とその機能、2）事業者（流通業者）の現状とその行動、3）販売に関する技術と方法、4）事業者を取り巻く外部環境と内部環境についてである。これら4つの面から多面的に事業者の組織的行動である「商業経営」をとらえてもらえればと考えている。また受講生には受け身の姿勢ではなく、積極的に疑問に思い、解決を探る姿勢が身につけられるように期待したい。
講義の内容・授業スケジュール	1 開講にあたって（受講上の諸注意）、2 商業とは、流通とは（商業概念、流通概念）、3 流通機能と流通機構、4 流通機能I（商的流通と物的流通）、5 流通機能II（流通情報と流通情報システム）、6 流通補助機関の役割、7 小売とその営業形態、8 小売業の構造と変化、9 小売マーケティング、10 卸売とその営業形態、11 卸売業の構造と変化、12 卸売マーケティング、13 卸売マーケティングの事例、14 予算管理と販売管理、15 商品回転率と価格政策、16 仕入管理と売買契約、17 在庫管理、18 消費者行動の変化、19 商業立地と商業集積、20 商業・流通を取り巻く法的環境、21 流通政策I（競争政策と振興政策）、22 流通政策II（調整政策）、23 中小零細事業者問題、24 中小零細事業者の将来、25 日本の商業環境と商慣行I、26 日本の商業環境と商慣行II、27 これまでの講義のまとめ
履修上の留意点	1 遅刻、早退、中抜けをしない 2 授業中は携帯電話の電源を切る（発見した場合はその場で受講中止） 3 他人との会話などを授業中はしない 4 帽子の着用、飲食しないなど最低限のマナーは守る 5 公欠の取り扱い（運動部の人は必ず公式試合などの場合は提出のこと） 6 その他
成績評価の方法	・第1回目の授業時に詳細な注意事項を書いたプリントを配付する 授業への参加意欲（出席点） 約30％ 中間レポートまたは中間試験 約30％ 期末試験 約40％ 授業中のボーナス加点 年度内に販売士試験2級に合格した者は加点
教科書等 参考書等	尾崎・野本・石川(2007)『流通業のマーケティング』五紘舎 石川和男(2007)『基礎からの商業と流通(第2版)』中央経済社 鈴木安昭(2004)『新・流通と商業(第3版)』有斐閣 小宮路雅博編著(1997)『現代の小売流通』同文館
その他	第1回目の授業時に詳細な説明を行うので、必ず第1回目の授業から出席のこと。 連絡方法は、授業時に指示する。

履修コード	140851
科目名	e-ビジネス
担当者名	<small>やすおか ひろみち</small> 安岡 寛道

講義のねらい 日々進化するe-ビジネスを概観し、経営学の一つとして体系立てて理解することを目的とする。また、社会人になる、さらにはいつの日か起業する際の基礎知識として準備することも目的とした。

講義の内容・授業スケジュール (1) e-ビジネスの講義紹介と定義(プロセス/媒体/商品)、(2~3) e-ビジネスの状況、(4~6) BtoC ビジネス、(7~9) e-マーケティング(広告等)、(10~12) BtoB ビジネス、(13~15) 電子商取引(EC)のプロセス(物流・決済); (16~18) BtoBtoC ビジネス、(19~21) 媒体等のビジネス事例(EC、ポータルサイト、ネット広告; オンラインゲーム等)、(22~24) 電子マネーと周辺ビジネス、(25~26) 技術、(27) ビジネスモデル特許、(28~ Last) 革新的なビジネスの創生(Web2.0、セカンドライフ等)

履修上の留意点 e-ビジネスであるため、日ごろからインターネットを中心に、PC・携帯・雑誌・新聞・TVのニュースなどを見て、自分なりの考えを持ち、電子マネー・おサイフケータイなどにも馴染んでおいて頂きたい。

成績評価の方法 学期末レポートと授業内の中間提出課題の2つのレポートで基本的に評価します。なお、出席状況もできるだけ考慮します。

教科書参考書等

- ・幡鎌博『e-ビジネスの教科書』(改訂版) 創成社、1900円、ISBN978-7944-2284-2 C3034
- ・梅田望夫『ウェブ進化論-本当の大変化はこれから始まる』筑摩書房、740円、ISBN4-480-06285-8 C0200
- ・小川浩、後藤康成『Web2.0 BOOK』インプレスジャパン、1800円、ISBN4-8443-2226-5 C3055
- ・アサーアンダーセン『図解e-ビジネス』東洋経済新報社、1600円、ISBN4-492-08989-6 C3034
- ・アンダーセン『図解e-ビジネス 実践編』東洋経済新報社、1600円、ISBN4-492-09156-4 C3034
- ・野村総合研究所『2010年の企業通貨』東洋経済新報社、1600円、ISBN4-492-55562-4 C3034
- ・野村総合研究所『企業通貨マーケティング』東洋経済新報社、1700円、ISBN978-4-492-55603-0 C3034

その他 授業の合間で、e-ビジネスの経験論なども交えて講義する。

履修コード	143221
科目名	製品開発論
担当者名	<small>みやした ひろし</small> 宮下 雄治

講義のねらい マーケティングの重要な機能である需要創造において、製品開発の果たす役割は大きく、理論的にも実践的にも、製品開発はマーケティング・マネジメントの中核に位置付けられます。マーケティングではとくに製品計画という考えに重きが置かれ、消費者の欲求を先取りし、これを製品作りに反映してきました。本講義では、マーケティングと技術経営(Management of Technology)研究における諸成果をふまえ、製品開発に関する基礎的な知識の習得と、現代の産業界の要請に対する製品開発のアプローチと課題について、体系的な理解と関心を深めることを目的とします。

講義の内容・授業スケジュール (1): オリエンテーション(講義の内容紹介)、(2~4): 製造業を取り巻く環境、(5~7): 製品戦略の基本フレーム、(8~10): マーケティングにおける製品開発の役割、(11~14): マーケティング視点の製品開発、(16~18): 製品開発におけるマーケティング・リサーチ、(19~20): 日本企業の製品開発の歴史と特徴(日本の技術力と製品開発)、(21~22): イノベーションの基本フレーム、(23~24): ブランド戦略、(25~26): 技術マーケティングの考え方(技術と需要を結合させるマネジメント)、(27~29): これからの製品開発(協働型マーケティングやユニバーサル・デザインなど新たな取り組みと課題を展望)

成績評価の方法 成績は定期試験(約50%)、授業中の提出課題と授業外のレポート(約50%)にて評価します。出席状況についても考慮します。

教科書参考書等 教科書は使わず、講義中に配布する資料に基づいて授業を行います。

- ・延岡健太郎『製品開発の知識』日本経済新聞社、2002年。
- ・青木幸弘・恩蔵直人『製品・ブランド戦略-現代のマーケティング戦略(1)』有斐閣、2004年。
- ・上原征彦『マーケティング戦略論-実践パラダイムの再構築』有斐閣、1999年。

その他は講義内容に沿って紹介します。

履修コード	143231
科目名	消費者行動論
担当者名	菅野 佐織

講義のねらい	この授業では、人の消費場面における心理的作用と、それらと企業のマーケティング活動の相互作用について考え、理解することを目的としています。今日の企業のマーケティング活動においては、消費者のインサイトを掴むことが欠かせません。この授業では、身近な事例や企業ケースを用いて、消費者の心理を学ぶだけでなく、企業のマーケティング活動と消費者行動分析のリンクについて考えていきたいと思います。また、企業の方をお招きしての講義も予定しています。
講義の内容・授業スケジュール	<ol style="list-style-type: none"> 1. 授業計画の説明とイントロダクション 2～5. マーケティング戦略と消費者行動 6～10. 消費者行動研究の歴史 11～18. 消費者の購買意思決定過程 19. 実務家を招いてのゲストスピーカー講義 20～24. 消費者行動の影響要因 25～28. 企業のマーケティング戦略と消費者行動のリンク 29. 実務家を招いてのゲストスピーカー講義 30. 講義のまとめ
履修上の留意点	授業中に学生の皆さんに意見を求めるので積極的に参加してください。なお、この授業を履修するにあたっては、マーケティングの基礎的な知識が必要となります。そのため、マーケティング論を履修していない者の場合には、独学でマーケティングを勉強する必要がありますのでご注意ください。
成績評価の方法 教科書	出席点(数回)、レポート課題、定期試験によって評価します。 授業時に資料を配布します。理解を深めるために下記の参考書を予習・復習の参考にしてください。
参考書等	杉本徹雄編『消費者理解のための心理学』1997年(福村出版)2730円 清水聡『新しい消費者行動』1999年(千倉書房)3360円

履修コード	143241
科目名	マーケティング・コミュニケーション論
担当者名	中野 香織

講義のねらい	近年は、マーケティングそのものがマーケティング・コミュニケーション(MC)だと認識され始めてきた。その背景には、マス広告が効かなくなってきたことに加え、様々な手段によって消費者との関係性を構築する必要がうまれてきたことなどがある。このような背景のもと、日常生活で接するもの全てをコミュニケーションのためのメディアと捉える統合型マーケティング・コミュニケーション(IMC)が、今後重要になってくるだろう。そこで本講義ではIMCを包括的に理解してもらうことを目的とし、理論的な説明に加えて事例紹介やゲスト(実務担当者)による講義等、実践的な説明も行う。
講義の内容・授業スケジュール	<p>講義は3段階に分けて行う。初めにマーケティング・コミュニケーション(MC)の全体構造を説明する。次にMCを構成する具体的な戦略を説明し、最後に各MC戦略がどのように統合されるのかを説明する。</p> <p>(1～5) マーケティング・コミュニケーション(MC)の全体構造、(6～9) 広告戦略、(10～12) 販売促進戦略、(13) ゲストスピーカー、(14) 商品コミュニケーション戦略、(15～17) 店頭MC戦略、(18～19) PR戦略、(20～21) パーソナル・コミュニケーション戦略、(22～23) ダイレクトマーケティング戦略、(24～25) インタラクティブマーケティング戦略、(26～27) IMC戦略、(28～30) ケース研究とまとめ</p>
成績評価の方法 教科書 参考書等	<p>平常点20%、中間試験30%、学期末試験50%で評価する。</p> <p>教科書は使わず、レジュメを配布する。</p> <p>亀井昭宏・疋田聰編『新広告論』2005年刊(日本経済新聞社)1,800円、嶋村和恵監修『新しい広告』2006年刊(電通)2,000円、岸志津江・田中洋・嶋村和恵『現代広告論』2000年刊(有斐閣)2,000円、上条典夫監修・内藤敏夫責任編集『実践マーケティング・コミュニケーションズ』2005年刊(電通)2,200円</p>

履修コード	143251
科目名	マーケティング・チャネル論
担当者名	青木 茂樹 <small>あおき しげき</small>

講義のねらい 我々が手にしている商品、とくにブランドとして認知されている商品は、ある一企業の戦略目的に基づき、他の流通パートナーをコントロールしながら成果を挙げていくために形成されたマーケティング・チャネルを経由してきている。

従来はメーカーがチャネル・リーダーとなって、これらが形成され、卸売業、小売業がこれによりコントロールされてきた。近年は従来、被支配的な立場とされてきた卸売業や小売業が、主体的にチャネル・リーダーとなって、自社のブランドを強めていく例も増えてきた。また新しいツールとしてのインターネットにおいて、チャネル構築を試みる中小企業や農林水産業者も出てきている。

本稿では、これまでの中心であったメーカーの国内マーケティング・チャネル戦略から、情報化・国際化の中で形成されていく新たなマーケティング・チャネルまでを考察していく。将来、マーケティングや営業を志向する学生にとっては必須の科目となろう。

講義の内容・授業スケジュール

- 1) メーカーによる垂直的マーケティング・チャネル
- 2) マーケティング・チャネル構築・管理の諸理論
- 3) プライベート・ブランドに見られるマーケティング・チャネル戦略
- 4) 国際マーケティングにおけるマーケティング・チャネル戦略
- 5) 農林水産物におけるマーケティング戦略とチャネル管理
- 6) インターネットにおけるマーケティング・チャネル管理
- 7) 生産財マーケティングにおけるマーケティング・チャネル管理

履修上の留意点

流通システム論を既習していることが望ましい。講義形式ではあるが、学生・教員相互に名札を付けるなどして、学生の主体的な発言と双方向のコミュニケーションを促す。

成績評価の方法

毎回の小テストと、個人レポート（またはテスト）の評価をベースとする。場合によっては、グループレポートおよびその発表を評価に加えることもある。また、講義内の自主的発言1回に対して1点以上のボーナス点が与えられる。

教科書
参考書等

小林哲・南知恵子(2004)『流通・営業戦略』有斐閣アルマ
日経MJ編(2008)『日経MJトレンド情報 マーケティング・ハンドブック <2009年版>』日本経済新聞社。
Erin Anderson, Louis W. Stern, Adel I, El-Ansary, Anne T. Coughlan(2001) *Marketing Channels*, The Prentice Hall, 978-0130127723.

履修コード	143271
科目名	グローバル・マーケティング論
担当者名	白井 哲也 <small>うけい てつや</small>

講義のねらい 本講義の目的は、企業のマーケティング活動が国境を越えて展開される際の固有の問題について理解し、その解決策として期待される諸理論について学習することにある。とく多国籍企業のマーケティング活動に焦点をあてる。

講義の内容・授業スケジュール

(前期) 企業を取り巻くグローバル市場環境(2~3) グローバル・マーケティングマネジメントの基礎(4~6) 国際市場参入行動(7~9) 国際マーケティング調査と市場細分化(10~11) 現地市場拡張行動チャネル管理(12~13) 原産国イメージ(14~15)

(後期) グローバル合理化と戦略的グローバル・マーケティング論(16~19) 標準化と適応化(20~22) グローバル・マス・カスタマイゼーション(23~25) グローバル・ブランド管理(26~27) サービス業の国際化(28~29) グローバル・マーケティング論と地球環境(30)

履修上の留意点

遅刻、私語厳禁、配布資料なし。自著ノート作成。国際経営論と併せて受講することを推奨する。学期末試験と課題を基本に評価する。

成績評価の方法

教科書

白井哲也『戦略的マス・カスタマイゼーション研究-国際市場戦略の新視覚』2006年刊(文眞堂) 2,800円

履修コード	143281
科目名	マーケティング史
担当者名	石川 和男

講義のねらい

マーケティングという学問が誕生してからはや1世紀以上が経過した。経済学や法学など、他の社会科学分野の学問に比較すると、その歴史の長さは比べようもなく短く短いといわなければならない。しかし、マーケティングという「市場対応」に関する方法や技術が、20世紀の社会を変化させてきたこと、そして21世紀の社会を変化させる1つの基軸となることは間違いないであろう。そこで、本講義では、いかにマーケティングが市場対応をしてきたかという歴史を振り返ることで、これから将来にわたり、いかに市場対応することが必要か、またそれを実践できる元となるものを本講義では身につけてもらいたい。講義ではさまざまな分野の産業におけるマーケティングの展開について触れる。それは経営史でも商業史でもなく、メーカーや流通業者などの主体がいかに市場に対応してきたかという足跡を辿ることになる。受講生には、ただ講義を聴くという姿勢ではなく、積極的に企業などの市場対応をしてきた歴史について関心を持つことを期待したい。

講義の内容・授業スケジュール

1.開講にあたって、2.マーケティング史と経営史、商業史、経済史との違い、3.戦前期の先駆的マーケティング(1)－戦前期のマーケティングの形成、4.戦前期の先駆的マーケティング(2)－森永製菓、5.戦前期の先駆的マーケティング(3)－化粧品産業の発展と市場構造、6.戦前期の先駆的マーケティング(4)－資生堂、7.戦前期の先駆的マーケティング(5)－花王、8.戦後の経済発展とマーケティング-大衆消費社会の形成とマーケティング、9.問屋制度とマーケティング(1)－伝統的問屋制度と医薬品流通、10.問屋制度とマーケティング(2)－大正製菓、11.マーケティング企業の普遍化(1)－松下電器産業、12.マーケティング企業の普遍化(2)－トヨタ自動車、13.マーケティング企業の普遍化(3)－トヨタ自動車、14.小売業のマーケティング展開(1)－小売業態変化、15.小売業のマーケティング展開(2)－百貨店、16.小売業のマーケティング展開(3)－スーパーマーケット、17.小売業のマーケティング展開(4)－その他の業態、18.卸売業のマーケティング展開(1)、19.卸売業のマーケティング展開(2)－総合商社の発展、20.卸売業のマーケティング展開(3)－食品専門卸売の発展、21.グローバル化の進展とマーケティング(1)－日本企業のグローバル化、22.グローバル化の進展とマーケティング(2)－ホンダ、23.グローバル化の進展とマーケティング(3)－ソニー、24.展開期のマーケティング－マーケティングの刷新、25.マーケティング・コミュニケーションの進展、26.サービス・マーケティングの進展(1)、27.サービス・マーケティングの進展(2)－外食産業の発展、28.サービス・マーケティングの進展(3)－東京ディズニーリゾート、29.非営利組織のマーケティング展開、30.これまでの講義のまとめ

履修上の留意点

1. 携帯電話の使用厳禁（使用を発見した場合は即刻受講中止。単位不認定）
 2. 遅刻・早退・中抜け厳禁
 3. 私語厳禁
 4. 帽子着用、食厳禁
 5. 公欠の取り扱い（運動部の公式試合、教育実習などの場合は証明書を提出のこと）
- その他、開講時の1時間目に細かく指示。したがって、第1回目の授業時から出席の必要あり。

成績評価の方法

1. 出席点30
2. レポート30
3. 期末試験または期末レポート40

教科書等

特に指定しない
 小原博(1994)『日本マーケティング史』中央経済社
 日本経済新聞社編(1993)『流通現代史』日本経済新聞社
 尾崎・神保編(2000)『マーケティングへの歴史的視角』同文館

その他

第1回目の授業時に、重要なこととお話するつもりですので、必ず第1回目から出席すること

履修コード	140801
科目名	公益企業論
担当者名	枝松 正行

講義のねらい

講義では、公益性と公共性と共益性、営利性と非営利性、ネットワーク、独占等々の概念規定を再検討し、新会社法に基づいた新しい私企業分類と公企業・公私混合企業・第三セクターなどとの対比のなかで、公益企業の特別な位置と社会的使命を確認するとともに、その歴史的発展の過程を振り返り、21世紀公益企業の現状と課題について考える。

講義の内容・授業スケジュール

公益企業は、過去20数年間の間にそのあり方をめぐって世界的にも国内的にも大きな変貌を遂げてきた。とりわけ中曽根政権・小泉政権時代に実施された公社・公団・事業団等の分割・民営化としての公企業改革は、アメリカからの市場開放・制度改革要求とも相俟って、公益企業の規制改革とグローバル化・経営効率化という新たな問題領域を大きく拡大させた。また、環境や福祉を中心としてNPOや社会的企業と呼ばれる多様な非営利公益の事業形態も現れており、新公益法人制度もスタートした。この講義では、これらの広範囲にまたがる公益事業も視野に入れつつ、バブル崩壊以後の不良債権処理とグローバル化のための税制・会計制度・金融証券システム・独占禁止法・外為法・会社法の大改正や企業合併・買収と世界金融危機という現代グローバル経済の大きな流れのなかで、わが国公益企業の置かれている位置と今後を考える。

(1) ガイダンス (2) 公益企業とは何か (3~4) 公企業・私企業と公益企業 (5~6) 公企業・公益企業と公共企業 (7~10) 戦後日本経済と公企業改革 (11~14) バブル崩壊以後のグローバル経済と特殊法人「構造改革」(15) 中間試験 (16~17) テレコムビジネス (18~19) 金融・証券自由化 (20~21) 電力自由化 (22~23) エアライン規制緩和 (24~25) 自動車リサイクル法 (26~27) 道路公団民営化 (28~29) 郵便事業の国際比較 (30) 期末試験

履修上の留意点

毎回出席を取る。課題図書を各自読み進め、公益企業を含む現実企業社会の動向について常日頃から自分自身の意見や考えをまとめておくことが予習となる。質問や意見・要望があればカード等で積極的に提出すること。次回授業の冒頭に匿名で紹介・応答し、可能な限り講義内容にも反映させていく。必ずノートを取り、復習を欠かさないこと。

成績評価の方法
教科書

関連科目として私の担当する「外書講読」と「社会科学論」の履修も勧める。
出席・平常点 (20%) と前・後期末 (計2回) の授業内試験 (80%) 等により総合的に評価する。
東谷 暁『増補 民営化という虚妄』ちくま文庫

履修コード	119111
科目名	経済政策
担当者名	三好 向洋

講義のねらい
講義の内容・授業スケジュール

経済問題・経済政策を取り扱った新聞記事を理解できるようになることを目的とする
前期

費用 (コスト) と効用 (2) ・価格差別 (3) ・ライブドア事件・金融商品取引法 (4-6) ・公正取引委員会・独占禁止法 (7-9) ・解雇規制と失業 (10) ・農業と貿易 (11) ・住宅・借地借家法 (12) ・まとめ (13) ・試験 (14) ・試験返却と解説 (15)

後期

GNPとGDP (2) ・長期の生産と成長 (3) ・物価と金融 (4) ・中央銀行 (5) ・失業と短期の経済変動 (6-7) ・総需要と総供給 (8-9) ・財政政策と金融政策 (10-12) ・まとめ (13) ・試験 (14) ・試験返却と解説 (15)

成績評価の方法
教科書
参考書等

授業内試験の成績と数回のレポート・授業内試験では授業で支持した問題を出題する

使いません

前期

(著者) ポール・クルーグマン・ロビン・ウェルス (書名) クルーグマンミクロ経済学 東洋経済新報社 5,040円 ISBN:978-4492313831

後期

(著者) グレゴリー・マンキュー (書名) マンキュー経済学<2> マクロ編 東洋経済新報社 4,200円 ISBN:978-4492313534

履修コード	141601
科目名	財政学
担当者名	はやみ のほる 速水 昇

講義のねらい

私たちの日常生活は、そのほとんどの側面で直接・間接的に政府の経済活動の恩恵を受けている。例えば、出掛けに傘を持っていくべきか否かは、適確な天気予報によって判断できるし、病気や怪我をしたときにかかる医療費は医療保険のおかげで実際に支払った額の数割程度ですむ。また、道路・港湾などの社会資本整備は公共部門が供給しているなど、政府はさまざまな役割を担っている。その反面、わが国の政府は平成20年度末で国債の発行残高が約615兆円、地方公共団体の長期債務残高は約197兆円、国と地方の重複分約34兆を考慮すれば、国と地方の長期債務残高は約778兆円になる。この数字は平成20年度わが国のGDP見込みの147.6%に相当する。欧州連合(EU)の参加条件を定めたマストリヒ条約においては、ストックベースの債務残高をGDP比60%以内とすることが基準になっているので、わが国の財政はいかに借金をかかえているかが理解できる。最近の景気低迷、これからの高齢化・少子化社会に向けて、このような問題を納税者としての立場、あるいは日本国民としての立場から考えていくことが大切であるという認識に立って授業を行う。

講義の内容・授業スケジュール

具体的には前期は日本の財政の状況を中心に、後期は財政政策を中心に講義する。なお、公務員試験などで財政学の問題が非常に多く出題されているので、授業で講義した内容に関する問題の小テストを行って、授業の理解度の確認をする。

履修上の留意点

学生として当然のことだが、テキスト・ノートは必ず持参すること。小テストは10回程度予定しているので出席に自信のある学生を希望する(小テストを受けていない学生は成績評価の対象外とします)のでご注意ください

成績評価の方法
教科書

試験、授業中の小テスト、レポート
青木一郎著『財政学』学文社 978-4-7620-1795-7 C3033 2,300円+税

専門教育

履修コード	140601
科目名	金融論
担当者名	わたなべ さとし 渡部 訓

講義のねらい

本講義は、担当教員の日本銀行、Bank for International Settlements、預金保険機構における金融実務経験も踏まえて、金融に関心のある学生、将来金融界での勤務を希望する学生を対象にしています。

講義の内容・授業スケジュール

本講義の狙いは、①金融の基礎から出発して、金融システム、金融機関行動と金融政策、市場メカニズムと金利形成、国際金融取引まで幅広く応用分野をカバーして、金融を理解する前提となる理論的なフレームワークを提供するとともに、②現代の金融問題の中で、金融システム安定に向けたブルーデンス政策(金融庁検査および日本銀行考査、自己資本比率に関するBIS規制、預金保険制度)、金融システムにおけるイノベーション(セキュリティイゼーション、デリバティブス、リスク・マネジメント)について、実践的な検討を行うことを目指しています。

授業は、以下のスケジュールで行いますが、毎回、教科書に加え、日本銀行公表資料や日本経済新聞掲載記事等を紹介して、理論と実践のインターフェースを図ることを目標としています。

前期

1. 「金融論」のオリエンテーション、
2. 金融の基本的な機能、
3. 資金循環と金融取引(1)、
4. 資金循環と金融取引(2)、
5. 家計の貯蓄と資金余剰、
6. 家計の金融資産選択、
7. 企業の投資と資金調達(1)、
8. 企業の投資と資金調達(2)、
9. 金融機関の役割、
10. 金融市場の機能、
11. 金融システムの機能、
12. ブルーデンス政策、
13. 中央銀行の機能、
14. 金融政策の目的、
15. 金融政策の手段

後期

1. 預金・貸出市場の概要、
2. 金融機関の貸出行動メカニズム、
3. マネー・サプライの概要、
4. 債券市場の概要、
5. 債券利回りの決定メカニズム、
6. 株式市場の概要、
7. 株価の決定メカニズム、
8. 国際収支と外国為替市場、
9. 為替レートの決定メカニズム、
10. 国際通貨制度の変遷、
11. 金融派生商品市場(先物)、
12. 金融派生商品市場(スワップ)、
13. 金融派生商品市場(オプション)、
14. 金融論のポイント・レビューと質疑応答(1)、
15. 金融論のポイント・レビューと質疑応答(2)

履修上の留意点

履修者は、マクロ経済学の基礎知識があることが望まれます。

成績評価の方法

小テスト及び期末テストによって総合的に評価します。

教科書
参考書等

黒田晃生、『入門金融(第4版)』、東洋経済新報社、¥2,300、2006年
日本銀行金融研究所編、『新しい日本銀行 その機能と業務(増補版)』、有斐閣、¥2,520、2004年

その他

毎回、授業前に YeStudy に教材の PDF をアップしますので、予習、復習に活用してください。また、授業中は、毎回、講義の後、質疑応答の時間を設けます。

履修コード	141701
科目名	国際経済論
担当者名	<small>ながた ともつり</small> 永田 智則

- 講義のねらい** 本講義の目的は、現実には生じている国際経済現象の解明に役立つような基礎的理論を簡潔に提示することにあります。「なぜ貿易が行われるのか」から説き起こし、最近の東アジアの経済発展に大きな役割を演じている「直接投資」まで題材にして講義する予定です。
- 講義の内容・授業スケジュール** 分析道具が習得できれば、それを利用することによって現実の国際経済現象を自ら解明できるようになるはずです。
- 履修上の留意点** (1) 国際経済学の意義、(2～7) 国際分業論、(8～12) 貿易政策、(13～15) 経済成長と貿易、(16～22) 国際マクロ経済学、(23～25) 外国為替と国際収支、(26～30) 資本の国際移動
- 成績評価の方法** 現実の世界経済の動きを題材にしますので、新聞等で報道される関連ニュースに接しておいてください。
- 教科書** 原則として学年末の定期試験で評価しますが、授業への出席も重視します。途中、検討課題を出すことも考えていますので、総合的な評価になることもあります。定期試験だけを受けて、要領よく単位をとりたいと考えている人は、受講を速慮して下さい。
- 参考書等** 下記の書物と、授業中に配布するプリントを併用します。
仙頭佳樹著「最もやさしい国際経済学」多賀出版、2800円+税、ISBN4-8115-6491-X
随時必要に応じて紹介します。

履修コード	141401
科目名	日本経済論
担当者名	<small>はとり しげる</small> 羽鳥 茂

- 講義のねらい** 多様な経済システム（日本の経済システムはそれらのうちの1つ）がどのようにして生まれ、また、それらはどのように進化していくのでしょうか。このことを考えてみたいと思います。
- 講義の内容・授業スケジュール** 情報・組織・契約のミクロ経済学と、それらの理論的基礎を提供するゲーム理論、およびゲーム理論のフロンティアの1つである進化ゲーム理論の新しい展開をふまえて、講義のねらいの目標にチャレンジします。
- 成績評価の方法** 前期では企業の内部システムを検討します。企業内コーディネーションの情報効率性比較、企業システムの生成と進化の可能性、雇用契約とインセンティブが主要なテーマです。
- 教科書** 後期においては、企業間の競争と合併、コーポレート・ガバナンス、企業金融、政府と企業の関係がテーマになります。
- 参考書等** 後期授業終了後の筆記試験によって成績評価を行います。
青木昌彦・奥野正寛編著『経済システムの比較制度分析』（東京大学出版会）、1996年、3200円
鶴光太郎『日本の経済システム改革』2006年、2600円
その他、講義の進み具合に応じて適時紹介します。

履修コード	142001
科目名	証券市場論
担当者名	かつた よしひろ 勝田 佳裕

講義のねらい わが国の金融システムは、銀行等を仲介とする間接金融を中心として発展してきた。しかしながら、近年では、企業が自ら有価証券を発行し投資家から資金を調達する直接金融へと、金融システムが移行してきている。本講義は、有価証券市場の機能や構成といった基礎的な事柄に関する解説から始め、最終的に、ニュースや新聞での経済動向に関する報道等を正しく理解し、自ら判断する能力を培うことを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール 最初に、証券市場で取り扱う対象である有価証券を定義し、その機能等を解説する。その上で、伝統的有価証券である債券や株式の種類や機能、発行・流通市場について考察する。また、わが国の財政事情と国債市場の動向あるいは株式市場動向と経済全般との関わりなど、経済社会における重要な課題についても触れておきたい。

資金運用手段としての証券市場の役割も重要であるため、債券利回りの意味と計算の仕方、株式の投資尺度やその利用方法、企業の債務返済能力を示す格付け制度の概要と活用方法など、実務的側面についても解説する。

近年における金融・証券市場のグローバル化に伴って、資金の動きが速くなり、移動の範囲も急速に拡大しているため、市場改革のテンポも極めて速くなっている。今後も、内外共に市場の激変が予想されるため、証券市場に関連して重要な事態が発生した際には、その都度、背景や影響などを解説する。

履修上の留意点 証券や金融市場に関連するニュースや新聞での報道に関心を持って欲しい。その上で、疑問点や不明な用語等があれば積極的に質問してもらいたい。授業に際しては、出来るかぎり質問の時間を設ける予定である。

成績評価の方法 レポート及び学年末の定期試験によって評価する。
教科書 代田純著「図説 やさしい金融財政」(丸善株式会社) 1890円
参考書等 授業中に指定する。

履修コード	143701
科目名	計量経済学
担当者名	いづりよし 呉 逸良

講義のねらい 現実の経済データを用いた例題を実際に解くことを通じて、計量経済学を学ぶ。パソコンを利用して演習を行うことにより、抽象的になりがちな計量経済学を分かりやすく理解し、実際のデータ分析の能力を身につける。

講義の内容・授業スケジュール (前期) Excel を利用して例題を解きながら、以下の内容を講義する。
(1・2) 統計学の基礎知識 (I)
(3) 統計学の基礎知識 (II)
(4～8) 単回帰モデル
(9～11) 重回帰モデル
(12・13) 回帰モデルの仮説検定 (I) TSPを利用して前期の例題を再計算することを通じて、TSPの扱いをマスターする。その上で、以下の内容を講義し、TSPを用いて演習を行う。
(14) 回帰モデルの仮説検定 (II)
(15・16) TSPの基礎および練習
(17・18) Chow Test と予測
(19・20) ダミー変数
(21～23) 系列相関
(24～) 復習・授業中試験

履修上の留意点 経済理論をある程度勉強していることと、統計原理と経営数学を履修すること。
成績評価の方法 日頃の宿題、レポート、学期末試験の結果により総合的に判断する。期末試験は授業中に行い、試験での持ち込みは自由。

教科書 白砂堤津耶『例題で学ぶ 初歩からの計量経済学』(日本評論社) 1999 2,800円(税別)
参考書等 山本拓『計量経済学』(新世社)
蓑谷千風彦『計量経済学』(東洋経済新報社)
G.S. マダラ著・和合肇訳『計量経済分析の方法』(シーエービー出版)
唯是康彦『Excel で学ぶ計量経済学入門』(東洋経済新報社)
縄田和満『Excel による回帰分析入門』(朝倉書店)
蓑谷千風彦等『パソコンによる数量分析・Excel とTSP入門』(多賀出版)
縄田和満『TSPによる計量経済分析入門』(朝倉書店)
和合肇、伴金美『TSPによる経済データの分析』(東京大学出版会)

履修コード	143601
科目名	イノベーション論
担当者名	羽田 尚子

講義のねらい	本講義では、イノベーションとはどのような特性をもつ現象なのか、どのようにして生まれるか、どのような主体が関わっているのか、経済社会にいかなる影響を与えるのかといった、イノベーションを理解する上で重要かつ基礎的なトピックについて学ぶ。
講義の内容・授業スケジュール	イノベーションは「新しいものを変える、既存のものを変える」といった幅広い概念で用いられるが、本講義では、新製品、新サービス開発および改良といった経済システムにおけるイノベーションを扱う。 講義で扱うトピックは次のようになる。なお、順番は入れ替わることがある。 ・イノベーションとは何か、その特質について、 ・経済システムにおけるイノベーションの役割、 ・イノベーションにおける政府の役割、技術政策、 ・イノベーションにおける大学の役割、TL O事業、大学初ベンチャー、 ・日本のナショナルイノベーションシステムの課題と展望、 ・企業戦略におけるイノベーションの役割、 ・組織のイノベーション、生産効率の改善実験、 ・研究開発プロジェクトの評価
履修上の留意点	初歩的数学を使う回がある（その都度解説は入れる）。 経済学の基本的な知識があると望ましい。
成績評価の方法	年度末の定期試験（1回）と講義の終わりに小レポート（計算問題含む：不定期複数回）を実施する。小レポートの合計点（30%）と定期試験（70%）により総合評価する。講義への参加状況は、成績評価に加味することがある。
教科書	一橋大学イノベーション研究センター編『イノベーション・マネジメント入門』（日本経済新聞社）2800円
参考書等	延岡健太郎『MOT技術経営入門』（日本経済新聞社）3000円 小田切宏之『企業経済学』（東洋経済新報社） 後藤晃『イノベーションと日本経済』（岩波新書）

履修コード	143711
科目名	ファイナンス理論
担当者名	江頭 隆治

講義のねらい	受講者がファイナンシャル・リテラシーを身に付け、ファイナンシャル・インテリジェンスを高めることを目的とする。すなわち、ファイナンスに関する日常の問題を通じて基礎知識を学び、その背後にある基本的な考え方を理解する。そして資産の効率的な運用能力を高めることを目指す。
講義の内容・授業スケジュール	入門知識篇（1-15）ファイナンシャル・リテラシーとファイナンシャル・インテリジェンス、投資とはどういうゲームか、株価とは何か、投資は運か実力か、現代ポートフォリオ理論のシュールな結論、投資に対するアドバイス 基礎理論篇（16-30）金融工学で何を学ぶか、リスクとリターン、分散投資の原理、「ベータ」投資理論、先物取引、オプション、現代ファイナンス論
履修上の留意点	日ごろから、メディアに掲載される銀行・証券会社などの金融機関の広告などを見て、どんな金融商品があるか、その金融商品の内容を理解できるか、考えてください。
成績評価の方法	試験と課題による評価
教科書	藤沢数希「なぜ投資のプロはサルに負けるのか?」、ダイヤモンド社、1600円、ISBN4-478-60053-8 野口悠紀雄「金融工学、こんなに面白い」、文藝春秋、690円、ISBN4-16-660123-7

履修コード	143721
科目名	ゲーム理論A
担当者名	<small>あらい やすひろ</small> 新井 泰弘

講義のねらい	本講義ではゲーム理論の基礎を解説します。ゲーム理論は、利害対立関係にある複数の人々がお互いの意思決定を考慮に入れて行動をした際に起こる結果について分析するための理論です。
講義の内容・授業スケジュール	経済学や経営学、心理学、生物学などの様々な分野において、ゲーム理論は有用な分析手法として用いられており、学際的な総合的理論の1つと見なされています。ゲーム理論を学ぶことは、他者がどのように考え、それが自分にどのような影響をもたらすかについて考える訓練にもなります。 1. ゲーム理論とはどのような学問か？, 2. ゲームの記述, 3～6. 標準型ゲーム (1) 支配概念, (2) ナッシュ均衡, (3) 混合戦略, (4) 応用, 7. 中間試験, 8～10. 展開型ゲーム (1) 動学ゲームと静学ゲーム, (2) 均衡概念の精緻化：サブゲーム完全ナッシュ均衡, (3) 動学ゲームの応用, 11～14. 不完備情報ゲーム (1) 不完備情報とは？, (2) 不完備情報下の静学ゲーム, (3) ベイジアン・ナッシュ均衡, (4) 様々な応用, 15. 期末試験
履修上の留意点	授業に出席するだけでなく、教科書や参考文献を読んで自分の頭で考える事が重要になります。わからない事柄をそのままにして進まないように気をつけてください。
成績評価の方法	成績は中間試験と期末試験によって評価します。
教科書	岡田章 著『ゲーム理論・入門』有斐閣アルマ
参考書等	ギボンズ著『経済学のためのゲーム理論入門』創文社

履修コード	143731
科目名	ゲーム理論B
担当者名	<small>あらい やすひろ</small> 新井 泰弘

講義のねらい	本講義では「ゲーム理論A」を既に受講したものとして、より発展的なトピックについての解説を行います。ゲーム理論Aよりも理論の応用方面にスポットを当てていく予定です。
講義の内容・授業スケジュール	経済学や経営学、心理学、生物学などの様々な分野において、ゲーム理論は有用な分析手法として用いられており、学際的な総合的理論の1つと見なされています。ゲーム理論の応用を通じて戦略的思考方法を身につける事を目標としています。 1. ゲーム理論の応用と社会的役割, 2～4. 標準型ゲーム (1) 再論：ナッシュ均衡, (2) ナッシュ均衡の存在証明, (3) 様々な応用例, 5～7. 展開型ゲーム (1) 再論：サブゲーム完全ナッシュ均衡, (2) 展開型ゲームの応用：シュタッケルベルグ均衡, 7. 中間試験, 8～9. 展開型ゲーム (3) 繰り返しゲーム, (4) 繰り返しゲーム：トリガー戦略, 10～14. 不完備情報ゲーム (1) 再論：ベイジアン・ナッシュ均衡, (2) オークションの理論, (3) オークションの理論2, (4) 完全ベイジアン均衡, (5) シグナリングゲーム, 15. 期末試験
履修上の留意点	授業に出席するだけでなく、教科書や参考文献を読んで自分の頭で考える事が重要になります。わからない事柄をそのままにして進まないように気をつけてください。
成績評価の方法	成績は中間試験と期末試験によって評価します。
教科書	岡田章 著『ゲーム理論・入門』有斐閣アルマ
参考書等	ギボンズ著『経済学のためのゲーム理論入門』創文社

履修コード	139301
科目名	日本経済史
担当者名	わたなべ あらた 渡辺 新

講義のねらい 経済学は理論・歴史・政策の3つの柱から成り立つが、この講義はその内の歴史(経済史)についてのものである。今年度は、日本において資本主義経済が成立して以来の経済の歴史、つまり日本資本主義発達史を学んでいくこととする。現在、私たちが住んでいる日本の資本主義経済はたかだか百数十年の歴史しかもっていない。しかし、その百数十年は人類が経験したことのない速いテンポで進み、大きく変貌している。この講義のねらいは日本の資本主義経済の歴史分析にあることはいうまでもないが、そのことによって現代日本の歴史的な位置を考えていくことにもう一つのねらいがある。

講義の内容・授業スケジュール 前期・後期を通じてそれぞれの歴史段階に沿った形で日本経済の特質を解説していくが、今年度はとりわけ財閥の歴史を重視していく。財閥は近代日本資本主義において経済発展を担う主体であり、また日本的な企業類型の主要なルーツとして中心的な位置を占めてきた。その財閥が、政商として誕生してから時代とともにどのように変容していったかをみていくこととする。

1. 前近代の社会経済構造
2. 明治維新の社会経済構造
3. 日本の産業革命
4. 政商から財閥へ
5. 大正デモクラシーの社会経済構造
6. 商社ブームと破綻
7. 昭和恐慌と高橋財政
8. 財閥の転向
9. 十五年戦争下の日本経済
10. 戦時体制と財閥
11. 敗戦と戦後改革
12. 財閥の解体
13. 高度経済成長の歴史構造
14. 企業集団と財閥
15. まとめ

履修上の留意点 歴史は暗記するものではなく理解するものであることを絶えず念頭におくこと。
成績評価の方法 試験ないしはレポートによって評価する。
教科書 特に指定しない。
参考書等 そのつど指示する。

履修コード	140901
科目名	上級簿記
担当者名	やじま ただし 矢島 正

講義のねらい この講義は「簿記学」を習得した学生を対象とし、通年で日商簿記検定2級の知識を身につけることを目的としています。

投資家、債権者、取引先、課税当局などの外部利害関係者に対して、企業は経済活動及び経済現象を財務諸表等によって報告する役割があります。しかし、企業では経営の多角化及び国際化の傾向が急速に強まり、これにともなって取引も複雑化してきました。したがって、企業は高度な会計知識をもった会計技術者を必要としています。問題意識をもって積極的な姿勢でこの講義を受講することを強く望みます。

講義の内容・授業スケジュール
履修上の留意点
成績評価の方法
教科書
参考書等

1. 現金預金取引
2. 銀行勘定調整表
3. 有価証券
4. 手形取引
5. 引当金
6. 特殊商品売買取引
7. 固定資産
8. 社債
9. 本支店会計
10. 合併

必ず電卓を用意してきてください。

出席、宿題、小テスト及び期末テストによって総合的に評価します。

加古宜士、渡部祐巨編著『新検定簿記講義2級商業簿記』(中央経済社)

加古宜士、渡部祐巨編著『新検定簿記ワークブック2級商業簿記』中央経済社(教科書と併せて購入すれば検定試験対策になります。)

その他

是非、日商簿記検定2級を目指してみてください。教科書は『簿記講義』を使用しますが、各項目ごとに出来るだけ丁寧に説明していきます。ただ、『ワークブック』も購入して勉強していただければ、より効率があがると思われれます。

履修コード	140101
科目名	管理会計論
担当者名	猿山 義広

講義のねらい	この講義の目的は、日商簿記検定試験や公認会計士試験に出題された計算問題を解きながら、管理会計の考え方や技法を理解してもらうことにある。管理会計は財務会計と並ぶ会計学の柱であり、会計学系列の演習を受講する学生はできるだけ履修してほしい。また、管理会計は経営学とも深く関わっているため、経営学系の演習を受講する学生も積極的に履修してほしい。
講義の内容・授業スケジュール	第1回 管理会計の基本概念、第2回 管理会計と原価計算1 —— 原価の意義と分類、第3回 管理会計と原価計算2 —— 原価計算の手段、第4回 管理会計と原価計算3 —— 直接原価計算、第5回 第1回小テスト、第6回 短期利益計画におけるCVP分析1 —— 損益分岐点分析、第7回 短期利益計画におけるCVP分析2 —— 目標利益の達成計画、第8回 短期利益計画におけるCVP分析3 —— プロモーション効果、第9回 第2回小テスト、第10回 原価予測、第11回 最適セラーズ・ミックスの決定、第12回 経済的発注量 (EOQ) の決定、第13回 第3回小テスト、第14回 標準原価計算による原価管理1 —— 原価統制の基礎、第15回 標準原価計算による原価管理2 —— 製造間接費の原価差異分析、第16回 標準原価計算による原価管理3 —— 標準直接原価計算、第17回 予算実績差異分析、第18回 第4回小テスト、第19回 活動基準原価計算 (ABC)、第20回 原価企画、第21回 バランス・スコアカード (BSC)、第22回 事業部制の管理会計、第23回 第5回小テスト、第24回 意思決定会計1 —— 業務的意思決定、第25回 意思決定会計2 —— 不確実性下の意思決定、第26回 意思決定会計3 —— 設備投資の意思決定、第27回 第6回小テスト、第28回 マーケティング会計1 —— 営業費管理会計、第29回 マーケティング会計2 —— ブランド管理会計、第30回 本試験
履修上の留意点	講義の重点は計算問題の解法に置かれるので、かならず電卓を持参すること。周知のように、管理会計における計算問題の多くは、日商簿記1級原価計算や公認会計士試験原価計算の特殊原価調査の分野で出題されるような問題と重なっているため、学習効果を高めるためにも、できるだけ「原価計算論」と併せて履修してほしい。
成績評価の方法	年間で6回行う授業中の小テストを20%、本試験を80%のウエイトで評価を行う。本試験は電卓以外の参照は一切不可なので、注意してほしい。
教科書	とくに指定する教科書はないが、計算問題については日商簿記2級工業簿記や日商簿記1級原価計算の過去問題を参考にしてほしい。また、例題や解法のポイントについてのプリントを毎回配布するので、それを保存するようにしてほしい。
参考書等	管理会計の最新理論については次の本に詳しく述べられている。 櫻井通晴『管理会計〔第三版〕』同文館出版。
その他	少しでも疑問な点があれば、授業中でも授業終了後でもかまわないので、積極的に質問すること。プリントは大切に保存してほしいが、もし紛失してしまったときは遠慮なく申し出ること。最後まであきらめることなく、粘り強く勉強してほしい。

履修コード	139801
科目名	原価計算論
担当者名	岸田 隆行 <small>きしだ たかゆき</small>

講義のねらい

原価計算は特に製造業において必須の技術である。原価計算は一方で財務会計を支援、一方で管理会計を支援しており、会計を学ぶものにとっては必ず習得しておかなければならない知識である。

原価計算の計算理論はすべて企業の製造プロセスの実態を数字として表すにはどのようにすべきであるのかを理論化したものである。理論の背景には企業の製造プロセスや環境変化がある。単に公式を覚えて、計算ができるようになるだけでなく、実態を正確に表すためにはどのような計算方法をとるべきなのか、また、計算された数字がどういう意味を持つのか、自ら考えられるようになってもらいたい。

講義の内容・授業スケジュール

前期

- ① 原価計算とはなにか
- ② 原価計算の機能と原価概念
- ③ 工業簿記(1)
- ④ 材料費計算(1)
- ⑤ 材料費計算(2)
- ⑥ 労務費計算
- ⑦ 経費計算
- ⑧ 製造間接費(1)
- ⑨ 製造間接費(2)
- ⑩ 部門別原価計算(1)
- ⑪ 部門別原価計算(2)
- ⑫ 中間試験

後期

- ① 個別原価計算(1)
- ② 個別原価計算(2)
- ③ 総合原価計算(1)
- ④ 総合原価計算(2)
- ⑤ 工程別総合原価計算
- ⑥ 組別・等級別総合原価計算
- ⑦ 工業簿記(2)
- ⑧ 標準原価計算(1)
- ⑨ 標準原価計算(2)
- ⑩ 直接原価計算(1)
- ⑪ 直接原価計算(2)
- ⑫ 原価計算の近年の動向

履修上の留意点

原価計算を習得するためには自ら計算を行うことが必要である。講義では、例題を解いていくが、解答を丸写しするのではなく、自ら電卓をたたき、実際に計算をしてみる。また、随時小テストを行い、知識の定着をはかる。したがって、受講するにあたっては、必ず、電卓を持参すること。

成績評価の方法

前期末に行う中間試験30点、年度末の定期試験70点に、講義中に随時行う小テストの結果を加味して評価する。

教科書
参考書等

特に指定しない。毎回プリントを配布する。

講義の進行にしたがって、下記のテキストを自ら進めていくことが望ましい。

木島淑孝・高橋史安・吉川武男『コスト・アカウンティング・セミナー』(税務経理協会)

履修コード	141801
科目名	会計監査論
担当者名	阿部 一人

講義のねらい

“監査論を無味乾燥であるとエスケープしないでくれたまえ”

もともと監査論は、その言葉自体がもつ語感からして、堅苦しく・手続的で暗いイメージを与えがちである。

監査論は他人の不実行為を暴くこと自体を目的とするものではないので、仮にその結果、内容のどこにも非のうちどころがなく全く適切で妥当なことが明らかになったとしても、それはむしろ当然の事柄であって、その人が負っている責任を免れることにもなるのである。

監査は、優れて社会的・人間的な用具として生みだされたものであるが、しかしそれを悪用したり骨抜きにしたりする者も現実には存在することは、過去の事例からも明らかなことであるけれども、そのような者が多ければなおのこと監査に対する社会的な要望も多岐に存在している。

まさに、監査がどれだけ社会一般に受け入れられているかということこそ、文明社会を映し出す尺度であると言えまいか！

監査論は財務諸表監査として特徴づけられている。

これは、企業をめぐる多数の利害関係者を保護するため、企業の発表する財務諸表が企業の財政状態や経営成績を適正に表示しているかどうかについて、職業的監査人が公正な立場から批判的意見を表明する社会制度であり、他のあらゆる監査の標準をなすものである。

本講義では、財務諸表監査を中心として、さらに監査役監査ならびに内部監査をはじめ最近の経営監査、監査の国際化などの関連領域をも含めて論及する。

1. 会計監査の意義と目的（総論）（1）、（1）監査の必要、（2）監査の意義、（3）監査の対象、2. 会計監査の意義と目的（2）、（1）監査の目的、（2）監査思想の変遷、（3）監査の効用、3. 監査の機能、4. 会計上の誤謬と不正、5. 監査の種類、6. 会計監査と財務諸表監査、7. 我国の監査制度、（1）証券取引法監査、（2）商法監査、（3）その他の監査制度、8. 監査基準（1）、（1）必要性、（2）生成と展開、9. 監査基準（2）、（1）意義、（2）体系、（3）一般基準、（4）実施基準、（5）報告基準、10. 監査人、11. 監査証拠、12. 監査計画、13. 内部統制、14. 試算、15. 監査技術と監査手続、16. 監査調書と経営者による確認書、17. 監査報告書、18. 連結財務諸表の監査、19. 中間財務諸表の監査、20. システム監査、21. 国際監査基準、22. 現代監査論の動向、（1）監査概念の拡大化、（2）監査保証に程度の差を認める監査概念

「簿記学」「会计学」の科目を履修済みであることが好ましい。

評価の方法は、後期の定期試験、レポート（夏季）および出席状況を考慮して、総合的に判定する。なお、最初の講義時に詳細な講義内容、試験の方法および評価の方法等について説明するので、受講希望者は必ず出席すること。

開講後指示する。

田島四郎『最新監査論』（税務経理協会）2,900円

高田正淳『最新監査論』（中央経済社）2,800円

鳥羽至英『監査基準の基礎』（白桃書房）3,900円

三澤 一『会計監査の理論』（中央経済社）2,800円

山榎忠恕・榎田信男『監査基準精鋭精説』（税務経理協会）3,500円

脇田良一『財務諸表監査の構造と制度』（中央経済社）3,800円

講義の内容・
授業スケジュール

履修上の留意点
成績評価の方法

教科書
参考書等

履修コード	141901
科目名	税務会計論
担当者名	高木 克己 <small>たかき かつみ</small>

講義のねらい

今日、租税は我々個人にとっては、所得税、相続税等の問題として、また、企業にとっては、法人税の問題が大きな関心事として存在している。ここ数年、法人税も税率の引き下げをはじめ、多くの改正が行われている。本講義では、普通法人（株式会社等）を前提とした法人税の算定過程を中心に講義を進めていく。

税務会計とは、一般に企業における課税所得の算定過程を研究する分野をいう。この課税所得は、会社法あるいは企業会計原則等によって算出された利益にもとづいて算定される。ここでは、法人税法固有の規定（いわゆる別段の定め）が適用され、負担の公平、簡便性、あるいは政策的配慮等さまざまな考え方が反映されている。講義では、こうした税法固有の考え方の根拠、背景等を出来るだけやさしく説明しながら、今日、法人税法の抱えている問題点を明らかにしていきたいと考える。

講義内容の概要は次のとおりである。

(1~2) 税務会計の制度的基礎、(3~5) 法人税の意義、性格、納税義務者等、(6~8) 事業年度、同族会社、(9~12) 課税所得計算の基礎、(13~16) 販売収益、請負収益、有価証券譲渡益等、(17~21) 売上原価、減価償却、寄付金、交際費等、(22~24) 税額の計算、申告、納付等、(25~28) 企業組織再編税制、連結納税制度等、(29~30) 国際課税、不服申立・訴訟等

講義の内容・授業スケジュール

履修上の留意点

「簿記学」「会計学」等の基礎的な会計科目を修得した上で履修した方がより理解が深まると思われる。

成績評価の方法

原則として学年末の試験によって評価する。前期末に小テストを行う。

教科書

開講時に指示する。

参考書等

開講時に指示する。

専門教育

履修コード	141301
科目名	経営分析論
担当者名	片桐 伸夫 <small>かたぎり のぶお</small>

講義のねらい

経営分析とは、文字どおり「企業の経営を分析すること」であり、かなり多方面にわたる内容をもっています。

皆さんが将来を託そうとする会社は、

- 1 財政的に安定しているだろうか（安定性分析）、
 - 2 「儲け」はどうだろうか（収益性分析）、
 - 3 経営活動の成果はきちんと配分されているだろうか（生産性分析）、
 - 4 長期的な会社の「伸び」はどうだろうか（成長性分析）、また、
 - 5 社会に対してどのように貢献しているだろうか（社会性分析）、
- といった内容です。

講義の内容・授業スケジュール

(1) 経営分析について、(2-6) 経営分析の資料、貸借対照表・損益計算書の読み方、(7-12) 収益性・安定性分析、製造業-製造原価報告書、(13-15) 貸借対照表・損益計算書問題、安定性・収益性比率の計算問題、(16-20) 生産性分析、標準原価、損益分岐点分析、(21-26) キャッシュフロー計算書、連結財務諸表、(27-30) 税効果会計、正味現在価値法と設備投資

履修上の留意点

この授業の目的は、「財務諸表分析」を中心に、各人が就職を希望する、あるいは興味を持っている会社の「分析」をしていただくことにあります。つたなくても、ささやかでも、その成果は皆さんの貴重な「財産」です。

成績評価の方法

成績評価はレポートと授業中のテストで行います。学年末試験は行いませんのでご注意ください。

評価基準 前期レポート40%、前期小テスト10%、

後期レポート40%、後期小テスト10%、

☆質問は授業以外にも研究室2307号室で随時受け付けますので、遠慮なくおいでください。

教科書

開講時、指示します。

参考書等

随時、紹介します。

履修コード	142801
科目名	国際会計論
担当者名	おおくら まなぶ 大倉 学

講義のねらい 国際会計論の領域では、企業の国際取引の増大、国際資本市場の発展などを背景として様々な視点からの研究が行われています。

近時、財務諸表利用者の経済的意思決定に資するべく、情報有用性を高める一つの方策として、各国の会計ルールの統一化～国際会計基準（国際財務報告基準）への収斂～という問題がおおきくとりあげられているところです。

本講義では、主要各国の会計制度のあり方を検討したり、国際会計基準の基本思考を検討したりという観点から、今日的課題を考察していきます。

講義の内容・授業スケジュール

(1) 国際会計論における種々のアプローチ (2～3) 日本の会計制度の特質 (4～5) アメリカの会計制度の特質 (6～7) EUの会計制度の特質 (8～10) 国際会計基準の史的展開 (11～13) 国際会計基準の権威とコンバージェンス (14～15) 日本の対応 (16～17) 会計目的観の検討 (18～20) 情報の質的特性 (21～24) 財務諸表の構成要素 (25～26) 認識と測定 (27～30) 具体的会計基準および会計処理の検討

履修上の留意点

国際的にも国内的にも、状況の変化が著しい領域ですので、常に新聞・雑誌・インターネット上での各種情報などで情報に接する習慣をつけておいて下さい。

成績評価の方法
教科書
参考書等

授業内の課題提出 2回 (25%×2) および定期試験 (50%) をもって評価します。
「未定」
「未定」

専門教育

履修コード	136611
科目名	経営数学A
担当者名	いらいだ てつお 飯田 哲夫

講義のねらい 企業経営上の問題を扱う際に用いられる、定量的な分析や合理的な意思決定のための数理的方法論を理解する上で、ある程度の数学的知識を持っていることが望まれる。経営数学Aでは、定量的な分析や合理的な意思決定の方法論を扱う経営科学関連の専門科目に関係する数学的知識について、高校で習った数学の復習を含めて、基本的な内容を主に学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

授業内容は、基本的な関数、数列、極限、級数、ベクトル、行列などである。授業は講義形式で行う。授業では、数学がどのように用いられるのかを理解するために、適宜、応用例を紹介する。授業スケジュールは、以下のとおりである。(1)イントロダクション、(2-5)数と関数、(6-7)数列、(8-9)極限、(10)級数、(11-13)ベクトルと行列、(14-15)逆行列とその応用。

履修上の留意点

講義では理解を助けるために例を用いて説明を行うけれども、数学を学ぶ上では、抽象的な概念に慣れることが必要であり、かつ、講義の積み重ねを経ないと理解できないことも多いため、毎回出席すること。

成績評価の方法
教科書

中間試験と期末試験を行い、それらの成績で評価する。
適宜、プリントを配布する。

履修コード	136621
科目名	経営数学B
担当者名	いらいだ てつお 飯田 哲夫

講義のねらい 経営数学Bでは、経営数学Aに引き続き、定量的な分析や合理的な意思決定の方法論を扱う経営科学関連の専門科目に関係する数学的知識を、高校で習った数学の復習を含めて、さらに学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

授業内容は、利益の最大化や費用の最小化を行う際に用いられる微分法とその応用(微分係数、導関数、微分の方法、高次導関数、極値など)を中心とする。授業は講義形式で行う。授業では、数学がどのように用いられるのかを理解するために、適宜、応用例を紹介する。授業スケジュールは、以下のとおりである。(1)イントロダクション、(2-4)集合、(5-9)微分法、(10-12)微分法の応用、(12-15)多変数関数の微分と応用。

履修上の留意点

講義では理解を助けるために例を用いて説明を行うけれども、数学を学ぶ上では、抽象的な概念に慣れることが必要であり、かつ、講義の積み重ねを経ないと理解できないことも多いため、毎回出席すること。

成績評価の方法
教科書

中間試験と期末試験を行い、それらの成績で評価する。
適宜、プリントを配布する。

履修コード	136631
科目名	確率・統計入門A
担当者名	小沢 利久 <small>おざわ としひさ</small>

講義のねらい

データには必ず誤差が含まれており、データの利用にあたっては誤差を考慮した分析が必要となります。確率・統計入門では、そのような分析のための基礎理論である統計的推定と検定の理解を最終的な目標とします。そのために、この確率・統計入門Aでは統計的推定と検定の理解に必要な確率論の基礎とデータ処理について学び、後期に配当された確率・統計入門Bで統計的推定と検定を学びます。この科目は2年次以降に配当された専門教育科目を受講する上で必要となる確率・統計の基礎を学ぶ科目です。

講義の内容・授業スケジュール

(1) 誤差を考慮した分析の必要性、(2) 事象と確率、(3) 条件付き確率とベイズの定理、(4) 確率変数と分布関数、(5) 平均と分散、(6) 中間試験、(7~9) いろいろな確率分布(二項分布、ポアソン分布、幾何分布、指数分布、一様分布、正規分布)、(10) 多変量確率変数(同時分布、独立性、共分散と相関係数)、(11) 大数の法則と中心極限定理、(12) 標本抽出と標本平均・標本分散、(13~14) データの処理、(15) 全体のまとめ

履修上の留意点

前提とする内容は特にありませんが、数学的な理解を助けるために経営数学Aを同時に履修して下さい。また、後期継続して確率・統計入門Bを受講して下さい。

成績評価の方法
教科書
参考書等

中間テスト(5月下旬)と定期試験(7月下旬)により評価します。出席については参考とします。稲垣宣生・吉田光雄・山根芳知・地道正行『統計学講義』2007年刊(裳華房)本体2,100円 必要に応じて示します。

履修コード	136641
科目名	確率・統計入門B
担当者名	小沢 利久 <small>おざわ としひさ</small>

講義のねらい

この確率・統計入門Bでは、確率・統計入門Aで学んだことを前提として統計的推定と検定について学びます。この科目は2年次以降に配当された専門教育科目を受講する上で必要となる確率・統計の基礎を学ぶ科目です。

講義の内容・授業スケジュール

(1) 標本抽出についての復習、(2~3) 推定と不偏推定量・最尤推定量、(4~6) 区間推定と標本分布(カイ2乗分布、t分布、F分布)、(7) 仮説検定の考え方、(8~9) 平均・分散・比率の検定、(10~12) 平均の差・分散比・比率の差の推定と検定、(13~14) 適合度と分割表の検定、(15) 全体のまとめ

履修上の留意点

確率・統計Aの内容を前提とします。また、数学的な理解を助けるために経営数学Bを同時に履修して下さい。

成績評価の方法

定期試験(1月上旬)を主とし、提出物(宿題)を加味して評価します。出席については参考とします。

教科書
参考書等

稲垣宣生・吉田光雄・山根芳知・地道正行『統計学講義』2007年刊(裳華房)本体2,100円 必要に応じて示します。

履修コード	137501
科目名	情報処理基礎A
担当者名	岩淵 護 <small>いわぶち まもる</small>

講義のねらい

学内の情報環境に即したコンピュータ操作やワープロ文書処理、表計算処理に加え、インターネットを利用した情報収集等情報技術の活用に関わる基礎的技能的習得を図っていきます。目標は、Word2007、Excel2007(データベース機能を除く)の大まかな主要機能の習得にあります。

講義の内容・授業スケジュール

予定している講義内容は次のとおりです。(1) コンピュータの基本的な使い方、(2) Windowsの基本操作、(3~4) ワープロソフトの基本操作、(5~7) ワープロソフトによる文書作成、(8~9) 表計算ソフトの基本操作、(10~12) 表計算ソフトを用いたデータの基礎的な加工や分析、(13) インターネットの基礎、(14~15) インターネットの活用による情報収集・処理

履修上の留意点

授業は、コンピュータを使用した演習形式で行います。毎回、演習課題を配布いたしますので遅刻・出席をしないよう努めてください。

成績評価の方法
教科書
その他

出席点・演習課題(毎回実施)50%、必要に応じたレポートの提出50% 必要に応じてレジュメ等も配布します。
※この科目は4月初旬に抽選登録の申請をしなければ履修できません。

履修コード	137601
科目名	情報処理基礎A
担当者名	おさわ としひさ 小沢 利久

講義のねらい	現代のビジネスにおいてコンピューターの利用は不可欠です。この講義では、コンピューターとネットワークの仕組みについて理解するとともに、インターネットを介して情報を収集し、それを資料としてまとめ、プレゼンテーションするために必要なコンピューターの知識を身につけます。
講義の内容・授業スケジュール	(1~2) コンピューターとネットワークの仕組み、(3) コンピューターの基本操作、(4~7) 文書作成：文書の入力、書式の設定、図と表の作成、(8) 情報検索の方法、(9~12) 表計算：表の作成、グラフの作成、関数の使い方、いろいろな関数、(13~14) プレゼンテーション資料の作成、(15) 全体のまとめ
履修上の留意点	前提とする内容は特にありません。授業で習ったことを何度も反復してやってみるといふ復習の心がけて下さい。
成績評価の方法	項目毎の課題提出(複数回)を合計90点満点、出席を10点満点として評価します。
教科書	プリントを配布し、テキストに代えます。
参考書等	必要に応じて示します。

履修コード	137001
科目名	情報処理基礎A
担当者名	かとう たけのぶ 加藤 武信

講義のねらい	情報化社会の電子文房具であるパソコンは、個人レベル、組織レベルおよび社会レベルで益々必要性を増している。ここではパソコンの原理とその活用法の基礎部分を総合的に学習し、それを自在に使う、インターネットを用いた情報検索やワープロによる文書の作成、表計算によるデータ加工の技法などを修得する。パソコンの実習環境は、Windows を用いる。
講義の内容・授業スケジュール	A. コンピューターの仕組みと Windows の基本操作 (1~2) アクセサリとペイントの活用、タイピング、ファイルシステムの操作を含む B. ワープロソフト Word による文書作成 (3~4) 日本語入力、手紙、納品書、履歴書などの作成、図形描画の活用 C. インターネットと電子メールの活用 (5~6) Web ページの検索、ダウンロード、メールの送受信など D. 表計算ソフト Excel による作表・作図(基本レベル) (7~10) 売上集計、成績処理と各種グラフ、納品書、履歴書、精算表の作成 (11~15) 基本関数、論理関数、データベースの活用
履修上の留意点	パソコン実習が全体の80%を占めるので、欠席せず、熱意をもって受講することを望む。習熟するためには、時間外のパソコン実習が必須である。また、テキストや配布教材を熟読しなければならない。
成績評価の方法	平常点(出席とレポートへの点数付け)およびテストにより総合評価する。
教科書	①電子教材 ②コンピュータリテラシー研究会「Office 2007によるコンピュータリテラシー」(サンウェイ出版) ¥1,300 ISBN978-4-88389-028-6 C0004
参考書等	鈴木光男「EXCEL ビジネスデータ分析2007対応」(翔泳社) ¥2,180 ISBN978-4-7981-1118-6 C3055
その他	授業の方法：パソコン実習 ※この科目は4月初旬に抽選登録の申請をしなければ履修できません。

履修コード	136701・137101
科目名	情報処理基礎A
担当者名	河内谷 幸子

講義のねらい この講義のねらいは、様々な情報の中から自分に必要な情報を取得し、自分なりの表現へと加工して発信する力を身につけることです。

講義の内容・授業スケジュール 毎回、1人1台コンピュータを使って実習を行います。初心者を前提として、タイプ練習、日本語入力、ワープロソフト、ホームページ検索、ホームページ作成入門、ブログ、情報倫理などを実習していきます。

履修上の留意点 コンピュータ実習授業は1回休むと次の実習内容がわからなくなるので、休まないようにしましょう。出席は必ずとります。

成績評価の方法 コンピュータを使って解くレポート課題を2～3回出し、その結果と出席状況の総合評価によって成績を評価します。

教科書等その他 サイエンス社「実習 Word」
その都度授業で指示します。
1人1台コンピュータを使った実習形式です。
※この科目は4月初旬に抽選登録の申請をしなければ履修できません。

履修コード	136801・136901
科目名	情報処理基礎A
担当者名	地引 昌弘

講義のねらい 本講義では、経営の様々な場面で出会う意思決定やその問題解決の手段として、コンピュータを自分自身で活用できるための基礎の習得を目標とする。

講義の内容・授業スケジュール ・イントロダクション(1)
講義内容概説/情報教育センターに関するオリエンテーション/コンピュータ科学と経営学とについて(プロローグ)
・コンピュータの構成と基本操作(2～8)
初めてコンピュータに触れる人が戸惑わないために、コンピュータを使う上での最初の一步から説明を始める。続いて、基本的な入力装置であるキーボードおよびマウスの操作に慣れることを目標に、ワープロソフトを用いた文書の作成を行なう。
・ホームページによる情報発信(9～15)
電子メールを用いたコミュニケーションやWWWブラウザを用いた情報収集、最後に自らのホームページを作成して情報を発信できることを目指す。

履修上の留意点 本講義は、コンピュータの初心者か、コンピュータを補助として利用できるようになることを、そして何か問題が起きた場合でも自分自身で対処を行なえるようになることを最終的な目標としています。従って、上記の基本スケジュールと並行して、適宜コンピュータに関する様々な知識や最新情報なども解説していく予定です。また、この目標に向けてのどのような質問/疑問でも大いに歓迎致します。

成績評価の方法 まずは、上記に述べた本講義の趣旨より、単位の取得だけが目的の者は遠慮していただきたい(出席免除などは基本的に認めない)。実習が中心なので、基本的には毎回出席し、出席の確認として実習内容を提出させることを予定している。各実習毎に、解決すべき課題(あるいはその実習の目標)を示すので、これらを解決(あるいは実現)できた場合に、実習毎の内容に応じた部分点を与える。また、実習の状況に応じて追加課題を提出させる場合がある。期末には、履修を終えた項目を応用したレポートを提出させる。成績は、出席および課題/レポートの各部分点を総合して評価する。

その他 教科書などは特に指定しないが、必要に応じて各項目ごとの参考図書を紹介する。状況が許せば、コミュニケーション手段の一つとして E-mail(電子メール)を利用する予定。
※この科目は4月初旬に抽選登録の申請をしなければ履修できません。

履修コード	137611
科目名	情報処理基礎A
担当者名	長 国強

講義のねらい この講義では、コンピュータとネットワークの仕組みについて説明した後、文書作成、情報検索、表計算の知識について、実際にコンピュータを使いながら学んでいく。

講義の内容・授業スケジュール コンピュータ基礎(1-2); 文書作成(3-7); 情報検索(8); 小テスト(9); 表計算(10-12); 全体のとまとめ(13-14), 小テスト(15)。

成績評価の方法 総合評価(100)=出席(30)+提出課題(50)+期末試験(20)。

教科書等 特に使用しませんが、プリントは毎回配布する予定。
特に使用しません。

履修コード	137631
科目名	情報処理基礎A
担当者名	<small>なかの ひでひろ</small> 中野 秀洋

講義のねらい この講義では、コンピュータとネットワークの仕組みについて説明した後、インターネットを介して情報を収集し、それを資料としてまとめ、プレゼンテーションするために必要なコンピュータの知識について、実際にコンピュータを使いながら学んでいく。具体的には、情報検索、文書作成、表計算、プレゼンテーション資料作成などを、専用アプリケーションを用いて行う。

講義の内容・授業スケジュール 第1回：コンピュータとネットワークの仕組み（1）
第2回：コンピュータとネットワークの仕組み（2）

第3回：コンピュータの基本操作

第4回：文書作成（文書の入力）

第5回：文書作成（書式の設定）

第6回：文書作成（図と表の作成）

第7回：情報検索の方法（1）

第8回：情報検索の方法（2）

第9回：表計算（表の作成）

第10回：表計算（グラフの作成）

第11回：表計算（関数の使い方）

第12回：表計算（いろいろな関数）

第13回：プレゼンテーション資料の作成（1）

第14回：プレゼンテーション資料の作成（2）

第15回：全体のまとめ

成績評価の方法 複数回の課題提出により評価する。授業に出席することも合格の必要条件である。

教科書 授業の中で資料を配布する。

参考書等 授業の中で必要に応じて紹介する。

履修コード	137201
科目名	情報処理基礎A
担当者名	<small>むらかみ ゆかこ</small> 村上 友佳子

専
門
教
育

講義のねらい

本講義は、経営学・経済学での基礎的なコンピューターによる数的処理・統計処理を修得することを目的とする。経済現象は、売上高の変化、利益率の変化、失業率や公定歩合などの割合の変化等々数字として表現されることがほとんどである。こうした数字からいかに情報を引き出すか、基本的な経営・経済指標について講義とエクセルを使った実習を行う。

官公庁などのホームページをデータの収集に利用していくこともおこなう予定である。関心のある事柄を調べる（図書館での文献・データベースの検索、パソコンでのインターネットの活用などによる）、表計算ソフトを使って表・グラフを作成する、プレゼンテーションを行う、レポートを書く、などの方法を習得する。

大学生として、成果をレポートや論文として残したい学生に相応しい講義です。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 ガイダンス
- 2 インターネットによる官公庁統計の利用
- 3 データのダウンロード
- 4 企業の経営データに親しむ（図書館データベースの利用）
- 5 数的処理の方法（構成比、成長率、寄与度）
- 6 EXCELによる統計処理の方法（記述統計 グラフを描く）
- 7 WORDによるレポート執筆（グラフの貼り付け）
- 8 POWER POINT によるプレゼンテーション（報告）行い方
- 9 分析事例を見てみよう（論文やレポートを読んで、数的処理を知る）
- 10 図書館における文献、資料、統計、データベースの検索の行い方

（「5. 数的処理の方法」「6. EXCELによる統計処理」は、複数回、講義する予定。少しずつ無理なく、情報処理を学びましょう。）

経済統計のバックグラウンドとなる経済・経営知識の講義を多少行い、実作業を行っていく予定です。

参考文献 浅子和美・加納・倉沢「マクロ経済学」（新世社）

小田切宏之「企業経済学」（東洋経済）

刈屋武昭「計量経済学の基礎と応用」（東洋経済新報社）

成績評価の方法

第一に、レポート提出を課題とする。興味のある企業の経営戦略について、WORD・EXCEL（数表、グラフ添付）を用いて、執筆すること。

第二に、講義に遅刻しないで出席し、講義を聴き、指示に従い作業を行う。分からなければ質問し、講義が進められる実際の演習を習得する。その結果として、講義内の練習問題を提出する。

そ の 他

講義受講者は、次回までに、ユーザーコード パスワードを総合情報センターの事務室で申請してください。

※この科目は4月初旬に抽選登録の申請をしなければ履修できません。

履修コード	137401
科目名	情報処理基礎A
担当者名	桃塚 薫

講義のねらい	この講義の目的は、大学生として必要不可欠なコンピュータの基礎的リテラシーを習得してもらうことです。パソコンとインターネットを用いて、必要な情報を収集する能力、自分で情報発信をする能力の両方を学習します。
講義の内容・授業スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> ● (1)Windows の基本操作（電源の入れ方、ファイル・フォルダの概念、ハードディスクなど各種記憶装置の名称・構造と使い方、ホームディレクトリの使用方法） ● (2)電子メール（Active! Mail）の使い方（電子メールの送受信、転送、保存、削除、ファイルの添付、あて先とCC、BCC、ネチケット（成りすまし、デマメールなど）の説明 ● (3)Web の基礎知識（情報検索の方法） ● (4～7)ワープロソフトの基本操作（日本語入力、全角文字と半角文字、ドキュメンテーションの保存、装飾、図・表などの作成と挿入、文字列の検索と置換、箇条書き、印刷方法、実際に複数ページにまたがるドキュメンテーションを作成） ● (8～15)表計算ソフトの基本操作（表計算ソフトの概念、基本用語の説明、データ入力方法の説明、データの保存、四則演算、データの修正、数式のコピー（相対参照と絶対参照）、レイアウトの変更、印刷、平易な統計・論理関数の使い方（合計、平均、条件）、各種グラフの作成、データベースの概念、フィールドとレコード、データの並べ替え、列と行の表示と非表示、その他の関数、表計算ソフトを利用した総合成演習）
履修上の留意点	実習授業のため、遅刻・欠席をしないでください。毎回出席を取ります。授業中に数回、課題を提出してもらいます。
成績評価の方法	出席点(50)、課題提出状況(25)、期末レポート(25)による相対評価。
教科書	毎回プリントを配布。(同じ内容のPDFファイルをウェブ上で閲覧できる)
その他	※この科目は4月初旬に抽選登録の申請をしなければ履修できません。

履修コード	137301
科目名	情報処理基礎A
担当者名	依田 聖

講義のねらい	コンピュータなしでは社会生活を遂行してゆくことは困難になりつつある。コンピュータの基本的な操作方法をマスターする中で、コンピュータの機能について理解し、情報を大学生活に活用する能力を身につける。
講義の内容・授業スケジュール	大学あるいは企業でPCを道具（情報収集、情報伝達、レポートの作成等）として使う基本的な力（コンピュータ・リテラシー）を養う。演習を中心に進めるが、コンピュータ化の問題点と情報倫理等の講義も行う。演習の主要な点は（1）PCの操作（Windows の基本操作）（2）WWW（ブラウザの使用法、情報検索・収集）（3）電子メール（送受信、添付ファイル、アドレス帳）（4）ワープロ（操作法、文書作成、印刷）
履修上の留意点	講義にはメールを活用（講義録の送付と課題の提出）する。 本科目は積み重ねが必要。欠席した場合必ず休んだ部分を勉強し、次回にのぞむように。分からないことは恥ずかしながら聞き、その場で解決のこと。また復習をしっかりとすること。演習は結果としてハードなものになるので熱意を持って取り組むこと。休まず、遅刻はしないこと（出欠は必ずとります）。
成績評価の方法	出席（毎回の課題を提出）・レポート40%、試験60%。特にメールを習った後は毎回の課題はメールで提出する。
教科書	太田忠一編『文科系のためのコンピュータリテラシ [第4版]』（サイエンス社）2008年 1,950円＋税、ISBN4-7819-1085-8
その他	※この科目は4月初旬に抽選登録の申請をしなければ履修できません。

履修コード	137621
科目名	情報処理基礎A
担当者名	若山 大樹

講義のねらい	この講義では、コンピュータとネットワークの仕組みについて説明した後、インターネットを介して情報を収集し、それを資料としてまとめ、プレゼンテーションするために必要なコンピュータの知識について、実際にコンピュータを使いながら学んでいく。具体的には、情報検索、文書作成、表計算、プレゼンテーション資料作成などを、専用アプリケーションを用いて行う。
講義の内容・授業スケジュール	(1)～(2) コンピュータとネットワークの仕組み、 (3) コンピュータの基本操作、 (4)～(5) 情報検索の方法、 (6)～(12) 文書作成、 (13)～(14) プレゼンテーション資料の作成、 (15) まとめ
履修上の留意点	必修科目であり出席を重要視するので、欠席するときは事前に申し出ること。また、授業進行状況により講義スケジュールの項目が前後する場合がある。
成績評価の方法	4～5回の小課題提出状況と出席、期末課題により総合的に評価する。
教科書	必要に応じて配布あるいは、指示する。
参考書等	必要に応じて配布あるいは、指示する。

履修コード	137801
科目名	情報処理基礎B
担当者名	岩淵 護

講義のねらい	前期情報処理基礎Aに引き続き、基礎的技能を更に発展させ、プレゼンテーション、問題解決等の場面で活用できる能力を身につけ、情報を正しく取り扱う姿勢や態度を確実なものにします。目標は、Power Point2007、Excel2007（データベース機能、データ加工・分析の応用）、Access2007（Excel2007と関連した基本操作に限定）の習得にあります。
講義の内容・授業スケジュール	予定している講義内容は次のとおりです。(1～2) プレゼンテーションソフトの基本操作、(3～5) プレゼンテーションソフトによる資料作成、(6～8) 表計算ソフトによるデータ加工・分析の応用、(9～10) 表計算ソフトによるデータベース処理、(11～12) 企業に関する情報の収集・処理、(13) 情報発信に向けた基本的言語の理解、(14～15) 情報発信のためのホームページ作成
履修上の留意点	授業は、コンピュータを使用した演習形式で行います。毎回、演習課題を配布いたしますので遅刻・欠席をしないよう努めてください。
成績評価の方法	出席点・演習課題（毎回実施）50%、必要に応じたレポートの提出50%
教科書	必要に応じてレジュメ等も配布します。
その他	※この科目を履修するためには、「情報処理基礎A」の4月初回授業時に担当教員の受講許可を得た上で、履修登録してください。「情報処理基礎A」への抽選登録申請のみでは履修できません。

履修コード	138601
科目名	情報処理基礎B
担当者名	小沢 利久

講義のねらい	適切な経営判断、有効な計画立案を行うためには、日々蓄積されるデータを、コンピュータを用いてさまざまな観点から分析し、そこから意味のある情報を引き出すことが重要となります。この講義では、代表的な表計算アプリケーションである Excel のワークシート関数と付属ツールを用いたデータ分析の方法を身につけます。
講義の内容・授業スケジュール	(1) ワークシート関数の基本についての復習、(2～3) 財務関数とその応用例、(4～5) 統計関数とその応用例、(6～9) 回帰分析ツールの使い方、決定係数と残差を用いた分析および応用例、(10～11) ゴールシークの使い方とその応用例、(12～14) ソルバーの使い方とその応用例、(15) 全体のまとめ
履修上の留意点	情報処理基礎Aの内容を前提とします。授業で習ったことを何度も反復してやってみるという復習を心がけて下さい。
成績評価の方法	項目毎の課題提出（複数回）を合計90点満点、出席を10点満点として評価します。
教科書	プリントを配布し、テキストに代えます。
参考書等	必要に応じて示します。

履修コード	138301
科目名	情報処理基礎B
担当者名	加藤 武信

講義のねらい 「情報処理基礎A」の授業で確立したパソコンに関する知識・技術をさらに発展させ、実社会で応用できる活用能力に高める。すなわち Excel による応用処理と PowerPoint を用いたプレゼンテーション、さらに関係データベース Access を活用した「仕事の仕組み」の具体化を試みる。パソコンの実習環境は、Windows を用いる。

講義の内容・授業スケジュール

A. 表計算ソフト Excel による応用処理
 (1～4) データベース応用、ピボットテーブルの活用、各種計算モデルの活用、管理資料の作成
 B. プレゼンテーションソフト PowerPoint によるデータの視覚化
 (5～6) 表題、箇条書き、組織図、表、グラフ、挿絵入りスライドなどの作成
 (7～8) プレゼンテーション課題に沿った発表順序の企画とスライドの作成
 C. データベースソフト Access による成績処理業務の設計と処理
 (9～15) テーブルの設計、フォームによるデータ入力、テーブルの結合、クエリによる各種集計、SQLの基礎

履修上の留意点 パソコン実習が全体の80%を占めるので、欠席せず、熱意をもって受講することを望む。習熟するためには、時間外のパソコン実習が必須である。また、テキストや配布教材を熟読しなければならない。

成績評価の方法 出席、レポートおよびテストにより総合評価する。

教科書 コンピュータリテラシー研究会「Office 2007によるコンピュータリテラシー」(サンウェイ出版) ¥1,300

参考書等 ISBN978-4-88389-028-6 C0004
 鈴木光勇「EXCEL ビジネスデータ分析2007対応」(翔泳社) ¥2,180
 ISBN978-4-7981-1118-6 C3055

その他 授業の方法：パソコン実習
 ※この科目を履修するためには、「情報処理基礎A」の4月初回授業時に担当教員の受講許可を得た上で、履修登録してください。「情報処理基礎A」への抽選登録申請のみでは履修できません。

専門教育

履修コード	137901・138001
科目名	情報処理基礎B
担当者名	河内谷 幸子

講義のねらい この授業のねらいは、自分の持つ情報のよりよい表現方法を学ぶことです。また、将来的に全く新種のソフトが世間的に普及するような場合が生じても適応できるように、積極的に新しいものに取り組む姿勢を身につけることも目標とします。

講義の内容・授業スケジュール 毎回、1人1台コンピュータを使って実習を行います。「情報処理基礎A」履修者または同等の基礎力を持つ者を対象とします。表計算ソフト、プレゼンテーションソフトの使い方、ソフト比較演習、などを実習します。

履修上の留意点 「情報処理基礎A」をあらかじめ履修しておくことをおすすめします。また、コンピュータ実習授業は1回休むと次の実習内容がわからなくなるので、休まないようにしましょう。出席は必ずとりま

成績評価の方法 コンピュータを使って解くレポート課題を2～3回出し、その結果と出席状況の総合評価によって成績を評価します。

教科書 サイエンス社「実習 Word」
参考書等 その都度授業で指示します。

その他 1人1台コンピュータを使った実習形式です。
 ※この科目を履修するためには、「情報処理基礎A」の4月初回授業時に担当教員の受講許可を得た上で、履修登録してください。「情報処理基礎A」への抽選登録申請のみでは履修できません。

履修コード	138101・138201
科目名	情報処理基礎 B
担当者名	地引 昌弘

講義のねらい 本講義では、コンピュータの操作方法を単に習得するだけに偏らず、コンピュータ自体の知識や経営における実際の問題などに対応させながら、意思決定／問題解決の手段として活用できる能力の習得を目標とする。

講義の内容・授業スケジュール

・表計算の基本(1～6)
経営の場における情報分析に際して、ワープロ以上に重要なツールである表計算ソフトに慣れることを目標に、代表的な表計算ソフトである MS-EXCEL を利用した表計算やグラフの作成、基礎的な統計分析などの各機能について学ぶ。

・オフィス統合ツールの基本(7～12)
表計算ソフトの基礎的な利用方法をベースに、より実践的な経営の問題への応用を目指す。まずは、ワープロソフトやデータベースソフトとの連携を目標に、作成したグラフを文書に組み込んだり、データベースからデータを取り出して解析を行なう技術を習得する。

最後に、表計算ソフト上の簡易プログラミング機能であるマクロを利用して、各オフィスツールを統合した環境における応用方法について学ぶ。

・コンピュータの応用(12～15)
コンピュータを自分自身で使いこなせることを目標に、プログラミングやアーキテクチャ、トラブル時の処理などコンピュータへの理解を深めるための実習／解説を行なう。まずは、簡単なプログラムを自分で開発できることを目指して、オフィス統合ツール上で利用される Visual Basic を対象にプログラミングの基礎を習得する。続いて、複雑なプログラムを作成するための作法や実際のデバッグ手法を学ぶ。最後に、OSやネットワークの仕組みについて解説を行ない、今後コンピュータを独力で使いこなしていける能力の習得を目指す。

履修上の留意点

本講義は、情報処理基礎の履修者が日常の活動にコンピュータを自在に活用できることを最終的な目標にしています。従って、上記の基本スケジュールと並行して、適宜コンピュータに関する様々な知識や最新情報なども解説していく予定です。また、この目標に向けてのどのような質問／疑問でも大いに歓迎致します。

成績評価の方法

まずは、上記に述べた本講義の趣旨より、単位の取得だけが目的の者は遠慮していただきたい(出席免除などは基本的に認めない)。実習が中心なので、基本的には毎回出席し、出席の確認として実習内容を提出させることを予定している。各実習毎に、解決すべき課題(あるいはその実習の目標)を示すので、これらを解決(あるいは実現)できた場合に、実習毎の内容に応じた部分点を与える。また、実習の状況に応じて追加課題を提出させる場合がある。期末には、履修を終えた項目を応用したレポートを提出させる。成績は、出席および課題／レポートの各部分点を総合して評価する。

そ の 他

教科書などは特に指定しないが、必要に応じて各項目ごとの参考図書を紹介する。状況が許せば、コミュニケーション手段の一つとして E-mail(電子メール)を利用する予定。

※この科目を履修するためには、「情報処理基礎 A」の4月初回授業時に担当教員の受講許可を得た上で、履修登録してください。「情報処理基礎 A」への抽選登録申請のみでは履修できません。

履修コード	138611
科目名	情報処理基礎 B
担当者名	長 国強

講義のねらい この講義では、ホームページ作成言語HTMLとプレゼンテーション資料の作成(PPT)について学んでいく。

講義の内容・授業スケジュール

インターネット基礎(1-2); HTML言語(3-7); 情報検索(8); 小テスト(9); プレゼンテーション資料の作成(10-12); 全体のまとめ(13-14), 小テスト(15)。

成績評価の方法

総合評価(100) = 出席(30) + 提出課題(50) + 期末試験(20)。

教科書

特に使用しません。プリントは毎回配布する予定。

参考書等

特に使用しません。

履修コード	138631
科目名	情報処理基礎 B
担当者名	<small>なかの ひでゆき</small> 中野 秀洋

講義のねらい	この講義では、代表的な表計算アプリケーションである Excel のワークシート関数と付属ツールを用いたデータ分析の方法について学んでいく。具体的には、財務関数、統計関数、ゴールシーク、回帰分析、ソルバーを用いて例題を解きながらデータ分析についての理解を深める。
講義の内容・授業スケジュール	第1回：ワークシート関数の基本についての復習 第2回：財務関数（いろいろな財務関数） 第3回：財務関数（応用例） 第4回：統計関数（いろいろな統計関数） 第5回：統計関数（応用例） 第6回：ゴールシーク（ゴールシークの使い方） 第7回：ゴールシーク（応用例） 第8回：ソルバー（ソルバーの使い方） 第9回：ソルバー（応用例1） 第10回：ソルバー（応用例2） 第11回：回帰分析（回帰分析ツールの使い方） 第12回：回帰分析（決定係数と残差を用いた分析） 第13回：回帰分析（応用例1） 第14回：回帰分析（応用例2） 第15回：全体のまとめ
成績評価の方法	複数回の課題提出により評価する。授業に出席することも合格の必要条件である。
教科書	授業の中で資料を配布する。
参考書等	授業の中で必要に応じて紹介する。

履修コード	138401
科目名	情報処理基礎 B
担当者名	<small>むらかみ ゆかこ</small> 村上 友佳子

講義のねらい	本講義の狙いは、大学生がレポートや卒業論文を執筆する際に、必要とされるスキルを学ぶことです。また、それらは、社会人になってからも、利用可能です。 数的処理やデータベース処理、回帰分析などの高度な統計処理も、EXCEL使うと簡単に習得できて、これまでもと一味違う論文を書くことができます。 また、POWER POINTを使って、効果的なプレゼンテーションの練習をしましょう。今まで書いたことのあるレポートをPOWER POINTに移して、きれいな背景や分かりやすい見出しをつけ、発表すると自信がつきます。
講義の内容・授業スケジュール	出席する方は、まず、少人数クラスのなかで自分の意見や疑問点をしっかり述べる習慣、授業にきちんと出席して、話を聞き、課題をこなす習慣をつけてください。 大学生として、勉強や学問で実りある成果をレポートや卒業論文として残したいと考えている学生に相応しい講義です。また、社会人になってからも有効に使えるスキルを身につけたいと考えている学生にも相応しい講義です。 1 POWER POINTによるプレゼンテーション（報告の行い方） 2 図書館における文献、資料、統計、データベースの検索の行い方 3 パソコン端末利用による、データのダウンロードの行い方 4 EXCEL 表計算ソフトを使ってみましょう 5 EXCEL 統計関数、財務関数の使い方 6 EXCEL 論理関数の使い方（企業を評価し、ランクづけする） 7 EXCEL データベース処理I（並び替え、フィルタ、自動集計機能を使う） 8 EXCEL データベース処理II（顧客データの集計をピボットテーブルで行う） 9 EXCEL グラフの描き方（企業評価をグラフで図示しましょう） 10 EXCEL 回帰分析
成績評価の方法	第一に、POWER POINTを使って、講義時間内に少なくとも一度は報告を行うことがも求められる。報告する内容は、以前に書いた企業の経営に関するレポートに基づき、EXCELの数表、グラフを示すこと。学生個人のオリジナルな考え方に従った報告に対して高い評価をする。 第二に、講義内で示す2回の課題（EXCELによる数的処理）を提出することが求められる。 第三に、講義に遅刻しないで出席し、講義を聴き、指示に従い作業を行う。分からなければ質問し、講義で進められる実際の演習を習得する。その結果として、講義内の練習を適宜、提出する。
その他	※この科目を履修するためには、「情報処理基礎A」の4月初回授業時に担当教員の受講許可を得た上で、履修登録してください。「情報処理基礎A」への抽選登録申請のみでは履修できません。

履修コード	137701
科目名	情報処理基礎 B
担当者名	桃塚 薫

講義のねらい	この講義の目的は、大学生として、そして卒業後も必要となるコンピュータの比較的高度なリテラシーを習得してもらうことです。パソコンとインターネットを用いて、必要な情報を収集する能力、自分で情報発信をする能力の両方を学習します。
講義の内容・授業スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> ●(1~4)プレゼンテーションソフトの基本操作（スライドの作成、スライドのレイアウト、アウトライン、箇条書き、ファイルの保存、スライドのデザイン、デザインテンプレート、スライドの削除・移動、テキストボックス、ヘッダーとフッター、画像の挿入、スライドマスタ、アニメーション、表の作成、グラフの挿入、配布資料の印刷、課題作成） ●(5~11)グループによるプレゼンテーション実践（グループ分け、良いトピックとは、ブレインストーミング、テーマの絞り方、資料収集、スライドの構成、スライドの作成、内容の見直し、発表練習、発表、発表後の自己評価） ●(12~15)HTMLの基礎（テキストエディタの使い方、各種タグの説明、スタイルシート、基本的なタグを使った html ファイルの作成実習）
履修上の留意点	実習授業のため、遅刻・欠席をしないでください。毎回出席を取ります。授業中に数回、課題を提出してもらいます。なお、グループによるプレゼンテーションを実際に行います。
成績評価の方法	出席点(50)、課題提出状況(25)、期末レポート(25)による相対評価。
教科書	毎回プリントを配布。(同じ内容のPDFファイルをウェブ上で閲覧できる)
その他	この授業では、プレゼンテーションソフトの操作方法だけではなく、自分の考えを他人に如何に分かりやすく効果的に伝えるかに焦点を当てます。 ※この科目を履修するためには、「情報処理基礎A」の4月初回授業時に担当教員の受講許可を得た上で、履修登録してください。「情報処理基礎A」への抽選登録申請のみでは履修できません。

履修コード	138501
科目名	情報処理基礎 B
担当者名	依田 聖

講義のねらい	コンピュータなしでは社会生活を遂行してゆくことは困難になりつつある。コンピュータの基本的な操作方法をマスターする中で、コンピュータの機能について理解し、情報を大学生生活に活用する能力を身につける。
講義の内容・授業スケジュール	前期で養った基本的な力をベースにして、コンピュータを実践的に使えるような力を養う。演習を中心に進めるが、情報倫理やITビジネス等の講義も行う。演習の主要な点は(1)表計算(エクセル)(操作法、表計算、グラフ)(2)www -ワープロ-エクセルの連携(アプリケーション間でのデータのやり取り、情報検索・収集とその解析)(3)スライドの作成(パワーポイントでスライドを作成する)と発表
履修上の留意点	講義にはメールを活用(講義録の送付と課題の提出)する。 本科目は積み重ねが必要。欠席した場合必ず休んだ部分を勉強し、次回にのぞむように。分からないことは恥ずかしながら聞き、その場で解決のこと。また復習をしっかりとすること。演習は結果としてハードなものになるので熱意を持って取り組むこと。休まず、遅刻はしないこと(出欠は必ずとります)。
成績評価の方法	出席(毎回の課題を提出)・レポート40%、試験60%。毎回の課題はメールで提出する。
教科書	太田忠一編『文科系のためのコンピュータリテラシ [第4版]』(サイエンス社)2008年 1,950円+税、ISBN4-7819-1085-8
その他	※この科目を履修するためには、「情報処理基礎A」の4月初回授業時に担当教員の受講許可を得た上で、履修登録してください。「情報処理基礎A」への抽選登録申請のみでは履修できません。

履修コード	138621
科目名	情報処理基礎B
担当者名	<small>わかやま たいき</small> 若山 大樹

講義のねらい	この講義では、代表的な表計算アプリケーションである Excel のワークシート関数と付属ツールを用いたデータ分析の方法について学んでいく。具体的には、財務関数、統計関数、ゴールシーク、回帰分析、ソルバーを用いて例題を解きながらデータ分析についての理解を深める。また、データや分析結果のグラフ化について学ぶだけでなく、関連するプレゼンテーション資料の作成についても学ぶ。
講義の内容・授業スケジュール	(1)～(2) ワークシート関数の基本、 (3)～(4) 財務関数、 (5)～(6) 統計関数、 (7)～(8) ゴールシーク、 (9)～(11) 回帰分析の基礎、 (12)～(14) グラフ作成とプレゼンテーション、 (15) まとめ
履修上の留意点	情報処理基礎Aを履修していること。授業進行状況により講義スケジュールの項目が前後する場合があります。
成績評価の方法 教科書 参考書等	数回の小課題提出状況と出席、期末課題により総合的に評価する。 必要に応じて授業時間内に配布あるいは指示する。 必要に応じて授業時間内に配布あるいは指示する。

履修コード	138901
科目名	情報処理応用A
担当者名	<small>うたに あきひで</small> 宇谷 明秀

講義のねらい	本講義では、簡単なデータ処理であるならば、市販のデータ処理ソフトに頼ることなく、自らプログラムを作成してデータ処理できるようになることを目標に、プログラミングの基礎を学ぶ。演習で簡単なデータ処理プログラムを作成する。
講義の内容・授業スケジュール	1. プログラミング講義(10回) C言語について、そのすべてを説明する。 2. プログラミング演習(5回) C++Builder を使って、実際に幾つかの簡単なデータ処理プログラムを作成する。
履修上の留意点	・情報処理の基礎科目を履修しておくこと良い。 ・情報処理系の科目、特にプログラミングは暗記科目ではない。 ・授業は演習中心になるので、欠席は極力避けること。
成績評価の方法 教科書 参考書等	期末試験に出席状況を加味して評価する。 特に教科書は使用しない。講義内容をまとめた資料を配布する。 授業の中で必要に応じて紹介する。

履修コード	139101
科目名	情報処理応用 B
担当者名	<small>うたに あきひで</small> 宇谷 明秀

<p>講義のねらい</p> <p>講義の内容・ 授業スケジュール</p> <p>履修上の留意点</p> <p>成績評価の方法 教科書 参考書等</p>	<p>インターネットの普及やコンピュータの性能向上によって、情報の収集・蓄積が容易になってきている。現在、多くの企業では、日々膨大なデータを収集し、収集したデータを分析して企業経営に役立てている。この講座では、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本的なデータ分析手法の習得 ・プログラミング技術の習得 <p>を主たる目的として、基本的なデータ分析手法を紹介し、C++Builder を使って実際にデータ分析ソフトを開発する。</p> <p>1. データ分析手法の講義（5回） 幾つかの基本的なデータ分析手法を紹介する（様々なデータを用い、そのデータにどのような意味が隠されているのかを探る）。</p> <p>2. プログラミング技術の講義（5回） 演習を中心に進める。</p> <p>3. データ分析ソフトの開発（5回） C++Builder を使って実際にデータ分析ソフトを開発する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報処理関連の科目を履修しておくが良い。 ・C言語の基礎的知識を前提として講義を進める。 ・授業は演習中心になるので、欠席は極力避けること。 <p>期末試験に出席状況を加味して評価する。 特に教科書は使用しない。講義内容をまとめた資料を配布する。 授業の中で必要に応じて紹介する。</p>
---	---

履修コード	138801
科目名	情報処理応用 A
担当者名	<small>わかやま たい</small> 若山 大樹

<p>講義のねらい</p> <p>講義の内容・ 授業スケジュール</p> <p>成績評価の方法</p> <p>教科書 参考書等</p>	<p>この講義は、1年次に情報処理基礎A・Bを履修していることを前提に、応用的内容、すなわち、コンピュータとネットワークの仕組み、インターネットを介しての情報収集、そして資料にまとめ、プレゼンテーションするために必要な技術を身につける。具体的には、情報検索、文書作成、表計算、プレゼンテーション資料作成などを、専用アプリケーションを用いて行う。</p> <p>(1)～(2) コンピュータとネットワークの仕組み応用、 (3)～(5) 文書作成基礎と応用 (6)～(7) プレゼンテーション技術の応用、 (8)～(14) 表計算の基礎と応用（エクセルの様々な関数、ゴールシーク、ソルバー、グラフ処理、統計処理、回帰分析） (15) まとめ</p> <p>ほぼ毎回課す予定の小課題提出状況（50%）と授業への取り組み姿勢や出席（25%）、期末課題（25%）により総合的に評価する。</p> <p>必要に応じて配布あるいは、指示する。 必要に応じて配布あるいは、指示する。</p>
---	---

履修コード	139001
科目名	情報処理応用 B
担当者名	<small>わかやま だいすけ</small> 若山 大樹

講義のねらい	この講義では、社会科学の分野で広く用いられる統計解析専門ソフトSPSSを用いて、統計情報処理およびデータ分析の方法について実習形式で学んでいく。具体的には、社会科学で用いられる情報、データの測定尺度、欠損値処理、多重回答、様々な統計量、集計表、分布、「統計をとること」の三段階といった統計データ処理の基礎から、分散分析、カイ二乗検定、無相関の検定、相関分析、回帰分析、コレスポンデンス分析、因子分析といった多変量解析までを学ぶ。
講義の内容・授業スケジュール	(1)～(2) 社会科学で用いられる情報、データの測定尺度、欠損値処理、多重回答の処理、 (3)～(4) 様々な統計量、集計表、分布、「統計をとること」の三段階といった統計データ処理の基礎 (5)～(6) 分散分析、カイ二乗検定、無相関の検定、 (7)～(8) 相関分析(ピアソンの相関、ケンドール・スピアマンの順位相関)、 (10)～(11) 回帰分析、 (12)～(14) コレスポンデンス分析、因子分析、その他の多変量解析、 (15) まとめ
履修上の留意点	情報処理基礎A・Bや基礎的な統計関連科目を履修していること。授業進行状況により講義スケジュールの項目が前後する場合がある
成績評価の方法	数回の小課題提出状況と出席状況、期末レポートにより総合的に評価する。
教科書	必要に応じて配布あるいは、指示する。
参考書等	必要に応じて配布あるいは、指示する。

履修コード	141131
科目名	マーケティング・リサーチ A
担当者名	<small>かんの さとみ</small> 菅野 佐織

講義のねらい	この授業では、マーケティング・リサーチの役割とリサーチ設計、データ分析の基礎と、マーケティング・リサーチで用いられる主な分析手法について学びます。マーケティング・リサーチは、専門家を目指さない人にとっても企業戦略やブランド戦略を立案するための必要な知識や能となります。また、マーケティング・リサーチは、経験や実践から学ぶことも多いことから、授業においてグループで調査計画を策定、データを収集、分析することで、マーケティング・リサーチ・スキルの習得を目指します。
講義の内容・授業スケジュール	1. 授業計画の説明とイントロダクション 2. マーケティング・リサーチの基礎 3. SPSSの使い方 4～8. 統計的手法の基礎 9～14. マーケティング・リサーチの計画・実施(因子分析) 15. リサーチ結果の発表
履修上の留意点	この授業ではパソコンによる実習(エクセル・SPSSを使用)を行うため、毎回の授業に参加できることが前提となります。遅刻・欠席が多い方はご遠慮ください。また、履修希望者が一定の数を越えた場合には、人数を制限することがあります。履修希望者は必ず第1回目の授業に参加してください。なお、マーケティング・リサーチ(A)及び(B)を通期で履修できる方を優先します。
成績評価の方法	出席点、最終発表によって評価します。特に出席点を重視します。
教科書	授業時に配布する資料をもとに講義を行います。授業の内容をより理解するためには、下記の参考書を予習・復習の参考にしてください。特に『データはウソをつく』を受講前に読んでいただくと、より授業に興味を持てると思います。
参考書等	谷岡一郎『データはウソをつくー科学的な社会調査の方法』2007年(筑摩新書)798円 ナレシュ・K・マルホトラ『マーケティング・リサーチの理論と実践～理論編～』2006年(同友館)9450円 D.A.アーカー&G.S.デイ『マーケティング・リサーチ』1981年(白桃書房)5208円

履修コード	141141
科目名	マーケティング・リサーチ B
担当者名	菅野 ^{かんの} 佐織 ^{さおり}
講義のねらい	この授業では、マーケティング・リサーチ (A) で学んだ基礎を生かし、高度なマーケティング・リサーチの分析手法についてまなびます。授業においてグループで調査計画を策定、データを収集、分析することで、より高度なマーケティング・リサーチ・スキルの習得を目指します。
講義の内容・授業スケジュール	1～6. マーケティング・リサーチの計画・実施 (回帰分析) 7. リサーチ結果の発表 8～14. マーケティング・リサーチの計画・実施 (コンジョイント分析もしくはクラスター分析) 15. リサーチ結果の発表
履修上の留意点	この授業ではパソコンによる実習 (エクセル・SPSSを使用) を行うため、毎回の授業に参加できることが前提となります。遅刻・欠席が多い方はご遠慮ください。なお、本授業は、マーケティング・リサーチ (A) を履修した方を優先します。
成績評価の方法	出席点、最終発表によって評価します。特に出席点を重視します。
教科書	授業時に配布する資料をもとに講義を行います。授業の内容をより理解するためには、下記の参考書を予習・復習の参考にしてください。
参考書等	朝野熙彦『入門 多変量解析の実際 第2版』2000年 (講談社) 2800円 ナレッシュ・K・マルホトラ『マーケティング・リサーチの理論と実践～理論編～』2006年 (同友館) 9450円 D.A.アーカー&G.S.デイ『マーケティング・リサーチ』1981年 (白桃書房) 5208円

履修コード	141151
科目名	マーケティング・サイエンス A
担当者名	若山 ^{わかやま} 大樹 ^{たいす}
講義のねらい	本講義の目的は、マーケティング活動諸問題への科学的アプローチについて、その考え方と方法論を学ぶことにある。そのため、マーケティングサイエンスAでは、マーケティング諸理論及びそこから取り扱う様々なデータや統計解析手法について学び、市場と消費者に関する理論・モデルおよびマーケティングの戦略的側面に関する科学的アプローチについて学ぶ。
講義の内容・授業スケジュール	(1) 科学的アプローチによるマーケティング、 (2) 理論・モデルを通じた市場理解の方法、 (3)～(4) マーケティングデータと測定法・分析法、 (5)～(6) 市場の構造分析、 (7)～(8) 市場細分化、 (9)～(12) 消費者行動分析モデル、 (13)～(14) マーケティング戦略 (STP) に関する科学的アプローチ、 (15) まとめ
履修上の留意点	マーケティング関連科目を履修していること。また、統計学の基礎を身につけていることが望ましい。
成績評価の方法	数回の小テストと出席状況、期末レポートにより総合的に評価する。遅刻は出席にカウントしないことがある。小テストを受けたことがないものは期末レポートを受け付けられないことがある。
教科書	必要に応じて配布あるいは、指示する。
参考書等	必要に応じて配布あるいは、指示する。

履修コード	141161
科目名	マーケティング・サイエンスB
担当者名	若山 大樹 <small>わかやま だいすけ</small>

講義のねらい	本講義の目的は、マーケティング活動諸問題への科学的アプローチについて、その考え方と方法論を習得することである。そのため、マーケティングサイエンスBでは、製品・サービスのデザインや価格、流通、プロモーションといったマーケティングの戦術的側面を議論する上で用いられるデータ分析手法を学び、マネジリアルな観点から議論するための素養を身につける。
講義の内容・授業スケジュール	(1)～(2) マーケティング戦術に対する科学的アプローチ、 (3)～(5) マーケットの異質性を論じるための科学的な方法、 (6)～(8) 消費者市場の構造と要因の関連性を論じるための科学的な方法、 (9)～(11) マーケティング活動の効果を分析し予測するための科学的な方法（製品・サービスのデザイン、価格政策と反応、プロモーションと広告に関するモデルのまとめ）、 (12)～(14) マーケティングに関する実験的方法と反応・効果の測定及びマーケティング活動でよく用いられる多変量解析、 (15) まとめ
履修上の留意点	マーケティング関連科目を履修していること。PC教場で統計ソフトSPSSを使用する
成績評価の方法	数回の小課題提出状況と出席状況、期末レポートにより総合的に評価する。
教科書	必要に応じて配布あるいは、授業中に指示する。
参考書等	必要に応じて配布あるいは、授業中に指示する。

履修コード	136501
科目名	経営科学概論
担当者名	西村 和夫 <small>にしむら かずお</small>

講義のねらい	生産活動には、本来の物作りの技術のほかに、高能率、高品質、低コスト、短納期を達成するための効率的な生産システムの設計・改善および維持管理の技術が必要である。わが国の産業界は、いち早くQC（品質管理）、IE（経営工学）、OR（オペレーションズリサーチ）をはじめとする経営管理技術を導入することによって生産、品質、コスト面で飛躍的發展を成しとげた。 この講義ではQC、IE、ORを中心に、経営管理技術の基本的な理論と方法を概説する。また、今後本学部において経営科学系の科目を受講する上での基礎を学んでいく。
講義の内容・授業スケジュール	全体を大きく1、2、3の部分に分けて講義を行う。1ではこの講義で扱う学問領域（一般に経営工学と呼ばれている）を概観する。2では経営工学が対象とする経営管理の諸分野を取りあげる。3では経営管理のなかで用いられている技術的な各種手法について解説していく。ただし、2と3は相互に関連するものであり、必要に応じて順番を入れ替え、両者が有機的に結びつくよう講義を進めていく。 1. 経営工学の概略と歴史 2. 経営工学が対象とする諸分野 *経営計画：経営計画の策定、経営情報のシステム化 *販売管理：マーケティング活動、販売計画 *生産管理：生産方式、整備配置計画、日程計画 *品質管理：統計的品質管理、総合的品質管理 3. 経営管理技術の各種手法 *インダストリアルエンジニアリング：メソッドエンジニアリング、作業測定 *バリューエンジニアリング：価値のとらえ方、発想法 *経済性工学：資金の時間的価値、設備投資案の経済計算 *データ解析：需要予測、推定と検定、回帰分析 *オペレーションズリサーチ：線形計画法、PERT/CPM、待ち行列理論、在庫管理モデル、シミュレーション、システムの信頼性解析 *システム解析：システム概念、情報処理システム
履修上の留意点	履修に際して予備的な知識は必要としない。教科書はあくまで参考として用いるものなので、毎回出席してきちんとノートをとること。また、手法についての理解を深めるために適宜演習を行う。
成績評価の方法	演習課題と試験（前期末、後期末）により総合評価
教科書	秋庭雅夫他著『経営工学概論』（朝倉書店）¥3,800
参考書等	図書館書誌検索画面へ 西村のWebページにある資料集： http://www.komazawa-u.ac.jp/~kazov/Nis/lecture/intro.html
その他	関連科目：→経営科学、経営統計、生産管理論

履修コード	136511
科目名	経営科学概論
担当者名	飯田 哲夫

講義のねらい 高品質の製品やサービスを提供する効率的で生産性の高い企業経営を行うために、種々の管理技術が発達してきている。この講義では、経営科学および経営工学の管理技術の基本的な理論と応用を概説し、経営科学系科目の基礎を習得することを目指す。

講義の内容・授業スケジュール 経営科学および経営工学の管理技術の基本的な理論と応用の中で、OR（オペレーションズ・リサーチ）、IE（インダストリアル・エンジニアリング）、QC（品質管理）の中から主要なものを取り上げる。本講義では、理論や方法論の詳細に入り過ぎることなく、幅広く講義する。授業スケジュールは、以下のとおりである。

(1)イントロダクション、(2)経営科学・経営工学の概略と歴史、(3)問題発見と解決のプロセス、(4-7)生産管理と計画、(8-11)日程計画、(12-15)在庫管理、(16-19)品質管理、(20-23)需要予測、(24-27)経済性分析、(28-30)階層化意思決定法。

履修上の留意点 経営数学と確率・統計入門を履修済みまたは同時に履修することが望ましい。

成績評価の方法 前期・後期それぞれに小テストを数回行う。それらの成績を学期末の筆記試験の成績に加味して評価する。

教科書 指定しない。適宜、プリントを配布する。

専門教育

履修コード	141111
科目名	マネジメント・サイエンスA
担当者名	小沢 利久

講義のねらい マネジメント・サイエンスとは、経営活動の様々な場面における意思決定を支援するための分析方法を考える学問であり、対象をモデルで表現し、定量的に分析する点に特徴があります。マネジメント・サイエンスの考え方や手法は、伝統的な生産・流通の分野から近年はマーケティングやファイナンスの分野へ応用の範囲を広げつつあります。マネジメント・サイエンスAでは、最適化の手法を中心に、線形計画法、ネットワーク計画法、動的計画法、データ包絡分析法、階層化意思決定法について、生産・流通やマーケティング分野における例を用いながら解説します。また、この講義では3年次以降に戦略デザインコースのコース科目を学ぶ準備として、数理モデルに慣れることも念頭に置いています。

講義の内容・授業スケジュール (1~4) LP：線形計画法（定式化、図による解法、感度分析、Excel ソルバーを用いた解法）、(5~7) ネットワーク計画法（グラフについて、最短経路問題、最小木問題、最大流問題）、(8~10) DP：動的計画法（最適性の原理、多段階決定問題）、(11~12) DEA：データ包絡分析法（CCRモデル、効率的フロンティア）、(13~14) AHP：階層化意思決定法（階層モデル、一対比較、ウエイトの計算）、(15) 全体のまとめ

履修上の留意点 経営数学A・B、確率・統計入門A・Bを先または同時に履修しておくことを勧めます。

成績評価の方法 定期試験（7月下旬）と項目毎の演習課題により評価します。評価における割合は定期試験80%、演習課題20%とします。出席については参考とします。

教科書 プリントを配布し、テキストに代えます。

参考書等 必要に応じて示します。

履修コード	141121
科目名	マネジメント・サイエンスB
担当者名	小沢 利久 <small>おざわ としのひ</small>

講義のねらい

マネジメント・サイエンスとは、経営活動の様々な場面における意思決定を支援するための分析方法を考える学問であり、対象をモデルで表現し、定量的に分析する点に特徴があります。マネジメント・サイエンスの考え方や手法は、伝統的な生産・流通の分野から近年はマーケティングやファイナンスの分野へ応用の範囲を広げつつあります。マネジメント・サイエンスBでは、確率モデルを用いた分析手法を中心に、在庫管理、情報の期待価値、キャッシュフローと現在価値、ポートフォリオ選択、待ち行列理論について、生産・流通やファイナンス分野における例を用いながら解説します。また、この講義では3年次以降に戦略デザインコースのコース科目を学ぶ準備として、数理モデルに慣れることも念頭に置いています。

講義の内容・授業スケジュール

(1~2) 在庫管理(経済的発注量、発注点方式、定期発注方式)、(3~5) 情報の期待価値(情報の貨幣的価値、完全情報の期待価値、サンプル情報の期待価値)、(6~7) キャッシュフローと現在価値(現在価値、DCF:割引キャッシュフロー、IRR:内部収益率、利付債の実効金利)、(8~11) ポートフォリオ選択(リターンとリスク、平均・分散モデル、効用関数とリスク)、(12~14) 待ち行列理論(待ち行列モデル、リトルの式、M/M/Sモデルの解法と応用)、(15) 全体のまとめ

履修上の留意点
成績評価の方法

経営数学A・B、確率・統計入門A・Bを先または同時に履修しておくことを勧めます。
定期試験(1月上旬)と項目毎の演習課題により評価します。評価における割合は定期試験80%、演習課題20%とします。出席については参考とします。

教科書
参考書等

プリントを配布し、テキストに代えます。
必要に応じて示します。

専門教育

履修コード	141011
科目名	経営情報システムA
担当者名	高井 徹雄 <small>たかい てつお</small>

講義のねらい

経営スタッフの役割は意思決定の支援、すなわち、意思決定者が適切な決定を行えるよう判断の指針となる情報を提供することです。本講義では、企業や官庁における経営スタッフを目指す皆さんのために、情報処理に関するシステムの観点と、IT(情報技術)の基礎について解説します。

講義の内容・授業スケジュール

第1週:イントロダクション...本講義の趣旨説明
第2~6週:情報科学とシステムの観点
情報科学のバックグラウンドにある考え方や知識について整理する。科学の方法とシステム的なものの見方、それに基づく問題へのアプローチとはどのようなものかについて理解を深める。
第6~9週:ITとインターネット
IT(情報技術)に関わる基礎的な勉強をする。主としてコンピュータベースのシステムによる情報の取り扱いと、インターネットなど情報ネットワーク技術に関する基礎的事項について整理する。
第10~14週:情報環境の発展と経営における利用
経営の場における意思決定と情報利用技術の関わりについて学ぶ。企業における情報利用の形態の変遷を概観し、インターネットによる情報インフラが十二分に整った今日的な環境下において、市場戦略的な情報の利用とはどうあるべきかについて考察する。
第15週:前期筆記試験

履修上の留意点
成績評価の方法

後期の経営情報システムBとあわせて履修してください。
毎回出席を取ります。その上で、最終授業時に筆記試験を実施して成績評価を行います。

教科書
参考書等

特にありません。適宜プリントを配布します。
個別テーマによって、必要なものがあれば適宜紹介します。

履修コード	140121
科目名	経営情報システムB
担当者名	高井 徹雄

講義のねらい	経営計画・市場戦略立案などに際して適用が期待されるIT（情報技術）の活用方法について学びます。
講義の内容・授業スケジュール	<p>第1週：イントロダクション 本講義の趣旨説明</p> <p>第2～3週：データとは何か データには測る尺度によって定量的なものと定性的なものが存在する。意思決定の手掛かりとなる情報へ加工するためには、データの種類に応じた取扱いが必要である。</p> <p>第4～8週：データの解析・・・データの意味を読む 調査収集された生のデータは、そのままでは情報としての価値はない。データを加工・分析し、それが表す意味を解釈することで初めて意思決定のための情報が得られる。ここでは、主として定量的データを分析するための解析手法とコンピュータ上での取扱いについて学ぶ。</p> <p>第9～12週：シミュレーション技法とその応用 複雑な対象の動的な特徴を分析するための有力な方法にシミュレーション技法がある。ここでは、モンテカルロ法や離散系シミュレーションなど基礎的な方法に触れた後、様々な分野で用いられる多様なシミュレーション技法について概観する。</p> <p>第13～15週：人工知能の経営への応用 人工知能の原理と、その経営の場での応用として期待されるDSS（意思決定支援システム）、ES（専門家システム）などの概要について学ぶ。</p>
履修上の留意点	前期の経営情報システムBとあわせて履修してください。受講生数によりますが、必要に応じて数回程度、情報教育センターの計算機実習室を利用した体験的な実習形式の授業を行う予定です。
成績評価の方法	毎回出席を取ります。不定期に授業時小テストを行います。期末試験時に筆記試験を実施して成績評価を行います。
教科書 参考書等	高井徹雄他著「基礎から学ぶ経営科学」税務経理協会 2300円 適宜プリントを配布します。

履修コード	142511
科目名	情報セキュリティA
担当者名	西村 和夫

講義のねらい	情報のセキュリティについての組織の取組みについて理解する。
講義の内容・授業スケジュール	まず、情報は社会基盤にもかかわる重要な経営上の資産であることを認識する。情報セキュリティの定義と歴史を概観したうえで、現代の脅威、社会問題と対策を知る。そのうえで、プライバシー、企業の社会的責任、最高セキュリティ責任者（CSO）と情報セキュリティポリシーの必要性、事業継続計画（BCP）からの要請、実際の組織の取組み、情報セキュリティ監査、情報セキュリティガバナンス、従業員教育の必要性について学ぶ。社会全体では、倫理も含むセキュリティ文化を醸成する必要性があることを理解する。
履修上の留意点	履修に際して予備的な知識は必要としない。毎回出席してきちんとノートをとること。
成績評価の方法	小テストと定期試験を総合評価する。

履修コード	142521
科目名	情報セキュリティB
担当者名	西村 和夫

講義のねらい	情報セキュリティに関する法制度 及び 技術について理解する。
講義の内容・授業スケジュール	まず、セキュリティと利便性はトレードオフの関係にあることを認識する。守るべき情報の価値には、秘匿性、完全性、可用性があることを学ぶ。不正アクセス防止法、個人情報保護法などの法律を学び、アクセス制御を理解する。また、暗号によって達成可能な目標および暗号技術を理論的に理解する。特に、公開鍵暗号のRSA方式を理解する。そのうえで、ネットワーク上で情報セキュリティを実現する方法および認証局の必要性について、いくつかの暗号プロトコルを取り上げて理解する。
履修上の留意点	情報セキュリティAの履修を前提とする。毎回出席して、きちんとノートをとること。
成績評価の方法	小テストと定期試験を総合評価する。

履修コード	143001
科目名	システム論
担当者名	<small>うたに あきひで</small> 宇谷 明秀

講義のねらい この科目では、複雑で大規模なシステムを理解し、構築し、運用するための方法論を学ぶ。なるべく具体的な事例をとりあげ、システム思考、システム論への理解を深める。

- 講義の内容・授業スケジュール**
- 〔前期〕
1. システム論（その歴史） 3回
 2. システム論（分類と展望） 3回
 3. モデル化の方法論（分類と特徴） 3回
 4. 数理モデリング 3回
 5. コンピュータシヨナルモデリング 3回
- 〔後期〕
1. システムの評価 3回
 2. システムの故障と信頼性 3回
 3. 危機管理と対策 3回
 4. 不確実な事象とシステム設計 3回
 5. システム導入における経済性 3回

履修上の留意点 特定分野の事前の知識は要求しないが、基礎的な数学の学力が必要である。

成績評価の方法 中間試験と期末試験に出席状況を加味して評価する。

教科書 授業の中で指示する。

参考書等 授業の中で必要に応じて紹介する。

履修コード	139201
科目名	統計原論
担当者名	<small>やまのうち しんじ</small> 山内 慎二

講義のねらい 大雑把に言えば、統計学は「確率と分布」の性質を用いたデータ処理を通して、「母集団」及び「標本」という2つの親子関係の言葉を繋げて、知識や技術を議論する学問である。

本講義では、最初に簡潔に確率論の基礎を紹介し、次にデータ処理によって母集団と標本の関係を捉え、最後に統計的推測として推定と検定等を丁寧に説明する。本講義では、実用性を重視し、統計的方法や概念を豊富な例題や数値例によって説明し、数式の使用も必要最小限に止めていきたい。

- 講義の内容・授業スケジュール**
- 講義内容は以下の通りです。
- 序説 生活のなかの統計学、量的データと質的データ 1回
- 基礎的概念 階乗と総和、順列と組合せ 2回
- 記述統計 度数分布表、平均と分散、相関係数 3回
- 確率論の基礎 集合、標本空間、確率、2項分布、正規分布 6回
- 前期復習と中間試験（7月中旬） 2回
- 標本分布 カイ2乗分布、t分布、F分布 2回
- 統計的推定 点推定（不偏推定、モーメント法、最尤法） 4回
- 仮説検定 片側と両側検定、有意水準、棄却域、適合度検定 4回
- 回帰と相関 線形回帰モデル、相関係数の標本分布 2回
- 後期復習と定期試験（翌年1月中旬） 2回

履修上の留意点 年間回数程度の練習問題を適時に配布します。これを本講義内容の基礎的部分をもとに、独自に解ければ、中間試験と定期試験は大丈夫でしょう。

成績評価の方法 講義への出席状況及び中間試験と定期試験の結果により総合的に判断します。

教科書 佐和隆光著『初等統計解析 改訂版』（新曜社）2006年 1,500円（税別）
ISBN4-7885-0224-0

参考書等 数値表としての参考書：
森口繁一編『新編 日科技連数値表』（日科技連出版社）1996年 510円（税別）
ISBN4-8171-0262-4
P.G. ホエール著、浅井晃・村上正康共訳『初等統計学』（培風館）1996年 1,650円（税別）
ISBN4-563-00839-7

その他 授業の方法＝講義（OHPを使用する場合もあります。）

履修コード	140711
科目名	経営統計A
担当者名	なが こきよう 長 国強

講義のねらい

経営統計は分析目的に対応して主に経営情報としてのデータを処理・分析し、複雑な現象を理解すると共に、データを生成した集団や構造について予測し、いろいろな意思決定をサポートすることである。経営的意思決定において最も重要なことは、将来の経営状況をどう見るかであり、その予測に対して経営統計は重要な役割を果たされるはずである。

講義の内容・授業スケジュール

第1回：経営統計について；第2回：統計的基礎概念I；第3回：統計的基礎概念II；第4回：データの収集と整理I；第5回：データの収集と整理II；第6回：データの収集と整理III；第7回：パソコン実習I；第8回：統計特性値I；第9回：統計特性値II；第10回：パソコン実習II；第11回：相関分析；第12回：パソコン実習III；第13回：正規分布とその応用I；第14回：正規分布とその応用II；第15回：総合復習。

履修上の留意点

後期の『経営統計B』も履修してください。

成績評価の方法

総合評価(100)=出席(30)+提出課題(20)+期末試験(50)。

教科書

特に使用しませんが、プリントは随時に配布する予定。

参考書等

西田俊夫・田畑吉雄共著『経済・経営の統計学』(培風館)、1992；
守口栄一・竹田仁共著『経営数学：経営統計とその応用』(日本理工出版社)、1992。

履修コード	140721
科目名	経営統計B
担当者名	なが こきよう 長 国強

講義のねらい

経営統計は分析目的に対応して主に経営情報としてのデータを処理・分析し、複雑な現象を理解すると共に、データを生成した集団や構造について予測し、いろいろな意思決定をサポートすることである。経営的意思決定において最も重要なことは、将来の経営状況をどう見るかであり、その予測に対して経営統計は重要な役割を果たされるはずである。

講義の内容・授業スケジュール

第1回：推定予測モデル(回帰モデル)I；第2回：推定予測モデル(回帰モデル)II；第3回：パソコン実習I；第4回：時系列予測(平滑化技法、季節指数の測定)I；第5回：時系列予測(平滑化技法、季節指数の測定)II；第6回：時系列予測(平滑化技法、季節指数の測定)III；第7回：パソコン実習II；第8回：分散分析(一元配置分散分析)I；第9回：分散分析(一元配置分散分析)II；第10回：パソコン実習III；第11回：統計的意思決定理論I；第12回：統計的意思決定理論II；第13回：経営指数(物価指数、数量指数)I；第14回：経営指数(物価指数、数量指数)II；第15回：総合復習。

履修上の留意点

『経営統計A』を受講してから履修されたほうが望ましい。

成績評価の方法

総合評価(100)=出席(30)+提出課題(20)+期末試験(50)。

教科書

特に使用しませんが、プリントは随時に配布する予定。

参考書等

西田俊夫・田畑吉雄共著『経済・経営の統計学』(培風館)、1992；
守口栄一・竹田仁共著『経営数学：経営統計とその応用』(日本理工出版社)、1992。

履修コード	127802
科目名	民法I(総則・物権法)
担当者名	すが あきのり 須賀 昭徳

講義のねらい

われわれの日常生活は民法に支配されている。したがって、この社会で活動するには民法についてひとりの知識がなければならない。市民の社会生活には財貨の生産、交換、消費、配分などを目的とする経済生活の面(これを規律する法が財産法)と種族保存を目的とする保族生活の面(これを規律する法が家族法)とがある。この財産法の領域の法が物権法と債権法である。これらの通則として総則がおかれている。本講義では民法第一編総則と第二編物権法について、基本となる知識を持てるようにしたい。なお、時間の関係で総則を中心として詳しく講義をし、物権についてはひとりの知識を持てるようにしていきたいと思います。

講義の内容・授業スケジュール

前期(民法総則)

①民法とは何か、民法の歴史 ②民法の基本原則 ③権利の主体(自然人) ④法人(社团法人、財団法人) ⑤権利の客体(物とは) ⑥法律行為(意思の欠缺、瑕疵ある意思表示) ⑦無効と取消 ⑧条件および期限・期間 ⑨時効(取得時効、消滅時効)

後期(物権法)

①物権の意義、種類 ②物権の効力 ③物権の変動 ④占有権 ⑤所有権 ⑥用益物権 ⑦担保物権(法定担保物権) ⑧約定担保物権 ⑨非典型担保(譲渡担保、仮登記担保)

履修上の留意点

講義にはかならず六法を持参すること。

成績評価の方法

期末試験の成績により評価する。

教科書

我妻栄・有泉亨・川井健『民法』第三版①総則・物権(勁草書房)2200円

参考書等

講義の中で指示する。

履修コード	138701
科目名	商法I (総則・会社法)
担当者名	重田 麻紀子

講義のねらい

現代の市場経済社会を支えるキープソンは会社である。この会社に関する法的ルールを定める会社法について全般的に学習し、株式会社法制を貫く法原理を理解する。

講義の内容・授業スケジュール

現在、会社企業を取り巻く環境は多様化・国際化するなど急速な勢いで変化している。これにもなって、2006年5月から新たに「会社法」が施行され、わが国の会社法制は大きくその姿・内容えた。この新しい「会社法」の施行が会社の法務・会計・税務といった会社経営全般に与える影響は計り知れず、企業実務からの関心も集めている法分野である。

会社法は範囲が広いため、組織法に関する説明に重点を置きながら、できるだけ会社法上のを広くカバーして講義することとしたい。会社とりわけ株式会社における利害関係者間の利害の基本的なルールを学び、株式会社法制を貫く基礎理論を修得してほしい。

なお、具体的な授業スケジュールは、以下の通りである。

第1週 ガイダンス、第2週 会社とは何か、第3週 会社の種類と比較、第4、5週 株式の設立、第7、8週 株式の意義・種類、第9週 株主名簿制度、第10週 株式譲渡自由の原則とその例外、第11週 自己株式、第12、13週 募集株式の発行、第14週 新株予約権、社債、第15週 小テスト、第16、17週 株式会社の機関設計、経営機構、第18週 株式総会の権限、運営、第19、20週 株主の議決権行使、第21週 取締役会の権限、運営、第22週 取締役の義務、第23、24週 取締役の責任、第25週 株主による監督是正権、第26週 監査機関、第27、28週 組織再編、第29週 敵対的買収と企業防衛、第30週 期末試験

履修上の留意点
成績評価の方法

なるべく平易な解説をするよう努めるが、各自復習を心がけてもらいたい。

期末試験の成績に小テスト(1~2回)の成績を加味して評価する。

教科書

近藤光男・志谷匡史・石田眞得・釜田薫子『基礎から学べる会社法』弘文堂、2,500円
ISBN4-335-35391-8「最新の六法(小型のものでよい)」を用意すること。

専門教育

履修コード	119701
科目名	経済法
担当者名	若林 亜理砂

講義のねらい

経済法の中心をなす独占禁止法を理解することを目標とする。独占禁止法は、市場における競争秩序の維持をになうものであるが、これは事業者の活動にかかわるのみならず、私たち消費者の生活にも密着している。この点を念頭に置き、講義では、なるべく多くの事例を紹介することにより、独占禁止法の解釈や運用について具体的なイメージをもって理解できるように進める予定である。

講義の内容・授業スケジュール

以下のトピックについて講義を行う予定である。

- 1 独占禁止法の基礎概念
- 2 不当な取引制限
- 3 私的独占
- 4 一般集中規制
- 5 市場集中規制
- 6 不公正な取引方法
- 7 公正取引委員会
- 8 私的エンフォースメント・刑事罰

成績評価の方法

期末試験により評価を行う。

教科書

丹宗・厚谷編『新現代経済法入門(第2版)』(法律文化社)

参考書等

別冊ジュリスト『独禁法審決・判例百選(第六版)』(有斐閣)

その他

授業は毎回配布するレジュメに基づいて進めることとする(基本的には教科書に沿ったものとなる予定である)。

履修コード	098801
科目名	労働法
担当者名	藤本 茂

講義のねらい

今日、雇用社会は、能力主義人事管理の導入に見られるように大きく変貌しています。労働法は、労働問題を平和的に解決する方法を検討する法領域です。この変動に無関係ではられません。

この時期、労働者に降りかかるさまざまな事象は、雇用関係法領域において、顕著です。たとえば、労働基準法改正、労働時間、男女雇用平等、労働契約法制定などです。

本講義ではこの雇用関係法領域を中心に、基礎的な知識を身につけてもらうことを念頭においています。

講義の内容・授業スケジュール

下記事項について、基礎的知識を学びつつ、現代的課題に言及します。

詳細は第1回目の授業のときにプリントを配布して述べます。ここでは、一応の項目を掲げるに止めます。

- (1) 労働法の基礎的考え方
- (2) 日本型雇用システムの変化と労働法
- (3) 労働関係の主人公－労働者、使用者、労働組合
- (4) 労働条件の最低基準の法定－労働基準法の特色
- (5) 雇用における男女平等
- (6) 集团的労働条件の決定・変更－労働契約、就業規則、労働協約
- (7) 雇用の入り口－採用、採用内定、試用期間
- (8) 人事異動－配転、出向、転籍
- (9) 賃金、賞与、退職金
- (10) 労働時間、時間外・休日労働
- (11) 休憩、休日、休暇
- (12) 雇用の出口－解雇、定年、退職
- (13) 労働災害など

履修上の留意点

出席を心がけてください。私語は No、携帯電話は Off、内職は No。そして無断で席を立つことも No。いわゆる授業のマナーは守ってください。配布プリントは取り上げる項目を列挙したレジュメや資料です。教科書は必要です。予習や復習をする上でも欠かせないでしょう。

憲法、民法、社会保障法、社会政策は履修してほしい科目です。

成績評価の方法

成績は、学年末試験がメインで、受験しなければ評価がつきません。レポートや中間試験そして出席も考慮して評価をします。

追試験は実施します。

教科書

教科書は、金子征史・藤本茂・高野敏春・大場敏彦共著『基礎から学ぶ労働法』（エイデル研究所2009）。「参考書等」も第1回で示しますが、最低1冊は、購入して自宅学習に使ってください。

参考書等

概説書・参考書をいくつか、第1回目の授業において紹介します。

六法は最新のもの（法律改正や制定があるので特に注意）。そして、労基法施行規則の載っているものを用意してください。詳しくは、第1回授業で配布するプリントで。

その他

各々の事項について法的にはどのように考えていくのか、イメージを描きやすいように、裁判例など具体的な例を掲げながら授業を進めます。

履修コード	143101
科目名	税法
担当者名	<small>おくむら まきひろ</small> 奥村 正郎

講義のねらい 租税は、我々納税者が、税法の定めるところにしたがって、国や地方公共団体（都道府県及び市町村）に納付すべきものであり、それは公共サービスの資金となり、我々の生活に影響する。しかしながら税法は、多数の法律とそれを施行するための政令、省令で成り立ち、さらに多くの通達があり、しかも法律の解釈や手続きは難解で、改正も毎年ある。このような事情からかその重要性は認識していても、将来その専門家になりたいという人以外、積極的に税法の知識を身につけようとする人は少ないように思われる。このようなことから本講義により、我々の身近な法律である税法に、関心を持ち、具体的事例、計算を通じてその基本的知識を修得してもらいたい。

講義の内容・授業スケジュール また将来、税理士試験を目指すものにとっても有用な知識が提供できるような内容にしたい。講義の内容は以下ようになります。I～V前期、VI～X後期。

- I 財政の役割と租税
- II 税法の基本原則
- III 租税の種類と分類
- IV 税制改革…シャープ税制改革以降、今日までの税制改革
- V 相続税・贈与税…相続時精算課税制度他
- VI 所得税…各種所得の計算等
- VII 法人税…所得金額と税額計算等
- VIII 消費税…消費税額の計算等
- IX その他の国税・地方税
- X その他…徴収手続と納税者の権利他

履修上の留意点 本講義では簿記会計の知識は必須ではないが、上級簿記等の講義も受講することを勧める。

成績評価の方法 出席状況、期末試験により評価する。

教科書 速水昇編著 『公共部門の経済活動と租税』（学文社）

参考書等 授業を進める中で適宜紹介する。

その他 計算演習等プリントを随時配布する。電卓を使用することがあるので持参すること。

履修コード	143801
科目名	民法Ⅱ（債権法）
担当者名	上井 長久

講義のねらい

本講義は、他人に対して、或る物を交付させること、または、或ることを為すことを要求する権利、すなわち債権についての実体的権利関係を総合的に考察するが、それを通して、債権をめぐる問題に対して精通するとともに、柔軟に解決できるように導くことを目標とする。そのように人が人に対して或る事柄を要求することを正当と認め、その請求の実現が当事者間ではかることが出来ない場合に、当事者の一方の訴えに基づき他方の責任を追求するために裁判所が力を貸す関係が債権関係である。そのような人と人の関係は、封建的な身分関係から生じるのではなく、周知のように近代では多くは契約関係から生じる。その他に、契約関係がなくとも相互扶助、公平、損害補填等の要請に基づく事務管理、不当利得、不法行為などからも債権関係が生じる。

債権法は、その全てについて言えることではないが、合意優先ないし契約自由の原則の及ぶ領域においては、その規定が任意法規性のゆえに日常の経済生活では往々にして、合意により債権法規と異なる生活規範が設定され、また、それが許される法の範疇である。この範疇においては、日常生活の一定の基準たる債権法規の解釈と、その法規を排除した、より有益な準則を設定した生活関係の両方を理解することが必要である。

この講義は、債権総論と債権各論を講義の対象とする。まず債権法全体の仕組み、内容をひととおり説明したうえで、債権一般の通則たる債権総論、次いで債権発生の原因にあたる契約、事務管理、不当利得、不法行為などの債権各論について逐条的かつ重点的に解明する。講義の内容および進行は、具体的には、以下の予定である。

(1) 債権の意義・性質・社会的機能、債権法の法源、債権法の特質・体系（前期）（第1回）、(2) 債権の目的・内容（第2回）、(3) 債権の効力—債務と責任、履行強制（第3回）、(4) 債務不履行責任（第4、5回）、(5) 債権の対外的効力—債権者代位権（第6回）、(6) 詐害行為取消権（債権者取消権）（第7回）、(7) 多数当事者の債権関係—債権の共有・合有・総有、分割・不可分債権（第8回）、(8) 連帯債務、保証債務（第9、10回）、(9) 債権の譲渡、債務の引受（第11、12回）、(10) 債権の消滅（第13、14回）、(11) 契約総論—債権発生原因、契約自由の原則、契約の種類（後期）（第15回）、(12) 契約の成立（第16回）、(13) 契約の効力—同時履行の抗弁権（第17回）、(14) 危険負担、（第18回）、(15) 第三者のためにする契約（第19回）、(16) 契約の解除（第20回）、(17) 贈与、売買、交換（第21、22回）、(18) 消費貸借、使用貸借、質貸借（第23回）、(19) 雇傭、請負、委任等の契約（第24回）、(20) 事務管理、不当利得（第25回）、(21) 不法行為（第26、27、28回）

履修上の留意点

債権法は、民法学の一分野であるから、必然的に民法の他の分野にも関連する。とくに債権を担保するための担保物権や民法全体の基本原則である民法総則などを扱う「民法I」も併せて履修することが望ましい。

成績評価の方法

学年末の定期試験で行う。

教科書

我妻栄・有泉亨・川井健著『民法2 債権法』（勁草書房）

参考書等

遠藤浩・川井健他編『民法（4）～（7）』（有斐閣双書）および稲本洋之助・上井他共著『民法講義5 契約』（有斐閣大学双書）

履修コード	145001
科目名	商法Ⅱ（商行為、手形・小切手法）
担当者名	中濱 義章

講義のねらい

手形小切手法の基本的な原則・制度を理解し、諸問題を検討することを通じて有価証券法理の基礎を習得する。

講義の内容・授業スケジュール

講義は以下の順に行い、各項目ごとに1～2回程度の授業時間を割り当てる。講義の内容は、制度の概要を解説し、具体例を通じて問題点の検討をおこなう。

1 手形・小切手の意義および性質、2 手形法・小切手法の意義および役割、3 手形行為の意義・特色、4 手形行為の成立時期、5 手形能力、手形行為と意思表示に関する一般原則、6 代理人・代表者による手形行為、7 無償代理と偽造、8 手形関係と手形の実質関係、9 手形の振出、10 白地手形、11 手形の裏書、12 為替手形の引受、手形保証、13 手形上の権利の取得と善意取得制度、14 手形上の権利と手形抗弁、15 手形上の権利の消滅、16 支払・不渡・遡及、17 小切手特有の法制度、18 振込・振替など新たな決済システムに関する諸問題

履修上の留意点

六法は小型のものでかまいませんので最新版を携行して下さい。例えば、『ポケット六法』（有斐閣）、『セレクト六法』（岩波書店）、『ディリー六法』（三省堂）など。

成績評価の方法

民法（財産法関係科目）および商法科目を履修済み、あるいは履修中であることが望ましい。

教科書

期末試験での評価を予定していますが、レポートを課す場合もあります。

参考書等

濱田惟道『手形法小切手法』（文眞堂）

開講時に指示します。

『別冊ジュリスト 手形小切手判例百選（第6版）』（有斐閣）

山下友信＝神田秀樹編『商法判例集（第3版）』（有斐閣）

履修コード	144211
科目名	外書講読（英書II）
担当者名	<small>まえだ かずとし</small> 前田 和利

講義のねらい 英文読解力を養成するとともに、日本の自動車産業がなぜ国際競争力をもちえたのかについて理解することを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール 英文により、高度経済成長期以降のトヨタ自動車における企業経営活動をマーケティングや生産システムなどの展開をとおして学ぶ。進度は受講者の意欲による。

履修上の留意点 輪読形式をとるので、事前に割り当てられた各担当者は必ず発表することが義務づけられます。

成績評価の方法 平常点（出席・発表）と学年末試験をそれぞれ50点として評価する。

教科書 TOYOTA：A History of the First 50 Years, 1988.（プリント使用）

参考書等 適宜紹介する。

履修コード	144301
科目名	外書講読（独書）
担当者名	<small>やぶした こういち</small> 数下 絃一

講義のねらい 今までのドイツ語学習の上に立って、専門の、現場のドイツ語を習得する。

講義の内容・授業スケジュール 何章～何章までを何回でとは書けない。ただテキストを全部終わらせる。語、綴、句、節、文を何度も声に出して覚える。着実に力をつける。

履修上の留意点 家で辞書を引いて来る事。予習復習が大事。CDがついているので、家で何度も聞いて発音をしっかりと覚える。

成績評価の方法 前後期に各々40点満点の試験を実施し、平常点最高20点をくわえる。

教科書 『ビジネスドイツ語』（三修社、¥2,800+税）

その他 日常新聞や業界紙に目を通しておいください。

履修コード	144401
科目名	外書講読（仏書）
担当者名	<small>くわた のりあき</small> 桑田 禮彰

講義のねらい フランス語の基礎を習得した学生を対象に、フランス語で書かれた経済・経営に関する文献をテキストとして講読することによって、フランス語の読解力を養うとともに、経済・経営に関する知識を深めることを目標とします。テキストは、日本に関するもの、ヨーロッパに関するもの、グローバル化に関するものなど多様な選択肢がありますが、授業開始時に履修者の関心に沿った形で決定することとします。フランス語の読解力養成のために、できるかぎり平易な文法説明・内容解説を心がけるつもりです。

講義の内容・授業スケジュール まず発音の基本をしっかりと復習した上で、はじめは初級文法を再確認しながらテキストをゆっくり読んでいきます。受講者に読解力がついてきたら多少ペースを上げ、中級文法説明や内容解説に時間をかける予定です。

履修上の留意点 （1）受講上の諸注意（2）発音の基本の復習（3）～（15）初級文法復習を中心としたテキスト読解（16）～（29）中級文法説明・内容解説を中心としたテキスト読解（30）復習と今後のフランス語学習について

履修上の留意点 発音練習や文法理解のために最も重要なのは、もちろん授業への出席です。一回一回の出席を大切にしてください。

成績評価の方法 ふだんの授業での評価をベースにして、年二回の試験の成績で決定します。

教科書 授業開始時に受講者と相談の上決定。

参考書等 そのつど授業で指示します。

履修コード	144501
科目名	外書講読（中国書）
担当者名	<small>しほはた けんいちろう</small> 塩旗 伸一郎

講義のねらい 中国のいまを表わす“文化關鍵詞”（キーワード）に関する解説文を読み、同時代中国への理解を深める。中国語の意味世界において原子と分子のような関係にある“字”と“詞”（＝単語）の間を往き来し、“詞”から“字”へと原理を掘り下げ、“字”から“詞”を連想する訓練を積む。

講義の内容・授業スケジュール 朱大可・張闕『21世紀中国文化地圖2008・第七卷』や各種新語集が採録したキーワードを拼音順に読む。

履修上の留意点 解題（1）、A～N（2～13）、前期末試験（14）、O～Z（15～27）、後期末試験（28）。

成績評価の方法 予習が不可欠。坐っているだけで評価されることはない。
定期試験（30×2）＋平常点（40）－欠席点。
「平常点」≠「出席点」。欠席が3回を超えると10点ずつ減点。

教科書 プリント配付

参考書等 辞書は必携のこと。購入に際しては下記URLが参考になる。
[Http://www.komazawa-u.ac.jp/cms/gakujoho/zhajisho](http://www.komazawa-u.ac.jp/cms/gakujoho/zhajisho)

履修コード	144601
科目名	外書講読（スペイン書）
担当者名	<small>うみの かつひろ</small> 上野 勝広

講義のねらい 専門書をひとりで読みこなすことができるよう、1年次、2年次で学んだスペイン語の基礎の上に、読解力を養う訓練をします。

講義の内容・授業スケジュール スペイン語圏および日本の社会と文化に関するテキストを読みます。同時に必要な文法事項を以下の予定で確認します。
前期（1）オリエンテーション（2～5）自動詞・再帰動詞・他動詞の構文、など（6～10）連結動詞の構文、など（11～15）関係節、など
後期（16～20）副詞節、など（21～25）受動構文、など（26～30）比較構文、など

履修上の留意点 スペイン語の基礎文法をしっかりと復習しておくこと。現代のスペイン語文に親しんでもらうため、できるだけ多量のテキストを読んでもらいます。予習復習は欠かせません。また個々の受講者の興味、関心、専攻と結びつけてテキストに関してのコメントを求めます。動機を明確にしておきましょう。スペイン語圏に真面目に関心のある学生の受講を期待します。

成績評価の方法 毎回の授業参加と、各回の達成度チェックによります。試験やレポートは課さず、平常点で評価します。

教科書 プリント使用。

履修コード	144701
科目名	外書講読（ロシア書）
担当者名	<small>すぎやま けいこ</small> 杉山 秀子

講義のねらい ビデオ、DVDを毎回見てロシア事情を楽しく学びたい。

講義の内容・授業スケジュール 4～9月 ロシアを紹介したビデオ、DVDをみる。真似てみたい表現をパソコンでうってみる。
10月～12月 インターネットでリアルタイムのニュースをみて、カッコいい殺し文句を覚えてみよう。

履修上の留意点 パソコンルームでパソコンを動かすので、できるだけ早くパソコン操作になれて貰いたい。

成績評価の方法 筆記試験は一切しない。自分が気に入ったロシア語の文句をできるだけおきな声で発音してもらおう。

教科書 教室で配布

履修コード	144901
科目名	ビジネス英語
担当者名	秋葉 滋 <small>あきば しげる</small>

講義のねらい	<p>—国際ビジネスで使われている英語に触れ専門用語を習得する</p> <p>—国際ビジネスにチャレンジする際のアドバイス</p>
講義の内容・授業スケジュール	<p>(a) 第1回—第8回 英文ニュース、社説等を通して国際ビジネスで使われている専門用語の習得及びその解説</p> <p>(b) 第9回—第12回 英文レター、E-mail の書き方の基本</p> <p>(c) 第13回—第15回 (a)、(b) の復習及び後期授業に向けたオリエンテーション</p> <p>(d) 第16回—第25回 英文レター、E-mail の書き方の実践、ビジネス英会話の実践、</p> <p>(e) 第25回—第30回 いくつかの業界を選び国際ビジネスにチャレンジする際のアドバイスをを行う</p>
履修上の留意点	次回使う資料、参考書（メディアが配信する経済ニュース、社説等）の予習
成績評価の方法	プロセス評価（毎回の授業における発言回数等）40% 結果評価（テスト、レポート）60%
教科書	未定
参考書等	未定

専門教育

履修コード	144801
科目名	特殊講義I〔現代のビジネスモデル〕
担当者名	猿山 義広 <small>さるやま よしひろ</small>

講義のねらい	<p>本講座は、「現代のビジネスモデル」をテーマに、起業家の育成を目的として、約3分の2は実務者によって講義される。実社会の動向がわかるようになるだけでなく、自らが考えた企画がそのまま評価の対象となるので、プレゼンテーション能力や企画力を養うこともできる。</p>
講義の内容・授業スケジュール	<p>以下の進行を予定しているが、講師の都合によって変更される場合があるので、毎回の授業においてスケジュールを確認していくこと。</p> <p>第1回 ガイダンス、第2回 事業計画書作成の方法、第3回 プレゼンテーションの方法、第4回 ビジネスモデルの事例研究(1)、第5回 ビジネスモデルの事例研究(2)、第6回 ビジネスモデルの事例研究(3)、第7回 事業計画書とビジネスモデル、第8回 ビジネスモデルの事例研究(4)、第9回 ビジネスモデルの事例研究(5)、第10回 ビジネスモデルの事例研究(6)、第11回 プレゼンテーション(1)、第12回 プレゼンテーション(2)、第13回 プレゼンテーションの講評、第14回 これからのビジネスモデル、第15回 まとめ</p>
履修上の留意点	事業計画書の提出とレポート試験を課す。詳細については初回の授業で述べる。
成績評価の方法	指定されたテーマで作成してもらった事業計画案とレポート試験を評価対象とする。
教科書	毎回資料を配布する。プレゼンテーションではパワーポイントを用いる。
参考書等	適宜、授業中に紹介する。
その他	外部の特別講師による講義では、4年生の就職活動による場合を除き、原則として遅刻は認めない。授業中の私語は厳禁。受講態度に問題がある場合、退室を指導することがある。

履修コード	101203
科目名	特殊講義II〔現代の資本主義と証券市場〕
担当者名	王 ^{おう} 志 ^し 安 ^{あん}

講義のねらい 野村ホールディングスの提供による本講座は、「資本市場の役割と証券投資」をテーマとして、野村ホールディングス、野村総合研究所の現役スタッフによって講義される。証券投資に関する基礎から出発するので、証券業務にはじめて触れる者にも十分対応しうる授業である。また、現役スタッフによる「現場」の動向をも織り交ぜた講義であり、証券業界のみならず、広く金融業界への就職を検討する際に大いに参考になることが期待される。

講義の内容・授業スケジュール 以下の進行を予定しているが、講師の都合によって変更される場合があるので、毎回の授業においてスケジュールを確認しておくこと。

- 第1回 ガイダンス
- 第2回 経済情報の捉え方
- 第3回 証券投資のリスク・リターン
- 第4回 ポートフォリオ・マネジメント
- 第5回 企業とCSR
- 第6回 債権市場の役割と投資の基礎知識
- 第7回 株式市場の役割と投資の基礎知識（1）
- 第8回 株式市場の役割と投資の基礎知識（2）
- 第9回 投資信託の役割とその仕組み
- 第10回 日本の株式市場の歴史
- 第11回 経済成長と金融資本市場
- 第12回 資本市場における投資家心理
- 第13回 資産運用とライフ・プランニング
- 第14回 レポートの講評
- 第15回 まとめ

履修上の留意点 定期試験および追試験は実施しない。

成績評価の方法 出席点とレポート点で評価する。

教科書 毎回資料を配布する。授業ではパワーポイントを用いる予定。

参考書 野村証券投資情報部編『証券投資の基礎』丸善。

その他 氏家純一編『日本の資本市場』東洋経済新報社。

企業の現役スタッフによる講義であり、定刻に開始し、4年生の就職活動による場合を除き、原則として遅刻は認めない。授業中の私語は厳禁。受講態度に問題がある場合、退室を指導することがある。

履修コード	146811
科目名	演習I
担当者名	青木 茂樹 <small>あおき しげき</small>

講義のねらい

この演習の目的は、マーケティングや流通に関するフィールドワークやケーススタディをグループで行いながら、現場での課題を発見し、実際の社会に対して新たな切り口で企画・提案していくことである。今日、様々な情報が渦巻く社会では、本質的課題を発見し仮説を創造する力や、これを検証する様々な情報収集の仕方、これを論理的に説明していく力が必要である。こうした姿勢や作法を学生時代に体得しているか否かは、社会の舞台にたったときのスタート時から大きな差となるであろう。

講義の内容・授業スケジュール

こうしたゼミ活動を通じて、今日、社会人基礎力といわれる12の力、① Action（主体性、働きかけ力、実行力）、② Thinking（課題発見力、計画力、創造力）、③ Teamwork（発信力、傾聴力、柔軟性、状況把握力、規律性、ストレスコントロール力）を養う。事前・中間・事後で、個々人のこれらの到達度を測り、将来の職業適性などに応じた指導も合わせて行う。

1. 前期 プロジェクト・マネジメントの手法、フィールドワークの手法、企画書の書き方をまずは学ぶ。課題となるテーマや対象を設定し、グループにて議論を進める。
2. 夏休み 夏合宿（9月）&OB・OG会 合宿では、前期のグループ研究の発表を行う。そのために自主的な研究会を開く場合もあろう。
3. 後期 グループ研究を深める者と、個人研究を深める者に分かれる。ゼミ時間外に研究活動を進めながら、ゼミでは経過報告とアドバイスを貰う機会とする。基本は自分達が一番やりたい研究を行うことであろう。
4. 冬休み 完全休み
5. 春休み OB・OG会。

履修上の留意点

学生の主体的な研究意欲や向上心によってゼミは牽引されるものであり、教員はアドバイザーやサポーターに徹する。もちろん無断欠席はありえない。

成績評価の方法

ゼミ活動全般を通じて、総合的に評価する。すべてにパーフェクトな人間はいない。むしろ個々人の関心や持ち味を生かしてゼミ運営に参加・貢献していることを高く評価する。

教科書

皆さんの研究や将来の職種の興味を伺いながら、演習時にテキストを決めていく。

履修コード	146901
科目名	演習I
担当者名	阿部 一人 <small>あべ かずひと</small>

講義のねらい

本演習では、財務会計を中心に、企業会計の基礎研究をおこなう。

講義の内容・授業スケジュール

この財務会計の基礎知識を習得するために、簿記の学習を初歩程度からはじめて日本商工会議所簿記検定試験の合格を目標に（すでに3級に合格している者は2級にむけて）これから簿記会計を学習・研究しようとする人達を対象に学習する。後期では、報告形式により報告者のレジュメ（報告要旨）にそって、演習を進める。

成績評価の方法

成績評価は、出席状況、報告発表、レポート等により総合的に判定する。

教科書
参考書等

開講後、指示する。
授業中において適宜指示する。

履修コード	146201
科目名	演習I
担当者名	飯田 哲夫

講義のねらい

この演習では、企業経営上の問題解決のための定量的な情報分析の理論と方法について学びます。近年の情報技術の発展により、大量のデータや情報を活用した定量的な分析の多くが、比較的容易に行うことができる状況になってきており、それらを利用して定量的に問題を分析することは、データに裏づけられた合理的な意思決定へと通じていきます。そして、分析の際には、より有効にデータや情報を活用するために、また、問題の本質を理解するために、しばしば問題状況を数理的にモデル化します。問題に応じて、様々なモデルがありますが、この演習では、それらの中の基礎的なものから学習していきます。また、数理モデルを用いた分析には、コンピュータの利用を前提としているものが多くあり、それらの分析を行うためのコンピュータの利用技術についても基礎的なところから学習していきます。

講義の内容・
授業スケジュール
履修上の留意点

基礎的な数理モデルの知識および、コンピュータの利用に関する知識の習得のために、ゼミのメンバーによる輪読およびコンピュータ演習を行います。

このゼミは学生の主体的・積極的な参加を前提としています。また、数理モデル分析やコンピュータの高度な利用方法を学ぶため、ある程度は数学的知識やコンピュータに慣れていることが望まれます。具体的には、「経営数学」「情報処理基礎」を履修していることが望ましい。

成績評価の方法
教科書

平常点（出席とゼミへの積極性）、課題のレポートと発表により総合的に評価します。用いる教科書や参考書については最初のゼミのときに紹介します。

履修コード	146821
科目名	演習I
担当者名	石名坂 邦昭

講義のねらい

経営学部の学生として必要な基本的知識を身につけてもらう。

講義の内容・
授業スケジュール

前期において、経営学の基本的知識を習得するための授業を行う。後期は、それぞれのテーマについてレポートを書いてもらい、それをもとに発表し討議を行う。

履修上の留意点

授業には毎回出席のこと。

成績評価の方法

平常の授業への取り組みと、レポートにて採点する。

教科書

必要なときに指示する。

履修コード	147001
科目名	演習I
担当者名	鹿嶋 秀晃

講義のねらい

研究テーマは現代日本企業の人事労務管理。大学生活の中で、ゼミは最も勉強に打ち込み、一番思い出になるところだと考えます。よって、積極的に勉強し、行事を企画し、みんなで楽しくゼミを過ごしたいという学生を採用します。

講義の内容・
授業スケジュール

現代の日本企業とそこに働くサラリーマンが抱える問題に関して、入門書と専門書を読んでいきます。企業と労働、社会について幅広い関心を持ち、科学的に考える力を養います。サブテーマは「終身雇用」「年功賃金と能力主義」「日本の経営」「女性労働」「日本的労使関係」「会社人間」「過労死」ほか。2ヵ月に1冊のペースで本を読みます。受講者全員はあらかじめテキストを熟読し、中から報告者（レジュメを作成）、コメンテータを決め、その2人を中心に議論をしていきます。報告者とコメンテータは順番。また、毎回の「新聞発表」では担当者が最近の新聞から企業経営や労務に関するものを切り抜き、自分のコメントを加えてプレゼンテーション。4年次は卒論作成中心。

履修上の留意点

カリキュラム構成上、本演習は経営学科生対象。出席重視。無断欠席は単位認定なし。ただし、特別に事情がある場合には個別に対応します。レジュメはワープロで作成のこと。工場見学、合宿等の時間割以外の行事もゼミの一環なので必ず出席するように。

成績評価の方法
教科書

出席点、講義中の発表・発言、レポートを総合して判定。

適宜指示。過去のテキスト例。熊沢誠『格差社会ニッポンで働くということ』、朝日新聞特別報道チーム『偽装請負』、中野麻美『労働ダンピング』、風早正宏『ここがおかしい日本の人事制度』など。

参考書等
その他

演習時に適宜紹介。

履修希望者は、経営労務論を履修のこと。他のゼミ活動に、卒業論文集の発行、ゼミ書評、全国コンテスト参加などがあります。WEBページ参照。http://www.komazawa-u.ac.jp/~kashima/index.html

履修コード	146301
科目名	演習I
担当者名	<small>かたまり のぶお</small> 片桐 伸夫

講義のねらい

このゼミは3・4年次（演習II・III）で「就職希望会社の経営分析」を行うことを目的とします。（経営分析の内容については、演習IIの講義のねらいをごらんください。）

講義の内容・授業スケジュール

2年次（演習I）では、その準備として、日商簿記検定2級にチャレンジしてもらいます。

2級商業簿記：春休み3月にプレゼミ4回（8コマ）と（1-10）、2級工業簿記（11-20）、受験対策、（21-30）。以上は大まかなスケジュールですが、日商簿記検定は6月、11月、2月にあるため、個人に合わせ、再受験対策もします。

履修上の留意点

このゼミでは、経営分析の中でも、とくに財務諸表（貸借対照表や損益計算書など）の分析を中心とします。したがって、1年次の簿記学に興味を感じた人向けのゼミです。（なお、日商簿記検定2級取得者で1級にチャレンジする人は、独学 or 経理研究所 or 専門学校1級コースで一週りを学習していることを前提に受験対策のみ指導します。1級は2級の4倍程度の学習範囲があり、演習Iでは対応できないためです。）

成績評価の方法

成績評価の方法は平常点100%です。

教科書

私が作成したものを差し上げます。

参考書等

問題集等、随時、紹介します。

その他の

プレゼミや合宿も行います。

ゼミ入室の決定方法は面接〔志望理由書（500字程度）事前提出〕とテスト（演習Iは1年次学習中の簿記）によります。

なお、いうまでもなく無断欠席と遅刻は厳禁です。以上の方針に見合う、学習意欲十分な学生諸君の参加を希望します。

履修コード	146701
科目名	演習I
担当者名	かわむら 栄哲 <small>さいてつ</small> 兼村 栄哲

専門教育

講義のねらい

社会的な分業体制が成立している今日の経済においては、生産と消費の間に、主体的懸隔、量と組み合わせに関する懸隔、情動的懸隔、空間的懸隔、時間的懸隔といったさまざまな経済的懸隔が発生している。マーケティングとは、こうした経済的懸隔を架橋することによって、円滑な交換（連鎖）を実現し、ひいては、消費者が、生産者が生産する商品を消費することを可能にする活動をいい、社会経済的な観点に立ったマクロ・マーケティング（「流通」とほぼ同義）と、個別企業のマネジメントの観点に立ったミクロ・マーケティング（いわゆる「マーケティング」）に大別される。マーケティング論は、以上の2つのマーケティングのメカニズムを研究する学問である。

講義の内容・授業スケジュール

本演習のねらいは、履修者の一人ひとりが、こうしたマーケティングにかかわる諸現象を体感し、当該現象について自分なりに論理的に説明できるようになることにある。

演習は、講義科目とはまったくその性格が異なっている。最低限、予・復習することはもちろんのこと、授業時間内においても積極的に参加することが要求される。このことは、「たんに出席し、ノートをとる」ことを意味するのではない。以下の6つが、私が皆さんに最低限要求する内容である。

- (1) マーケティング論に関する基礎的な概念や理論を学ぶ。
- (2) 年に1・2回、4～5人のグループで、マーケティング（論）にかかわるいくつかのテーマについて調べて、その内容を発表する。
- (3) 4～5人のグループで業界研究をし、A4版で100枚以上のレポートにまとめる。また、その概略を冬ないし春の合宿（1泊2日の予定）で発表する。
- (4) 夏休みの工場見学（2泊3日の予定）に参加する。その前提として、各工場について、それぞれのグループで20以上の質問を考える。
- (5) 東京都が主催する「学生起業家選手権」、日刊工業新聞主催の「キャンパスベンチャーグランプリ」の双方、あるいはいずれか一方に個人として応募する。
- (6) 電通主催の学生懸賞論文に応募する。

履修上の留意点

以下の3点を強く要望する。
 (1) 積極的に参加すること。（通常の演習のみならず、合宿、OBOG会、コンパその他の課外活動にも積極的に参加すること。また、たんに出席するのではなく、自発的に自分なりの疑問や意見を示すこと。）

(2) お互いの親睦を図ること。（これは、私との間の親睦はいうまでもなく、同期・先輩・後輩との間における親睦を指している。）

(3) 授業開始後、諸般の事情で履修を取りやめる場合にも、必ずその旨を事前に申し出ること。

成績評価の方法
教科書
参考書等

授業態度、発表内容、レポート内容等による総合的な評価なし

グローバルタスクフォース株式会社（著）『コトラー教授『マーケティング・マネジメント』入門I』（綜合法令）2005年、1,680円、ISBN：4-89346-882-0。

グローバルタスクフォース株式会社（著）『コトラー教授『マーケティング・マネジメント』入門II』（綜合法令）2005年、1,680円、ISBN：4-89346-883-9。

その他については、適宜紹介する。

履修コード	146831
科目名	演習I
担当者名	菅野 佐織

講義のねらい	演習Iの目的は、マーケティングに関連する研究を通じて「ものを見る力」と「ものを伝える力」を養うことです。「ものを見る力」を養うために、まず、消費者調査アンケートを計画・実施し、データ分析を行うことで、マーケティング・リサーチの基礎について学びます。さらに「ものを伝える力」を養うために、パワーポイントにまとめた資料をグループごとに発表してもらいます。
講義の内容・授業スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> ・マーケティング・リサーチの基礎を学ぶ（単純集計、クロス集計、相関分析、因子分析、回帰分析など） ・マーケティングに関連する様々なテーマについて、グループ毎に情報を収集し、議論を行い、アンケート調査やデータ分析によって、最終的戦略立案を発表する。 ・テキストを用いてマーケティングの基礎について学ぶ
履修上の留意点	<p>このゼミは、次のような人に向いています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マーケティング、消費者心理の問題や、消費者調査などのマーケティング・リサーチに興味がある。 ・責任感があり、協調性がある。 ・他大学の学生と勉強したい。（3年生のゼミでは、他大学との討論会を予定をしているため、積極的にゼミの活動に時間をかけられる人が向いています。詳しくはネットで「関東10ゼミ討論会」「Sカレ」を検索してみてください）
成績評価の方法 教科書	出席の状況と毎回の課題への取り組み度合い、授業への貢献を総合的に判断して評価します。 グロービス・マネジメント・インスティテュート編著『新版 MBA マーケティング』（ダイヤモンド社）2800円
参考書等 その他	<p>授業で適宜お知らせします。</p> <p>継続力と強い精神、礼儀を持つ人を歓迎します。また、何かを楽しむためには、ある一定以上の知識が必要となります。そのため、ゼミ以外の時間にも進んで勉強してほしいと思います。ゼミの勉強で苦楽を共にしながら、且つ勉強以外にも楽しい思い出を作り、卒業後も付き合えるいい仲間を作っていくって欲しいと思います。</p>

履修コード	145801
科目名	演習I
担当者名	岸田 隆行

講義のねらい	本演習では、原価計算について計算の理論的背景を探り、原価計算で行われているような計算方法がなぜ必要なのかを探求していく。また、原価計算が経営管理において、どのような機能を持ちうるのかを管理会計的な側面から追求していく。
講義の内容・授業スケジュール	原価計算に関する知識の習得を目的として、原価計算に関するテキストを読み進めていく。受講者の報告および報告内容についての討論を中心として、原価計算の理論に対する理解を深めていく。また、練習問題を解いていくことによって、計算力も高めていく。
履修上の留意点	<p>積極的にゼミ活動に参加してもらいたい。</p> <p>担当箇所での報告では、指定されたテキストだけでなく、様々な文献を読んだ上で報告を行ってほしい。また、報告者以外の受講生も事前にテキストを熟読し、質問を考えた上で参加してほしい。</p>
成績評価の方法 教科書 参考書等	<p>報告の内容、ゼミへの参加程度により総合的に評価する。</p> <p>開講時に指示する。</p> <p>適宜紹介する。</p>

履修コード	146501
科目名	演習I
担当者名	高井 徹雄

講義のねらい ブロードバンドで繋がったインターネットを基盤とするIT（情報技術）は、今日の企業経営また社会・経済システムを捉えるうえでも最も重要なキーワードとなっています。皆さんは、真の意味で、情報が価値を持ち、情報が価値を生み出す時代に生きています。このような時代、企業や官庁のスタッフとして、また将来はエグゼクティブとして、「情報エリート」を目指すならば、少なくとも以下の能力が要求されると考えます。

(1) 発見力：与えられるのを待つのではなく、自分で問題を見つける能力。
(2) 洞察力：問題に関係する必要な情報を選別する能力。情報を分析し問題の本質を洞察する能力。
(3) 表現力：分析結果を集約し、解り易くプレゼンテーションする能力。
(4) 解決力：他者と協力しあって、具体的な問題解決を図る能力。

皆さんに、こうした素地を養って頂くことを狙いとして、各週の演習、および年2回の合宿（1回は勉強、もう1回は親睦を主目的とする）における題材と環境を用意します。主体的にゼミに参加されることを願っています。およそのスケジュールは以下のとおり。受講生とコミュニケーションをとりながら、理解度や興味の方角を見極めながら進めていきます。

講義の内容・授業スケジュール
4-7月 ：情報リテラシ・・・文書作成、HTML作成、スプレッドシート基礎・応用
6月 ：ソフトシステム方法論・・・演習IIと合同ゼミ合宿、SSMで社会的問題を扱う
9-12月：計算機言語・・・スプレッドシートマクロ、Delphi プログラミング

履修上の留意点
毎回、コンピュータルームにおいて実習形式で授業を行います。

成績評価の方法
実習形式の授業は、全体が同じペースで学習を進めていく必要がありますので、極力欠席しないようお願いいたします。

毎回出席をとります。また、前期・後期各1件程度、学習内容に応じてHTML作成やプログラミングなどの課題を出します。これら平常点により評価を行いますので、筆記試験は行いません。

履修コード	145101
科目名	演習I
担当者名	高木 克己

講義のねらい 本ゼミナールでは、3年間を通じて、法人税の対象となる企業の課税所得の算定過程を明らかにすることを中心に研究を行います。

なお、毎回報告者の発表に対し討論を行うという形式で進めていくので、その中で十分に自分の意見が主張できるようになって欲しいと考えています。

2年次では、企業の税金の問題を扱う前提として、簿記、会計理論の基礎的な知識を習得します。本年度は会計学の基礎を中心に勉強をします。ただし、最低限、6月の日商検定試験3、2級に向けて3カ月間だけ簿記検定の勉強をします。（すでに3級を取得している者は2級に向けて、初めての人は3級の合格を目的にします。）

なお、合宿は11月全学年合同で行っています。その内容は、ディベートが中心になります。その他、年2回程度、全学年で集まる機会を持っています。

明るくて、好奇心が強く、夢をたくさん持っている人が志望してくれたらいいなと思っています。ゼミ運営の基本的な考え方として、目標を持って頑張っている人や一生懸命勉強をしている人が居心地が悪くなるような雰囲気は絶対つくらないようにしています。

講義の内容・授業スケジュール
4月から、6月までは、日商簿記検定受験に向けて、個別問題や模擬試験問題等を使用して各自の実力に合わせて勉強していきます。

その後は、12月まで、会計の基礎を学びます。ローテーションを決めて報告してもらい、解説していきます。

成績評価の方法
出席及び報告により評価します。

参考書等
最初の授業で紹介します。

履修コード	145401
科目名	演習I
担当者名	滝田 公一

講義のねらい

本年度は次の文献を利用して演習を行う予定です。

[1] 東北大学経営学グループ著、『ケースに学ぶ経営学』（有斐閣ブックス）1998（2,500円）

文献[1]は、「企業とは何か？それはどのように経営されているのか？」と言う問題を幾つかの現実の事例（例えば、スカイマークエアライン社の設立、マクドナルドとモスバーガーの競争戦略など）をどうして考察したものです。此の教科書を題材として、学生諸君には、課題報告（例えば、1970年代から80年代に架けて、日本の自動車企業は、アメリカの自動車企業に追いつき追いついていきますが、なぜそのようなことが起こったのか、環境と戦略について調べましょう、など）をしてもらう予定です。このような課題報告を通じて、レポートの書き方と文献・資料の探し方に習熟していただくことも演習Iの狙いの一つです。

また、文献[1]とあわせて、代表的な表計算ソフトである Excel を使った経済データの情報処理をも勉強する予定です。簡単な計算によるデータの変換、グラフの作成、最小二乗推定、確率分布、線形計画法、簡単な経済理論のシミュレーション、などが取り扱われる予定です。特別な予備知識は必要ありませんが、「情報処理基礎」を前もって、または、同時に履修されると理解が一層深まるのではないかと思います。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、エクセルを用いて、表やグラフの作成法を学び、つぎにその知識を生かして、初歩の確率・統計を学びます。これらの知識を基にして、単回帰の考え方を学びます。後期は、重回帰と仮説の検定を学びます。また、前期の初めに、レポートの書き方を勉強し、それを基にして、プレゼンテーション用の原稿を作り、3週に1度程度、学生諸君に企業のケーススタディに基づく課題の報告をしてもらいます。

成績評価の方法

成績評価は、課題報告(30%)と、学年末のレポート（通常、computer assignment、70%）によって行います。

履修コード	146841
科目名	演習I
担当者名	中川 功一

講義のねらい

経営戦略論の基礎を、年間を通じて習得するとともに、問題解決のための思考能力を養っていく。

講義の内容・授業スケジュール

文献購読（伊丹敬之・加護野忠男著『経営学入門』）、ケーススタディ、フィールドワークの3本柱による。

履修上の留意点

原則として毎回の出席と発言を求める。なお教科書はゼミで購入するので個別に買わなくてもよい。

成績評価の方法

出席と報告による。

教科書

伊丹敬之・加護野忠男『経営学入門』

履修コード	147151
科目名	演習I
担当者名	中川 淳平

講義のねらい

この演習では、企業、そして企業をめぐる社会・経済現象について参加者が多角的な理解が得られるようにしたいと考える。併せて、報告の仕方、文章のまとめ方について習得する。

講義の内容・授業スケジュール

経営学・経済学の基本的な文献を読み、討論してゆく。文献は開講時にこちらで指定する文献のなかから参加者に選択してもらい、その概要を発表してもらう。さらに、一年間の学習のまとめとして、レポート（小論文）を作成する。

履修上の留意点

多量の文献を読む予定なので、積極的に勉学する、意欲ある学生の参加を望みます。

成績評価の方法

平常点100%（発表や討論の内容、レポート、学習態度による）

教科書

開講時に指示します。

履修コード	146871
科目名	演習I
担当者名	ながこさよう 長 国強

講義のねらい	現代は情報化社会といわれ、新聞・雑誌・インターネットを開いてもそこに大量の経済・経営データが見られる。ところで、経済・経営などのデータをそのまま見れば、単なる数字の山にすぎず、大切なことはそこから正しい見通しを得ることであろう。実際のデータから経済・経営など社会的な動きをどのように読みとるのかといった能力を養成できるようにすることを目的として、本演習はコンピュータを使つてのデータ解析の基本技術を学習する。
講義の内容・授業スケジュール	演習I(2年生)：決算書…見方・読み方 決算とは、一定期間の収入・支出を計算し、利益又は損失(損益)を算出することである。企業だけでなく国・地方公共団体においても決算を行うことが、法律で定められている。本演習では、インターネットや参考書・討論などを多用して、決算書などの数字を読めるように実習していく。数字が強くなると、会社の安全性、収益性、営業力そして将来性まで、面白いように見えてくる。
成績評価の方法その他	平常点：出席・レポートの成績などで総合的に評価する。 演習IIは毎回の実習アイテに連続性があり、1回欠席すると、次回の実習についていけなくなることも考えられる。したがって、理由なく年間5回以上欠席した場合、自動的に除名されることにする。

専門教育

履修コード	146851
科目名	演習I
担当者名	なかの かほり 中野 香織

講義のねらい	本演習では、マーケティング・コミュニケーションおよび広告について、実務と理論の両方の面から考察することを目的とする。理論を学ぶことに加え、それを実際の戦略に応用できるような思考も身につけることが必要である。また、さまざまな課題に取り組むことを通じて、テーマに関連した資料収集の方法、問題を発見する視点、それを解決するための方法、考えたことを人に伝えるためのプレゼンテーション方法などを学んでほしい。
講義の内容・授業スケジュール	前半はマーケティング・コミュニケーションおよび広告に関する基礎的な知識をメンバー全員で共有するため、教科書を輪読し、内容について議論する。 後半はグループ研究を基本とし、以下の課題等に取り組む。 ・グループでの論文執筆(学生広告論文電通賞への応募) ・ある商品についてのマーケティング・コミュニケーション戦略を企画し、実務家へプレゼンテーションするケース研究 ・4大学で内容を競い合う研究発表大会への参加
履修上の留意点	ゼミの時間には積極的な発言が、ゼミの時間外には自主的な課題への取り組みが求められる。特にグループ研究ではメンバーと共同で多くの課題をこなし、活発な議論を行う。そのため、マーケティング・コミュニケーションに関心が高く、ゼミ中心の学生生活を過ごしたいと思うような意欲的かつ協調性のある人に参加してほしい。
成績評価の方法 教科書 参考書等	授業態度(出席状況、積極的な参加)、発表内容、レポートなどにより総合的に評価する。 参考書のなかから、数冊を教科書として利用する。詳しくは開講時に指示する。 亀井昭宏・疋田聰編『新広告論』2005年刊(日本経済新聞社)1,800円、嶋村和恵監修『新しい広告』2006年刊(電通)2,000円、岸志津江・田中洋・嶋村和恵『現代広告論』2000年刊(有斐閣)2,000円、上条典夫監修・内藤敏夫責任編集『実践マーケティング・コミュニケーションズ』2005年刊(電通)2,200円

履修コード	147101
科目名	演習I
担当者名	<small>なかむら こういち</small> 中村 公一

講義のねらい	<p>本ゼミでは現代企業の置かれている環境とそれに対する経営戦略を紐解いていき、実践的な場面でも応用できる知識と考え方を身に付けるために、文献購読・資料調査・ケーススタディ・ビジネスプランニングなど多彩な課題に取り組みます。</p> <p>ゼミは、単位を採るだけのものではなく、個人の「知的トレーニングの場」であり、他のゼミ生達と切磋琢磨する場であると考えて下さい。私の役割は、ゼミ生がゼミでの勉強をきっかけにして豊かな学生時代を築こうとする時のお手伝いをするだけに過ぎません。運営の主体は君達にあります。</p> <p>(1) 文献購読やケーススタディなどを通して、企業の置かれている環境とそれに対する戦略を的確に理解する専門知識の習得、分析力、洞察力の強化を図ります。</p> <p>(2) レポート作成を通してのアウトプット能力、論述能力、論理構成力の強化を図ります。</p> <p>(3) 毎週の報告や議論などを通じてプレゼンテーション能力やディスカッション能力の強化を図ります。</p> <p>(4) 実際にビジネスプランの策定を通して、事業戦略を構築する企画力と構想力の強化を図ります。</p>
講義の内容・授業スケジュール	<p>演習I(2年生)</p> <p>前期：経営戦略論に関する入門書の購読+資料などの調査方法、企業研究・分析</p> <p>後期：現在の経営環境の解説作業、競争企業分析の実践(グループ調査)</p>
履修上の留意点	<p>ゼミの理念は「知的トレーニング」にあるので、毎週レポートを宿題として課し、相当の勉強時間の確保が必要になります。また、ゼミでは議論が中心になるために、事前の準備も必要となります。</p>
成績評価の方法	<p>遅刻の常連、無断欠席、各種課題や提出物の期限の遅れ、不十分な内容のレポートを提出した場合は、厳しくチェックします。成績は、出席数、提出課題の内容、議論への貢献度などの平常点によって判断します。なお、4年次にはゼミ論文があります。</p>
教科書	<p>授業時に発表する</p>

履修コード	146801
科目名	演習I
担当者名	<small>にしむら かずお</small> 西村 和夫

講義のねらい	<p>【テーマ：情報セキュリティ】 文書(英論文など)の読みかた、書きかた、発表のしかた、コンピュータの利用のしかたを体得し、論理的な思考力を養う。</p>
講義の内容・授業スケジュール	<p>入ゼミ手続き(1年次)：面接と文章完成法テストによって選考する。説明会に出席しないと、面接が受けられない。原則として“情報処理基礎”をすでに履修していること。</p> <p>演習I</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ タッチタイプ ・ 書誌情報の検索のしかたと検索練習⇒ レポートや論文の作成に役立つ。 ・ 問題の発見と解決 ・ コンピュータの基礎知識 ・ 論文の読み方と発表のしかた[1] <p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 情報処理技術者試験の受験のための学習。 ◆ 研究発表会(年1度) ・ イベント(年1～2度)。
履修上の留意点	<p>テーマは“情報セキュリティ”であって、コンピュータの操作方法ではない。コンピュータの知識がある人ではなく、やる気と実行力のある人を求む。</p>
成績評価の方法	<p>出席のほかに、タッチタイプ、検索課題、レポート</p>
その他	<p>西村ゼミのページ：http://www.komazawa-u.ac.jp/~kazov/</p>

履修コード	145501
科目名	演習I
担当者名	羽鳥 茂 <small>はしり しげる</small>

講義のねらい 日本企業のコーポレート・ガバナンスや情報効率性、システム特性などを研究するための基礎を確かなものにするのが目的です。

講義の内容・授業スケジュール 上記の目標を達成するために1年を3期に分けて、1期（4月～6月）においては、何が問題であり、これまでにどのようにアプローチされ、どのような結果が得られたかを理解します。2期（7月、9月～10月）では、必要な分析ツールとしてナッシュ交渉解、提携形ゲームのさまざまな解その他を学習します。3期（11月～12月）になって、前2期の研究成果を踏まえて当初の目的に立ち返り、各人が自分の答えを出せるように指導したいと考えています。

履修上の留意点 1人1人がゼミのリーダーとなるよう積極的に報告、発言してください。

成績評価の方法 出席状況、課題の提出内容、理解度、意欲を総合的に判断し評価します。

教科書 私のノートを含めプリントを配布します。

参考書等 ゼミの進み具合に応じて適宜紹介します。

履修コード	147121
科目名	演習I
担当者名	羽田 尚子 <small>はねだ しやうこ</small>

講義のねらい 演習I、II、IIIを通じ、自分の興味あるテーマをデータを使って解析し、その結果から新たな発見を導けるようになることが目的です。

講義の内容・授業スケジュール 演習Iでは、データの扱い方とソフトウェアの使い方を覚えます。ソフトウェアを使った実習が中心。必要に応じて、教科書の輪読も行います。課題を出すので（不定期）、各自実習し、結果と考察をレポートにまとめ、発表してもらいます。前期：データの見つけ方、Excel やテキストエディタの基本的な操作方法、Excel による回帰分析とその応用
後期：AHPによる意思決定分析

履修上の留意点 演習I、II、IIIと継続して受講することを前提としています。無断欠席は厳禁です。

成績評価の方法 出席状況、課題の提出状況、発表態度および理解度により総合的に評価。

教科書 柏木吉基『Excel で学ぶ意思決定論』オーム社

履修コード	147111
科目名	演習I
担当者名	日野 健太 <small>ひの けんた</small>

講義のねらい このゼミでは組織が直面するさまざまな問題を取り上げ、多角的に分析する。組織論の問題を中心に取り上げていくが、経営学全般について理解できるように配慮する。

講義の内容・授業スケジュール 演習Iでは、まず、経営組織論の基本的な文献を輪読し、組織論の見地から論じられるようになることを目的とする。理論にとどまらず、同時に具体的な問題を取り上げ、理解を深めたい。また、自分の関心のあるテーマを見つけてもらう。文献輪読とディスカッションによって経営組織論の内容を学ぶとともに、工場、職場の見学を行い、現実の組織のイメージを持てるように進める。必要に応じて、夏、秋の合宿を行う。

履修上の留意点 学年末には、1万字程度のゼミ論文を提出してもらおう。ディスカッションに参加するためには、レポーター以外の学生も予習は必須であるし、自分の考えをまとめるために、小レポート（原稿用紙2枚以下）を頻繁に課す。

成績評価の方法 出席とゼミへの積極性、レポート内容による。

教科書 開講時に指示する。参考までに、昨年度の演習Iで読破した本は、以下の3冊である。
バートレット&ゴシャル『個を生かす企業』ダイヤモンド社
沼上幹『組織戦略の考え方』ちくま書房
金井壽宏『働くひとのためのキャリア・デザイン』PHP

参考書等 有斐閣の『経済辞典』は、何かと重宝する。日経産業新聞の『日経MJトレンド情報源』は、経営学部の2年生の暇つぶし向き。

その他 わたくし自身も、学部学生時代のゼミの友人とはいまだにつきあいが深い。そういった友人を得る機会となるように望む。
何回休んだら不可ですか、と尋ねる学生は履修しなくてよい。教室でのディスカッションのみならず、コンパ（コンパニーの略。学生などが費用を出し合って催す懇親会（広辞苑より）のことである。）等の親睦活動にも積極的に参加すること。

履修コード	146601
科目名	演習I
担当者名	藤原 篤志

講義のねらい 本演習ではテーマを「モノづくりの経営学」としており、主として製造企業の生産戦略、生産管理、技術管理、作業管理などを対象としている。またモノづくりには労働力が不可欠かつ重要な要素であるので、労働者による労働も考察の対象としている。ゼミ生各人がこのテーマ・領域に関連して自分の興味・関心のあるテーマを選び、それについて研究を行い、4年のゼミ終了の時点までにゼミ論文を作成・完成させることを最大の目的としている。また授業の中で、ゼミ生には自分の論文の経過・成果についてプレゼンテーション（発表・報告）をしてもらい、それに対する質疑応答や議論・討論を他のゼミ生と活発に行うことにしている。以上の論文作成、プレゼンテーション、質疑応答、議論・討論を通じて、知識を吸収することはもちろん、ゼミ生各人が物事に対して疑問や意見を持ち、それらを論理的に思考し、自分の意見を的確に表現することを目指している。

講義の内容・授業スケジュール 2年生（演習I）では、まずは基礎固めとして経営学全般の基本的な内容を学習することを目的としている。ゼミ生各人にはこちらから勉強テーマが与えられるので、それについてゼミの中でプレゼンテーション（発表・報告）をしてもらい、それに対する質疑応答、議論・討論を行う。その中で、報告・発表、思考、発言・表現等の能力を養っていく。また上記のように授業自体はプレゼンテーション、質疑応答、議論・討論が中心となるので、ゼミ内に全員が積極的に発言できる雰囲気を作りたい。そのため、授業時間以外のイベント（工場見学、合宿、コンパなど）には全員が参加することが原則である。

履修上の留意点 以上のような内容なので、中途半端な気持ちで志願する学生には遠慮してもらいたい。勉強にしろその他のイベントにしろ、自分から常に積極的に参加・参画する姿勢が求められる。本ゼミでは何よりもやる気のある学生を歓迎する。

成績評価の方法 特に出席を重視。規定の欠席回数に達したものは即除籍にする。その他、ゼミでの報告内容や参加態度も成績評価に入る。

履修コード	146101
科目名	演習I
担当者名	山田 純平

講義のねらい 日本の会計基準は、国際的な調和化を理由に、ここ10年でもかなりの変貌をとげてきたといわれます。しかし、国際的な調和化といっても、そもそも世界的に会計基準がどのような方向に向かいつつあるのか、その背景となる考え方はどのようなものか、といったことは十分に検討されているとはいえません。そこで、本演習では、企業会計に関する基礎的な知識を身につけるとともに、国際基準の動向とその基礎概念を考察します。

講義の内容・授業スケジュール また、会計基準は実際に運用されてこそ意味があるのだから、現実の財務諸表を分析することを通じて、会計基準の実態面についても合わせて検討します。
企業会計に関する基礎的な知識を得るためのテキストを輪読する予定です。

履修上の留意点 原則として毎回出席してください。また、ゼミの行事にはできるだけ参加してください。
成績評価の方法 議論への参加度、報告の出来、出席率で評価します。
教科書 授業中に参加者と相談のうえ、決定します。

履修コード	147131
科目名	演習I
担当者名	山田 勝

講義のねらい ボーダレス時代にビジネスパーソンとして活躍するためのセンスを磨くこと。
講義の内容・授業スケジュール (イ)各自が『日本経済新聞(朝夕刊)』を毎日読む。
(ロ)およそ2週間に1度、日経新聞の中から指定した記事に関して、日本語400字とその英訳文のレポートをメールによって提出。
(ハ)月1度のわりで各自のレポート内容を英語で発表し、それに関してディスカッションする。共通語は英語。

成績評価の方法 平常点評価。毎時間出席し、積極的にディスカッションに加わることが評価の対象となる。

履修コード	146861
科目名	演習I
担当者名	若山 大樹

講義の内容・授業スケジュール 演習Iでは、市場（消費者行動）を理解するための方法論や理論について学ぶ。具体的にはマーケティングデータの理解を深めるために消費者行動の観察、調査、実験手法を学び、この分野で最も利用されている統計処理ソフトSPSSの使い方を学び、マーケティングデータ解析と市場理解において重要な社会心理学の理論についても学ぶ。
講義のスケジュールは以下のとおり。
(1)～(6)テキストの輪読、(7)～(14)論文の輪読、(15)前半まとめ、(16)～(22)統計処理ソフトSPSSを用いた演習、(23)～(30)データ分析課題

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書
参考書等
マーケティング関連科目を履修していること。
出席状況と輪読、ディスカッションへの参加、データ解析課題提出状況を総合的に評価する。
必要に応じて配布あるいは指示する。
必要に応じて配布あるいは指示する。

履修コード	147141
科目名	演習I
担当者名	渡辺 伊津子

講義のねらい 本演習では「企業とその経営管理」について理解を深めることを目的とします。まず経営学を学習していくうえで必要となるスキル（たとえば文献・資料の探し方など）、そして経営管理の基礎的な知識について学びます。その後は、経営に関する文献の輪読、小グループでのレジュメ発表を予定しています。

講義の内容・授業スケジュール (1)オリエンテーション
(2～5)必要なスキルを学ぶ（文献・資料の探し方、文献・資料の読み方、レジュメの作り方、レポートの書き方など）
(6～15)経営管理の基礎を学ぶ1～10
(16～29)経営管理の基本的な文献の輪読（レジュメを使つての発表）
(30)総括

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書
参考書等
経済・経営の動向に関心を持つとともに、関連情報の収集に努めてください。
出席（60%）、演習で行う課題（40%）で評価します。
開講時に指示します。
適宜指示します。

履修コード	149911
科目名	演習II
担当者名	あおき しげき 青木 茂樹

講義のねらい この演習の目的は、マーケティングや流通に関する知識を主体的に獲得していく姿勢や作法を身につけることである。今日、様々な情報が渦巻く社会では、本質的課題を発見し仮説を創造する力や、これを検証する様々な情報収集の仕方、これを論理的に説明していく力が必要である。こうした姿勢や作法を学生時代に体得しているか否かは、社会の舞台にたったときのスタート時から大きな差となるであろう。

講義の内容・授業スケジュール こうしたゼミ活動を通じて、今日、社会人基礎力といわれる12の力、① Action (主体性、働きかけ力、実行力)、② Thinking (課題発見力、計画力、創造力)、③ Teamwork (発信力、傾聴力、柔軟性、状況把握力、規律性、ストレスコントロール力)を養う。事前・中間・事後で、個々人のこれらの到達度を測り、将来の職業適性などに応じた指導も合わせて行う。

1. 前期 マーケティング・流通に関する重要な論文を輪読しながら、それらのアイデアが生まれてきた背景や今後の発展的展開を考える。フィールドワークや企業訪問、ゲスト・スピーカーの招聘なども適宜行う。
2. 夏休み 夏合宿(9月)&OB・OG会 合宿では、グループ研究の中間発表を行う。そのために自主的な研究会を開く場合もあろう。
3. 後期 前期同様に論文の輪読と批判的検討を行う。これに加え、グループ発表へ向けて、グループ論文の作成に取り掛かってもらう。これは、外部機関の学生懸賞論文などとテーマを兼ねることも考えられる。基本は自分達が一番やりたい研究を行うことであろう。
4. 冬休み 完全休み
5. 春休み OB・OG会。

履修上の留意点 学生の主体的な研究意欲や向上心によってゼミは牽引されるものであり、教員はアドバイザーやサポーターに徹する。もちろん無断欠席はありえない。

成績評価の方法 ゼミ活動全般を通じて、総合的に評価する。すべてにパーフェクトな人間はいない。むしろ個人に関心や持ち味を生かしてゼミ運営に参加・貢献していることを高く評価する。

教科書 皆さんの研究や将来の職種に興味を伺いながら、演習時にテキストを決めていく。

履修コード	149201
科目名	演習II
担当者名	あかし ひろゆき 明石 博行

講義のねらい 本演習では、現代の経済社会に関する3年次・4年次の共通研究テーマと課題図書を相談のうえ決定し、経済社会学の応用分野の学習に取り組みます。また、決算書とマクロ経済データの分析におけるエクセルの利用法について学習しつつ、英語の読解力のさらなる向上を図ります。さらに、卒業論文の作成にむけた各自の研究領域をしばってゆきます。

講義の内容・授業スケジュール 演習は前期と後期にわけて行います。前期には、エクセルおよびパワーポイントの操作能力を育成しつつ、決算書の分析・マクロ経済データ分析のための基礎資料を作成します。後期には、課題図書ノートと基礎資料を利用した学習に取り組み、決定したテーマにそくして現代の経済社会に関する学習と研究を深めます。夏には2年生との合同合宿を行います。3年次にはなお、テーマ別の個人研究が演習における一つの課題となります。

履修上の留意点 チームごとの補習を行いながら、テーマ別の学習・研究と演習参加者全員による学習・研究とを組み合わせる。補習では、Financial Times の最新記事を読み続けるとともに、インターネットを利用した情報の収集能力のさらなる向上を図ります。補習を含めた演習全体への参加が求められます。

成績評価の方法 成績は、通常の演習および補習への参加状況を基本としつつ、課題修得の到達度の判断を加え、評価をします。

教科書 多国籍企業にかんする課題図書とともに、エクセルの学習のために『超図解EXCEL2003(総合編)』(エクスメディア、1,480円)を使用します。また、3、4年次の学習用テキストとして、『NI KKEINET・景気ウォッチの活用法』と『決算分析の基礎』を配布し、使用します。

履修コード	147201
科目名	演習II
担当者名	<small>あべ かずひと</small> 阿部 一人

講義のねらい 演習IIに引きつづきテキストにそって財務会計の基礎を体系的に学習する。後期は、企業会計の領域の中から各自がテーマを選び、それにもとづいて研究発表を行う。また、卒業論文としてまとめたテーマを選定し、研究計画書（テーマ、理由、枚数など）を提出してもらう。

成績評価の方法 成績評価は、出席状況、報告発表、レポート等により総合的に判定する。

教科書 開講後指示する。

参考書等 授業中において適宜指示する。

履修コード	148901
科目名	演習II
担当者名	<small>いいた てつお</small> 飯田 哲夫

講義のねらい この演習では、企業経営上の問題解決のための定量的な情報分析の理論と方法について学びます。近年の情報技術の発展により、大量のデータや情報を活用した定量的な分析の多くが、比較的容易に行うことができる状況になってきており、それらを利用して定量的に問題を分析することは、データに裏づけられた合理的な意思決定へと通じていきます。そして、分析の際には、より有効にデータや情報を活用するために、また、問題の本質を理解するために、しばしば問題状況を数理的にモデル化します。問題に応じて、様々なモデルがありますが、この演習では、演習Iでの学習を進展させ、いくつかのモデルについてより発展的・応用的な知識の習得を目指します。また、コンピュータの利用技術についても同様です。

講義の内容・授業スケジュール モデルによる意思決定・分析の習得のために、関連文献の輪読を行います。また、コンピュータの利用に関する応用的知識も習得します。

履修上の留意点 このゼミでは、学生の主体的・積極的な参加を前提としています。「経営数学」を受講した程度の数学的知識を持っていることが望ましい。その数学的知識を応用してみたいと思っている意欲のある学生の参加を希望します。

成績評価の方法 平常点（出席とゼミへの積極性）、課題のレポートと発表により総合的に評価します。

教科書 最初の授業のときに紹介します。

履修コード	147901
科目名	演習II
担当者名	<small>いしなざか くにあき</small> 石名坂 邦昭

講義のねらい 企業の安定経営をはかる上でリスク・マネジメントは欠かすことのできない理論となっている。今日の複雑多岐にわたるビジネス・リスクにどのように対処すべきかは企業経営者の一番の関心事と言える。本演習においては、ビジネス・リスクへの対処を理論的・技術的に考察していきたい。

講義の内容・授業スケジュール リスク・マネジメントを学ぶ上で、必要不可欠となる保険について、各課題ごとに毎週レポートを提出してもらい、数名の受講生に報告してもらい、そのことにつき討論を行う。また、リスク・マネジメントの基本的なことにつき講義も行う。

履修上の留意点 毎週、定められたテーマについて全員が参加してディスカッションを行うため無断欠席はしないでもらいたい。

成績評価の方法 出席およびレポートによる総合評価を行う。

教科書 講義に必要な資料等はコピーして配布する。

参考書等 授業中に適宜紹介する。

履修コード	147301
科目名	演習II
担当者名	小沢 利久 <small>おざわ としひさ</small>

講義のねらい	マネジメント・サイエンスとは、経営活動の様々な場面における意思決定を支援するための分析方法を考える学問であり、対象をモデルで表現し、コンピューターを使って定量的に分析する点に特徴があります。また、マネジメント・サイエンスの応用範囲は、伝統的な生産・流通の分野から近年はマーケティングやファイナンスの分野へと広がりがつあります。この演習ではそのようなマネジメント・サイエンスの各種手法とコンピューターリテラシについて学ぶとともに、資料作成とプレゼンテーションを通じてコミュニケーション能力の育成を図ります。
講義の内容・授業スケジュール	マネジメント・サイエンスの応用として、マーケティング・サイエンスまたは数理ファイナンスで用いられている様々な分析手法について学んでいきます（どちらにするかはゼミ生との相談で決める予定です）。また、コミュニケーション能力を高めるための訓練として、商品企画書の作成とPowerPoint を用いた発表練習を行います。
履修上の留意点	演習IIIについては、演習III（4年生）を継続して受講することを前提としています。
成績評価の方法	課題提出物、発表内容、出席状況により評価します。
教科書	必要に応じて指定します。
参考書等	必要に応じて示します。

履修コード	147401
科目名	演習II
担当者名	鹿嶋 秀晃 <small>かしま ひであき</small>

講義のねらい	研究テーマは現代日本企業の人事労務管理。大学生活の中で、ゼミは最も勉強に打ち込み、一番思い出になるところだと考えます。よって、積極的に勉強し、行事を企画し、みんなで楽しくゼミを過ごしたいという学生を採用します。
講義の内容・授業スケジュール	現代の日本企業とそこに働くサラリーマンが抱える問題に関して、入門書と専門書を読んでいきます。企業と労働、社会について幅広い関心を持ち、科学的に考える力を養います。サブテーマは「終身雇用」「年功賃金と能力主義」「日本的経営」「女性労働」「日本の労使関係」「会社人間」「過労死」ほか。2カ月に1冊のペースで本を読みます。受講者全員はあらかじめテキストを熟読し、中から報告者（レジュメを作成）、コメントータを決め、その2人を中心に議論をしていきます。報告者とコメントータは順番。また、毎回の「新聞発表」では担当者が最近の新聞から企業経営や労務に関するものを切り抜き、自分のコメントを加えてプレゼンテーション。4年次は卒論作成中心。
履修上の留意点	出席重視。無断欠席は単位認定なし。ただし、特別に事情がある場合には個別に対応します。レジュメはワープロで作成のこと。工場見学、合宿等の時間割以外の行事もゼミの一環なので必ず出席するように。
成績評価の方法	出席点、講義中の発表・発言、レポートを総合して判定。
教科書	適宜指示。過去のテキスト例。熊沢誠『格差社会ニッポンで働くということ』、朝日新聞特別報道チーム『偽装請負』、中野麻美『労働ダンピング』、風早正宏『ここがおかしい日本の人事制度』など。
参考書等	演習時に適宜紹介。
その他	履修希望者は、経営労務論を履修のこと。他のゼミ活動に、卒業論文集の発行、ゼミ書評、全国コンテスト参加などがあります。WEBページ参照。http://www.komazawa-u.ac.jp/~kashima/index.html

履修コード	148601
科目名	演習II
担当者名	<small>みなざり</small> 片桐 <small>ひざし</small> 伸夫

講義のねらい	このゼミは3・4年次（演習II・III）で「就職希望会社の経営分析」を行うことを目的とします。経営分析とは、文字通り「企業の経営を分析すること」であり、きわめて範囲の広いものです。具体的には、皆さんが将来を託そうとする会社は、 1 財政的に安定しているだろうか（安定性分析）、 2 「儲け」はどうだろうか（収益性分析）、 3 経営活動の成果はきちんと配分されているだろうか（生産性分析）、 4 長期的な会社の「伸び」はどうだろうか（成長性分析）、 といった内容です。
講義の内容・授業スケジュール	（1）経営分析について、（2-6）経営分析の資料、貸借対照表・損益計算書の読み方、（7-12）収益性・安定性分析、製造業-製造原価報告書、（13-15）貸借対照表・損益計算書問題、安定性・収益性比率の計算問題、（16-20）生産性分析、標準原価、損益分岐点分析、（21-26）キャッシュフロー計算書、連結財務諸表、（27-30）税効果会計、正味現在価値法と設備投資
履修上の留意点	このゼミでは、経営分析の中でも、とくに財務諸表（貸借対照表や損益計算書など）の分析を中心とします。したがって、1年次の簿記学に興味を感じた人向きのゼミです。
成績評価の方法	3年次（演習II）では、各自が決めたテーマに取り組み、4年次のゼミ論作成に向け少しずつ仕上げていきます。各自、月に1回程度のレポートであり、確実に提出すること、成績評価の方法は、毎月のレポート提出による平常点100%です。
教科書 参考書 その他	開講時、指示します。 随時、紹介します。 ゼミ入室の決定方法は面接〔志望理由書（500字程度）事前提出〕とテスト（演習Iは1年次学習中の簿記、演習IIは日商簿記検定2級程度）によります。 なお、いうまでもなく無断欠勤と遅刻は厳禁です。以上の方針に見合う、学習意欲十分な学生諸君の参加を希望します。

履修コード	149901
科目名	演習II
担当者名	かねむら 兼村 栄哲

講義のねらい

社会的な分業体制が成立している今日の経済においては、生産と消費の間に、主体的懸隔、量と組み合わせに関する懸隔、情報の懸隔、空間的懸隔、時間的懸隔といったさまざまな経済的懸隔が発生している。マーケティングとは、こうした経済的懸隔を架橋することによって、円滑な交換（の連鎖）を実現し、ひいては、消費者が、生産者が生産する商品消費することを可能にする活動をいい、社会経済的な観点に立ったマクロ・マーケティング（「流通」とほぼ同義）と、個別企業のマネジメントの観点に立ったミクロ・マーケティング（いわゆる「マーケティング」）に大別される。マーケティング論は、以上の2つのマーケティングのメカニズムを研究する学問である。

本演習のねらいは、履修者の一人ひとりが、こうしたマーケティングにかかわる諸現象を体感し、当該現象について自分なりに論理的に説明できるようになることにある。

講義の内容・授業スケジュール

演習は、講義科目とはまったくその性格が異なっている。最低限、予・復習することももちろんのこと、授業時間内においても積極的に参加することが要求される。このことは、「たんに出席し、ノートをとる」ことを意味するのではない。以下の5つが、私が皆さんに最低限要求する内容である。

- (1) マーケティング論に関する専門的な概念や理論を学ぶ。
- (2) 年に2回、各自で業界研究をし、それぞれについてA4版で100枚以上のレポートにまとめる。また、その概略を冬合宿（2泊3日ないし3泊4日の予定）で発表する。
- (3) 夏休みの工場見学（2泊3日の予定）に参加する。その前提として、各工場について、各自が30以上の質問を考える。
- (4) 東京都が主催する「学生起業家選手権」、日刊工業新聞主催の「キャンパスベンチャーグランプリ」の双方、あるいはいずれか一方に個人として応募する。
- (5) 電通主催の学生懸賞論文に応募する。

履修上の留意点

以下の3点を強く要望する。

- (1) 積極的に参加すること。（通常の演習のみならず、合宿、OBOG会、コンパその他の課外活動にも積極的に参加すること。また、たんに出席するのではなく、自発的に自分なりの疑問や意見を示すこと。）
- (2) お互いの親睦を図ること。（これは、私との間の親睦はいうまでもなく、同期・先輩・後輩との間における親睦を指している。）
- (3) 授業開始後、諸般の事情で履修を取りやめる場合にも、必ずその旨を事前に申し出ること。

成績評価の方法
教科書
参考書等

授業態度、発表内容、レポート内容等による総合的な評価
なし
グローバルタスクフォース株式会社（著）『コトラー教授『マーケティング・マネジメント』入門I』（総合法令）2005年、1,680円、ISBN：4-89346-882-0。
グローバルタスクフォース株式会社（著）『コトラー教授『マーケティング・マネジメント』入門II』（総合法令）2005年、1,680円、ISBN：4-89346-883-9。
その他については、適宜紹介する。

履修コード	149931
科目名	演習II
担当者名	菅野 佐織 <small>かんの さおり</small>

講義のねらい 演習IIの目的は、マーケティングに関連する研究を通じて「論理的思考力」を養うことです。このゼミでは、グループ毎にテーマ課題を設定し、問題の発見から仮説の導出、データ分析による仮説の検証といった一連のプロセスを通して、論理的思考を養います。研究IIでは、グループ研究を主に行い、その結果は、10ゼミ討論会及びスチューデント・カレッジといった他大学との討論会で発表することを目標にします。最終的な研究成果は、論文にまとめていきます。このような一連の作業は、他大学の学生との勉強会、討論会を進めながら行っていく予定です。

**講義の内容・
授業スケジュール
履修上の留意点**

- ・グループ毎でのテーマ研究
 - ・研究発表会への参加（11月Sカレ、12月10ゼミ討論会）
- このゼミは、次のような人に向いています。
- ・マーケティング、消費者心理の問題や、消費者調査などのマーケティング・リサーチに興味がある。
 - ・責任感があり、協調性がある。
 - ・他大学の学生と勉強したい。（3年生のゼミでは、他大学との討論会を予定しているため、積極的にゼミの活動に時間をかけられる人が向いています。詳しくはネットで「関東10ゼミ討論会」「Sカレ」を検索してみてください）

**成績評価の方法
教科書
参考書等
その他**

出席の状況と毎回の課題への取り組み度合い、授業への貢献を総合的に判断して評価します。
授業で適宜お知らせします。
授業で適宜お知らせします。
継続力と強い精神力、礼儀を持つ人を歓迎します。また、何かを楽しむためには、ある一定以上の知識が必要となります。そのため、ゼミ以外の時間にも進んで勉強してほしいと思います。ゼミの勉強で苦楽を共にしながら、且つ勉強以外にも楽しい思い出を作り、卒業後も付き合えるいい仲間を作って欲しいと思います。

履修コード	150011
科目名	演習II
担当者名	岸田 隆行 <small>きしだ たかゆき</small>

講義のねらい 原価を知ることはマネジメント・コントロールの基礎であり、原価を知ることなくして、経営を理解することは困難である。近年は経営環境の変化が著しく、原価計算・管理会計も経営環境の変化に対応すべく、様々な技法が編み出されている。しかし、それらの新技法が実際に有効であるのか、またあらゆる企業に適合するのかが明らかではない。本演習では原価計算が現代的な経営環境の中で、マネジメント・コントロールにおいてどのような役割を果たすかについて理解を深めていく。

**講義の内容・
授業スケジュール
履修上の留意点**

それぞれのテーマについて担当者を割り当て、担当箇所についてレジュメを作成し、報告してもらい、報告内容について受講者全員でディベートを行う。
積極的にゼミ活動に参加してもらいたい。
担当箇所の報告では、指定されたテキストだけでなく、様々な文献を読んだ上で報告を行ってもらいたい。また、報告者以外の受講生も事前にテキストを熟読した上で、議論に参加することが望ましい。

**成績評価の方法
教科書
参考書等**

報告の内容、ゼミへの参加程度により総合的に評価する。
開講時に指示する。
適宜紹介する。

履修コード	149601
科目名	演習II
担当者名	さるやま よしひろ 猿山 義広

講義のねらい

この講義では、管理会計の基礎となる諸概念について財務会計分野の知識も含めて学ぶことを目的としている。会計計算はたんなる四則演算ではなく、目的に適った政策的計算であること、また会計計算の裏側には明瞭な意図をもつ会計制度と会計理論が存在していることをつねに念頭に置いて勉強を進めていってもらいたい。

講義の内容・授業スケジュール

第1回 管理会計の基礎(1)―管理会計とは何か、第2回 管理会計の基礎(2)―会計情報システム、第3回 管理会計の基礎(3)―財務諸表、第4回 管理会計の基礎(4)―株式会社社会計、第5回 管理会計の諸概念(1)―原価概念、第6回 管理会計の諸概念(2)―利益概念、第7回 管理会計の諸概念(3)―キャッシュフロー、第8回 管理会計の諸概念(4)―資本コスト、第9回 管理会計と原価計算(1)―原価計算の基礎、第10回 管理会計と原価計算(2)―間接費管理、第11回 管理会計と原価計算(3)―標準原価計算、第12回 管理会計と原価計算(4)―直接原価計算、第13回 第1回から第12回のまとめ、第14回 利益計画(1)―CVP分析、第15回 利益計画(2)―価格を考慮した利益計画、第16回 利益計画(3)―プロモーションを考慮した利益計画、第17回 利益計画(4)―セールスマックス、第18回 原価管理(1)―ABC、第19回 原価管理(2)―原価企画、第20回 原価管理(3)―営業費管理、第21回 原価管理(4)―研究開発費管理、第22回 意思決定会計の基礎(1)―差額原価収益分析、第23回 意思決定会計の基礎(2)―期待値による意思決定、第24回 意思決定会計の基礎(3)―割引価値による意思決定、第25回 意思決定会計の基礎(4)―最適値による意思決定、第26回 第14回から第25回のまとめ、第27回 管理会計の文献研究(1)、第28回 管理会計の文献研究(2)、第29回 管理会計の文献研究(3)、第30回 現代管理会計の特質

履修上の留意点

演習では学生による発言が中心となる。発言にあたっては、他の参加者がより深く理解できるように資料を作成してもらった場合もあるが、その際は、文章だけでなく図表を盛り込んだ資料をつくること。

成績評価の方法

授業中の発言および課題の出来、出席状況、年2回課すレポートの内容に基づいて総合的に評価する。

**教科書
参考書等
その他**

参考資料を授業中に配布する。
櫻井通晴『管理会計〔第三版〕』同文館出版。
1回の授業につきかならず、何か1つは新しい知識や疑問点を見つけられるよう集中して授業に臨んでもらいたい。

履修コード	149921
科目名	演習II
担当者名	たかい てつお 高井 徹雄

講義のねらい

ブロードバンドで繋がったインターネットを基盤とするIT（情報技術）は、今日の企業経営また社会・経済システムを捉えるうえでも最も重要なキーワードとなっています。皆さんは、真の意味で、情報が価値を持ち、情報が価値を生み出す時代に生きています。このような時代、企業や官庁のスタッフとして、また将来はエグゼクティブとして、「情報エリート」を目指すならば、少なくとも以下の能力が要求されると考えます。

- (1) 発見力：与えられるのを待つのではなく、自分で問題を見つける能力。
- (2) 洞察力：問題に関係する必要な情報を選別する能力。情報を分析し問題の本質を洞察する能力。
- (3) 表現力：分析結果を集約し、解り易くプレゼンテーションする能力。
- (4) 解決力：他者と協力しあって、具体的な問題解決を図る能力。

皆さんに、こうした素地を養って頂くことを狙いとして、各週の演習、および年2回の合宿（1回は勉強、もう1回は親睦を主目的とする）における題材と環境を用意します。主体的にゼミに参加されることを願っています。おおよそのスケジュールは以下のとおり。受講生とコミュニケーションをとりながら、理解度や興味の方角を見極めながら進めて行きます。

講義の内容・授業スケジュール

4-10月：輪読・・・ゼミメンバーの希望に沿って適切な文献を決め、全員参加の輪読会を実施
6月：ソフトシステム方法論・・・演習Iと合同ゼミ合宿、SSMで社会的問題を扱う
11-12月：ゼミ論テーマの作成

履修上の留意点

毎回、コンピュータールームにおいて実習形式で授業を行います。実習形式の授業は、全体が同じペースで学習を進めていく必要がありますので、極力欠席しないようお願いいたします。

成績評価の方法

毎回出席をとります。また、前期・後期各1件程度、学習内容に応じてHTML作成やプログラミングなどの課題を出します。これら平常点により評価を行いますので、筆記試験は行いません。

履修コード	148801
科目名	演習II
担当者名	高木 克己

講義のねらい 3年次では、前期において卒業論文作成に向けてのテーマ決定するために、法人税関連のテキストを読みます。なお、「税務会計論」も必ず並行して、受講してください。
3年次後期から4年次終了時までの予定としては、各自選定したテーマを数回に分けて報告することになります。例えば、制度の意義、概要、沿革、ケース・スタディ、問題点の整理、その解決策あるいは方向性、などです。
3年次終了時には、各自選択したテーマで進級論文（10枚以上、400字）の作成を行います。特に3年次では、各自のテーマの沿革、制度導入の背景等、現行の制度の内容、諸外国の制度との比較等に重点を置いて、作成することになります。
なお、合宿等の行事は、2年次と同じく例年通りです。

講義の内容・授業スケジュール 前期は、卒業論文のテーマを決めるために、法人税法に関する文献を1冊採り上げ、報告してもらいます。
後期は、各自選択したテーマにそって、沿革、現行制度の内容等を検討していきます。

成績評価の方法 出席及び報告により評価します。

参考書等 最初の授業で紹介します。

履修コード	148301
科目名	演習II
担当者名	高田 光明

講義のねらい この演習は、企業が行う財務活動に関して、資本調達面から重点的に研究する。今日、企業の財務という場合、企業による資本の調達と運用を指す。企業は、その活動を営むに際し、原材料、機械といった財貨を取得しなければならないし、労働力も確保しなければならない。そのために元手となる資本を企業は必要とする。資本の調達とは、この元手としての資本を集めることをいう。そして調達した資本で、企業は、上で述べた原材料などの生産要素を取得して、製品を生産し販売するという営業活動を遂行する。これが資本の運用である。

企業が必要とする資本を調達するには、株式や社債の発行とか、銀行からの借入など様々な方法がある。これらの資本調達方法は、特徴がそれぞれ異なる。したがってこうした資本調達方法を使い分けて、生産要素の取得を賄うための資本をどのように調達するかは、企業が営業活動を実施して、調達資本をいかに効率的に運用できるかに大きな影響を与える。当演習では、資本の運用面に配慮しつつ、企業は、資本の調達活動をどのように行うべきかについて考察する。

講義の内容・授業スケジュール 基礎的知識の体系的理論を図ることをまず目的として授業を進める。
(1) 演習という形式の授業のオリエンテーション
(2～15) 高田光明稿、「経営財務論序説」(駒大経営研究26巻3号, 1995年2月)を中心に研究
(16～30) ウェストン・ブリッグム共著, 諸井勝之助訳, 経営財務I(東京大学出版会, 1968年)を中心に研究

履修上の留意点 企業が実施する財務活動に伴う資本の増減・変化は、企業の会計システムによって記録・測定される。したがって企業の財務活動に関する情報を理解し、企業の財務を研究するために、企業会計に関する初歩的知識は必要である。

成績評価の方法 適宜提出を求める課題レポートにより評価する。

履修コード	148501
科目名	演習II
担当者名	滝田 <small>こういち</small> 公一

講義のねらい 本年度は、文献〔1〕のほか、代表的なデータ処理ソフトであるSPSS (the Statistical Package for the Social Sciences) を利用して演習を行う予定です。もう一つの代表的な処理ソフトであるSA Sがどちらかと言えば、理科系のためのデータ処理ソフトであるのに対して、SPSSは、文字通り社会科学のために開発されたデータ処理ソフトであります。この演習では、米国の National Opinion Research Center によってなされた、アメリカの成人2090人を対象とした世論調査 General Social Surver を分析することによって、アメリカ人の宗教観、政治に対する姿勢、墮胎に対する考え方、などを調べます。

また、RATS、TSPといった計量経済学用のソフトを用いて、capital asset pricing model や、生産費用の測定、製品の品質の変化の測定、賃金差別の問題などについても学習する予定です。

講義の内容・授業スケジュール 回帰分析のより進んだ分析を学ぶ予定です。それらは、ダミー変数を伴う回帰分析や、非線形モデルの回帰分析、不均一分散の問題、自己相関、連立方程式体系の推計、分布ラグのモデル、時系列分析、パネルデータの分析、などです。また、3週に1度程度、学生諸君に企業のケーススタディに基づく課題の報告をしてもらいます。

成績評価の方法 成績評価は、課題報告(30%)と学年末のレポート(通常、computer assignment、70%)によって行います。

専門教育

履修コード	149941
科目名	演習II
担当者名	中川 <small>こういち</small> 功一

講義のねらい 経営戦略論を使いこなせるようになるよう、更なる訓練を積んでいく。同時に、その訓練の中で、問題解決のための思考能力を養っていく。

講義の内容・授業スケジュール 文献購読(ポーター著『経営戦略論』)、ケーススタディ、フィールドワークの3本柱による。

履修上の留意点 原則として毎回出席、毎回発言を求める。なお、教科書はゼミとして購入するので個別に購入する必要はない。

成績評価の方法 出席と報告による。

教科書 M. E. ポーター『競争の戦略』

履修コード	149401
科目名	演習II
担当者名	長 <small>こさきょう</small> 国強

講義のねらい 現代は情報化社会といわれ、新聞・雑誌・インターネットを開いてもそこに大量の経済・経営データが見られる。ところで、経済・経営などのデータをそのまま見れば、単なる数字の山にすぎず、大切なことはそこから正しい見通しを得ることであろう。実際のデータから経済・経営など社会的な動きをどのように読みとるのかといった能力を養成できるようにすることを目的として、本演習はコンピュータを使っのデータ解析の基本技術を学習する。

講義の内容・授業スケジュール 演習II(3年生): EXCELと情報収集…コンピュータ上の情報収集とデータ解析

EXCELなどの入門が既に果たされ、これからコンピュータのことを、情報収集やデータ解析などの実践を通じてもっと知りたいという学生のための演習です。近い将来学生諸君に直面されるだろう市場調査・予測、品質・生産管理、国際経済・株式投資などの課題をコンピュータ上、データ解析手法を使い、企業現場の具体例を交えて細かく実習していく。

成績評価の方法 平常点: 出席・レポートの成績などで総合的に評価する。

その他 演習IIは毎回の実習アイテンに連続性があり、1回欠席すると、次回の実習についていけなくなることも考えられる。したがって、理由なく年間5回以上欠席した場合、自動的に除名されることにする。

履修コード	148001
科目名	演習II
担当者名	ながた ともり 永田 智則

講義のねらい 当ゼミナールは国際経済学にかかわる事象を研究対象としている。
近年の国際的相互依存関係の緊密化は、どの国の経済にとっても、国際経済とのかかわりがいかに重要であるかを認識させてきた。ある国で生じた経済問題は、その影響が全世界に波及し、世界経済の流れを変え、各国経済に変革を迫る。この流れに対応できない経済は取り残され、困難に直面する。
当ゼミナールでは、世界の各地で生じている諸現象の中から、経済発展と貿易の關係に焦点を絞り、この問題の研究を通して、国際経済の仕組みやメカニズムについて理解を深めることを目標としている。

講義の内容・授業スケジュール 「演習II」では視野を広げ、貿易が経済発展に果たしている役割を検討し、東アジア地域の経済発展と日本経済との關係を中心に研究する。

履修上の留意点 無断欠席、遅刻は厳禁。授業中は積極的に発言をすること。

成績評価の方法 授業中の発言や提出レポート等を含め、ゼミ活動にどの程度積極的に参加したかを最大の評価ポイントにする。

教科書 教科書及び参考文献等については必要に応じて紹介する。

履修コード	149951
科目名	演習II
担当者名	なみの かほり 中野 香織

講義のねらい 本演習では、マーケティング・コミュニケーションおよび広告について、実務と理論の両方の面から考察することを目的とする。理論を学ぶことに加え、それを実際の戦略に応用できるような思考も身につけることが必要である。また、さまざまな課題に取り組むことを通じて、テーマに関連した資料収集の方法、問題を発見する視点、それを解決するための方法、考えたことを人に伝えるためのプレゼンテーション方法などを学んでほしい。

講義の内容・授業スケジュール 前半はマーケティング・コミュニケーションおよび広告に関する基礎的な知識をメンバー全員で共有するため、教科書を輪読し、内容について議論する。
後半はグループ研究を基本とし、以下の課題等に取り組む。
・グループでの論文執筆（学生広告論文電通賞への応募）
・ある商品についてのマーケティング・コミュニケーション戦略を企画し、実務家へプレゼンテーションするケース研究
・4大学で内容を競い合う研究発表大会への参加

履修上の留意点 ゼミの時間には積極的な発言が、ゼミの時間外には自主的な課題への取り組みが求められる。特にグループ研究ではメンバーと共同で多くの課題をこなし、活発な議論を行う。そのため、マーケティング・コミュニケーションに関心が高く、ゼミ中心の学生生活を過ごしたいと思うような意欲的かつ協調性のある人に参加してほしい。

成績評価の方法 授業態度（出席状況、積極的な参加）、発表内容、レポートなどにより総合的に評価する。

教科書 参考書のなかから、数冊を教科書として利用する。詳しくは開講時に指示する。

参考書 亀井昭宏・正田聡編『新広告論』2005年刊（日本経済新聞社）1,800円、嶋村和恵監修『新しい広告』2006年刊（電通）2,000円、岸志津江・田中洋・嶋村和恵『現代広告論』2000年刊（有斐閣）2,000円、上条典夫監修・内藤敏夫責任編集『実践マーケティング・コミュニケーションズ』2005年刊（電通）2,200円

履修コード	150001
科目名	演習II
担当者名	なかむら こういち 中村 公一

講義のねらい 本ゼミでは現代企業の置かれている環境とそれに対する経営戦略を紐解いていき、実践的な場面でも応用できる知識と考え方を身に付けるために、文献購読・資料調査・ケーススタディ・ビジネスプランニングなど多彩な課題に取り組みます。

ゼミは、単位を採るだけのものではなく、個人の「知的トレーニングの場」であり、他のゼミ生達と切磋琢磨する場であると考えて下さい。私の役割は、ゼミ生がゼミでの勉強をきっかけにして豊かな学生時代を築こうとする時のお手伝いをするだけに過ぎません。運営の主体は君達にあります。

(1) 文献購読やケーススタディなどを通して、企業の置かれている環境とそれに対する戦略を的確に理解する専門知識の習得、分析力、洞察力の強化を図ります。

(2) レポート作成を通してのアウトプット能力、論述能力、論理構成力の強化を図ります。

(3) 毎週の報告や議論などを通じてプレゼンテーション能力やディスカッション能力の強化を図ります。

(4) 実際にビジネスプランの策定を通して、事業戦略を構築する企画力と構想力の強化を図ります。

講義の内容・授業スケジュール

演習II(3年生)

前期：経営戦略論に関するテキスト購読(事例調査)

後期：ケーススタディの学習(ケース分析レポート)

履修上の留意点

ゼミの理念は「知的トレーニング」にあるので、毎週レポートを宿題として課し、相当の勉強時間の確保が必要になります。また、ゼミでは議論が中心になるために、事前の準備も必要となります。

成績評価の方法

遅刻の常連、無断欠席、各種課題や提出物の期限の遅れ、不十分な内容のレポートを提出した場合は、厳しくチェックします。成績は、出席数、提出課題の内容、議論への貢献度などの平常点によって判断します。なお、4年次にはゼミ論文があります。

教科書

授業時に発表する。

履修コード	149501
科目名	演習II
担当者名	なかがわ じゅんぺい 中川 淳平

講義のねらい この演習では、経営学説について考察する(したがって、演習での研究テーマとしては、経営学説のなかから1つないし複数の学説から選択することとなる)。併せて、文献・資料の調査の仕方、報告のあり方、文章のまとめ方について習得する。

講義の内容・授業スケジュール

経営学説の基本文献についての輪読。応用的な文献についての報告と討論。毎回担当を決め、報告をする。報告後、参加者で討論を行なう。そして、一年間の学習の成果として、論文を提出してもらう。

履修上の留意点

予習・復習、あるいは論文作成のために多くの時間を割く必要があるため、積極的に勉学する、意欲ある学生の参加を望みます。

成績評価の方法

平常点100%(発表や討論の内容、論文、学習態度など)

教科書

開講時に指示する。

参考書等

参加者が選択したテーマに応じ、適宜指示する。

履修コード	149101
科目名	演習II
担当者名	にしむら かずお 西村 和夫

講義のねらい	【テーマ：情報セキュリティ】 文書（英論文など）の読みかた、書きかた、発表のしかた、コンピュータの利用のしかたを体得し、論理的な思考力を養う。
講義の内容・授業スケジュール	入ゼミ手続き（2年次）：面接と文章完成法テストによって選考する。説明会に出席しないと、面接が受けられない。“情報処理基礎”をすでに履修していること。 演習II ・論文の読み方と発表のしかた（2） スタンフォード大学でも使っている“Concrete Mathematics” [1] の第1章を輪講する（レジュメと書画カメラを使う）。“再帰的な考え方”を理解する。 ・“再帰的なプログラム”の作成。ゼミ論文のテーマの決定。 ・仕様書の書きかた ・ゼミ論文中間報告書の提出。 その他 ◆就職活動についてのアドバイス。面接の実習。ビジネス文書の書きかた [2]。 ◆情報処理技術者試験の受験のための学習。 ◆ゼミ論文テーマの発表。（年1度）・イベント（年1～2度）。
履修上の留意点	テーマは“情報セキュリティ”であって、コンピュータの操作方法ではない。コンピュータの知識がある人ではなく、やる気と実行力のある人を求む。入ゼミ者は、2年次までに“情報処理基礎”を必ず履修すること。
成績評価の方法 参 考 書 等	出席のほかに、輪講のレジュメと発表、小テスト、ゼミ論文中間報告書 [1] R.Graham, D.Knuth and O.Patashnik, Concrete Mathematics, Addison-Wesley, 1989. [2] 吉田幸生『仕事の文章が面白いほど書ける本』（中経出版）1992年
そ の 他	西村ゼミのページ： http://www.komazawa-u.ac.jp/kazov/

履修コード	148701
科目名	演習II
担当者名	はとり しげる 羽鳥 茂

講義のねらい	演習IIでは、日本企業のコーポレート・ガバナンス、情報効率性、システム特性などのより進んだ研究を目指して、上級レベルのテキストと専門的な基本文献を理解し、知識の拡充とゼミ生各自のレベル・アップを目標にします。
講義の内容・授業スケジュール	前期では、下記の参考書、教科書を中心に学習し、研究テーマの方向が決まるようにゼミを進めていきます。後期では、ゼミ生の研究テーマを報告してもらい、ディスカッションとプレゼンテーションを繰り返すことによって研究を確かなものにしていきたいと考えています。なお、研究の中間報告を年末に提出してください。
成績評価の方法 教 科 書	ゼミでの報告とその内容によって評価します。 青木昌彦『比較制度分析に向けて』NTT出版、滝澤弘和・谷口和弘訳3900円（新装版） 岡田章『ゲーム理論』有斐閣、4600円
参 考 書 等	青木昌彦・奥野正寛・岡崎哲二編著『市場の役割・国家の役割』東洋経済新報社、2500円

履修コード	149301
科目名	演習II
担当者名	はねだ しやうこ 羽田 尚子

講義のねらい	自分の興味あるテーマを、データを使って分析し、得られた結果から新たな発見を得ることが目的です。パソコンを使った実習が中心になります。
講義の内容・授業スケジュール	前期はソフトウェアを使った実習が中心。使い方を講義するので、配布したサンプルデータと自分で探したデータを使って各自実習してもらいます。結果と考察は、定期的に報告およびレポート提出してもらいます。後期は各自興味ある分析テーマを見つけ、そのテーマを分析するためにはどのようなデータを選ばよいか検討し、報告してもらいます。
履修上の留意点	分析テーマは、産業や企業に関するものとします（企業の研究開発活動や技術マネジメント、技術政策やベンチャーキャピタルなどイノベーションに関するものなら尚望ましい）。
成績評価の方法 教 科 書	出席状況、課題の提出、発表態度、理解度により総合的に評価します。無断欠席は厳禁です。 柏木吉基『Excel で学ぶ意思決定論』オーム社

履修コード	147701
科目名	演習II
担当者名	日野 健太

講義のねらい このゼミでは組織が直面するさまざまな問題を取り上げ、多角的に分析する。組織論の問題を中心に取り上げ、組織論のものの見方を身につけることを目的とするが、経営学全般についての理解が深まるように、配慮する。

演習IIでは、自分の関心のあるテーマを明確にし、組織論の見地から論じられるようになることを目的とする。文献の輪読によって、分析のための概念を得るとともに、関心の所在について報告してもらう。

演習Iに同じ。

講義の内容・授業スケジュール
履修上の留意点
成績評価の方法
教科書

演習Iに同じ。

演習Iに同じ。

開講時に指示する。参考までに、昨年度の演習IIで読破したのは、以下の3冊である。

W.キム&R.モボルニュ『ブルーオーシャン戦略』ランダムハウス講談社

藤井敏彦『ヨーロッパのCSRと日本のCSR』日科技連出版社

W.ベニス『リーダーになる』星と月社

参考書等

有斐閣の『経済辞典』は、何かと重宝する。田尾雅夫・若林直樹『組織調査ガイドブック』はゼミ論のテーマを明確にするのに役立つ。

その他

演習Iに同じ。中だるみしないでやろうと思う。

履修コード	149801
科目名	演習II
担当者名	藤原 篤志

講義のねらい 本演習ではテーマを「モノづくりの経営学」としており、主として製造企業の生産戦略、生産管理、技術管理、作業管理などを対象としている。またモノづくりには労働力が不可欠かつ重要な要素であるので、労働者による労働も考察の対象としている。ゼミ生各人がこのテーマ・領域に関連して自分の興味・関心のあるテーマを選び、それについて研究を行い、4年のゼミ終了の時点までにゼミ論文を作成・完成させることを最大の目的としている。また授業の中で、ゼミ生には自分の論文の経過・成果についてプレゼンテーション（発表・報告）をしてもらい、それに対する質疑応答や議論・討論を他のゼミ生と活発に行うことにしている。以上の論文作成、プレゼンテーション、質疑応答、議論・討論を通じて、知識を吸収することももちろん、ゼミ生各人が物事に対して疑問や意見を持ち、それらを論理的に思考し、自分の意見を的確に表現することを目指している。

講義の内容・授業スケジュール

3年次・4年次では、先述のように各人がゼミ論文のテーマを設定し、論文作成のための研究を進めていく。また授業自体は、ゼミ生各人による自分の論文についてのプレゼンテーション（発表・報告）、質疑応答、議論・討論を中心に行われる。その中で、報告・発表、思考、発言・表現等の能力を養っていく。このような研究報告や議論・討論を活発に効果的に進めるために、ゼミ内に全員が積極的に発言できるような雰囲気を作りたい。それゆえ授業以外のイベント（工場見学、合宿、コンパなど）には全員が参加することが原則である。

履修上の留意点

以上のような内容なので、中途半端な気持ちで志願する学生には遠慮してもらいたい。2年という時間の中で、一定水準以上の論文を完成させるのは、継続的な努力と意欲が必要になるからである。勉強にしろその他のイベントにしろ、自分から常に積極的に参加・参画する姿勢が求められる。

成績評価の方法

特に出席を重視。規定の欠席回数に達したものは即除籍にする。その他、ゼミでの報告内容や参加態度も成績評価に入る。

履修コード	148101
科目名	演習II
担当者名	前田 和利

講義のねらい 日本における企業経営の発展を進化論的アプローチによって検討し、進化のプロセスにおける特質を理解する。

講義の内容・授業スケジュール

日本の企業経営の歩みを知ったうえで、進化の担い手となった企業経営者を中心として歴史的ケースを検討する。とりあげる企業経営者・企業（組織）は、安田善次郎、渋沢栄一、堤康次郎・清二、二代小芝丹治、関西電力業界の経営者、国分、花王、キャンノンなどである。

履修上の留意点

2年継続とし、演習を優先できる人の参加を希望する。

成績評価の方法

平常点（出席と授業態度）とレポート提出によって評価する（各50点）。

教科書

橘川武郎・島田昌和編『進化の経営史—人と組織のフレキシビリティ』有斐閣、3360円。

参考書等

適宜紹介する。

その他

担当者による要旨報告と問題提起、質疑応答という形式で進めるが、事前に要旨・資料の配布が求められる。

履修コード	148401
科目名	演習II
担当者名	宮城 徹

講義のねらい 演習II(3年)
 3年次ゼミ生は、英語圏とドイツ語圏(邦訳書)と日本の代表的な「新しい制度学派」の文献を素材として、企業について一層突っ込んだ研究を行う。

講義の内容・授業スケジュール こうして、ゼミ生は、「組織理論」(特に意思決定理論とコンティンジェンシー理論=状況的アプローチ)と「新しい制度学派」の双方の組織(=企業)についての理解の共通性や相違点などを少しでも見分けることができるようになれば、それに越したことはない。それはともあれ、3年次ゼミ生は各自、同ゼミの最後の段までに、「ゼミ論文」のテーマを設定し、私に提出しなければならない。

成績評価の方法 ※ ゼミは、毎回1人あるいは複数のリポーターが与えられた範囲をレジュメに基づいて報告し、その他のゼミ生はそれを中心にして活発にディベートするように進める。
 ※ ゼミの中心的素材はゼミの開始時に指示する。
 ※ 斉藤 孝著『学術論文の技法』(日本エディタースクール出版部)平成9年、を入手のこと。
 平常点評価。その際、(a)出席を重視する。(b)自分の思うところを述べ、他人の意見に注意深く耳を傾ける能力があるかどうかを重視する。

履修コード	147501
科目名	演習II
担当者名	山田 純平

講義のねらい 日本の会計基準は、国際的な調和化を理由に、ここ10年でかなりの変貌をとげてきたといわれます。しかし、国際的な調和化といっても、そもそも世界的に会計基準がどのような方向に向かいつつあるのか、その背景となる考え方はどのようなものか、といったことは十分に検討されているとはいえません。そこで、本演習では、企業会計に関する基礎的な知識を身につけるとともに、国際基準の動向とその基礎概念を考察します。

講義の内容・授業スケジュール また、会計基準は実際に運用されてこそ意味があるのだから、現実の財務諸表を分析することを通じて、会計基準の実態面についても合わせて検討します。

履修上の留意点 財務諸表の読み方に関するテキストを読むとともに、卒業論文に向けて中間報告をしてもらう予定です。

成績評価の方法 原則として毎回出席してください。また、ゼミの行事にはできるだけ参加するようにしてください。

教科書 議論への参加度、報告の出来、出席率で評価します。
 授業中に参加者と相談のうえ、決定します。

履修コード	148201
科目名	演習II
担当者名	山田 勝

講義のねらい ボードレス時代にビジネスパーソンとして活躍するためのセンスを磨くこと。

講義の内容・授業スケジュール 英文経営雑誌 Business Week の Cover Story を素材に(コピーを配布)、その内容についてディスカッションする。共通語は英語。英語を学ぶのではなく、英語が含まれている国際的経営センスを得ることが目的。

成績評価の方法 平常点評価。毎時間出席し、積極的にディスカッションに加わるのが評価の対象となる。

履修コード	149961
科目名	演習II
担当者名	<small>わかやま だいすけ</small> 若山 大樹

講義のねらい	演習Ⅱの目的は、市場（消費者行動）を理解するための理論や方法論、および統計処理ソフトウェアSPSSの使い方について学ぶことにある。
講義の内容・授業スケジュール	マーケティングデータの理解を深めるために消費者行動の観察法・調査法・実験法を学び、この分野で最も利用されている統計処理ソフトウェアSPSSの使い方を学び、マーケティングデータ解析の理解を深める。さらに市場理解に重要な社会心理学の諸理論について学ぶ。 (1)～(6)テキストの輪読、(7)～(14)論文の輪読、(15)前半まとめ、(16)～(22)統計処理ソフトウェアSPSSを用いた演習、(23)～(30)マーケティングデータ分析課題とプレゼンテーション
履修上の留意点	統計処理ソフトウェアを用いた演習では、統計学を学んだことがなくても基礎からわかりやすく解説する。休まずに出席すれば理解できるようになる。もしも欠席するときは事前に申し出るようにしてください。
成績評価の方法	成績は、出席状況と輪読・ディスカッションへの参加状況、データ解析課題と発表により総合的に判断する。
教科書	テキストや論文は必要に応じて配布する。

履修コード	148351
科目名	演習II
担当者名	<small>わたなべ いつこ</small> 渡辺 伊津子

講義のねらい	今日、多くの企業は、企業を取り巻く経営環境の変化に適応すると同時に、経営資源の転換効率を高めるといった「難しい課題」に取り組んでいます。本演習ではこうした認識のもと、経営管理に関する文献の輪読（レジュメを使った発表と討論）を通して、現代の経営管理を考察するためのさまざまな知識の習得を目指します。その後、これらの学習を通じて生じた新たな関心領域・分野について演習全体で1つの「テーマ」を設定し、この「テーマ」について全員で研究に取り組みます。
講義の内容・授業スケジュール	(1) オリエンテーション (2～15) 文献の輪読（レジュメを使った発表と討論） (16・17) 演習テーマの決定 (18～27) テーマに関する発表と討論 (28・29) 演習テーマに関する研究レポートの作成1・2 (30) 総括
履修上の留意点	問題意識を持ってゼミに参加してください。
成績評価の方法	出席（60%）、演習で行う課題（40%）で評価します。
教科書	開講時に指示します。
参考書等	適宜指示します。

履修コード	152411
科目名	演習Ⅲ
担当者名	青木 茂樹 <small>あおき しげき</small>

講義のねらい この演習の目的は、マーケティングや流通に関する知識を主体的に獲得していく姿勢や作法を身につけることである。今日、様々な情報が渦巻く社会では、本質的課題を発見し仮説を創造する力や、これを検証する様々な情報収集の仕方、これを論理的に説明していく力が必要である。こうした姿勢や作法を学生時代に体得しているか否かは、社会の舞台にたったときのスタート時から大きな差となるであろう。

こうしたゼミ活動を通じて、今日、社会人基礎力といわれる12の力、① Action（主体性、働きかけ力、実行力）、② Thinking（課題発見力、計画力、創造力）、③ Teamwork（発信力、傾聴力、柔軟性、状況把握力、規律性、ストレスコントロール力）を養う。事前・中間・事後で、個々人のこれらの到達度を測り、将来の職業適性などに応じた指導も合わせて行う。

講義の内容・授業スケジュール

1. 前期 マーケティング・流通に関する重要な論文を輪読しながら、それらのアイデアが生まれた背景や今後の発展的展開を考える。フィールドワークや企業訪問、ゲスト・スピーカーの招聘なども適宜行う。
2. 夏休み 夏合宿（9月）&OB・OG会 合宿では、グループ研究の中間発表を行う。そのために自主的な研究会を開く場合もある。
3. 後期 前期同様に論文の輪読と批判的検討を行う。これに加え、グループ発表へ向けて、グループ論文の作成に取り掛かってもらう。これは、外部機関の学生懸賞論文などとテーマを兼ねることも考えられる。基本は自分達が一番やりたい研究を行うことであろう。
4. 冬休み 完全休み
5. 春休み OB・OG会。

履修上の留意点

学生の主体的な研究意欲や向上心によってゼミは牽引されるものであり、教員はアドバイザーやサポーターに徹する。もちろん無断欠席はありえない。

成績評価の方法

ゼミ活動全般を通じて、総合的に評価する。すべてにパーフェクトな人間はいない。むしろ個々人の関心や持ち味を生かしてゼミ運営に参加・貢献していることを高く評価する。

教科書

皆さんの研究や将来の職種に興味を伺いながら、演習時にテキストを決めていく。

履修コード	150801
科目名	演習Ⅲ
担当者名	明石 博行 <small>あかし ひろゆき</small>

講義のねらい 本演習では、今年度の研究テーマである平成不況の研究を深めるとともに、卒業論文を執筆します。

講義の内容・授業スケジュール

演習は前期と後期にわけて行います。前期には、パワーポイントを使って、プレゼンテーションに関する学習に取り組み、企業分析と景気動向分析のプレゼンテーション用資料を作成します。また、卒業論文の執筆準備を進めます。後期には、パワーポイントを使って研究成果のプレゼンテーションを行うとともに、卒業論文についての報告と討論をしつつ、卒業論文を完成させます。こうした卒論への取り組みと関連させて、インターネットを通じた情報収集能力と情報の整理能力のさらなる向上を図り、秋にはパワーポイントを用いたプレゼンテーションと卒業論文の中間報告・検討のための合宿を行います。

履修上の留意点

4年次には、卒業論文のテーマに即して班を再編します。卒論の作成にさいしては、班ごとあるいは個人ごとに、演習時間外に補足的な相談会を行います。

成績評価の方法

成績は、通常の演習および相談会などへの参加状況を基本としつつ、卒業論文の取り組みにかんする判断を加えて評価をします。

教科書

卒業論文の作成に必要なすべての文献が、教科書・参考書となります。また、4年次の学習用テキストとして、『NIKKINET・景気ウォッチの活用法』と『決算分析の基礎』に加え、『卒論作成の手引き』を配布し、使用します。

履修コード	152501
科目名	演習Ⅲ
担当者名	阿部 一人 <small>あべ かずひと</small>

講義の内容・授業スケジュール

各自の選択したテーマにそって、卒業論文の作成とその検討を行う。

成績評価の方法

成績評価は、報告発表、レポート、出席状況により総合的に判定する。

教科書

授業中において適宜指示する。

履修コード	151201
科目名	演習Ⅲ
担当者名	飯田 哲夫

講義のねらい

この演習では、企業経営上の問題解決のための定量的な情報分析の理論と方法について学びます。近年の情報技術の発展により、大量のデータや情報を活用した定量的な分析の多くが、比較的容易に行うことができる状況になってきており、それらを利用して定量的に問題を分析することは、データに裏づけられた合理的な意思決定へと通じていきます。そして、分析の際には、より有効にデータや情報を活用するために、また、問題の本質を理解するために、しばしば問題状況を数理的にモデル化します。この演習では、ゼミ論文の作成を通して、問題を定量的に自ら分析できるようになることを目指します。

講義の内容・
授業スケジュール
履修上の留意点
成績評価の方法

各自が、モデルによる意思決定・分析に関するテーマを決め、そのテーマに沿ってゼミ論文を作成します。
自ら問題意識を持ち、積極的にテーマに沿った調査・研究を行うことが求められます。
ゼミ論文の内容とそのプレゼンテーション、および出席・受講態度を考慮して総合的に評価します。

履修コード	151801
科目名	演習Ⅲ
担当者名	石名坂 邦昭

講義の内容・
授業スケジュール
成績評価の方法
参考書等

各自のテーマについて論文を作成し、全体の論文集を作成する。
論文をもって評価する。
論題に必要な資料を紹介する。

履修コード	150901
科目名	演習Ⅲ
担当者名	小沢 利久

講義のねらい

マネジメント・サイエンスとは、経営活動の様々な場面における意思決定を支援するための分析方法を考える学問であり、対象をモデルで表現し、コンピューターを使って定量的に分析する点に特徴があります。また、マネジメント・サイエンスの応用範囲は、伝統的な生産・流通の分野から近年はマーケティングやファイナンスの分野へと広がりつつあります。この演習ではそのようなマネジメント・サイエンスの各種手法とコンピューターリテラシについて学ぶとともに、資料作成とプレゼンテーションを通じてコミュニケーション能力の育成を図ります。

講義の内容・
授業スケジュール

ゼミ論文を作成します。そのために、前期は経営・経済関連の雑誌記事をみんなで読みながら興味のある対象を選び、テーマを決めていきます。後期は、前期に決めたテーマについて調査・分析し、それを論文にまとめます。最後に、論文発表を行います。

履修上の留意点

論文作成ではオリジナリティを重視します。単なる調査ではなく、自分自身の見解を持つことが求められます。

成績評価の方法
教科書
参考書等

提出論文、発表内容、出席状況により評価します。
使用しません。
必要に応じて示します。

履修コード	152301
科目名	演習III
担当者名	鹿嶋 秀晃 <small>かしま ひろあき</small>

講義のねらい 研究テーマは現代日本企業の人事労務管理。大学生活の中で、ゼミは最も勉強に打ち込み、一番思い出になるところだと考えます。よって、積極的に勉強し、行事を企画し、みんなで楽しくゼミを過ごしたいという学生を採用します。

講義の内容・授業スケジュール 現代の日本企業とそこに働くサラリーマンが抱える問題に関して、入門書と専門書を読んでいきます。企業と労働、社会について幅広い関心を持ち、科学的に考える力を養います。サブテーマは「終身雇用」「年功賃金と能力主義」「日本の経営」「女性労働」「日本の労使関係」「会社人間」「過労死」ほか。2ヵ月に1冊のペースで本を読みます。受講者全員はあらかじめテキストを熟読し、中から報告者（レジュメを作成）、コメントータを決め、その2人を中心に議論をしていきます。報告者とコメントータは順番。また、毎回の「新聞発表」では担当者が最近の新聞から企業経営や労務に関するものを切り抜き、自分のコメントを加えてプレゼンテーション。4年次は卒論作成中心。

履修上の留意点 出席重視。無断欠席は単位認定なし。ただし、特別に事情がある場合には個別に対応します。レジュメはワープロで作成のこと。工場見学、合宿等の時間割以外の行事もゼミの一環なので必ず出席するように。

成績評価の方法 出席点、講義中の発表・発言、レポートを総合して判定。
教科書 適宜指示。過去のテキスト例。熊次誠『若者が働くとき』、朝日新聞特別報道チーム『偽装請負』、中野麻美『格差社会ニッポンで働くということ』、風早正宏『ここがおかしい日本の人事制度』など。

参考書等 演習時に適宜紹介。
その他 履修希望者は、経営労務論を履修のこと。他のゼミ活動に、卒業論文集の発行、ゼミ書評、全国コンテスト参加などがあります。WEBページ参照。http://www.komazawa-u.ac.jp/~kashima/index.html

履修コード	151001
科目名	演習III
担当者名	片桐 伸夫 <small>かたぎり のぶお</small>

講義のねらい このゼミは3・4年次（演習II・III）で「就職希望会社の経営分析」を行うことを目的とします。（経営分析の内容については、演習IIの講義のねらいをごらんください。）

講義の内容・授業スケジュール （1）経営分析について、（2-6）経営分析の資料、貸借対照表・損益計算書の読み方、（7-12）収益性・安定性分析、製造業-製造原価報告書、（13-15）貸借対照表、損益計算書問題、安定性・収益性比率の計算問題、（16-20）生産性分析、標準原価、損益分岐点分析、（21-26）キャッシュフロー計算書、連結財務諸表、（27-30）税効果会計、正味現在価値法と設備投資

履修上の留意点 このゼミでは、経営分析の中でも、とくに財務諸表（貸借対照表や損益計算書など）の分析を中心とします。したがって、1年次の簿記学に興味を感じた人向けのゼミです。

成績評価の方法 成績評価の方法は平常点100%です。
教科書 4年次（演習III）では、2年間の成果をゼミ論としてまとめます。
参考書等 開講時、指示します。
 随時、紹介します。

履修コード	150301
科目名	演習Ⅲ
担当者名	兼村 栄哲 <small>かねむら えいてつ</small>

講義のねらい

社会的な分業体制が成立している今日の経済においては、生産と消費の間に、主体的懸隔、量と組み合わせに関する懸隔、情報的懸隔、空間的懸隔、時間的懸隔といったさまざまな経済的懸隔が発生している。マーケティングとは、こうした経済的懸隔を架橋することによって、円滑な交換（の連鎖）を実現し、ひいては、消費者が、生産者が生産する商品消費することを可能にする活動をいい、社会経済的な観点に立ったマクロ・マーケティング（「流通」とほぼ同義）と、個別企業のマネジメントの観点に立ったミクロ・マーケティング（いわゆる「マーケティング」）に大別される。マーケティング論は、以上の2つのマーケティングのメカニズムを研究する学問である。

講義の内容・授業スケジュール

本演習のねらいは、履修者の一人ひとりが、こうしたマーケティングにかかわる諸現象を体感し、当該現象について自分なりに論理的に説明できるようになることにある。

演習は、講義科目とはまったくその性格が異なっている。授業時間内においても積極的に参加することが要求される。以下の2つが、私が皆さんに最低限要求する内容である。

(1) 学業面における大学生活の集大成として、各自の問題意識にしたがい卒業論文を作成する。当論文は、A4版用紙1頁あたり1,200字（40字×30行）で25枚以上とする（ワープロ原稿）。

(2) 夏休みの工場見学に参加する。その前提として、各工場について、各自が50以上の質問を考える。

履修上の留意点

以下の4点を強く要望する。

(1) 積極的に参加すること。（通常の演習のみならず、合宿、OBOG会、コンパその他の課外活動にも積極的に参加すること。また、たんに出席するのではなく、自発的に自分なりの疑問や意見を示すこと。）

(2) お互いの親睦を図ること。（これは、私との間の親睦はいうまでもなく、同期・先輩・後輩との間における親睦を指している。）

(3) 無断で欠席や遅刻を繰り返したり、病気・就職活動などを理由に欠席や遅刻をしたにもかかわらず、その証明書を持参しない履修者については、卒業論文の最低枚数が増加することもあるので注意すること。

(4) 授業開始後、諸般の事情で履修を取りやめる場合にも、必ずその旨を事前に申し出ること。

成績評価の方法

授業態度、発表内容、卒業論文の内容等による総合的な評価

教科書

なし

参考書等

適宜紹介する。

履修コード	152421
科目名	演習Ⅲ
担当者名	菅野 佐織 <small>かんの さおり</small>

講義のねらい

演習Ⅲの目的は、マーケティングに関連する研究を通じて「論理的思考力」及び「分析力」をさらに磨くことです。具体的には、卒業論文を書くことです。12月の電通懸賞論文への応募を目指して進めていきます。最終的には論文集にまとめていく予定です。

講義の内容・授業スケジュール

- ・卒業論文作成
- ・懸賞論文への応募（12月）

履修上の留意点

特になし

成績評価の方法

出席の状況と毎回の課題への取り組み度合い、授業への貢献を総合的に判断して評価します。

教科書

授業で適宜お知らせします。

参考書等

授業で適宜お知らせします。

その他

就職活動を理由に勉強をおろそかにせず、高い目標を持って卒業論文を仕上げるように。

履修コード	150601
科目名	演習Ⅲ
担当者名	岸田 隆行 <small>さしだ たかゆき</small>

講義のねらい これまでに習得した原価計算・管理会計の知識をもとに、卒業論文を作成する。論文作成の各段階ごとに報告を行い、内容についてゼミ員同士で討論することによってよりよい論文を作成できるようにする。

講義の内容・授業スケジュール 一年を通して論文を完成させる。前期は各自で設定したテーマについての論文を渉猟し、いくつかの論文を報告していく。後期は各自の論文の進捗状況を報告し、最終的に完成した論文を提出してもらう。

履修上の留意点 ゼミには積極的に参加してもらいたい。また、他人の卒業論文の報告であっても、自分は関係ないという態度ではなく、積極的に批判や質問をすることによって、切磋琢磨し、それぞれがよりよい論文が書けるよう努力してもらいたい。

成績評価の方法 出席、報告の内容、論文によって総合的に評価する。

参考書等 それぞれのテーマに沿った文献を適宜紹介する。

履修コード	152601
科目名	演習Ⅲ
担当者名	猿山 義広 <small>さるやま よしのり</small>

講義のねらい この講義では、現代の管理会計理論について詳細に学ぶことを目的としている。現代の管理会計は経営戦略と密接に結びついており、コスト・リーダーシップの確立や差別化を図るためのマネジメント・ツールとして展開されている点に特徴がある。たんなる事実についての計算ではなく、戦略目標を達成するための計算であることを念頭に置いて勉強を進めていってもらいたい。

講義の内容・授業スケジュール 第1回 企業経営と管理会計、第2回 経営者と管理会計、第3回 企業価値創造のための管理会計、第4回 事業部制の管理会計、第5回 キャッシュ・フロー経営、第6回 経営戦略の管理会計への役立ち、第7回 中長期経営計画と予算管理、第8回 バランス・スコアカード、第9回 損益分岐点分析と直接原価計算、第10回 標準原価計算とコスト・コントロール、第11回 コスト・マネジメント、第12回 原価企画と戦略的コストマネジメント、第13回 第1回から第12回のもつめ、第14回 ABCによる経営効率の向上、第15回 製品原価算定のための技術と概念、第16回 物流費、販売促進費、本社費の管理、第17回 広告宣伝費の管理、第18回 ブランド・マネジメントと管理会計、第19回 経営意思決定のための会計、第20回 戦略的・戦術的価格決定、第21回 戦略的意思決定と設備投資意思決定、第22回 企業再編と分権化の管理会計、第23回 ITのための管理会計、第24回 研究開発費の管理会計、第25回 海外事業のための管理会計、第26回 第14回から第25回のもつめ、第27回 管理会計の事例研究(1)、第28回 管理会計の事例研究(2)、第29回 管理会計の事例研究(3)、第30回 現代管理会計の課題

履修上の留意点 演習は学生による報告が中心となる。報告にあたっては、聴講者がより深く理解できるように資料を作成してもらうことになるが、文章だけでなく図表を盛り込んだ資料をつくること。

成績評価の方法 割り当てられた報告の内容、授業中の発言、出席状況、年2回課サレポートの内容に基づいて総合的に評価する。

教科書 櫻井通晴『管理会計〔第三版〕』同文館出版。

参考書等 参考資料や計算問題については授業中に配布する。

その他の 必要に応じて指示する。
卒業後、胸を張って「私は学生時代、管理会計論の演習を受講しました」といえるだけの成果が上げられるよう、限られた時間の中で一生懸命に勉強してもらいたい。

履修コード	152611
科目名	演習Ⅲ
担当者名	^{たかい てつお} 高井 徹雄

講義のねらい

ブロードバンドで繋がったインターネットを基盤とするIT（情報技術）は、今日の企業経営また社会・経済システムを捉えるうえでも最も重要なキーワードとなっています。皆さんは、真の意味で、情報が価値を持ち、情報が価値を生み出す時代に生きています。このような時代、企業や官庁のスタッフとして、また将来はエグゼクティブとして、「情報エリート」を目指すならば、少なくとも以下の能力が要求されると考えます。

(1) 発見力：与えられるのを待つのではなく、自分で問題を見つける能力。
(2) 洞察力：問題に関係する必要な情報を選別する能力。情報を分析し問題の本質を洞察する能力。

(3) 表現力：分析結果を集約し、解り易くプレゼンテーションする能力。

(4) 解決力：他者と協力しあって、具体的な問題解決を図る能力。

皆さんに、こうした素地を養って頂くことを狙いとして、各週の演習、および年2回の合宿（1回は勉強、もう1回は親睦を主目的とする）における題材と環境を用意します。主体的にゼミに参加されることを願っています。およそのスケジュールは以下のとおり。受講生とコミュニケーションをとりながら、理解度や興味の方向を見極めながら進めていきます。

講義の内容・
授業スケジュール
履修上の留意点

4-12月：ゼミ論各テーマ別個人指導

1月：ゼミ論最終発表と提出

毎回、コンピュータールームにおいて実習形式で授業を行います。

実習形式の授業は、全体が同じペースで学習を進めていく必要がありますので、極力欠席しないようお願いいたします。

成績評価の方法

毎回出席をとります。また、前期・後期各1件程度、学習内容に応じてHTML作成やプログラミングなどの課題を出します。これら平常点により評価を行いますので、筆記試験は行いません。

専門教育

履修コード	152101
科目名	演習Ⅲ
担当者名	^{たかき かつみ} 高木 克己

講義のねらい

4年次では、5月半ばから7月にかけて、3年次に作成した進級論文を教材にして論文の書き方、文章の構成、専門用語の使い方等、2、3人の少人数で個別指導を行います。そして後期には、各自選択したテーマの問題点の整理、今後の方向性（解決策等）を中心に報告を行い、4年次終了時には、卒業論文（30枚以上、400字）の作成します。

なお、合宿等の行事は、2年次と同じく例年通りです。

講義の内容・
授業スケジュール

前期は、進級論文として、3年次末に提出された課題を題材にして、個別指導を中心に勉強していきます。

後期は、最後の仕上げとして、問題点、今後の課題等について勉強していき、卒業論文を完成させます。

成績評価の方法
参考書等

出席及び報告により評価します。

各自選択したテーマにより紹介します。

履修コード	150101
科目名	演習III
担当者名	<small>たかだ ひろあき</small> 高田 光明

講義のねらい 3年次からの演習に参加している間に、自分なりに持った問題意識のもとで、どのようなゼミ論文のテーマを選ぶかという作業は、自発的な姿勢で取り組むことを要求される。テーマ探しの過程でいろいろと文献を探して読むという経験を積むことは、大学卒業後に、仕事の必要に応じて、また自らの関心・興味にしたがい、自分で主体的に学べる能力である自己学習能力を身に付けるために有効である。そして論文の執筆過程で、考えながら書き、書きながら考えを深めてまとめていくことは、論理的に思考する能力を培うのに役立つ最も主体的な行為である。したがって、自己学習能力と論理的思考能力の養成という大学教育の中心目的の達成を図る上で、ゼミ論文作成は、きわめて重要な位置を占めている。

講義の内容・授業スケジュール 演習IIIでは、リスク・リターン関係や資本のコストといった概念をキーワードにして、企業の資本調達問題についてさらに議論を深める。そしてこのようなテーマで演習を進めていく間に、各自が持った問題意識のもとで選んだ個別テーマにより、ゼミ論文を作成する。
(1～15) 砂川伸幸著、コーポレート・ファイナンス入門(日経文庫、2004年)を中心に研究
(16～30) ゼミ論文の作成指導

履修上の留意点 ゼミ論文の出来・不出来は、テーマをいかに絞り込むかにかかっている。扱うテーマが広いとどうしても掘り下げ不足となり、論文が、概説書の抄録のようなものになってしまいがちである。テーマについては、できるだけ絞る必要がある。したがって、自分が関心を持って扱おうとする領域に関して理解を深め、テーマを絞り込める眼を育てることが肝要である。

成績評価の方法 ゼミ論文の評価を基本とし、適宜提出を求める課題レポートも加味する。

履修コード	152001
科目名	演習III
担当者名	<small>たきた こういち</small> 滝田 公一

講義のねらい 演習I,IIで習得した、資料の分析的読み、批判的読み、データの情報処理技術などを活用して、ゼミ卒業論文を作成していただきます。ゼミ卒業論文の作成を義務づける理由は、次のようであります。すなわち、
(ア) どのようなトピックをゼミ卒業論文のテーマとしたらよいか、すなわち、論題の切り出し方を学ぶ、
(イ) 自分の考えを論理的に明確にし、読者に理解しやすいように、幹線のわかる構造を持った論文の書き方を学ぶ、
と言った、知的作業については、その重要性にもかかわらず、これまで、日本の学校教育では、その教育が十分になされてこなかったように思われるからであります。最後に比較的入手が容易であろうと思われる参考文献をあげておきます。

講義の内容・授業スケジュール 演習I, IIで学んだことを利用して、卒業論文を書いてもらいます。前期の授業で、論文の書き方、すなわち、問題の切り出し方、論文のアウトラインの作り方、研究資料の探し方、その分析、などを学びます。その後は、個々の論文の作成の指導を致します。

成績評価の方法 成績評価は、提出していただいたゼミ論文によって行います。

参考書等 澤田昭夫『論文の書き方』(講談社学術文庫)昭和52年
澤田昭夫『論文のレトリック』(講談社学術文庫)昭和58年
梅棹忠夫『知的生産の技術』(岩波新書)昭和50年
川喜田二郎『発想法』(中公新書)昭和51年
中野不二男『メモの技術—パソコンで知的生産—』(新潮選書)平成9年

履修コード	152431
科目名	演習III
担当者名	<small>なかがわ こういち</small> 中川 功一

講義のねらい 経営戦略論を使いこなせるようになるよう、更なる訓練を積んでいく。同時に、その訓練の中で、問題解決のための思考能力を養っていく。

講義の内容・授業スケジュール 文献購読(ポーター著『競争の戦略』)、ケーススタディ、フィールドワークの3本柱による。

履修上の留意点 原則として毎回出席、毎回発言を求める。なお、教科書はゼミとして購入するので、個別に購入する必要はない。また、演習IIと同時開催する予定であるので、当ゼミ演習IIの時間の別講義は受講できないので気をつけること(本年度のみ)。

成績評価の方法 出席と報告による。

教科書 M. E. ポーター『競争の戦略』

履修コード	150201
科目名	演習III
担当者名	<small>なかがわ じゆんぺい</small> 中川 淳平

講義のねらい この演習では、経営学説について考察する（したがって、演習での研究テーマとしては、経営学説のなかから1つないし複数の学説から選択することとなる）。併せて、文献・資料の調査の仕方、報告のあり方、文章のまとめ方について習得する。

講義の内容・授業スケジュール 演習論文の指導。

履修上の留意点 論文作成のために多くの時間を割く必要があるため、積極的に勉学する、意欲ある学生の参加を望みます。

成績評価の方法 提出論文100%。

履修コード	152401
科目名	演習III
担当者名	<small>なが こさよう</small> 長 国強

講義のねらい 現代は情報化社会といわれ、新聞・雑誌・インターネットを開いてもそこに大量の経済・経営データが見られる。ところで、経済・経営などのデータをそのまま見れば、単なる数字の山にすぎず、大切なことはそこから正しい見通しを得ることであろう。実際のデータから経済・経営など社会的な動きをどのように読みとるのかといった能力を養成できるようにすることを目的として、本演習はコンピュータを使ってのデータ解析の基本技術を学習する。

講義の内容・授業スケジュール 演習III（4年生）：総決算…卒業論文作成に挑戦
研究テーマを自主的に選び、演習Iと演習IIの2年間で学んだコンピュータやデータ解析の基本知識や手法などを自ら実践し、卒業論文作成に取り込む。卒業論文については、11月の中間報告、1月の卒論発表会を経て、最終的に提出してもらう。

成績評価の方法その他 平常点：出席・レポートの成績などで総合的に評価する。
継続性ということから、演習IIIの新規募集はいたしません。

履修コード	151301
科目名	演習III
担当者名	<small>ながた ともり</small> 永田 智則

講義のねらい 世界の各地で生じている諸現象の中から、経済発展と貿易の関係に焦点を絞り、この問題の研究を通して、国際経済の仕組みやメカニズムについて理解を深めることを目標としている。

講義の内容・授業スケジュール 「演習III」では研究活動の集大成としてゼミ論と取り組み、経済開発と貿易の関係を整理しながら、国際経済の仕組みやメカニズムについて理解を深める。

履修上の留意点 無断欠席、遅刻は厳禁。授業中は積極的に発言をすること。

成績評価の方法 提出されたゼミ論を評価対象にする。

教科書 教科書及び参考文献等については必要に応じて紹介する。

履修コード	152441
科目名	演習III
担当者名	<small>なかの かおり</small> 中野 香織

講義のねらい 本演習では、マーケティング・コミュニケーションおよび広告について、実務と理論の両方の面から考察することを目的とする。理論を学ぶことに加え、それを実際の戦略に応用できるような思考も身につける必要がある。また、さまざまな課題に取り組むことを通じて、テーマに関連した資料収集の方法、問題を発見する視点、それを解決するための方法、考えたことを人に伝えるためのプレゼンテーション方法などを学んでほしい。

講義の内容・授業スケジュール 本演習における中心的課題は卒業論文である。取り組みは、各自で研究テーマを設定することから始める。論文をまとめるにあたって、グループでの論文執筆（『学生広告論文電通賞』への応募）や、4大学で内容を競い合う研究発表大会での発表内容を基礎とすることも奨励する。

履修上の留意点 ゼミの時間には積極的な発言が、ゼミの時間外には自主的な課題への取り組みが求められる。特にグループ研究ではメンバーと共同で多くの課題をこなし、活発な議論を行う。そのため、マーケティング・コミュニケーションに関心が高く、ゼミ中心の学生生活を過ごしたいと思うような意欲的かつ協調性のある人に参加してほしい。

成績評価の方法 授業態度（出席状況、積極的な参加）、発表内容、卒業論文などにより総合的に評価する。

教科書 参考書のなかから、数冊を教科書として利用する。詳しくは開講時に指示する。

参考書等 亀井昭宏・疋田聰編『新広告論』2005年刊（日本経済新聞社）1,800円、嶋村和恵監修『新しい広告』2006年刊（電通）2,000円、岸志津江・田中洋・嶋村和恵『現代広告論』2000年刊（有斐閣）2,000円、上条典夫監修・内藤敏夫責任編集『実践マーケティング・コミュニケーションズ』2005年刊（電通）2,200円

専門教育

履修コード	151401
科目名	演習III
担当者名	<small>なかむら こういち</small> 中村 公一

講義のねらい 本ゼミでは現代企業の置かれている環境とそれに対する経営戦略を紐解いていき、実践的な場面でも応用できる知識と考え方を身に付けるために、文献購読・資料調査・ケーススタディ・ビジネスプランニングなど多彩な課題に取り組みます。

ゼミは、単位を採るだけのものではなく、個人の「知的トレーニングの場」であり、他のゼミ生達と切磋琢磨する場であると考えて下さい。私の役割は、ゼミ生がゼミでの勉強をきっかけにして豊かな学生時代を築こうとする時のお手伝いをするだけに過ぎません。運営の主体は君達にあります。

(1) 文献購読やケーススタディなどを通して、企業の置かれている環境とそれに対する戦略を的確に理解する専門知識の習得、分析力、洞察力の強化を図ります。

(2) レポート作成を通してのアウトプット能力、論述能力、論理構成力の強化を図ります。

(3) 毎週の報告や議論などを通じてプレゼンテーション能力やディスカッション能力の強化を図ります。

(4) 実際にビジネスプランの策定を通して、事業戦略を構築する企画力と構想力の強化を図ります。

講義の内容・授業スケジュール 演習III（4年生）

前期；過去のゼミ論文優秀作の輪読（論文執筆方法の学習）

後期；ゼミ論文の作成（各自の論文テーマの報告）

履修上の留意点 ゼミの理念は「知的トレーニング」にあるので、相当の勉強時間の確保が必要になります。また、ゼミでは議論が中心になるために、事前の準備も必要となります。

成績評価の方法 遅刻の常連、無断欠席、各種課題や提出物の期限の遅れ、不十分な内容のレポートを提出した場合は、厳しくチェックします。成績は、出席数、提出課題の内容、議論への貢献度などの平常点によって判断します。なお、4年次にはゼミ論文があります。

履修コード	152201
科目名	演習III
担当者名	<small>にしむら かずお</small> 西村 和夫

講義のねらい 【テーマ：コンピュータ科学】 文書（英論文など）の読みかた、書きかた、発表のしかた、コンピュータの利用のしかたを体得し、論理的な思考力を養う。

講義の内容・授業スケジュール 論文の書きかたを習得する。
 ・資料の調査
 ・中間発表とレポート提出
 ・論文の作成と発表
 ・論文提出
 ・発表会
 その他
 ◆情報処理技術者試験の受験のための学習。
 ◆ゼミ論文発表会（年2度）・イベント（年1～2度）。

履修上の留意点 テーマは“コンピュータ科学”であって、コンピュータの操作方法ではない。コンピュータの知識がある人ではなく、やる気と実行力のある人を求む。

成績評価の方法その他 出席のほか、ゼミ論文
 西村ゼミのページ：<http://www.komazawa-u.ac.jp/~kazov/>

履修コード	151901
科目名	演習III
担当者名	<small>はとり しげる</small> 羽鳥 茂

講義のねらい 最終学年の演習IIIでは、これまでの学習成果をまとめることが目標です。3年次で提出した研究テーマの中間報告に基づいて完成品に仕上げられるように指導したいと考えています。

講義の内容・授業スケジュール 1年を通して、ゼミ生の報告に基づく研究会のような形式で進めます。ゼミ生には研究報告のための十分な時間が与えられるので、活用してください。

成績評価の方法 研究報告とその内容によって評価します。

教科書 特にありませんが、ゼミの中で必要に応じて適宜に紹介とアドバイスはもちろん行います。

参考書等 特にありませんが、ゼミの中で必要に応じて適宜に紹介とアドバイスはもちろん行います。

履修コード	150501
科目名	演習III
担当者名	<small>はつだ しやうこ</small> 羽田 尚子

講義のねらい 演習IIで決めた各自の分析テーマを、演習Iで習得した解析手法により分析し、卒業論文を作成します。

講義の内容・授業スケジュール 前期は各自分析を進めてもらいます。後期は分析結果の報告をしてもらい、問題点や改善点の修正をし、よりよい分析を進めてもらいます。論文の書き方については、適宜指導します。

成績評価の方法 出席状況、報告状況および論文の内容により総合的に評価します。

履修コード	151601
科目名	演習III
担当者名	<small>ひの けんた</small> 日野 健太

講義のねらい このゼミでは組織が直面するさまざまな問題を取り上げ、多角的に分析する。組織論の問題を中心に取り上げていくが、経営学全般について理解できるように配慮する。

講義の内容・授業スケジュール 演習IIIでは、演習IIでの学習を発展させ、2万字程度のゼミ論文を完成させる。テーマは演習IIと同じであることが望ましいが、就職活動等を通じて、問題意識が変わることもあり得るので変更も認める。

履修上の留意点 ゼミも各自の研究テーマの発表を中心に進める。
 必要に応じて、夏、秋の合宿を行う。
 普段のゼミで経過発表をした上で、ゼミ論文を提出する。

成績評価の方法 ゼミ論文の提出には合計3回の中間報告が必須。
 良い論文を書くゼミ生は、他のゼミ生の論文の長所・短所をよく見ている。兄が怒られている（ほめられている）のを見る次男坊の気持ちでディスカッションに参加すること。
 提出された論文による。発表に参加しなかった場合は提出を認めない。

履修コード	150401
科目名	演習III
担当者名	<small>ふじわら あつし</small> 藤原 篤志

講義のねらい 本演習ではテーマを「モノづくりの経営学」としており、主として製造企業の生産戦略、生産管理、技術管理、作業管理などを対象としている。またモノづくりには労働力が不可欠かつ重要な要素であるので、労働者による労働も考察の対象としている。ゼミ生各人がこのテーマ・領域に関連して自分の興味・関心のあるテーマを選び、それについて研究を行い、4年のゼミ終了の時点までにゼミ論文を作成・完成させることを最大の目的としている。また授業の中で、ゼミ生には自分の論文の経過・成果についてプレゼンテーション（発表・報告）をしてもらい、それに対する質疑応答や議論・討論を他のゼミ生と活発に行うことにしている。以上の論文作成、プレゼンテーション、質疑応答、議論・討論を通じて、知識を吸収することはもちろん、ゼミ生各人が物事に對して疑問や意見を持ち、それらを論理的に思考し、自分の意見を的確に表現することを目指している。

講義の内容・授業スケジュール 4年次でも3年次に引き続き、先述のように各人が論文作成のための研究を進めていく。ただ場合によっては必ずしも論文という形にはこだわらず、一つのテーマ（指定もしくは任意のテーマ）についてのレポート作成を目標にすることもある。授業自体はゼミ生各人によるプレゼンテーション（発表・報告）、質疑応答、議論・討論を中心に行われる。その中で、報告・発表、思考、発言・表現等の能力を養っていく。このような研究報告や議論・討論を活発に効果的に進めるために、ゼミ内に全員が積極的に発言できるような雰囲気を作りたい。それゆえ授業以外のイベント（工場見学、合宿、コンパなど）には全員が参加することが原則である。その他、一層の学習および親睦を深めるためのサブゼミの開講も予定している。

履修上の留意点 中途半端な気持ちで志願する学生には遠慮してもらいたい。本ゼミでは何よりもやる気のある学生を歓迎する。

成績評価の方法 特に出席を重視。規定の欠席回数に達したものは即除籍にする。その他、ゼミでの報告内容や参加態度も成績評価に入る。

履修コード	150701
科目名	演習III
担当者名	<small>まえだ かづとし</small> 前田 和利

講義のねらい 演習IIのテーマを継続して検討するが、論文作成の指導に力点を置く。
講義の内容・授業スケジュール ①事例研究をとりあげる。
②個人ないしグループによる研究成果の報告を行ない、論文（ワープロ、12000字以上）を作成する。

成績評価の方法 平常点（20%）および論文評価（80%）による。

参考書等 論文の進行速度に応じて適宜指示する。

その他 報告者は事前に要旨・資料を配付すること。

履修コード	151701
科目名	演習III
担当者名	<small>みやぎ てつ</small> 宮城 徹

講義のねらい 演習III（4年）
4年次ゼミ生は、400字詰原稿用紙30～50枚程度のゼミ論文の作成にとりかかる。

講義の内容・授業スケジュール そのさい、テーマに密接に関連のある邦訳書・邦語の文献を適宜指示するが、英語圏あるいはドイツ語圏の論文をゼミ論文の素材にしたいというゼミ生に対しては、然るべき論文を1本割り当てるので、それを翻訳してゼミ論文に加味してもよい。また、論文を仕上げるまでの日程等についてもアドバイスする。

※ ゼミは、毎回1人あるいは複数のリポーターが与えられた範囲をレジュメに基づいて報告し、その他のゼミ生はそれを中心にして活発にディベートするように進める。

※ ゼミの中心的素材はゼミの開始時に指示する。

※ 斉藤 孝著『学術論文の技法』（日本エディタースクール出版部）平成9年、を入手のこと。

成績評価の方法 平常点評価。その際、(a)出席を重視する。(b)自分の思うところを述べ、他人の意見に注意深く耳を傾ける能力があるかどうかを重視する。

履修コード	151101
科目名	演習Ⅲ
担当者名	やまだ じゆんぺい 山田 純平

講義のねらい 日本の会計基準は、国際的な調和化を理由に、ここ10年でもかなりの変貌をとげてきたといわれます。しかし、国際的な調和化といっても、そもそも世界的に会計基準がどのような方向に向かいつつあるのか、その背景となる考え方はどのようなものか、といったことは十分に検討されているとはいえません。そこで、本演習では、企業会計に関する基礎的な知識を身につけるとともに、国際基準の動向とその基礎概念を考察します。

講義の内容・授業スケジュール また、会計基準は実際に運用されてこそ意味があるのだから、現実の財務諸表を分析することを通じて、会計基準の実態面についても合わせて検討します。

成績評価の方法 卒業論文の構想やその周辺分野について報告をしてもらう予定です。

教科書 卒業論文を必ず提出してください。また、ゼミの行事にはできるだけ参加してください。卒業論文の出来、議論への参加度、報告の出来、出席率で評価します。授業中に参加者と相談のうえ、決定します。

履修コード	151501
科目名	演習Ⅲ
担当者名	やまだ まさる 山田 勝

講義のねらい ボーダレス時代にビジネスパーソンとして活躍するためのセンスを磨くこと。

講義の内容・授業スケジュール 月1度の割で、各自が毎日読む『日本経済新聞』の記事の中から、テーマを定めて日本語（1000字程度）と英文のレポートをメールで提出。更にそれを演習時間に発表し、その内容をめぐってディスカッションする。共通語は英語。

成績評価の方法 平常点評価。毎時間出席し、積極的にディスカッションに加わることが評価の対象となる。

履修コード	152451
科目名	演習Ⅲ
担当者名	わかやま だいすけ 若山 大樹

講義のねらい 演習Ⅲでは、3年生までに身に付けたマーケティング諸活動に関する知識や諸理論および、統計的な考え方をもとに、各自の研究テーマで専門性を高め、その成果を卒業論文にまとめる。

講義の内容・授業スケジュール 各自のテーマごとに、
（1～5）文献やデータの収集、
（6～12）（必要に応じて）調査実験を実施
（13～20）データ解析、
（21～28）論文作成
を行う。
（研究テーマや内容・進捗状況により、夏休みや冬休みにも、行うことがある。）

履修上の留意点 卒業研究のテーマは各自の関心に応じて選ぶ。もちろん楽しんで取り組めるものが望ましいが、楽しんで取り組む姿勢やそのための努力も大切である。

成績評価の方法 最終的には提出された卒業論文により評価するが、論文を作成するプロセスも重要視する。従って、ゼミでの進捗状況報告とディスカッションへの参加状況も含めて総合的に判断する。

教科書 必要に応じて配布あるいは、指示する。

参考書等 必要に応じて配布あるいは、指示する。

Ⅲ 他学部履修科目

他学部
履修科目

履修コード	003801
科目名	インド仏教文化史
担当者名	金沢 篤 <small>かねざわ あつし</small>

講義のねらい
講義の内容・
授業スケジュール

インド生まれの仏教を、広範で多岐多彩なインド文化の史的展望の中でとらえてみたい。
神や人間などが織りなす奇想天外なインドの物語世界の解説を皮切りに、仏教の出現と展開と衰
頹にまつわる文化的トピックを論究する。

- ◎インド仏教文化史とは？(1～3) 日本人、日本文化と仏教
- ◎文化的側面より見たインド仏教とその展開(4～8) 他宗教と仏教の比較の視点から
- ◎仏教の起源と仏教出現の背景(8～15) 仏教哲学の成立 ヒンドゥー教と仏教 仏教の独自性
- ◎仏教の変容と展開(16～22) 哲学から宗教へ 仏教哲学の革新と宗教理論の確立
- ◎インド仏教文化史・むすび(23～)

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書
参考書等

仏教や古今のインド文化に熱い関心を持つ学生諸君の主体的取り組みを期待する。
年度末試験などで総合的に判断する。
渡辺照宏著『仏教(第二版)』(岩波新書)740円
教場で適宜紹介する。

履修コード	003901
科目名	中国仏教文化史
担当者名	永井 政之 <small>ながい まさし</small>

講義のねらい

中国における仏教の展開を論ずることは決してやさしいことではありません。今に残る膨大な資
料によって語られる綿密な思想構築の世界がある一方、資料に残らない、つまり資料を残し得ない
ような人々によって受容され支持された仏教の世界もあったからです。その双方がともに「中国仏
教」であることは言うをまちません。むしろその双方を複眼的に見てはじめて中国仏教の実像が理
解できると、私は考えています。中国仏教に関わるさまざまな材料、時には取るに足らないように
見えるものでも対象にし、それらを積み上げてみましょう。私達が考える以上に「立体的」な中国
仏教の世界が見えてくるように思います。

講義の内容・
授業スケジュール

そんな問題意識の下で研究を続けていますが、今年是中国の人たちの「信仰の世界」のいくつか
を講義してみたいと思います。ハタから見れば首をかしげざるを得ないような「信仰」でも、それ
が大きな力となって、時には国を動かすことすらあったというのが、中国仏教の一面の歴史です。
たとえ荒唐無稽であっても、人々はそれらの信仰を通して、宗教一ここでは仏教や禅の立場のある
部分一に触れていきました。結局、現場における素朴な信仰と緻密に構成された教理教学が相互に
影響し補完しつつ中国仏教が成り立っているように思います。受講した諸君は、本授業を通してオ
ーソックスな教理教学だけではない、「仏教」の奥行きを深さを理解してくれるのではないかと考
えています。

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書
参考書等

(1～3) 本授業の目指すところを基本的なガイダンスとして講じます。(4～30) いくつかの「信
仰」を取り上げつつ、その実態を考えます。最初に取り上げるのは『金剛経』をめぐる信仰です。
ついでに仏菩薩や歴史に生きた個人を取り上げます。

資料を沢山配布しますので、専用ノート、あるいはファイルを用意して下さい。
レポート、出席、期末試験を総合して評価します。
特に教科書として使用するものではありません。必要な資料は授業中にコピーを配布します。
永井政之『中国禅宗教団と民衆』内山書店、2000年

他学
部
履修
科目

履修コード	004001
科目名	日本仏教文化史
担当者名	<small>はがや けいあき</small> 袴谷 憲昭

講義のねらい 仏教思想とはなにかという課題を断えず問いかげながら、日本における文化の実態を検討する。その検討課題を章節仕立てで示せば、次のとおりである。

講義の内容・授業スケジュール (1) 仏教伝来以前の文化、(2) 文化構造の解釈、(3) 日本古来の文化、(4) 中国朝鮮の影響下の仏教文化、(5) 呉音漢音と文化、(6) 美術中の仏教観、(7) 自利利他の問題、(8) 太子信仰の背景、(9) 南部の学問仏教と民衆の文化、(10) 大仏建立の理念、(11) 学問仏教の実際、(12) 勸進聖と修験道、(13) 仏教と神祇信仰、(14) 日本独自の文化形成と仏教観、(15) 大乘戒壇の設立、(16) 一乗三乗の論争、(17) 密教と祈祷仏教、(18) 本覚思想の定着、(19) 中世の仏教信仰の確立と変容、(20) 浄土信仰の諸相、(21) 法華信仰の諸相、(22) 禪宗と五山文学、(23) 神仏習合の諸相、(24) 近世と近代の社会文化と仏教、(25) 鉄砲と吉利支丹、(26) 幕府の宗教政策、(27) 江戸文化と仏教、(28) 維新と廃仏毀釈、(29) 近代より現代へ、(30) 戦後と民主主義 以上を講義のかたわら、『妙貞問答』を講読する。

履修上の留意点 講義ではあるが、参加者には、文献を自ら読もうとすることが要求される。必要な資料については教場で配布するが、その再発行は原則としてしないので、気をつけられたい。

成績評価の方法 学年末の定期試験によって評価する。

教科書 袴谷憲昭著『日本仏教文化史』(大蔵出版) 2005年

参考書等 袴谷憲昭著『仏教入門』(大蔵出版) 2004年

その他 必要講読文献はコピーで配布し再発行はしないので注意されたい。

履修コード	004101
科目名	外国語禪書講読
担当者名	<small>いしい さとみ</small> 石井 清純

講義のねらい 英文による禅の論文・書籍を購読することにより、仏教語・禅語の英語表現を習得し、また欧米における禅の捉え方を学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール (1～3) 欧米に禅が紹介された歴史について学ぶ。(4～30) 禅の歴史や思想に関連した書籍を、適宜選択して読み進める。

履修上の留意点 事前に講読する内容を配布するので、必ず予習をしてください。

成績評価の方法 夏休みの課題レポートと年度末の筆記試験によって判断する。

教科書 講義時にプリントを配布する。

参考書等 初回の講義時に指定。

履修コード	004401
科目名	インド哲学史
担当者名	<small>あらい すすむ</small> 金沢 篤

講義のねらい 仏教を産んだインドのヴェーダ体制の内実を探り、宗教・哲学の変遷を概観する。

講義の内容・授業スケジュール 定評ある以下の教材に沿って、ヴェーダ時代より中世に到るまでの主だったトピックを通史的に概説する。併せて、インド哲学研究の方法論・問題点なども検討する。

◎インド哲学史・序論(1～3) インド哲学史とは? インド哲学研究の方法論

◎ヒンドゥー教と仏教(4～15) ヒンドゥー教(ヴェーダ体制)の成立 ヒンドゥー教(ダルマと業理論)の概要 仏教の成立: 仏教出現の意義

◎ヒンドゥー教(ヴェーダ体制)の変容と展開(16～20) 仏教哲学とバラモン哲学

◎インド哲学各論(21～) 正統バラモン哲学諸派

◎インド哲学・結び

履修上の留意点 日頃よりインドに関心の目を向け、主体的に常にながしかの問題意識をもって授業に参加することが望ましい。

成績評価の方法 数回のレポートと年度末の筆記試験など。

教科書 早島鏡正他著『インド思想史』(東京大学出版会)

参考書等 講義の中で適宜紹介する。

履修コード	005301
科目名	原始仏教
担当者名	かたやま いちみょう 片山 一良

講義のねらい 原始仏教とは仏教の源泉である。いわゆる大乘仏教も小乗仏教も、あるいは上座部仏教もすべてここより発している。その教えとは何か、すなわち釈尊の智慧と慈悲による教えとは何かをパーリ仏典（原始仏典）の言葉より明らかにし、我々の身近な問題をも考えたいと思う。

講義の内容・授業スケジュール 前半は仏伝を紹介しつつ、教えの基本となる縁起・四聖諦について、後半はパーリ仏典『転法輪経』を読みつつ、仏法について講じる。前半は波羅蜜行、誕生、苦行、成道、説法、入滅を、後半は信、戒、定、慧、慈悲、如是を主な内容とする。

履修上の留意点 従来の「仏教」に対する先入見を離れ、パーリ仏典（原始仏典）を直接読むことを勧めたい。

成績評価の方法 レポート（夏期）および年度末テストによる。

参考書等 片山一良『ブッダのことは・パーリ仏典入門』（大法輪閣）平成二十年

履修コード	007001
科目名	外国語仏書講読
担当者名	きむら せいじ 木村 誠司

講義の内容・授業スケジュール シチエルバックキーの Buddhist Logir を読む。受講者に訳してもらい、読み進める。本書は20世紀初頭に書かれた記念碑的作品である。現在でも、その価値は高い。

成績評価の方法 平常点で行う。通常の授業で、各人に訳してもらうので、それがそのまま評価となる。

教科書 コピーで配布する。

履修コード	007401
科目名	中国哲学史
担当者名	まえかわ とおる 前川 亨

講義のねらい 東アジア世界において重要な精神的な位置を占める中国の哲学・思想・宗教について概観する。

講義の内容・授業スケジュール 本年度は先秦時代から唐代までの哲学史を講義する。講義内容は受講者の関心等により柔軟に対応し、受講者から質問を受けた問題などには更に掘り下げた検討を加えるつもりであるが、おおむね以下のような内容を講ずることになろう。

- ・ 儒教の発生—孔子とその思想
- ・ 儒教の展開—孟子・荀子の思想
- ・ 道家の思想—老子・荘子の思想
- ・ 神仙思想と養生法
- ・ 靈魂と死後世界の問題
- ・ 儒教の変貌—漢代の儒教
- ・ 五経とは何か
- ・ 易の思想
- ・ 孝
- ・ 仏教の中国伝来
- ・ 道教教団の成立
- ・ 玄学と名教
- ・ 唐代文化と新しい時代への胎動

履修上の留意点 受講生には継続的な出席と積極的な参加を求める。継続して出席する意志のない者、出席しても授業を集中して聴く意志のない者の受講は認めない。

成績評価の方法 本年度は試験を実施する予定であるが、受講者数が少ない（目安として10人以下）の場合には平常点とレポートに切りかえるかも知れない。いずれにしても出席はとり、出席回数の足りない学生には試験受験もしくはレポート提出の資格を与えない。

教科書 特に必要としない。

参考書等 授業中に適宜紹介する。

その他 できるだけ多くの知識を提供するため、講義の形式をとるが、受講者の意見を徹しながら進めていくので、質問には積極的に応答してもらいたい。中国（東アジア）の社会・文化・宗教など様々な方面に関心をもつ諸君の受講を期待する。

履修コード	007411
科目名	日本哲学史
担当者名	久保 陽一 <small>くぼ よういち</small>

講義のねらい

「哲学」は明治初めに西洋から導入されたが、その際日本の伝統的思想との関連が問題にされた。儒教が近代化の障害として批判されたり、仏教が近代化の限界の克服の拠所と考えられもした。最近「グローバル化」と「文明の多元化」が語られる状況の中で、日本の哲学があらためて問い直されている。そこで近代日本の代表的な哲学の思想を紹介し、その流れを捉えることにしたい。

講義の内容・授業スケジュール

福澤諭吉、西周、内村鑑三、新渡戸稲造、井上哲次郎、西田幾太郎、鈴木大拙、和辻哲郎、九鬼周造、三木清、戸坂潤、丸山真男を取り上げ、彼らが日本の近代化にどのように関わり、西洋哲学との関連でどのように独自の思索を展開したか、またそれは今日どのような意味を持つかを考えることにする。

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書
参考書等

講義を手掛かりに、自分でさらにテキストなどを読むことが望ましい。
試験（前期と後期）と出席によって評価する。
個々の哲学者の文章を資料として配布する。
開講時に指示する。

履修コード	008901
科目名	仏教文献学
担当者名	野沢 佳美 <small>のざわ よしみ</small>

他
学
部
履
修
科
目

講義のねらい

本講義では、中国で編纂された仏教経典の一大叢書である大蔵経（一切経）の歴史とそれを取り巻く諸問題を取り上げます。

講義の内容・授業スケジュール

仏教が中国に伝えられて以降、様々な仏典が翻訳・書写され、その集成されたものが大蔵経です。当初大蔵経は書写されましたが、やがて印刷されるようになると、その巻数も膨大なものになり、また大蔵経の種類も次第に増えていきます。本講義では、そうした大蔵経の成立とその編纂経緯などを眺めながら、必用に応じてビデオやスライドを併用しながら、今日までアジア各国に伝えられた各種大蔵経の意義などを考えてみます。また、大蔵経入蔵仏典の相互比較を通じて、初歩的文献学研究の重要性と必要性を指摘したいと思います。

履修上の留意点

前期（1～5）写経時代から印経時代へ、（6～9）宋元大蔵経、（10～12）元代大蔵経、（13～15）高麗版大蔵経および周辺諸国の大蔵経。

成績評価の方法
教科書
参考書等

後期（1～4）明代大蔵経、（5）大蔵経の現在と未来、（6～9）江戸時代の大蔵経、（10～14）大蔵経所収仏典の文献学的研究、（15）まとめ。

本講義では大蔵経編纂の流れを基軸とし、これに個々の大蔵経を取り巻く諸問題を取り上げますので、継続した出席が必要となります。中途半端な気持ちで履修しないことを望みます。

出席回数と前期末・後期末の2度のレポートにて評価します。

とくには定めません。随時プリントを配付します。

そ の 他

『大蔵経－成立と変遷－』（百華苑）1989年再刊
笠沙雅章『宋元仏教文化史研究』（汲古書院）2000年
笠沙雅章「大蔵経編纂」（『大谷大学通信』50号）2000年
椎名宏雄『宋元版禅籍の研究』（大東出版社）1993年
野沢佳美『明代大蔵経史の研究』（汲古書院）1998年

授業は講義が中心となりますが、その都度意見を求めることがあります。また、必要に応じてビデオの鑑賞、博物館・図書館見学も考えています。

履修コード	O14101
科目名	上代文学研究I
担当者名	中嶋 真也 <small>なかしま しんや</small>

講義のねらい
講義の内容・
授業スケジュール

現存、日本最古の歌集『万葉集』を精読し、古代日本の一端を理解することをねらいとします。
2010年は、キャラクター先行の感もありますが、巷を騒がせている平城京遷都1300年であります。そのような100年に1度の記念すべき年に、人生で遭遇できることは幸運ともいえます。そこで平城京は文学作品ではどのように描かれているのかを、2010年を迎える前に『万葉集』を中心に見ていきたいと思ひます。古代を理想的に幻視するのではなく、残された歌を通じて、古代の人々の喜びや悲しみを少しでも身近に感じられれば幸いであります。

『万葉集』を読むのが初めてという方も少なくないでしょうから、『万葉集』に関する概説を最初は極力丁寧に行ないます。読解に入ってから、前期は平城京に関わる歌の紹介を中心に、状況理解に努め、後期はそれらの歌々に相互に関わる問題、派生する問題を取り上げていこうと思ひます。ただし、授業は生き物ですから、移ろいゆく場合もあることはご承知おきください。前期と後期の最後に試験を行ないます。以下、回数ごとの予定を記しておきます。

(1・2) ガイダンス、『万葉集』概説、(3～5) 大宰府からの平城京、(6・7) 旅の途上の平城京、(8～10) 越中からの平城京、(11・12) 失われた平城京、(13・14) 平安時代の平城京、(15) 前期試験、(16～18) 平城京の近郊1 (高円)、(19・20) 平城京の近郊2 (生駒)、(21～24) 平城京の近郊3 (佐保)、(25～28) 平城京の近郊4 (三笠)、(29) まとめ、(30) 後期試験

履修上の留意点

講義というスタイルですが、主体的な受講を切に希望します。

成績評価の方法
教科書
参考書等
その他

テキストは毎回必ず忘れないように。
学期末の試験を中心に評価しますが、授業の出席状況ならびに授業態度も重視します。
鶴久・森山隆『万葉集』(おうふう)
必要に応じて、授業中に指示します。
テキスト以外の資料は、必要に応じてプリントで配布します。

他学部
履修科目

履修コード	O14301
科目名	中古文学研究I
担当者名	松井 健児 <small>まつい けんじ</small>

講義のねらい

『源氏物語』の自然叙述を、その歴史的・表現史的な背景を踏まえつつ読み解いてゆく。ことに自然叙述の種々相における、認識方法や類型化の問題を、表現それ自体に内在する歴史性の問題として扱うことによって王朝文化論としての展開を試みる。

講義の内容・
授業スケジュール

『源氏物語』より、訪問・宴・儀礼など、固有の意味を持ついくつかの場面を取り上げつつ講読する。具体的には、物語叙述と詩歌表現とを相互に関連付ける、歴史的な心性および言語表現史への言及ということになる。折に触れ、王朝絵画や文様など、他の関連分野との比較検討を行う。(1～4) 『源氏物語』概説、(5～7) 物語文学と自然叙述、(8～14) 『源氏物語』第一部の巻々、(15～21) 『源氏物語』第二部の巻々、(22～28) 『源氏物語』第三部の巻々、(29～30) 物語表現と主題形成。

履修上の留意点

毎回、長文の本文を講読する。『源氏物語』の文章は難解で知られる。また、和歌・漢詩を数多く読むこととなる。古語辞典等を活用しつつ、自宅での予習・復習の時間にじっくりと本文と向き合い味読してほしい。また、この講義では、受講生による本文の音読を重視する。

成績評価の方法
教科書

①本文解釈を中心としたレポート ②出席状況 ③その他を総合して行う。
授業時にプリントを随時配布する。

履修コード	014501
科目名	中世文学研究I
担当者名	櫻井 陽子

講義のねらい 源義経が文学・芸能の中でどのように登場し、活躍し、増幅されていくのかを考えることから、中世文学の側面を考える。

講義の内容・授業スケジュール 軍記物語全体の特色について、文学史上における意味・意義・問題点を講義する。次に、義経の登場する『平治物語』『平家物語』『義経記』について、作品の内容を紹介する。その上で、諸作品における義経の登場個所を丁寧に読み解き、問題意識を深める。必要に応じて、歴史史料などを参照する。

履修上の留意点 余裕があれば、御伽草子・幸若・能・歌舞伎などに登場する義経について言及する。

成績評価の方法 1～5 軍記物語とはどのようなジャンルか。
6～10 『平治物語』『平家物語』『義経記』の特徴。
11～15 『平治物語』における義経
16～20 『平家物語』における義経
20～28 『義経記』における義経
29・30 芸能などの諸作品における義経

教科書 講義ノートを作成しておくこと。

参考書等 出席・授業態度・レポート・定期試験によって総合的に評価する。
授業時に指示する。
授業時に指示する。

他
修
学
科
目
部

履修コード	014701
科目名	近世文学研究I
担当者名	川元 ひとみ

講義のねらい 従来の小説方法を一新して浮世草子というジャンルを切り開いた西鶴の方法を探ることを目的とし、近世前期の上方文化についても理解を深める。

講義の内容・授業スケジュール 井原西鶴の『好色一代男』を読む。

1. 江戸時代の特色（前期を中心に）の概論。（1）
2. 井原西鶴とその後の浮世草子作者（2～3）
3. 西鶴の浮世草子とその後の浮世草子（4～5）
4. 『好色一代男』研究における諸問題（6）
5. 各章を読む（7～29）
6. 試験（レポート）

履修上の留意点 授業では時間の都合上、全文を通読できない。したがって、個々で全文読破する意欲を持っていること。

成績評価の方法 最後に課すレポート（原稿用紙10枚程度）に拠る。出席も考慮する。

教科書 プリントを配布する。

参考書等 『西鶴集』（日本古典文学全集）板坂元・岩波書店、『好色一代男全注釈』前田金五郎・角川書店、『対訳西鶴全集』富士昭雄・明治書院、『現代語訳西鶴全集』暉峻康隆・小学館

履修コード	014901
科目名	近代文学研究I
担当者名	榎本 ^{のらと} ^{まさ} 正樹

講義のねらい

二十世紀前後にデビューした作家の作品を網羅的にとりあげ、その作家固有のテーマや表現、モチーフを検証し、さらには同時代的な意義やジャンルの可能性を探ります。

講義の内容・授業スケジュール

現代日本文学のフィールドで重要だと思われる作家・作品を網羅的に解説・分析し、作品に内在するテーマ、モチーフ、表現や語りの技法、周辺メディアとの連関などを抽出していきます。扱う作品は主流系文学（純文学）を中心に、その他のジャンルも対象とします。

今年度の授業では、昨年（2008年）映画公開された現代日本文学を原作とする映画を鑑賞し、原作と比較しながら作品を解説する小特集的なテーマを設定します。森絵都『ダイブ!!』（熊澤尚人監督）、梨木香歩『西の魔女が死んだ』（長崎俊一監督）、長嶋有『ジャージの二人』（中村義洋監督）、森博嗣『スカイ・クロラ』（押井守監督）、東野圭吾『容疑者Xの献身』（西谷弘監督）の候補作品の中から、3～4作取りあげる予定です。

履修上の留意点

榎本は研究活動の一環として現代作家へのインタビューや取材を積極的に行っていますので、授業では作家の生の情報、文学界、出版界のトピックスなども盛りこんでいきます。

現代日本文学、映画、周辺ジャンルなど、同時代のメディア全般に興味をもつ学生の履修を歓迎します。学生からの質問や問題提起にも積極的に応じます。

成績評価の方法

学期末提出のレポートの評価をメインに、出席点を加味し評価します。

教科書

使用しません。取りあげる作品を事前に読んでいなくても理解できる形で、授業を進めます。

参考書等

参考文献等は教室で指示します。

その他

講義形式をとります。資料はプリントで配付します。履修に際しては、榎本のプロフィールや研究業績が掲載されているサイト (<http://enmt.jp>) も参考にしてください。

他
学
部
履
修
科
目

履修コード	016601
科目名	演劇概論
担当者名	森井 ^{もりい} ^{なほこ} 直子

講義のねらい

今日私たちが触れることの出来る演劇は、多くの人々による絶え間ない試みが積み重なって生まれてきたものです。演劇が、なぜ、どのような変遷を辿ってきたのかを考え、同時に演劇のもつ可能性への感度を養うことを目的とします。授業は、講師による講義形式で行います。

講義の内容・授業スケジュール

(1～3) 日本近代演劇の模索 (4～5) 近代演劇の黎明、文芸協会、自由劇場 (6～8) 芸術座、新国劇 (9～11) 築地小劇場、プロレタリア演劇 (12～15) 戦中・戦後の新劇、俳優座、文学座 (16～18) 60年代演劇、状況劇場、早稲田小劇場、現代人劇場 (19～21) 70年代演劇、つかこうへい事務所、秘法零番館 (22～24) 80年代演劇、TPO師★団、夢の遊眠社、第三舞台 (25～27) 90年代演劇、青年団 (28～30) 今日の演劇

成績評価の方法

観劇レポートの提出を2回求めます。そのレポートおよび出席状況によって評価します。

教科書

授業中に資料を配布します。

履修コード	016701
科目名	西洋思想史
担当者名	滝沢 ^{たきざわ} ^{まさゆき} 正之

講義のねらい

感情の哲学。感情について哲学的に考えたい。我々は常日頃から自らの感情に振り回されて生きている。このやっかいな感情というものが、どのような本性のものであり、どんな機能を果たしているのかを考えてみたい。

講義の内容・授業スケジュール

哲学的情念論の古典的なテキストの一部を配布し、それを丁寧に読み、解説する。それに基づいて、議論をすすめることになる。スミス、ヒューム、カントなどを扱う予定。

- [1回～5回] 感情の問題の概観（情念論の哲学史など。）
- [6回～10回] 感情と社交（人間関係と感情はどうかかわるのか？）
- [11回～15回] 感情と趣味（芸術性の評価と感情はどうかかわるのか？）
- [16回～20回] 感情と倫理（道徳的な善悪と感情はどうかかわるのか？）
- [21回～25回] その他の諸問題

（＊残りは予備日。また、あくまで目安である。）

履修上の留意点

講義が中心になるので、きちんと出席してノートをとらないと理解が深まらない。適宜プリント等で復習を行うが、この点について注意されたい。

成績評価の方法

中間試験および期末試験により評価する。中間試験はレポートにする予定。期末試験は筆記。受講者の人数が少ない場合は出席をとり、それも評価に加味したい。

教科書

講義中にプリントを配布する。その他のものにかんしては、適宜指定する。

参考書等

久保陽一、河谷淳編著『原典による哲学の歴史』、公論社、2002年、3,200円。その他のものについては講義中に適宜指定する。

履修コード	017001
科目名	比較文学
担当者名	内藤 まりこ

講義のねらい 比較文学研究の成立背景、目的、方法を学び、比較文学の方法を実際の文学作品を取り上げて検討する。

講義の内容・授業スケジュール まず、比較する行為の問題性を考え、比較文学の研究が成立した歴史的な文脈をおさえ、比較文学の目的と方法を確認する。
次に、実際の文学作品を取り上げて、比較文学の方法を検討するが、授業では、映画化された文学作品を中心として、文学と映像との比較分析を含めて、比較文学の方法を学ぶ。

成績評価の方法 出席と授業内でのレポートあるいは学期末テストによる。

教科書 コピーを配布する。

参考書等 授業中に指示する。

履修コード	017101
科目名	日本民俗学
担当者名	谷口 貢

講義のねらい 日本民俗学は世代をこえて伝承されてきた習俗・慣習の調査・研究を通して、日本社会に展開する生活文化を追究する学問である。地域社会に伝承されてきた民俗文化に焦点をあてながら、生活文化において何が変化し、何が持続しているのかを検証し、われわれの現在の生活のありようを再考していきたい。

講義の内容・授業スケジュール (1～2) 民俗学とは (3～5) 民俗学の流れと現在 (6～7) 家族生活と住まい (8～10) 食をめぐる民俗 (11～12) 村と町の成立 (13～15) 若者と一人前 (16～18) 婚姻と出産・子育ての民俗 (19～21) 女性・子ども・老人の民俗 (22～24) 葬送儀礼と先祖祭祀 (25～27) 里と海・山のなりわい (28～29) 祭りと年中行事 (30) 民俗宗教の諸相

履修上の留意点 夏期レポート及び小レポートを実施する予定。

成績評価の方法 学年末に実施する筆記試験、それに夏期レポートと小レポートの合計をもって評価を行う。出席を重視する。

教科書 谷口貢・松崎憲三編著『民俗学講義—生活文化へのアプローチ—』2006年刊(八千代出版) 2,100円(税込)、ISBN 4-8429-1405-X

履修コード	025601
科目名	イギリス文学特講I
担当者名	石原 孝哉

講義のねらい イギリスのルネッサンス期の文学について講義します。主な作家とその作品を通じて、イギリス文学の大きな流れを読み取るのがこの講義の目的です。

講義の内容・授業スケジュール 前期には、「ヨーロッパにおけるルネッサンス運動の流れとその実態」、「イギリスのルネッサンス」について、Thomas More, Edmund Spenser, Christopher Marlowe, William Shakespeareなどを例に講じます。後期は、Shakespeareの作品を中心に Ben Jonson, John Bunyan, John Miltonなどを取り上げます。

履修上の留意点 講義形式で授業を進めますが、文学理論の部分は多少難解なので、意欲ある学生の受講を求めます。

成績評価の方法 期末試験、レポートにより評価します。

教科書 ノースロップ・フライ著、『ノースロップ・フライのシェイクスピア講義』、三修社

履修コード	025801
科目名	イギリス文学特講III
担当者名	濱口 真木

講義のねらい それぞれの詩人の代表的な詩を読み進める。

講義の内容・授業スケジュール イギリスの代表的な詩を選んで読み進め、重要な言葉の意味を考察しながら言葉に込められた詩人の生き方の問題や文化、社会、宗教等の問題、個々の詩人たちの人間観などを読み取る。取りあげる詩人はシェイクスピア、ジョン・ダン、ミルトン、グレイ、ブレイク、ワーズワス、コウルリッジ、バイロン、キーツ、テニソン、ブラウニングなど。

成績評価の方法 出席やレポートなどの平常評価(50%)、前期・後期試験(50%)の総合評価。

教科書 教場にて指示する。

履修コード	025901
科目名	イギリス文学特講Ⅳ
担当者名	川崎 ^{かわさき} 明子 ^{あきこ}

講義のねらい

ヴィクトリア朝の小説を中心に、19世紀のイギリスの文化と社会を紹介します。小説の黄金時代といわれるヴィクトリア朝の著名作家、具体的には、ディケンズ、Bronテ姉妹、エリオット、ギャスケル、サッカレー、ハーディ等の代表作品を解説します。並行して、カーライル、アーノルド、ニューマン等、当時の思想についても解説します。

講義の内容・
授業スケジュール

前期・後期末に試験とレポート。レポートは合格点に達しない場合再提出を命じる場合がある。優秀レポートの口頭発表あり。レポートと口頭発表は日本語・英語いずれでも可。

前期 1 オリエンテーション 2 ヴィクトリア朝のイギリス概観 3 チャールズ・ディケンズ 4 『オリヴァ・ツイスト』と救貧法 5 『ハード・タイムズ』と功利主義 6 『ディヴィッド・コパフィールド』と自伝小説 7 ジョン・スチュアート・ミルと自伝 8 スマイルズの『自助論』と立身出世 9 ゲーテの『ヴィルヘルム・マイスターの修業時代』、レポート作成法 10 『大いなる遺産』と教養小説 11 サッカレーの『虚栄の市』 12 ニューマンとオックスフォード運動 13 試験、レポート提出 14 試験・レポート全体コメント、試験・レポート個別返却、プレゼンテーション 15 まとめ

後期 1 エミリ・ブロンテの『嵐が丘』と語りの構造 2 シャーロット・ブロンテの『ジェイン・エア』と女性版教養小説 3 アン・ブロンテの『アグネス・グレイ』とキャリアウーマン 4 カーライルとアーノルドのイギリス批判 5 ギャスケルの『メアリ・バートン』と『北と南』と社会小説 6 エリオットの『アダム・ビード』、『フロス河の水車場』 7 エリオットの『ミドルマーチ』と『ダニエル・デロンダ』 8 ハーディの『テス』とダーウィンの進化論 9 ハーディの『日陰者ジュード』と女性 10 ハーディの『日陰者ジュード』と教育制度と労働者階級 11 ワイルドと世紀末 12 ラスキンの『モリス』 13 試験、レポート提出 14 試験・レポート全体コメント、試験・レポート個別返却、プレゼンテーション 15 まとめ

履修上の留意点

1 第一回目の授業より必ず辞書を持参してください。
2 レポート作成においては書式を指定します。マニュアルを配りますが、最低限のパソコンの知識があることが望ましい。

成績評価の方法

出席は3分の2以上が必要。出席を含めた授業への貢献度、レポート、試験の結果により総合的に評価します。

教科書
参考書等

特になし。
・イギリスの歴史を概観したい→指昭博『図説イギリスの歴史』河出書房新社
・19世紀のイギリスの歴史を概観したい→谷川稔他『世界の歴史22 近代ヨーロッパの情熱と苦悩』中央公論新社
・イギリスも含めた19世紀の欧州の歴史を知りたい→J.M.ロバーツ『図説 世界の歴史(7) 革命の時代』創元社
・19世紀のイギリスの文化を知りたい→佐久間康夫他『概説 イギリス文化史』ミネルヴァ書房
・19世紀のイギリス文化を詳しく知りたい→松村昌家他『英国文化の世紀1～5』研究社
・ヴィクトリア朝の思想について知りたい→萩野昌利『歴史をく読む>ヴィクトリア朝の思想と文化』英宝社
・イギリス小説とその読み方について知りたい→川口喬一『イギリス小説入門』研究社
・小説の研究方法について知りたい→川口喬一『「嵐が丘」を読む ポストコロニアル批評から「鬼丸物語」まで』

他学
履修
科目

履修コード	026001
科目名	イギリス文学特講V
担当者名	モート、セーラ

講義のねらい The world of Jane Austen and early nineteenth century English painting, will be the focus of this course.
The set text will be the second novel by Jane Austen(1775-1817), 'Pride and Prejudice'. English landscape artists of the period such as J.M.W.Turner (1775-1851), John Constable (1776-1837) and George Stubbs (1724-1806), will also be referred to.

講義の内容・授業スケジュール A detailed schedule will be given to the students at the first lecture, however topics such as:
- changing ideas on nature and environment.
- the relationship of literature and painting.
- social rank and customs such as dancing, will be discussed in depth.

成績評価の方法 Report and assignments based on year level.
教科書 'Pride and Prejudice'. Jane Austen. (Oxford World's Classics. Oxford University, 2008). ¥1,250.
参考書等 Reference texts on Austen and also on English nineteenth century painting to be announced at first lecture.
Dvd. 'Pride and Prejudice'. Directed by Joe Wright. 2005.

履他
修学
科目
部

履修コード	026101
科目名	イギリス文学特講VI
担当者名	丸小 ^{まるこ} 哲雄 ^{てつお}

講義のねらい 美学から見た文学・芸術・批評にかかわる美的体験と教養体験を高める一方で、文学批評のさまざまな方法に親しみつつ、諸作品の紹介を含めて文学的価値（テキストの快楽と効用）を見出すことを目指します。
文学・芸術とは人類の愚業の堆積で、文学・芸術の毒性と異界を創造する文学者・芸術家（革命家）の「ココロ」と「スタイル」のありようを開示することにあります。「美しい」は制度であり、文学者・芸術家は作り出されるものです。人は「美しい」と感じる方向へ進み、自分に関わらないものは自分を高めないことを知るようになります。「美しい」は「憧れ」で、「憧れ」とは自分に無いものや欠落部分をあぶり出し、人を外へ向かわせます。人として生きる〈生活世界〉から「審美学」に切り込むことが前提です。ここに「文学空間」と文学・芸術の「歴史」と「社会学」の存在理由と意義（内部読解から外部読解に向けて）があることが見出されます。

講義の内容・授業スケジュール

- 1) 自然言語と外国言語と芸術言語の違い（精神の階層性の存在について）（1～3）
- 2) 文学と批評の基本的用語の習得（文学の基本的要素及び文学の機能と力）（4～7）
- 3) 文学の美的体験（読み・解釈・批評）と教養経験（文学史・様式史・一般史）（8～15）
- 4) さまざまな批評方法についての概説と演習（後期）
 - 1) 伝統批評と伝記批評（16～18）
 - 2) ロシア・フォルマリズムとニュー・クリティシズム（19～21）
 - 3) テーマ批評と精神分析批評と受容理論（22～25）
 - 4) 構造主義と記号論とポスト構造主義（26～27）
 - 5) ニュー・ヒストリシズムとポストコロニアル批評とカルチュラル・スタディーズ（28～30）

履修上の留意点

- 1) 読書リストのプリント配布
- 2) 講義用のプリントを毎回配布（多くのプリントを配布しますので、そのファイル用具を用意すること）

成績評価の方法 出席率、翻訳課題、リーディング課題、前期・後期のターム・ペーパーなどの総合評価。クラスでの発表者には別途評価。

教科書 参考書は講義内容に対応して指示します。

履修コード	026201
科目名	演劇特講 (イギリス・アメリカ)
担当者名	<small>おらあひ かざあき</small> 落合 和昭

講義のねらい 主として、20世紀のアメリカの著名な劇作家、および、現在、活躍中の劇作家を取り上げ、彼等の劇の特徴を、劇の構成要素(「筋」、「登場人物」、「テーマ」、「台詞」、「視覚効果(背景、照明等)」、「効果音(音楽も含む)」)等を通して、できるだけ多角的に考察する。後期には、数回を費やして、イギリス中世演劇やギリシャ演劇にも目を向け、現代演劇との共通点や相違点を探る。また、講義の中で、演劇史における思潮も考慮に入れるつもりであるが、講義が抽象的にならないように、劇作品を通して、具体的に、考察する。

講義で取りあげる劇作家は、多くは、アメリカの劇作家であるが、それ以外にも、数人ではあるが、20世紀のアイランドやイギリスの劇作家も取り上げる予定である。さらに、一般には、あまり知られていない劇作家、特に、一幕劇(短い劇)、小説で言うなら、短編小説、通常、「場所」が一つだけの劇)を書いた劇作家も取り上げ、劇の持つ多様性をも考察する。また、講義のなかで、折に触れ、重要な演劇用語や劇場の種類等も学ぶ。さらに、時間があれば、ビデオを通して、劇作家の生い立ちや背景についても学ぶ。

**講義の内容・
授業スケジュール**

第一回 オリエンテーション(授業の進め方・内容等についての説明)

第二回 ピューリタン(1)

第三回 ピューリタン(2)

第四回 Arthur Miller(1915-2005)(1)

第五回 Arthur Miller(1915-2005)(2)

第六回 Susan Glaspell(1882-1948)

第七回 リアリズムと表現主義(1)

第八回 リアリズムと表現主義(2)

第九回 Eugene O'Neill(1888-1953)(1)

第十回 Eugene O'Neill(1888-1953)(2)

第十一回 劇のプロットの要素

第十二回 Shirley Jackson(1919-65)

第十三回 Alice Gerstenberg(1885-1972)

第十四回 Tennessee Williams(1911-83)(1)

第十五回 Tennessee Williams(1911-83)(2)

第十六回 Thornton Wilder(1897-1975)

第十七回 John Boynton Priestley(1894-1984)

第十八回 「登場人物」

第十九回 Samuel Beckett(1906-89)(1)

第二十回 Samuel Beckett(1906-89)(2)

第二十一回 Harold Pinter(1930-)

第二十二回 Sam Shepard(1943-)

第二十三回 Bernard Pomerance(1940-)

第二十四回 Peter Shaffer(1926-)

第二十五回 Arthur Kopit(1937-)

第二十六回 アリストテレスの『詩学』、ホラティウスの「詩論」(1)

第二十七回 アリストテレスの『詩学』、ホラティウスの「詩論」(2)

第二十八回 中世演劇(1)

第二十九回 中世演劇(2)

第三十回 期末試験

**履修上の留意点
成績評価の方法**

講義の内容をふまえて、劇作品を分析してもらうので、積極的な参加が望ましい。期末試験が全評価の50%、前期の課題が25%、後期の課題が25%とする。一回の課題は原稿用紙400字詰め5枚から10枚(ワープロの場合は、2,000字から4,000字)とする。出席率が3分の2以上を越えなければ、成績は「不合格」とする。

参 考 書 等

- 1) 『楽しく読める英米演劇』ミネルヴァ書房
- 2) プリント

他
学
部
履
修
科
目

履修コード	026401
科目名	アメリカ文学特講I
担当者名	あずま 雄一郎 東 雄一郎

講義のねらい

アメリカ詩を通時的、共時的に考察し、アメリカとは何かを考えるのが、この講義の主眼である。グローバル・ヴィレッジ化や越境化が進行する21世紀において、ダイナミックなアメリカ文学の動向は、アングロ・アメリカン(白人)文学を視座にした従来の閉塞的な把握方法では、捉えきれない。アメリカ文学、広義にはアメリカの芸術一般の根源的な特徴は、その多様性であり、また、アメリカ的なものの必要以上の定義と強調・主張である。How do I find America? What is America? Who is an American? How can I become an American? これらの自意識や自問のうちに、様々なアメリカ詩人たちが、独自の詩を創作している。巨大なサラダポール化したエスニックのアメリカが、今後どのような方向に進もうとしているのか。その未来のヴィジョンを受講者各自に考えて欲しい。アメリカ詩の精読を通して、英語力を高める。なお、リスニング力を高めるために、ジャズやミュージカルの英語の歌も鑑賞する。

講義の内容・授業スケジュール

毎回、数名の詩人・芸術家を取り上げ、その作品を精読します。歴史、文化、社会、時代精神、その時代の思潮も考察します。また各時代の代表的な音楽や映画も随時取り上げます。①アメリカ文学の発生と実用文学、並びに白人移民による先住民への迫害・ジェームスタウンとプリマスが意味するもの(1~4) ②アメリカの荒野と自然・牧歌の夢並びに独立革命(5~7) ③「明白な運命」の嘘・分離戦争としての南北戦争・西部開拓時代・ホイットマンを読む(8~10) ④アマーストの隠遁者の魔女・エミリー・ディキンソンを読む・彼女は如何にして厳格な神を飼い馴らしたのか ⑤アメリカの世紀末からモダニズム・農本主義の完全崩壊と産業資本主義の形成・第1次世界大戦と迷える若者たち・国を捨てた若者たち・パウンドとエリオットを中心に読む ⑥アフリカン・アメリカン文学の台頭・ハーレム、そしてジャズとは何か・ラングストン・ヒューズたちのルネッサンス・地霊を守るモダニスト(11~15) ⑦大恐慌から第2次世界大戦・ピンクのリボンに飾られた小箱(または精巧に作られた壺)のような詩・形式主義者たちの詩を読む(16~18) ⑧沈静した社会への反逆と対抗文化・ビート詩人とギンズバーグを読む・大胆な告白をする病人だ詩人たち ⑨ロバート・ブライ、ジェームズ・ライトの牧歌的冥想とアウトサイダー指向 ⑩ポストモダニズム考察・ソローに帰るエコロジー・ディキンソンの妹リッチのフェミニズム詩を読む(19~20) ⑪祖国を奪われた人々・チカーノ/チカーナの詩人・ネィティブ・アメリカンの詩人を読む(21~24) ⑫アメリカの子どもの詩・マザーグースはボストンに永眠する(26~)

履修上の留意点

無断欠席や、遅刻は厳禁。4回以上、無断欠席をした者は、評価対象外となりますので、留意してください。

成績評価の方法

①年間5回ほどの授業内小レポート(25%) ②2400字以上の前期レポート(25%) ③2400字以上の後期レポート(25%) ④出席点(25%)

教科書
参考書等

新倉俊一著『アメリカ詩入門』研究社 2000円程度
開講時、並びに講義内にて随時指示する。

履修コード	027901
科目名	時事英語
担当者名	からさわ かずとも 唐澤 一友

講義のねらい

時事英語というと、新聞や雑誌等、ジャーナリズムと関連した英語というイメージがありますが、この授業では、必ずしもそういう枠に囚われず、もう少し幅広く、「最近の英語」一般を扱いたいと思っています。リーディングが中心となりますが、随時ビデオなどを用いてリスニング(ディクテーション)の練習も行う予定です。

講義の内容・授業スケジュール

(前期) 1. オリエンテーション、2. ~15. 教科書に沿った演習、(後期) 1. ~15. 教科書に沿った演習

履修上の留意点

必ず予習をしてください。予習の際によく分からなかった点については、授業で積極的に質問して下さい。

成績評価の方法

出席、小テスト、期末テスト、および授業への取り組みにより総合的に評価します。

教科書

使用せず。毎回ハンドアウト等を配布します。

履修コード	033101
科目名	文化地理学
担当者名	<small>おだ まさやす</small> 小田 匡保

講義のねらい 文化地理学の内容は幅広いが、特に宗教地理学の代表的な研究テーマについて研究例に基づき述べる。

講義の内容・授業スケジュール

1. オリエンテーション
2. 文化地理学の概要
- 3～4. 宗教地理学の概要
- 5～11. 宗教分布
- 12～14. 信仰圏
- 15～16. 宗教集落・宗教都市
- 17～20. 巡礼・社寺参詣
- 21～23. 墓地・火葬場
24. 村落の宗教組織

成績評価の方法 成績評価は、試験（前期・後期の2回、持込不可）の点数が基本であり、これに夏休みレポートの点数を加味する。出席は参考程度であるが、半分以上の出席と夏休みレポートの提出を必須条件とする。試験の点数が低い時はもちろんだが、出席回数が足りない場合、レポートが受理されない場合も、単位は認定されない。

教科書 使用しない。
参考書等 授業中に指示する。

他
学
部
履
修
科
目

履修コード	035101
科目名	人口地理学
担当者名	<small>ひらい まこと</small> 平井 誠

講義のねらい 現在「少子高齢化」という現象に関心を集めているが、日本ではこれまでも「過疎・過密」「東京一極集中」「ドーナツ化」など、人口に関する事柄が社会的な課題として議論されてきた。これらの問題はいずれも、人口規模や人口構造の地域的差異に関する問題であり、空間的な視点、地理学的な視点から捉えることによってその理解が容易になる。

本講義は、人口の規模や構造、およびその変化に関する地域性について考える。前期は、人口現象の地域性を把握する上で必要となる基本的な指標やその利用を紹介する。後期は、これらの指標を用いながら、少子高齢社会の現状を考案する。
(各テーマについて2～3回講義する。)

講義の内容・授業スケジュール

1. 人口変化と人口学的方程式
2. 人口変化の要因（出生、死亡）
3. 人口構造（年齢構造、産業構造）
4. 人口分布
5. 人口移動
6. 中間試験
7. コーホートの考え方
8. 少子化と高齢化（展開と要因）
9. 高齢社会の地域性
10. 高齢人口移動
11. 高齢者福祉の地域性
12. まとめ

履修上の留意点 教科書は指定しない。配布資料を用いて講義を行う。簡単な実習を行う場合がある。
成績評価の方法 前期終了時の中間試験および後期のレポート、平常点（出席や提出物）の総合評価とする。
教科書 指定しない。

参考書等 阿藤 誠『現代人口学』日本評論社。
荒井良雄他『日本の人口移動 ライフコースと地域性』古今書院。
大友 篤『日本の人口移動』大蔵省印刷局。
小笠原節夫『人口地理学入門』原書房。
濱 英彦・山口喜一編『地域人口分析の基礎』古今書院。
石川義孝『人口減少と地域』京都大学学術出版会。
その他講義中に紹介する。

履修コード	041001
科目名	現代地理学特論
担当者名	平井 幸弘 <small>ひらい ゆきひろ</small>

講義のねらい 人為的な開発行為によって傷ついた自然の再生を目指す「自然再生推進法」が2003年1月に施行され、2007年11月には「第三次生物多様性国家戦略」が策定されるなど、近年身近な自然・生態系に関する行政や一般市民の関心が高まっている。また、IPCCによる「第4次統合報告書」も2007年11月にまとまり、地球温暖化に対する様々な対応が強く求められるようになった。このような国内外における現代の環境問題を踏まえ、本講義では、とくに水辺の環境問題の事例として、それぞれの地域における人間と環境の関係について、主として自然地理学の視点から考察する。

**講義の内容・
授業スケジュール**

前期は主として日本国内の水辺（河川、海岸、湖沼）を対象として、(1) 日本のラムサール条約登録地をめぐる課題と意義（2回～6回）、(2) 日本の湖沼（霞ヶ浦、宍道湖・中海など）における自然再生への取り組み（7回～10回）、(3) 日本の海岸（オホーツク海沿岸、東京湾、有明海など）における近年の環境問題（11回～15回）。後期は主としてアジアの水辺を対象として、(1) タイのチャオプラヤ川、ソクラー湖、アンダマン海での環境問題（16回～20回）、(2) ベトナムの江河デルタ、メコンデルタ、フエのラグーン地域での海面上昇問題（21回～25回）、(3) 韓国の始華湖、セマングム干拓地、ほか（26回～30回）。

**履修上の留意点
成績評価の方法
教科書
その他**

現実の様々な環境問題に、広い視野から関心を持ち学ぼうとする意欲を期待したい。

出席とレポート及びその発表。受講生が多数の場合は試験を行う。

とくに指定しない。

高校で使う程度の地図帳（二宮書店や帝国書院発行のものなど）と12色の色鉛筆を用意することが望ましい。

履修コード	046601
科目名	日本仏教史
担当者名	松本 信道 <small>まつもと のぶみち</small>

講義のねらい 本講座は、「仏教の日本の受容」というテーマを中心として、日本の古代史を再検討してみようというのがねらいである。仏教が日本に受容された背景を、政治的・社会的・思想的・宗教的環境の中で有機的にとらえていくということを基本的姿勢として講義を進める。とくに、インド・中国・朝鮮半島などの動向も視野に入れた国際的視点と、日本古代社会の皇族・貴族・豪族のみでなく、一般民衆の「苦悩」と「祈り」と「救済」をも視野に入れた民衆史的視点からもアプローチしてみたい。

**講義の内容・
授業スケジュール**

(1) ガイダンス、(2)～(5) インド・中国・朝鮮仏教の成立、(6)～(10) 日本への仏教伝来と受容、(11)～(15) 飛鳥仏教の成立、(16)～(25) 奈良仏教の成立、(26)～(30) 平安仏教の成立

**成績評価の方法
教科書
参考書等**

前期・後期2回のレポートと出席点を総合して評価する。

随時、プリントにて配布します。

速水侑『日本仏教史 古代編』（吉川弘文館）

履修コード	046911
科目名	西洋文化史
担当者名	西浦 麻美子 <small>にしうら まみこ</small>

講義のねらい 古代から20世紀までの西洋服飾の歴史を、図像資料を中心に概説する。各時代の流行の服飾を、その時代特有の美意識や社会背景との関わりの中で理解することを目的とする。

**講義の内容・
授業スケジュール**

(1～3) 古代ギリシャ、ローマ、ビザンチン帝国の服飾（4～6）中世の服飾：色の象徴性（7～8）16世紀の服飾：誇張と変形（9～10）17世紀の服飾：ギャラントリー（11～12）18世紀の服飾：モードの簡素化（13）革命期から19世紀初頭の服飾：エンパイア・スタイル（14）ロマン主義の服飾（15～17）ダンディズムの服飾（18～19）19世紀後半の服飾：クリノリン、バサスル、S字型スタイル（20～21）コルセットをめぐる歴史（22）ジャポニズムの服飾（23）20世紀初頭の服飾（24～29）18世紀後半のフランスにおけるアングロマニーの服飾（30）まとめ

**履修上の留意点
成績評価の方法
教科書
参考書等**

授業内で紹介する参考文献をできるだけ読み、展覧会などに積極的に足を運んでください。学年末試験（60％）と出席状況（40％）により評価する。

深井晃子監修『世界服飾史』1998年刊（美術出版社）2,625円 ISBN4568400422

授業内で随時紹介していく。

履修コード	048401
科目名	日本史特講Ⅶ〔近代〕
担当者名	熊本 史雄

講義のねらい

本講義では、日清・日露戦争期から第一次大戦、第二次大戦を経て、戦後のサンフランシスコ平和条約・日米安全保障条約締結に至るまでの日本外交につき、史料を交えて講述する。

前期では、朝鮮・満洲地域進出の足がかりとなった日清・日露戦争期の日本外交政策を起点に、第一次大戦後の「転換期」に「新外交」を模索したはずの日本が、満州事変を経て日中戦争、アジア・太平洋戦争へと突入していく過程を検証しつつ、その根底に潜む「外交思想」の解明を試みる。

後期には、終戦工作を経て、敗戦後の日本が独立に向けて再生していく過程を、占領期GHQとの折衝交渉をつうじて検証する。

こうした検証と解明をもとに、近代日本の歴史像の一面の提示を併せ行いたい。

講義の内容・
授業スケジュール

- 第1回 前期の授業計画、参考文献などの説明
- 第2回 アジア進出の端緒①
- 第3回 アジア進出の端緒②
- 第4回 第一次大戦と東アジア社会
- 第5回 「転換期」としての戦間期
- 第6回 「新外交」としての「対支文化事業」
- 第7回 「幣原外交」と「田中外交」
- 第8回 若槻礼次郎と海軍軍縮会議
- 第9回 満州事変とその拡大過程 ①
- 第10回 満州事変とその拡大過程 ②
- 第11回 松岡洋右と国際連盟脱退をめぐる動向
- 第12回 「広田外交」と「佐藤外交」
- 第13回 日中戦争への道
- 第14回 日中戦争とその拡大
- 第15回 中間試験
《以上前期》
- 第16回 前期の総括（中間試験返却）／後期の授業計画
- 第17回 日独伊三国同盟と日ソ中立条約 ①
- 第18回 日独伊三国同盟と日ソ中立条約 ②
- 第19回 南進政策と日米関係
- 第20回 日米交渉から日米開戦へ
- 第21回 総力戦体制と銃後の世界
- 第22回 終戦工作と戦後構想
- 第23回 敗戦と占領の開始 ①
- 第24回 敗戦と占領の開始 ②
- 第25回 「自衛外交」の模索
- 第26回 サンフランシスコ講和会議の準備作業 ①
- 第27回 サンフランシスコ講和会議の準備作業 ②
- 第28回 吉田茂の安全保障構想
- 第29回 サンフランシスコ講和条約の締結
- 第30回 日米安全保障条約と行政協定の締結

履修上の留意点

史料の講読を通じて外交政策の決定過程を追体験して欲しい。外交指導者が下した決断の理由は何か、その根底にある主張とは何か、といった問題意識を常に持つことが重要。

成績評価の方法
教科書
参考書等
その他

前・後期2回の試験の成績（70%）、および出席状況と授業態度（30%）で評価する。
とくに指定しない。
適宜紹介する。
講義形式で進め、レジュメと史料を毎回配布する。

他学部
履修科目

履修コード	049711
科目名	東洋史特講Ⅲ〔近世史〕
担当者名	杉山 清彦

講義のねらい 16～18世紀のユーラシアは、モンゴル時代に起源する巨大帝国が各地域世界に並び立つ時代であった。一般に「最後の中華王朝」と理解されている清朝も、マンジュ（満洲）人が皇帝となって広大・多様な領域を統合した帝国であるという点において、オスマン帝国やムガル帝国と並び立つ「大清帝国」として捉えることができる。

本講義では、時系列的な中国史上の一王朝としてではなく、同時代のユーラシアに並立した巨大帝国の一つとして大清帝国を捉え、支配層たるマンジュ人・八旗に焦点を当て、帝国の形成過程とその支配構造について考察する。あわせて、ユーラシアに並存したオスマン・サファヴィー・ムガルといった諸帝国の支配体制との比較検討を行なう。

講義の内容・
授業スケジュール

〔前期〕大清帝国の形成と構造

1. 近世のユーラシア東方 2. 大清帝国の形成と発展 3. 八旗制と帝国の支配構造

〔後期〕大清帝国と近世のユーラシア

4. 中央ユーラシア国家の完成型・モンゴル帝国 5. オスマン帝国とカプ＝クル軍団・イエニチェリ 6. サファヴィー朝とキジルバシ・ゴラーム 7. ムガル帝国とマンサプダール 8. ユーラシアのなかの大清帝国

履修上の留意点

講義形式で行ない、随時アンケート等を実施して受講生との疎通を図る。高校世界史B程度の知識を前提として進めるので、講義中随時紹介する参考文献などを手がかりに、必要な知識は自分でフォローすること。

成績評価の方法
参考書等

前後期各1回課すレポートを基本とし、平常点を参考とする。

講義中適宜紹介する。全般にわたるものとして、岡田英弘・神田信夫・松村潤『紫禁城の栄光』（講談社学術文庫、2006）を薦める。

他
修
学
科
目

履修コード	053201
科目名	哲学史
担当者名	山口 祐弘

講義のねらい ヨーロッパにおける近代哲学の展開を通して哲学とは何かを学び、思索する態度を養う。

講義の内容・
授業スケジュール

<前期> 近代哲学の潮流

I 近代哲学の出発点と問題：デカルト

1 確実な学問の追求、2 方法的懐疑と帰結、3 心身問題

II 大陸合理論：二元論の調停

1 心身平行論－スピノザ 2 单子論－ライプニッツ 3 偶因論－マルブランシュ

III イギリス経験論

1 人間知性の吟味－ロック 2 存在と知覚－バークリー 3 懐疑主義－ヒューム

IV 啓蒙思想

1 感覚論－コンディヤック 2 唯物論－ラマルク、ドルバック 3 決定論－ディドロ

4 功利主義－エルベシウス

V 総括：近代知の抬頭と挫折

<後期> 近代哲学の湖：カント

I カントの見た学問的状況

1 独断論 2 懐疑論 3 批判哲学の課題

II 形而上学への関心

1 諸学問の基礎 2 先天的総合判断 3 形而上学の危機と可能性

III 認識論の革命

1 コペルニクス革命と実験的方法 2 科学的認識の構造 3 観念論と実在論

IV 実践的形而上学

1 行為と自由 2 道徳と形而上学 3 実践と理論

V 総括：近代的人間の全体像

成績評価の方法
教科書

学期毎に小論文を課す。

久保・河合編「原典による哲学の歴史」公論社

山口祐弘「カントにおける人間観の探究」勁草書房

履修コード	058331
科目名	社会心理学A
担当者名	坪井 健

講義のねらい この授業は、われわれが日常的に出会うテーマについて、社会心理学の興味深い研究成果を紹介する。社会心理学は、元来社会学と心理学の境界科学であり、社会学の領域から見れば、かなり心理学的色彩の強い研究が含まれる。この社会心理学A（前期）では、対人関係、集団的影響などの具体的テーマを中心に、ビデオ教材を利用したり、小実験や心理テストなど多彩な方法を用いて、身近な日常テーマの役立つ授業を展開したいと考えている。

- 講義の内容・授業スケジュール**
1. はじめに ー講義の方針と受講の仕方ー
 2. 対人認知と印象形成 ー未知の人をどう認知するかー
 3. 対人関係と自己開示 ーオタクと日本人の自己開示ー
 4. 日本人の対人関係戦略 ー安心社会から信頼社会へー
 5. 自信の社会心理学 ーあなたは自分に自信がありますかー
 6. 対人関係と対人魅力 ー対人魅力の条件とは何かー
 7. 恋愛の社会心理学 ー恋愛と友情に違うのかー
 8. 援助行動抑制要因の研究 ー何故、人は見て見ぬふりをするのかー
 9. 社会的な援手と社会的促進の研究 ーみんなと一緒に食事するのはなぜかー
 10. 同調行動と集団的意志決定 ー集団の意志決定とその危険性ー
 11. カウラ事件とその社会心理学的考察 ー集団脱走はなぜ起こったかー
 12. 同調行動と頻度依存行動 ーいじめの心理ー

履修上の留意点 ビデオ視聴が追加されるので、上記予定は変更する場合がある。授業では資料を配布する。興味を持ったテーマは、紹介文献を参考に各自の関心を深めてもらいたい。リアクションペーパーを配布するので、しっかり記入すること。

成績評価の方法 平常点（出席＋リアクションペーパーの内容＋参加度）50%、課題レポート50%

教科書 授業中、プリントを配布する。

参考書等 その都度指示する。

他
学
部
履
修
科
目

履修コード	058371
科目名	産業と変動の社会学
担当者名	山田 信行

講義のねらい 社会学の観点から産業と社会変動に関する基本的な理解を深めるとともに、労使関係、企業戦略、生産システム、およびグローバル化などの現代的な問題への認識を深める。

講義の内容・授業スケジュール この講義では、労使関係の変化とそれに対する雇主の対応と企業戦略の変化に照準して、生産システムの変遷をたどり、その過程に多国籍企業の展開と日本的なシステムの意義を位置づける。さらに、現代社会の基本的な変動趨勢としてのグローバル化の原因とその影響についても考察する。授業の内容は、以下のとおり。

1. 近代化・産業化・資本主義ー労使関係の成立
2. 労使関係と生産システム
 - (1) テラー主義とその限界
 - (2) フォード主義とその意味
3. ポスト・フォード主義
 - (1) 労使関係の変容とフォード主義の限界
 - (2) 雇主の戦略と新国際分業
 - (3) 多国籍企業の戦略と周辺社会の工業化
 - (4) 日本的生産システム
4. グローバル化と日本的生産システム
 - (1) グローバル化の原因と日本企業
 - (2) 国際移転と普遍性
5. グローバル化とサービス経済化
 - (1) ポスト新国際分業と産業構成の変化
 - (2) 世界都市と移民労働者の流入
6. インフォーマル化の進展
 - (1) インフォーマル・セクターの拡大
 - (2) インフォーマル化の概念と意味

履修上の留意点 継続的に出席することが、講義内容を理解するうえで重要である。

成績評価の方法 中間試験と学期末試験による。

教科書 特になし。

参考書等 山田信行 1998『階級・国家・世界システムー産業と変動のマクロ社会学』ミネルヴァ書房

その他 後期に開講する雇用と労働の社会学もあわせて履修することが望ましい。

履修コード	058381
科目名	雇用と労働の社会学
担当者名	<small>やまだ のぶゆき</small> 山田 信行

講義のねらい 社会学の観点から雇用と労働に関する基本的な理解を深めるとともに、非典型雇用、ワーキング・プア、および外国人労働者などの現代的な問題への認識を深める。

講義の内容・授業スケジュール この講義では、雇用という関係について基礎的な事項を確認したうえで、主として日本を事例として、雇用をめぐる基本的な制度とその現代的な変容について、パート労働や有期雇用の拡大、および外国人労働者の利用に象徴される雇用の多様化とそれに伴う労使関係の変化に言及しながら概説する。講義の内容は、以下のとおり。

1. 雇用という関係—雇用の発生と労使関係の本質
2. 労使関係の歴史的展開—労使関係モデルの変遷とグローバル化
3. 現代日本の産業・労働
 - (1) 年功賃金と終身雇用 (2) フレキシビリティと非典型雇用 (3) フリーター問題 (4) 自主管理活動 (5) 企業別組合と春闘 (6) ユニオンと新しい労働運動 (7) ME革命と技術革新 (8) 日本型コーポラティズム
4. 外国人労働者と看護・ケア労働
 - (1) 日本における外国人労働者 (2) 再生産労働のグローバル化 (3) 外国人看護労働の現状と課題

履修上の留意点 講義の内容を的確に理解するためには、継続的に出席することが重要である。

成績評価の方法 中間試験と学期末試験による。

教科書 とくになし。

参考書 山田信行 1996『労使関係の歴史社会学』ミネルヴァ書房

その他 前期に開講される産業と変動の社会学もあわせて履修することが望ましい。

履修コード	058411
科目名	マス・コミュニケーション論A
担当者名	<small>かわもと まさる</small> 川本 勝

講義のねらい われわれの生活は情報メディアなしでは成立しえなくなっている現状をまず把握する。その現状を基礎にして、マス・コミュニケーション活動が人々の社会生活や社会とどのように関係しているかを考察し、多種多様化した情報メディアの社会的機能を理解するのが、この講義の目的です。

講義の内容・授業スケジュール パーソナル・コミュニケーションからマス・コミュニケーションまで、生活に欠かせないコミュニケーション活動の現状を整理し、その社会的機能と課題について講義する。

第1回目は、オリエンテーション（授業のガイダンス）

1. コミュニケーションとは—その意味、定義と特質—
 2. 社会的コミュニケーションの類型と特質、その規程要因（2～3回）
 3. マス・コミュニケーション活動の現状、特質と課題（数回を予定）
 - ①情報の生産・伝達活動、②報道活動、③論評活動、④教育活動、⑤娯楽の提供活動
 4. マス・コミュニケーション内容の実態と特質（2回）
 5. マス・コミュニケーションの機能類型（2～3回）
- まとめ—マス・コミュニケーションの社会的機能の整理

履修上の留意点 この講義は、マスコミ社会学の学問領域での考察となりますので、他学部他学科の学生は、すでに社会学を履修していることが望ましい。

成績評価の方法 試験により授業内容の理解についての評価を行う。その他、授業時間内に実施する小テストや小レポート、出席を考慮して、総合的に評価する。

教科書 特に使用しない。

参考書等 適宜紹介、指示、配布する。

履修コード	093501
科目名	農業政策
担当者名	みんて よしかず 溝手 芳計

講義のねらい

“工業が先進国型産業であるのに対して農業は途上国型の産業だ”、“工業が環境負荷になりやすいのに対して、農業は環境に優しい産業である”、“食料価格は主に農業の生産性の高さによって決まる”、“日本農業の競争力が低いのは、主に農家の人が甘えているせいだ”、、、こうした認識は果たして正しいでしょうか。

農業は、一方では、他産業、とりわけ川上の農機具・資材産業や川下の食品関連産業などいわゆるアグリビジネスとの関連が強まり、他方で、WTO農業交渉に象徴される国際化への対応を求められるなど、かつて見られなかった激動の時代を迎えています。こうした時代に農業政策のあり方を考えるためには、農業という産業の特質と現代の農業問題の構図を理解するとともに、政策ツールについて批判的に検討していくことが必要です。

授業では、食料問題を入口として、現代農業の産業的特質との関連で日本と世界の農業問題・農業政策について、経済学の視点から説明します。

講義の内容・授業スケジュール

1. 「農業政策」とは（1回）
2. 食料問題と食料政策（6回程度）
3. 農業の特質と現代農業（4回程度）
4. 戦後日本の農業問題と農業政策（6回程度）
5. 農産物価格問題と価格・所得政策（5回程度）
6. グローバリゼーション下における世界の農業（5～8回）

履修上の留意点

充実した授業は、教員の努力だけでできるものではありません。授業中に「コミュニケーション・カード」を配布しますので、授業の感想や質問、意見を書いてください。授業改善の参考にします。

成績評価の方法

成績評価は定期試験（年度末）を基本としますが、授業中に行う小テストの結果を20点の範囲で加点して採点します。追試験有り。

教科書

田代洋一『新版農業問題入門』、大月書店、3150円、ISBN978-4-272-14046-6
中野一新・岡田知弘編『グローバリゼーションと世界の農業』、大月書店、3150円、ISBN978-4-272-14055-8

参考書等

※ どちらも、授業中には使いませんが、予復習してください。
大塚茂・松原豊彦編『現代の食とアグリビジネス』、有斐閣、2100円、ISBN4-641-28094-0
加瀬良明編著『グローバル資本主義と農業』、筑波書房、2940円、ISBN978-4-8119-0332-3 C3033
橋本卓爾ほか編著『食と農の経済学』、ミネルヴァ書房、3150円、ISBN4-623-04012-7

履修コード	094701
科目名	中国経済論
担当者名	小杉 修二

講義のねらい

前期は中華人民共和国の経済を歴史的に学ぶ。その開発目標に着目して、中ソ同盟下の大国志向としての「ソ連モデル」、独自の超大国を志向して米ソと対立した「毛沢東モデル」について学ぶ。後期は現在につながる鄧小平モデルの経済発展と問題点について学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

第1～3週：キーワードの解説を中心に基礎知識にふれる。
 第4週～10週：ソ連モデル期に中国は発展途上国の特徴である機械の生産能力を欠いているという弱点を克服した。現在、中国の知的財産権侵害が問題にもされているが、発展途上国が発展していくとき良かれ悪しかれ、先進的な技術をまねることになる。しかし、世界中のどの国でもまねができるかといえは必ずしもそうではない。まねることも偉大な能力であることはわが日本が示してきた能力である。まねができるだけの基礎的能力のかなりの部分がこの時期に培われたと考えられる。また、年9%近い高度経済成長、国民生活の一定の改善もこの時期に達成された。さらに一定の兵器の自給も達成された。

第11週～15週：毛沢東モデル時期には国家目標は独自の超大国に切り替えられた。この時期中国は一見すると経済発展に背を向けて「革命」を目指していたなどといわれることもある。しかし、この時期に6%程度の経済成長があった。しかし、その成果は国民生活のためには使われず、核ミサイルの開発や米ソとの覇権争いのため、また、後にはソ連との戦争に備える臨戦態勢づくりに消費されてしまった。そしてこの開発戦略のため、中国経済の効率は低下し、行き詰った。これら二つの時期の中国の行き方は良くも悪くも今日にまで続く影を落としている面がある。

後期は鄧小平モデル期（1978年～）の中国を考える。この時期の中国は、平和共存の戦略の下でもうひとつの超大国を目指すべく目覚ましい経済発展を遂げるにいたった。平和共存への転換は臨戦態勢からの脱却を可能にした。資本が乏しいというのが発展途上国の特徴だが、中国は毛沢東式の共産主義の下に「我慢することが共産主義」だとして、さまざまなキャンペーンを通じて消費を抑制し、工場や核ミサイルの開発をしてきた。毛沢東の後継者たち＝「4人組」が敗退したということは、新しい国際条件の下では、国民生活の抑制による経済運営ではなく経済成長による国民生活の向上が新しい経済発展の道として選ばれたということであり、この流れは不可逆的なものである。

第16週～25週：新しい発展戦略は外国の技術・資本を積極的に導入することによって可能になった。中国の低賃金労働力もそれを後押しする要因だった。電機産業にみられる「組み合わせ型」の技術による産業分野では中国はテレビ、パソコン、電子レンジ、洗濯機、冷蔵庫等で世界有数の生産国になった。1人あたりの所得も1000ドルを超えるにいたった。こうした中国の発展を可能にした要因を考えていく。

第26週～30週：産業構造の特徴、地域的な産業集積、産業高度化の課題、日中関係、地域格差、階層格差等について考えていく。

私語、飲食、携帯電話禁止（授業に集中できない人は出席不可）。

前期レポート、後期試験（30%、70%）。

前期 小杉修二『増補 現代中国の国家目的と経済開発』（龍溪書舎 1997年）4000円

加藤弘之・上原一慶編著『中国経済論』ミネルヴァ書房 2004年、馬成三『中国経済の読み方』

ジェトロ、2002年、周牧之『中国経済論』日本経済評論社、2007年

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書
参考書等

他学部
履修科目

履修コード	094801
科目名	アメリカ経済論
担当者名	<small>せとおか ひろみ</small> 瀬戸岡 紘

講義のねらい 現代のアメリカ経済事情を幅ひろくわかりやすく解説します。特別な経済学の予備知識がなくても理解できる授業です。アメリカ経済を自力で理解していく力をつけることが目標です。

講義の内容・授業スケジュール 1回の講義でひとつのテーマをとりあげます。あたらしい情報やトピックスを、解説つきで、つねに受講者に紹介します。アメリカの諸大学の授業にみられる長所を可能なかぎりとり入れた授業です。

以下の項目をさしあたり準備しています。受講者の要望の強いものから講義していきます。◇大統領選挙の動向、◇大統領の今年の経済政策、◇建国の理念と現実、◇アメリカの農業、◇アメリカの工業、◇ベンチャービジネス、◇雇用と労働者、◇商業とサービス、◇金融、◇教育と経済、◇科学技術、◇先端産業、◇経済と環境問題、◇アメリカ社会とヴォランティア、◇女性・マイノリティ、◇ドルの地位、◇アメリカの貿易、◇軍の世界的ネットワークと経済的意義、◇海外援助、◇多国籍企業とアメリカ経済、◇アメリカとEU、◇アメリカと日本、◇アメリカとアジア・太平洋、◇アメリカとカナダ・メキシコ、◇アメリカの経済学、など

履修上の留意点 この講義は、アメリカ経済の個々の現象を羅列的に述べるようなことはしません。むしろ、日々報道されているアメリカ経済の事象を、みなさんが自力で読み解く力をつけるための話に徹します。アメリカものの本には書かれていない事柄をたくさんお話することによって、みなさんが講義に出席してよかったと実感してもらえたらありがたい、と考えています。

アメリカ経済を理解することは、この国が好きであれ嫌いであれ、現代世界経済全体を理解するためのカナメです。現代の国際事情を幅広く解明したい諸君は、この科目を早めに履修して、いっそう広範かつ深い国際理解へとすすむことをお勧めします。

成績評価の方法 随時、受講者には小論を書いてもらい、それで成績評価をします。平常点重視のためまえから、一発勝負の年度末試験は、受講者の強い要望がないかぎり実施しません。

教科書 最新の情報をもとに講義をすすめます。だから特定の教科書は使用しません。講義では、随時よい文献などを紹介していきます。日々のニュースと諸君の周囲にあるさまざまなアメリカものの本の全体がこの講義の教科書ですが、どうしてもいわれれば、

瀬戸岡著『アメリカ理念と現実』(時潮社、2005年)

グリーンバーグ著・瀬戸岡訳『資本主義とアメリカの政治理念』(青木書店、1994年)

瀬戸岡ほか編著『グローバル時代の貿易と投資』(桜井書店、2003年)

をおすすめします。

他
履
修
学
科
目

履修コード	095001
科目名	E U 統合論
担当者名	よじた けん 藤田 憲

講義のねらい	本講義は、域内において通貨統合を実現したEUの国際金融史的特色を、固定相場制が有する「為替変動リスク回避機能」という金融政策的観点から、実証的・理論的に論じる。 本講義の具体的目的は、「国際的通貨当局者間協力」、「中央銀行政策に対する信認」、「裁定取引を含めた国際資本移動」を鍵概念とした、第一次大戦前国際金本位制における「金」と21世紀初頭世界経済において存在感を増す「ユーロ」の相対化である。
講義の内容・授業スケジュール	I. EUにおける通貨統合から何を学ぶのか？(①-②) II. 国際金本位制(③-⑥) III. 再建金本位制(⑦) IV. プレトンウッズシステム(⑧) V. 欧州決済同盟から欧州通貨同盟へ(⑨-⑫) VI. 為替変動リスク回避機能から観る「金」と「ユーロ」(⑬-⑭)
履修上の留意点	国際経済・国際金融に関する基礎的知識を有していることが望ましい。講義の中で、適宜、EU統合関連のショート・ライティングを課すほか、ユーロ圏経済の現状を示す指標に関する小テスト、および発表予定の経済指標を予想するとともにその根拠を明示するレポートを課すことを検討している。「マネー」のダイナミズムに日ごろから接するよう努めること。
成績評価の方法	出席点(1~2割)、講義への参加姿勢およびショート・ライティング(2~3割)、前期講義最終回に実施する中間テスト(5~7割)
教科書 参考書等	特に指定しない。 金井雄一(1989)『イングランド銀行金融政策の形成』名古屋大学出版会 ジョン・ウィリアムソン(須田美矢子・奥村隆平・柳田辰雄訳)(1990)『世界経済とマクロ理論』多賀出版 金井雄一(1994)『ポンドの苦闘—金本位制とは何だったのか』名古屋大学出版会 藤瀬浩司(2004)『改定新版 欧米経済史』放送大学教育振興会 木畑洋一編(2005)『ヨーロッパ統合と国際関係』日本経済評論社 小野塚知二・沼尻見伸編著(2007)『大塚久雄『共同体の基礎理論』を読み直す』日本経済評論社 遠藤乾編(2008)『ヨーロッパ統合史』名古屋大学出版会

他
学
部
履
修
科
目

履修コード	095101
科目名	現代西欧経済論
担当者名	くどう けん 工藤 芽衣

講義のねらい	本講義では、欧州通貨統合の基礎となった欧州通貨制度(European Monetary System)のメカニズムの基礎を学びつつ、EMSへの参加やユーロ導入が、各国の国内経済社会政策とどのような点で問題となり、そして今後どのような問題が起こり得るのかを勉強していきます。個別の焦点としては、独仏英米の政策に焦点をあてることになります。
講義の内容・授業スケジュール	第1回~第3回 プレトンウッズ固定相場制とその崩壊 ① プレトンウッズ体制の設立 ② ドル過剰とプレトンウッズ体制の崩壊 第4回~第5回 スネークの発足と挫折 ① スネーク発足の背景とメカニズム ② スネークの挫折 第6回~第9回 欧州通貨制度(EMS)の展開 ①EMSの設立 ②フランスとEMS—強いフラン政策への転換 ③ドイツ統一とEMS危機 第10~14回ユーロをめぐる諸問題 ① 財政安定協定と各国経済 ② イギリスの参加問題 ③ グローバル経済の中のユーロ 第15回 予備日
成績評価の方法	授業中に行われる小テスト、中間テストによる。
教科書	山下英次『ヨーロッパ通貨統合』勁草書房、2002年。

履修コード	095201
科目名	ロシア・東欧経済論
担当者名	やまがた ひろし 山縣 弘志

講義のねらい

外国経済研究の課題は、その経済事情に通じることではない。むしろ、我々にとっては、日本経済の進むべき方向を考える上でのヒントをそこから引き出すことである。ロシア・東欧経済を研究する場合、異なる文化に基づく人々の行動様式の違い、経済体制の違いの基礎となる思想、体制転換によって露になった経済と人々の生活との関わり、これらのことが特に大きな関心と呼ぶテーマになるだろう。ロシアとソ連の歴史は常に価値判断を伴って語られてきた。多くの場合、証明されるべき結論が前提とされて議論された。そのため、議論はすれ違わざるを得なかった。こうした不毛を終わらせるためには、事実を前提として考えなければならない。事実はいしばしば諸君の常識を覆すはずである。

講義の内容・
授業スケジュール

講義では主としてロシアを取り上げる。前期は、ロシア経済の現状分析と将来展望、問題点を明らかにする内容とし、全体として問題提起を狙いとする講義になる。後期は、歴史的なアプローチによって、問題に答えるためのいくつかの視点を示す。最終的に問題に答えるのは諸君である。

前期

1 ペレストロイカと体制転換

(1) 経済改革と停滞の時代 (2) ペレストロイカとその挫折 (3) 体制転換

2 ロシア・東欧経済の現状

(1) 市場経済化のショック療法 (2) 金融危機 (3) プーチンの時代

3 BRICs の発展と限界

後期

4 社会主義論とロシア革命

(1) マルクスの社会主義論 (2) ロシア革命とレーニン時代

5 ソ連型社会主義の確立と行きづまり

(1) 1930年代とスターリン (2) ソ連型社会主義の特質 (3) 計画経済のフィクション

6 ロシア経済の独自性

(1) 帝政ロシアの資本主義発展 (2) ロシアと日本 ——比較経済の視点——

履修上の留意点

常に現状に留意しそこから問題意識を喚起していきたいので、必ずしも授業計画通りに進まない。配布資料は必要最小限にとどめ、授業中にノートを取ることを推奨する。ウェブ時代にはむしろそれが学習能力を高めるために必要と考えるためである。

成績評価の方法

成績評価はレポート（9月提出、40点配点）と定期試験（自筆ノート持ち込み可、60点配点）によって行う。ダウンロードしただけのレポートは認めない。模範答案等の丸写しは認めない。オリジナリティを評価する。

教科書
その他の

教科書は存在しない。参考書は適宜指示する。

板書には注意を払うが、時間の関係で読みづらくなることもあり得るので、許していただきたい。聞きながら書く習慣を身につけて対応できるものと期待する。

履修コード	097601
科目名	貿易論
担当者名	ふるさつ こうぞう 古沢 紘造

講義のねらい

オゾン層破壊、熱帯林破壊、温暖化、酸性雨、放射能汚染など地球を取り巻く環境はますます深刻になっています。一方、私たち生命体は水・大気・土壌の汚染により生存を脅かされるところまで来ています。本講義では、こうした危機的状況を踏まえ、生命系の経済学の立場に立って、貿易問題、さらには国際分業のあり方について深く考えてみたいと思います。その中で、経済学、生態学、倫理学からなる総合的視角の重要性を認識しつつ、私たちの生活のありようを問うことにも力を注ぎたい。

生命系の経済学とは、人格をもった人間としてのニーズ、環境、資源、地球のすべての生命との共存、などを基準とした主体的な指標の確立と、それを実現し保証する政策と運動を具体的に提出する経済学です。詳しくはポール・エキンズ編著『生命系の経済学』（御茶の水書房）を読まれるとよいでしょう。

講義の内容・授業スケジュール

I. 生産・消費と貿易

1. 農産物と貿易（4～5回）
2. 水産物と貿易（1～2回）
3. 林産物と貿易（1～2回）
4. 鉱物資源と貿易（1～2回）
5. エネルギーと貿易（1～2回）
6. 工業製品と貿易（4～5回）

社会・経済状況の変化に対応して、アップ・ツー・デートな貿易問題も積極的に取り上げるようにしたい。

II. 政治・経済・社会と貿易

1. 自由貿易とその問題点（3～4回）
2. 開発援助と貿易（1～2回）
3. 軍事と貿易（1～2回）
4. 環境と貿易（1～2回）
5. WTOと貿易（2～3回）
6. グローバリゼーションと貿易（3～4回）
7. 持続可能な発展と貿易（1～2回）

成績評価の方法

本試験を基本とするが、提出物（講義ごとのまとめ、前期、後期のまとめ）などを総合して評価を行う。答案やまとめを書くとき、論点を明確にし、自分の考えをしっかりと出すように努力してもらいたい。思考の跡がうかがえないものは、評価の対象とはならないでしょう。

教科書

特にこれといった教科書は使いません。専門用語などむずかしいことは、そのつど説明しますので、授業に出てもらえれば内容は充分理解できると思います。

参考書等

講義の中で興味をもち、もっと知りたいことがありましたら、遠慮なく相談にきてください。参考になる本など教えます（研究室：第2研究館、4階34号室）。

他
学
部
履
修
科
目

履修コード	119701
科目名	経済法
担当者名	わかばやし ありさ 若林 亜理砂

講義のねらい

経済法の中心をなす独占禁止法を理解することを目標とする。独占禁止法は、市場における競争秩序の維持をなうものであるが、これは事業者の活動にかかわるのみならず、私たち消費者の生活にも密着している。この点を念頭に置き、講義では、なるべく多くの事例を紹介することにより、独占禁止法の解釈や運用について具体的なイメージをもって理解できるように進める予定である。

講義の内容・授業スケジュール

以下のトピックについて講義を行う予定である。

- 1 独占禁止法の基礎概念
- 2 不当な取引制限
- 3 私的独占
- 4 一般集中規制
- 5 市場集中規制
- 6 不公正な取引方法
- 7 公正取引委員会
- 8 私的エンフォースメント・刑事罰

成績評価の方法

期末試験により評価を行う。

教科書

丹宗・厚谷編『新現代経済法入門（第2版）』（法律文化社）

参考書等

別冊ジュリスト『独禁法審決・判例百選（第六版）』（有斐閣）

その他

授業は毎回配布するレジュメに基づいて進めることとする（基本的には教科書に沿ったものとなる予定である）。

履修コード	126601
科目名	国際政治学
担当者名	小堀 訓男

講義のねらい 国際社会に展開する政治現象を、政治学的アプローチで論及し、国際政治の本質を理解し、同時に、国家が国際社会のステージで行動するとき、その国家の内部の意思決定のシステムが、どのように作用し合うかを理解することが、本講義の目的である。

講義の内容・授業スケジュール 前期の講義は、国際政治とは、いかなるものか、分かり易く概説する。具体的には、国家、権力、民族、階級、国際政治における権力と道義、国内政治と国際政治等をテーマに基礎的知識の整理をおこなう。

後期では、国際政治と国内政治との関係を理解し、国際政治の本質を、利益、権力政治、国際組織、政治は矛盾であり対立である、というテーマでアプローチして考案する。最後に、国家が国際社会の中で行動するとき、原理、原則があるのだろうか、というテーマで、国家の行動基準、冷戦中、冷戦後の国際政治を検証する。

授業スケジュールは、(1～5)政治学の基礎的知識の整理、(6～8)国家、権力、民族、階級、(9～11)近代国家の特質、(12～15)国際社会の特質、(16～17)国際政治と国内政治、(18～22)国際政治の本質、(23～26)国家の行動基準、(27～30)冷戦中、冷戦後の国際政治の予定である。

履修上の留意点 授業中に読むべき本を紹介いたしますので本を読むことと、TV・新聞・雑誌の報道に日頃から留意すること。

成績評価の方法 1年間に数回程度、授業中に30分のショートテストを実施する。これは講義の理解の程度を知るためであるが、このテストの評価を30%とし、定期試験を70%の評価とする。

教科書 使用しません

参考書 必要に応じて講義のなかで紹介いたします。

他
修
学
科
目
部

履修コード	126701
科目名	ヨーロッパ政治史
担当者名	浦田 早苗

講義のねらい 現代西ヨーロッパの政治は、そこから多くのことを学んできた我々の先達が描いたほど理想的な状態で機能しているわけではなく、数々の矛盾にみちている。自由、平等の精神なり、『華やかにし議会政治』の概念は、激動の現代政治のなかにあっては時として空虚な響きを投げかけてくることは否定できない。しかし、国家や政党、国民や民族といった西洋で生まれた近代政治の概念に再検討が迫られている今ほど、そうした概念の本質を成立した歴史過程のなかで考察することの重要性が問われたときはなかった。本講義では、近代ヨーロッパの歴史全般を概説しながら、ヨーロッパが抱える問題の本質を明らかにすること、及び現代政治を誤りなく把握する上で必要な基礎概念を検討することに視点が置かれている。

講義の内容・授業スケジュール

- ・近代の始点—ルネサンス期と18世紀
- ・英国革命とIRA
- ・ジャコバイトと英国王室
- ・議院内閣制の成立変遷過程
- ・英国における政治腐敗防止過程
- ・フランス革命と国家の概念
- ・フランス政治におけるジャコバン主義
- ・「後発国型近代化」の問題点—ドイツの場合—
- ・統合ヨーロッパの源流

成績評価の方法 年5～6回とる出席点は学年末試験に加算する。試験はあらかじめ提示した2題を出題する。(ノートの持ち込みは不可)

教科書 特に教科書は指定しないが、さらに詳細な研究を望む学生には適宜参考書を推薦する。

履修コード	127501
科目名	地方自治法
担当者名	富井 幸雄

講義のねらい

日本国憲法下における地方自治の法制度を体系的に理解する。すなわち、昭和22年に制定された地方自治法が具体的にいかなる意味をもち現実化されているか、憲法の意図する地方自治の理念がそこに具体化されているかを批判的に検討する。平成12年度より、地方分権を旨とした新しい地方自治制度がスタートする。この改革がいかなる意義をもつのかをきみしめながら、新地方自治法の理念を理解する。

講義の内容・
授業スケジュール

講義は大旨以下のスケジュールで行う。前期は、地方自治の概念、憲法と地方自治、地方公共団体の概念、地方公共団体の事務、住民自治を順に勉強していく。後期は、地方公共団体の組織、自治立法権、自主財政権、公の施設、国と地方公共団体の関係を順に勉強する。なお、前後期それぞれ最後の授業時に試験を実施する。

成績評価の方法
教科書
参考書等
その他

前期試験（40％）と学年末試験（60％）で総合的に評価する。

富井幸雄『新地方自治法読本』2008年4月刊予定（内外出版）

『地方自治判例百選（第3版）』（別冊ジュリスト）。

講義では頻繁に法律の条文に言及するので、その都度チェックすること。憲法や行政法の履修者が望ましいが、少なくとも両法分野について高い関心を持つこと。わからないことは遠慮なく質問に来て欲しい。

履修コード	128201
科目名	比較政治学
担当者名	<small>みたけ たけや</small> 三竹 直哉

講義のねらい

比較政治学は、いろいろな国や地域の事例を比較して、政治現象の因果関係の解明を目指す分野です。この授業では、その一端をご紹介するとともに、みなさん自身が比較研究をするのに役に立つ勉強をすることを目標にします。
「比較」という手法は、あらゆる分野に使える方法ですので、まじめに勉強すると卒業後も役に立つことが多いと思います。

講義の内容・
授業スケジュール

この文章は2008年12月の時点で書いています。この授業には世界や日本で今現在起きている出来事を反映させる必要があります。また、よいドキュメンタリー番組などが放映されれば、積極的に使っていきたいと考えています。参加する学生さんの関心や熱意、人数によって、授業内容も変えていきます。したがって、2008年12月の時点で詳細な授業スケジュールを確定させることはできません。基本的には2009年度も2008年度同様、民主化、民族問題、移民政策といったテーマで授業を進めていき、その後比較研究の方法論の勉強をします。以下はあくまで参考です。

前期

第1回 ガイダンス

第2回～第6回 民主化を考える（ビルマ、ブータン、南アフリカ、日本）

第7回～第13回 ネイションを考える（チベット、クルディスタン、沖縄とアイヌ民族、ベルギー、スリランカ、オーストラリアの先住民族、日本の移民政策）

第14回 ワークショップ（多文化主義）

後期

第15回～第21回 比較の方法を学ぶ（比較方法の基礎、質的比較、ブル代数を使った比較のグループ作業）

第22回～第25回 国際社会に目を向ける（社会的起業による支援、ODA等）

第26回～第27回 日本の難民政策

第28回～第29回 個人発表（希望があれば）・ワークショップ

履修上の留意点

他の多くの授業とやり方が違いますので、一回目のガイダンス授業には必ず出席してください。一回目の授業に参加していない場合、減点が生じる可能性があります。ほぼ毎週文献を読む課題が出ます。基本的に勉強の大半は自分で文献を読むことによるものです。教室には必ず課題を読んでくることが条件です。毎週こつこつやると興味深く感じるが増えていきます。YeStudy を必ず利用します。授業のやり方は、参加人数や大学からあてがわれる教場の設備によっても大きく変わってきます。参加人数が非常に少なければ、ゼミのようにやることもあります。

また、中学校の社会科レベルの内容が身につけていること、新聞（特に国際面）をふだんから読んでいること、高校の社会科レベルの内容で授業に関連することは自分で学習することが条件です。

欠席したときの授業内容は各自の責任で補ってください。就職活動であろうが部活動であろうが、欠席した人を特別扱いすることはありません。（病気による長期欠席の場合は早めに相談してください。）

成績評価の方法

平常点と定期試験によります。参加人数が少なくなった場合、出席を取る可能性があります。一回目の授業に参加していない場合、減点が生じる可能性があります。

教科書
参考書等
その他

指定する可能性はありますが、現時点で未定です。

その都度紹介します。

この文章は2008年12月時点で書いています。変更もあり得ます。最新の情報は YeStudy で確認してください。YeStudy に、前年度に履修した学生さんの感想やアドバイス、授業評価結果を載せますので、参考にしてください。

履修コード	133801
科目名	現代国家論
担当者名	おおつか かつら 大塚 桂

講義のねらい	本講義は近代における日本国家の解明を主たる目的に定めます。具体的には下記の諸課題を検討していきます。第一に近代日本国家の形成過程＝明治国家の構造（前期）であり、第二に日本人の政治的行動様式・観念形態を規定するもの＝政治文化の問題（後期）をとりあげます。
講義の内容・授業スケジュール	I 前期 (1) 幕末維新の政治過程 (2) 内閣官制 (3) 大日本帝国憲法 (4) 統帥権 (5) 帝国議会 (6) 自由民権運動 (7) 地方官官制 (8) 財政 (9) 国家神道 (10) 教育勅語 (11) 社会主義 (12) 大正デモクラシー (13) 天皇制ファシズム (14) 統制経済 (15) 中間試験 II 後期 (16) 日本の宗教①～⑤ (17) 日本人の死生観 (18) タテ社会の原理 (19) 和の精神 (20) ムラ・イエの原理 (21) ホンネとタテマエ (22) 集団指導体制 (23) 意志決定 (24) 被害者意識 (25) 期末試験
成績評価の方法 教科書	授業内における中間試験（50％）と期末試験（50％）により評価します。 大塚桂『明治国家の基本構造』（法律文化社）3200円 大塚桂『日本の政治文化』（勁草書房）2800円
参考書等 その他	上記教科書の巻末にかかげた参考文献を参照のこと。 私の研究室は、第二研究館八階（2835）です。電話は、3418-9377（直）です。

履修コード	139501
科目名	経営学史
担当者名	なかがわ じゆんぺい 中川 淳平

講義のねらい	この講義では、100年あまりにわたる経営学の歴史上、重要なものと位置づけられる学説を、その問題意識に着目し、現代企業経営の諸問題を解決するための技法として解説を加えていく。
講義の内容・授業スケジュール	1. コーポレートガバナンスのための問題解決技法（制度学派など、1-7） 2. リストラクチャリングへの問題解決技法（経営戦略論など、8-15） 3. イノベーションへの問題解決技法（生産管理論など、16-20） 4. コミュニケーションへの問題解決技法（人間関係論など、21-23） 5. セクショナリズムへの問題解決技法（経営組織論など、24-30）
履修上の留意点 成績評価の方法	講義中の私語は慎んで下さい。 定期試験100%。但し講義中などで必要に応じレポートの提出を求められることがあり、内容いかんによってこれを評定に加えることがある。
教科書 参考書等	中川淳平『問題解決のための経営学』泉文堂、2007年。 授業毎に配布するプリントに適宜指示する。

他学部
履修科目

履修コード	139601
科目名	経営史
担当者名	前田 和利

講義のねらい

経営史を学ぶことによって企業経営における進化のプロセスを理解することが可能となる。本講義では、方法論を検討したうえで、経営発達史における各段階の典型国をとりあげて講義するが、その際できるだけ産業・企業の歴史や国際比較の視点をふまえて進化モデルを提示し、日本の企業経営の特質を明らかにする。

講義の内容・授業スケジュール

- I. 経営史の学び方（1回）
- II. 経営史研究の課題と方法（4回）
伝統的経営史、企業者史、組織総合理論、新動向
- III. 企業経営発達史
 1. 企業経営の生成（4回）
商人資本の経営、マニファクチュア経営
 2. 企業経営の確立（3回）
産業革命、工場制度
 3. 確立期企業経営の諸様相（5回）
企業経営者と行動原理、企業形態と企業金融、労務管理、流通・販売組織
 4. 企業経営の発展（7回）
市場と技術、大量生産システム、大企業の形成と戦略・組織、巨大企業の成立と管理機構
 5. 企業経営の変容（3回）
大企業体制の動揺と新動向（経営戦略と経営組織の変遷）
 6. 日本における企業経営の進化（3回）
進化の特質、歴史的ケース

履修上の留意点

教科書は使用しないので、配布するレジュメおよび下記の参考書を参照し、必ずノートを整理しておくこと。年に4～5回簡単な問題等を提示して回答してもらう予定である。

成績評価の方法

学年末試験による評価を90%、出席時に提出した回答を10%とする。

教科書

使用しない。

参考書等

榎本悟『アメリカ経営史学の研究』新版（同文館）、大河内暁男『経営史講義』（第2版）（東京大学出版会）、米倉誠一郎『経営革命の構造』（岩波新書）、安部悦生『経営史』（日経文庫）、鈴木良隆ほか『ビジネスの歴史』（有斐閣）、経営史学会編『外国経営史の基礎知識』（有斐閣）、橘川武郎ほか編『進化の経営史』（有斐閣）。その他随時紹介する。

履修コード	141201
科目名	アメリカ経営学
担当者名	宮城 徹

講義のねらい

世界の経営学をリードしているのは、いうまでもなく、アメリカ経営学とドイツ経営学である。そして、日本の経営学の研究・教育は、第2次大戦前はドイツ経営学から、大戦後はアメリカ経営学から圧倒的な支配的影響を受けて発展してきた。ところが、特に1960年代以降になると、ドイツ経営学にもアメリカ経営学の影響が顕著に見られるようになった。

学生諸君は、必修科目である「経営学」の授業を通じて、無意識のうちに、アメリカとドイツの経営学にかんする基礎知識をある程度身につけていることを前提とした上で、経営学徒のメッカ、アメリカ経営学をその最先端の理論的・経験的研究の基本的成果を踏まえて全般的に講義するが、主として、下記の授業計画の9つの要目について検討する。その際、日本の企業との関連についても検討を加える。

講義の内容・授業スケジュール

マイクと板書。教科書は指定しない。

この授業は1週1回90分で年間30週の時間数(ただし、期末試験日を入れて)から成る。最初の授業時間は、この科目を選択するか否かを判断するために下見に来ている学生諸君に、アメリカ経営学の1年間の授業の概要を説明する。原則として、下記の授業計画の要目をそれぞれカッコ内の授業回数(合計29回)で完結する予定である。

なお、この授業回数は一応の目安であり、授業時間が祝祭日に当たる場合は授業の進展状況によって若干変更することがある。

(2009年度『アメリカ経営学』授業計画)

- I 1年間の授業の概要 (1)
- II 経営学の対象と方法 (2)
- III 意思決定と権力(パワー:マハト)(2)
- IV 戦略(特に提携、グループ、ファミリー)(2)
- V 取引コスト理論(6)
- VI プロパティ・ライツ理論(4)
- VII プリンシパル・エージェント理論(5)
- VIII 契約の理論(3)
- IX 企業のモジュラー化(4)

成績評価の方法

期末筆記試験。なお、学生諸君の理解度と教育効果を確かめるために、期末試験以外に、小試験をおこない、その結果を評価の対象に加味することがある。

《期末試験の出題形式》

複数の問題から1題選択して論述する。詳細は試験前の授業で説明する。

参考書等

- 1 宮城徹『企業の政治理論序説』(税務経理協会)1983:1999年
 - 2 宮城徹「企業制度とプロパティ・ライツ理論」『商学研究科紀要』(早大、第20号)1985年
 - 3 宮城徹「情報と企業経営の理論的諸問題」日本経営学会編『情報化の進展と企業経営』(千倉書房)1987年
 - 4 宮城徹「経営者論」鈴木英寿編『経営学総論』(第2版)(成文堂)1989:1999年
 - 5 宮城徹「経営学の歴史」藤芳誠一編『新版・新時代の経営学』(学文社)1983:1993年
 - 6 宮城徹「組織の経済理論の基礎構造」日本経営学会編『現代経営学の課題』(千倉書房)1997年
 - 7 宮城徹「企業統治の研究の統合の一試論」『駒大経営研究』第31巻 第1・2号、2000年
 - 8 宮城徹(単独訳書)『情報時代の企業管理の教科書—組織の経済理論の応用—』(税務経理協会)2000:2009年(A.Picot u.a.,Die grenzenlose Unternehmung, Gabler, 1998)
 - 9 宮城徹(共訳書)『新制度派経済学による組織入門』(白桃書房)1999:2007年(A.Picot u.a.,Organisation. Eine ökonomische Perspektive, Schaffer-Poeschel, 1997)
 - 10 宮城徹「企業文化と組織の経済理論」遠山正朗編著『ケースに学ぶ企業の文化』(敬愛大学学術叢書)(白桃書房)2003年
 - 11 宮城徹(訳稿)「民主的な経済政策と社会政策の理論的基礎—O. ウィリアムソンの貢献*—」*Ingo Pies: Theoretische Grundlagen demokratischer Wirtschafts- und Gesellschaftspolitik—Der Beitrag Oliver Williamsons, in: Ingo Pies und Martin Leschke (Hrsg.) (2001): Oliver Williamsons Organisationsökonomik, Tübingen: Mohr Siebeck, S. 1-27. 『駒大経営研究』第39巻第3・4号(2008年)
 - 12 宮城徹(訳稿)「取引対相互作用、特異性対拡散効果および結束した行為者のレーゾンデートル—組織の経済学の構想の新しい志向を求めて*—」*Ingo Pies: Transaktion versus Interaktion, Spezifität versus Brisanz und die raison d'être korporativer Akteure—Zur konzeptionellen Neuausrichtung der Organisationsökonomik, in: Ingo Pies und Martin Leschke (Hrsg.) (2001): Oliver Williamsons Organisationsökonomik, Tübingen: Mohr Siebeck, S.95-119. 『駒大経営研究』第39巻第3・4号(2008年)
- ここでは紙幅の関係で上記の授業内容に直接関連のある私の著書・論文・訳書だけを参考文献の一部として掲げておいたが、その他の文献については適宜紹介しておく。

履修コード	141301
科目名	経営分析論
担当者名	<small>かたがりのおと</small> 片桐 伸夫

講義のねらい 経営分析とは、文字どおり「企業の経営を分析すること」であり、かなり多方面にわたる内容もっています。

皆さんが将来を託そうとする会社は、

- 1 財政的に安定しているだろうか（安定性分析）、
 - 2 「儲け」はどうだろうか（収益性分析）、
 - 3 経営活動の成果はきちんと配分されているだろうか（生産性分析）、
 - 4 長期的な会社の「伸び」はどうだろうか（成長性分析）、また、
 - 5 社会に対してどのように貢献しているだろうか（社会性分析）、
- といった内容です。

講義の内容・
授業スケジュール

(1) 経営分析について、(2-6) 経営分析の資料、貸借対照表・損益計算書の読み方、(7-12) 収益性・安定性分析、製造業-製造原価報告書、(13-15) 貸借対照表・損益計算書問題、安定性・収益性比率の計算問題、(16-20) 生産性分析、標準原価、損益分岐点分析、(21-26) キャッシュフロー計算書、連結財務諸表、(27-30) 税効果会計、正味現在価値法と設備投資

履修上の留意点

この授業の目的は、「財務諸表分析」を中心に、各人が就職を希望する、あるいは興味を持っている会社の「分析」をしていただくことにあります。つたなくても、さきやかでも、その成果は皆さんの貴重な「財産」です。

成績評価の方法

成績評価はレポートと授業中のテストで行います。学年末試験は行いませんので注意ください。

評価基準 前期レポート40%、前期小テスト10%、

後期レポート40%、後期小テスト10%、

☆質問は授業以外にも研究室2307号室で随時受け付けますので、遠慮なくおいでください。

教科書

開講時、指示します。

参考書等

随時、紹介します。

他
学
部
履
修
科
目

履修コード	141701
科目名	国際経済論
担当者名	<small>ながた ともひ</small> 永田 智則

講義のねらい 本講義の目的は、現実には生じている国際経済現象の解明に役立つような基礎的理論を簡潔に提示することにあります。「なぜ貿易が行われるのか」から説き起こし、最近の東アジアの経済発展に大きな役割を演じている「直接投資」まで題材にして講義する予定です。

分析道具が習得できれば、それを利用することによって現実の国際経済現象を自ら解明できるようになるはずで。

講義の内容・
授業スケジュール

(1) 国際経済学の意義、(2-7) 国際分業論、(8-12) 貿易政策、(13-15) 経済成長と貿易、(16-22) 国際マクロ経済学、(23-25) 外国為替と国際収支、(26-30) 資本の国際移動

履修上の留意点

現実の世界経済の動きを題材にしますので、新聞等で報道される関連ニュースに接しておいてください。

成績評価の方法

原則として学年末の定期試験で評価しますが、授業への出席も重視します。途中、検討課題を出すことも考えていますので、総合的な評価になることもあります。定期試験だけを受けて、要領よく単位をとりたいたいと考えている人は、受講を遠慮して下さい。

教科書

下記の書物と、授業中に配布するプリントを併用します。

参考書等

仙頭佳樹著「最もやさしい国際経済学」多賀出版、2800円+税、ISBN4-8115-6491-X
随時必要に応じて紹介します。

履修コード	141901
科目名	税務会計論
担当者名	たかき かつら 高木 克己

講義のねらい 今日、租税は我々個人にとっては、所得税、相続税等の問題として、また、企業にとっては、法人税の問題が大きな関心事として存在している。ここ数年、法人税も税率の引き下げをはじめ、多くの改正が行われている。本講義では、普通法人（株式会社等）を前提とした法人税の算定過程を中心に講義を進めていく。

税務会計とは、一般に企業における課税所得の算定過程を研究する分野をいう。この課税所得は、会社法あるいは企業会計原則等によって算出された利益にもとづいて算定される。ここでは、法人税法固有の規定（いわゆる別段の定め）が適用され、負担の公平、簡便性、あるいは政策的配慮等さまざまな考え方が反映されている。講義では、こうした税法固有の考え方の根拠、背景等を出来るだけやさしく説明しながら、今日、法人税法の抱えている問題点を明らかにしていきたいと考える。

講義の内容・授業スケジュール

講義内容の概要は次のとおりである。

(1～2) 税務会計の制度的基礎、(3～5) 法人税の意義、性格、納税義務者等、(6～8) 事業年度、同族会社、(9～12) 課税所得計算の基礎、(13～16) 販売収益、請負収益、有価証券譲渡益等、(17～21) 売上原価、減価償却、寄付金、交際費等、(22～24) 税額の計算、申告、納付等、(25～28) 企業組織再編税制、連結納税制度等、(29～30) 国際課税、不服申立・訴訟等

履修上の留意点

「簿記学」「会计学」等の基礎的な会計科目を修得した上で履修した方がより理解が深まると思われる。

**成績評価の方法
教科書
参考書等**

原則として学年末の試験によって評価する。前期末に小テストを行う。

開講時に指示する。

開講時に指示する。

他学部
履修科目

履修コード	142351
科目名	リスクマネジメント論
担当者名	いしなづか くにあき 石名坂 邦昭

講義のねらい 近年、企業を取り巻く環境は多種多様なリスクに囲まれている。企業はそれらのリスクを征服しなければ、安定経営は望めない。企業を取り巻くリスクにはどのようなものがあるかを知り、それらにどのように対処したらよいかを講義の中心とする。

講義の内容・授業スケジュール

リスクマネジメントの生成について学び、リスクマネジメント・プロセスについて講義を行う。その後、PLリスクや環境リスクについて学ぶ。

①リスクマネジメントの生成と発達、1～3、②リスクマネジメントの理論、4～10、③企業経営とリスクマネジメント、11～20、④PLとリスクマネジメント、21～25、⑤環境リスクとリスクマネジメント、26～30

**履修上の留意点
成績評価の方法
教科書
参考書等
その他**

ノートをしっかりととること

定期試験の成績と平常点

特になし

リスクマネジメントの理論 石名坂邦昭著 白桃書房

授業にまじめに出席すること

履修コード	143231
科目名	消費者行動論
担当者名	菅野 佐織

講義のねらい この授業では、人の消費場面における心理的作用と、それらと企業のマーケティング活動の相互作用について考え、理解することを目的としています。今日の企業のマーケティング活動においては、消費者のインサイトを掴むことが欠かせません。この授業では、身近な事例や企業ケースを用いて、消費者の心理を学ぶだけでなく、企業のマーケティング活動と消費者行動分析のリンクについて考えていきたいと思います。また、企業の方をお招きしての講義も予定しています。

講義の内容・授業スケジュール

1. 授業計画の説明とイントロダクション
- 2～5. マーケティング戦略と消費者行動
- 6～10. 消費者行動研究の歴史
- 11～18. 消費者の購買意思決定過程
19. 実務家を招いてのゲストスピーカー講義
- 20～24. 消費者行動の影響要因
- 25～28. 企業のマーケティング戦略と消費者行動のリンク
29. 実務家を招いてのゲストスピーカー講義
30. 講義のまとめ

履修上の留意点

授業中に学生の皆さんに意見を求めるので積極的に参加してください。なお、この授業を履修するにあたっては、マーケティングの基礎的な知識が必要となります。そのため、マーケティング論を履修していない者の場合には、独学でマーケティングを勉強する必要がありますのでご注意ください。

成績評価の方法
教科書

出席点(数回)、レポート課題、定期試験によって評価します。
授業時に資料を配布します。理解を深めるために下記の参考書を予習・復習の参考にしてください。

参考書等

杉本徹雄編『消費者理解のための心理学』1997年(福村出版)2730円
清水聡『新しい消費者行動』1999年(千倉書房)3360円

他
履修
科目
部

履修コード	143241
科目名	マーケティング・コミュニケーション論
担当者名	中野 香織

講義のねらい 近年は、マーケティングそのものがマーケティング・コミュニケーション(MC)だと認識され始めてきた。その背景には、マス広告が効かなくなってきたことに加え、様々な手段によって消費者との関係性を構築する必要がうまれてきたことなどがある。このような背景のもと、日常生活で接するもの全てをコミュニケーションのためのメディアと捉える統合型マーケティング・コミュニケーション(IMC)が、今後重要になってくるだろう。そこで本講義ではIMCを包括的に理解してもらうことを目的とし、理論的な説明に加えて事例紹介やゲスト(実務担当者)による講義等、実践的な説明も行う。

講義の内容・授業スケジュール

講義は3段階に分けて行う。初めにマーケティング・コミュニケーション(MC)の全体構造を説明する。次にMCを構成する具体的な戦略を説明し、最後に各MC戦略がどのように統合されるのかを説明する。

- (1～5) マーケティング・コミュニケーション(MC)の全体構造、(6～9) 広告戦略、(10～12) 販売促進戦略、(13) ゲストスピーカー、(14) 商品コミュニケーション戦略、(15～17) 店頭MC戦略、(18～19) PR戦略、(20～21) パーソナル・コミュニケーション戦略、(22～23) ダイレクトマーケティング戦略、(24～25) インタラクティブマーケティング戦略、(26～27) IMC戦略、(28～30) ケース研究とまとめ

成績評価の方法
教科書
参考書等

平常点20%、中間試験30%、学期末試験50%で評価する。
教科書は使わず、レジユメを配布する。
亀井昭宏・疋田聡編『新広告論』2005年刊(日本経済新聞社)1,800円、嶋村和恵監修『新しい広告』2006年刊(電通)2,000円、岸志津江・田中洋・嶋村和恵『現代広告論』2000年刊(有斐閣)2,000円、上条典夫監修・内藤敏夫責任編集『実践マーケティング・コミュニケーションズ』2005年刊(電通)2,200円

履修コード	143251
科目名	マーケティング・チャネル論
担当者名	青木 茂樹 <small>あおき しげき</small>

講義のねらい

我々が手にしている商品、とくにブランドとして認知されている商品は、ある一企業の戦略目的に基づき、他の流通パートナーをコントロールしながら成果を挙げていくために形成されたマーケティング・チャネルを経由してきている。

従来はメーカーがチャネル・リーダーとなって、これらが形成され、卸売業、小売業がこれによりコントロールされてきた。近年は従来、被支配的な立場とされてきた卸売業や小売業が、主体的にチャネル・リーダーとなって、自社のブランドを強めていく例も増えてきた。また新しいツールとしてのインターネットにおいて、チャネル構築を試みる中小企業や農林水産業者も出てきている。

本稿では、これまでの中心であったメーカーの国内マーケティング・チャネル戦略から、情報化・国際化の中で形成されていく新たなマーケティング・チャネルまでを考察していく。将来、マーケティングや営業を志向する学生にとっては必須の科目となろう。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1) メーカーによる垂直的マーケティング・チャネル
- 2) マーケティング・チャネル構築・管理の諸理論
- 3) プライベート・ブランドに見られるマーケティング・チャネル戦略
- 4) 国際マーケティングにおけるマーケティング・チャネル戦略
- 5) 農林水産物におけるマーケティング戦略とチャネル管理
- 6) インターネットにおけるマーケティング・チャネル管理
- 7) 生産財マーケティングにおけるマーケティング・チャネル管理

履修上の留意点

流通システム論を既習していることが望ましい。講義形式ではあるが、学生・教員相互に名札を付けるなどして、学生の主体的な発言と双方向のコミュニケーションを促す。

成績評価の方法

毎回の小テストと、個人レポート（またはテスト）の評価をベースとする。場合によっては、グループレポートおよびその発表を評価に加えることもある。また、講義内の自主的発言1回に対して1点以上のボーナス点が与えられる。

教科書
参考書等

小林哲・南和恵子(2004)『流通・営業戦略』有斐閣アルマ。
日経MJ編(2008)『日経MJトレンド情報 マーケティング・ハンドブック <2009年版>』日本経済新聞社。
Erin Anderson,Louis W.Stern,Adel I,El-Ansary,Anne T.Coughlan(2001) *Marketing Channels*,The Prentice Hall,978-0130127723。

他
学
部
履
修
科
目

履修コード	164601
科目名	医療宗教学
担当者名	吉津 宜英

講義のねらい この科目は将来皆さんが医療の現場に出お仕事をされる時、患者さんと接する場合に役立つことを目的としています。科目名が「医療宗教学」となっていますが、宗教学を講義するつもりはありません。それは「仏教と人間」という宗教教育科目で学んでもらいたいと思います。私はむしろ「医療人間学」というぐらいの科目名で考えてもらいたいと思います。医療人としての皆さんは様々な患者さんに出会うことでしょう。医療技術には自信があっても、人間的には好悪の感情は否定できないし、大いにストレスを感じることでしょう。どんなに嫌いな人であっても、誠意をもって治療に当たらなくてはなりません。そのためには皆さんの人間性においてどんな人にも柔軟に対処できる姿勢が形成されていなくてははいけないと思います。この科目は様々な宗教的、また哲学的な人間観を示して、その参考に供したいと思います。ある一定の自分の人間観を持つと共に、いろいろな人々の人間観を認めることのできる医療者になったほしいのです。

講義の内容・授業スケジュール 昨年も取り上げたのですが、今年もヴィクトール・フランクル(1905-1997)の一連の著作を取り上げたいと思います。彼は『夜と霧』(みすず書房)に書いているように、ナチスドイツの時代に強制収容所に入り、生死の境をさまよいました。その中である悟りを得て、解放されてから本来彼の仕事である精神療法家として活躍しました。彼はフロイトやアドラーから学んでいますが、彼らを批判的に位置づけ、フランクル独自の実存分析を体系化しました。彼の『それでも人生にイエスと言う』(春秋社)でも、自分が人生に問いかけて、人生に何の意味があるかを考えるよりも、人生の方から自己に次々と投げかけてくる課題に誠実に応答することが大事であると言っています。ある意味では楽天的人間観と言えましょう。フランクルの宗教的背景はユダヤ教ですが、彼はあまりそのことにもこだわらないのです。ただこの科目ではフランクルの人間観を相対化するために、他の人々の人間観、仏教の人間観にも関連させながら講義を進めたいと思います。

履修上の留意点 この科目専用のノートを用意して下さい。講義内容を筆記すると共に自分の意見や疑問を書きとめ、全体を通して受講と思索の軌跡が残るようにしてもらいたいと希望します。

成績評価の方法 毎回出席を取り、2回ほど課題提出をお願いし、最後に1月に試験を行い、その結果を総合して成績評価を行います。

教科書 特に使用しない。出来るだけプリントを配布します。

参考書等 講義の中で随時紹介します。

その他 私の講義の最中でも挙手して質問して下さい。私語は厳禁です。あまり目立つ場合は退場を要請します。授業開始時間後30分を経過してからは教場に入らないで下さい。

履修コード	164701
科目名	医療経済学
担当者名	松元 和敏

講義のねらい この科目を理解するには、医療で使われる言葉、システム、法律等について知ること、さらに医療制度を学ぶ必要がある。これらをやさしく解説しながら医療経済学を学習する。今や医療制度および医療経営を論ずるとき、医療経済を無視出来ない状況にある。これから医療で働く人特にリーダーには欠かせない学問である。是非多くの学生に学んで頂きたい。

- 講義の内容・授業スケジュール**
1. 医療経済学を理解するために
 2. 医療経済学の経済学的基礎
 3. 医療経済学とはなにか
 4. 医療と最新の経済学
 5. 医療の仕組みを経済学で分析する
 6. 医療のプレイヤーとその行動
 7. 米国の医療制度を考える
 8. 日本の医療制度を考える

履修上の留意点 実践に即した内容にするために参加型の授業を目指し、積極的な参加を求める。

成績評価の方法 出席、レポート、試験

教科書 真野俊樹著「入門 医療経済学」(中公新書)、820円

参考書等 ① 医療の質用語事典「日本規格協会」3000円

② 図説 国民衛生の動向2008「厚生統計協会」1600円

履修コード	427501
科目名	メディア・コミュニケーション概論
担当者名	<small>にしおか よろこ</small> 西岡 洋子

講義のねらい 本講義では、コミュニケーションの基本機能およびコミュニケーションにおいて活用されるメディアの基本的特性を理解することを目的とする。まずは、コミュニケーションの基本的構造モデルを紹介したのちに、コミュニケーション主体の違いによって展開される異なるレベルのコミュニケーション（個人、グループ、マスのレベル）があることを理解する。さらには、それぞれのコミュニケーションにおいてどのようなメディアが活用されているか、さらには、それがどのように使い分けられ、また、変化しようとしている大きな傾向を理解する。

講義の内容・授業スケジュール

1. イントロダクション
コミュニケーション・モデル
2. パーソナル・コミュニケーション
人と人とのコミュニケーション
電話コミュニケーション
3. グループ・コミュニケーション
集団・組織のコミュニケーション（企業の例を中心にして）
地域コミュニティのコミュニケーション
集団行動のコミュニケーション（噂とクチコミ）
4. マス・コミュニケーション
マス・メディアの変貌
マス・コミュニケーション研究
マーケティング・コミュニケーション（広告、PR）
5. グローバル・コミュニケーション
6. まとめ

履修上の留意点 社会における様々なコミュニケーション行為とメディア、その使い分けについて意識を持つように心がけて欲しい。

成績評価の方法 テスト、レポート、平常点などで総合的に評価する。
教科書 船津衛 『コミュニケーション・入門』有斐閣アルマ、1996年、1,785円、ISBN 9784641120198

参考書等 講義中に指示する。

他
学
部
履
修
科
目

履修コード	432001
科目名	情報メディア産業論I
担当者名	<small>ふけ ひでのり</small> 福家 秀紀

講義のねらい インターネットをはじめとした様々なネットワークの特性を理解するとともに、ブロードバンド・インターネットの急速な普及により大きく変化している、日本の情報メディア産業の現状と課題を理解することを目的とします。

講義の内容・授業スケジュール

- (1) 情報メディア産業とは、(2)～(3) 情報メディア産業を理解するためのキーワード、(4) 電気通信、(5) 放送、(6) 携帯電話、(7)～(8) インターネット、(9) 新聞、(10) 出版、(11) 広告、(12) 映像コンテンツ、(13) 音楽、(14)～(15) まとめ

履修上の留意点

情報メディア産業の変化のスピードは極めて速いので、日頃から新聞、雑誌などの情報メディア関連の記事を読む習慣を身につけておいて下さい。また、レジュメは事前に授業支援システムに掲載しますので、予習をしてから受講して下さい。

成績評価の方法

各授業時間終了時に作成する講義概要、レポート、定期試験、および出席状況を総合的に評価します。

教科書

特に指定しません。

参考書等

- ・村井純、『インターネット』、岩波書店、650円、4-00-430416-4
- ・湯浅正敏他、『メディア産業論』、有斐閣、1,800円、4-641-17311-7
- ・その他講義の中で適宜紹介します。

その他

レジュメを配布する他、新聞記事なども適宜使用します。

履修コード	432201
科目名	ネットワークコミュニケーション論
担当者名	菅谷 実

講義のねらい 社会のコミュニケーション活動を支える情報ネットワークの基礎的知識の修得とネットワークの進化が社会のコミュニケーション活動にどのような影響を及ぼしてきたかを明らかにすることを目的としている。具体的には、人的組織、物理的ネットワーク、情報ネットワークの歴史、仕組み、機能、運営等を明らかにする。

前半は、「ネットワークとコミュニケーション」というテーマで、社会的コミュニケーション活動とネットワークの関係を明らかにする。具体的には、組織とネットワーク、組織コミュニケーション、ネットワーク産業の特質などを論じる。

後半は、「情報ネットワーク発展の歴史」を、各ネットワーク産業ごとに明らかにする。具体的には、郵便、交通、通信、放送、インターネットなどのネットワークの発展過程を論じる。まとめの部分においては、今後、ますます進化が期待されている「ネットワークの融合と社会的コミュニケーション」を取り上げる。具体的には、融合化が進むネットワーク環境のなかで社会的コミュニケーション活動がどのような影響を受け、変容していくかを展望する。

**講義の内容・
授業スケジュール**

第1部 ネットワークとコミュニケーション

1. ネットワークと経営

企業経営とは

企業活動にとっての情報基盤の重要性

クローズネットワークとオープンネットワーク

2. 企業組織とネットワーク

企業組織

組織コミュニケーション

3. ネットワーク産業の特質

ネットワーク産業の構造

ネットワーク産業の変容

第2部 情報ネットワーク発展の歴史

4. 郵便制度

物流と情報流を支える流通ネットワーク

郵便サービス

郵便局

民営化

情報ネットワークとしての郵便ネットワーク

5. 交通ネットワーク

貨物輸送

国内旅客輸送

国際輸送

6. 放送ネットワーク

放送ネットワーク種別

放送規制

テレビ放送ネットワークの発展

7. 通信ネットワーク

通信事業者の種別

通信ネットワークの構造

制度の変容

8. インターネット

発展の歴史

ブロードバンドネットワーク

ネットワーク機能

第3部 ネットワークの融合

9. ネットワークの融合

10. ネットワークの高度化と経営環境の変化

講義には毎回出席してください

平常点と期末テスト

特に指定しない。

初回講義時に紹介する。

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書
参考書等

他
履修
学
科
目
部

履修コード	432401
科目名	比較メディア制度論
担当者名	にしおか ようこ 西岡 洋子

講義のねらい 放送の世界的な競争の歴史を理解するとともに、日本、米国、EU主要国、韓国などの放送制度とその変化の方向性について、特徴および制度形成の背景を理解する。また、適宜、日本との比較を行うことで、各国の制度が互いに影響し合っていることを理解する。

講義の内容・授業スケジュール

- (1) 本講義のアプローチ
- (2) 世界の放送の歴史
- (3) 日本の放送制度
放送制度の概要と意義
通信と放送の融合に対応した制度改革
- (4) 米国の放送制度
- (5) EU主要国の放送制度
- (6) 韓国の放送制度
- (7) まとめ

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書
参考書等

メディア政策論または同様の講義を受講していることが望ましい。
テスト、レポート、平常点などで総合的に判断する。
講義中に指示する。
講義中に指示する。

履修コード	432601
科目名	グローバルアート政策論
担当者名	かわさき けんいち 川崎 賢一

講義のねらい 現代文化システムの特徴・機能・可能性、について、文化政策 (cultural policies) 特に芸術文化政策をキーワードとして論じる。文化的グローバリゼーションにより、国家単位の文化システムが、越境的・グローバルな展開を遂げつつある、その中核的な機能を果たしている。その成立過程、展開・普及家庭、そして将来の可能性を展望する。

講義の内容・授業スケジュール

文化政策のオリジナルを、西欧諸国等にイギリスとアメリカに求め、その歴史と展開を概観する。その後1980年代以降のグローバルな展開を、アジア諸国への普及を例とし、比較の観点から概説する。

- <スケジュール>
1. イントロダクション
 2. 文化政策とは何か？その期限と展開の概略
 3. ファインアートカルチャーとポピュラーカルチャー
 4. 文化階層と文化政策
 5. 文化政策の3タイプ：アメリカ型
 6. 文化政策の3タイプ：アジア型(シンガポールと中国(その1))
 7. 文化政策の3タイプ：アジア型(シンガポールと中国(その2))
 8. 文化政策の3タイプ：中間型 (イギリス)
 9. 文化政策の3タイプ:(中間型(フランスとイタリア))
 10. 文化政策の3タイプ:中間型(他のヨーロッパ諸国)
 11. 文化政策の3タイプ：中間型(日本)
 12. 文化政策と国際文化交流
 13. 文化政策と文化産業のシナジー
 14. 文化政策の限界と可能性
 15. まとめ

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書
参考書等

授業以外に、文化政策について調べてもらう予定である。
学期末のテスト、あるいは、学期末のレポート、プラス、平常点・出席点等を加算する。
授業の中で指示する。
川崎賢一、「トランスフォーマティブ・カルチャー」、勁草書房、2006年
佐々木・川崎・河島 (共編)、「グローバル化する文化政策」、勁草書房、2009年

履修コード	434301
科目名	情報保護と社会
担当者名	なまむら けんじ 苗村 憲司

講義のねらい 社会活動の全般的な情報化が進展するのにしたがって、情報の価値が増大している。小説、映画、音楽、コンピュータプログラム、データベース、マルチメディア情報等のように経済的価値がありしかも公開された情報については、著作権法等の知的財産権法による保護に適している。企業秘密やプライバシー情報のように経済的価値がありしかも非公開の情報についてはセキュリティ上の対策が必要になる。また、危険な情報から子供を守るための対策も必要となる。この科目では、日本の知的財産戦略および情報セキュリティ政策との関連を含め、情報保護のニーズとこれに対応する種々の社会的方策について考察する。

講義の内容・授業スケジュール

- ①情報化社会における情報の価値とその保護の必要性
- ②知的財産権の保護に関する政策と技術（1. 知的財産戦略）
- ③知的財産権の保護に関する政策と技術（2. 著作権制度）
- ④知的財産権の保護に関する政策と技術（3. 著作権保護技術）
- ⑤知的財産権の保護に関する政策と技術（4. 産業財産権の保護と課題）
- ⑥知的財産権の保護に関する政策と技術（5. 営業秘密の保護と課題）
- ⑦情報セキュリティに関する政策と技術（1. 個人情報保護政策）
- ⑧情報セキュリティに関する政策と技術（2. 情報セキュリティ政策）
- ⑨情報セキュリティに関する政策と技術（3. 情報セキュリティ・マネジメント）
- ⑩情報セキュリティに関する政策と技術（4. 暗号技術）
- ⑪情報セキュリティに関する政策と技術（5. 情報セキュリティ技術の高度化と応用）
- ⑫グローバル環境における情報保護の課題（1. 国際機関の果たす役割）
- ⑬グローバル環境における情報保護の課題（2. 有害情報からの児童の保護）
- ⑭グローバル環境における情報保護の課題（3. 情報保護の新たな展望）
- ⑮まとめ

成績評価の方法

- 次の2項目を総合して評価する。
1. 授業時間に行うミニテストの成績（合計30点）
 2. 期末試験の成績（70点）
- ただし、遅刻と欠席の回数に応じて減点する。

**教科書
参考書等**

<http://www.komazawa-u.ac.jp/~naemura/ps/> 上に電子教材を提供する。
電子教材の中で参考書を紹介する。

履修コード	435001
科目名	映像コンテンツ論
担当者名	テヅカ ヨシハル

講義のねらい 講義のねらい：映像コンテンツ産業の象徴的中核である映画産業のグローバル化の歴史をたどり、アメリカ大衆文化の世界的拡大とそれに伴う文化の同一化ならびに多様化の問題を検証します。19世紀末における映画伝来以来、日本の映画産業と文化はいかに近代化・アメリカ化・グローバル化の波に対応してきたのか解き明かし、現代日本の文化状況を批判的に検証する教養を養います。

講義の内容・授業スケジュール

アドルフ／ホーケイマーの文化産業論、ウォルター・ベンヤミンの複製芸術論等、メディア&カルチュラル・スタディーズにおける基本文献を紹介し、戦後から前世紀末までの日本映画産業史を情報化／グローバル化の文脈から分析します。

**履修上の留意点
成績評価の方法
参考書等**

現代思想に興味があり、社会科学の基礎を履修していることが望ましい。
授業中の発言、レポート、口頭試問によって総合的に評価する。
アドルフ／ホルクハイマー著、啓蒙の弁証法—哲学的断想（2007）、岩波文庫 青 692-1
グレアム・ターナー著、金智子他訳、カルチュラル・スタディーズ入門—理論と英国での発展（1999）、作品社
ポール ドゥー・ゲイ他著、暮沢剛己翻訳、実践カルチュラル・スタディーズ—ソニー・ウォークマンの戦略（2000）、大修館書店

履修コード	437101
科目名	メディアと知識論
担当者名	齋藤 信男

講義のねらい

メディアは人間の知識の表現と言えるが、その作成、操作、管理などをより効率的、効果的に行う事を支援する知的な処理の基本的な考え方をまず理解する。知識処理の具体例としてセマンティックWEBを取り上げ、メタデータを利用したインテリジェントなWEBの操作を体験する。更に、メタデータの作成、その操作、基本的な辞書構築、自然言語処理機能の利用など知識表現やその処理に関連する課題について理解し考えていく。メタデータが、高度なコミュニケーション環境や社会システムの実現に寄与し、今後のWEB利用における種々のイノベーションに発展していく可能性を探る。

講義の内容・授業スケジュール

- 以下の具体的な項目を学んでいく。
- (1) この講義の目的
 - (2-4) 知識表現、知識獲得、知識管理など従来の手法の概括とその課題を考える。
 - (5-7) 論理と推論 命題論理、述語論理の基礎、推論の意味
 - (8-11) セマンティックWEBについて、その基本的機能、構造を学ぶ。メタデータ記述言語 RDF(Resource Description Framework)、オントロジーとその記述言語 OWL、RDFに対する検索言語 SPARCLについて、その概要を学び、具体的な演習を行う。また、セマンティックWEBの応用例をいくつか取り上げ、その効果、メタデータによる種々のWEBの統合化、RSSへの適用などを学ぶ。
 - (12-14) コンテンツマネジメントシステムについて、その意味付け、知識処理との関係、具体例などを学ぶ。
 - (15) まとめ、将来に実現すると思われる知識社会への展望などを学び、講義全体のまとめとする。

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書
参考書等
その他

実際のシステムをなるべく体験できるような演習を行う。
いくつかの課題レポート、総合課題、および出席の総合評価により判定する。
特に指定しない。
講義の内容に応じて、その都度紹介する。
WEBシステムについて、その基礎的理解をしておくことが望ましい。

他
学
部
履
修
科
目

IV 「日本語」・「日本事情」科目

「日本語」
「日本事情」

履修コード	230511
科目名	日本語入門I a
担当者名	鈴木 ^{すずき} 美希 ^{みき}

講義のねらい 日本語学習歴が150時間未満までの学生を対象とし、基本的な文法、語彙、文字の習得を目指す。
 講義の内容・授業スケジュール 短い文章を読みながら、文法、語彙、文字の学習をする。

履修上の留意点

- ◆非漢字圏の学生で、日本語の学習経験が全くないか、ほとんどない学生を対象としているため、漢字圏の学生および、ある程度の日本語力を持つ学生は受講できない。
- ◆「日本語入門IIa」と連続して講義を行うため、「日本語入門Ia」と「日本語入門IIa」は同時に受講することが望ましい。
- ◆履修者数の制限をする場合があるので、必ず初回の授業に出席し、担当者の承認を得ること。
- ◆5回以上欠席した場合、単位を認めないことがある。

成績評価の方法 平常点（出席率・授業への参加度・小テスト・提出物）と期末試験から総合的に評価する。授業態度を重視する。

教科書 授業時に指定する。
 その他 辞書を持ってくること。

履修コード	230521
科目名	日本語入門I b
担当者名	鈴木 ^{すずき} 美希 ^{みき}

講義のねらい 日本語学習歴が150時間程度の学生を対象とし、基本的な文法、語彙、文字の習得を目指す。
 講義の内容・授業スケジュール 「日本語入門Ia」の続きとして講義を行う。短めの文章を読みながら文法、語彙、文字の学習をする。

履修上の留意点

- ◆非漢字圏の学生を対象としているため、漢字圏の学生は受講できない。
- ◆「日本語入門Ia」「日本語入門IIa」を受講した学生を前提とするが、日本語のレベルが適当であれば受講を認める。
- ◆「日本語入門IIb」と連続して講義を行うため、「日本語入門Ib」と「日本語入門IIb」は同時に受講することが望ましい。
- ◆履修者数の制限をする場合があるので、必ず初回の授業に出席し、担当者の承認を得ること。
- ◆5回以上欠席した場合、単位を認めないことがある。

成績評価の方法 平常点（出席率・授業への参加度・小テスト・提出物）と期末試験から総合的に評価する。授業態度を重視する。

教科書 授業時に指定する。
 その他 辞書を持ってくること。

「日本語」
「日本事情」

履修コード	230531
科目名	日本語入門II a
担当者名	鈴木 ^{すずき} 美希 ^{みき}

講義のねらい 日本語学習歴が150時間未満までの学生を対象とし、「日本語入門Ia」で学んだことをもとに、「話す、聞く、書く、読む」の4技能を高め、総合的な日本語力の向上を目指す。

講義の内容・授業スケジュール 身近なトピックによる作文とスピーチの練習を繰り返す。また、他の人の作文を読んだり、スピーチを聞いたりした後、質疑応答・意見交換を行う。

履修上の留意点

- ◆非漢字圏の学生で、日本語の学習経験が全くないか、ほとんどない学生を対象としているため、漢字圏の学生および、ある程度の日本語力を持つ学生は受講できない。
- ◆「日本語入門Ia」と連続して講義を行うため、「日本語入門Ia」と「日本語入門IIa」は同時に受講することが望ましい。
- ◆履修者数の制限をする場合があるので、必ず初回の授業に出席し、担当者の承認を得ること。
- ◆5回以上欠席した場合、単位を認めないことがある。

成績評価の方法 平常点（出席率・授業への参加度・小テスト・提出物）と期末試験から総合的に評価する。授業態度を重視する。

教科書 必要に応じてプリントを配布する。
 その他 辞書を持ってくること。

履修コード	230541
科目名	日本語入門II b
担当者名	鈴木 美希

講義のねらい 日本語学習歴が150時間程度の学生を対象とし、「話す、聞く、書く、読む」の4技能を高め、総合的な日本語力の向上を目指す。

講義の内容・授業スケジュール 簡単なアンケート調査を実施し、結果をクラスで発表することが最終課題であり、アンケート用紙の作成の仕方、アンケートの仕方、結果のまとめ方、発表の仕方等の練習をする。

履修上の留意点 ◆非漢字圏の学生を対象としているため、漢字圏の学生は受講できない。
◆「日本語入門 Ia」「日本語入門 IIa」を受講した学生を前提とする。
◆「日本語入門I b」と連続して講義を行うため、「日本語入門I b」と「日本語入門II b」は同時に受講することが望ましい。
◆履修者数の制限をする場合があるので、必ず初回の授業に出席し、担当者の承認を得ること。
◆5回以上欠席した場合、単位を認めないことがある。

成績評価の方法 平常点（出席率・授業への参加度・小テスト・提出物）と期末試験から総合的に評価する。授業態度を重視する。

教科書 その他 必要に応じてプリントを配布する。
辞書を持ってくること。

履修コード	230611
科目名	日本語I a
担当者名	佐野 典子

講義のねらい 本講義は、留学生を対象とし、日本語のみならず、広く日本文化の把握を目的とする。

講義の内容・授業スケジュール 授業は、日本の劇場用映画を主教材とし、日本語を勉強すると同時に、日本人のものの考え方や行動パターン、日本文化の特質を探る。

履修上の留意点 教材は、担当者が用意する。

成績評価の方法 成績は、提出物（毎週）、試験、授業への参加度、出席率等により、総合的に評価する。

履修コード	230621
科目名	日本語I b
担当者名	佐野 典子

講義のねらい 本講義は、留学生を対象とし、日本語のみならず、広く日本文化の把握を目的とする。

講義の内容・授業スケジュール 授業は、日本の劇場用映画を主教材とし、日本語を勉強すると同時に、日本人のものの考え方や行動パターン、日本文化の特質を探る。

履修上の留意点 教材は、担当者が用意する。

成績評価の方法 成績は、提出物（毎週）、試験、授業への参加度、出席率等により、総合的に評価する。

履修コード	230631
科目名	日本語I a
担当者名	多田 羅 哲子

講義のねらい 語彙・表現を豊かにし、日本語の理解力、表現力を高める。

講義の内容・授業スケジュール 衣③・食①・住②・学生生活④⑤など日常の場面ごとに、よく使われる漢語・和語・外来語・擬音語・擬態語・機能語・慣用表現などを紹介し、生の文章を読む、書くなどを通して実際にどう使われているかを知り、より豊かな表現ができるようにする。

成績評価の方法 出席率・平常点（小テスト・提出物・授業への参加度）、期末テストの成績から総合的に評価する。

教科書 プリントを配布する。
辞書を持ってくること。

履修コード	230641
科目名	日本語I b
担当者名	多田羅 哲子

講義のねらい 語彙・表現を豊かにし、日本語の理解力・表現力を高める。

講義の内容・授業スケジュール 日本語 Ia に続き政治⑥・法律⑦・経済⑧・文化⑩・社会問題⑨などの分野ごとに、よく使われる漢語・和語・外来語・省略語・慣用表現など日本語の知識を高め、ニュースを見る、読む、自分の考えを述べるなどを通してより深く理解できるようにする。

成績評価の方法 出席率・平常点（小テスト・提出物・授業への参加度）、期末試験から総合的に評価する。

教科書 プリントを配布する。
辞書を持ってくること。

履修コード	230711
科目名	日本語II a
担当者名	佐野 典子

講義のねらい 本講義は、留学生を対象とし、日本語の聴解力、及び読解力の向上を目的とする。

講義の内容・授業スケジュール 授業では、テレビドラマのVTRを教材に、実際に話される日本語がどのようなものか学習し、同時に、書き言葉、話し言葉の違いを把握する。

履修上の留意点 教材は、担当者が用意する。

成績評価の方法 成績は、提出物（毎週）、試験、授業への参加度、出席率等により、総合的に評価する。

履修コード	230721
科目名	日本語II a
担当者名	多田羅 哲子

講義のねらい 話すことを中心に日本語の運用能力を高める。

講義の内容・授業スケジュール 人前で話すことに慣れ、言うべきことが、正しく適切な表現を用いて効果的に相手に伝わることを目指す。
発音・アクセント・イントネーション等、自分で見直し矯正する習慣をつける。
紹介・インタビュー・情報提供のスピーチをして、質疑応答・意見交換を行う。ほかの人のスピーチの内容・感想・意見などを限られた時間内に文章にまとめる。
テープで自分が話した日本語を聞く。必要に応じて発音・アクセント・話し方等の練習をする。

履修上の留意点 授業活動が大切なので出席し、授業に積極的に参加すること。

成績評価の方法 平常点（出席、授業への参加度、提出物など）を重視する。期末テストも行う。

教科書 必要に応じてプリントを配布する。

履修コード	230811
科目名	日本語II b
担当者名	佐野 典子

講義のねらい 本講義は、留学生を対象とし、日本語の聴解力、及び読解力の向上を目的とする。

講義の内容・授業スケジュール 授業では、テレビドラマのVTRを教材に、実際に話される日本語がどのようなものか学習し、同時に、書き言葉、話し言葉の違いを把握する。

履修上の留意点 教材は、担当者が用意する。

成績評価の方法 成績は、提出物（毎週）、試験、授業への参加度、出席率等により、総合的に評価する。

履修コード	230821
科目名	日本語II b
担当者名	多田羅 哲子

講義のねらい 話すことを中心に日本語の運用能力を高める。

講義の内容・授業スケジュール 自分の考えを、正しく適切な表現を用いて効果的に説得力を持って相手に伝えることを目指す。
発音・アクセント・イントネーション等を自分で見直し矯正する習慣をつける。
意見表明や提言のスピーチ・ディベートを行う。スピーチのあと質疑応答・討論を行い、最後に自分の意見とその根拠を文章にまとめることによって論理的に話したり書いたりする練習をする。

履修上の留意点 テープで、自分が話した日本語を聞く。
授業活動が大切なので出席し積極的に授業に参加すること。

成績評価の方法 平常点（出席、授業への参加度、提出物など）を重視する。期末テストも行う。

教科書 必要に応じてプリントを配布する。

「日本語」
「日本事情」

履修コード	230911
科目名	日本語III a
担当者名	多田羅 哲子

講義のねらい 聞き取ることを中心に日本語の総合能力を強化する。
まず内容を聞き取って把握すると共に、相手や立場、場面にふさわしい話し言葉の使い方を知る。次に話し言葉と書き言葉の違いを知り、レポートを書く練習の第一歩とする。

講義の内容・授業スケジュール ビデオでドラマ・講演などを聞き取り、敬語、くだけた表現、改まった表現など場面・立場・相手によって使い分ける自然な話しかたに慣れ、スピードにも慣れる。語彙表を使って聞き取った内容を文章にまとめることで豊かな表現を身につけ、書き言葉で書く練習もする。

成績評価の方法 平常点（出席、授業への参加度、提出物など）を重視する。期末テストも行う。

教科書 ビデオを準備し必要に応じてプリントを配布する。
辞書を持ってくること。

履修コード	230921
科目名	日本語III a
担当者名	湯村 礼子

講義のねらい これまでに修得してきた日本語能力をさらに高め、文献を自分で調べながら読み、理解できるようになること、さらに、文献を通して考え、自分の意見を持ち、発表、説明ができるようになることをめざす。

講義の内容・授業スケジュール 新聞・雑誌・専門書などから教材を選び、辞書や事典、他の資料を使って詳しく調べながら読み、理解を深める。その後、意見を出し合い討論をして、さらに認識を深め、最後に小レポートを提出する。2コマで一つの文章・記事を読み進め、一学期中に七つの題材を扱う予定。

履修上の留意点 授業活動を重視するので、当然、毎時間の出席を原則とする。調べてくる宿題が出る。なお、第1週・第2週の授業を続けて欠席した者は履修を許可しない場合があるので注意すること。

成績評価の方法 小レポート、小テスト、授業活動50%
期末試験50%

教科書 最初の授業時に指定する。

履修コード	231011
科目名	日本語III b
担当者名	多田羅 哲子

講義のねらい 聞き取ることを中心に日本語の総合的能力を強化する。
前期をふまえ、さらに聞きとりの強化とレポートを書くための文章力の強化をする。

講義の内容・授業スケジュール ドキュメンタリー、ニュース関連番組などのビデオを用い、今話題になっている問題の内容を聞き取る。
聞き取った内容等をまとめながら、レポートの書き方の練習をする。

成績評価の方法 平常点（出席、授業への参加度、提出物など）を重視する。

教科書 ビデオを準備し必要に応じてプリントを配布する。
辞書を持ってくること。

履修コード	231021
科目名	日本語III b
担当者名	湯村 礼子

講義のねらい 日本語III aの続きとして、文献を自分で調べながら読み、理解できるようになること、さらに、文献を通して考え、自分の意見を持ち、発表、説明ができるようになることをめざす。

講義の内容・授業スケジュール 教材を辞書や事典、他の資料を使って詳しく調べながら読み、理解を深める。その後、意見を出し合い討論をして、さらに認識を深め、最後に小レポートを提出する。2コマで一つの文章・記事を読み進め、一学期中に七つの題材を扱う予定。

履修上の留意点 授業活動を重視するので、当然、毎時間の出席を原則とする。調べて来て発表することがある。なお、第1週・第2週の授業を続けて欠席した者は履修を許可しない場合があるので注意すること。

成績評価の方法 小レポート、小テスト、授業活動50%
期末試験50%

教科書 最初の授業時に指定する。

履修コード	231111
科目名	日本語Ⅳa
担当者名	鈴木 美希

講義のねらい	中級レベルの日本語学習（日本語能力試験2級程度）を修了した学生を対象とし、「話す、書く」を中心に日本語力の向上を目指す。他の人と情報・意見交換をすることにより自分の考えを深め、論理的にわかりやすい説明ができるようになること、説得力のある意見が述べられるようになることを目標とする。
講義の内容・授業スケジュール	日本文化や今、日本社会で問題となっていることの中から幾つかのトピックを設定し、そのトピックに関する資料を読んで理解を深めた後、自分の意見を文章でまとめ、発表する。フォーマルな話し言葉と書き言葉を学ぶ。講義はグループワークを中心に進めるため、学生同士の活発な意見交換を望む。
履修上の留意点	◆履修者数の制限をする場合があるので、必ず初回の授業に出席し、担当者の承認を得ること。 ◆5回以上欠席した場合、単位を認めないことがある。
成績評価の方法	平常点（出席率・授業への参加度・小テスト・提出物）と期末試験から総合的に評価する。授業態度を重視する。
教科書その他	必要に応じてプリントを配布する。 辞書を持ってくること。

履修コード	231121
科目名	日本語Ⅳa
担当者名	湯村 礼子

講義のねらい	文章表現を中心に学び、日本語の知識を深め、大学生として必要な表現力をさらに高めることを目的とする。
講義の内容・授業スケジュール	レポートの書き方を学習する。事実・情報を正確に伝える文章を書くために、文、段落、構成などの基本から始める。授業は、講義、そして実践として書き、必要に応じて書き直しをするというように進める。 （1～5）文章の基本—文・段落・構成—（6～10）レポートの方法—主題・材料・アウトライン等—（11～15）レポートの形式—表紙・序論・本論・結論・参考文献—
履修上の留意点	授業活動が重要となるので、毎時間の出席を原則とする。第1・第2週の授業を続けて欠席した者は、履修を許可しない場合があるので注意すること。
成績評価の方法	提出物・小テスト・授業活動（授業での発言、授業態度など）50% 期末テスト50%
教科書	教科書は授業時に指定する。

履修コード	231211
科目名	日本語Ⅳb
担当者名	鈴木 美希

講義のねらい	中級レベルの日本語学習（日本語能力試験2級程度）を修了した学生を対象とし、「話す、書く」を中心に日本語力の向上を目指す。他の人と情報・意見交換をすることにより自分の考えを深め、論理的にわかりやすい説明ができるようになること、説得力のある意見が述べられるようになることを目標とする。
講義の内容・授業スケジュール	日本文化や今、日本社会で問題となっていることの中から幾つかのトピックを設定し、そのトピックに関する資料を読んで理解を深めた後、自分の意見を文章でまとめ、発表する。フォーマルな話し言葉と書き言葉を学ぶ。講義はグループワークを中心に進めるため、学生同士の活発な意見交換を望む。
履修上の留意点	◆履修者数の制限をする場合があるので、必ず初回の授業に出席し、担当者の承認を得ること。 ◆5回以上欠席した場合、単位を認めないことがある。
成績評価の方法	平常点（出席率・授業への参加度・小テスト・提出物）と期末試験から総合的に評価する。授業態度を重視する。
教科書その他	必要に応じてプリントを配布する。 辞書を持ってくること。

履修コード	231221
科目名	日本語IV b
担当者名	湯村 礼子

講義のねらい 文章表現を中心に学び、日本語の知識を深め、大学生として必要な表現力をさらに高めることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール レポート、意見文を学習する。授業は、講義、そして実践として書き、必要に応じて書き直しをするというように進める。(1～7) レポートを書く (8～15) 意見文の書き方、実践

履修上の留意点 授業活動が重要となるので、毎時間の出席を原則とする。第1週・第2週の授業を続けて欠席した者は履修を許可しない場合があるので注意すること。

成績評価の方法 作文(3～4回) 50%
提出物・小テスト・授業活動(授業での発言、授業態度など) 50%

教科書 教科書は授業時に指定する。

履修コード	231311
科目名	日本語V a
担当者名	石川 守

講義のねらい しっかりとした日本語の基礎を築くために概念シラバス、機能シラバスの観点からやっています。日本語の基本となる部分、呼称や指示詞などから始めます。もう一度しっかりとした日本語の基本を復習したい人におすすめします。

講義の内容・授業スケジュール 日本語の話し言葉や書き言葉の文体から、会話や基礎文法が復習ができるように構成されています。まず会話特有の表現から始まり、呼称、指示詞、存在や場所関係の表現、数詞、形容詞など日本語コミュニケーションの基本的なものを学んでいきます。

履修上の留意点 履修者数の制限をする場合があります。最初の授業で教員の承認を得てください。最初の授業で許可を得ない者は、履修を認めないことがあります。

成績評価の方法 試験50%、平常点(出席、授業態度)50%の合計。ただし、成績評価は駒沢大学の新評価法により行っていますので、高得点をとっても、悪い成績が付く可能性があります。

教科書 特になし。授業中にプリントを配ります。

参考書等 辞書を持ってきてください。

その他 受講態度を重視しています。

「日本語
日本事情」

履修コード	231321
科目名	日本語V a
担当者名	多田羅 哲子

講義のねらい 読むことを通して日本語の読解力、表現力を高める。特に今、話題になっているニュース等について読んだり説明したり意見を述べたりする力をつける。

講義の内容・授業スケジュール レポートを書くための基礎を学ぶ。
各種の新聞記事など時事問題を中心に読む。見出しから内容を推測したりわかる言葉から概要をつかむ練習をし、さらに自分で調べながら細部まで読み、内容について説明したり、意見発表を行う。

履修上の留意点 それらを文章にまとめる。

成績評価の方法 平常点(小テスト・提出物・授業の参加度)を重視する。期末テストも行う。

教科書 プリント配布する。

辞書を持ってくること。

履修コード	231411
科目名	日本語V b
担当者名	石川 守

講義のねらい 日本語 Va に続けて、日本語コミュニケーションの会話に必要な基本的な文法について学んでいきます。特に日本語の基礎を固めたい人におすすめです。

講義の内容・授業スケジュール 日本語 Va の続きをやっていきます。

履修上の留意点 日本語 Va に準じますので、そちらを参照してください。

成績評価の方法 試験50%、平常点(出席、授業態度)50%の合計。ただし、成績評価は駒沢大学の新評価法により行っていますので、高得点をとっても、悪い成績が付く可能性があります。

教科書 特になし。授業中にプリントなどを配ります。

参考書等 辞書を持ってきて下さい。

その他 受講態度を重視しています。

履修コード	231421
科目名	日本語Vb
担当者名	多田羅 哲子

講義のねらい 読むことを通して日本語の読解力、表現力も高め、時事的問題について読んだり読したり文章で意見を述べたりする力を養う。

講義の内容・授業スケジュール 各自関心のある新聞記事等を読み、内容を発表する。その内容に関して話し合ったり、文章を書いたりする。

成績評価の方法 平常点（小テスト・発表・提出物・授業への参加度）を重視する。期末テストも行う。

教科書 プリントを配布する。

辞書を持ってくること。

履修コード	231511
科目名	日本語VIa
担当者名	石川 守

講義のねらい 日本語の中上級文法を話し言葉、書き言葉、コミュニケーションの観点からテキストを使いながらやっていきます。

講義の内容・授業スケジュール 授業は中上級の文型に関するもの、特に型の似ているものの用法や意味の違い、類義的な表現の用法の違いなどを中心に、用例に出てくる語句の意味の分析、発音やアクセントなどもやっていきたいと思っています。スケジュールはテキストの初めから順次やっていきたいと思っています。

履修上の留意点 履修者数の制限をする場合があります。最初の授業で教員の承認を得てください。最初の授業で許可を得ない者は履修を認めません。ご注意ください。

成績評価の方法 試験50%、平常点（出席、授業態度）50%の合計。ただし、成績評価は駒沢大学の新評価法により行っていますので、高得点をとっても、悪い成績が付く可能性があります。

教科書等 使用するテキストは、授業中にプリントで配ります。

その他 辞書を持ってきてください。授業態度を重視しています。

「日本語」
「日本事情」

履修コード	231521
科目名	日本語VIa
担当者名	多田羅 哲子

講義のねらい 文章読解を通して日本語の総合力を高めると共に日本人の考え方にふれる。

講義の内容・授業スケジュール 雑誌を中心にさまざまな文章を読み、その内容を把握し、感想や意見を述べる。現在よく使われているカタカナ語、語句の意味や使い方、漢字の読み、文法事項等についても各自調べ、確認しながら細部まで理解して読む。

成績評価の方法 平常点（提出物・小テスト・授業への参加度）、出席率、期末試験の成績から総合的に評価する。

教科書 プリントを配布する。

辞書を持ってくること。

履修コード	231611
科目名	日本語VIb
担当者名	石川 守

講義のねらい 日本語 VIa の続きをやっていきますので、基本的に変更はありません。日本語 VIa を参照してください。

講義の内容・授業スケジュール 日本語 VIa の続きをやっていくため、日本語 VIa を参照してください。

履修上の留意点 履修者数の制限をする場合があります。最初の授業で必ず教員の承認を得てください。最初の授業で許可を得ない者は、履修を認めません。ご注意ください。

成績評価の方法 試験50%、平常点（出席、授業態度）50%の合計。ただし、成績評価は駒沢大学の新評価法により行っていますので、高得点をとっても、悪い成績が付く可能性があります。

教科書等 授業中にテキストのプリントを配ります。

その他 辞書を持ってきてください。受講態度を重視しています。

履修コード	231621
科目名	日本語VIb
担当者名	多田 羅 哲子

講義のねらい 文章読解を通して日本語の総合力を高めると共に日本人の考え方にふれる。

講義の内容・授業スケジュール 雑誌を中心にさまざまな文章を読み、その内容を把握し感想や意見を述べる。現在よく使われているカタカナ語、語句の意味や使い方、漢字の読み、文法事項等についても復習し、確認しながら理解していく。

成績評価の方法 平常点（提出物・小テスト・授業への参加度）、出席率、期末試験の成績から総合的に評価する。

教科書 プリントを配布する。
辞書を持ってくること。

履修コード	231701
科目名	日本事情I〔地理〕
担当者名	高橋 健太郎

講義のねらい 人々の生活や地域社会の特徴と変化を、空間的側面と関連づけて考えるという人文地理学の視点から、日本の諸地域に対する理解を深める。

講義の内容・授業スケジュール この授業では、最初に、日本の地理的特徴や、日本人の文化や生活の地域性について説明する。その後、受講生2～3人で1つの班を作り、班ごとに、日本の各都道府県の地理的特徴について調べ、授業で発表してもらう。
また、駒澤大学の周辺地域、つまり東京近郊地域の特徴や変容を理解するために、大学の外に出て、見学も行なう。

履修上の留意点 第1回目に授業の案内を行なうので必ず出席のこと。また、学外見学の際の交通費や施設入場料は各自の負担となる。

成績評価の方法 頻繁に教場で作成してもらう小レポート、班ごとの発表の内容、学外見学のレポート、および学期末レポートで評価する。

教科書 使用しない。授業中にプリントを配布する。

「日本事情」

履修コード	231801
科目名	日本事情II〔自然〕
担当者名	清水 善和

講義のねらい 日本はアジア大陸の東端に位置する島国であり、亜寒帯の北海道から温帯の本州を通り亜熱帯の沖縄まで、約 3,000km の細長い国土を有している。四季の季節変化が明瞭で梅雨や台風、日本海の多雪のような独特な気象現象もみられる。また、37万平方キロメートルの狭い国土の中に、山脈、丘陵、河川、湖沼、平野、海岸が箱庭のように組み合わせり、多種多様な地形が形成されている。さらに、日本は複数のプレートの境界域にあたるため、世界でも有数の火山・地震地帯となっており、これらによる自然災害も多い。このような多様な自然環境を反映して、日本には独特の生物相が発達している。本講義では日本の自然を位置、気候、地質・地形、生物、自然保護の5つの章に分けて解説する。また、日本の自然と日本人の文化・生活との関連についても取り上げる。

講義の内容・授業スケジュール 1章：位置（国土の範囲、行政区分、位置の特徴；1,2回）、2章：気候（気候帯、海流、気候の特徴、気団と季節、気象観測、気候と文化；3-7回）、3章：地質・地形（弧状列島、変動の歴史、多様な地形、火山、地震、自然災害；8-11回）、4章：生物（植生帯、生物多様性、生物地理区、里山、帰化生物；12-14回）、5章：自然保護（レッドデータ、国内の法律、国際条約；15回）

成績評価の方法 2回のレポートと出席回数に基づいて評価する。

教科書 講義内容を文章化した「web 版テキスト（日本語版と英語版）」を紹介する。受講者は指定のHPから自由にダウンロードして利用できるようにする。

参考書等 その他 講義と web 版テキストの中で適宜紹介する。
講義に必要な図表をまとめたプリントを毎回配布する。講義は日本語で行うが、英語圏の留学生のために講義内容を英語で著した「web 版テキスト（English version）」を用意する。

履修コード	231901
科目名	日本事情III〔歴史〕
担当者名	<small>いのうえ けいこ</small> 井上 桂子

講義のねらい 本講義では、19世紀以降の日本と中国大陸の文化、人事交流を中心に、大きな歴史の流れの中で両国の人びとがどのような交流し、相互理解に努力したかを学ぶことを目的とする。

- 講義の内容・授業スケジュール**
1. 19世紀－鎖国政策の中での日本の他国関係
 2. 中国商人の「唐風説書」の役割
 3. 江戸幕府貿易船で上海に行った明治維新のキーマン
 4. 日米和親条約と中国
 5. 明治維新と中国の反応
 6. 駐華公使森有礼と清朝の李鴻章の会談から見えてくるもの
 7. 清末の改革維新と日本との関係
 8. 孫中山と日本
 9. 民間交流と日中関係
 10. 戦争中中国大陸で反戦活動
 11. 日中国交正常化への道のり

履修上の留意点 第一回目にオリエンテーションを行い、全般的な講義内容を説明します。特別な予習、復習は必要ありません。

成績評価の方法 出席回数と課題レポートで評価します。
教科書 必要に応じてプリントを配布します。
参考書等 授業のなかで適宜紹介します。
その他 希望があれば、その日の要点を中国語でも話します。また、中国語で発言してもかまいません。

履修コード	232001
科目名	日本事情IV〔思想〕
担当者名	<small>さとう みなこ</small> 佐藤 美奈子

講義のねらい 明治維新によって江戸幕府は倒れ、日本は新しく近代国家としての道を歩み始めました。この大きな転換期に日本では何が起こったのでしょうか。そして、その変化を当時の思想家達はどのように受けとめたのでしょうか。本授業では、幕末から明治末期にかけての歴史と思想について学びます。この時代の日本に何が起こったのか。当時の思想家達は、何を問題だと考えていたのか。その問題をどのように解決しようとしていたのか。こういった問いを明らかにしていくことが本授業の目的です。この作業を行うことにより、学生の皆さんは近代日本（ひいては現代日本）がどのように成立したかを知る手がかりを得ることができるでしょう。なお、授業を理解する上では、常識レベルでの日本史の知識が必須です。よって、日本の中学校で学ぶ程度の日本史の知識について学ぶことも授業の目的の一つとなることは留意しておいてください。

講義の内容・授業スケジュール オリエンテーション(1)、儒教思想(2～3)、福沢諭吉(4～5)、明六社(6～7)、自由民権(8～9)、中江兆民(10～11)、徳富蘇峰(12～13)、社会主義(14～15)。

履修上の留意点 毎回行う小テストの合計で成績を決定します。そのため欠席が多い場合は、単位が取得できません。毎回のテストの点数が低い場合も不可となります。授業への積極的参加、及び毎回の授業の復習は必須と考えてください。授業を履修する場合は、4月中に必ず一度授業に出席して上記の点について確認をしてください。また可能であれば、授業内で一度学外研修を実施したいと考えています。

成績評価の方法 出席点と授業内で実施する小テストの点数で成績を決定します。なお、小テストは毎回授業開始時に、前回の授業内容に基づいて行います。欠席の場合、点数は与えられません。

教科書 特に指定しません。
参考書等 授業時に適宜、紹介します。
その他 講義形式。授業や小テストは日本語で行いますが、授業後の個別質問には英語でも対応します。

履修コード	232101
科目名	日本事情V〔社会〕
担当者名	<small>つばい つよし</small> 坪井 健

講義のねらい	この講義は、外国人学生のために現代の日本社会への理解を深めるための講義です。基本的には、日本人が何を考えているか、「日本人の意識」を外国人と比較しながら考えていきます。外国人はあなたの意識でもありますので、授業中は、集団としての日本人の平均的考え方とあなた自身の意見と比較してみてください。 具体的には、「生活価値観」「仕事」「家庭」「教育」「ナショナリズム」「生活満足度」などです。こうした問題について討論しながら進めたいと思います。
講義の内容・授業スケジュール	1. はじめに 講義の方針と受講の仕方 2. 戦後日本の生活変動 一概要一 3. 日本人の生活価値観 一講義一 4. 教育と学校 一講義とビデオ一 5. 政治とナショナリズム 一講義一 6. 仕事と余暇 一講義とビデオ一 7. 家族とジェンダー 一講義一 8. 高齢化社会と老後 一講義一 9. 若者の意識 一講義とビデオ一 10. 戦後日本人の意識の動向 11. まとめ 一現代日本の社会問題一
履修上の留意点	この授業では、対話型授業を行うので、皆さんの意見を積極的に述べることで、また、毎回リアクション・ペーパーを配布するので、意見や感想などを必ず記入すること。ビデオによる映像教材や1回程度は、社会見学をすることがあるので遅刻・欠席しないこと。授業内容はすべてプリントにして配布する。特別、英語による補足説明はしないが、プリントと映像教材で、外国人にも理解しやすい工夫をする。
成績評価の方法	この授業は、平常点（出席＋リアクションペーパー＋受講態度等）40％と課題レポート（2～3回提出）60％で評価する。
教科書	1. NHK放送文化研究所編『現代日本人の意識構造』（第六版）NHKブックス ¥1020＋税

「日本事情」
「日本語」

履修コード	232201
科目名	日本事情VI〔政治・法律〕
担当者名	<small>みなけ なおや</small> 三竹 直哉

講義のねらい	日本の政治について知り、みんなで意見交換します。
講義の内容・授業スケジュール	下記のようなトピックを考えていますが、参加者のみなさんの意見を聞いて決めます。 ◎議会制民主主義 ◎三権分立と二院制 ◎天皇 ◎選挙制度 ◎政党と派閥 ◎ナショナリズム ◎安全保障 ◎日本のマイノリティ ◎日本の移民政策
履修上の留意点	日本の政治について考える授業ですから、日本の政治に関心がなかったり、政治について学ぶ気がない学生は履修すべきではありません。 授業参加を重視します。参加人数によって授業のやり方は変わります。人数が少なければ討論中心になりますので、発言することが重要になります。
成績評価の方法	平常点と期末テストによります。
教科書	指定する予定はありません。
その他	I speak English, but students are encouraged to communicate in Japanese. 最新の情報は YeStudy で確認してください。

履修コード	232301
科目名	日本事情VII〔文学〕
担当者名	坂口 博規

講義のねらい

本講義は、日本語を母国語としない外国人留学生等を中心に、日本の文学作品を歴史的な流れに立って紹介し、日本の美意識を含めて文化の諸相に対する理解を深めることを目標とする。

講義の内容・授業スケジュール

日本の古典文学の作品が成立した時代や社会の背景を紹介しつつ、それぞれの時代の美意識の特徴を概説するとともに、作品内容の一部を読みながら、理解を深めることを目標とする。各時限の内容は以下の通り。

- 1、ガイダンス、日本文学のジャンル発生
- 2、古代前期の歌謡
- 3、日本神話・伝説・説話
- 4、古代前期の詩歌
- 5、古代後期の文学とその美意識（1）
- 6、古代後期の文学とその美意識（2）
- 7、中世の文学とその美意識（1）
- 8、中世の文学とその美意識（2）
- 9、中世の文学とその美意識（3）
- 10、近世の文学とその美意識（1）
- 11、近世の文学とその美意識（2）
- 12、近世の文学とその美意識（3）
- 13、日本文学の特質（1）
- 14、日本文学の特質（2）
- 15、日本文学の特質（3）

履修上の留意点

第1回にガイダンスを行い、半期の講義内容を総括するとともに、日本文学に対する受講生の興味・関心を喚起したい。半期の限られた時間の中で日本文学を要約する上で、中心となるのは時代背景の理解と美意識の把握であることを確認したい。なお古典文学の文章は現代語表現と違うので、出来るかぎり現代語に置き換えるか、現代語を添えて紹介する。

成績評価の方法

レポートにより、授業において特に興味・関心を持った内容について受講生自身の所感をまとめてもらう。レポート評価（90%）を中心に、受講姿勢（出席状況・関心の度合等々、10%）を加えて評価する。

教科書
参考書等

必要に応じて適宜プリントを配布する。
授業内で紹介する。

履修コード	232401
科目名	日本事情VIII〔文化・芸術〕
担当者名	佐藤 美奈子

講義のねらい

「日本文化」とは何か。日本に生まれ育った人でも、この問いにきちんと答えられる人はあまりいません。それは「日本文化」と呼ばれるものが時代によって変化したり、作り変えられたりするものだからではないでしょうか。よって本授業では、「日本文化」が時代ごとにどのような特徴を持つのか、それがどのように人々の日常に影響を及ぼすのかについて、身近なもの（食文化など）を例にあげながら、学んでいきたいと思えます。特定の「日本文化」に注目し明らかにするというよりも、通史的に日本文化史を学ぶ形になります。そのため、日本の中学生レベルの日本史について学ぶことも、授業の目的の一つとなります。

講義の内容・授業スケジュール

オリエンテーション(1)、古代日本の文化(2～4)、中世日本の文化(5～8)、近代日本の文化(9～14)、まとめ(15)。

履修上の留意点

毎回行う小テストの合計で成績を決定します。そのため欠席が多い場合は、単位が取得できません。また、毎回のテストの点数が低い場合も不可となります。授業への積極的参加、及び毎回の授業の復習は必須と考えてください。それから可能であれば、授業内で一度学外研修を実施したいと考えています。

成績評価の方法

出席点と授業内で実施する小テストの点数で成績を決定します。なお、小テストは毎回授業開始時に、前回の授業内容に基づいて行います。欠席の場合、点数は与えられません。

教科書
参考書等
その他

特に指定しません。
授業時に適宜、紹介します。
講義形式。授業や小テストは日本語で行いますが、授業後の個別質問には英語でも対応します。

履修コード	232501
科目名	日本事情IX〔経済〕
担当者名	<small>ふくはら よしのぶ</small> 福原 好喜

講義のねらい 特別のことがない限り、これ以降日本経済、世界経済は大不況（デフレーション）へと突入して行くが、やさしい日本語で「福原経済学」を講義する。

講義の内容・授業スケジュール 拙著『総理、お間違えではありませんか？—銀八教授内閣への直言—』、『熱血教授心の教育一駒大経済銀八ゼミナール—』等を使い、デフレーションからどのように脱出するのか？福原のユニークな考えを述べる。ノーベル賞を受賞した Mr. Paul Krugman 等他のエコノミストの主張にも言及する。（Krugman の経済学はこれから起こる大不況に対しては useless）

履修上の留意点 テキストを前もって読んでおくこと。分からない単語は辞書を引いておく。

成績評価の方法 出席とペーパーテストで成績評価。

教科書 前述の拙著の他、その時々々の新聞及び雑誌等の経済記事を教材として利用する。

その他 受講者が少ない場合、ロールプレイング等学生参加型の授業にしたい。複数回レポートを課す。

履修コード	232601
科目名	日本事情X〔経営〕
担当者名	<small>なかの かおる</small> 中野 香織

講義のねらい 本講義は留学生の方々を対象としている。主な目的は、日本の企業について学ぶことである。特に広告会社を事例にして、企業をとりまく環境、部署の構造、業務内容などについて説明する。さらに、本講義では受講生が授業で議論できる能力をつけることも目指したい。教員と受講生間のコミュニケーション、および受講生同士のコミュニケーションを密にすることによって、授業で積極的に発言しやすい場を作り、日本で議論することに慣れてもらいたいと考える。

講義の内容・授業スケジュール 講義の前半では、広告会社を事例とした企業活動の説明をする。講義の中盤では、受講生の関心が高いテーマを選び、その解説をする。同時に、それらのテーマについて各自で調べてもらい、発表をしてもらう。講義の後半では、テーマについてグループで議論し、資料にまとめ、発表をしてもらう。

(1) イントロダクション：本講義の概要説明、(2) 教員・受講者の自己紹介を兼ねた発表、(3～6) 広告会社を事例とした企業活動の説明：市場をとりまく環境、市場構造、各部署の役割、個人の業務内容など、(7～12) 受講者の関心が高いテーマについての解説、および受講生による発表、(13～14) グループ作業および発表、(15) 試験

履修上の留意点 留学生の皆さんに、日本の企業に興味を持ってもらいたいと思っているので、質問は積極的にしてほしい。

成績評価の方法 出席点・授業への取組み方70%、試験30%で評価する。

教科書 特になし。

「日本事情」

V 随 意 科 目

随意科目

履修コード	—
科目名	英語（海外演習）
担当者名	—

講義の内容・
授業スケジュール

この科目は、本学の海外協定校であるクインズランド大学（オーストラリア）、ブリティッシュ・コロンビア大学（カナダ）、エクセター大学（イギリス）、カリフォルニア大学アーバイン校（アメリカ）における短期語学セミナーでの3～4週間におよぶ現地での集中演習を中心として行われる英語随意科目である。受講対象学生は1年次生から4年次生までとする。ただし、春期クインズランド大学（オーストラリア）のセミナーに関しては、4年次生は参加できません。

成績評価の方法
その他

現地演習後に各大学より受講生の成績・評価等が出される。受講生には単位の認定がなされる。受講希望者は、国際センターの短期語学セミナーに参加申込みをする。

履修コード	—
科目名	フランス語（海外演習）
担当者名	—

講義の内容・
授業スケジュール

この科目は、本学の海外協定校であるプロヴァンス大学（フランス）における短期語学セミナーでの3週間におよぶ現地での集中演習を中心として行われるフランス語随意科目である。受講対象学生は1年次生から3年次生までとする。

成績評価の方法

現地演習後にプロヴァンス大学より受講生の成績・評価等が出される。受講生には単位の認定がなされる。

その他

受講希望者は、国際センターの短期語学セミナーに参加申込みをする。

履修コード	—
科目名	中国語（海外演習）
担当者名	—

講義の内容・
授業スケジュール

この科目は、本学の海外協定校である華東師範大学（中国）における短期語学セミナーでの4週間におよぶ現地での集中演習を中心として行われる中国語随意科目である。受講対象学生は1年次生から4年次生までとする。

成績評価の方法

現地演習後に華東師範大学より受講生の成績・評価等が出される。受講生には単位の認定がなされる。

その他

受講希望者は、国際センターの短期語学セミナーに参加申込みをする。

経営学科フレックスB

I 全学共通科目

1. 宗 教 教 育 科 目

履修コード	341601
科目名	仏教と人間〔再クラス〕
担当者名	<small>こまがみね のりこ</small> 駒ヶ嶺 法子

講義のねらい 駒澤大学の設立の目的は「仏教教義並びに曹洞宗立宗の精神に則り学校教育を行うこと」です。本校ではこの目的に基づき「仏教と人間」という科目を全学部学科に開講しています。本講義もこの目的に則して行います。その為本講義では仏教と曹洞宗の基礎知識を身につけて貰うために、仏教の教主釈尊と曹洞宗の両祖道元禪師・瑩山禪師の伝記とその教えを中心に取り上げます。

講義の内容・授業スケジュール 講義内容は、主に①釈尊の伝記と悟りの内容、②仏教の日本への伝播、③日本に仏教を伝えた人物の一人である道元禪師、そしてその教えを広く伝えることに努めた瑩山禪師の伝記を概観します。
 (1) 授業の説明(2～5) 釈尊の伝記(6～9) 釈尊の教え(10～13) 釈尊入滅後の仏教(14～17) 中国の仏教(18～22) 日本の仏教(23～26) 道元禪師の伝記(27～30) 瑩山禪師の伝記
 ※スケジュールはあくまで目安としてください。

履修上の留意点 配布プリントを保存してください。

成績評価の方法 出席状況と学年末の定期試験で評価します。

教科書 プリントを配布します

参考書等 中村元他編『岩波仏教辞典』岩波書店 7350円 4-00-080205-4
 石川力山編著『禅宗小事典』法蔵館 2520円 4-8318-7064-1

履修コード	341801
科目名	仏教と人間〔再クラス〕
担当者名	<small>まつもと しろう</small> 松本 史朗

講義のねらい 本学の建学の理念である「仏教の教義と曹洞宗立宗の精神」を学生諸君に理解してもらおうことが、この講義のねらいである。従って、仏教とは何か、それは人生において如何なる意味をもつのかを、分かりやすく説明したい。

講義の内容・授業スケジュール 講義は、内容は、次の通り。(1～2) 仏教以前のインド思想、(3～10) 釈尊と原始仏教、(11～20) 大乘經典の思想、(21～28) チベット・中国・日本の仏教

成績評価の方法 年度末の試験によって、成績を評価する。

教科書 松本史朗『仏教への道』(東京書籍) 1,400円

履修コード	341901
科目名	仏教と人間〔再クラス〕
担当者名	四津谷 孝道

講義のねらい 受講生諸君は、今後少なくとも4年間の大学生活において、様々な機会に仏教というものに接することとなるであろう。そのような機会のひとつであるこの授業において、「仏教と自分との接点を探る」という営みの端緒を見い出してもらいたい。

講義の内容・授業スケジュール

- 第1回 オリエンテーション
- 第2回 仏教が誕生するまで（古代インドの社会と宗教）
- 第3回 宗教とは、仏教とは
- 第4回 インドの宗教思想の基本概念 — 輪廻と解脱
- 第5回 仏陀の生涯（1）：概観（人間仏陀と神格化された仏陀）
- 第6回 仏陀の生涯（2）：誕生 / 出家 — 四住期との関係で
- 第7回 仏陀の生涯（3）：成道 — 仏陀の悟りの内容
- 第8回 仏陀の生涯（4）：仏陀の最後の食事
- 第9回 仏陀の生涯（5）：仏陀の死（涅槃） — 仏陀の葬儀を中心に
- 第10回 仏教史の概観 — インド仏教から日本仏教まで
- 第11回 経典について — 原始経典と大乘経典とは何か
- 第12回 原始仏教の経典：スッタニパータ、ダンマパダ等
- 第13回 大乘仏教の経典：維摩経
- 第14回 大乘仏教の経典：法華経
- 第15回 大乘仏教の経典：如来蔵経
- 第16回 大乘仏教の経典：涅槃経
- 第17回 日本仏教について — 葬式仏教とは
- 第18回 仏教と神道（1）— 仏教の伝来
- 第19回 仏教と神道（2）— 神仏習合
- 第20回 奈良仏教（1）— 国家仏教の成立
- 第21回 奈良仏教（2）— 表の仏教（官僧）と裏の仏教（聖）
- 第22回 平安仏教（1）— 密教と浄土仏教
- 第23回 平安仏教（2）— 最澄
- 第24回 平安仏教（3）— 空海
- 第25回 鎌倉仏教（1）— 親鸞
- 第26回 鎌倉仏教（2）— 道元
- 第27回 鎌倉仏教（3）— 日蓮
- 第28回 明治期以降の仏教

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書等
その他の

特になし。
出席点、小テスト、そして年度末の試験に基づいて評価する。とりわけ出席点を重視する。
授業において指示する。
授業において適宜に言及する。
特になし。

2. 教 養 教 育 科 目

履修コード	342401
科目名	宗教学〔比較宗教文化〕
担当者名	田中 <small>たなか</small> かの子

講義のねらい

人間には実に様々な生き方・見方・考え方・信じ方があり、「いのち」あるうちに為しうることに、限らない可能性があるということを、諸宗教の比較は教えてくれる。わたくし自身も、そのなかの、かけがえのない通りの人生を歩んでいる。「～教」や「～教徒」などというと、他の人々と区別しうる特徴をもっているかのように錯覚してしまうが、言うまでもなく、信仰者としての彼らが目指すのは、より善い「人間」としてこの一生を全うすることにほかならない。各宗教が人間にどのような有り方を望んでいるのかを、その伝統的な生活文化をとおして俯瞰し、いま、この世界のどこかで生きている、いまだ出会うことのない人々への共感を呼び覚ましてみたい。それが、誤解や偏見のない「人間」理解に繋がれば幸いである。

講義の内容・授業スケジュール

講義担当者の生活体験をともなう地域（インド・ヨーロッパ）を中心に、机上では知りえない、かならずしも教義一辺倒ではない信仰生活の多様性について解説する。前期（1～15）は諸宗教に共通する人間文化の特徴、後期（16～30）は各宗教の個性と他宗教との関係を念頭に置きながら、その時々の世界情勢を踏まえたトピックを臨機応変に選んでいく。

履修上の留意点

板書は、即興の覚え書きや、テーマの骨子を素描したものにすぎない。むしろ、講義の言葉や自分の考えに耳を傾けて、積極的にノートしよう。仏教と他宗教との関連性に注目。

成績評価の方法
教科書
参考書等

出席状況、創意工夫や日本語の表現力を評価する課題レポート、学年末試験（追試なし）。
拙著『比較宗教学―「いのち」の探究―』（北樹出版）2008年、改版（第4刷発行）
「いのち」の尊さや、異文化間の交流を扱ったもの（書物、映画など）なら何でも。

履修コード	342501
科目名	文学〔日本文学「古典」〕
担当者名	池田 <small>いけだ</small> 大輔

講義のねらい

土佐日記、蜻蛉日記といった平安時代に輩出した日記文学作品を扱います。それらの作品を通して（原文に触れ）作者たちの心情を感じ取ることを目的とすると同時に、作品の時代背景などを確認しながらそれぞれの日記の世界観、作者たちの置かれていた立場などについても学んでもらいたい。また、作品に見られる風土や儀礼・年中行事などの知識を身に付けることを中心に進めます。

講義の内容・授業スケジュール

- 1) ガイダンス
- 2) 平安時代の日記
- 3) 蜻蛉日記
- 4) 和泉式部日記
- 5) 紫式部日記
- 6) 更級日記
- 7) 成尋阿闍梨母集
- 8) 讃岐典侍日記

履修上の留意点

現代語訳のものでよいので、事前に作品を読んでおくのと良い。学期末には試験（披見可）を行うので、ノートはきちんと取り、配布プリントも整理しておいて下さい。出席重視。

成績評価の方法
教科書
参考書等

出席状況（60％）と試験（40％）などにより評価します。
毎時間、プリントを配布します。
宮崎荘平『王朝女流日記文学案内』（朝文社）
石原昭平、津本信博、西沢正史編『女流日記文学講座』第1巻～第4巻（勉誠社）

履修コード	342701
科目名	文学〔日本文学「古典」〕
担当者名	伊藤 達氏

講義のねらい	本講義では芭蕉の『おくのほそ道』以前の紀行文である、『野ざらし紀行』『鹿島詣』『笈の小文』『更科紀行』を読むことにより、芭蕉の表現の様相・芭蕉にとって旅とはどのような意義を持っていたのかという問題を探っていく。
講義の内容・授業スケジュール	1) 本講義のガイダンス 2) 俳諧連歌について 3) 談林時代の芭蕉 4) 深川隠棲時代の芭蕉 5) 最初の旅へ(『野ざらし紀行』出立前の芭蕉の動向) 6) 『野ざらし紀行』(以下、順次上記の紀行文を読み進める。なお同時代の俳人・芭蕉の門人・蕉風俳論・当時の社会状況なども適宜参照する。)
履修上の留意点	指定したテキストを購入し、授業の前には該当箇所を読んでおくこと。欠席が三分の一に達した者は単位を認定しない。疑問点があれば積極的に授業中、時間後に質問して下さい。
成績評価の方法	年度末のレポートを主とする。前期・後期の最終日に小テストを行う。出席状況・聴講態度も加味する。
教科書 参考書等	中村俊定校注『芭蕉紀行文集 付嵯峨日記』(岩波文庫)、500円 (ISBN-00-302061-8) 授業中に適宜紹介する。プリントで配布する場合もある。

履修コード	342601
科目名	文学〔日本文学「近代」〕
担当者名	中西 亮太

講義のねらい	この講義では、明治・大正・昭和の著名歌人の短歌作品を読み、論じていきます。日ごろ短歌を読み慣れていない人にとって、短歌の内容を読み解くのは、なかなか難しいことです。しかも、短歌は内容を読み解くだけでなく、言葉の音楽性まで味わうべきものです。そこで先ず、受講生が短歌の読み解き方の基本を身に付けられるよう、訓練します。次いで、短歌の響きとリズムの味わい方について話を進めます。そして、その上で、受講生が近代歌人の表現世界に対する関心と理解を深めることを目指します。講義で取り上げる作品を一首紹介しておきます。「白い手紙がとどいて明日は春となるうすいがらすも磨いて待たう」(斎藤史『魚歌』)
講義の内容・授業スケジュール	原則として、毎回一人の歌人の作品を読んでいきます。取り上げる歌人は、与謝野晶子、石川啄木、北原白秋、斎藤茂吉、前川佐美雄、斎藤史、塚本邦雄、中城ふみ子などです。前期が明治期と大正前半の歌人たち、後期が大正後半と昭和期の歌人たちです。なお、講義をより効果的なものにするために、前後期に一度ずつ、実習として短歌を作り歌会をします。また、現代の歌人を教室に招いて話を聴くことも予定しています。
履修上の留意点	積極的な姿勢での受講を望みます。授業時間中や時間後の質問を歓迎します。
成績評価の方法	学年末に試験を実施します。また、授業中に課題を出すことがあります。
教科書 参考書等	なし。授業中、必要に応じて参考プリントを配付します。 高野公彦編『現代の短歌』講談社学術文庫、1,450円、ISBN4-06-158974-1。この本は、明治から昭和までの代表的な歌人の作品を収録しています。

教養教育

履修コード	342801
科目名	歴史学〔日本近代史〕
担当者名	はやし あきら 林 彰

講義のねらい 幕末のペリー来航後の通商条約により、世界資本主義体制の一環に組み込まれていく我が国は、明治維新期を経て確立する明治憲法体制・教育勅語体制により、ほぼ近代国民国家の成り立ちが整備される。この体制は、アジア太平洋戦争の敗戦により幕を閉じることになるが、講義では近代を通じて支配する体制側の動向と民衆側の歩みを中心にたどってみたい。そのさい、体制側の思想動向や体制側に抵抗ないしは同調しようとする民衆側の思想動向の把握、国内における衛生や病気などにより「隔離」される民衆の問題、アジア民衆への蔑視・差別の問題にも言及していくつもりである。

講義の内容・授業スケジュール 最初に、現在の日本に残存する過去の歴史の問題を取り上げ、その要因が日本の近代にあることを検討する。次に、近代史の概説を体制側と民衆の動向をふまえて、敗戦までたどる。次に時間に余裕があれば、個人の人物を取り上げて、近代史のなかで果たした役割をみていきたい。

成績評価の方法 前期はレポート提出。後期は定期試験。レポートを提出しない学生には単位はなし。定期試験は、追試験も実施する。

教科書 大日方純夫『はじめて学ぶ日本近代史(上)』、大月書店、2002年。1800円+税
ISBN4-272-52068-7C0021

参考書等 講義中に適宜紹介する。

履修コード	342901
科目名	歴史学〔中国史概観〕
担当者名	こばやし そうへち 小林 惣八

講義のねらい 中国史の歩みを大別すると、黄河文明、殷周時代、秦漢時代、魏晉南北朝時代、隋唐時代、五代・宋時代、元・明・清時代、新生中国とに分けられる。本講義ではその歩みを多角的にとらえ通観するものである。

成績評価の方法 前・後期のレポート提出と定期試験による総合評価。

教科書 特別定めないが、中国史の概説書や図表を座右に置いて聞くことを望む。

その他 出席を重視する。

履修コード	343001
科目名	歴史学〔アジア史概観〕
担当者名	やまぐち ひろし 山口 洋

講義のねらい アジア史の事例を通して、歴史学的なものの見方を知る。また日本とアジアとの関係を歴史上に考えることができるようになる。

講義の内容・授業スケジュール アジア史の中でも、古くから記録の残された中国史を基軸に、アジアと日本の歴史を考える。具体的には以下のスケジュールで講述する。

- 第1回：ガイダンス
- 【歴史学の基礎】第2回：アジアの風土、第3回：紀年法、第4回-第5回：歴史記録とは何か、第6回-第7回：紙と印刷の歴史
- 【中国史の基礎】第8回：伝説の古代、第9回-第11回：皇帝の登場、第12回-第13回：官僚制と科挙
- 【交通の歴史】第14回：中国人の世界観、第15回-第17回：中国と西域、第18回-第19回：駅伝制、第20回-第22回：遣隋使遣唐使、第23回-第24回：鄭和の遠征

履修上の留意点 出席不良者の単位修得は認めない
成績評価の方法 数回のレポートと平常点（出席など）、筆記試験の結果を総合して判定する

教科書 史料をプリントで配布する
参考書等 寺田隆信著『中国の歴史』（中公新書）
他は、授業内で適宜紹介する

履修コード	343101
科目名	哲学〔西洋思想の源流〕
担当者名	滝沢 正之 <small>たきざわ まさゆき</small>

講義のねらい 西洋哲学史を古代から中世にかけてを中心に紹介する。時間があれば、続けて近世から現代へと時代順に進んでいくことになる。

ただし、書店で手に入る哲学史の入門書のように、哲学者たちの思想をダイジェスト版で紹介することはしない。哲学者本人が書いたテキストそのもの（翻訳ではあるが）を実際に読んでいくことにしたい。もちろんすべてを精読するわけにはいかないので、諸著作の一部を抜き出して検討することになる。

本物の哲学者の本物の哲学書から、哲学的な思考とはどのようなものかを実感することを目標とする。それと同時に、はるか昔の頭のよい？人たちがどんな変なことを考えていたのかを楽しんでいきたい。

講義の内容・授業スケジュール

下に指定した教科書『原典による哲学の歴史』の原典の引用部分を丁寧に読み、解説していく。適宜プリントで補足を行う。

最初から順に読んでいく予定なので、授業スケジュールは教科書の目次を参照されたい。おおまかな目安としては、前期にタレスからプラトンまで、後期にアリストテレスからペーコンまでを検討することになると思われる。

履修上の留意点
成績評価の方法

教科書を必ず入手しておくこと。
中間試験および期末試験により評価する。中間試験はレポートにする予定。期末試験は筆記。受講者の人数が少ない場合は出席をとり、それも評価に加味したい。

教科書

久保陽一、河谷淳編著『原典による哲学の歴史』、公論社、2002年、3,200円。また、授業中に適宜プリントを配布する予定。

参考書等

講義中に適宜指示する。

履修コード	343201
科目名	哲学〔近代の人間観と世界観〕
担当者名	佐藤 暁 <small>さとう あきら</small>

講義のねらい 科学が世界の基礎的な真相を記述している、という現代においても支配的な信念が初めて一般に共有されるようになった近代という時代の哲学は、それゆえ、現代の我々が普段何をしていることになるのか、あるいはどのような世界に住んでいるのか、といった哲学的な問いを考えるうえで必要となる道具立てのうち、最も基本的なものを作り上げた哲学と言えます。この授業では、近代の哲学者たちの議論に具体的に触れることによって、我々自身が哲学的に考えるうえで必要な思考方法にどのようなものがあるかを実際に知り、できればそれらある程度使いこなせるようになることを目標とします。

講義の内容・授業スケジュール

以下の哲学者を中心に、各項目ごとの解説を行います。（1）概論：人間と人間観、世界と世界観（2）～（13）イギリス経験論（ロック・バークリ・ヒューム）（14）～（22）大陸合理論（デカルト、スピノザ、ライプニッツ）（23）～（30）カントとドイツ観念論（カント・ヘーゲル）

成績評価の方法

学期末にレポートを提出してもらいます。

教科書

久保陽一・河谷淳編著『原典による哲学の歴史』公論社 3200円 ISBN978-4-7714-2002-1

履修コード	343301
科目名	哲学〔現代文明と人間〕
担当者名	鈴木 聡 <small>すずき さとる</small>

講義のねらい 本講義のねらいは、現代哲学の重要問題を扱った素材を叩き台として、1つの問題について徹底的に考え抜くという態度を受講者に身につけさせることである。

講義の内容・授業スケジュール

（1）プロローグ・（2）問いの構造・（3・4）懐疑論・（5・6）意識・（7）誤謬推理・（8・9）他人の心・（10）ロボットと人間・（11）意味・（12）生命倫理・（13）性・（14・15）道徳と宗教・（16・17）道徳に関する2つの見方・（18）芸術の定義・（19）知識・（20）帰納法・（21・22）時間・（23・24）自由意志と決定論・（25・26）功利主義・（27・28）人格の同一性・（29・30）パラドクス

履修上の留意点

欠席・遅刻は一切認めない。必ず予習をして講義に出席すること。

成績評価の方法

成績は、出席状況・講義中の発表によって評価する。

教科書

開講時に指定する。

履修コード	343401
科目名	論理学〔科学方法論と現代論理学〕
担当者名	伊古田 理 <small>いこた まさる</small>

講義のねらい 現代論理学の内容を、「ことばの正しさ」のうちで「推論の正しさ」のかたちづくる領域がどのようなものかを考えることにより、紹介してゆく。
 具体的には、「推論の正しさ」の領域がどのようなメカニズムで機能しているかを習得することを第一の目標として、そのうえで（時間の許すかぎり）こうした領域の位置づけについて論ずることにしたい。

講義の内容・授業スケジュール (1)論理とはなにか (2)～(6)三段論法 (7)～(12)命題論理(1)－命題論理の意味論 (13)夏期中間試験 (14)～(19)命題論理の「証明」 (20)～(25)述語論理(1)－述語論理の記号表記 (26)～(30)述語論理(2)－述語論理の「推論」

成績評価の方法 年2回の試験（夏期中間試験＋年度末定期試験）を実施し、それとは別に各学期にそれぞれレポート課題（年間通して計3回）を出す。これらによって総合的に評価する。

教科書 野矢茂樹著『論理学』（東京大学出版会）

履修コード	343501
科目名	論理学〔科学方法論と現代論理学〕
担当者名	麻生 享志 <small>あさお たかし</small>

講義のねらい 西洋哲学の中で、論理学は常に大きな位置をしめてきた。論理とは何か、正しさをどう説明すればよいか、真理をどのようなものとするか、といった問題の考察に、「論理学」は欠かせない。このような「論理の本性への考察」には、古代ギリシャの哲学者、アリストテレスの論理学を知る必要がある。彼の論理学には、当時の学問がおかれた状況が強い影響を与えていたと考えられる。その後、自然科学の発達によって学問状況は変化した。その変化に対応する形で論理学の変革も試みられた。さらに、二十世紀に入って、数学研究と論理学研究の交流・接触が考えられるようになる。このように論理学は変化の歴史を持つ。そこで（1）論理とは何かを考え、（2）変化する論理学の各内容についての知識を持ち、（3）日常生活における論理の活用について、自分で考えることの手引きを与えることをねらいとします。

論理の本性、真理論、論理パズルとパラドックス、アリストテレス論理学、帰納法論理、実験主義論理学、論理学方法論、記号論理学概観、日常生活における正しい推論、学問と論理などを主な話題とします。

講義の内容・授業スケジュール (1-7) 概説・文献・古代・ゼノン・歴史・推理小説・日常性 (8-13) 逆接・クイズ・数理・パズル・記号・真理函数 (14-22) 原理・充足理由・矛盾・排中・演繹・背理・推理・偽・逆 (23-30) 後件肯定・科学・帰納・実験・方法・諸学・真理・まとめ

履修上の留意点 大学という学問の場においては、講義内容を聞いて理解し、練習問題をこなし、内容を記憶するだけでは、十分ではありません。自分で検討し、疑い、考えることが絶対に必要であると考えます。そのために、自分で本を読んだり、調べたりという作業が加わるでしょう。意欲ある取り組みと、徹底的に自分の頭で考える姿勢を求めます。

成績評価の方法 平常点として、出席と、講義中に行う問題や論述を主な評価材料（60％）にし、前期・後期試験・夏休みのレポート成績を加味します。

教科書 特になし。講義に直接必要なものは、原則としてコピーを配布します。

参考書等その他 多数。講義内にて詳細に説明します。
 講義と問題演習（ななし論述筆記）。早退は、許可のない限り認めません。主体的な質問を大いに歓迎し、期待します。
 初日はガイダンスとし、定時に開始し、5分間程度、資料を配布して質問を受け付けます。（その後は、雑談的内容にあてる予定で、退出自由。）この時配布する資料は、履修に必要ですので、何らかの方法で必ず入手するようにして下さい。このガイダンス資料配布および質問受付は、支障の生じない限り、初回授業終了時5分程度にも行う予定です。

履修コード	343601
科目名	倫理学〔現代と倫理〕
担当者名	古田 ^{ふるた} 知章 ^{ともあき}

講義のねらい

今日、多くの領域で、倫理の確立、再構築が求められている。これは、言い換えると、様々な技術や科学が発達した現代において、それらに向きあう我々自身の方向性が分からなくなっていることの現れである。そして、このような状況のもと、我々は、ひとつの人格をもつ個人として、自らの倫理観を模索していかなければならない。しかし、倫理とは何かを考えると、個々の領域、場面での「正しさ」の中身を検討すると同時に、その際の倫理的主体となるべき「自己」のあり方が知られなければならない。逆に言うと、この生きている自分が外的世界や他者と結んでいる関係、あるいは、自分が自分自身について考えることの意味などを明確にすることで、現代社会に生きる我々の向かうべき方向も見えてくる。この見通しの上立って、現代における倫理的なあり方を検討していく。

講義の内容・授業スケジュール

教科書を利用し、以下の内容を取り上げる。

〔前期〕 倫理的原理についての検討

- (1) ガイダンス
- (2～5) 倫理学における問題の所在 ー倫理的であることー
- (6～9) 古代ギリシアにおける様々な倫理想
- (10～12) 中世における宗教的倫理観
- (13～15) ルネサンスと宗教改革 ー個としての人間ー

〔後期〕 前期からの続きと応用倫理学の諸問題への基礎的な検討

- (1) 前期のまとめ
- (2～5) 近世の転換期における倫理想 ー主体性と自由の問題ー
- (6～8) 現代に生きる我々と倫理 ー他者との共存ー
- (9～11) 生命の尊厳と人生の質
- (12～13) 人間と環境との関係
- (14～15) 情報と倫理

成績評価の方法
教科書
参考書等

二回の定期試験（中間試験、年度末試験）と平常点（出席状況、夏期レポート等）で評価する。
『原典による哲学の歴史』（公論社）
講義の際にその都度紹介する。

履修コード	343701
科目名	倫理学〔人生と倫理〕
担当者名	末木 ^{すえき} 恭彦 ^{やすひこ}

講義のねらい

倫理学は、人の行為の規範を考える学問である。人が生きる上に指針を提供する。本科目を通じて、倫理学の基礎的理解を獲得し、自分の生き方を考える手がかりとすることを目指す。

講義の内容・授業スケジュール

今年度は、近代日本の哲学者・倫理学者である和辻哲郎を取り上げ、その倫理学を紹介する。彼が「倫理学の意義と方法」を述べたとする『人間の学としての倫理学』をテキストとして、和辻の描く倫理学の見取図を描き出す。(1) ガイダンス (2) 和辻哲郎について (3～8) 第一章一節～四節について (9) 第一章五節 (10～17) 第一章六節～十一節について (18～28) 第二章について (29～30) まとめと質疑応答

履修上の留意点

ノートをしっかり取る。

成績評価の方法

各学期末の試験と夏期休暇のレポートによって成績をつける。追試あり。

教科書

和辻哲郎『人間の学としての倫理学』（岩波文庫）（岩波全書版でも可）

参考書等

和辻哲郎『倫理学』（一）～（四）（岩波文庫）
湯浅泰雄『和辻哲郎——近代日本哲学の運命』（ちくま学芸文庫）
坂部恵『和辻哲郎——異文化共生の形』（岩波現代文庫）
刈部直『光の領国 和辻哲郎』（創文社）

履修コード	344201
科目名	社会学〔現代社会を考える〕
担当者名	なんこ よしかず 南後 由和

講義のねらい	本講義では、普段何気なく目にしている光景や当たり前とされている事柄を批判的に疑い、多角的に検討する姿勢を身につけることを狙いとしています。そのことにより、現代社会の背後で起きている事象を広く見通す〈まなざし〉を養い、〈社会学する〉実践感覚をつかむことを目指します。
講義の内容・授業スケジュール	(1) イントロダクション、新しい社会学のために(2~4) 親密性と公共性、相互行為と自己(5~7) 社会秩序と権力、組織とネットワーク(8~11) メディアとコミュニケーション(12~16) 歴史と記憶、空間と場所(17~19) 環境と技術、医療・福祉と自己決定、国家とグローバリゼーション(20~21) 家族とライフコース、ジェンダーとセクシュアリティ(22~23) エスニシティと境界、格差と階層化(24~27) 文化と再生産、社会運動と社会構想(28) 総括 授業の順序および配分は、多少変更の可能性あります。
履修上の留意点	教科書をペースに、具体的なトピックや映像作品を紹介しながら講義を進めます。 講義中に挙手・発言をするなど、受講者の積極的な〈参加〉を求めます。
成績評価の方法	平常点、授業中の課題、前・後期のレポートにより総合的に評価します。
教科書 参考書等	長谷川公一・浜日出夫・藤村正之・町村敬志『社会学』2007年刊(有斐閣)3,500円 授業中に随時紹介します。

履修コード	344301
科目名	社会学〔現代文化を考える〕
担当者名	はしづめ さとし 橋爪 敏

講義のねらい	この講義は、「社会学」についての基本的な知識を提供し、あわせて、「現代社会」についての若干の問題を論ずることを目的とする。
講義の内容・授業スケジュール	「講義のねらい」で述べたように、この講義は「社会学」の知識と、「社会学」の見方を通して見た「現代社会」の問題を扱うことになる。しかし、ほとんどの学生諸君は「社会学」についての予備知識は無いものと思われる。「社会学」は高等学校までの社会科とはかなり異なっている。 前期1)~8) 社会学とは何か、社会学の対象と方法、社会科学としての社会学9)~15) 歴史から見る社会学、総合社会学、百科全書社会学、マルクス主義の影響。 後期16)~20) フランスにおける現代社会学への歩み21)~25) ドイツにおける現代社会学への歩み26)~30) 現代社会学の展開を概観する事により、社会現象に対する科学的取り組みを理解し身に付ける事にしたい。
成績評価の方法	成績の評価は、講義内容に関わる基本的な問題について、学年末におこなうペーパー・テストによって評価する。
教科書 参考書等	安藤喜久雄ほか編『社会学概論』(学文社) 高尾・橋爪編『社会学の基礎』(犀書房) R. ニスベット『現代社会学入門1~4』(講談社学術文庫) その他授業中に適宜指示したい。

履修コード	344401
科目名	文化人類学〔文化と人間〕
担当者名	かわかみ しんじ 川上 新二

講義のねらい	文化人類学は世界のさまざまな民族や社会の理解を通じて、究極的には人間とは何かを考えようとする学問です。この授業では、さまざまな民族や社会、さらには人間を理解するために文化人類学が提出してきた見方、考え方を学びながら、今後も地球規模でさまざまな社会の人々と交流しながら生活していくことになるであろう私たちにとって有効と考えられる視座を養うことを目的とします。
講義の内容・授業スケジュール	(前期)(1~2) 文化人類学とは、(3~4) 異文化と自文化、(5~6) 人間と文化、(7~8) 文化についての進化論と伝播論、(9~10) 文化についての機能主義と構造主義、(11~12) 文化と言語、(13~14) 経済生活、など。 (後期)(1~2) 婚姻、(3~4) 家族、(5~6) 祖先とのつながり、(7~8) 呪術、(9~10) 妖術と邪術、(11~12) 憑依、(13~14) 文化的性差と文化の型、など。
成績評価の方法	学期末試験、年3回(前期1回、夏休み、後期1回)のレポート、出席状況で評価します。
教科書	祖父江孝男『文化人類学入門』増補改訂版、中央公論社(中公新書)

履修コード	344501
科目名	文化人類学〔諸民族とコスモロジー〕
担当者名	杉井 純一 <small>すぎい じゆんいち</small>

講義のねらい

さまざまな民族が絶えず各地を移動する現代世界では、私たちは「異質な他者」との出会いを日常的に経験します。こうした多民族社会に生きる私たちは以前にもましてコミュニケーションの困難に直面します。お互いが先入観や偏見にとらわれず、十分な意志疎通を図るためには、相互の民族的、文化的背景への理解が前提となります。

文化人類学は民族や文化の多様性を比較することで、それぞれの文化的相違についての認識を深める学問です。具体的に言えば、人々の生活様式や儀礼、習慣などを通して「人間を取りまく世界、宇宙の成りたちやしくみ」についての多様な観念体系を理解していきます。

本講義では、前期に文化人類学の基礎、後期に民族とコスモロジーを学びます。まず、「異文化を理解する」ことの面白さ、そして、むずかしさを味わいながら、「異質なものととの共存」「他者との共生」の可能性について考えていくことが本講義の目的です。

講義の内容・授業スケジュール

I 文化人類学の基礎

1. 文化人類学とは何か、2. 文化人類学の歩み(1)、3. 文化人類学の歩み(2)、4. 文化とコミュニケーション、5. 環境と人間(1) 狩猟採集民、6. 環境と人間(2) 牧畜民、7. 環境と人間(3) 農耕民、8. ジェンダー、9. セクシュアリティ、10. 婚姻の形態、11. 家族の多様性、12. 親族と社会

II 民族とコスモロジー

1. 呪術と宗教、2. アニミズム、3. シャーマニズム、4. シンクレティズム、5. 儀礼の構造、6. コスモロジー、7. 神話、8. 政治組織、9. 民族とエスニシティ、10. 民族紛争と戦争、11. 開発と文化、12. 移動の民族誌

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書
参考書等

ビデオを見た感想を問うことがあります。
夏期レポート(20%)、期末試験(60%)、平常点(20%)で評価します。

特に指定しません。適宜、プリントを配布します。
祖父江孝男『文化人類学入門』(中公新書) 800円
山下晋司ほか『文化人類学キーワード』(有斐閣) 1,700円
佐々木宏幹・村武精編『宗教人類学』(新曜社) 2,200円
できるだけ、ビデオを利用します(年に4~5回程度)。

その他

履修コード	344601
科目名	法学・憲法〔法と権利〕
担当者名	鷗徳 啓登 <small>おうとく けいとう</small>

講義のねらい

人間は社会の中で生まれ、他の人と利害を対立しながら社会生活を営むものである以上、そこには相互の利害を調整し、紛争を解決するためのルール(規範)が必要である。「社会あるところ法あり。」(法諺)といわれるのはそれを如実に示すものである。この授業では、法の概論と基礎的な実定法上の権利・義務との二つに分けて、「法」とそこに認められる「権利」を講義する。

講義の内容・授業スケジュール

1. 法の概論は次の内容を中心として行う。
(1) 法の意義 (2) 法発生の背景 (3) 法とその近辺の社会規範 (4) 法の種別と解釈 (5) 法の適用

2. 実定法上の権利・義務の講義は次の内容を中心として行う。

(1) 民法上の権利-権利の主体と客体、権利能力・行為能力、権利の種類と内容(財産法上の権利、親族法上の権利、相続法上の権利)、権利の発生・消滅。

(2) 憲法上の権利-自由権(経済的自由権、精神的自由権、身体的自由権)、平等権、社会権(生存権、教育権、勤労権、労働者の権利)、参政権(選挙権、被選挙権)、受益権(請願権、国家賠償請求権、裁判を受ける権利、刑事補償請求権)。

(3) 国家・地方公共団体の権利-国家作用と三権分立制の意義・統治機構、立法権と立法機関、行政権と行政機関、司法権と司法機関、地方公共団体の自治権と住民の権利。

成績評価の方法
教科書
参考書等

出席状況と試験。
小林弘人・松村格編著『法学・憲法』(八千代出版) 3,500円
『小六法』または『ポケット型小六法』(出版社・定価各種類)、その他参考書等については教場にて説明。

履修コード	344701
科目名	法学・憲法〔法と社会生活〕
担当者名	長谷川 日出世 ^{はせがわ ひでよ}

講義のねらい	日常生活において生ずる様々な法律問題を解決するための法の基礎知識の習得と、我々の社会生活の基本となる日本国憲法の理解を目的とする。
講義の内容・授業スケジュール	①講義に関する全段的説明、②社会秩序と法、③～⑥法概念の本質、⑦～⑩法の成り立ちとその分類、⑪～⑬法の解釈、⑭～⑮日本の裁判制度、⑯憲法とは何か、⑰近代憲法の構成原理、⑱日本の憲法史、⑲～⑳日本国憲法の基本原理、㉑～㉒基本的人権の保障、㉓国会、㉔内閣、㉕司法権、㉖一年間のまとめ
履修上の留意点	日頃から、新聞、テレビニュースで報道される法律問題に関心を持つこと。講義の前に教科書を必ず読んでおくこと。
成績評価の方法	学期末の試験の成績と講義への出席の割合で評価します。
教科書	長谷川日出世、『法の基礎概念と憲法』、成文堂、2500+税、ISBN 4-7923-0399-0

履修コード	344801
科目名	政治学〔政治システムと政治参加〕
担当者名	真下 英二 ^{ました えいじ}

講義のねらい	そもそも政治とは何か、何のために存在しているのか？政治学の基本的な知識を身につけることにより、社会における政治の役割とわれわれの生活との関わり合いについて考察していく。とりわけ、現代民主主義における参加の問題についても検討を加えていく。
講義の内容・授業スケジュール	春学期：政治学の基本的な概念を中心に検討していく。特に、民主主義に関する問題は、時間をかけて行っていく。 秋学期：より現代的な問題を取り上げながら、現代社会の民主主義の問題について検討を行う。特に、政治システムと政治参加について、より詳細に検討していく予定である。
履修上の留意点	この講義においては、他の履修者の迷惑となるような行為は一切禁止する。当然のことながら、私語は厳禁である。 また、政治学や社会科学全般に関する知識は、必ずしも必要としないが、最低限、社会的な諸問題についての知識を持っていることが期待される。
成績評価の方法	成績評価は、原則的に期末試験の得点のみによって行う。ただし、必要な場合にはレポートを課すこともある。詳細については、講義中に指示する。
教科書 参考書等	特に指定しない。 加藤秀治郎他『政治学の基礎』（一藝社）2002年 加藤秀治郎・中村昭雄『新版スタンダード政治学』（芦書房）1999年 他は追って指示する。

履修コード	344901
科目名	政治学〔国際社会と日本〕
担当者名	山村 ^{つばお} 恒雄

講義のねらい 「法学」や「経済学」とは違い、「政治学」に対して抱くイメージは、人によってかなり異なるようである。この授業は副題にある通り「国際社会」のなかで日本が直面するさまざまな課題を取り上げ、それを素材として「政治を見る眼」を養うことを目的とする。具体的には、近代国際社会成立以降第二次世界大戦終了後に至るまでの国際政治の主な出来事を解説し、それを基にして現在生じている時事問題を考える素材を提供しようとするものである。したがって、授業は時事問題の解説が目的ではなく、受講生のひとりひとりが、政治問題に対して自分の意見を形成できるよう、「分析の道具」を提供しようとするものである。

講義の内容・授業スケジュール 時事問題を素材として用いるため、具体的な問題を予め示すことはできないが、分析のための基本的な知識として、以下の項目を取り上げる。

- 1 ウェストファリア体制の形成
- 2 近代の国際政治
- 3 地球的問題群
- 4 第二次世界大戦後の国際政治の変容
- 5 冷戦と核兵器
- 6 食糧問題
- 7 環境破壊と持続可能な開発
- 8 日本が直面する諸問題

履修上の留意点 受け身ではなく、積極的に授業に参加できる意欲のある人を歓迎します。
成績評価の方法 夏休み明けのレポートと学期末試験による。なお、夏休み明けのレポートを提出しない者は、学期末試験の受験資格を失うので注意すること。

教科書 特定の教科書は使用しない。
参考書等 授業中、随時指定。

履修コード	345101
科目名	社会科学論〔社会認識の思想〕
担当者名	枝松 ^{えだまつ} 正行

講義のねらい 社会科学論とは社会科学の方法についての学である。講義では、社会科学史を学び、社会科学の方法を代表する二つの立場を統一的に理解して、1929年以来的世界金融危機にあえぐ現代社会の構造と変動の全体的把握の方法を探究する。同時に社会科学としての未来社会論についても考える。

講義の内容・授業スケジュール 社会科学論は個々の個別社会科学の成果と方法を分析・統合し、一つの総体としての生きた現実社会の運動・発展法則を解明する。この法則は、取り除くことも法令で禁止することもできないが、それを認識することによって、未来社会への分岐の苦痛を緩和することはできるからである。

前期講義と後期の前半までは、社会発展の総体的把握に不可欠な社会科学史上の方法理論を概説する。後期の後半からは、資本主義の発展諸段階のなかでこれを検証し、現代グローバル金融資本の「新世界秩序」と日本の「構造改革」や「世界金融危機」の現実を必然性の科学と合理性の科学という複眼思考で総括する。併せて、21世紀の国際社会と日本が直面する人類史的課題としての科学的な未来社会論の展望も試みる。

(1) ガイダンス (2) 社会科学論とはどういう学問か (3) 形而上学と論理学 (4~5) 形式論理学の三大原則と矛盾 (6) アフォリズムと弁証法 (7~9) 弁証法論理学の基本法則 (10) 経済的社会構成体の歴史理論と経済学批判 (11~13) 生産力・生産関係の弁証法と唯物史観 (14) 必然性の社会科学と土台・上部構造の社会理論 (15) 中間試験 (16) 宗教社会学と理解社会学 (17~18) 理念と利害状況の複眼思考的歴史観 (19) 動機理解の社会理論と合理性の社会科学 (20) 必然性の社会科学と合理性の社会科学の総合 (21~25) 世界資本主義の発展諸段階と20世紀革命史・虚構の検証 (26~28) 「新世界秩序」と「構造改革」の破綻としての「世界金融危機」(29) アソシエーション社会への転換 (30) 期末試験

履修上の留意点 本講義は、前半が理論編、後半が検証・応用編である。精励出席が前提であり、毎回出席を取る。社会科学論の真の教科書は常に生成しつつある全体としての現実社会そのものであるから、現実社会の最新状況について日頃から自分自身の意見や考えをまとめておくことが本講義の予習となる。講義は常に現実社会の動向を分析の俎上にのせながら進めるので質問や意見・要望があればカード等で積極的に提出すること。次回授業の冒頭に匿名で紹介・応答し、可能な限り講義内容にも反映させていく。必ずノートを取り、復習すること。専門用語については確認テストも随時行う。

成績評価の方法 出席・平常点 (20%) と前・後期末 (計2回) の授業内試験 (80%) 等により総合的に評価する。
教科書 大塚久雄『社会科学の方法』岩波新書
参考書等 本山美彦・萱野稔人『金融危機の資本論』青土社
 関岡英之『拒否できない日本』文春新書、同『奪われる日本』講談社現代新書

履修コード	345201
科目名	統計学〔社会現象の統計的決定〕
担当者名	新行内 ^{しんぎょうちん こうじ} 康慈

講義のねらい	統計学は、観測値からその源泉の特徴や傾向を明らかにして結論を引き出す方法であり、経営、経済をはじめとする社会現象の解析や意思決定など幅広い分野で活用されています。本講義は、統計学の基本的な考え方を理解し、諸手法を修得することをねらいとしています。
講義の内容・授業スケジュール	前期 1統計学の概要 2-4度数分布表・ヒストグラム・基本統計量 5-7確率 8演習I 9-10確率変数と確率分布 11平均・分散と期待値 12標準化 13正規分布表 14演習II 15まとめ・補足 後期 16母集団と標本 17統計量と標本分布 18-19点推定と区間推定 20-21仮説検定 22-24その他の推定・検定 25演習III 26散布図と相関係数 27-28回帰分析 29期末試験 30まとめ・補足
履修上の留意点	統計学は積み重ねの学習が要求される分野です。継続して講義に出席し、一步一步確実に理解していくことが大切です。
成績評価の方法	以下のふたつの評価値のうち、高得点の方を最終評価とします。 ①演習I～III：45%(各15%) + 期末試験55% ②期末試験：100%
教科書 参考書等	テキストは使用しません。必要に応じて適時資料を配布します。 石村貞夫『すぐわかる統計解析』東京図書 2,000円 ISBN 4-489-00407-9 前野昌弘・三國彰『図解でわかる統計解析』日本実業出版 1,800円 ISBN 4-534-03036-3 永田靖『入門 統計解析法』日科技連出版 2,900円 ISBN 4-8171-0266-7 東京大学教養学部統計学教室『統計学入門』東京大学出版 2,800円 ISBN 4-13-042065-8
その他	配布資料に基づいて例題を交えて講義し、さらに課題演習を実施して理解を深めます。 配布資料・説明資料等は YeStudy に公開します。

履修コード	345301
科目名	心理学〔ヒューマン・ウォッチング〕
担当者名	鈴木 順一

講義のねらい

講義形式だけの授業形態は、学習者を受け身のバケツの学び方にしてしまう。学問とは、問い学ぶと書くように、講師が一方的に降り注ぐ知識を、頭に詰め込むことに強いて勉める（勉強する）ことではない。科学は、不思議な現象に対して、疑問を持ち、仮説を立て、仮説の基にサーチャイトをあて、検証（反証）し、新たな仮説構成や発見をしていくプロセスである。

学習というと、教科書に書かれた知識を理解していくことだと考えられがちだが、行動主義的学習理論によると、「学習とは、経験を通じて行動変容していくプロセスである」と定義している。言語という道具を操る能力を獲得した人間は、概念学習ができるようになり、遺伝子の他に「遺言子」とでも呼べる知識を残し、それを世代間で、伝達・組み換え・改良していくことで文明を築き、他の生物とは異なる進化の道を歩み出すようになった。

しかし、経験から学ぶプロセスから遊離してしまった知識だけの学習は、生きるための知恵として効果的に機能できない。頭だけが参加する聴講学習は、体験学習に伴う自発性や能動性、発見しようとするモチベーションが得られない。この授業では、講義だけではなく、グループによる体験学習を取り入れて、学生相互と自己内のコミュニケーションを深め、自己理解と他者理解を促進します。心理学の人間理解の仮説の基に、自分自身や他者を見つめなおし、よりよい人間関係を築くために役立つ道具（理論と技法）を体験的に学んでいきます。

番号は進行順であり、それぞれ1回から3回程度時間が配当されます。学習計画は、進行状況により変更することがあります。

【前期】 [1]学習とは？ 授業方針 [2]エンカウンター（出会いと人間関係づくり） [3]グループ形成と集団規範 [4]コミュニケーションの促進 [5]心とは何か [6]性格検査による自己理解 [7]パーソナリティ理論 [8]無意識の心の働き（精神分析的人格理論） [9]環境を知る働き（感覚・知覚・認知）

【後期】 [10]カウンセリングの理論と技法 [11]心理療法による自己理解と他者理解 [12]自他肯定の人間関係 [13]学習理論と行動療法 [14]relaxation による心身の健康回復

講義の内容・授業スケジュール

履修上の留意点

最初の数回の授業で、6人のグループを編成しますので必ず出席してください。授業は、グループごとに決められた場所に着席していただき、毎回グループごとに自筆で出席をとり本人を確認します。

単独・聴講学習ではなく、グループによる協学習習・相互学習・体験学習・発見学習ですので、集団規範を守ることと、全回出席することが求められます。ルールを守れない人と欠席しがちな人は、履修しないでください。

成績評価の方法

出席状況と平常の小試験、小レポート、個人発表とグループ発表などで、個人とグループを、それぞれ50点満点で評価し合計します。平常点で評価しますので、学年末定期試験及び追・再試験はありません。

教科書

使用しません。授業内で紹介する参考図書や下記参考書の指摘する部分などを読み概念学習を進めていただきます。

参考書等その他

中村昭之編著『心理学概説』（八千代出版）
すべての「心理学」の授業で、心理学科卒業年次生の卒業論文のための調査に協力していただく時間があります。

履修コード	345401
科目名	心理学〔人間関係を考える〕
担当者名	鈴木 順一

講義のねらい 講義形式だけの授業形態は、学習者を受け身のバケツの学び方にしてしまう。学問とは、問い学ぶと書くように、講師が一方向的に降り注ぐ知識を、頭に詰め込むことに強いて勉める(勉強する)ことではない。科学は、不思議な現象に対して、疑問を持ち、仮説を立て、仮説の基にサーチライトをあて、検証(反証)し、新たな仮説構成や発見をしていくプロセスである。

学習というと、教科書に書かれた知識を理解していくことだと考えられがちだが、行動主義的学習理論によると、「学習とは、経験を通じて行動変容していくプロセスである」と定義している。言語という道具を操る能力を獲得した人間は、概念学習ができるようになり、遺伝子の他に「遺言子」とでも呼べる知識を残し、それを世代間で、伝達・組み換え・改良していくことで文明を築き、他の生物とは異なる進化の道を歩み出すようになった。

しかし、経験から学ぶプロセスから遊離してしまった知識だけの学習は、生きるための知恵として効果的に機能できない。頭だけが参加する聴講学習は、体験学習に伴う自発性や能動性、発見しようとするモチベーションが得られない。この授業では、講義だけではなく、グループによる体験学習を取り入れて、学生相互と自己内のコミュニケーションを深め、自己理解と他者理解を促進します。心理学の人間理解の仮説の基に、自分自身や他者を見つめなおし、よりよい人間関係を築くために役立つ道具(理論と技法)を体験的に学んでいきます。

講義の内容・授業スケジュール 番号は進行順であり、それぞれ1回から3回程度時間が配当されます。学習計画は、進行状況により変更することがあります。

【前期】 [1]学習とは? 授業方針 [2]エンカウンター(出会いと人間関係づくり) [3]グループ形成と集団規範 [4]コミュニケーションの促進 [5]心とは何か [6]性格検査による自己理解 [7]パーソナリティ理論 [8]無意識の心の働き(精神分析的人格理論) [9]環境を知る働き(感覚・知覚・認知)

【後期】 [10]カウンセリングの理論と技法 [11]心理療法による自己理解と他者理解 [12]自他肯定の人間関係 [13]学習理論と行動療法 [14]relaxationによる心身の健康回復

履修上の留意点 最初の数回の授業で、6人のグループを編成しますので必ず出席してください。授業は、グループごとに決められた場所に着席していただき、毎回グループごとに自筆で出席をとり本人を確認します。

単独・聴講学習ではなく、グループによる協学習・相互学習・体験学習・発見学習ですので、集団規範を守ることと、全回出席することが求められます。ルールを守れない人と欠席しがちな人は、履修しないでください。

成績評価の方法 出席状況と平常の小試験、小レポート、個人発表とグループ発表などで、個人とグループを、それぞれ50点満点で評価し合計します。平常点で評価しますので、学年末定期試験及び追・再試験はありません。

教科書 使用しません。授業内で紹介する参考図書や下記参考書の指摘する部分などを読み概念学習を進めていただきます。

参考書等その他 蓮見将敏・小山望編著『人間関係の心理学―体験をとおして学ぶ心理学―』(福村出版) すべての「心理学」の授業で、心理学科卒業年次生の卒業論文のための調査に協力していただく時間があります。

教養教育

履修コード	345501
科目名	生物学〔生態と進化〕
担当者名	清水 善和

講義のねらい 地球上には170万種以上の生物種が存在する(生物多様性)。それらはすべて、約40億年前に誕生した始原生物に端を発し、その後連続と続いた進化の産物である(進化)。また、あらゆる生命活動は遺伝子とその産物によって実現される(遺伝子)。本講義では「生物多様性」、「進化」、「遺伝子」の3つをキーワードに、生物の進化や生態を体系的に捉えるとともに、それらを理解するための様々な仕組みや理論について解説する。

1章:遺伝子と進化(1-3回)、2章:40億年の生物進化(4-6回)、3章:系統と分類(7,8回)、4章:行動と進化(9,10回)、5章:動物の人口論(11,12回)、6章:共生と競争(13,14回)、7章:人類の進化(15-17回)、8章:進化論(18,19回)、9章:生態系(20,21回)、10章:物質の循環(22-24回)、11章:植生遷移(25,26回)、12章:生物多様性(27,28回)、13章:人為と生物(29,30回)

講義の内容・授業スケジュール 前期のレポート、後期の試験、通年の出席回数を勘案して評価する。講義内容を文章化した「web版テキスト」(清水執筆)を紹介する。受講者は指定のHPより自由にダウンロードして予習・復習に利用できる。

成績評価の方法 上記「web版テキスト」で章ごとに参考書を紹介する。講義に必要な図表等は章ごとに1枚のプリントにして教場で配布する。

教科書 上記「web版テキスト」で章ごとに参考書を紹介する。

参考書等その他 講義に必要な図表等は章ごとに1枚のプリントにして教場で配布する。

履修コード	345601
科目名	生物学〔生物と環境〕
担当者名	中村 敏枝

講義のねらい 地球上の生物はすべて40億年の歴史を背負っている。その中でヒトだけが自然の掟に逆らい、自らの歴史をつくろうとした。しかし、「ヒトも生物である」という現実から逃れることはできない。「生物とは何か」を考え、「自然との共生」について考えてみよう。

講義の内容・授業スケジュール (前期) 生物の生活
(1-5) 地球の歴史と生命の起源
(6-13) 生態系のしくみ
(後期) 化学物質の功罪—豊かな生活とそのつけ
(14-21) ゴミ処理とダイオキシン汚染
(22-23) 水銀汚染と水俣病
(24-25) 人工放射性物質汚染

履修上の留意点 義務教育までの数学、理科をはじめ各教科の知識を、本講義の前提とする。意見発表の機会をつくりたいので積極的に取り組む学生の参加を期待します。

成績評価の方法 学期終了時に講義内容についての試験またはレポートを課します。成績は上記と出席状況、授業時間内の小レポートなどを考慮して、総合的に評価します。

教科書 赤堀他著『生物学—地球に生きるいのちを考える』(宣協社) 2,700円

参考書等 授業時間内に随時紹介します。

その他 授業スケジュールを変更して時事問題を扱うことがあるかもしれません。

履修コード	346101・346201
科目名	地球科学〔地球の素顔と地球環境問題〕
担当者名	加藤 潔

講義のねらい 最近、地球史にロマンを感じて博物館へ足を運ぶ人や化石や鉱物に興味を持つ人が増えています。自然災害や環境問題に関心を持つ人も増えています。家族を守るためにはある程度の知識が必要です。今後の生活をより豊かにかつ安全に過ごすために、地球科学を学ぶのも一法ではないでしょうか。

本講義の目標は、受講者が地球科学の基礎的な概念を再確認しつつ、新聞やTVによる災害などの報道に対して所見を持てるようにすることです。また、グローバルな視点から諸現象を捉えることができるように教養を養ってもらうことにあります。これまで地学を学ぶ機会があまり無かった受講者にも理解できるように心がけます。いつでも質問して下さい。

講義の内容・授業スケジュール 前半は、地球の誕生、内部構造、プレートテクトニクス、ブルームテクトニクス、火山、地震、自然災害、予知について触れます。後半は、地殻の物質、造山運動、アジア大陸や日本列島の形成環境、生命の歴史、環境問題(地球温暖化など)について触れます。

成績評価の方法 主に期末試験で評価されます。また、前・後期に3回ぐらいつづ、ビデオ鑑賞時の簡単な感想文や実習レポートを授業中に提出してもらいます(各5点程度)。

教科書 特に定めない。適宜プリントを配布。

参考書等 『ニューステージ地学図表 新訂』(浜島書店)

その他 プロジェクター、ビデオ等を使用します。

教養教育

履修コード	346301
科目名	自然環境論〔宇宙から見た地球環境〕
担当者名	篠原 正雄

講義のねらい 現代の天文学と惑星科学の成果の上に立ち、宇宙を視点に地球の自然環境について講義する。個別の環境問題の背後にある地球環境システムについて理解し、より深いところから地球環境を考えられるようになっていただきたい。

講義の内容・授業スケジュール (1~10) 宇宙と地球環境：(自然の階層構造 宇宙137億年の歴史 地球46億年の歴史 地球の進化と地球環境の形成) (11~15) 地球環境の変動：(宇宙環境と地球環境変動 地球システムと地球環境変動 人類と地球環境変動) (16~25) 地球環境問題：(オゾン層破壊問題 地球温暖化問題 エネルギー その他の環境問題) (26~30) 宇宙と地球の未来：(文明の未来 地球と宇宙の未来 SETI：地球外文明探査)

成績評価の方法 学年末に行う筆記試験の結果により評価する。S、Aについては教務部のガイドラインを考慮するので、試験の点と成績とは一致しない。平常点は10点までの範囲で考慮する。

教科書 木下紀正・八田明夫著『地球と環境の科学』(東京教学社) 2,300円+税

参考書等 講義の中で適宜紹介する。

その他 「宇宙」に関する映像を使うことがある。教科書外の事項については適宜プリント等を配布する。

履修コード	346401
科目名	自然環境論〔生命と環境〕
担当者名	やすがた たけし 山縣 毅

講義のねらい 18世紀後半から始まった産業革命以降、産業文明の発展により、地球規模の環境変化が自然の復元能力を超えて急激に進んでいます。その変化は、人類の生存自体にも深刻な影響を及ぼすようになってきました。本講義では、地球科学的立場から、地球環境の諸問題を解説し、人間活動が地球環境に与える影響、自然と人間の関わりについて考えていくことを目標としています。

講義の内容・授業スケジュール
〔地球表層の環境〕
1. 大気構造とオゾン層 (1, 2回)、2. 気候の決定要因 (3~7回)、3. 生物生存条件としての地球磁場 (8回)

〔人間活動による環境変化〕

1. 公害問題の変遷 (9回)、2. 地球温暖化とその要因 (10~16回)、3. 大気汚染 (17回)、4. 酸性雨 (18回)、5. 光化学スモッグ (19回)、6. オゾン層の破壊 (20回)、7. 海洋汚染 (21, 22回)、8. 廃棄物問題 (23, 24回)、9. 資源とエネルギー (25~27回)

〔自然災害〕:

1. 気候変動 (28回)、2. 地震とその災害 (29回)、3. 火山とその災害 (30回)

成績評価の方法 成績は、定期試験とレポートにて評価します。

参考書等 講義中に紹介します。

その他 講義にて、資料プリントを配布します。

履修コード	346501
科目名	情報数学〔情報と論理〕
担当者名	とりい りゅうぞう 鳥居 竜三

講義のねらい コンピュータサイエンスを学ぶ上で必要な数学を身に付けることを目標とする。

講義の内容・授業スケジュール 教科書に従って以下の項目を解説する。

各節を2~3回かけて授業を行う。

第1章 集合と論理

§1 集合

§2 論理

第2章 関係と写像

§1 関係

§2 写像

第3章 代数系

§1 代数系

§2 半群と群

§3 環と体

第4章 順序集合と束

§1 順序

§2 束とブール代数

第5章 グラフ

§1 グラフ

§2 平面グラフ

§3 有限オートマトン

履修上の留意点 毎回出席すること。

成績評価の方法 前期・後期の期末試験の結果で評価する。

教科書 石村園子「やさしく学べる離散数学」 共立出版 2,100円(税込)

参考書等 適宜紹介する。

その他 数学が苦手である人を想定して講義を進めていくので、解らないときは質問して下さい。全ての受講生が理解して進められるよう努力する。

3. 外国語科目

履修コード	354601・354602
科目名	英語ⅠA〔再クラス〕 英語ⅠB〔再クラス〕
担当者名	<small>まえだ おさむ</small> 前田 脩

講義のねらい 英語を学んで日本と英米の思考過程、文化の違いを学びます。
 講義の内容・授業スケジュール 一回に一章づつ進みます。英字新聞からのプリントも使用します。前期に二度、後期に二度自由英作文を行います。
 履修上の留意点 必ず毎回予習してくる。こと。
 成績評価の方法 日常評価を60%、前期テスト10%、後期テスト、小テストを30%の割合で評価します。
 教科書 To Be Continued(連続ミステリー：もうひとりの自分) 朝日出版
 ISBN978-4-255-15445-9

履修コード	354701・354702
科目名	英語ⅠA〔再クラス〕 英語ⅠB〔再クラス〕
担当者名	<small>こんどう まほろ</small> 近藤 真彫

講義のねらい 英文ニュース記事を読みながら、時事英語の読解力、語彙力をつけ、その内容について英語で意見が述べられるようになることを目指します。
 講義の内容・授業スケジュール 【前期】第1週：ガイダンス 第2,3週 英文記事の読み方 第4～13週：ジャンル別に記事を読みながら、センテンスで意見を述べる練習を行ないます。第14,15週：復習
 【後期】第1週：前期試験の解答 第2～13週：その時々話題になっている記事を読み、それについての自分の意見をパラグラフで述べる練習を行ないます。第14,15週：復習
 履修上の留意点 授業には必ず辞書を持参してください。
 成績評価の方法 前期と後期の定期試験の成績(50%)と平常点(50%)を総合して評価します。
 教科書 ハンドアウトを配布します。

履修コード	354901・354902
科目名	英語ⅠA〔再クラス〕 英語ⅠB〔再クラス〕
担当者名	<small>ますだ けいこ</small> 増田 恵子

講義のねらい 英語の総合的な運用能力を身につける。
 講義の内容・授業スケジュール 授業では音読、訳、内容解釈などの発表をしてもらうので、単語調べ等の予習が必要となる。また英語の基礎も固めていく。(第1回～第15回)文のしくみ(第16回～第30回)構文とその特徴
 履修上の留意点 3分の2以上の出席と授業への積極的な参加姿勢が必要となる。
 成績評価の方法 出席回数、発表や提出物、前・後の定期試験を総合的に判断して評価する。
 教科書 宍戸真他著『Reading Expert 1』(成美堂) 1,800円
 ISBN978-4-7919-1084-7

履修コード	355201・355202
科目名	英語ⅡA〔再クラス〕 英語ⅡB〔再クラス〕
担当者名	<small>てるやま ゆうひこ</small> 照山 雄彦

講義のねらい この授業で扱う英文は、文法を中心とした日常会話を中心として行う。初めに基本となる表現が文法的にどのようにしているのか解説をする。その英文一つ一つを実際の日常会話で役立つために暗記、応用して行く。
 講義の内容・授業スケジュール (1)授業の内容説明、(2～15)基本文型と重要構文、注意すべき文型、Itを含む文型、to 不定詞を含む構文、分詞、仮定、比較を表す構文、否定、名詞を中心とした構文
 履修上の留意点 実際の表現力を養うために予習、復習は必ずすること。また疑問点を用意し、辞書は必ず持参すること。
 成績評価の方法 出席状況を考慮し、学期末試験と授業内に提出を求める課題を評価する。
 教科書等 授業の第1日めに教場にて紹介する。
 参考書 授業の第1日めに教場にて紹介する。

履修コード	355301・355302
科目名	英語IIA〔再クラス〕 英語IIB〔再クラス〕
担当者名	岸本 茂和 <small>ししんと しげかず</small>
講義のねらい	Back-to-Basics! ー基本に帰ることーをこのクラスの最大の標語としたい。英語学習の Basics である「5文型」の徹底的理解をめざす。
講義の内容・授業スケジュール	(1)基本的に1時限1章(全22章)を目標とする。計22週。(2)「遊び時間」として前期と後期にそれぞれ「英語固有名詞」および「英語慣用句」について学習する。計2週。プリントを配布する。(3)前期・後期試験が各1週で計2週。合計年間26週。残りの週は適宜そのつど指示する。
履修上の留意点	予習は必須。出欠はかならずとる。3分の1以上欠席は不可。授業には英和辞書をかならず携帯のこと。電子辞書も可。電子辞書をあらたに購入する用意のある受講生は「英和大辞典」が入っているものを選ぶこと。
成績評価の方法	前期・後期試験の結果および出席状況等をかながみ評価する。
教科書	『基礎文法からはじめる大学英語学習』 松柏社 定価 1,600円(本体)

履修コード	355401・355402
科目名	英語IIA〔再クラス〕 英語IIB〔再クラス〕
担当者名	本間 俊一 <small>ほんま としかず</small>
講義の内容・授業スケジュール	教科書の英文の訳読とその構文理解を中心として学びながら、話題は英米文化圏の日常生活、そして彼らの思考、さらに日本との比較に及ぶ。通常の授業は、前もって学習する予定を発表し、予習を前提に授業を進める。さらに年間を通じていくつか課題の提出を要求するつもりである。学習においては、もちろん細部にこだわるつもりであるが、あまり細部にこだわり過ぎて全体観を失うことは愚かなことであるから、時には相手に大きな誤解を与えない程度に大胆に要約する能力を養えるようにする。
履修上の留意点	毎回、作品の全体を視野にいれながら、細部に注目し、各自が一部を責任もって発表する予定。パソコン・ネットワークを利用した、英語自習、研究の発展、相互のコミュニケーションに及ぶつもりである。
成績評価の方法	前期と後期の2回の試験はもちろんのこととして、普段の授業での発表、さらに年間を通じての課題の提出で評価を決定する。授業の出席は3分の2以上、遅刻3回で1回の欠席と計算する。なお、課題の提出の仕方については、授業で細かく説明するつもりであるが、休暇中にパソコン・ネットワークでも可能であるから興味のある学生はそれに習熟されたい。
教科書	Anne of Green Gables(講談社インターナショナル)693円 ISBN4-06-186057-7

履修コード	355601・355602
科目名	ドイツ語IA〔再クラス〕 ドイツ語IB〔再クラス〕
担当者名	野島 利彰 <small>のじま としあき</small>
講義のねらい	簡単な練習を積み重ね、さまざまな角度からドイツ語を学びます
講義の内容・授業スケジュール	文法的な説明は少なくし、練習問題でドイツ語を教える方法で授業を進めます。
履修上の留意点	理解できるためには予習復習が重要です。授業の前には必ず予習しておいて下さい。
成績評価の方法	出席回数、小テスト、七月と一月の試験の成績、および授業中、練習問題や質問にどれだけ答えたかが成績評価の基準になります。
教科書	佐藤・Pinnau・中村著『新ドイツに行ってみませんか』、郁文堂、2500円
その他	外国語学習には毎日の積み重ねが大切です。テレビやラジオのドイツ語講座も視聴して下さい。

履修コード	355701・355702
科目名	ドイツ語IIA〔再クラス〕 ドイツ語IIB〔再クラス〕
担当者名	本橋 右京 <small>もとばし うきょう</small>
講義のねらい	初級文法の配列に則った読章を読み、基本的なドイツ語の語彙や構造を習得して行きます。
講義の内容・授業スケジュール	初級文法に準拠して、文法項目を確認しながら学んで行きます。基本表現はできるだけ覚えましょう。
履修上の留意点	テキストは丁寧に無理なく、また興味深く作られています。しっかり予習・復習して授業に臨んでください。授業中の発表や表現練習など、みなさんの積極的な取り組みに期待します。
成績評価の方法	前期・後期の試験60%、出席率と授業参加度40%。
教科書	山本淳著『新々・じゃあ、またあした!』 (同学社) 2006年刊 2500円+税 ISBN8102-0723-4

履修コード	355801・355802
科目名	フランス語IA〔再クラス〕 フランス語IB〔再クラス〕
担当者名	長谷川 光明 <small>はせがわ みつあき</small>

講義のねらい 初級文法を復習しながら、フランス語の表現能力を習得することを目標とします。

講義の内容・授業スケジュール (1) 受講上の諸注意／アルファベ (2) つづり字の読み方 (3-30) 人称代名詞・基本動詞の活用・名詞の性・数詞／冠詞・形容詞／第一群規則動詞の活用・所有形容詞・否定文／指示代名詞／疑問代名詞・中性代名詞／部分冠詞・数量の表現／命令形・非人称構文／比較級／代名動詞／複合過去／未来形

履修上の留意点 *毎回、発音練習・練習問題等を行います。試験は前期末と後期末計二回行います。
基本表現をまず習得し、練習問題に取り組むことによって、その応用能力を養っていきます。そのためには、出席者は口答問題、筆答問題に積極的に取り組む必要があります。辞書は必ず毎回持参してください。

成績評価の方法 前期、後期の試験と小テストおよび平常点の総計。

教科書 伊勢晃他『ヴワラ!』(早美出版社) 2,100円

参考書等 石野好一『フランス語の入門』(白水社) 2,200円

履修コード	355901・355902
科目名	フランス語IIA〔再クラス〕 フランス語IIB〔再クラス〕
担当者名	長谷川 光明 <small>はせがわ みつあき</small>

講義のねらい ビデオ教材を用いて、フランス語初級文法を複合過去から復習していきます。

講義の内容・授業スケジュール (1) 受講上の諸注意／つづり字の読み方の復習 (2-30) 文法(複合過去・代名動詞／半過去・大過去／関係代名詞・命令形・補語人称代名詞／現在分詞・ジェロンディフ・疑問代名詞／受動態／強調構文・中性代名詞／条件法／接続法／間接話法・時制の一致

履修上の留意点 *毎回、発音練習・練習問題等を行います。試験は前期と後期二回行います。
基本表現をまず習得し、練習問題に取り組むことによって、その応用能力を養っていきます。そのためには、出席者は口頭問題、筆答問題に積極的に取り組む必要があります。辞書は必ず毎回持参してください。

成績評価の方法 前期、後期試験及び平常点。

教科書 中山真彦、杉山利恵子『ボンジュール・パリ』(白水社) 2,200円

参考書等 石野好一『フランス語の入門』(白水社) 2,200円

履修コード	356001・356002
科目名	中国語IA〔再クラス〕 中国語IB〔再クラス〕
担当者名	大久保 明男 <small>おおくぼ あきお</small>

講義のねらい 正確な発音と基礎文法の習得、中国語コミュニケーション能力の養成を目指します。

講義の内容・授業スケジュール 基本的に教科書に沿って授業を進めていくが、折に触れて中国の社会や文化に関わることを紹介したり、ビデオを見たりする予定です。

履修上の留意点 中国語を学ぶ意義を十分に認識し、授業に意欲を持って臨むこと。
毎回予習、復習すること。

成績評価の方法 出席率、定期試験の成績、平常点の三項目で総合評価します。

教科書 南雲智・趙暉『はじめよう! 中国語』(白水社、2205円)

履修コード	356201・356202
科目名	中国語IIA〔再クラス〕 中国語IIB〔再クラス〕
担当者名	弘兼 加奈子 <small>ひろかね かなこ</small>

講義のねらい 一年次で行った会話練習を継続しつつ、日常のアナウンス、説明文などの簡単な文章を読む練習を行います。教科書の内容は、本学が上海で実施している夏期中国語セミナーの状況とも一致しています。ぜひ実際に使ってほしいと思います。

講義の内容・授業スケジュール 全16課の内、4課ごとにテストを行います。年間30回の授業では、テストも含めて授業7、8回で4課ずつ進むことになります。

履修上の留意点 授業にはすべて出席することが前提です。やむを得ぬ理由により欠席する場合でも、7回を越えた場合は単位取得が不可能となります。具体的には、欠席を1点、遅刻早退を0.5点として合計し、7点以内の者を成績評価の対象とします。

成績評価の方法 4分の3以上の出席を前提に、テストによって評価します。テストは年間4回行う予定です。

教科書 石慧敏、金子真也『上海びより』(好文出版) 2000円+税

履修コード	356401・356402
科目名	スペイン語IA〔再クラス〕 スペイン語IB〔再クラス〕
担当者名	^{くりばやし ゆき絵} 栗林 ゆき絵
講義のねらい	基本的な単語や挨拶のほか、基本的なスペイン語のことばのしくみを学習し、日常の簡単な会話に活用できることを目標とする。
講義の内容・授業スケジュール	授業は文法事項の説明とそれを応用した練習問題という構成で進める。前期は文字と発音(1)、主語・名詞句(2)、現在形(3-15)、後期は過去形(1-10)、再帰動詞(11-13)、復習と会話表現(14-15)を中心に学習する予定。毎回時間の初めに小テスト(活用・単語・作文)を実施。
履修上の留意点	少しずつ文法や単語を身につけられるよう、毎回、授業の最初に2問程度の小テストを行う。途中でわからなくなってもめげずに授業に出席するように心がけてほしい。
成績評価の方法	平常点(毎時間の小テスト含む)30%と前後期の期末試験70%。半期のうち5回以上欠席した者は試験の受験を認めない。
教科書 参考書等	初回の授業の授業で指示(プリント教材配布予定)。初回は必ず出席のこと。 『ポケットプログレッシブ西和・和西語辞典』(小学館) *辞書はすでに所有しているものはそれを使用すればよいが、未購入の者は上記の辞書を購入するとよい。他の辞書については授業中に紹介する。

履修コード	356501・356502
科目名	スペイン語IIA〔再クラス〕 スペイン語IIB〔再クラス〕
担当者名	^{くりばやし ゆき絵} 栗林 ゆき絵
講義のねらい	現在形・過去形(点過去・線過去)の復習のあと、未来形・過去未来形や接続法の形も学び、初級会話を越えた豊かな表現を身につける。 最終的には、活用表と辞書があれば、会話文から新聞記事まで読みこなせることをめざす。
講義の内容・授業スケジュール	前期はスペイン語Iで扱わなかった活用形を中心に文法説明とその応用の練習問題を行う。現在・点過去・線過去の復習(1回)、再帰動詞(2-3回)、現在完了(4-5回)、分詞(6-7回)、未来と過去未来(8-9回)、接続法(10-11回)、命令文(12-13回)、復習(14-15回)、の予定。 後期は、スペインや中南米に関する新聞記事等の購読を行う。(1-15回) 最終授業時は和訳提出の課題を実施する。
履修上の留意点	最初は難しく感じると思うが、できるだけ個人のレベルに合わせた指導を行うので、出席をかかさないように。平常点の配分を高くしているので日々の授業で地道に力をつけていってほしい。 辞書(和西単語集つきが望ましい)は授業中に使用するので必ず持ってくること。
成績評価の方法	平常点80%、前期試験10%、後期課題10%
教科書 参考書等	プリント配布予定(初回授業で指示します)。 <辞書>『ポケットプログレッシブ西和・和西辞典』(小学館) *辞書はすでに所有しているものはそれを使用すればよいが、未購入の者は上記の辞書を購入するとよい。他の辞書については授業中に紹介する。

外国語

履修コード	356601・356602
科目名	ロシア語IA〔再クラス〕 ロシア語IB〔再クラス〕
担当者名	^{すぎやま ひでこ} 杉山 秀子
講義のねらい	1) 母音、子音の基本的発音、アクセント記号(力点)の法則、イントネーションの5つの型をみっちりやります。 2) かんたんな挨拶の表現、日常つかわれるロシア語の独特な表現(ボデー・ラングウエジを含む)を身につけます。 3) 平易な内容をききとりによって理解できるようにします。 4) 基礎的な初等文法を学びます。 5) アルファベットを活字体、筆記体で書けるようにします。
講義の内容・授業スケジュール	はじめに絵やビデオをみながら、ロシア語のやさしい単語や短文を何回も繰り返して練習します。教員が質問した事を何回もくりかえしてもらい、うけ答えをします。少し音に馴れてきたらCDを使い更に理解度を深め、語尾変化に抵抗感のなくなるように何回もゆっくり、くりかえしながら発話してもらおうようにします。授業では各人が何回も発話をさせられますが、全く恐れる必要はありません。全教員が優しく指導してくれますので恥かしがらないことが大切です。
成績評価の方法	4-7月はイントネーションや発音に重点をおき、9-12月はやさしい短文のききとり、初級文法を学びます。
教科書 参考書等	試験は行わず、平常点で評価します。 『21世紀のロシア語』(大学書林)1,800円+税 『露和辞書』

履修コード	356701・356702
科目名	ロシア語IIA〔再クラス〕 ロシア語IIB〔再クラス〕
担当者名	杉山 ^{すぎやま ひでこ} 秀子

講義のねらい 1年次の文法事項の練習と、声を出してロシア語がスラスラ読めるように練習します。
ロシア語のかんたんな会話と、速読による文意の把握をめざします。

講義の内容・
授業スケジュール

- アクセント記号のついた文章をすらすらと読めるようにします。
- 日常つかわれる会話のより複雑なヴァリエーションを学びます。
- やさしい文章を速読で大意がつかめる練習をします。
- かんたんな文を正しく聴きとる練習をします。
- 中等文法のエッセンスを勉強をします。
- 4-7月 基礎文法の復習
- 9-12月 中等文法を学び多様なロシア語文に馴れるようにする。

成績評価の方法
教科書
参考書等
その他

出席と平常点を重視します。
既習の教科書と文法表。
『露和辞書』
プリント配布。教場にて指示します。

履修コード	351201
科目名	英会話
担当者名	ロビン, G. F.

講義のねらい This topic-based course will develop speaking skills in English for students through interactive controlled pair and group communication projects. A variety of topic-oriented discussion, role-playing, dialogue, and drill activities will be used to enhance the students' ability to express themselves. A basic text will be used for warm-up speaking and other materials will be provided by the teacher to extend oral skill development. Students will be graded on classroom participation, homework assignments, and a speaking test at the end of term.

講義の内容・
授業スケジュール

Lesson 1 and 2: Abilities
Lesson 3 and 4: Time and Date
Lesson 5 and 6: Daily Routine
Lesson 7 and 8: Location and Moving Things
Lesson 9 and 10: Directions
Lesson 11 and 12: Personal Information
Lesson 13 Speaking test
Lesson 14 and 15: Family
Lesson 16 and 17: Likes and Dislikes
Lesson 18 and 19: About Tomorrow
Lesson 20 and 21: The Past
Lesson 22 and 23: Describing People
Lesson 24 and 25: In a Restaurant
Lesson 26 and 27: Making comparisons
Lesson 28 Review
Lesson 29: Rehearsal for speaking test
Lesson 30: Speaking test

成績評価の方法

40% attendance and participation in class
40% speaking tests
20% homework assignments

教科書

Fifty-Fifty, Book 1
by Warren Wilson and Roger Bernard
Longmans

履修コード	351301
科目名	英語 L L I
担当者名	西村 ^{にしむら} 祐子 ^{ゆうこ}

講義のねらい 聞き取り、読む力を同時につける。日常的スピードで話される会話をききとり、受け答えできるように聞き取る力を向上させていく。TOEIC形式の模擬試験を前期1回後期1回行う。すくなくともスコアで150から300程度のアップをめざす。

講義の内容・授業スケジュール

前期

1. 小テスト（1）実施（受講希望者が多い場合はこのテストにより振り分けを行う）
2. 聞き取り、書き取り訓練（1）
3. 聞き取り、書き取り訓練（2）
4. 聞き取り、書き取り訓練（3）
5. 聞き取り、書き取り訓練（4）
6. 小テスト（2）
7. 英語での自己紹介（1）
8. 英語での自己紹介（2）
9. 英語での自己紹介（3）
10. 聞き取り、書き取り訓練（5）
11. 聞き取り、書き取り訓練（6）
12. 聞き取り、書き取り訓練（7）
13. 小テスト（3）

後期

1. 小テスト（4）
2. 聞き取り、書き取り訓練（8）
3. 聞き取り、書き取り訓練（9）
4. 聞き取り、書き取り訓練（10）
5. 聞き取り、書き取り訓練（11）
6. 小テスト（5）
7. 英語でおこなうペアワークと書く英語（1）
8. 英語でおこなうペアワークと書く英語（2）
9. 英語でおこなうペアワークと書く英語（3）
10. 英語でおこなうペアワークと書く英語（4）
11. 小テスト（6）
12. 復習とまとめ（1）
13. 復習とまとめ（2）

**履修上の留意点
成績評価の方法**

全員コンピュータIDを習得しておくこと。

平常点、出席点：30%

小テスト、課題提出：30%

TOEIC模擬試験：40%

定期試験は実施しない。

**教科書
参考書等
その他**

教場にあるPCソフト教材をつかう。

教場で指示。

ウェブ上でおこなう宿題は Yestudy などをつかい、電子データでの音の持ち帰りもできる。フラッシュメモリー（USB）、自宅での吹き込み用簡易ヘッドセット（マイクつき）などを用意しておくことと便利。

外国語

履修コード	354301
科目名	英会話II
担当者名	ロビン, G. F.

講義のねらい This class is for everyone. Not only experienced speakers, but beginners as well, are encouraged to participate. Even if you have difficulty, making an effort will get you a good grade. This class will emphasize conversation, public speaking and discussion. This is not an information course, but a participation course. Therefore good attendance is necessary to get a passing grade. The course will focus on improving grammar, vocabulary, and fluency in speaking through topic-oriented materials.

Various kinds of activities will be used to enhance your conversational skills, such as pair work, information gap, group discussion, language games, story-building, dictation and so on. As your conversation skills develop, you will then use them for the purpose of making a speech later in the course. Some work sheets will be given at that time to enhance your speech-making skills. A few homework assignments will also be given relating to your speaking projects.

Enjoy and Learn!

**講義の内容・
授業スケジュール**

1 unit every 2 weeks from the texts and other activities using other materials.

Week

- 1 Introduction
- 2 Asking Question
- 3 Unit 1
- 4 Unit 1
- 5 Unit 2
- 6 Unit 2
- 7 Unit 3
- 8 Unit 3
- 9 Unit 4
- 10 Unit 4
- 11 Unit 5
- 12 Unit 5
- 13 Review
- 14 Rehearsal for Speaking Test
- 15 Test
- 16 Unit 6
- 17 Unit 6
- 18 Unit 7
- 19 Unit 7
- 20 Unit 8
- 21 Unit 8
- 22 Unit 9
- 23 Unit 9
- 24 Unit 10
- 25 Unit 10
- 26 Review
- 27 Review
- 28 Conversation activities
- 29 Rehearsal
- 30 Test

履修上の留意点

- 1) Speak English whenever possible.
- 2) Do homework if assigned.
- 3) Attend all classes. If absent, bring a stamped note.
- 4) Bring your textbook, a notebook, and a good dictionary.

成績評価の方法

- 40% attendance and participation in class
40% speaking tests
20% homework assignments

教科書

- 1) Inside English, High Beginner Student Book, Susan Kay et al., (Longmans)

履修コード	354401
科目名	英語L II
担当者名	林 明人

講義のねらい リスニング用のテキストを使用します。CDがテキストに付いてきますので事前によく聞き取りをしてきて下さい。

講義の内容・ 授業スケジュール	1	ユニット1	(問題1, 2)	16	ユニット5	(問題5, 6)
	2	ユニット1	(問題3, 4)	17	ユニット6	(問題1, 2)
	3	ユニット1	(問題5, 6)	18	ユニット6	(問題3, 4)
	4	ユニット2	(問題1, 2)	19	ユニット6	(問題5, 6)
	5	ユニット2	(問題3, 4)	20	ユニット7	(問題1, 2)
	6	ユニット2	(問題5, 6)	21	ユニット7	(問題3, 4)
	7	ユニット3	(問題1, 2)	22	ユニット7	(問題5, 6)
	8	ユニット3	(問題3, 4)	23	ユニット8	(問題1, 2)
	9	ユニット3	(問題5, 6)	24	ユニット8	(問題3, 4)
	10	ユニット4	(問題1, 2)	25	ユニット8	(問題5, 6)
	11	ユニット4	(問題3, 4)	26	ユニット9	(問題1, 2)
	12	ユニット4	(問題5, 6)	27	ユニット9	(問題3, 4)
	13	ユニット5	(問題1, 2)	28	ユニット9	(問題5, 6)
	14	ユニット5	(問題3, 4)	29	ユニット10	(問題1, 2)
	15	前期試験		30	後期試験	

履修上の留意点 遅刻(交通機関の遅延を除く)及び授業中の出入りは認めない。
成績評価の方法 試験(30%)②発表(40%)③出席(30%)で総合評価するが、①～②のそれぞれの評価が一つでも3割に満たない場合、あわせて③の出席が全授業回数の3分の2以下の場合は評価の対象にしない。

教科書 4月に教場で指示します。

4. 保 健 体 育 科 目

履修コード	341201
科目名	健康・スポーツ論
担当者名	村松 誠

講義のねらい 現代は健康の時代の不健康な時代といわれる。健康に関する情報は、マスコミにあふれている。健康情報が商品になる時代である。また、民間療法による健康法も数多く存在している。このような状況の中で、しっかりとした健康観を持つことは、適切な選択をするために大切なこととなる。そして、学生時代は人生の中で最も健康な時期といわれるが、現代の健康問題とされる生活習慣病は、この年代より始まると言われている。このような認識のもとに、現代における健康問題も話題に取り上げながら、生涯にわたっての健康を考えていく。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：健康観の変遷
- 3 時限目：現代の健康観
- 4 時限目：健康の成立要因
- 5 時限目：健康の成立条件
- 6 時限目：病気の原因
- 7 時限目：疾病構造の変遷と病気の予防
- 8 時限目：現代の感染症
- 9 時限目：喫煙と健康
- 10 時限目：飲酒と健康
- 11 時限目：ストレスと健康
- 12 時限目：食べ物と健康
- 13 時限目：運動と健康
- 14 時限目：環境と健康
- 15 時限目：まとめ（テスト）

**成績評価の方法
教科書**

数回のレポート、小テストなどを行い、これを加味して評価する。
特に指定はしない。参考図書についてはその都度提示する。

履修コード	341301
科目名	健康・スポーツ論
担当者名	三幣 晴三

講義のねらい 健康の概念はあまりにも固定観念や独善的な考え方に支配されている。この講義ではそうした考え方にメスを入れてどうしたら本当の健康を手に入れることができるかを検証する。また日常生活で行うことができる「マイエクササイズ」を実技をしながら説明する。スポーツは現在話題になっているスポーツについて説明し、スポーツの持つ意義をどうしたら自身の人生に生かすことができるかを考える。

講義の内容・授業スケジュール

- 1限：講義のオリエンテーション＜講義の進め方の説明＞
- 2限：健康概念の変遷
- 3限：健康と固定観念 1
- 4限：＃ 2
- 5限：健康と生き方 1
- 6限：＃ 2
- 7限：日常生活での留意点 1
- 8限：＃ 2
- 9限：小テスト＜健康＞
- 10限：スポーツ概念の変遷
- 11限：オリンピック 1
- 12限：＃ 2
- 13限：ワールドカップ
- 14限：小テスト＜スポーツ＞
- 15限：総合テスト

**履修上の留意点
成績評価の方法**

出席は毎時限とする。教科書などはないが、配布するプリントを中心に授業を進める。
出席点と小テスト・総合テストを総合的に評価する。特に総合テストは必ず受けなければならない。

**教科書
参考書等**

指定なし
指定なし

履修コード	340201
科目名	健康・スポーツ実習（ミニサッカー）〔再クラス〕
担当者名	大石 武士

講義のねらい ミニサッカーのゲームは、ボールを蹴ること（キック）、止めること（トラッピング）、運ぶこと（ドリブル）から成り立っている。週一回の授業で全てをマスターすることは難しいが、各々の技術の要領を知ることによって数段ボール扱いがうまくなり、ゲームもまた楽しいものになる。本授業では、毎時間余暇感覚でゲームを行い、よき人間関係づくりを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール
 1時限目：オリエンテーション
 2時限目：ゲームの進め方、練習ゲーム
 3時限目：ゲームの攻め方、守り方、ゲーム
 4時限目～9時限目：基礎技術の応用練習、ゲーム
 10時限目～14時限目：ゲーム
 15時限目：まとめ

履修上の留意点 ※受講者数によっては、他の球技（バドミントン・卓球など）に変更する。
 成績評価の方法 服装は、一般的な運動服装で良い。シューズについては、オリエンテーションの時に説明する。評価は出席点70%、総合評価30%で行う。

履修コード	340301
科目名	健康・スポーツ実習（ミニサッカー）〔再クラス〕
担当者名	大石 武士

講義のねらい ミニサッカーのゲームは、ボールを蹴ること（キック）、止めること（トラッピング）、運ぶこと（ドリブル）から成り立っている。週一回の授業で全てをマスターすることは難しいが、各々の技術の要領を知ることによって数段ボール扱いがうまくなり、ゲームもまた楽しいものになる。本授業では、毎時間余暇感覚でゲームを行い、よき人間関係づくりを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール
 1時限目：オリエンテーション
 2時限目：ゲームの進め方、練習ゲーム
 3時限目：ゲームの攻め方、守り方、ゲーム
 4時限目～9時限目：基礎技術の応用練習、ゲーム
 10時限目～14時限目：ゲーム
 15時限目：まとめ

履修上の留意点 ※受講者数によっては、他の球技（バドミントン・卓球など）に変更する。
 成績評価の方法 服装は、一般的な運動服装で良い。シューズについては、オリエンテーションの時に説明する。評価は出席点70%、総合評価30%で行う。

履修コード	340501
科目名	健康・スポーツ実習（バドミントン）〔再クラス〕
担当者名	村松 誠

講義のねらい バドミントンをはじめとして、室内球技のゲームを通して、その基礎技術、戦術、ルール等を理解し、他の参加者と協力してゲーム運営ができるようになることを目標とする。

講義の内容・授業スケジュール
 1時限目：オリエンテーション
 2時限目：バドミンントンの基礎技術
 3時限目：バドミントン1次リーグ戦
 4時限目：バドミントン2次リーグ戦
 5時限目：バドミントン3次リーグ戦
 6時限目：バドミントンダブルス1次リーグ戦
 7時限目：バドミントンダブルス2次リーグ戦
 8時限目：バドミントンダブルス3次リーグ戦
 9時限目：その他の球技の基礎技術
 10時限目：その他の球技1次リーグ戦
 11時限目：その他の球技2次リーグ戦
 12時限目：その他の球技3次リーグ戦
 13時限目：その他の球技4次リーグ戦
 14時限目：その他の球技5次リーグ戦
 15時限目：まとめ

履修上の留意点 動きやすいスポーツ服装と室内専用のスポーツシューズ。バドミントンをはじめとして、バスケットボール、バレーボール、卓球、フットサルなど、季節性、受講者のレディネスも加味して実施する。

成績評価の方法 出席点を重視する。全授業回数の3分の2以上の出席者に単位を認定する。

履修コード	199301・199302
科目名	生涯スポーツ演習Ⅰ(シーズン基礎)(ゴルフ) 生涯スポーツ演習Ⅰ(シーズン応用)(ゴルフ)
担当者名	三幣 晴三 他

講義のねらい 「健康・スポーツ実習」で行われているゴルフ授業を一步進めて、ゴルフコースを使用してゴルフを基本からラウンドプレーまでを体験することをねらいとする。したがって、初めてゴルフを体験しようとする初心者から、経験者までを対象とするカリキュラムが組まれている。

ゴルフの技術的向上を主たるねらいとするが、プレーヤーとしてのマナーやエチケット、更に同僚競技者とのコミュニケーションも本講義の重要なねらいとなる。

生涯スポーツとして、ゴルフの良さを十分に楽しみ、ゴルフを通して良き人間関係を作っていくための基礎を学んでほしい。

講義の内容・授業スケジュール

1. オリエンテーション:

1回目 4月8日(水) 12:10~12:40 2研-209教場

2回目 4月18日(土) 12:10~12:40 2研-209教場

*本オリエンテーションにて、受講許可書を発行します。

1回目のオリエンテーションで定員に達しない場合、2回目を実施します。

2. 事前授業: 7月21日(火) 13:00~16:10 2研-209教場「ゴルフの基礎知識」

3. 実習内容および現地講義

1日目 9月7日(月)

講義: 9:00~12:10 ゴルフコースとゲーム、スイングの基礎(玉川校舎教場)

実技: 13:00~17:30 打撃練習

*注意: 1日目は、玉川校舎で実施する。

2日目 9月8日(火) 実技・講義: 11:00~18:00 打撃練習・ゴルフの規則1、その他

3日目 9月9日(水) 実技・講義: 8:30~17:00 打撃練習・ラウンド・ゴルフの規則2

4日目 9月10日(木) 実技・講義: 8:30~17:00 打撃練習・ラウンド・ラウンドの総括

5日目 9月11日(金) 実技・講義: 8:30~13:30 打撃練習・ラウンド・閉校式

履修上の留意点

生涯スポーツ演習Ⅰ(シーズン基礎・シーズン応用)を履修する場合は、上記オリエンテーションに出席し、担当者の受講許可を受けなければなりません。

1. 実習日程: 平成21年9月7日(玉川校舎)・9月8日~11日(現地: 3泊4日)

2. 場所:

宿泊: マロードインターナショナルホテル成田

〒286-0121 千葉県成田市駒井野763-1

電話 0476-30-2222 FAX 0476-32-9112

練習コース: ダイナミックゴルフ成田

〒289-2231 千葉県香取郡多古町飯笹1040

電話 0479-75-0793 FAX 0479-75-0785

3. 定員: 40名

4. 集合解散:

(1) 集合 9月7日(月) 午前9時 玉川校舎 305教場

9月8日(火) 午前11時 ダイナミックゴルフ成田

(2) 解散 9月11日(金) 午後12時30分: 予定 ダイナミックゴルフ成田

5. 受講料: 37,600円(左記金額には、交通費は含まれない。)

6. 納入期間: 平成21年5月18日(月)~5月30日(土)

証明書自動発行機(教務部ロビー設置)で受講料を納入後、納入書をスポーツ・健康部門(第2研究館9階資料室)に提出すること。期間内に納入しない場合は、受講することができないので注意してください。

7. 服装・用具

(1) 一般的なゴルフ服装(セーター・ウインドブレーカーも天候によって必要)

(2) ゴルフシューズ(ソフトスパイクに限る)は必ず用意すること。ただし、練習場においては運動靴でも可。

(3) グローブは、必ず各自で用意すること。

(4) ゴルフクラブ・キャディーバックは大学で用意するが、自分の物を持参してもよい。

成績評価の方法

その他

出席状況、ゴルフの技術的向上、授業態度を総合的に判断して評価する。

都合で参加できなくなった場合は、早急にスポーツ・健康部門(第2研究館9階資料室)に連絡すること。なお、受講料の一部は、返却されないことがあります。

履修コード	199401・199402
科目名	生涯スポーツ演習Ⅱ（シーズン基礎）（スキー・スノーボード） 生涯スポーツ演習Ⅱ（シーズン応用）（スキー・スノーボード）
担当者名	鈴木 淳平 他

講義のねらい

現在わが国において、スキーやスノーボードに代表されるスノースポーツは国民に広く普及し「生涯スポーツ」として定着している。これらを楽しむ為に、実習および講義によって基礎技術や練習方法、ならびにゲレンデにおけるマナーなどについて理解を深めていきたい。

実習はそれぞれの技術レベルに応じて班分けして実施する。コースの内容は以下の通りである。

○スキー・スノーボード基礎コース：雪面に慣れることから始まり、基礎的な滑走技術の習得を目指す。

○スキー・スノーボード応用コース：基礎コースを更に発展させ、安全で楽しくゲレンデを滑る技術の習得を目指す。

講義の内容・授業スケジュール

1. オリエンテーション1回目 4月8日（水）12：10～12：40 2研-209教場
2回目 4月18日（土）12：10～12：40 2研-209教場

※本オリエンテーションにて、種目決定と受講許可書発行を行います。

1回目のオリエンテーションで定員に達しない場合、2回目を実施します。

2. 事前授業 1月8日（金）13：00～16：00 2研-209教場「スノースポーツの基礎知識」
3. 実習内容および現地講義

1日目 1月28日（木）

午前：駒澤大学駒沢校舎から貸し切りバスで移動（集合・出発時刻未定） 正午到着予定

午後：開講式 班別実習および全体講義「スノースポーツの基礎技術解説および安全・マナー」

2日目 1月29日（金）

午前・午後：班別実習および全体講義「スノースポーツの応用技術解説」

3日目 1月30日（土）

午前・午後：班別実習および全体講義「スノースポーツと環境」

4日目 1月31日（日）

午前・午後：班別実習および全体講義「本実習の反省まとめ」

5日目 2月1日（月）

午前：班別実習 閉講式

午後：駒澤大学駒沢校舎へ貸し切りバスで移動（集合・出発時刻未定） 到着後解散予定

履修上の留意点

本講座は、生涯スポーツ演習Ⅱシーズン・基礎／応用ですが、履修する場合は、スキーまたはスノーボードのどちらかの種目とします。また、上記オリエンテーションに出席し、担当者の受講許可書を受けなければなりません。受講要項および本講義内容をよく確認してください。

- 1) 実習日程：平成22年1月28日（木）～2月1日（月）の4泊5日（現地集合解散）
- 2) 実習場所：セントレジャー舞子スノーリゾート

宿泊）セントレジャー舞子ホテル 電話（025）783-3511

〒949-6423 新潟県南魚沼市舞子2056-108

- 3) 定員：スキー20名

スノーボード30名（但し、初心者・初級者に限る）

- 4) 受講料：50,000円（内訳：往復交通費・宿泊費・食費・傷害保険・その他雑費として）

※リフト券、レンタル代は別途料金がかかります。

証明書自動発行機（教務部ロビー設置）で受講料を納入後、納入書をスポーツ・健康部門（第2研究館9階資料室）に提出すること。期間内に納入しない場合は、受講することができないので注意して下さい。

納入期間：平成21年5月18日（月）～5月30日（土）

- 5) 用具：用具は現地レンタル可能（有料）。

- 6) 特記事項：卒業年次生が履修する場合は日程などに注意すること。

成績評価の方法

オリエンテーション・事前授業および実習（5日間）に参加修了し、2単位が認められる。成績評価方法は、事前授業参加状況、各班において実施する実技テストと実習参加態度、並びに技術や理解度も含めて総合的に成績評価がなされる。

Ⅱ 専 門 教 育 科 目

経営学科フレックスB

履修コード	328001
科目名	経営学
担当者名	渡辺 伊津子

講義のねらい 企業経営の実態や事例を踏まえながら、経営学の基本的な用語や基礎概念について学ぶことを目的とします。

講義の内容・授業スケジュール (1) 経営学という学問 (2～7) 経営とは、企業経営の仕組み、企業の役割、株式会社の特徴、所有と経営の分離、コーポレートガバナンス (8～9) 経営学の生成、経営倫理の流れ (10～13) 経営理念と経営戦略、経営戦略の種類、事業の選択、競争戦略 (14～17) 組織とは、分業と調整、組織形態の基本モデル、さまざまな組織形態 (18～20) 企業集団、系列と下請け、戦略的提携 (21～23) モノづくりと生産管理、生産システムの進化、作業組織 (24～27) 動機づけとリーダーシップ、雇用システム、報酬システム、人材育成 (28～29) マーケティングの変遷、価値の創造・伝達・実現 (30) 総括

成績評価の方法 学期末試験(70%)と授業中に行う確認テスト(30%)で評価します。
教科書 (1) 上林憲雄・奥林康司・団泰雄・開本浩矢・森田雅也・竹林明 (2) 『経験から学ぶ経営学入門』 (3) 有斐閣ブックス (4) 2400円+税 (5) ISBN 978-4-641-18348-3

履修コード	328301
科目名	簿記学
担当者名	大野 満奈

講義のねらい 簿記は会計学の基本であり、複式簿記の計算構造は、会計学のどの分野を学ぶにしても前提的に理解されることが必要である。この意味において、簿記の基本原則を理解し、経営学部で学ぶ者が最低必要とされる簿記知識を修得することを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール 前期
1. 簿記・会計の意義と目的, 2. 企業の財政状態－貸借対照表, 3. 企業の経営成績－損益計算書, 4. 取引と仕訳, 5. 勘定記入と元帳の締め切り, 6. 帳簿・伝票・証ひょう, 7. 試算表の作成(1), 8. 精算表の作成(1), 9. 現金・預金, 10. 小口預金, 11. 商品売買の処理と仕入帳・売上帳, 12. 総合復習, 13. 総合復習

後期
1. 商品有高帳, 2. 売掛金・買掛金と人名勘定, 3. 有形固定資産の取得と売却, 4. 資本金と引出金, 5. 試算表の作成(2), 6. 売上原価の計算と決算仕訳, 7. 貸し倒れの見積りと減価償却, 8. 精算表の作成(2), 9. 有価証券, 10. 手形取引, 11. 費用・収益の見越しと繰り延べ, 12. 精算表の作成(3), 13. 総合復習

履修上の留意点 簿記は自分で練習問題を解き、照合することによって初めて修得できるものであるから、原則として毎回出席して要点を理解し、自宅では毎回の復習に心掛けること。また、疑問点は、積極的に質問することによって早期に解決しておくこと。

成績評価の方法 試験の点数・出席回数・提出物の三点をもって総合的に評価する。
教科書 『要点整理 日商簿記検定練習問題集』3級(一橋出版)

履修コード	328501
科目名	経済学概説
担当者名	三好 向洋

講義のねらい 経済問題・経済政策を取り扱った新聞記事を理解できるようになることを目的とする

講義の内容・授業スケジュール 前期
費用(コスト)と効用(2)・価格差別(3)・ライブドア事件・金融商品取引法(4-6)・公正取引委員会・独占禁止法(7-9)・解雇規制と失業(10)・農業と貿易(11)・住宅・借地借家法(12)・まとめ(13)・試験(14)・試験返却と解説(15)

後期
GNPとGDP(2)・長期の生産と成長(3)・物価と金融(4)・中央銀行(5)・失業と短期の経済変動(6-7)・総需要と総供給(8-9)・財政政策と金融政策(10-12)・まとめ(13)・試験(14)・試験返却と解説(15)

成績評価の方法 授業内試験の成績と数回のレポート・授業内試験では授業で支持した問題を出題する
教科書等 使いません

前期
(著者)ポール・クルーグマン・ロビン・ウェルス (書名)クルーグマンミクロ経済学 東洋経済新報社 5,040円 ISBN:978-4492313831

後期
(著者)グレゴリー・マンキュー (書名)マンキュー経済学〈2〉マクロ編 東洋経済新報社 4,200円 ISBN:978-4492313534

専門教育

履修コード	328601
科目名	会計学
担当者名	岩瀬 昭子

講義のねらい 会計の目的は、一般的に複式簿記の手法等によって、組織（主に企業）の経営成績および財政状態を明らかにして、企業を取り巻く利害関係者に会計情報を提供することにあります。簿記学は主に帳簿記入のルールを学習するのに対し、会計学は理論的なフレームワークや会計制度を学習します。会計学は、組織（主に企業）の経営活動を主に貨幣金額で表したデータの意味を理解することに役立ちます。本講義では、会計学を経済社会の動きとも関連して学習します。

講義の内容・授業スケジュール

1. ガイダンス・総論, 2. 企業会計の仕組み, 3. 企業会計の理論的特徴（会計準則、会計原則）, 4. 企業会計制度, 5. 資産会計, 6. 負債会計, 7. 資本会計, 8. 損益会計, 9. 財務諸表の作成, 10. 連結財務諸表

**履修上の留意点
成績評価の方法
教科書**

簿記学の知識があると、会計学を理解することが容易になります。
中間試験、期末試験、出席、小テスト、受講態度などを総合的に評価します。
『現代会計学 [第9版]』、新井清光著・川村義則補訂、中央経済社、2,600円+税

履修コード	328801
科目名	情報処理基礎A
担当者名	桃塚 薫

講義のねらい この講義の目的は、大学生として必要不可欠なコンピュータの基礎的リテラシーを習得してもらうことです。パソコンとインターネットを用いて、必要な情報を収集する能力、自分で情報発信をする能力の両方を学習します。

講義の内容・授業スケジュール

●(1)Windows の基本操作（電源の入れ方、ファイル・フォルダの概念、ハードディスクなど各種記憶装置の名称・構造と使い方、ホームディレクトリの使用方法）
●(2)電子メール（Active! Mail）の使い方（電子メールの送受信、転送、保存、削除、ファイルの添付、あて先とCC、BCC、ネチケット（成りすまし、デマメールなど）の説明
●(3)Web の基礎知識（情報検索の方法）
●(4～7)ワープロソフトの基本操作（日本語入力、全角文字と半角文字、ドキュメンテーションの保存、装飾、図・表などの作成と挿入、文字列の検索と置換、箇条書き、印刷方法、実際に複数ページにまたがるドキュメンテーションを作成）
●(8～15)表計算ソフトの基本操作（表計算ソフトの概念、基本用語の説明、データ入力方法の説明、データの保存、四則演算、データの修正、数式のコピー（相対参照と絶対参照）、レイアウトの変更、印刷、平易な統計・論理関数の使い方（合計、平均、条件）、各種グラフの作成、データベースの概念、フィールドとレコード、データの並べ替え、列と行の表示と非表示、その他の関数、表計算ソフトを利用した総合作成演習）

履修上の留意点

実習授業のため、遅刻・欠席をしないでください。毎回出席を取ります。授業中に数回、課題を提出してもらいます。

**成績評価の方法
教科書
その他**

出席点(50)、課題提出状況(25)、期末レポート(25)による相対評価。
毎回プリントを配布。(同じ内容のPDFファイルをウェブ上で閲覧できる)
※この科目は4月初回の授業に必ず出席して担当教員から許可を得なければ履修できません。

履修コード	328901
科目名	情報処理基礎 A
担当者名	依田 聖

講義のねらい	コンピュータなしでは社会生活を遂行してゆくことは困難になりつつある。コンピュータの基本的な操作方法をマスターする中で、コンピュータの機能について理解し、情報を大学生生活に活用する能力を身につける。
講義の内容・授業スケジュール	大学あるいは企業でPCを道具（情報収集、情報伝達、レポートの作成等）として使う基本的な力（コンピュータ・リテラシー）を養う。演習を中心に進めるが、コンピュータ化の問題点と情報倫理等の講義も行う。演習の主要な点は（1）PCの操作（Windows の基本操作）（2）WWW（ブラウザの使用法、情報検索・収集）（3）電子メール（送受信、添付ファイル、アドレス帳）（4）ワープロ（操作法、文書作成、印刷）
履修上の留意点	講義にはメールを活用（講義録の送付と課題の提出）する。 本科目は積み重ねが必要。欠席した場合必ず休んだ部分を勉強し、次回にのぞむように。分からないことは恥ずかしながら聞き、その場で解決のこと。また復習をしっかりとすること。演習は結果としてハードなものになるので熱意を持って取り組むこと。休まず、遅刻はしないこと（出欠は必ずとります）。
成績評価の方法	出席（毎回の課題を提出）・レポート40%、試験60%。特にメールを習った後は毎回の課題はメールで提出する。
教科書	太田忠一編『文科系のためのコンピュータリテラシ [第4版]』（サイエンス社）2008年 1,950円+税、ISBN4-7819-1085-8
その他	授業の方法：1人1台コンピュータを使った実習形式 ※この科目は4月初回の授業に必ず出席して担当教員から許可を得なければ履修できません。

履修コード	329001
科目名	情報処理基礎 A
担当者名	加藤 武信

講義のねらい	情報化社会の電子文房具であるパソコンは、個人レベル、組織レベルおよび社会レベルで益々必要性を増している。ここではパソコンの原理とその活用法の基礎部分を総合的に学習し、それを自在に使用して、インターネットを用いた情報検索やワープロによる文書の作成、表計算によるデータ加工の技法などを修得する。パソコンの実習環境は、Windows を用いる。
講義の内容・授業スケジュール	A. コンピュータの仕組みと Windows の基本操作 （1～2）アクセサリとペイントの活用、タイピング、ファイルシステムの操作を含む B. ワードプロソフト Word による文書作成 （3～4）日本語入力、手紙、納品書、履歴書などの作成、図形描画の活用 C. インターネットと電子メールの活用 （5～6）Web ページの検索、ダウンロード、メールの送受信など D. 表計算ソフト Excel による作表・作図（基本レベル） （7～10）売上集計、成績処理と各種グラフ、納品書、履歴書、精算表の作成 （11～15）基本関数、論理関数、データベースの活用
履修上の留意点	パソコン実習が全体の80%を占めるので、欠席せず、熱意をもって受講することを望む。習熟するためには、時間外のパソコン実習が必須である。また、テキストや配布教材を熟読しなければならない。
成績評価の方法	平常点（出席とレポートへの点数付け）およびテストにより総合評価する。
教科書	①電子教材 ②コンピュータリテラシー研究会「Office 2007によるコンピュータリテラシー」（サンウェイ出版） ¥1,300 ISBN978-4-88389-028-6 C0004
参考書等	鈴木光勇「EXCEL ビジネスデータ分析2007対応」（翔泳社）¥2,180 ISBN978-4-7981-1118-6 C3055
その他	授業の方法：パソコン実習 ※この科目は4月初回の授業に必ず出席して担当教員から許可を得なければ履修できません。

履修コード	329101
科目名	情報処理基礎 B
担当者名	ももつか かわる 桃塚 薫

講義のねらい	この講義の目的は、大学生として、そして卒業後も必要となるコンピュータの比較的高度なリテラシーを習得してもらうことです。パソコンとインターネットを用いて、必要な情報を収集する能力、自分で情報発信をする能力の両方を学習します。
講義の内容・授業スケジュール	<p>●(1～4)プレゼンテーションソフトの基本操作（スライドの作成、スライドのレイアウト、アウトライン、箇条書き、ファイルの保存、スライドのデザイン、デザインテンプレート、スライドの削除・移動、テキストボックス、ヘッダーとフッター、画像の挿入、スライドマスタ、アニメーション、表の作成、グラフの挿入、配布資料の印刷、課題作成）</p> <p>●(5～11)グループによるプレゼンテーション実践（グループ分け、良いトピックとは、ブレインストーミング、テーマの絞り方、資料収集、スライドの構成、スライドの作成、内容の見直し、発表練習、発表、発表後の自己評価）</p> <p>●(12～15)HTMLの基礎（テキストエディタの使い方、各種タグの説明、スタイルシート、基本的なタグを使った html ファイルの作成実習）</p>
履修上の留意点	実習授業のため、遅刻・欠席をしないでください。毎回出席を取ります。授業中に数回、課題を提出してもらいます。なお、グループによるプレゼンテーションを実際に行います。
成績評価の方法	出席点(50)、課題提出状況(25)、期末レポート(25)による相対評価。
教科書	毎回プリントを配布。(同じ内容のPDFファイルをウェブ上で閲覧できる)
その他	この授業では、プレゼンテーションソフトの操作方法だけではなく、自分の考えを他人に如何に分かりやすく効果的に伝えるかに焦点を当てます。 ※この科目を履修するためには、「情報処理基礎 A」の4月初回授業時に担当教員の受講許可を得た上で、履修登録してください。

履修コード	329201
科目名	情報処理基礎 B
担当者名	かとう たけのぶ 加藤 武信

講義のねらい	「情報処理基礎A」の授業で確立したパソコンに関する知識・技術をさらに発展させ、実社会で応用できる活用能力に高める。すなわち Excel による応用処理と PowerPoint を用いたプレゼンテーション、さらに関係データベース Access を活用した「仕事の仕組み」の具体化を試みる。パソコンの実習環境は、Windows を用いる。
講義の内容・授業スケジュール	<p>A. 表計算ソフト Excel による応用処理 (1～4) データベース応用、ピボットテーブルの活用、各種計算モデルの活用、管理資料の作成</p> <p>B. プレゼンテーションソフト PowerPoint によるデータの視覚化 (5～6) 表題、箇条書き、組織図、表、グラフ、挿絵入りスライドなどの作成 (7～8) プレゼンテーション課題に沿った発表順序の企画とスライドの作成</p> <p>C. データベースソフト Access による成績処理業務の設計と処理 (9～15) テーブルの設計、フォームによるデータ入力、テーブルの結合、クエリによる各種集計、SQLの基礎</p>
履修上の留意点	パソコン実習が全体の80%を占めるので、欠席せず、熱意をもって受講することを望む。習熟するためには、時間外のパソコン実習が必須である。また、テキストや配布教材を熟読しなければならない。
成績評価の方法	出席、レポートおよびテストにより総合評価する。
教科書	コンピュータリテラシー研究会「Office 2007によるコンピュータリテラシー」(サンウェイ出版) ¥1,300 ISBN978-4-88389-028-6 C0004
参考書等	鈴木光勇「EXCEL ビジネスデータ分析2007対応」(翔泳社) ¥2,180 ISBN978-4-7981-1118-6 C3055
その他	授業の方法：パソコン実習 ※この科目を履修するためには、「情報処理基礎 A」の4月初回授業時に担当教員の許可を得た上で、履修登録してください。

履修コード	329301
科目名	情報処理基礎 B
担当者名	依田 聖 <small>よだ きよし</small>

講義のねらい	コンピュータなしでは社会生活を遂行してゆくことは困難になりつつある。コンピュータの基本的な操作方法をマスターする中で、コンピュータの機能について理解し、情報を大学生活に活用する能力を身につける。
講義の内容・授業スケジュール	前期で養った基本的な力をベースにして、コンピュータを実践的に使えるような力を養う。演習を中心に進めるが、情報倫理やITビジネス等の講義も行う。演習の主要な点は(1)表計算(エクセル)(操作法、表計算、グラフ)(2)www ワープロエクセルの連携(アプリケーション間でのデータのやり取り、情報検索・収集とその解析)(3)スライドの作成(パワーポイントでスライドを作成する)と発表
履修上の留意点	講義にはメールを活用(講義録の送付と課題の提出)する。 本科目は積み重ねが必要。欠席した場合必ず休んだ部分を勉強し、次回にのぞむように。分からないことは恥ずかしがらず聞き、その場で解決のこと。また復習をしっかりとすること。演習は結果としてハードなものになるので熱意を持って取り組むこと。休まず、遅刻はしないこと(欠欠は必ずとります)。
成績評価の方法	出席(毎回の課題を提出)・レポート40%、試験60%。毎回の課題はメールで提出する。
教科書	太田忠一編『文科系のためのコンピュータリテラシ[第4版]』(サイエンス社)2008年 1,950円+税、ISBN4-7819-1085-8
その他	授業の方法:パソコン実習 ※この科目を履修するためには、「情報処理基礎A」の4月初回授業時に担当教員の受講許可を得た上で、履修登録してください。

履修コード	330301
科目名	経営学史
担当者名	中川 淳平 <small>なかがわ じゆんぺい</small>

講義のねらい	この講義では、100年あまりにわたる経営学の歴史上、重要なものと位置づけられる学説を、その問題意識に着目し、現代企業経営の諸問題を解決するための技法として解説を加えていく。
講義の内容・授業スケジュール	1. コーポレートガバナンスのための問題解決技法(制度学派など、1-7) 2. リストラクチャリングへの問題解決技法(経営戦略論など、8-15) 3. イノベーションへの問題解決技法(生産管理論など、16-20) 4. コミュニケーションへの問題解決技法(人間関係論など、21-23) 5. セクショナリズムへの問題解決技法(経営組織論など、24-30)
履修上の留意点	講義中の私語は慎んで下さい。
成績評価の方法	定期試験100%。但し講義中などで必要に応じレポートの提出を求めることがあり、内容いかんによってこれを評定に加えることがある。
教科書 参考書等	中川淳平『問題解決のための経営学』泉文堂、2007年。 授業毎に配布するプリントに適宜指示する。

履修コード	332701
科目名	アメリカ経営学
担当者名	宮城 徹

講義のねらい

世界の経営学をリードしているのは、いうまでもなく、アメリカ経営学とドイツ経営学である。そして、日本の経営学の研究・教育は、第2次大戦前はドイツ経営学から、大戦後はアメリカ経営学から圧倒的な支配的影響を受けて発展してきた。ところが、特に1960年代以降になると、ドイツ経営学にもアメリカ経営学の影響が顕著に見られるようになった。

学生諸君は、必修科目である「経営学」の授業を通じて、無意識のうちに、アメリカとドイツの経営学にかんする基礎知識をある程度身につけていることを前提とした上で、経営学徒のメッカ、アメリカ経営学をその最先端の理論的・経験的研究の基本的成果を踏まえて全般的に講義するが、主として、下記の授業計画の9つの要目について検討する。その際、日本の企業との関連についても検討を加える。

講義の内容・授業スケジュール

マイクと板書。教科書は指定しない。

この授業は1週1回90分で年間30週の時間数(ただし、期末試験日を入れて)から成る。最初の授業時間は、この科目を選択するか否かを判断するために下見に来ている学生諸君に、アメリカ経営学の1年間の授業の概要を説明する。原則として、下記の授業計画の要目をそれぞれカッコ内の授業回数(合計29回)で完結する予定である。

なお、この授業回数は一応の目安であり、授業時間が祝祭日に当る場合は授業の進展状況によって若干変更することがある。

(2009年度『アメリカ経営学』授業計画)

- I 1年間の授業の概要 (1)
- II 経営学の対象と方法 (2)
- III 意思決定と権力(パワー:マハト)(2)
- IV 戦略(特に提携、グループ、ファミリー)(2)
- V 取引コスト理論(6)
- VI プロパティ・ライツ理論(4)
- VII プリンシパル-エージェント理論(5)
- VIII 契約の理論(3)
- IX 企業のモジュラー化(4)

成績評価の方法

期末筆記試験。なお、学生諸君の理解度と教育効果を確かめるために、期末試験以外に、小試験をおこない、その結果を評価の対象に加味することがある。

《期末試験の出題形式》

複数の問題から1題選択して論述する。詳細は試験前の授業で説明する。

参考書等

- 1 宮城徹『企業の政治理論序説』(税務経理協会)1983:1999年
 - 2 宮城徹『企業制度とプロパティ・ライツ理論』『商学研究科紀要』(早大、第20号)1985年
 - 3 宮城徹「情報と企業経営の理論的諸問題」日本経営学会編『情報化の進展と企業経営』(千倉書房)1987年
 - 4 宮城徹「経営者論」鈴木英寿編『経営学総論』(第2版)(成文堂)1989:1999年
 - 5 宮城徹「経営学の歴史」藤芳誠一編『新版・新時代の経営学』(学文社)1983:1993年
 - 6 宮城徹「組織の経済理論の基礎構造」日本経営学会編『現代経営学の課題』(千倉書房)1997年
 - 7 宮城徹「企業統治の研究の統合の一試論」『駒大経営研究』第31巻 第1・2号、2000年
 - 8 宮城徹(単独訳書)『情報時代の企業管理の教科書—組織の経済理論の応用—』(税務経理協会)2009:2008年(A.Picot u.a.,Die grenzenlose Unternehmung, Gabler, 1998)
 - 9 宮城徹(共訳書)『新制度派経済学による組織入門』(白桃書房)1999:2007年(A.Picot u.a.,Organisation. Eine ökonomische Perspektive, Schaffer-Poeschel, 1997)
 - 10 宮城徹「企業文化と組織の経済理論」遠山正朗編著『ケースに学ぶ企業の文化』(敬愛大学学術叢書)(白桃書房)2003年
 - 11 宮城徹(訳稿)「民主的な経済政策と社会政策の理論的基礎—O. ウィリアムソンの貢献*—」
*Ingo Pies: Theoretische Grundlagen demokratischer Wirtschafts- und Gesellschaftspolitik--Der Beitrag Oliver Williamsons, in: Ingo Pies und Martin Leschke (Hrsg.) (2001): Oliver Williamsons Organisationsökonomik, Tübingen: Mohr Siebeck, S. 1-27. 『駒大経営研究』第39巻第3・4号(2008年)
 - 12 宮城徹(訳稿)「取引対相互作用、特異性対拡散効果および結束した行為者のレーゾンデートル—組織の経済学の構想の新しい志向を求めて*—」
*Ingo Pies: Transaktion versus Interaktion, Spezifität versus Brisanz und die raison d'être korporativer Akteure--Zur konzeptionellen Neuausrichtung der Organisationsökonomik, in: Ingo Pies und Martin Leschke (Hrsg.) (2001): Oliver Williamsons Organisationsökonomik, Tübingen: Mohr Siebeck, S.95-119. 『駒大経営研究』第39巻第3・4号(2008年)
- ここでは紙幅の関係で上記の授業内容に直接関連のある私の著書・論文・訳書だけを参考文献の一部として掲げておいたが、その他の文献については適宜紹介してゆく。

履修コード	333901
科目名	ドイツ経営学
担当者名	高橋 成夫

講義のねらい	現代のドイツの企業システムの特徴を解明するとともに、ドイツ経営学の性格や内容を、ドイツ経営学の歴史(史的展開)の中で明らかにすることにある。
講義の内容・授業スケジュール	(1~8) I. ドイツの企業システム ドイツの企業形態/所有構造と支配類型/トップ・マネジメント構造/共同決定法/企業統治 (9~11) II. ドイツ経営学の前史 (12~16) III. ドイツ経営学の生成, 科学的私経済学と技術的私経済学 (17~24) IV. ドイツ経営学の展開, <1> 私経済学的企業経済学と規範的・技術的経営経済学, <2> 理論科学的経営経済学と応用科学的経営経済学 (25~30) V. ドイツ経営学の現状(多様な構想), 意思決定志向的/システム志向的/行動理論的/新規範論的経営経済学/労働志向的個別経済学/新制度派経済学に基づく経営経済学
履修上の留意点	講義では主要な内容について出来る限り板書して説明するので、積極的に出席することが望ましい。
成績評価の方法	定期試験と出席状況等を総合して評価する。
教科書	特に指定しない。
参考書等	北野利信編『経営学説入門』(有斐閣新書)

履修コード	330101
科目名	経営管理論
担当者名	渡辺 伊津子

講義のねらい	現代社会において財・サービスといった価値の生産は、企業に代表される組織的な活動単位に委ねられています。この組織的な営みに不可欠な「経営管理」に関する基礎概念を理解し、理論的思考を身につけることを目的とします。
講義の内容・授業スケジュール	(1) 経営管理の全体像をつかむ (2~6) 管理者の役割(「管理」という問題の出現、経営「管理論」の発展の概説、経営管理論の代表的なパイオニアたち、経営管理論における管理者像の変遷、『マネジャーの仕事』H. ミンツバーグを中心に) (7~12) 企業の仕組みを管理する(経営管理の対象としての組織、経営組織の発展段階、経営組織の発展段階にみる経営管理の課題、創始と実施という問題、組織設計という具体的な問題、事例としての「インテルのマトリックス管理」) (13~18) 経営環境と企業との関係を管理する(企業を取り巻く環境、環境と経営組織の適合関係について、企業の方針と経営理念、経営管理からみた企業の活動領域とは、活動領域の決定と変更、事例としての「GE社の新事業開発」) (19~24) 企業で働く人々を管理する(動機づけとリーダーシップ、職務設計に関する諸理論、作業組織とチーム・マネジメント、経営管理とキャリア設計との関係、経営管理と成果主義との関係、事例としての「キャノンの組織と人事システム」) (25~30) 変革プロセスを管理する(インフォーマル集団の果たす役割について、企業「らしさ」という問題について、企業文化と経営管理との関係、変革プロセスの管理、事例としての「NUMMIの変革プロセス」、(30) 総括
成績評価の方法	学期末試験(70%)と授業中に行う確認テスト(30%)で評価します。
教科書	必要に応じて資料を配布する予定です。
参考書等	1) 山倉健嗣・岸田民樹・田中政光著 2) 『現代経営キーワード』 3) 有斐閣双書 4) 1,800円+税 5) ISBN 4-641-05870-9

履修コード	331301
科目名	経営組織論
担当者名	日野 健太 <small>ひの けんた</small>

講義のねらい	組織論のフレームワークによって、企業をはじめとする組織について「なぜ」を「自分の言葉で」「ひとにわかるように」考えるようになる。そのための基本概念と思考方法を学ぶ。
講義の内容・授業スケジュール	経営組織論の内容は、大きく分けて、組織の環境適応を扱うマクロ組織論と、組織における集団、個人を扱うミクロ組織論に大別される。この講義は、ミクロ組織論、マクロ組織論の順序で講義を進める。学生諸君が具体的なイメージを持てるように、配慮する。また、学年末の数回は、組織論の分野の新しい理論やトピックについて扱い、全体的な理解が深まるようにする。
履修上の留意点	講義の対象と回数は以下の通り 1. 組織論における組織観と人間観(4) 2. モチベーション(4) 3. リーダーシップ(4) 4. 組織文化(3) 5. 組織の環境適応(5) 知識創造理論(1) その他まとめや中間テスト(3) 回数は文科省対策として形式的に示しておく。詳細なシラバスは開講時に配布。
成績評価の方法	どうすればうまく学べるか、を意識して講義に参加すること。試験前に困っている友達にノートを貸して、講義の内容を教えてあげられるようになれば完璧。
教科書参考書等	後期の授業開始日に中間試験を行う。このテストのウエイトが40%程度、学年末の定期試験のウエイトが60%程度。大まかには、この二つが成績を決める。中間試験を欠席するのは、即不可ではないが、致命的である。 金井壽宏『経営組織』(日経文庫) 桑田・田尾『組織論』(有斐閣) 大月・藤田・奥村『組織のイメージと理論』(創成社) 田尾『モチベーション入門』(日経文庫) 経営学辞典の類、例えば、二神編著『ビジネス・経営学辞典』(中央経済社)などもなにかと重宝である。
その他	大学の e-learning サイト YeStudy で出席をとったり教場で配布した配布物を入手できるようにする予定。教場には、想像力を持参すること。

履修コード	331001
科目名	経営労務論
担当者名	鹿嶋 秀晃 <small>かしま ひであき</small>

講義のねらい	現代の日本企業とそこに働く労働者が抱える経営労務問題を幅広く扱っていく。経営労務論を受講することで企業と労働、社会について幅広い問題関心を持ってもらいたい。
講義の内容・授業スケジュール	講義は1コマ1テーマの原則。各回毎に「日本は終身雇用なのか?」といったテーマを掲げ、その解説をおこなう。また、最近の新聞記事から重要な経営労務問題をピックアップして紹介する。スケジュールは大まかに次の予定。(1) ガイダンス、(2)～(4) 経営労務論と日本的経営論、(5)～(10) 正規、非正規の雇用管理、出向・転籍・早期退職など、(11)～(16) 賃金論入門、年功賃金の歴史、職能資格制度、人事考課、昇進・昇格など、(17)～(22) 労使関係の歴史、構造、労働組合など、(23)～(29) 各論(労働時間、福利厚生、賃金格差問題、教育訓練など)とまとめ、質問受付、(30) 試験。
履修上の留意点	詳細は最初の講義で説明。(1) 出席点は無し。(2) 私語は真剣に聞いている他の学生に迷惑になるので厳禁。(3) 携帯電話は消音。ひどいときには退室させ、単位認定をしない。
成績評価の方法	評価は学期末試験とレポート提出の合計点で成績評価を実施する。受講者数によって変更の場合もあり。
教科書参考書等	特になし。 津田眞激『人事労務管理』(ミネルヴァ書房) 1993 (定価3,000円程度)、経営労務をより体系的に深く学習するのによい白井泰四郎『現代日本の労務管理第2版』(東洋経済新報社) 1992 (定価3,500円程度)をあげておく。他にも適宜講義中に紹介していく。
その他	図表やグラフを多用し、ただノートを取るだけでなく「頭をつかう」ようにする。WEBページでも授業に関する情報を提供。URL参照。http://www.komazawa-u.ac.jp/~kashima/

履修コード	333801
科目名	生産管理論
担当者名	<small>ふじわら あつし</small> 藤原 篤志

講義のねらい 生産管理は製造企業における生産活動の管理であり、財の生産に投入する生産諸要素（資材、設備、労働力）を総合的に調整することにより、主としてQ（品質）・C（原価）・D（納期）の側面について企業の生産効率を最大にすることを目的としている。このような生産管理の機能・特徴を体系的に解説したい。

また効率よくモノづくりを行なうシステムである各種生産システム（テイラーシステム、フォードシステム、トヨタ生産システムなど）について、主として自動車産業を中心に解説する。

以上のような企業内の管理機能としての生産管理に留まらず、企業内外での生産に関する諸活動、諸現象、諸問題についても幅広く取り上げたい。また本講義では生産や生産管理と密接に関連していることから労働者による労働も考察の対象としている

講義の内容・授業スケジュール 以下の順序で講義を行なう。前期は生産管理の機能を体系的に解説する。生産に関する基本的な用語・概念（第2～4回）、生産計画と生産統制（第5～8回）、QCDの側面の管理（第9～11回）、生産要素に関する管理（第12～15回）。後期は歴史上代表的な生産システムについて解説する。テイラー・システム（第16～19回）、フォード・システム（第20～22回）、トヨタ生産システム（第23～28回）、セル生産システム（第29～30回）。

以上の内容の講義と並行して経済専門紙や専門雑誌の記事を紹介しながら、最近の生産上の問題や生産の効率化に関する企業での取り組みについて解説を行いたい。

履修上の留意点 講義中の私語は厳禁である。私語や携帯電話の呼出音等、講義を妨げる者は即座に退室扱いになり、また場合によって減点や単位取得不可になることもあるので注意すること。

成績評価の方法 主として定期試験で行う。またレポートの課題が出ることもあるが、その場合は事前に通知する。指定しない。

教科書等 山下高之『体系生産管理論』中央経済社、1990年
門田安弘『トヨタプロダクションシステム～その理論と体系～』ダイヤモンド社、2006年
その他、講義の中で指示する。

履修コード	334401
科目名	マーケティング論
担当者名	<small>かむむら すすいてつ</small> 兼村 栄哲

講義のねらい 社会的な分業体制が成立している今日の経済においては、生産と消費の間に、主体的懸隔、量と組み合わせに関する懸隔、情報の懸隔、空間的懸隔、時間的懸隔といったさまざまな経済的懸隔が発生している。マーケティングとは、こうした経済的懸隔を架橋することによって、円滑な交換（の連鎖）を実現し、ひいては、消費者が、生産者が生産する商品を消費することを可能にする活動をいい、社会経済的な観点に立ったマクロ・マーケティング（「流通」とほぼ同義）と、個別企業のマネジメントの観点に立ったミクロ・マーケティング（いわゆる「マーケティング」）に大別される。マーケティング論は、以上の2つのマーケティングのメカニズムを研究する学問である。

本講義のねらいは、各履修者が、マーケティング論における基本的な概念ないし理論などを正確に理解することにある。

講義の内容・授業スケジュール (1～3) マーケティングの二義性 (4) 流通機能の意義 (5) 流通フロー（マーケティング・フロー） (6～14) 流通機能の領域 (15) 流通機構の意義 (16～17) 流通機関の意義と分類 (18～21) 小売業者の分類 (22) マーケティング・コンセプト (23) 企業におけるマーケティングの役割 (24～25) マーケティング管理 (26～27) 製品政策 (28) 価格政策 (29) プロモーション政策 (30) チャネル政策

履修上の留意点 講義中に印刷物を配布することがあるが、この印刷物は当該講義時間内にしか配布しない。やむを得ない事情により、印刷物配布時に欠席した場合には、次回講義までに知人に印刷物をコピーさせてもらうこと。

成績評価の方法 テスト 90点
出席状況 10点

教科書等 なし
兼村栄哲他4名（著）『現代流通論』（八千代出版）1999年、3,045円、ISBN：4-8429-1093-3。
宮澤永光（監修）『基本流通用語辞典』〔改訂版〕（白桃書房）2007年、2,625円、ISBN：978-4-561-75169-4。
宮澤永光・亀井昭宏（監修）『マーケティング辞典』〔改訂版〕（同文舘）2003年、2,940円、ISBN：4-495-63492-5。

専門教育

履修コード	331101
科目名	経営財務論
担当者名	高田 光明

講義のねらい 経営財務論は、企業という組織体の財務活動を研究対象とする学問分野である。今日、企業の財務という場合、企業による資本の調達と運用をいっている。企業は、その活動を営むに際し、原材料などの財貨や労働力を確保しなければならない。そのために元手となる資本を必要とする。資本の調達とは、この元手となる資本を集めることをいう。そして調達した資本で、企業は、原材料などの生産要素を取得して、製品を生産し販売するという活動を遂行する。これが資本の運用である。資本の源泉は、それぞれ異なる特徴を持っている。したがって、生産要素の取得を賄うために必要とする資本を、どの源泉からどのくらいずつ調達するかは、企業が営業活動を実施して、調達資本をいかに効率的に運用できるかに大きな影響を与える。この授業では、以上の問題意識のもとに、次のスケジュールにしたがって講義を進め、経営財務に関する基礎的知識・基本的考え方を身に付けることを主要目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

(1) 経営財務の領域、(2) 資本と資産、(3～4) 資本の分類、(5～6) 資本の運用形態、(7～8) 資金調達方法の特徴、(9～10) 資金調達の基本原則、(11～12) 流動・固定分類法の重要性、(13～14) 資金概念、(15～16) 企業利益の概念、(17～18) 減価償却費の性格、(19～20) キャッシュ・フロー、(21～22) リスクとリターン、(23～24) レバレッジ、(25～26) 資本のコスト、(27～28) 続・資金調達の基本原則、(29～30) 資金調達の手順

履修上の留意点

企業による財務活動に関する情報は、企業の会計システムから得られる。したがって履修にあたっては、企業会計の初歩的知識があることが望ましい。

成績評価の方法

定期試験による評価を原則とし、出席点を5点を限度に加味する。

履修コード	330001
科目名	経営戦略論
担当者名	中村 公一

講義のねらい 経営戦略論は、現実の企業経営と密接に関連している実践的要素の強い科目である。受講生が企業に就職した時に、その企業が属する業界がどのように動いており、それに対応して企業が採っている戦略を理解することは、自分達の仕事の意義を考える上でも有効なことである。さらに、就職活動の時にも、希望する企業の動向を把握することは重要な選択要因の1つとなるだろう。

講義の内容・授業スケジュール

本講義では、さまざまな企業の置かれている環境とそれに対する経営戦略を理解し、実践的な場面でも応用できる知識と考え方を提供することを目標に進めていく。そこで、新聞やビジネス誌などをリソースとして、実際の経営戦略をケースとしてできるだけ取り上げるようにする。

そして、なぜこの企業はこの戦略を採るのか、その戦略によってどのような効果が期待されるのか、ということに関して、古典から最先端の理論を使って解釈することを焦点に講義を行う。

- 1, 経営戦略論の基礎概念 (1～5)
- 2, 成長戦略論：事業領域、多角化戦略など (6～9)
- 3, 競争戦略論：ポーターモデル、コア・コンピタンス、ビジネスモデルなど (10～14)
- 4, 前期のまとめ (15)
- 5, 組織間戦略論：M&A、グループ戦略、グローバル戦略 (16～21)
- 6, 経営戦略と経営組織：専門組織、ナレッジマネジメントなど (22～25)
- 7, 最新の戦略課題：研究開発戦略、ライセンス戦略、企業集積の戦略など (26～29)
- 8, 年間講義のまとめ (30)

履修上の留意点

経営戦略論は、実際の企業活動と密接に関連しているために、日頃から新聞や雑誌などで関連する記事にはできる限り目を通すことが望まれる。

注意点としては、講義に対する妨害行為(私語、携帯電話など)には厳しく対処する。1人(数名)の愚かな行為により、他の真面目な学生に迷惑をかけ、講義自体の雰囲気が悪くなるために、教場を友人との話す場として考えている者は出席しないこと。

成績評価の方法

年度末の定期試験を中心に、レポート課題や、授業中に実施する小レポートなども成績評価に含める。

教科書

授業中にレジュメを配布して、それに基づいて講義を進める。1回の講義で1つの重要テーマに関する内容を学習する。基本図書や参考文献などは授業中にその都度指摘する。

履修コード	329601
科目名	ベンチャー企業論
担当者名	崔 銀順

講義のねらい
講義の内容・
授業スケジュール

・生きている証はベンチャースピリット
・ベンチャー企業の歴史・意義・現状の把握、
ベンチャー企業と企業家精神（1～5回）、ケース・スタディの分析（6～15回）、ベンチャー企業のビジネスモデルと戦略、マーケティング（16～20回）、ベンチャーキャピタルと支援インフラ（21～25回）、ベンチャー企業のマネジメント（26～30回）

履修上の留意点

・日々様々な情報源を通じて環境変化と経営のあり方について考える習慣を身に付けてほしい。特に、ベンチャー魂をかきたてる情報を習得しておくことが望ましい。

成績評価の方法
教科書
参考書等
その他

・出席状況、レポートで総合的に評価する。
・特定の教科書は使用しない。
・必要に応じて紹介する。
・ベンチャー企業に興味を持った人あるいは関心がある方はぜひおいて下さい。

履修コード	329701
科目名	環境経営論
担当者名	白鳥 和彦

講義のねらい

地球環境問題は全人類の課題であると共に、企業経営においても重要な課題である。我が国では公害問題以降、環境問題への対応は進み、企業活動における環境への対応は今や必須であるが、これまでは環境対応は負担と考えられてきた。しかし環境問題を企業の成長の糧、競争優位の条件として捉えた「環境経営」の取り組みが進められている。

講義の内容・
授業スケジュール

持続可能な成長のために企業が行う環境経営とは如何なるものか。企業の社会的責任（CSR）の遂行のためにどう取り組んでいるか。企業経営における環境課題の取り組みについて理解を深めてもらいたい。

環境経営の考え方と課題、およびその取り組みについて小テーマに分けて講義を行う。また産業界に籍を置く講師の知見を活かし、具体的な事例を多く取り上げていく。

<講義予定>

1. 地球環境問題

今起こっている地球環境問題、地球環境問題への対応とその変遷等（1～3）

2. 企業の環境経営の取り組み

環境に配慮した製品開発、温暖化防止・省エネルギー、省資源・廃棄物削減・資源循環、化学物質管理、環境マネジメントシステム（ISO14001）、環境教育、環境コミュニケーション等（4～13）

3. 環境経営の理論

環境経営の意義、環境経営の指標、環境会計、環境経営に対する市場の評価（SRIファンド、環境格付）等（14～17）

4. 企業の取り組み事例（18～20）

5. 環境経営の課題・今後

グリーンマーケットの拡大、環境リスク対応、環境経営のパウンドリ

グループ経営、サプライチェーン、グローバル先進企業の取り組み

環境経営からCSR経営へ（21～26）

履修上の留意点
成績評価の方法

途中数回小レポートを課することがある。
講義への出席状況および前期・後期各期末試験により評価する。
（配分：出席点50、前後期レポート50）

教科書
参考書等
その他

特に指定しない。
参考書は適宜紹介する。
単に知識を積み上げるのではなく、企業の具体的な事象に触れ、原因、成果及び効果、課題などについて自ら考えられる形とする。

専門教育

履修コード	330601
科目名	経営史
担当者名	<small>まえだ かざりし</small> 前田 和利

講義のねらい 経営史を学ぶことによって企業経営における進化のプロセスを理解することが可能となる。本講義では、方法論を検討したうえで、経営発達史における各段階の典型国をとりあげて講義するが、その際できるだけ産業・企業の歴史や国際比較の視点をふまえて進化モデルを提示し、日本の企業経営の特質を明らかにする。

講義の内容・授業スケジュール

- I. 経営史の学び方（1回）
- II. 経営史研究の課題と方法（4回）
伝統的経営史、企業者史、組織総合理論、新動向
- III. 企業経営発達史
 1. 企業経営の生成（4回）
商人資本の経営、マニファクチュア経営
 2. 企業経営の確立（3回）
産業革命、工場制度
 3. 確立期企業経営の諸様相（5回）
企業経営者と行動原理、企業形態と企業金融、労務管理、流通・販売組織
 4. 企業経営の発展（7回）
市場と技術、大量生産システム、大企業の形成と戦略・組織、巨大企業の成立と管理機構
 5. 企業経営の変容（3回）
大企業体制の動揺と新動向（経営戦略と経営組織の変遷）
 6. 日本における企業経営の進化（3回）
進化の特質、歴史的ケース

履修上の留意点

教科書は使用しないので、配布するレジュメおよび下記の参考書を参照し、必ずノートを整理しておくこと。年に4～5回簡単な問題等を提示して回答してもらう予定である。

成績評価の方法

学年末試験による評価を90%、出席時に提出した回答を10%とする。

教科書

使用しない。

参考書等

榎本悟『アメリカ経営史学の研究』新版（同文館）、大河内暁男『経営史講義』（第2版）（東京大学出版会）、米倉誠一郎『経営革命の構造』（岩波新書）、安部悦生『経営史』（日経文庫）、鈴木良隆ほか『ビジネスの歴史』（有斐閣）、経営史学会編『外国経営史の基礎知識』（有斐閣）、橘川武郎ほか編『進化の経営史』（有斐閣）。その他随時紹介する。

履修コード	333001
科目名	日本経営史
担当者名	<small>おおしま ひさゆき</small> 大島 久幸

講義のねらい 株主との利害調整、持株会社の機能、経営者の役割など現代企業が直面する様々な問題に対処するうえで、近代以降の企業経営の歴史から多くの示唆を得ることができよう。本講義では、近代日本において経済発展を担う主体として、また日本的な企業類型の主要なルーツとして中心的な地位を占めてきた財閥に着目して、それら財閥が、どのようなプロセスで誕生し、日本の経済発展とともにどのように成長していったのかという点を考察し、そこから日本経済の歴史的な起源や日本の経済発展を考えてみたい。

講義の内容・授業スケジュール

- 【前期】1. 財閥の定義 2. 幕末維新の危機 3. 資本生社会論 4. 政商の誕生 5. 政商と華族資本 6. 政商からの脱皮 7. 運輸・通信システムの整備 8. 産業化の光と影 9. 家政改革と家憲 10. コンツェルンと持株会社 11. 専門経営者の登場（1） 12. 専門経営者の登場（2） 13. 前期のまとめ
- 【後期】1. 第一次大戦期における商社ブームと破綻 2. 三井物産の形成 3. 鈴木商店と金融恐慌 4. 都市化の進展と大衆生活の洋風化 5. 三大財閥の覇権 6. 恐慌とドル買い事件 7. 財閥の転向 8. 戦時体制と財閥 9. 財閥解体 10. 企業集団の形成 11. 高度成長期の日本経済 12. 高度成長期の専門経営者 13. 後期のまとめ

成績評価の方法

前期試験と定期試験で総合的に評価する。

教科書

武田晴人『財閥の時代』（新曜社）1996年

参考書等

宇田川勝・中村青志『マテリアル日本経営史』（有斐閣）1999年。
老川慶喜・仁木良和・渡邊恵一『日本経済史』（税務経理協会）2002年。

専門教育

履修コード	331501
科目名	商業史
担当者名	やまだ まさる 山田 勝

講義のねらい 講義の内容・ 授業スケジュール	大変革の渦中にある現下の商業経営を、歴史的視点から見つめ直し、変革の方向と意味を考える。 <A> 生産主導の商業 (1) 商業史の意義と講義の目的 (2) パラダイムの発展 (3) 利益と継続性 (4) 商品と市場 (5) 大衆消費社会の特徴 需要主導の商業 (1) 消費スタイルの変化 (2) 充足から満足度重視へ (3) 多様化の要因 (4) 「サービス」商品の特徴 (5) IT革命と商業経営 (6) 生活(文化)の変革と商業
履修上の留意点	教科書の内容を講義で補充していくので、出席はとらないが聴講に努め質問をして欲しい。講義中の私語は他の受講生に迷惑となるので厳禁とする。
成績評価の方法 教科書	定期試験による。 山田勝『商業史概論』(創成社)3,000円(消費税別)

履修コード	332601
科目名	保険経営論
担当者名	おかだ ぶとし 岡田 太

講義のねらい	保険は、個人や企業などをリスクから守る有効な手段です。リスクマネジメント論が主に保険を利用する視点から展開されるのに対して、本講義は保険を提供する保険企業の立場から経営の基本を学びます。リスクマネジメントをビジネスとして営む保険企業の特徴を理解し、経営をめぐる諸問題を考察することを目的とします。
講義の内容・ 授業スケジュール	(1~3) 保険概論 (4~6) 保険市場 (7~9) 保険産業 (10~11) 保険経営総論 (12~17) 保険マーケティング(各種保険商品の企画・開発、販売、保全、保険流通、CRM) (18~19) 再保険 (20~21) 資産運用 (22~23) 保険金請求処理 (23~24) 保険数理 (25~26) 保険会社のリスク管理とガバナンス (27) 保険会社のCSR (28~29) 国際経営 (30) まとめ
履修上の留意点	リスクマネジメント論とあわせて履修すると学習効果が高まります。新聞・雑誌などで保険の記事に注意してください。授業でも適宜最近の話題を解説します。また、授業で使用するレジュメについて、各自ダウンロードしてください。
成績評価の方法	学期末試験(60%)と授業参加(出席、レポートなど40%)を総合して評価します。詳細は開講時に説明します。
教科書	下和田・米山・金・柳瀬・諏澤・岡田著『はじめて学ぶリスクと保険』(改訂版)有斐閣 ISBN9784641183506、2007年
参考書等	教科書掲載の参考文献のほか、必要に応じて授業中に指示します。

履修コード	331901
科目名	銀行経営論
担当者名	服部 昌久

講義のねらい

金融制度は一国の歴史的発展の産物であり、その国の繁栄を築くための社会的インフラである。社会が今日のように大きな変革期にあるときは、長期的な展望に立って変化を先取りして新たな制度を構築しなければならない。経営環境が大きく変化した中で、銀行は新たな道を求めて模索しているが、本講義においては、戦後のわが国の金融システムの変遷を振り返るとともに、欧米主要銀行の動きにも注目しながら、利用者のニーズに応える銀行のあるべき姿を探りつつ、時事問題も含め、銀行経営にかかわる諸問題を、わかりやすく解説する。

講義の内容・授業スケジュール

講義はおおよそ次のような内容を予定している。
 (1) オリエンテーション「銀行経営論をはじめるにあたって」(2) 日本経済をめぐる環境(3) 戦後経済の変遷(4) わが国の金融制度の沿革と特徴(5) 銀行とは何か(6～8) 銀行の基本的機能—金融仲介機能、決済機能、信用創造機能(9～11) 銀行の業務範囲、銀行の貸出業務、銀行の預金業務(12) 銀行持株会社制度(13～14) わが国の銀行の収益状況、米銀の収益状況(15) 中間整理(16～17) 金利と利鞘、マネーサプライの変化と銀行(18～19) 銀行の国際業務、為替相場と銀行(20) 銀行のマネーローダリング対策(21～24) バブル経済の発生・崩壊と銀行の責任、不良債権問題と銀行破綻、銀行の再編、預金保険制度(25～27) 銀行経営とリスク管理—リスクとは何か、リスクとリターン、自己資本比率規制(28) リレーションシップバンキングの本質(29) 新しい銀行像(30) 期末試験

履修上の留意点

講義は基本的な事柄を取り上げ、わかりやすく解説するよう心がけるが、それでも不明な点があれば、質問を歓迎する。

成績評価の方法

学年末の定期試験(参照物の持込不可)(50%)、レポート(45%)、授業への出席(5%)を総合して評価する。

教科書
参考書等

レポートの課題は開講時に指示する。
 指定しない。
 ・鹿野嘉昭『日本の金融制度』(第2版)(東洋経済新報社)3,800円 ISBN4-492-65379-1
 ・星岳雄・Aカシャップ『日本金融システム進化論』(日本経済新聞社)2,800円 ISBN4-532-13317-3
 ・小野有人『新時代の中小企業金融』(東洋経済新報社)2,200円 ISBN978-4-492-65400-2
 ・白川方明『現代の金融政策』(日本経済新聞社)6,000円 ISBN978-4-532-13344-3

履修コード	331601
科目名	商業経営論
担当者名	石川 ^{いしかわ} 和男 ^{かずお}

講義のねらい 人は日々モノやサービスを購入し生活している。またこれらの活動なしには人々の生活が成立しなくなっている。本講義では主に人々（消費者）にモノやサービス（特にモノ）を販売する主体（事業者）の行動を取り上げる。分野として大きく分けると4つの分野から構成されている。1）商業・流通の概念とその機能、2）事業者（流通業者）の現状とその行動、3）販売に関する技術と方法、4）事業者を取り巻く外部環境と内部環境についてである。これら4つの面から多面的に事業者の組織的行動である「商業経営」をとらえてもらえればと考えている。また受講生には受け身の姿勢ではなく、積極的に疑問に思い、解決を探る姿勢が身につけられるように期待したい。

講義の内容・授業スケジュール 1 開講にあたって（受講上の諸注意）、2 商業とは、流通とは（商業概念、流通概念）、3 流通機能と流通機構、4 流通機能I（商的流通と物的流通）、5 流通機能II（流通情報と流通情報システム）、6 流通補助機関の役割、7 小売とその営業形態、8 小売業の構造と変化、9 小売マーケティング、10 卸売とその営業形態、11 卸売業の構造と変化、12 卸売マーケティング、13 卸売マーケティングの事例、14 予算管理と販売管理、15 商品回転率と価格政策、16 仕入管理と買戻契約、17 在庫管理、18 消費者行動の変化、19 商業立地と商業集積、20 商業・流通を取り巻く法的環境、21 流通政策I（競争政策と振興政策）、22 流通政策II（調整政策）、23 中小零細事業者問題、24 中小零細事業者の将来、25 日本の商業環境と商慣行I、26 日本の商業環境と商慣行II、27 これまでの講義のまとめ

履修上の留意点 1 遅刻、早退、中抜けをしない
2 授業中は携帯電話の電源を切る（発見した場合はその場で受講中止）
3 他人との会話などを授業中はしない
4 帽子の着用、飲食しないなど最低限のマナーは守る
5 公欠の取り扱い（運動部の人は必ず公式試合などの場合は提出のこと）
6 その他

成績評価の方法 ・第1回目の授業時に詳細な注意事項を書いたプリントを配付する
授業への参加意欲（出席点） 約30%
中間レポート（テーマまたは課題図書を選択制） 約30%
期末試験 約40%
授業中のボーナス加点

教科書参考書等 また、年度内に販売士試験2級に合格したものは加点する
尾崎・野本・石川(2007)『流通業のマーケティング』五紘舎、2000円
石川和男(2007)『基礎からの商業と流通(第2版)』中央経済社
鈴木安昭(2004)『新・流通と商業(第3版)』有斐閣
小宮路雅博編著(1997)『現代の小売流通』同文館

その他 第1回目の授業時に詳細な説明を行う。必ず第1回目の授業から出席のこと。
連絡方法は、授業時に指示する。

履修コード	333201
科目名	上級簿記
担当者名	矢島 ^{やじま} 正 ^{ただし}

講義のねらい この講義は「簿記学」を習得した学生を対象とし、通年で日商簿記検定2級の知識を身につけることを目的としています。

投資家、債権者、取引先、課税当局などの外部利害関係者に対して、企業は経済活動及び経済事象を財務諸表等によって報告する役割があります。しかし、企業では経営の多角化及び国際化の傾向が急速に強まり、これにともなって取引も複雑化してきました。したがって、企業は高度な会計知識をもった会計技術者を必要としています。問題意識をもって積極的な姿勢でこの講義を受講することを強く望みます。

講義の内容・授業スケジュール 1. 現金預金取引 2. 銀行勘定調整表 3. 有価証券 4. 手形取引 5. 引当金 6. 特殊商品売買取引 7. 固定資産 8. 社債 9. 本支店会計 10. 合併

履修上の留意点 必ず電卓を用意してきてください。

成績評価の方法 出席・宿題（30%）、期末テスト（70%）によって評価します。

教科書 加古直士、渡部祐亘編著『平成21年度版新検定簿記講義2級商業簿記』中央経済社

参考書等 加古直士、渡部祐亘編著『平成21年度版新検定簿記ワークブック2級商業簿記』中央経済社（教科書と併せて購入すれば検定試験対策になります。）

その他 是非、日商簿記検定2級を目指してみてください。教科書は『簿記講義』を使用しますが、各項目ごとに出来るだけ丁寧に説明していきます。ただ、『ワークブック』も購入して勉強していただければ、より効率があがると思われます。

履修コード	332201
科目名	財務会計論
担当者名	山田 純平

講義のねらい 本講義では、企業活動がどのようなルールに従って、外部利害関係者に報告されているかについて主に解説します。詳細な会計ルールをおぼえることよりも、会計ルールがどのような考え方に基づいているか、なぜそのような考え方をとるのかといった点について重点的に説明するつもりです。この講義を受講することにより、財務会計に関する新聞記事の内容を検討できるとともに、各企業が公表している有価証券報告書が分析できることを目標とします。

講義の内容・授業スケジュール
 第1～2回：会計の目的と役割
 第3～5回：複式簿記のシステムと資産評価の考え方
 第6～7回：企業の設立と資金調達会計
 第8～12回：仕入・生産・販売活動の会計
 第13～15回：設備投資と研究開発の会計
 第16～18回：資金運用の会計
 第19～20回：国際活動に関する会計
 第21～22回：税金と配当に関する会計
 第23～25回：財務諸表の作成と公開
 第26～30回：企業集団の財務報告、財務諸表による経営分析

履修上の留意点 簿記学と会計学を履修していることが望ましいです。
成績評価の方法 期末試験65%、小テスト25%、出席10%。
教科書 川本淳 他『はじめて出会う会計学』有斐閣
参考書等 授業中に適宜指示します。
その他 私語がひどい学生は退席してもらう場合があります。

履修コード	331201
科目名	管理会計論
担当者名	猿山 義広

講義のねらい この講義の目的は、日商簿記検定試験や公認会計士試験に出題された計算問題を解きながら、管理会計の考え方や技法を理解してもらうことにある。管理会計は財務会計と並ぶ会計学の柱であり、会計学系列の演習を受講する学生はできるだけ履修してほしい。また、管理会計は経営学とも深く関わっているので、経営学系の演習を受講する学生も積極的に履修してほしい。

講義の内容・授業スケジュール
 第1回 管理会計の基本概念、第2回 管理会計と原価計算1 —— 原価の意義と分類、第3回 管理会計と原価計算2 —— 原価計算の手続、第4回 管理会計と原価計算3 —— 直接原価計算、第5回 第1回小テスト、第6回 短期利益計画におけるCVP分析1 —— 損益分岐点分析、第7回 短期利益計画におけるCVP分析2 —— 目標利益の達成計画、第8回 短期利益計画におけるCVP分析3 —— プロモーション効果、第9回 第2回小テスト、第10回 原価予測、第11回 最適セールス・ミックスの決定、第12回 経済的発注量 (EOQ) の決定、第13回 第3回小テスト、第14回 標準原価計算による原価管理1 —— 原価統制の基礎、第15回 標準原価計算による原価管理2 —— 製造間接費の原価差異分析、第16回 標準原価計算による原価管理3 —— 標準直接原価計算、第17回 予算実績差異分析、第18回 第4回小テスト、第19回 活動基準原価計算 (ABC)、第20回 原価企画、第21回 バランス・スコアカード (BSC)、第22回 事業部制の管理会計、第23回 第5回小テスト、第24回 意思決定会計1 —— 業務的意思決定、第25回 意思決定会計2 —— 不確実性下の意思決定、第26回 意思決定会計3 —— 設備投資の意思決定、第27回 第6回小テスト、第28回 マーケティング会計1 —— 営業費管理会計、第29回 マーケティング会計2 —— ブランド管理会計、第30回 本試験

履修上の留意点 講義の重点は計算問題の解法に置かれるので、かならず電卓を持参すること。周知のように、管理会計における計算問題の多くは、日商簿記1級原価計算や公認会計士試験原価計算の特殊原価調査の分野で出題されるような問題と重なっているので、学習効果を高めるためにも、できるだけ「原価計算論」と併せて履修してほしい。

成績評価の方法 年間で6回行う授業中の小テストを20%、本試験を80%のウェイトで評価を行う。本試験は電卓以外の参照は一切不可なので、注意してほしい。

教科書 とくに指定する教科書はないが、計算問題については日商簿記2級工業簿記や日商簿記1級原価計算の過去問題を参考にしてほしい。また、例題や解法のポイントについてのプリントを毎回配布するので、それを保存するようにしてほしい。

参考書等 管理会計の最新理論については次の本に詳しく述べられている。

その他 櫻井通晴『管理会計〔第三版〕』同文館出版。

少しでも疑問な点があれば、授業中でも授業終了後でもかまわないので、積極的に質問すること。プリントは大切に保存してほしいが、もし紛失してしまったときは遠慮なく申し出ること。最後まであきらめることなく、粘り強く勉強してほしい。

履修コード	332301
科目名	税務会計論
担当者名	高木 克己

講義のねらい 今日、租税は我々個人にとっては、所得税、相続税等の問題として、また、企業にとっては、法人税の問題が大きな関心事として存在している。ここ数年、法人税も税率の引き下げをはじめ、多くの改正が行われている。本講義では、普通法人（株式会社等）を前提とした法人税の算定過程を中心に講義を進めていく。

税務会計とは、一般に企業における課税所得の算定過程を研究する分野をいう。この課税所得は、会社法あるいは企業会計原則等によって算出された利益にもとづいて算定される。ここでは、法人税法固有の規定（いわゆる別段の定め）が適用され、負担の公平、簡便性、あるいは政策的配慮等さまざまな考え方が反映されている。講義では、こうした税法固有の考え方の根拠、背景等を出来るだけやさしく説明しながら、今日、法人税法の抱えている問題点を明らかにしていきたいと考える。

講義の内容・授業スケジュール 講義内容の概要は次のとおりである。

(1～2) 税務会計の制度的基礎、(3～5) 法人税の意義、性格、納税義務者等、(6～8) 事業年度、同族会社、(9～12) 課税所得計算の基礎、(13～16) 販売収益、請負収益、有価証券譲渡益等、(17～21) 売上原価、減価償却、寄付金、交際費等、(22～24) 税額の計算、申告、納付等、(25～28) 企業組織再編税制、連結納税制度等、(29～30) 国際課税、不服申立・訴訟等

履修上の留意点 「簿記学」「会计学」等の基礎的な会計科目を修得した上で履修した方がより理解が深まると思われる。

成績評価の方法 原則として学年末の試験によって評価する。前期末に小テストを行う。

教科書 開講時に指示する。

参考書等 開講時に指示する。

履修コード	332801
科目名	経営分析論
担当者名	片桐 伸夫

講義のねらい 経営分析とは、文字どおり「企業の経営を分析すること」であり、かなり多方面にわたる内容をもっています。

皆さんが将来を託そうとする会社は、

- 1 財政的に安定しているだろうか（安定性分析）、
 - 2 「儲け」はどうだろうか（収益性分析）、
 - 3 経営活動の成果はきちんと配分されているだろうか（生産性分析）、
 - 4 長期的な会社の「伸び」はどうだろうか（成長性分析）、また、
 - 5 社会に対してどのように貢献しているだろうか（社会性分析）、
- といった内容です。

講義の内容・授業スケジュール (1) 経営分析について、(2～6) 経営分析の資料、貸借対照表・損益計算書の読み方、(7～12) 収益性・安定性分析、製造業－製造原価報告書、(13～15) 貸借対照表・損益計算書問題、安定性・収益性比率の計算問題、(16～20) 生産性分析、標準原価、損益分岐点分析、(21～26) キャッシュフロー計算書、連結財務諸表、(27～30) 税効果会計、正味現在価値法と設備投資

履修上の留意点 この授業の目的は、「財務諸表分析」を中心に、各人が就職を希望する、あるいは興味を持っている会社の「分析」をしていただくことにあります。つたなくても、さきやかでも、その成果は皆さんの貴重な「財産」です。

成績評価の方法 成績評価はレポートと授業中のテストで行います。学年末試験は行いませんのでご注意ください。

評価基準 前期レポート40%、前期小テスト10%、

後期レポート40%、後期小テスト10%、

☆質問は授業以外にも研究室2307号室で随時受け付けますので、遠慮なくおいでください。

教科書 開講時、指示します。

参考書等 随時、紹介します。

履修コード	330501
科目名	経済原論
担当者名	明石 博行

講義のねらい

本講義では、資本制の経済社会（資本制経済）を対象とする経済社会学の基礎理論について、入門的な講義をします。資本制社会は、近代から現代にかけて生まれ、発展し、変化してきた、現代世界における支配的な経済社会です。この講義では、この資本制社会について、そこにはどのような経済的な仕組みと法則があるのか、資本制社会の思想・法律・政策などは経済の仕組みや法則によってどのように影響され制度化されるのか、社会的に埋め込まれた諸制度によって資本制経済はどのような変容を受けるのか、について説明します。資本制経済の仕組みや法則に関する基礎認識および資本制社会に関する概括的な認識を得られるよう援助することが、この講義の基本的な課題です。

講義の内容・授業スケジュール

序論的な解説を行う序章ののち、(1) 市場、(2) 貨幣の資本への発展、(3) 資本と労働、(4) 資本の蓄積と再生産、(5) 資本の流通、(6) 資本と利潤、(7) 資本の諸姿態、(8) 資本制社会における市民・階級・階層、という8つの章からなる本論について、その第1章から4章までに重点をおいて授業をします。講義予定のおおまかなスケジュールは以下のとおりです。

第1回 講義紹介	第2章 貨幣の資本への発展
序章 経済社会学と経済原論	第17回 資本の一般的定式とその矛盾
第2回 経済社会学と経済学	第18回 商品の購買と消費
第3回 科学的社会主義の学説	第3章 資本と労働
第4回 科学的社会主義の知的遺産	第19回 資本による生産と労資型生産様式
第5回 経済社会把握の基本	第20回 剰余価値を増大させる諸方法
第6回 伝統的な経済観と経済学	第21回 賃金制度
第7回 経済学の拡張と展開	第4章 資本の蓄積と再生産
第8回 資本制の社会と経済	第22回 資本の蓄積と再生産
第1章 市場	第23回 雇用と失業
第9回 商品の二面的性格	第24回 身分階層型生産様式と階層分化
第10回 商品価値	補章 資本の流通と資本の諸姿態
第11回 商品の価値形態と物神的性格	第25回 資本の流通
第12回 交換過程	第26回 資本と利潤
第13回 貨幣の諸機能	第27回 商業・信用・地代
第14回 貨幣制度	第28回 資本制社会における市民・階級・階層
第15回 インフレとデフレの基礎理論	
第16回 市場型生産様式と市民社会	

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書
参考書等

講義に出席し、ノートをとる必要があります。
出席点、レポート、年度末の定期試験の結果を総合的に判断し、評価をします。
教科書は使用しません。講義時に毎回プリントを配布し、講義を理解できるよう援助します。
なお、参考書として、大谷禎之介『図解・社会経済学』（桜井書店）3,000円+税も使用します。

履修コード	333301
科目名	財政学
担当者名	速水 昇

講義のねらい

私たちの日常生活は、そのほとんどの側面で直接・間接的に政府の経済活動の恩恵を受けている。例えば、出掛けに傘を持っていくべきか否かは、適確な天気予報によって判断できるし、病気や怪我をしたときにかかる医療費は医療保険のおかげで実際に支払った額の数割程度ですむ。また、道路・港湾などの社会資本整備は公共部門が供給しているなど、政府はさまざまな役割を担っている。その反面、わが国の政府は平成20年度末で国債の発行残高が約615兆円、地方公共団体の長期債務残高は約197兆円、国と地方の重複分約34兆を考慮すれば、国と地方の長期債務残高は約778兆円になる。この数字は平成20年度わが国のGDP見込みの147.6%に相当する。欧州連合（EU）の参加条件を定めたマーストリヒ条約においては、ストックベースの債務残高をGDP比60%以内とすることが基準になっているので、わが国の財政はいかに借金をかかえているかが理解できる。最近の景気低迷、これからの高齢化・少子化社会に向けて、このような問題を納税者としての立場、あるいは日本国民としての立場から考えていくことが大切であるという認識に立って授業を行う。

講義の内容・授業スケジュール

具体的には前期は日本の財政状況を中心に、後期は財政政策を中心に講義する。
なお、公務員試験などで財政学の問題が非常に多く出題されているので、授業で講義した内容に関する問題の小テストを行って、授業の理解度の確認をする。

履修上の留意点

学生として当然のことだが、テキスト・ノートは必ず持参すること。小テストは10回程度予定しているので出席に自信のある学生を希望する（小テストを受けていない学生は成績評価の対象外としますので注意して下さい）。

成績評価の方法
教科書

試験、授業中の小テスト、レポート
青木一郎著『財政学』学文社 978-4-7620-1795-7 C3033 2,300円+税

履修コード	333101
科目名	金融論
担当者名	わたなべ さとし 渡部 訓

講義のねらい 本講義は、担当教員の日本銀行、Bank for International Settlements、預金保険機構における金融実務経験も踏まえて、金融に関心のある学生、将来金融界での勤務を希望する学生を対象としています。

本講義の狙いは、①金融の基礎から出発して、金融システム、金融機関行動と金融政策、市場メカニズムと金利形成、国際金融取引まで幅広く応用分野をカバーして、金融を理解する前提となる理論的なフレームワークを提供するとともに、②現代の金融問題の中で、金融システム安定に向けたブルーデンス政策（金融庁検査および日本銀行考査、自己資本比率に関するBIS規制、預金保険制度）、金融システムにおけるイノベーション（セキュリティゼーション、デリバティブス、リスク・マネジメント）について、実践的な検討を行うことを目指しています。

講義の内容・授業スケジュール 授業は、以下のスケジュールで行いますが、毎回、教科書に加え、日本銀行公表資料や日本経済新聞掲載記事等を紹介して、理論と実践のインターフェースを図ることを目標としています。

前期

1. 「金融論」のオリエンテーション、2. 金融の基本的な機能、3. 資金循環と金融取引（1）、4. 資金循環と金融取引（2）、5. 家計の貯蓄と資金余剰、6. 家計の金融資産選択、7. 企業の投資と資金調達（1）、8. 企業の投資と資金調達（2）、9. 金融機関の役割、10. 金融市場の機能、11. 金融システムの機能、12. ブルーデンス政策、13. 中央銀行の機能、14. 金融政策の目的、15. 金融政策の手段

後期

1. 預金・貸出市場の概要、2. 金融機関の貸出行動メカニズム、3. マネー・サプライの概要、4. 債券市場の概要、5. 債券利回りの決定メカニズム、6. 株式市場の概要、7. 株価の決定メカニズム、8. 国際収支と外国為替市場、9. 為替レートの決定メカニズム、10. 国際通貨制度の変遷、11. 金融派生商品市場（先物）、12. 金融派生商品市場（スワップ）、13. 金融派生商品市場（オプション）、14. 金融論のポイント・レビューと質疑応答（1）、15. 金融論のポイント・レビューと質疑応答（2）

**履修上の留意点
成績評価の方法
教科書
参考書等**

履修者は、マクロ経済学の基礎知識があることが望まれます。

小テスト及び期末テストによって総合的に評価します。

黒田晃生、『入門金融（第4版）』、東洋経済新報社、¥2,300、2006年

日本銀行金融研究所編、『新しい日本銀行 その機能と業務（増補版）』、有斐閣、¥2,520、2004年

その他

毎回、授業前に YeStudy に教材の PDF をアップしますので、予習、復習に活用してください。また、授業中は、毎回、講義の後、質疑応答の時間を設けます。

履修コード	332101
科目名	国際経済論
担当者名	ながた ともしり 永田 智則

講義のねらい 本講義の目的は、現実が生じている国際経済現象の解明に役立つような基礎的理論を簡潔に提示することにあります。「なぜ貿易が行われるのか」から説き起こし、最近の東アジアの経済発展に大きな役割を演じている「直接投資」まで題材にして講義する予定です。

分析道具が習得できれば、それを利用することによって現実の国際経済現象を自ら解明できるようになるはずです。

**講義の内容・授業スケジュール
履修上の留意点**

（1）国際経済学の意義、（2～7）国際分業論、（8～12）貿易政策、（13～15）経済成長と貿易、（16～22）国際マクロ経済学、（23～25）外国為替と国際収支、（26～30）資本の国際移動

現実の世界経済の動きを題材にしますので、新聞等で報道される関連ニュースに接しておいてください。

成績評価の方法

原則として学年末の定期試験で評価しますが、授業への出席も重視します。途中、検討課題を出すことも考えていますので、総合的な評価になることもあります。定期試験だけを受けて、要領よく単位をとりたいと考えている人は、受講を遠慮して下さい。

教科書

下記の書物と、授業中に配布するプリントを併用します。

参考書等

仙頭佳樹著「最もやさしい国際経済学」多賀出版、2800円＋税、ISBN4-8115-6491-X
随時必要に応じて紹介します。

履修コード	332901
科目名	日本経済論
担当者名	<small>はとり しげる</small> 羽鳥 茂

講義のねらい

多様な経済システム（日本の経済システムはそれらのうちの1つ）がどのようにして生まれ、また、それらはどのように進化していくのでしょうか。このことを考えてみたいと思います。

講義の内容・授業スケジュール

情報・組織・契約のミクロ経済学と、それらの理論的基礎を提供するゲーム理論、およびゲーム理論のフロンティアである進化ゲーム理論の新しい展開をふまえて、講義のねらいの目標にチャレンジします。

前期では企業の内部システムを検討します。企業内コーディネーションの情報効率性比較、企業システムの生成と進化の可能性、雇用契約とインセンティブが主要なテーマです。

後期においては、企業間の競争と合併、コーポレート・ガバナンス、企業金融、政府と企業の関係がテーマになります。

成績評価の方法

後期授業終了後の筆記試験によって成績評価を行います。

教科書

青木昌彦・奥野正寛編著『経済システムの比較制度分析』（東京大学出版会）、1996年、3200円

参考書等

鶴光太郎『日本の経済システム改革』2006年、2600円

その他、講義の進み具合に応じて適時紹介します。

履修コード	332401
科目名	証券市場論
担当者名	<small>かつた よしひろ</small> 勝田 佳裕

講義のねらい

わが国の金融システムは、銀行等を仲介とする間接金融を中心として発展してきた。しかしながら、近年では、企業が自ら有価証券を発行し投資家から資金を調達する直接金融へと、金融システムが移行してきている。本講義は、有価証券市場の機能や構成といった基礎的な事柄に関する解説から始め、最終的に、ニュースや新聞での経済動向に関する報道等を正しく理解し、自ら判断する能力を培うことを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

最初に、証券市場で取り扱う対象である有価証券を定義し、その機能等を解説する。その上で、伝統的有価証券である債券や株式の種類や機能、発行・流通市場について考察する。また、わが国の財政事情と国債市場の動向あるいは株式市場動向と経済全般との関わりなど、経済社会における重要な課題についても触れておきたい。

資金運用手段としての証券市場の役割も重要であるため、債券利回りの意味と計算の仕方、株式の投資尺度やその利用方法、企業の債務返済能力を示す格付け制度の概要と活用方法など、実務的側面についても解説する。

近年における金融・証券市場のグローバル化に伴って、資金の動きが速くなり、移動の範囲も急速に拡大しているため、市場改革のテンポも極めて速くなっている。今後も、内外共に市場の激変が予想されるため、証券市場に関連して重要な事態が発生した際には、その都度、背景や影響などを解説する。

履修上の留意点

証券や金融市場に関連するニュースや新聞での報道に関心を持って欲しい。その上で、疑問点や不明な用語等があれば積極的に質問してもらいたい。授業に際しては、出来るかぎり質問の時間を設ける予定である。

成績評価の方法

レポート及び学年末の定期試験によって評価する。

教科書

代田純著「図説 やさしい金融財政」（丸善株式会社）1890円

参考書等

授業中に指定する。

履修コード	329901
科目名	計量経済学
担当者名	呉 逸良

講義のねらい	現実の経済データを用いた例題を実際に解くことを通じて、計量経済学を学ぶ。パソコンを利用して演習を行うことにより、抽象的になりがちな計量経済学を分かりやすく理解し、実際のデータ分析の能力を身につける。
講義の内容・授業スケジュール	Excel を利用して例題を解きながら、以下の内容を講義する。 (1・2) 統計学の基礎知識 (I) (3) 統計学の基礎知識 (II) (4～8) 単純回帰モデル (9～11) 重回帰モデル (12・13) 回帰モデルの仮説検定 (I) TSPを利用して前期の例題を再計算することを通じて、TSPの扱いをマスターする。その上で、以下の内容を講義し、TSPを用いて演習を行う。 (14) 回帰モデルの仮説検定 (II) (15・16) TSPの基礎および練習 (17・18) Chow Test と予測 (19・20) ダミー変数 (21～23) 系列相関 (24～) 復習・授業中試験
履修上の留意点 成績評価の方法	経済理論をある程度勉強していることと、統計原理と経営数学を履修すること。 日頃の宿題、レポートと学期末試験の結果により総合的に判断する。期末試験は授業中に行い、試験での持ち込みは自由。
教科書 参考書等	白砂堤津耶『例題で学ぶ 初歩からの計量経済学』(日本評論社) 2003年 2,800円(税別) 山本拓『計量経済学』(新世社) 峯谷千風彦『計量経済学』(東洋経済新報社) G.S. マダラ著・和合肇訳『計量経済分析の方法』(シーエーピー出版) 唯是康彦『Excel で学ぶ計量経済学入門』(東洋経済新報社) 縄田和満『Excel による回帰分析入門』(朝倉書店) 峯谷千風彦等『パソコンによる数量分析・Excel とTSP入門』(多賀出版) 縄田和満『TSPによる計量経済分析入門』(朝倉書店) 和合肇、伴金美『TSPによる経済データの分析』(東京大学出版会)

履修コード	329801
科目名	イノベーション論
担当者名	羽田 尚子

講義のねらい	本講義では、イノベーションとはどのような特性をもつ現象なのか、どのようにして生まれるか、どのような主体が関わっているのか、経済社会に及ぼす影響を与えるのかといった、イノベーションを理解する上で重要かつ基礎的なトピックについて学ぶ。
講義の内容・授業スケジュール	イノベーションは「新しいものを変える、既存のものを変える」といった幅広い概念で用いられるが、本講義では、新製品、新サービス開発および改良といった経済システムにおけるイノベーションを扱う。 講義で扱うトピックは次のようになる。なお、順番は入れ替わることがある。 ・イノベーションとは何か、その特質について、 ・経済システムにおけるイノベーションの役割、 ・イノベーションにおける政府の役割、技術政策、 ・イノベーションにおける大学の役割、TL O事業、大学初ベンチャー、 ・日本のナショナルイノベーションシステムの課題と展望、 ・企業戦略におけるイノベーションの役割、 ・組織のイノベーション、生産効率の改善実験、 ・研究開発プロジェクトの評価
履修上の留意点	初歩的数学を使う回がある(その都度解説は入れる)。
成績評価の方法	経済学の基本的な知識があると望ましい。 年度末の定期試験(1回)と講義の終わりに小レポート(計算問題含む:不定期複数回)を実施する。小レポートの合計点(30%)と定期試験(70%)により総合評価する。講義への参加状況は、成績評価に加味することがある。
教科書	一橋大学イノベーション研究センター編『イノベーション・マネジメント入門』(日本経済新聞社) 2800円
参考書等	延岡健太郎『MOT技術経営入門』(日本経済新聞社) 3000円 小田切宏之『企業経済学』(東洋経済新報社) 後藤晃『イノベーションと日本経済』(岩波新書)

履修コード	331011
科目名	ファイナンス理論
担当者名	<small>まとう たかはる</small> 江頭 隆治

講義のねらい 受講者がファイナンシャル・リテラシーを身に付け、ファイナンシャル・インテリジェンスを高めることを目的とする。すなわち、ファイナンスに関する日常的な問題を通じて基礎知識を学び、その背後にある基本的な考え方を理解する。そして資産の効率的な運用能力を高めることを目指す。

講義の内容・授業スケジュール 入門知識篇（1-15）ファイナンシャル・リテラシーとファイナンシャル・インテリジェンス、投資とはどういうゲームか、株価とは何か、投資は運か実力か、現代ポートフォリオ理論のシュールな結論、投資に対するアドバイス
基礎理論篇（16-30）金融工学で何を学ぶか、リスクとリターン、分散投資の原理、「ベータ」投資理論、先物取引、オプション、現代ファイナンス論

履修上の留意点 日ごろから、メディアに掲載される銀行・証券会社などの金融機関の広告などを見て、どんな金融商品があるか。その金融商品の内容を理解できるか、考えてください。

成績評価の方法 試験と課題による評価

教科書 藤沢数希「なぜ投資のプロはサルに負けるのか?」、ダイヤモンド社、1600円、ISBN4-478-60053-8
野口悠紀雄「金融工学、こんなに面白い」、文藝春秋、690円、ISBN4-16-660123-7

履修コード	330801
科目名	日本経済史
担当者名	<small>わたなべ あらた</small> 渡辺 新

講義のねらい 経済学は理論・歴史・政策の3つの柱から成り立つが、この講義はその内の歴史（経済史）についてのものである。今年度は、日本において資本主義経済が成立して以来の経済の歴史、つまり日本資本主義発達史を学んでいくこととする。現在、私たちが住んでいる日本の資本主義経済はただか百数十年の歴史しか持っていない。しかし、その百数十年は人類が経験したことのない速いテンポで進み、大きく変貌している。この講義のねらいは日本の資本主義経済の歴史分析にあることはいうまでもないが、そのことによって現代日本の歴史的位置を考えていくことにもう一つのねらいがある。

講義の内容・授業スケジュール 前期・後期を通じてそれぞれの歴史段階に沿った形で日本経済の特質を解説していくが、今年度はとりわけ財閥の歴史を重視していく。財閥は近代日本資本主義において経済発展を担う主体であり、また、日本的な企業類型の主要なルーツとして中心的な位置を占めてきた。その財閥が、政商として誕生してから時代とともにどのようにして変容していったかをみていくこととする。

1. 前近代の社会経済構造
2. 明治維新の社会経済構造
3. 日本の産業革命
4. 政商から財閥へ
5. 大正デモクラシーの社会経済構造
6. 商社ブームと破綻
7. 昭和恐慌と高橋財政
8. 財閥の転向
9. 十五年戦争下の日本経済
10. 戦時体制と財閥
11. 敗戦と戦後改革
12. 財閥の解体
13. 高度経済成長の歴史構造
14. 企業集団と財閥
15. まとめ

履修上の留意点 歴史は暗記するものではなく理解するものであることを絶えず念頭におくこと。

成績評価の方法 試験ないしはレポートによって評価する。

教科書 特に指定しない。

参考書 そのつど指示する。

履修コード	333611
科目名	情報セキュリティA
担当者名	<small>にしむら かずお</small> 西村 和夫

講義のねらい
講義の内容・
授業スケジュール

情報のセキュリティについての企業の取組みについて理解する。
まず、情報は社会基盤にもかかわる重要な経営上の資産であることを認識する。情報セキュリティの定義と歴史を概観したうえで、現代の脅威、社会問題と対策を知る。そのうえで、企業の社会的責任、最高セキュリティ責任者（CSO）と情報セキュリティポリシーの必要性、事業継続計画（BCP）からの要請、実際の企業の取組み、従業員教育の必要性について学ぶ。社会全体では、倫理も含むセキュリティ文化を醸成する必要性があることを理解する。

履修上の留意点
成績評価の方法

履修に際して予備的な知識は必要としない。毎回出席してきちんとノートをとること。
演習課題と定期試験を総合評価する。

履修コード	333621
科目名	情報セキュリティB
担当者名	<small>にしむら かずお</small> 西村 和夫

講義のねらい
講義の内容・
授業スケジュール

情報セキュリティに関する法制度及び技術について理解する。
まず、セキュリティと利便性はトレードオフの関係にあることを認識する。守るべき情報の価値には、秘匿性、完全性、可用性があることを理解する。不正アクセス防止法、個人情報保護法などの法律を学び、アクセス制御を理解する。また、暗号によって達成可能な目標及び暗号技術を理論的に理解する。そのうえで、ネットワーク上で情報セキュリティを実現する方法及び認証局の必要性について、各種プロトコルを取り上げて理解する。

履修上の留意点
成績評価の方法

情報セキュリティAの履修を前提とする。
演習課題と定期試験を総合評価する。

履修コード	332511
科目名	経営情報システムA
担当者名	<small>たかい てつお</small> 高井 徹雄

講義のねらい

経営スタッフの役割は意思決定の支援、すなわち、意思決定者が適切な決定を行えるよう判断の指針となる情報を提供することです。本講義では、企業や官庁における経営スタッフを目指す皆さんのために、情報処理に関するシステムの観点と、IT（情報技術）の基礎について解説します。

講義の内容・
授業スケジュール

第1週：イントロダクション・・・本講義の趣旨説明
第2～5週：情報科学とシステムの観点
情報科学のバックグラウンドにある考え方や知識について整理する。科学の方法とシステム的なものの見方、それに基づく問題へのアプローチとはどのようなものかについて理解を深める。
第6～9週：ITとインターネット
IT（情報技術）に関わる基礎的な勉強をする。主としてコンピュータベースのシステムによる情報の取り扱いと、インターネットなど情報ネットワーク技術に関する基礎的事項について整理する。
第10～14週：情報環境の発展と経営における利用
経営の場における意思決定と情報利用技術の関わりについて学ぶ。企業における情報利用の形態の変遷を概観し、インターネットによる情報インフラが十二分に整った今日の環境下において、市場戦略的な情報の利用とはどうあるべきかについて考察する。
第15週：前期筆記試験

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書
参考書等

後期の経営情報システムBとあわせて履修してください。
毎回出席を取ります。その上で、最終授業時に筆記試験を実施して成績評価を行います。
特にありません。適宜プリントを配布します。
個別テーマによって、必要なものがあれば適宜紹介します。

専門教育

履修コード	332521
科目名	経営情報システムB
担当者名	高井 徹雄

講義のねらい 経営計画・市場戦略立案などに際して適用が期待されるIT（情報技術）の活用方法について学びます。

講義の内容・授業スケジュール 第1週：イントロダクション 本講義の趣旨説明
 第2～3週：データとは何か
 データには測る尺度によって定量的なものや定性的なものが存在する。意思決定の手掛かりとなる情報へ加工するためには、データの種類に応じた取扱いが必要である。
 第4～8週：データの解析・・・データの意味を読む
 調査収集された生のデータは、そのままでは情報としての価値はない。データを加工・分析し、それが表す意味を解釈することで初めて意思決定のための情報が得られる。ここでは、主として定量的データを分析するための解析手法とコンピュータ上での取扱いについて学ぶ。
 第9～12週：シミュレーション技法とその応用
 複雑な対象の動的な特徴を分析するための有力な方法にシミュレーション技法がある。ここでは、モンテカルロ法や離散系シミュレーションなど基礎的な方法に触れた後、様々な分野で用いられる多様なシミュレーション技法について概観する。
 第13～15週：人工知能の経営への応用
 人工知能の原理と、その経営の場での応用として期待されるDSS（意思決定支援システム）、ES（専門家システム）などの概要について学ぶ。

履修上の留意点 前期の経営情報システムAとあわせて履修してください。受講生数によりですが、必要に応じて数回程度、情報教育センターの計算機実習室を利用した体験的な実習形式の授業を行う予定です。

成績評価の方法 毎回出席を取ります。不定期に授業時小テストを行います。期末試験時に筆記試験を実施して成績評価を行います。

教科書 高井徹雄他著『基礎から学ぶ経営科学』税務経理協会 2300円

参考書等 適宜プリントを配布します。

履修コード	333701
科目名	統計原論
担当者名	山内 慎二

講義のねらい 大雑把に言えば、統計学は「確率と分布」の性質を用いたデータ処理を通して、「母集団」及び「標本」という2つの親子関係の言葉を繋げて、知識や技術を議論する学問である。

本講義では、最初に簡潔に確率論の基礎を紹介し、次にデータ処理によって母集団と標本の関係を捉え、最後に統計的推測として推定と検定等を丁寧に説明する。本講義では、実用性を重視し、統計的方法や概念を豊富な例題や数値例によって説明し、数式の使用も必要最小限に止めていきたい。

講義の内容・授業スケジュール 講義内容は以下の通りです。

序説 生活のなかの統計学、量的データと質的データ 1回
 基礎的概念 階乗と総和、順列と組合せ 2回
 記述統計 度数分布表、平均と分散、相関係数 3回
 確率論の基礎 集合、標本空間、確率、2項分布、正規分布 6回
 前期復習と中間試験（7月中旬） 2回
 標本分布 カイ2乗分布、t分布、F分布 2回
 統計的推定 点推定（不偏推定、モーメント法、最尤法） 4回
 仮説検定 片側と両側検定、有意水準、棄却域、適合度検定 4回
 回帰と相関 線形回帰モデル、相関係数の標本分布 2回
 後期復習と定期試験（翌年1月中旬） 2回

履修上の留意点 年間回数程度の練習問題を適時に配布します。これを本講義内容の基礎的部分をもとに、独自に解ければ、中間試験と定期試験は大丈夫でしょう。

成績評価の方法 講義への出席状況及び中間試験と定期試験の結果により総合的に判断します。

教科書 佐和隆光著『初等統計解析 改訂版』（新曜社）2006年 1,500円（税別）
 ISBN4-7885-0224-0

参考書等 数値表としての参考書：
 森口繁一編『新編 日科技連数値表』（日科技連出版社）1996年 510円（税別）
 ISBN4-8171-0262-4
 P.G. ホーエル著、浅井晃・村上正康共訳『初等統計学』（培風館）1996年 1,650円（税別）
 ISBN4-563-00839-7

その他 授業の方法－講義（OHPを使用する場合があります。）

履修コード	332011
科目名	経営統計A
担当者名	なが こきょう 長 国強

講義のねらい 経営統計は分析目的に対応して主に経営情報としてのデータを処理・分析し、複雑な現象を理解すると共に、データを生成した集団や構造について予測し、いろいろな意思決定をサポートすることである。経営的意思決定において最も重要なことは、将来の経営状況をどう見るかであり、その予測に対して経営統計は重要な役割を果たされるはずである。

講義の内容・授業スケジュール 第1回：経営統計について；第2回：統計的基礎概念I；第3回：統計的基礎概念II；第4回：データの収集と整理I；第5回：データの収集と整理II；第6回：データの収集と整理III；第7回：パソコン実習I；第8回：統計特性値I；第9回：統計特性値II；第10回：パソコン実習II；第11回：相関分析；第12回：パソコン実習III；第13回：正規分布とその応用I；第14回：正規分布とその応用II；第15回：総合復習。

履修上の留意点 後期の『経営統計B』も履修してください。
成績評価の方法 総合評価(100)＝出席(30)＋提出課題(20)＋期末試験(50)。
教科書等 特に変更ありませんが、プリントは随時に配布する予定。
参考書等 西田俊夫・田畑吉雄共著『経済・経営の統計学』(培風館)、1992；
守口栄一・竹田仁共著『経営数学：経営統計とその応用』(日本理工出版社)、1992。

履修コード	332021
科目名	経営統計B
担当者名	なが こきょう 長 国強

講義のねらい 経営統計は分析目的に対応して主に経営情報としてのデータを処理・分析し、複雑な現象を理解すると共に、データを生成した集団や構造について予測し、いろいろな意思決定をサポートすることである。経営的意思決定において最も重要なことは、将来の経営状況をどう見るかであり、その予測に対して経営統計は重要な役割を果たされるはずである。

講義の内容・授業スケジュール 第1回：推定予測モデル(回帰モデル)I；第2回：推定予測モデル(回帰モデル)II；第3回：パソコン実習I；第4回：時系列予測(平滑化技法、季節指数の測定)I；第5回：時系列予測(平滑化技法、季節指数の測定)II；第6回：時系列予測(平滑化技法、季節指数の測定)III；第7回：パソコン実習II；第8回：分散分析(一元配置分散分析)I；第9回：分散分析(一元配置分散分析)II；第10回：パソコン実習III；第11回：統計的意思決定理論I；第12回：統計的意思決定理論II；第13回：経営指数(物価指数、数量指数)I；第14回：経営指数(物価指数、数量指数)II；第15回：総合復習。

履修上の留意点 『経営統計A』を受講してから履修されたほうが望ましい。
成績評価の方法 総合評価(100)＝出席(30)＋提出課題(20)＋期末試験(50)。
教科書等 特に変更ありませんが、プリントは随時に配布する予定。
参考書等 西田俊夫・田畑吉雄共著『経済・経営の統計学』(培風館)、1992；
守口栄一・竹田仁共著『経営数学：経営統計とその応用』(日本理工出版社)、1992。

履修コード	331551
科目名	リスクマネジメント論
担当者名	いしなま くにあき 石名坂 邦昭

講義のねらい 近年、企業を取り巻く環境は多種多様なリスクに囲まれている。企業はそれらのリスクを征服しなければ、安定経営は望めない。企業を取り巻くリスクにはどのようなものがあるかを知り、それらにどのように対処したらよいかを講義の中心とする。

講義の内容・授業スケジュール リスクマネジメントの生成について学び、リスクマネジメント・プロセスについて講義を行う。その後、PLリスクや環境リスクについて学ぶ。
①リスクマネジメントの生成と発達、1～3、②リスクマネジメントの理論、4～10、
③企業経営とリスクマネジメント、11～20、④PLとリスクマネジメント、21～25、
⑤環境リスクとリスクマネジメント、26～30

履修上の留意点 ノートをしっかりとりとること
成績評価の方法 定期試験の成績と平常点
教科書等 特になし
参考書等 『リスクマネジメントの理論』石名坂邦昭著 白桃書房
その他 授業にまじめに出席すること

履修コード	307802
科目名	民法
担当者名	織田 <small>おだ</small> 晃子

講義のねらい 民法総則、物権が講義の対象です。具体的な事件、従って判例をなるべく使って基礎的な力をつける。

講義の内容・授業スケジュール (1～4) 権利の主体、特に自然人について権利能力、意思能力、行為能力、不在者、失踪宣告 (5) 権利の客体 (6～9) 権利の変動として法律行為、意思表示、代理、無効及び取消、時効等 (10～12) 物権変動 (13～15) 抵当権 (16～20) 譲渡担保 (21～22) 仮登記担保 (23～25) 所有権留保 (26～30) 買戻し・再売買の予約

履修上の留意点 六法は必ず持参すること

成績評価の方法 期末試験の成績による

教科書 『民法第二版①総則・物権法』(勁草書房)、ポケット六法(有斐閣)

その他 プリント配布

履修コード	308802
科目名	商法
担当者名	井上 <small>いのうえ</small> 健一

講義のねらい 企業活動の内部的な規整である会社組織に関する法規整(いわゆる形式的な意味での会社法)について講義する。単なる制度の紹介にとどまらず、なぜそのような制度が存在するのかという「制度の存在理由」を、近時の敵対的買収と対抗策の問題などに代表されるような現実の会社実務との関係で理解することを心がける。前期は主としてコーポレートガバナンスに関する規整、後期は企業金融および組織再編に関する規整を中心に講義する。商法総則についても適宜会社法との関連部分について触れていく。

講義の内容・授業スケジュール 前期 1 会社法総論：商法の体系および会社法の存在意義 2 会社の機関と法：コーポレートガバナンスに関する法規整(株主総会、取締役会・代表取締役、監査役等)
後期 3 会社の資金調達と法規整(設立時の資金調達、設立後の資金調達：新株発行、社債等)
4 会社の組織再編(M&A等) 5 企業会計

履修上の留意点 少なくとも民法(総則・債権各論)を履修済か、履修中であることが望ましい。日経などの新聞・雑誌の経済記事についてもアンテナを張っておくこと。

成績評価の方法 原則として期末試験によるが、履修人数によっては授業内で質疑応答形式によるケースメソッドを実施し、その評価と合算して全体を評価する可能性もある。

教科書 平出・山本・田澤編「会社法概論」(青林書院) 3780円 4-417-01404-3

参考書等 江頭憲治郎「株式会社法」(有斐閣)、神田秀樹「会社法」(弘文堂)。その他、適宜授業内で紹介する。

その他 授業情報は <http://homepage3.nifty.com/inoue-k/> も参照のこと。

履修コード	325101
科目名	労働法
担当者名	藤本 茂

講義のねらい	<p>今日、労働関係は、リストラ、成果主義人事管理の導入に見られるように大きく変貌しています。労働法は、労働問題を平和的に解決する方法を検討する法領域です。この変動に無関係ではられません。</p> <p>この時期、労働者に降りかかるさまざまな事象は、雇用関係法領域において、顕著です。労働基準法改正、労働時間法制、労働契約法や男女雇用平等などです。</p> <p>本講義ではこの雇用関係法領域を中心に授業を進め、その基礎的知識を身につけることを目標とします。</p>
講義の内容・授業スケジュール	<p>授業では、下記事項について、行います。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 労働法の基礎的考え方 (2) 日本型雇用システムの変化と労働法 (3) 労働関係の主人公－労働者、使用者、労働組合 (4) 労働条件の最低基準の法定－労働基準法の特徴 (5) 雇用における男女平等 (6) 労働条件の集团的決定－就業規則、労働協約 (7) 雇用の入りロー採用、採用内定、試用期間 (8) 人事異動－配転、出向、転籍 (9) 賃金、賞与、退職金 (10) 労働時間、時間外・休日労働 (11) 休憩、休日、休暇 (12) 雇用の終了－退職、解雇、整理解雇 (13) 労働災害など
履修上の留意点	<p>出席を心がけてください。私語は No、携帯電話は Off、内職は No、そして無断で席を立つことは No。いわゆる授業のマナーは守ってください。</p> <p>適宜、項目を列挙したレジュメや資料を配りますが、それでは十分ではありません。教科書を使って有意義な勉強を心がけてください。</p>
成績評価の方法	<p>憲法、民法、社会保障法、社会政策は、近接科目であるので、ぜひ履修してください。</p> <p>成績は、学年末試験がメインで、受験しなければ評価はつきません。前期試験、レポートや出席を含めて、総合的に評価します。</p> <p>追試験は実施します。</p>
教科書参考書等	<p>金子征史・藤本茂・高野敏春・大場敏彦共著『基礎から学ぶ労働法』（エイデル研究所 2009）。第1回目の授業で、プリントで紹介します。</p> <p>六法は、最新のもの（法律改正や制定があるので特に）。そして労基法施行規則の載っているものを用意してください。詳しくは、これも1回目の授業で話します。</p>
その他	<p>皆さんが各々の事項について法的にはどのように考えていくのか、イメージを描きやすいように、裁判例など具体的な例を掲げながら、授業を進めます。</p>

履修コード	334301
科目名	税法
担当者名	おくむら まさひろ 奥村 正郎

講義のねらい 租税は、我々納税者が、税法の定めるところにしたがって、国や地方公共団体（都道府県及び市町村）に納付すべきものであり、それは公共サービスの資金となり、我々の生活に影響する。しかしながら税法は、多数の法律とそれを施行するための政令、省令で成り立ち、さらに多くの通達があり、しかも法律の解釈や手続きは難解で、改正も毎年ある。このような事情からその重要性は認識していても、将来その専門家になりたいという人以外、積極的に税法の知識を身につけようとする人は少ないように思われる。このようなことから本講義により、我々の身近な法律である税法に、関心をもち、具体的事例、計算を通じてその基本的知識を修得してもらいたい。

講義の内容・授業スケジュール

また将来、税理士試験を目指すものにとっても有用な知識が提供できるような内容にしたい。講義の内容は以下のようになります。I～V前期、VI～X後期。

- I 財政の役割と租税
- II 税法の基本原則
- III 租税の種類と分類
- IV 税制改革…シャープ税制改革以降、今日までの税制改革
- V 相続税・贈与税…相続時精算課税制度他
- VI 所得税…各種所得の計算等
- VII 法人税…所得金額と税額計算等
- VIII 消費税…消費税額の計算等
- IX その他の国税・地方税
- X その他…徴収手続と納税者の権利他

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書
参考書等
その他

本講義では簿記会計の知識は必須ではないが、上級簿記等の講義も受講することを勧める。
出席状況、期末試験により評価する。
速水昇編著 『公共部門の経済活動と租税』（学文社）
授業を進める中で適宜紹介する。
計算演習等プリントを随時配布する。電卓を使用することがあるので持参すること。

履修コード	334701
科目名	外書講読（英書）
担当者名	えだまつ まさひろ 枝松 正行

講義のねらい 講義では、英書経営学の古典のなかから複数の論文を精選して現代経営学の基礎理論を学習する。そのうえで、規制改革と競争政策についての最新の英文プログラムを読み解きながら、グローバルゼーションと日本の経営の変容をリアルタイムで分析する。

講義の内容・授業スケジュール

授業は、事前に配布したプリントを毎回交代に和訳してもらい、最初は専門用語の定訳と基本構文の点検・解説・確認テストを繰り返す、徐々に、本格的な長文へと読み進め、前後期とも学期末には、それぞれ学習範囲の復習テストを行う。

履修上の留意点

内容的には、The Practice of Management と The Pension Fund Revolution などの古典的テキストや The U.S.-Japan Regulatory Reform and Competition Policy Initiative に基づいてアメリカ側から示された公文書の最新版などを抜粋して利用する予定である。

成績評価の方法

論文読解の鍵は専門用語の理解度にある。授業では、使用頻度の高いテクニカル・タームの定訳を和英2ヶ国語で早めにマスターできるように、なるべく公平にあらかじめ分担を決めて訳語・訳文を報告して貰い、成果を全員で共有しながら進めるので、欠席しないことが肝要。また、いうまでもないが、英和辞典を忘れないこと。

教科書

関連科目として私が担当する「公益企業論」や「社会科学論」の並行履修も勧める。

出席点（30%）・分担報告点（10%）・確認テスト（10%）・復習テスト（50%）で総合評価する。
適宜プリント教材を配布する。

履修コード	334801
科目名	外書講読（英書）
担当者名	速水 昇

講義のねらい 「外書講読」は1字1句言葉を確認しながら自分の力で訳すため、スピードは遅いが内容を把握する点では最適といえる。そして、経済・経営のテクニカル・タームを把握し、この大学を卒業するころには英字新聞の経済・経営の記事が読めるようにして欲しいというのが私の希望であり、講義のねらいである。

講義の内容・授業スケジュール 最初は辞書がなくても訳せるような易しい文献を選んで「外書講読」に慣れ親しんでもらう。そして、徐々に専門的な知識が身に付くような文献を講読し、専門的な知識を深めることにする。1年間で4つのテーマ、たとえば貿易摩擦（Trade Friction）、財政赤字（Deficit Finance）などについての講読を予定しているが、「外書講読」は休むと身に付かないので出席に自信のある学生を希望する。

成績評価の方法 レポート、小テスト、和訳等総合評価による。
教科書 授業時にプリントを配布

履修コード	334501
科目名	ビジネス英語
担当者名	秋葉 滋

講義のねらい 一国際ビジネスで使われている英語に触れ専門用語を習得する
一国際ビジネスにチャレンジする際のアドバイス

講義の内容・授業スケジュール (a) 第1回～第8回 英文ニュース、社説等を通して国際ビジネスで使われている専門用語の習得及びその解説
(b) 第9回～第12回 英文レター、E-mail の書き方の基本
(c) 第13回～第15回 (a)、(b) の復習及び後期授業に向けたオリエンテーション
(d) 第16回～第25回 英文レター、E-mail の書き方の実践、ビジネス英会話の実践、
(e) 第25回～第30回 いくつかの業界を選び国際ビジネスにチャレンジする際のアドバイスをを行う

履修上の留意点 次回使う資料、参考書（メディアが配信する経済ニュース、社説等）の予習
成績評価の方法 プロセス評価（毎回の授業における発言回数等）40%
結果評価（テスト、レポート）60%

教科書 未定
参考書等 未定

履修コード	334901
科目名	演習I
担当者名	明石 博行

講義のねらい 表計算ソフトを利用したマクロ経済統計の分析能力の育成を図りつつ、経済社会学の応用領域として、1990年代からの長期不況以降の動きを中心に、日本経済に関する学習と研究を行ないます。

講義の内容・授業スケジュール 演習は前期と後期に分け、前半期はパソコン教場で、後半期は通常のゼミ教場で学習します。前半期には、パソコンを活用した統計分析能力の育成を図ります。この時期は、エクセル操作の基礎の修得に重点を起きますが、ネット上の統計資料の利用の仕方についても学習します。後半期には、テキストに沿って第2次大戦後の日本経済に関する学習を進め、バブル崩壊後の日本経済の変化に関する基礎知識の修得を図ります。また、通常の演習の時間帯の学習を補足するものとして、4～5人の班をつくり、班ごとにテーマを決めて取り組むサブゼミを通して、より専門的な知識の育成を図ります。

履修上の留意点 演習の取り組みにおいては、みずから学び考える積極的な学習姿勢と1回ごとの積み重ねを重視します。たえざる努力を続け、少しずつ能力の向上を図ってゆく、粘り強い取り組み姿勢を期待します。

成績評価の方法 毎回の課題の修得状況、演習での報告や発言、サブゼミや合宿等の取り組み姿勢など、日常的な学習の全体をふまえて評価します。

教科書 教科書として、前半期には木村幸子『速効！図解 EXCEL2007[総合版]』（毎日コミュニケーションズ、1,869円）を、後半期には野口悠紀夫『戦後日本経済史』（新潮選書、1,200円＋税）を使用します。また、適時、参考資料を配布します。

履修コード	335201
科目名	演習I
担当者名	飯田 哲夫

講義のねらい

この演習では、企業経営上の問題解決のための定量的な情報分析の理論と方法について学びます。近年の情報技術の発展により、大量のデータや情報を活用した定量的な分析の多くが、比較的容易に行うことができる状況になってきており、それらを利用して定量的に問題を分析することは、データに裏づけられた合理的な意思決定へと通じていきます。そして、分析の際には、より有効にデータや情報を活用するために、また、問題の本質を理解するために、しばしば問題状況を数理的にモデル化します。問題に応じて、様々なモデルがありますが、この演習では、それらの中の基礎的なものから学習していきます。また、数理モデルを用いた分析には、コンピュータの利用を前提としているものが多くあり、それらの分析を行うためのコンピュータの利用技術についても基礎的なところから学習していきます。

講義の内容・
授業スケジュール
履修上の留意点

基礎的な数理モデルの知識および、コンピュータの利用に関する知識の習得のために、ゼミのメンバーによる輪読およびコンピュータ演習を行います。

このゼミは学生の主体的・積極的な参加を前提としています。また、数理モデル分析やコンピュータの高度な利用方法を学ぶため、ある程度は数学的知識やコンピュータに慣れていることが望まれます。具体的には、「経営数学」「情報処理基礎」を履修していることが望ましい。

平常点（出席とゼミへの積極性）、課題のレポートと発表により総合的に評価します。用いる教科書や参考書については最初のゼミのときに紹介します。

成績評価の方法
教科書

履修コード	335501
科目名	演習I
担当者名	大野 満奈

講義のねらい

この演習を通じて参加各人の個性や発想を生かし、意見交換等を通じて相互の交流を深めること、そして、大学での自己の専攻と呼べる領域を築きあげること、この二点をねらいとする。

講義の内容・
授業スケジュール

財務会計の諸概念を理論的に追究する作業を行う。さしあたりは、企業会計原則を中心とする制度会計の理解が得られるよう指導していき、その後は今日における会計上の諸問題を取り扱っていく。

履修上の留意点

日商簿記検定3級取得者、または「簿記学」の単位を修得しその内容をよく理解している者が望ましい。

成績評価の方法
その他

出席率・ゼミ論の内容等により成績を評価する。
合宿を1回～2回予定しているので参加すること。

履修コード	335601
科目名	演習I
担当者名	小田 幹雄

講義のねらい

ガソリン価格の高騰は庶民の生活に非常に大きな影響を与え物価の上昇を招いている。このような状態のなか、政府は税収不足を消費税の税率アップを計ろうとしている。少子高齢化が進み景気が低迷している現在、消費税率見直しよりも政府の特殊法人の見直しなど無駄を排除するのが先ではないだろうか。わが国の財政状態はどうなっているのだろうか、わが国の中小企業のうち法人税を納付している会社は全体の35%にすぎず実に65%は赤字や欠損補填のために法人税の支払いはおこなわれていないのだという。このような現実を知った上でわが国の財政について改めて考えてみたい。

講義の内容・
授業スケジュール

各人が以下の各章を学びつつ卒業テーマをかんがえながら勉強していくように指導したい。

- 第一章 政府の役割
- 第二章 歳入論
- 第三章 歳出論
- 第四章 地方財政論
- 第五章 租税論
- 第六章 後期 卒論指導

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書

各人の選択したテーマにしたがって部分的に発表をしながら不足分を指摘していきたい。
将来税理士や会計事務所就職したい学生向きです。
出席を重視する。
教科書：速水昇・小田幹雄 編著 『公共部門の経済活動と租税』 学文社 ￥2,900

履修コード	335001
科目名	演習I
担当者名	片桐 伸夫

講義のねらい このゼミは3・4年次(演習I・II)で「就職希望会社の経営分析」を行うことを目的とします。経営分析とは、文字通り「企業の経営を分析すること」であり、きわめて範囲の広いものです。具体的には、皆さんが将来を託そうとする会社は、

- 1 財政的に安定しているだろうか(安定性分析)、
- 2 「儲け」はどうだろうか(収益性分析)、
- 3 経営活動の成果はきちんと配分されているだろうか(生産性分析)、
- 4 長期的な会社の「伸び」はどうだろうか(成長性分析)、

といった内容です。

講義の内容・授業スケジュール (1)経営分析について、(2-6)経営分析の資料、貸借対照表、損益計算書の読み方、(7-12)収益性・安定性分析、製造業一製造原価報告書、(13-15)貸借対照表・損益計算書問題、安定性・収益性比率の計算問題、(16-20)生産性分析、標準原価、損益分岐点分析、(21-26)キャッシュフロー計算書、連結財務諸表、(27-30)税効果会計、正味現在価値法と設備投資

履修上の留意点 このゼミでは、経営分析の中でも、とくに財務諸表(貸借対照表や損益計算書など)の分析を中心とします。したがって、1年次の簿記学に興味を感じた人向きのゼミです。

成績評価の方法 成績評価の方法は平常点100%です。

4年次(演習II)では、2年間の成果をゼミ論としてまとめます。

教科書等その他 開講時、指示します。
随時、紹介します。
ゼミ入室の決定方法は面接「志望理由書(500字程度)事前提出」とテスト(簿記)によります。
なお、いうまでもなく無断欠席と遅刻は厳禁です。以上の方針に見合う、学習意欲十分な学生諸君の参加を希望します。

履修コード	336721
科目名	演習I
担当者名	加藤 武信

講義のねらい 現代企業における情報システムの役割に関して、理論的・技術的な検討を行う。理論面では、競争戦略論・戦略情報システム論・管理会計討論などに依拠しながら情報システムベースの企業経営について、文献を踏まえて考察する。また情報技術の修得訓練では、Excel や Access 等の高度活用について、演習IIも含めて2年間を通して計画的に勉強を進める。

講義の内容・授業スケジュール 下記のテーマの基礎部分は全員が勉強し、その応用部分については受講者の要望を入れていくつかを選択する。

- ①競争戦略・戦略情報システム
今後の情報システムの構築は、経営戦略と深い係わりをもつ。その分野の論文や専門書を5点ほど精読し、その要点整理を分担して行い、ワープロ文書にまとめる。
- ②キャッシュフロー経営・会計の理解
キャッシュフロー経営・会計の概要を検討し、パソコンを用いた計算事例を検討し、データ処理を行う。
- ③販売管理や顧客管理のシステム化に関する文献の考察とシステム設計の検討
Excel や Access による設計事例をベースにした検討を行う。
- ④ Word と Excel などによる基本操作およびプログラミングの検討
通産省の情報処理技術者試験取得の目標を持つ諸君に対しては、試験対象言語の勉強もやれるように工夫する。

※勉強の順序としては、パソコン実習で年間を通して④を進めながら、①～③を随所に入れていく方法をとる。

履修上の留意点 上掲の①～④のテーマは、さらに4年次で積み上げを行うための基礎であるので、手堅い勉強をしてもらいたい。演習は、諸君の専門を作るための講座である。そのためには、時間と資金の投入を惜しまず、努力を継続することが不可欠である。熱意のある学生の受講を望む。

成績評価の方法 日常の出席状況、レポートおよび口頭発表などを総合的に評価する。

教科書 ①電子教材
②プリント教材
③その他は授業の中で示す

参考書等 鈴木光男「EXCELビジネスデータ分析2007対応」(翔泳社) ¥2,180
ISBN978-4-7981-1118-6 C3055
富士通FOM「よくわかる Access 2007基礎/応用セット」(FOM出版) ¥4,000
ISBN978-4-89311-726-7 C3055

履修コード	335101
科目名	演習I
担当者名	園田 ^{そのだ} 哲男 ^{てつお}

講義のねらい 21世紀はアジアの時代といわれている。1985年のプラザ合意を契機に日本からアジアNIESへ、そして80年後半にはNIES（台湾、韓国、香港、シンガポール）からA.S.E.A.N.（タイ、マレーシア、インドネシア、フィリッピン）、中国へと投資が活発に行われている。こういったアジアの経済発展のメカニズムを、日本とNIES、中国を中心に分析し、21世紀のアジアを展望する。

本ゼミでは、学生諸君が将来企業家、ビジネスマンとして活躍を期待される中で、アジア諸国の経済発展の特徴、要因、構造を理解することによって、アジアを舞台にビジネスチャンスを掴み、さらに大きな飛躍を遂げられることをめざす。

講義の内容・授業スケジュール

前期・後期を通じて、アジア諸国・地域に関する実態経済について学習し、基礎的知識を身につける。特にアジア諸国・地域の経済発展の特徴や要因を実態的に把握する視点から、アジア諸国・地域の実態調査を実施する予定である。

履修上の留意点

本ゼミは、欧米諸国から驚異の目で見られている、アジアNIESや中国経済のマクロ的パフォーマンスの実態を研究する観点から、実態調査なども行う予定であり、意欲のある学生を歓迎する。

**成績評価の方法
教科書**

出席、発表内容など総合的に評価する。
授業の中で指示する。

履修コード	335301
科目名	演習I
担当者名	藤原 ^{ふじわら} 篤志 ^{あつし}

講義のねらい 本演習ではテーマを「モノづくりの経営学」としており、主として製造企業の生産戦略、生産管理、技術管理、作業管理などを対象としている。またモノづくりには労働力が不可欠かつ重要な要素であるので、労働者による労働も考察の対象としている。ゼミ生各人がこのテーマ・領域に関連して自分の興味・関心のあるテーマを選び、それについて研究を行い、4年のゼミ終了の時点までにゼミ論文を作成・完成させることを最大の目的としている。また授業の中で、ゼミ生には自分の論文の経過・成果についてプレゼンテーション（発表・報告）をしてもらい、それに対する質疑応答や議論・討論を他のゼミ生と活発に行うことにしている。以上の論文作成、プレゼンテーション、質疑応答、議論・討論を通じて、知識を吸収することはもちろん、ゼミ生各人が物事に対して疑問や意見を持ち、それらを論理的に思考し、自分の意見を的確に表現することを目指している。

講義の内容・授業スケジュール

3年次より、先述のように各人がゼミ論文のテーマを設定し、論文作成のための研究を進めていく。また授業自体は、ゼミ生各人による自分の論文についてのプレゼンテーション（発表・報告）、質疑応答、議論・討論を中心に行われる。その中で、報告・発表、思考、発言・表現等の能力を養っていく。このような研究報告や議論・討論を活発に効果的に進めるために、ゼミ内に全員が積極的に発言できるような雰囲気を作りたい。それゆえ授業以外のイベント（工場見学、合宿、コンパなど）には全員が参加することが原則である。

履修上の留意点

以上のような内容なので、中途半端な気持ちで志願する学生には遠慮してもらいたい。2年という時間の中で、一定水準以上の論文を完成させるのは、継続的な努力と意欲が必要になるからである。勉強にしろその他のイベントにしろ、自分から常に積極的に参加・参画する姿勢が求められる。

成績評価の方法

特に出席を重視。規定の欠席回数に達したものは即除籍にする。その他、ゼミでの報告内容や参加態度も成績評価に入る。

履修コード	335401
科目名	演習I
担当者名	渡辺 新

講義のねらい	この演習のねらいは、以下の三つである。 ①1960年に約80%であった日本の食料自給率は、現在40%を切る状況にある。つまり、私たちの食料の60%は輸入に依存していることになるが、これほど食料自給率の低い国は先進国の中で日本だけである。また、輸入食料も、マクドナルドやコカコーラに代表されるように戦後一貫してアメリカ型であったが、近年アジア型の食料輸入が急増している。こうした日本の食糧事情を経済史的に解明していく。 ②かつて日本のそば屋や寿司屋は飲食店とよばれていた。しかし、1970年代以降、ファーストフードやファミレスの登場によって外食産業とよばれるようになった。さらに、弁当・総菜屋やコンビニ食とよばれる中食産業も生まれた。こうした「食」をめぐる産業の変化を解明する。 ③アメリカ産牛肉の再輸入によって牛丼の販売は再開されたが、BSE問題は解決したわけではない。また、食品表示の偽装事件もいまだに起きているのが現状である。この演習では、BSEの発生以来、私たちの前に突きつけられた「食」の安全の問題も考えていきたい。
講義の内容・授業スケジュール	上記の〈演習のねらい〉にそって、日本の食糧事情を歴史と現状の二つの方向から分析していく。とりあえず、この問題に関する文献を輪読していくが、学生諸君が自らデータを処理し、資料を分析していけるように指導していく。また、食糧の生産、流通、消費の場を訪れるようなフィールドワークも考えている。
履修上の留意点	ゼミナールは学生が主役である。学生自身が共に学び、近年少なくなった議論のできる場をつくっていくのも演習のねらいの一つである。
成績評価の方法	平常点によって評価するので出席することが大前提となる。また、演習での到達点として「ゼミ論」を発刊する。
教科書	その都度指示する。
参考書等	その都度指示する。

履修コード	335901
科目名	演習II
担当者名	阿部 一人

講義の内容・授業スケジュール	各自の選択したテーマにそって、卒業論文の作成とその検討を行う。
成績評価の方法	成績評価は、報告発表、レポート、出席状況により総合的に判定する。
教科書	授業中において適宜指示する。

履修コード	336401
科目名	演習II
担当者名	岩淵 昭子

講義のねらい	会計には共通言語としての機能があるといわれ、企業の価値観や戦略が繁栄されている。企業の社会的責任（CSR）を重視した経営が定着しつつあるなかで、企業の不祥事の多発などによって、コーポレート・レピュテーション（企業の評判）が注目されている。財務業績だけでなく、環境や人にやさしい経営も重要だと考えられるようになってきている。演習Iの学習をもとに企業が、経済価値・社会価値・組織価値といった総合的な企業価値を高めるために、どのような取り組みを行っているのかを考える。
講義の内容・授業スケジュール	<ol style="list-style-type: none"> 1. ガイダンス 2. レピュテーションのマネジメントの役割と課題 3. 管理会計におけるコーポレート・レピュテーションの課題 4. レピュテーションのマネジメントによる競争優位の確保 5. レピュテーションのマネジメントによる企業価値の増大 6. コーポレート・レピュテーションによる企業価値の測定 7. レピュテーションのマネジメント方法 8. レピュテーションのマネジメントのケーススタディ
履修上の留意点	卒業論文を書くことを前提にして演習に望むこと。
成績評価の方法	レポート、卒業論文、出席などで総合的に評価する。
教科書	『レピュテーション・マネジメント』、桜井通晴著、中央経済社（演習Iと同じ）
参考書等	『企業価値創造の管理会計』、桜井通晴・伊藤和憲編著、同文館出版、3,000円＋税

履修コード	336601
科目名	演習II
担当者名	大島 久幸

講義のねらい 本演習では、具体的な企業の事例研究を通じて、日本の企業の歴史を学びます。歴史を学んでも今すぐ役出づ知識は得られないかもしれませんが、しかし、絶えず変動する今日をじっくり見据える判断力を養うには歴史はとてもよい素材を提供してくれます。対象を相対化できることによる客観性が歴史の妙味だからです。事例研究では個人の実名の入った活き活きした歴史を学びます。そこから未来を生きる助けになる材料を皆さん自身で探してください。

講義の内容・授業スケジュール 学生自らテーマを設定して、オリジナルの結論を年末までに論文としてまとめます。論文作成に際しては、資料収集のために外に出かけたり、夏合宿を行って議論を深めたりします。こうした活動を通じて課題発見能力やプレゼン能力・コミュニケーション能力を涵養します。

履修上の留意点 履修者は主体的に学び成長しようという意思が求められます。

成績評価の方法 卒業論文およびゼミナール活動への参画度によって総合的に評価します。

履修コード	335721
科目名	演習II
担当者名	奥村 正郎

講義のねらい 近年、少子・高齢化や経済のグローバル化が急速に進展する中で、今後の税のあり方が、その使い途とともに、国民の高い関心事となっている。本演習では、一度は基礎から租税を勉強してみたいと考えている学生、また将来、会計の専門職を目指している学生を対象に、租税のしくみや意義など、基本的事項についての理解を深めてもらうことを目的とする。演習Iでは、テキストを中心に現在の租税制度について学んでいくことにする。

講義の内容・授業スケジュール 前期は、租税原則、租税の変遷、相続税等を、後期は所得税、法人税、消費税を中心に行う予定。

履修上の留意点 本演習では簿記会計の知識は必須ではないが、専門職を目指す学生は上級簿記等も受講することを勧める。

成績評価の方法 出席状況、課題等により総合的に評価する。

教科書 速水昇編著『政府の役割と租税』（学文社）2,800円

参考書等 授業中に適宜指示する。

その他 少人数で行う演習の成否は、受講生の積極性にかかっている。自発的な参加と発言が望まれる。

履修コード	336001
科目名	演習II
担当者名	小沢 利久

講義のねらい マネジメント・サイエンスとは、経営活動の様々な場面における意思決定を支援するための分析方法を考える学問であり、対象をモデルで表現し、コンピューターを使って定量的に分析する点に特徴があります。また、マネジメント・サイエンスの応用範囲は、伝統的な生産・流通の分野から近年はマーケティングやファイナンスの分野へと広がりつつあります。この演習ではそのようなマネジメント・サイエンスの各種手法とコンピューターリテラシについて学ぶとともに、資料作成とプレゼンテーションを通じてコミュニケーション能力の育成を図ります。

講義の内容・授業スケジュール ゼミ論文を作成します。そのために、前期は経営・経済関連の雑誌記事をみんなで読みながら興味のある対象を選び、テーマを決めていきます。後期は、前期に決めたテーマについて調査・分析し、それを論文にまとめます。最後に、論文発表を行います。

履修上の留意点 論文作成ではオリジナリティを重視します。単なる調査ではなく、自分自身の見解を持つことが求められます。

成績評価の方法 提出論文、発表内容、出席状況により評価します。

教科書 使用しません。

参考書等 必要に応じて示します。

履修コード	336101
科目名	演習II
担当者名	<small>かわむら ちいてつ</small> 兼村 栄哲

講義のねらい

社会的な分業体制が成立している今日の経済においては、生産と消費の間に、主体的懸隔、量と組み合わせに関する懸隔、情報の懸隔、空間的懸隔、時間的懸隔といったさまざまな経済的懸隔が発生している。マーケティングとは、こうした経済的懸隔を架橋することによって、円滑な交換（の連鎖）を実現し、ひいては、消費者が、生産者が生産する商品を消費することを可能にする活動をいい、社会経済的な観点に立ったマクロ・マーケティング（「流通」とほぼ同義）と、個別企業のマネジメントの観点に立ったミクロ・マーケティング（いわゆる「マーケティング」）に大別される。マーケティング論は、以上の2つのマーケティングのメカニズムを研究する学問である。

本演習のねらいは、履修者の一人ひとりが、こうしたマーケティングにかかわる諸現象を体感し、当該現象について自分なりに論理的に説明できるようになることにある。

講義の内容・授業スケジュール

演習は、講義科目とはまったくその性格が異なっている。授業時間内においても積極的に参加することが要求される。以下の2つが、私が皆さんに最低限要求する内容である。

(1) 学業面における大学生活の集大成として、各自の問題意識にしたがい卒業論文を作成する。当論文は、A4版用紙1頁あたり1,200字（40字×30行）で25枚以上とする（ワープロ原稿）。

(2) 夏休みの工場見学に参加する。その前提として、各工場について、各自が50以上の質問を考える。

履修上の留意点

以下の4点を強く要望する。

(1) 積極的に参加すること。（通常の演習のみならず、合宿、OBOG会、コンパその他の課外活動にも積極的に参加すること。また、たんに出席するのではなく、自発的に自分なりの疑問や意見を示すこと。）

(2) お互いの親睦を図ること。（これは、私との間の親睦はいうまでもなく、同期・先輩・後輩との間における親睦を指している。）

(3) 無断で欠席や遅刻を繰り返したり、病気・就職活動などを理由に欠席や遅刻をしたにもかかわらず、その証明書を持参しない履修者については、卒業論文の最低枚数が増加することもあるので注意すること。

(4) 授業開始後、諸般の事情で履修を取りやめる場合にも、必ずその旨を事前に申し出ること。

成績評価の方法
教科書
参考書等

授業態度、発表内容、卒業論文の内容等による総合的な評価

なし

適宜紹介する。

履修コード	336201
科目名	演習II
担当者名	<small>なかがわ じゆんぺい</small> 中川 淳平

講義のねらい

この演習では、経営学説について考察する（したがって、演習での研究テーマとしては、経営学説のなかから1つないし複数の学説から選択することとなる）。併せて、文献・資料の調査の仕方、報告のあり方、文章のまとめ方について習得する。

演習論文の指導。

講義の内容・授業スケジュール

履修上の留意点

論文作成のために多くの時間を割く必要があるため、積極的に勉学する、意欲ある学生の参加を望みます。

成績評価の方法

提出論文100%。

履修コード	336301
科目名	演習II
担当者名	服部 昌久

講義のねらい 1998年に世界最大級の在アメリカ金融機関シティグループを誕生させ、2003年に最高経営責任者(CEO)を退くまでその経営を主導してきたサンディ・ワイルの伝記を読む。若い頃に小さな証券会社を設立してビジネスキャリアをスタートして20年後、クレジットカード会社のアメックスの社長になりながら数年後に解任された。しかし、小さなファイナンスカンパニーの社長から再出発して10数年後にシティグループを誕生させた。ドラマチックな彼の生涯を振り返り、企業経営のさまざまな局面での経営者の行動を批判的に学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

Monica Langley, "Tearing Down the Walls" を講読し、意見交換を行う。
ビジネス書であるため英語はさほど難しくないが、その本を熟読することで、英文に慣れることをも期待している。

履修上の留意点

参加者は事前に十分予習しておくこと。
参加者は時間を厳守するとともに、15分以上の遅刻は原則認めない。

**成績評価の方法
教科書**

演習での活動状況をもって評価する。
教科書：Monica Langley, "Tearing Down the Walls", Free Press US \$15.00
ISBN 0-7432-4726-4

履修コード	336501
科目名	演習II
担当者名	依田 聖

講義のねらい 現代社会は知識社会と言われ、その場合科学技術がその中心に位置付けられている。従って科学技術の創造やマネジメントについて理解しそれをビジネスに結び付けていくこと。すなわちベンチャービジネスや新規事業を起こす機会がいろいろな局面で増加することであろう。理工科系学部ではMOT (Management of technology) 教育に力を入れ始めている。文系学部出身者もそのような場面を想定して現代科学技術の役割と科学技術のマネジメントを学ぶ必要性が益々高まるであろう。そして科学技術をコアにした競争戦略の策定や事業計画の立案について訓練する必要に迫られる。

講義の内容・授業スケジュール

本演習では経営戦略や競争戦略の基礎的な事項を整理検討し、自ら世の中の動向を見極めニュービジネスシーズを探索し、それをもとにビジネスプラン(事業計画)を作成することで、演習のまとめを行っていく。

履修上の留意点

a. 最終的には自ら策定したビジネスプランを発表するため、代表的なプレゼンテーションソフトであるパワーポイント(PPT)の使い方を覚える。b. 科学技術や競争戦略の基本的文献を各自分担して読み、PPTを使い発表・報告し、様々な課題をみんなでディスカッションをしていく。
科学技術、ニュービジネス、新規事業開発、起業に興味を持つ学生、熱意のある学生の受講を望む。

**成績評価の方法
教科書**

出席状況、報告発表、レポート等々により、総合的に評価する。
授業中に指示する。

Ⅲ 他学部履修科目

履修コード	307501
科目名	商学総論
担当者名	おおいさき かつお 大吹 勝男

講義のねらい 大学で学ぶことは、将来君たちが人間らしく生きるための助けになるものでなければなりません。本学もまた大学である限り、学問の場でなければなりません。いいかえれば、大学においてしか学ぶことのできない、物事の見方、考え方を身につけることです。さらにいうならば、実用的でないもの、すぐには役に立たないもの、これらを学ぶのが大学です。諸君が、悩みに悩み、迷いに迷って、大人になっていくところが、大学という場です。キャリアを積んだビジネスマンから多く聞くことは、学生時代に「学問」をしておくべきであったということです。諸君も、過労死や過労自殺をすることなく、使い捨てのサラリーマンになることのないように、体系的に物事を考える能力を身につけてください。そして、社会人として現実に困難な問題に直面しても、学問をした人間として、大学の卒業生として、きちっと解決のできる人間になってください。本講義では、現代における流通および商業に関する諸現象を科学的に認識するために必要な流通理論および商業資本の理論を講義しますが、それらの知識を習得するとともに、それらを学ぶ過程において体系的な思考方法を習得し、思考能力を高めてください。

講義の内容・授業スケジュール (1～3) 商品、貨幣および資本 (4～7) 商品の生産過程と価値増殖の仕組み (8～16) 資本の流過程、流通時間、販売および購買費用、商品在庫と保管費用、市場と商品の輸送、倉庫業および輸送業 (17～20) 商業資本の本質と機能、商業資本自立化の利益と根拠 (21～28) 商品買取資本と商業利潤、純粹流通費用および商業的可変資本と商業利潤、純粹流通費用および商業的可変資本の回収・補填 (29～30) 商業的賃労働者・ホワイトカラー労働者と商業利潤

成績評価の方法 成績は期末試験により評価します。
教科書 大吹勝男著『流通諸費用の基礎理論』梓出版社1500円
 大吹勝男著『商業資本の基礎理論』梓出版社1500円

履修コード	311311
科目名	中小企業論
担当者名	よしだ けい一 吉田 敬一

講義のねらい 商店街のパン屋さんも中小企業、ハイテク製品を造るベンチャーも中小企業。中小企業は異質で多様な形で存在しています。しかも戦後日本の経済発展において中小企業は意外に大きな役割を果たしてきました。この点に関して自動車工業を事例として明らかにし、中小企業の実態を考えることが、この講義の目的です。

講義の内容・授業スケジュール 講義ガイダンス (1)
 I 中小企業の基礎理論
 I-1 中小企業の法的規定 (2)
 I-2 中小企業の経営類型 (3)
 I-3 中小企業の企業形態 (4)
 I-4 日本型下請構造の特質 (5～6)
 II 日本型下請システムの形成過程、
 II-1 日本経済復活期の生産分業構造 (7～8)
 II-2 高度経済成長期の下請管理の合理化 (9～10)
 II-3 自動車工業の急成長と日本型下請構造の確立 (11～12)
 II-4 グローバル化と日本型下請構造の改変 (13～14)
 講義のまとめ (15)

履修上の留意点 中小企業問題は国際経済・日本経済の動向と密接に絡み合っているので、毎日の新聞に目を通しておくことが望ましい。

成績評価の方法 成績評価は定期試験 (前期末: 80点) とレポート (最終授業日提出: 20点) を基準として行ないます。追試験は実施します。

教科書 教科書は使用せず、ノート講義の形式で授業を行ないます。
参考書等 『中小企業白書』
 吉田ほか編著『産業構造転換と中小企業』ミネルヴァ書房
 吉田ほか『グローバル化のなかの中小企業問題』新日本出版
 渡辺ほか『21世紀中小企業論』有斐閣
 『世界を制した中小企業』講談社現代新書

他
修
学
部
履
修
科
目

履修コード	311401
科目名	中小企業政策論
担当者名	吉田 敬一

講義のねらい この講義は中小企業論の内容を前提として進めます。戦後日本の高度成長を支えた中小企業の革新過程を支援した中小企業政策の特徴を学ぶこと、さらに下請問題・金融問題を取り上げ、中小企業のおかれている立場・条件の劣悪性を明らかにし、経済大国にとどまらず、生活大国を21世紀に建設するための重要課題としての日本の中小企業問題の解決の方向と展望を考えることを主要課題とします。

講義の内容・授業スケジュール 講義ガイダンス (1)
 1 復興期の中小企業政策 (2~4)
 2 高度成長と中小企業近代化政策 (5~8)
 3 中小企業政策の大転換 (9~11)
 4 経済のグローバル化と中小企業政策 (12~13)
 5 中小企業と不公正取引問題 (14)
 講義のまとめ (15)

履修上の留意点 中小企業問題は国際経済・日本経済の動向と密接に絡み合っているため、毎日の新聞に目を通しておくことが望ましい。

成績評価の方法 成績評価は定期試験(後期末:80点)とレポート(最終授業日提出:20点)を基準として行ないます。追試験は実施しません。

教科書 教科書は使用せず、ノート講義の形式で授業を行ないます。
参考書等 『中小企業白書』
 吉田ほか編著『産業構造転換と中小企業』ミネルヴァ書房
 吉田ほか『グローバル化のなかの中小企業問題』新日本出版
 渡辺ほか『21世紀中小企業論』有斐閣
 『世界を制した中小企業』講談社現代新書

履修コード	311701
科目名	人口論
担当者名	森岡 仁

講義のねらい 本講義は経済人口学の立場から、経済と人口の相互依存関係を理論的、実証的に論ずる。マルサスの人口波動理論に始まり、出生力の経済学に至る理論篇から、現在わが国に進行する少子高齢化人口減少の実状とその経済に及ぼす影響を追及する実証篇まで、人口がいかにわれわれにとって身近な問題を提起しているかを明らかにする。

講義の内容・授業スケジュール (1~8) 経済人口学とは何か、A.スミスの人口論、T.R.マルサスの人口波動理論、K.マルクスの相対的過剰人口論、J.S.ミルの人口論、E.キャンンの適度人口論、J.M.ケインズの過少人口論、発展途上国の過剰人口問題、(9~13) 人口転換論、出生力の経済学の先駆者H.ライベンシュタイン、G.S.ベッカーの出生力の経済学、R.イースターリンの出生力理論、出生力理論の統合、(14~16) 第2次大戦直後の日本の過剰人口問題、経済の高度成長と人口要因、人口移動、(17~25) 人口高齢化とは何か、人口高齢化の諸指標、日本の人口高齢化、人口高齢化と従属負担、人口高齢化と貯蓄行動、人口高齢化と労働力、人口高齢化と社会保障、人口高齢化と所得再分配、所得再分配の世代間摩擦、(26~29) 少子化とは何か、家族政策、人口減少と技術進歩、人口減少と資源・環境、(30) 人口政策。

履修上の留意点 近年大きな関心事になっている人口高齢化や少子化、それに人口減少に関する知識をどのような手段を通じてでも良いから得ておくことが望ましい。

成績評価の方法 学年末の定期試験。追試験も実施する。

教科書 大淵寛・森岡仁『経済人口学』(新評論)1981年2800円。1033-330172-3177。大淵寛・森岡仁編『人口減少時代の日本経済』(原書房)2006年2800円。4-562-09112-6

参考書等 大淵寛『少子化時代の日本経済』(日本放送協会)1997年

京極・高橋編『日本の人口減少社会を読み解く』(中央法規)2008年、2200円。

その他 授業方法:講義

履修コード	311801
科目名	社会政策
担当者名	<small>みつおか ぼくみ</small> 光岡 博美

講義のねらい 社会政策という科目は、経済学のなかでも古い歴史をもっている。その詳細については最初の講義で解説する。この講義計画では、社会政策とは、資本主義社会の各々の時代において発生する社会問題の原因を学問的に究明し、その問題を解決するための政策を多面的に研究することを目的とする学問である、と定義しておきたい。そして、この場合、社会政策という学問のなかで特に重視されてきたのは、労働問題や社会保障・福祉 etc といった社会問題である。経済学という研究の分野は、財・サービスの生産・分配・消費に関する研究としてイメージされるが、これにたいして社会政策は労働力と生命の再生産が、どのような社会・経済のシステムとの関連で展開されているのかを研究する学問であるといっていよい。

このような大きな領域を全般的に講義することは不可能であるから、この講義では現代の日本社会を念頭に置き、そこで重要と思われるテーマを設定し、各々のテーマについて講義、解説する。

講義の内容・授業スケジュール 年間の具体的な講義スケジュールは、(1)現代日本の労働・雇用問題(5回)、(2)社会政策、労働関係、労働組合の理論(5回)、(3)戦後日本の労使関係史(6回)、(4)福祉国家の歴史と理論(3回)、(5)日本型福祉の現実(3回)、(6)現代日本の女性労働、フェミニズム論、(3回)を予定している。

履修上の留意点 受講者数が多いせいもあり、私語によって、授業が円滑に進行しないことがある。授業に支障が生ずる場合、厳しい措置を取る。

成績評価の方法 期末試験で評価する。具体的な内容は授業時に詳しく説明する。

参考書等 講義の内容と関連して参考書を適時指示する。また、毎講義ごとにレジュメを配布する。

履修コード	312611
科目名	社会思想史 a
担当者名	<small>あべ ひろし</small> 阿部 弘

講義のねらい 「経済学」は私たちが日常生活している「市民社会」と密接な関連をもって形成されてきた。そこでこの過程を概観することをこの講義の目的とする。

講義の内容・授業スケジュール 「市民社会」の発達と「経済学」の形成過程
「経済学」という科学は人間社会の歴史とともに歩んできた内容を持つ。しかし、その学問としての成立過程は、19世紀に入ってヨーロッパ社会で「近代市民社会」が成立してくる時期と軌道を一つにしている。

さて「経済学」の原型は、古代の社会で形成されてきた「帝王学」的な政治・経済の倫理・政策論に求められる。この場合に重要なのは古代中国で培われてきた「経世済民」という考え方であった。

近代的な「経済学」の成立は、ヨーロッパ的な「市民社会」の発達との関係なしにはあり得ない。そこで近代ヨーロッパ社会での、フランス革命に象徴される「ブルジョアジー」およびその後に登場してくる「プロレタリアート」が、「経済学」の成立過程にどのような影響を及ぼしたのかを考察する。そのうえで、現代社会で「経済学」は何を問題提起しているのかを受講生諸君と共に考えていく。

講義は15回であるので、次のスケジュールになる。
第1章：「個人主義」思想の形成と「道徳哲学」の新たな展開(01-05回)
第2章：フランス革命と「経済学」の形成過程(05-12回)
第3章：現代の経済的諸問題(13-15回)

履修上の留意点 この科目は講師から的一方通行的講義によるものではなくて、受講生の社会思想を通じた参加型のカリキュラムを目指しているため、受講生の積極的参加が重要視される。したがって次のようになる：

1 出席の確認(授業中に適宜実施される)
2 3回のレポートの作成

成績評価の方法 「成績評価」は以上の形で行い、「定期試験」は実施しない。したがってこの「定期試験」に伴う「追試験」等は行わないので注意して欲しい。

教科書 阿部弘：『労働と所有』、八千代出版、1983
阿部弘：『「経世済民論」と「経済学」』、創成社、2009

参考書等 適宜授業中に指定する。

他学部
履修科目

履修コード	312621
科目名	社会思想史 b
担当者名	阿部 弘 <small>あべ ひろし</small>

講義のねらい

私たちが何気なしに用いている「市民」という概念が私たち自身の「社会」との関わりのなかでの概念であり、そして、この「市民」・「市民社会」の成り立ちと共に「経済学」もまた形成されるのであるが、それは「国家」的なシステムの構築と共にあることを明らかにする。

講義の内容・授業スケジュール

「経済学」という科学は人間社会の歴史とともに歩んできた内容を持つ。しかし、その学問としての成立過程は、19世紀に入ってヨーロッパ社会で「近代市民社会」が成立してくる時期と軌道を一つにしている。

さて「経済学」の原型は、古代の社会で形成されてきた「帝王学」的な政治・経済の倫理・政策論に求められる。この場合に重要なのは古代中国で培われてきた「経世済民」という考え方である。この論の本質・その発展を追っていくことによって現代の「経済学」にもつながるこの論は、資本家的な生産システムが人間それ自体をコスト原則で規定していった、「格差社会」なるもの作り上げて、それをさも「高度な社会」であるかのように吹聴する資本家的な国家体制のなかで、まさにこの非人間的な体制を根本から見直すべきものをもっている。

そこでこの講義体系では「経世済民」論の成立過程そしてその本質と現代へつながっていく要素を明らかにして、現代にあってこの論の持つ意義を観ていく。

講義は15回であるから、つぎのようなかたちになる：

第1章：「経世済民」思想（01-05回）

第2章：「経世済民論」と「経済学」（06-12回）

第3章：「経世済民論」と現代（13-15回）

履修上の留意点

この科目は講師からの一方通行的講義によるものではなくて、受講生の社会思想を通じた参加型のカリキュラムを目指しているのので、受講生の積極的参加が重要視される。したがって次のようになる：

- 1 出席の確認（授業中に適宜実施される）
- 2 3回のレポートの作成

成績評価の方法

「成績評価」は以上の形で行い、「定期試験」は実施しない。したがってこの「定期試験」に伴う、「追試験」等を行わないので注意して欲しい。

教科書
参考書等

阿部弘：『「経世済民論」と「経済学」』、創成社、2009
適宜授業中に指定する。

履修コード	324101
科目名	西洋法制史
担当者名	北野 ^{さたの} かほる

講義のねらい イギリスの法制度の歴史を、社会の法的構造と国家統治機構のかかわりを軸に解説する。特に注目される法的現象を挙げながら、各時代毎の法制度の全般的特徴と、基本的社会・政治構造との関連について考察する。

講義の内容・
授業スケジュール

- 第1部 総論
 - 第1章 法制史学概説
 - 第1節 法制史学の方法と対象
 - 第2節 法制史学の目的と効用
 - 第3節 イングランド法制史学の対象と方法
 - 第2章 イギリス歴史学の基本的知識
 - 第1節 時間的範囲
 - 第2節 空間的範囲
- 第2部 イングランド法制史
 - 第1章 古代
 - 第1節 歴史過程
 - 第2節 社会構造と法構造
 - 第2章 中世 (1066-1350)
 - 第1節 歴史過程
 - 第2節 社会構造
 - 第3節 法構造
 - 第3章 近世 (1350-1650)
 - 第1節 歴史過程
 - 第2節 社会構造
 - 第3節 法構造

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書
参考書等
その他

講義中の私語・騒音は厳しく規制する。予め十分留意すること。
論文式筆記試験（後期試験期間・年1回）
特に指定しない。
年度当初に指示する。
一冊で間に合うような参考書はないため、試験準備に最も有効なものは講義の際に筆記した各自のノートである。今年度は講義内容を大幅に変更するため、過去の講義ノートはあまり役に立たない。敢えて出席はとらないが、出席してノートをとらないと事実上試験準備ができなくなるので十分注意すること。

他
学
部
履
修
科
目

履修コード	324201
科目名	法思想史
担当者名	高橋 洋城

講義のねらい

法に関する概念や用語が生まれてきた歴史的、哲学的背景や世界観に遡って検討するのが法思想史の役割である。これには二つの側面がある。一つは、中核的な概念の由来や変遷を知ることにより現代法を形成する要素の理解を深めることである。しかし同時に、様々な思考様式に触れることによって近代的思考を相対化し、実はそれが或る特殊な一様式なのだということを自覚する、ということも重要である。

なお題材はヨーロッパの法思想史にほぼ限定される（東洋および日本固有の法思想を扱うことはできない）。講義の理解のためには、最低限の世界史的知識が必要だが、講義時間内においてはそこに時間をさくことはではないので、そうした点について不安のある受講者は自学自習して講義に臨んでもらわねばならない。また20世紀以降の法理論史については本講義ではとりあげず、むしろ法哲学講義の方で扱うことになるのでそちらを参照されたい。

講義の内容・授業スケジュール

以下に掲げる時系列に沿った講義を柱とし、その過程でいくつかの重要な法概念については、時代横断的な考察をも交えていく。

第 I 部 古典的自然法論とその背景の世界像

[1] 講義のねらい、対象、重点、注意事項などについて / プラトンの法思想：『国家』を中心に考察する

[2] アリストテレスの法思想：アリストテレス哲学の基礎理論を考察する

[3] アリストテレスの法思想（続）：正義論、政治体制論を中心に考察する

[4] キリスト教とローマ法：ヨーロッパの法律学・法思想を規定してきたキリスト教およびローマ法に由来する諸概念・思想について概説的な紹介を行なう。

[5] 中世自然法論：トマス・アクィナスの自然法論を中心に論ずる。題材は主として『神学大全』に拠る。

第 II 部 近代自然法論の思想

[6] 近代的世界像と社会契約説総説

[7] ホッブズの法思想：『リヴァイヤサン』を中心に考察する

[8] ロックの法思想：『統治論』を中心に考察する。また特に、所有権論史におけるロック所有権論の意義に着目する

[9] ルソーの法思想：『社会契約論』『不平等起源論』を題材に考察する / 近代自然法論まとめ

[10] カントの哲学と法思想 批判哲学の意義とその法理論への展開を考察する。特にカントに於ける「公論」の意義を検討する

第 III 部 19世紀以降の法思想・法律学の潮流

[11] 近代市民社会の思想：18世紀～19世紀の自然法論の果たした役割、およびヘーゲル法哲学について論ずる

[12] 19世紀の法律学の動向：歴史法学・概念法学についてとりあげる。

[13] 概念法学批判

[14] 法実証主義の諸形態

[15] 現代法理論の動向

履修上の留意点

とりあげる著作の原文抜粋を中心とした資料をあらかじめ配布し、これに基づいて説明を加える形式で講義を進める。受講者は少なくとも資料の該当箇所を事前に読んだ上で講義に臨むことが要求される。

成績評価の方法

年度末の定期試験と平常点によって評価する。平常点には小テスト、課題レポート等が含まれるが、これらは加算点にのみ用いる（定期試験のみを受験するのでもかまわないということ）。

教科書

教科書としては特定の書籍を指定しないが、講義の理解を深めるため、法思想史全般の概観ができる図書を手に置き、予・復習に役立てることを推奨する。次項の参考図書参照。

参考書等

法思想史に関する概説書の例として

・三島淑臣『新版・法思想史』（青林書院）4,854円：講義内容をさらに深く掘り下げて勉強したい場合に有益であろう。

・深田三徳、濱真一郎（編）『よくわかる法哲学・法思想』（ミネルヴァ書房 2,730円）；田中成明他編『法思想史』（有斐閣Sシリーズ 1,800円）：法思想史の流れを大まかにつかみ整理するのに役立つだろう。

上記の他、講義でとり上げる思想家の著作原著については、そのつど指示する。

履修コード	325201
科目名	経済法
担当者名	荒井 ^{あらい} 登志夫 ^{としお}

講義のねらい

規制緩和・グローバル化の下で、独占禁止法を中心とする経済法の分野はますます重要性を増し、近年、相次いで法改正が行われている。本講では、独占禁止法を中心に、景品表示法、下請法及び官製談合防止法の規定を、①我が国の経済構造、取引実態を具体的に説明し歴史的視点も取り入れながら、②法律の規定を平易に解説しつつ、③ホットで具体的な適用事例を挙げて説明して行く計画である。

講義の内容・授業スケジュール

1～3 講義方針、基礎概念、歴史 4～5 私的独占 6～10 不当な取引制限、官製談合防止法、課徴金 11～14 不正な取引方法 15～17 景品表示法・下請法 18～19 第四章規定（一般集中、市場集中） 20 寡占規制 21～23 公正取引委員会、手続規定、罰則 24 国際的環境 25～26 事例研究、まとめ

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書
参考書等

講義に出席しないと理解できないと思われるため、できる限り出席されたい。
成績評価は、試験7割、出欠及びレポート提出3割の割合で評価し、合算するものとする。
「経済法」（第5版・岸井大太郎・向田直範）ほか・有斐閣アルマ
「独占禁止法（第2版）」（金井貴嗣・川濱昇ほか・弘文堂）
根岸哲・杉浦市郎『経済法』（法律文化社）
根岸哲・舟田正之『経済法概説』（有斐閣）
丹宗暁信・岡田外司博ほか『新現代経済法入門』（法律文化社）
「経済法」（鈴木満・深雪・尚学社）

その他

レジュメを配布する。六法を必ず持参のこと。

履修コード	325401
科目名	国際関係論
担当者名	三船 恵美

講義のねらい 国際関係論の基本的な概念や理論、現代国際関係の枠組み、国際関係における諸問題などについて講義するとともに、受講生の専門知識と理解を深めることを講義の目的とします。

**講義の内容・
授業スケジュール**

前期

1. 国際関係を学ぶ
2. アクター
3. 国益とパワー
4. 日本の領域と日韓関係
5. 日本の領域と日中関係
6. 安全保障（1）：安全保障の概念と類型
7. 安全保障（2）人道的介入
8. 安全保障（3）大量破壊兵器の拡散
9. 安全保障（4）テロリズム
10. グローバリズムとリージョナリズム
11. EU
12. 東アジア共同体の構想とその課題
13. 地球環境レジームの形成
14. 前期まとめ
15. 試験

後期

1. 「人間の安全保障」と人権
2. 国際開発と国際援助
3. 難民保護とUNHCR、
4. 国際関係を分析する4つの見方
5. 勢力均衡とバンドワゴン
6. 同盟の力学
7. 覇権による安定
8. リベラリズム
9. ネオ・リベラリズム
10. ゲーム理論と国際関係
11. 南北問題と構造的暴力
12. コンストラクティヴィズム
13. 国際政治と国際経済の連動
14. 後期まとめ
15. 試験

履修上の留意点

就活や部活で欠席した人を特別扱いしません。配布物は、理由の如何に関わらず、一度しか配りません。欠席した場合の授業内容は、各自の責任で補って下さい。

**成績評価の方法
教科書
参考書等**

試験（前期40%＋後期60%）。

山田高敬・大矢根聡編『グローバル社会の国際関係論』有斐閣、2006年、2100円。
授業中に紹介します。

履修コード	326001
科目名	地方自治法
担当者名	富井 幸雄

講義のねらい

日本国憲法下における地方自治の法制度を体系的に理解する。すなわち、昭和22年に制定された地方自治法が具体的にいかなる意味をもち現実化されているか、憲法の意図する地方自治の理念がそこに具体化されているかを批判的に検討する。平成12年度より、地方分権を旨とした新しい地方自治制度がスタートする。この改革がいかなる意義をもつのかをかみしめながら、新地方自治法の理念を理解する。

講義の内容・授業スケジュール

講義は大旨以下のスケジュールで行う。前期は、地方自治の概念、憲法と地方自治、地方公共団体の概念、地方公共団体の事務、住民自治を順に勉強していく。後期は、地方公共団体の組織、自治立法権、自主財政権、公の施設、国と地方公共団体の関係を順に勉強する。なお、前後期それぞれ最後の授業時に試験を実施する。

**成績評価の方法
教科書
参考書等
その他**

前期試験（40％）と学年末試験（60％）で総合的に評価する。
富井幸雄『新地方自治法読本』2008年4月刊予定（内外出版）
『地方自治判例百選（第3版）』（別冊ジュリスト）。
講義では頻繁に法律の条文に言及するので、その都度チェックすること。憲法や行政法の履修者が望ましいが、少なくとも両方分野について高い関心を持つこと。わからないことは遠慮なく質問に来て欲しい。

履修コード	326801
科目名	倒産処理法
担当者名	鈴木 貴博

講義のねらい

破産法を中心に倒産処理法制の概要とその基本事項に関する理解を深める。

講義の内容・授業スケジュール

倒産処理手続は、債務者・債権者・担保権者など多数の利害関係人の利益が錯綜し、債権者の平等な取扱いや、破産者の再起更生、社会経済上の不利益の回避といった要請に応え、実体法の規定に配慮しつつ、手続の基準として多数の利害関係人を納得させるように機能することが期待される。このような様々な実体的法律関係の修正・処理のための法制度の特徴と概要を学んでいく。

1. 倒産法制の概観
2. 破産原因・破産能力
3. 破産手続開始申立てとその効果
4. 別除権・相殺権
5. 破産財団をめぐる法律関係
6. 破産管財人の法的地位
7. 財団債権・取戻権
8. 否認権・配当
9. 免責・破産犯罪
10. 消費者倒産

履修上の留意点

民法法関連科目（民法・商法・民事訴訟法など）を履修済みか履修中であることが望ましい。その他、受講にあたって必要なことは開講時に指示する。

**成績評価の方法
教科書
参考書等**

簡単なレポートと学期末試験により評価される。
徳田和幸『ブレップ破産法』（弘文堂、第4版、2008年）¥1,260 ISBN978-4-335-31309-7
①伊藤眞『破産法・民事再生法』（有斐閣、2007年）¥6,615 978-4-641-13498-0
②山本和彦・中西正・笠井正俊・沖野眞巳・水元宏典『倒産法概説』（弘文堂、2006年）¥4,725 978-4-335-35373-4 C3032
③山本和彦『倒産処理法入門』（有斐閣、第3版、2008年）¥2,205 978-4-641-13534-5
④青山善充・伊藤眞・松下淳一『倒産判例百選』（有斐閣、第4版、2006）¥2,520 978-4-641-11484-6

履修コード	332901
科目名	日本経済論
担当者名	羽鳥 ^{はとりしげる} 茂

講義のねらい 多様な経済システム（日本の経済システムはそれらのうちの1つ）がどのようにして生まれ、また、それらはどのように進化していくのでしょうか。このことを考えてみたいと思います。

講義の内容・授業スケジュール 情報・組織・契約のミクロ経済学と、それらの理論的基礎を提供するゲーム理論、およびゲーム理論のフロンティアである進化ゲーム理論の新しい展開をふまえて、講義のねらいの目標にチャレンジします。

前期では企業の内部システムを検討します。企業内コーディネーションの情報効率性比較、企業システムの生成と進化の可能性、雇用契約とインセンティブが主要なテーマです。

後期においては、企業間の競争と合併、コーポレート・ガバナンス、企業金融、政府と企業の関係がテーマになります。

成績評価の方法 後期授業終了後の筆記試験によって成績評価を行います。

教科書 青木昌彦・奥野正寛編著『経済システムの比較制度分析』（東京大学出版会）、1996年、3200円

参考書等 鶴光太郎『日本の経済システム改革』2006年、2600円
その他、講義の進み具合に応じて適時紹介します。

IV 随 意 科 目

履修コード	—
科目名	英語（海外演習）
担当者名	—

講義の内容・授業スケジュール この科目は、本学の海外協定校であるクインズランド大学（オーストラリア）、ブリティッシュ・コロンビア大学（カナダ）、エクセター大学（イギリス）、カリフォルニア大学アーバイン校（アメリカ）における短期語学セミナーでの3～4週間におよぶ現地での集中演習を中心として行われる英語随意科目である。受講対象学生は1年次生から4年次生までとする。ただし、春期クインズランド大学（オーストラリア）のセミナーに関しては、4年次生は参加できません。

成績評価の方法その他 現地演習後に各大学より受講生の成績・評価等が出される。受講生には単位の認定がなされる。受講希望者は、国際センターの短期語学セミナーに参加申込みをする。

履修コード	—
科目名	フランス語（海外演習）
担当者名	—

講義の内容・授業スケジュール この科目は、本学の海外協定校であるプロヴァンス大学（フランス）における短期語学セミナーでの3週間におよぶ現地での集中演習を中心として行われるフランス語随意科目である。受講対象学生は1年次生から3年次生までとする。

成績評価の方法その他 現地演習後にプロヴァンス大学より受講生の成績・評価等が出される。受講生には単位の認定がなされる。受講希望者は、国際センターの短期語学セミナーに参加申込みをする。

履修コード	—
科目名	中国語（海外演習）
担当者名	—

講義の内容・授業スケジュール この科目は、本学の海外協定校である華東師範大学（中国）における短期語学セミナーでの4週間におよぶ現地での集中演習を中心として行われる中国語随意科目である。受講対象学生は1年次生から4年次生までとする。

成績評価の方法その他 現地演習後に華東師範大学より受講生の成績・評価等が出される。受講生には単位の認定がなされる。受講希望者は、国際センターの短期語学セミナーに参加申込みをする。

